加越能文庫解説目録

上　巻

金沢市立図書館

序

加賀藩五代藩主前田綱紀が内外から収集した貴重な典籍・書跡類を中心とした前田育徳会の尊経閣文庫は，学界各図書館界で高く評価されていることは周知のとおりであります。

昭和23年にその文庫の一部であり，加賀藩行政資料を主内容とした加越能文献が東京からゆかり深い当市へ寄贈されたので，市では市立図書館の蔵書に加え，「加越能文庫」として保存，整理に着手しました。昭和39年から41年にわたり，一応目録の稿本として上・中・下・補遺の刊行をみましたが，資料の厖大さのゆえ，利用者にとって十分なものとはいえませんでした。よって分類をより詳細にし，重要なものには細目や解説を加え，更に書名や著者名からの索引を付した使い易いものにするため，新たに解説目録を編纂することになり，昭和42年金沢大学の下出積與先生を主任とする学者，研究者の方々にご尽力を願うことにいたしました。翌年下出先生が転任されましたので，同大学の高沢裕一先生に後任をわずらわし，今日漸く上巻刊行の運びとなりました。

この目録が稿本目録を一歩前進させたものであり，今後の地方史の研究者，編纂者および全国の近世史研究者に活用され，ひいては地方文化の振興に寄与することを期待する次第であります。

なお，この機会に貴重な文献をご寄贈いただいた前田家のご好意に対し改めて敬意を表しますとともに，本事業のために献身的なご努力をいただいた高沢裕一先生をはじめ，諸先生の御労苦に対し心から感謝申しあげ，今後のご協力とご指導をお願いする次第であります。

昭和50年3月

金沢市教育委員会

教育長　桑田良夫

緒　　言

当館の中心資料である加越能文庫は，昭和23年に，前田育徳会がその尊経閣文庫所蔵資料の中から，旧加賀藩関係のものを選んで金沢市へ寄贈されたことにより設置された。したがって本文庫の内容は，ほとんどが旧加賀藩ないし加賀・能登・越中三カ国の旧藩領関係の資料である。

前田育徳会で選んだ基準は詳かでないが，本文庫には，かつて前田家編輯方が採取した資料が多い。前田家編輯方は，明治16年，前田家15代利嗣氏の設立にかかるが，それは最後の藩主慶寧氏が明治２年に設けた御家録方の企図を受け継ぎ，長年にわたって旧藩庁，旧藩臣，旧領内各地の資料を渉猟して手写し，あるいは献上をうけて一大資料群を集積したものである。『加賀藩史稾』（８巻で中絶），『加賀松雲公』（３巻）などの藩主等の伝記，また日置謙編『加賀藩史料』（18巻）も，これらの採取資料にもとづいて刊行されている。

本文庫には，松雲公採集遺編類纂・庶物類纂・袖裏雑記・政隣記・葛巻昌興日記・河合録・司農典・謡言粗志など著名な典籍類も含まれており，それぞれが貴重な価値を有しているが，また全体として加賀藩研究の上で最大級の文庫であることも誰しもが認めるところであろう。今回の調査によって，なかんずく藩庁公務関係の資料が，藩主，藩士，藩制，政務，軍事等の各分野にわたって数量の多いことを知った。また十村役の記録など地方文書の採取が，すでに明治期から前田家編輯方によって営々と進められていたことも注目すべきである。さらに，藩臣有沢氏の兵学を中心とする武学関係，主に武士の間に行なわれた学問，文芸関係資料も諸種にわたっており，興味ある知識を供するであろう。それらの総数は本目録上・下巻の完成を俟って確認されることであるが，本目録以前に昭和39年から41年にかけて作成された『加越能文庫目録』（上・中・下・補遺）の総数は9,852点となっている。

さて，本目録作成のための調査は，委託事業により，昭和42年度から始まった。当初下出積與が主任となり，調査員数氏を委嘱して共同して作業をはじめたが，翌年下出主任が金沢を離れたため，昭和43年度以後は高沢裕一が主任となって調査を続けた。調査員は，田中喜男，浅香年木，奥村哲，徳田寿秋，長山直治，それに一時期の間，大桑斉，西節子

茶谷十六，永守彰子（旧姓中道）が加わった。調査作業は，一件ごとに必要事項をカードに記録し，それが一定度進捗して本文庫の内容が次第に把握できるにつれて，大項目（0～9），小項目（0～9）の項目構成を行ない，さらに必要に応じて詳細化し，また手直しを加えながら作業をすすめた。したがって，本目録の分類方法や項目は，加越能文庫の内容に即しながら検索の便に供しようとした独自のものである。

調査員は，それぞれ学校勤務等の本務を持っているため，その余暇を使っての作業は資料の尨大さ，複雑さゆえ仲々はかどらず，当初の計画を延期せざるをえなかった。にもかわらず利用者の諸々の要求に対して本目録が充分応えられない点もあろうかと思う。今後に下巻の刊行を控えており，鋭意努めるが，さしあたり分類を詳細にし，簡略ながら解説を付した本目録の新味について，大方の御理解をいただければ幸いである。（文中敬称略）

最後に，下巻に予定されている項目を紹介しておこう。

4　御用部屋をはじめ藩中央の役方記録，文書，日記類と財政の経緯を語る政務資料。

5　大坂・関ケ原などの戦記・戦場図，降って維新前後の京都守衛，水戸浪士一件，上越出兵などの記録，併せて明倫堂・経武館に始まり軍学導入にいたる藩校の消長を示す軍事・藩学資料

6　郡方・浦方の村と人口，土地と年貢についての藩側，十村役人の農政経済資料，また寺社方，町方，公事方，災害，救恤に関する藩治資料。

7　稲作以外の農林水産業，鉱工業とその産物，および金融，商業，交通，陸海運にかかる産業資料。

8　甲州流軍学を追求した有沢兵学，吉田流弓術などの武学文献。

9　加越能その他の歴史書，能，漢詩，和歌，稗史，随筆などの文芸，それに藩外を含めての学問・芸能・社会一般の資料。

資料調査員

主任	下出積與	明治大学教授 （当時金沢大学教授）	昭和42年度
主任	高沢裕一	金沢大学助教授	昭和43～49年度
	田中喜男	金沢経済大学教授	
	浅香年木	国立石川工業高等専門学校助教授	
	奥村哲	金沢二水高等学校教諭	
	徳田寿秋	金沢錦丘高等学校教諭	
	長山直治	石川県立図書館古文書課	
	大桑斉	大谷大学講師	
	西節子	金沢大学助手	
	茶谷十六	当時金沢錦丘高等学校教諭	
	永守彰子	当時金沢大学法文学部専攻生	

凡　例

1　本目録は，金沢市立図書館が所蔵する加越能文庫（記号＝特16）の解説目録で，既刊の稿本目録を再検討し，必要に応じて細目と略解を加えたものである。

2　資料を内容に即して0～9に大区分し，上巻にはそのうち，0総記，1藩主，2藩制，3藩士の四項を収載した。

3　大区分を，さらにそれぞれ0～9に小区分した。小区分は，資料の分量に応じてさらに細区分し，適宜，記号を伴わない小見出しを付した。

4　細区分内の配列は，内容の年代順あるいは五十音順，同一内容では，原本・副本・複写本・抄本の順を原則としたが，時に変更を加えたところもある。

5　特16.31—藩士のうち，明治初年金沢藩臣の先祖由緒幷一類附帳は，巻末に五十音順に配列して別載した。

6　記述はカード形式による分類順とし，第1行　標目（ゴジック活字），第2行　編著者名，第3行　出版事項，第4行　対照事項，第5行以下　註記・解説とした。

7　標目（題名）の左の数字は資料の一連番号を示し，右の数字は資料の請求記号である。

8　標目は資料の題名（書名・文書名）で，無題のものに付した題名，または原題を省略あるいは補ったものには〔　〕を付し，原題名を註記欄に記入した。

9　編著者は，編集者または原著者を示し，（　）内は別名・通称・雅号などである。

10　出版事項は自筆・手写の別，筆者（版本については出版者），手写または版年（西暦）とした。

11　対照事項は，形態，数量，法量，装釘などを示すものである。形態は，冊子，合綴，仮綴，巻子絵図などに区別，数量は，冊子で1冊のものは墨付丁数を，2冊以上のものは冊数のみとした。文書は通数，絵図は枚数を記した。法量はたての寸法をセンチメートルで表わし，小数点以下は2捨3入した。ただし，特殊な形のもの，または絵図はタテ×ヨコの寸法をとった。また，包紙，袋，箱に入ったものはその旨を記入した。

12　註記欄には，資料の原題，内題，別名，旧蔵者，内容年代，叢書・合綴書の細目，内容の略解などをいれた。

13　欄内の①②……は冊次を示すもので，乾坤，天地人などの巻次は省略した場合がある。

14　現在までに刊行されている資料については，努めてこれを記入した。

15　使用した字体は，概ね原題に従ったが，適宜当用漢字を用い，また，「扣」や「𠮟」などは，それぞれ「控」「ヨリ」などとした。

16　書名（題名）および編著者名による索引は，目録下巻につづき出版される予定である。

17　既刊の目録における題名で変更されたものが若干ある。

目　　次

特16. 0　総　　記

特 16.00　図書・書誌・図書館…… 1
特 16.01　目　録・索　引…… 1
特 16.02　百科辞書・節用集…… 3
特 16.03　叢　書・全　集…… 3
特 16.04　新　　聞…… 14
特 16.05　雑　　記…… 14

特16. 1　藩　　主

特 16.10　系　　譜…… 33

系　譜・系　図
続　　書
家　　督

特 16.11　年　　譜…… 40

累　　代
初　代　利　家
2　代　利　長
3　代　利　常
5　代　綱　紀
6　代　吉　徳
7～11代宗辰・重熙・重靖・重教・治脩
12・13代斉広・斉泰
14　代　慶　寧
位　　記
印　　譜
定　　紋

特 16.12　事　　蹟…… 54

累　　代
初・2代　利家・利長

3・4代　利常・光高
5～10代　綱紀・吉徳・宗辰・重熙・重教
12～14代　斉広・斉泰・慶寧
墓　誌

特 16.13 交　際…… 68

総　記
禁　裡
御　成
将軍宣下
献上・進物
拝領・拝見
応接・送迎
訪　問
書　札

特 16.14 作法・生活…… 82

御作法書
衣　食　住

特 16.15 出　行…… 85

行列・御供
順　見
行　歩
参　詣
子女出行
鷹　野

特 16.16 吉　凶…… 98

出産・誕生
色直し・宮参り
髪置・着袴
角入・元服・袖留
婚　礼
養　子
寿　賀
病　気
葬　儀
法　事
遺　物
法　号
墓　所

特 16.17 御　　書…… 142
特 16.18 城　　館…… 147
金　沢　城
小　松　城
高　岡　城
松任・守山城
そ　の　他
海津・大津・旅屋
江戸藩邸
特 16.19 支　　藩…… 164
富　山　藩
大聖寺藩
七日市藩

特16. 2 藩　　制

特 16.20 領　　知…… 168
郷　村　名
郷　村　高
領　　界
国　絵　図〔文書〕
国　絵　図〔絵図〕
特 16.21 勤　　役…… 186
登　　城
御手伝普請
巡見上使
御　預　人
高山在番
そ　の　他
特 16.22 参　　勤…… 194
御用留・規　式
道　　中
特 16.23 法　　令…… 208

幕　　法
定書一般
家中定書
高　　札
明治法令

特 16.24 公儀状・建　白…… 219

特 16.25 御　親　翰…… 220

特 16.26 職　　制…… 225

職制一般
（番　　割）
役　　所
役　人　附（組分け）
役　懸　り
（一　般）　（奏者番・使番）
（公事場）　（算用場）
（小松城附）　（割場）（細工所）（江戸方）
（そ の 他）
役　　料
任免・転役

特 16.27 勤方制規…… 240

勤方一般
組　　方
役　懸　り
（御用部屋）　（奏者番・近習）（取次方）
（使番・用人）　（公事場）　（算用場）
（小松城附）　（作事所）　（割場）
（細 工 所）　（御門方・番所）
（台所方・配膳方・給仕方）
（横　目）　（江戸方）　（その他）

特 16.28 藩　　史…… 260

年　　表
史書・史料
見聞記・雑記
政治事件

特 16.29 支藩・預所…… 286

富　山　藩
大聖寺藩
七日市藩
土方領・預所

特16. 3 藩　　士

特 16.30 知　　行…… 293

知行判物・所付
侍　　帳
切米・扶持・給金等
新知・加増・絶家・減俸・隠居料等

特 16.31 家格・系譜…… 301

触　　令
家　　格
系譜・由緒

特 16.32 相続・縁組…… 326

総記・規式
家督相続
婚　　礼
養　　子

特 16.33 規式・勤仕…… 331

規式・心得一般
御　　礼（御礼所）
御礼人帳
年頭御礼
勤仕規式
乗物御免
披　　露
拝　　領
献　　上
預　　人

特 16.34 家伝・旧記・列伝…… 341

家伝・旧記
（家　　別）
列　　伝
（伝記　個人別）

特 16.35 屋　　敷…… 360
制規・記録
屋敷割絵図
御貸家絵図
屋敷絵図
特 16.36 家事・陪臣…… 367
家訓・遺書
家　　事
陪　　臣
特 16.37 私　文　書…… 370
特 16.38 私　記　録…… 383
特 16.39 支　　藩…… 389
富山藩
大聖寺藩

特16.31—65

先祖由緒幷一類附帳……1～288

特16.0 総　　記

特16.00 図書・書誌・図書館

1 石川県勧業博物館図書室規則　16.00—1
石川県勧業博物館編
明治15年（1882）刊
4丁　19cm

2 編輯方事務報告　16.00—2
前田家編輯方編
編者手写　明治36年（1903）
仮綴1（4丁）　25cm
明治35年11月から36年10月まで1か年間の職員の事務報告。

3 尊経閣図書保管法　16.00—3
手写　明治17年（1884）
巻子1　20cm

4 「朱子遺書」修覆之儀覚　16.00—4
手写
巻子1　19cm
朱子遺書20冊の修覆に関する文書。署名者不破有隣，原長堅，吉田守邦は5代綱紀の元禄，享保初年の御書物奉行。

5 藩史料所持御問合に付届書　16.00—5
小幡造次編
自筆　明治18年（1885）
1通　23cm
前田家編輯方宛。

特16.01 目　録・索　引

6 本朝書籍目録　16.01—1
清原業忠編
今枝直方手写　元禄8年（1695）
2冊　20cm
上，下あり，下巻は長尾平兵衛編の本朝書籍目録外録である。なお，元禄10年の訂正書入がある。

7 本朝書籍目録・同外録　16.01—2
清原業忠・長尾平兵衛編
手写　寛文11年
49丁　15cm×22cm
有沢貞庸旧蔵

8 持明院殿蔵書目録　16.01—3
手写　文政元年（1818）
14丁　29cm
松雲公採集遺編類纂巻7および巻91とは内容差異あり。

9 巻ノ拾壱御長持入之御品之内仮目録　16.01—4
手写　慶応4年（1868）
8丁　12cm×26cm
紙背・秘閣群籍目録；正保5年の富姫より文政11年の厚姫に至るまでの婚礼に関する記録の目録。

10 加越能書籍一覧　16.01—5
森田良見著
自筆　明治18年（1885）
3冊　24cm（端本）
一は巻1・2・二は巻3・4・5・九は巻9の3冊。
加越能三国の人および事物に関係ある書物などを，地志・社記・釈書・国志・軍記・系譜・規則・教訓・語話・随筆雑抄・雑書・儒書・天文陰陽・術芸・本草・農書・詩文・道記・歌書・連歌俳書の20冊に分類し解説を付けたもの。ただし，明治以後のものや婦女子向きの戯作類は除く。明治18年成立，三宅恒の序文がある。完本は本館の別の資料中にある。

11 燕間総目等御屏風写　16.01—6
前田家編輯方手写　明治年間
巻子1　27cm
燕間総目備具類・燕間総目編録類の二種。5代綱紀が図書などの蒐集便のため，資料の主管者と資料名を系統的に，屏風に記録して坐右においたものの一部の写。延宝年間に使用したもの。

12　松雲公御手沢遺書　16.01—7
手写
2冊　24cm
別名「松雲公採集記録七種」。内容細目は，
- 延宝五年鎌倉記
- 延宝九年南都有之書物之覚
- 元禄八年油小路殿書目録之写
- 脇坂中務少輔書目録（以上上巻）
- 享保七年越中物産記（彩色図）
- 正徳二年砺波郡社号記
- 享保二年越中国福野村鋳物師記（以上下巻）。

13　旧記幷書籍調帳　16.01—8
前田家編輯方編
編者手写　明治38年（1905）
7丁　12cm × 36cm

14　敬槻両御簞笥御入方等一巻　16.01—9
有沢貞庸（才右衛門）編
自筆
21丁　23.5cm
文政2年（1819）に調べた敬・槻の両たんす入の書籍目録によって，同9年調査した結果の報告書。図書内容は軍学書。

15　書籍目録　16.01—10
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
82丁　24cm
尊経閣文庫の一部の目録で，器財・物語・医書・釈書・和歌・詩文・字書・類書・小説・随筆・訳書・外国に分類してある。

16　編輯方書籍目録附録等　16.01—11
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
28丁　~~15cm~~ 25cm

17　梧井文庫蔵書目録　16.01—12
有沢師貞編
自筆
105丁　24cm
有沢家の蔵書目録。師貞は御近習御用，嘉永7年（1854）没。紙背文書「文政十年諸事留帳」あり。有沢貞庸旧蔵。

18　見得書目　16.01—13
有沢貞庸編
自筆　天保初期
17丁　20cm
貞庸が読んだ本の目録，天保2年まで記入。

19　御用書物目録　16.01—14
前田家編輯方手写　明治年間
33丁　23cm
石崎彦太郎蔵書目録。

20　経徳書院著書目　16.01—15
陸　義猶編
自筆　明治末期
3丁　25cm
経徳書院は陸義猶の号。

21　書庫総目　16.01—16
11丁　12cm × 18cm
所属不詳の漢籍の書目。

22　石川県ヨリ文部省へ出ル和漢書籍ノ内国書目　16.01—17
手写
14丁　24cm
成瀬正居旧蔵。

23　石川・富山採集文書所蔵社寺人名録　16.01—18
前田家編輯方編
編者手写　明治30年（1897）
23丁　25cm
「明治30年7月31日東京帝国大学史料編纂掛田中義成へ御遣ハシノ控ナリ」との朱書注記あり。

24　三州事実文編目録　16.01—19
前田家編輯方編
編者手写　明治年間

26丁　25cm
加越能三国関係人の伝記・序文および銘文の題名とその作者の一覧表である。

25　金沢古蹟志目録等　16.01—20
前田家編輯方編
編者手写
合綴1（112丁）　22cm
① 金沢古蹟志目録（巻1～34）
② 加賀藩事実文録目録（第1～40）
③ 諸頭系譜目録（巻1～15）
④ 藩国官職通考目録
四種の図書の内容目次（②については著者名併記）を列記したもの。
旧書名「金沢古蹟志目録外」

特16.02　百科辞書・節用集

26　桑華字苑　16.02—1
前田綱紀著
前田家編輯方手写
68丁　15.5×21.5cm
前田綱紀が寛文12年頃着手し，享保年間まで継続させた手書で，冊数41，主に語句に関することを記すが，同類のものに桑華書志（31冊）桑華雑記（4冊）もある。

27　桑華字苑抄　16.02—2
前田綱紀著　前田家編輯方抄
同　手写　明治年間
260丁　25cm

28　早字節用集　16.02—3
永楽屋東四郎等編
名古屋　天保2年（1831）刊
94丁　12cm×18cm

29　三才図会抜萃　16.02—4
有沢武貞抄
自筆　享保2年（1717）
8丁　24cm
明の王圻編「三才図会」万暦37年版からの抜萃。

特16.03　叢　書・全　集

30　松雲公採集遺編類纂　16.03—1
森田平次（良見）編
自筆
190冊　23.5cm
別名「松雲公遺編古文類纂」。5代藩主前田綱紀（松雲公）は，古人の著書や多くの資料を採集し秘笈叢書と称したが，明治初年その多くを散逸し遺されたものを平次が朝廷，神社，寺院地理，記録，書籍，古文書，碑文，系譜，軍事教訓，衛生，楽譜，詞花，詩歌，雑の16に類別した。
朝　廷　部
① 寛平御遺誡
禁秘御抄
② 年中行事
㊙本年中行事
③ ㊙本年中行事裏書
松風要鈔目録
松風要鈔　上巻
④ 松風要鈔　中巻
⑤ 松風要鈔　下巻
御即位次第
⑥ 内侍所御神楽略次第
十六日節会次第
白馬節会次第
県召除目次第
県召除目竟夜次第
御八講次第
朔旦冬至次第
⑦ 大臣拝賀着陣次第
任大臣大饗御遊
諒闇中葬葛蒲事
持明院殿書物之内書目
禁中方名目鈔
本朝年代歴
⑧ ㊙本公事根源
殿上淵酔記（寛正五年）
相国歴名
菅儒侍読巨之年譜
立坊学士并浴殿儒
鎌倉頼朝奏状案

鹿苑院相国准法付諸家
義詮将軍宣下行列附
神　社　部
⑨ 尾張国内神名牒
伊豆国神階帳
美濃国神名記
上野国神名帳
越前国内神明帳
⑩ 石清水八幡宮古文書目録
⑪ 諸神社縁起類　上
春日大明神垂跡小社記
春日社記
石清水八幡宮護国寺略記
石清水名目書
埴生八幡縁記（越中国）
木曽義仲願書写
木曽義仲白山願書写
梯天神上梁文
小橋天神縁起
佐那武絵縁起屏風記
⑫ 諸神社縁起類　中
金峰山本縁起
白山之縁起
白山之記
大永之神書
丹後国本庄浦嶋縁起
近江国高宮絵巻物
赤浜八幡縁起
⑬ 諸神社縁起類下
夕日神社縁起
松尾大明神縁起
石動山縁起
石動山伝記略書
飛騨国一宮略縁起
気多本宮記（能登）
泉野菅原神祠来歴
倶利伽羅山縁記
南木明神之記
寺　院　部
⑭ 諸事仏閣縁起類　一
鶴林寺聖霊院縁起（播州）
大安寺縁起
清水寺縁起
九本寺文殊之縁起（袖志山）
醍醐寺縁起
即成院縁起
勧修寺縁起
仏性寺縁記（丹後国）
穴太寺観音縁起（丹後国）
那谷寺縁起
那谷寺縁記 自是ニ那谷寺記
⑮ 諸寺仏閣縁起類　二
広隆寺来由記
観心寺縁起実録帳
楞伽禅寺私記（平安城北建）
安楽行院事
拘留如来縁起
洛陽般舟三昧院記
土佐足摺縁起
縁城寺縁起（丹後国）
⑯ 諸事仏閣縁起類　三
東大寺二月堂縁起
総持寺縁記（能登）
仁和寺諸堂記
康楽寺来歴（信州塩崎）
千光寺記（越中国小川山）
伏見寺縁起（加賀国）
千光寺記（飛州袈裟山）
大幢寺記（飛州）
⑰ 諸事仏閣縁起類　四
洛陽因幡堂薬師縁起
安居寺観音堂記（越中）
各願寺（越中長沢）記
法住寺縁起（能登吠木山）
極楽寺縁起（越中守山）
長福寺記（越中牧野）
番神堂縁起（越中浅井郷）
久昌寺記（金沢堀川）
心蓮社眼明如来縁起（金沢卯辰）
七面堂縁起（金沢卯辰）
加州松寿林中興碑記
石浦長谷観音訴状写
石浦長谷観音縁起
⑱ 諸寺置文勧進帳鐘銘類

永光寺置文（洞谷山）
八箇寺置文（洞谷山）
総持寺置文
橘寺勧進帳（和州）
柿本寺勧進帳
仁和寺勧進帳（山城国）
明通寺勧進帳（若州）
瑞泉寺勧進帳（越中井波）
東大寺戒壇院再建勧進帳
新福寺鎮守鰐口銘（備中）
白山社頭鰐口銘
千光寺鐘銘（飛州）
誓願寺鐘銘（京都）
本隆寺鐘銘（山城国）
白山本地堂鐘銘
那谷寺鐘銘
心蓮社鐘銘（金沢卯辰）
聖興寺鐘銘（松任）

⑲ 東寺古記録
⑳〜㊴ 東寺古文書
㊵ 高山寺古文書（栂尾）
栂尾古文書目録
㊶ 本願寺相承略譜（大谷龍谷山）
本願寺代代譲状等写
本願寺末刹伝書写（金沢）
勝興寺伝書写（古国府）
本願寺蓮如上人消息写
袖日記
㊷ 本願寺作法之次第

地　理　部

㊸ 常陸国風土記
播磨国風土記
㊹ 出雲国風土記
㊺ 丹後国風土記
肥前国風土記
豊後国風土記
㊻ 諸国古風土記逸文
㊼ 日本総国風土記　上
山城国風土記
大和国風土記
河内国風土記
和泉国風土記
伊賀国風土記
伊勢国風土記
㊽ 日本総国風土記　下
尾張国風土記
美濃国風土記
信濃国風土記
但馬国風土記
播磨国風土記
備中国風土記
日向国風土記
㊾ 別本日本総国風土記　上
山城国久世郡
山城国兎道郡
大和国宇陀郡
大和国平群郡
河内国高安郡
摂津国有馬郡
伊勢国員辨郡
伊勢国安濃郡
参河国八名郡
遠江国浜名郡
遠江国敷智郡
遠江国蓁原郡
駿河国有渡郡
駿河国伊穂原郡
駿河国安倍郡
駿河国富士郡
㊿ 別本日本総国風土記　下
駿河国駿河郡
駿河国益頭郡
駿河国止駄郡
甲斐国八代郡
甲斐国巨麻郡
甲斐国都留郡
相模国足柄郡
武蔵国荏原郡
武蔵国多摩郡
武蔵国足立郡
武蔵国荏原郡（異本）
武蔵国豊嶋郡
下総国葛取郡
近江国浅井郡

陸奥国名取郡
陸奥国宮城郡
加賀国石川郡
加賀国加賀郡
㊶ 民部省図帳
山城名勝志引書抜粋記
㊷ 旧本和名類聚抄(郷里部　自畿内至西海道)
㊸ 旧本和名類聚抄(駅家部　自畿内至西海道)
兵部式諸国駅名考　上(自畿内至北陸道)
㊹ 兵部式諸国駅名考　下(自山陰道至西海道)
能登国田券牒
能登国四郡公田田数目録
阿部判官能登珠洲郡堺定書
㊺㊻ 会津風土記
㊼ 国名風土記
人国記
㊽ 佐渡国郷村帳
飛驒国郷村帳
飛驒国地志略
㊾ 若狭国伝記
若狭国守護職次第
㊿ 補陀落山記
日光山之記
千年山題八境記
加賀山代温泉記
佐渡越湖之記
甲州身延山記

記　録　部

(61)～(63) 春日社家日記抄
(64) 加茂社家日記抄附加茂社領旧記調書
(65)(66) 石清水八幡宮旧記抄
(67) 白山荘厳講中記録
白山荘厳講衆徒牒状録
(68) 白山神社古記
白山長吏補任次第
(69) 小槻時元日記(抜粋)
清業賢記(抜粋)
無外題(元亀二年記)
藤利房一代記抄
(70) 五師職方日記抄
(71)～(75) 東寺旧記抄(廿一口方引付)
(76) 東金堂日記
真俗習聴抄
戒和尚之記
(77)～(84) 多聞院日記抄
(85) 興福寺東金堂金銅碑文写
東金堂修正壇供料所記
東金堂記
招提寺記
(86) 東金堂諸篇検旧記抜注
東金堂諸事日記
維摩大会撰要記
東大寺大仏殿尺寸并私日記
(87) 堂山検校記
東金堂私日記
東金堂万日記
戒和尚昔今録
維摩会読師記
(88) 万吉録
法会神事記
遷流記
年中諸日記
東金堂諸日記
見聞記
自用記
(89) 維摩会講師次第
維摩会記録撰要抄
世間雑日記集
古今記(抄出)
常喜院記
常喜院諸要記
諸会式々衆出仕并読師記
(90) 本朝書籍目録
本朝書目(一名日本書籍目録)
脇坂中務少輔書目録
(91) 油小路家書目録
持明院家書目録
真福寺書目録(尾張大須)
東大寺等書籍目録
興福寺寺中書籍目録
(92) 中院内府通茂公書籍鑑定目録
書籍鑑定方等書札写
(93) 三條家蔵書古本名記国史等之儀付往復親簡写

古本日本紀以下国史類書写一件
勅本点図等写
㉔ 徳川家書籍捜索駿府政事録（抜粋）
幕府書籍捜索連書
前田家書籍捜索書　上
㉕ 前田家書籍捜索書　下
㉖ 相州鎌倉書籍等捜索書
武州文蔵村書籍捜索書
熊谷寺書籍一件（武州）
丹後但馬辺書籍捜索書
㉗ 書籍捜索方書札等写

古文書部

㉘～㉛ 石清水八幡宮文書（山城国）
㉜ 宇佐八幡宮文書（豊前国）
宮崎八幡宮文書（筑前国）
宇美宮文書（〃）
磐田八幡宮文書（河内国）
鶴岡八幡宮文書（相模国）
篠村八幡宮文書（丹波国）
㉝ 多賀神社文書　上（近江国）
㉞ 多賀神社文書　下（〃）
賀茂別雷神社文書（山城国）
新熊野神社文書（〃）
気比神社文書（越前国）
織田神社文書（〃）
北野神社文書（武蔵国）
㉟ 平野神社文書（山城国）
北野神社文書（〃）
貴布禰神社文書（〃）
住吉神社文書（摂津国）
広田神社文書（〃）
居多神社文書（越後国）
蒲御厨神明社文書（遠江国）
宮根社文書（伊豆国）
吉田神社文書（常陸国）
筑波山神社文書（〃）
小幡社文書（近江国）
宇都宮大明神文書（下野国）
豊国大明神文書（山城国）
㊱ 気多神社文書　上（能登国）
㊲ 気多神社文書　下（〃）
気多本宮文書（〃）
㊳㊴ 白山比咩神社文書（加賀国）
㊵ 石部神社文書（〃）
菅生石部神社文書（〃）
多太神社文書（〃）
大野湊神社文書（〃）
小浜神社文書（〃）
手向神社文書（〃）
梯天神社文書（〃）
小橋天神社文書（加賀国金沢）
㊶ 平岡野神社文書（加賀国）
石浦神社文書（〃）
小坂神社文書（〃）
卯辰八幡宮文書（〃）
泉野神社文書（〃）
愛宕神社文書（〃）
飛檜明神文書（〃）
㊷ 須須神社文書（能登国）
熊甲神社文書（〃）
鵜岡比古神社文書（〃）
石倉比古神社文書（〃）
向田神明社文書（〃）
㊸ 諸橋稲荷社文書（〃）
輪嶋重蔵宮文書（〃）
小伊勢広田社文書（〃）
輪嶋崎天神文書（〃）
長谷部神社文書（〃）
穴水白山社文書（〃）
中井日吉社文書（〃）
鵜川天神文書（〃）
櫟原北代比古神社文書（〃）
東村八幡宮文書（〃）
柳田八幡宮文書（〃）
長橋神明宮文書（〃）
三井大幡社文書（〃）
気屋大王社文書（〃）
別所谷八幡社文書（〃）
森山熊野社文書（〃）
㊹ 伊須流岐比古神社文書（〃）
菅原天神社文書（〃）
大福寺六所明神文書（〃）
府中日吉社文書（〃）
能登部上宮文書（〃）

直海白山社文書　（能登国）
富来八幡宮文書　（　〃　）
藤瀬熊野社文書　（　〃　）
宿村鳥毛社文書　（　〃　）
伊勢神領文書　（能登国・越中国）
石清水神領文書　（能登国）
⑮ 埴生八幡宮文書　（越中国）
射水神社文書　（　〃　）
気多神社文書　（　〃　）
御田神社文書　（　〃　）
婦倉比売神社文書　（　〃　）
雄山神社文書　（　〃　）
宮崎神社文書　（　〃　）
福田惣社文書　（　〃　）
高岡稲荷社文書　（　）
⑯ 東大寺油蔵文書
⑰ 東大寺新造屋文書　上
⑱ 東大寺新造屋文書　中
⑲ 東大寺新造屋文書　下
東大寺三綱所薬師院蔵文書
⑳ 西大寺文書　（大和国南都）
大徳寺文書　（京　都）
大徳寺塔頭興臨院文書　（　〃　）
南禅寺文書　（　〃　）
㉑ 東寺文書　（　〃　）
醍醐寺文書　（　〃　）
本国寺文書　（　〃　）
感神院文書　（　〃　）
鞍馬寺文書　（　〃　）
円宗寺北條裁判書
㉒ 東福寺文書　（京　都）
東福寺塔頭栗棘庵文書　（　〃　）
相国寺文書　（　〃　）
㉓ 金剛寺文書　（河内国）
㉔ 多田院文書　（摂津国）
称名寺文書　（武蔵国）
妙光寺文書　（若狭国）
性海寺文書　（尾張国）
東岩蔵寺等文書
㉕ 聖護院文書　（京　都）
建迎院文書　（　〃　）
蓮華王院文書　（　〃　）

本願寺文書　（京　都）
高野蓮養坊文書　（山城国）
勧心寺文書　（河内国）
宝蔵坊文書　（摂津国）
福泉寺文書　（伊勢国）
大樹寺文書　（三河国）
長慶寺文書　（駿河国）
光明寺文書　（相模国鎌倉）
無量光寺文書　（相模国当摩）
清浄光寺文書　（相模国藤沢）
波多野薬師堂文書　（相模国）
寛永寺文書　（武蔵国東叡山）
園城寺文書　（近江国）
西明寺文書　（　〃　）
長楽寺文書　（近江国守山）
文永安養両寺文書　（信濃国）
安国寺文書　（美濃国）
満行寺文書　（上野国）
長源寺文書　（陸奥国）
新興寺文書　（因幡国）
大山寺文書　（伯耆国）
高野山文書　（紀伊国）
星尾寺文書　（　〃　）
五智輪院文書　（筑前国糟屋）
㉖ 永光寺文書　（能登国酒井）
㉗ 総持寺文書　上　（能登国櫛比）
㉘ 総持寺文書　下
星野伝書　（能登国門前）
㉙ 大乗寺文書　（加賀国）
伝燈寺文書　（　〃　）
祇陀寺文書　（　〃　）
宝円寺文書　（越前国高頼）
長令寺文書　（能登国七尾）
桃雲寺文書　（加賀国金沢）
開禅寺文書　（加賀国金沢）
長久寺文書　（　〃　）
㉚ 龍門寺文書　（能登国七尾）
恵眼寺文書　（　〃　）
霊泉寺文書　（　〃　）
徳翁寺文書　（　〃　小嶋）
慈渓寺文書　（　〃　津向）
海門寺文書　（　〃　太田）

道興寺文書　(能登国舘開)
遵江寺文書　(〃　輪嶋)
本光寺文書　(〃　馬緤)
洞雲寺文書　(〃　山田)
金峰寺文書　(〃　鵜飼)
国泰寺文書　(越中国西田)
紹光寺文書　(〃　池田)
繁久寺文書　(〃　高岡)
瑞龍寺文書　(〃　〃)
光禅寺文書　(〃　氷見)
永伝寺文書　(〃今石動)
信光寺文書　(〃手洗野)
常泉寺文書　(〃　魚津)
福円寺文書　(〃　大浦)
本覚寺文書　(〃　袋村)
聞名寺文書　(〃　八尾)
中堂寺文書　(〃　安田)
最勝寺文書　(〃　石黒)
⑬① 法住寺文書　(能登国吠木山)
西光寺文書　(〃　南志見)
安居寺文書　(越中国安居)
千光寺文書　(〃　芹谷)
千光寺文書　(〃小川山)
法福寺文書　(〃明日山)
日石寺文書　(〃大岩山)
本興寺文書　(加賀国薬師谷)
妙成寺文書　(能登国滝谷)
長久寺文書　(加賀国卯辰)
⑬② 善性寺文書　(〃四十万)
本蓮寺文書　(〃　小松)
本誓寺文書　(〃　松任)
本願寺別院文書　(〃　金沢)
弘願寺文書　(〃　津幡)
長福寺文書　(能登国七尾)
妙厳寺文書　(〃　鵜飼)
光専寺文書　(〃　米出)
勝興寺文書　(越中国古国府)
瑞泉寺文書　(〃　井波)
善徳寺文書　(〃　城端)
専福寺文書　(〃　高岡)
憲念寺文書　(〃放生津)
西念寺文書　(〃四屋河原)

聖安寺文書　(越中国高岡)
越中国四郡坊主文書
⑬③ 三條西家文書
持明院家文書
冷泉家文書
勧修寺家文書
甘露寺家文書
中山家文書
烏丸家文書
園家文書
庄園名主職補任状案
⑬④ 摂津氏伝書
⑬⑤ 天野文書
二宮文書
得江文書
得田文書
⑬⑥ 吉見伝書
能登大沢村内記伝書
曽我文書
飯尾文書
万行文書
足利家局方文書
進士修理亮文案
能登長伝書
⑬⑦ 渡辺文書
三輪文書
斎藤文書
有沢文書
野村文書
鳥居文書
佐藤文書
水屋文書
桑原文書
飯田文書
有賀文書
久米田文書
武田文書
大沢文書
⑬⑨ 笠松文書
坪坂文書
堀文書
河野文書

上野文書
横山文書
伊藤文書
大形文書
三引文書
医師寺文書
小林文書
山本文書
山田文書
屋代文書
保田文書
林 文 書
河上文書
広瀬文書
中村文書
垂水文書
鶴見文書
津田文書
大沢文書
岡田文書
上坂文書
⑬⑧ 三輪伝書
小林伝書
川上伝書
小南伝書
大文字屋伝書
⑭⑥ 江州今津甚右衛門伝書
江州海津松屋孫兵衛文書
⑭⑦ 能登中井鋳物師伝書
東寺伝来鋳物師文書
加州金沢鋳物師伝書
越中福野鋳物師伝書
越中大窪大工伝書
越中井波大工伝書
金沢大工伝書
金沢穴生方伝書
⑭⑧ 七高紺屋文書
越中下新川境村文書
能登七尾町伝書
能登諸橋村文書
能登大沢村内記文書
能登中居村三右衛門伝書
能登四町村文書
加州湊村文書
金沢舘紺屋文書
金沢堂後屋文書
加州津幡駅等伝書
⑭⑨～⑮⑤ 北国鎮定書札類
越前加賀一揆追討文書
越中富山魚津城實文書
能登宇出津桐木城實文書
能登石動山荒山合戦文書
柴田追討文書　（越　前）
佐佐成政與秀吉公矛盾文書（越　中）
末森後援文書　（能 登 国）
蓮沼働文書　（越 中 国）
佐佐征伐文書　（越中富山）
⑭⑥ 豊太閤筑紫嶋津征伐文書
豊太閤関東北條征伐文書
⑭⑦ 豊太閤朝鮮征伐文書
⑭⑧ 徳川家天下鎮定書札類
大聖寺城實文書
浅井縄手合戦文書
関原合戦文書
⑭⑨ 徳川幕府遵奉書札類
大坂初度城實文書
大坂再度城實文書
⑮⑨～⑮⑤ 雑 文 書
碑 文 部
⑮⑤ 小子部栖軽墓碑文
伊予国湯岡碑文
船氏墓誌
薬師寺塔露盤銘文
小野毛人墓誌
那須国造碑文
采女氏墓地碑文
威奈大村墓誌
伊福吉部徳足比売墓誌
上野国多胡郡碑文
元明天皇御陵碑文
知識結誓碑文
上野国山名碑文
楊貴氏墓誌
仏足石碑銘

興福寺東金堂金銅碑文（附東金堂修正之記）
多賀城碑文
高屋枚人墓誌
紀広純女吉継墓誌
陸奥国高道墓碑
陸奥国燕沢碑文
下野国鉄塔婆之文
⑮ 碑文及記類銘讃等並載之
恩賜絵巻記
恩賜宇津保物語上笈之記
斎藤実盛冑銘
白山社蔵真柄太刀記
末森役甲冑記
高徳公面頬記
山崎氏切銃刀記
奥村氏末森役鉄炮記
大成殿盥盤碑銘
黄熟香銘
燈籠銘
白山社蔵紫色石硯銘
松雲公硯銘
奥村氏席珍研銘
本多氏剔斧研銘
宗良親王詠歌賛辞
楠公肖像賛伝
楠公父子像賛
奥村永福大夫肖像讃
成田三政肖像賛
胄地氏祖先肖像図記
今枝重直大夫肖像賛伝
湊川楠公碑陰記
故伯耆守名和君碑陰記
明故徴君文恭先生碑陰記
今枝重直大夫墓碑記
奥村氏神道碑文
奥村家祖予州永福墓碑記
奥村因幡易英墓碑記
奥村壹岐庸礼墓碑記
奥村丹波守悳輝墓碑記
奥村兵部明敬墓碑記
古市主計胤宗碑陰記
野村重猶墓碑記
山脇節夫碑陰記
横山半喜墓碑銘
松雲公墳前奉燈記

系　譜　部

⑭ 神代系図
皇胤運録（古本抜粋）
神代神号考証
大伴氏系図
⑮ 菅原氏系図
菅家浦壁系図伝
㊋永前田家系図伝
前田家假字系図伝
前田家世譜
⑯ 海住山系図
滝口系図
得田系図
富樫系図
林氏系図
桃井系図
朝倉系図
池田系図
⑰ 豊臣家系図
太閤素性記
金森系図
金森氏略年譜
松原系図
松波系図
大塚長系図
長谷部系図
山田系図
加藤系図
堀内系図
鈴木系図
⑱ 奥村系図
村井家記
今枝系図
⑲ 大徳寺四派系図
花前系図
白山本宮神主職次第
守部系図
尾添伝来系図

龍笛血脉系図
大家系図
鞍工伊勢系図
鞍工伊勢家次第
武蔵鐙系図
明珍家伝系図
明珍家伝訂正系図
明珍家伝早乙女家系図
大工山上系図
楽焼陶家系図
後藤系図
後藤異本系図
本阿弥系図
金沢後藤系図
金沢後藤象眼師系図
加越能鍛冶系図
軍　事　部
⑯⓪ 将 門 記
陸奥話記
奥州後三年記
⑯① 大橋歴代記
祇園執行日記
⑯② 官 地 論
異本官地論
⑯③ 前田家之記
箕浦五郎左衛門聞書
貞里輯録
高徳公武功書
⑯④ 末 森 記
細川忠興記
慶長覚書
晢文日記
求旧紀談
⑯⑤ 関 原 記
おあん咄
⑯⑥ 浅井戦図覚書
成田家図
浅井縄手合戦覚書
浅井畷古墳之古図
浅井畷古墳碑文之写
⑯⑦ 岡 崎 記
浪速冬夏戦記落城之巻
徳川家戦争年代記
⑯⑧ 天草一戦記
嶋原軍談
教　訓　部
⑯⑨ 菅家遺誡
亜相公遺誡
贈亜相公遺誡
本 佐 録
⑰⓪ 一 本 種
⑰① 自 論 記
陽広公偉訓
教歌百首
明君家訓
衛　生　部
⑰② 大同類聚方
喫茶養生記
江州多賀法印親筆伝書
為人鈔抜書
⑰③ 庖厨和名本草自序
食物私説
和歌食物本草
楽　譜　部
⑰④ 持明院家楽譜伝書
無外題（書出今様出歌事）
無外題（書出神楽譜序）
龍笛血脉并大家系図（系譜部并載之）
催 馬 楽
和琴灌頂譜
箏　　譜
詞　花　部
⑰⑤ 須 磨 記
扶桑拾葉補闕
酒 食 論
記録之長歌
藤五物語
能登嶋廻地名鼻歌
婦人養草序
松風亭記
雪竹の言葉
観月亭記
秋 月 記
詩　歌　部

⑯ 万葉集（抄出）
土佐日記（抄略）
本朝文粋等（抄出）
源道済家集（抄出）
千載集　（抄出）
西行撰集抄（抄出）
源平盛衰記（抄出）
善光寺紀行（抄出）
北国紀行（抄出）
㠯国雑記（抄出）
駿河清見浦記
清見寺記
唐崎松の記
上洛道之記
⑰ 万葉集長歌（抄出）
懐風藻（抄出）
菅家文草并後草
梅城録
讃続千字文詩
気多宮歌合
南朝記伝（抄出）
李花集新葉集（抄出）
醍醐雑抄（抄出）
冷泉為和卿集（抄出）
⑱ 佐渡百首
花月百首
武備百人一首
吉野百首
新撰百人一首
集外拾遺集
⑲ 吉野拾遺
摂州道行之記
甲辰紀行
⑳ 寛文東行記
庚戌北遊記
能登紀行
東行記
北陸紀行
北州紀行
雑詩繫年文海

連歌部

㉑ 連歌秘抄
無外題（禁裏御連歌等）
二十四人連歌合
宗祇独吟連歌
元和八年連歌巻写
梯天神連歌（小松）
天神追善発句
寄藻草

雑部

㉒ 小野道風真筆写
光明皇后御真筆大般若経裏書
真言律宗注解
僧官当用誌
平家物語古本奥書
座中秘書
当道之系図
仏御前事蹟記
㉓ 調緒之記
草木薬方雑記
諸国灰吹銀位附帳
万治四年宗入自記
㉔ 北野大茶湯之記
茶室記
名物茶器目録
新出来初覚書
前田慶次殿伝
正的筆記
士林雑話
聞見雑録
加越能古城跡略記
越中国雑書記
朝鮮信使入朝之記
相州鷹場聞書
㉕ 老人雑話
渡辺幸庵物語
㉖ 長州雑記
仙台雑記
㉗ 浅野内匠頭喧嘩記
浅野家義士書翰写
㉘ 古老伝説集録
一柳監物伝略
浅井源右衛門覚書
一柳監物禁錮一件書類

⑱ 脇田家伝書
沢橋兵大夫入道常珍伝
八丈嶋送物目録
八丈嶋助力米等書札類
⑱ 明帰化人舜水尺牘
松雲公尺牘
育徳園記
室直清建白書
室直清書簡
松雲公年表
山本基庸建言書
書新刻仏生会讃式後
温古雑帖序
⑲ 総目録

31 燕石十種鈔　16.03—2
前田家編輯方手写　明治年間
135丁　23.5cm
岩本佐七（達磨屋活東子）編燕石十種の抄本。内容は，八百屋お七本説，享保元文年間諸色価狼舞沿革考附倭楽伝記，多賀潮湖画工百人女舞図御咎遠島後年英一蝶となる事，平賀源内三浦平三郎方へ尋行事，きのじやの事，赤座久兵衛直陳事蹟，冨田小右衛門某入道覚心事蹟，慶長年間江戸絵図，慶長年間御曲輪図説江戸古絵図考附録，友禅染。

特16.04　新　　聞

32 内外新聞　16.04—1
浪華知新館編
慶応4年（1868）刊
3冊　22cm
（5～7号）5月15日，23日，6月の週刊3冊。小木貞正旧蔵。

33 新聞論破湊川濯余　16.04—2
兵庫　慶応4年（1868）刊
11丁　~~12cm~~ 22.5cm
佐幕派の新聞論調を批判したもの。

34 遐邇貫珍　16.04—3
手写
15丁　25cm
1855，56年の中国の新聞，近日雑報，省城新聞上海新聞，京報，欧羅巴新聞からの抜書。

特16.05　雑　　記

35 万覚書　16.05—1
手写（原本）　寛文9年（1669）
13丁　24cm
本のこと，印のことなど。

36 聞見輯録　16.05—2
手写　宝暦14年（1764）
38丁　24cm
横浜宣徳旧蔵。金龍山大福寺，関船，中国のこと，わが国のこと，瑞泉寺什物目録など乱雑に記載。

37 漸得雑記　16.05—3
森田盛昌著
前田家編輯方手写　明治年間
13冊　~~324cm~~ 24cm
元禄，正保，享保中の筆録ど，盛昌が渉猟した群書の抜萃や聞書を集めたもの。
① 白山之縁起，五位諸太夫官物之覚，三ケ国御安堵五通，渡辺勘兵衛高名断状，安宅四郎右衛門書付，利家公能州拝領ノ信長公御朱印，出替三月ニ成事，日光御成御定書，越中森山岩淵喧嘩咄（以上，原本第1巻）
家康公ヨリ利長公へ御書，同村井豊後守へ御書，坂井泰明由緒，利家公御遺書，飛騨越中堺目分，松平陸奥守殿家来喧嘩之事，微妙院様御隠居ニ付安房山城へ御書，右ニ付淡路守様飛騨守様御交代之事，越後騒動，聖堂出来，弾左衛門長吏頭支配書，慶長武家諸法度，元和元五山以下諸法度，江州塩津川道訟訴，白山長吏職事，禁裏，人持組人馬付，埴生八幡縁記，能州吠木山法住寺縁起（第2巻）
② 木曽願書，太田三楽武功ノ書付，友町大膳

武功書付，京都町奉行定，酒井永光寺上書，亀田大隅武功ノ書付，高氏時代名高キ人々ノ末，榊原高庵物語，永田治兵衛物語，酒井左衛門尉長篠ニテノ事，戸田半平夜打ニ差物指事（第３巻）

大田但馬事ニ付悔状弐通，由比松雪丸橋仲也カ事，戸次庄右衛門カ事，伊勢内宮外宮宮師職公事捌，人丸縁起，宝永武家諸法度，加州一揆等本願寺へ申状，秀吉公へ琉球王ヨリ書翰，文字遣，銀座彦四郎諸役御免，一休影法師二題，経山寺額，東婆地震ノ詩，奈良大仏坪数丈尺，作物記，河北郡横山縁起，三社常光寺縁起，京都卅三間堂矢数，小栗由来，広岡山王縁記并尊氏公願書，宝代坊紙面二通，安江木町七高屋次郎九郎所持書簡十一通，碧山集ノ事，兵法，猿楽，小松八幡縁起，頼朝公下文，長家ノ法度（第４巻）

③　長田別当勘進書，東照宮御内衆物語，東照宮御内鈴木久三郎鯉ノ料理，東照宮上意六ケ条，酒井備後守殿百姓ニ備後ト云者，東照宮上意又三ケ条次ニ歌，成瀬小吉事，家光公ニ御威勢御付候事，家光公へ御付人ノ事，東照宮御末期，秀忠公物まねする座頭ノ事，月二コニ割たる事，浮田中納言滅亡，福嶋左衛門大夫，権現様大かねノ事，生駒壹岐守殿身上滅亡，松平石見守殿身上滅亡，加藤式部殿家絶ル事，古田兵部殿滅亡，加藤肥後守殿身上滅亡，品川町端ニ大門有事，井伊掃部殿能仕置ノ事，佐和軍（第５巻）

仙台記抜書，仙台領名所和歌，塩松八景和歌，元享元年元朝俊明極参内，寛文十加陽ニ而施行小屋場ノ事，明暦弐年七月隠元禅師大俗問答，一柳監物殿へ御不審品々，不受不施宗旨出入書付写，金沢本町地子町人数家数，五月四日ノ符，五月五日符（建長五年），松平越前守殿跡職被仰渡ノ事，九十以上御扶持被下事，延宝弐年綱利公妾御産蕊目ノ事，中将姫山居之悟，横山左衛門家来宵地勘左衛門手柄ノ次第，郭芝竜ヨリ加勢ヲ乞注進，横山山城守書付，秀吉公ヨリ信孝公へ返簡，御掟追加（第６巻）

④　上杉家物語六ケ条，三刀谷監物石田治部ヲ目利，後藤又兵衛事四ケ条，関ケ原御陣起リ，名越山三郎，勢州津の城主留田信澄妻女ノ事，謙信公信玄公ノ逝去ヲ悔玉，謙信公平家ヲ聞玉，浅井縄手，三好内中村新兵衛カ事，岸和田大合戦，舎利寺合戦，高麗ニて黒田先手栗山注進状，秀吉公高麗陣噂二ケ条，村田彦右衛門，謙信公佐野後巻（第７巻）

高良大明神縁起，円光大師一枚起請文，信州柴阿弥陀，加州大乗寺霊堂横板之写，一遍上人時宗ノ初，本朝禅法ノ初，和州当麻寺開帳案内，南部法隆寺霊宝目録，武家諸法度，天和三武家諸法度，甲州身延山久遠寺記（第８巻）

⑤　国郡抜書，加能越三州郡庄郷保，同名所和歌，歌仙貝歌，北条早雲廿一ケ条，村正ノ太刀，秀吉公，森蘭丸，御家中断絶之士，日蓮宗色衣，車善七出入，弾左衛門ト金剛太夫出入，本願寺相承，後藤家系図，本阿弥家系図（第９巻）

因幡薬師縁起，秀吉公御代役懸，秀吉公時代分限帳，秀吉公御遺物，光高公御詠歌，秀吉公憐於夫婦之間事，大正持付浅井縄手，足利重代之太刀，能州御公領海境御書下，同所村分，徒然大全抜書（第10巻）

⑥　日本橋新高札之写，山下広内上書，中村勘助広内申上書ヲ論ス，於殿中被仰出ノ条々，法事礼物等簡略并別紙，重テ被仰出米指上事交代御定，父母に孝行可仕様ニ被仰出（第11巻）

御軍役，陣小屋地割，日本領知高并役付高，諸国御城米，所々橋料，諸侯并御譜代大名，公武任叙ノ次第，御旗本諸役人御役料，御役人与力同心被下面々并御軍役相印御役初之品之事，武州浅草矢数（第12巻）

⑦　加州金沢伏見薬師略記，金沢通町，金沢本町家数，金沢地子町家数，能州所口上使へ案内書，能州田鶴浜上使へ案内書，金沢長谷寺図，孝行人御褒美被下事，高野山へ上使，大坂ヨリ越中岩瀬迄湊付，廻船御定，加州へ御雇船国所付，歌ノ中山清閑寺縁記，加越能別聞書，玉鉾縁起，立山縁起，長崎ヨリ異国へ船路，越前新保村之者異国叫，宮腰道入寺船

観音縁起（第13巻）
御家督献上物，関東百官弐通，頼朝公時代侍帳，混目鈔抜書六十条，通夜物語，江戸落首，時計前後之図，大納言様へ献上，有沢森右衛門母夢想，大坂火事，加州石川郡銀山之咄，名香つくし，牛込敵討，加陽御馬廻当分火消，昆沙門堂為兼卿詠歌，六字歌，遊女夕霧歌，越中福野井堀，江州西明寺勧進牒二通（第14巻）

⑧ 公方様小金原御猪狩，松平越中守殿領地百姓騒動，前田源随老賀，寵姫様御結納，堀宗叔病中杉本三丞夢，光現院様御遺物，作州津山断絶在番，松平伯耆守殿御家来御暇人々，罪人遠嶋評定，小揚理兵衛伝，江戸御城西丸へ落シ白頭図，石野百助婚礼狐の咄，大杉大明神，和書年表次第記，脇能ニ誓願寺，利常公御馬，明知内明知左馬助咄二ケ条，名物之甲二ケ条，台徳院様御甲，政宗幕景勝へ取候事，上杉家物語三ケ条，岡野右内物かたり，宵木新兵衛黒母衣之事，永井善左衛門道存ト云肩衝茶正宗刀之事，細川忠興指物，酒井金三郎，森三左衛門，柴田因幡，北条家守，謙信人相（第15巻）
慈光院観音縁起，御留守中火事御定，音楽，富樫略譜同系図，一遍上人伝，洞谷山八ケ寺置文，江州長浜徳勝寺末書，武辺物語抜書十三ケ条，やしなひ草ノ内八ケ条，金城寺社方御礼次第，沢庵状之写（第16巻）

⑨ 佐那武大宮起縁，同千歳祭奠音楽役人，日光御社参供奉御役附，同未七月御書付，同御行烈，同時節三人子産者之事，同節本多中務殿家来御目見，同還御後御能番付，同被下物，同板行写日光名所記，加賀守様日光へ御道中付，申八月江戸洪水，加賀守様申十一月御客献立，加賀守様御入部御供，勝丸様御宮参，水野隼人正殿乱心注進，松平筑前守殿家来謀叛之沙汰，天神十二時之歌（第17巻）
立山縁起，加州倶利迦羅縁起記，秀吉公御代物語十一ケ条，秀吉公素性，二條系，松平能登守遁世落書，鳥羽恋塚碑銘，三十六歌仙作者，日光山事跡，坂本八平氏，武蔵七党，熊野八庄司，藤原十藤，本朝八介，義貞十七騎党，鑓之衆四ケ条，楽番附，大聖寺御家人，軍歌義公，同衣川百首，軍歌，楠氏訓序（第18巻）

⑩ 秀吉公奥御仕置，秀次公大明国ト御陣用意，同秀次御軍法，三十三間堂法度書，大坂町御定書，堀尾帯刀へ大坂方ヨリノ紙面，直江山城守御請異乱，源平藤橘ノ名字，台徳院様三鳴にてうなき喰し者磔ノ事，台徳院様駿河様ヲおしかり，矢田作十郎鯉ノ立物ノ甲，北条安房大目付ノトキ，信長公本能寺ニテノ事，赤目新兵衛乞食ノ事，刀ノ目釘，三壺記作者，足軽ノ沙汰・岩田伝左衛門祖父，恒川七兵衛石蛇，菊一文字，菅相公八百年忌歌特，砺波郡悪升ノ事，本多安房守能事，高徳院様御ソトバ，加賀守様御具足，大閤御能被成事，台徳院様上意，日光御盛塔，松原伊豆守殿名言，同大猷院様御腐狩，大坂御番人蚊屋，喜多見五郎左衛門，板倉周防守所司代御免，牧野佐渡守京所司代，板倉周防守，田中主殿頭，松平伊豆守，堀和泉守，真田壹岐，成瀬隼人，春日ノ局ノ事，佐久間玄番，岐阜中納言秀信母，大猷院様御茶壺，明智日向守タメイキ，本多能登守シハキ事，酉ノ年大火事已後御普請奉行土井大炊，由比松雪ノ時正宗判ノ事，大久保彦左衛門武士ノ咄止ヨト云事，小幡勘兵衛ニ井伊掃部せかれ具足着ノトキ，土井大炊，板倉伊豆守京所司代御免ノトキ，板倉周防守初京所司代（第19巻）
秀忠公御上洛任官，東山院へ公方ヨリ御増地，内宮外宮，多賀社，長九郎左衛門へ被付上臈ノ方道記，老人雑話ノ内抜書廿三ケ条，京町中宗旨人数，田舎荘子抜書，山伏改行，甘露，越中今江村ノ事，桂昌院様誕生是ヨリ廿八ケ条同書，陸地走ル舟，永光寺他山ニ付江戸三ケ寺ヨリ書状，象ノ事，同歌，天裂，江戸御役替，日光御門主角田川歌，鏡ふる事，女男ニ成事，京火事早キニ付御製，京都火事，落書飄（第20巻）

⑪ 本佐録七ケ条，小川新七口上，岡村左五右衛門口上，同酉ノ年，大閤様柴田取合，山島甚五左衛門ノ事，上条又八ノ事，広瀬郷左衛門石川日向守，水野六左衛門，楢現様物見，

沢村寸八，福嶋左衛門殿へ上使，山内対馬守殿，日光御宝塔，松平伊豆守殿才力，板倉周防守殿，竹千代様御側衆刀之事，一伯殿鷹野帰ニ杉田壹岐，尾張落書将田治左衛門忠書（第21巻）

西国三十三所順礼縁起抜書，同順礼歌，加州金沢三十三所観音順礼歌西，同所東，羅山子猷冬説，享保二五月十一日初而同十八日御鷹野御成之節木母寺従御揚場御船之御行列，藤堂軍功，聖徳太子伝記之内，享保十七年子三月江戸大火事火本覚，子七月廿七日法皇御所御製，同旧院御葬送御行列，同年西国飢饉稲をからし候虫之事，同所ニ付九月於殿中被仰渡候趣，武家混目集六冊物之内抜書（第22巻）

⑫ 詩歌発句抜書，大納言家宣公被聞鍋越前殿へ被下御語，飛州大野郡袈裟山千光寺記，大嶋紀行，元文元年能州商米積船破船朝鮮国へ漂着之船頭等物語，越中境奉行歴代（第23巻）

聞書十八ケ条，扇時計，志津嶽七本鎗之衆，浅井縄手鎗衆并頭書，塚原卜伝弟子鯉五郎兵衛事，前田孫四郎様ノ事，那谷寺ノ事，利家公能州御支配ノ事，朝倉家ノ事北国ノ事トモ色々，蜂谷半佑討死生得太郎兵衛，伊勢大神宮御祭礼白鷺ふのり等三ケ条，古田織部，茶之湯釜ノ音，横田不休異見同人古歌，呉音漢音将来，仏経沙汰二ケ条，餅ノ異名，不破覚佑，白井備後，堀秀政，金瘡療治，本多中務殿馬屋之者輪之助，中川武蔵指物，萩ノ指物之侍，イキリス甲冑，霞旦相続之図，眼病蘆生，南光坊二ケ条，権現様御内服部御成敗，松浦肥前守殿家来成敗，鼻血風邪食滞耳へ虫ノ入タル療治四ケ条，唐書抜書五ケ条，森与三左衛門咄，分ノ有頭，吉田修理殿，山崎十左衛門，中西摩兵衛咄，仏ノ歯二ケ条，武士心懸五ケ条，大樹寺，秀吉公明知カ忍ノ者ヲ計，秀吉公人相，利家公荒子御領知，大坂陣噂二ケ条，浅加作左衛門先祖，武道可知五ケ条，細川越中守殿小畑勘兵衛殿評論，公事サハキ奉行サバキ，於江戸仇打ヲ見ル事，畠山重忠先陣，武具物ズキ，権現様関八州ノ主ニ成，秀吉公小田原ニテノ事，加藤肥後殿へ村越茂助御使ニ参ル，酒井三十郎，小栗又市，小栗又市物見ノ事，石田治部少輔三成，農人田畠兵衛，竹田五郎左衛門発意二ケ条，水無月被閏月ノ事，荘士ニアル兄弟夫婦心持ノ事二子ノ兄弟ノ事，三窪村左衛門云，笛ノ異名，馬毛色，師ヲ取歌ノ心，著帯ノ事，小松天神千句ノ発句，加茂ノ葵ノ歌，馬ノ腹帯，兵粮，サイフニ石ヲ入ル事，孔安国カ語，因果ノ道理，水清濁ル，変化ノ者ヲ見ル事，からいか黒ミニテ物書事，竹ヲ植ル時，山椒ノ木植ル事，油ヲトス事，馬ノ用三ケ条，石ニ物書事，上座下座モ時ニヨル，歳旦発句等心持ノ事，中川瀬兵衛首ヲ取ハ近藤無一，西尾勝介首ヲ取ハ古田八左衛門（第24巻）

⑬ 一類付――前田三左衛門，本多安房，長九郎左衛門，横山左衛門，前田対馬，奥村河内奥村因幡，今枝民部，小幡不入，前田丹後，溝口十郎左衛門，中川七兵衛，稲垣三郎兵衛藤田平兵衛，奥村淵兵衛，辻市右衛門，今井源五兵衛，矢野所左衛門，伊東平八，今村伝兵衛，赤尾平六郎，河野四郎右衛門，永井伝七郎，渡辺喜左衛門，村金左衛門，和田次郎兵衛，桜井平十郎，吉田伊織（第25巻）

菊池弥四郎，中川十左衛門，井口五郎左衛門中川七郎右衛門，小幡一学，村井安衛門，玉井主水，馬淵嘉右衛門，奥村平蔵，岡本長太夫（第26巻）

38 漸得雑記抜萃　16.05—4

手写

2冊　23cm

前記の抜萃。

39 漸得雑記附録　16.05—5

森田盛昌著　森田良郷編

前田家編輯方手写　明治年間

45丁　23cm

原本成立は天保2年（1831）

内容　元祿以来之日記，宝の草子，夢想之連歌賦唐何連歌，笠松氏旧伝書，兵法免許状，柔術免許状，甲冑之記，女子遣誡之文，法名之義書置之文，先祖由来書。

40　続漸得雑記　　16.05—6

森田良郷著

前田家編輯方手写　明治年間

42冊　24cm

森田良郷（寛政2～安政4）が，祖盛昌の漸得雑記に倣って，文政から安政4年迄に採録したもの。従って明治21年までの記事がある第31本以下は，良郷の子良見が増補したものと思われる。

① 蟇の怪，通村公藤の御歌，舘村古銭，薬法五ケ条，小川帯山夢想，羽州庄内地震，ヲロシヤ船漂着申渡，永代橋落，東末寺大門再建，芒星，野州の貞婦，長家の雷，本国寺宝物弘通，異国船御手当，犀川橋流失，泉州堺奉行贄氏之事，朝鮮人七才詩，学校，松平越中守殿被仰渡，遊行上人多太宮詩歌，近世畸人伝抜書二ケ条，箱根ニテ旅僧ノ詩，芝増上寺破戒僧狂歌，奥州会津百姓所持古書，八幡橋本村十左衛門事，藤堂様御領百姓徒党，久七の忠孝，遠州佐野郡石川宗大夫せかれ六才の歌，大音氏家督，不破氏剃髪願，境の由来，越中境清左衛門所持古書，貫知行之事，源草元政の記，掛物ノ讃，大坂伊丹の古銭，道頓堀芝居，麻疹禁忌，夙君様御行列付等，播州の大男，荻野流揚火玉，松平越中守殿床一軸，金沢孝子，金沢御城火事，能州中居ノ格，松平相模守様御領長命之者，異国船渡来，榊原殿御領村替，一向宗開山大師号願，能州御領地御預地御私領之御取扱，小田金吾大矢数，三国遊女歌，観世大夫勧進能，宝暦九金火家数御届（原本第1巻）

木曽路の記，李白東坡詩，松平越中守殿心附覚，忠孝御褒美被下方，竹沢御殿鐘之銘，飛騨高山百姓一揆，つゆに入日の事，石川丈山の歌，佐川田喜六歌，鐘馗馬幟事，桂岩寺羅渓堂，俳諧の書，年山紀聞抜書十四ケ条，越前勝山領百姓一揆，中将姫閑居詩（第2巻）

② 牧氏記行，蓮生法師軍扇和歌，須磨の記，朝鮮国来聘，仁太郎孝心御褒美，江戸火事，鉢植松持様，将軍家御転任，鷹司殿角田川御遊覧和歌，吉原言葉一口附，津軽家軽用候一件，青山下野守殿等御加増，大男牛俣武左衛門事，才智弁等三ケ条，秀吉公御出誕古蹟，一瓢子発句，幻住庵の記，騎士甲本の内采幣伝，阿蘭陀献上物，小原里の女の事，松戸川ニテ船喧嘩ノ事，国替之事，仙台侯御帰国ニ付宿人足之事，異国船蝦夷地着船，蚊やり火，朝鮮国飢饉，九峰和尚一件，西方安心一件勝興寺ヨリ御奉書，留の長短，乞人和歌，仙台侯近衛殿贈答和歌，豊臣社詩（第3巻）

其角書簡，近衛殿御廻文詠，一向宗西方安心狂歌，山儒歌，青可楼の記，五事略之内抜書三ケ条，相州浦賀へイキリス船着岸，松堂公御名覚書，越中山眉出来，能州浦鯨の事，算法聞書，胡麻薬，昌披問答抜書三ケ条，鼻の銭を千と申事，全義和尚問答，美濃大垣地震，松堂公御賀，美濃浪人松平市郎左衛門等事，松平讃岐守殿井伊掃部頭殿御咎之事，前田美作守殿遺領願之事，近江路洪水，大久保殿家臣浅田敵打一件届書，奥村伊予守殿諸大夫官物，紀州熊野浦異国船届，鷹司殿関東御下向供奉姓名，東本願寺当御国御通行御断，大聖寺様御足高，文化八御能御見物殿中御作法附，伝太御大刀之事，西丸殿中喧嘩，七草の祝文，小松天神御像の詩，唐人長崎ニテ対死詩歌，田沼殿喧嘩，紫式部六才の時歌，蹴奢侍，日野資枝卿等和歌，御当代御元服殿中御作法，享和三年被仰渡之事，夢に見たちよんかれ，三里八日灸，植松内蔵太御領，小堀遠州文草，廿八日ノ朝賀，八朔，浅田兄弟敵打，田沼立身（第4巻）

③ 御まし所拝見の記二ケ条，能州かふと村百姓之事，日本国惣草高，国ノ大小ヨリ書様，大唐稲，聞書二ケ条，八幡神号，法船寺ノ鼻，文政十二江戸火事，康熙帝ノ事，武林只七系図，後光明帝，鹿嶋社へ鳳凰来儀，文政十三江戸大変，服忌ノ事，溶姫君御懐妊之節御小人頭歌，越中川上役所ヨリ来状，原駅次郎大夫詩歌，翁艸抜書，文政九異国船相見へ候届，嶋原遊女吉野の文，文政十二大坂切支丹一件，聞書歌四ケ条，家宣公御戒の文，上野国沼田村女歌，林大学頭殿聖堂奉る詩，良高和尚退院偈，北陸紀行，天保四奥州凶作届，下野都賀郡伊賀村岩窟届，松前高田屋源兵衛

事，富山改革石田小右衛門事，能州輪島津波，通用銀札尻，羽州庄内洪水，奥州不作届二ケ条，天保六安江町等火事家数，能州大念寺村吉左衛門漂流一件，酒井雅楽頭殿家来敵打，仙石道之助殿家中騒動，井伊殿大老職，摂州兵庫高田屋善蔵事，西丸御普請懸り被下方，番松丸様金御紋等御格，嶋津家宰相等転任，京三条乞食歌，了然尼詩歌（第５巻）

大久保彦左衛門武辺ヨリ分別ト申事，神君の，御時金銀不足狂言師の名言，安藤伊賀守殿御役人書出ノ事，板倉周防守殿諸司代，井上氏の歌，利休ノ辞世，有馬殿追悼詩歌，鈴田弥兵衛大遊侠ノ事，日本ノ秦氏ノ事，名琴山下水ノ事，躬恒の琵琶，千歳の硯，天保十三琉球人詩歌，宝永五参州赤羽根浦漂船，菅如閑娘和歌，岩村式部娘歌，脊木主計富士登山歌，連歌師兼寿事，藤井懶斎歳旦，八条宮御家ノ事，菅家御親筆，両国辺幾世餅売娘ノ詩，朝鮮本書籍ノ事，方策合篇，曽呂利粥餅ノ咄，吹上御庭砲術上覧記詩歌，きぬかつきの事，嘉定の事，白気出現，長崎珍事，エケレス船渡来ニ付鍋嶋殿御咎，本多勘ケ由へ被仰渡，如水老茶堂の掟，鷹司殿大政大臣宣下，火之用心謎語，能州鳳至馬場村惣年寄伊藤八左衛門長命，芸州怪異，脇坂殿の歌，赤穂義士，松平主計頭殿事，武藤少兵歌，寛政九能州鳳至郡鹿磯村市之丞等漂流一件（第６巻）

④　雪竹の言葉，鷹司准后御餞別御詠歌，東叡山流鏑馬，鍋嶋殿領内洪水，川口帯刀殿知行所百姓一件，小原笠殿家中騒動，朝鮮国飢饉，御参勤御用捨ニ付被仰出，畑柳啓医安，太梁公御逝去ニ付鷹司殿ヨリ御進物并御法事料等，簡略衆儀評，文化三江戸大火，文化五金沢御城御焼失一巻，天保七甲州百姓一騒，天保九西ノ丸御造営御役懸り，天保十四日光御社参狂歌等，水戸公御拝領物，江府御城外十里四方大坂同五里四方御料ニ相成事，富山様御家中御改正，唐崎松の記，公義御用金被仰渡事，江戸大坂御料所被仰渡并御役替，水野越前守殿被仰渡一件等，印幡沼，労症呪法，前田土佐守殿叙爵口宣，永楽銭起，水戸様御城下見聞書，犬千代様御七夜御拝領物，同御宮参御拝領物，釣次郎様御七夜御拝領物，犬千代様大奥へ被為入御献上物等，河内土師邑菅公廟碑，鷹司殿御別荘御能組，水戸様御隠居御家督，江戸御本丸炎上，高臥亭記

（第７巻）

⑤　鉄砲の始，岩松家系序説考，地名河川両字通用考，文廟御遺戒，井上因碩上書，常人書朝臣，紀州熊野の奥代々惟盛某ト云民人の事，豊太閤奏状，後奈良院震筆多き事，堂上ノ言葉，都の人言葉一変せし事，ひゐな遊ひ，小倉色紙，御年譜之内慶長二ヨリ同十九迄御書抜書，安永七綸言，天明五町方へ被仰渡，法花宗御免状，薩摩の士風，北条氏政の時廻国僧評語，井上伝兵衛事，水野越前守殿等御咎一件，放生寺ノ事，地震日記，仙洞御製，乞食の歌，朝日の観音奉納詩，元禄十五京江戸人多失ル時ノ御製，弘化三江戸敵打，有馬殿へ御主殿，尾紀御両家へ御養子等，長家家老長新之丞草り取の事，本多大夢老ノ事，安西氏所持之古書，弘化四信州地震の記等，桂女由緒，無塩ト云事，弘化三江戸川之満水，家斉公衆御東聞輯，新撰百人一首，高司様ヨリ石黒氏へ被下御短冊，愁群閣題辞，延享四蓮池亭宴会詩歌（第８巻）

⑥　陪臣乗物之訳，諸家万石以上陪臣録，公義御席順，御鳥拝領次第，下乗御定，越後柏崎騒動，水戸追鳥狩，仙洞様御葬礼，林肥後守殿等一件御沙汰書，泥染流行，京都大地震，山田宗見之事，浜田領高田屋文蔵之事，倶利伽羅等火災，凶作御貸米，雷除不浄除算，自然石之硯之銘，石蛇，花生折釘，懸物ツユノ事，代香焼香之訳，木ニ印章押ノ法，朝鮮人之詩，佐渡一騒之事，質素倹約湯，たるま絵讃，途中堂上方等御出合心得，大石大三郎事，台徳公御詠歌，除痘瘡薬湯，江州百姓一騒，成嶋氏上書，榊原嶋野仕合一巻，東末寺造立，深川女敵打，御使御用一件，年頭御作法，一休直筆，公家衆へ觸書（第９巻）

鍋嶋家関札一件，遺甲歌，文化珍談，本吉騒動，凶作狂歌，いさ宵の句，凶年ニ付御神楽，大坂変事，幽松子兵具論，同鎚之論，雲田敵打，佐渡百姓一騒，三子出生，家康公上

意，尾張家御養子之上書，告志篇，御領国之義御書出（第10巻）

⑦ 本多大夢老話，宝永中足軽高しらへ，松雲公御引菜被下事，松雲公唐物御花生の事，脇本氏飼犬の事，宝暦九大火の事，能州所口七尾といふ事，九銭魚の事，御当家名物御道具の事，米売口銭之事，三州の十村数并散小物成の事，松雲公笛吹峠御発句，岡嶋備中鞁の筒の事，天明六年御改法，竹沢御殿御造営，廳司准后薨去，真竜院様御詠歌，東本願寺焼失，倶利伽羅開帳，東本願寺御当地通行御指止，宝暦五年銀札遣，宝暦六町方騒動并御救米の事，宝暦九火事一件，文政二年土清水土中ヨリ烟出事，延命院芝居，川上芝居座并遊所町の事，麻疹流行，斉泰公御入国の事，泉町ヨリ大樋迄道程，徳本上人の事，御即位之節所司代和歌，文化十五年禁中騒動，有沢氏長屋ニテ三子産事，観月亭記，仏生会講式，文化十一御城中ニテ音楽，善光寺如来開帳，松任千代の事，四方赤良，桜町院御製，風早中納言行状，紀州公御歌，大石良雄詩，芭蕉扇面句，大乗寺良高和尚行状，蓑輪村孝心者，小沢芦庵歌等，二条河原遊女歌，長家碑銘，洛東三条乞食歌，伊勢神馬の事，中宮職産懸医師，玉鉾百首，三哲小伝（第11巻）

弁ト銭抜書，秀吉公夢想歌，小倉色紙所持旁々，細川幽斎老連歌，都ニテ十一才子歌，四方赤良八十八の賀，百才已上御扶持人，喜撰の歌，桶屋娘の和歌，山辺赤人社，年忌の事，葬礼夜を用る事，モミト云ふ虫，孝子歌，中村某寄侈，新納武蔵か事，雑記，通躬卿冨士詠歌，三条公冨士詠歌，伊藤内膳辞世，板津検校，本多防州叙爵，役人判形，言上紙面調様大地昌言詩作，泊町所替，足利重代太刀の事，風呂敷包の事，吉治公御生母能書，牢鍵の事，桐の木の凧，作ノ面，高徳公御歌，越後国狒々，浅間嶽ノ怪，小原女，日野屑衝，不動石怪，粟津右近，陽広公心得方御尋，山森吉兵衛立身，土清水ノ松木，淡州様御力量，微妙公御事二条，飛騨守様御事，大嶋雲平，封銀の事，原五郎左衛門事，のり封状上書事，松原権兵衛事，細野源左衛門忠良，不食疳薬法，嶺九郎左衛門殿ノ事，野崎豊大夫ノ事，高畠木工吔，長家関流伝受，細川幽斎末期書翰，井上筑州事，流浪者源七，西山公御歌（第12巻）

⑧ 奥村壹岐才智，前田駿州誠忠，今枝民部功者，庶物類纂之事，松雲公御幼少吒下，溶姫君御詠歌，大猷公御仕置，保美家来中村孫左衛門事，福嶋丹波等之事，家康公長家へ御書，微妙公御隠居御願，松雲公御封御長持，火事之節御馬廻他ケ所，松雲公一向宗之御意，微妙公御参勤御鎧持，池田薗田鵜打ノ事，高徳公御太刀等之事，本多房州伽羅之事，横山和州子息附人，山鳥ハ婚礼不遣事，伊藤平八才智，奥村丹州三ツの名被揚事，笠間安右衛門事，松雲公福嶋御関所御通，深山嘉右衛門学才，平岡志摩才，長家浪人者扱ひ等二ケ条，伊藤小松町奉行捌方，聖廟献御太刀，四井主馬等之事，前田源随老抱守加増，伊藤内膳御近火捌方，前田駿州即智，松雲公喧咄被出，津田玄蕃律義，前田式部御預人，前田駿州御貸米捌方，松平久兵衛事，原五郎左衛門篤実，吉田大蔵弓之事，古之役人未然を考，久世氏配所のかんしき，木梨氏をとけ人，高徳公御武勇，青木新兵衛遅参，成田助九郎カ事，松百の大鯨，大坂城普請，瑞竜公御遺言，小督の琴，禅師俚諺，征夷使，和泉式部か歌，龍山公古筆，秀吉公利休へ御成，腹巻之事，着背長，討死の心得，矢数の始，弓ハ武器最上，性理の学，筆道，宮本武蔵の事，矢ためし，日野屑衝，井川善六事，御感状等御尋，岸本古郎左衛門発句，鋳物師免状之事，喜多村検校書上，阿方氏へ御書写，三条殿旧記，院御所御能開口，禁裏開口，茜染の事，観音町飴屋由緒，町中献上物例，町方古記，本多弥兵衛殿事（第13巻）

伏見寺蝶の紋事，中院大納言殿御加増，一条殿久我殿婚姻，吉宗公ヨリ紀州殿へ之御文言，大徹和尚詩，玄門寺建立，松雲公御賀宝生ヨリ上ル謡，醒井屑衝，前田左京やしきの事，荒子七人の事，伝燈寺開山，片羽道味の事，魚肉食傷薬，芳春院様御屏風の事，コウフル浜，岩塚内記吉田ト改事，平戸抜荷の

事，安居観音の事，老冨辞，享保十九江戸満水，石川筑州殿内室和歌，嶋原通の歌，高仙寺意了和尚の事，惣持寺ハ真言の事，口摺薬，幸若大夫，志田小太郎か田，敦盛母衣，享保元将軍宣下開口，溺死人等薬三ケ条，参州吉田敵打，十帖聲本の事，白川侯和歌，一休斎，坂井与右衛門喧嘩場首尾覚書，殿中怪異，冨士絶頂越る鳥，百足ニ妙薬，金春八郎稽古話，嘉永三御通抜一件，江戸御上屋敷御庭号，水戸五郎丸様因幡守様へ御養子，有賀政方和歌，加茂季鷹九十賀和歌，新川郡岩瀬碑，宝円寺方丈御番組詩，琉球人和歌，前田近江守殿卒去いかい和歌，千種殿和歌，慶寧公御詠歌，林源多郎家蔵の一軸，漢学者心くせをよめる和歌守部，町人脇指さし候儀御尋，駕籠乗用願前書，市振御関所女通書之例（第14巻）

⑨ 花見の記，朝顔記，詩歌数首，筆のすさみ，鳩巣の歌，越中境大平村，瑞春院様御事，祐天和尚身延上人の事，印子金，物の沢山俗語，画師の事，晝月光物，少将寝の事，小豆飯の事，宵木主計の話，頼朝卿等心ヲ画事，近衛殿千宗旦へ御成，前田徳善院，岐蛆山地士，松雲公新渡御猟，太田道灌歌，三壺記作者，狐ハ妖獣，天主教の事，吾国紙三品，イラワタと云木皮，天徳寺の浪士，静斎随筆，御挟箱御玄関へ御為持事，祇園町等遊女御免，生麝香，千貫松，蹴鞠之免，波着寺境内の事，海中ニ得水，吉宗公の御事，時頼辞世，高徳公御歌等数条（第15巻）

治脩公御婚礼，天明八年京都火事，巡見上使，斉敬公御元服并御入国，宰相御任官，打木浜火術御覧，時鐘，大坂落城御祝，若君御誕生，亀万千様御出府，聖堂火消，堀勇閑長寿被下方，天明五御改法，俊姫様御出府，裕次郎様御誕生，稲留流鉄炮，北野御奉納，相公様御隠居，中将様御入国，真龍院様御好鐘馗贊，宝暦九大火事，河魚説，木多師祭の記，おあん咄，小田切氏捌方，神主水野和泉被下方，西明寺殿等歌，朝鮮両王子書翰，仁孝帝御製，今上帝御即位，多々羅詩，正成書翰，薬法二ケ条，石川郡吉野之事，足利学校，皆川先生墓表，総州之百姓娘之事，紀州熊野山大木，天徳院和尚頌，紅雪之事，異国之境杭，金沢文庫，軍法，銭ヲ足ト云事，竹田氏内室文，久昌寺，妙泰寺，僧官位，茄子苗，木綿始り，梁瀬石碑，尚齢会，永茂船，唐干糯，石山殿等歌，天一太郎，靱負，容奇，雨の降出，日本田地改，岸氏上野御使，公領馬方打撚，津田氏即智，鍵金，飴屋陰徳，同居借家差別，次郎等之事，枝折，信玄辞世，山崎氏之事，大聖寺盗改，弘道館，茶対，茶説，小野寺氏和歌，奥州中尊寺，堀川坂野氏怪，震筆題目，魚津浦異魚，タチナカシ金，紀州公御家老来状，春日野鹿，松ケ崎浦題目，唐木類流寄，南部殿献上物之事，七福仁，竹内式部一件，宝暦中殿中怪，金森殿落着，嘉永四御沙汰書，由美詩（第16巻）

⑩ 無人嶋物語，酒井雅楽頭殿家中騒動，堀田殿落書，丹後亀山城怪，朝比奈百助殿一巻，人参抜荷吟味，御国目付，詩仙堂，二条御城雷火，泉州日根郡怪，天下治乱，光高公本多横山御供之事，中納言様年寄中へ御会釈方，伴八矢之事，大橋市右衛門出頭，浪士大嶋雲平，伴八矢初陣，今枝民部之事，宇治川先陣画，片倉小十郎事，箱根社御普請，越前忠直行状，加藤式部殿内恒川事，福嶋左衛門殿内三人ノ侍，越前本保村百姓一揆，長門長府阿弥寺怪，碑文蠹ノ油，御所御用香具屋之事，山城北山古墳，幡州姫路城怪，三州矢矧茶屋怪，藝州山鳴，奥州ニテ日輪二ツ現，武者小路殿御歌，杉野氏発句，光栄東行記，探幽茶入，微妙公御加増被下方，宵木新兵衛由緒，手木之大力，猿之怪，陽広公白鷺，狩野常信，後水尾帝月二ツ御ゆめ，後西院帝御懐紙，因州竹嶋之事，前田姓ノ事，金沢文庫東鑑，三浦道寸軍扇，荒子邑，公福卿和歌，北条貞将真跡，土方勘兵衛来由，合離待，東山院御製，正親町殿冨士詩，井上氏通詩歌，芳春院様御歌，年号弁，津田遠州，肩衣始り，吉宗公ノ御事，福井家老知行付（第17巻）

聖廟之事，義経願書，いた鳥，桂女之事，松永貞徳，西行野々宮寄，久米村之事，仙台足軽怪異逸，市川海老蔵之句，油煙斎句，赤染

衛門艶書，蟻の塔，古筆名物切，暖国之事，建仁寺へ盗入大嘗会御触，石之宝殿，蘭奢詩，羅孫冠，てにはの事，宗対馬守殿願紙面，秋田之亀，高山南坊，痔之薬，本行寺之蛇，鉄釘ニ韮，小瀬の歌，慰斗目，章魚怪，堀宗叔ノ武具，射手異風，茶の湯，井筒の能，鯛の焔気，小麦はちめ，鎌隼之事，青山持鑓虎の皮，小児夜啼ましなゐ，初茸の怪，素襖袴，歯の痛ニ鱒，利治公之事，蝮蛇の毒解，羽喰のうなき，鱧之怪，政常の小刀，印伝の巾着，肖白付句，癰病妙薬，玄猪祝，山中一夢之事，鼡ニ咬ル事，村中務之先祖，妙義参詣心得，前田駿河守殿咄二ケ条，五穀降事，仮面十作，骨啄吉光，奈良柴茶入，佐伯肩衝，大鯰鼡を呑，赤座氏厩怪，陽広公御狂句，白山参詣心得，頭分肩衣，高徳公御陣羽織，浅野家御由縁，矢一腰，松雲公御意二ケ条，千日塚，江戸敵打，陽広公御力量，大石良雄先祖，朝鮮人見物人，薬法三ケ条，勧修寺宗号，錦帯橋，藤内頭之訳，金春先祖，無銭行，羽喰の地鼡，火矢方小川氏由来，兼若甚六事，星野宗以之事，中村久越事，中将謡替之事，諸橋先祖，非人清光，香林坊由来，指車禁制，能役者竹田苗字，御国鍛冶書上，村井家位記問合，有栖川宮御追慕和歌，深山氏辞世，粟田口吉光刀，大地氏上疏，小倉大納言殿佐州配流，不破氏安藝御使記行（第18巻）

⑪ 中山三柳，蘭山亭詩会，桜井基佐，江村専斎，座頭祝銀定，阿蘭陀被仰渡，互山和尚，烟草詩，鴻池由緒，可観小説抜書八ケ条，大乗寺歴代，森津左衛門狂歌，浄月大僧正之事，鷹司様御親族，西南宮長歌，水戸斉照卿武具改，越後今町火事，江州暴風雨，玉井氏支配前田氏へ被仰渡，文政七人持減知面々，葛巻氏記行，御役料起本，瑞龍公御遺書，横山氏吉夢，普妙院宮九十賀，冷泉為久卿長歌，山崎闇斎伝，松雲公御詩，狼ハ灰毛色，陽広公御夢想，南部侯由縁，葛巻氏大野木ト改称，武蔵七党，唐僧四十七士ノ詩，牧村氏来歴，高辻殿祭文，泰雲公梅林院ニテ御連歌，伊藤内膳母義歌，狩野尚信，水戸舜水之事，越前士馬場氏沢庵問答，大職官血脈，神君高徳公両御判物，日本里数，河野氏之事，吉田兼治系図，衝重，催馬楽，広蓋，何卿法印等之事，道元和尚歌，永平寺歴代，仏光寺等ノ事，直衣之事，水干，三ケ津名物歌，天珠公御詠歌，味噌のましない，検校之事，折釘寸法，芭蕉翁句，鷹司殿之事，薩摩栄翁様之事，仏者年忌，屏風虫喰のり，天徳院棟札，猪之目之事，謡ノ抄，院家勅許，明智臣熊谷氏，由美氏詩，京都ニテ長者ト唱事，菅原村之怪，冷泉為村卿讃，猢獼之事，津幡広塚之事，平松時章卿時国村へ被下御歌，十徳之事，松雲公坂本御詩作，一休和尚酒屋又六問答，春満歌，枝折之事，伏見青楼大石詩，大愚歌同澄月歌，由美氏中秋詩，琉球人詩，七木御定，松雲公御屏風讃，里村昌陸句，金城士系之内抜書，小松城由来，信牌，渡唐天神，本朝書籍厄，溪世尊詩，羽喰郡大亀，代茶湯，太田道灌歌，記復讎之事，口宣案，緑羅叟詩歌，山田大佐之事，対馬ト朝鮮贈答書，後陽成帝之御事，竹沢御殿兼六園額，鎮西西山両流，高泉母之神主，白張，改易，花押を判ト云事，北ノ坊，北条赤薬法，軍法相伝系統，阿弥号，五摂家，宗喜連川松前之事，謙徳公等御歌（第19巻）

⑫ 本家末家等事，西本願寺へ被仰渡方，同宗意惑乱，能化智洞詩，江州膳所敵打，蓮如上人歌等，夙君様御結納被下方，禁裡御築地捨子，与力鷹匠，惣持寺焼失，楽焼師系図，御諱字ニ付被仰渡，太閤北之方，享保日記，越前屋由緒書，江戸御上屋敷御門名目，小幡宮内之事，吉田式部卿紙面，王伯子之事，高徳公尊状筆記，不破氏冬至詩，狂言女ノ出立，様の字の事，扇面書様，芦手書，横山氏之事，安見隠岐流罪，御三家の事，生類哀憐，荒井関鉄炮改，微妙公御屏風絵御好，竹田権兵衛来書，横田甚右衛門，王子猪狩，殺虫薬，少将様御門数御尋，大石良雄画，蘭山詩，倉谷村氷献上，柳沢氏御取立，一本種自論記，代番起本，蜷川新右衛門，連歌師兼載，普明院宮御賀，時雨琴，白尾賦，法皇御製，吉宗公御歌，馬力貝，石蛇，厳有公御棺，越後怪

獄，儲君御夢想，家継公御諱，黒田豊後守殿御取立之事，尾州宗春卿，中村典膳事，吉宗公紀州ニテ之御事，微妙公之御意，琉球征討，家宣公御画御好，西国蝗災，敦賀町人弥兵衛之事，みなる金，鉄炮といふ病符，富山村氏騒動，金岩氏夢物語，金銀花降事（第20巻）

⑬ 谷崎勾当をいたむ詞，野田山，加藤清正遺愛，八丈鳴瘡瘡，河原山御関所之事，虫喰歯薬法，本多家追慕作歌，広塚追善冷泉家御歌等，和蘭人之事，松平右衛門大夫万事功者，西三条様ヨリ被進御懸物，老人雑話之内七ケ条，食禁歌，享保十七江戸中人別，藤樹講堂，情死之事，徳不孤之御書御拝領，畑柳泰へ御茶被下事，大清廟号等，花押始，書籍目六，六朝の書籍，古書瓦研等，宿紙，菅公真筆，関羽印，古本七経，茶始，桶峡碑，水戸公自斐祭御触等，福井侯行状，右大将様内大臣御辞退，西丸御普請懸リ，伊賀塩之事，虚無僧宗門法，茶屋女御定書，越前府中廿壹人衆，定番御徒冥加番，医弊説，犀川渕名，喜六郎殿御座例等，配知打重可被下仰出，判官唱様（第21巻）

⑭ 紅葉山御文庫書上，井伊殿御上洛之節御旅館，酒井殿領分幸若知行所，蒲生氏郷の歌，石川丈山之事，安藝家之事，守随之事，大河内氏古田織部を目利，曽我又右衛門事，小栗五郎左衛門子之事，諸大名交代，阿茶局，春日局，伊達家嫡庶，佐川田昌俊，石川八左衛門事，前田安芸守家来喧嘩捌，源氏長者号之事，笠松家之事，松平次郎左衛門顕実，倶利伽羅古書，浮田家之事，大宮御所，信州松代天神額，御任槻，松平縫殿頭養子裁判，上古中古之訳，埋忠，播磨杉原，打物の事，前田家御元祖御位牌，秀吉公の院号，吉光の作，東鑑，畠山政長刀之事，春田の三作，天守台御普請，御家中御助成米，諸国証人，本多紫立軒等乗輿御免，菊紋極印銀，盛方院浄快，相馬大作之事，慶寧公御別称，禁裡ヨリ楽被進，摂家御任槻，薩州公土方縫殿方へ御出，加賀守様御元服，松平越中守殿所替，関東筋川御普請，溶姫君様御縁組，木下順庵書物考，松前家之事，避穢香，御国普請役考，神護寺，大坂ヨリ御使織田左門之事，勝千代様長家御成，近江八景，稲壹束ト云事，一休之事，釈伽ハ能仁，武士の心得，秀吉公廻文，柿園舎記，光国卿御贈官，慶寧公中将御転任等，阿部殿等御加増，長寿番附，御郡方組分，横山家先道具，国学講釈，相州小田原地震，江戸西丸炎上，太田池田御改易等，能州御順見御泊付，舳倉嶋之事，所口一本町しるし子の事，突眼の薬，懐婦之心得，うつき歯，悪水，冨士谷成章之事，天満宮御画像奇瑞，西丸御普請御上銀，室先生書翰，寛政十一年金沢大地震，馬坂之事，蛤坂，貧乏のほく好，野夫医者，小立野一本松，老て子に随ふ，長追，小立野，波着寺之事，瑞竜寺出火，武ノ打死ニ品あり，伝燈寺口宣，御城中大木切口之事，戸隠山記，岡田氏先祖之筆跡（第22巻）

⑮ 聞書拾六ケ条，天明八年禁裡等炎上之節御製，寛政五年和学講談所建，溶姫君御出生，廐司准后江戸御下向，家斉公御転任，朝鮮来聘，大猷院様御近習へ之上意，白山長吏澄固法印記行，池田殿家老珊瑚珠巾着，米津勘兵衛町奉行の時の事，陽光院様御逝去之節高野山へ之状，御代々御石塔之覚，白山神庫真柄大刀考，陶器祥瑞之事，交割，月待日侍の事，呉須手，本多伝，村井記，喬松丸様御登子，水戸様楠公五百年忌等御歌，姫路酒井侯臣の歌，奥村丹州君歌，三高志之多之辺こと，古戦場の文，能登神異例，黄檗山代々，大徳寺四流，熊沢兵庫出緒，安芸守様御家中附，浅井縄手合戦覚書，小金御鹿狩御獲，金谷御殿双傷聞書，神祖御示し，喬松丸様御元服，道幹様御贈官，天裂之事，蘭学御制禁，嘱託ト云事，公義不度御貯用金，松任本誓寺古書，御諱を避事，嘉永二異国船渡来ニ付御歌之事，阿波国津波，湯涌村温泉記，寛永十九年町中之御定書，異国船渡之節守衛不被仰出一件，大平欣太夫詩歌，長崎ニテ唐人相対死，異国船御備方被仰渡御面々，嘉永三御通抜ニ付御拝領物，天保七将軍家御隠居，本願寺家司ヨリ来状，天保十三相公様御本復ニ付医師

小林へ御合力米，同年八月二丸ニテ音楽（第23巻）

⑯ 詩歌等数ケ条，年号改元引文等，束帯皆具大略，静之介殿御遣子一巻，幽軒八十賀，享保二十御即位御役付等，桜井基佐文，享保七国史等所持之者御尋，享保十三渡来象之事，弘化三践祚次第等，嘉永元能州浦方ヨリ異国船届，永原土佐孝治白山奉納和歌（第24巻）

⑰ 対州屋敷御届書，本佐録信疑事条，組外御番頭御親翰等，嘉永六上納金御用捨，公義節倹被仰渡事，宇喜多直家殉死之論，謡ニ三病有る事，武士の恩義之事，七社七寺へ宣命，山鹿素水問答，山鹿素水上書，長崎異国船渡来之趣輪島届書，海防方能越在番等，亜美理駕国王書翰等，合衆国書翰和解，長崎表白帆注進，山鹿素水海防論書等，亜美利駕致書大意，異国致書評并附言（第25巻）

⑱ 文廟令武家諸法度，同願命，同遺令，同御伝略，嘉永六将軍家御代替リ御礼，能州一ノ宮神異届方，肥前海辺異国人焼死骸流寄，水戸黄門公阿部侯へ之御歌等，アメリカ船渡来一条，同五嶋侯領分へ上陸一条，浦賀表異船渡来御固被仰渡方，アメリカ呈書和解二条，六月八日御沙汰書々，御国表ニテモ御手当方被仰渡一件，七大寺之事，梅輪御紋付被進方，簾中ト云事，探題之始，将棋駒石，鉄炮之始リ，嘉祥之事，紙古く墨不付伝，専命院日記抜書二ケ条，西行法師自賛和歌，鎧の始り，転任昇進等之訳，惣持寺永平寺綸旨，曹洞宗紫衣之事，長橋の局ト云事，本朝午王宝印，参議ハ正官ニあらす，みとり子うなひ子の事，商売の字意，宗祇法師，随斎待，仏工始祖，東野州，御旗本等拝借銀，御城中人持番，異国船渡来一巻竹舎書状二ケ条，武術修業被仰渡，御代替御誓詞，大明覆古一件，薩州御届書，百人組頭三枝氏上書，水戸公上書，松代侯願書，当今御製，増上寺方丈上書，夷船渡来ニ付心歌，楠正行古墓歌，西洋流大船大炮，亜墨利加防禦方被仰渡二ケ条，御台場詩，野馬台魂，大船製造御免，西洋打方，海岸屋敷防禦方等，水戸様大筒献上（第26巻）

⑲ 笹塚歌，田辺氏永操院御尋一件，亜墨利加ちよんかれ，荒井貫名娘夢想歌，三宅芳隆詩，小瀬氏海鼠詩，東叡山燈籠御献上，神社造営棟札，詔書，豊国社神領，刀剣化生恐七作，浅野殿一柳殿金森殿等御領地御朱印，嘉永六御代替ニ付御役替等，西洋打方御触，朝鮮礼曹書翰，皇子の僧に位を給ふ等三ケ条，西南宮廻文発句，沢庵和尚詩歌，嘉永七異船重テ渡来一件（第27巻）

⑳ 古しへの道もて君に仕国を治る言葉，与谷川淡斎書，嘉永七禁裡等炎上，天明八京都火事一条，御遺状百ケ条，禁裏炎上先表奏聞，土佐中浜漁師漂流之事，亜墨利加人へ被下方等，右異国船渡来之節諸侯方上書，亜墨利加船中昆金助詩，沢田宗堅記行詩，丹羽左京太夫殿御招請御作法付，南部殿被仰渡方，能登嶋廻リ地名鼻歌，水戸前中納言殿防禦御免之節御詠歌，重テ亜墨利加渡来一件，鳴門記，嘉永七京都地震，越前福井出火一件，宇治茶，渡辺幸庵詩歌，松雲公御詩作，命より名を惜しむ，国持大名人の持様（第28巻）

㉑ 沢橋兵大夫之事，城戸屋冥加銀上納，合食すへからさる品々，白川公宝船の賛，水戸様御領内へ被仰出方，天保九年高年被下方，山崎氏御引足，心得草之内抜書五ケ条，山本基庸秀歌，松平日向守殿歌，東鑑之事，同朋之事，藤原昌興座右銘等，奥村丹州殿等試筆等，禁食之事，前田三左衛門殿御知行之事，浅井源右衛門之事，不破彦三家之事，津田遠州之事，光高公伊達正宗御対話，犬千代丸様御病気之節被仰渡，家継公御実母之事，丹羽殿等御通路，長隅州殿歳旦等，西勝寺暦歌，異国船御手当銅鉄御用，南部百姓一騒，水野和泉守鳩杖和歌，五ケ山ノ奇石等，白山等測量，河豚ニ酔たる妙薬等，五社報恩褒，紀州沖へ異船来着等，能州輪島等在住被仰渡，吉宗公之御事，紀州沖異船届，正院付与力被仰付，庖丁始，西念之異鳥来儀，英吉利船之事大目付触，異船渡来ニ付被仰渡方，鈴見村大筒吹場，陽広公御歌学，泉野調練場，徂徠先生之事，壮猶館，千種有功卿御詠歌，専光寺由緒，元禄三金沢火事記，公儀御役人役知起

リ，折紙之事，大槻氏附園田氏，嘉永七上方地震，一柳殿御預之記，銭五一件（第29巻）

㉒ 水戸殿献策，園池三位殿狂歌，北蝦夷地カラフト嶋異国船来届，五島兵部殿届書，乾忠助之事，水戸前中納言様御拝領物，立花殿御歌，日光新宮奇異，亜墨利加上書，佐久間修理之事，長崎表奇説，嘉永七地震，金竜公御隠居後嚮御拝領，宝円寺和尚詩作，和蘭陀甲必丹届書并狂歌等，菊池大学所帯配分批判，小田又七郎殿御代官所百姓敵打，御算用場へ申渡覚，嘉永七地震所々御届方，嘉永三江戸火事，地震ニ付大坂等沙汰書，銭屋五兵衛家内閥所，亜墨利加一件出張之人々御料理被下候事，細川三斎老伝書抜書，安政年号寄所，慶寧公御歳旦，其角嶋原ニテ廻文誹諧，大久保殿届書，松平肥後守殿等御沙汰書，大地震津波ニ付所々御祈禱，以梵鐘大炮等鋳換，水戸斉昭卿上表，柳営之御会御連歌，連歌の席へ天神影向之事（第30巻）

㉓ 順見上使国割，細川三斉老発句，土屋相州行状，人生れ百日の間盗人其家へ不入，餅をかちんと云事，関新助事，与力日置氏喧咄，酒と餅の論，飛州往来新道出来，江戸角場ニテ怪我人，富山火事一件，詩歌類数条，森田武兵事，白山神書，大船製造御触，藤堂殿等御招請，亜墨利加発句等，梵鐘鋳造官符等，美濃国の人詠歌，秀吉公三味妙薬，葛巻昌興筆記抜書八ケ条，北陸記行，反古を用る事，板倉重矩歌，葛巻昌興立春歌二首，亀卜の事，薬法数ケ条，梵鐘引上ニ付寺々上書，亜墨利加ヨリ測量願，戒の詩歌等，広塚細記，富田彦左衛門言上書（第31巻）

㉔ 西丸御小将山本氏上書，松平越中守殿上書，魯西亜ヨリ呈書写，越前三国戸口屋異船風評，水戸前中納言様御登之節御溜所等，高嶋四郎太夫之事，御勘定奉行等海岸見分，佃嶋等火術稽古方，水戸殿家老衆へ被仰渡方，長崎へ魯西亜船渡来松平美濃守殿御届方，異船渡来ニ付誹諧一順，坤地図識抜書三ケ条，高輪辺下やしき上地被仰付，魚津小松引越御馬廻交名，横山遠州組御手当被仰渡，小川家火術指南御免，大橋氏西洋炮術主付，盲人福一狂歌，秋風の記，禁裏御造営（安政二），寿正院様御追悼御詠歌（第32巻）

㉕ 諸侯方火之見櫓板木ニ改，東西門跡招請，於吹上御庭相撲上覧，秋元但馬守殿御加増，天保七飢饉江戸中毛降る事，七種茶椀七種蓋置，京都浪人娘ニ付公家衆和歌，泉州酢屋舟異船逢事，異国船漂流之義口郡ヨリ届書，異国船之義酒井左衛門尉様ヨリ御届，題在番壮士詩，後水尾帝八十御寿賀御製，琉球玉川王子和歌，水戸中納言様御歌，松平中務少輔殿ヨリ三ツ子出生之御届，天野弥五右衛門殿之事，阿蘭陀献上物，嘉永三於公義管弦，鼻金剛面之事，弘化四諸侯昇進之事，安政二天下御一統支于御祝，諸国巡見上使ニ付御触，琉球中山王使登城，寛文十一仙台家中伊達安芸等知行高，安政元出張之人々へ御料理被下，内裏へ水戸様ヨリ楽器献上，水戸様ヨリ石川土佐守殿へ御贈之和歌，異船之義ニ付中山誠一郎書翰，寛政七天下一統支于御祝，松前伊豆守殿へ被仰渡方并大目付等へ同断，諸山陵御調理，水府公沢井氏へ御諭書，変生男子之事，栗山詩，廐司殿麁流松平家之事，花井曰の古事，越前万歳之由来，桐の内ヨリ金子を取事，八条宮御家之事，山口彦右衛門咄之事太刀馬代之事，松平丹州殿前生之事，松平藤九郎殿奇病之事，三ケ屋九郎兵衛聞書抜萃八ケ条，士卜侍之差別，琉球之義ニ付筒井殿等へ被仰渡方，冬瓜橋渡り初，江戸并金沢なそ付（第33巻）

㉖ 海防嗟歎秘書，亜墨利加使節書翰和觸，亜墨利加献貢物目六，同願之品覚，異船へ野菜被下方，同御簪衛被仰渡方，講武場御取建，御留守中海岸出張方等，石州野帋届，蝦夷地諸大名持場，松前家臣願書，越後殿家中七才之詩作，富山侯御家臣沙汰書，元吉浦異船馳通一件，江戸板橋ニテ火薬製，蘭学手塚御合力，坤忠助事，ヲロシヤ王毒殺之沙汰，高木惣次辞世，横山氏由緒，亜墨利加測量之事等，安宅浦舟乗咄，呉服橋喧咄，水戸殿へ五千俵被下方，御守殿付御用人へ御条目，田中一閑辞世等，瀬波屋狂歌，こうやめん雨障子の防，養智院地蔵由来，江戸大地震一件，且

那ト云事，蝦夷地へ願次第在住，前田図書家相続方，江戸地震後出火荒増（第34巻）

㉗ 江戸大地震潰家等荒増，右ニ付御沙汰書，宇野直作申聞之趣，地震ニ付拝借金等，うたたねの目覚，鳩巣文集抜書，和泉守三春歌，中納言へ御昇進御代紙写，心得方二ケ条，拾五万両御上納金，御任官御礼席等，飛騨守様御道中御歌，十二月十五日以後御昇進御旁，図書家臣大聖寺へ被召出，知一上人詠歌等，足軽弓組筒組被仰付，大聖寺の号之事，林大学頭殿詩作，奥村助右衛門殿詠歌，明智を突留し百姓之事，英吉利須魯西亜洋中争戦，安政三江戸火事并大井小兵衛之事，国君栄任詩，飛州様東御前様御詠歌，脇田家伝書（第35巻）

㉘ 日光御社参起原，御馬廻頭御目見，深谷木崎喧嘩，大槻氏等御加増，十村之初之事，富山大聖寺御領替，長家領地検地，三州志献上，異国水枕，田之折ト云事，藤内類，折乾進物，正宗卿詩，先祖祭慎方，高岡桜馬場，天徳御霊堂，御家中収納大底，坪坂氏墓所，井上勘右衛門之事，鞍置馬拝領，太平楽，横山氏先祖，河北石川知行高，禹余糧，曲壁壺，魂犬頭，辰巻用意，鶴来城跡，唐桑塗，宮腰ノ惣名，南無といふ事，魚津御馬廻之事，位記并宣命，御法の花，参堂記，春雨廼記，哀慕詩歌数条，奥州松前土風書，井伊氏御役御免，水戸殿へ被仰渡，本多氏等詩，座頭之系図，前田平左衛門由緒書写奥村氏等歌，楽焼陶家記，庸夫俚談（第36巻）

㉙ 東本願寺へ御書立，紫野芳春院之号，小松梅林院事，高徳公御詠歌，御登城日，竹沢御殿御門名目，本郷邸へ鷹司様御出，政秀寺，毛利侯家臣格式，公辺ニテ氏方様御列之事，琉球へ御返翰，高野天徳院事，一橋公准大臣，山本源右衛門筆道之事，蓮池考，蘭人来朝始，出羽守殿へ御成，伊勢御師福井へ御判物，小倉色紙写方，能州一宮へ社領御寄附，玉泉寺之事略，楠正成画賛，富山舟橋詩，神通川八景歌，堂上方出合心得，安政三江戸大風，成田辞世，試筆の詞，禁裏ニテ開口之事，カマ大明神，京町奉行捌方，禁裏へ大名ヨリ献上方，香具屋播磨事，親鸞上人，角倉与市，雑色之事，柳の樒，大乳人，女御の外拾弐人官女，御斉代，北野松梅院，大清楽器，大嘗会御用医師，法輪寺額，保建大記，高名の儒者，足利板，井上感通，至公剛，東宮御夢想和歌等，秋田奇病，医薬品々，三公の図，井上通女詩，当道之系図（第37巻）

㉚ 石川丈山壁事，当公御言行，蜀山人狂歌，白石語，堀遊間へ被下御歌，松平外記殿刃傷始末，世にあふあわぬの歌等，詩仏金沢滞留の節詩，玉川御亭名物，溝口殿家来敵打，能州佐々波村孝人，丑山和尚竹の讃，赤子の夜泣みを留る歌，手上ケ免，御旗本跡部氏妾手打服忌之事，御転任御内書，白雉子，復古老人示徒之詞，心学者のいましめ，釣鐘の讃，家の興廃心得，信州狼出候節詩，瓢の弁，二条様御歌，旅行の心得歌，将軍家兎の御吸物，加藤式部殿之事，尾張様御家臣追腹，若君様御誕生之献上物，上野金燈籠銘付，細川殿家中追腹，大垣大水，松前山焼，京極殿へ申渡親，弓組鉄炮稽古被仰付，堀遊間江戸詰狂歌，猿楽四座之事，白川侯異国船画讃，平戸之者朝鮮へ武具相渡事，御位牌御備方，小松助右衛門訴状一巻，多葉粉屋伊兵衛御褒美，谷中百姓猫に喰殺され，富山大正寺御分領之事，高免考，夫銀考，碧米吉初銀考（第38巻）

㉛ 白山辺妖異，東海道筋洪水，高野玉川之碑，江戸内海御台場御普請，蝦夷地御公領ニ被仰付候事，箱舘鋳銭，遊行上人之開基，浅井縄手合戦覚書，富山御家老富田兵部一件，立町酒屋由来，竹生嶋之長歌，亜墨利加使節出府一件，若御前様御婚礼一件，異使病気御尋，亜墨利加交易之義ニ付京都向一件，尾張水戸越前等御隠居一件，水戸仙台鋳銭御願書，寛政十一年大地震之記，安政五年地震ニ付立山変事，三州名物往来，流鏑馬等被仰付事，林大学頭殿等上京御達一件，大地新八郎書面之写，弘化五年異国開港之義ニ付公卿衆建議之事，松雲公等御代御実名唱方，ケンボウ染（第39巻）

㉜ 上方諸寺庵御位牌等調理書（上），越中境

旧跡書，後漢書東夷伝，晋書東夷倭人伝，コロリ病流行一件，能州正院辺田植歌，横山家先祖来由書，混目集抜書，北村恵乗事，佐々主殿事，金沢諸士拝借銀被仰付一件，田中一閑系図，田中平之亟由緒帳，有沢氏長屋三子出生一件，所口之孝子御賞美方，堀川久昌寺過去帳抜書，生駒家系図抜書，堀椁庵事，由美弥二郎事，博覧古言抜書，阿部仲麿卿詩歌，多賀鷗庵老事，津田遠江事，前田慶次郎殿事，天下霊劔七作，新刀極札，中風歯のまじない，氷見千手寺由来記抜書，明日ノ観音堂，町奉行所留帳抜書，御即位御祝詞御使之古例，天保三年御順列，本多家与力之事，安政五幕府御達方御願書，江戸講武所調練触文，亜墨利加一件，渡辺幸庵梅村宗栄筆跡，三品組分年月考，水戸公一件，年忌考，本多家二軒ニ被仰付一件，富山御養子一件，江戸表騒動一件，江沼郡山代薬王寺由来書，富山諏訪川原廃詞ノ霊異，富山ノ儒者南部景春之事，富山地名ノ起并町名，越中名井，富山領寺庵，武野燭談抜書，前田家御蔵書類聚国史等之事（第40巻）

㉝ 水戸家落着一件，江戸表落シ文，水戸家々中御仕置，同御領内御手当，江戸桜田騒動一件，富山御預ケ人，水戸浪士自訴状并檄文，源氏々神光国卿書状，能登諸岡彦神社之考松岡左内書状，越中泊医師岡道順家伝，筑前守様大廊下御部屋被仰出一件，能美郡十村書上変事，高岡稲荷御社参，御守殿付御用達久留殿賀歌，水戸浪士御預人詩歌，大平年表抜書変事，高岡瑞竜寺院号之事，再生之話，江戸表御沙汰書，井伊家相続被仰出書，佐野鼎書状，堀越左源太狂歌（第41巻）

㉞ 押野十村系図，足軽組御充行減少考，利政君封国御官位等考，北条主殿妻女考，八丈島浮田一家へ御送物員数，菅家見聞集等作者之考，三壺記作者由来，延宝二組頭中被下御条目，夫米夫銀考，普請役考，出銀考，大工日雇等雇手間考，下々奉公人給米給銀考，若党奉公人大概考，足軽切米之考，女奉公人給銀考，諸細工人扶持切米考，馬牛等飼料考，加賀越中刀鍛冶之由来，佐賀隼之助由緒帳，中条村半右衛門由緒帳，大島村堺兵衛由緒帳，金沢両愛宕之事，関屋録抜書，天保飢饉御改法前後日記，改作草創十村物語（第42巻）

㉟ 熊野之大木，寛政之大地震一件，加越能古刀鍛冶略記，幕府へ御献上物，三州名狂歌，琉球人参府年暦，能登諸橋六合社由来，西田国泰寺制札，成田半右衛門肖像之賛，寺西半右衛門へ被下御判物写，馬淵氏へ被下御判印物，同略系図，加領与力，内仕与力，御預ケ与力，居屋敷拝領相成不申人々，御家中割出知行之人々，又ノ字拝領之人々，初心鈔作者，一色氏断絶一件，諏国公等薨去前流行歌，村井家等割出知行由来，町方指車相用義指止一件，町人川殺生等致候ニ付申渡方，水原氏等富山詰被仰渡方，加賀国式内神社鎮座次第，京都楽人被召被仰付事，元文以来狂歌大小，東末寺鐘之銘，越中川西御郡奉行，本願寺一揆之古文書，微妙公小松町奉行，朝鮮端午ノ石戦，籠鳥ノ戒，属託，葛巻氏系図帳抜書，小瀬甫庵ノ事，高徳公等御指料，守随秤，猿戸ノ事，戸隠明神，風越，東鑑，加藤氏被下御判印物，宮越加兵衛ノ事，元和寛永御成一件，南木明神ノ記，異風組中嶋氏伝書，表御納戸御預名物御腰物，佐々木道求大坂落城一件，江州観音城武備百人一首作者，金沢諸士等家伝之名薬，禅宗古規則一件，親王家次第，安土七人衆金岩与次之助ノ事，魯西亜等願之事，松雲公阿蘭陀ヨリ本草之書御取寄之事，麻疹流行年号，室鳩巣由緒帳，有沢氏考，山本基庸ノ伝（第43巻）

㊱ 東鑑歌連歌，百三十翁幸庵事，小立野宝幢寺大般若経，吉光正宗卿之作体，明珍系図抜書，境付与力西田氏由緒帳，境付広川氏雑記抜書，俳諧玉ひろひ越中名所，親類縁者ヨリ縁組書付調様，山崎次郎兵衛歴代，江戸騒動一件，長州毛利公上書并世評書，薩州和泉ヨリ家中へ被仰渡書，同建白之写，浪士平野二郎上書，京都ヨリ之書翰，加賀中納言様初テ御参内次第，将軍家初テ御参内次第，賀茂行幸之次第，石清水奉幣祝詞，於長州異船打払京都御届書，真竜院殿御七十七御祝御詠歌，兼山秘策抜書，三条中納言殿御歌，平野次郎

詩歌，岩崎永世長歌，三条殿等長州ニテノ詠歌（第44巻）

㊲ 毛利士尊天咯縁記，大和浪士一件，長州家老出京一件，水戸浪士降伏一件，僧良然詩歌，城州山科ノ考，越中境関所棟札，伊達正宗卿詩歌，水戸浪士ノ詩歌，加藤里美長歌，慶応二藩公御家督ニ付金沢町方賜方，朝廷尊奉八ケ条等，能州所口へ異船渡来一件，前田源随老卒去，微妙公御誕生御宮参，山家宗佐略系譜，白塩硝出ケ所，丹羽長重家士前士前田家へ参タル人々，光格天皇御諡号，七社七寺，高徳公御娘菊姫君ノ考，江州大津蔵屋敷，木村円斎事，向河上人ノ事，禅寺門前禁碑札，法諱道号，中陰法事并七々斎，物産草木ノ名，藩士跡目ノ事，松雲公御意名言，堀孫左衛門へ賜ル短冊，山科氏ノ考，松雲公御親翰等，市河三治郎由緒帳，金沢家柄町人，北野御年祭代参，藩公日光社参，諸々温泉入湯，金沢城焼失年月，江戸御舘焼失年月（第45巻）

㊳ 長州ト小倉トノ出入，復古勤王等諸藩ノ評，京都流行歌，防州芸州領境建札，因州藩建白，土州藩建言，徳川家大政返上之表文等，関白殿下へ之投書等，芸州等三藩建言，尾州藩建言等，大坂探索書，三藩御請書，将軍職辞表等，王政復古被仰出書等，徳川家再表文等，土州藩建白等，江戸表擾様，京都騒動一件，朝敵追討，英亜蘭人共参内異変，越中岩武雄神社（第46巻）

㊴ 越後筋戦争等一件，東叡山戦争，徳川家相続方，復古論，卯辰山招魂祭初テ執行一件，越後路出兵帰陣一件，越中境附与力足軽小者来歴，能州志賀浦新製塩長歌，越中高岡妖異，二上山蕊老寺由来記并考，能州鳳至郡舘村古銭掘事，越後新潟学則，越中鵜坂神社由来（第47巻）

㊵ 堤町片岡系図等，越中浅地村伊勢領，旧藩蔵本宇津保物語，松雲公三史之御説，法華経廿八品図絵，職人歌合絵巻物，帰山氏長寿人，徳川家康公判書，越中泊御廐野，越中氷見郡，越中篠八口城等，高林孫兵衛妻等詩歌，与楽宴詩歌，江沼郡社号帳，文政社号帳抜粋，広坂御住居名所歌，九里氏伝来茶入，金竜公御薨送等詩歌，石川郡知慶寺村益冨村，神語，本居翁四十七，書見論弁，旧知事公事情略，旧知事公御名籍，同庶公子次第，大友皇子等御諡号，玄関之名目，能州甲山平覚，浅野屋佐平祭礼料，新寺停止，めもらいの妙薬，旧藩国初木賃宿，越中比売神社同富士明神，荊波神社，同今石動濫觴，同，北野天神同井口神明，金沢東照宮衆，馬坂高源院，越中小境村大栄寺，高岡極楽寺，竹生嶋花王院，金沢大工由来，伊達正宗卿詩歌等，内田県令檄文，那谷旧蹟等（第48巻）

㊶ 西郷隆盛伝并詩文，同自作之謡歌，北海道ヨリ報知浦潮港景況，皇国ヨリ外国通商，前田家ノ恩考等，立山雄山神社掛額等，新川郡布勢神社之考，江沼郡刀何里神社考，同気多神社，砺波郡陽知郷，本吉世尊院由来等，能美郡三宅野灰塚ノ考，製糸社等御賞典等，坂上苅田丸郷古墳，越前丸岡ノ旧伝，石浦神社棟札，西王母，佐比河原，義歯義子，辻ノ字，木三位重衡卿，越中布勢湖，越中名呉浦，能登菅原寄進状，明治二越中新川暴動，江州笠川氏蔵楠公教訓書，璽印，摺扇書画，宣旨歟識，重字二点，佛作仏某作ム，一作乙四作三，廿卅卌非俗字，数目用多筆字，蝦夷ノ胡沙吹，享保七江戸人数高，享保七長寿人，河魚ウグヒノ事，しりくめ縄之事（第49巻）

㊷ 豊太閤清見寺歌序，北村季吟墓碑，祖徠古今和歌集奥書，武蔵坊弁慶伝，弁慶最期書捨之文，一休和尚伝，仙台藩三好監物事，天童藩吉田大八事，水戸光圀卿等贈位，豊国神社御再建，新刻国史略抜粋，布告全書抜粋，琉球国人民取扱方，貞婦を訪ふ記，白嶺百吟抜粋，風俗文選作者伝，梅室俳諧伝系，金沢蕉門家譜等，石川歌集抜粋，聞書品々，金沢文武学校由来，陸奥北畠古城跡碑，慶光天皇，河北潟新嶋出来，藤房卿墳墓，金沢俳人牧童伝，中村歌右衛門阿武松事，金沢等俳人伝，梧窓漫筆等抜粋品々，友禅染，金沢市中橋梁ノ名，アイノ風，鳴津前左大臣公履歴，志賀随翁軒由緒（第50巻）

41 雑談集書　16.05—7
今枝直方編
自筆　享保11年（1726）
47丁　19.5cm
今枝氏旧蔵。
内容目次——享保十年公方御狩之略志，同年長福公始御鷹野略志，同年紀伊国屋等諸国売買之願，同年於営中水野乱心傷毛利氏前後略談，同十一年越前勝山領山崩之変異，唐船阿蘭陀舟雑略談，西国筋関所有之所之談，豊後国日向村八歳強力童之談。

42 翫　　毫　16.05—8
今枝直方編
自筆〔延宝8年以後〕
74丁　25cm
今枝氏旧蔵。聞書，詩文，語意等々。上下2冊~~の内，下のみ~~。

43 又新斎日録　16.05—9
湯浅進良（又新斎）著
自筆
13冊　20cm
湯浅魁之進旧蔵の原本であるが，もと30冊余であったものを，正編11冊，附録2冊にまとめてある。内容は前田家の事蹟や加越能の奇事の漫録であり，他の本にない珍しい資料が多い。著者進良（宝暦11～文政7）は藩の書写役で他に著書が数点ある。

44 又新斎日録抄　16.05—10
手写
~~268丁~~　25cm
316丁

45 故人物語抜書　16.05—11
手写
14丁　23cm
森可参旧蔵。古老から聞いた江戸初期，藩内外の話などを雑然と書きとめたもの。享保頃の手写か。

46 温知斎漫録　16.05—12
湯浅祇廊（温知斎）著
手写
73丁　23cm
和歌，漢詩，災異，社会事件その他の覚書。湯浅祇廊（天明5～万延1）は進良の長子，長く藩の写役を勤め，旧例，典故に通じていた。著書も多い。

47 見聞録抄　16.05—13
奥村尚寛（白羽）編
前田家編輯方手写　明治年間
31丁　23.5cm
奥村栄滋旧蔵の写し。奥村尚寛編「見聞録」の抜萃である。なお，見聞録の自筆本（19冊）は当館奥村文庫にある。

48 尚寛雑著　16.05—14
奥村尚寛（慎斎）著
前田家編輯方手写　明治年間
80丁　23cm
疑事考略，落花流水篇の二種で，前者は天明甲辰（1784）の識語があり，鬼門考，天狗考，神無月考，和字考略より成り，後者は寛政4年（1792）夫人を亡くした時の哀悼文で同10年までのものが収めてある。
旧書名「尚寛雑著二種」。

49 諸事混集　16.05—15
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴1（39丁）25cm
内容——松雲公の事，新板ちよぼくれぶし并福の神，阿蘭陀ふみよりの手紙写，銭屋五兵衛一条并御人持切腹の面々，アラビヤゴムの事，各地の手鞠唄，当季見立ほつ句，深草元政上人壁書，多賀鰹の書状，水戸藩士今井惟典筆記抄，福の神，あめりか六歌仙，ろう人より敦賀へ，をしへ候けんのもん句，都風流トコトンヤレぶし，板倉閣老へ差出候書付写

50 当時珍説秘要録　16.05—16
手写
2冊　23cm
「当時珍説秘要録」

前田恒敬旧蔵。

① 巻之1　当時将軍家重公御虚生之事，至心院殿貞心之事，大納言家治公唐土鯉魚の湯献上之事，黒田筑前守少将に任する事，黒田の母堂本光院尼袈裟懸給ふ事，上杉家上野中堂并仁王門御手伝の事，水野山城守尾州の小荷駄口附者を貰ふ事

巻之2　松平右近将監聡明器量之事，大御所様御徒御暇出候面々上野宮様へ願に出申事，堀田相模守雑説の事，稲葉越中守立身御側衆と成事并稲葉家五郎石虎石之事

巻之3　殿中年中行司御故実式法之事，正月元日より同十二月晦日迄公事を記す

巻之4　殿中行事二月朔日より十二月晦日迄一件，御玄関飾御道具之事，大岡越前守算術の上手を糺明の事，三輪執兼学問に名高き事

巻之5　堀田相模守領地佐倉の宗五の宮建立の事，能勢肥後守三拾三間堂再建立并町年寄へ額寄進被申付候ニ付三井親和認る事，田中休懸右衛門人見御供に備わりし武勇の事，土屋越前守公事才許之事

② 巻之6　松平右近将監齢を思はさる格言之事，豊島屋重右衛門方金盗人の儀ニ付町奉行依田和泉守頓智の事，当水戸殿行人七兵衛と云江戸日本橋四日市の船頭再来之事

巻之7　一向宗土蔵相伝中山大納言殿左遷并能登烏石御糺明之事，幡随院三崎法住寺建立して名高き事并溝口雪州屋舗寄進の事，諸国御代官へ老中方被仰渡之事

巻之8　坂和田喜六落穂の茶杓堀田へ参らする事，天王寺屋慶子田くらの茶杓の事，阿部対馬守御奏者番と成る八重筋の茶入の事，酒井左衛門尉堀田家に毎夜二食を賜りし事，御徒戸祭小助気丈者の事，河津三郎兵衛秋野ニ狩衣の事，戸田越前守恥辱の事

巻之9　松平縫殿頭大器量の事，本庄大和守息女不義の事，信州六助仕置ニ付依田和泉守一言の事，尾州姫君へ慮外せし町人牢舎并御免子細の事，御書院番酒井与左衛門野ふすまを打殺せし事，御召初の甲細川越中守献上の事

巻之10　松平助之丞屋敷出火遠慮之事，荒川八左衛門聖天の浴油にて角力に勝し事，永井藤左衛門俗油ニて一子の命を助んとする事，索丸長水と云誹諧の達人御直参たる事，酒井左衛門尉松平右近将監夜話の事，大納言家治公多芸に入らせらるゝ事，家治公御婚姻御能開口の事

51　癡龍雑著　　16.05—17

富田景周著

手写　〔明治中期〕

73丁　23cm

景周（癡龍）の詩文，和歌，考証などを集めたもの。横山政和等の旧蔵で，政和の校合朱入したものもある。

目　次一郷辞，暮松楼読書一家法十三宵愚草，乙丑薙露集，対問，禁殺令拡義，異客来北考，蓮池考，布勢八勝考，賀藩卿大夫考徴を収む。

52　間窓夜話　　16.05—18

手写

42丁　23.5cm

加越能関係も含む雑多な内容の覚書。脇田尚保旧蔵。

53　桃水軒雑記　　16.05—19

有沢武貞著

自筆

合綴1（4冊）　~~17cm~~

内容は，「劔梅輪内御紋之一事覚書」（有沢森右衛門〔武貞〕，享保19年〔1734〕，自筆），「独吟連歌」（有沢森右衛門，元文元年〔1736〕自筆），日記（武貞自筆），追悼歌（有沢改貞筆か）。

54　紫府雑纂　　16.05—20

手写

2冊　22cm

経典，儒書，史書，文学などの抜抄で2冊になっている。前篇は「甲陽軍鑑古語出拠」とあり，法華経ノ中ヨリ一ノ巻方便品，野槌の中より，法華玄義ノ内ヨリ一ノ巻。碧巌集并万庵抄ノ内

ヨリ，耳底記の中二，源平盛衰記ノ中ヨリ抜書禅林聚類ノ内但シ四巻類聚也，五経禮記ノ内曲礼，孔子家語ノ内ヨリ，拾芥抄ノ内ヨリ，元亨釈書ノ内，東鑑ノ内武田一門ノ事ヲ抜，神社考ヨリ二ノ巻北野天神，三部経ノ中阿弥陀経，観無量寿経，孟子公孫，真言宗假名法語ノ中，盛衰記廿九巻，三十巻，飛鳥川抜書，曽洞五位ノ抜書，盥籌抜書，人王子詳註之同鈔抜書，軍林宝鑑ノ内，千蛾和歌集巻第十九，拾遺和歌集第二十，乞食袋，悲華経要文が収まっている。後篇は「軍鑑末書引證語類」とあり，法華玄義，法華止観弘決，碧巌集并二万庵抄ノ内，職原大全ノ内ヨリ，源平盛衰記ノ内ヨリ，禅林類聚ノ内，太平記北野通夜物語ノ内二，五経礼記ノヨリ，東鑑ノ内ヨリ，登塁必究太乙巻一，一心三観，太平記之内武田之事跡抜書，艸山集，維摩経ノ序ノ内，春秋四伝巻之八，伝習録巻之三，要本九正通邪の分三ケ条，月庵法話，五雑組巻之二，悦目抄序，正法眼蔵二十八行時ノ内，心翁安弟子策彦周良を収めてある。なお，題箋筆者は有沢貞庸である。題名の紫府は武貞か。

55　雑著六種　　16.05—21
手写
62丁　24cm
別名「雑著十種」の第1冊である。内容は，
算　算——有沢致貞著，享保10年（1725）原本成立。18丁。
閑字考——手写，7丁。
旧事紀偽書明證考拾遺——中村知彰著，原本は文化12年（1815）成立。9丁。
祭祀家言——前田知故著，原本は文政12年（1829）成立。11丁。
大宗小宗図——室直清（鳩巣）著，原本は正徳5年（1715）成立。附絵図1枚（56×47cm）
宗法考略——奥村栄実著，天保4年（1833）原本成立。14丁。

56　尚志軒雑録抄　　16.05—22
村松標左衛門著
前田家編輯方手写　明治年間
64丁　23cm
尚志軒は村松標左衛門。諱は修平又は紀風，羽咋郡町居の人。京都にて本草学を修め，老臣村井氏に仕え，人参栽培法，甘蔗の栽培法，蜂蜜製造法を伝う。天保12年（1841）歿79才。著書も10余点ある。

57　尚志軒夜話　　16.05—23
村松標左衛門著
手写
53丁　23.5cm
覚書風の雑録。

58　系譜及伝記雑　　16.05—24
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
仮綴1（56丁）26cm
藩主および藩士関係の諸記録からの雑抄の綴り。

59　肺　肝　鈔　　16.05—25
前田家編輯方手写　明治年間
74丁　23cm
聞書を収録したもので雑多。加賀藩以外のものもあり。

60　追　聚　集　　16.05—26
前田家編輯方手写　明治年間
55丁　23.5cm
藩政時代の雑記録に，処生教訓などが混ざっている。

61　雑　　録　　16.05—27
手写
108丁　24cm
小川良太郎旧蔵。
内　容—文政天保期の長命録・狂歌狂詩・ジャガタラ文などがあるが，主体は明良洪範・困合難城変・老人雑話・東遷基業からの利家・利長・利政・利常などに関する部分の抄録である。
なお，菅公年譜，藩翰譜7の前田の部もついている。

62 茂枝雑鈔　16.05—28

浅野屋佐平（茂枝）編

前田家編輯方手写　明治年間

7冊　24cm

内　容

① 越前国天平二年義倉帳，同国天平二年正税帳，同国天平四年郡稲帳，玉木大人令抄

② 玉木園大人和名鈔国郡考

③ 浅野玉木大人伊勢物語抄，天保壬寅正月七日麻舎小集和歌，茂枝歌集稿，墨癖五絶等・かけまくも云々・天満宮に奉らむとて詠る歌。

④ 摂関補任次第，類聚高貴録

⑤ 武家官位勘例，御枝之記

⑥ 加府事蹟実録，金沢事蹟必録，貞享二年東末寺由緒，比楽湊の考

⑦ 転役例彙，年号改元引文

63 穏楽斎随意集　16.05—29

恒川登寿（判左衛門）撰

前田家編輯方手写　明治年間

159丁　24cm

内容は万延元年（1860）加賀藩士の蒐集記録，覚書を集成したもので，詩歌，藩制，有職，海防，風聞など万事に及ぶ。

特16.1 藩　　主

特16.10 系　　譜

系　譜　・　系　図

64 侯爵前田家系譜并　16.10—1
戸水信義著
手写〔明治末年〕
19丁　25.5cm
前田氏が菅原姓であることを論じたもの。

65 新修菅家逸譜　16.10—2
狩谷竹輔編
手写〔明治年間〕
8丁　29cm
菅原道真の系譜。横山政和旧蔵。

66 御本姓御系図　16.10—3
手写
2丁　29cm
横山政和旧蔵。菅原氏の系図で菅家前田氏の起原彦九郎まで。

67 〔菅原氏御系譜〕　16.10—4
手写
18丁　24.5cm
初代菅原忠利から利啓までの系譜。利啓の二男吉丸の時尾張国へ入るとあり。末尾に「御領地横田紋四郎ヨリ上ル分写」とあり。
旧書名「御系譜」。

68 〔菅原氏御系図〕　16.10—5
手写
11丁　24.5cm
菅原古人宿禰から利家まで。表紙に「扇子屋左兵衛編纂本」の朱書あり。その写か。
旧書名「御系図」。

69 菅原氏系図　16.10—6
前田家編輯方手写
24丁　25cm
従五位下遠江介菅原古人より利家までの系図。附，利孝の文書2通。前田利昭旧蔵の写。

70 前田家系図　16.10—7
鈴木真年編
手写
15丁　27.5cm
利家までの系図。

71 〔姓氏分脈抜書〕　16.10—8
手写　明治11年（1878）
14丁　28cm
菅原氏および前田氏の分を，有田義一蔵本から抜書したもの。
旧書名「姓氏分脈」。

72 前田氏系図　16.10—9
前田利豊編
手写
巻子1　27cm
寛永18年（1641）12月25日に利豊が作成，太田備中守に与えたもので，簡単な内容。利豊は利長の弟利孝の嗣子。中川典克旧蔵。
旧書名「前田氏系図」。

73 菅家之御系図　16.10—10
手写
11丁　24.5cm
内容は利家・利長・利常の略伝で成立寛永18年。世に「寛永系図」と称せられるもの。山田信正蔵本の写，前田貞醇旧蔵。

74 前田家譜略図　16.10—11
笠間静庵（主徳）手写　宝永6年（1709）
11丁　24cm
別名「寛永系図」。同前であるが最後に混乱あり。西川完元蔵の写。

75 御　系　図　16.10—12
手写
22丁　25cm
寛永系図に4代光高の分を補足したもの。

76 系　　図　16.10—13
前田家編輯方手写
72丁　23.5cm

内容は真名記，仮名記。寛永18年（1641）に4代光高が幕府に提出した系図書。林大学頭の添書や手紙などを付記。

系図追考――上記に補追された5代綱利（綱紀）の系譜。松長永三の下書。

世譜――阿蘭陀国へ送った前田の系譜。

77　阿蘭陀国へ送る御世譜写　　16.10—14

手写

2枚　31×22cm　端本

天和3年（1683）3月和蘭国加比丹に与えた前田家世譜とその始末を記したもの。天和3年（1683）5月19日とある。

78　前田家系図四種　　16.10—15

前田家編輯方手写

71丁　23cm

利家から光高までの系図4種を収む。

79　前田之系図　　16.10—16

手写

22丁　26cm

利家より光高まで。綱紀については「始綱利」云々とあり，綱紀に改名した貞享元年よりあまり下らない頃の成立か。

80　前田氏御系図　　16.10—17

手写

巻子1　24cm

利春から綱利（綱紀の初名）まで。

81　前田氏家系図　　16.10—18

手写

巻子1　27cm

利春から綱紀まで。とくに利家の子女の子孫について詳しい。中川典克旧蔵。

82　前田家系図　　16.10—19

手写

1枚　52.5×35cm

利勝から5代綱紀まで。

83　加陽袖珍略記　　16.10—20

俊徳嵓蜜編

自筆

24丁　19×9cm

利春から6代吉徳までの略系譜。筆者は京都大徳寺の僧。巻頭凡例に「紫野飽雲室俊徳嵓蜜記」とある。

84　北越菅家系譜　　16.10—21

手写

51丁　27cm

吉村小太郎旧蔵。菅原宇庭から6代吉徳まで。

85　本朝譜略　　16.10—22

宵地礼幹編

手写　享保9年（1724）

35丁　25.5cm

利家の祖父利隆より6代吉治（吉徳）まで。ほかに前田長種系その他を記載。

86　宝仙院殿御系譜　　16.10—23

7丁　24.5cm

宝仙院は本名喜代姫。6代吉徳の長女。広島侯浅野吉長の嗣子宗恒に嫁し，桜田御前という。寛延3年19才で歿。表題に「浅野家外戚系譜之内」と副書あり。

87　〔歴代加賀藩侯及近親系譜〕　　16.10—24

手写

37丁　24cm

利家から9代重靖までとその近親の略歴。

88　前田氏系図　　16.10—25

手写

30丁　27.5cm

利家の祖父利隆より重基（10代重教の初名）まで。

89　前田氏系図　　16.10—26

手写

44丁　27cm

菅原道真から10代重教まで。付録に前田長種系

などの系図を記載。

90　幼童手引前田御系図　　16.10—27
索綯子著
手写
40丁　23.5cm
菅原道真から，重基（10代重教の初名）まで。享保19年（1734）索綯子が編した「菅家御系譜」に10代重教（重基）までを書継したものであろう。筆者については不詳。

91　前田家草創　　16.10—28
索綯子著
手写　享保19年（1734）
45丁　23.5cm
前の書に11代治脩のことを書きつぎしたもの。野村良旧蔵。

92　前田家大略系図　　16.10—29
手写
10丁　31cm
利春から重教まで。保科，浅野，池田，佐竹，酒井各家の略系図も記載。

93　前田家系譜　　16.10—30
手写
23冊　30cm
① 系譜（加賀藩主第5代綱紀～第11代治脩，寛政3年＝1791）
② 系譜（第3代利常～第4代光高，寛政4年＝1792）
③ 系譜（第11代治脩，寛政10年＝1798）
④ 系譜（大聖寺藩主初代利治～第8代利考，寛政12年＝1800）
⑤ 系図（大聖寺藩主初代利治～第8代利考，寛政12年＝1800）
⑥ 寛政元年以来御系譜御差出一件留
⑦ 系譜（第3代利常～第11代治脩，寛政11年＝1799）
⑧ 公辺江御指出之御系譜一件（享和元年＝1801）
⑨ 系譜之内御尋之趣御答（文化8年＝1811）
⑩ 利正様并右御子様方御由緒草稿）
⑪ 系譜（弘化2年＝1845）
⑫ 系譜（弘化2年＝1845，附2通）
⑬ 系譜（第3代利常～第14代慶寧，弘化3年＝1846）
⑭ 系譜（富山藩主初代利次～第10代利保，弘化3年1ǁ846）
⑮ 系譜（第3代利常～第14代慶寧，弘化3年＝1846）
⑯ 系図（富山藩主初代利次～第10代利保，弘化3年＝1846）
⑰ 公義江御指出之御家譜之儀ニ付聞番所より指出候書抜（弘化3年＝1846）
⑱ 公義江御指出御系譜之義ニ付於御次しらべ書抜（弘化3年＝1846）
⑲ 弘化3年12月御系譜御指出之留
⑳ 公義江御系譜御指上年月書并入目録
㉑ 系譜（第3代利常～第14代慶寧，慶応2年＝1866）
㉒ 系譜書継（第13代斉泰～第14代慶寧，慶応2年＝1866）
㉓ 系譜書継（第13代斉泰～第14代慶寧，慶応2年＝1866）

94　本藩御家系　　16.10—31
手写
10丁　24cm
道真から11代治脩までの系譜。

95　前田御系譜　　16.10—32
手写
76丁　23.5cm
利春から11代治脩まで。前田貞醇旧蔵。

96　前田家大略系図　　16.10—33
1枚　39.5×111cm
利春から11代治脩まで。佐竹，浅野，保科，池田氏の略系も記す。

97　前田公歴世一覧表　　16.10—34
手写
1枚　50.5×35cm

利家から11代治脩まで。実父，生国，生年，治世，夫人，子女の数，葬地，享年，諡名，忌日を一覧表にしたもの。

98　御年表幷御系図　　16.10—35
富田景周編
手写
2枚　36×24cm，57×30cm
年表は利家より12代斉広まで。実父，生母，生国，誕辰，治世，簾中，子女人数，葬地，享年，廟号，忌日の一覧表。系図は利隆より11代治脩まで。

99　〔前田斉泰・慶寧・利嗣履歴〕　　16.10—36
手写　明治4年（1871）
合綴1（3冊）　27cm
太政官への報告控。三人の各履歴を合してある。

100　前田家系図　　16.10—37
手写
2冊　27.5cm
原題「諸系図纂要大全・菅原部」。第1巻は菅原朝臣姓，五条，桑原，清岡，東城坊，唐橋（2氏）若江，前田，菅（3氏），第2巻は菅原氏前田本藩（14代慶寧まで），大聖寺，富山，七日市藩，久松，松平（5氏），柳生を記載。

101　国譜捷径附国公家譜暦略　　16.10—38
富田景周著
自筆　文化元年（1804）～同14年（1817）
2枚　36×41，39×45cm
両面を使った藩侯の一覧表である。序は文化元年であるが，同14年まで書きついである。附録はその木版であるが，5代吉徳以下を欠いた端本である。

102　御系譜原稿　　16.10—39
前田家編輯方編
編者手写
93丁　23cm
内題は「御系譜等書継御用ニ付御用席へ時々相達候紙面等并相渡候紙面等」となっている。原稿は史料の意である。

103　御代々写　　16.10—40
手写
5丁　8×17cm
歴代藩主，正室などの歿年月日，墓所などを列記したもの。文政8年まで。徳川家のものが巻頭につけてある。

104　前田右馬系図　　16.10—41
手写
1枚　80×83.5cm
前田利家の父利春の兄弟といわれる前田右馬允の後裔図。天正から寛文頃まで。

105　新撰御系図略　　16.10—42
手写　安政3年（1856）
29丁　24cm
利隆より14代慶寧まで。末尾に前田長種家系を附す。

続　　書

106　菅家一類続柄補　　16.10—43
手写
2冊　13.5×18cm
前田光高兄弟までを記す。前田貞醇旧蔵。

107　御家幷御一門方御親族大概　　16.10—44
手写
24丁　8×18cm
5代綱紀，利章（大聖寺），利興（富山），浅野吉長，池田吉泰，酒井忠寄の各藩主の続柄と武家御由緒。享保16年（1731）2月成立。前田貞醇旧蔵。

108　御家幷御一門様方親族大概　　16.10—45
前田家編輯方手写　明治年間
59丁　23.5cm
内題は「松雲公等御続書」。前号の写。

109　松雲公御続書　16.10—46
前田家編輯方手写　明治年間
59丁　23.5cm
内容同前。奥村栄滋蔵の写。

110　当時御在世御一門方等大概　16.10—47
手写
18丁　12×18cm
宝暦7年（1757）成立のものに，明和7年（1787）朱で書き加えたもの。内容は紀州徳川，伊予西条をはじめ，大聖寺，富山，七日市の各支藩，および姻戚ある藩主をすべて載せてる。

111　御　続　書　16.10—48
手写
4冊　9×18・12×18cm
①　10代重教　②　11代治脩
③　12代斉広　④　13代斉泰。

112　治脩公御続書　16.10—49
手写
10丁　23cm
本多政以蔵本の写。

113　方々様御名等覚書　16.10—50
横山政孝編
手写
仮綴1（2丁）　24cm
文政2年（1819）横山政孝手記之写で藩主家族の生年，年令，名前等を記録。文政4年3月まで書き加えてある。

114　御　続　書　16.10—51
手写
14丁　24.5cm
12代斉広の晩年，文政4年(1821)頃のものか。記載は名前のみで簡略。

115　御　続　書　16.10—52
4丁　12×18cm
内題は「中将様御続」。12代斉広関係のもの。
富田権六郎旧蔵。

116　金龍院様御系図草稿　16.10—53
手写
2冊　23cm
12代斉広と13代斉泰の家族につき天保9年まで記載。

117　真龍院様御続　16.10—54
手写
3丁　8×18.5cm
真龍院は，隆，初め夙（あさ）。12代斉広の正室。文化4年入輿。

118　御　続　書　16.10—55
横山政和編
自筆　安政6年（1859）
51丁　12×18cm
内題「中納言様御続書」。13代斉泰の続書。巻末に，御末家并御同姓，御一門様，御守殿の人々を附す。明治11年まで朱入補。横山政和旧蔵。

119　御　続　書　16.10—56
手写　嘉永2年（1849）
10丁　10.5×17.5cm
中川典克旧蔵。13代斉泰の続書。

120　〔斉泰公御続書〕　16.10—57
手写　嘉永4年（1851）
44丁　24cm
外題「御続書」，内題「相公様御続」。慶応3年まで朱入がある。早川随勝旧蔵。

121　〔斉泰公御続書〕　16.10—58
手写　慶応2年（1866）
60丁　24cm
外題「御続書」，内題「中納言様御続」。明治2年まで加筆あり。小原氏旧蔵。

122　斉泰公御続書　16.10—59
手写　文政7年（1824）
8丁　8.5×18cm

藩　　主

123　御一門様御名書等　16.10—60
手写　嘉永2年（1849）
6丁　12×17cm
前田氏と姻戚の大名を記す。

124　御一門様御名書等　16.10—61
前田恒敬手写　慶応2年（1865）
36丁　11.5×18cm
前田恒敬旧蔵。13代斉泰の続書。内容は，御一門様御名書等，御一門様大概，御続書大概，附御守殿御一門様，御末家御同姓。

125　伊勢外宮御師福井土佐由緒書　16.10—62
福井土佐（末起）編
自筆　貞享3年（1686）
巻子1　27cm
前田家と福井家の姻戚についての覚書。花押あり。

家　　督

126　歴世襲封一覧　16.10—63
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
9丁　24cm
本藩，富山藩，大聖寺藩，七日市藩の歴代藩主の系譜と襲封年月日を記す。

127　松雲院様・泰雲院様御隠居御願書被指出候砌役所留帳　16.10—64
手写
30丁　24.5cm
松雲院は5代綱紀，享保8年（1623）隠居。泰雲院は10代重教，明年7年（1770）隠居。

128　相公様御隠居之儀ニ付留帳之内書抜　16.10—65
手写
2冊　23.5cm
5代綱紀の隠居願，家督相続の手続き，献上物等の指示についての留書。内容は享保8年（1723）。

129　御隠居御家督日記　16.10—66
手写
182丁　14cm
大野木克征旧蔵。なお，「御隠居御家督附録」（66丁）を収む。内容は享保8年（1723）6代吉徳の家督相続の日録。附録はその際の往復文書。大野木克明の自筆本であろう。

130　御近習方日記　16.10—67
手写
4丁　12×36cm
享保8年（1723）5月に5代綱紀が家督を吉徳に譲った。その前月26日から6月28日に至る間の江戸における覚書。

131　御内用御書付等写　16.10—68
手写　延享2年（1745）
20丁　23cm
7代宗辰の家督相続についての御親翰類の写。

132　謙徳公御書写　16.10—69
手写
1通　16cm
内容は，宝暦3年（1753）4月10日付で，重熙の名で実弟の上総介（重靖）を養子にし，家督相続をさせたい旨の願書の写。宛名は幕府の堀田相模守他4名。

133　御家督為御祝儀御老中方御招請ニ付前窺等留帳　16.10—70
成瀬左近手写　寛政2年（1790）
32丁　7×20.5cm
原本は延享4年（1747）成立。8代重熙襲封の時。成瀬正居旧蔵。

134　御入国御祝儀御料理被下候節小頭列之事　16.10—71
小木貞行手写　文化13年（1816）
7丁　13×17.5cm
延享5年（1748）2月8代重熙家督相続を祝う行事の際の歩組小頭の座席について記す。小木貞正旧蔵。

135　泰雲様御隠居一件　16.10—72
手写
321丁　24cm
「御親翰帳之内書抜」とあり。泰雲院は10代重教。

136　大梁公継統事件　16.10—73
181丁　23cm
題箋に「村井氏留記」と副題あり。大梁公は11代治脩。内容は明和4～8年（1767～71）。書中の又兵衛は長穹である。村井恒旧蔵の写。

137　勝興寺閑真願書　16.10—74
前田治脩著
自筆　明和5年（1768）
1通　24cm
前田治脩（11代）が越中古国府勝興寺住職として閑真と称していた時，兄10代重教の還俗の命により世子となる際の年寄中宛の自筆の願書草稿。同6年2月1日世嗣となり，時次郎の名に復し，ついで利脩を称す。同8年4月家督を相続。旧書名「勝興寺閑真願書」

138　勝興寺御帰俗一巻　16.10—75
手写
2冊　23cm
11代治脩の家督相続に関する記事。明和5年（1768）4月から6年5月迄の文書の写を集大成したもの。

139　御隠居・御家督御願御発起要文略控　16.10—76
手写
19丁　12×17.5cm
10代重教が退隠し，6代吉徳の10男利有を還俗させて明和8年に相続させた。内容は明和6年（1769）。

140　大梁公御家督一件　16.10—77
手写
39丁　24cm
明和8年（1771）「毎日帳之内書抜」とあり。この年11代治脩家督相続。

141　大梁公御書立幷御請之控　16.10—78
手写
2通　16cm　包紙入
11代治脩の退隠の趣旨を述べたもの。他は，御馬廻頭衆が年寄中に宛てた御請書。寛政12年（1800）。高畠定辟旧蔵。

142　金龍院様御家督一件　16.10—79
手写　明治年間
3丁　24cm
前田貞醇旧蔵。金龍院は12代斉広。

143　御隠居・御家督御拝任御入国之留　16.10—80
手写　慶応2年（1866）
37丁　23.5cm
13代斉泰から14代慶寧への相続等を記す。

144　御隠居・御家督ニ付御親翰留　16.10—81
前田織江手写　文政5年（1822）
5丁　12×18cm
前田道益旧蔵。12代斉広から13代斉泰への相続。織江は道済で，家老，7000石。

145　前田斉泰公隠居内意書　16.10—82
手写
巻子1　16cm

146　中納言様御隠居・中将様御家督御吉事一件　16.10—83
多田六蔵手写
27丁　24cm
慶応2年（1866）4月13代斉泰が致仕し，14代慶寧が継いだ際の記録。

147　菅君栄名記　異本　16.10—84
組外御番頭編
手写
34丁　23.5cm
内題「今般御隠居御家督一件」で，慶応2年（1866）の13代斉泰の隠居，14代慶寧の相続のほか，参議拝任，御入国一件を附す。いわゆる

「菅君栄名記」とは無関係。

148　御家督御祝御作法御手控　　16.10—85
手写　天保7年（1836）
8丁（折本）　18×8cm

特16.11　年　　譜

累　　代

149　本藩歴譜・同公族譜目録　　16.11—1
手写　安政6年（1859）
4丁　24.5cm
「安政6年9月晉継出来，本書ト校合調理之節目録也」とあり。歴譜3冊，公族譜10冊の目録。

150　〔菅公正伝〕　　16.11—2
富田景周編
自筆　文化10年（1813）
25丁　27.5cm
題箋「菅公丞相并菅祖正伝」。叙文に景周の印あり。漢文体。内容は野見宿禰伝，菅原古人伝，菅原清公伝，是善伝，丞相菅公伝，菅公賛。

151　菅家類符集　　16.11—3
手写
24丁　23.5cm
南部祇知旧蔵。内容は，三州国郡来因略，金城来因略，三城来因略，御当家御事略，御封国年代，御転城年代，両御末家等之略，御同姓，七日市侯御庶流，伊勢守末家，土佐守庶流，高源院殿御養子之家，四辻公理卿御三男之家，利春公御舎兄右馬充殿御庶流，附大聖寺侯御同姓之御家臣。

152　藩君初三代御年譜　　16.11—4
手写
2冊　23cm
第1本乾は天文7年(1538)～万治元年(1658)，第2本坤は，万治2年～延宝8年（1680）。脇田尚保旧蔵。

153　前田御家記　　16.11—5
前田家編輯方手写　明治年間
88丁　27.5cm
前書乾と同文。

154　加陽御年譜　　16.11—6
馬淵高定編　馬淵仲暢補
手写
2冊　23cm
出口政信編菅家見聞集正編（天文7～貞享元）を要略したもの。最後の第6巻（貞享2～正徳3）は，高定の子仲暢の編。

155　異本　武家昆目集　　16.11—7
馬淵高定編　馬淵仲暢補
手写
2冊　23.5cm
別名「加陽御年譜」。第1本（1～3巻）は天文6年～貞享2年（編輯方の手写）。第2本（4～6巻）は貞享2年～正徳3年）で宮井光同（天保4没）旧蔵本に第6巻の異本（編輯方手写）を合綴したもの。

156　御年譜之内抜書　　16.11—8
前田家編輯方手写　明治年間
~~合綴1冊~~（3冊）　24cm
二之巻（慶長19年～万治元年），三之巻（万治2年～貞享4年），四之巻（元禄元年～同16年）の3冊。

157　利家・利長・光高公御伝略抜書下物　　16.11—9
赤井直喜編
自筆　明治24年（1891）
~~3冊 97丁~~　17.5×12cm
内容は「利家様御伝略之内抜書下物」「利長様御伝略之内抜書下物」「光高様御伝略之内抜書下物」。

158　菅君栄名記　　16.11—10
源久矩撰
前田家編輯方手写　明治年間
6冊　23cm

天文7年（1538）前田利家誕生より万治3年（1660）にいたる編年体の藩主関係史書。全10巻，附録1巻のうち第9巻を欠く。

① 第1，2巻（天文7～天正12）
② 第3，4巻（天正13～文禄3）
③ 第5，6巻（文禄4～慶長19）
④ 第7，8巻（元和1～寛永10）
⑤ 第10巻　（正保1～万治3）
⑥ 附録，菅君栄名記1巻(正徳3～安永6）成立宝永3年（1706）。

159 菅君栄名記　16.11—11

板垣惟精（春求斎）著
自筆　宝永3年（1706）
43丁　25cm（第7冊のみ。端本）

菅君栄名記の著者源久矩は従来不詳とあるが，本書の署名および朱印によって春求斎板垣惟精〔辞典では信精，元文5（1740）没〕であると考えられる。青地半四郎旧蔵。

160 河瀬雑記　16.11—12

河瀬某著
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23.5cm

乾坤2巻。奥村伊予守の家来河瀬氏の先祖が著し，同家に旧蔵されていた本の写し。加賀藩および藩主に関する年代記。利家の天文7年（1538）に始まり綱紀の貞享元年(1684)に至る。

161 金府略譜　16.11—13

和楽斎著
自筆　文化6年（1809）
3冊　27cm

前田貞醇旧蔵。内容は天文7年（1538）～元禄15年（1702）まで。第1本は巻之一利家公，巻之二利長公，巻之三利常公。第2本は巻之四光高公，巻之五綱紀公。第3本は綱紀。著者和楽斎は前田貞一（1741～1825）か。

162 御家御年譜之内抜萃　16.11—14

有沢貞庸手写
41丁　24cm

内題「御年譜ト称スル二冊中抜萃」。前田利家の天正11年から綱紀の貞享2年までの間からの抜書。

163 加陽諸士本末系譜略記　16.11—15

有沢永貞編
自筆　正徳三年（1713）
15丁　26.5cm

有沢永貞の正徳三年の序文，凡例，ついで永禄元年（1558）～享保2年（1717）までの藩主の「御年表」を記す。本文の部分は失われて所在不明。

164 歴代藩公年譜　16.11—16

手写
3冊　9×20cm

内容は天文7年（1538）より享保3年（1718）まで。日を追って記述が詳しい。富田権六郎旧蔵。

165 御年表附録　16.11—17

藤　重富編
前田家編輯方手写　明治年間
3冊　23.5cm

青地斎宮原蔵，前田直行旧蔵の写。内容は天文7年（1538）より享保7年（1722）まで。成立享保8年。

166 前田年譜　16.11—18

前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm

内容は天文7年（1538）より享保9年（1724）まで。額彦四郎旧蔵の写。

167 三公年譜　16.11—19

前田直躬編
前田家編輯方手写　明治年間
31丁　23.5cm

三公は前田吉徳（6代），宗辰（7代），重熙（8代）。元禄3年から宝暦3年までの略譜。

168　御当家御代之御事記　　16.11—20
手写
8丁　27cm
利家より吉治（吉徳）までの藩主，その子女の系譜と略伝を記す。享保10年（1725）～元文5年（1740）の間に成立か。前田貞醇旧蔵。

169　年　　表　　16.11—21
前田家編輯方手写　明治年間
3冊　23cm
利家の生まれた天文7年（1538）から吉徳の没した延享2年（1745）までの藩主，藩政関係を中心とした年表。
①　天文7年～寛文5年
②　寛文6年～享保4年
③　享保5年～延享2年

170　御家由来書物　　16.11—22
手写
33丁　24cm
有沢貞庸旧蔵。藩祖利家から7代宗辰までは略歴。旧書「[illegible]雑記集」

171　御年譜之中抜書　　16.11—23
手写
3冊　12×17.5cm
①は「御年譜中抄出分類」。高徳公（利家）の事蹟。
②は慶長2年（1597）～19年（1614）までの抜書。
③は護国公（6代吉徳）元禄3年（1690）～延享2年（1745）以来の抜書。享保13年（1728）から天明5年（1785）までの出来事。
渡辺氏筆記。

172　加州家御次日記　　16.11—24
手写　安政3年（1856）
4冊　23.5cm
藩士青山氏の原本を政方（姓不詳）なる者が写したもので，天文7年より安永8年8月までの日次記。①天文8年～貞享2年，②貞享2年～享保7年，③享保17年～20年，④宝暦元年～安永8年。

173　国譜附御遺誡等　　16.11—25
前田家編輯方手写　明治16年（1882）
33丁　24.5cm
10代重教までの藩主の系譜と利家関係文書その他を収む。加藤恒旧蔵の写。

174　御　年　表　　16.11—26
前田家編輯方手写
9冊　23cm
6代吉徳の襲封から8代重熙の延享4年12月迄の藩の事歴。
①　1，2巻　享保8，9年（1723，24）
②　3巻　享保10，11年（1725，26）
　　4巻　享保12年（1727）
③　5巻　享保13年（1728）
　　6巻　享保14年（1729）
④　7巻　享保15，16年（1730，31）
　　8巻　享保17年（1732）
⑤　9巻　享保18，19年（1733，34）
　　10巻　享保20年（1735）
⑥　11巻　享保20，元文元年（1735，36）
　　12巻　元文2，3年（1737，38）
⑦　13巻　元文4，5年（1739，40）
　　14巻　寛保元，2年（1741，42）
⑧　15巻　寛保3，4（延享元）年（1743，44）
　　16巻　延享2年（1745）
⑨　17，18巻　延享3，4年（1746，47）

175　梅花無尽蔵　　16.11—27
岩原恵規著
自筆　天保14年（1843）～嘉永5年（1852）
33冊　23.5cm
利家より治脩までの藩主略伝，年譜。
①～⑤　高徳公（利家）
⑥，⑦　瑞龍公（利長）
⑧　微妙公（利常）
⑨　陽広公（光高）
⑩～⑰　松雲公（綱紀）
⑱～㉗　護国公（吉徳）
㉘，㉙　大応公（宗辰）
㉚，㉛　謙徳公（重熙）

㉜　天珠公（重靖），泰雲公（重教）
㉝　太梁公（治脩），観樹公（斉敬）

なお各冊の成立年代は，つぎのとおり。

天保14年　⑪～⑬
天保15年　⑨，⑩，⑭～⑰，㉛～㉝
弘化３年　㉕～㉗
弘化４年再書　㉑～㉔
弘化５年再書　㉘，㉙
嘉永元年再書　㉚
嘉永２年再書　⑱～⑳
嘉永３年　②，㉕～㉗
嘉永４年　③，④
嘉永４年再書　①
嘉永５年　⑥，⑦
不詳　⑤，⑧

岩原規は恵規の略称。藩の与力。

176 御年表　16.11—28

前田家編輯方手写　明治年間
７冊　23.5cm

内容は，利家の誕生から11代治脩の安永８年10月までの重な出来事を編年体に記したもの。

① 天文７年～貞享元年
② 貞享２年～享保９年
③ 享保10年～享保15年
④ 享保16年～元文２年
⑤ 元文３年～延享３年
⑥ 延享４年～宝暦３年
⑦ 宝暦４年～安永８年

177 御年表新写草稿　16.11—29

有沢貞庸編
自筆
34丁　20cm

利家から吉徳までの年譜草稿。斉泰を「当君」と記す。

178 菅家累譜　16.11—30

山崎籍侃編
前田家編輯方手写　明治年間
２冊　23cm

天地２巻。天の巻は「歴公之譜」（利家～斉泰）。地の巻は「系図之巻」（菅原古人以来の前田氏の略系図，富山，大聖寺，七日市三家の略譜）。原本は文化７年（1810）成立。成瀬正敎筆写の写。

179 菅家累譜抜萃　16.11—31

手写
17丁　24cm

斉広までの代々の藩主につき記す。山崎籍侃撰菅家累譜の抜書である。

180 菅家系譜　16.11—32

手写
16丁　12×18cm

利家より斉広まで。嘉永４年の成立か。

181 〔山崎氏撰菅家累譜不審答書〕　16.11—33

手写
２冊　12.5×35cm

山崎籍侃著「菅家累譜」中の不審点に対する答書の草稿と清書の２冊。

182 公譜要略　16.11—34

湯浅祇庵著
手写
56丁　24cm

児童用に，歴代藩公，三州封地の年代，金沢の来歴，転城の年代，三支藩の家歴などを略記したもので，文化14年成立。本書は序文を欠く。

原本は２巻で，内容は，

上　三州国郡来因略，金沢御城来因略，三城来因，御当代様御事略，御誕辰御家督年代，御官位年代，御封国年代，御軍役年代，御転城年代，三都御屋敷由来略，両末家并七日市侯御事略，御同姓事略，御連枝之家々，御家門之家々附大聖寺様御同姓御家臣，御続書。

下　毎月諸殺生不仕日，御祥月迄殺生不仕分，御歴代様并御実母様御位牌所，御廟所，御歴代様御戒名，御子様御戒名等，御実母様御戒名等，御末家様御戒名等。

なお，著者は藩の書写役で旧例典故に通じ，北藩秘鑑，藩国官職通考などの著がある。万延元年（1860）没，76才。

183　公譜要略　　16.11—35
湯浅祇庸著
手写
3冊　23冊 cm
前書と同じで，3冊にしてあり，文化15年の朱入がある。

184　公譜要略　　16.11—36
手写
2冊　23cm
今枝氏旧蔵。

185　公譜要略　　16.11—37
湯浅祇庸編
前田家編輯方　手写
74丁　24cm
16.11—34と同内容で上巻末尾の「御続書」のところが他本と異っている。

186　公譜要略抄　　16.11—38
手写
27丁　23.5cm
抄本である。

187　三守御譜　　16.11—39
恒川登寿編
自筆　嘉永2年（1849）
4冊　24cm
① 巻1　利家公，利長公，利常公
② 巻2　光高公，綱紀公，吉徳公
　巻3　宗辰公，重熙公，重靖公
③ 巻4　重教公，治脩公，斉広公
④ 巻5　斉泰公，慶寧公
恒川寿旧蔵。

188　異本　三守御譜　　16.11—40
恒川登寿編
自筆　嘉永3年（1850）
7冊　24cm
① 巻2上　光高公，綱紀公
② 巻2下　綱紀公
③ 巻4　宗辰公，重熙公，重靖公
④ 巻5上　重教公，治脩公
⑤ 巻5下　治脩公，斉広公
⑥ 巻6上　斉広公
⑦ 巻6下　享和4年～文政7年
第1本巻1と第3本巻3を欠いている。三守御譜に更に増補したもの。恒川寿旧蔵。

189　御年表　　16.11—41
前田家編輯方手写　明治18年（1885）
2冊　26.5cm
内容は永祿3年（1560）より安政9年（1857）に及ぶ。第1巻は利家から慶寧までの略譜。第2巻は同上各藩主の子女についての略譜。村井氏蔵の写。

190　御年表　　16.11—42
手写
2冊　23.5cm
内容は前書の第1巻と同文。ただし最後の慶寧の分1丁を欠く。永井丕陳旧蔵。

191　前田氏系譜　　16.11—43
前田家編輯方手写　明治年間
4冊　23.5cm
利隆から14代慶寧までの漢文体年譜。第4巻は附録で前田長種系，中川光重系，宇喜多秀家系その他を記載。

192　本藩歴譜　　16.11—44
手写
3冊　24cm
① （6～11巻）護国公記
② （12～14巻）金龍公記～恭敏公記
③ （15～18巻）小君伝と公子伝
（1～5巻）を欠いている。
なお，同名の書には湯浅進良著全11冊，別名「本藩御譜」および加賀藩御書物所編の全23冊がある。

193　〔前田御系譜〕　　16.11—45
土田親命編
手写

146丁　23.5cm
5代綱紀～14代慶寧の略歴。湯浅進良の本藩略譜に書入した書を手写し，それを編者が更に補正したもの。嘉永3年（1850）成立。

194　侯爵前田氏歴世略記稿本　　16.11—46
前田家編輯方手写　明治年間
37丁　24cm
利家より14代慶寧まで。

195　侯爵前田氏歴世略記　　16.11—47
前田家編輯方手写　大正年間
19丁　24cm
前書の清書本であるが，15代利嗣，16代利為を付加。

196　侯爵前田氏歴世略記　　16.11—48
手写　大正年代
19丁　24cm
同前。

197　加賀金沢前田利家家譜　　16.11—49
手写
26丁　27cm
附として「越中富山前田利次家譜」「加賀大聖寺前田利治家譜」「上野七日市前田利高家」。

198　加賀金沢前田利家家譜　　16.11—50
新井白石著
前田家編輯方手写　明治年間
34丁　25cm
別名「藩翰譜抄」。新井白石著の藩翰譜正続から前田の部を抄録したもの。内容は前書と同じであるが，明治5年正院の編纂規則が附記されている。

199　新編御系譜需備抄録　　16.11—51
手写
合綴1（3冊）24cm
① 松雲公御年譜抜萃，参議公御年譜抜萃。
② 壬子集録，丁亥集録，乙卯集録，新撰御系図，系図追考等，寺岡覚書，信長公御書等，高徳公御夜話，利家公御武功，東遷基業，重頼筆記，高徳公御書，小瀬又四郎衛門，その他。
③ 寺岡覚書，九里覚書，有沢覚書，寺院来歴，備忘録，生駒覚書，太閤記，御本御系図，江戸御屋敷図，御家中系図，浮田家系図，今公記など。

200　見聞袋群斗記草稿　　16.11—52
赤井直喜著
自筆　明治20年以降
3冊　18cm×12cm
① 文化8年～嘉永6年
② 安政元年～慶応3年
③ 明治元年～同　4年
斉泰，慶寧2代にわたる伝聞と実歴を書いたもの。
旧書名「藩公歴伝」

201　御代々様并御連枝様方御略譜　　16.11—53
横山某手写　文化13年（1816）
57丁　11.5×18cm
内容は天文7年（1538）～明和8年（1771），利家から治脩まで。

202　御代々様并御連枝様方御略譜　　16.11—54
手写
56丁　12×18cm
前書と同一内容。

203　前田家代々之御子様御年表　　16.11—55
75丁　11.5×18cm
初代利家の父利春から14代慶寧までの藩主の子女の略歴。表題は「御年表　坤」となっている。

204　前田家姫君伝　　16.11—56
手写
32丁　24.5cm
利家から11代治脩までの藩主の公女および養女の略伝。巻首を欠いている。

205　本藩歴譜草稿　　16.11—57
前田家編輯方編

19丁　24cm
本藩歴譜草稿第三下とあり，副題に「小君，公子，公女伝」とある。明治25年以後に前書を補正したもの。

206　小君・公子・公女伝稿本　　16.11—58
手写
15丁　23.5cm
斉泰，慶寧の母堂，正室および子女の略歴。
旧書名「小君・公子・公女」

初代利家

207　高徳公御年表　　16.11—59
有沢貞庸撰
自筆
2冊　25cm
初代藩主利家の年表（天文7～慶長4）。

208　高徳公御年譜　　16.11—60
有沢貞庸撰
松田憲章手写　天保6年（1835）
2冊　24cm
前記貞庸撰の写。

209　編年茂久録案　　16.11—61
手写
69丁　12.5×18.5cm
内容は，天文7年～慶長4年（1538～99）の前田利家に関する史料を編年体に記載。早崎新太郎旧蔵。

210　前田御家覚書　　16.11—62
前田家編輯方手写　明治年間
37丁　23.5cm
鈴木英庸が天保8年に写した本の写。誕生から卒去までの年譜。副題に「村井豊後守働覚書」とあり，村井長頼の事蹟を併記している。成立正保2年（1645）。

211　北藩広譜　　16.11—63
手写
27丁　27cm
内題「高徳院殿贈従一位菅卿之年譜」。利家の一生の年譜。山崎範淑旧蔵。

212　高徳院殿贈従一位菅卿之年譜　　16.11—64
平　尚善手写　文政7年（1824）
27丁　23.5cm
「北藩広譜」と同内容。

213　〔前田利政略伝〕　　16.11—65
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　25cm
利政は利家の2男。「本藩歴譜」の抜書。

2代利長

214　瑞竜公御年表　　16.11—66
有沢貞庸撰
自筆
2冊　23cm
瑞竜公は2代利長。

215　瑞竜公年表　　16.11—67
前田家編輯方手写　明治年間
58丁　23cm
前書の写。

216　瑞竜公世家　　16.11—68
永山近彰編
自筆
43丁　25cm
稿本。

3代利常

217　徹妙公御年表　　16.11—69
有沢貞庸撰
自筆
16丁　24cm
徹妙公は3代利常。内容は慶長19年で中断されている。

218　利常公御伝略下物　　16.11—70
赤井直喜編
自筆　明治23年（1890）
合綴1（3冊）18×12cm
天（102丁），地（76丁），人（11丁）に分る。
直喜81才の時の筆記とあり。

5 代 綱 紀

219　參譏公年表　　16.11—71
胄地礼幹編
手写
6冊　28cm
5代綱紀の誕生から卒去までの年表。

220　參譏公年表　　16.11—72
胄地礼幹編
手写　元文2年（1737）
2冊　23.5cm
胄地本の写。

221　參譏公年表　　16.11—73
胄地礼幹編
延享元年（1744）
2冊　26.5cm
本書は丹羽正審の手写本か。

222　參譏公年表　　16.11—74
胄地礼幹編
手写
5冊　23.5cm
寺西成章旧蔵。胄地本の巻5を欠き，第5冊附録は「護国公御部屋中譜」となっている。

223　參譏公年表　　16.11—75
手写
62冊　24cm
胄地本參譏公年表とは別本。内容は5代綱紀の42才から卒去まで，天和4年（1684）～享保9年（1724）の年表。
① 天和4年（1688）　② 貞享2年（1685）
③ 貞享3年（1686）　④ 貞享4年（1687）
⑤ 元禄元年（1688）　⑥ 元禄2年（1689）
⑦ 元禄3年（1690）　⑧ 元禄4年（1691）
⑨ 元禄5年（1692）　⑩ 元禄6年（1693）
⑪ 元禄7年（1694）　⑫ 元禄8年（1695）
⑬ 元禄9年（1696）　⑭ 元禄10年（1697）
⑮ 元禄11年（1698）　⑯ 元禄12年（1699）
⑰ 元禄13年（1700）　⑱ 元禄14年（1701）
⑲ 元禄15年上(1702)　⑳ 元禄15年中(1702)
㉑ 元禄15年下(1702)　㉒ 元禄16年（1703）
㉓ 宝永元年（1704）　㉔ 宝永2年（1705）
㉕ 宝永3年（1706）　㉖ 宝永4年（1707）
㉗ 宝永5年上(1708)　㉘ 宝永5年中(1708)
㉙ 宝永5年下(1708)　㉚ 宝永6年上(1709)
㉛ 宝永6年下(1709)　㉜ 宝永7年上(1710)
㉝ 宝永7年下(1710)　㉞ 正徳元年上(1711)
㉟ 正徳元年下(1711)　㊱ 正徳2年上(1712)
㊲ 正徳2年下(1712)　㊳ 正徳3年上(1713)
㊴ 正徳3年下(1713)　㊵ 正徳4年上(1714)
㊶ 正徳4年下(1714)　㊷ 正徳5年上(1715)
㊸ 正徳5年下(1715)　㊹ 享保元年上(1716)
㊺ 享保元年下(1716)　㊻ 享保2年上(1717)
㊼ 享保2年下(1717)　㊽ 享保3年上(1718)
㊾ 享保3年下(1718)　㊿ 享保4年上(1719)
(51) 享保4年下(1719)　(52) 享保5年上(1720)
(53) 享保5年中(1720)　(54) 享保5年下(1720)
(55) 享保6年上(1721)　(56) 享保6年下(1721)
(57) 享保7年上(1722)　(58) 享保7年下(1722)
(59) 享保8年上(1723)　(60) 享保8年下(1723)
(61) 享保9年上(1724)　(62) 享保9年下(1724)

224　參譏公年表　　16.11—76
手写〔明和4年（1767）以前〕
4冊　23cm
前書62冊の初めの4冊のみ。

225　參譏公年表　異本　　16.11—77
手写
33丁　23cm
内題「無名録抜書」。万治2年（1659）から貞享元年（1684）までの事蹟。真舘氏蔵の写。

226 菅綱記　16.11—78
手写
6冊　23.5cm
仁義礼智信雑の6本。青地礼幹の「参議公年表」を写したもの。ただし第6冊雑は丹羽正審の編か。参議公年表の附録とは異なっている。

227 菅綱記　16.11—79
青地礼幹著
手写
6冊　27cm
別名青地本「参議公年表」。寛永20年（1643）前田綱紀の誕生から享保9年（1724）までの年表である。丹羽正審が延享の初め手写したものの写しである。

228 綱利公御代雑記抜書　16.11—80
大味某手写　文政13年（1830）
23丁　25cm
綱利は綱紀の前名（承応3～天和3の間）。正保元年（1644）から寛文6年（1666）間の略年譜。ただし巻頭欠。旧蔵者は田辺豪雄か。

229 松雲公年表　16.11—81
手写
10冊　23cm
内容は，5代綱紀の正徳5年～享保9年（1715～24）歿後の10月まで。

230 松雲公御伝略下物　16.11—82
赤井直喜編
自筆
74丁　17.5×12cm
諸記録からの抜書。
旧書名「松雲公御伝略」
6代吉徳

231 護国公御年表　16.11—83
有沢貞庸編
自筆
3冊　24.5cm
護国公・6代藩主吉徳（1690～1745）の年表であるが，享保5年（1720）で終っている。

232 嗣君年表　16.11—84
手写
46丁　23.5cm
吉徳誕生の元禄3年(1690)から享保8年(1723)隠居までの年譜。

233 嗣君年表　16.11—85
手写
45丁　28cm
同前。青地半四郎旧蔵。

234 護国公年譜　16.11—86
木村信尹編　森田良郷補
手写
4冊　23.5cm
木村兵群の「護国公年譜」7冊本に，（元文元年から延享2年までの10年間を）加藤氏筆記等から森田良郷が抜萃補充したもの。成立嘉永5年。
① 巻1　元禄3年～享保7年(1690～1722)
　巻2　享保8年（1723）
② 巻3　享保9，10年（1724，25）
　巻4　享保11～13年（1726～1728）
③ 巻5　享保14，15年（1729，30）
　巻6　享保16，17年（1731，32）
④ 巻7　享保18～20年（1733～1735）
　巻8　元文元～延享2年（1736～1745）

235 護国公年譜　16.11—87
木村信尹編
手写
4冊　23.5cm
寺西成章旧蔵。内容は6代吉徳の襲封享保8年（1723）から同20年（1725）までの年譜。
① 享保8，9年（1723，24）
② 享保10～13年（1725～28）
③ 享保14～17年（1729～32）
④ 享保18～20年（1733～35）

236　護国公略御年譜　16.11—88
手写
31丁　24cm
6代吉徳の略年譜。木村兵群編「護国公年譜」,「同付録」より抄出して，誕生より死去までを通して編集している。

237　護国公年表　異本　16.11—89
前田家編輯方手写　明治年間
113丁　23.5cm
享保10年～元文3年(1725～38) 藩内外の災異，行事，法度などを収載した雑録である。

7代～11代　宗辰・重熙・重靖・重教・治脩

238、大応公御年譜　16.11—90
手写
3冊　23cm
原題「佐渡守様御年譜」。
① 享保10年～同　17年 (1725～1732)
② 享保18年～元文3年 (1733～1738)
③ 元文4年～延享元年 (1739～1744)

239　宗辰公御出生より御官位迄之留　16.11—91
手写
63丁　14×20cm
享保10年 (1725) 出生より，元文2年 (1737) 宗辰と改名し，正四位下左近衛少将兼佐渡守任官までの年譜。

240　大応公年表　16.11—92
手写
65丁　24cm
大応公は7代藩主宗辰。内容は享保10年～延享4年 (1725～47)。寺西成章旧蔵。

241　大応公・謙徳公略譜　16.11—93
手写
24丁　24cm
表紙に「享保十年四月廿五日ヨリ寛延四年迄」とあり。大応公 (7代宗辰) は御部屋住の時期延享2年 (1745) 迄，謙徳公 (8代重熙) は寛延4年 (1751) 迄を記す。

242　大応公・謙徳公略譜　16.11—94
手写
17丁　23cm
内容同前。

243　日記頭書　16.11—95
前田家編輯方手写　明治年間
7冊　24cm
内題「御年表頭書」。内容は延享2年～宝暦5年 (1745～55) の加賀藩に関する年表。前田貞醇蔵本の写。なお，原本は，前田某が三輪允明蔵本を明和4年 (1767) 6月に写したものとあり。
① 延享2年7月15日以降　大応公代
② 延享3年12月以降　謙徳公代
③ 寛延2年，3年
④ 寛延4年～宝暦3年4月
⑤ 宝暦3年4月～10月　天珠公代
⑥ 宝暦3年10月～同4年12月 (4年3月泰雲公襲封)
⑦ 宝暦5年

244　謙徳公・天珠公・泰雲公年表　16.11—96
手写
65丁　23.5cm
八代藩主重熙，九代重靖，十代重教の年譜で享保14年 (1729) より宝暦6年 (1756) まで。寺西成章旧蔵。

245　重熙公御年譜　16.11—97
前田家編輯方手写　明治18年 (1885)
50丁　23.5cm
享保14年 (1729) 生誕から，延享3年 (1746) まで。富永氏蔵本の写。

246　泰雲公御年譜　16.11—98
森田良郷編
自筆　嘉永5年 (1852)
4冊　23cm
泰雲公は10代重教。内容は宝暦4年～明和8年

(1754～68)
① 巻1　宝暦4年 (1754)
　巻2　宝暦5，6年 (1755，56)
② 巻3　宝暦7，8年 (1757，58)
　巻4　宝暦9，10年 (1759，60)
③ 巻5　宝暦11，12年 (1761，62)
　巻6　宝暦13，14年 (1763，64)
④ 巻7　明和2～4年 (1765～67)
　巻8　明和5～8年 (1768～71)
なお，各冊内表紙の森田良見編は誤り。第1本の筆者は良郷ではない。

247 泰雲公御年表　16.11—99
手写
75丁　23cm
宝暦11年 (1761) 元日から大晦日までの記録。

248 〔覚　書〕　16.11—100
前田貞一著
前田家編輯方手写　明治年間
合綴1 (3冊　386丁) 26cm
① 泰雲公 (10代重教) 御誕生御家督之節ヨリ御隠居後明和九年マデノ抜書
② 御留守略控帳 (明和九年八月十四日帰着ヨリ十二月卅日まで記之)
③ は明和九年正月ヨリ三月迄江戸覚書で②，③は11代治脩治世の表方日録である。
旧書名「泰雲公御誕生ヨリ後隠居後マデノ覚書抜書」
12・13代　斉広・斉泰

249 金龍公年譜　16.11—101
前田家編輯方編
手写
101丁　25cm
金龍公は12代斉広。天明2年 (1782) から文化2年 (1805) までの事歴。原稿と清書を合併してある。

250 御隠居・御家督之節留　16.11—102
手写
16丁　24cm
12代斉広の相続の享保2年 (1802) 3月から文化4年 (1807) までの略年譜である。

251 文化年間藩侯日譜　16.11—103
前田家編輯方編
編者手写
44丁　25cm　和
12代斉広の享保3年 (1803) から文化6年 (1809) までの記録。

252 御年表抜書　16.11—104
手写
37丁　23.5cm
12代前田斉広，13代斉泰の略年譜で，天明2年 (1782) より天保6年 (1835) まで。嘉永元，3年の付札あり。

253 御家譜書次之控　16.11—105
手写
3丁　12×32cm
文政7年～8年 (1824～6) の13代斉泰年譜の補遺。

254 藩公本紀下書　16.11—106
手写
7丁　24cm
内容は天保より安政まで。13代斉泰。
旧書名「藩公本紀」

255 御累譜　16.11—107
手写
8丁　24cm
13代斉泰の子女とその生母の簡単な系譜。
「山崎籍侃編集菅家系譜書継之下物之體」の下げ札がある。

256 前田斉泰履歴等　16.11—108
金沢藩編
手写
16丁　27cm
金沢藩の報告書の写。内容は文政5年 (1822) の元服より明治元年に至る。

257　斉泰公家乗　　16.11—109
手写
2冊　26.5cm
巻十三之上，巻十三之下2冊。13代藩主経歴。
旧書名「家乗」。

14代　慶　　寧

258　従三位様御年表　　16.11—110
手写
2冊　23.5cm
14代慶寧の年譜。
① 天上，下弘化2年～文久4年(1845～64)
② 地　文久4年～慶応元年（1864～65）

259　筑前様御年表　　16.11—111
手写
9冊　23cm
14代慶寧の年譜。
① 文政12年～天保元年（1829，30)
② 天保2年（1831)
③ 天保3年（1832)
④ 天保4年（1833)
⑤ 天保5年～天保7年（1834～36)
⑥ 天保8年～天保11年（1837～40)
⑦ 天保12年～天保14年（1841～43)
⑧ 弘化元年～弘化3年（1844～46)
⑨ 弘化4年～嘉永3年（1847～50)

260　恭敏公御家乗草稿　　16.11—112
大島善太郎編
自筆
5冊　25cm
「未修正分」の注記あり。14代慶寧の年譜の稿。
① 天保元年～嘉永3年
② 文久3年～明治3年
③ 慶寧2年，3年
④ 明治元年
⑤ 明治2年

261　恭敏公御家乗草稿　　16.11—113
大島善太郎編
自筆
3冊　24cm
① 天保元年～慶応元年（1830～1865)
② 慶応2年，慶応3年（1866，67)
③ 明治元年（1868)

262　金沢藩知事前田慶寧履歴等　　16.11—114
金沢藩編
編者手写　明治3年（1870)
合綴1（2冊　65丁）　27cm

263　前田慶寧履歴等　　16.11—115
手写
2冊　24cm
① 明治6年（1873）慶寧より儀正院歴史課の下条元春宛書類の控。
② 慶寧の歿後，明治8年利嗣より提出の控。慶応3年～明治元年分。

264　前田慶寧御達願伺御届書写等　　16.11—116
前田利嗣編
手写　明治8年（1875)
2冊　25cm
表題「戊辰十一月ヨリ癸酉五月四日ニ至ル故従三位慶寧御達願伺御届書写等」。明治元～6年間の政府および東京府から加賀藩・金沢藩・石川県宛の通達と，後者から前者宛の進達・願・届などを列記したもの。同文2部。

265　前田慶寧公履歴の増補　　16.11—117
手写　明治8年（1875)
20丁　25cm
履歴の増補分進達の控。慶応3年～明治元年の誤認・脱漏分を記す。進達者は前田利嗣。

266　前田慶寧履歴増補　　16.11—118
前田利嗣編
手写　明治8年（1875)
17丁　25cm
表題「丁卯十月ヨリ戊辰十月中故従三位前田慶寧ノ履歴等先達テ進達及ヒ候処誤且脱漏御座候ニ付増補等」。前書に同じ。

藩　　主

267　慶寧公家乘　　16.11—119
手写
101丁　27cm
家乘十四。表題に「不完」と貼紙あり。天保元年～明治3年（1830～1870）で中絶。
旧書名「家乘」

268　慶寧公家乘　　16.11—120
手写
4冊　27cm
同前を4分冊したもの。

269　慶寧公家乘　　16.11—121
手写
102丁　27cm
家乘第14巻の原稿である。

270　淳正公年表稿　　16.11—122
加藤　恒等編
手写
21冊　29cm
淳正公は前田利嗣（14代慶寧の長子）。内容は明治7～29年（1874～96）で，概ね1年1冊であるが，26・27年が欠けている。編者は加藤の他に，坪内一致，久田済時，多賀鰍らの名がある。

位　　記

271　菅原家古文書目録　　16.11—123
手写
2丁　24cm
美作国時代の菅原忠利から利啓までに受けた綸旨，感状などの一覧表。
旧書名「系譜及位記」

272　宣旨位記写　　16.11—124
前田家編輯方編
編者手写
3冊　27cm
歴代藩主が受けた口宣案，宣旨，位記を集めたもの。承応元年（1652）より明治2年（1869）まで。
① 松雲公・護国公・大応公・謙徳公。
② 天珠公・泰雲公・太梁公・金龍公。
③ 温敬公・恭敏公・附観樹公。

273　御代々様御敍任口宣等控　　16.11—125
前田家編輯方編
編者手写
239丁　23cm
内容は承応元年(1652)～明治13年（1880）で，前書の草稿と思われるが，明治以降の詔書や上納金受取などが含まれている。

274　中納言従三位御昇進御旧例　　16.11—126
御書物奉行・南御土蔵奉行所手写　天保10年（1839）
8丁　28cm
内容は，「寛明日記」，「東武実録」，「宝永五年御書留」，「御年表」の書抜で利常と綱紀の中納言従三位昇進に関したもの。

275　参議御昇進御位階御昇進幷御代替将軍宣下之砌御献上之覚　　16.11—127
3丁　12.5×18.5cm
内容は，元禄6年（1699）～正徳3年（1717）。5代藩主前田綱紀が参議に昇進した際および正徳2年（1712）に将軍が代替りした際の将軍家への献上品を記す。

276　護国公任叙書類　　16.11—128
前田家編輯方編
編者手写
50丁　26.5cm
前田吉徳が元禄15年6月9日正四位下左近衛権少将兼松平若狭守に任じた際の関係書類。

277　御作法書　　16.11—129
手写
1通　17cm
宝暦元年（1751）12月28日嘉三郎（9代重靖）が叙爵され上総介となったので御居間書院で，8代重熙に御礼申上げた時の作法。

年　　譜

278　加賀守様御転任之節前田兵庫・松平大弐奉書　16.11—130
1通　17cm
加賀守（治脩）が，安永元年（1772）12月左近衛権中将に転任した際，祝儀として肴をおくられたことの前田図書宛の返書。

279　松平大弐・前田兵庫連署状　16.11—131
松平康済・前田貞方著　安永2年（1773）
1通　38cm
安永元年12月，11代治脩の中将昇進に際して金沢の家老前田図書貞一が祝儀を献上したことに対し，江戸家老二名が治脩の意を受けて出した礼状。

280　治脩公奉画信像之記　16.11—132
田辺政巳手写
8丁　23cm
原本は文化7年（1810）成立。治脩は11代藩主。「梁公参議御転任ノ節奥御納戸奉行ヱ被仰出，京都大森三郎兵衛御尋之返書」。

281　大梁院殿御贈位勅使御下向件等記事　16.11—133
手写　大正6年（1917）
32丁　25cm
11代治脩に対して大正6年11月17日従三位を追贈された時集めた資料の綴り。勝興寺関係が多い。

282　温敬・恭敏両公任叙等書類　16.11—134
前田家編輯方手写　明治年間
100丁　23.5cm
温敬公は13代斉泰，恭敏公は14代慶寧。内容は嘉永6～明治15年（1853～82）。

283　中納言御任官御祝御能組　16.11—135
自筆　安政3年（1856）
21丁　21cm　袋入り
13代斉泰の安政2年12月15日権中納言任官の祝いのため，帰国後催された御能の番組。

284　恭敏公御昇進一件　16.11—136
横山政和編
前田家編輯方手写　明治年間
92丁　23.5cm
上下2巻。14代慶寧の正四位上昇進一件を記す。安政5年11月22日より同6年3月24日迄の書類を収む。

285　知事様従三位御昇進一件　16.11—137
手写　明治2年（1866）
21丁　24cm
知事は前田慶寧。

印　　譜

286　御歴代御実名等写　16.11—138
前田家編輯方手写　明治年間
128丁　23.5cm
6代藩主吉徳，7代宗辰，8代重熙，9代重靖の名乗，花押とその解説など。

287　斉泰公御名乗覚　16.11—139
1通　24.5cm
斉泰は13代藩主。利候（としよし）と名乗ることになったため，藩士で同名のものは改名すべきことを記す。

288　前田家判印鑑　16.11—140
森田良見編
自筆　嘉永7年（1854）
23丁　24cm
森田平次旧蔵。利家，芳春院，利長，玉泉院，利常，光高，綱紀，利政，利次，利治の判印を収録。

289　祖宗華押譜　16.11—141
手写
7丁　27cm
高徳院（利家）・瑞龍院（利長）・微妙院（利常）・陽広院（光高）・松雲院（綱紀）・護国院（吉徳）・大応院（宗辰）・謙徳院（重熙）・天珠院（重靖）・泰雲院（重教）・大梁院（治

脩）・金龍院（斉広）・観樹院（斉敬＝重教の長男）を含む。

290　華押印譜　　15.11—142
手写
31丁　27cm
加賀藩主の他，富山侯・大聖寺侯の一部を含む花押一覧。

291　御封印　　16.11—143
手写
4枚　7.5×2.5cm　包紙入
藩主使用の封印判2種4枚。天保7年(1836)。

292　恭敏公私印用法　　16.11—144
18丁　19cm
恭敏公は14代藩主慶寧。どのような時にどのような印を使用したかの一覧

定　　紋

293　御定紋之考　　16.11—145
井上尚賢著
自筆　文政11年（1828）
15丁　18cm×13cm
前田藩主家と同胞諸家の定紋の由来と差異をまとめたもの。井上尚賢(悟平)は横山蔵人家臣で禄40石。

294　御定紋之考　　16.11—146
井上尚賢著
前田家編輯方手写　明治年間
15丁　25cm
前書の写本。
附，前田土佐守紋改之事（前田貞醇旧蔵の写）

特16.12　事　　蹟

累　　代

295　前田創業記　　16.12—1
河内山昌実撰
手写〔延宝3年（1675）〕
5冊　25cm
天文7年（1538）利家の誕生から，元和元年（1615）3代利常の大坂落城までの出来事を編年体に漢文で記載したもの。署名の除行子は河内山与五右衛門昌実で長連頼の家臣という。子孫加賀藩に仕える。

296　前田創業記　　16.12—2
河内山昌実撰
手写
33丁　24cm
前書の5冊本の第1冊のみであるが，巻頭の系譜に少し増補がある。

297　菅君雑録　　16.12—3
高畠定延編
手写
49冊　26.5cm
初代利家の誕生から延享4年までを編年に集成。本条の下に註釈を記載し，布達文ものせた良書である。著者は通称左門700石大小将組，寛延元年小松馬廻番頭，10年7月17日歿，73才。
① 天文7年（1538）～天正11年（1583）
② 天正12年（1584）6月～12月
③ 天正13年（1585）～18年（1590）
④ 天正20年（1592）～文録4年（1595）
⑤ 慶長元年（1596）～9年（1604）
⑥ 慶長10年（1605）～19年（1614）
⑦ 元和元年（1615）～9年（1623）
⑧ 寛永元年（1624）～8年（1631）
⑨ 寛永9年（1632）～20年（1643）
⑩ 正保元年（1644）～明暦2年（1656）
⑪ 明暦3年（1657）～万治3年（1660）
⑫ 寛文元年（1661）～12年（1672）
⑬ 延宝元年（1673）～天和3年（1683）
⑭ 貞享元年（1684）
⑮ 貞享2年（1685）
⑯ 貞享3年（1686）
⑰ 貞享4年（1687）
⑱ 元禄元年（1688）
⑲ 元禄2年（1689）

⑳ 元祿3年（1690）
㉑ 元祿4年（1691）
㉒ 元祿5年（1692）
㉓ 元祿6年（1693）
㉔ 元祿7年（1694）
㉕ 元祿8年（1695）
㉖ 元祿9年（1696）
㉗ 元祿10年（1697）
㉘ 元祿11年（1698）
㉙ 元祿12年（1699）
㉚ 元祿13年（1700）
㉛ 元祿14年（1701）
㉜ 元祿15年1月（1702）～4月
㉝ 同　年4月～6月
㉞ 同　年7月～12月
㉟ 元祿16年（1703）
㊱ 宝永元年（1704）
㊲ 宝永2年（1705）
㊳ 宝永3年（1706）
㊴ 宝永4年（1707）1月～6月
㊵ 同　年7月～12月
㊶ 宝永5年（1708）1月～4月
㊷ 宝永6年（1709）1月～8月
㊸ 同　年9月～12月
㊹ 宝永7年（1710）1月～7月
㊺ 同　年7月～12月
㊻ 宝永8年（1711）1月～8月
㊼ 正徳元年（1711）9月～12月
㊽ 正徳2年（1712）1月～6月
㊾ 延享4年（1749）

298 菅家要録　16.12—4
手写
42丁　28cm
山崎範淑旧蔵。表紙題名の下に「慶長五年大勝持攻城　浅井縄手迫合」と記してある。

299 利家公より利常公迄御働之事　16.12—5
手写
36丁　24cm
青山徳次旧蔵。主に利家・利長の各地における戦功について記す。

300 前田興盛伝記　16.12—6
小瀬良正（復庵）編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
原本の成立は寛政12年（1800）。上，下2巻。利家・利長・利常の事蹟録。内容目録はつぎのとおり。
上巻—利家公出身并諸所武勇之事・荒子入城并奥村永福事・利家公知能州附信長公父子生害之事・豊臣氏勃興附柴田佐久間滅亡之事・薩州相州征伐并朝鮮出陣之事・秀頼公誕生并秀次公薨死之事・朝鮮帰陣并秀吉利家両君薨去之事・景勝三成叛逆并内府公会津発向之事・小松城攻并大聖寺落城之事・徳川家父子出陣附帰府并岐阜落城之事・両御所進発并伊勢崎城軍之事・関ケ原合戦并石田三成等敗北之事佐和山落城附石田党被誅事
下巻—乱後政道并諸家賞罰之事・利長公致仕并利常公嗣続之事・京都大仏造営附大坂乱起之事・大坂冬陣并加州貴口附和睦之事・翌年夏陣并落城附秀頼公生害之事・利常公治国并御代々相続之事・附録之事。

301 乙卯集録併辛酉癸亥集録　16.12—7
手写
18丁　28cm
利家・利長・利次・光高・利次・利治の略年譜と，河内山半左衛門・篠嶋豊前・関屋新兵衛の覚書ほか。成立は夫々延宝2および9年，天和3年である。

302 沢　存　16.12—8
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
131丁　23cm
内容は利長・利常・光高の書状・和歌の写，寛永10年金銀の御道具の御帳，寛永・明暦の金銀出入覚，米，味噌など台所用品御定，利家・利長の判物写。

303 御家旧記　16.12—9
手写

30丁　23cm
利家から綱紀までの雑留。

304　御年表・御夜話抜書　　16.12—10
手写
39丁　13cm×18cm
内容は御年譜，御夜話，混見摘写，見聞集からの抜書きで，天文から宝暦にわたり雑然としたもの。

305　小説類集　　16.12—11
手写
45丁　27cm
内容は諸侯，とくに前田氏代々（綱紀頃まで）の逸事を記載。

306　前田之譜　　16.12—12
手写
86丁　23cm
5代までの藩主や藩士その他に関する様々な聞書を順不同に列挙したもので，「利家公之譜」「利長公之譜」「利常公之譜」「陽光公之譜」「松雲公之譜」の5部より成る。脇田尚保旧蔵。

307　箕浦聞書　　16.12—13
箕浦五郎左衛門高良編
手写
34丁　23cm
原題「箕浦五郎左衛門聞書」。寛文12年（1672）成立。畠山，上杉，佐々，前田利家，柴田，佐久間らの武将に関する聞書。著者は加賀藩士，禄300石，巻尾にその簡単な系譜が，森田良見の筆で記されている。

308　前田利為家伝　　16.12—14
土田　泰著
自筆　明治35年（1902）
16丁　27cm
利為は前田家16世ボルネオで戦死。内容は前田家小伝で，利家から6代吉徳までは略伝，7代以降利為までは僅か12行に収めてある。

309　信長記・亜相公御夜話・太田旧記・土方家系　　16.12—15
手写
9丁　15cm×18.5cm
表記の書よりの書抜。
旧書名「信長記等旧記抄」

310　奉賛高徳院殿　　16.12—16
象山徐芸等撰
手写
7丁　24cm
前田恒敬旧蔵。
内容は，利家奉賛詩（慶長4，前総持寺住持象山徐芸）・利家奉賛文（延享2，宝円寺住持寂庵道光）・重祺同（宝暦5，同香外石蘭）・重教同（天明7，同巨海匡津）・治脩同（文化9，同慈鼎九峰）。

311　荒子城址取調書　　16.12—17
前田家編輯方編
編者手写　明治21年（1888）
24丁（付絵図4枚）　23cm
編輯方が三好保弘を通じて尾張荒子城址の調査をした時，同村加藤茂平と同村役場から出された記録の写。

312　尾張国荒子村・前田村事蹟略書　　16.12—18
手写
18丁　24cm
内題は「荒子村誌一端」。荒子村誌と前田村事蹟を一部抜書したもの。

313　前田御家雑録　　16.12—19
前田家編輯方手写　明治年間
102丁　23cm
前田家略譜，知行軍役之定，高徳院（利家），瑞竜院（利長）の遺言，起請文，前田家代々の法名，菩提所などの雑録。巻1とあるが2以下は不詳。

314　御年譜幷雑観談叢抜萃　　16.12—20
真　斎編
自筆　嘉永元年（1848）

67丁　12×17.5cm
前田栄次郎旧蔵。御年譜は寛永13年（1636）より享保4年（1719）間，大部分は雑纂談叢その他からの抜書で雑多な内容。

315　藩公歴伝　　16.12—21
赤井直喜編
自筆　明治21・22年（1887・88）
6冊　17.5×12cm
① 松雲公（逸話）
② 松雲院様御伝略御年表等之内抜書下物
③ 護国院様御年表等之内抜書下物
④ 重熙様御伝略之内抜書下物
⑤ 斉広様御伝略等之内書抜
⑥ 恭敏様被仰出候御分自分在勤中之手留之内書抜

初・2代　利　家・利　長

316　垂統別史・同考拠　　16.12—22
西坂　衷著
前田家編輯方手写　明治年間
5冊　27cm　箱入り
別名「藩祖盛烈記」。前田利家の伝記を漢文で記したもの。
4冊7巻，天保9年（1838）成立。第5冊は「垂統別史考拠」と題され，前書の出典と異説を列挙したもの。1冊7巻，天保13年（1842）成立。旧書名「垂統別史」

317　続読垂統別史　　16.12—23
津田鳳卿著
手写
37丁　29cm
垂統別史の内容の正誤や字句の適否について論じたもの。

318　垂統別史異同考　　16.12—24
湯浅祇庸編
手写
15丁　29cm
前記津田鳳卿の「読垂統別史」はやや煩瑣なので，事実の正否のみについて，津田説を引用しながら自説を述べるとしたもの。

319　垂統別史抄　　16.12—25
手写
巻子1　24cm
垂統別史の抜書に乗馬心得がはさまっていたりする半端もの。

320　高徳公戦功記　　16.12—26
手写
6冊　25cm　包紙入
① 天文20年，弘治，永禄，元亀，天正9年迄。信長記抜書
② 天正10年。戦功記
③ 天正12年。戦功記
④ 天正13年。利家戦功記
⑤ 天正15年。戦功記
⑥ 慶長3年，同5年。戦功記

321　高徳公御事蹟　　16.12—27
三好保弘著
前田家編輯方手写　明治21年（1888）
44丁　23cm
内題は「高徳公等御事蹟」である。利家の事蹟の外に，村井長頼と奥村永福の戦功が附記されている。

322　高徳公事蹟二種　　16.12—28
前田家編輯方手写　明治23年（1890）
71丁　23cm
内題は「高徳公御事蹟旧記二種」で，一は「大納言利家公様天文六酉歳云々」で利家から7代宗辰までの略暦。国田武信旧蔵の写。二は「長谷川所蔵旧記」で利家の事蹟。長谷川某旧蔵。片岡孫作手写。

323　野口之布講述筆記　　16.12—29
前田家編輯方手写　明治年間
42丁　23.5cm
前田家編輯方の野口之布が講述し，戸水信義が筆記した記録。

利家公御事蹟壱（明治23年6月20日，24日講述）
〃　　二（〃　24年5月27日　〃　）
〃　　三（〃　24年9月20日　〃　）
利春公，利久公御事蹟第壱
（明治23年7月16日講述）
〃　　第二（〃　23年10月3日　〃　）

324　利家公御代之覚書　16.12—30
村井長明編
手写
171丁　24cm　箱入
村井家覚書で，別名は「亜相公御夜話・陳善録・利家夜話・高徳公夜話・村井又兵衛聞書・加州献納記」。利家の座談を村井長明（1582～1644）が覚書きしたもので，長明の自筆本といわれている。刊本「御夜話集」上下に収められている。

325　村井重頼覚書　16.12—31
村井重頼（長明）著
前田家編輯方手写　明治年間
113丁，23cm
重頼は文祿4年小姓となり，利家，利長に仕えた。この書は長明を称した時期の著で，内容に前田内蔵允（寛永18年），石黒古庵宛（寛永20年）の書状や利家についての解説等を含む。

326　夜話抜書　16.12—32
手写
40丁　22cm
村井又兵衛覚書（亜相公御夜話）からの抜書。

327　村井又兵衛并笠間儀兵衛ヨリ書上候記録写　16.12—33
手写
合綴1（2冊）　24cm
永山平太，笠間徳太郎旧蔵の写。
①　は「延宝弐年十月晦日村井又兵衛より加賀守様へ上申候記録の写」
②　は「笠間儀兵衛より書上候書物弐巻之写」で，前者は利家，利長，利常の略年譜，後者は，元和5年（1619）と寛永14年（1637）の書上で専ら利家についての覚書。

328　村井又兵衛書状之写　16.12—34
村井長明編
手写
巻子1　24.5cm
長明が藩侯利常の質問に答えたもの。利家とその類縁，関東・越中・関ケ原の各陣などについて書いてある。なお，同趣旨のもの全部を集めたのが「村井重頼覚書」である。

329　利家記　16.12—35
村井重頼（長明）編
手写
5冊　25cm
内題「菅利家卿物語」。巻末に「明治廿年九月以勘十郎自筆本校正」と朱書してあるが本文の手写は古い。別名「亜相公御夜話」と同内容。

330　亜相公夜話　16.12—36
村井長明編
有沢永貞手写　正徳元年（1711）
134丁　17×19cm
校訂の朱書も永貞である。

331　高徳公御夜話　16.12—37
村井長明編
手写
3冊　27cm
別名「亜相公夜話」，「陳善録」等。巻末に「元文二年五月九日梅溪蝸栖窓下起禿毫六月四日終机上」源政徳とある。その写であろう。

332　村井勘十郎物語　16.12—38
村井長明編
前田家編輯方手写　明治年間
69丁　23cm
別名「亜相公夜話」，「高徳公夜話」などと呼ばれるもので，題名の「村井勘十郎物語」を「陳善録」と朱で改めてある。中表紙に「多少之異同アリ」と朱書されている。

333 創業雑記　16.12—39
村井長明編
手写
3冊　26cm
別名「亜相公御夜話」「陳善録」など。

334 利家公御夜話　16.12—40
村井長明編
手写
3冊　23cm
別名「亜相公夜話」「陳善録」等。表題は単に「夜話」。

335 貞卿記録　16.12—41
手写
8冊　23cm
前田利家を中心とする戦国期の記事。内容は
① 前田氏系図（利春—綱利）ほか
② 利家戦歴
③ 織田信孝，秀吉不和ニ付利家上洛等2編
④ 佐々成政東美濃へ打越等13編
⑤ 蓮間表焼働のこと他11編
⑥ 豊後国岩酌城攻撃
⑦ 石田三成西国下向のこと他13編
⑧ 薩長19年大坂陣の書留。

336 能州国司畠山殿伝記　16.12—42
山崎屋五郎右衛門手写　宝永4年（1707）
25丁　21.5cm
七尾落城とその後の長氏・前田利家の活躍を記す。

337 利家卿の朝廷に対する事跡拠典　16.12—43
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
39丁　24cm
御湯殿上日記など10種よりの関係部分の抜写し。

338 北陸三国志　16.12—44
前田家編輯方手写　明治19年（1886）
65丁　23.5cm
香川基緒旧蔵の写。
山田四郎右衛門編「三壺聞書」から，真宗の僧峻旭が前田氏に関係あることのみを抜いて，題名を「北陸三国志」とかえた。元本は15巻（または9巻）で，この写本は第5巻のみの零本。完本ではないが5冊本が別の文庫にある。

339 聞老遺事抄　16.12—45
前田家編輯方手写　明治年間
22丁　25cm
梅内祐訓の著書から利家に関する記事を抜き出したもの。南部利恭蔵の写。

340 聞見事記抄　16.12—46
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24.5cm
内閣蔵本「聞見事記」下から利家に関するものを抜書。原本は元亀四年（1573）成立。
旧書名「高徳公見聞事記」

341 前田出雲覚書　16.12—47
前田貞里編
手写
6丁　24cm
別名「高徳院戦功残遊覚書」。前田出雲貞里は利家の5男の子。明暦3年没，41才。

342 前田出雲覚書　16.12—48
前田家編輯方手写　明治年間
9丁　24cm
同前。

343 東路記　16.12—49
手写
17丁　23cm
別名「高祖妣御記」。利家の正室松子が慶長5年（1600）5月伏見を立ち，人質として江戸に赴く旅を仏心を以て叙したもの。末尾に「慶長七年九月如意珠日」とある。その写。松子は天文16年（1547）尾張国に生れ元和3年（1617）歿，71才。法号芳春院。

344 前田家系武略伝記　16.12—50
田中直政手写　天保９年（1838）
27丁　23cm
前田慶次郎と前田又次郎の武勇伝および利家の一生を武辺的立場から記述。附録として前田４家の系図を載せている。

345 国祖遺言　16.12—51
前田知好編
手写　明治10年代
88丁　24cm
利家が家臣に話した言葉や物語を集めたもの。利家の３男知好の筆記と伝えられるもの。加藤里路旧蔵の写。明治26年校合。

346 国政雄略　16.12—52
山森俊重撰
山森弘手写　享和４年（1804）
72丁　26.5cm
原題は「国政雄略附タリ三郡戦記并先祖由来家門之品覚書」で上中下３巻。元禄15年（1702）成立。草創期の利家，利長の事蹟を記す。
撰者俊重は 2,050石の藩臣，宝永２年（1705）没。筆者弘は 500石，文化９年（1812）没。山森時新旧蔵。

347 利長公御時代覚書　16.12—53
手写
30丁　27cm
内題「中納言従三位兼肥前守利長公御年譜」。編輯方で「利長公年譜」と改題したもの。永禄５年(1562)誕生から慶長19年卒去までの年譜。

348 利長公御代之おほへ書　16.12—54
村井長明著
手写
31丁　24cm　箱入
別名「象賢紀略」「村井勘十郎筆記」。慶長４年（1599）利家の死去から同７年太田但馬守長知の殺害までを記す。長明の自筆と思われるもの。刊本「御夜話集」に収められている。

349 利長公御代之おほへ書　16.12—55
村井長明編
手写
30丁　24cm

350 横山如雲口上之覚　16.12—56
横山好直口述　横山長知筆記
手写
19丁　23cm
横山如雲は好直。横山長知の家臣。利長の事蹟について好直が述べたものを長知の名で指出している。但末尾の覚書は長知自身のもの。

351 横山山城守覚書　16.12—57
手写
５丁　23cm
別名「求旧紀談」「長知軍談」など。横山氏２代長知の覚書で利長の事蹟を記したものであるが，これはその一部の抜書き。完本は松雲公採集遺編類纂第164巻を見よ。
旧書名「横山隆平家蔵古文書等」
３・４代　利　常・光　高

352 微妙公御夜話　16.12—58
手写
２冊　27cm
上巻は刊本の「微妙公御発語」，下巻は「微妙公御夜話異本」上巻であるが末尾数箇条がちがっている。福島正則の広島城引渡之覚などが付いている。

353 微妙公御夜話　16.12—59
手写
54丁　29cm
表紙の附箋に「微妙公御発語同書」とあり，内容は79条に分けてあるが，末尾３か条が刊本と異っている。

354 小松御記　16.12—60
手写
22丁　23.5cm
脇田尚保旧蔵。「微妙公御発語」（「利常公御夜話」）の抄本。

355　微妙公御発語　16.12—61
前田家編輯方手写　明治年間
45丁　24cm
微妙公御夜話の上巻にあたるもの。

356　微妙公御夜話　異本　16.12—62
手写
95丁　24cm
刊本と同内容である。上下2巻1冊。

357　微妙院様御夜話　16.12—63
山本基庸（源右衛門）編
手写
73丁　22cm
副題に「山本源右衛門覚書」とあり。別名「微妙公御遺事」「微妙公夜話録」「山本随筆」など。基庸が，利常に仕えた諸士・町人の物語りによって利常の行状・談話を録したもの。後半に「利常公御夜話」上巻の大半が附記されている。

358　微妙院様御夜話　16.12—64
山本基庸著
前田家編輯方手写　明治年間
34丁　24cm
別名「微妙公御遺事」「山本源右衛門覚書」

359　微妙公御遺事　16.12—65
山本基庸編
手写　天保6年（1835）7年補
50丁　24cm
別名「微妙公夜話録」など。序跋のほかに，基庸と有沢武貞の往復書簡および，容膝窩主人なる者が父から聞いた利常の逸話を10話ほど補記してある。筆者拙寛は不詳。岡田様旧蔵。

360　微妙院殿御夜話　16.12—66
手写
22丁　24cm
山本源右衛門の微妙院様御夜話の抄本であるが，可観小説の抄も少しまざっている。

361　微妙公御夜話　16.12—67
望雲軒虚堂子著
26丁　24cm
成立は享保3年（1718），著者の虚堂については不詳。下巻のみ。別名「微妙公御発語」「微妙公遺事」「利常卿御夜話」など。

362　微妙公御夜話　16.12—68
望雲軒虚堂子著
40丁　24cm
同前。下巻のみ。

363　利常公御夜話秘録抄　16.12—69
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　24cm
岸秀実旧蔵の写し。

364　利常公御夜話　16.12—70
手写
2冊　23cm

365　利常公夜話　16.12—71
手写　明治16年（1883）
38丁　24cm
「原書旧藩士加藤恒ヨリ御借用ニテ写出来」「拾簗名言記ノ下半ニ同ジ」とある。順序に多少出入がある。刊本上巻の末尾と下巻である。

366　利常卿御夜話　16.12—72
森田良見（柿園）編
前田家編輯方手写　明治年間
38丁　24cm

367　利常公紀事　16.12—73
手写
130丁　24cm
有沢氏旧蔵。注記に「此書拾簗名言記上半と利常公夜話下半ニ同シキモノナリ」とある。活字本では「拾簗名言記」上半と「微妙公御発語」下半で，中間には雑然とした箇条がある。前の半分は有沢武貞の手写であろう。

368　拾篡名言記　16.12—74
手写
75丁　25.5cm
題名は拾篡名言記とあるが，初めの方４分の１がそれで，あとは微妙公御発語，微妙公御夜話異本上の３分の２と下少し，その他の順に混合したもの。刊本参照。

369　拾篡名言記抜書　16.12—75
前田家編輯方手写　明治年間
30丁　23.5cm
毛利詮益の拾篡名言記（別名，龍作夜話）の上巻の下半と下巻である。

370　龍作夜話　16.12—76
毛利詮益（あきます）編
手写
100丁　27cm
別名「拾篡名言記」。詮益は寛永18年（1613）13才より30才まで利常に小姓として仕え，直接の見聞を記したもので，夜話のうちで価値の高いものである。成立天和２年（1682）。刊本もあり。

371　小松群談　16.12—77
毛利（氏治）詮益編　今枝直方註
前田家編輯方手写　明治年間
103丁　23.5cm
原名「小松黄門御夜話」（小松黄門は利常）。今枝直規原蔵本を正徳５年今枝直方手写それの写し。原本は天和２年（1682）成立。内容は詮益の「拾篡名言記」に直方が各条毎に評釈を加えたもの。

372　微妙院様落胤一件口上書　16.12—78
手写
~~仮綴十一~~５通　25.5cm
微妙院は３代藩主利常。寛文５年（1665）越中戸破村生まれの娘が利常の落胤であると申立てたのでその取調べ一件。中川典克旧蔵。

373　松梅語園抄　16.12—79
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴１（59丁）24cm
松梅語園は坂垣信精著３冊。徳川氏，前田氏の故事と藩主の「夜話」抜粋を載せたもの。本書はその第２および３から微妙院関係のものを抜書きしたもの。

374　利常公盛徳　16.12—80
南部祇知著
手写　明治21年（1888）
９丁　24cm
南部祇知旧蔵。利常の実父は利家でなく秀吉で，その秀吉は皇子であるという処論。自筆か？

375　微妙院様御直之御意覚書　16.12—81
藤田安勝編
前田家編輯方手写　明治年間
56丁　23cm
著者が若年の頃５年間奥小姓として仕えた利常の日常の言行を晩年に書きとめたもの。原本は享保５年（1720）成立。奥村栄滋蔵の写し。別名「微妙公御直言」。

376　微妙公御直言覚　16.12—82
藤田安勝編
手写
101丁　27cm
内題「微妙院様御直之御意覚書」。内容同前。

377　微妙公御上洛考　16.12—83
森田良見編
13丁　24cm
慶長16年（1611）より寛永11年（1634）までの９回にわたる利常の上洛についての簡単な記録。

378　微妙公御上洛考　16.12—84
森田良見（平之佑）編
手写
９丁　24cm

内容同前。横山政和旧蔵。

379　亀鶴姫様御事蹟旧記抜書　16.12—85
手写
7丁　24cm
亀鶴姫は前田利常の子女。慶長18年（1613）3月生れ。母は天徳院。徳川秀忠の養女となり，寛永3年（1626）美作国津山藩森忠政の嫡子忠応に嫁す。寛永7年歿，18才。

380　陽春院様一件　16.12—86
手写
仮綴1（7通）27cm　包紙入
陽春院は加賀藩主3代利常の子松姫。陽春院に仕えた女官名，書状など。元禄13年（1700）。

381　微陽両公遺事　16.12—87
前田家編輯方手写　明治年間
35丁　23.5cm
利常（微妙公）・光高（陽広公）の逸話を集めたもの。

382　微陽両公夜話抄　16.12—88
前田家編輯方手写
58丁　25cm
微妙公御夜話，小松中納言御夜話，御直言覚書，微妙公御遺事および妙陽両公遺事の雑多な抜書きで，大部分は家臣関係のものである。
旧署名「微陽両公遺事抄」。

383　夜　　話　16.12—89
今枝直方編
手写
101丁　23cm
上下2巻。今枝直方が20才の時，寛文12年（1672），有沢俊貞，前田直忠，奥村庸礼，菊池直辰らの重臣から聞いた事柄を記したもので，利家の代から明暦の大火まで，3代利常，4代光高に関すること，その他藩外のことも記している。一説に同じ直方の著「悦草」の稿本ともいう。

384　陽広公偉訓附教歌　16.12—90
前田光高述　富田景周校
景周手写　寛政6年（1794）
41丁　28cm
4代藩主光高の士人に対する訓戒52条を記したもので，景周が流布本の陽広公夜話を校して改題した。別に陽広公道歌百詠110首を附す。夜話の序文は延宝5年（1677）であるが撰者は不詳である。

385　陽広公偉訓附教歌　16.12—91
富田景周校
手写
46丁　27cm
前書の写本であるが，末尾に光高の教歌以外の秀歌を10首ばかり附けてある。

386　陽広公偉訓　16.12—92
富田景周校
岩原智敬手写　文政7年（1824）
40丁　24cm
同前。

387　陽広公御夜話—偉訓—　16.12—93
手写
48丁　27cm
教歌も載す。

388　陽広公御夜話　16.12—94
手写
36丁　27cm
偉訓のみで教歌を欠く。

389　陽広公偉訓　16.12—95
横山政和手写　明治6年（1873）
38丁　23cm
富田景周の同名原本をもとに更に序文を追加したもの。

390　陽広公遺事　16.12—96
森田良見編
自筆　明治27年（1894）

3冊　23cm
光高について夜話録がないため，それを補う目的で，公の行状を可観小説等76部から抜いて編集したもの。

5～10代　綱紀（つなとき）・吉徳（よしのり）・宗辰（むねとき）・重熙（しげひろ）・重教（しげみち）

391　貞享五年記事　16.12—97
手写
52丁　21.5cm
5代藩主綱紀の1カ年の治政日録。筆者不詳。整理題名「武道雑談集五十六」は所持者有沢貞庸の筆である。
旧書名「御当代記事」。

392　松雲公御夜話　16.12—98
中村（典膳）克正編
手写
4冊　27cm
正篇2冊，追加2冊。別名，参議公御夜話，中典秘録。中村克正が綱紀に近侍して聞いた談話を録したもの。正篇は宝永3年10月16日～享保8年12月18日に及ぶ225条より成り，これを享保10年（1727）に6代吉徳に献上し，さらに同追加131条を編して延享3年（1746）に7代宗辰に献上した。その写し。

393　松雲公御夜話追加　16.12—99
中村（典膳）克正編
手写
45丁　23cm

394　松雲公御坐右銘浅解　16.12—100
陸原之淳著
自筆　嘉永3年（1850）
3丁　24.5cm
陸原久次郎之淳は明倫堂助教，教授，侍読を歴任。

395　松雲公と新井白石との関係　16.12—101
手写
5丁　24.5cm

396　御誕生より御家督迄覚書　16.12—102
富田甚五右衛門重貞著
自筆　享保8年（1723）
84丁　12×18cm
6代藩主吉徳の誕生元禄3年（1690）から，御家督の享保8年（1723）までの交際を主とし家臣のことなどを日付をあげて記したもの。重貞はその間，吉徳の御部屋附物頭であった。富田権六郎旧蔵。

397　御当代記事　16.12—103
手写
2冊　21.5cm
内題は「御当世治事」。6代吉徳の治政覚書。第1本は享保9，10年（1724—25），第2本は同　9，10，11年である。表紙にある「武道雑談集」の筆者は，所蔵者有沢貞庸である。

398　護国公御記　16.12—104
手写
54丁　23.5cm
内題は「護国院殿吉徳公之記」。内容は享保14～元文元年（1729—36）。青山徳次旧蔵。

399　大応院様御夜話　16.12—105
有沢致貞（惣蔵）編
10丁　24cm
大応院は7代宗辰。致貞は宗辰の帰国中前後二回軍学の講義をした。その折直接聞いた話を綴ったもの。成立延享4年（1747）。有沢貞庸旧蔵。

400　大応院様御夜話　16.12—106
有沢致貞（惣蔵）編
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　24cm

401　大応院御逝去前後覚書　16.12—107
手写　延享3年（1746）
仮綴2（6枚・3枚）25×35cm
大応院は7代藩主宗辰。延享3年（1746）11月26日から12月16日迄の日録。宗辰は12月8日卒

去。22才。

402 謙徳公御夜話　16.12—108
志村識行（五郎左衛門）編
手写
30丁　28cm
謙徳公は8代重熙。成立天明3年（1783）。別名「重熙公御夜話」，「謙徳公御意覚」，「苗秀秘録」など。追加13条がついている。

403 謙徳公御意覚　16.12—109
志村識行編
手写
20丁　23.5cm
内容は謙徳公御夜話と同じ。ただし，追加を欠く。

404 謙徳公御夜話　16.12—110
志村識行（五郎左衛門）編
吉岡伝手写　享和2年（1802）
20丁　24cm
追加を欠く。旧書名「謙徳公御意覚」

405 謙徳公御夜話　16.12—111
志村五郎左衛門編
前田家編輯方手写　明治年間
32丁　27cm
前田大炊旧蔵本の写し。別本で校補。別名「謙徳公御意之覚」

406 謙徳公御夜話　異本　16.12—112
小堀定明（牛右衛門）編
手写
8丁　11.5×17.5cm
成立天明2年（1782）。12章の小篇。

407 泰雲公御事蹟抜書　16.12—113
前田貞一手写
12丁　20cm
泰雲公は10代重教，表紙の注記には，内容は宝暦3年，寛保元年（1814）の事柄少々と，泰雲公誕生より隠居後の明和9年（1772）までの抜書なり，とある。前田貞醇旧蔵。

408 観樹公冒行録　16.12—114
手写　安政5年（1858）
16丁　24.5cm
巻尾に神田直方の書添えあり。観樹公は10代重教の長子斉敬（なりたか）。安永7年生。11代治脩の養子となったが寛政3年6月歿18才。
別名「観樹公御夜話」

409 観樹公冒行録　16.12—115
手写
15丁　24cm

12～14代　斉広（なりなが）・斉泰（なりやす）・慶寧（よしやす）

410 竹沢御殿ニテ御教諭一件等　16.12—116
手写
21丁　24.5cm
文政7年（1824）の初め，12代斉広はその隠居所竹沢御殿に教諭局を設け，12名の局員をおき自分も加わって，政務を論じたり，雑談をしたりした。これは同年2月，3月，5月における会合の記録の写。

411 賢良公子御夜話　16.12—117
金谷（多門）武英撰
手写　明治19年（1886）
9丁　24cm
賢良公子は12代斉広の13子延之助。文政4年（1821）生。天保5年7月，14才で卒す。法号賢良院。

412 真龍夫人小伝　16.12—118
近藤磐雄撰
手写　大正14年（1925）
2冊　25cm
真龍夫人は12代斉広正室。

413 真龍院様紀行等　16.12—119
前田隆（真龍院）著
前田家編輯方手写　明治年間

41丁　23cm
「自東都至金沢御紀行」（別名「真龍院君道記」）と「御昇任ニ付真龍院様御詠歌等」を収む。真龍院は12代藩主斉広の夫人隆（鷹司氏）の法号。天保9年（1838），52才にして始めて加州に来た。前者はその時の道中記。後者は安政2年（1855）斉泰が権中納言に昇進した折の，真龍院・姫君の詠歌と諸臣の慶賀詩歌集。

414　真龍院様・姫君様碑文附鷹司文思恭公小伝　16.12—120
御家録方編
手写　明治4年（1871）
5丁　24cm
真龍院墓誌は大島善の撰。姫君様は溶姫のことで13代斉泰の室で慶寧の母。慶応4年（1868）5月1日歿，56才，法号景徳院。墓誌は加藤豊房撰。鷹司文思恭公は政熙のことで，関白，真龍院の父。なお紙背文書あり。

415　勝千代様御年表　16.12—121
前田家編輯方手写　明治20年（1887）
7冊　23.5cm
内題は「勝千代様御誕生日記」で御附方の記録。前田貞醇旧蔵の写稿本1—6の写。内容は，
①草稿一（文化8～9年）
②草稿一（文化10～12年）
③草稿二（文化12～14年）
④草稿三（文化15～文政2年）
⑤草稿四（文政3年）
⑥草稿五（文政4年）
⑦草稿六（文政5年）

416　勝千代様御年表　16.12—122
手写
3冊　23.5cm
①は文化8（1811）～12年
②は文化13～文政2年
③は文政3～4年（1821）〔7冊本の文政5年を欠く〕。

417　勝千代様御年表　16.12—123
手写
7丁　14×20cm
同前のうち，文化8年3～7月のみの端本。

418　留　　帳　16.12—124
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　25cm
13代斉泰の幼少時について記す。内容は文化10年（1813）。

419　前田斉泰事蹟　16.12—125
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　25cm

420　文政五年覚書　16.12—126
1通　15.5cm
13代斉泰の文政5年（1822）の出府，改名次第，お目見御礼などの記事。

421　恭敏公御事蹟しらべ　16.12—127
手写
13丁　25cm
恭敏公は14代慶寧。公族譜督継ぎのための下調べである。成立安政4年（1857）。

422　前田慶寧勤王事績大要　16.12—128
癸丑以来事蹟取調方編
前田家編輯方手写　明治年間
~~合綴1冊~~〔5冊〕23cm
5冊とも各内容は大略同文。元治の変を中心に事蹟を顕彰したもの。明治26年（1893）前後，従二位追贈の資料として作製したものとみられる。

423　恭敏公勤王一件聞書　16.12—129
堀　政材述　石崎謙筆記
前田家編輯方手写　明治24年（1891）
34丁　24cm
明治24年9月，慶寧の近習として仕えた堀政材（通称四郎左衛門のち四郎）の口述を編輯方の石崎謙が筆記したもの。自筆であろう。

事　　蹟

424　慶寧公小伝逸事幷御詠　16.12—130
前田家編輯方手写　明治26年（1893）
10丁　25cm
「北陸新報」第5300（8月21日），5311（9月1日），5314号（9月4日）の抄録。

425　建国御進言写　16.12—131
手　写
1通　17cm
明治2年（1849）5月4日前田慶寧が朝廷の諮問に答えたものの写。

426　多慶若様御書留　16.12—132
御右筆部屋編
手写
43丁　25cm
多慶若は14代藩主慶寧の子利嗣。慶応4年（1868）～明治4年（1871）間の書状の控。

墓　　誌

427　御墓誌等　16.12—133
前田家編輯方手写　明治年間
48丁　23cm
利家以下藩侯関係の墓碑文，画賛など。細目—高徳公奏賦図函裏書，高徳公桶峡奏賦図賛（塩田華），高徳公画像賛（天叙叟），鍾馗馬幟等奉献記（今枝近義），瑞龍公神龕之碑，玉泉夫人画像函裏書（島玉岡），宗辰公画像賛（天徳雷洲），重靖公画像賛（同上），大梁公墓誌銘并考案（大島維直），金龍公墓誌（富田景周），斉広公画像賛（希運叟開），斉広公中陰拈香，隆子君碑銘，温敬公墓誌，家慶公筆月波画幅函裏書（前田斉泰），家斉公筆日出烏画幅箱裏書（同上），石川県戦死尽忠碑（同上），恭敏公墓碑，前田利武君墓誌，源公澄之甲冑寿容，菅総長卿梅花図箱裏書，鎌倉妙本寺寿福院殿日栄逆妙五輪塔側背面銘文。

428　御歴代御墓標草案之写　16.12—134
手写　明治7年（1884）
8丁　24cm
市河三亥旧蔵の写。利家から慶寧まで。

429　大梁院様御墓誌幷銘附考案　16.12—135
大島維直撰
手写
10丁　24.5cm
後欠あり。大梁院は11代治脩。大島維直は当時明倫堂助教。

430　金龍公墓誌幷銘　16.12—136
富田景周撰
手写
3丁　24cm
金龍公は第12代藩主斉広。成立文政7年(1824)。有沢氏旧蔵。

431　金龍公墓誌銘　16.12—137
富田景周撰
成瀬正敦手写　文政7年（1824）
2丁　24cm
前書と同文。

432　真龍院様御墓誌　16.12—138
大島　善撰
手写
1枚　24cm
真龍院は12代斉広夫人，明治3年（1870）6月8日歿，84才。

433　挺秀様御墓誌拓本　16.12—139
摺物1枚　46×69cm
挺秀は14代藩主慶寧の側室で父は久徳政信。天保元年正月23日生れ。明治38年12月28日76才歿。

特16.13　交　　際

総　　記

434　御家一巻　　16.13—1

手写

600丁　23.5cm

寛文より安永にいたる間の藩主と縁戚の，主として冠婚葬祭関係の事例を雑然と集めたもの。

- 正姫様御発輿ニ付御機嫌伺之留
- 中将様御賀御祝ニ付伴八矢御祝詞申上候右御返書留
- 御拝領之鶴御披ニ付御作法附伺
- 御婚礼ニ付年寄中等より献上物并惣代飛脚等之一巻
- 安永八年教千代様御養子ニ被為御祝義江戸表へ惣代飛脚横山求馬より指出候一巻，（字句多少消略，以下同断）
- 安永元年御転任為御祝義御肴献上ニ付御書并御請
- 教千代様御誕生為御祝義御肴献上ニ付御書并御請
- 中納言様御帰国之御暇加賀守御同道御登城之節保科肥後守殿御息女様加賀守様へ御縁辺被仰出事
- 貞享元年御領国御判物之写
- 御姫様長九郎左衛門方へ御輿入之義ニ付公辺御問合之事
- 御前様御着帯之節御書御請等前田三左衛門紙面
- 御代々様御家督之節年寄中等被召連御目見被仰付候覚書
- 顕姫様駿河守様へ御入輿等御作法書等
- 従二条様斐姫様へ御結納御使者御饗応之次第
- 直姫様御附人并御道中御供人等名書
- 栄君様御婚礼御当日御作法之書立
- 教千代様備姫様と御縁組ニ付伺之趣等覚書
- 御拝領之鶴御披ニ付御能被仰付物頭以上御料理被下候一巻
- 中将様御湯治御暇之御礼被仰上候御祝詞
- 寛保元年喜代姫様元文五年繁姫様宝暦二年揚姫様同八年操姫様御婚礼之節年寄中等より献上物之事
- 御城御造営出来ニ付御移徙之御作法江戸表へ之伺
- 天明八年御名代以美濃守様御判物御頂戴之一巻
- 天和二年鶴御披之節御能被仰付候義等之一巻
- 俊姫様御引移之義御弘之節御家老中被罷出候有無詮義之事
- 天明三年御弘之節御用番宅人持以下相勤候義御横目へ申渡候付札物
- 御領国御判物等御頂戴等之一巻
- 教千代様御宮参之節河内守宅修復等加へ申間敷旨等被仰出之趣
- 勝丸様御着袴之義享保十四年毎日帳書抜
- 年頭為御礼中将様御登城ニ付内膳等より之紙面
- 今度鳴動此表洪水ニ付肥前守様伺御容体勝興寺紙面返書
- 細川越中守様御卒去ニ付御前様伺御機嫌紙面
- 永昌院様御死去ニ付同紙面
- 顕姫様御結納并御婚礼相済候ニ付方々様へ之御祝詞
- 操姫様御結納之御祝詞且御婚礼ニ付献上物披露状
- 揚姫様御婚礼ニ付献上物披露状右御祝詞
- 延享四年宝暦三年御入国之節献上目録指上方
- 寵姫様被為入相公様初へ献上物之事
- 御前様御懐孕ニ付蟇目之仮屋等江戸表へ之紙面
- 右ニ付御親翰并因幡等紙面
- 将軍宣下ニ付淡路守様御書并森権太夫等への奉書
- 御入国御着城之即日御供人へ御料理被下候義ニ付紙面并返書等
- 西丸分限帳御丸分限帳之通新規相調可申旨紙面等
- 寿君様御疱瘡ニ付御祈禱并御進物等
- 中将様御昇進之刻禁裏等御進献物
- 八条様へ被為入候微妙院様御息女冨子様ト称候紙面
- 謙徳院様御気色御指重ニ付御養子御家督御願
- 於江戸御召連御供人御減少之義紙面

◦喜六郎殿御死去ニ付伺一件但右ニ付種々風評張文等
◦陽広院様御遺物公方様等へ御献上物
◦微妙院様等御骨高野山御納御石塔ニ付九里覚左衛門等紙面
◦高辻殿御家司罷越近衛准后様姫君教千代様へ御縁組御懇望一件
◦公義御判物
◦勢之佐殿御附頭等へ被仰出
◦於江戸御鷹場へ之御暇被進候義并御鷹場中御機嫌伺返書
◦富山大聖寺御分国年限ニ付書抜
◦寵姫様向後御前様ト被称候様被仰進候義ニ付紙面
◦造酒丞様松平之御称号并御乗輿之義ニ付返書
◦時次郎様御養子御願御内談之紙面写
◦中将様御入国之節之一件
◦若狭守様御麻疹為御尋上使有之候ニ付江戸表ヨリ返事
◦尾添荒谷両村公義へ被召上御代官所ニ被仰付候ニ付肥後守へ御尋之一件
◦淡路守様飛騨守様御領分此度別々ニ相成候旨紙面
◦肥後守様御尋ニ付今枝民部等紙面
◦甲府宰相様へ御祝義物御送有無之義御問合一件
◦御城御造営ニ付御聞届之旨之御奉書
◦貞享元年御拝領之鶴御披御能被仰付候一巻
◦天和二年鶴於御国初而御拝領御披御能一巻
◦元文五年参議御拝任ニ付日光へ御使一巻
◦安永四年中将様御湯治一巻
◦辰君様御色直為御祝義被下物之儀ニ付紙面
◦辻九郎病死之処中将様ニ茂御実いとこ之御続ニ付伺之趣
◦御前様御逝去ニ付為御機嫌使者之義等紙面
◦御出生之若子様御遣骸野田桃雲寺へ御移等之義ニ付寺社奉行ヨリ紙面
◦佐渡守様御逝去ニ付四辻殿ヨリ御見廻之御返事
◦泰雲院様御百ケ日ニ付御名代之義被仰出土佐守相勤申筈之処公方様薨去ニ付江戸へ伺
◦相公様御逝去ニ付品々

435　年寄中并執筆共廻状之控　　16.13—2
手写　明和9年（1772）～安永6年（1777）
139丁　24cm
藩主および一門の交際関係その他を記す。前田貞醇旧蔵。

436　御客方　　16.13—3
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
5冊　23.5cm
元禄の初期から安永7年（1778）までの来客とその接待の記録。前田貞醇蔵の写。

437　御国古談　　16.13—4
今枝直方編
48丁　19.5cm
「臣林氏上進反古内」「臣藤沢氏進上反古暗覚略」とあって今枝直方が編輯したもの。
内容は，
◦御祝言次第（不知誰様）　寛永3年（1626）
◦行幸之次第　元和6年（1620）
◦同時被進物
◦筑州公御元服略書　寛永6年（1629）
◦御成等雑略書　寛永6年
◦御成略献賜略書　寛永6年
◦十六将図略
◦清泰公御葬送略　明暦2年（1656）
今枝直規旧蔵。

438　御国古談　　16.13—5
前田家編輯方手写　明治年間
44丁　23cm
前書の写。

439　御三家並諸大名等作法　　16.13—6
手写
146丁　24cm
内容は享保～元文頃。目次はつぎの如し。
◦御三家并諸大名席並高附　◦交代寄合品訳
◦高家　◦御旗印并御番方指物　◦御軍役積り
◦御扶持方　◦官位叙任之次第同ク席官金御礼之事　◦御一字被下家筋　◦家督跡式一件伜御

目見　。縁組　。養子御暫附　。御役被仰付席御礼共ニ并引渡　。席暫御番所并殿中給様御料理席其外所々張札　。平日御役人詰所　。御規式順并万石以下席順役替之例　。諸役支配席高　。遠国奉行御暇参上拝領献上席付　。御関所一件，通手形共ニ　。諸国城主交代　。参勤御暇上使御礼席并帰国御礼之使者一件　。諸大名留守居之事　。公家門跡方御三家方殿中送迎　。刀持之事　。御成一件行列共，三季時服就上御内書渡方

440　御通路諸侯　　16.13—7
手写
570丁　30cm
イロハ順に公家・諸侯・他藩士・寺社関係などの名を配列し，近世中期から明治初年にいたるその略歴と交際の事実を書留めたもの。藩の公式交際の台帳である。

441　御通路帳　　16.13—8
手写
2冊　25cm
同前。化政期から明治9年までのもの。

442　御通路帳　　16.13—9
手写
86丁　8×19cm
高畠定辟旧蔵。享保12，13年（1727～23）頃のもの。

443　御通路帳　　16.13—10
手写
95丁　8×19cm
渡辺永一旧蔵。天明頃のもの。

444　御通路帳　　16.13—11
手写
104丁　9×21cm
横山政和旧蔵。寛政頃のもの。

445　丹羽左京大夫殿御通路一件　　16.13—12
前田家編輯方手写　明治年間
13丁　24cm
陸奥二本松の丹羽家は慶長の役以来前田家と疎遠の間柄であったが，今縁戚関係にあると嘉永6年（1853）通路（交際）を求めてきた。

446　覚書　　16.13—13
手写
36丁　9×18cm
表紙に「嘉三郎殿御勤事之留ナリ」とあり，将軍御目見，それ以後の勤事，官位の御礼，年頭，寒暑伺などについて記す。

447　勝丸様・亀次郎殿等御目録格　　16.13—14
手写
85丁　25cm
原題は「勝丸様・亀次郎殿・御姫様方・繁姫様・勢之佐殿御目録格」。勝丸は7代宗辰，亀次郎は8代重熙，勢之佐は利和で，いずれも6代吉徳の子，繁姫は吉徳の養女。
元文4年（1739）から弘化4年（（1847）までの縁戚の格付の推移を記録したもの。進物などの手引である。

448　御寺方へ御参詣之刻云々等　　16.13—15
前田家編輯方手写　明治年間
9丁　24cm
前田貞醇旧蔵の写。内容は享保3年（1718）よしべ鮭のこと，享保元年（1716）11月21日5代綱紀が将軍宣下の祝賀に老中を招待したことなど，雑記録である。

禁　　裡

449　御参内次第書　　16.13—16
手写
1枚　17×45.5cm
加賀藩主が参内し，天皇に拝謁する式順。

450　前田斉広御官物之請取目録　　16.13—17
築山左膳ほか編
手写　寛政9年（1797）
巻子1　40cm

和田源治右衛門（当時御小姓頭）宛。寛政９年２月12代斉広が正四位下左近衛権少将筑前守に任ぜられた。その時朝廷へ献進した金品と贈り先を列記した公家の受領証である。

451　京都御沙汰書之内書抜　　16.13—18
前田家編輯方手写　明治年間
78丁　23.5cm
年月順に改元，聖忌，年頭，贈位，御使等々の行事を記す，嘉永元年（1848）～文久２年（1862）。

452　御暇乞之為御参内御手続控　　16.13—19
手写　慶応２年（1866）
２通・２枚　15.5cm・28cm　包紙入
内容は，「御暇御参内御手続」，「播磨守等御座之間へ被為召云々」および宮中御間絵図２枚。慶応２年11月14日14代慶寧が参内して帰国の暇を受けた。

453　勅使一件　　16.13—20
手写　慶応４年（1868）
８丁　12×33cm
渡辺庸旧蔵。慶応４年３月北陸道先鋒総督が金沢入城。それを迎えるための規式，作法。

454　勅使一件　　16.13—21
手写
29丁　24cm
前書の写。

455　勅使御一件等　　16.13—22
手写
19丁　12×18cm
前田恒敬旧蔵。前書と内容順序に若干相違があるが同類文書。恒敬の自筆か。

456　勅使御通行之節伺帳　　16.13—23
手写　慶応４年（1868）
115丁　24cm
慶応４年（1868）北陸道先鋒総督勅使高倉永祐，四条大夫の両名が加賀藩領内を通過する際の宿，警衛，藩勢資料の作成などについての加越主附の文書を綴ったもの。

457　勅御通行方留帳　　16.13—24
手写　慶応４年・明治２年（1868～69）
２冊　25cm
前記勅使一行は慶応４年３月２日金沢入城，同月８日出発した。その前後，同年１月末の準備から翌年10月の事後処理迄の関係文書を集大成したもの。

御　　成

458　太閤幷将軍御成記　　16.13—25
前田家編輯方手写　明治年間
58丁　23cm
前田貞醇旧蔵の写。内容は，文禄３年（1594）４月８日太閤臨御・元和３年（1617）台徳公（秀忠）・寛永６年（1629）４月26日大猷公（家光）・同年同月29日台徳公・元禄15年（1702）４月26日常憲公（綱吉）。

459　御成之記　　16.13—26
手写
64丁　23.5cm
前号「太閤臨御并将軍御成之記」と「御成ニ付テ御献上御道具等之儀付テ留帳」（元禄15年正月９日ヨリ前田貞方先代手記）を収む。

460　御成次第等写　　16.13—27
前田家編輯方手写　明治年間
140丁　23cm
小笠原家蔵巻子12巻の写本。文禄，慶長，元和の将軍御成，入内，参内行列次第を記す。

461　秀忠公御家へ御成之記等　　16.13—28
前田家編輯方手写　明治年間
17丁　24cm
三輪允明蔵本を宝暦10年（1760）に手写した前田直行蔵本を写したもの。内容は元和３～寛永６年（1617～29）で，ほかに「光高様御前様御輿入之事」，「利長様高山南坊ニ御茶被下物語」

「加藤肥後守清正之物語」を掲載してある。

462 御成之記　16.13—29
手写
6丁　24cm
元和3年（1617）将軍秀忠が利光（利常）の神田邸へ御成の記録。沢野団右衛門（元禄，宝永頃の藩士）旧蔵。

463 将軍様相国様御成之次第　16.13—30
板津作左衛門手写
32丁　14.5×24cm
寛永6年（1629）4月26，29日に3代将軍家光と前将軍秀忠を江戸屋敷に招待の記録。板津作左衛門（享保5年死，50才）旧蔵。

464 御成次第　16.13—31
前田家編輯方手写　明治年間
39丁　23.5cm
後藤演乗旧蔵の写。内題は「寛永卯月廿六日於江戸御下屋敷両上様中納言様御成次第御道具御飾之目録」とあり，内容は末尾のほかは前号と同じ。

465 将軍様御成等覚　16.13—32
手写
4丁　24.5cm
神尾孫九郎旧蔵。寛永6年（1629），4代藩主光高元服登城，御礼，将軍家光の加賀藩邸への御成に際して，特に献上物，拝領物について記す。

466 将軍様御成之節献上物等覚書　16.13—33
手写
巻子1　17cm
寛永6年御成の覚。

467 御成の次第　16.13—34
手写
28丁　24.5cm
寛永6年4月26日将軍家光，同29日秀忠御成の時の進上物，拝領物および御間飾一覧。

468 御成留帳　16.13—35
高沢牛之助手写
10丁　25cm
寛永6年（1629）4月将軍家光と前将軍秀忠が加賀藩邸に御成の時の贈答品と御能の記録。高沢牛之助（享保5年死）旧蔵。

469 〔当門様江御成ニ付御進物覚書〕　16.13—36
手写
18丁　17×12.5cm
今枝氏旧蔵。題箋「御成東叡山贈進帳」。元禄5年3月および5月将軍綱吉が上野寛永寺に参詣している。その節の覚書の写である。

旧書名「東叡山御成ニ付御進物覚書」

470 将軍水戸様へ御成之節作法覚　16.13—37
手写
11丁　24cm
「水戸様へ御成之御書物を以，此方様へ御成之御作法御引直，朱書を以御加筆且又前田美作より肥田十蔵迄御問合之儀一冊」の付札あり。

471 御成一巻　16.13—38
手写　文政10年（1827）
96丁　24cm
表題「元禄十四辛巳暦御成一巻」。元禄15年（1702）4月将軍綱吉が本郷の前田吉徳邸へ御成。その前年の12月22日の御成の上意伝達から，翌年8月19日の御客能までが委しく記録されている。日置知左衛門蔵の写で筆者は前田貞事か。前田貞発旧蔵。

472 御成一巻　16.13—39
手写
27丁　24cm
元禄15年御成の準備のための，前例その他についての往復文書の写。

473 御成之節御道具御拵之儀等　16.13—40
藤田安勝・高田種信編
手写　天保10年（1839）
70丁　24cm
表紙に「元禄十五年御成之節御道具御拵之儀等

御旧記。藤田平兵衛・高田十郎兵衛等伺方也。但，天保十年通抜之御用ニ付抜書新写也」とある。

474　御成之刻品々留帳　16.13—41
奥村淵兵衛・成瀬内匠編
手写　元禄15年（1702）
31丁　24cm
内容は御成相済候以後遣物，御間飾付，居宅料理出候席付など。

475　御成之刻御献上物御用之留帳　16.13—42
奥村淵兵衛・成瀬内匠編
手写　元禄15年（1702）
127丁　25cm
元禄御成の覚書。

476　御成献上物之帳　16.13—43
成瀬内匠・奥村淵兵衛編
手写
合綴1（3冊）24cm
元禄御成の節。3冊同内容。

477　御献上物之品御伺被成候御書立御附札物之写　16.13—44
手写
2冊　24cm
元禄将軍御成の際のもの。両冊同内容。

478　板橋筋御成之節御中屋敷御門方留帳　16.13—45
手写
9丁　13cm×19cm
富田権六郎旧蔵。享保3年（1718）閏10月21日8代将軍吉宗が板橋の志村辺に鷹野を行なった折，中屋敷に立寄った時の警備の覚書。

479　御通抜御用留　16.13—46
渡辺喜内著
自筆　文政11年（1828）
10丁　24cm
文政11年3月13日徳川家斉が本郷邸に13代斉泰の室を訪ねた時，邸内の御餝方御用を勤めた喜内の記録。

480　御作事方御門御成之節御門締方　16.13—47
手写
15丁　23.5cm
御作事方御門は「御作事門」（江戸本郷邸東南方の通用門の名）。将軍が御成または近くを通御になる場合の門内外の取締りや心得を書いたもの。

将　軍　宣　下

481　将軍宣下之節覚書　16.13—48
手写
24丁　25cm
内容は慶安4年（1651）将軍宣下の儀式，拝領物目録と人名を記す。

482　御兼任御祝儀等　16.13—49
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24cm
斉藤某手写の写。内容は宝暦12年（1762）将軍宣下御祝儀，御老中方御招請御作法。

483　前田斉泰将軍宣下祝賀参列の覚　16.13—50
手写
1通　15cm
嘉永6年（1853）12月2日徳川家定の将軍宣下の祝賀に斉泰が登営した際の作法や江戸城内外の様子を記したもの。

484　将軍宣下に付御登城之節御作法方伺下物　16.13—51
手写
2丁　24cm
広瀬知良旧蔵。内容は安政5年（1858），将軍宣下につき御表之御振を以取しらべ相伺。

485　将軍宣下御祝儀御給事等之者へ被下候覚等　16.13—52
中川八郎右衛門編

手写
仮綴1（3通）25cm
中川典克旧蔵。将軍宣下御祝義御勝手方之者等江被下衣類之覚・舘林宰相ニ男子出生御祝義進上目録。

献上・進物

486 御目録格　16.13—53
手写
2冊（折本）　19cm
献上物の目録の様式。
①は6代吉徳（吉治），②は13代斉泰時代のもの。

487 御進物目録仕法　16.13—54
手写
99丁　13.5×20cm
藩主から朝廷，公卿，将軍，御三家，諸大名などへの贈物の種類と書式を格によって記す。享保頃から藩末まで。

488 御目録格　16.13—55
臼井寛成手写　嘉永5年（1852）
99丁　12×18cm
臼井寛成旧蔵。附字躰大概とあり。内容はほぼ同前。寛成は藩士で歌人，明治19年没。

489 竹千代様御誕生ニ付献上御道具　16.13—56
寺岡与兵衛手写
28丁　25cm
寛永18年（1641）4代将軍家綱出生につき諸大名よりの献上道具目録。与兵衛は明暦，元禄頃の人，130石御算用者。

490 古案一微妙公一　16.13—57
今枝直方手写
4丁　20×15cm
3代利常の幕府要職への歳暮の記録。

491 中納言様御在国中方々へ御音信御上屋敷より調被遣分　16.13—58
寺岡与兵衛手写
46丁　25cm
5代藩主綱紀が犬千代時代，承応元年（1652）6月から翌年4月の間に，将軍，幕閣，大名，縁戚，家臣などへの進物の記録。

492 中納言様御在国中御進物帳　16.13—59
寺岡与兵衛編
自筆　明暦2・3年（1656・57）
33丁　25cm
5代綱紀から公儀，御一門，諸大名などへの進物を記録。

493 中納言様御分御留守中方々御進物帳　16.13—60
寺岡与兵衛編
自筆　承応3・明暦元年（1654・55）
34丁　25cm
5代綱紀の公儀への献上，幕閣への進物等を記載。

494 中納言様御在国中御進物被下物之帳　16.13—61
寺岡与兵衛編
自筆　万治元年（1658）
13丁　25cm
同前，但万治元年8～10月分。

495 公儀へ献上之祝儀幷作法　16.13—62
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　25cm
「御日記」第203～206巻から加賀藩主の献上御目見関係を抜書きしたもの。藩主は綱紀と吉徳か。

496 若君様御誕生之祝儀跡書帳等　16.13—63
寺岡与兵衛編
自筆
29丁　24cm
4代光高が，将軍家光の子若君（家綱），長松（綱重），亀松，徳松（綱吉），鶴松の誕生，宮参，色直，髪置，着袴などの祝儀に進上した品物と贈り先，使者などを記す。寛永～延宝間。

497 日　　記　16.13—64
手写
2冊　13×21cm
久能又三郎旧蔵。加賀藩主5代綱紀から公儀への献上物の内容とその書式を日記体に記載したもの。期間は元禄12年（1699）7月から翌年9月まで。

498 徳川家千代君御誕生御祝儀御作法幷京都御普請御手伝大名交名書等　16.13—65
手写
26丁　23cm
内容は宝永4年（1707）家宣の長子家千代誕生，同5年（1708）皇居御普請の際，諸大名の献上物，拝領物目録，祝儀作法など。

499 二条内府様江府へ御参向之刻被進物控等　16.13—66
手写
3丁　24cm
表題は「享保元年（1716）二条内府様江府へ御参向之刻被進物控，同弐年三条様御参向之刻被進物之控」で，他に宝永5年（1708）二条左府への進物も附記されている。

500 御即位御献上次第　16.13—67
手写　享保20年（1735）
49丁　12×17cm
成瀬正居旧蔵。享保20年8月，桜町天皇の即位を賀するため幕府は5万石以上の諸大名に命じて朝廷へ銀と太刀を贈らせた。その書上げの写。

501 八丈島贈物記　16.13—68
前田家編輯方手写　明治年間
57丁　23.5cm
森田良見蔵本の写。八丈島の宇喜多秀家の子孫へ加賀藩より贈物の由来と，享保2～寛政8年（1717～97）の物品，宇喜多一類の人数等を記す。明治4年良見自筆の朱註あり。

502 八丈嶋贈物記　16.13—69
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴1（75丁）25cm
同前の写。

503 近稔御進物之格　16.13—70
今枝直方編
自筆　享保8年（1723）
9丁　21×14cm
内容は享保7年。幕府は諸大名に諸事倹約を命じた。その折の記録。

504 大応公任官献上等記　16.13—71
前田家編輯方片岡孫作手写　明治年間
53丁　23cm
内容は元文3年（1737）。大応公は7代宗辰。

505 御　献　方　16.13—72
手写
2冊　13×21cm
中川典克旧蔵。内容は元文3～寛保2年（1738～42）間の朝廷における御献奉行の日録である。八条隆英，山科堯言，広橋兼胤らの名が見える。

506 泰雲公御進物帳抜　16.13—73
手写
152丁　12×17.5cm
10代重教の代の宝暦11～13年（1761～63）。

507 御茶献上次第　16.13—74
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴1（8丁）25cm
内容は天明3年（1783）「於御小書院御茶整候次第」，「西丸御茶献上御使一巻」。

旧書名「小書院ニ而御茶整候次第」

508 年中御献上物幷被遣方・被下方　16.13—75
御勝手方手写　文化7年（1810）
70丁　24cm
宇野富良蔵。公儀，幕閣，諸大名，社寺などへの献上物目録。
表紙に「文化七年庚申八月朔日御勝手方へ御用

所より指出候ニ付写之」「但懸紙有之分ハ五ケ年御用捨中御献上等無之分」とある。

509 水戸様ヨリ御進物之記　16.13—76
手写
5丁　24.5cm
内容は文政13年（1830）。

510 公儀御代替御礼之節御献上御馬等一件　16.13—77
若年寄方編
手写　安政5年（1858）
127丁　23cm
表題の委細は「公儀御代替御礼之節御献上御馬并将軍宣下相済上使へ被遣候御刀御捧一件」で，安政5年8月から翌年正月までの記録。将軍は徳川家茂。

511 元日御太刀御献上絵図　16.13—78
小原惟彰著
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　49×38cm
横山引馬所持の江戸城西ノ丸部分絵図で，横山勇太郎旧蔵。

512 中納言様御参内之節御献進物御使者相勤候一件自分留　16.13—79
横山政和著
自筆　慶応元年（1865）
14丁　24cm
横山政和旧蔵。内容は「御進献物御作法」，「文久三年御参内御進献一件留」。中納言は13代前田斉泰。

513 御使帳　16.13—80
手写　明治2年（1869）
28丁　25.5cm
明治2年正月29日から3月5日に至る間の，藩主慶寧らが出した御祝詞，御進物などの送り先の控。

514 公儀献上物覚書　16.13—81
手写
巻子1　34cm
年頭御礼のもの。

515 氷献上其の他の献上物　16.13—82
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
48丁　25cm
内容は藩から幕府へ，また郡方から藩主への献上物につき，「氷献上」，「早稲米献上」，「被下物」，「百姓献上物・差上物」「献上魚」などに分けて記載。国事雑抄，続漸得雑記，改作所旧記，温故集録，改作方雑留，真偽一統志，千代田城大奥などの記事の抜粋。

拝領・拝見

516 幕府営中関係達書　16.13—83
手写
4通　28.5cm
1通は馬拝領一件，3通は登城観能の件。

517 覚書　16.13—84
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
19丁　24cm
天保元年～慶応3年（1830～67）間の藩主などの将軍への御目見および拝領物一覧付。

518 御拝領之御品々　16.13—85
手写
仮綴1（5通）16cm
公儀より拝領の品々，公儀への献上の品々の書上げ。12代斉広，13代斉泰の子女出生関係のもの。

519 拝領之鹿御国へ被遣ニ付覚　16.13—86
手写
1通　22cm
中川典克旧蔵。享保の初頃前田吉徳が拝領した鹿の取扱い方覚書。

520　御拝領之御鷹相渡候砌御作法書等　16.13—87
手写
2丁　24cm
前田貞醇旧蔵。内容は明和8年（1771），「加賀守様御入国御暇之節御拝領之御鷹相渡候砌御作法」。

521　於江戸邸鶴披露之図　16.13—88
横山引馬編
自筆　寛政7年・11年（1795・99）
絵図2枚　24×35cm
横山勇太郎旧蔵。①は，寛政7年と同11年鶴。②は，寛政7年正月鶴，同12年7月鷹の雲雀披露の図。

522　於江戸邸雲雀披露之図　16.13—89
横山引馬編
自筆　寛政12年（1800）
絵図1枚　35×24cm
横山勇太郎旧蔵。寛政12年7月将軍家から鷹の雲雀を拝領，本郷邸大書院でその披露を行った時の作法と図面。

523　鶴御披之御絵図之儀覚書等　16.13—90
竹田掃部編
手写
9丁25cm
富田権六郎旧蔵。表題は「享和三年(1803)八月朔日鶴披之御絵図之儀ニ付御座敷奉行組頭且御横目より懸合一件主付御家老へ相達候覚書等」

524　御馬御鷹御拝領之節取捌等　16.13—91
前田内記（純孝）等編
自筆　文政3年（1820）
32丁　24cm
横山政和旧蔵。内容は「文化三年(1806)如御例御馬御鷹御拝領被遊候節勤方手留之内書抜」，「文化八年御鷹之鶴并宿継御奉書相渡候節手留之内抜書」「文化十三年三月廿六日於御道中高岡瑞龍寺へ御参詣之節御先詰ニ罷越候砌勤方之覚」，文化10年「御参覲之上上使右御礼被仰上候ニ付殿中御供一件」「御茶御献上之御使相勤候一件并御暇之上使右御礼被仰出候節御供御発駕等之手留抜書（津田玄蕃・文政2）」，文化14年「御本丸へ御茶御献上御使・元日御太刀等御献上御使（横山蔵人）」

525　御馬御鷹御拝領之節取捌等　16.13—92
前田純孝編
富田外記手写　文政9年（1820）
16丁　11.5×18cm
富田権六郎旧蔵。前書前半の写本。

526　鶴御披御作法附　16.13—93
横山某編
手写
14丁　12×18cm
横山氏旧蔵。内容は文政8年（1825）御拝領鶴御披之節作法，役附。

527　御拝領御鷹於御国許御頂戴一件　16.13—94
手写
37丁　11×18cm
富田権六郎旧蔵。文政13年（1830）12月11日，将軍家斉から前田斉泰に贈られた鷹2居が金沢に着いた。

528　筑前守様初テ拝領之鷹之雁御披之作法　16.13—95
中川典義編
自筆　天保14年（1843）
9丁　12×18cm
中川典克旧蔵。天保13年11月14代慶寧が初めて拝領した鷹の雁披露の作法書。

529　筑前守様御拝領御鷹御馬一巻　16.13—96
手写
64丁　23cm
横山政和旧蔵。安政2年（1855）前田慶寧が将軍から鷹と馬を贈られた。

530　筑前守様御拝領之御馬受取之砌御作法　16.13—97
手写
1通　24cm
早川随勝旧蔵。筑前守は14代慶寧。

531　筑前守様吹上御庭御拝見一件　16.13—98
手写
9丁　25cm
横山政和旧蔵。内容は文久2年（1862），吹上御庭茶招待，同茶屋拝見の様子。

応接・送迎

532　賓客応接記事　16.13—99
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23.5cm
副題「御先手物頭江戸勤方」。乾は上使并重キ御客一件，御客取次方，御客江御料理等指出候心得，御客方ニ付雑事心得等，組頭御門外等之節之事，仮奏者一件，御使取次方，御女中様方取次方，御前様江之御使者取次方，法梁院様江之御使者取次方，御使者之分躾応方心得等，御使者之分取次方心得等，取次方雑心得等，御両敬之御方并被御口上之御方，附御名順，御続書三様。坤は，御帳附方心得等，附附方古近例，御番方心得等，附古近例。御番中心得雑記，装束年中行事，附御殿詰装束之覚古近例供上使之部，雑之部常御客之部。

533　上　使　16.13—100
手写
60丁　24.5cm
万治元年（1658）10月21日上使出尹貞が前田利常の卒去の弔問に金沢，小松に来た。その応待に関する覚書で，先例として，慶安元年(1648)および同3年のも，ほか1件を附記してある。

534　鷹司准后様江戸表へ御下向一巻抜書　16.13—101
前田貞道（中務）編
手写　文政5年（1822）
75丁　24cm
横山政和旧蔵。前田中務覚書の写し。文政4年4月鷹司准后政熙が江戸へ下向して娘の藩主斉広夫人と対面した際の記録で，前年11月から。

535　右大将様御広式へ被為成候ニ付御献立　16.13—102
手写　文政10年（1827）
13丁　24cm
前田貞醇旧蔵。右大将は鷹司輔熙か。御相伴の真龍院は輔熙の叔母である。

536　右大将様御婚礼為御祝儀上使若年寄衆御出之節御作法等　16.13—103
中川典義手写　嘉永2年（1849）
14丁　12×18cm
中川典克旧蔵。右大将は徳川家定，天保12年11月鷹司政道の女と婚礼，若君様は家斉の長子竹千代，寛政4年7月誕生。以上二例の御祝儀の上使に対する接待を，嘉永2年に調べたもの。附録「備後守（大聖寺11代利平）様御病気ニ付御次第」。

537　官家御応接方　16.13—104
平田内匠編
前田家編輯方手写　明治年間
3丁　25cm
平田内匠より松原判左衛門宛。平田内匠は平田大匠(中原職俊)の子孫。成立安政3年(1856)。

538　上使御刀直之次第　16.13—105
横山隆論手写
27丁　12×17.5cm
横山勇太郎旧蔵，寛保，宝暦，明和に老中上使の節の作法覚書。

539　上使之節御門外出所等絵図　16.13—106
手写
絵図4枚　28×40cm
前田貞醇旧蔵。
① 上使之節御門外出所絵図
② 御供之御家老御目見之節御大書院絵図
③ 犬千代丸様江年寄中等御目見之図
④ 天保2年御宮参之節表御門前警固立絵図

540　上使之節御門外出所絵図　16.13—107
前田家編輯方手写
絵図２枚　40×27cm
１枚には河内宅とある。

541　上使御作法附　16.13—108
手写
折本２冊　16cm×7.5cm　包紙入
横山政和旧蔵。天保頃のもの。

542　御老中上使之節御作法　16.13—109
手写
７丁　11.5×17cm
高畠定辟旧蔵。老中が上使として本郷来邸の際の作法。天保末期か。

543　東都ニテ上使一件留　16.13—110
手写　嘉永６年（1853）
７丁　20cm
嘉永６年（1853）９月23日内藤紀伊守，同12月16日駒井左京，同18日酒井右京亮各上使の本郷邸来訪の記録。

544　上使への御答書　16.13—111
手写
仮綴１（２通）16cm　包紙入
不破順命旧蔵。上使による時候見舞への謝状の写。１通は清仙院（12代斉広の女，会津侯松平容敬に嫁す）のもの。

545　上使御使番間部主殿頭殿を以云々　16.13—112
前田家編輯方手写
１丁　24cm
前田貞辞旧蔵の写。長甲斐守から前田土佐守宛。上使間部主殿が寒気見舞に訪れた次第を家中の年寄中などへ伝達を依頼したもの。

546　御老中御招請一巻　16.13—113
前田直躬編
前田家編輯方手写　明治年間
21丁　24cm
宝暦12年（1762）２月21日徳川家治の将軍宣下を祝して老中等を本郷邸に招待した時の記録。

547　御老中御招請一巻　16.13—114
前田家編輯方手写　明治年間
21丁　24cm

548　御老中御招請役付等　16.13—115
前田家編輯方手写　明治年間
26丁　24cm
前田直躬旧蔵の写。内容は宝暦12年（1762）。

549　御饗応次第四種　16.13—116
前田家編輯方手写　明治年間
57丁　23.5cm
- 宝暦12年（1762）御一門様方御招請之写
- 宝暦13年御老中方御招請
- 安永２年（1773）御老中御饗応御作法
- 天保９年（1838）円満院宮様御使者中西陸奥守登城之節御饗応之次第

550　御老中方御招請御作法書込　16.13—117
手写
仮綴１（28丁）24cm
内容は安永２年（1773），12代治脩の家督相続を祝して老中を本郷邸に招待した時の饗応作法。

551　御招請記　16.13—118
前田家編輯方手写　明治年間
71丁　23.5cm
「尾張大納言様御招請御作法書」，「右御招請ニ付被下方一件」，「宝暦五年（1755）御国目附衆両人御座敷へ御招請記」，「安永二年(1773)御招請御用留并御家老衆指紙面等留」。「右同年御菜数帳」

552　御意帳　16.13—119
手写
17丁　16cm×22cm
表紙に「天保２年改之」とあり。内容は江戸における藩主が，使者，御礼人などに面接する際の発語の規式を記す。

553 紀州様御使者一巻　16.13—120
手写
2丁　12cm×35cm
成瀬正居旧蔵。宝暦4年（1754）4月重基（10代重教）は紀州侯徳川宗将の女千間と婚約した。その際の使者応接の作法書であろう。

554 尾張大納言様御招請一件　16.13—121
石野主殿助編
前田家編輯方手写　明治年間
38丁　24cm
前田直行旧蔵。石野主殿助覚書写の写。尾張大納言徳川宗睦招請の際の作法，食事，客間飾り等を記す。著者は当藩士，550石より1,500石となり人持組に進む。文化5年（1808）没。

555 安芸守様御父子等御出之節御作法附　16.13—122
大屋武右衛門等編
手写　寛政5年（1793）
1通　16cm
横山政知旧蔵。安芸守は広島侯浅野重晟。

556 備後守様御登城一件　16.13—123
富田外記手写
31丁　24cm
富田権六郎旧蔵。備後守は大聖寺藩9代前田利之で，文化7年（1810）5月13日，帰邑の途中金沢城に登った。その前後の記録。

557 備後守様御使者一件　16.13—124
富田貞行（外記）編
自筆　文化9年（1812）
7丁　24.5cm
富田権六郎旧蔵。表紙に「富田外記所持」とあり。内容は文化9年6月20日，大聖寺藩9代利之（備後守）の病気本復のお礼の使者大井司馬允接待一件。

558 御三方様御出之節之図　16.13—125
手写
絵図2枚　27×32cm
内容は弘化2年（1845），嘉永6年（1853）。前田邸訪問の際の指図。

559 鉄五郎様御出之節御作法　16.13—126
中川典義手写　嘉永2年（1849）
4丁　12×18cm
中川典克旧蔵。鉄五郎は南部藩主南部利剛。

560 因幡様御出御対顔御刀被送候節御作法　16.13—127
中川典義手写　嘉永2年（1849）
5丁　12×18cm
中川典克旧蔵。嘉永2年閏4月，前田斉泰の子で鳥取侯の養子となった池田利順が因幡守に叙任，名を慶栄と改めた。その直後実父に対面。

561 淡路守御使者取扱方之件　16.13—128
手写
7丁　24cm
富田権六郎旧蔵。淡路守は富山藩9代前田利幹，その使者に対する作法の下調べ。文化初年。

562 送迎取持方覚　16.13—129
手写
1通　17cm

563 御式台御見舞御使者取次方覚　16.13—130
手写　宝暦3年（1753）
5丁　14×20cm
中川典克旧蔵。水戸家ほかの見舞使者取次ぎについての御式台での心得。

564 式台取次送迎一条　16.13—131
渡辺喜内編
17丁　23cm
渡辺庸旧蔵。内容は「御式台御取次方送迎」と「江戸御式台ニテ取次方心得」で渡辺喜内と奥村丹後守との往復文書の写。天保10年前後。

565 慰君様御里入之節御献立書　16.13—132
有田義一編
手写　明治24年（1891）
巻子2　17cm　包紙入

慰君は14代慶寧の子。元治元年生れ，明治13年有栖川宮威仁親王妃となる。

566　大参事等被見候節御飾付御道具記控　16.13—133
手写
12丁　12×36cm

訪　　問

567　大梁公御入之節尾州邸飾付並献立　16.13—134
手写
巻子2　20cm
大梁公（11代治脩）が，尾張徳川公の江戸邸を訪ねた時のもの。邸内の両臨堂，望野亭，臨遙亭，古駅楼，随柳亭，山里数奇屋などにおける飾物と献立を列記。

568　御予参之節絵図　16.13—135
横山引馬　手写
絵図1枚　25.5×36.5cm
横山勇太郎旧蔵。天明8年（1788）4月17日11代治脩が徳川家斉の江戸城内紅葉山参詣に加わった際の城内道順。
旧書名「檜垣又御聞絵図他」

569　御予参一巻　16.13—136
前田家編輯方手写　明治年間
合綴1（2冊）24cm
①は寛政3年（1791）徳川家基（孝恭院）の13回忌法会に，11代治脩が予参した時の記録。②は寛政10年（1798）9月8日徳川家治の13回忌法会に治脩が予参するための御作法留。

570　肥後守様御抱屋敷之図　16.13—137
手写
絵図1枚　46×24cm
11代治脩が寛政4年（1792）と同8年に会津侯保科容頌の江戸邸を訪問した。その際の道順作法。

571　金龍公御入之節南部邸飾附並献立等　16.13—138
手写　文化2年（1805）
巻子2・1枚　18cm　包紙
金龍公は12代斉広。包紙に「文化二年四月廿六日南部殿へ見廻懸リニ而参リ候節之献立書並飾附並先方ニテ目通リ申付候家臣性名書三通」とある。南部信濃守は斉広のいとこ。

書　　札

572　御書格式　16.13—139
手写
68丁　18×18cm
内容は「禁裡院中之事」「大納言宰相中少将非参議等江之事」「門跡方江之事」，「僧正紫衣佗阿（虫喰）事」，「寺僧中江之事」，「伊勢御師，茶師，町人等江之事」など。成立延宝3年（1675）。

573　御書格式　16.13—140
手写
2冊（折本）　19cm
公儀，諸大名，堂上をはじめ家来，町人に至るまでの御書の格式を集めたもの。①は享保7年（1722），②は安政3年（1856）成立。

574　御直書御格　16.13—141
御右筆部屋編
手写　嘉永3年（1850）
合綴2冊　~~18丁~~　24.5cm
藩主から他藩主への親書の用語とその解説。

575　古文章大全　16.13—142
手写
94丁　26.5cm
前半は寛永～万治年間の，徳川秀忠，家光，徳川三家，幕府重臣，および前田利常，綱紀と家臣などの書簡例，後半は幕府の殿中年中行事を記す。

576　加陽書札留　16.13—143
手写
2冊　12×17.5cm
林義定旧蔵。上下2冊。上巻は禁裡，院中，将

軍など寺院への書札，その他寛永～寛文頃5代綱紀時代の制札などを収め，下巻は綱紀の書状を録す。

577　御書御口上留　　16.13—144
金沢藩問遣方編
手写　明治3・4年（1870，71）
114丁　24.5cm
年始，祝詞，中進など藩主慶寧，前藩主斉泰，利嗣および真龍院と朝廷，公卿，諸藩知事などとの間の書礼，口上等の記録。

578　久我建通書翰　　16.13—145
久我建通著
自筆　明治初期
3通　18cm　包紙入
前田従四位宛，2月，4月，12月の年末，年始などの挨拶状。久我通建は内大臣，前田従四位は15代利嗣か。

579　板倉佐渡守等書状写　　16.13—146
手写
巻子1　17cm
松平加賀守宛。前田貞醇旧蔵。板倉佐渡守勝清および阿部豊後守正允は幕府の老中，松平加賀守は10代重教か。安永，明和頃の将軍への献上物の謝状の写。

580　御老中水野出羽守殿より聞番御呼立御渡之御書付之写　　16.13—147
手写
1通　19cm
渡辺庸旧蔵。天保3年（1832）5月21日，徳川家斉が幕医小島安順を遣わして犬千代丸（前田慶寧）の病気を診断させた時の書付の写し。

581　暑気御尋御礼使者之儀達　　16.13—148
手写
1通　20cm　包紙入
松平加賀守留守居宛。松平加賀守は13代斉泰，差出人の松伊賀は老中上田藩主藤井氏。嘉永，安政頃のもの。

582　往来奉札等覚　　16.13—149
手写　明治4・5年（1871・72）
6丁　24cm
廻状，奉札，使者などにつき日附順に記録したもの。明治4年11月～5年4月。

特16.14　作　法・生　活

御　作　法　書

583　御作法書　　16.14—1
手写
3冊（折本）　18cm×5cm
富田権六郎旧蔵。①江戸御着之御作法，②於江戸表年頭御作法，③御在国年頭御作法。

584　年頭其外御礼御定帳并自分覚書留帳　　16.14—2
手写
22丁　12×18cm
横山政和旧蔵。

585　年頭并諸事御礼献上物等御定　　16.14—3
早川 某編
手写
26丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。年頭と叙爵，隠居など諸事の御礼献上の定。附，闕字考。

586　佐渡守様初御礼所絵図　　16.14—4
手写　安永4年（1775）
絵図1枚　24×36cm　紙袋入
佐渡守（7代宗辰），亀次郎（8代重熙），勢之佐（前田利和）らが父の吉徳に儀礼をした時の御居間書院の図。元文末，寛保初頃のもの。前田貞醇旧蔵。

587　御着之節伺候之図　16.14—5
手写　文化12年（1815）
絵図1枚　48×36cm
中川典克旧蔵。文化10年（1813）9月27日，12代斉広が参勤のため江戸着につき，家族と面会した時の本郷邸中之口玄関辺の図。

588　犬千代丸様初テ御礼被仰上候御作法書　16.14—6
前田家編輯方手写　明治年間
1丁　24cm
天保7年（1836）正月，犬千代丸（14代慶寧）が初めて藩主斉泰に年頭御礼の儀式をした時の作法書。横山政孝手記の写。

589　喬松丸殿成長ニ付御会釈方等　16.14—7
中川典義編
自筆　天保13年～弘化3年（1842～1846）
32丁　13×18cm
中川典克旧蔵。附，御家中之人々倹約之義於御国被仰出候触留。天保13年，喬松丸（13代斉泰の子）が8才になったので，途中で自他国藩主，家老などに会った時の作法書。附録は，天保13，14および弘化3年の触の覚書。

衣　食　住

590　綱利公へ献御茶道具付并献立　16.14—8
前田家編輯方手写　明治年間
38丁　24cm
綱利公は第5代藩主前田綱紀。

591　台所年中料理之品等ニ付窺暮引之図　16.14—9
手写
絵図1枚　40×152cm
元禄時代に江戸の上屋敷（本郷邸）の台所で年中の紋日に家臣に出した御馳走の一覧表。前田貞醇旧蔵。

592　御膳部之次第　16.14—10
手写
仮綴1（2枚）　15cm・24cm
二汁五菜，一汁五菜，御湯漬，年頭御雑煮，名酒，御菓子，めん類などの各場合に出す物を記載。

593　奥向祝日并平生共膳部向之覚控　16.14—11
手写　文政9年（1826）
40丁　25.5cm
藩主前田家の祝日及び平日の献立。

594　御献立等留帳　16.14—12
御台所奉行編
手写
230丁　12.5×34cm
横山隆起旧蔵。慶応3年（1867）～明治2年（1868）の藩主の献立。

595　御献立留　16.14—13
手写
178丁　12.5×34cm
明治2年（1869）～7年の藩主の献立。横山隆起旧蔵。

596　御献立之覚帳　16.14—14
手写　明治4年（1871）
123丁　23.5cm
諸行事の献立。
旧書名「御献立覚書」

597　御献立留帳　16.14—15
手写　明治8年（1875）
45丁　13×34cm
藩主および家臣の献立。

598　御居間書院ニ御料理被進候節之絵図　16.14—16
片岡 某著
手写
絵図1枚　20×28cm
天明4年（1784）4月6日出雲守様（富山藩7代利久）御出の節の図。

599　御料理等被下候御作法附　　16.14—17
手写
22丁　24cm
小木貞正旧蔵。安政2年（1855）12月13代斉泰が権中納言に任官した御祝に関し，翌3年5月11日から御料理等を出され，その折の役付などを記載。

600　御祝日御献立御器物書立帳　　16.14—18
任田久左衛門編　1629
自筆　寛永6年（1857）
17丁　24cm
正月から10月までの祝日の料理と器を記載。任田久左衛門は，寛永4年侍帳では御傍衆，120石。

601　江戸表并御国許御広式年中御祝方　　16.14—19
坪内一致編
手写
26丁　27cm
正月中，3月3日節分，5月5日端午節句，5月入梅中，6月朔日，6月16日，6月晦日，7月7日七夕，7月15日中元御祝方，7月16日，8月朔日八朔，8月15日月見，9月9日五節句，10月朔日，11月冬至入，11月下旬寒入，12月8日針千本，12月下旬，12月28日，12月晦日諸行事の用意の用意について。坪内一致は幕末の算用者。

602　江戸御居間廻絵図懸紙云々絵図　　16.14—20
手写　文政7年（1824）
絵図1枚　79×85cm
江戸藩邸居間廻の改作につき，斉泰の意向を懸紙に付記した絵図。

603　真龍院様御引移御中屋敷御飾附　　16.14—21
渡辺喜内著
自筆　天保3年（1832）
5丁　23cm
真龍院は，12代藩主斉広の正室夙。天保3年2月28本郷邸より駒込邸に移転。

604　真龍院様御引移御屋敷御飾附　　16.14—22
渡辺喜内著
前田家編輯方手写
4枚　25cm
同前の写し。

605　真龍院様御国入之節金谷御殿御間飾之図　　16.14—23
渡辺喜内著
自筆　文政9年（1826）
巻子1（絵図）28cm
渡辺庸旧蔵。12代藩主正室真龍院は，斉広の卒後天保9年（1838）8月22日金沢に来て，金谷御殿に入る。

606　御客之節飾付　　16.14—24
手写
7丁　24cm
内題は「享保元年丙申9月26日江戸へ参着，其以後よりの御客并丁酉1年御在江戸中御客御飾附」で，享保元年（1716）と翌年中本郷邸に老中などを招待した時の間飾。中川典克旧蔵。

607　御床飾　　16.14—25
手写
14丁　26cm
渡辺庸旧蔵。天保15年6月3日の付札に「北御床飾何頃之御分ニ候哉と御尋申候処，至而古き分にて，ケ様之類多有之候，いつれ公辺へ指上候内ニ相違無之と平原様被仰候」とある。床飾につづいて，御逢盃之次第などが御式正献立が記されている。

608　御煤払・御追儺等留牒　　16.14—26
手写
16丁　12×18cm
藤田与七郎旧蔵。文化8年（1811）～文政5年（1822）の記事。城内の煤払，追儺，お鏡餅献上，お鏡餅かざりつけ，射初め，お鏡餅取払い，お鏡餅頂戴の諸行事留。

609　御煤払御規式および御具足餅御飾図　16.14—27
手写　正徳5年（1715）
5丁　24.5cm
小島為善旧蔵。原題「御煤払御規式御煤払竹之図，御具足餅御飾方図・所トモ留控」

610　御間飾等之記　16.14—28
手写
15丁　24cm
吉村小太郎旧蔵。大転太の大刀（三池転太）を初め前田家が家宝とした刀剣についての故事来歴を記したもの。

611　刀剣御道具類小紙　16.14—29
前田家編輯方手写　明治年間
38丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵の小紙を写し合綴。延享4年御拝領御刀，白銀師後藤一門系図，安永2年遉池および堂形における射技，御軍法，鉄炮打初め，御一門様方御道具，馬具など。

612　高徳院様御刺物長持入之事　16.14—30
横山蔵人著
手写　文政3年（1820）
1通　16cm
高徳院（利家）所持の刀剣入箱の仕舞方指図の文書小片。

613　御道具目録　16.14—31
五十嵐喜三郎編
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　24cm
婚礼用に納入した棚，簞笥，箱類，乗物，双六盤，鏡台，盆などの請求書の控。文中に右府様，宮様とあり。喜三郎は2代道甫か。五十嵐家は京都の描金工で，寛永中金沢に来て御用蒔絵師となった。

614　御代廼春鏡　16.14—32
髙桑恭村著
前田家編輯方手写　明治年間
53丁　23cm
13代斉泰が嘉永6年（1853）正月1日金沢城で年頭の賀をうけ，同2日松囃子（謡初め）の儀を行った。その時の藩主，諸大夫などなどの装束，進物，作法，献立，参列藩士などに詳細な考証を施した記録。記載は前年11月から始まっている。

615　御召方帳　16.14—33
牧五郎右衛門等編
手写
29丁　22cm
13代斉泰の衣服の注文帳で，題名に「大森并外御誂之分」の副書がある。大森は京都の加賀藩御用呉服商。嘉永元年（1848）から4年までのもの。

616　御城等え御出之節御着服之覚　16.14—34
手写　寛延4年（1751）
4丁　12×36cm
8代重熙の寛延4年元日から，同6月15日までの衣服の覚。

617　御一門様等御勤事御差略詮議一件　16.14—35
手写　嘉永2年（1849）
23丁　12×18cm
中川典克旧蔵。幕命による藩主一族の生活の簡素化案。

特16.15　出　　行

行列・御供

618　御参府等手帳　16.15—1
手写　1852 ? 151
12冊　12.5cm×18cm
① 御寺御参詣御行列（折本）
② 御露地方支配所，山道方支配所など84項目
③ 行列中後向きによる旗印（折本）
④ 御出御列行附
⑤ 於高岡瑞龍寺御参詣御行列附（寛政11・12年）

⑥ 行列附，御道中御定など（折本）
⑦ 東海道拾八御泊附（文化11年3月）
⑧ 江戸—金沢間の里数表
⑨⑩ 旗印（折本）
⑪ 行列附
⑫ 道中記（金沢—板橋）

619 御国留帳　16.15—2
手写　寛政元年（1789）
41丁　8寸×18.5cm
御行歩御行列，御鷹野御行列，中将様御同道之節御鷹野御行列，御国火事御行列并何被仰出候品。

620 御行列帳　16.15—3
手写　寛政3年（1791）
18丁　17.5×7.5cm
藤田与七郎旧蔵。寛政2年（1790）のもの。普通の行列，鷹野の行列，火事の際の行列，行歩，城中巡見，城内馬場，学校などへ御出の行列附。

621 御行歩御行列附　16.15—4
手写　寛政7年（1795）
4丁　17.5×8cm
横山勇太郎旧蔵。成立は天明6年（1786）。藩主行列の供揃いについて，5年前の形のまゝで行うことになった。そのために天明6年の行列附を写したもの。

622 相公様常御行列帳　16.15—5
横山引馬手写　享和2年（1802）
5丁　12寸×35.5cm
横山勇太郎旧蔵。12代斉広の通常行列。

623 相公様御中屋舗・御下屋舗へ被為入候節御行列附　16.15—6
横山引馬手写　享和2年（1802）
4丁　12寸×35.5cm
横山勇太郎旧蔵。12代斉広の江戸における略式行列。

624 於金沢御供方　16.15—7
手写
23丁　22cm
横山勇太郎旧蔵藩主の寺社参詣，鷹野，火事の節などの行列につき先例を調べ文化12年(1815)に取極めたもの。

625 御供方等心覚　16.15—8
横山隆誨編
手写
48丁　11.5×17.5cm
横山勇太郎旧蔵。内容は御供之節従者之覚，御供方旧記，御供方心得，歩御供御駕籠廻り装束之覚，御時宜方，御時宜役心得，火事御供方附り旧記。

626 御供方略記　16.15—9
野村信由編
手写
52丁　21寸×17.5cm
野村覚旧蔵。諸事の御供についての心得などを記す。野村信由は弘化5年（1848）歿，55才。

627 御供衆作法書　16.15—10
手写
巻子1　25cm
富田権六郎旧蔵。江戸の街中で，旗本，支藩主，両典厩方，公儀御扶持人，他藩士，町人などに出会った時の藩主御供人の作法書。5代綱紀の延宝～貞享頃のもの。

628 江戸上屋敷中之口御玄関前御供揃之図　16.15—11
手写
絵図1枚　35寸×24cm
朱書の題名「金沢城内……」は江戸本郷邸の誤りである。

629 御中屋舗へ被為入候節御行列附　16.15—12
手写
35丁　17寸×8cm
近藤篤之旧蔵。内容は天保12年（1841）御引移之上御中屋舗へ被為入候節御行列附，同年9月

御屋舗之内御出御行列附，天保13年正月御登城之節御行列，相公様御同道御行列附，天保12年御引移之上火事之節御行列附およびその際の心得など。

630 学校等御出之節御行列附　16.15—13
島田相保手写　弘化２年（1845）
４冊・仮綴１（３通）６×17.5cm・24cm
島田孝郷旧蔵。冊子は御附御横目の記録。表題は①学校御出之節御行列附②御行歩之節御行列附③火事之節御行列附④御鷹野御行列附。３通の一紙物もこれらについての心得の覚であるが，１通は享保19年～元文２年（1734～1737）の覚書。

順　　見

631 御巡見御道筋書上申帳　16.15—14
嘉永５年（1852）
合綴１（３冊）　12×18cm
横山隆幹旧蔵。13代藩主斉泰の能登順見についての記録。第３本は大野木勝征旧蔵，織田左近編で成立は嘉永５年（1852）。それを安政２年（1855）に大野木克敏が手写したもの。斉泰の能登巡見は嘉永６年４月４日金沢発，同月25日帰城。

632 能登国御巡見ニ付御道筋書上写并御行列附　16.15—15
手写
５丁　12×17.5cm
早川随勝旧蔵。成立は嘉永６年（1853）。13代藩主斉泰の能登順見に際しての宿泊，中休，小休の場所記録などと行列方法の記録。

633 能州海岸御巡見御道筋巨細書　16.15—16
有沢栄女吉（師貞）著
自筆　嘉永６年（1853）
36丁　24cm
能州海岸順見道筋の距離，道路状況，休憩，台場，番所等々を記す。通過する村名を絵図化してあらわす。13代藩主斉泰の能登順見。

634 能州御順見御泊附　16.15—17
手写
１通　15cm
13代藩主前田斉泰が，嘉永６年（1853）４月能登を順見した際宿泊した村名と日附を記したもの。

635 能州海岸御巡見路径詳細　16.15—18
手写　嘉永６年（1853）
36丁　26cm
能州順見道筋を絵図にて示し記録したもの。13代藩主斉泰。

636 越中筋就御巡見所々役人等罷出候名書帳　16.15—19
木村武左衛門編
自筆　明和９年（1772）
17丁　12×35cm
富田権六郎旧蔵。順見の道筋は魚津を発って，今石動経由，金沢までの帰り。

637 御城御巡見御道筋　16.15—20
手写
１通　24×36.5cm
「宝暦八年（1758）四月七日，御次留帳之内御城御巡見御道筋等」とあり。10代重教が２日に分けて金沢城内の修理箇所をくまなく巡視した。その道順。

638 御城中御見分之節道筋并罷出候人々名書等　16.15—21
手写　嘉永元年（1848）
10丁　12cm×36.5cm
13代藩主斉泰が，嘉永元年（1848）９月～10月に３日間城中を見分した際の道順及び罷出た者を記す。

639 筑前守様御城御巡見ニ付相違候御作法書　16.15—22
前田監物・玉井頼母編
前田家編輯方手写　明治年間
26丁　24cm

嘉永2年（1849）原本成立，筑前守は前田慶寧。

640　小松御城御巡見留帳　16.15—23

前田織江編

手写　寛政6年（1794）

34丁　12×18cm

前田道益旧蔵。内容年代は宝暦13年（1763）9月。

641　小松城二ノ丸番人より取揚候古き押紙面之内御巡見之分書抜　16.15—24

横山政和手写　文久3年（1863）

16丁　12×18cm

筆者横山政和はこの時小松城代。内容。宝暦13年（1763）9月10代重教，。寛政9年（1797）9月11代治脩，。文化11年（1814）4月12代斉広，。嘉永元年（1848）4月13代斉泰が小松見城内を巡した時の心得。旧書名「小松御城代方御丸番より支場小押紙面之内御巡見之分書抜」

642　小松御城御巡見道筋絵図　16.15—25

手写

絵図1枚　94×101cm

嘉永元年4月13代斉泰，同2年閏4月世子慶寧が順見の際の城内の巡路を示した絵図。前田貞醇旧蔵。

643　小松御城御巡見画図　16.15—26

手写

絵図1枚　71×71cm

同前の際，城内本丸内の巡路を示した絵図。前田貞醇旧蔵。

行　　歩

644　松雲院様熱海御入湯一巻　16.15—27

手写

2冊　24cm

高畠定辟旧蔵。万治2年（1659）2月5代藩主前田綱紀が病気療養のため熱海に湯治した記録。

645　奥村伊予宅へ初而被為懸御腰儀覚書下帳　16.15—28

手写

19丁　24cm

延宝2年（1674）10月2日，5代藩主綱利（綱紀）が奥村伊予守時成の屋敷へ立寄った記録。

646　奥村伊予守新屋敷へ御成被仰出等覚書　16.15—29

中川長定（式部）編

自筆　享保13年（1728）

18丁　24cm

中川典克旧蔵。享保13年4月6日，6代吉徳（吉治）が奥村有輝の新邸を訪れた時の記録。

647　伊予守新屋敷へ御立寄之節御作法等之覚　16.15—30

手写

12丁（折本）16cm × 7.5cm

中川典克旧蔵。同前の略記。

648　観音院へ御参詣御帰路奥村伊予守屋敷へ御立寄御道筋之図　16.15—31

手写

絵図1枚　38.5×49.5cm

前田貞醇旧蔵の写。文化9年(1812)9月22日，勝千代（13代斉泰）が卯辰観音院へ初参り，帰路奥村栄実の邸に立寄った。

649　重熙公林泉寺御中休之事　16.15—32

手写

1通　24cm

寛延4年（1751）閏6月前田重熙（8代藩主）は木曽通りから中仙道を経て江戸に向った。途中信州上ケ松での中休を変更して林泉寺（臨泉寺）で休憩したこと。

650　覚　　書　16.15—33

下村 某編

自筆　享和4年～文化3年（1804～1806）

12丁　12×17cm

「御挟箱御入方」「御蓑箱御入方」。享和4年

（1804）2月12日宝円寺御参詣之節の装束，享和4年（1804）2月21日卯辰山等へ御行歩の節挟箱，薬箱，守箱，荷挟箱の内容等を記す。

651　柳島妙見へ御参詣之節森川五郎右衛門別荘数寄屋并座敷飾附　16.15—34

手写　天保7年（1838）
2冊　20.5cm・21cm　紙袋入
原題①柳島妙見へ御参詣向島森川五郎右衛門別荘へ御立寄之砌御数寄屋并座舗等飾付（天保7年9月22日）②座敷之次第。森川五郎右衛門は江戸の材木商。

652　筑前守様鈴見村より宇穴場へ御出之図　16.15—35

手写
絵図1枚　28×41cm
安政4年（1857）の出馬配置図。

653　越中射水郡二上山御登山御道筋之図等　16.15—36

石黒信由著
自筆　嘉永5年（1852）
9丁・絵図3枚　9×19cm　桐箱入
冊子の題名「嘉永五年二上山御見渡所々」
①　嘉永五年四月五日「二上山城跡へ御登山御道筋之図」(35×46.5)
②「二上山ヨリ四方遠山見渡之図」嘉永五年三月廿七日（18×173.5）
③「加越能三州郡分略絵図」嘉永五年壬子五，（32×58）射水郡高木村藤右衛門製図
12代斉広が入国の途中二上山に登る。

654　長田町越中屋又八へ御立寄御座所之図　16.15—37

手写　文久3年（1863）
絵図2枚　36×24.5cm
文久3年3月18日，13代斉泰は嗣子慶寧を伴って，藩が購入した軍艦発機丸を見に行った。その途中の休憩所の図。

655　御宮江御参詣御用絵図　16.15—38

手写
絵図1枚　40×28cm
寛永20年（1643）金沢城内北ノ丸に落成した東照権現（現在の尾崎神社）の平面図。

656　日光御参詣御書控等　16.15—39

手写
合綴1（2冊）　25cm
万治2年（1659）「日光御参詣御書控」「日光御社参之節御作法書写」の2冊合綴。前者は10月25日前田綱紀が日光東照宮に参詣，その旅中近親および幕府の要職に宛てた綱紀の書状の写。

657　日光参宮一件　16.15—40

富田次太夫著
手写
巻子1　24.5cm
藩主に代って日光東照宮へ参詣した記録。富田権六郎旧蔵。次大夫は貞武，明和6年（1769）歿，65才。

658　富士御社参御下乗并御供残所図　16.15—41

手写
絵図1枚　24×36cm
高畠定辟旧蔵。江戸城内富士社参詣の場合。御供の稲垣与三右衛門は宝暦6年（1756）歿，69才。旧書名「富士御社参之図」

659　富士社参御下乗并御共残所図　16.15—42

手写
絵図1枚　40.5×28.5cm
横山勇太郎旧蔵。同前。

660　御寺御参詣等之覚　16.15—43

手写　宝暦7年（1757）
7丁　24cm
表紙に「宝暦七年・御国」，また本文初めに「宝暦七年十一月左之通相極候由ニテ表方ヨリ達

ニ付写之」と朱書がある。宝円寺，天徳院，如来寺へ参詣の定め。

661　御寺御参詣等之覚　16.15—44
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　25cm
同前の写し。

662　御寺御参詣等之帳　16.15—45
手写
16丁　12×18cm
天明末期の在国中の覚に，寛政7年（1795）の加筆がある。

663　両御寺等御参詣帳　16.15—46
手写　文政4年（1821）
21丁　12×18cm
前田道益旧蔵。月別に，藩主関係の忌日と寺および参詣者を列記したもの。寺院は金沢。

664　御在国中御寺御参詣并御代香之記　16.15—47
前田道済（織江）編
自筆　文政7年（1824）
15丁　12×18cm
前田道益旧蔵。

665　毎月御寺御参詣等之覚　16.15—48
成瀬正敦手写　天保7年（1836）
25丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。於金沢。

666　御在国中御参詣帳　16.15—49
横山政知手写　慶応2年（1866）
28丁　24cm
横山政和旧蔵。

667　野田御廟之図　16.15—50
奥村某手写　宝暦13年（1763）
絵図1枚　彩色　55.5×39.5cm
前田貞醇旧蔵。宝暦13年（1763）7月13日，10代重基（重教）が墓参の折の下乗，道順などを示す。

668　野田御廟之図　16.15—51
手写
絵図1枚　59×47.5cm
前田貞醇旧蔵。前号と同内容。

669　野田御墓所絵図　16.15—52
手写　明和8年（1771）
絵図1枚　彩色　67.5×45.5cm
成瀬正居旧蔵。前号の写に，明和8年治脩の時に若干変更したもの。

670　謙徳院御廟参詣図　16.15—53
手写
絵図1枚　40×56cm
謙徳院は8代藩主前田重熙。享保14年（1729）7月24日～宝暦3年（1753）4月8日，25才。天明期のもの。

671　野田御廟参之絵図　16.15—54
冨田外記手写
絵図1枚　彩色　23.5×40cm
天保11年（1840）の付札がある。

672　野田御廟参之絵図　16.15—55
前田貞事手写　文政13年（1830）
絵図1枚　彩色　48×28.5cm
前田貞醇旧蔵。前号の写し。

673　天徳院御参詣御先立等之絵図　16.15—56
中川典義手写　天保3年（1832）
絵図5枚
中川典克旧蔵。
① 天徳院御廟参之節絵図，28×40cm
② 年頭天徳院へ御参詣之図，40×28cm
③ 天徳院開山堂へ御位牌御遷座中御参詣之節御先立心得，28×41cm
④ 天徳院参詣絵図，24×35cm
⑤ 天徳院御参詣之節絵図，24×36cm
天保6，7年の書込あり。

674　天徳院御霊屋御廟所御参詣絵図　16.15—57
手写

絵図１枚　彩色　72.5×47.5cm

旧書名「天徳院御霊居所廟所参詣絵図」

675　真龍院様御参詣之節天徳院御縮絵図　16.15—58

手写

絵図１枚　彩色　69×52.5cm

真龍院は12代斉広の室隆。天保９年（1388）初めて金沢に入る。

旧書名「天徳院御縮絵図」

676　宝円寺天徳院常御参詣之図　16.15—59

手写

絵図２枚　28×40cm，28×39.5cm

中川典克旧蔵。

旧書名「宝円寺天徳院御参詣之図」

677　宝円寺へ御参詣御用絵図　16.15—60

手写

絵図１枚　彩色　55×31.8cm

元文，寛保頃（1737～1744）のもの。

678　宝円寺御参詣絵図　16.15—61

中川典義手写　文化７年（1810）

絵図１枚　24.2×39cm

中川典克旧蔵。原題は「文化七年十一月於宝円寺太梁院様御一周忌御法事之節参詣御間囲略図」。太梁院は11代藩主前田治脩。延享２年（1745）１月４日～文化７年（1810）１月７日没，66才。

679　宝円寺御縮絵図　16.15—62

絵図１枚　彩色　56×46cm

「栄操院様御参詣之節」と附記。栄操院は12代藩主前田斉広の側室八尾，後龍操院。寛政元年（1789）～嘉永３年（1850）11月７日，62才。

680　宝円寺天徳院常御参詣之図　16.15—63

手写　文政13年（1830）

絵図１枚　28.5×40.5cm

前田貞醇旧蔵。年頭その他常参詣の図。藤田某所持のものを前田貞事が写させたもの。

旧書名「宝円寺天徳院御参詣之図」

681　宝円寺道筋改之図　16.15—64

中村喜太平編

自筆

絵図１枚　彩色　69×66.5cm

参詣の便のため，石引町から宝円寺迄の石引新町の道と橋を改修した時の図。

682　大乗寺宝円寺御代拝略作法　16.15—65

手写

仮綴１（５通）25cm

中川典克旧蔵。鈴木永太郎，山本弥次右衛より中川八郎右衛門宛の文書のつづり。

683　如来寺上下御供方絵図　16.15—66

片岡知周手写　文化３年（1806）

絵図１枚　40.5×28.5cm　包紙入

684　如来寺御参詣ニ付伺書　16.15—67

手写

１通　24cm

文化９年(1812)12月。如来寺より成瀬内蔵助，中川清六郎，竹内掃部宛。

685　如来寺御参詣之節絵図　16.15—68

前田式部手写　天保11年（1840）

絵図１枚　53×60cm

前田栄次郎旧蔵。文政７年９月20日13代斉泰が入国後はじめて参詣。

686　如来寺御参詣絵図　16.15—69

手写

絵図１枚　47×55.5cm

中川典克旧蔵。前号に同じ。

687　瑞龍寺御参詣之絵図　16.15—70

前田純孝（内記）編

前田貞事手写　文政11年（1828）

絵図２枚　24.2×36cm　包紙入

前田貞醇旧蔵。内題は「高岡瑞龍寺御参詣御道筋」，前田内記の覚により前田貞事が絵に写したもの。享和元年（1801）３月14日，12代斉広が参勤の途中高岡瑞寺へ参詣した際のもの。

旧書名「瑞龍寺御参詣御道筋之図」

688　瑞龍寺御参詣之絵図　16.15—71
前田純孝（内記）編
手写　文化13年（1816）
絵図1枚　52.5×38.5cm　紙袋入
横山政和旧蔵。文化13年3月26日12代斉広が入国の途次高岡瑞龍寺へ参詣。

689　瑞龍寺へ御参詣之節御先詰之絵図　16.15—72
手写
絵図1枚　46×36cm
前田貞醇旧蔵。前号に同じ。
旧書名「瑞龍寺御参詣之絵図」

690　高岡瑞龍寺へ御参詣之節御先詰一件　16.15—73
手写
5丁・絵図1枚　11.5×18cm・48×36cm
富田権六郎旧蔵。絵図は前号に同じ。

691　高岡瑞龍寺等へ寿正院様御参詣御縮絵図　16.15—74
中村家外平等編
手写　嘉永5年（1852）
絵図1枚　110×107.5cm
寿正院は12代藩主前田斉広の女，大聖寺10代利極室勇。文化10年（1813）5月7日～明治8年（1875）2月1日，63才。嘉永5年9月江戸より金沢入りの途中の参詣。作図者は外作事奉行中村家外平のほか，御歩横目田中五郎左衛門，御大工藤岡伊大夫である。

692　瑞龍寺参詣御名代御作法之図　16.15—75
手写
絵図1枚　39.5×25.5cm
前田貞醇旧蔵。

693　多慶若様卯辰観音院へ御出之節絵図　16.15—76
慶応元年（1865）
絵図2枚　28×62cm・285×39.5cm
多慶若は14代藩主前田慶寧の長男，利嗣。安政5年（1858）4月19日～明治33年（1900）6月14日歿，43才。内容年代慶応元年五月。

694　御供方絵図　16.15—77
手写
絵図5枚　彩色　56×41cm
高畠定辟旧蔵。増上寺絵図，上野御仏殿絵図，西之御丸御供残所絵図，西之御丸御下乗絵図，御本丸御下乗所等絵図。

695　神護寺御仏殿へ御参詣御用絵図　16.15—78
寺社方手写　寛政3年（1791）
絵図1枚　彩色　40×30.5cm
神護寺は，金沢城内にある東照宮に奉仕する別当の寺院で，天台宗に属し北叡山と号した。位置は西町甚右衛門坂の下（現在，尾山町3—7大谷廟所になっているところ）で寛永20年（1625）建立。寛政3年2月24日，徳川家基（家治の長子）の13回忌法会を執行した。

696　神護寺御参詣伺公所図　16.15—79
中川某著
手写
絵図1枚　37×25cm
中川典克旧蔵。前号の写。

697　円乗寺へ御出御用絵図　16.15—80
手写
絵図1枚　27.5×39.5cm
円乗寺は舟岡山と号し日蓮宗。現金沢市河原市町にあり，6代吉徳の室継（善良院）の菩提寺であった。
旧書名「円乗寺へ御出之図」

698　盆中広徳寺御参詣御廟参之節御跡供之絵図　16.15—81
高畠安定手写　文政8年（1825）
絵図1枚　36.5×24.5cm
高畠定辟旧蔵。広徳寺は江戸下谷にあり，綱紀・宗辰・重教・治脩の正室の廟があった。
旧書名「広徳寺廟御先詰之図」

699　増上寺絵図　16.15—82
横山隆晦（引馬）等手写
絵図7枚　彩色
① 増上寺惣図28×40.5cm　高畠定辟旧蔵
② 享保16年（1731）7月14日，増上寺御参詣

ニ付三御仏殿桂昌院様御仏殿へ茂御参詣被遊候内通御道筋絵図40.5×56cm　辰巳某手写
③　同上36×48.5cm　横山隆誨手写
④　安永2年（1773）6月12日淳信院様13回御忌之節御予参被遊諸事如絵図28×36.5cm　田辺直廉手写
⑤　同上25×36.5cm横山隆誨手写
⑥　天明3年（1783）6月12日淳信院様23回御忌御法事之節増上寺へ御予参之絵図
横山隆誨　手写
25.5×36.5cm
⑦　天保13年（1842）3月12日御両殿様御同道増上寺総御霊屋へ御参詣方丈御勤被遊候絵図
24×36.5cm　髙畠定辟旧蔵

社

700　三王社参御下乗所并御供残所之図　16.15—83
手写
絵図1枚　40.5×28.5cm
横山勇太郎旧蔵。藩主が江戸の三王社（日枝神社）に参詣した時の指図。

701　三王社之図　16.15—84
髙畠定辟手写
絵図1枚　24×35.5cm
髙畠定辟旧蔵。副題は「御先代御下乗并御供残所之図但付札之通相極」

702　若御前様御初観音院へ御出之節御縮図　16.15—85
手写　文久3年（1863）
絵図1枚　彩色　76×77cm
若御前様は14代慶寧の正室通。文久2年金沢入り，元治元年（1864）歿，19才。

703　若御前様御初観音院より向山へ御出之節御縮絵図　16.15—86
手写　文久3年（1863）
絵図1枚　彩色　51×73cm
前号と同日の遊歩。鳶ケ峰あたりに仮の御座所がある。

704　若御前様大乗寺へ御立寄之節御縮絵図　16.15—87
手写　元治元年（1864）
絵図1枚　彩色　105×123cm
若御前様は同前。元治元年4月のこと。

子女出行

705　真龍院様御迎御供ニ付江戸表へ御出府御行列附　16.15—88
手写
9丁　18×8.5cm
中川典克旧蔵。内容年代天保9年（1838）。真龍院は12代斉広の室。

706　御供人勤方　16.15—89
中川八郎右衛門編
天保9年（1838）
7丁　12×18cm
中川典克旧蔵。真龍院（第12代藩主斉広の正室）は天保9年8月4日江戸駒込邸発，同月22日金沢着金谷御屋敷に入った。これは出発前に決められた御供人の氏名と役割を記したもの。

707　真龍院様御道中方ニ付御横目ヨリ触出之写　16.15—90
手写　天保9年（1838）
25丁　12×18cm
中川典克旧蔵。

708　真龍院様御道中御供之定　16.15—91
手写　天保9年（1838）
3丁　12×18cm

709　真龍院様御道中御行列附帳　16.15—92
手写　天保9年（1838）
9丁　35×12cm

710　真龍院様御道中御行列附帳　16.15—93
手写　天保9年（1838）
16丁　24cm

711　真龍院様御道中向帳　16.15—94
中川典義著
自筆　天保９年（1838）
11丁　13×９cm　包紙入
「其二」とあり，８月18日東岩瀬から金沢着の翌日23日までの日誌。中川典克旧蔵。

712　真龍院様御供にて帰着届之覚　16.15—95
手写
１通　15cm
中川典克旧蔵。

713　姫君様御登城之節御住居立披図　16.15—96
絵図１枚　68.5×48.5cm　紙袋入
前田貞醇旧蔵。姫君は第13代正室で徳川家斉の女，溶姫。江戸城を訪ねるための，本郷邸での御供建図。

714　姫君様御行列一巻　16.15—97
手写
54丁　24cm
横山政和旧蔵。行列二種と附録「火事之節御供ニ罷出候者装束等」。

715　姫君様御登城御行列附　16.15—98
手写
23丁　12×18cm
江戸城登城行列附で，嘉永２年（1849）閏４月，同４年８月，同５年２月の御供人氏名を付札してある。

716　姫君様御本丸御広式へ御登城之節御城内御供建落絵図　16.15—99
手写
絵図１枚　41×56cm
前田貞醇旧蔵。御供建方絵図，その上に御入之節御供落方の絵付を貼付。姫君（溶姫）が江戸城本丸を訪れた時のもの。

717　姫君様西丸御広式へ御登城之節城内御供建落画図　16.15—100
手写
絵図１枚　41×56cm
前田貞醇旧蔵。御帰之節御供建方を貼付。

718　姫君様西丸御登城之節御供人数立披等之絵図　16.15—101
手写
絵図３枚　28×41cm　紙包入
前田貞醇旧蔵。①御入之節の御供建披絵図，②御帰之節の御供建披絵図，③城内順路図。溶姫が江戸城西之丸へ登城した時のもの。

719　姫君様御供一件　16.15—102
横山政和編
手写　安政２年（1855）
40丁　24cm
横山政和旧蔵。溶姫が，入輿後の膝直し，年頭御礼など，江戸城に登った時の御供の事，途中での心得，文政10年（1821）12月から安政２年（1855）８月までの全登城の表などあり。

720　姫君様御供一件自分覚書　16.15—103
横山政和著
自筆　安政２年（1855）
８丁　24cm
安政２年８月13日溶姫が江戸城に登った時の覚書。

721　姫君様御供人従者減方一件　16.15—104
横山政和編
自筆　安政２年（1855）
４丁　12×18cm
横山政和旧蔵。姫君は溶姫。

722　姫君様御登城之節留　16.15—105
前田恒敬手写
６丁　12×17cm
前田恒敬旧蔵。安政５年（1858）正月溶姫が江戸城に登った前後の覚書。大音帯刀手留の写。

723　姫君様御供一件　16.15—106
横山政和編
自筆　文久３年（1863）
51丁　11.5×18cm
文久３年（1863）４月金沢入りした溶姫の御供をした政和の３月20日から５月初までの日誌。

724　姫君様御入国四品帳并御道中触等　16.15—107
横山政和編
自筆
56丁　12×18.5cm
溶姫の文久３年（1863）４月御国入の記録。御供人帳，御行列附，姫君様御道中御供之面々勤方帳，姫君様御道中川渡御役人帳，書抜品々，姫君様道中御供之定などを収録。

725　溶姫様入国一件　16.15—108
横山政和編
前田家編輯方手写　明治年間
２冊　23cm
溶姫の文政11年（1827）入輿，文久３年(1863)国入の際のもの。
① 姫君様御入国四品帳并道中触等，川渡御役人帳
② 姫君様御入国御道中日記，姫君様俄御引取ニ付不及伺取計候品々覚書

726　姫君様御泊附　16.15—109
手写
４丁　12×32.5cm
文久３年４月溶姫の御国入りの下街道泊附。

727　〔姫君様御着輿之節御供落シ絵図〕　16.15—110
手写
絵図２枚　48×35cm　紙袋入
「御守殿御門内外御供落シ個所」「御城内御行列御供人落シ個所絵図面」の２枚で，金沢城二之丸御殿の部分図。姫君様は溶姫。

728　〔金沢城二之丸御守殿御供建方絵図〕　16.15—111
手写　文久３年（1863）
絵図２枚　108×78cm　包紙
横山政和旧蔵。「姫君様御城外御出之節御行列御供建ケ所絵図」「姫君様・初姫様御建込非常之節御立退御行列御供建方絵図」の２枚。

729　姫君様御城外へ御出之節御行列帳　16.15—112
手写
20丁　12×36cm
横山政和旧蔵。成立は文久３年（1863）。溶姫の城外御出立行列と溶姫と初姫（斉泰の女）の非常御立退之節之分を記録。

730　姫君様江戸表へ御引返ニ付諸事御用留　16.15—113
前田家編輯方手写
13丁　24cm
元治元年（1864）９月２日幕府は斉泰の室に江戸に居住すべきことを命じたので，同年10月24日金沢発江戸に向かった。その出発までの留書。

731　姫君様近々御発駕ニ付為御餞別不押立御招請一件　16.15—114
野村覚之丞編
自筆　元治元年（1864）
15丁　12×17cm
溶姫が元治元年10月24日金沢を発して江戸へ行くのでお別れの宴を催した時の献立。附「御招請御作法」。覚之丞は御膳奉行。

732　溶姫様江戸へ御引返之節御道中御行列附　16.15—115
手写
７丁　12×35.5cm
文久３年（1863）金沢入りした溶姫が，元治元年（1864）10月金沢を発し江戸へ行った時の行列附。

733〔直姫様宮腰浜へ御出之図〕　16.15—116
内作事方手写　文政３年（1820）
絵図１枚　28.5×39.5cm
「文政三辰年直姫様宮腰浜江御出之絵図」。直姫は12代斉広の女。文化６年（1809）生，８年

(1811) 小倉侯の長子小笠原忠徴と婚約し，未だ嫁せずして，文政8年 (1825) 歿。官腰は金石。

734 基五郎様御発駕之節御作法　16.15—117
手写
6丁　24cm
早川随勝旧蔵。基五郎は大聖寺藩12代利義 (前田斉泰の3男)，嘉永2年 (1849) 家督相続，同年9月11日金沢を発して江戸に向った時の見送りの作法。

735 方々様御引取一件　16.15—118
横山某編
前田家編輯方手写
18丁　24cm
文久2，3年 (1862，3) に慶寧の室祟子，斉泰の女初姫およびその室溶姫を国許に引取ったときの関係文書。横山某は政和か。

鷹　　野

736 鷹方覚書類　16.15—119
前田家編輯方手写　明治年間
10冊　23cm
前田貞醇旧蔵の写。
① 御鷹場等覚，御鷹場村数彼是覚書，御鷹師等欠人覚，新戸御供人其外覚書，覚，越中砺波郡云々，毎日御鷹不指日
② 御鷹野御供人数覚書，陽広院様御代云々，御鷹数覚書，相州御鷹場御願被遊御上被成候始終留帳，御鷹数并御鷹師人数分限云々，御鷹数之帳，御鷹師御餌指巣見鳥見知行切米高并歳付之帳，享保十五年戌正月云々，享保十七年三月廿六日云々，享保十七壬子六月十日云々，御鷹据人覚書，丑七月御鷹
③ 寛保二年正月二日　主付隼人
④ 延享元年御留守留上
⑤ 〃　　下
⑥ 延享元年御留守中留　上
⑦ 〃　　下
⑧ 延享二乙丑二月分御留守中留
⑨ 〃　　三月分　〃
宝暦二年新川郡追鳥狩之儀ニ付云々
⑩ 文化五年改毎月御鷹不指日，毎月御鷹不指候，年号未詳覚書十九種

737 御鷹場之覚等　16.15—120
手写
仮綴1 (3枚) 25cm
中川典克旧蔵。内容は，寛文7年 (1667) の鷹場区域と鷹飼育餌代についての定書。

738 〔相州於御鷹場御狩留帳〕　16.15—121
手写　延宝元年 (1673)
115丁　24cm
原題名「相州於御鷹場延宝元年十一月十六日木曽八幡山并丸山はら山御狩，同廿一日相武鶴間両所之笹山道生山はら山丸山坊山御狩諸奉行諸役人目又なら山忍田山芦山山崎山野津田山鵜町田山小川鴻ケ坂より坊山へ猪鹿移候様ニ追之候役人等留帳」。5代綱紀の代の猪狩計画書。

739 御鷹野御行列附並火事之節御行列附　16.15—122
前田家編輯方手写　明治年間
3丁　24cm
横地氏旧蔵の写。享保2年 (1802) 鷹狩の際の行列と火事の際の行列の形態について記す。

740 鷹野行列附日記抜書　16.15—123
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
86丁　23cm
内容は，享保9年御鷹野行列附，享保10年御鷹野御行列之写，享保12年於金沢火事御行列，於御当地御寺方等御参詣御供数，貞享元年御行列書写，御行列附。附，旧記之内抜書六通，寛保二壬戌年惣状訟書。

741 粟ケ崎御鷹野御供附　16.15—124
手写
4丁　18×6cm
富田権六郎旧蔵。6代吉治 (吉徳) が享保9年

（1724）9月22日粟ケ崎で放鷹の計画をたてたが，その前日藩臣堀秀満の諫言で1年延期となった。

742　能美郡御鷹野振ニテ御巡見御行列帳　16.15—125

手写
16丁　8×18cm
横山勇太郎旧蔵。寛政9年（1797）9月18日から11代治脩は小松城主および附近を巡見して同21日帰城。

743　御留場に於て狩猟停止之触　16.15—126
加賀藩御用番編
手写　文化元年（1804）
1通　15cm

744　御鷹場一件　16.15—127
手写　天保3年（1832）
53丁　12×18.5cm
副題「但改奉行岡田太郎右衛門申聞候所有之記置」。富田権六郎旧蔵。内容は，文化12年(1815)に鷹場のうちで小鳥商売をしている百姓等と小鳥商売人に対して出した触に公事一件を記す。

745　〔勝千代様宮腰へ御鷹野御出之図〕　16.15—128
内作事所編
手写
絵図2枚　28×40cm
1枚は「勝千代様宮腰浜へ御出之絵図」文政3年（1820）。他の1枚は「勝千代様宮腰へ御鷹野振ニテ御出ノ節如図」文政5年（1822）。勝千代は13代斉泰。

746　御鷹場等一巻手控　16.15—129
前田矩正手写　天保11年（1840）
20丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。内容は，文政9年（1826）鷹場触書と鷹場村附を記したもの。

747　多慶若様御鷹野泉野調練場へ御出之図　16.15—130
手写
絵図1枚　28×40cm
慶応2年（1866）3月多慶若（14代慶寧の子利嗣）が鷹野之振で行歩した時のもの。

748　河北潟御鷹野御休所　16.15—131
手写
1枚　17cm×17cm

749　御供人覚書　16.15—132
手写
仮綴2　12×18cm
慶応3年（1867）頃のもの。「中納言（14代慶寧），多慶若（15代利嗣）の鷹野など行歩の時の供人の心得。

旧書名「中納言様幷多慶若様御供人之事」

750　御馬名書　16.15—133
手写　天明8年（1788）
10丁　11.5×17.5cm
表紙に「此御馬名書絹川団右衛門より指出候ニ付写調指上置候事，天明八年五月写之控也」とあり。190の馬の名が列記されている。絹川団右衛門は清温で，代々御馬役。

751　御馬之名　16.15—134
山本新左衛門編
自筆
仮綴1（2枚）16×44cm
富田権六郎旧蔵。雲井，千里，尾山の名は千載集の和歌から，常盤は拾遺集にちなんだことを示す。包紙に「山本新左衛門上」とあり。新左衛門は源右衛門基庸を嗣いだ基房(天明4年没)であろう。

752　御馬・御鷹帳　16.15—135
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　24cm
11代治脩，12代斉広の鷹とその据人の名。馬については用途別に，毛色，年令および乗口，爪髪，博労の人名を列記してある。

特16.16　吉　　凶

出産・誕生

753　御誕生一巻之帳　　16.16—1
横山志摩編
自筆　延宝3年（1675）
20丁　25cm
藩主の世子出生の際の年寄，掛りの心得，お祝いなどについての覚書。

754　御着帯御式　　16.16—2
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24cm
藩主夫人の懐妊着帯の式と御産所について記す。表紙の朱書「壬辰御再度之節御用部屋迄指上候控」とあり。天保3年（1832）のもの。

755　御着帯御産棚等御式下書　　16.16—3
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24.5cm
前号と，ほぼ同内容。

756　御着帯御祝式御献立　　16.16—4
御料理方編
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24.5cm
藩主夫人の懐妊の着帯の祝いの献立を記す。「天保3壬辰年御再度御料理方より指越候分」と朱書がある。

757　御着帯御祝等　　16.16—5
舟木伝内編
手写
8丁　25cm
渡辺庸旧蔵。藩主夫人の懐妊，出産などの祝方について記す。原題は「舟木伝内より先達而神田一平殿等迄相達置候紙面」で，神田一平は斉泰室溶姫の御住居附御用人であった。

758　御胞衣納方　　16.16—6
前田家編輯方手写　明治年間
1丁　18cm 24.5cm
藩主の嗣子などの出生に際し，御胞衣の始末（土中に埋める）について記す。

759　御産刀等入御箱絵形　　16.16—7
手写
絵図5枚　大40×56cm，小24.5×36.5cm
御産刀とその入箱，御胞衣桶入御筥蓋および服沙の寸法と文様の下絵。渡辺庸旧蔵。

760　御産刀之覚　　16.16—8
渡辺喜内・渡辺佐大夫編
手写
9冊・絵図5枚・仮綴2　14.5cm×25cm
絵図　大42×54.5cm　小24×36cm
渡辺庸旧蔵。①御産刀入御箱絵形（5枚）
②おきさ方御懐胎御筥刀留（天保3，12）年
③おきさ方御両度御懐胎御筥刀留（天保6，4）年
④おみへの方御懐胎御産刀留帳（天保7，9）年
⑤おきさ方御三度御懐妊御筥刀留（天保10，7）年
⑨おつさ方御懐胎御筥刀留（天保12，3）年
⑦おつさ方御懐胎御筥刀留（弘化4，5）年
⑧お幾久方御懐胎御筥刀留（嘉永2，4年
⑨おふて方御懐胎御筥刀留（安政3，1年）
⑩おりさの方御懐妊御筥刀留（文久3，8）
ほかに関係文書の2綴（7通と4通）。以上何れも斉泰，慶寧の側室の場合である。

761　御誕生鏑目御用留　　16.16—9
奥村栄実・奥村栄通等編
自筆
仮綴1（27通）18cm
鏑目は数個の穴のある鏃のことで，穴から風が入って妖魔を伏すといい，貴人の出産の時など鏑目を射る儀式（鳴弦）を行なった。元和から嘉永にわたる覚書である。
旧題を「御誕生鏑目之記」

762 御誕生蟇目之式，享保以来軽重差別之事　16.16—10

奥村為質（栄実）編
自筆
2丁　12×35.5cm
享保，文化間の江戸，金沢における引目の式の差異についての抜書。

763 蟇目御用方覚抜書　16.16—11

奥村栄通編
自筆
仮綴1（7丁）絵図1枚　12cm・23×17cm
寛政～文久期の御誕生引目の役懸人などについての覚書の抜萃。

764 御誕生引目射式概　16.16—12

奥村栄通編
自筆　弘化4～元治元年（1847—64）
8枚　17cm
13代斉泰と14代慶寧の子女8名の場合である。

765〔蟇目御用にて奥村内膳於御居間書院御刀被下候絵図〕　16.16—13

手写
絵図1枚　35×49cm
前田貞醇旧蔵の写。内容は天保3年（1832）。原題「今度鈎次郎殿御誕生ニ付奥村内膳蟇目御用被仰付於御居間書院御刀被下之候絵図」。鈎次郎は13代斉泰の第2子で14代慶寧の弟。

766 教千代出生届の儀につき伺等　16.16—14

手写
2通　17cm
①安永7年（1778）11月17日付，外記（富田貞直）宛，教千代の年令水増の可否に関する伺，②安永8年（1779）正月10日付，外記宛，教千代の居所を二ノ丸とすることの可否に関する伺。前田教千代（斉敬）は安永7年（1778）9月出生，重教の子，兄治脩の養子となるも寛政7年（1795）18才で死去。富田外記（貞直）は近習御用。

767 若子様御誕生祝義献上物書抜　16.16—15

前田家編輯方手写　明治年間
5丁　24cm
横山政和旧蔵の写。若君及姫君誕生の際の献上物規式につき，旧例として文化8年（1811）の場合などを記したもの。

768 寿光院様御懐妊之節調方　16.16—16

前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm
寿光院は10代藩主重教の正室。紀伊徳川宗将の女。内容は文政13年（1830）のこと。「御台所旧記之内写，但シ流産ニ付全者無之事」

769 御産所御移徒より御七夜迄御祝式控　16.16—17

6丁　25cm
渡辺庸蔵。出生の際のお祝いの式について。文政13年（1830）のもの。

770 御産所御移徒ヨリ御七夜迄御祝式御献立控　16.16—18

前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24.5cm
同前に「御産刀御献上之次第」を附記。

771 姫君様御産用留附公儀御産御祝式品々　16.16—19

渡辺喜内等編
自筆
1冊・2通・弓絃1・折形1　25cm
渡辺庸旧蔵。姫君は13代藩主斉泰の正室溶姫のこと。父は徳川家斉。（1813）文政13年（1830）5月4日慶寧を生んだ。
内容は①御袖留御着帯御産御用留，②御初度御産御用御書立，③御着帯御産棚等御式下書，附御産棚絵図1枚，④御産刀献上之次第幷御式，⑤御産刀御献上之次第，⑥御産髪御式幷御式品，⑦御胞衣納方，⑧御色直御箸初御祝式，⑨弓絃⑩御産用折形，⑪寿光院様御懐妊之節しらべかた，但御流産ニ付全は無之事，⑫寛政8年御台様御懐妊ニ付松平越前守嫡子伊予守妻より御い抜た帯献上ニ付同人より之伺書わ等，⑬御台様御懐妊ニ付御着帯上中下御役方之覚御留

導師より拝借写，⑭御台様御産之節褥目役岡野肥前守伺控，⑮御産所御飾品々之覚，⑯文書2通。なお，折形の中には当時（文政13）の玄米と大豆が入れてある。

772 犬千代丸君御年表　16.16—20
有沢貞庸編
自筆　天保元年（1830）
2丁　24cm
有沢氏旧蔵。犬千代丸君は14代藩主慶寧の幼名。犬千代丸君誕生の次第進物など。

773 犬千代丸様御誕生御祝儀ニ付書付　16.16—21
手写　天保元年（1830）
1通　16cm
前田大炊，青山将監より前田図書宛。天保元年（1830）5月4日，14代慶寧江戸で誕生。金沢から惣代飛脚で御祝儀を送ったことについての謝状。

774 犬千代丸様御誕生ニ付金沢城下町中奉祝一統賑之覚書　16.16—22
有沢貞庸編
自筆　天保元年（1830）
12丁　19cm
慶寧は文政13年（1830）4月出生。6月1日，2日金沢で盆正月を行って祝賀した。原本表紙には「国事記聞」とあり。

775 犬千代様御誕生より之御祝方等書抜控　16.16—23
手写
529丁　24cm
天保元年（文政13年1830）～12年（1841）の御祝方を記す。原題は「文政十三寅五月（天保元年）御誕生御祝より天保十二年丑四月迄（繼印）御祝方書抜控，五節句御身拵　御側用」とある。

776 鈎次郎殿御誕生ニ付奥村内膳褥目御用絵図　16.16—24
手写
絵図1枚　52×38cm
褥目御用を勤めることになった内膳が刀を下附された際の御居間書院の絵図。天保3年（1832）。鈎次郎は13代藩主斉泰の第2子。

777 鈎次郎殿姫君様御再度御産御用留　16.16—25
渡辺善内・同満編
自筆
4冊・仮綴1　大28cm　小16cm
渡辺庸旧蔵母は景徳院（溶姫），天保3年(1832)7月2日出生したが，翌年5月10日歿。内容は，①御着帯御式，②御着帯御祝式御献立，③御再度御産御着帯御床飾幷御初度従御台様被進候御帯御箱御台図，④御再度御産留，⑤関係文書4通綴。

778 姫君様御産御用来状等　16.16—26
渡辺喜内等手写　天保4・5年（1833・34）
2冊・仮綴5（29通）25cm　紙袋入
渡辺庸蔵。姫君は13代斉泰の正室溶姫。天保5年（1834）の番松丸誕生。内容は，①姫君様御産御用留（天保4年渡辺喜内編）②矢祓之大事と③喜内が御祝式向御用主付を仰付られてから，喜内宛の関係文書の綴りなど。

色直し・宮参り

779 〔教千代様御色直之御用留帳等〕　16.16—27
前田家編輯方手写　明治年間
15丁　24cm
原題「教千代様御色直之御用留帳幷安永八年己亥正月より之覚」。富田外記貞直の覚書の写で，安永7年（1778）12月から同9年末まで。教千代は10代重教の子斉敬の幼名。

780 御色直御箸初御祝式　16.16—28
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24.5cm
文政13年（天保元年1830）14代慶寧の誕生の際編者が御用部屋に提出したものの写。

781 〔勝丸様御宮参御作法〕　16.16—29
手写
5丁　24cm
前田貞醇旧蔵。享保12年（1727）9月6日勝丸（7代宗辰）が観音院に宮参り，帰途奥村有輝の新屋敷に立寄った際の御作法。

782 〔勝丸様御宮参之記〕　16.16—30
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　24cm
原題は「此書は享保十二丁未年九月六日勝丸様御宮参より同七日右ニ付而之儀記有之」とあり，前半6日の記事は前書に同じ。前田貞事蔵の写。

783 勝丸様御宮参ニ付諸事伺等之留　16.16—31
前田家編輯方手写　明治年間
48丁　24cm
前田貞醇旧蔵の写。勝丸は7代宗辰。享保12年（1727）9月6日卯辰観音院に参詣。表紙には上記題名に並べて，「勝丸様卯辰観音堂へ御宮参一巻」「勝丸様御宮参御帰節奥村伊予守新屋舗へ御立寄一巻」とあり。

784 勝丸様御宮参御作法書・御行列附等之控　16.16—32
前田知頼編
前田貞一手写　安永8年（1779）
11丁　8×18.5cm
前田貞醇旧蔵。時は享保12年（1727）9月6日のこと。

785 教千代様御宮参御用覚書帳等　16.16—33
前田図書・西尾隼人編
手写
2冊・絵図2枚　24cm　紙袋入
① 教千代様御宮参御用覚書帳　22丁
② 教千代様御宮参御行列　7丁
③ 卯辰観音院絵図　97.5×100cm
④ 河内守宅絵図　102×86cm
前田貞醇旧蔵。教千代は，10代藩主重教の子斉敬。安永7年（1778）～寛政7年（1795）6月27日17才歿。安永8年9月18日観音院宮参，帰途奥村宅へ。

786 教千代様御宮参之節作法書　16.16—34
手写
2冊（折本）・巻子1　16cm　紙袋入
観音院における参詣御作法と河内守宅における作法書および河内守等へ被下方。安永8年（1779）9月18日に行われた前田斉敬らの宮参り。前田貞醇旧蔵。

787 教千代様御宮参之節云々　16.16—35
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　25cm
前号と同じ宮参り。前田貞一覚書の写。

788 教千代様御宮参之記録　16.16—36
手写
巻子4・絵図1枚　24.5cm　24×40cm　紙袋入
前田貞醇旧蔵。①河内宅絵図，②被仰渡等継立，③覚書継立，④己亥九月十八日手控，⑤此一巻は家来役人云々。天保2年（1831）に前田貞一が整理したもの。

789 教千代様御参初御居御普部　16.16—37
手写
巻子1　24cm
富田権六郎旧蔵。安永8年（1779）。

790 裕次郎様御宮参一件　16.16—38
手写
3冊（内折本2冊）・3枚　~~16.8cm~~　袋入
裕次郎（とみ）は11代治脩の子利命（としのり）。寛政12年（1800）11月11日生。文化元年（1804）9月13日観音院に宮参，帰途奥村義十郎（栄実）宅に立寄る。細目は，①被仰渡等継立，②文化元甲子八月十九日，③裕次郎様御宮参御行列，④九月十三日手控覚，⑤観音院御作法書，⑥奥村義十郎宅御作法書。前田貞一の覚書を貞事が整理したもの。前田貞醇旧蔵。

791　勝千代様御用絵図　16.16—39
前田貞事手写　天保２（1831）
絵図５枚　袋入
前田貞醇旧蔵。「天保二辛卯年八月知周丈ヨリ借用写置者也，前田図書貞事」とあり。勝千代は13代斉泰の幼名。内容は次の通り。
① 文化九年九月二十二日勝千代様御宮参之節於観音院出所等之画図94×68cm，
② 同「勝千代様御宮参之節出所之画図，28×40cm
③ 同「勝千代様御宮参御戻助右衛門宅へ御立寄之節画図」93.5×102
④ 同「勝千代様御宮参之節助右衛門宅へ御立寄ニ付拝領物等之画図」40×28cm
⑤ 文化十年二月十日「勝千代様御髪置之節伺公所之絵画」28×40.5cm

792　犬千代様御宮参御祝方　16.16—40
渡辺喜内編
自筆　天保２年（1831）
３丁　24cm
犬千代は14代慶寧，天保元年（1830）生。その９月22日江戸富士社に詣でた時の下調書。

793　御宮参御祝方　16.16—41
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
３丁　24.5cm
前号を整理して写したもの。

794　犬千代丸様御宮参御行列附　16.16—42
前田家編輯方手写　明治年間
７丁　36×12cm
犬千代丸は14代慶寧。天保２年９月22日江戸富士社参り。横山蔵人旧蔵の写。

795　御宮参御献立　16.16—43
手写　天保２年（1831）
４丁　25cm
犬千代丸の宮参り後中屋敷での御祝方。表紙註記「大友才三郎より引籠中ニ付長谷川市兵衛を以差越披見之上宜段申進候事」。渡辺庸旧蔵。

796　御宮参御献立　16.16—44
前田家編輯方手写　明治年間
２丁　24cm
前書に同じ。

髪置・着袴

797　他亀次郎殿御髪置記録　16.16—45
前田家編輯方手写　明治年間
６丁　24cm
他亀次郎は12代斉広の子，文化14年（1817）正月11日金沢に生まれ，文政８年（1825）６月21日歿。内容は文政元年（1818）のこと。

798　犬千代丸様御髪置記録　16.16—46
渡辺喜内手写　天保３年（1832）
７丁　24cm
犬千代丸は14代慶寧。天保元年（1830）生。

799　犬千代丸様御髪置書立　16.16—47
前田家編輯方手写　明治年間
16丁　24cm
天保３年（1832）２月４日の記録。

800　亀丸殿御髪置記録　~~19~~ 16.16—48
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
５丁　24cm
亀丸は13代斉泰の子で，天保５年(1834)生れ，のち慶栄。天保６年（1875）髪置の準備記録。

801　基五郎殿御髪置記録　16.16—49
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　24cm
御祝日は天保６年（1835）２月24日。基五郎は大聖寺藩12代利義。天保４年（1833）加賀藩13代斉泰の~~二~~三男として生まる。

802　純六郎殿御髪置記録　16.16—50
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間

7丁　24cm
天保8年（1837）の記録。純六郎は13代斉泰の子。天保7年（1836）生まれ，同9年（1838）2月4日髪置，6月2日歿。

803　豊之丞殿御髪置記録　16.16—51
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　25cm
天保8年（1837）のこと。豊之丞は大聖寺藩13代利行（としみち）。父は加賀藩13代斉泰。天保6年（1835）7月26日生まれ。

804　洽姫様坻姫様等御髪置一件等　16.16—52
渡辺佐大夫等　手写
8冊・16通　24cm
渡辺庸旧蔵。
① 「竹千代様御色直御箸初御祝御式」5丁，文政13年写。将軍家の治定である。
② 「鈔姫様箸初之次第」文政元年，3丁，渡辺喜内手写。鈔姫は12代斉広の女。
③ 「御色直御箸初御祝式」文政13，2丁，渡辺喜内手写。14代慶寧の場合。
④ 「御箸初御祝式」1通，渡辺佐大夫手写。
⑤ 「御箸初御祝式」1通，渡辺佐大夫手写。13代斉泰の子静之介の場合。
⑥ 「覚」1通，髪置品々調。
⑦ 「髪置之事」1通，渡辺喜内手写。斉広の子他亀次郎の場合。
⑧ 「睦姫様御髪置記録」10丁，安政3年渡辺三五郎編。睦姫は14代慶寧の女，安政元年生まれ。
⑨ 「茂松殿御髪置御式之次第」1通，渡辺佐大夫手写。茂松は斉泰の子，13代富山藩主。
⑩ 「稠松様御髪置之節」1通，稠松は茂松に同じ。
⑪ 「稠松様御髪置御式之次第」1通。
⑫ 「茂松殿御髪置記録」5丁，安政5年手写。
⑬ 「多慶若様御髪置記録」8丁，安政7年渡辺三五郎編。多慶若は15代利嗣。
⑭ 「千齢姫様御髪置御式之次第」1通，渡辺佐大夫手写。千齢姫は斉泰の女。
⑮ 「溜姫様冶姫様御髪置記録」8丁，慶応元年，渡辺佐大夫手写。溜姫は慶寧の女，冶姫は斉泰の女。
⑯ 「溜姫様冶姫様御髪置御式之次第」1通，同年，渡辺佐大夫手写。
⑰ 「冶姫様御髪置記」6丁，渡辺佐大夫手写。坻姫は斉泰の女。慶応3年生まれ。
⑱ 「御着袴」1通，文化，元年渡辺喜内手写。
⑲ 「御着袴之御次第」2通，文久元年渡辺佐大夫手写。多慶若（15代利嗣）の御祝の下調べ。
⑳ 「御着袴之次第」2通。明治元年，渡辺佐大夫手写。伊喜千は斉泰の子利武。
㉑ 「天保元年九月廿二日犬千代丸様富士社へ御宮参御戻駒込中邸へ御立寄之義」2通，渡辺喜内手写。犬千代丸は慶寧。以上袋入。

805　犬千代様・万菊様御袴着御祝儀之帳　16.16—53
手写
31丁　23cm
犬千代は5代藩主綱紀，万菊はその弟。それぞれ正保4年（1647），慶安2年（1649）に袴着の式を行なった。その時の進物覚書。

806　犬千代丸様御着袴御作法絵図　16.16—54
手写
絵図1枚　84×70cm
前田貞醇旧蔵。江戸上屋敷の御居間書院の図であるが，犬千代は不詳。

角入・元服・袖留

807　御角入御式之次第　16.16—55
渡辺喜内手写
2丁　23cm
渡辺庸旧蔵。一般には，角入（すみいれ）とは元服2～3年前の男子が前髪の額際の両隅を剃りこむこと。

808 〔御角入御用相勤其節之御作法留帳〕 16.16—56
渡辺佐大夫手写　天保14年（1843）
3丁　23cm
渡辺庸旧蔵。表題は「文政八年（1825）当公様（13代斉泰）御角入被為在候節御櫛役沖野長蔵御角入御用相勤其節之御作法，今般筑前守様（14代慶寧）御用に付同人より調へ指上候覚書也」とあり，どちらも角入は元服のあとになっている。

809 御角入・御袖留御略式之次第 16.16—57
渡辺佐太夫編
自筆　弘化4年（1847）
2丁　23cm
渡辺庸旧蔵。弘化4年11月4日，斉泰の第4子喬松丸が額直，袖留の儀を行った時のもの。

810 御脇付御祝儀被遣帳 16.16—58
手写　明暦4年（1658）
14丁　24cm
表紙に「明暦四年戌三月廿九日」の日付あり，また「松雲院様御袖留之義也」とあり。松雲院は5代綱紀。元服の時諸方への進物の覚。

811 御脇付御祝義方々より上ル帳 16.16—59
手写　明暦4年（1658）
18丁　24cm
同前の際諸方よりの進物の覚。
旧書名「御脇付御祝儀被遣帳」。

812 御元服御進物帳 16.16—60
手写
93丁　23cm
5代綱紀が承応3年（1654）正月12歳で元服し，正四位下左近衛権少将兼加賀守に叙任したときの贈答物一切を網羅してある。

813 但馬守様御前髪御祝儀一巻 16.16—61
手写　延享元年（1744）
3丁　24cm
但馬守は8代重熙。享保14年（1729）生れ。この元服は数え年16才にあたる延享元年（1744）のときのもの。

814 犬千代様御元服之節御成之記 16.16—62
手写
37丁　18×24cm
今枝氏旧蔵。寛永6年（1629）4月23日4代藩主光高の元服および同26日徳川家光，同29日秀忠が利常の江戸神田邸を訪ねた際の，進物，間飾り，献立，演能などについて記す。

815 犬千代様御元服御祝之次第等 16.16—63
菊池十左衛門手写
54丁　24cm
原題「犬千代様御元服御祝之次第，将軍様相国様両度御成之次第」寛永6年（1629）4代藩主光高の元服および将軍光高，前将軍秀忠の前田邸訪問。菊池十左衛門は元禄頃の藩士。

816 犬千代様御元服并将軍様相国様御成之時之覚書 16.16—64
前田家編輯方手写　明治年間
26丁　24cm
前田直行旧蔵の写。犬千代は4代家光，将軍は家光，相国は秀忠。寛永6年（1629）4月のこと。

817 犬千代様御元服並将軍様御成之節進物等 16.16—65
手写
11丁　~~17cm~~ 12.5×23.5cm
ほぼ前号と同内容。

818 喜代姫君様御袖留御祝儀一件 16.16—66
手写
2丁　23cm
渡辺庸旧蔵。喜代姫は6代吉徳の娘，御袖留の旧例を記載。

819 喜代姫様御袖留之節入用之品 16.16—67
手写
2丁　23cm
渡辺庸旧蔵。袖留の際に用いる諸道具を記す。
旧書名「喜代姫様御袖留御祝儀一件」。

820　若御前様御眉直御袖留御用留　16.16—69
渡辺佐太夫編
自筆
5丁　24cm
御眉直，御袖留の規式次第などの下調べ。文久2年(1862)のこと。若御前は14代慶寧夫人通。弘化3年（1846）生まれ。岡嶋左膳筆の書状添付。渡辺庸旧蔵。

821　御袖留御祝儀之御式　16.16—69
矢田左門編
自筆
6丁　23cm
渡辺庸旧蔵。天保7年文姫の場合，先例は喜代姫，両姫は11代将軍家斉の女。

婚　　礼

822　天徳院殿御入輿於越前国上野御輿御具桶請取候面々　16.16—70
手写
6丁　24cm
天徳院（利常の室），清泰院（光高の室），松嶺院（綱紀の室），その他利常の姫達の入輿の時の輿と見桶の請取人と渡人の覚書。丑5月は延宝元年（1673）か。

823　大姫君様幷広嶋御前様御婚礼之節御定書之写　16.16—71
寺岡与兵衛手写
10丁　25cm
大姫は4代光高の正室，水戸徳川頼房の女，寛永9年（1632）婚約，同10年12月江戸邸へ入輿，明暦2年（1656）歿。法号清泰院。広島御前は利常の女満，元和5年（1619）生れ，家光の養女となり，寛永12年（1635）9月広島藩主浅野光晟に嫁す，よって広島御前と称された。寺岡与兵衛は延宝9年（1681）から元禄元年（1688）まで御算用者小頭。

824　大姫様御入輿次第　16.16—72
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　24cm
貞享元年（1684）高田源左衛門が提出した記録の又写。入輿の御行列，おみやげ物などについて記す。

825　清泰院様御入輿記　16.16—73
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　24cm
清泰院は4代光高の正室，大姫のこと。寛永10年（1633）12月入輿。

826　清泰院様御輿入之次第　16.16—74
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　24cm
前号と内容多少差異あり。

827　清泰院様御入輿方々より出候書面之写　16.16—75
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
16丁　24cm

828　清泰公諸器帳　16.16—76
今枝直方手写　元禄13年（1700）
36丁　18cm×
清泰公は第4代藩主夫人大姫。寛永10年(1633)江戸邸に入輿。その時の道具目録。

829　仙渓院様衆等書類　16.16—77
手写
6通　24cm
仙渓院様御祝言に御附の女衆その他料理人菓子師などの人数と氏名を記す。仙渓院は利常の娘熊，会津藩保科正経に嫁す。芝御前と称す。承応元年（1652）～正徳5年（1715）。

830　綱利卿御祝儀ニ付覚書　16.16—78
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵の写。綱利は5代綱紀の初名。明暦4年（万治元年・1658）7月26日江戸にて会津侯保科正之の女摩須と婚す。

831　加賀守様御祝冒付方々ヨリ中納冒様へ被進ル進物　16.16—79
手写
28丁　24cm
万治元年（1658）5代綱紀の正室，会津侯保利氏の女摩須の入輿の際諸方からの前田利常への進物の控。旧書名「加賀守様御祝冒付方々」

832　御婚礼当日之次第　16.16—80
手写
4丁　16.5×45.5cm
貞享2年（1685）3月16日，前田綱紀の養女恭姫が老臣長時連に嫁した。当時の金沢城内外の警戒，準備の模様を記す。前田貞発旧蔵。

833　御結納行列　16.16—81
手写
6丁　16×42cm
旧書名「泰真院様察去一件」中に含まれたもので，泰真院（栄君）に対する二条家からの結納は元禄11年9月26日金沢城内で行われたが，この行列附は不詳である。

834　御道具御行列　16.16—82
手写
23丁　35×6cm
渡辺庸旧蔵。内題は「御姫様御道具行列」とあり，元禄12年（1699）11月広島侯浅野吉長に嫁した5代綱紀の女節の場合で，行列は5日間に亘り行われている。

835　誠姫様御婚礼一件　16.16—83
手写
仮綴1（8通）17cm
誠姫の父は前田孝行，5代綱紀に養われて寿姫と称し，正徳4年（1714）4月西三条公福に嫁す。旧書名「誠姫様御婚礼一件」

836　寿姫様御婚姻一件　16.16—84
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
116丁　23.5cm
内容は宝永2年（1705）～享保3年（1718）のもの。寿姫（ひさひめ）は初名誠姫，5代綱紀の養女，父は藩臣前田孝行，正徳4年（1714）西三条公福に嫁した。

837　寿姫様御婚礼一巻　16.16—85
2枚　27cm　包紙入
前号の原本である。

838　神田御前様入用帳　16.16—86
手写
3丁　24cm
前田貞醇旧蔵。神田御前は5代綱紀の養女寛，享保8年（1723）鶴岡侯酒井忠寄に嫁し，柳原御前または神田御前とよばれた。内容は享保18年（1733）9，10月分加賀藩よりの仕送りの覚書。

839　直姫様へ御結納御祝儀被進候時分御使者宿御用之留　16.16—87
戸田清太夫前・田兵右衛門編
前田家編輯方手写　明治年間
34丁　24cm
内題は「直姫様へ従中将様御結納之御祝儀被進之為御使者北小路丹波守就被罷越取持御用被仰付候時分相勤申品々覚」で，元禄11年（1698）9月5代綱紀の女直姫と二条吉忠の婚約を金沢で行なった際の記録。

840　二条内大臣使者北小路丹波守接待図　16.16—88
絵図1枚　28×24cm
元禄11年9月26日，綱紀の女直姫と二条綱平の息吉忠と結納を交わした折，城内小書院にて使者北小路丹波守の接待図。

841　御口上之覚　16.16—89
手写
9丁　24cm
前田貞醇旧蔵。元禄11年二条家から綱紀の女に結婚の申込みのため使者が金沢に来た。その御礼のため翌12年（1699）平田清左衛門が使者として二条家に行った際の覚書。

842　二条様へ御使御口上書　16.16—90

手写

仮綴1（4丁）　24cm

脇田尚保旧蔵の写。「二条様江御使御口上書」及び「御即位御儀式書」を収む。前者は「御口上之覚」の抜書。旧書名「私雪ムより二条様へ御使御口上書」

843　二条様御婚礼之節御書留等　16.16—91

手写

61丁　23cm

綱紀の女直（栄君）が二条吉忠に嫁すための下調で，前半は次号の写，後半は綱紀の往復書簡で，吉良上野介のものも入っている。

844　秀姫君様御婚礼一件　16.16—92

手写

仮綴6・巻子1　20cm

① 秀姫君殿入輿之覚書（元禄9年）
② 秀姫君殿御行列附一巻
③ 秀姫君殿上京以後被差上物并方々への進物
④ 秀姫君殿上京以後拝領并方々より到来物
⑤ 秀君殿御婚礼之節道具仕立様等書付
⑨ 秀君殿へ九条様より御結納御祝儀御使者罷越候次第書
⑦ 秀姫君殿道中御用并京都ニ而之御道具，御附人数等之書付

内容は，広島侯浅野綱長の女秀姫君（初め竹姫）が九条師孝との婚礼一件であるが，目的は綱紀の女直（栄君）が二条吉忠との婚礼の参考資料として集めたもの。

845　高辻殿御妹子一巻　16.16—93

前田綱紀等著

自筆　元禄16年～宝永3年（1703～1706）

2冊・57通　~~18~~—24cm・27cm

題注「但直姫様二条殿へ御婚礼ニ付上臈役ニ御仕立之思召ニ而高辻侍従殿御妹子御両人江戸表御呼下之壹巻ニ付道中御縮方并入用且江戸へ着後品々道具且御扶持御給銀等之儀品々被仰出之御書出シ并御請且柴山三田村等之御書出シ等并高辻殿へ御取遣御紙面等品々御真翰モ有之」

① 高辻殿家族　山岡道室筆後藤勘兵衛宛
② 後藤勘兵衛書状　稲垣・塩川・葛巻宛，元禄16.10.13付。ほか書状継立。
③ 高辻侍従書状　前田綱紀宛，元禄16. 12. 18付
④ 前田綱紀書　状下書高辻侍従宛，宝永1．1．6付
⑤ 前田綱紀自筆書状　宝永1．5．11付
⑥ 玉井勘解由書状　宝永1．5．13付
⑦ 前田綱紀自筆書状并御請継立加筆物　宝永1．5．30并同6．2，6．3付
⑧ 前田綱紀書状　駒井与兵衛等宛，宝永1．8．6付
⑨ 同上写
⑩ 前田綱紀書状下書　葉山・三田村・氷見宛　宝永1．8．6付
⑪ 前田綱紀自筆書状下書　まち宛，宝永1．8．6付
⑫ まち書状　綱紀宛，宝永1．8．22付
⑬ 同上　宝永1．9．26付
⑭ 同上　宝永1．9．29付
⑮ 前田綱紀書状　高辻侍従宛　宝永1．9．30付
⑯ 駒井与兵衛・藤田内蔵允等往復書状3通継立，宝永1．9．29～10.11付
⑰ 高辻殿御妹両人京都より江戸へ御引取ニ付諸事留　控宝永1．9付右御妹京都より召連被参候女中之内京都へ被相返候儀ニ付諸事留　宝永3．3付　藤田内蔵允・永井織部編1冊。95丁。
⑱ 野田伝右衛門覚書　宝永1．10.11付　妹両人道中記。
⑲⑳ まち書状　綱紀宛，宝永1．10.15。
㉑ 高辻総長書状　綱紀宛，宝永1．10.11付
㉒ 高辻殿御妹子御両人江戸へ御引取之節相渡品々書物　中村新兵衛等編，平田清左衛門等宛，宝永1．10.19付
㉓ まち書状　綱紀宛，宝永1．10.21

㉔ 同上　　宝永1.10.26付
紙背にまち宛綱紀自筆の書状の下書あり。
㉕ 高辻殿妹子扶持覚
㉖ 玉井勘解由宛書出　宝永1.11.27付
㉗ 同上玉井勘解由請書　宝永1.11.27付
㉘ 玉井勘解由書状　〃
㉙ 同上　〃
㉚ 玉井勘解由覚書　木村伝助宛，宝永1.11.27付
㉛ 前田綱紀書状自筆下書　宝永1.12.9付
（紙背文書あり）
㉜ 同上　不破彦三等宛，〃
（紙背文書あり）
㉝ 同上写　不破彦三宛　宝永1.12.9付
㉞ 前田綱紀自筆書状　葉山・三田村宛，日附同前。
㉟ 同上　まち宛，同日附。
㊱ 葉山，三田村返書　宝永1.12.18付
㊲ 不破，大橋等書状　宝永1.12.19付
㊳ 同上　〃
㊴ まち年賀状　吉治宛　宝永2.1.2付
㊵ まち書状　葉山・三田村宛，宝永2.1.2付
㊶ 前田綱紀自筆書状　まち宛，宝永2.1.10付
㊷ まち返書　綱紀宛，宝永2.1.26付
同2.6綱紀の加筆あり。
㊸ まち書状　宝永2.1.29付　紙背に，同2.19付のまち宛綱紀書状あり。
㊹ まち書状　綱紀宛，宝永2.2.7付
㊺ 同上　綱紀宛，宝永2.2.13付　裏面に綱紀の自筆返書あり。
㊻ 同上　綱紀宛　宝永2.2.16付
㊼ 同上　綱紀宛　〃　2.2.18付
㊽ 同上　綱紀宛　〃　2.2.21付
㊾ 同上　綱紀宛　〃　2.3.4付
㊿ 同上　綱紀宛　〃　2.3.21付
(51) 前田綱紀書状　駒井与兵衛等宛，宝永2.4.7付
(52) まち書状　綱紀宛，宝永2.4.15付
(53) 京都より御呼下被成候両人之上臈之御方へ被遣候道具品々并衣類等相調申帳　1冊
(54) 前田綱紀書状　駒井・小塚宛，宝永2.閏4.9付
(55) 前田綱紀自筆書状　葉山，三田村宛，宝永2.閏4.9付
(56) 高辻とみ。ちよ書状　葉山・三田村・氷見宛，宝永2.5.18付
(57) まち書状　綱紀宛，宝永2.12.1，12.6 12.13，12.21付　四通継立。
(58) 宮城外記書状　後藤勘兵衛宛　宝永3.11.23付
(59) 同上　〃　〃
以上，包紙，紙袋入。

846 栄君様御婚礼ニ関スル書類　16.16—94
永井織部等編
手写
2冊・8通・1枚　24cm
① 栄君様御婚礼役人中并於御国江戸京都役所勤方留帳附誓紙前書　正徳2年永井織部等編
② 栄君様御附人并御供女中御扶持方御給金品々役付留帳　正徳2年　永井織部等編
③ 綱紀書状（原九左衛門宛），綱紀書状（原九左衛門等宛），本多安房等書状，本多安房書状，奥村伊予書状（不破彦三等宛），原九左衛門書状（大辻大納言宛），綱紀書状（高辻前大納言宛）2通，付札等貼付。

847 御姫様御婚礼相整長九郎左衛門登城之刻御祝之御儀式　16.16—95
手写
巻子1　15cm
御姫様は5代綱紀の養女恭（やす），父は七日市侯前田利意。寛文6年（1666）2月25日江戸に生まれ，最初津代，貞享2年（1685）3月16日藩臣長尚連に嫁した。宝永4年（1707）歿。
前田貞醇旧蔵。

848 寛姫様御道具御用并被為入候時分之留等　16.16—96
藤田内蔵允・永井織部編
手写
32丁　24cm

内容は，「元祿17年（1704）寵姫様御道具御用并被為入候時分之留」「宝永２年(1705) 同御髪置御祝儀之留」「宝永５年（1708）御入輿以後御守殿へ被為入候時分御用之御道具等出来之」からなる。寵姫は元祿16年（1703）６月29日生れ。父は広島侯浅野吉長で綱紀の外孫に当る。綱紀の養女となり，出羽鶴岡侯世嗣酒井忠寄に嫁し，柳原御前，または神田御前。

849　寵姫様御婚礼御行列附覚帳　16.16—97
高畠定延（左門）手写
22丁　12×18cm
高畠定延旧蔵。寵姫の御婚礼行列附。

850　御守殿雑志　16.16—98
今枝直方編
前田家編輯方手写　明治年間
３冊　23cm
今枝直規旧蔵の写。６代吉徳夫人松の婚約から入輿（宝永５．11．18）に至る役人の任命，接待，饗応などを記す。松は，尾張徳川綱誠の女で将軍綱吉の養女。

851　松姫君様御入輿一件　16.16—99
手写
40丁　23cm
松姫は６代吉徳の正室。原題は「松姫君様御入輿一件旧記」で，文政９年氏家波江ヨリ借用うつさせ置，芙蓉園蔵とある。

852　松姫君様御入輿之砌御規式御饗応御飾并御次へ出五々三等欠数之帳　16.16—100
桑島（半十郎）貞澄等編
手写
７丁　23cm
渡辺庸旧蔵。松姫は６代吉徳の室。紙背文書あり。

853　松姫様御入輿之節御揃道具　16.16—101
手写
18丁　11×17cm
有沢貞庸旧蔵。

854　松姫君様御入輿一件留等　16.16—102
渡辺佐大夫等手写
９冊・２通　大27cm　小19.5cm　紙袋入
渡辺庸旧蔵。
内容
① 松姫君様御入輿一件旧記　文政９年写　１冊
② 松姫君様御入輿之節皆子餅図　１冊
③ 松姫君様御入輿之節御床飾之次第　１通
④ 淑姫君様御入輿之節御行列　１冊
⑤ 淑君姫様尾州へ御入輿之節御行列書写　１冊
⑥ 淑姫君様御婚礼御盃事
⑦ 峯姫君様御袖留御髪そき　水戸様御帳面抜書　１冊
⑧ 峯姫君様御婚礼御祝立御式法之次第　１冊
⑨ 右大将様御婚礼之次第御沙汰書抜書　１冊
⑩ 右大将様御婚礼之節御奥通リ御取代シ之次第　１冊
⑪ 大奥へ問合候覚書　１通
松姫は６代吉徳の室，徳川綱吉の養女。淑姫と峯姫は将軍家斉の女で，前者は尾張侯斉朝の室，後者は水戸侯斉脩の室。右大将は13代徳川家定。

855　総姫様御婚礼御祝詞之儀　16.16—103
前田外記・西尾隼人著
手写　延享３年（1746）
２通　17cm
中川八郎右衛門宛。総姫は６代吉徳の娘，享保18年（1733）生れ，延享３年（1746）４月２日富山侯前田利幸に嫁した。

856　楊姫御結納之儀ニ付小笠原縫殿之助殿御越之節御作法　16.16—104
手写
１通　17cm
楊姫は６代吉徳の第８子，元文２年（1736）生れ，宝暦２年（1752）７月１日秋田侯佐竹義真に嫁す。

857　操姫様御離別一件　16.16—105
前田家編輯方手写　明治年間
32丁　24cm
操姫様は6代吉徳の娘。元文5年（1740）生れ，初め娄姫といい，寛延3年（1750）12月二条宗基と婚約したが，入輿せずして宗基死去。操姫と改めて，宝暦9年（1759）2月姫路侯酒井忠恭の嫡男阿波守忠宣に嫁したが同11年（1761）7月18日離別。偕姫と改め，同13年（1763）楊姫と称し，天明3年（1783）剃髪，寛政10年歿。
内容は離別直前の往復文書。附，宝暦13年江戸留守居用人宛書立。

858　繁姫様御婚礼一件　16.16—106
横山正従著
横山政和手写　安政2年（1855）
6丁　12×18cm
横山政和旧蔵。繁姫は大聖寺侯前田利章の娘。享保8年（1723）生れ，同20年（1735）6代吉徳の養女となり，元文5年（1740）11月19日盛岡侯南部信貞に入輿した。広尾御前と称さる。

859　繁姫様御婚礼御行列　16.16—107
手写
28丁　7×16cm
高畠定辟旧蔵。元文5年（1740）11月盛岡侯南部信貞に入輿したときのもの。大槻内蔵允署名御横目衆宛。

860　佐渡守様御婚礼御規式之次第等　16.16—108
手写　弘化3年（1846）
11丁　23cm
渡辺庸旧蔵。内容は延享元年（1744）4月22日「佐渡守様御婚礼御規式之次第」と宝暦11年（1761）11月22日「勝姫様御入輿御規式之次第」前者は7代宗辰と会津侯松平正容の女常姫の婚礼。後者は紀伊徳川宗将の娘勝姫と10代前田重教との婚礼。旧書名「佐渡守様御婚礼一件留等」

861　佐渡守様御婚礼御規式之次第等　16.16—109
前田家編輯方手写　明治年間
7丁　24.5cm
延享元年（1744）佐渡守宗辰（7代）の婚礼および宝暦11年（1761）勝姫（10代重教の室）入輿の御規式。渡辺庸旧蔵の写。

862　松平亀五郎縁談ニ付御親翰写　16.16—110
手写
1通　17cm
寛延元年（1748）のもの。松平亀五郎は会津藩第5代藩主容頌（かたのぶ）。延享元年（1744）生れ。文化2年（1805）62才歿。8代重熙が亀五郎との縁組の案を重臣に通告したもの。この案は不成立。

863　延享元年・宝暦十一年御結納皆子餅之留　16.16—111
手写　弘化3年（1846）
4丁　23cm
渡辺庸旧蔵。7代宗辰と会津侯松平正容の女常姫および紀伊徳川宗将の女勝姫と10代前田重教との婚儀の際のもの。
旧書名「佐渡守様御婚礼一件留等」

864　御婚礼御作法留　16.16—112
前田家編輯方手写　明治年間
74丁　24cm
宝暦11年（1761）11月27日，10代前田重基（重教）の室，紀州侯徳川宗将の女勝姫が江戸本郷邸に入輿した時の御作法書。

865　〔宝暦十一年御婚礼御作法留〕　16.16—113
手写
53丁　24cm
渡辺庸旧蔵。紀伊侯徳川宗将の女勝姫と10代重教との婚儀の覚書。表題なし。
旧書名「佐渡守様御婚礼一件留等」

866　〔宝暦十一年御婚礼御作法留〕　16.16—114
前田家編輯方手写　明治年間
32丁　23.5cm
前号の写。表題「宝暦御婚礼留」。
旧書名「御婚礼御作法留」

867　勝姫様御婚礼御規式御用一巻　16.16—115
手写　弘化4年（1869）

46丁　23cm
渡辺庸旧蔵。御料理人小坂保右衛門蔵の写。紀伊徳川宗将の娘勝姫と10代前田重教との婚儀に関するもの。宝暦11年（1761）11月入輿。

868 勝姫様御婚礼御規式御用一巻　16.16—116
前田家編輯方手写　明治年間
26丁　24.5cm
前号の写。

869 宝暦十一年勝姫様御婚礼御結納皆子餅留帳書抜　16.16—117
渡辺佐太夫手写　弘化4年（1847）
16丁（附2通）　23cm
渡辺庸旧蔵。渡辺佐太夫が御婚礼所より借用手写したもの。

870 勝姫様御婚礼御結納皆子餅留帳書抜　16.16—118
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　24.5cm
前号の写。

871 宝暦度御結納皆子餅御行列　16.16—119
渡辺佐太夫手写　弘化4年（1847）
6丁　38.5×14cm
渡辺庸旧蔵。勝姫と10代前田重教との婚儀の際のものを御婚礼所より借用手写したもの。

872 御結納皆子餅之留　16.16—120
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24.5cm
渡辺庸旧蔵の写。

873 御結納皆子餅御行列　16.16—121
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm
前書の写。

874 勝姫様御婚礼留帳　16.16—122
手写
29丁　8×18cm
勝姫（寿光院）は10代前田重教の正室。宝暦11年（1761）に入輿。前田貞醇旧蔵。

875 勝姫様御婚礼留帳　16.16—123
前田家編輯方手写　明治年間
33丁　24cm
前号の写。

876 〔勝姫様御入輿御当日御客〕　16.16—124
前田家編輯方手写　明治年間
28丁　24cm
勝姫の入輿当日の客，献立等について記す。表題「御入輿御当日御客」。

877 邦姫様へ前田与十郎より御結納御祝儀物指上候節御作法　16.16—125
神保舎人・進士源兵衛編
手写
19丁（折本）　16cm
前田与十郎は前田長種系の8代前田孝友のこと。邦姫は10代藩主前田重教の子女。宝暦11年（1761）生れ，明和6年（~~1769~~）7月28日孝友と婚約，入輿せず同8年（1771）歿，11才。本書はその時の結納に関する作法を記したもの。

878 御結納御答礼之節駿河守様ニ而之御作法　16.16—126
手写
5丁　24cm
前田貞醇旧蔵。天明3年（1783）10代重教の女顕姫と会津侯の息保科容詮（駿河守）との結納の答礼の使者を前田貞一が勤めた時の作法書。

879 顕姫様御縁談御猶余之書　16.16—127
手写
巻子1　16cm
顕姫（えいひめ）は10代前田重教の次女。宝永2年（1772）11代前田治脩の養子となり，天明3年（1783）12月15日会津侯松平容頌の子容詮に嫁し，芝御前と称される。

880 顕姫様御婚礼方御用一巻　16.16—128
前田貞一（図書）編
前田家編輯方手写　明治年間
62丁　24cm

881 御婚礼記　16.16—129
手写
141丁　12×17cm
小木貞正旧蔵。天明3年（1783）12月15日の顕姫の婚礼前後の覚書。

882 顕姫様御婚礼之節御供方等御作法　16.16—130
手写
17丁　25cm
前田貞醇旧蔵。

883 顕姫様御婚礼御出輿御行列帳　16.16—131
手写
18丁　8×16.5cm
渡辺庸旧蔵。

884 顕姫様御婚礼御道具御行列帳　16.16—132
手写
58丁　8×16.5cm
渡辺庸旧蔵。

885 藤姫様御婚礼一件留　16.16—133
手写　寛政6年（1794）
2冊　12×17.5cm
渡辺庸旧蔵。
① 藤姫様御婚礼御作法附并装束等之事
② 三之御棚飾道具等之記
藤姫は10代重教の女で，11代治脩の養女となり，寛政6年11月19日高松侯徳川頼儀に嫁した。同8年歿。小石川御前といわれた。
旧題「佐賀守様御婚礼一件留等」

886 藤姫様御道具御行列帳　16.16—134
手写
52丁　8×17cm
近藤篤之旧蔵。行列は4日間8回にわたっている。

887 享和御婚礼記　16.16—135
前田家編輯方手写　明治年間
61丁　23.5cm
12代藩主斉広とその最初の正室となる尾張徳川宗睦の養女，琴（実父は高須侯徳川勝当）との婚礼に関するもの。享和3年（1803）12月1日入輿したが，文化3年（1806）8月13日離別。渡辺喜内編の写か。
旧書名「御婚礼記」。

888 尾張様御用人へ懸合申述べき趣　16.16—136
手写
巻子1　15cm
琴姫（12代藩主斉広の正室）の入輿の時期について尾張藩への申込。

889 筑前守様御縁組御願之通被仰出ニ付尾張大納言様御招請一巻　16.16—137
前田家編輯方手写　明治年間
23丁　24cm
筑前守は12代藩主斉広。寛政10年（1798）9月28日琴姫との縁組がきまったので，その養父尾張侯徳川宗睦を江戸本郷邸に招待した。

890 琴姫様御婚礼留　16.16—138
手写
8丁　24cm
前田貞醇旧蔵。12代斉広夫人琴姫の尾張家からの来嫁についての覚書。

891 琴姫様御婚礼之節御盃事之次第控　16.16—139
手写
9丁（折本1）　20.5cm
渡辺庸旧蔵。12代藩主斉広と琴姫の婚礼の御盃事次第。

892 文化御婚礼記　16.16—140
前田家編輯方手写
14丁　25cm
12代藩主斉広と夙（あさ）君との婚礼に関するもの。夙君は斉広が琴姫と離別したあとの正室。前関白鷹司政煕の女。文化4年（1807）11月27日京都発輿，同年12月15日江戸着，同18日

江戸邸入輿。

893　夙姫様御結納之儀覚　16.16—141
手写
20丁・3通・24×18cm
夙姫は12代藩主斉広の室。文化4年（1807）江戸邸へ入輿。前田貞醇旧蔵。

894　真龍院様御入輿之節膳司様ヨリ御心入ニ而被進候御教訓　16.16—142
前田家編輯方手写　明治18年（1885）
20丁　24cm
真龍院は夙姫の法号。文化4年（1807）10月入輿に先立ち息女および御供女中に与えたもの。

895　夙君様御行列附　16.16—143
手写
6丁　9×52cm
夙君入輿のときの行列附。有沢貞庸旧蔵。

896　御婚礼之節御間飾之御道具調理書　16.16—144
江戸表御納戸方編
渡辺佐太夫手写
8丁　23cm
渡辺庸旧蔵。文化4年（1807）斉広と夙姫との婚礼の際，江戸屋敷の大書院，二の間，御広間，御小書院などの飾道具の明細帳。

897　御婚礼之節御間飾之御道具調理書　16.16—145
江戸表御納戸方編
前田家編輯方手写
4丁　~~一冊~~　24cm
前号の写し。

898　御入輿御当日御作法　16.16—146
手写
14丁　19×14cm
高畠定辟旧蔵。本郷屋敷での入輿の日の警戒，出迎，御供人への接待などの規式。文政10年（1827）13代斉泰室偕子の場合。

899　御膝直之節頭分初御人御用高調理　16.16—147
高畠某手写
4丁　18.5×13cm
高畠定辟旧蔵。斉泰の室偕姫の御膝直の際の必要な人数（頭分以下大小将，与力，御歩横目，足軽）を書上げたもの。

900　加賀守様溶姫君様御婚礼一件　16.16—148
渡辺喜内編
自筆　文政10年（1827）
9冊・1通・絵図3枚　27cm　包紙入
渡辺庸旧蔵。溶姫（のち偕）は13代藩主斉泰の正室。父は徳川家斉，文化10年（1813）3月27日生れ，文政6年（1823）4月11日婚約，同10年（1827）11月27日江戸邸に入輿。細目は，
① 御婚礼御座敷御祝建（小笠原孫七郎編）
13丁
② 御床飾ニ付伺書状　1通
③ 御婚礼御式御献立　18丁
④ 御盃事御給仕之次第　21丁
⑤ 御引移御婚礼ニ付着服伺　6丁
⑥ 三百八十御餅五種五荷御賄頭へ御頼被指越候絵図等之写　2冊袋入
㋑ 三百八十御餅五種五荷絵図　4丁
㋺ 無題（上記の名目，数を記したもの）
3丁
⑦ 御住居御祝式御女中方御酌加控所之図
3枚　41.5×37.5cm　包紙入
⑧ 加賀守前祝建　5丁　19.5×53cm
⑨ 溶姫君様御前御祝建　6丁
⑩ 御婚礼御座敷御祝建（小笠原孫七郎編）
13丁

901　溶姫君様御入輿一件書抜　16.16—149
横山政孝編
自筆　文政9年（1826）
38丁　12×17.5cm
内容は文政8・9年(1825・6)入輿前の記事。

902　〔溶姫君様御婚礼御用留〕　16.16—150
手写
44丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。表題なし。文政10年（1827）溶

姫の婚礼の時前田土佐守直時等重臣の往復文書の控である。直時の編か。旧記「前田[illegible]姫君婚礼についての手簡綴」

903　溶姫君様御入輿一件書抜　16.16—151
横山政孝編
前田編輯方手写　明治年間
34丁　24cm
前号の写。

904　溶姫様御婚礼一件　16.16—152
前田家編輯方手写　明治年間
13丁　24cm
内容は文政9・10年（1826・7）の記録の写。

905　御入輿御当日御作法　16.16—153
手写
17丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。婚礼当日の御輿の迎方，御道具の請取，使者等の接待の仕方など。

906　溶姫君様御行列控　16.16—154
高畠某手写
12丁　17×9.5cm
高畠定辟旧蔵。文政10年（1827）11月27日江戸邸に入輿の際の行列附。

907　本郷御住居御飾附等留　16.16—155
渡辺喜内等編
手写
7冊・絵図7枚・巻子1　28cm　紙袋入
渡辺庸旧蔵。溶姫の文政10年（1827）入輿の際のもの。細目は，
① 御住居御飾附（渡辺喜内編）17丁
② 本郷御住居御間飾絵図面　7丁
③ 御住居御間絵図　58×88cm
④ 大書院飾附（渡辺喜内）42×32cm
⑤ 御婚礼御祝建諸品積（矢田左門手写）15丁
⑥ 御着服等御伺（文政10年）6丁
⑦ 御引移御婚礼御用留書抜　38丁
⑧ 御引移御婚礼御祝式師家へ御上之控　30丁
⑨ 百々曲（ととわげ）髪結様之図（文政10年）28×41cm
⑩ 烹雑御三献御献立（大友才三郎）5丁
⑪ 御三献御下物御献立　巻子1　21cm
⑫ 御持込御道具御住居御飾附図　4枚

908　溶姫君様御婚礼之節警固建方絵図　16.16—156
有沢貞庸（才右衛門）編
自筆　文政10年（1827）
絵図4枚　紙袋入
① 御式正並御内証御道具参候節之警固等建方絵図　82×138cm
② 御入輿御住居向御門内御当日外御迎出ケ所警固建所等之絵図　84×138cm
③ 皆子餅之節之御絵図　71×136cm
④ 御膝直之節警固建方等絵図　71×137cm

909　溶姫君様御引移一件　16.16—157
手写
7丁　24cm
前田貞醇旧蔵。文政10年（1827）11月4日，幕府は溶姫の本郷邸に引移の期日を申渡した。その直後の藩方文書の写。

910　〔溶姫君様御引移御婚礼御用日記〕　16.16—158
手写
2冊　24cm
渡辺喜内編の写。題箋は「文政度御婚記上下」渡辺庸旧蔵。

911　〔溶姫君御引移一件〕　16.16—159
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
内容細目は
① 御引移御用，御次客前夜具其外（幕府留記写）
② 着服伺二種，御式御献立，松姫君御入輿ノ節，旧記書抜二種，奥向祝日幷平生共膳部向之覚，御婚礼御用留書抜。無表題（渡辺満写之）

912　溶姫君様御引移御用　16.16—160
御留守居方編
手写

2冊　24cm
渡辺庸旧蔵。①溶姫引移りの道具願，御召類の一々を記録，②御次客前夜具，その他，道具類を詳細に列記。内容は，前号の第1本と同じ。

913　溶姫様御婚礼ニ付献上物伺　16.16—161
手写
3丁　24cm
前田貞醇旧蔵。藩の年寄，家老，若年寄からの献上物の数，目録などについての伺。
旧書名「溶姫様御祝儀御上物伺」

914　溶姫君様御入輿之上御献上幷御進物御用之御刀等御用意一件　16.16—162
富田貞行（外記）編
自筆　文政9年（1826）
7丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。内容は文政8年，9年。

915　皆子餅御献上行列等　16.16—163
前田家編輯方手写　明治年間
8丁　24cm
文政10年（1827）11月27日徳川家斉の女溶姫が前田斉泰の本郷邸に入輿，その3日後に家斉に皆子餅を献上した時の行列付。丹羽七郎左衛門旧蔵の写。

916　皆子餅御献上行列書　16.16—164
高畠某手写
9丁　27×9.5cm
高畠定辟旧蔵。ほぼ同前。

917　御婚礼済御老中上使幷女使・姫君様御膝直御登城之節御作法　16.16—165
高畠某手写
11丁　20cm
高畠定辟旧蔵。姫君様は溶姫。婚礼後徳川家からの上使および女中御使の迎え方と溶姫の御膝直に登城の際の見送り方。

918　水戸様間合御節付　16.16—166
手写　文政9年（1826）
12丁　24cm
「文政九年二月御婚礼所より被相渡候帳面写」と朱書あり。文政10年13代斉泰に入輿した徳川家斉の女偕との挙式準備のためのものであろう。渡辺庸旧蔵。

919　厚姫様御縁組被仰合候一件　16.16—167
横山政孝編
前田家編輯方手写　明治年間
56丁　24cm
厚姫は12代藩主斉広の第4女，文政9年(1826)会津侯松平容敬と婚約，同11年（1828）2月13日入輿。本書は文政9年3月から翌年3月まで縁組成立後の覚書で，横山政孝手記の写。

920　厚姫様御婚礼ニ付御結納被遣候節御作法帳　16.16—168
山口清大夫・土肥権六郎編
手写　文政11年（1826）
27丁　24cm

921　厚姫様江戸御着府より御婚礼一巻　16.16—169
手写
360丁　22cm
文政10年（1827）9月6日金沢発，同29日江戸着から，同11年入輿後までの詳細な記録。

922　厚姫様御婚礼一件留　16.16—170
渡辺喜内編
編者ほか自筆　文政11年（1828）
4冊・絵図2枚・4通　4枚　紙袋入
厚姫は12代藩主斉広の第4女，文政9年(1826)会津侯松平容敬と婚約，同11年（1828）入輿。
細目は，
① 厚姫様御婚礼御用留　25cm
② 厚姫様御婚礼御給事之御次第2　5cm
③ 御三棚附之品々　23cm
④ 御婚式　23cm
⑤ 百八十御餅御披露箔図　41×28cm
⑥ 厚姫様御入輿之砌肥後守様より被遣候絵図写（御婚礼所より被相渡候品）　24×28cm
⑦⑧ 板橋惣左衛門より渡辺喜内宛　2通
⑨ 不破余所大夫より　渡辺喜内宛　2通

⑩⑪ 三棚飾附覚　2枚
⑫ 附札　2枚

923 〔厚姫様御婚礼一件書抜〕　16.16—171
手写
31丁　24.5cm
表題なし。前田貞醇旧蔵。厚姫の婚礼のため，御祝儀などについて元文頃までの先例を列記してある。前田土佐守直時の覚書である。
旧書名「前田家姫君婚礼についての手簡綴」。

924 厚姫様御婚礼御用留　16.16—172
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
合綴(4冊)40丁　24cm
前号の①の写。

925 厚姫様御婚礼御用御問合　16.16—173
手写　文政11年（1828）
4冊　25cm
① 諸事御作法等品々御用調込有之帳
② 御道具被遣候節御作法幷御色直御衣服一件，皆子餅一件，上使一件等肥後守様様御聞合附札を以申来候趣朱書ニ而調有之帳
③ 御結納一件，御双方御附女中等，御出一件，御引移一件，右品々聞番青地蔵人を以御問合之所肥後守様方より附札を以申来候趣朱書ニ而留有之分
④ 御貝桶幷御盥入御剪入御里披一件
肥後守は会津侯松平容敬。旧書名「厚姫様御婚礼御用御問合御結納一件等」

926 厚姫様御婚礼御祝儀物御取遣幷都而被下方帳　16.16—174
山口清大夫・土肥権六郎編
手写　文政11年（1828）
29丁　25cm
山口，土肥は当時婚礼御用係。

927 厚姫様皆子餅御双方御取遣之節御作法幷御行列附　16.16—175
山口清大夫・土肥権六郎編
手写　文政11年（1828）
10丁　24cm

928 御婚礼御道具建　16.16—176
手写　〔文政11年（1828）〕
25丁　25.5cm
文政11年（1828）2月13日，斉広の女厚姫が会津侯松平容敬に入輿。その前2日間にわたる御道具繰出の作法を書いたもの。

929 厚姫様御婚礼御道具幷御勝手御道具御衣類帳　16.16—177
手写　文政11年（1828）
158丁　24cm

930 御式正御道具順番　16.16—178
手写
4丁　12.5×34cm
文政11年11月12代斉広の女厚姫が会津松平容敬に入輿した時の道具行列の覚。
旧書名「御婚礼御道具建」

931 厚姫様御入輿之砌肥後守様より被遣候絵図面写　16.16—179
手写
絵図1枚　24×107cm
「御婚礼所より被相渡候品」とあり，松平侯江戸屋敷の部分図。

932 〔御引移御当日頭分御用高等調理書〕　16.16—180
手写
5丁　9×27cm
高畠定辟旧蔵。原題「御引移御当日頭分御用高幷在詰之頭分暨御大小将其外御歩足軽小者御用高調理」。文政11年（1828）12代斉広の女厚姫婚礼時の本郷邸警備，接待の手配書か。

933 肥後守様御入輿之節年寄中等迄御贈物書立物　16.16—181
手写　文政19年（1828）
巻子4　19cm　紙袋入
文政11年（1828）2月9日，聟の松平容敬（肥後守）が婚礼後初めて前田邸を訪れた時の家臣らへの贈物覚。

934　寛姫様御婚礼一件　16.16—182
渡辺喜内編
自筆
5冊・仮綴1・絵図1枚・熨斗1　25cm
紙袋入
寛姫は12代藩主斉広の女，文化12年（1815）生，文政12年(1829)12月4日小倉侯小笠原忠徴に嫁し，下谷御前と称された。天保2年(1831)歿，17才。
細目は
① 寛姫様御婚礼御用留　55丁
② 御婚礼御当日御式　21丁
③ 御盃事五々三御給事之次第　11丁
④ 御後三献　2丁
⑤ 皆子餅しらへ方覚ひかへ　3丁
⑥ 皆子餅熨斗（大鷹檀紙）　1
⑦ 御式場図　1枚
⑧ 文書4通綴　1
渡辺庸旧蔵。

935　寛姫様御婚礼一件　16.16—183
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
58丁　23cm
前書の写であるが，御三棚御飾が附加されている。
旧書名「寛姫様御婚礼御用留」

936　鈐姫様御縁組一件　16.16—184
手写　文政9年（1826）
18丁　12×18cm
鈐（たか）姫は文政元年（1818）生，父は12代藩主斉広，文政9年（1826）12月久留米侯有馬頼徳の嫡男頼永と婚約したが，まだ嫁せずして天保2年（1831）4月歿，14才。

937　勇姫様御婚礼一件　16.16—185
渡辺喜内編
自筆　天保2・3年（1831・32）
6冊・仮綴1（27通）　24×19cm　袋入
勇姫は12代斉広の女，文化10年（1813）生，同年12月大聖寺藩10代利極（駿河守・鍛太郎）と婚約，天保3年（1832）2月1日入輿，池端御前と称された。
内容細目
① 勇姫様御婚礼御用留帳（天保2・3年）27丁
② 駿河守様御婚礼御用留（天保2・3年）37丁
③ 鍛太郎様御婚礼御式帳（下物）13丁
④ 御盃事五三二御給事之次第　8丁
⑤ 御三棚御飾（天保2年12月）2丁
⑥ 御婚礼御規式御献立（文化4年，大聖寺9代備後守様御先例）8丁
⑦ 書状，覚書類　27通
渡辺庸旧蔵。

938　勇姫様御婚礼御用留帳　16.16—186
渡辺喜内編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
大部分は前書の写である。
内容は，
① 御盃事五三二御給事之次第
勇姫様御婚礼御用留帳
御婚礼御献立
御三棚御飾
御用部屋へ差出御書状等
② 御三棚御道具付
駿河守様御婚礼御用留
駿河守様御婚礼御式帳
御婚礼御規式御献立
御盃事五三二御給事之次第

939　御三棚御道具付　16.16—187
手写　天保2年（1831）
18丁　24cm
渡辺庸旧蔵。表紙に朱筆で「天保二年十二月御三棚御道具承合候処御婚礼所より被相渡候品」とあり，三棚（御厨子・黒棚・書棚）に入れる道具類とその装飾について記す。斉広の女勇姫の入輿の準備である。

940　御入輿幷御先女中行列帳　16.16—188
手写

13丁　35×12cm
中川典克旧蔵。天保3年，勇姫か。

941　寿々様姫御婚礼一件　16.16—189
渡辺喜内編
手写
3冊・仮綴1（8枚）絵図7枚　28cm
渡辺庸旧蔵。寿々姫は12代藩主斉広の女，文政2年（1819）生，天保5年（1834）11月19日藩臣本多政和に嫁し，翌年歿。
内容は
① 播州殿御願御婚礼留　53丁
② 御婚礼御式　13丁
③ 御婚式御順　6丁
④ 一紙文書8枚綴
⑤ 御輿御具桶等渡請取御場所絵図36×47cm
⑥ 御式正御道具御飾付御間等絵図　5枚　24×36cm
⑦ 寿々姫様御広式（本多邸）絵図　100×110cm

942　播州殿御頼御婚礼留　16.16—190
前田家編輯方手写　明治年間
35丁　24cm
前号①の写。

943　寿々姫様御婚礼一件留　16.16—191
渡辺喜内編
手写
10冊　24cm
渡辺庸旧蔵。
内容細目
① 寿々姫様御婚礼御用留　75丁
② 御結納行列　3丁
③ 御結納御道具御行列皆子餅　22丁
④ 皆子餅一種一荷　3丁
⑤ 両御棚御銚　2丁
⑥ 御三棚御飾り　2丁
⑦ 御引移装束覚帳　11丁　附絵図2枚
⑧ 御次装束之分　5丁
⑨ 寿々姫様御婚礼御式正御献立　12丁
⑩ 御盃事御給事之次第　7丁　附絵図1枚

944　播磨守殿御結納行列　16.16—192
前田家編輯方手写　明治年間
3丁　25cm
前号②の写。

945　播磨守殿より御結納御帯三種一荷積方図　16.16—193
手写
5丁　28cm
渡辺庸旧蔵。御結納の御帯，塩鯛などの積方を絵図で示したもの。編者は渡辺の満とあり，喜内か。

946　寿々姫様御結納御祝儀御作法附　16.16—194
富田貞行編
自筆　天保5年（1834）
8丁　12×18cm　紙袋入
富田権六郎旧蔵。

947　寿々姫様御婚礼御給事役割　下物　16.16—195
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm
旧書名「寿々姫様御婚礼留」。

948　寿々姫様御婚礼御作法等　16.16—196
中川某手写
59丁（附絵図1枚）　12cm
中川典克旧蔵。

949　寿々姫様御婚礼之際御規式等絵図　16.16—197
前田家編輯方手写
絵図6枚　34×46cm
16.16—~~181~~中の絵図の抜書。
189

950　寿々姫様御婚礼御式　16.16—198
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　24cm
16.16—~~181~~中の写。
189

951　寿々姫様御婚礼御式正御献立　16.16—199
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　24cm
16.16—~~181~~の写。
189

952 御対面所等絵図　16.16—200
手写
絵図3枚　24×34cm
16.16—191の⑦にもある。「寿々姫御婚礼一件」附属のもの。

953 寿々姫様初而御登城於御奥御遣応等御作法　16.16—201
富田貞行編
自筆
8丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。寿々姫が結婚後最初の登城並同日本多播磨守が登城の節の接待作法。

954 寿々姫様御附人誓詞前書写　16.16—202
中川某手写
39丁　12×18cm
中川典克旧蔵。

955 寿々姫様御引移之節御作法附等　16.16—203
横山政孝編
前田家編輯方手写　明治年間
17丁　24cm
横山政孝の手記より写したもの。

956 寿々姫様本多播磨守へ御守殿御引移御作法書一巻　16.16—204
大場某手写
12丁　24cm
前号と同内容である。

957 寿々姫様御輿渡絵図　16.16—205
手写
絵図1枚　36×24cm
「寿々姫様御婚礼御作法等」附図と同一。

958 寿々姫様御婚礼御出輿御行列　16.16—206
手写
16丁　12×18cm

959 勝千代様御縁組ニ付御使相勤候節之覚書　16.16—207
前田純孝（兵部）編
手写
巻子1　17.5cm
原題は「中将様より勝千代様へ御縁組之儀被仰進候御使相勤候節之覚」。中川典克旧蔵。内容は文化11年（1814）勝千代（13代藩主斉泰）と秋田侯佐竹義和の女利瑳との縁組が幕府から許可されたので，中将様（斉広）から勝千代に伝える使者を前田兵部が勤めた。ただし，利瑳は入輿前文政5年（1822）歿。

960 佐山様より来簡集　16.16—208
佐山著　渡辺喜内編
手写
16丁　23cm
渡辺庸旧蔵。個人的な書簡集であるが，内容は溶姫や厚姫の婚姻について。佐山は表向年寄女中で渡辺喜内宛のもの。

961 親姫様御婚礼一件　16.16—209
渡辺佐大夫等編
自筆　弘化3・4年（1846・47）
12冊・絹切7綴　19.5～26.5cm
渡辺庸旧蔵。親姫（ちかひめ）は14代藩主慶寧の最初の正室，父は久留米侯有馬頼徳，天保3年（1832）生まれ，弘化4年（1847）4月13日入輿，安政3年（1856）歿。
細目は，①御結納等御進物之留②御結納等御小袖之留③御結納御進候御行列附④今般御婚礼御間飾控⑤御御婚礼之節結納御小袖御水引敷絹等地合切7綴⑥被進候御三棚御道具附⑦親姫様御道具行列附り御弐度目共⑧御入輿御行列帳⑨御婚礼御式御献立⑩有馬様より御到来皆子餅御行列⑪親姫様皆子餅御行列帳⑫親姫様御里披御行列附⑬御舅入之節於御輿御祝式御献立

962 親姫様御婚礼一件　16.16—210
前田家編輯方手写　明治年間
96丁　23.5cm
内容目次，御結納被進候御行列附・初度御道具行列附御弐度目共，三度目御道具御行列附有馬様より御到来皆子餅御行列，御入輿御行列帳，

弘化四年御婚礼之節着服附，御婚礼之節御作法書，筑前守様御婚礼御式御献立，御婚礼御座敷御祝建，御入輿御当日相公様御始へ筑前守様御盃事之次第，御入輿御当日相公様御初御対顔御盃事之次第幷御三ツ目相公様より親姫様へ被進方，御舅入之節於御表御饗応方，御舅入之節於御奥御祝式御献立，御里披御行列附，御里披等之節有馬様より来ル御作法書。以上14種で，大部分は前号の写である。

963　弘化度御婚礼記　　16.16—211

渡辺佐大夫編

手写

3冊　26.5cm

渡辺庸旧蔵。内題は「筑前守様御婚礼御用留」。弘化3年（1846）9月～同4年5月。渡辺佐大夫と吉田伝兵衛および富田儀右衛門との往復文書が主体をなしている。

964　筑前守様御婚礼之節御輿御具桶請取渡之図　　16.16—212

前田貞事編

自筆　弘化4年（1847）

絵図1枚　34×68cm

前田貞醇旧蔵。筑前守は14代藩主慶寧。

965　筑前守様御縁組御願之通被仰出ニ付御使相勤候一件　　16.16—213

横山政和（蔵人）編

前田家編輯方手写　明治年間

7丁　24cm

内容は安政4年（1857）の記事。第2の正室鷹司政通の養女通との縁組願が11月24日許可された次第。安政5年（1858）4月2日江戸邸で挙式。

966　筑前守様御再婚一件　　16.16—214

奥村栄通編

自筆

8冊・目録1枚・絵図6枚　11×17cm

筑前守は14代藩主慶寧。内容は安政4・5年（1857）の記事。慶寧は最初久留米侯有馬頼徳の女崇姫（初め親姫）を正室としていたが，安政3年（1856）1月10日崇姫の死後，安政5年（1858）4月2日鷹司政通（実父は久我建通）の女通を迎えた。

内容細目

① 筑前守様御再婚一巻留目録　1枚

② 筑前守様御再婚一件帳書抜　安政4年9月～5年1月

③ 〃　安政5年1月～5年4月

④ 御結納御祝儀被進物，御結納被為済候御祝儀被進物

⑤ 筑前守様御婚礼御用相勤候ニ付拝領物之覚等

⑥ 筑前守様より御結納被進候節御使者勤方等之次第，同御広式手続

⑦ 四月二日御結納被進同日御婚礼御整被遊候ニ付御客御饗応御作法

⑧ 御結納被為済候御祝義鷹司様御初より御使者参上之節御作法

⑨ 御婚礼被為済候御祝義幷御五ツ目為御祝義鷹司様御初より御使者参上之節御作法

⑩ 牧式部少輔青木山城介等自分参上御目見之絵図　22×15.5cm

⑪ 御結納被為済候為御祝儀鷹司様御初より御使者参上之節御目見等之絵図　22×15.5cm

⑫ 同上大書院絵図　24×71cm

⑬ 立花砂之物絵図3枚　28×40.5cm

⑥⑦⑧⑨⑫⑬は栄通の手写ではない。

967　筑前守様御再度御婚礼一件　　16.16—215

渡辺佐大夫編

自筆

9冊・5通・仮綴2　大27cm

渡辺庸旧蔵。筑前守は14代藩主慶寧。

内容細目

① 御婚礼御用留　安政4年9月～5年3月

② 筑前守様御再度御婚礼御表御作法　安政5年

③ 筑前守様範君様より方々様御盃事御献立

④ 中納言様御初へ範君様御対顔御盃事之次

第
⑤ 御婚礼御当日中納言様御初へ筑前守様御盃事之次第
⑥ 御婚礼御盃事御給事之次第
⑦ 御婚礼御盃事之次第（折本）
⑧ 御婚礼御式帳
⑨ 御広式番頭池野勇一郎殿よりの返書１通
⑩ 御結納等被進候御小袖御品付
⑪ 御厨子黒棚附小道具之品々　１通
⑫ 定紋覚　１通
⑬ 棚寸法　１通
⑭ 御道具覚　１通
⑮ 文書　仮綴（15通）
⑯ 文書　仮綴（４通）

968 筑前守様御再度御婚礼御表御作法　16.16—216
前田家編輯方手写　明治年間
17丁　24cm
渡辺庸旧蔵の写。内容は奥村栄通編のものと同じものが多い。

969 筑前守様御再婚之節御作法書等品々覚帳　16.16—217
横山政和編
前田家編輯方手写　明治年間
23丁　24cm

970 筑前守様御結納御祝儀目録　16.16—218
手写　安政５年（1858）
６丁　24cm
鷹司政通の養女貴君（範君・通）は安政５年１月８日本郷の加賀邸に入り，同４月２日，結納と挙式を同日同邸で行った。

971 貴君様御婚礼御式御献立　16.16—219
前田家編輯方手写　明治年間
14丁　26cm
横山政和旧蔵の写。貴君（のち通）は14代藩主慶寧の第２の正室。

972 御婚礼御式御献立　16.16—220
青木良左衛門編
手写
14丁　27.5cm
渡辺庸旧蔵。安政５年（1858）14代慶寧の婚礼のもの。編者は料理頭。

973 御婚礼御式御献立　16.16—221
青木良左衛門編
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴１（８丁）　24cm
前号の写し。

974 〔御婚礼御客御間飾附〕　16.16—222
手写
１通　25cm
早川随勝旧蔵。原題「御結納被為済為御祝義従鷹司様等御使者諸大夫罷越并就御婚礼御客有之御間飾附」。安政５年（1858）鷹司政通の養女貴姫の入輿。

975 御婚礼之節御厨子・御黒棚附御道具等　16.16—223
手写
16丁　25×17cm
南部祇知旧蔵。安政５年４月慶寧の室貴姫の入輿の際の棚に入れる御道具，その飾付および関連事項の問合せの下書。

976 瀧姫様御婚礼一件　16.16—224
御婚礼方編
手写　明治４年（1876）
２冊・４枚・巻子１・仮綴１（９通）24.5cm
①御問合帳（54丁）②御召物覚（２丁）③御着丈ケ（１枚）④御紋本（２枚）⑤御精進日（１枚）⑥横浜貫より問合条々（巻子１）⑦打合文書（仮綴１，９通）。瀧姫（たきひめ）は14代藩主慶寧の女，文久２年(1824)～明治５年(1871)７月26日歿，11才。これは明治４年３月旧高田藩榊原政敬と縁組許可，その準備の書類。

977 礼姫様御縁組被仰合候一巻　16.16—225
前田家編輯方手写　明治年間
34丁　24cm

礼姫（みちひめ）は14代藩主慶寧の女，安政元年（1854）生まれ，文久２年（1862）７月会津侯松平容保と婚約したが，明治４年（1871）解約。６年（1873）２月21日華族榊原政敬に嫁した。本書は文久２年松平容保と縁組の内約から正式取極めまでの次第を記す。

978　礼姫様御縁組一件　16.16—226
手写　明治５年・６年（1872・73）
100丁　25cm

979　礼姫様御婚礼御道具帳　16.16—227
手写
３冊　25cm

980　礼姫様御婚礼御用之品調理　16.16—228
手写
27丁　25cm
内容は御衣裳之部，御袷之御分，御器物之部，御膳部に分る。

981　礼姫様御道具調帳　16.16—229
手写
２冊　25cm
題名にとらなかった別冊は「夏御夜具」とあり。

982　御婚礼御用塗物御道具書上帳　16.16—230
日光屋弥三兵衛編
自筆　明治６年（1873）
16丁　24.5cm
日光屋弥三兵衛が納めた礼姫の婚礼用道具の書上と領収書。

983　礼姫様御入輿之節使者手控等　16.16—231
手写　明治５・６年（1872・73）
仮綴１（９通）　19.5cm
礼姫の結納から入輿までの御祝状ほか。

984　礼姫君御婚礼御用
亀蔵手写　明治６年（1873）　16.16—232
12丁　24cm
御用商人亀蔵の捺印のある婚礼用小道具の支払受取書。

985　御婚礼関係雑文書　16.16—233
手写
仮綴１（17通）　17cm
礼姫関係のものが多い。

986　御姫様御縁組被仰進状　16.16—234
手写
１通　19.5cm
衍（さわ）姫は14代慶寧の女，明治18年（1885）近衛篤麿に嫁す。本状は明治初年のものか。

987　御婚礼御規式帳　16.16—235
手写
４丁　16×40cm
順序，進行などの婚礼の規式を記す。

988　御結納御次第覚　16.16—236
長瀬成太郎編
手写
12丁　24.5cm
長瀬成太郎旧蔵の写。結納の内容と行列など。折込み絵図には肴台，するめ台，目録台，こんぶ台，肩子台，酒だる，帯台，長持の寸法を記す。

989　〔御結婚式ニ付聞合覚書〕　16.16—237
手写
２丁　12×24cm
渡辺庸旧蔵。原題は「覚書」，副書に「松平讃岐守様以家来相弟子矢田左門へ聞合一件」とある。式の盃事などについての疑問とその答。

990　御対面所之図　16.16—238
手写
絵図14枚　27×37cm
渡辺庸旧蔵。本郷邸の御居間書院各室の床の図。水戸侯来訪の節のものか。婚礼用酒樽の図もあり。

991　婚礼御規式飾付等　16.16—239
渡辺喜内等手写
巻子5・2通・6枚・仮綴1　18cm
渡辺庸旧蔵。①宝暦度婚礼規式②御広敷御間飾③有君様④御婚礼御用打込役所⑤12月19日⑥金谷御飾附⑦金谷御間飾之節⑧金谷御飾附⑨喜内宛書状⑩御樽代⑪京都より為知候書付⑫勅使入通⑬御台様懐妊⑭仮綴

992　御式正御飾方御用品々　16.16—240
手写
13丁　24cm
渡辺庸旧蔵。婚礼に必要な献立用小道具の書上げ。

993　前田家御婚礼行列次第　16.16—241
手写
81丁　25cm
三日間6回に亘り本郷邸を出る婚礼道具の行列附である。

994　御紋散御仕舞道具　16.16—242
手写
7丁　25cm
婚礼用道具とそれに入れる紋についての覚。

995　御婚礼方買上物覚　16.16—243
亀蔵手写
9丁　25cm
婚礼のため買上げた品物を記載。

996　御婚式御献立　16.16—244
手写
11丁　23.5cm
渡辺庸旧蔵。

養　　子

997　因州公養子一件　16.16—245
有賀寛兵衛編
前田家編輯方手写　明治年間
97丁　23.5cm
13代斉泰の第4子番松丸（のぶまつまる）は，嘉永元年10月鳥取藩主池田慶行の聟養子となり因幡守慶栄となった。嘉永3年歿，17才。有賀寛兵衛は当時御近習御用。

998　番松丸様養子一巻写　16.16—246
伊藤保右衛門編
中川典義手写
16丁　12×18cm
中川典克旧蔵。江戸詰執筆伊藤保右衛門の日誌抜書の写。嘉永元年10月9日から同24日迄。

999　〔因幡守様御養子等一巻〕　16.16—247
癸丑以来事蹟取調方編
編者手写
125丁　24cm
題箋「因州公御養子之件」。因幡守は番松丸。内容は，大村肴次郎・成瀬近敦・奥村伊予守・大野織人・加藤三郎左衛門の手留および朝野新聞「下馬評」（明治26・4・19～同年5・6）の抜書である。

1000　番松丸様御聟入御道具行列附　16.16—248
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm

1001　番松丸様因幡守様御聟養子御馬行列　16.16—249
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24cm

1002　亮麻呂殿城端善徳寺へ御引移御行列并御道具被遣候節御行列等　16.16—250
手写
18丁　8×16.5cm
渡辺庸旧蔵。亮麻呂（すけまろ）は13代藩主斉泰の第10子。嘉永元年（1848）5月生，東本願寺法主の猶子として善徳寺の住職になることにきめられ，同2年8月14日引移　4年11月7日歿4才。

藩　　主

1003　亮麻呂殿城端善徳寺へ御引移御行列等　16.16—251
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm
前号の写。

寿　　賀

1004　真龍院様御七十歳御賀之御祝御能組　16.16—252
手写　安政3年（1856）
5丁　21×59cm
真龍院は12代藩主斉広の正室隆（初め夙），父は鷹司政熙，天明7年（1787）生，文化4年（1807）入輿，斉広の歿後天保9年（1838）金沢に来り，明治3年（1870）歿，84才。70才の御賀は安政3年（1856）8月24日のこと。

1005　真龍院君七拾御賀菊園社中献上和歌　16.16—253
手写　安政3年（1856）
7丁　24.5cm
田中躬之の序文あり。

1006　真龍院様御賀御屏風和歌・狩谷金作献上歌　16.16—254
狩谷金作（鷹友）編
手写
9丁　24cm
安政3年（1856）真龍院70才の祝の際のもの。

1007　真龍院様七十之賀御祝ニ付御献立　16.16—255
渡辺佐大夫手写
8丁　20cm
渡辺庸旧蔵。

1008　犬千代丸様御有卦ニ付御拝領之御品等留　16.16—256
手写
14丁　24cm
中川典克旧蔵。犬千代丸は14代慶寧。有卦は陰陽説により，人の生年を干支でみて幸運の年まわり。この年まわりにあたった人は吉事が7年つづくという。

病　　気

1009　貞琳院様御病中よりの一件覚帳　16.16—257
手写　文政4年（1821）
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵。貞琳院は10代藩主重教の側室喜機。宝暦12年（1762）～文政4年（1821）10月23日，60才。文政4年（1821）10月21日急に卒中風の病にかかりて，御法事方役所を引払うまでの役務記録。

1010　寿々姫様御気滞蟇目一件　16.16—258
渡辺喜内・奥村惇叙等編
自筆　文政11年（1828）～天保6年（1835）
1冊・仮綴3　23.5cm　紙袋入
渡辺庸旧蔵。寿々姫は12代藩主斉広の女，文政2年（1819）生まれ，天保5年（1834）11月18日藩士本多政和に嫁し，翌年6月21日歿。
内容は，
① 寿々姫様御気滞ニ付播磨守殿より蟇目御頼留（渡辺喜内筆）
② 奥村左京貞直・奥村内膳惇叙蟇目相伝次第
③ 蟇目由来（喜内より内膳宛④内膳・喜内往復文書等6通。

1011　松平犬千代丸病気に付小嶋安順差遣之儀につき書付　16.16—259
手写
巻子1　16cm
内容は1水野出羽守殿よりの書付写（5月21日付）2若年寄小笠原相模守殿より御紙面写，山本庄三郎・土田曽右衛門宛（5月21日付）3診医師名書（5月21日付）何れも天保3年(1832)。松平犬千代丸（前田慶寧）が病気になったので，将軍家斉（慶寧の外祖父）の意を受けて老中水野出羽守忠成と若年寄小笠原相模守長貴が「大納言付奥医師」である小児科医小島安順をさしむけることを指示した書付の写。なお，③の診医師名書には当時の藩や老臣家付の医師の名簿が示されている。

葬　儀

1012　清泰院様逝去之節御葬式之義公辺御聞合等　16.16—260
手写
7丁　25cm
清泰院は第4代藩主光高正室大姫，明暦2年（1656）9月23日歿，30才。

1013　〔清泰院様御葬礼等覚〕　16.16—261
手写
12丁　21cm
有沢貞庸旧蔵。原題「清泰院様御葬礼御法事幷諷経御施物御香奠御雇人之覚」。

1014　松雲院様御病中之覚書　16.16—262
手写　享保9年（1724）
74丁　24cm
松雲院は5代藩主綱紀。享保9年5月はじめ重態となり，同9日歿，20日遺体は金沢に向う。本書は5月1日から金沢着迄の道中の覚書。

1015　御前堂ヨリ御火屋迄被為入候御行列　16.16—263
手写
4丁　24cm
寺から火葬場までの行列附で，享保9年(1724)5代綱紀の場合か。

1016　護国院様御葬式御行列　16.16—264
手写
21丁　17.5×6cm
中川典克旧蔵。護国院は6代藩主吉徳。延享2年（1745）6月12日歿，56才。同26日宝円寺から野田山迄の行列で，「徒者除テ御行列迄四百人斗」とある。

1017　護国院葬儀之節宝円寺ヨリ野田迄之御行列附　16.16—265
手写
15丁　20cm
藤田与七郎旧蔵。

1018　護国院様御葬儀行列附　16.16—266
手写
巻子1　7cm

1019　護国院様御葬式御忌鷹一巻　16.16—267
手写
3丁　18.5cm
前田栄次郎旧蔵。忌鷹は愛用の鷹を供養のため野に放つこと。

1020　姫君様御葬送御法事御用主付　16.16—268
手写
1通　12×11cm
姫君は6代吉徳の娘か。

1021　大応公御葬式留帳　16.16—269
前田家編輯方手写　明治年間
45丁　23cm
内題「大応院殿御葬式並諸般留帳」延享3・4年（1746・47）の留書。大応院は7代宗辰，延享3年12月8日歿，22才。

1022　大応院様御逝去之節御忌懸之面々　16.16—270
1通　15cm
宗辰の卑族の人々。

1023　御行列附等　16.16—271
手写　延享3年（1746）
23丁　18×7.5cm
大応院遺骸が江戸から金沢へ帰る際の行列と御泊附。延享3年12月28日江戸発，翌正月17日金沢着。富田権六郎旧蔵。

1024　御寺ヨリ野田江之葬式御列附　16.16—272
手写
43丁（折本）　11×13cm
富田権六郎旧蔵。延享4年（1757）1月20日，7代宗辰の葬儀であろう。

1025　政所様薨去一巻留帳　　16.16—273
富田一之（弥兵衛）編
自筆　寛延元年・2年（1748・49）
50丁　（附書状2通）　24cm
政所様は，二條内大臣吉忠に嫁した5代藩主綱紀の娘，直（泰真院）。寛延元年（1748）12月6日歿，56才。

1026　泰真院様薨去一巻日記　　16.16—274
藤懸則定（七郎左衛門）著
自筆　寛延元年（1748）
20丁　24cm
寛延元年12月6日から29日迄の日録。

1027　泰真院様薨去一件　　16.16—275
藤懸則定等編
手写　寛延元年（1748）
2冊　25cm　包紙入
① 泰真院様御道具御寺へ被上候分幷御遺物被進候目録帳
② 泰真院様御葬式御用ニ付於嵯峨二尊院御庵前堂一棟御聴聞所御設等品々仕様帳

1028　泰真院様御葬送御行列　　16.16—276
手写
35丁　20cm
葬儀は寛延元年（1748）12月23日。

1029　華厳院殿御卒去一件留帳　　16.16—277
僧教戒編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　24cm
華厳院は6代藩主吉徳の子八十五郎，宝暦11年（1761）5月12日歿，21才。

1030　宣光院殿御葬式一巻　　16.16—278
前田家編輯方手写　明治年間
37丁　23cm
宣光院は10代藩主重教の女，邦姫。宝暦11年（1761）生，明和8年(1771)5月12日歿，11才。「附御中陰ヨリ御百ケ日迄」葬儀は5月19日。

1031　泰雲院様御葬式惣絵図　　16.16—279
寺社方編
手写　天明6年（1786）
絵図1枚　182×70cm
泰雲院は10代藩主重教，天明6年（1786）6月12日歿。46才。葬儀は6月26日，式場宝円寺の絵図。

1032　泰雲院様御葬式絵図　　16.16—280
手写
絵図3枚
① 於野田山泰雲院様御葬式絵図（85×123cm）
② 〃　（23×56cm）
③ 泰雲院様野田御廟之図（67×83cm）

1033　泰雲院様御葬送幷御中陰等御法事御用留帳之内御作法等要文　　16.16—281
前田孝友（大炊）著
前田家編方輯手写　明治年間
43丁　24cm
前田貞醇旧蔵の写。

1034　泰雲院様御葬式御行列付　　16.16—282
手写
46丁　17.5×7.5cm
前田貞醇旧蔵。「天明6年丙午6月26日丑の上刻御出棺卯ノ刻迄御着棺，泰雲院様御葬式宝円寺迄之御行列附，御寺己ノ刻前御出棺申ノ中刻野田御着棺」と表紙にあり。
旧書名「泰雲院様御葬式宝円寺迄之御行列附」

1035　泰雲院様御葬式御行列付　　16.16—283
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　24cm
宝円寺より野田迄の行列。

1036　泰雲院様御葬送金谷御殿ヨリ宝円寺迄御行列附　　16.16—284
手写
9丁　18×6cm

1037　泰雲院様御葬式金谷御殿ヨリ宝円寺迄御行列帳　16.16—285

広瀬某手写

31丁　18㎝×8㎝

附「野田へ之御行列茂末ニ有之」。渡辺庸旧蔵。

1038　御殿ヨリ御寺迄被為入候御行列　16.16—286

手写　天明6年（1786）

38丁　17.5×6㎝

藤田与七郎旧蔵。天明6年（1786）6月12日，10代重教金谷御殿で卒去，同月26日宝円寺で葬儀。本書は金谷御殿から宝円寺まで，および宝円寺から野田までの御行列附である。

旧書名「御殿より御寺へ之御行列」

1039　泰雲院様御葬式金谷御殿ヨリ宝円寺迄御行列附留　16.16—287

前田家編輯方手写　明治年間

16丁　24㎝

渡辺庸旧蔵の写。

旧書名「泰雲院様御葬式御行列附」

1040　御行列附　16.16—288

手写　天明6年（1786）

5丁　11.5×8㎝

「天明六丙午六月二十六日騎馬御供相勤候節之行列附中小将者浅黄帷子ニ上下者兼房小紋白色小紋之類勝手次第為着候先供者絹ヒトエ羽織着用」と副書あり。

旧書名「騎馬御供之節御行列附」

1041　泰雲院様御葬送御葬馬等一巻　16.16—289

手写　天明6年（1786）

4丁　18㎝×12㎝

前田栄次郎旧蔵。

1042　泰雲院様御葬送御忌服一巻幷御放服等之覚　16.16—290

手写

5丁　18㎝×12㎝

前田栄次郎旧蔵。

旧書名「泰雲院様御葬送御忌服一巻等」

1043　野田へ為御持被遊候御道具宝円寺指遣分　16.16—291

手写

4丁　6×18㎝

天明6年(1736)6月26日葬儀の御道具行列付。

藤田与七郎旧蔵。

1044　宝円寺建方絵図　16.16—292

手写

絵図1枚　23.5×39.5㎝

藤田与七郎旧蔵。宝円寺で行われた藩主の葬儀行列の控所，石引町から山門までの間。

1045　寿光院様御葬式等一件手留書抜　16.16—293

前田家編輯方手写　明治年間

4丁　24㎝

横山政和旧蔵の写。寿光院は10代藩主前田重教の正室千間（初め勝・套）。紀伊徳川宗将の女，延享2年（1745）生，享和2年（1802）10月29日歿，58才。

旧書名「寿光院様御葬式等一件手留書」

1046　佐渡守様就御逝去前後取啓之覚　16.16—294

前田孝始（式部）著

自筆　寛政7年（1795）

29丁　21.5㎝

前田栄次郎旧蔵。佐渡守は，10代藩主前田重教の子斉敬。安永7年（1778）9月13日～寛政7年（1795）6月27日歿，18才。法号は観樹院。8月7日過骸江戸発，同22日金沢着。その日から百ケ日迄の覚書。

1047　観樹院御葬式之記　16.16—295

前田家編輯方手写　明治年間

9丁　25㎝

観樹院は斉敬の法号。

1048　観樹院様御葬送一件　16.16—296

手写

21丁　7×18㎝

横山政和旧蔵。

1049　観樹院尊骸天徳院着棺前後留　16.16—297

手写　寛政7年（1795）

9丁　8×18㎝

前田貞醇旧蔵。

1050　於天徳院観樹院様御葬式絵図　16.16—298
御作事寺社方編
手写　寛政7年（1795）
絵図1枚　79×127cm
旧書名「観樹院様御葬式絵図」

1051　香隆院様御葬式之節絵図　16.16—299
横山引馬手写　1078②に同じ
絵図1枚　40×35.5cm
横山勇太郎旧蔵。香隆院は第11代藩主治脩の3男裕次郎（利命）。寛政12年（1800）11月11日生，文化2年（1805）5月21日歿，6才。
旧書名「宝円寺天徳院様葬式之節絵図」

1052　太梁院様御葬式絵図　16.16—300
手写
絵図1枚　38×53cm
太梁院は11代藩主前田治脩。延享2年（1745）1月4日～文化7年（1810）1月7日，66才。葬儀は宝円寺。図は野田山墓所。

1053　〔法梁院様御逝去ニ付御葬式等一件之留〕　16.16—301
横山政孝編
前田家編輯方手写　明治年間
合綴1（2冊）　24cm
法梁院は11代藩主治脩の正室。明和元年（1764）10月29日生，文政2年（1819）9月30日歿，56才。発表は10月8日，葬儀は11月6日。合綴書は「法梁院様御葬式御入用しらへ書」。

1054　金龍院様御葬儀ニ付御作法　16.16—302
手写
4丁　19cm
金龍院は12代斉広。天明2年（1782）7月28日生，文政7年（1824）7月10日歿。葬儀は28日で，竹沢御殿，天徳院，野田山での作法のあらまし。

1055　金龍院様等御葬式御用意等之記録
手写　16.16—303
47丁　24cm
片岡孫作旧蔵の写。金龍院の場合を中心に御用商人が葬儀や中陰などに納めた呉服反物類の詳細な記録である。宝暦から天保頃まで。

1056　御葬式御法語　16.16—304
（僧）希運叟開撰
手写
2丁　12×36cm
富田権六郎旧蔵。文政7年（1824）12代藩主前田斉広（金龍院）葬儀の折の法語。叟開は天徳院18代住持。

1057　藥香院御葬式之節御作法　16.16—305
文政8年（1825）
11丁　24cm
横山政和旧蔵。藥香院（ずいこういん）は12代藩主前田斉広の娘直姫。文化6年（1809）6月26日生，文政8年（1825）3月28日歿，17才。

1058　〔藥香院御葬式御法事留〕　16.16—306
（僧）定水等編
前田家編輯方手写　明治年間
3冊　23cm
題箋「藥香院様御葬式等留」
内容細目
① 藥香院殿御葬式ヨリ御百箇日迄留，文政8年（1825）（定水），藥香院殿御一周忌御茶湯留文政9年（定水）
② 御葬式ヨリ御百ケ日迄出来物帳(定水)，御三回忌御茶湯留文政10年（愚有），御七回忌御茶湯留天保2年（洞林）
③ 御十三回忌御茶湯留　天保8年（英純）
御十七回忌御茶湯留　天保12年（黙応）
二十五回御忌御茶湯留嘉永2年（梅順）
三十三回御忌御茶湯留安政4年（透宗）

1059　戒光院様御葬式御作法書　16.16—307
手写　文政8年（1825）
8丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。戒光院は12代藩主前田斉広の子，他亀次郎。文化14年（1817）1月11日生，文政8年（1825）6月21日歿，9才。附記，藥香院（斉広の女直姫，文政8年3月死去）の葬儀。

1060 郁姫様御卒去ニ付諸事留等　16.16—308
前田矩正（式部）編
自筆
14丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。内容は，「天保五年五月七日延之助殿御卒去ニ付諸事留」および「同十年十月廿日方姫様御卒去ニ付留」で，後に附加したもの。郁姫は斉広の子椿樹院。文政12年5月3日歿。延之助は斉広の末子，方姫は13代斉泰の女。

1061 椿樹院様御葬式御法事留　16.16—309
（僧）洞林・黙応編
前田家編輯方手写　明治年間
115丁　23cm
内容は文政12年（1829）の御葬式ヨリ御百ケ日迄留，天保2年（1831）の3回忌御茶湯留，および天保12年（1841）の13回忌御茶湯留。
椿樹院は12代斉広の女郁姫。文政元年（1818）生，同12年歿。

1062 椿樹院様御葬式之節御作法　16.16—310
文政12年（1829）
9丁　25cm
前田貞醇旧蔵。

1063 景徳院様御葬式御用之品々等御用留　16.16—311
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24cm
景徳院は13代前田斉泰の正室僖（初め溶），11代将軍徳川家斉の女。文化10年（1813）3月27日生，明治元年（1868）5月1日歿，56才。
葬儀，中陰，百ケ日法事の買物帳で，商人名，金額が記されている。

1064 景徳院様御葬式より御百ケ日迄諸払結算簿　16.16—312
前田家編輯方手写　明治年間
7丁　24cm
明治元年（1868）8月の収支決算書。

1065 真龍院様御卒去之節諸事留帳　16.16—313
御住居内務局編
手写　明治3年（1870）
32丁　24cm
真龍院は12代斉広の正室，鷹司忠熙の女隆。天明7年（1787）生まれ，文化4年（1807）入輿，明治3年（1870）6月8日歿。「御葬式之節御作法」を合綴。

1066 真龍院様御葬式之節御作法　16.16—314
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　24cm
「真龍院様御卒去之節諸事留帳」附録の写。

1067 真龍夫人御葬式等留　16.16—315
（僧）悟由編
前田家編輯方手写　明治年間
72丁　23cm
明治3年6月から10月迄の天徳院における法事記録。

1068 御祭典方日録　16.16—316
手写　明治7年（1874）
11丁　25cm
14代藩主前田慶寧，天保元年5月4日～明治7年5月18日（1830～74）葬儀の記録。明治7年5月23～27日。於東京，神式。

1069 葬儀御行列附　16.16—317
手写
2冊　12.5×35cm
14代慶寧の葬儀であろう。

法　　事
（歴　代　順）

1070 歴代藩主御年忌之表　16.16—318
手写
1枚　41×28.5cm
中川典克旧蔵。高徳院（利家）から陽広院（光高）までの藩主および正室，側室の100回忌までを表にしたもの。

1071　公義毎月御日柄之覚等　16.16—319
手写
2冊　21cm
藩主および自家（奥村家）の忌日と参詣，代香，精進などを表記したもの。藩末頃。

1072　御法事方大要抜帳　16.16—320
富田貞行手写
23丁　12×17.5cm
内題は「御法事方大要覚書」。藩主の嫡子の法事の手続を記し，最後に香隆院（11代治脩の嫡子利命，文化2年（1805）歿，6才）の葬儀法会に及ぶ。

1073　御法事方大要覚書　16.16—321
前田図書手写
31丁　11.5×18cm
前田貞醇旧蔵。前号と同文。

1074　御法事方大要抜帳　16.16—322
前田矩正手写　文政4年（1821）
21丁　11.5×18cm
前田栄次郎旧蔵。前号と同文であるが，天保6年のことの書入がある。

1075　御法事方大要抜書帳　16.16—323
成瀬正敦手写　天保7年（1836）
14丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。同前。

1076　御鷹控心覚　16.16—324
早川随房編
自筆
37丁　24cm
早川随勝旧蔵。文化5年（1808）～文化14年（1817）間の藩主関係の忌による鷹狩控日の覚。

1077　於宝円寺天徳院就御法事御両家様ヨリ御使者有之節之図　16.16—325
手写
絵図3枚　34.5×48.5cm
前田貞醇旧蔵。附，「人持ヨリ諸小頭迄拝礼所之図」。①宝円寺，②③は天徳院。御両家は支藩。

1078　宝円寺・天徳院・如来寺法事之節等絵図　16.16—326
手写
絵図9枚　紙袋入
① 宝円寺御法事之節絵図　天明7年（1787）泰雲院一周忌　40×18cm
② 香隆院様御葬式之節絵図文化2年（1805）野田墓地にて，香隆院（11代治脩の子利命）の葬儀の図，式は宝円寺。24×35.5cm
③ 天徳院御法事之節絵図　安永6年（1777）9代重靖の25回法会。24×28cm
④ 天徳院御法事之節絵図天明5年（1785）重靖33回忌。28.5×40cm
⑤ 天徳院御法事之節絵図古き分　17.5×24cm
⑥ 平日御参詣之節御先詰天徳院絵図　36×48cm
⑦ 両御寺御参詣之節御刀持控所之義不明分ニ付羽田源大夫相伺候処絵図之通相心得候様被仰出候事　明和8年（1771）宝円寺天徳院図　23.5×31cm
⑧ 如来寺御法事之節絵図　安永6年（1777）　24×26cm
⑨ 如来寺上下御供控所絵図　35×48cm
横山勇太郎旧蔵。横山引馬隆晦および横山政和が所持したもの。

1079　野田山等御廟所へ御備御切籠之覚　16.16—327
手写　明治8年（1875）
2丁　12×18cm
横山家が毎年盆中に野田山等の廟所へ備える切籠の数の覚。明治11年に加筆改訂してある。

1080　高徳院様御法事役付　16.16—328
手写
4丁　8.5×19cm
元禄11年（1698）江戸広徳寺で行われた高徳院（前田利家）の百回忌法会。前田貞醇旧蔵。

1081 拈香語　16.16—329
手写
5丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。元禄11年（1698）利家100回忌の際の拈香文（禅宗で僧が焼香の後に死者に対して哀悼の意を表して朗読する文）。

1082 高徳院様二百回忌御参詣御作法　16.16—330
手写　寛政10年（1798）
8丁（折本）　6.5×17cm
前田貞醇旧蔵。金沢宝円寺に於て。

1083 御法事日記　16.16—331
手写　寛政10年（1798）
10丁　19×13cm
寛政10年（1798）2月，高徳院（初代藩主利家）200忌のもの。

1084 高徳公二百回忌一巻　16.16—332
前田家編輯方手写　明治年間
53丁　23cm
内容は「高徳院様二百回御忌御法事御作法等」（横山政和蔵の写か）と「高徳院様弐百回御忌於広徳寺御茶湯一巻」（津田修理編）で，法会は寛政10年（1798）2月。前者は金沢，後者は江戸。

1085 御法事方日記　16.16—333
村井長世（長祥）著
自筆　寛政10年（1798）
37丁・1通・絵図1枚　17cm・40×56cm
寛政10年（1798）正月高徳院200回忌につき，同22日から29日迄の日記。於宝円寺。

1086 高徳院様御法事　16.16—334
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　25cm
前号の写。冠称「於広徳寺」。

1087 高徳院様二百五十回忌相済候御祝御能組　16.16—335
手写　嘉永元年（1848）
巻子1　24cm　包紙入
法会は嘉永元年3月1日から3日間宝円寺で行われた。

1088 〔紫野芳春院御修覆絵図〕　16.16—336
手写
絵図1枚　116×79cm
原題「芳春院百回御忌京都紫野於芳春院御法事就被仰付寺中御修覆之絵図」。芳春院は，初代藩主利家の正室，天文16年（1547）7月9日～元和3年（1617）7月16日，71才。100回忌は享保元年（1716）7月行われた。

1089 瑞龍公百回忌御法会儀式　16.16—337
羽野知顕手写　明治41年（1908）
10丁　25cm
瑞龍公は，2代藩主利長。永禄5年（1562）1月12日生，慶長19年（1614）5月20日歿，53才。正徳3年（1713）5月18日から百年忌法会が越中瑞龍寺で執行された。鳥山敬二郎蔵の写。

1090 瑞龍院様百五拾回御忌宿割帳　16.16—338
手写　宝暦13年（1763）
7丁　12×35cm
中川典克旧蔵。150回忌は宝暦13年5月20日越中高岡瑞龍寺において執行。その時の他国からの宿割。

1091 瑞龍院様二百回御忌御法事絵図　16.16—339
絵図1枚　100×123cm
文化10年（1813）5月越中高岡瑞龍寺において執行。

1092 〔玉泉寺絵図〕　16.16—340
手写　文政5年（1822）
絵図1枚　53×78cm　紙袋入
原題「玉泉院様百五十回御忌御法事之節玉泉寺絵図」。玉泉院は2代藩主前田利長の正室永。織田信長の4女，天正元年（1573）～元和9年（1623）2月24日，50才。法会は明和9年（1772）2月24日。

1093　玉泉院様御法事惣御奉行　16.16—341
手写　文政4年（1821）
9丁　12×18cm
玉泉院の150回忌に先立ち，寺の修覆必要の程度を検分するまでの事情を記したもの。

1094　理松院様三百年御忌大法会御披露概意　16.16—342
神保日蒼編
明治26年（1893）刊
1通　22cm
理松院は宇喜多秀家女で，母は利家の女豪姫。前田利長に養われ，山崎阿波守長郷に嫁し，のち富田重家に再嫁。元和元年（1615）歿。法会は高道町妙泰寺において。

1095　微・陽公奉悼詩歌集　16.16—343
手写
9丁　19cm
微妙公（前田利常）・陽広公（前田光高）追悼，追善の漢詩，和歌その他。

1096　陽広院殿霊堂遷座一巻　16.16—344
前田家編輯方手写　明治年間
合綴1（2冊）　24cm
元禄4年（1691）宝円寺へ陽広院（4代光高）霊堂新築迄一時位牌預りについて。

1097　陽広公御法事留　16.16—345
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23.5cm
① 御百回忌留（寛保3年＝1743），御百五十回忌留（寛政6年＝1794）
② 御二百回忌留（天保15年1844）。陽広公は4代藩主光高。元和元年（1615）11月20日～正保2年（1645）4月5日。31才。法会は天徳院にて。

1098　清泰院様二百回御忌御法事於伝通院御修行之節覚　16.16—346
横山政和著
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　24cm
横山政和蔵の写。清泰院は4代光高の室。寛永4年（1627）生，明暦2年（1656）9月23日歿，30才。200回忌は安政2年（1855）9月。於傳通院。

1099　清泰院様御法事之節献上之品被仰出方　16.16—347
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　25cm
ほかに香隆院様（11代治脩の子利命）御葬式次第などがついている。

1100　〔松雲院様御一周忌諸事留帳〕　16.16—348
成瀬生成編
自筆　享保10年（1725）
21丁　24cm
原題「松雲院様御一周忌於天徳院御法事之節町屋へ御詰前後諸事留帳」。成瀬正居旧蔵。内容年代は，享保10年（1725）。松雲院は第5代藩主綱紀。寛永20年（1643）11月16日～享保9年（1724）5月9日。82才。

1101　松雲院様御一周忌御法事ニ付拝礼被仰出留　16.16—349
喜多岡勝方（団右衛門）手写　享保10年（1725）
7丁　23cm
藤田与七郎旧蔵。於天徳院。

1102　松雲院様御一周忌御法事ニ付拝礼被仰出留　16.16—350
喜多岡団右衛門編
前田家編輯方手写　明治年間
7丁　24cm
同前の写し。

1103　〔松雲院様三周忌諸事留帳〕　16.16—351
成瀬生成編
自筆　享保11年（1726）
12丁　24cm

原題「松雲院様御三周御忌御法事天徳院ニおいて在之ニ付諸事留帳」。成瀬正居旧蔵。

1104 松雲院様御三回忌ニ付御触之留　16.16—352
喜多岡勝方（団右衛門）手写　享保11年（1726）
1丁　22cm
藤田与七郎旧蔵。於天徳院。

1105 松雲院様御三回忌ニ付御触之留　16.16—353
前田家編輯方手写　明治年間
1丁　24cm
同前。

1106 松雲院殿五拾回忌留帳　16.16—354
（僧）泰聞編
前田家編輯方手写
36丁　24cm
内容は安永2年（1773）5月8・9日，於天徳院。

1107 松嶺院様百五十回御忌御茶湯一巻　16.16—355
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　24cm
松嶺院は5代藩主前田綱紀の正室。慶安2年（1649）～寛文6年（1666）4月24日。18才。文化12年3月24日150回忌茶湯，於天徳院。

1108 花心院様御三回忌御香典云々等　16.16—356
山田吉左衛門等手写
巻子1　17cm
花心院は第5代藩主綱紀の子雅十郎。元禄12年（1699）2月13日歿，2才。元禄14年（1701）のものなど文書5通の継立であるが脈絡不詳。
前田貞醇旧蔵。旧表紙「花心院様御三回心御香典等留」

1109 梅窓院様百回忌御法事御代香被仰附候始終之留写　16.16—357
香
前田純孝（内記）編
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm
梅窓院は綱紀の女豊，藩臣前田孝資に嫁す。貞享4年（1687）3月26日～享保3年（1718）10月5日。32才。100忌は文化14年（1817）10月5日，於玉龍寺。

1110 〔護国公十七回忌法事留帳〕　16.16—358
村田四郎左衛門・高桑勘右衛門編
手写　宝暦11年（1711）
40丁　24cm
原題「護国院様就十七回御忌宝円寺ニテ御法事中，集福寺へ御出張ニ付篠嶋典膳様御家来申談之紙面等之写幷諸事御入用割符物置御人別之調物等諸事留帳」。成瀬正居旧蔵。護国公は6代藩主吉徳。元禄3年（1690）8月8日～延享2年（1745）6月12日，56才。

1111 御代香之次第　16.16—359
手写
1通　18cm
明和6年（1769）6月11日宝円寺での6代吉徳の25回法会か。

1112 光現院様御法事御用控帳　16.16—360
中川長定著
自筆　享保6年（1721）
21丁　24cm
中川典克旧蔵。光現院は，第6代藩主吉徳の正室。元禄11年（1698）12月16日～享保5年（1720）9月20日。22才。翌年9月6日から18日迄の一周忌に関する日録。

1113 光現院様二十三回御忌御法事帳之内書抜　16.16—361
手写
1通　16cm
寛保2年（1742）9月20日江戸伝通院で執行。

1114 善良院様御拾七回忌御茶湯御執行一巻　16.16—362
前田貞一（図書）編
手写
35丁　24cm

前田貞醇旧蔵。善良院は6代藩主吉徳の側室縫。宝永5年（1708）～宝暦8年（1758）6月24日。51才。安永3年（1774）於経王寺。

1115　善良院様就御三十三回忌宅掃等覚帳　16.16—363

横山政寛編
前田家編輯方手写　明治年間
3丁　23.5cm
寛政2年（1790）6月，於経王寺。

1116　心樹院様茶湯法事帳　16.16—364
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
56丁　24cm
13回忌は明和8年（1771），17回忌は安永4年（1775），25回は忌天明3年（1783），100回は忌安政5年（1858）。心樹院は6代藩主吉徳の子利和。享保20年（1735）9月17日～宝暦9年（1759）3月23日，25才。法会および茶湯は天徳院にて。

1117　華厳院殿三回忌御茶湯御法事留　16.16—365
（僧）道種編
前田家編輯方手写　明治年間
9丁　24cm
華厳院は6代藩主吉徳の子八十五郎。寛保元年（1748）6月20日～宝暦11年（1761）5月12日。21才。3回忌は宝暦13年（1763）5月，於天徳院。

1118　華厳院殿十三回御茶湯御法事留　16.16—366
（僧）梅圭編
前田家編輯方手写　明治年間
15丁　24cm
安永2年（1773）3月，於天徳院。

1119　華厳院殿拾七回忌御茶湯留　16.16—367
（僧）祖玄編
前田家編輯方　明治年間
21丁　24cm
安永6年（1777）4月，於天徳院。

1120　華厳院殿二十五回諱御茶湯留　16.16—368
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
14丁　24cm
天明5年（1785）5月，於天徳院。

1121　華厳院殿殿三拾三回忌留　16.16—369
（僧）盤応編
前田家編輯方手写　明治年間
16丁　24cm
寛政5年（1793）5月，於天徳院。

1122　華厳院殿五拾回御茶湯留　16.16—370
（僧）禅山編
前田家編輯方手写　明治年間
20丁　24cm
文化7年（1810）4月，於天徳院。

1123　華厳院様百回御茶湯留　16.16—371
（僧）古鏡編
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　24cm
安政7年（1860）5月，於天徳院。

1124　大応公御法事留　16.16—372
（僧）孝道等編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
① 1・7・13回忌（延享4年＝1747，宝暦2年＝1752，宝暦8年＝1758）
② 17・25・33・100回忌（宝暦12年＝1762，明和7年＝1770，安永7年＝1778，弘化2年＝1845）
大応公は第7代藩主宗辰，享保10年（1725）4月25日～延享3年（1746）12月8日22才。

1125　大応院殿三回御忌御法事留帳　16.16—373
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
29丁　24cm
寛延元年（1748），於天徳院。

1126 大応院殿二十五回御忌御追福追善和歌百首　16.16—374
14丁　14×20cm
内題「大応院殿二十五回御忌御追福奉備御牌前百首和歌」。献詠の施主は宗辰の妹の暢子。

1127 大応院殿二十五回御忌和歌　16.16—375
前田家編輯方手写　明治年間
16丁　24cm
前号の写。旧書名「大応院殿二十五回御忌御牌前百首和歌」

1128 大応院殿百回御忌留　16.16—376
（僧）黙応編
前田家編輯方手写　明治年間
41丁　24cm
弘化2年11月12日，於天徳院。

1129 造酒亟様御詠等　16.16—377
手写
3丁　16×45.5cm　包紙入
大聖寺藩主の詠歌のほか，天徳院和尚，古市為信，高畠敦定，読人不知の追悼歌。大聖寺藩侯となった造酒丞は4，5，6代の3君あるが，この喪は加賀藩7代宗辰で，造酒丞は5代利道か。

1130 梅園院殿一件留簿幷御三回忌留帳　16.16—378
（僧）梵摯・孝道編
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　24cm
内容年代は，延享2年（1745）。梅園院は7代宗辰の正室常，会津保科正容の女。元文2年婚約，延享元年4月入輿，同2年11月歿，22才。於天徳院。

1131 梅園院殿三拾三回御忌留簿　16.16—379
（僧）祖玄編
前田編輯方手写　明治年間
7丁　24cm
安永6年（1777）11月30日，於天徳院。

1132 梅園院様百回御忌御茶湯留　16.16—380
（僧）黙応編
前田家編輯方手写　明治年間
7丁　24cm
100回忌は天保15年（1834）11月29日。於天徳院。

1133 謙徳院殿追善和歌写　16.16—381
手写
巻子1　26cm　包紙入
謙徳院は8代藩主重熙。宝暦3年（1753）歿，25才。その一周忌の際の「善良院御自筆御軸物写」。善良院は重熙の父6代吉徳の側室。

1134 〔謙徳院十三回忌法事留帳〕　16.16—382
御奏者所編
手写　明和2年（1765）
17丁　23.5cm
成瀬正居旧蔵。原題は「謙徳院様十三回御忌御法事四月十二日於宝円寺御執行留帳」。13回忌は明和2年。

1135 泰雲院様御法事之覚　16.16—383
前田貞一著
自筆　天明6年（1786）
10丁　12×19cm
前田貞醇旧蔵。泰雲院は10代藩主前田重教。寛保元年（1741）10月23日～天明6年（1786）6月12日。46才。本書は，歿年7月1・2・3日の中陰，同17日の35日，同24日の49日，8月2日100ケ日法事の覚書。

1136 泰雲院様御中陰御法事御香奠帳　16.16—384
前田貞一編
自筆　天明6年（1786）
2丁　12×36cm
前田貞醇旧蔵。7月1日より3日間中陰法事。

1137 御法事之節御屏風囲等絵図　16.16—385
手写
絵図1枚　36×24cm
教千代の名あり。天明8年（1788）6月12日父

重教の３回法会が行われた宝円寺部分図か。

1138　御法事留帳　　16.16—386
前田道済（織江）編
自筆　寛政７年（1792）
11丁　11.5×17.5cm
前田道益旧蔵。10代重教の７回忌法会。寛政４年６月12日，於宝円寺。

1139　泰雲院様三十三回御法事留　　16.16—387
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
６丁　24cm
33回忌は文化15年（1818）６月11日，於宝円寺。導師は天徳院の曇開が勤めた。

1140　貞琳院様御一周忌御法事一件　　16.16—388
横山政孝編
前田家編輯方手写　明治年間
57丁　23cm
貞琳院は10代藩主重教の側室喜機。宝暦12年（1762）～文政４年（1821），60才。文政５年９月から翌年正月迄の関係記録。

1141　貞琳院様二十五回御忌御法事御用主附相勤候節手留　　16.16—389
中川典義編
自筆　弘化２年（1845）
48丁・絵図１枚　12cm・24×36cm
中川典克旧蔵。絵図は「弘化二年十月廿三日貞琳院様御法事之節絵図」。表紙に「嘉永六年十月三十三回御忌御法事之主附相勤候所大体同様之趣ニ付不記，矢張御留守年也」の朱書あり。
旧書名「貞琳院様御忌御法事御用主附相勤候節手留」

1142　観樹公御葬式御法事留　　16.16—390
（僧）目船等編
前田家編輯方手写　明治年間
４冊　23.5cm
観樹公は10代藩主重教の長子斉敬。安永７年（1778）～寛政７年（1795）。18才。
①　御葬式諸雑記，御棺等絵図
②　１周忌・３回忌・７回忌留
③　13回忌・17回忌留
④　25回忌・33回忌留
寛政７年から文政10年（1827）まで，於天徳院。

1143　両御寺御法事之節席付図　　16.16—391
前田貞事（図書）手写　文政10年（1828）
絵図１枚　55.5×36cm
前田貞醇旧蔵。前田内記純孝所持のものを前田図書貞事が写したもの。文政10年６月前田斉敬33回忌の場合か。
旧書名「宝円寺天徳院御参詣之図」。

1144　宣光院様御三回忌御茶湯留帳　　16.16—392
（僧）泰閣編
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　24cm
宣光院は10代藩主前田重教の女邦。宝暦11年（1761）７月13日～明和８年（1771）５月12日。11才。安永２年（1773）４月，於天徳院。

1145　宣光院殿七回御忌御茶湯留　　16.16—393
（僧）祖玄編
前田家編輯方手写　明治年間
22丁　24cm
安永６年（1777）４月，於天徳院。

1146　宣光院殿拾七回御忌御茶湯留　　16.16—394
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
17丁　24cm
天明７年（1787）４月，於天徳院。

1147　宣光院殿二十五回御忌御茶湯留　　16.16—395
（僧）月船編
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　24cm
寛政７年（1795）５月，於天徳院。

1148　宣光院殿三拾三回御茶湯留　　16.16—396
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
23丁　24cm

享和3年（1803）5月，於天徳院。

1149　大梁院様御三回御忌取越御法事帳　16.16—397
富田貞行編
手写　明治年間
9丁　24cm
富田権六郎旧蔵。大梁院は11代治脩。延享2年1月4日～文化7年1月7日（1745～1810）66才。3回忌は文化8年11月9日に延期，於宝円寺。

1150　大梁院様三十三回御忌御法事帳　16.16—398
村井長貞（靱負）編
自筆　天保12年（1841）
29丁　18×13cm
33回忌は天保12年11月8・9日，宝円寺で執行。

1151　香隆院様御法事留　16.16—399
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　24cm
香隆院は11代治脩の子利命。寛政12年（1800）11月11日～文化2年（1805）5月21日。6才。文化14年（1817）5月20・21日，13回忌法会，於宝円寺。

1152　於宝円寺香隆院様三十三回御忌御法事絵図　16.16—400
手写　天保8年（1837）
絵図1枚　144×61.5cm
33回忌は天保8年。

1153　金龍公御法事留　16.16—401
（僧）愚有等編
前田家編輯方手写　明治年間
4冊　23cm
金龍公は12代藩主斉広。文政7年（1824）歿。天徳院において，編者は同寺侍者。
① 3回忌・7回忌の留。
② 13回忌留（2種）・17回忌留。
③ 25回忌・33回忌留。
④ 1周忌～33回忌御法事会所新出来物并御修復物帳十四種。

1154　金龍院様御十三回忌就御法事御参詣之刻御作法　16.16—402
富田某手写
4丁　11.5×18cm
富田権六郎旧蔵。13回忌は天保7年（1836）7月12日，於天徳院。
旧書名「金龍院様御十三回忌御参詣之刻御作法」

1155　金龍院様御十七回忌就御法事御参詣之刻御作法　16.16—403
富田某著
自筆　天保11年（1840）
5丁　11.5×18cm
富田権六郎旧蔵。17回忌は天保11年7月12日，於天徳院。
旧書名「金龍院様第十七回忌御参詣御作法」

1156　金龍院様御十七回忌就御法事両日御参詣之御作法御先立勤方記　16.16—404
前田矩正（式部）著
自筆　天保11年（1840）
7丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。同前。
旧書名「金龍院様十七回忌御参詣御作法御先立勤方記」

1157　金龍院様御法事御参詣之節勤方絵図　16.16—405
前田矩正編
中川典義手写　嘉永元年（1848）
絵図1枚　36×24cm
中川典克旧蔵。嘉永元年（1848）7月12日25回忌，於天徳院。なお，嘉永5年の書込あり。
旧書名「金龍院様御法事御参詣之節勤方」

1158　〔御法事之節御両家様より御代香御使者之覚〕　16.16—406
前田家編輯方手写　明治年間
24丁　24cm
表題は「於両御寺御法事之節御両家ヨリ御代香御使者有之節之覚」。天保11年7月11・12日の天徳院での12代斉広の17回忌法会，嘉永元年（1848）宝円寺での利家250回忌などに参詣の両支藩からの代香使者の作法についての覚書。

1159 真龍院殿御追悼百十首　16.16—407
手写　明治3年（1870）
18丁　24cm
横山政和旧蔵。狩谷竹軒の序あり。真龍院は12代藩主斉広の正室隆。明治3年6月歿，84才。

1160 真龍院殿御追悼百五十首　16.16—408
手写　明治3年（1870）
18丁　25cm

1161 栄操院様御法事留　16.16—409
（僧）祖林等編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
栄操院は12代藩主斉広の側室八尾。寛政元年（1789）～嘉永3年（1850），62才。
①は1周忌・3周忌の留，②は6回忌の留。於天徳院。

1162 立華院様御法事留　16.16—410
天徳院侍者編
前田家編輯方手写　明治年間
126丁　23cm
文政7年（1824）から安政2年（1855）までの，1周忌，3回忌，13回忌，17回忌，25回忌，33回忌の茶湯留。立華院は，12代藩主前田斉広の女次。文政2年（1819）12月26日～文政6年（1823）4月16日，5才。

1163 月光公子御法事留　16.16—411
（僧）定水等編
前田家編輯方手写　明治年間
55丁　23cm
月光院は12代斉広の子為三郎，文政2年(1819)8月生れ，同9月歿。7回文政8年（1796），17回天保6年（1835），25回天保14年忌の御茶湯留。於天徳院。

1164 賢良公子御法事留　16.16—412
（僧）洞林等編
前田家編輯方手写　明治年間
160丁　23cm
賢良院は12代藩主斉広の子延之助。文政4年（1821）～天保5年（1834）。14才。
第1・3・7・13・17・25・33回忌（天保6年～慶応2年）の御茶湯留。何れも天徳院にて。

1165 椿樹院様御中陰御法事御作法　16.16—413
手写　文政12年（1829）
7丁　24cm
横山政和旧蔵。椿樹院は12代斉広の女郁。文政元年（1818）12月13日～同12年4月30日。12才。葬儀は5月11日，中陰は同16日。於天徳院。

1166 栄岳院様御四十九日御茶湯留　16.16—414
（僧）祖林編
前田家編輯方手写　明治年間
30丁　24cm
栄岳院は13代藩主斉泰の子慶栄。天保5年（1834）3月23日～嘉永3年（1850）9月3日。17才。10月22日，於天徳院。

1167 栄岳院様御三回忌御茶湯留　16.16—415
（僧）祖林編
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24cm
嘉永5年（1852）5月23日，於天徳院。

1168 照了院様御三回忌御茶湯留　16.16—416
（僧）黙応編
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24cm
照了院は13代藩主斉泰の女方姫。天保10年（1839）10月2日～同年10月20日。1才。3回忌は天保12年10月20日，於天徳院。

1169 照了院様御七回忌御茶湯留　16.16—417
（僧）黙応編
前田家編輯方手写　明治年間
16丁　24cm
弘化2年（1845）10月20日，於天徳院。

1170　照了院様御十三回忌御茶湯留　16.16—418
（僧）祖林編
前田家編輯方手写　明治年間
15丁　24cm
嘉永4年（1851）10月20日，於天徳院。

1171　霊鑑院様御十三回忌御法事絵図　16.16—419
手写　慶応3年（1867）
絵図1枚　51×74cm　紙袋入
霊鑑院は14代慶寧の正室，崇。父は久留米侯有馬頼徳，弘化4年（1847）4月13日入輿，東御前といわれた。安政3年（1856）1月12日歿，25才。法事は慶応3年12月12日，江戸桂香院に於て執行。

1172　〔上野法事之節香典等披露之絵図〕　16.16—420
横山隆誨（引馬）手写　文政元年（1818）
絵図1枚　28.5×41.5cm
横山勇太郎旧蔵。原題「浚明院様三十三回御忌於上野御法事ニ付御香奠御献納披露之節之絵図　文政元年1月11日」。浚明院は10代将軍徳川家治。元文2年(1737)2月22日～天明6年(1786)9月8日。50才。寛永寺部分図。

1173　池徳院書状　16.16—421
手写
1通　16cm
徳川家の命日に加賀藩主の参詣の有無についての，池徳院（江戸芝か）からの平田三郎右衛門宛返書。惇信院（9代将軍家重）の名がみえ，明和前後のもの。

1174　惇信院様二十三回御忌法事御予参之絵図　16.16—422
高畠（菅原）厚定手写
絵図1枚　33×39cm
高畠定辟旧蔵。惇信院は9代将軍徳川家重。天明3年（1783）11代治脩が芝増上寺の23回忌に参与した折の図。

1175　有章院様御法事一件抜書　16.16—423
富田某手写
7丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。有章院は7代将軍徳川家継。文化12年100回忌法会を金沢如来寺で執行。

1176　慎徳院御法事之節覚　16.16—424
横山隆章（遠江守）編
手写
仮綴1（5通）　16cm
安政元年（1854）7月22日第12代将軍徳川家慶の一周忌法要を如来寺で行う。

遺　　物

1177　正保・万治御遺物帳　16.16—425
手写　宝永3年（1706）
59丁　26.5cm
内容は，正保2年（1645）光高卒去。万治元年（1658）利常卒去に付将軍，幕閣，藩士などへの遺物帳。

1178　微妙院様御遺物覚等　16.16—426
今枝近義（民部）・奥村栄清（河内）編
手写　万治元年（1658）
4冊　32cm
微妙院は，3代藩主利常，文禄2年（1593）11月25日～万治元年（1658）10月12日。66才。金沢，小松，江戸，京都などにおいての，かたみ分けの控帳。

1179　微妙院様御遺物之覚　16.16—427
手写　万治元年（1658）
22丁　31cm
今枝民部・奥村河内の花押あり。前号と同文。

1180　微妙院様御遺物之覚　16.16—428
前田家編輯方手写　明治年間
30丁　31.5cm
前半は前号第1冊の写し，以下は順序不同，内容にも差異あり。

藩　　主

1181 微妙院様・陽広院様御遺物帳　16.16—429
手写
2冊　23cm
3代利常と4代光高（陽広院・正保2年歿・31才）の遺物を並記。

1182 浄珠院様御遺物　16.16—430
手写
1通　16cm
内容年代は天明2年（1782）。浄珠院は6代藩主前田吉徳の側室以与。天明元年（1781）12月18日歿，89才。

法　　号

1183 御戒名帳　16.16—431
前田家編輯方手写　明治年間
15丁　25cm
前田貞醇旧蔵の写。前田利勝（永禄3年歿）より9代重靖（天珠院・宝暦3年歿）迄。

1184 〔前田家御代々法号〕　16.16—432
手写　元禄6年（1693）
29丁　20cm
原題「賀陽真家嫡庶類葉法号菩提所」。利家の父利春（永禄3年=1560歿）から5代綱紀代元禄2年（1689）まで。ただし，元禄12年の書入あり。

1185 歴代御法号　16.16—433
手写
1枚　28cm
狩野恒方旧蔵の写。藩主関係の法号一覧で，天和3年（1683）および元禄3年（1690）に調整。

1186 御戒名帳　16.16—434
手写
7丁　8×18.5cm
前田貞醇旧蔵。永禄3年（1560）より宝暦3年（1753）までの藩主とその一類およびその他関係者と思われる人の戒名歿年月日名前などを記す。

1187 〔御一門様御戒名〕　16.16—435
横山正房（志摩）編
自筆　延宝3年（1675）
60丁　24.5cm
原題「御一門様御戒名御国江戸并京都高野へ尋ニ被遣委細寺庵方ヨリ申来書付之写」。前田貞醇旧蔵。

1188 丁亥集録　16.16—436
手写
59丁　28cm
九里覚左衛門・竹中伊兵衛・加須屋伝兵衛・横山外記らの覚書から，藩主一門の戒名，祈禱所などについて抜書したもの。成立宝永4丁亥年（1707）。

1189 御先祖様方御戒名覚書　16.16—437
手写
7丁　8×19cm
芳春院（利家の室）の父篠原某（天文17，18年頃歿）から，大聖寺2代利明（大機院・元禄5年歿）まで。前田貞醇旧蔵。

1190 御戒名帳　16.16—438
手写
6丁　8.5×18.5cm
藩主一族の戒名を記す。前田利勝（永禄3年1560歿）より松平伊勢守光殷（元禄6年1693歿）迄。前田貞醇旧蔵。

1191 四ケ寺御法号附　16.16—439
手写
4枚　28.5×41cm
天徳院，宝円寺，如来寺，神護寺の4ケ寺。法号（藩主・夫人）を控えたもの。

旧書名「天徳院等四ケ寺御法号附」

1192 御寺等御位牌　16.16—440
手写
20丁　12.5×18cm
富田権六郎旧蔵。前田家の菩提寺にある位牌録。寛延2年（1749）まで。

1193　宝円寺・天徳院御位牌之覚　16.16—441
手写
1枚　12×80cm
前田貞醇旧蔵。両寺にある前田家の位牌。

1194　神　主　録　16.16—442
手写
10丁　28.5cm
神殿内における前田一族の位牌の順列を記す。大坂両役の戦死者，利常，光高の殉死者の名も見える。
旧書名「前田家神主録」

1195　松雲院・護国院法号　16.16—443
手写
1枚　47×12cm

1196　瑞陽院殿御法名　16.16—444
手写　延宝9年（1681）
1枚　35×8cm　包紙入
瑞陽院は，5代綱紀の女，専。延宝5年(1677)～天和元年（1681）。

墓　　所

1197　野田山御廟図　16.16—445
清水篤郷手写　文化8年（1811）
絵図1枚　彩色　55×57.5cm
前田家墓地図。

1198　野田山御廟絵図　16.16—446
手写
絵図9枚　彩色
① 野田山御廟全図　53.5×67.5cm
② 野田御廟絵図　50×37cm
③ 野田御廟図　48.5×53cm（横山勇太郎旧蔵）
④ 野田山御廟絵図　57.5×46.5cm（天保12年1841手写，渡辺庸旧蔵）
⑤ 加賀国石川郡野田山中前田公歴世墳墓之図　34.5×47cm
⑥ 野田山御廟図　39×27.5cm
⑦ 野田御廟之図　47×35.5cm
⑧ 野田　51.5×47cm
⑨ 野田山墓所図　39.5×42cm（長山氏蔵）

1199　野田山御廟所図　16.16—447
手写
絵図1枚　70.5×25.5cm
高畠定辟旧蔵。

1200　野田山及天徳院御墓所図　16.16—448
手写
絵図1枚　彩色　34.5×46.5cm　紙袋入
山本作徳旧蔵。12代斉広（金龍院）まで。

1201　天徳院御廟等図　16.16—449
手写
絵図1枚　120×84cm
4代光高，9代重靖ほか。

1202　天徳院御霊堂図　16.16—450
手写
絵図1枚　60×181cm
高畠定辟旧蔵。

1203　御霊堂御再建諸一件　16.16—451
天徳院侍者寮編
手写
11丁　24cm
文政元年（1818）11月～同3年（1820）正月の分。

1204　宝円寺幷御廟之図　16.16—452
手写
絵図2枚　24×39cm・42×36cm
前田貞醇旧蔵。

1205　宝円寺御霊堂絵図　16.16—453
手写
絵図2枚　36×52.5cm・28×40.5cm

1206　如来寺御霊堂図　16.16—454
手写
絵図1枚　~~7.5×5.5~~cm
48×35cm

前田貞醇旧蔵。

1207　広徳寺御廟絵図　　16.16—455
手写
絵図1枚　66×46.5cm
江戸下谷広徳寺の廟所。

1208　広徳寺墓地図　　16.16—456
手写
絵図1枚　130×225cm

1209　高岡御墓ニ付御親翰写等　　16.16—457
手写
3丁　24cm
前田対馬，村井出雲の請書あり，5代綱紀の元禄前後か。

1210　高野山御廟一件　　16.16—458
前田家編輯方手写　明治年間
78丁　23cm
高野山にある前田家廟所の調査，明治17年（1884）。内容目次
- 紀州高野山江州坂下御廟修繕方諸事留
- 自昌院様妙法蓮華経御跋写等
- 天徳院由来書
- 高野山御墓塔之儀取調書
- 高徳公御官位幷高野山御墓地之件等調書

特16.17　御　　書

1211　直書之格　　16.17—1
手写
2冊（折本）・1通　18×8cm　紙袋入
藩主書状の用語，書体例。化政前後のもの。

1212　御書格式　　16.17—2
手写
32丁　24.5cm
文政5年（1822）～慶応4年（1868）の藩主書翰の実例について書式を示したもの。

1213　利家公御書写　　16.17—3
手写
2通　14cm
千秋主殿助・奥村助右衛門宛。末森合戦の功労加増知行状と警備厳重を指令したもの。天正12年（1584）のもの。「加能古文書」に収録。

1214　御先代入御覧候節御留置被遊候御書之写　　16.17—4
手写
24丁　23cm
前田利家，利長より三輪藤兵衛吉宗などにあてた書状。天正16年（1588）より慶長5年(1600)までのもの。
旧名「前田利家手紙書ノ写」

1215　御判物幷御書等写　　16.17—5
前田家編輯方手写　明治年間
49丁　25cm
前田利長，利常，光高，綱紀のもの。

1216　蕪　墨　集　　16.17—6
森田良見編
自筆　慶応2年（1866）
3冊　23.5cm
天正から明暦に至る前田利家，利長，利常，光高に関する文書記録を集録。
① 巻1，2　利家　② 巻3，4　利長
③ 巻5　利常，巻6　利常・光高

1217　御歴代御書写　16.17—7
前田家編輯方手写　明治年間
3冊　23.5cm
① 高徳公（利家），微妙公（利常），陽広公（光高），松雲公（綱紀），瑞龍公（利長）
② 微妙公，陽広公，附，清泰夫人（光高室）大猷公（徳川家光）　③ 松雲公

1218　御書等之写　16.17—8
前田家編輯方手写　明治28年（1895）
23丁　23.5cm
内題は文政七年（1824）申十月「葛巻蔵人殿ヨリ御借用ニ而写被仰付御書等之写」。前田利常，光高などの御書4点と葛巻家関係の文書。

1219　松雲院他書簡写　16.17—9
前田家編輯方手写　明治年間
33丁　24cm
家臣などに渡した親翰の写しを集録したもの。瑞龍院（2代利長），松雲院（5代綱紀），謙徳院（8代重熙），金龍院（12代斉広）のものがある。前田孝旧蔵の写。

1220　芳春院等書翰写　16.17—10
前田家編輯方手写　明治年間
157丁　24cm
芳春院（利家の室）のほかに，預玄院（綱紀の側室），源光院（綱紀の3女），英姫（源光院の女），泰真院（綱紀の女），昌光院（綱紀の養女），浄珠院（吉徳の側室），寿清院（同），寿光院（重教の室），貞琳院（重教の側室），松寿院（重教の女），慈徳院（吉徳の女），順正院（重敬の女），栄操院（斉広の側室），賢良院（斉広の子）の書状などの写し。

1221　利家卿遺書　16.17—11
手写
1通　24cm　包紙入
内題は「大納言様ヨリ芳春院様御右筆ニて肥前様へ被仰置候条々」で，利家が夫人に代筆させた利長宛の遺書である。成立は慶長4年（1599）。

1222　利家公御遺書之写　16.17—12
手写
9丁　28cm
有沢貞庸旧蔵。前号と同文。

1223　利家公御遺書写等　16.17—13
脇田尚方編
自筆　天保9年（1838）
36丁　22cm
脇田尚保旧蔵。表題のもののほか，永貞先師筆記之写，細川忠興侯之伝，津田長門守之伝，永貞大先生端末之弁，武田廿四将画讃など13編。

1224　高徳君御問答之語等　16.17—14
前田家編輯方手写　明治16年（1883）
13丁　24cm
高徳公と宝円寺開山大透和尚との禅問答，利家公御遺書および，前田家の由来を記す。

1225　高徳公於末守御詠歌　16.17—15
手写
1通　25cm　紙袋入
歌は「軍ニハ合戦場に手立さまさま多けれど思ひ切こそけり。極意成へし利家公すへもりノ時御ゐいか」とあり，当時の家臣の筆か。

1226　高徳公・瑞龍公遺書　16.17—16
手写
9丁　22cm
利家と利長の遺言。刊本「御夜話集」に載す。

1227　両亜相公治命書　16.17—17
富田景周編
自筆　文化3年（1806）
21丁　26.5cm
前田利家および利長の遺言状を収録した「両亜相公遺誡」の校本である。奥村慎猷旧蔵。

1228　高徳公遺誡鈔　16.17—18
森田良見著
自筆　明治25年（1892）
2冊　23.5cm

内題「藩祖高徳公遺誡鈔」。森田良見が，利家の遺言状，別名「亜相公遺誡」に註釈を加えたもの。

1229　前田孫四郎書翰写　　16.17—19
前田利政（孫四郎）著
手写
1通　17.5cm
利政は利家の2男，慶長2年～5年能登七尾城主，その後剃髪，藩重臣前田直之系の祖。無事を伝え，ある人物を利政のもとへ通すように命じたもの。5月14日付。

1230　芳春院書状写　　16.17—20
手写
1通　27.5cm
宇野富良旧蔵。芳春院は前田利家正室。

1231　前田利長書翰写　　16.17—21
手写
3通　14cm
利勝名の書状。
① 千秋範昌（主殿助）宛功労状（末森戦）天正12年（1584）
② 村井長種（又兵衛）宛功労状（蓮沼戦）天正13年（1585）
③ 常喜・種善坊（山崎宗俊）・岡田七右衛門宛加増報告状。以上は「加能古文書」中にあり。

1232　利長公御遺書之写　　16.17—22
手写
6丁　24cm
慶長15年（1610）5月15日付の遺書。

1233　利長公御遺書之写　　16.17—23
手写
10丁　28cm
別名「贈亜相公遺誡」。「両亜相公治命書」中にあり，刊本「御夜話集」上編に収録。有沢貞庸旧蔵。

1234　利長様高岡ニテ御逝去之節御書置之写　16.17—24
寺岡与兵衛手写　〔延宝～元禄頃〕
8丁　25cm
利長の遺言。ただし，前文と後書きを欠く。
利長は慶長19年（1614）5月20日歿，53才。

1235　微妙公御書写　　16.17—25
手写
1通　36cm
慶長19年（1614）11月15日大坂冬の陣中から利常が奥女中ちま宛に出した書状。

1236　前田利常書状　　16.17—26
手写
2通　18cm
寺西次右衛門・永原土佐宛。

1237　真照院書状写　　16.17—27
前田家編輯方手写
2丁　24cm
宛名の中納言は前田利常。署名の「ぬ」は八条宮に嫁した利常の4女富，法号真照院。

1238　陽広公百首御歌　　16.17—28
手写
19丁　27cm
内題「陽広院様御詠歌百首」。別名「陽広公百詠」「陽広公道歌百首」など。陽広公は4代藩主光高。寛政10年（1798）高橋生清が写したものの写し。刊本は「御夜話集」中にある。光高の教訓歌で，百首のほかに「奉公人心持十首」を附してある。

1239　光高公御詠歌　　16.17—29
手写
10丁　23.5cm
有沢貞庸旧蔵。4代藩主光高の和歌形式の教訓歌。

1240　陽広院様御歌　　16.17—30
奥村尚寛（慎斎）手写　寛政4年（1792）

1通　17cm
歌は「我ことし三十又あまりひともじを歌によまるゝとしの数々」で，31才の元旦に詠んだものと原元成（子章）が語ったという。

1241　前田綱紀御書　16.17—31
手写
5通　21cm
前田備前宛。藩主への献上物に対する礼状。前田貞親（備前）は録高7,000石，貞享3年（1686）若年寄，元禄8年（1695）御家老，同16年（1703）小松城代，宝永2年（1706）歿。

1242　藩侯御書写　16.17—32
手写
23通　21cm
5代綱紀が諸大夫など宛に出した親翰写。前田貞醇旧蔵が多い。

1243　松雲公御書翰写　16.17—33
手写
11通　21cm

1244　備後守様平生御心得方之趣被仰進御ケ条書　16.17—34
手写
11丁　24cm
5代綱紀が，大聖寺4代をついだその子備後守利章に与えた日常の心懸けの箇条書。宝永末期のもの。

1245　松雲公林家往復書簡　16.17—35
前田家編輯方手写　明治年間
11冊　23.5cm
細目①元禄15年（1702），正徳2年，6年，享保2年　②享保3年　③④享保4年　⑤享保5年　⑥⑦享保6年　⑧⑨⑩享保7年　⑪享保9年（1724）

1246　松雲公林家贈答書翰抜書　16.17—36
前田家編輯方手写　明治年間
47丁　25cm
5代藩主綱紀（松雲公）と幕府林信篤(大学頭)との往復書翰集。延宝5年（1677）～元禄8年（1695）。

1247　松雲公林家贈答書簡　16.17—37
前田家編輯方手写　明治年間
67丁　23cm

1248　松雲公林家御贈答書翰抜書　16.17—38
前田家編輯方手写　明治年間
42丁　23.5cm
前号と同文。

1249　預玄院書簡写　16.17—39
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　24cm
西尾隼人宛。預玄院は5代藩主綱紀の側室。名は町，寛文8年（1668）～明和2年（1765）。前田貞醇蔵の写。

1250　前田吉徳書翰　16.17—40
手写
1通　22cm
前田備前貞親宛。藩主への献上物に対する礼状吉治時代のもの。

1251　浄珠院様御消息写　16.17—41
前田家編輯方手写　明治年間
5冊　23.5cm
浄珠院は6代吉徳の側室以与。元禄6年（1693）生まれ，天明元年（1781）歿。

1252　善良院殿御詠和歌集写　16.17—42
前田家編輯方手写　明治年間
14丁　28.5cm
善良院は7代吉徳の側室縫。宝永5年（1708）～宝暦8年（1758）。成立は宝暦4年で，蘭林の雅号がある。

1253　前田重教親翰写　16.17—43
手写
1通　15.5cm

10代藩主重教が隠居後，高田外記貞直に与えたもので，安永6年（1777）のもの。

1254　従金谷被成下御親翰等之控　　16.17—44
手写
4丁　12×18cm
10代重教が隠居所の金谷御殿から村井長穹にあてたもの。天明5年（1785）のもの。

1255　御直筆御書留　　16.17—45
手写
6丁　24.5cm
10代重教とその子教千代（斉敬）の江戸と金沢の往復文書の写。天明8年（1788）のもの。

1256　辰君様御返事写　　16.17—46
手写
2通　17cm　包紙入
明和5年(1768)8月9日，長君（綱紀の外孫，有栖川職仁親王姫）から10代重教宛の，治脩の還俗に関する返書。

1257　清操院詠草　　16.17—47
清操院著
自筆
11丁　12×18cm
清操院は10代藩主重教の側室安。宝暦10年（1760）生，天保3年（1832）歿。

1258　宰相書翰写　　16.17—48
手写
2丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。文政5年（1822）9月15日，又左衛門（斉泰）が父斉広に同伴し，初めて登営し徳川家斉に御目見したことを知らせる重臣宛の斉広の速達書状の写。日付の2月は誤り。

1259　前田斉泰書翰　　16.17—49
手写
2通　21cm
文政7年（1824）4月4日，13代斉泰が初めて金沢に入国，その時祝儀を贈った前田貞一（龍山）および貞事(図書)宛の礼状。自署がある。

1260　藩候御書写　　16.17—50
手写
9通　21cm
9通のうち3通は前田貞醇旧蔵。署名加賀守（13代藩主斉泰）。宛所は諸大夫など藩重臣。内容は参議叙任，年頭諸式，溶姫との縁組，登城勤仕（江戸）などに関係するもの。

1261　御隠居後御書留　　16.17—51
金谷御右筆部屋編
手写
2冊　24cm
13代斉泰の書状写。
① 文政5年（1822）より慶応2年（1866）まで。
② 「御上京中御書留」とあり，安政3年（1856）から明治2年（1869）まで。

1262　申楽免廃論　　16.17—52
前田斉泰著
手写
22丁　27cm
斉泰が能を演じて身体の各所を使ったために脚気が治癒したとして書いた能と健康についての体験論。

1263　〔溶姫君様御詠〕　　16.17—53
手写
1通　16cm
原題「溶姫君様ヨリ因幡守様へ御手向御詠」。溶姫は13代藩主斉泰の正室。因幡守はその子慶栄，嘉永元年鳥取侯池田慶行を継ぐ。同3年鳥取へ入国の途次伏見での急逝の報をうけた母の悲歌5首。

1264　恭敏公手蹟等　　16.17—54
手写
仮綴2　15cm
①は漢方薬の覚え断片10。恭敏公（14代慶寧）の自筆か，とある。

②には横山義六郎・大村肴次郎・加須屋七郎右衛門・渡辺兵大夫らの書状と控8通あり。天保頃のもの。

1265　恭敏公御詩　16.17—55
前田慶寧著
手写
2丁　24.5cm
未定稿詩篇外一篇。

1266　加州少将筆包紙　16.17—56
前田慶寧手写
仮綴1（15枚）　28cm
少将（14代慶寧）筆の包紙の習字を集めたもの。

1267　東御前様口上書並返答書　16.17—57
手写
4通　18.5cm　包紙入
不破順命旧蔵。東御前は14代慶寧の室で，真龍院(12代斉広正室)宛の時候見舞いと返書の控。弘化4年（1847）以後のもの。

1268　旧加賀藩勤王殉難士事蹟添書　16.17—58
前田家編輯方手写
6丁　24cm
前田利嗣が明治32年（1899）史談会に送り大野木克正等の追賞贈位を要請したもの。

1269　点取御詠歌　16.17—59
手写
14丁　25cm
前田15代利嗣，富山12代利声，大聖寺14代利鬯七日市利定，その正側室などの和歌。明治初期のもの。

1270　ちよほ女書翰　16.17—60
手写
1通　19cm

特16.18　城　　館

金　沢　城

1271　金沢城源録　16.18—1
有沢武貞著
島田常保手写　文化8年（1811）
18丁　23.5cm
巻末に「干時文化三丙寅中春中旬書写之畢，今枝直寛判。右今枝氏ヨリ恩借写之畢干時文化八辛未年六月中旬，島田常保（印）」とあり，後半に「城下得失考」を収む。成立は享保19年（1734）。

1272　金城深秘録　16.18—2
後藤和睦（彦三郎）著
前田家編輯方手写
2冊　23.5cm
「金城古蹟志」ともいう。全4巻。金沢城の沿革，城内名跡，守城の手配等を記す。文政8年（1825）成立。著者は藩の穴生方で30余年にわたり城中の石垣築造をつかさどった人。

1273　〔文禄以来旧記〕　16.18—3
後藤彦三郎編
前田家編輯方手写
68丁　23.5cm
原題「文禄年中以来等之旧記」。横山隆平旧蔵の写。末尾に「右文禄以来伝来之旧記幷近来之趣等書加率上之候以上」とあり，文政8年（1825）に成立したもの。内容は城石垣古実，穴生之起本，江戸御城之事，御城中御石垣崩所等御普請之義公義へ御届起本之事，戸室山石御定夫付之事など，金沢城を中心に記す。なお，本書の稿本は「後藤文庫」中にある。

1274　金城旧記　16.18—4
有沢武貞・土屋義休著
前田家編輯方手写
85丁　23.5cm
内容細目——金城事蹟考，城下得失考，賀州金

沢町割図成之弁　享保19年（1734）有沢武貞。金城隆盛私記　元禄15年（1702）土屋義休。金城旧記（荒子・越前の侍衆，三ケ国御領分之次第，太閤御家門方など）。加賀国寺社。

1275　〔古今御城煙焼記〕　16.18—5
前田家編輯方手写
24丁　24cm
原名「加陽染手綱古今御城煙焼記」。宝暦9年(1759)にまとめた，慶長10，元和6，寛永8，宝暦9年の火災記に，文化5の出火を附記したもの。嘉永4年成立。

1276　金沢城焼失記　16.18—6
前田家編輯方手写　明治年間
85丁　23.5cm
宝暦9年（1759）4月10日泉野寺町から出火，翌日に亘り，城内外1万5百余軒を焼失した。その記録。成瀬吉勝旧蔵の写。

1277　御城焼失記録四種　16.18—7
前田家編輯方手写　明治年間
77丁　23.5cm
内容は
① 宝暦九己卯（1759）四月十日金府大火之聞書
② 同年加州金沢火事之一巻
③ 文化五年（1808）正月十五日夜御城御焼失ニ付江戸表へ早打御使罷越候節諸事留
④ 同年御城御焼失ニ付御家中之人々等指上候総銀高

1278　御城内調書覚　16.18—8
手写
4丁　12×18cm
金沢城往来心得，城内の門名，丸名，長屋厩名，二ノ丸室名，役所名，正室の命日の覚書。

1279　金沢城等覚　16.18—9
手写
4丁　11.5×18cm
金沢城・小松城の沿革と家中仕置之事，家中弓鉄砲稽古之事，馬数を略記。宝暦5年（1755）のものか。

1280　金沢城之図　16.18—10
手写
絵図1枚　40×56cm
横山隆平旧蔵の写。朱書で「此図横山隆平ヨリ写出候，寛文八九年ノ帳冊ニハサミ有之。元禄中ノ図ナルヘシ」とあり。本丸付段を「舞台跡」藤右衛門丸は「継畑」と記す。

1281　金沢御城之図　16.18—11
手写　天保8年（1837）
絵図1枚　40×41cm
時鐘・細工所の位置から見れば元禄～宝暦間のものである。前田貞醇旧蔵。

1282　金沢城中地割絵図　甲号　16.18—12
手写
絵図10枚
門，櫓，堀，長屋，石垣，塀などの配置図。間数を記入。居住地，役所の建物は記さず。
御城中地割御絵図十枚之内
① 御本丸・御本丸付段ヨリ東之御丸　142×195cm
② 東之御丸付段ヨリ鶴之御丸等　148×112cm
③ 二之御丸・御数寄屋屋敷　111×187cm
④ 三之御丸　135×198cm
⑤ 玉泉院様御丸・薪丸・稲荷屋敷，御数寄屋屋敷・金谷屋敷・丹後屋敷・松原屋敷　266×220cm
⑥ 石川御門ヨリ紺屋坂・新坂柵御門迄　150×180cm
⑦ 車橋御門通・蓮池御囲通　180×264cm
⑧ 車橋御門ヨリ高石垣下　139×221cm
⑨ 土橋御門ヨリ尾坂御門迄，御宮・藤右衛門丸・御算用場・会所・割場・下御台所・御作事所　209×252cm
⑩ 河北御門ヨリ尾坂御門迄，御細工所・越後屋敷　194×186cm
時代は元禄元（1688）～宝暦9年（1759）。

1283　金沢城中地割絵図　乙号　16.18—13
手写
絵図10枚
同前。

1284　金沢城中地割絵図　丙号　16.18—14
手写
絵図10枚
同前。

1285　金沢城建物起絵図　甲号　16.18—15
手写
絵図10枚
御門，土塀，長屋の配置図。貼紙を立てると建物の様式がわかる。但し，居住所，役所などは示さず。なお付箋で修正して「宝暦以後」または「文化御造営之節」張掛のごとくになったと注記してあることから，原図は宝暦大火以前のものと考えられる。
御城建物起絵図10枚之内
① 御本丸・東御丸　110×190cm
② 二之御丸　189×128cm
③ 三之御丸　150×187cm
④ 鶴之御丸　110×189cm
⑤ 玉泉院様御丸・金谷御屋敷　266×211cm
⑥ 石川御門之外，腰懸脇御門・水御門・紺屋坂御門・新坂柵御門　153×142cm
⑦ 土橋御門・甚右衛門坂御門・藤右衛門丸西町口御門・御宮坂御門・桐木御門・尾坂御門　217×237.5cm
⑧ 蓮池御囲・坂上御門・坂下御門　173×255cm
⑨ 車橋御門ヨリ高石垣下　117×202cm
⑩ 御細工所・越後屋敷之後口　183×194cm

1286　金沢城建物起絵図　乙号　16.18—16
手写
絵図10枚
同前。

1287　金沢城建物起絵図　丙号　16.18—17
手写
絵図10枚
同前。

1288　金沢城建物起絵図　丁号　16.18—18
手写
絵図10枚
同前。

1289　〔金沢城類焼後御普請等被仰付候絵図〕　16.18—19
手写
絵図1枚　118×123cm
「御城御類焼後御普請等被仰付候御絵図」。宝暦9年（1759）の火災直後城内の見取り図で，焼失の場所は朱書でその他応急の柵や垣，幕や簀を張った場所なども記されている。

1290　金沢城之図　16.18—20
手写
絵図1枚　彩色　40×28cm
前田貞醇旧蔵。「金沢御城之図」。城全体の略図。化政期のものか。

1291　金沢城絵図　16.18—21
手写
絵図1枚　103×97cm
土居石垣の実測図。

1292　金沢城石垣につき幕府へ上申覚書　16.18—22
手写
1通　24cm　紙袋入
内題「寛文弐壬寅年（1662），寛文七丁未年（1667），寛文十一辛亥年（1671）三度御城石垣崩口之儀公儀へ被仰上候覚」。末尾に「天和三年（1683）亥八月廿一日」の日付あり。

1293　金沢城絵図仕立につき覚書　16.18—23
手写
巻子1　27cm
某年絵図仕立につき，正保4年（1647），寛文8年（1668）の絵図との相違点などを記している。

1294　金沢城中地面高低附　16.18—24
手写
2丁　24cm
城中要所15カ所の地面の高低を記したもの。表紙に前田慶寧の名がある。

1295　金沢城本丸・東之丸の図　16.18—25
手写
絵図1枚　111×79cm
高畠定辟旧蔵。本丸・東之丸のみの配置図。慶長7年（1602）以後寛永8年（1631）の火災以前のもの。

1296　金沢城東之御丸・御本丸絵図　16.18—26
手写
絵図1枚　87×110cm
同前。

1297　金沢城本丸・東丸之図　16.18—27
手写
絵図1枚　彩色　180×214cm
構築物の方法が精細に記入されている。

1298　金沢城二之丸座舗之図　16.18—28
手写
絵図1枚　彩色　166×120cm
間取り図。「二御丸惣御屋形絵図」，「但御居間廻并御小書院等建替り不申以前之絵図ニ御座候」，また「元祿年中マテノ御絵図写」ともあり。

1299　文化焼失以前二の丸之図　16.18—29
手写
絵図1枚　136×257cm
間取り図。ある井戸に付紙して天明元年(1781)に埋立てたと記入してあり，また安永3年（1774）新築箇所を記入し，その旨付箋で注記してある。従って安永期の作成にかかるものか。

1300　二の丸御殿絵図　16.18—30
手写　文化6年（1809）
絵図1枚　80×54cm
前田貞醇旧蔵。「文化六己巳四月廿六日御移徒之二御丸御殿絵図」とあり。

1301　金沢城二之丸御殿図　16.18—31
手写　文化6年（1809）
絵図1枚　100×52cm
前田貞醇旧蔵。間取り図。「文化六己巳御造営之御殿図」「己11月写之，御作事奉行小堀左門ヨリ御広式画図ニ借写ス」とあり。なお，文化5年（1808）5月29日初て御木作立，12カ月にて出来，文化6年（1809）4月26日御移徒，巳12月不残御出来とある。

1302　金沢城二ノ丸之図　16.18—32
手写
絵図1枚　140×260cm
前田貞醇旧蔵。「二ノ御丸図」とある詳細な間取り図。文化以後か。

1303　二之丸御地面図　16.18—33
手写
絵図1枚　28×39cm
前田貞醇旧蔵。二の丸の外郭の間数を記入したもの。縮尺1分1間。

1304　金沢城二之丸御式台絵図　16.18—34
手写
絵図1枚　70×201.5cm
縮尺20分の1。

1305　櫓垣之間御絵図　16.18—35
手写
絵図1枚　32×46cm
成瀬正居旧蔵。藩末のもの。筆者は成瀬正敦か。

1306　櫓垣御間絵図　16.18—36
手写
絵図1枚　104×184cm
10分の1正面図。

1307　櫓垣之御間絵図　他　16.18—37
横山隆晦（引馬）手写

絵図２枚　37×25.5cm
① 安永３年（1774）於枪垣之御間御判物被下候節之絵図　24×18cm。
② 寛政９年（1797）御表小将撰之節御居間書院四ノ間絵図。横山勇太郎旧蔵。

1308 柳之御間之図　16.18—38
手写
絵図１枚　55×88.5cm
20分の１側面図。

1309 御居間書院之絵図　16.18—39
手写
絵図１枚　47×34cm
成瀬正居旧蔵。註に「享保十四年（1729）十月朔日，福島左兵衛御加増，山村善左衛門，大槻伝蔵組替被仰付候御礼之絵図」とある。

1310 〔二之丸御居間書院絵図〕　16.18—40
手写
絵図１枚　37×24cm
原題「文化十四年（1817）三月十五日，前田故土佐守叙爵御礼之節御居間書院絵図」。金沢城二之丸の御居間書院における御作法図。文政12年の書込みあり。

旧書名「二ノ丸政御居間書院絵図」

1311 大広間御小書院披露方絵図　16.18—41
高畠（菅原）厚定手写　寛政11年（1799）
仮綴１（絵図11枚）　28×43cm
宝暦19年（1759）焼失前之図。高畠定辟旧蔵。

1312 御広式向御二階之分絵図　16.18—42
手写　文化11年（1814）
絵図１枚　彩色　80×100cm
前田貞醇旧蔵。金沢城二之丸御広式の１階の絵図に２階の絵図を張りかさねたもの。文化10年大脇六郎左衛門作図を翌年写したもの。

1313 二之丸腰掛図　16.18—43
手写
絵図１枚　68×79cm
10分の１図。腰掛（従者の控所）の側面図。

1314 三之御丸絵図　16.18—44
手写
絵図１枚　彩色　84×116cm
配置図。

旧書名「金沢城三之御丸絵図」

1315 二ノ丸角場絵図　16.18—45
手写
絵図１枚　38×27cm
「二ノ丸角場絵図」の張札は誤りで，三ノ丸稽古所の図であろう。

1316 〔金沢城橋爪御門・鶴之丸塀鉄砲挟間之図〕　16.18—46
絵図１枚　42×103.5cm
高畠定辟旧蔵。原題「二ノ丸二重屏鉄砲狭之図」。

旧書名「金沢城二ノ丸二重屏鉄砲狭間之図」

1317 橋爪御門等御絵図　16.18—47
手写
絵図３枚　77×27cm・30×22cm・39×96cm
紙袋入
高畠定辟旧蔵。橋爪一之門および二之門の正面・側面図ほか。

1318 橋爪御門渡御櫓之図　16.18—48
高畠厚定手写
絵図１枚　24×58cm
高畠定辟旧蔵。橋爪門から二之丸菱櫓に通ずる五十間長屋の図である。

1319 金沢城薪丸絵図　16.18—49
高畠厚定手写　天明８年（1788）
絵図１枚　40×56cm
高畠定辟旧蔵。薪ノ丸は本丸と玉泉院丸の間の低地にあり，利常時代に薪炭類を貯蔵した場所で，のち三棟の宝蔵があった。

1320 金沢城薪丸絵図　16.18—50
手写
絵図１枚　42×55.5cm
同前図。

1321　玉泉院丸絵図　　16.18—51
手写
絵図1枚　彩色　78×103cm
玉泉院丸の敷地と建物の配置図。慶長19年（1614）8月，2代利長の室玉泉院が高岡から移り西之丸に入った。以後玉泉院丸と名づけた。

1322　越後屋舗囲御絵図　　16.18—52
手写
絵図1枚　彩色　56×60cm
前田貞醇旧蔵。文化再建の越後屋敷のものではなく，宝暦6年（1756）焼失以前のもので，囲内に時鐘がある。

1323　越後屋舗御絵図　　16.18—53
手写　文化8年（1811）
絵図1枚　54×56cm
前田貞醇旧蔵。越後屋敷はもと城内の富田越後の屋敷跡に元禄10年（1697）より設けられた屋敷。宝暦6年（1756）焼失後，文化8年（1811）に再建された。この絵図はその折のもの。なお，越後屋敷は藩主在府中の年寄の政務の場であった。

1324　越後屋舗御絵図　　16.18—54
手写　慶応3年（1867）
絵図1枚　41×45cm　包紙
前田貞醇旧蔵。同前。

1325　越後屋敷図　　16.18—55
手写　慶応4年（1868）
絵図1枚　37.5×53.5cm
前田貞醇旧蔵。「慶応四年補理替之上改，越後屋敷図控」とある。

1326　金谷御広式絵図　　16.18—56
手写
絵図1枚　48.5×92cm
間取り図。八十五郎・実成院・法泉院の部屋があり，寛延3年（1750）のものであろう。

1327　金谷御殿絵図　　16.18—57
菅原（前田）貞道手写　文化3年（1806）
絵図1枚　83×80cm
間取り図。「観樹院様之時分之御間取，唯今相公様御座所ハ少違申候」とあり。観樹院は10代重教の子，斉敬。図は天明前後のものか。

1328　金谷御殿幷御広式惣御絵図　　16.18—58
手写
絵図1枚　136×196cm
前田貞醇旧蔵。間取り図。「文化元年（1804）子十一月改之，トラノ十二ノ十四写」とあり，文化3年（1806）に写したものか。

1329　松之御殿図　　16.18—59
手写　天保末年
絵図1枚　90×109cm
脇田尚保旧蔵。松之御殿は前田斉広正室隆（真龍院）が天保9年（1838）斉広の死後金沢城に移り居住した殿舎で，金谷御殿の1部（中央部）の名称であったことはこの図で明らかである。門や物置が別になっている。

1330　金谷御殿絵図　　16.18—60
手写
絵図1枚　208×155cm

1331　金谷御屋舗御享平起絵図　　16.18—61
手写
絵図1枚　68×56cm
建物の屋根，桁，柱，土台，天井，壁，襖などの寸法，様式などを記載。1尺を3分に縮尺。落成は延宝9年（1681）で，当時の設計図である。

1332　金谷御文庫辺粗図　　16.18—62
手写
絵図1枚　29×40cm
前田貞醇旧蔵。金谷御門と金谷御文庫の間の見取り図で，順見の道筋を朱引した指図。順見は御文庫の設立者綱紀であろう。

1333　金谷御文庫辺絵図　16.18—63
手写
絵図１枚　28×40cm
前田恒敬旧蔵。同前。

1334　御門より式台の図　16.18—64
手写
絵図１枚　27.5×70.5cm
渡辺庸旧蔵。御門から式台の間の分間図。「重而御作事所ヨリ指越候絵図」とあり。

1335　〔御城御造営仮屋之図〕　16.18—65
絵図１枚　40×37.5cm
高畠定辟旧蔵。原題名「御規式仮家」。間取り図。

1336　御奥向御二階家建物御図り帳等　16.18—66
御作事方大工編
手写　明治20年（1887）
７冊　12×36cm
増築・修理の見積り帳。
① 御奥向御二階家建物御図り帳
② 御奥向建物諸方御図り帳
③ 御土蔵前ヨリ御二階下御ツタエ廊下云々御図り帳
④ 根岸方御邸御住居平家造り御次之方御補理替御図り帳
⑤ 御湯殿御有形御補理替，同御ツタエ廊下等御図り帳
⑥ 新建御部屋方，同御物置所御図り帳
⑦ 御部屋方御湯殿幷御勝手前御補理替御図り帳

1337　二の丸御殿廻り杉戸留帳　16.18—67
手写
５丁　34×12cm
高畠定辟旧蔵。各杉戸の大きさ，場所，画題および画師の名を記す。佐々木泉景の名が最も多い。文化６年（1809）再建の折のもの。

1338　二丸御殿帳　16.18—68
手写
19丁　14×20.5cm
内題に「二丸御殿御絵幷間数之覚」とあり。ただし絵図はない。各部屋につき東西・南北の間数と天井・欄間・戸などの装飾・図柄などを記載している。

1339　南部祇知書取　16.18—69
南部祇知著
自筆　明治22年（1889）
７丁　24cm
南部祇知旧蔵。明治期に二の丸の唐紙の模様などを記憶により記したもの。

小　松　城

1340　小松城図　16.18—70
手写
絵図１枚　彩色　175×191cm
次号にいう承応元年之図とはこれであろうか。内容はほぼ同一。成立は承応元年(1652)以前。

1341　加州小松城の図　16.18—71
手写
絵図１枚　彩色　108×170cm
前田貞辟旧蔵。「承応元年（1652）九里覚右衛門,浅野藤左衛門方ヨリ請取申候貸絵図之下絵」の貼紙あり。城外の侍屋舗も入っている。

1342　加州小松城絵図　16.18—72
手写　寛文２年（1662）
絵図１枚　彩色　72.5×95cm
紙背に「加州小松城地石垣破損之覚」が記されている。「寛文二年壬寅年六月廿六日松平加賀守」とあり，同年５月の地震による石垣の破損箇所の修理計画を幕府に届出たものの控である。

1343　小松御城中石垣破損ニ付公儀へ被上候絵図之写　16.18—73
手写　天和３年（1683）
絵図１枚　76×96cm
同前の写。

1344　加州小松城絵図　　16.18—74
手写
絵図１枚　87×87cm
前田貞醇旧蔵。同前。

1345　加州小松城絵図　　16.18—75
手写
絵図１枚　72×174cm
同前。

1346　小松御城中幷侍屋舗町共之絵図　　16.18—76
手写　寛文７年（1667）
絵図１枚　彩色　265×210.5cm
内題「加賀国小松之絵図」。寛文７年（1668）調。寛文８年４月公儀絵図奉行所へ渡した城下図の控。城と城下がほぼ同じ広さで，城内，道路，川，橋の間敷が記され，所謂正保図の画法で描かれている。

1347　小松御城中幷侍屋舗町共之絵図　　16.18—77
手写　天和３年（1683）
絵図１枚　彩色　207×265cm
前田貞醇旧蔵。同前の写

1348　小松御城中幷町共地割之絵図　　16.18—78
手写　文久３年（1863）
絵図７枚　147×186.5cm
内２枚は寛文７年図を分割して写したもの。残り５枚は，それをほぼ２倍に拡大したもので計測はし詳くなっているが，中心部の２枚を欠いている。

1349　小松城絵図　　16.18—79
手写　寛文７年（1667）
絵図１枚　彩色　93×110cm
寛文７年（1668）の城の部分だけを写した控図。

1350　小松城内分間絵図　　16.18—80
手写
絵図１枚　彩色　172×157cm
１寸10間の方眼に描かれ，屋敷の間取りが入っている。次の天和３年のものより前のものであろう。

1351　小松御城中絵図　　16.18—81
手写　天和３年（1683）
絵図１枚　彩色　314×355cm
城中建物の間取りが記されている。御作事所旧蔵の写。前田貞醇旧蔵。

1352　小松御城中幷外構総絵図　　16.18—82
手写　宝暦13年（1763）
絵図１枚　210×217cm
「宝暦十三年小松作事方ヨリ写指越ス」とあり」ほぼ前図に同じ。

1353　小松城御本丸御家指図　　16.18—83
金沢御作事所手写　寛政９年（1797）
絵図１枚　82×72cm　紙袋入
小松作事所にあった絵図を，金沢の作事所に取り寄せて写したもの。本丸の殿舎配置図。当時すでに取壊されていた建屋も描かれている。

1354　小松城御本丸御家指図　　16.18—84
成瀬正居手写　安政３年（1856）
絵図１枚　彩色　78×76cm
同前。当時の小松城番成瀬正居が本丸に取り寄せて写したもの。

1355　小松城本丸絵図　　16.18—85
手写
絵図１枚　彩色　76×81cm
同前。

1356　小松城御殿之絵図　　16.18—86
手写
絵図１枚　彩色　168×158cm
小松城本丸殿舎の配置ならびに平面間取図。

1357　小松御本丸御殿之図　　16.18—87
手写
絵図１枚　25×37cm
小松城本丸殿舎の平面間取図。

1358 小松城御本丸御殿之絵図　16.18—88
手写
絵図1枚　彩色　176×180cm
平面間取図。戸・障子・欄間および描かれた画題などを記入。また丹羽長重，利常時代の殿舎跡の考証を付記。延宝7年(1679)以後のもの。

1359 小松御城中幷町図　16.18—89
富田景周（権佐）編
手写
絵図1枚　彩色　74×110cm　紙袋入
景周が小松城番（安永9年～天明5年）時代に作製したものの写。

1360 小松城御本丸御櫓絵図　16.18—90
金沢御作事所手写
絵図8枚　25×37cm　紙袋入
小松城本丸櫓（二層）の絵図。①一階二階平面図，②南側立面図，③東側立面図，④西側立面図，⑤北側立面図，⑥二階天井見上図，⑦同右ノ間天井見上図，⑧建物断面図。
立面図・断面図はいずも表と裏から見た図を表裏させて作図している。富田景周（権佐）小松城番在任中（安永9年～天明5年）に誓留めさせたものを献上，作事所にて写したもの。

1361 小松御城町割附之図附小松城来歴　16.18—91
9丁・絵図1枚　彩色　17.5cm　35.5×50cm
紙袋入　×17cm
牧昌左衛門作製した図と書かれている。昌左衛門忠輔は文化10年（1813）歿。

1362 小松城内土蔵等図　16.18—92
手写
絵図10枚　28×39cm　紙袋入
①葭島御武具土蔵平面図，②本丸河ノ上土蔵（東西二棟）平面図，③二ノ丸角場建直絵図，④修道館絵図，⑤・⑥作事所より火事時分指出目印絵図，万延元（1860），⑦二ノ丸絵図，⑧琵琶嶋絵図，⑨二枚橋絵図，⑩薮際絵図。
⑨・⑥以外は前田（橘三）恒友・富田（外記）貞行の手写で，文化初期のもの。

1363 小松御城廓之絵図　16.18—93
手写
絵図1枚　彩色　99×99cm
小松城ならびに城内城外の屋敷・殿舎に関するかなり詳細な絵図。要部には間数の記載がある。

1364 小松御城図　16.18—94
島田相保手写
絵図1枚　彩色　40×56cm
城町共の絵図。島田相保は元治元年(1864)歿。

1365 小松御城之図　16.18—95
文道軒手写　文化15年（1818）
絵図1枚　彩色　78×83cm
三ノ丸の侍屋敷の氏名から見て，文化時代のもの。文道軒は不詳。

1366 小松御城中御館之絵図　16.18—96
前田貞事手写　嘉永元年（1848）
絵図1枚　62×63cm
文政5年（1822）に小松城番前田矩正（式部）が作製したものを，嘉永元年(1848)に前田貞事が借覧して写した小松城殿舎の平面間取り図。
前田矩正は文政5年当時小松城番，3,000石。
前田貞事（さだたつ・図書）は文政9年(1826)より小松城番，7,000石。

1367 小松御城図　16.18—97
脇田尚方手写　天保15年（1844）
絵図1枚　彩色　22×28cm
脇田尚保旧蔵。

1368 小松御城御堀石垣高サ幷渡り間数控御絵図　16.18—98
小松作事所編
手写　安政2年（1855）
絵図1枚　彩色　85×62cm
石垣・塀・門を立体化したもの。安政2年以後の貼紙がある。

1369　小松御城絵図　　16.18—99
手写
絵図1枚　彩色　38×52cm
本丸と二之丸。

1370　小松城之図　　16.18—100
手写
絵図2枚　彩色　48×24cm・24×35cm
①は本丸，②は本丸と二之丸の殿舎図。前田貞醇旧蔵。

1371　小松城御本丸絵図　　16.18—101
手写
絵図2枚　彩色　36×24cm
①は中土居，②は二之丸絵図。前田貞醇旧蔵。
旧書名「小松城御本丸之図」

1372　小松城之図　　16.18—102
手写
絵図2枚　彩色　39×28cm・40×28cm
河川・堀だけ彩色した絵図。①は城内，②は城下図の城を含む半分。

1373　小松城本丸石垣崩之図　　16.18—103
手写　文久元年（1861）
絵図1枚　29×39cm
文久元年（1861）11月に安宅浦の水戸埋没のため水位があがり，石垣の一部が崩壊した際の報告の控。

1374　小松御城御藪之図　　16.18—104
手写
絵図3枚　43×150cm・25×175cm・25×360cm

1375　小松御城地之内開拓地元歩数調理之図　　16.18—105
手写
絵図1枚　彩色　91×111cm
明治4年（1872）に小松城内の開拓地の歩数を調査したもの。

1376　小松城中三左衛門自分より相立申候所々并石木之覚　　16.18—106
手写
5丁　24cm
前田貞醇旧蔵。万治2年（1659）から延宝2年（1674）まで城代を勤めた前田三左衛門直之が，自ら入れた庭木・庭石・燈籠などの配置についての覚書。

1377　小松城廓廻櫓数等之帳　　16.18—107
青山聚次（監将）編
横山政和（蔵人）手写　文久3年（1863）
6丁　12×18cm
青山聚次が城代在任中（寛延3年～宝暦11年？）の調書を将監惣次より借用して文久3年横山政和が写したもの。

1378　小松城廓廻等書出之帳　　16.18—108
横山政和手写　文久3年（1863）
5丁　12×17.5cm　紙袋入
末尾に「右，公儀へ御書上被成候控，御城番手前ニ有之分。文久三年十月取立写置」とある。

1379　小松御城中之内こぼさせ申義被仰出候覚書　　16.18—109
手写
1通　17cm　包紙入
慶応元年（1805）小松城中のうちそのままでよい所は残し，都合悪い所は僉議の上壊すよう城番に指命したもの。

高　岡　城

1380　越中高岡古城図　　16.18—110
有沢永貞編
手写
絵図1枚　33×44cm
有沢永貞作図之写。

1381　高岡城之図　　16.18—111
有沢永貞等編
脇田尚方手写　文政13年（1830）
絵図1枚　彩色　66×39cm
高岡城の図三種の写。一つは小川八左衛門安村

原図。一つは高岡町奉行小堀金五右衛門政布の提出した図。一つは有沢永貞作図で，これらを脇田尚方が金谷武英の所蔵図から写したもの。

1382　高岡旧城図　16.18—112
手写
絵図１枚　彩色　89×53cm
小堀政布図に同じく，堀を主にしたもの。

1383　越中高岡古城図　16.18—113
小川安村編
手写
絵図１枚　33×44cm
小川八左衛門（のち八郎右衛門）安村は宝暦14年（1764）から安永９年迄高岡町奉行。本図は安村作図の写。

1384　多可遠哥城図　16.18—114
手写
絵図１枚　46×29cm
前田貞醇旧蔵。高岡城絵図。

1385　越中高岡古城図　16.18—115
手写
絵図２枚　39×49cm・58×80cm
大図は小川安村図に同じく，小図は多可遠哥城図と同系。

1386　高岡古城之図　16.18—116
手写　文政４年（1826）
絵図１枚　彩色　115×83cm
前田貞醇旧蔵。文政４年（1821）６月高岡大火の際に見分役人が作成した絵図を同年冬に津田宇兵衛より借写したもの。

1387　高岡古城跡見取絵図　16.18—117
手写
絵図１枚　彩色　100×51cm
城地の絵図。本丸の上に貼紙の絵図を付し射水神社と記載。成立は明治時代（郡治局の名がみえる）。

松任・守山城

1388　松任城測量図　16.18—118
手写　文政年間（1818～1830）
絵図１枚　28×41cm
松任城本丸の旧跡を図写したもの。「御本州松任一分一間之図文政年中新測量而記之」の註記あり。２代利長が天正11年から13年(1583～85迄居城とした。

1389　越中守山城位置図　16.18—119
手写
絵図１枚　彩色　52×39cm
守山城を中心にした越中方位図。守山城は利長が天正13年（1585）松任から移り住んだところ。

旧来イ「越中守山城位置図」

そ　の　他

1390　居城之所々　16.18—120
手写
巻子1　1枚　16cm
加能越の利家・利長の居城，家臣のよった端城および古城についての藩主の覚書。

1391　小松御城幷富山御城間数之留　16.18—121
手写
５丁　24.5cm
成瀬正居旧蔵。宝暦５年（1755）幕府の巡見上使に提出したものの覚書。

海津・大津・旅屋

1392　海津御屋敷之図附邸地考　16.18—122
湯浅進良著
自筆　文化14年（1817）
８丁・１通・絵図１枚　25・17・44×31cm
包紙箱入
絵図は邸の大きさだけを記した簡単なもの。典籍は湯浅進良がこの旧蔵の絵図をもとに，邸跡をいろいろ考証し記録したもの。文書はそのいきさつを簡単に説明してある。海津屋敷は近江

高島郡海津にあった古い加賀藩邸。

1393　大津両屋敷絵図　16.18—123
手写　寛政2年（1790）
2通・絵図2枚　16cm・24cm×34.5cm
包紙入
大津の「北保町御屋敷絵図」と「中保町御屋敷絵図」，「北保御屋敷・中保御屋敷惣歩数」および京都詰人津田右膳・中黒儀右衛門より志村五郎左衛門宛上記絵図調整につき添紙面。

1394　粟ケ崎御亭絵図　16.18—124
手写
絵図1枚　56×55.5cm
前田貞醇旧蔵。構内の全図で，建物・藪・砂山を記入してある。

1395　粟ケ崎御旅屋之絵図　16.18—125
手写　慶応3年（1867）
絵図2枚　28×40cm
① 慶応3年卯10月4日，粟ケ崎御旅屋へ礼姫様御出御縮絵図
② 粟ケ崎御旅屋京間畳之図

1396　粟ケ崎御旅屋之図　16.18—126
手写
絵図1枚　55×71.5cm
前号慶応3年図に略同じ。

江戸藩邸

1397　東都御邸之次第　16.18—127
前田家編輯方手写
9丁　24cm
「金子氏覚書」からの抜萃で原文は，文化10年（1813）12月宮田久兵衛が書写したもの。江戸の諸藩邸の沿革を記す。

1398　東邸沿革図譜　16.18—128
富田景周著
手写
2冊　27cm
有沢貞庸旧蔵。加賀藩江戸邸一辰口邸，筋違邸，切通邸，永代島邸，炮碌島邸，深川邸，牛籠邸，本郷邸，駒籠邸，平尾邸，深川黒江町廓邸を記す。絵図140枚挿入。成立文政6年（1823）。

1399　東武御邸之次第　16.18—129
横山次郎兵衛撰
前田家編輯方手写
6丁　24cm
前田貞醇旧蔵。江戸の各邸の沿革を記す。横山次郎兵衛は2名文政4年（1821）歿と慶応3年（1867）歿とあり。

1400　神田御上屋敷等考　16.18—130
津田鳳卿編
18丁　24cm
神田御上屋敷，筋違御上屋敷，切通御屋敷，深川蔵屋敷などについての考証。亮之助は鳳卿の通称成立天保15年（1844）3月。

旧藩江戸屋敷絵図」

1401　江戸屋敷総図　16.18—131
手写
絵図21枚　215×165cm
本郷上屋敷の詳細な御絵図（最後の1枚は別）
細目は
① 南御長屋惣小屋御貸小屋等
② 南御長屋会所御長屋東御長屋御土蔵屋敷并南辺御貸小屋
③ 御表御殿廻
④ 御本宅御広式廻并東御居宅
⑤ 東御門続御長屋
⑥ 御住居御奥廻
⑦ 御露地御馬見所
⑧ 御作事御門并御作事役所割場役所米搗場等
⑨ 御住居部屋方并六丁目御物見
⑩ 御露地高山御亭并傘御亭等
⑪ 御露地新御亭并御泉水御馬場等
⑫ 御居宅脇御貸小屋并割場前御貸小屋等
⑬ 山御露地役所并御鳥部屋金谷御居方等所々御貸小屋
⑭ 山御居間方辺并与力町等

⑮ 八筋御貸小屋幷御徒町辺共
⑯ 御居宅御二階家幷御厩御徒町辺共
⑰ 山御納戸役所等幷御貸小屋御鎮守幷御櫓下御貸小屋
⑱ 山御鎮守横御貸小屋幷七軒小屋共
⑲ 御徒町三番四番谷御使間小屋御横目小屋等
⑳ 追分御門幷御貸小屋等
㉑ 深川御土蔵屋舗御絵図

1402 江戸上屋敷近傍図　16.18—132
手写
絵図1枚　彩色　41×56cm
江戸上屋敷（本郷邸）周辺一帯（上野，本郷，小石川）の絵図。

1403 江戸邸御近隣絵図　16.18—133
手写
絵図1枚　79×81cm
同前，やや詳しい。

1404 江戸本郷上屋敷之図　16.18—134
手写
絵図1枚　彩色　52×78cm
金谷孔彰旧蔵。

1405 御上屋敷御囲幷惣御小屋割図　16.18—135
手写
絵図1枚　247×164cm

1406 江戸上屋敷小屋絵図　16.18—136
手写
絵図1枚　彩色　60×86cm
前田貞醇旧蔵。藩士の長屋も含む全体の絵図。寛政・享和頃のもの。

1407 江戸上屋敷御貸長屋図　16.18—137
手写
絵図1枚　41×57cm
高畠定辟旧蔵。上屋敷内の藩士長屋の配置図。

1408 御殿向惣御絵図　16.18—138
手写　文政2年（1891）
絵図1枚　81×143cm
江戸本郷上屋敷の御殿の図。御作事方所蔵のものを写す。

1409 江戸御殿容之図　16.18—139
手写　享和3年（1803）
絵図2枚　58×73cm・50×74cm
前田貞醇旧蔵。上屋敷御殿の平面間取図。①は享和3年（1803）の写本，②は①の写本。②図には，式台より竹ノ間を経て年寄席へ至る順路や調度が朱筆されている。

1410 御本宅御間絵図等　16.18—140
手写　弘化3年（1846）
絵図10枚　72×28cm　紙袋入
渡辺庸旧蔵。弘化4年（1847）に前田慶寧正室として入輿した親姫（久留米藩主有馬頼徳娘）を迎えた際のもの。居間の絵図のほかに入輿のときの指図類が含まれる。①御本宅御白洲（平面図），②御本宅（平面図），③御本宅御白州（平面図），④対面所書院（立面図），⑤南御居間床（立面図），⑥対面所床（立面図），⑦御寝所床（立面図），⑧対面所（平面図），⑨御広蓋絵図，⑩御輿台絵図

1411 江戸本郷上屋敷御殿之図　16.18—141
手写
絵図1枚　47×60cm
部分図。

1412 御成御殿地図　16.18—142
手写
絵図1枚　23×34cm
上半分だけ。御成御殿は前田綱紀が将軍綱吉台臨のため本郷邸内に建てたもの。元禄15年（1702）に建ったが翌16年に全部焼失した。

1413 御守殿廻惣御絵図　16.18—143
手写
絵図1枚　彩色　200×178cm
6代前田吉徳室光現院（尾張徳川氏）が本郷邸に入輿した宝永5年(1708)から，享保5年(1720)

歿前後の御守殿詳図。御守殿とは将軍の女が諸侯に嫁したものをいう。

1414　光現大夫人御守殿御間絵図　　16.18—144
手写
絵図1枚　彩色　200×148cm
前号の写。

1415　江戸御守殿御内評ニ付松原牛兵衛出候絵図　　16.18—145
松原有之（牛兵衛）編
手写　文政6年（1823）
絵図2枚　51.5×86cm　50×85cm
松原有之は350石，御馬廻頭。文政6年（1823）に斉泰と徳川家斉の女溶姫の婚約成立につき，江戸藩邸内に御守殿新築のため作製した計画図（土蔵屋敷の一劃に張紙を加えて新住居のプランをしめす）。
①は原本，②は①の写本。

1416　御守殿御間絵図　　16.18—146
手写
絵図14枚　34×49cm
江戸上屋敷であるが，光現院，景徳院の何れの場合か不詳。

1417　江戸上屋敷御居宅絵図　　16.18—147
手写
絵図1枚　彩色　98×98cm　紙袋入
前田貞醇旧蔵。

1418　江戸上屋敷東御居宅絵図　　16.18—148
手写
絵図1枚　48×51cm
南部祇知旧蔵。前号の部分図。

1419　祐仙院様御居宅御絵図　　16.18—149
手写　文政2年（1819）
絵図1枚　97×115cm
6代吉徳の娘，暢（のぶ）の晩年の居宅図。本郷邸北之御居宅図で寛政年中の絵図を作事方より借用して写したもの。

1420　御広式御対面所絵図等　　16.18—150
手写　文政5年（1822）
絵図8枚　紙袋入
渡辺庸旧蔵。江戸上屋敷御本宅。
①　御広式御対面所等絵図（2枚）　55×49cm
②　南御居間御付書院　26×39cm
③　南御間御床　26×39cm
④　東御寝所御床　26×39cm
⑤　御対面所御付書院　26×39cm
⑥　御対面所御床　26×39cm
⑦　御対面所御着座次第　40×28cm

1421　江戸上屋敷式台前図　　16.18—151
手写
絵図1枚　37×48cm
町人お目見得の際の，門より式台までの順路・作法などを記したもの。

1422　御上屋敷建場図　　16.18—152
手写
絵図1枚　28×40cm
非常の際の本郷邸の足軽小者などの集合場所の計画図。附，相図之覚。

1423　〔御乗馬口・御庭口等之指図〕　　16.18—153
絵図1枚　23×42cm
島田孝郷旧蔵。貼紙の題名は「タイハイ場等図」とあり。本郷邸内か。

1424　江戸御本宅御広式御住居御取繕等之絵図　　16.18—154
手写　文政6年（1823）
絵図1枚　彩色　198×198cm
文政6年(1823)の御守殿改築・新築の計画図。

1425　江戸御本宅広式囲取広絵図　　16.18—155
手写　文政7年（1824）
絵図1枚　42×108cm
溶姫と斉泰の婚約にともない本宅広式の部分を拡大するため，梅御殿の土蔵，馬見所，土蔵番所などを移改築する計画図。

1426　江戸御本宅御広式御間絵図　16.18—156
手写
絵図1枚　28×59cm
前田貞醇旧蔵。天保2年9月11日御馬被進候節とあり。

1427　江戸屋敷大書院之図　16.18—157
手写
絵図2枚　27×41cm
前田貞醇旧蔵。本郷上屋敷大書院での剪入と結納の節の図。

1428　〔本郷上屋舗大書院等之図〕　16.18—158
手写
絵図1枚　69×78cm
上屋敷本宅の部分図。
IB書名「潘公御屋舗大書院等之図」

1429　〔江戸屋敷御小書院之図〕　16.18—159
前田貞事手写　弘化4年（1847）
絵図1枚　27×31cm
前田貞醇旧蔵。原題「文政十二年（1829）四月十五日，御住居御用人衆等幷御用達，同手伝大岡助太夫へ改而御逢之節御間絵図」。本郷本宅の小書院。

1430　御住居地面富士山之方云々絵図　16.18—160
手写　文政6年（1823）
絵図1枚　彩色　193×200cm
御住居御地面富士山之方ニ御治定ニ付」作成されたもの。江戸本郷邸の間取り図。11代斉泰の夫人は徳川家斉の女であったが，簡易を宗として，斉泰の中納言昇任までは御守殿と称さず御住居と称した。

1431　御住居幷惣部屋等之図　16.18—161
手写　文政7年（1824）
絵図1枚　彩色　160×182cm
江戸本郷邸間取り図。文政6年（1823）出来のものを翌7年（1824）手直したもの。

1432　御住居向惣御絵図　16.18—162
手写　文政8年（1825）
絵図1枚　彩色　185×172cm
江戸本郷邸間取り図。文政7年のものを更に改め直したもの。

1433　西之御殿絵図　16.18—163
手写
絵図2枚　55.5×52cm　54.5×59cm
本郷邸の西北部にあった西之御殿の御広式御殿と御表御殿敷地図。1枚は写し。享保15年（1730）焼失のものか。

1434　梅御居宅惣絵図　16.18—164
手写　文化3年（1806）
絵図1枚　彩色　43×61cm
前田貞醇旧蔵。享和2年（1802）に，重教夫人の居宅として本郷邸内に建てられたもの。通称「梅之御殿」のち治脩夫人の居宅となった。

1435　梅御殿惣御絵図　16.18—165
手写　文政2年（1819）
絵図1枚　彩色　180×118cm
御作事方蔵の写。

1436　梅之御殿図　16.18—166
手写　文政5年（1822）
絵図1枚　58×55cm

1437　北御居宅惣絵図　16.18—167
手写　寛政11年（1799）
絵図1枚　彩色　116×104cm
北御居宅は本郷邸内の北方にあった一劃。

1438　北御居宅御住居替絵図　16.18—168
手写　享和2年（1802）
絵図1枚　彩色　106×92cm

1439　江戸屋敷北之御居宅図　16.18—169
手写　文政5年（1822）
絵図1枚　106×108cm

1440　御普府之節中之口絵図　16.18—170
手写　嘉永4年（1851）

絵図１枚　35×41cm
前田貞醇旧蔵。嘉永４年（1851）13代斉泰が金沢から江戸入した時の本郷邸本宅の中之口玄関の図である。

1441　江戸御居間廊下御湯殿等図り　16.18—171
渡辺伊兵衛・比良只右衛門編
手写
巻子2　~~2枚~~　2~~4~~6cm
①　本郷邸の湯殿・御用所・台所などの修繕および平尾邸の仮舎の入用の見図り。
②　本郷邸より駒込屋敷迄の丁間数の測定。
以上①②共天和３年（1683）か。

1442　江戸本郷邸年寄中之小屋図　16.18—172
手写
絵図１枚　24×71cm
本郷邸内にあった年寄の役宅の絵図。

1443　江戸八筋七手二ノ御小屋図　16.18—173
文政２年（1819）
絵図１枚　29×112cm
本郷邸にあった七手組頭（人持組頭）の役宅の絵図。

1444　江戸八筋七手御小屋図　16.18—174
手写　文政８年（1825）
絵図１枚　29.5×118cm
同前。

1445　江戸御厩之惣図　16.18—175
手写　文化３年（1806）
絵図１枚　40×42cm
前田貞醇旧蔵。上屋敷内本郷通に面してあった厩の図。享和２年（1802）の図の写。

1446　御居宅溝新出来ニ付テ之絵図　16.18—176
手写
絵図１枚　55×110cm
江戸本郷邸と水戸藩邸との境の下水溝を改修した際に幕府に提出した絵図の控。

1447　育徳園之書類　16.18—177
前田家編輯方編
手写　明治41年（1908）
14丁　25cm
育徳園は江戸本郷邸内にあった庭園で，命名は５代紀綱であるが，創設は３代利常の時代であるという。東京市史庭園史資料として提出したものの控。

1448　江戸中屋敷方境図　16.18—178
手写
絵図１枚　46×52cm
高畠定辟旧蔵。享保９年（172~~7~~4）に中屋敷（駒込邸）近隣の防災のため作製されたもの。

1449　巣鴨御中屋敷方境図　16.18—179
手写
絵図１枚　47×50cm
高畠定辟旧蔵。巣鴨邸は駒込邸のこと。屋敷周辺の見取図。前号に近い。

1450　中屋敷惣絵図　16.18—180
手写
絵図４枚　彩色
中屋敷（駒込邸）の詳図。
①　御中屋舗御殿御広式幷八拾間御長屋　189.5×133cm
②　181.5×156cm
③　156.5×122.5cm
④　御中屋舗惣絵図　141.5×122.5cm
天保５年以前のもの。

1451　中屋敷絵図　16.18—181
手写
絵図２枚　彩色　30.5×47.5cm・91×115cm
①は配置図（部分図）　②は間取図。

1452　江戸御中屋敷等絵図　16.18—182
手写
絵図２枚　彩色　51×57cm・46×54cm
同一内容で，写本とそれの写本。ともに中屋敷近辺５丁四方の絵図で，出火時に出動すべき範

囲が示されている。

1453　中屋敷図　16.18—183
手写
絵図1枚　100×101cm
御小屋，仮小屋，長屋などの配置図。御殿の部分は空白。

1454　江戸御中屋敷御殿御絵図　16.18—184
手写
絵図2枚　82.5×92.5cm・91×97cm

1455　江戸御中屋敷図　16.18—185
手写
絵図1枚　56×50cm
建具・畳などの修覆の際のもの。修覆の内容を記した付箋あり。

1456　御中屋敷建場図　16.18—186
手写
絵図1枚　27×41cm
警備人配置図。

1457　駒込御数寄屋之指図　16.18—187
手写
絵図1枚　45×60cm
時代は不詳であるが初期のものと思われる。

1458　御中屋敷辻番所絵図　16.18—188
手写　元文3年（1738）
絵図1枚　48×48cm
藤田与七郎旧蔵。元文3年（1738）中屋敷（駒込邸）の辻番所廻り口の絵図。7か所の辻番所に1枚宛くばられたものの写。延享・寛延の付箋あり。

1459　駒込御中屋敷名目　16.18—189
手写　天明3年（1783）
6丁　12×18cm
横山政和旧蔵。駒込邸の構築物の正式の呼び名を列記したもの。

1460　江戸於御中屋舗家作御柱建御上棟御覩式方等留　16.18—190
松原善右衛門・丹羽沢右衛門編
手写
22丁　24cm
駒込邸。松原・丹羽両人は御普請主付。享保15年（1730）本郷邸と同時に普請をしたものであろう。

1461　御中屋舗近辺出火三ノ手罷越候一巻抜書　16.18—191
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　24cm
11月朔日（年代不詳）の火災。

1462　板橋下屋敷之図　16.18—192
手写
絵図1枚　彩色　57.5×70cm
一部破欠。

1463　~~板橋邸絵図~~　16.18—193
手写
絵図~~2~~枚　54×~~79.5~~cm・52×152cm
高畠定辟旧蔵。板橋邸は平尾邸。~~1枚は全図，他は部分図~~。

1464　江戸下屋敷絵図　16.18—194
手写　文政7年（1824）
絵図3枚
①　下屋敷（平尾邸）御殿絵図　81.5×136.5cm
②　~~下屋敷御庭~~絵図　54×152cm，③下屋敷御林大綱之絵図129×190cm。
~~ただし②は下半分が欠けている~~。③は下屋敷全体の広大な庭園が描写されている。

1465　御下屋敷絵図　16.18—195
手写
絵図1枚　39×57cm
前田貞辟旧蔵。平尾邸。天保10年（1839）6月犬千代丸様御越しの際の御迎えに使った式台口之図。

1466　平尾邸拝領一件　　16.18—196
多賀直方（新左衛門）編
前田家編輯方手写　明治年間
113丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵の写。天和3年（1683）の記事を収録。平尾邸は武蔵国豊島郡板橋にあった加賀藩邸（幕末には板橋邸ともよぶ）。延宝7年（1679）2月幕府より6万歩を受け，3月この代替地として駒込邸内2万歩を納地，翌8年（1680）平尾邸に接続する平尾村等の百姓地および東光寺領14万600歩を借地としたが，天和3年（1683）に至り筋違・切通・深川などの諸邸10万310歩を上地した際，この14万600歩を得，その全区域を平尾の下屋敷とよんだ。しかるに平尾邸の北方境界が不明瞭のため，藩は駒込邸1万7,300歩を幕府に納め，その代り平尾邸接続の地を得た。合計21万7,939歩。

1467　藤田内蔵允書状控　　16.18—197
手写
1通　16cm
前田帯刀宛文書の写。4代藩主光高夫人大姫（清泰院）の牛込邸を中屋敷（6万坪余）といっていたが，大姫が歿すると断りなく尾張徳川家へ譲られていたことに対し，利常が松平伊豆守に抗議を申し込んだ経緯を記す。藤田内蔵允安勝は1,500石，吉徳公御附，享保9年（1724）歿，85才。

1468　深川御蔵屋敷絵図　　16.18—198
手写　享和2年（1802）
絵図2枚　彩色　118×152cm・33×48cm
別名「松平加賀守深川抱屋敷」。万治元年(1658)から江戸深川黒江町には加賀藩の米倉があった享和2年の面積は2,600坪，建坪186坪余。大図は天保3年以後に加筆，小図には天保12年（1841）に朱書が加えてある。御作事所旧蔵。

1469　深川御蔵所図　　16.18—199
手写
絵図2枚　28.5×41cm　包紙入
2枚共前号小図の写。

特16.19　支　　藩

1470　四家前田家譜　　16.19—1
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23.5cm
旧能登藩主利政系（加賀藩重臣前田直之系），富山藩主，大聖寺藩主，七日市藩主の四家。
① 旧能登藩主前田家譜（利政～直方）
② 富山藩家譜（利次～利保）
大聖寺藩家譜（利治～利之）
七日市藩前田家譜（利孝～利和）

富　山　藩

1471　富山公家乗　　16.19—2
前田則邦編
前田家編輯方手写
2冊　23cm
別名「前田氏家乗」「旧富山侯家乗」11巻2冊。成立明治23年（1890）。富山藩初代利次から11代利友までの系図と年譜。

1472　富山侯家譜　　16.19—3
手写
91丁　23.5cm
内表紙に「富山様より来り候分也，写之」の付札あり。富山藩初代利次より10代利保までの系譜。

1473　〔旧富山侯家譜等三種〕　　16.19—4
前田家編輯方手写　明治20年（1887）
49丁　23.5cm
外題「富山侯家譜等」。内容は
- 「富山御家譜」初代利次～13代利同
- 「同草藁」—利同に関して明治19年迄を追加。
- 「前田利同履歴書」—「明治十八年八月賞勲局へ御差出控」

旧書名「富山前田家譜」

1474　御家督御郡総代御礼留　　16.19—5
前田家編輯方手写　明治年間
38丁　23.5cm

内容は，天明7年（1787）富山8代藩主利謙，天保6年(1835)10代利保の家督相続の際の留。

1475　聖廟通夜物語　16.19—6
手写
24丁　24cm
富山藩主初代前田利次から4代利隆までの逸話を記す。

1476　伯爵家旧事記　16.19—7
磯部四郎著
手写
32丁　24cm
「利保，利声，利同，養子問題に関スル事情ノ話」「利声ノ長男直方ノ前橋一件ナド」を大正11年（1922）に口演したもの筆記。利保，利声，利同はそれぞれ富山藩10代，12代，13代藩主。磯部四郎は富山藩出身の法学者。

1477　〔前田利幹書状〕　16.19—8
手写
1通　39cm
富山9代藩主前田利幹（松平淡路守）より本藩家老中川典義（八郎右衛門）にあてた寒気見舞の返礼。12月23日付（天保初年）。

1478　利保公遺著五種　16.19—9
前田利保著
前田家編輯方手写
53丁　23.5cm
利保公は富山藩の10代藩主。内容は対語天地の弁・三世密伝・大和こと葉道のふみ分・豊葦原・むかへこと道行ふりおほせかきの5種で歌学に関するもの。

1479　利保公遺著十七種　16.19—10
前田利保著
前田家編輯方手写　明治年間
3冊　23.5cm
内題「富山侍従利保朝臣遺著十七種」。利保は富山藩10代藩主。
① 利保公御随筆・三世幽明之伝・飛蛙囀々・国頌専門・国頌専門囀々。
② 幽時言説・音元素・近隣・吉野奥導・和歌本義・五十韻大要
③ 神用囀々・五十音内外伝秘奥・義母摘要・国の捨草・歌判記臆・三語脈余流・題詠心得。

1480　前田利同書翰　16.19—11
手写
3通　20cm
前田従四位宛の時候挨拶。利同は13代加賀藩主，斉泰の11男で13代富山藩主。

1481　越中国富山古城之図　16.19—12
手写
絵図1枚　184×210cm
「越中富山古城絵図松平肥前守領分之内，松平淡路守当分罷在候」とあり，通称正保図と云われるもの。金沢，小松城下図と同じ一連の彩色図で，成立は寛文7・8年頃。城を神通川に沿って西北に置き，その周囲に侍屋敷を配し，南側の北陸街道に面して町屋があり，外側には寺社を配置してある。随所に河川を取り入れて軍略上浮城の様相を呈している。又神通川にかかる橋は船橋（48艘に板を渡したもの，材料は秋田杉といわれる）のみである。

1482　富山城図　16.19—13
手写
絵図1枚　彩色　28×40cm　紙袋入
横山政和旧蔵。武家・町家・寺庵・河堀を色分けした粗図。神通川には船橋がある。

1483　富山御殿詰所等図　16.19—14
手写　万延元年（1860）
絵図1枚　53.5×77cm
玄関・寄合所・奥御用所の間取り図。

大聖寺藩

1484　聖藩年譜草稿　16.19—15
土田（治兵衛）信綱編

前田家編輯方手写
35丁　27cm
たんに「聖藩年譜」ともいう。編者は大聖寺藩士。寛永16年初代利治入部より天保11年までの年譜。成立弘化3年（1846）。

1485　飛騨守様系譜　16.19—16
手写
42丁　26cm
大聖寺藩初代利治より14代利鬯まで。

1486　御　系　譜　16.19—17
手写
69丁　24.5cm
大聖寺藩初代利治より14代利鬯までの系譜。

1487　大聖寺侯家譜等　16.19—18
前田家編輯方手写　明治20年（1887）
85丁　23cm
大聖寺前田家譜控および御系譜を合したもの。

1488　〔基五郎様御家督御礼被仰上候御当日御客御作法等〕　16.19—19
中川典義手写
13丁　12×17.5cm
原題「基五郎様御家督御礼被仰上御当日御客御作法幷御同所様御出改而御対顔之節御作法」。中川典克旧蔵。基五郎は宗藩14代斉泰の3男で大聖寺12代利義（としのり）。嘉永2年家督相続。

1489　諦嶽公追慕録　16.19—20
宮北直方撰
前田家編輯方手写　明治23年（1890）
16丁　23.5cm
諦嶽公は大聖寺藩12代利義。宮北直方は大聖寺藩士，明治21年浅野政周の序あり。

1490　大聖寺侯系図　16.19—21
手写
21丁　28cm
12代利義，13代利行，14代利鬯の履歴を記す。

1491　前田利罕書翰　16.19—22
手写
4通　18cm
前田従四位宛時候挨拶状の控。前田利鬯は13代藩主斉泰の7男。安政2年（1855）大聖寺藩13代藩主利行の嗣となった。明治2年6月から，同4年7月まで大聖寺藩知事。従四位は富山藩知事前田利同か。

1492　実性院様御遺物被遣帳・御継目御祝儀被遣控　16.19—23
手写
16丁　24cm
実性院は大聖寺藩初代利治。将軍・幕閣・一族・家中への形見分け目録と2代利明の家督相続の祝儀の送り先の覚。

1493　〔大機院様・正智院様御略歴〕　16.19—24
手写
2通　17cm
大機院は大聖寺藩二代利明，正智院は，同四代利章。

1494　備後守利精隠居一件　16.19—25
前田家編輯方手写　明治年間
45丁　23cm
利精は大聖寺藩第6代。安永7年襲封，天明2年（1782）不行跡の故を以て加賀藩主前田治脩より閉居を命ぜらる。

1495　大聖寺藩御用留　16.19—26
前田家編輯方手写　明治年間
66丁　24cm
天明2年壬寅5月前田図書とあり。

1496　南宮秘録　16.19—27
下村重栄著
赤井直喜手写
21丁　17.5×11.5cm
大聖寺藩主13代前田利行(としみち)の事蹟録。利行は宗藩13代斉泰の子。南宮とは利行の金沢の金谷御殿内南住居のこと。当時明倫堂助教で

あった千秋藤篤（憶）の序言がある。成立安政3年（1856）。

1497　南宮秘録　　16.19—28
下村重栄著
前田家編輯方手写
15丁　24cm
前号の写し。

1498　御遺骸通行留記　　16.19—29
前田家編輯方手写
27丁　23cm
安永10年（1781）5代利道，天明8年（1796）7代利物の両大聖寺藩主遺骸の小松町通行の際の記録。

七　日　市　藩

1499　七日市侯系譜　　16.19—30
前田利定編
手写　明治31年（1898）
29丁　28cm
初代利孝～13代利定まで。巻末に「明治三十一年七月増補訂正ス，第十三世前田利定」とありその写。

1500　大和守利孝君家系　　16.19—31
手写
21丁　24cm
利孝は七日市藩初代藩主，前田利家の5男。11代利豁（としあきら）の文政11年（1828）までの系譜。

1501　前田利意書翰　　16.19—32
前田利意（利豊）著
手写
1通　19cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門・中川采女宛。前田利意（右近大夫）は七日市2代藩主。寛永14年（1637）家督相続，万治3年（1660）従五位下右京大夫叙任，貞享2年（1685）4月28日歿，61才。書翰の内容は同苗主膳勝手方の儀に付存寄之事を報告。

旧書名「前田右京大夫利意書翰」

1502　本藩歴譜書継　　16.19—33
前田家編輯方編
手写
11丁　24.5cm
七日市藩の系譜に10代利和夫人以下につき明治32年までを書継いだもの。

1503　七日市侯旧記三種　　16.19—34
前田家編輯方手写　明治24年（1891）
117丁　23.5cm
内容
- 貞享元年（1684）公卿衆御馳走帳
- 宝暦六年（1756）御家督一件
- 宝暦六年（1756）御叙爵一件

旧書名「七日市侯旧記」

1504　七日市家譜書抜　　16.19—35
前田家編輯方手写
40丁　24.5cm
内容は，寛文～享保期の薨命，高辻帳，延宝8年（1680）先祖書上，その他。山崎籍侃手写本の写。

1505　前田采女孝興家系　　16.19—36
前田孝成・前田利器編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　24cm
上野七日市藩2代利意（初利豊）の4男孝興（初豊昌）「小川町前田氏」の系譜。①は前田孝成の天保4年（1833）まで，②はその子利器の明治15年（1882）まで。

旧書名「前田采女家系」

特16.2 藩　　制

特16.20 領　　知

1506 本封叙次考　16.20—1
富田景周著
自筆　文化10年（1813）
2冊　26.5cm　包紙・箱入
天文20年（1551）利家が信長より初めて50貫の領地をえてから以降の所領の領有状況を文化10年（1813）までにわたって記載。刊本「越登賀三州志」中の本封叙次考と沿革図伝とが含まれている。冊子中彩色図13葉。

1507 御領分次第　16.20—2
有沢武貞編
手写
8丁　13×19cm
内題「三ケ国御領分之次第」
天正3年（1575）から延享3年（1746）までの藩領知高の増加次第について略記。

1508 前田家封国証書集録　16.20—3
森田良見（平次）編
手写
98丁　27cm
前田氏の所領について信長以来の朱印状，領知目録などを集録し良見の意見を述べたもの。土方領および大聖寺藩領にも触れている。明治31年（1898）成立。

1509 御判物幷領知目録　16.20—4
前田家編輯方手写　明治年間
30丁　23.5cm
慶長19年（1614）から安政7年（1860）にいたるもの。附録，御判物御頂戴一件。

1510 公方様御代替ニ付御判物頂戴之作法　16.20—5
横山政和（蔵人）編
自筆　安政2年（1855）
6丁　12×17cm
横山政和旧蔵。安政2年3月6日将軍代替につき，慶寧が斉泰の名代として判物頂戴の際の作法書。

1511 御領知目録御改草案之覚　16.20—6
手写
1通　16cm
生駒・江守・佐藤から本多・長宛書状の下書。

郷　村　名

1512 三州図譜村籍　16.20—7
富田景周編
前田家編輯方手写　明治年間
53丁　23cm
刊本「越登賀三州志」中の「図譜村籍」に当るもの。僅かの差異あり。1冊3巻。

1513 三国村名　16.20—8
今枝直方編
自筆　宝永2年（1705）
2冊　21cm
今枝直方，初め内記といい，後民部と称した。享保5年（1720）家老に任じ，同13年（1728）11月歿（76才）著・編書は多く，本書もその一つ。加越能三国の村名を記したもの。

1514 御領国村附帳　16.20—9
手写　文化4年（1807）
100丁　12×18cm
渡辺庸旧蔵。天明6・7年（1786・87）頃の原本に文化4年（1807）朱入したもの。

1515 三州村名　16.20—10
手写
52丁　8×18cm
前田貞醇旧蔵。寛政5年（1793）以後のもの。

1516 加越能郡県録　16.20—11
前田家編輯方手写　明治年間
37丁　23.5cm
三州の十村組別の村名と郷別の草高を書上げ，

さらに後尾には河北郡について郷庄別に村名と垣内数を再記。年代は享和元年（1801）以前。

1517 〔加賀藩郡村仮名附帳〕 16.20—12
大地文宝（縫左衛門）編
自筆　享和3年（1803）
4冊　27cm
大地縫左衛門が御勘定所へ上呈したもので，郡名，郷庄名，村名によみを附してある。①加賀国　②能登国　③越中国　④近江領分である。
旧書名「加賀国郡村仮名附帳」

1518 御領国中村名附帳 16.20—13
手写
4冊　23.5cm
文化5年（1808）の村名録に明治2年までの関係文書の写しを合綴したもの。
①加賀部，②越中部上，③越中部下，④能登部

1519 越中四郡組分村名相調理書上申帳 16.20—14
石黒信由編
自筆　文政8年（1825）
30丁　12×36cm
「加越能諸郡組分絵図」に附随した書類で読み仮名付。旧書名「加越能諸郡組分絵図附越中四郡組分村名相調理書上申帳」

1520 御領国中村名帳覚書等 16.20—15
手写
仮綴1　24cm　袋入
「諸郡村名帳幷新村立之委細御改作所へ書上候下調帳」。天保12年（1839）～同14年（1843）の覚書。越中関係が多い。

1521 御領国中村名附帳 16.20—16
人口戸籍調方手写　明治3年（1870）
178丁　24cm
天保12年（1842）と同14年の書上帳により，公義へ差出したものを補正したもの。

1522 〔能美郡之内御絵図載申村々覚〕 16.20—17
手写
2丁　16×47cm
旧書名「能美郡之内越前領分十六ケ村御絵図載申村々之覚」。越前加賀で所属を争った当時勝山領の白山麓16カ村の草高を絵図に入れるについての文書。正保年間か。

1523 加越能村数覚 16.20—18
手写
1通　16cm
加越能各郡の惣村数を書きあげたもの。

1524 慶寧公の上書 16.20—19
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　24cm
北陸新報47・48号50号抄録。維新後北海道北見国が金沢藩に属していた理由を知りえるものとして価値ある上書であるとの観点から記録された。文久3年（1863）の朝廷に対する慶寧の建白とされている。

1525 石川・新川県下市村名藪 16.20—20
田中善兵衛刊　明治5・6・7年(1872～74)
3冊（折本）　15×6cm
渡辺蕃旧蔵。区及び組に所属する町村名を記したもの。①石川郡（第1区～13区），河北郡（第14～18区）江沼郡（第19～22区），能美郡（第23区～27区）。②鹿島郡（第1区～3区），羽喰郡（第4区～7区），鳳至郡（第8区～10・14・15区），珠洲郡（第11区～13区），鹿島郡（第16区），③新川郡(第1大区～10大区)，婦負郡（第11大区～13大区），射水郡（第14大区～19大区），砺波郡（第20大区～25大区）。
旧書名「石川県下市村名藪同続」「新川県下市村名藪」

1526 〔石川県大小区々分〕 16.20—21
手写
6丁　23.5cm
早川随勝旧蔵。
明治9年4月，加越能三国が石川県となった時のもの。同年11月再改編された。第6大区欠。
旧書名「石川県区制」

郷　村　高

1527 現在高辻帳目録 16.20—22
前田家編輯方手写　明治26年（1893）

5丁　25cm

明治26年現在で存在する正保より安政までの加賀藩の高辻帳物成帳の書目。高辻帳は郷村高辻帳または郷帳ともいい，領内の各村名とその田高を記載したもので幕府の命で臨時に提出した。

1528　加能越三箇国高付帳　　16.20—23

手写

12冊　31.5cm

原本成立正保3年（1664）4月。

① 新川郡

中野村・太郎丸村・今泉村・二口村・赤田村・下掛尾村・黒瀬村・黒崎村・安養寺村・小中村・最勝寺村・荒屋村・経田村・荻原村・塚原村・秋ケ崎村・長走村・新保村・任海村・神通村・塩村・岩木村・八木山村・舟倉村・小佐波村・篠津村・牛ケ増村・芦生村・今津村・布尻村・町長村・薄波村・寺津村・大田薄波村・吉野村・伏木村・小原村・舟渡村・猪ノ谷村・下山和田村・小見村・本宮村・原村・羽根新村・西本江村・磐田村・友杉村・押上村・栗山村・布市村・経力村・陀羅尼寺村・大溝呂木村・青柳村・福沢村・布目村・大浦村・月岡村・槻ケ原村・砂見村・小谷村・牧野村・馬瀬村・石淵村・瀬戸村・小坂村・日尾・折谷村・大双嶺村・下双嶺村・千長原村・大清水村・奥山村・小原屋村・大泉村・下堀村・牧村・水須村・有嶺村・上堀村・松木村・公文名村・南八川村・上掛尾村・上野村・宮保村・辰尾村・上熊野村・杉瀬村・岡田村・合田村・小黒村・万願寺村・中地山村・広田牧村・犬嶋村・広田中嶋村・粟嶋村・下冨居村・上赤江村・田中蛯浦村・奥田下新村・奥田村・窪村・綾田村・稲荷村・清水村・西長江村・東長江村・谷村・中村・秋吉村・中河原村・中市村・高屋敷村・山室江口・東江下新村・太田東江村・新保村・新名村・城村・同名村・田皇村・黒牧村・花崎村・文珠寺村・東小又村・西小又村・長瀬村・赤倉村・手出村・河内村・小原村・隠土村・安蔵村・芦峅寺村・千垣村・横江村・小俣村・座主坊村・松倉村・上飯野村・上冨居村・豊田村・米田村・西宮村・森村・中田村・日方江村・小西村・田畑村・蓮町村・下飯野村・浜黒崎村・楠木村・道正村・大村・広田新屋村・東岩瀬村・千原崎村・水落村・草嶋村・山室町村・長倉村・上滝村・中滝村・堀村・三室荒屋村・経塚村・西番村・横内村・馬瀬口村・荒川村・経堂村・虫谷村・六郎谷村・城前村・目城村・塚越村・専光寺村・曲淵村・石割村・北馬場村・金広村・清水堂村・池田館村・海老江村・池田町村・二ツ屋村・金尾村・新堀村・池田村・竹内村・下国重村・東芦原村・曽我村・五郎丸村・岩峅寺村・利田上野村・寺田極楽寺村・下金剛寺村・弓庄館村・下田村・谷口村・下白岩村・東種村・千石村・上末村・稲村・日中村・西大森村・東大森村・半屋村・日置村・舟橋村・石正村・上金剛寺村・栃津村・上白岩村・四谷尾村・東水橋村・西水橋村・小出村・上開発村・古海老江町・仏生寺村・芦見村・高野開発村・米道村・貫田村・日俣村・手屋村・辻ケ堂村・水橋中村・開発村・開谷村・市江村・狐塚村・伊勢領村・一田中村・小路村・柴草・二杉村・入部町村・早月中村・折戸村・平榎村・横越村・沖村・向新庄村・一本木村・町新庄村・利田村・中間島村・伊折村・大場村・上桜木村・宮成村・針原中村・宮條村・長屋村・朝日村・高月村・肘島村・蓬沢村・金尾新村・石屋村・藤木村・流杉村・西芦原村・上鉾木村・町袋村・常願寺村・寺家村・西種村・浅生村・檜谷村・名荷谷村・柿沢村・新屋村・堤谷村・稗田村・上野村・三日市村・若杉村・小泉村・中江上村・滑川村・下青出村・沖村・飯坂新村・放士ケ瀬村・上荒又村・田伏村・上経田村・久金村・辻村・若宮新村・横越村・泉村・若宮村・高原村・浦田村・神田村・上小泉村・高塚村・荒俣村・追分村・北野村・中嶋村・笠木村・魚躬村・沖田村・柳原村・有金村・眼目村・黒川村・小池村・赤浜村・此木村・安田村・杉本村・高柳村・竹鼻村・吉浦村・江尻村・住吉村・上市村・上砂子坂村・釈泉寺村・

柿沢村・東福寺村・大浦村・須山村・極楽寺村・出村・浅生村・上梅沢村・中村・稲泉村・本江村・上嶋村・平塚村・大掛村・金屋村・吉野村・四ツ屋村・安田新村・大熊村・薮輪村・五位尾村・鉢村・森尻村・石佛村・慶野村・堀江村・鏡田村・六郎丸村・東城村・岡経田村・平沢村・大光寺村・大沢村・本江村・坪野村・東尾崎村・宝田村・湯上村・稗畠村・古鹿熊村・友道村・浜経田村・吉嶋村・江口村・下村木村・北鬼江村・金山谷村・蛇田村・鹿熊村・観音堂村・上村木村・小菅沼村・宮津村・東山村・池ケ原村・黒沢村・済沢村・布施爪村・大菅沼村・小川寺村・黒谷村・生地村・山女村・石垣村・島尻村・川津町・相木村・西尾崎村・赤川村・西草野村・月山村・三枚橋村・窪田村・大家庄村・音沢村・不動堂村・殿村・下山村・下山新村・横山村・椚山新村・田俣村・新屋村・大平村・山崎村・堺村・宮崎村・泊村・横尾村・篠川村・南保村・蛭谷村・東草野村・春日村・吉原村・大屋村・沼保村・道下村・平柳村・長野村・舟見村・明日村・金山村・山崎新村・椚山村・根塚村・小泉村・布瀬村・高田村・磯部村・羽根村・大町村・内山村・下立村・浦山村・栃屋村・若栗村・荻生村・沓掛村・北野村・吉田村・飯沢村・古御堂・栃沢村・植木村・堀切村・三日市村・中野道村・前沢村・吉城寺村・石田新村・田家新村・山田村・中陣村・尾山村・釈迦堂村・内生谷村・池尻村・田杓村・嘉例沢村・石田村・上飯野村・曰森村・板屋村・本村・荒俣村・神子沢村・木根村・下飯野村・青嶋村・入膳村・上野村・青木村・八幡村・道市村・目川村・君嶋村

② 羽 咋 郡

石坂村・荻谷村・散田村・海老坂村・敷波村・下石村・所司原村・新宮村・当熊村・向瀬村・走入村・見砂村・菅原村・吉野屋村・聖川村・荻島村・荻市村・柳瀬村・志雄村・大笹村・小浦村・直海村・栗山村・吉田村・清水今江村・館開村・火打谷村・代田村・矢蔵谷村・谷屋村・百浦村・大津村・矢田村・梨谷小山村・神代村・堀松村・柳田村・一宮村・土橋村・粟原村・立開村・粟生村・新保村・石野町村・二口村・深江村・円井村・兵庫村・滝村・羽咋村・吉崎村・塩浜村・西谷村・今田村・藤瀬村・田中村・免田村・生神村・鵜野屋村・大平村・鳥越村・地保村・風無村・福浦村・草木村・荒屋村・中山村・八幡村・牛下村・田原村・釈迦堂村・谷津村・三明村・町居村・深谷村・栢木村・和田村・大西村・笹波村・小室村・千浦村・給分村・稲敷村・尊保村・河内村・貝田村・七海村・大福寺村・相神村・町屋村・酒見村・風戸村・赤崎村・中浜村・鹿頭村・冨木村・日用村・杉野屋村・千代町村・垣内田村・千田村・尾長村・志々見村・出口村・飯山村・千石村・清水原村・中川村・柴垣村・雨田村・福野村・大島村・大念寺村・川尻村・上野村・末吉村・倉垣村・矢駄村・大坂村・穴口村・館村・福井村・宿村・今浜村・二ツ屋村・平床村・夏栗村・吉田村・小川村・麦生村・大海川尻村・冬野村・北川尻村・米出村・森本村・門前村・河原村・中沼村・竹生野村・免田村・瀬戸町村・沢川村・牛首村・瓜生村・上河合村・太田村・御内村・黒川村・八野村・野寺村・東部村・紺屋町村・正友村・坪山村・御館村・山崎村・上田村・元女村・豊後名村・太田村・福水村・白瀬村・神子原村・上棚村・二所宮村・町村・白瀬村村・福水村・神子原村・原村・四町村・太田村・千路村・敷波村・針山村・上柵村・二所宮村・阿津見村・町村・安部屋村・松木村・豊後名村・仏木村

③ 鹿 島 郡

白馬村・満仁村・奥原村・直津村・古府村・盤若野村・和倉村・藤橋村・舟尾村・細口村・国分村・池崎村・松百村・赤浦村・津向村・小嶋村・古城村・所之口村・矢田村・府中村・菅沢村・黒崎村・太田村・沢野村・麻生村・佐味村・殿村・三宝村・岡村・万行村・佐野村・須能村・上湯川村・上沢村・鵜浦村・二宮村・八田村・国下村・坪川村・三階村若林村・在江村・千野村・久ノ木村・西村・

武部村・江曽村・今羽坂村・新庄村・飯川村・多根村・浜田村・上町村・宮前村・横田村・山戸田村・外原村・中島村・長浦村・小牧村・八鳴村・曲村・須曽村・南村・祖母浦村・二穴村・佐波村・久木村・半浦村・無関村・通村・闇村・野崎村・別所村・向田村・日出崎村・鍛目村・長崎村・酒井村・四柳村・大町村・小金森村・高畠村・久江村・尾崎村・水白村・東馬場村・浅井村・最勝講村・井田村・芹川村・徳前村・鹿島路村・金丸村・曽禰村・能登部下村・後山村・西馬場村・良川村・羽坂村・春木村・瀬戸村・花見月村・黒氏村・一青村・三階村・温井村・伊久留村・七原村・吉田村・下村・杉森村・高田村・田鶴浜村・川尻村・三引村・深見村・大津村・塩津村・豊田村・土川村・荻屋村・外村・田岸村・横見村・別所村・深浦村・瀬嵐村・谷内村・祖浜村・川田村・横見村・別所村・深浦村・瀬嵐村・谷内村・大泊村・東浜村・花園村・山崎村・熊淵村・佐々波村・庵村・江泊村・大野木村・八幡村・祖浜村・石崎村外村・田岸村

④ 鳳至郡

上代村・入山村・剣地村・腰細村・赤神村・馬場村・久川村・神明原・清沢村・大釜村・馬渡村・飯川谷村・小山村・江崎村・大切村・千代村・藤浜村・池田村・南村・是清村・道下村・勝田村・和田村・高根尾村・浅生田村・安代原村・中野屋村・山辺村・宮古場村・俊兼村・浦上村・荒屋村・大町村・貝吹村・平村・二又川村・谷口村・四位村・滝上村・本内村・越渡村・中村・地原村・百成川村・鵜川村・桂谷村・定広村・館村・広岡村・本市村・深田村・小石村・内保村・栃木村・清水村・皆月村・暮坂村・薄野村・井守上坂村・百成大角間村・餅田村・鵜山村・大滝畠中村・五十洲村・吉浦村・矢徳荻平村・六郎木村・深見村・鹿磯村・下山村・赤崎村・上大沢村・樽見村・二俣村・雑座村・池田村・新保村・黒杉村・小町村・下大沢村・鳳至町村・輪島崎村・光浦村・鵜入村・蕨野村・堀村・水守村・山本村・縄亦村・小伊勢村・稲屋村・長井村・房田村・下黒川村・円山村・別所谷村・滝又村・空熊村・河井町村・宅田村・塚田村・久手川村・稲舟村・大野村・深見惣領村・谷内村・山岸村・杉平村・横地村・石休場村・山上村・中尾村・北谷村・西脇村・市瀬村・熊野村・本江村・仁行村・与呂見村・中村・打越村・興徳寺村・渡合村・長沢村・漆原村・小泉村・新保村・市ノ坂村・細屋村・内尾村・洲衛村・渋田村・里村・西印内村・東山村・小田屋村・名舟村・白米村・金蔵村・五十里村・宇留地村・平野村・上野村・地蔵坊村・乙ケ崎村・内浦村・小又村・河内村・汁谷村・挟石村・此木村・曽福村・根木村・新崎村・志賀浦村・中井両村・麦浦村・波志借村・比良村・伊久留村・樟谷村・木原村・柏木村・太田原村・木戸村・曽山村・菅原村・甲村・沖波村・前波村・山中村・明千寺村・宇加河村・古君村・太田川村・竹原村・鵜川村・小垣村・七海村・神道村・八ノ田村・西安寺村・三田村・奥地村・滝村・下代村・本江村・武連村・吉谷村・当目村・拾郎原村・神和住村・曽又村・鶴町村・宇加塚村・藤波村・波並村・矢波村・久田村・合鹿村・久龜村・本江村・天坂村・寺分村・五郎左衛門村・藤ノ瀬村・宇出津町・柳田村・石井村・長尾村・広江村・寺地村・河西村・粟蔵村・鈴屋村・寺山村・大川村・麦生野村・徳成村・佐野村・小間生村・鈴ケ嶺村・鴨川村・広瀬村・七海村・時国村・鹿嶋村・鵜嶋村・大町村・川嶋村・天神谷村・上唐川村・七海村・梶村・藤巻村・中ノ谷村・岩車村・鹿波村・曽良村・院内村・黒川村・河内村・伏戸村・大野村・時国村・井面村・黒嶋村

⑤ 珠洲郡

小木村・市ノ瀬村・新保村・羽根村・山中村・国重村・時長村・宮犬村・秋吉村・立壁村・四郎丸村・松波村・上村・滝坊村・布浦村・不動寺村・駒渡村・鳥越村・大町泥木村・馬渡村・鵜嶋村・堂ケ谷村・法住寺村・広国村・鵜飼村・南方村・寺社村・北方村・経念村・中田村・延武村・大坊村・黒丸村・

上正力村・北山村・南山村・飯田町・鹿野村・広栗村・鈴内村・出田村・正院町・小路村・飯塚村・岩坂村・岡田村・熊谷村・河尻村・蛸島村・雲津村・小泊村・山中村・杉山村・本村・細屋村・南村・伏見村・宇治村・引砂村・大屋村・寺家村・狼煙村・高屋村・篠波村・折戸村・河浦村・大谷村・長橋村・馬緤村・片岩村・清水村・仁江村・真浦村・真脇村

⑧ 砺波郡

新明村・七社村・則安嶋村・杉木村・放寺村・日詰村・松尾村・東宮森村・大門村・堀内村・三郎丸村・紺屋嶋村・高道村・千代村・五郎丸村・町村・宮丸村・宮村・地仙村・小矢部村・福町村・蓮沼村・綾子村・野端村・岡ノ御所村・中村・利屋村・飛騨屋村・清水明村・松原上野村・道林寺村・竹正村・高堀村・西宮森村・坪内村・荒高屋村・東中村・水無村・北高木村・下中村・南高木村・水牧村・中野村・松永村・柳原村・水落村・安宝村・石名田村・江波村・五社村・行兼村・鹿嶋村・野嶋村・野村・嶋新村・八伏村・狐嶋村・小嶋村・太郎丸村・中神村・縄ノ内村・小杉村・苗加村・岩屋村・油屋村・深江村・林村・新屋敷村・拾年明村・木下村・矢木村・開発村・道明村・茄子嶋村・鷲加嶋村・土山村・森村・年代村・坪野村・小又村・本江村・本江河原新村・川合田村・上野村・焼野村・焼野新村・高瀬村・布袋村・松原新村・坂本村・法林寺村・山本村・西勝寺村・松木村・和泉村・中ノ口村・砂子谷村・北川村・二日町村・岩木村・高屋村・蔵ケ原村・湯谷村・梅ケ島村・晩田相ノ木村・下吉江村・柴田屋村・古上野村・院林村・小松村・前田村・桐木村・田尻村・有房村・野尻村・上広安村・下広安村・寺家村・高儀村・中宮村・古戸出村・市ノ瀬村・光明寺村・竹村・油屋村・横越村・吉住村・伊勢領村・本保村・荒見崎村・蔵野町村・辻村・石塚村・北嶋村・佐野村・六家村・中保村・駒方村・小竹村・後正寺村・今市村・宮越村・壱歩弐歩村・下老子村・内嶋村・篠川村・夏住村・矢部村・上蚕村・蚕嶋村・江尻村・立野村・樋詰村・高田嶋村・麻生谷村・広谷村・四日市村・月野谷村・堺村・江道村・五十辺村・勝木原村・柴野村・岩坪村・佐加野村・答野嶋村・頭川村・手洗野村・沢川村・坂又村・六郎谷村・田川村・小野村・原牧村・中村・別所村・西村・稗島村・原村・柳川村・嶺村・地崎村・高畠村・芹川村・了輪村・高坂村・法楽寺村・糠子嶋村・鳥倉村・西明寺村・森屋村・土屋村・上向田新村・下屋敷村・上向田村・須川村・下向田村・三日市村・栃谷村・石王丸村・岡村・荒屋敷村・二ノ滝村・淵ケ谷村・久利須村・名ケ原村・大滝村・本領村・八百村・木舟村・下蚕村・赤丸村・石堤村・舞谷村・花尾村・峰坪野村・谷坪野村・桜町村・上野村・安楽寺村・千石村・峠村・岩尾滝村・矢波村・道坪野村・荒間村・嘉例谷村・論田村・中野村・宇治新村・畠中村・屋波牧村・四十万村・徳万村・春日吉江村・徳市村・落村・横住村・湯谷村・二ツ屋村・下山田村・増仁村・秋元村・権正寺村・西部金屋村・落合村・開発村・別所村・芹谷村・金屋村・三谷村・今泉村・常国村・宮森村・久泉村・八十歩村・柳瀬村・石丸村・安川村・上麻生村・増山村・上和田村・一ノ谷村・坪野村・金剛寺村・栃上村・井栗谷村・湯山村・名ケ原村・庄村・小牧村・太田村・石代村・小林村・前山村・下中原村・五ノ谷三ケ村・東保村・頼成村・下麻生村・祖泉村・正権寺村・神嶋村・金屋本江村・塵栖村・不動嶋村・水嶋村・経田村・西嶋村・西中村・野寺村・赤倉村・福住村・胡摩嶋村・嶋村・上沢ノ嶋村・和沢村・清水村・八蹲田村・四日町村・人母村・渋江村・小森谷村・飼谷村・興法寺村・末友村・高木村・内山村・下次郎島村・上河崎村・蚕輪村・安居村・埴生村・浅地村・五郎丸村・下後丞村・上後丞村・名畑村・藤森村・棚田村・杉谷内村・平桜村・高窪村・内御堂村・西河原村・池尻村・八塚村・野原村・松嶋村・清玄寺村・今里村・蓮代寺村・谷村・戸板村・川原崎村・宮後村・志観寺村・三清村・北市村・東城寺村・池田村・西院瀬見村・久保村・八塚新

村・安濃村・山見村・石田村・森清村・沖村・東石田村・田屋村・江口村・上見村・大鋸屋村・町村・西明村・中尾村・瀬戸村・信末村・林道村・北野村・蛇喰村・野田村・七曲村・東西原村・是安村・利久村・野口村・二ツ屋村・山田新村・久戸村・蓑谷村・金戸村・西原村・高畠村・塔尾村・原村・中村・神成村・殿村・細野村・広谷村・開発村・広瀬館村・祖谷村・小二又村・小坂村・小山村・天神村・福光村・荒木村・小林村・殿村・刀利村・重安村・田屋村・土生村・大西村・宗守村・梅原村・遊部村・吉江中村・新屋敷村・一日市村・田中村・小院瀬見村・香城寺村・清水明村・才川七村・仏道寺村・縄蔵村・館村・立野脇村・吉見村・嫁兼村・飼中村・樋瀬戸村・城端村・井波村・今石動村・中田村・平村・見座村・松倉村・田代村・小来栖村・梨谷村・松尾村・来栖村・杉尾村・嶋村・籠渡村・田向村・上梨村・猪谷村・皆葺村・細嶋村・小原村・小瀬村・漆谷村・菅沼村・下嶋村・田下村・楮村・成出村・真木村・新屋村・西赤尾町村・桂村・下利加村・九里当村・高沼村・草嶺倉村・下嶋村・押場村・北大豆谷村・南大豆谷村・阿別当村・下百瀬川村・上百瀬川村・蓬生村・岩淵村・坂上村・上畠村・大勘場村・下出村・高草嶺村・夏焼村・城村・大牧村・中江村・須河村・渡原村・栃原村・仙野原村・長崎村・惣山村・重倉村・北原村・新山村・障子倉村・下原村

⑦ 婦負郡

下野村・有沢村・鵜坂村・鵜嶋村・牛嶋村・駒見村・田尻村・練合村・宮尾村・愛宕村・八幡村・荒屋村・四方村・針原村・今市村・石坂村・打出村・布目村・五艘村・五福村・八町村・利波新村・四ツ屋町・本所町・平原村・高塚村・宮谷村・三熊村・山本村・土代村・平岡村・栃谷村・草嶋村・田嶋村・宮ケ嶋村・御門村・長沢新村・花木新村・牧村・野口村・吉作村・本江村・中沖村・大塚村・高木村・西岩瀬村・金屋村・小竹村・北代村・安養坊村・寺町村・針山新村・山岸村・東谷村・牛滑村・鴇谷村・吉谷村・薄原村・沼俣村・清水村・今山田村・大瀬谷村・杉谷村・押川村・小長沢村・下村・長沢村・友坂村・下条村・安田村・小泉村・袋村・板倉村・篠倉村・砂子田村・下井沢村・蔵嶋村・河原町村・三ツ屋村・三之瀬村・瀬井村・皆杓村・上瀬村・湯谷村・小嶋村・冨崎村・下吉川村・高目付村・小倉村・白井谷村・鎌倉村・小谷村・中村・鍋谷村・蓮花寺村・三田村・大坪村・羽根村・若土村・数納村・中瀬村・道嶋村・深嶋村・谷村・小川子村・田中村・水谷村・上井沢村・福嶋村・小長谷村・下高善寺村・茗荷原村・角間村・石戸村・宿坊三ケ村・井田村・堀村・中名村・田屋村・下篠原村・樫尾村・館本江村・八尾村・葛原村・成子村・北谷村・下伏村・小羽村・井栗谷村・篠津村・土村・宮腰村・荻嶋村・持田村・楡原村・岩稲村・掛畠村・谷村・根上村・西神通村・岩住村・桐谷村・深谷村・城尾村・小井波村・猪谷村・蟹寺村・加賀沢村・片掛村・庵谷村・平沢村・油村・西川倉村・土玉生村・高熊村・中村・柚木村・小谷村・栃折村・大玉生村・無道原村・中山村・栗栖村・上野名村・尾畑村・切詰村・東川倉村・上仁部村・吉友村・布谷村・青根村・赤石村・倉谷村・下仁部村・嶺村・内名村・水口村・宮下村・坂下村・足谷村・屋敷村・須江村・谷内村・細滝村

⑧ 中郡

開発村・下伏間江村・米嶋新村・中伏木村・長慶寺村・石瀬村・四ツ屋川原町・西藤平蔵村・能町村・上黒田村・波岡村・京田村・早川村・嶋村・江尻村・下黒田村・赤祖父村・東藤平蔵村・三女子村・鴨嶋村・野村・下牧野村・羽広村・上関村・荻布村・北嶋村・上伏間江村・中川村・木津村・二塚村・佐野村・赤井村・横田村・本田村・上若林村・嶋村・円池新村・堀内村・竹鼻村・出来田村・小嶋村・井口本江村・二口村・土合村・川口村・北野新村・蓮花寺村・熊野村・赤塚原村・串田村・上条村・八塚村・市井村・布目沢村・下条村・下若林村・大内村・若杉村・大門村・棚田村・本江村・中野村・鳥取村・小林村

・南高木村・東広上村・中村・新開発村・戸破村・鷲塚村・大手崎村・上野村・浄土寺村・稲積村・黒川村・黒川新村・沖村・今開発村・高木村・鏡宮村・沖塚原村・中曽根村・上牧野村・北高木村・小杉三ケ村・下条村・下条新村・大江村・青井谷村・六渡寺村・今井村・水戸田村・打出本江村・小白石村・摺出寺村・野ノ上村・願海寺村・三日曽根村・長徳寺村・古明神村・大白石村・二俣村・殿村津幡江村・東老田村・海老江村・高場新村・三十三ケ新村・利波新村・下村・久々江村・東津幡江村・西高木村・野村津幡江村・片口村・作道村・久々湊村・石丸村・金屋村・小杉村・二十六町新村・柳瀬村・中老田村・放生津村・粟原村・矢田部村・上久津呂村・飯久保村・仏生寺村・鞍骨村・布施村・赤羽毛村・惣領村・下久津呂村・中谷内村・早借村・池田村・岩瀬村・柵掛村・葛葉村・老谷村・田江村・小久米村・日詰村・坪作村・上田村・三尾村・床鍋村・触坂村・桑院村・日名田村・氷見町・吉滝村・磯辺村・針木村・胡桃原村・国見村・小滝村・一刎村・懸札村・七分一村・柿谷村・谷屋村・熊無村・稲積村・下余川村・上余川村・角間村・中村・新保村・小窪村・森寺村・北八代村・白川村・戸津宮村・長坂村・平沢村・平村・阿尾村・薮田村・小杉村・宇波村・小堺村・大堺村・姿村・中田村・中波村・脇村・五十谷村・論田村・加納村・矢田村・城光寺村・一ノ宮村・伏木村・古府村・串岡村・国分村・守護町村・二上村・守山村・西海老坂村・須田村・五十里村・東海老坂村・小竹村・園村・上田子村・下田子村・泉村・西田村・嶋村・柳田村・耳浦村・海津村・川尻村・太田村・乱橋村・蒲田村・神代村・矢ノ方村・堀田村・朝日村・窪村・十二町村・朴木村・泉村・鞍川村

⑨ 河　北　郡

浅野村・大衆免村・磯辺村・松寺村・東加々爪村・大浦村・千木村・福久村・田中村・高柳村・三池村・卯辰村・下荒屋村・袋村・打尾谷村・上田上村・炭釜村・七黒村・倉見村・冨田村・彦太郎畠村・朝日畑村・田屋村・大坪村・南横根村・上野村・岩崎村・鳥越村・常徳村・苅谷村・北村・原村・鳥屋尾村・上苅又村・大窪村・材木村・相窪村・中村・滝下松根村・坂戸村・越中坂村・苅安村・九折村・別所村・竹橋村・倶利伽羅村・七野村・荒屋村・小坂村・神谷内村・柳橋村・吉原村・塚崎村・福畠村・切山村・不動寺村・薬師村・涌波村・深谷村・金市新保村・荒屋村・牧村・堅田村・百坂村・宮保村・鳴瀬村・宮野村・清水谷村・弥勒縄手村・釣部村・古屋谷村・山上村・長屋村・御所村・談議所村・伝灯寺村・月影村・梅田村・北森下村・観法寺村・地代村・小池村・千杉村・牧村・今泉村・俵原村・南千谷村・忠縄村・八田村・南森下村・大場村・才田村・朝日村・木越村・二日市村・俵等村・田嶋村・南原村・曲子原村・北袋村・不室村・車村・新保村・横谷村・古郷寺村・野村・若松村・銚子口村・清水村・北市村・栃尾村・平下村・湯谷原村・小菱池村・板ケ谷村・小原村・中山村・別所村・竹又村・荒山村・朝ケ屋村・平等村・松根村・二俣村・大熊村・市ノ谷村・吉倉村・八ノ谷村・池ケ原村・小熊村・興津村・菩提寺村・種村・中山村・多田村・気屋村・上山田村・上矢田村・御門村・鉢伏村・鉢伏新村・森村・宇気村・横山村・谷村・上田名村・笠嶋村・余地村・若緑村・内高松村・利屋町村・南中条村・浅谷村・谷内村・井野河内村・五反田村・賀茂村・杉瀬村・舟橋村・狩鹿野村・中橋村・浅田村・中須加村・川尻村・太田村・領家村・能瀬村・北中条村・指江村・外高松村・内日角村

⑩ 石　川　郡

御供田村・中村・増泉村・黒田村・田中村・矢木荒屋村・御経塚村・八日市村・八日市新保村・二日市村・矢木村・東力村・横江村・米泉村・高畠村・森戸村・西泉村・泉村・三日市村・大豆田村・押越村・吉岡村・福岡村・口直海村・中直海村・久保村・内尾村・金間村・板尾村・奥池村・後谷村・堂村・石切小原村・鶴来村・向嶋村・館村・針道村・安養

寺村・柴木村・日向村・長嶋村・内方新保村・安吉村・菅波村・上安田村・上嶋田村・寄新保村・明嶋村・日御子村・道法寺村・井口村・荒屋村・知気寺村・松任村・野々市村・三日市村・近岡村・戸水村・直江村・大河端村・西蚊ケ爪村・北間村・下安江村・畝田村・西念新保村・北広岡村・大友御供田村・南新保村・三社村・諸江村・須崎村・粟ケ崎村・三ツ屋村・宮腰村・平木村・八田村・八田中村・相木村・番匠垣内村・北安田村・成村・徳丸村・村井村・宮永村・宮永新村・倉光村・五歩市村・福増村・打木村・相川村・倉部村・竹松村・宮永市村・白山村・三ノ宮村・中嶋村・吉野村・佐良村・瀬波村・市原村・木滑村・中宮村・八幡村・大平沢村・寺津村・熊走村・羽場村・白見村・瀬領村・法嶋村・菅池村・笠舞村・七曲村・牛首村・畠尾村・上荒屋村・鴛ケ原村・河内村・駒帰村・下辰巳村・中戸村・久安村・西市瀬村・国見村・樫見村・牛坂村・水淵村・有松村・横川村・湯涌村・末村・田井村・涌波新村・上野新村・木津村・長滝村・馬替村・専福寺村・清金村・平松村・堀ノ内村・末松村・太平寺村・坊丸村・粟田新保村・矢作村・三浦村・下林村・蓮花寺村・藤平田村・橋爪村・乙丸村・上林村・中屋村・北篠塚村・専光寺村・野村・二口村・示野村・玉鉾村・赤土村・松村・観音堂村・寺中村・普正寺村・古保村・藤江村・下福増村・下安原村・若宮村・淵上村・無量寺村・北村・大野村・大桑村・山川村・三小牛村・平栗村・別所村・円光寺村・住吉村・曽谷村・山科村・月橋村・熱野村・四十万村・高尾村・坪野村・大額村・窪村・野田村・小原村・三十苅村・部入道村・小柳村・宮保村・小川新村・松本村・福留村・本吉村・番田村・宮丸村・下柏野村・小上村・上柏野村・笠間村・鹿嶋村・北嶋村・手取村・黒瀬村・四ツ屋村・米永村・流安田村・荒屋柏野村・東米光村・平賀村・水嶋村・小河村・長屋村・西米光村・末正村・石立村・源兵衛嶋村・蓮池村・倉ケ嶽村

⑪ 能　美　郡

向本折村・佐見村・日末村・今江村・木場村・吉竹村・浮柳村・松崎村・府津村・矢崎村・嶋村・津波倉村・小山田村・井ノ口村・馬場村・白山田村・中村・中峠村・荒谷村・日用村・粟津村・三谷村・千木野村・蓮大寺村・牧口村・一針村・長野田村・末信村・牛嶋村・大長野村・小杉村・千代村・野田村・荒屋村・平面村・小長野村・蛭川村・上小松村・園村・池城村・五国寺村・布橋村・西俣村・波佐羅村・江指村・松岡村・三ツ谷村・塩原村・金平村・沢村・尾小屋村・勘定村・岩上村・大野村・観音下村・白江村・金屋村・漆村・佐々木村・古浜村・国府村・小野村・埴田村・遊泉寺村・鵜川村・盲谷村・鍋谷村・坪野村・能美村・河田村・阿手村・数瀬村・野地村・杉森村・左礫村・渡津村・神子清水村・別宮村・別宮出村・三ツ瀬村・五十谷村・下野村・瀬木野村・広瀬村・上野村・河合村・尾添村・荒谷村・仏師ケ野村・河原山村・三ツ屋野村・西作良村・上吉谷村・下吉谷村・釜清水村・相滝村・柳原村・二曲村・清水村・三坂村・若原村・沖村・不動嶋村・打越村・若杉村・八幡村・犬丸村・北浅井村・小寺村・南浅井村・上牧村・鍛治村・根上村・梯村・嶋田村・中野村・大嶋村・長崎村・下牧村・小嶋村・大領村・安宅村・花坂村・本江村・瀬領村・赤瀬村・上リ江村・打木村・波佐谷村・長谷村・正蓮寺村・荒木田村・軽海村・下麦口村・上麦口村・原村・桂谷村・岩淵村・立明寺村・嵐村・宮竹村・河原新保村・北市村・徳久村・火釜村・土室村・辰口村・出口村・山田村・徳山村・下清水村・田子嶋村・山田先出村・朝日村・久五郎嶋村・向河原村・倉重村・赤井村・湯屋村・橘村・橘新村・吉原村・福嶋村・岩内村・金剛寺村・大口村・苅生村・灯台篠村・岩本村・和佐谷村・長滝村・高堂村・中庄村・二口村・福岡村・中江村・石子村・印内村・重住村・浜開発村・高坂村・下江村・湊村・東任田村・上開発村・吉光村・下粟生村・粟生村・寺井村・西任田村・五間堂村・秋常村・末寺村・三道山村・仏大寺村・和田村・上八里村

・下八里村・和気村・湯谷村・寺畠村・館村・佐野村・下開発村・高座村・三ツ屋村・串村

⑫ 江　沼　郡

橘村・長井村・吉崎村・瀬越村・塩屋村・片野村・黒崎村・上木村・下福田村・三ツ村・荻生村・上福田村・極楽寺村・深田村・橋立村・小塩村・田尻村・高尾村・敷地村・岡村・大正持町・能坂村・細坪村・百々村・曽宇村・直下村・火谷村・南郷村・菅生村・下河崎村・上河崎村・黒瀬村・荒木村・河南村・別所村・中田村・長谷田村・上原村・土谷村・塚谷村・山中村・下谷村・菅谷村・栢野村・風谷村・大内村・我谷村・枯淵村・片谷村・坂下村・小杉村・生水村・九谷村・一ノ谷村・西住村・杉ノ水村・上新保村・大土村・今立村・荒谷村・菅生谷村・滝村・中津原村・四十九院村・塔尾村・柏野村・須谷村・水田丸村・小坂村・横北村・二ツ屋村・上野村・尾俣村・桂谷村・山代村・保加村・加茂村・中代村・大菅波・小菅波村・作見村・山田村・尾中村・小塩辻村・大畠村・千崎村・塩浜村・野田村・宮地村・篠原村・新保村・柴山村・湖津村・片山津村・富塚村・弓波村・八日市村・西嶋村・七日市村・庄村・津波倉村・二子塚村・森村・勅使村・河原村・栄谷村・宇谷村・滝ケ原村・菩提村・山本村・清水村・桑原村・松山村・小分校村・大分校村・梶井村・動橋村・毛合村・中嶋村・高塚村・打越村・箱宮村・二ツ梨村・荒屋村・湯上村・戸津村・林村・下粟津村・矢田村・額見村・月津村・奥谷村・那谷村

参照，正保４年提出の国絵図。

1529　加能越三箇国并近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—24

手写　元禄14・15年（1701・02）

４冊　31cm

①越中国　②加賀国　③能登国　④近江高嶋郡之内。元禄15年幕府に提出したものの控。

1530　加賀国郷村帳　16.20—25

手写

30丁　24cm

元禄年間の石川郡の郷村帳写で，加賀三郡の新田高附記。

1531　加能越三ケ国并近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—26

手写　正徳元年（1711）

４冊　33cm　箱入

正徳元年（1711）６月18日付，前田美作守，前田近江守，本多安房守より，安藤右京進，松平備前守宛。

1532　加能越三ケ国并近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—27

手写　享保２年（1717）

４冊　32cm　箱入

享保２年（1717）２月付本多周防守，奥村伊豫守，前田美作守より朽木民部少輔，石川近江守宛。

1533　加能越三ケ国并近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—28

手写　延享３年（1746）

４冊　31.5cm　箱入

延享３年（1746）４月付，本多安房守，横山大和守より秋元摂津守，本多紀伊守宛。

1534　加能越三ケ国并近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—29

手写　宝歴10年（1760）

４冊　32.5cm　箱入

宝歴10年（1760）12月付，本多遠江守，前田駿河守より阿部伊豫守，戸田采女正宛。

1535　加能越三ケ国并近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—30

手写　天保５年（1834）

７冊　30cm　箱入

天保５年（1834）４月，松平加賀守家来不破紋左衛門より御勘定所宛。

①河北郡・石川郡　②石川郡・能美郡・羽喰郡　③羽喰郡・鹿嶋郡・鳳至郡　④鳳至郡・珠洲郡・新川郡　⑤新川郡・射水郡　⑥射水郡・砺波郡　⑦砺波郡・近江国高嶋郡之内。

1536　郷村御高帳御書上一件留帳等之内抜書　16.20—31

手写　天保5年（1834）
39丁　24cm
天保5年郷村高帳作成要領と，寛永11年(1634)貞享元年（1684）その他の合計部分の抜書。

1537　加能越三ケ国幷近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—32

手写　天保9年（1838）
4冊　30.5cm　箱入
天保9年12月晦日付奥村丹後守，横山山城守より本多下総守，牧野備前守宛。

1538　〔加能両国郷村高辻帳〕　16.20—33

手写　天保9年（1838）
2冊　30.5cm
天明7年（1787）改めたものに，その後の新田高を附記した天保9年改めのもの。嘉永7年（1854）および安政6年（1859）調整の際の貼紙がある。旧書名「加賀国郷村高辻帳」「能登国郷村高辻帳」

1539　加能越三ケ国幷近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—34

手写　嘉永7年（1854）
4冊　32.5cm　箱入
嘉永7年（1854）12月2日付，横山遠江守，前田美作守より，本多中務大輔，青山大膳亮宛。

1540　近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—35

手写　嘉永7年（1854）
1丁　32cm
安政6年（1859）の付紙あり。

1541　加能越三ケ国幷近江国高嶋郡之内郷村高辻帳　16.20—36

手写　安政6年（1859）
4冊　32.5cm　箱入
安政6年（1859）12月4日付。横山遠江守，奥村河内守より松平右京亮，松平対馬守宛。

1542　海津藩第之記等　16.20—37

森田平次他手写
43丁　23cm
- 海津藩第之記（湯浅良進・同祇庸，森田平次著手写森田平次）
- 江州の今津，弘川，海津中村町三箇村御高方根帳（片岡孫作手写）。

旧書名「海津藩第之記等附絵図」

1543　本多安房守等書翰　16.20—38

手写
6通　18cm　包紙入
寛政元年（1789）調整の郷村高辻帳調方に関するもの。
① 本多安房守正行より篠原織部保之宛
② 福井嘉藤太（桑原伊予守家臣）より坂野忠兵衛矩美（藩の聞番）宛
③ 同　上
④ 野尻次郎左衛門等より跡地吉左衛門等宛
⑤ 坂野忠兵衛より篠原織部宛
⑥ 篠原織部より本多安房守宛
何れも天明6年（1786）のものと思われる。

1544　高方之儀御尋幷冒上控且又覚書帳　16.20—39

手写　元禄12年（1699）
104丁　24.5cm
元禄15年幕府へ提出した高辻帳作成に関係する下調べ。

旧書名「高方之儀御尋幷冒上覚書帳」

1545　〔加賀藩郷村高辻帳書式〕　16.20—40

手写
合綴1（4冊）　28.5cm
加賀，越中，能登および近江高嶋郡之内。享保2年（1717）の各国総高がわかる。旧書名「加賀越郷村高辻帳附江州高嶋郡之内」

1546　高辻帳之義ニ付野村五郎兵衛等紙面写　16.20—41

御勝手方手写　文化7年（1810）
5丁　24.5cm

宇野富良旧蔵。原題「高辻帳之義ニ付野村五郎兵衛，小塚善左衛門，不破平左衛門等紙面写」内容は，元禄12年に高辻帳作製の準備を始めた際の文書で，幕府への提出は同15年。前田土佐守所持の写。

1547　〔郷村高辻帳出来ニ付紙面〕　16.20—42
手写
巻子1　15.5cm
延享3年（1746）4月17日，本多安房守の横山大和守等への報告書とその返書の写。
旧書名「郷村高辻帳覚書」

1548　高辻と郷帳違之品々附紙之仕立帳　16.20—43
御勝手方手写　文化7年（1810）
20丁　25cm
宇野富良旧蔵。前田土佐守蔵の写。元禄高辻帳のための枝郷，新田高の調べ。

1549　郷村高帳御指出留帳要用抜書　16.20—44
手写
125丁　24cm
天保5年（1834）の提出のための先例留帳からの抜萃。

1550　郷村高辻帳一巻諸事留帳　16.20—45
天保8～10年（1837～39）
290丁　24.5cm
天保10年公義へ提出のための準備文書。

1551　能登国郷村高辻帳写　16.20—46
手写
7丁　30.5cm
高辻帳の書式で嘉永・安政両度使用のもの。

1552　郷村高辻帳一件諸事留　16.20—47
算用場高辻方編
手写　嘉永7年（1854）
142丁　24.5cm
嘉永7年提出の際のもの。

1553　高辻帳幷絵図御用ニ付江戸ヨリ来頭書写　16.20—48
前田家編輯方手写
15丁　24cm
前田直行旧蔵の写。正保の高辻帳および国絵図作成に関する文書など。正保2年（1645）より慶安4年（1651）に亘る。

領　　界

1554　豊前殿御尋之趣幷返答申候覚書之写　16.20—49
横山外記編
手写
1通　33cm
承応3年（1654）末，白山論争釈明のため横山外記が出府した時持参の覚書と豊前守と外記との問答の覚書。

1555　〔明暦の白山争議〕　16.20—50
手写
12通　18cm　包紙入
「白山一件ニ関スル往復書状等」。明暦元年（1655）白山神祠造営のことによって，加賀藩民と越前藩民との間に争議をかもしたが，その際，横山外記が幕府の岡田豊前守へ提出した一件書類，および幕府側よりの返書などの控と写し。
旧書名「白山一件ニ関スル往復書状等」

1556　〔白山山麓領界争論一件〕　16.20—51
手写
1通　30cm　包紙入
「白山一巻ニ付公辺へ御達方等発端之書付」。寛文11年（1671）に，綱紀が調査保存を命じたもの。旧書名「白山一巻ニ付公辺へ御達方等発端之書付写」

1557　白山麓十六ケ村之義ニ付被仰遣候趣　16.20—52
戸田清太夫編
手写
仮綴1（4通）　24cm
白山麓16カ村の所属につき戸田清太夫から長浜作左衛門宛の書状下書き。元禄の争議か。
旧書名「御国境領十六ケ村之儀ニ付被仰遣候趣」

1558 〔越中越後国境目御改留帳〕　16.20—53
不破平左衛門編
自筆　元禄11年（1698）
32丁　25cm
原題「越中国越後国境目御改ニ付稲葉丹後守殿御家来堺村迄罷越候ニ付此方ヨリ罷出候役人付并書状証文且亦言上之控留帳」

1559 越中越後国境争論記　16.20—54
前田家編輯方手写　明治年間
24丁　23cm
元禄15年（1702）加能越三州国絵図を幕府へ提出する際，正保年間の古国絵図による，越中・越後の国境争論になっていた地点を市振村を通る街道にて国堺とする旨の證文。越中越後国境略図および延享２年（1745）越中国新川郡大平村と越後国頸城郡荒沢村等之者と地境争論一件を収載。

1560 飛騨越中両国御境村付方角道程品々帳　16.20—55
布谷村十村庄五兵衛等著
自筆　元禄13年（1700）
４丁　26cm
布谷村，大塚村，磯辺村十村から藩当局（奥野左内，中村志摩丞宛のもの）へ越中国と飛騨国との境についての報告。

1561 飛州御境杭一件　16.20—56
手写
163丁　24.5cm
飛騨国郡代豊田藤之進支配地から越中へ入る道筋の国境定めについて，天保11年（1840）から弘化２年（1845）にいたる報告記録。

1562 越中飛騨境之図　16.20—57
手写
絵図１枚　彩色　88.5×61cm
高岡，城端からそれ以南の庄川，梨賀川筋の村々を飛騨境まで記す。

1563 新川郡婦負郡境目之儀ニ付状書付等之留　16.20—58
手写
32丁・２通　24cm　紙袋入
副書「御在府中御在国共始終之留」。書状は草嶋村続きの神通古川跡の婦負・富山両領分堺目の儀につき６月28日付，津田帯刀，松田権太夫，横山兵庫より中川式部宛。目録も同じ署名と宛名。ただ，これらの他に絵図も添えられていたが，散佚したらしい。内容，貞享２，３年（1685，86）。

1564 富山御領界絵図　16.20—59
手写
絵図　２枚　彩色　40cm×25cm
中川典克旧蔵。享保14年（1729）の領界吟味の際の写。閏９月加賀藩富山藩立合の上取きめた神通川々口辺の境界の図。

1565 奥山御境目等之秘書　16.20—60
高畠厚定著
自筆
７丁　12×16.5cm
高畠定辟旧蔵。藩領の御境山立山連峰絵図と各山迄の距離，慶安元年（1648）と享保３年(1718)の測定を書上げ。成立は安永４年(1775)以後。高畠厚定は文化７年（1810）没。

1566 新川郡奥山御境目絵図　16.20—61
高畠厚定手写　天明２年（1782）
絵図１枚　彩色　24×71cm　紙袋入
高畠定辟旧蔵。越中と飛騨・信濃・越後との山境を示したもの。

1567 練合村領境争論一件　16.20—62
手写
245丁　23cm
射水郡33ケ村領と富山藩領練合村との文化10年（1813）より始まった領境争論について，文化13，14年の記録を収む。

1568 〔婦負郡・射水郡村境目取極分間絵図〕　16.20—63
手写　文政２年（1819）

絵図1枚　彩色　72×165cm
旧表題「婦負郡練合村与射水郡三十三ケ村境目取極分間絵図」。文政2年8月24日付，佐々木百輔等5名の連署あり。双方の申分につき立合見分の上取り極めたものの控。縮尺200間1尺。「練合村領境争論一件」の附属絵図。

1569　富山領境見取絵図並道程書　16.20—64
手写
2冊　紙袋入
①　富山御領境字石掛ヨリ飛州高山夫ヨリ野麦村，信州寄合渡村，嶋々村，三溝村ヨリ松本東町大橋迄之道筋見取絵図（39丁・彩色・14×19.5cm）
②　同上道程書。（図彩色1・33丁　24cm）

1570　〔富山御役人之説演覚〕　16.20—65
手写
1通　27cm　旧書名
中川典克旧蔵。原題「富山御役人吉川勘兵衛・梅野覚兵衛東岩瀬御屋敷迄罷越演説之覚」新開地について越中東岩瀬村と西岩瀬村との争論について。元文頃（1736〜41）のもの。

1571　加賀守様御領土方河内守様御領条境塚数之帳　16.20—66
手写
7丁　24cm
原題「加賀守様御領菅沢村・須能村・麻生村・黒崎村・多根村・平村・吉岡村・脇村・石動山ト土方河内守様御領条境塚数之帳」
延宝3年（1675）原本成立。

1572　黒島鹿磯海堺一件　16.20—67
手写
103丁　23cm
内題「能州鳳至郡御公領黒嶋村ト御領鹿磯村海堺一巻之帳」
享保5年（1720）9月〜11月の海境争論に関する願書，上書，見分報告書の写。

1573　鹿磯・黒島海境出入一巻　16.20—68
前田家編輯方手写　明治年間
111丁　23.5cm
享保6年（1721）能登国羽咋郡の天領黒島村との海境訴訟一件書類を編纂したもの。
内容は，鵜川村六郎右衛門の覚書「鹿磯黒島海境出入一巻」多田名（十村）の記録「鹿磯黒島海境出入一件」および鵜川村六郎右衛門の「鹿磯黒島出入一巻別冊留書と御奉行様方御留書見合洩候分抜書」とからなる。

1574　〔鹿磯村等黒嶋村海境争論一件〕　16.20—69
手写
19通　24cm
仮題「鳳至郡鹿磯深見村海境論争一件」。寛永末（1644）から享保6年（1721）に亙る私領（鹿磯村，深見村，千代村）と公領（黒嶋村）との海境争論文書。

1575　鹿磯深見両村山境海境絵図　16.20—70
手写
絵図1枚　69×165cm
両村の組合頭による山，海境確認のため元禄3年（1690）年成立のもの。

国　絵　図〔文書〕

1576　絵図ニ付達書覚　16.20—71
手写　正保3年（1646）
1通　30cm
「正保三年十一月廿三日江戸ヨリ来頭書」とあり。正保国絵図についての達書覚。

1577　〔正保之御絵図ニ書記申川幅并深サ之覚等〕　16.20—72
手写　正保4年（1647）
5通　29cm
付札「此五通正保之御絵図ニ書付申川幅，同道程書付ノひかへ并村数ノ寄目六」
①御絵図ニ書記申川幅并深サ之覚　②所々道程覚（宮城采女・辻平之丞編，正保4年）　③三州村数覚　④⑤絵図補正覚。

1578　加越能御絵図覚書　16.20—73
前田家編輯方手写
10冊　(付絵図９枚)　26cm
内題「加越能御絵図被仰付候覚書」正保４年(1647)，延宝５年(1677)，元禄15年(1702)の幕府提出絵図の異同比較，および絵図内容の詳細な覚書。
① 巻１　御国絵図校考　巻２　江沼郡之部
② 巻３　能美郡之部
③ 巻４　石川郡之部
④ 巻５　河北郡之部
⑤ 巻６　砺波郡之部
⑥ 巻７　射水郡之部　巻８　婦負郡之部
⑦ 巻９乾　新川郡之部
⑧ 巻９坤　新川郡之部
⑨ 御領地之部
⑩ 御隣国端絵図書入付札之面留・御領国端絵図書入付札之面留・御領国湊宿場之記・御領国海岸浅深船掛リ之記。

1579　〔加越能絵図ニ添申帳〕　16.20—74
手写　慶安２年(1649)
２通　28.5cm
① 「最前御絵図ニ添上リ申帳面之外御好之覚」(端本)，坂や難所や，出水による交通事情などを記載
② 道，坂，橋，古城，難所，港口の事情と道程などを記載，慶安２年。
何れも正保図の補正についての達書。

1580　公儀へ被上候御城幷御国絵図品々帳　16.20—75
横山外記編
手写
４冊　25cm　包紙・箱入
幕府へ提出したものおよび藩邸内所蔵の城ならびに領内図の記録。延宝５年(1677)外記編の写。
① 古より公儀へ被上候御城絵図御国絵図改申品々之帳
② 御城并御国絵図公儀へ被上候写其外品々絵図江戸表御納戸土蔵ニ有之分之帳
③ 同金沢薪丸御土蔵ニ在之分之帳
④ 同御算用場土蔵ニ有之分之帳。

1581　加越能絵図調様品々帳　16.20—76
津田宇右衛門編
自筆　延宝６年(1678)
33丁　32cm
延宝６年(1678)に国絵図を作成のための調査と，その前の正保４年(1647)図との異同について書上げたもの。

1582　加越能絵図調様品々帳　16.20—77
津田宇右衛門編
手写　天保８年(1837)
35丁　28cm
内題に「御国絵図以後為御用延宝五年絵図就被仰付諸事調様并書付等記申帳　延宝六年四月十六日津田宇右衛門」とある。天保８年(1877)国絵図作成の資料として延宝６年に編したものを写したもの。

1583　御国絵図目録　16.20—78
高田十郎兵衛等手写　元禄11年(1698)
巻子２　24cm
国絵図，高辻帳，物成帳，城下町地割図等の目録。

1584　御国絵図御用ニ付国境村道筋町間之覚　16.20—79
手写
仮綴１　(16通)　25cm
元禄15年の国絵図作成のため御所村源兵衛等国境筋の村役が，元禄12年(1699)，同14年(1701)に国境，村，道筋の町間数を書上げた報告の綴。

1585　〔飛州境一件書面　16.20—80
塩川安左衛門等著
手写
16通　24cm
国絵図作成について，飛騨，越中，美濃，加賀の国境取極のための往復文書。元禄年度のもの。

1586　加越能御国絵図ニ関スル書類　16.20—81
塩川安左衛門編
手写
仮綴1冊（35通）紙袋入
塩川安左衛門が所持した元禄国絵図についての記録文書類。元禄12，13年のものが大部分。

1587　御国絵図彩色仕立等覚書　16.20—82
狩野伯円等著
手写
仮綴1（7通）　16cm
元禄国絵図の彩色を狩野良信に依頼することにつき，狩野伯円と塩川安左衛門久貞との往復文書の写。元禄12年（1699）のもの。

1588　大井帯刀書状　16.20—83
大井帯刀著
手写
1通　15.5cm
飛州高山の代官大井帯刀が，篠原織部等5人宛の返書。内容は，御国絵図作成に際し，公領尾添村荒谷村の処理についての問合せに対し，元禄中でなく，寛文度より御料になっている旨を告げたもの。

1589　白山麓村々支配方名ニ付返書　16.20—84
山岸十郎右衛門著
自筆
1通　16.5cm
白山麓公領庄屋山岸十郎右衛門から能美郡年寄石黒源丞宛書状。内容は，白山々麓の村々は飛騨高山の代官大井帯刀の支配下にあり，大井帯刀の手代本保の陣屋で事務処理をしている旨を伝えたもの。享保元年（1716）のものか。

1590　〔新川郡絵図詮儀之趣書上申帳〕　16.20—85
手写　文化7年（1810）
14丁　24cm
原題「新川御郡絵図御付札之箇所詮儀之趣脇書仕上ケ申帳」。

1591　御絵図之儀ニ付書状　16.20—86
前田家編輯方編
手写
61丁　24cm
元禄以降天保迄の国絵図関係の藩内外からの来状を集めたもの。

1592　御絵図方一件留帳之内要用抜書　16.20—87
手写
95丁　24cm
国絵図作成について元禄以来の関係文書からの抜書。文政9年頃の成立。

1593　〔御国絵図ニ付幕府役人ヨリノ返書〕　16.20—88
手写
1通　19cm
「御国絵図ニ付榊原式部大輔殿御役人柴田金右衛門ヨリノ返書篠原織部等宛」
天保国絵図作成の際，越中・越後の国境についての問合せに対する幕府からの返書。

1594　今般初而御絵図面御書載之村々村建場所書上申帳　16.20—89
手写　天保8年（1837）
合綴1冊（10冊）24cm
河北・石川・能美・羽咋・鹿島・鳳至・珠洲・新川・射水・砺波の10郡。天保8年（1837）国絵図記載の新しい村の位置を記す。

1595　御国絵図ニ付大聖寺役人ヨリ之来状　16.20—90
手写
5通　16cm
天保10年（1839）の国絵図作成について，元禄図との相異箇所についての，大聖寺藩臣と加賀藩の改作奉行等との往復文書。

1596　御国絵図ニ付富山御役人ヨリ之来状　16.20—91
手写
9通　17.5cm
天保国絵図作成につき，富山藩からの問合せと報告文書。

1597　御国絵図ニ付飛州御役人ヨリ富山御役人への書面　16.20—92

手写
1通　16cm
天保国絵図作成の際，国境の件につき飛騨の代官から富山藩への返書。

1598　〔御国絵図ニ付有馬左衛門殿役人ヨリノ返書〕　16.20—93

手写
1通　15.5cm
丸岡藩役人から篠原織部等宛。江沼郡熊坂村から越前領牛ノ谷村までの道筋は元禄国絵図の通りで相違ないとの返書。天保度のもの。

1599　御国絵図ニ付松平越前守殿御役人ヨリ之返書　16.20—94

鈴木忠太夫等著
手写
1通　16cm
篠原織部等宛。天保度国絵図作成のため国境辺道筋についての問合せに対する返書。

1600　御絵図能州之分不審之所々　16.20—95

手写
10丁　24cm
能登国を各郡単位に絵図場所の不審個所を点検して書上げたもの。

国　絵　図〔絵図〕

1601　三州沿革拾弐図幷伝　16.20—96

前田家編輯方手写
2冊　27cm
① 絵図は彩色で折本。天正以来の加越能三国の所領を示したもの。年代は，天正9(1581)，天正11，天正13，文禄2（1593），文禄4，慶長3（1598），慶長4，慶長5，慶長10（1605），慶長19，寛永16（1639），文化10（1813）の12図。
② 伝はその由来を記す。24丁。

1602　加越能三箇国絵図　16.20—97

手写　正保4年（1647）
絵図3枚　彩色
正保3年作成，同4年高辻帳に添えて幕府に提出したものの控絵図。筆者は狩野派の絵師といわれるが三国共筆蹟に差異があり姓名不詳。加賀藩領の外，富山藩，大聖寺藩領および土方河内守領も含まれ，白山下16ケ村は越前領と書かれている。各郡別に色分けされ，村名と村高が枠内に併記されている。
① 加　賀　310×481cm
② 越　中　399×527cm
③ 能　登　316×494.5cm。
陸路については道程，牛馬の通行や積雪状態，海路については，港湾の深浅・風向・魚船の出入期間などが記入された詳細な鳥瞰図。

1603　加越能三箇国絵図　16.20—98

手写　寛文8年（1668）
絵図3枚　彩色　箱入
寛文8年幕府へ提出したものの控絵図で，狩野派の手法で描かれ，密度は高く，色彩はより華麗である。記載内容は正保図に準じているが，村高の記入は加賀藩領に限り，他は村名のみで，草高は寛文4年（1664）提出の高辻帳によると付記してある。
① 加　賀　323.5cm×488.5cm
② 越　中　457cm×524cm
③ 能　登　296cm×520cm。

1604　加越能三州之図　16.20—99

前田貞寧手写　文化5年（1808）
絵図1枚　彩色　40×68cm／紙袋入
前田貞醇旧蔵。出船所，岡廻所，各駅の道程，戸数，伝馬数および高札場などを記してある。寛文末・延宝頃（1672～80）のものであろう。

1605　加越能諸郡図籍　16.20—100

宮地某手写　元文２年（1737）

絵図８枚　彩色　紙袋入

① 賀州能美郡図籍　135×229cm
② 〃 石川郡 〃　122×198.5cm
③ 〃 河北郡 〃　92×133cm
④ 能州珠洲鳳至両郡〃　161×271.5cm
⑤ 越中射水郡 〃　104.5×170cm
⑥ 〃 砺波郡 〃　162×236cm
⑦ 〃 婦負郡・富山領〃　109.5×156cm
⑧ 〃 新川郡 〃　134×155.5cm

元文２年有沢武貞が青地基行等から借りて，画師宮地某に写させ，土師正孝，安宅冬温などに加筆させて作成したもので，その由来を武貞が自署捺印している。郷庄別色分で村名と道程などが記入されている。

旧書名「越中新川郡図籍」

1606　能登之国四郡図籍　16.20—101

有沢有貞手写　明和５年（1768）

絵図１枚　彩色　215×166cm

安達公績所蔵の図を借りて，有貞が写したもの郡別色分で村名が入っているが，郡界は甚だしく歪められている。

越

1607　加能諸郡組分絵図　16.20—102

石黒信由（高木村藤右衛門）著

自筆　文政８年（1825）

絵図５枚　彩色

① 加賀　138×102.5cm
②③越中　143×147cm（２枚）
③ 能登　103.5×146cm（２枚）

④⑤

１里を１寸８分に縮尺。「山川道ノ屈曲暨駅邑等莫大略ヲ図ス」とあり。附録として越中四郡組分村名簿がある。

石黒信由は越中射水郡高木村住の算学者で測量家通称藤右衛門，文政初め新田才許，絵図御用となり各種の地図を作成。天保７年没，77才。

1608　加越能三州郡分略絵図　16.20—103

石黒信由著

自筆　文政８年（1825）

絵図１枚　彩色　74×72cm

後に加えたと思われる付箋に，人持在番，郡代，組外在番，銃率屯所の記入あり。縮尺10里を３寸６分。

1609　賀越能三州部分略絵図　16.20—104

石黒信由著

自筆　天保６年（1835）

巻子１　彩色　185×148cm

１里を１寸に縮尺，10里方眼に，平地は 1,000 石以上，山方は500石以上の村を記入，ただし，主要道筋についてはそれ以下の村も記入。

1610　加能両国絵図　16.20—105

合田永七郎手写　明治５年（1872）

絵図１枚　99×159cm

筆者は能登国鹿嶋郡飯川村の人，元七尾縣等外３等出仕。前図の加賀能登の部分を写したもの。縮尺同前。

1611　加越能三州絵図　16.20—106

手写　天保９年（1838）

絵図25枚　彩色　56×390cm　紙袋・箱入

「加越能三州絵図請新田高記入，懸紙直写」とあり，元祿15年（1702）国絵図を影写し，天保10年図作成のために、修正部分に貼紙したものと思われる。

◦加賀国（１～９）
◦越中国（10～17）
◦能登国（18～25）　貼合せ前の切絵図。

1612　加越能三州絵図　16.20—107

手写　天保９年（1838）

絵図25枚　55.5×288cm　紙袋・箱入

前図の貼紙したものを複製したもので，天保国絵図の下図と考えられる。

◦加賀（１～９）　◦越中.（10～17）
◦能登（18～25）

1613　加越能三州細密絵図　16.20—108

手写　天保11年（1840）

巻子３　箱入

① 加賀国全図　189×263cm

旧書名「加越能諸郡組分絵図」「越中四郡組分村名相調理書上申帳」

② 越中国全図　280×218cm
③ 能登国全図　199.5×264.5cm
郷・庄・組を色分けし，山川，道路，集落の外主要な橋，海路，海の浅深度障碍物，古城，神社，仏閣，収納蔵，塩蔵，武具蔵，上使の通路などもこまかく記入。天保10年幕府に提出したものとは別である。1丁を1分に縮尺。

1614　加越能諸郡切絵図　16.20—109
手写
絵図12枚　彩色　28×40cm
国境・郡界・山川と城下町を描いた粗図。江沼郡1，能美2，石川郡2，河北郡1，羽咋郡1能登属島1，射水郡1，砺波郡2，新川郡1枚で，不足部がある。

1615　加賀越中両国図　16.20—110
手写
絵図2枚　彩色
前田貞醇旧蔵。郡別・町村・山川・古城趾などが記されているが，作図粗略，誤りも多い。能登国図を欠く。成立年代不詳。
① 加賀 178×301cm　② 越中 209×323cm
旧書名「越中国図」「加賀国図」

1616　御領国海辺略図　16.20—111
手写
4冊　彩色　28cm
① 吉崎～安宅新（越前境～加賀）
② 安宅新村～高松（加賀）
③ 高松～大泊（加賀～能登～越中境）
④ 大泊～境（越中～越後境）
までの内容を海岸線について調査絵図。三国の海岸を踏破して，宿・村・古城蹟・村道・作図のための見回路の外，砂場・小石浜・樹木草原・水を図示し，精細な頭注を附す。年代不詳。「能州海岸図（文化4）」参照。

特16.21　勤　　役

登　　城

1617　〔公儀へ懸り候御勤方寄帳〕　16.21—1
手写　元禄11年（1698）
53丁　23cm
旧書名（原題）「御講釈御能御仕舞等其外公儀へ懸り候御勤方寄帳」。江戸城登城時の藩主行動日記。天保2年（1682）から元禄11年（1698）迄の間に藩主綱紀が江戸城に登った日時，内容を列記したもの。

1618　江府御供方雑志覚書手帳　16.21—2
手写
57丁　12.5×18.5cm
高畠定辟旧蔵。江戸城登城の際の供方の心得，勤方など。元禄から寛政に亙って輯録されている。

1619　年中勤方大法書鈔　16.21—3
手写
59丁　23.5cm
原本は寛政5年（1793）成立。藩主の江戸登城，献上物などにつき正月より12月までの勤方を記す。

1620　前田斉泰江戸着府御書拝蔵之次第　16.21—4
手写
1通　17cm
文政12年（1829）4月のこと。

1621　勤方詮議一巻　16.21—5
手写
304丁　27cm
天保5年（1834）から慶応元年（1865）にいたる藩主の殿中（公儀）勤方記録。

1622　御三家等御名代御礼所図　16.21—6
手写
絵図2枚　34.5×22.5cm
安政3年（1856）奥村助右衛門が，藩主名代と

して江戸城へ登城した際に，御礼所を写したものの写。

1623　登城之節之御作法等　16.21—7
手写
4丁　12×18cm
年頭の御祝賀登城の作法書。

1624　公辺へ御礼御登城之節心得等　16.21—8
手写
仮綴1（3通）　17cm
中川典克旧蔵。

1625　筑前守様御登城等御行列附　16.21—9
横山政和（政次郎・蔵人・多門）編
手写　安政5年（1858）
6丁　17.5×8cm
横山政和旧蔵。筑前守は14代藩主慶寧。登城時等の行列付。

1626　江戸城大手御門下馬之図　16.21—10
高畠定辟手写
絵図1枚　24×35cm
享保6年（1721）御目付稲垣次郎左衛門等より御横目高畠善太夫に渡されたものの写。

1627　江戸城桔梗御門下馬之図　16.21—11
高畠定辟手写
絵図1枚　24×36cm
同前図と同時に写されたもの。

1628　江戸城下乗下馬之図等　16.21—12
横山引馬手写
絵図8枚
① 大手御門より御玄関前迄の絵図（28×35.5cm）
② 江戸城御下乗幷御供残所絵図(28.5×41cm)
③ 追手御門下馬之図（40.5×41.5cm前図と原本は同じ）
④ 桔梗御門下馬之図（47×57cm）
⑤ 西丸惣縮下馬之絵図（56×44cm）　寛延3年改正の分
⑥ 富士社の絵図（36×26.5cm）
⑦ 聖堂之絵図（堂外）（28.5×41cm）
⑧ 聖堂之絵図（堂内）（36×21cm）

1629　江戸城西之御丸下乗図　16.21—13
高畠定辟手写
絵図1枚　36×24cm
寛延3年西の丸下乗改正の際に御目付より津田五郎兵衛に渡されたものの写。　16.21—12のうち⑤と原本同じ。

16
1630　江戸城西之丸下馬之図　16.21—14
高畠定辟手写
絵図1枚　29×35cm
同前図及び特16.21—12の⑤と同じ。寛延3年（1750）。
旧書名「江戸城西丸惣縮下馬之図」

1631　泰雲公御請書　16.21—15
手写
2通　24cm
泰雲公は10代藩主重教。
① 宝暦11年（1761）3月7日付武家諸法度の請書控。
② 延享2年（1745年）7月24日付，7代宗辰が家督相続のための登城の請書控か。

1632　江戸城殿中進退之絵図　16.21—16
手写　明和8年（1771）
絵図1枚　36×47cm
前田貞辟旧蔵。

1633　御隠居御両殿御登城一件　16.21—17
前田家編輯方手写
24丁　24cm
内容は，明和8年（1788）4月23日，10代重教の名代および時次郎（11代治脩）が登営して，隠居と家督相続を命ぜられた時のもの。

1634　江戸城之図　16.21—18
手写
絵図6枚　彩色
いずれも下乗場所や順路の指図。

① 江戸城全図――大手門より式台までの順路を朱書（81×76㎝）
② 西ノ丸下乗ノ図（36×48㎝）
③ 江戸御見付略図（36.5×72㎝版本，版元は江崎屋吉兵衛）
④ 和田倉門内ヨリ桜田門・馬場先門内下乗図（36.5×48㎝）
⑤ 本丸下乗ノ図（37×48㎝）
⑥ 紅葉山ノ図（寛政４年改37×48㎝）

1635 臨時御登城御行列附帳　16.21—19
手写
16丁　17×８㎝
近藤篤之旧蔵。内題に「老中ヨリ案内次第登城之節人数之覚」とあり。寅正月は安政元年(1858)か。

1636 臨時御登城之節御行列附　16.21—20
前田家編輯方手写
４丁　25㎝
同前の写，ほぼ同文。

1637 江戸城本丸・西丸下乗下馬之図　16.21—21
手写
絵図２枚　28×40㎝・27.5×40.5㎝

1638 〔江戸城本丸・西丸下乗下馬之図〕　16.21—22
中村至正手写
絵図１枚　28×40㎝

1639 御本丸御登城之節平川口御門内御供建所絵図　16.21—23
手写
絵図１枚　79×106㎝
前田貞醇旧蔵。登城時における江戸城三之丸内の供建場所の指示絵図。朱書は帰殿之節供建所。

1640 月次御登城御供控所絵図　16.21—24
手写
絵図１枚　70×90.5㎝　袋入
島田孝郷旧蔵。略御行列ニ而行出之節出方および御屋敷内御出之節出方を示す。

1641 中之口ヨリ御上下之節御供建落シ絵図　16.21—25
手写
絵図１枚　24×35㎝
島田孝郷旧蔵。

御手伝普請

1642 徳川家康書状写　16.21—26
手写
１通　18㎝
宇野富良旧蔵。加賀中納言（利家）宛返書。大仏普請のことをねぎらう。

1643 江府天守台修築日記　16.21—27
今枝直方手写　寛文末年
40丁　24.5㎝
明暦３年（1658）９月27日前田綱紀江戸城天守台造営の命を受く。その経費及び工事に関する記事。

1644 江戸天守台修築日記　16.21—28
前田家編輯方手写　明治年間
43丁　23.5㎝
今枝直規旧蔵前書の写。

1645 西丸普請手伝御用相勤候人々へ拝領物之覚　16.21—29
手写
１通　16㎝
朱写にて「天保，弘化頃」とあり。

巡見上使

1646 〔巡見上使一件〕　16.21—30
前田編輯方編
編者手写
仮綴33　25㎝
寛永年中（1624）から文政年中（1818）までの巡見上使関係のみを抜き書きしたもの。仮名「前田家雑録」。

1647　巡廻上使饗応覚書　16.21—31
手写
巻子2　24.5cm
接待記録で，
① 慶安元年（1648）2月巡回上使北条右近太夫饗応等覚書。
② 万治元年（1658）巡回上使小出越中守饗応等覚書。

1648　上使来国留記三種　16.21—32
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
79丁　23.5cm
慶安元年（1648）・慶安3年（1650）・万治元年（1658）のもの。
◦慶安元年9月小松へ為上使北条右近大夫殿御越之刻御馳走之品書状留書之内ヨリ書抜覚
◦同3年幕使池田帯刀来国今枝直恒書状等七通
◦同万治元年10月御国へ為上使小出越中守殿御越之刻御馳走之品々書状留書之内ヨリ書抜覚。

1649　上使之記録　16.21—33
奥村惠輝（兵部・誠斎）著
手写
41丁　31.5cm
慶安3年（1650）閏10月上使御馳走御使儀式以下覚書。

1650　上使池田帯刀殿就御越宿々御振舞之献立　16.21—34
手写
106丁　23.5cm
慶安3年（1650）閏10月に上使池田帯刀富山境より金沢を経て，小松に至る迄の日々の献立を記録したもの。

1651　〔小松・金沢へ之上使名書〕　16.21—35
手写　慶安3年（1650）
巻子2・仮綴1（2通）・1枚　26.5cm
旧書名
原題「小松へ之上使，金沢へ之上使名書幷御分国宿々御馳走衆中等」。
① 小松への上使5名，金沢への上使5名を列記
② 上使池田帯刀殿泊々次第
③ 越中堺・三日市・滑川から今庄・木本までの接待役を列記
④ 上使御振舞就云々
⑤ 道中へ被遣御菓子御着ノ事（慶安3年）

1652　上使御来国日付　16.21—36
手写
1通　16cm
万治元年（1658）月上使石川弥左衛門，内藤新五郎。万治3年（1660）上使能世治左衛門，渡辺筑後守などの金沢城到着予定などの記録。

1653　上使等通行留　16.21—37
前田家編輯方手写
10冊　23.5cm
小松戸長役場旧蔵の写。寛永19年（1642）から天保8年（1837）にいたる巡見上使ならびに公儀御役人の領内通行の際の小松奉行所の記録。
① 御上使通行之部（宝永7年）
② 巡見上使通行之部（延享3年）
③ 公儀御役人通行之部（明和3年）
④ 御代官通行之部（文化7年）
⑤ 公儀御役人通行之部
⑥ 上使通行之部（天保8年）
⑦ 御上使通行之部（寛永〜天保）
⑧ 御料巡見御役人通行（延享〜天明）・上使通行之部（宝暦11年）
⑨ 小松巡見上使留（天明）
⑩ 巡見上使一件留（天保）・御料巡見御役人御通行之部（天保）

1654　廻国上使一件　16.21—38
前田家編輯方手写　明治年間
43丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵の写。内題「宝永七年六月十九日被仰渡，廻国上使ニ付，小松へ被遣候一巻之控，附金沢へ御着御立之儀等書加」

1655　宝暦中上使留　16.21—39
前田家編輯方手写　明治年間

53丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵の写。内容に宝暦4年（1754）7月より同8年12月鷹狩の雲雀等拝領物その他の上使来訪作法などの記録。

1656　三州制法等書上控　　16.21—40
前田家編輯方手写
78丁　24cm
内容は「秘書」と「御国目附衆へ御答帳」の2部より成り，前者は後者の下調である。
宝暦5年（1755）4月21日，幕府の巡見上使松平頼母・大河内善兵が金沢着，能登および越中を視察，同10月1日金沢発小松を経て帰る。その際の藩勢の報告書である。なお，秘書の方は，安政6年（1859）に新丁の大谷万治所持のものを借りて治村（不群）が写したものの写である。

1657　越中筋御巡見所々役人附　　16.21—41
手写
12丁　24cm
宝暦5年（1755）6月，埴生，福野，城端から下梨村入，井波，戸出，守山，今石動，高岡，氷見，城端などを巡見。

1658　巡見上使御用一巻　　16.21—42
外作事所編
手写
6丁　12×36cm
高畠定辟旧蔵。宝暦11年（1761）4月巡見上使を迎える準備を正月より始める。

1659　巡見上使衆御通行一件留　　16.21—43
手写
8丁　12.5×18cm
富田権六郎旧蔵。表題は「宝暦11年辛巳正月諸事留之内四月巡見上使衆御通行一件留但要用迄記之」

1660　巡見上使幷御定書写帳　　16.21—44
手写
5丁　24cm
成瀬正居旧蔵。内題「巡見上使幷巡見御役人被指遣候ニ付公義ヨリ相渡候御定書写帳」。天明8年（1788）3月。

1661　巡見上使衆金沢御着之節覚書　　16.21—45
手写
8丁　23.5cm
富田権六郎旧蔵。寛政元年（1789）4月17日巡見上使筑紫従太郎，大久保長十郎，堀八郎左衛門の3名鶴来より金沢入り，年寄，家老が玉泉寺前へ出向え，供廻り，旅宿等につき記載。

1662　巡見上使一件　　16.21—46
冨田外記手写
2冊・巻子1　23.5・15.5cm　紙袋入
冨田氏旧蔵。
① 巡見上使一件，天保9年（1838）閏4月11日
② 巡見上使御通行ニ依而従江戸表表方へ申来候留
③ 巡見上使御止宿ニ付御宿懸役人附。

1663　巡見上使御触写　　16.21—47
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
16丁　23.5cm
天保9年閏4月11日巡見上使木下内記，石尾織部，筧新三郎の3名金沢入りに先立って，道筋の家修理，垣，看板，商店の飾り，道路補修，清掃などについての触。町奉行，町肝煎，組合頭等宛。

1664　巡見上使之節玉泉寺前へ出向等之留　　16.21—48
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　24cm
横山隆平旧蔵の写。天保9年閏4月11日上使を玉泉寺前迄出向えについて記す。

1665　巡見上使昼所一件　　16.21—49
杉本有恒編
前田家編輯方手写
66丁　23.5cm

巡見上使が天保９年越中立山芦峅寺を御昼所とした際の記録。

1666　道御案内人等請答方覚帳　　16.21—50

手写　天保９年（1838）

21丁　24cm

能登口郡で巡見上使が道案内人に，質問などした場合の返答の要領や内容などを指示したもの。

1667　上使御通行ニ付拝領物　　16.21—51

手写

６丁　24cm

天保９年（1838）巡見上使通行の節，始終主附で働いた年寄，年寄並，新田才許などへの臨時手当を記入。

1668　外国奉行一巻　　16.21—52

前田家編輯方手写　明治年間

11冊　25cm

安政５年（1858）～同６年（1859）のもの。

①　外国奉行一巻并伺等之件留

②　御見分中引合之趣口達書・堀織部正殿泊駅ニテ御談之取調理書ケ条等・吉岡元平様等於東岩瀬御昼所同所肝煎権吉御呼立被成御尋之趣左ニ申上候・外国奉行通行之砌所々ニテ御尋之趣等取調書上申帳・外国奉行通行之節吉岡元平殿ヨリ家数人数書上申様御談ニ付書上申写御達申上帳・外国奉行所口浦等ヨリ乗船中ニテ肝煎等へ尋之趣聞取調理之分書上申帳・外国奉行見分ケ所御書出ニ可相成ケ条書上申帳・外国奉行安宅浦見分ケ所御書上ニ可相成ケ条書上申帳。

③　外国奉行一巻ニ付伺并示談物等・外国奉行ヨリケ条書御渡取調御書出ニ可相成筈ニ付調方為見竟新潟ヨリ書出ニ相成分右下役ヨリ聞番方へ相渡候写・堀織部正殿泊駅ニテ御談之取しらべケ条・他国聞合人心得書并御算用場ヨリ達御郡奉行ヨリ伺等・御見合中引合之趣達書。

④　外国奉行休泊割等一巻触・寛政11年公儀御役人勝与八郎様御通ニ付御泊所調物等覚書村方戸数人口等調方達書・外国奉行一件ニ付出役之節人足賃請取書・外国奉行休泊等銭米代御渡之義廻状等。

⑤　嘉永２年海岸間数等御調理御座候処宮腰領本吉領云々。

⑥　外国奉行等通行村々書上帳，下新川郡，上新川郡，射水郡，口郡，奥郡，河北郡，石川郡，能美郡（安政５年）

⑦　越後路承合申儀重而御達申上候覚書。

⑧　泊町外国奉行宿割帳・二国浦外国奉行宿割帳・外国奉行等休泊所銭米代書上帳等。

⑨　外国奉行等通行之節吉岡元平殿ヨリ道筋村々道程等書上申様御談ニ付書上申写御達申上帳（口郡）・外国奉行等通行ニ付操物之品々卯辰永久寺等ニおいて御払ニ付右品々揃方相雇人足并諸方へ遣候飛脚等書上申帳・外国奉行等雇人足賃書上帳・外国奉行休泊所附・外国奉行板橋ヨリ先々休泊并雇人足員数書。

⑩　外国奉行御宿普請方并御朱印余荷銀等諸雑用銀書上申帳・外国奉行通行諸雑用御郡方万造余荷之品々相調理書上申帳・同諸郡操物之内御家具等御買上之品々抜出調理帳。

⑪　外国奉行通行諸雑用之内御渡奉分調理帳・外国奉行通行之節御国方御奉行所等諸雑用御郡方万造ニ可成分調理帳・右同断御取扱奉願分調理帳・外国奉行通行雑用銀之内御郡方万造ヨリ取立可申品々書上申帳・外国奉行通行雑用御渡奉願帳（安政６年）。

1669　外国奉行通行之節右一巻ニ付テ之紙面及書出等入　　16.21—53

安政５年（1858）

仮綴３　24cm　紙袋入

①　本吉ヨリ橋立迄道程六里十三丁など。

②　越後路聞合趣御達書など。

③　村々家数人数寺院并御台場しらべなど。

1670　海岸為御見分御公儀御役人堀織部正殿等御通行一件　　16.21—54

前田家編輯方編

編者手写　明治年間

47丁　23.5cm

旧書名 別名「堀織部正通行一件」。安政5年（1858）11月，外国奉行・御目付堀織部正等が北国の湊々を見分のため，領内を通過したときの記録。

1671 御巡見御道筋古跡聞伝覚書　16.21—55
手写
8丁　24cm
安井顕比旧蔵。安政5年（1858）石川郡北国街道筋の古跡，聞伝などの覚留書。

1672 御巡見御道筋手絵図　16.21—56
手写
6丁　9×19cm
原本成立安政5年（1858）。江沼郡那谷村から板津郷湊迄の道筋絵図。

1673 外国御奉行御宿普請方幷御朱印人馬余荷銀等諸雑用銀書上申帳　16.21—57
安政6年（1859）
42丁　12×36cm
射水郡における費用を詳細に書き留たもの。

1674 氷見町御巡見御上使覚書　16.21—58
手写
10丁　8×18.5cm
富田権六郎旧蔵。「宝永7年（1710）6月10日御巡見御上使今石動より佐賀野通り氷見へ御越」「享保3年（1718）5月7日御巡見上使能州子浦より御越」

御　預　人

1675 一柳監物御預記二種　16.21—59
前田家編輯方編
編者手写
30丁　23.5cm
一柳直興（監物）伊予西条城主，領知高25,000石。寛文5年（1665）内裏修築中の不謹慎により罪を得，封を除かれ加賀藩に禁錮を命ぜられた。藩は浅井政有等を幕府の評定所に遣して直興を預り，10月金沢に移し，木ノ新保持明院北隣に百間四方の地を選び居所を構えさせた。藩主綱紀は，直興を優遇し，幕府に謝罪などの周旋も行ない，その結果，22年後の貞享3年(1686)に閣老戸田山城守から解放の命をうけた。

1676 一柳監物始末記　16.21—60
田辺政己編
前田家編輯方手写　明治年間
~~合綴1冊~~2冊 23.5cm
原本成立は文化11年（1814）。他に「一柳監物殿始末書」を合綴。

1677 一柳監物一件等　16.21—61
手写
4丁　24cm
一柳監物の解放後，彼の遺臣等に祿を与えたなどの一件留と，富田越後守某（不詳）なるものの追放記録など。

高　山　在　番

1678 飛州高山城勤番方御定書写等　16.21—62
前田家編輯方手写
13丁　24cm
原題「元祿三年加賀宰相様飛州高山之城御預ニ付城勤番方御定書之写幷高山侍中交名其外聞書等記」安永3年（1774）田辺正己手写の写
旧書名「飛州高山之城御預ニ付城勤番番方御定書幷高山侍中交名等」

1679 飛州高山城中勤方御定　16.21—63
前田家編輯方手写　明治初年
3丁　24cm

1680 高山在番之儀ニ付御親翰御加筆等留　16.21—64
手写
143丁24cm
元祿5年（1692）飛騨高山城主金森頼時（3万8千石）が出羽国上山へ所替えしたので，加賀藩がその留守番をすることになった。同8年春廃城になるまでつづいた。本書は，その初期の公文書の綴り。旧書名「高山在番御勤御加筆等留」

1681 〔飛州在番備考幷金森侯由来書〕　16.21—65
有沢永貞著

脇田尚方手写　弘化2年（1845）
20丁　23cm
脇田尚保旧蔵。飛州在番備考は元禄5年（1692）永貞編を永原孝和が享保8年（1723）に写したものの再写。金森侯之由来は筆者尚方の編である。旧書名「飛州在番備考」

1682　飛騨在番記　16.21—66
前田家編輯方手写
79丁　27cm
元禄5・6年（1692・93）初代勤番永井織部関係のもの。

1683　飛州高山在番雑記　16.21—67
森田西岸（盛昌）編
前田家編輯方手写　明治年間
73丁　23.5cm
内容は元禄5年（1692）9月～同8年（1695）4月まで。
初代勤番永井織部に従つて高山に赴き，翌元禄6年4月交替まで在留した森田盛昌の覚書の写で，金森家の来歴や高山の地理などが附けられている。

1684　飛州高山城在番始終之覚　16.21—68
手写
87丁　27cm
内容年代は元禄5年（1692）～7年。附録文書には享保12年（1727）のものもある。

1685　飛州高山品々覚書　16.21—69
前田家編輯方手写
33丁　24cm
元禄5年（1692）～同7年。勤番1番手永井織部，2番手藤田安勝，3番手津田求馬までの記録の写。

1686　飛州御城御用留　16.21—70
前田家編輯方手写
21丁　25cm
前田貞醇旧蔵の写。元禄5年（1692）1番手永井織部，同6年3番手津田求馬の覚書。

1687　高山在番等覚書二種　16.21—71
前田家編輯方手写
61丁　23cm
内容は元禄7年（1694）野村五郎兵衛高山在番ニ付覚書。安永2年（1773）高山御代官所百姓一揆ニ付富山ヨリ御人数相向候一巻覚書。
後者は，安永2年11月16日飛弾の農民が代官所へ強訴しようとしたので，幕府は富山はじめ近隣の大名へ鎮定の命を下した時の富山藩の動静

1688　高山在番記　16.21—72
前田家編輯方手写
2冊　23.5cm
内容は元禄5年（1692）から同8年（1695）まで。
① 高山在番記　1・2巻
② 〃　3・4・5巻
安永6年（1777）不破明手写の写もあるが，編輯は森田良見であろう。自筆の見出しがある。

1689　飛州高山在番御普請方御入用帳　16.21—73
奥村造酒丞・渡部甚左衛門著
手写　元禄8年（1695）
20丁　23cm
元禄7，8年（1694，95）城の修理をした時の材料と人手と費用の計算。

1690　飛州高山廃城日記　16.21—74
今枝直方手写
5冊　23.5cm
今枝氏旧蔵。元禄8年（1695）2月幕府は高山城の破壊を加賀藩に命じたので，藩は3月10日奥村市右衛門を主管とし，近藤三郎左衛門，前田清八らを派遣しその任に当てた。
① 飛州高山廃城御用留帳
② 飛州高山参着之日より日記
③ 本丸・二之丸・三之丸建具，屋具幷樹木員数
④ 家中侍家扶持人家畳建具等帳，同屋具幷手水鉢石，樹木等員数
⑤ 飛州高山発出日ヨリ帰道中且又於金沢之御城高山御用之日記。

今枝直方は享保13年（1728）歿。

1691　飛騨国高山廃城一巻　16.21—75
戸田与一郎編
手写　明和3年（1766）
3/0　485丁　23.5cm
表題副書「元禄八年（1695）乙亥従二月至七月，御親翰御加筆物も有之留」明和3年8月の戸田与一郎の序文がある。

そ　の　他

1692　諸々御国大社ニテ公方様御祈禱被仰付候覚　16.21—76
寺岡与兵衛手写
11丁　25cm
内容年代は寛永18，19年（1641，1642）
公方様は，徳川第4代家綱（厳有院，寛永18年1641生）。

1693　聖堂火消方被仰出等一巻　16.21—77
横山引馬編
自筆　文化2年（1805）
6丁　12.5×18cm
横山勇太郎旧蔵。

1694　東本願寺殿御使者登城之節御作法附　16.21—78
手写
8丁　24cm
小木貞正旧蔵。安政3年（1856）5月27日，13代斉泰の権中納言陞任の祝儀のため金沢城に登る。

1695　伏見宮様御使者登城ニ付御作法附　16.21—79
横山蔵人編
手写
11丁　12×18cm
横山政和旧蔵。文政5年（1822）4月15日伏見宮使者本間勘解由金沢城へ登城の節の作法について記す。

1696　東幸供奉日記　16.21—80
手写
20丁　23cm
明治2年（1869）3月明治天皇に供奉の道中日記。

特16.22　参　　勤

御用留・規式

1697　〔参勤ニ付被遣物・被下物品々留帳〕　16.22—1
手写　正保2・3年（1645・46）
216丁　25cm
表題は「正保二年二月ヨリ同三年七月迄・江戸御参勤并方々被遣物其外被下物品々留帳中納言様ノ分」とあり。旧書名「江戸御参勤并方々被遣物其外被下物品々留帳」。

1698　御参勤御帰国之記　16.22—2
前田家編輯方編
編者手写
50丁　25cm
前田貞醇旧蔵の写。寛文元年（1661）から安永4年（1775）までの参勤の日時など主要事項をまとめたもの。

1699　松雲公初而御入国ニ御家中へ御成之刻飾物御献立写　16.22—3
前田家編輯方手写　明治年間
39丁　24cm
第5代藩主前田綱紀が寛文元年（1665）初て入国したときの飾物御献立について。安政4年横山隆平旧蔵の写の写。

1700　集　　珠　16.22—4
手写　寛文9年（1669）
8丁　25cm
寛文元年以後の藩主参勤・帰国の日時，そのほか雑覚書を収む。

1701　御先代様以来御入国御能一件　16.22—5
手写

33丁　13×35.5cm
小木貞正旧蔵。寛文元年（1661）から享和2年（1802）にいたる藩主入国時の作法状況（入国一件）と入国後城中にて演ぜられた能番組など。

1702　御規式留　16.22—6
前田家編輯方手写，明治年間
26丁　23cm
杉柏丸手写の写。享保10年（1725），文化8年（1811）の御家督并御入国御祝儀次第。勝丸様御出生御祝御能御興行・御家中面々見物被仰附次第。

1703　御入国以後御能御家中一統見物被仰付候留帳　16.22—7
手写
31丁　23cm
内容は享保10年（1725）の能舞台見物についての順序・作法，能演目，能役者について記す。旧蔵成瀬正居。

1704　御入国御祝儀御能初之覚書　16.22—8
手写
巻子1　17cm
享保10年（1725）の能演目，能役者名を記す。

1705　御入国御礼御使書并御返答書控　16.22—9
手写
51丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。藩主帰国に際して，将軍，幕閣の帰国許可に対する挨拶状。宝暦7年(1757)。

1706　御入国一巻留　16.22—10
御奏者所編
手写
3丁　23.5cm
成瀬正居旧蔵。明和8年（1771）8月11代治脩の金沢城入城についての奉迎，祝詞，料理などの覚書。
附，「備後守様（大聖寺6代利精）御使者登城之節取捌之覚」

1707　御帰国前御用　16.22—11
前田貞一（図書）編
手写
55丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。前田貞一（図書）は祿7,000石，家老。寛政9年（1797）2月1日藩主治脩より帰国御供を命ぜられてから，4月に出発するまでの帰国準備に関する記録。

1708　御参勤御用諸事留　16.22—12
横山政寛著
自筆
2冊　12×18cm
上は寛政9年（1797）12月～同10年2月，下は10年2月～4月。

1709　御参勤御帰国諸事心得　16.22—13
前田家編輯方編
編者手写
38丁　23.5cm
12代藩主斉広の文化12年（1815）9月14日参勤のための準備について。

1710　御入国御着城之節御作法　16.22—14
横山蔵人著
6丁　12×18cm
文政7年（1824）藩主入国の際の役務について。

1711　御入国御礼御作法　16.22—15
手写
7丁　12×18cm
内容年代，文政7年（1824），藩主入国の際の城中御作法。

1712　御入国御礼之節御席附　16.22—16
手写　文政7年（1824）
4丁　26cm
成瀬正居旧蔵。文政7年（1824）6月，藩主斉泰は8日間に亘り城中で諸太夫以下御礼人から入国の賀をうけた。その予定表である。
旧書名「御入国御礼之節御席附」

1713　御入国為御祝儀両本願寺より御使者登城之節御作法　16.22—17
手写
9丁　12×18cm
文政7年（1824）藩主入国祝儀に関して。

1714　御入国為御祝儀淡路様より御使者被遣候節御作法　16.22—18
手写
3丁　12×18cm
文政7年（1824）第13代藩主斉泰入国祝儀に関して。

1715　御参勤前取志らべ方帳　16.22—19
津田判太夫著
手写　天保8年（1837）
14丁　24cm
藩主着府準備に関する御横目所の記録。

1716　筑前守様御国へ御暇之為上使御老中方御出之節御作法　16.22—20
奥村縫殿兵衛著
手写
巻子1　15cm
早川随勝旧蔵。14代藩主慶寧が弘化2年(1845)8月と安政2年（1855）4月の帰国のための上使接待方作法。

1717　御着之節御用留　16.22—21
手写　嘉永2・6年・安政3年（1849・53・56）
82丁　12×18cm
嘉永2年（1849）閏4月藩主の2度目の入国と嘉永6年（1853）10月4度目の入国についての記録と，安政3年（1856）3月11日御発駕の御作法書等。御附御用部屋藤田左衛門の手留。

1718　御入国御礼御作法附　16.22—22
手写
21丁（折本）　7.5×18cm
前田貞醇旧蔵。慶応2年（1866）7月藩主慶寧帰国について家臣の挨拶の際の服装その他の作法について記す。

1719　御入国御礼被為請候御作法附　16.22—23
手写
12丁　24.5cm
前田恒敬旧蔵。同前。

1720　御入国ニ付御作法附　16.22—24
手写
7丁　12×18cm
前田恒敬旧蔵。藩主慶寧の帰国入城に際し，大手門から表式台までの出迎人の配置およびお供人への料理の給事人などについて記す。

1721　江府御供方等留　16.22—25
前田家編輯方手写
80丁　23.5cm
- 御奥小将騎馬勤方心覚
- 御供方心得雑部附装束之事
- 御時宜方并旧記
- 御登城一巻
- 御登城中御焼飯等御用之品指上候節取捌
- 下馬下乗江御一門様等ヨリ御附使者取次方など在府中心得17項。

1722　御入国式次第　16.22—26
前田家編輯方手写
4丁　24cm
前田貞醇旧蔵の写。藩主が御国帰りした時の城内の御作法。

1723　筑前守様御発駕之節作法　16.22—27
奥村縫殿兵衛著
手写
巻子1　16cm
早川堅勝旧蔵。発駕にあたっての家臣達の役目指示と，見送り客衆への料理接待の事など。

1724　南部信濃守利済書翰　16.22—28
手写
2通　21cm
奥村丹後守等宛。南部甲斐守（八戸藩主）の入

国，参勤に際しての祝辞に対する同氏信濃守（盛岡藩主）からの返書。

道　　中

1725　慶長以来御上洛並御出府御帰国覚　16.22—29
手写
1通　17cm
慶長10年（1605）から万治元年（1658）まで。

1726　〔綱紀公御入国已来御暇御参勤之上使覚書〕　16.22—30
手写
29丁　19.5cm
綱紀の初めての入国，寛文元年（1661）より享保8年（1723）隠居までを記す。

1727　〔御参勤御帰国之記〕　16.22—31
中川典義編
手写
58丁　11.5×17.5cm
中川典克旧蔵。寛文元年（1661）から嘉永3年（1850）に至る藩主綱紀から慶寧にまでの登府と帰国の年月，供人などの記録。

1728　御参勤御供之覚　16.22—32
奥村栄実著
自筆
3冊　11×17cm
道中ならびに在府中の諸行事の次第や勤方についての先例を詳細にまとめたもの。上巻は道中全，中巻は御在府中上，下巻は御在府中下。先例の多くは元禄～天明期のもの。朱書により成立は天保3年以前とみられる。

1729　御参勤御供之覚　16.22—33
奥村栄通手写
25丁　11×17cm
前号上巻の写本。栄通は栄実の子。

1730　御参勤御供之覚　16.22—34
前田矩正手写
43丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。前田矩正（式部）3,000石。同前。

1731　御参勤御供之覚　16.22—35
手写
47丁　12×18cm
内容は前書の「御在府中上」の写本。上使之事・御菜御献上之御使相勤之節之様子・他方ヨリ之御使ニ御返答申述之事など19項目より成る。

1732　御参勤御供之覚　16.22—36
手写
37丁　12×18cm
16.22—32 の「御在府中下」の写本で，火事の時の心得とか，元禄から享和までの先例覚書など，あるいは，捨子，変死人など，在府中の諸事件，事象記録である。

1733　御参勤御供之覚　16.22—37
奥村栄通著
自筆　嘉永5年（1852）
39丁　11×17cm
16.22—32 の増補篇。

1734　御参勤御供之覚　16.22—38
奥村栄通著
自筆
2冊　11×17cm
2冊とも内容は同じ。前書の一部。

1735　御参勤御供之覚　16.22—39
奥村栄通著
手写
2冊　14×20cm
御在府中之上下附録。御道中附録を収む。16.22—37・38の写し。

1736　御参勤御供之覚　16.22—40
奥村栄通著
自筆
5丁　11×17cm

16.22—37 の抄本。

1737　御参勤御供之覚　御道中全　16.22—41
奥村栄実著
手写
40丁　12×17cm
内容は御発駕之刻之様子など。

1738　道中御供之定等　16.22—42
手写
巻子1　24.5cm
寛文3年4月21日付，道中御供の定及び今枝民部ら4人より江戸割場宛中屋敷御門番の定。中川典克旧蔵。

1739　道中御書留　16.22—43
手写
45丁　24cm
原本成立は寛文4年（1664）。

1740　御道中日記抜書　16.22—44
手写
3冊　11×17cm
内容は，正徳3年（1713）から弘化4年(1847)にいたる諸種の道中日記のうち重要事項を抜粋整理したもの。目録1冊・上巻（正徳3～文化13年）・下巻（文化14～弘化4年）下巻末尾に，享和2年（1802）の道中方諸事留を付記。

1741　御参勤御供人帳　16.22—45
手写　寛政10年（1798）
33丁　12×18cm
内容は，供人帳・道中行列附・御供の面々勤方・川渡役人相渡候帳の4部よりなる。

1742　松雲公等御参府留　16.22—46
前田家編輯方手写
2冊　23.5cm
前田貞醇旧蔵の写。天和3年（1683）から享和2年（1802）に亙って書きしるしてある。

1743　金沢・江戸間止宿調方日記　16.22—47
手写　享保3年（1718）
4丁　8.5×19.5cm
中川典克旧蔵。内容は江戸発，石動着迄の日記と，享保3年（1718）7月5代綱紀金沢発，江戸着の泊り附。

1744　御帰国御延引御在府一巻　16.22—48
青地礼幹（庸徳）編
手写
12丁　23.5cm
成立は享保4年（1719）。青地礼幹は当時御使番，歩頭，祿200石。浚新斉と号す。
藩主綱紀が老齢と気候不順のため帰国を延期した際の記録。

1745　京都御立寄之一巻　16.22—49
大野木克明（舎人）著
自筆　享保5年（1720）
164丁　25cm
大野木克征旧蔵。享保5年（1720）綱紀が帰国の途中京都へ立寄った時の記録。大野木克明（舎人）は，60年間綱紀に仕え，享保11年(1726)72才にて歿。

1746　御上京一巻留帳　16.22—50
手写
43丁　26cm
高畠定辟旧蔵。享保5年（1720）4月2日江戸発，5代綱紀は中仙道を経て京都へ立寄り23日金沢着。その間京都での挨拶廻り進物などの覚書。内容前書と精粗不同。

1747　〔綱紀公御参勤御帰国上使等之覚〕　16.22—51
前田家編輯方編
編者手写
15丁　24cm
表題は「綱紀公ヨリ初テ御暇以来当御代迄御参勤御帰国上使等之覚」。宝暦14年（1764）迄の記録。旧書名「綱紀公ヨリ初テ御暇以来御参勤御帰国上使等之覚」。

1748　木曾路御帰国御道中御行列帳　16.22—52
手写

10丁　35cm
中川典克旧蔵。成立は享保5年（1720）。
内容は参勤道中の行列格について記す。

1749　御入国御道中御定書　16.22—53
手写
11丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。成立は享保9年（1724）。道中供之定などの覚書。

1750　中将様御入国御道中御行列并御旅館付　16.22—54
手写
22丁　8×18cm
高畠定辟旧蔵。成立年享保9年（1724）。中将様は6代吉徳。享保8年（1723）8月左近衛中将に進む。

1751　御参勤御行列附　16.22—55
手写
15丁　18×8cm
富田権六郎旧蔵。成立年享保11年（1726）。

1752　御参勤御帰国御行列方留帳　16.22—56
手写
72丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。成立年享保11，12年（1726，27）。内容は御行列奉行，横目などにあてた書翰，行列の方法などと，帰国のための諸事一切の留帳。

1753　覚　　書　16.22—57
手写
21丁　23.5cm
奥村栄滋旧蔵。参勤道中に関する旧例の覚書で，享保前期の例が多い。

1754　綏国公御入国之節留　16.22—58
手写　享保19年（1734）
44丁　24cm
岡田隷旧蔵。6代吉徳の金沢城入城の際の行事の留書。

1755　〔勝丸様出府御供表勤方留帳〕　16.22—59
前田貞幹（図書）著
手写
5丁　24cm
旧書名「勝丸様初而御出府御供相勤候節表方留帳抜書」。勝丸様は6代藩主吉徳の幼名。元文元年（1736）10月12日から24日迄の日記。

1756　佐渡守様御参府ニ付所々へ詰人名書　16.22—60
算用場編
手写　寛保3年（1743）
巻子1　23cm
佐渡守は7代藩主宗辰の元文2年（1737）から延享2年（1745）迄の官名。

1757　綏国公参勤覚書　16.22—61
横山政和（蔵人）・玉井市正著
前田家編輯方手写
2冊　23cm
横山氏旧蔵の写。綏国公は6代藩主吉徳。

1758　御家督御入国御能御番組御作法書　16.22—62
手写
29丁　24cm
6代吉徳，8代重熙の時期のもの。久徳猶行旧蔵。

1759　謙徳院様御入国之節抜書　16.22—63
手写
2丁　24cm
宝暦7年（1757）10代重教の入国一件と，延享4年（1747）8代重熙の入国一件。

1760　御参勤木曾路通御道中日記　16.22—64
手写
37丁　12×18cm
中川典克旧蔵。寛延4年（1751）閏6月，金沢を発って，木曽路より出府の道中日記。

1761　御行列道具調　16.22—65
有沢盛貞（平次右衛門）等編

手写
1通　16×58.5cm　端本
宝暦元年（1751）閏6月21日8代重熙が金沢を発し江戸に向った。その直前長持などに入れる物品の調理。

1762　御参勤御供留　16.22—66
小谷円右衛門著
前田家編輯方手写　明治年間
27丁　23.5cm
原本は宝暦4年（1754）成立。

1763　御留守中御用窺控等　16.22—67
前田内蔵助手写
34丁　24cm
宝暦7年（1757）「御発駕之節御作法附」「御発駕之砌品々覚類共」を収む。

1764　御道中御取次帳　16.22—68
手写
9丁　7.5×17.5cm
藤田与七郎旧蔵。成立年宝暦7年（1757）。

1765　年々御道中方留　16.22—69
手写　宝暦9年（1759）～明和4年（1767）
250丁　12×18cm
内容は，
- 宝暦9年7月御帰国御供
- 宝暦11年9月御参勤御供
- 宝暦13年3月御帰国御供
- 宝暦14年3月御参勤御供
- 明和2年9月御帰国御供
- 明和3年4月御参勤御供
- 明和4年6月御帰国御供

1766　御入国御道中御定書　16.22—70
手写
10丁　12×18cm
成立は明和8年（1771）「道中供之定」。

1767　御参勤御道中御行列附　16.22—71
手写
15丁　18×8cm
前田恒敬旧蔵。成立は明和9年（1772）。

1768　御参勤御道中御行列附等帳　16.22—72
手写　安永5年（1776）
29丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。内容は行列附，供人帳よりなる。行列附は，明和9年（1772）のもの写本に貼紙して安永5年（1776）の改正箇所を示してある。

1769　御参勤御供就被仰付候自分月切窺箇一巻　16.22—73
横山図書著
手写　天明3年（1783）
3丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。

1770　御参勤御道中日記　16.22—74
前田図書・大音帯刀著
自筆　寛政8年（1796）
67丁　24cm

1771　御参勤御道中日記　16.22—75
手写
21丁　24cm
前書の異本。

1772　御帰国御道中日記　16.22—76
前田図書著
自筆　寛政9年（1797）
46丁　24cm
前田貞醇旧蔵。

1773　御道中奉行等より之触書留　16.22—77
手写
21丁　12×18cm
原本成立は寛政10年（1798）。参勤道中についての触書留。

1774　太梁公参勤御供記　16.22—78
前田家編輯方手写　明治年間

29丁　23cm
横山政和旧蔵の写。成立年寛政10年(1798)太梁公は11代藩主治脩。参勤供人帳・道中供之面々勤方・道中行列附・道中川渡役渡之帳よりなる。

1775　御道中日記　16.22—79
横山蔵人著
前田家編輯方手写　明治年間
70丁　23.5cm
原本成立は寛政10年（1798）。

1776　御道中奉行等触留　16.22—80
手写
合綴1（2冊）　12×18cm
寛政11年（1799）文化15年（1818）帰国の際。

1777　太梁公帰国覚書　16.22—81
横山蔵人著
前田家編輯方手写　明治年間
47丁　23cm
原本成立寛政11年（1799）。横山蔵人による「帰国道中日記」と横山政和による「帰国之節道中奉行等ヨリ触留」。

1778　太梁公帰国記　16.22—82
手写
61丁　23cm
原本成立享和2年（1802）。内題は「太梁公東海道御通行記—享和二戌十月東海道御通行御国へ被為入御泊附并名所旧蹟略記—」。右伊藤伯陽老人蔵書之内借用之写とあり。

1779　御帰国御供人帳　16.22—83
手写
9丁　11×17cm
原本成立は寛政11年（1799）。

1780　御行列附　16.22—84
手写
巻子1　15cm
広瀬知良旧蔵。成立年享和3年（1803）。
内容は東海道行列附・道中記。

1781　東海道御道中雑記　16.22—85
手写
8丁　12.5×20.5cm
文化11年（1814）3月16日江戸を発駕し，17日戸塚で小休までの覚書。

1782　三殿様御通行古典　16.22—86
松木弥助著
前田家編輯方手写　明治年間
49丁　23.5cm
松木弥助は水橋川越舟才許十村。文化12年（1815）から同15年（1818），加賀藩12代斉広，大聖寺藩9代利之，富山藩9代利幹の場合。

1783　御帰国御道中御泊附等　16.22—87
手写
84丁　20cm
原本成立は文化13年（1816）。内容は，道中道筋，道中作法，供人支配，川渡役人へ相渡帳，供人の勤方，馬の種類など記す。

1784　御帰国御供諸事留　16.22—88
有沢貞庸（才右衛門）著
自筆　文化15年～天保6年（1818～35）
合綴1（5冊）　12×18.5cm
有沢貞庸は禄450石，大組頭近習御用を勤む。
① 文化15年（1818）御帰国御供諸事留
② 文政5年（1822）御転附御荷物方諸事留帳
③ 文政7年入国，8年参勤，9年帰国，10年参勤，11年帰国，12年参勤
④ 同上に文政13年帰国を追加
⑤ 天保5年（1834）12月，6年1・2・3月

1785　諸要事留帳　16.22—89
前田家編輯方編
編者手写
12丁　25cm
文政5年（1822）から明治2年（1869）に至る勝千代（13代藩主斉泰）の出府，帰国の供人などの記録写。その他京都への使人などの記録を

含む。

1786　江戸表発足之儀ニ付御内談之趣一件　16.22—90
手写
巻子1　15.5cm
文政5年（1822）の前田勝千代（13代藩主斉泰）初出対に際し，その出発の日付などを打合せたもの。

1787　御旅行方日記　16.22—91
村井長世（又兵衛）著
自筆　文政7・8年（1824・25）
13丁　12×18cm
12代斉泰の最初の参勤の準備日記。

1788　御帰国御道中覚　16.22—92
有沢貞庸（才右衛門）編
自筆　文政9年（1826）
18丁　12×18cm

1789　御参勤御道中御行列附　16.22—93
手写
27丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。成立は文政10年（1827）。

1790　御道中御定書　16.22—94
手写　嘉永6年（1853）
19丁　23cm
有賀氏旧蔵。参勤行列の規定と，行列に際し御横目，道中奉行等の名で出された触留など。原本成立文政11年（1828）。

1791　御道中御定書　16.22—95
前田家編輯方手写　明治年間
23丁　25cm
前書の写。

1792　御発駕之節御間囲等之絵図　16.22—96
前田貞事手写　文政11年（1828）
絵図1枚　35×46cm
前田貞醇旧蔵。

1793　御帰国御道中諸事留　16.22—97
横山政孝（蔵人）編
自筆　天保5年（1834）
134丁　12×18cm

1794　御帰国御供人帳　16.22—98
横山政孝（蔵人）編
自筆　天保5年（1834）
38丁　11×17cm
横山政孝，家老，1万石。内容は，帰国供人帳，道中勤方帳，道中行列附の3部よりなる。

1795　温敬公帰国道中留　16.22—99
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23.5cm
前2書の写。温敬公は13代藩主斉泰。

1796　御帰国御道中日記　16.22—100
横山政孝（蔵人）著
自筆　天保5年（1834）
43丁　12×18cm

1797　御参勤御供被仰付候留　16.22—101
有沢師貞著
自筆　天保7～9年（1836～38）
31丁　12×18cm
御供仰付けられ以後出発までの，江戸より帰国にあたっての藩士の諸準備・諸手続きを記録。

1798　御先女中幷御長持等行列　16.22—102
中川某手写　天保9年（1838）
9丁　12×18cm
内容は，藩主行列に際して供女中および長持の数・配置などを記す。

1799　御供人帳　16.22—103
中川典克（八郎右衛門）著
自筆　天保9年（1838）
5丁　12×18cm
道中御供人の役名と役人名。

1800　御参勤御供留　16.22—104
高田善右衛門著

前田家編輯方手写　明治年間
29丁　23.5cm
原本成立は天保10年（1839）。

1801　御帰国御道中御供之面々勤方帳　16.22—105
手写
22丁　24.5cm
「道中勤方帳」「道中川渡役人へ相渡帳」「道中行列附」の3部よりなる。原本成立は天保11年（1840）。藩主は13代斉泰。

1802　御帰国御供人帳　16.22—106
手写
12丁　24cm
原本成立は天保11年（1840）。

1803　御道中御用役頭等名書　16.22—107
手写
巻子1　15cm
成立は天保後期。道中における仕事割り振りと名書。

1804　筑前守様御国へ被為入候ニ付諸事触留　16.22—108
髙畠右門編
手写　弘化2年（1845）
57丁　23cm
髙畠定胖旧蔵。筑前守は14代藩主慶寧。内容は参勤供人道中往来上下人数覚と道中道具など。

1805　御参勤御帰国御供被仰渡候留　16.22—109
有沢九八郎著
自筆　弘化4・5年（1847・48）
42丁　12×18cm
有沢九八郎は御近習番。参勤・帰国御供に関する藩士の準備・手続きを記録したもの。

1806　中仙道木曾路御通行行列附等　16.22—110
広瀬某編
手写　弘化5年（1848）
16丁　12×34cm
広瀬知良旧蔵。打込御行列附，御泊附，御帰国之節御触等を収む。帰国の時のもの。

1807　御帰国御道中手控　16.22—111
手写　明治年間
22丁　24cm
原本成立は嘉永3年（1850）。泊所のほか，関所所在などについての控。

1808　参勤御供覚　16.22—112
手写　嘉永5年（1852）
74丁　23cm
本多政以旧蔵。

1809　筑前守様御参府御道中御供人帳　16.22—113
手写
9丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。成立嘉永7年（1854）。

1810　御帰国御道中御行列附　16.22—114
手写
25丁　12×18cm
成立は嘉永7年（1854）。

1811　筑前守様御供にて江戸へ相越候記　16.22—115
前田矩正著
嘉永7年（1854）
38丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。道中日記。

1812　御参勤御道中御供之面々勤方帳　16.22—116
手写
8丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。安政2年（1855）3月13日13代斉泰参勤の御供人役割帳。

1813　御道中ニテ御歩行之節御行列帳　16.22—117
手写
10丁　12×18cm
中川典克旧蔵。

1814　御道中御時宜方　16.22—118
手写
23丁（折本）　14.5×7cm
安政2年（1855）参勤交代の道中心得，規式な

どをしるしたもの。

1815　御参勤御道中川渡御役人へ相渡候帳　16.22—119
手写
17丁　12×18cm
◦川渡御役人へ相渡候帳，安政2年（1855）
◦御供人帳，安政2年（1855），
◦川渡御役人へ相渡候帳文久元年（1861）の3部よりなる。

1816　恭敏公御参府書類　16.22—120
前田家編輯方編
編者手写
57丁　23.5cm
原本成立は安政2年（1855），5年（1858），7年（1860）。内容は，
◦筑前守様当春御参府御道中触紙面拾五通，御道中奉行，御横目
◦安政5年筑前守様御参府御道中御供人帳（供は横山蔵人）
◦安政2年筑前守様御道中御行列附
◦安政5年筑前守様御参府御道中川渡御役人へ相渡候帳
◦安政7年筑前守様御参府御道中御供之面々勤方

1817　御参勤御道中御行列附　16.22—121
手写
~~合綴1~~（3冊）　12×18cm
内容は，
①　安政2年（1855）行列附
②　元治元年(1864)出府行列帳
③　慶応元年(1865)御上京行列附　よりなる。

1818　御帰国御供人帳　16.22—122
手写
7丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。原本成立は安政3年（1856）。

1819　恭敏公参府覚書　16.22—123
横山政和（蔵人）著
前田家編輯方手写　明治年間
94丁　23cm
安政4年（1857）12月29日より同5年（1858）3月27日迄の参府覚書。恭敏公は14代藩主慶寧。

1820　筑前守様御供御用方等諸事覚書　16.22—124
横山政和（蔵人）著
自筆　安政4・5年（1857・58）
58丁　12×18cm
14代藩主慶寧の参勤，上道中。

1821　御参勤御供人帳　16.22—125
手写
10丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。成立は安政4年（1857）。

1822　東海道御道中触留　16.22—126
手写　安政5年（1858）
31丁　12×18cm
日用頭の覚書で，江戸から金沢までの道中に使った経費を記したもの。

1823　筑前守様御参府御道中日記　16.22—127
横山政和（蔵人）著
自筆　安政5年（1858）
38丁　23cm
木曽路道中。

1824　御参勤御供之覚　16.22—128
奥村栄実著
横山政和手写　安政5年（1858）
33丁　12×18cm
道中のための覚で，笠の事，馬上の事，河渡場の事，休憩所の事など諸事心得を記したもの。

1825　恭敏公参府泊附等　16.22—129
横山政和著
前田家編輯方手写　明治年間
58丁　23.5cm
◦安政5年3月筑前守様御参府御泊附等
◦安政5年2月筑前守様御参府御供人帳等四品を収む。

1826　筑前守様御参府御泊附等　16.22—130
手写
21丁　12×18cm
安政5年（1858）発駕時刻や道程など。

1827　御　泊　附　16.22—131
手写
22丁　12×18cm
横山政和旧蔵。安政5年（1858）東海道廻り参府から慶応元年（1865）の上洛までの道中宿泊地を記す。

1828　東海道御泊附　16.22—132
安政5年（1858）
9丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。内容は江戸より松任迄の東海道廻り泊附。安政5年（1858）4月18日から5月7日まで。

1829　恭敏公御帰国日記　16.22—133
横山政和著
前田家編輯方手写　明治年間
70丁　23.5cm
内容は安政6年10月4日江戸発駕より同月17日金沢着迄の日記。

1830　筑前守様御帰国御道中日記等　16.22—134
横山政和著
自筆　安政6年（1859）
63丁　12×18cm
安政6年（1859）10月4日江戸発駕より同月17日金沢着迄の日記。

1831　恭敏公帰国覚書　16.22—135
横山政和著
前田家編輯方手写　明治年間
54丁　23cm
内題「筑前守様御帰国御道中方御用品々留」。安政6年6月5日より10月17日迄の帰国供を命ぜられてよりの覚書。前書の写。

1832　筑前守様御帰国御道中御用品々留　16.22—136
横山政和著
自筆　安政6年（1859）
52丁　12×18cm

1833　御供道中覚書品々書抜等　16.22—137
横山蔵人手写　安政6年（1859）
61丁　12×18cm
横山蔵人正従覚書などの抜萃で，元文5年（1740）文化13年（1816），天保5年（1834），安政5年（1858）の例を記したもの。

1834　筑前守様御帰国御供人帳等　16.22—138
手写　安政6年（1859）
45丁　12×18cm
- 筑前守様御帰国御道中御供人帳
- 筑前守様御帰国御道中御供之面々勤方
- 筑前守様御帰国御道中川渡御役人相渡候帳
- 筑前守様御道中御行列附等　を含む。

1835　筑前守様御泊附　16.22—139
手写
18丁　12×18cm
横山政和旧蔵。万延元年（1860）から慶応2年（1866）に至る泊附記録。

1836　江戸表へ御供之日記等　16.22—140
手写
39丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。原本成立文久元・2年（1861・1862）。

1837　御参勤御供人帳　16.22—141
手写
12丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。原本成立は文久元年（1861）。

1838　御参勤御供之覚　16.22—142
前田将監手写　慶応元年（1865）
36丁　12×18cm
前田恒敬旧蔵。内容は道中の諸事心得。

1839　筑前守様御道中御行列帳　16.22—143
手写
15丁　12×18cm
成立は慶応2年（1866）。

1840　御出府御供人帳　16.22—144
手写　慶応2年（1866）
15丁　12×18cm

1841　御入国御供人帳　16.22—145
手写
18丁　12×18cm
原本成立は慶応2年（1866）。

1842　筑前守様御出府御道中川渡御役人へ相渡候帳　16.22—146
手写
3丁　12×18cm
成立は慶応2年（1866）。

1843　御出京一件　16.22—147
御家令席編
明治4年（1871）
24丁　24cm
金沢藩知事前田慶寧の上京（東京）

1844　江戸御供中御法度触　16.22—148
手写
12丁　25cm
中川典克旧蔵。江戸へお供の藩士に対する法度書。

1845　御道中方心覚帳　16.22—149
野村信由編
手写
14丁　12×18cm
野村信由旧蔵。参勤交代の道中における近習騎馬，御三家等出合，御泊，待請，泊番，中休待請などの心得を列挙したもの。
野村信由（敬礼）は150石，大小将番頭。

1846　御参勤御在府中覚書　16.22—150
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
70丁　23cm
御道中之覚（御発駕之刻之様子・笠之事・乗輿之事など17項），御在府中之覚（上使之節之様子など28項）

1847　御参勤道中心得　16.22—151
手写
104丁　23.5cm
横地秀三旧蔵。安永以降か。

1848　盲杖録　16.22—152
手写
61丁　23cm
内題「江戸表御供発足幷詰中心得」主に参勤交代道中の心得。

1849　御騎馬之面々掟　16.22—153
手写
巻子1　38cm
中川典克旧蔵。参勤交代の行列規程。

1850　江戸御供之頭役より警詞見届之御前書　16.22—154
5丁　25cm
江戸へお供する頭役並び平士と足軽の「天罰起請文前書之事」。

1851　御参勤御道中供仕歩横目可存条々等　16.22—155
手写
仮綴1（8通）　32cm
中川典克旧蔵。「道中供仕歩横目可存条々」3通は原本。「道中供役割巻」3通は原本。藩主書状1通（年寄，家老宛）は原本。1通は6通書状の写し。

618（16,15-1）に同じ

1852　御参府等手帳　16.22—156
手写
12冊　12×18cm
① 御寺御参詣御行列
② 御露地方支配所他83項

③ 行列役向による旗印
④ 外御出御行列附
⑤ 於高岡御参詣之節御行列
⑥ 御道中御定など
⑦ 文化11戌3月東海道拾八泊附
⑧ 江戸～金沢間日数表
⑨ 行列役向による旗印
⑩ 行列役向による旗印
⑪ 行列附
⑫ 道中記　金沢～板橋

1853 御参勤御供之覚　16.22—157
奥村栄実著
前田家編輯方手写　明治年間
147丁　23cm
内容は，御発駕之刻之様子を初め道中における諸事心得の記録。

1854 御帰還御道中覚　16.22—158
手写
7丁　24cm
前田貞醇旧蔵。内容は，参勤帰還に際し，藩役人達の書状を記す。

1855 川渡場役人勤方帳　16.22—159
手写
4丁　12×18cm
内容は，藩主参勤の節，宿川，筑摩川，才川，姫川，水橋川，千原崎川の川渡場における役人名と注意事項を記す。

1856 御道中宿駅調書　16.22—160
手写
巻子1　23cm
富田権六郎旧蔵。内容は，参勤の道中筋に派遣されて，諸準備を指揮した藩士の氏名。ただし，津幡から三日市の分のみ。

1857 道中宿札覚書　16.22—161
有沢才右衛門著
手写
51丁　18×12cm

1858 御参勤御泊附　16.22—162
手写
仮綴1（9通）　31cm
中川典克旧蔵。内容は，木曽路経由江戸行き1通と金沢行き2通，碓氷峠経由江戸行き2通。中休・宿所名と距離を記録したもの4通と中休・宿所名と休憩・宿泊費用を記録（3,000名～4,000名分）

1859 下道中御泊附　16.22—163
手写
巻子2　15cm
金沢より蔀経由江戸まで。

1860 〔加賀守様御参勤之節心覚〕　16.22—164
高畠厚定著
手写
4丁　13.5×19cm
表題は，「加賀守様御参勤之節御旅館御尋等之趣心覚」。高畠定辟旧蔵。内容は　越中国東岩瀬，魚津，境の旅館における心覚。

1861 御参勤道中御泊　16.22—165
手写
巻子1　24.5cm
4月25日金沢発5月9日江戸着，中川典克旧蔵。

1862 行　列　格　16.22—166
手写
巻子1　17cm
中川典克旧蔵。

1863 御道中御行列附帳　16.22—167
手写
26丁　17×8cm
前田与七郎旧蔵。内容は，道程，泊，行列など

を記す。

1864 〔行 列 附〕　16.22—163
手写
5丁　24cm
旧書名「御発駕御当日幷名古屋福井御通行之節御行列附」。前田貞醇旧蔵。

特16.23 法　　令

幕　　法

1865 当御代々諸法度　16.23—1
手写
35丁　27cm
内容は武家諸法度（慶長20年，寛永9，12年，寛文3年，天和2年，同3年，宝永7年のもの。）

1866 武家諸法度　16.23—2
手写
2通　34cm
1通は天和3年（1683）分。

1867 公義御触　16.23—3
手写
4冊　23cm
天和から文政までに幕府から渡された御触を集めたもの。
① 倹約，衣服，振舞，行状，乗物，簾子，縁組，供連，御成往来
② 出仕方附御日柄参勤到着，御成還御等御機嫌伺，諸大名御暇後対客出事，献上方，寺社方，鉄砲，火事，御屋敷，御鷹場
③ 金銀吹替通用等附鉄真鍮座，秤，枡，物価等附商売方，酒造，唐船荷等，唐船等漂着，煎海鼠等絹，銅絡
④ 博奕等，百姓強訴等取鎮，浪人百姓家へ立入附百姓等へ非人等法外仕節，火附高札，奉公人部屋子，陸尺不法，日光家来偽かたり，御役人家来不法，科人追放盲人渡世，葵御紋附，大目付へ届品，辻番所，御老中へ用頼義相止，諸大名留守居心得，百姓等帯刀，刀持御式台，類焼，聖堂日講，多紀医学館，御目見以下松平御様号遠慮，諸職人受領，堤川除等，公義御普請，新田開発附諸国砂糖製作，日光御社参人馬等嗜，釈菜寄附物，御老中招請延引，子午人高書出，家来給銀，元禄火事地震ニ付倹約等心得，牛車等荷附往来，関所女手形，在方売女，百姓子共生育，道中宿々不法ノ節取扱，町々地借借店綺，田舎角力興行，在々神事等之節風儀，寺住山伏年頭御礼。

1868 武家諸法度　16.23—4
手写　嘉永7年（1854）
5丁　24cm
横山政和旧蔵。「嘉永7年家定公御代初ニ改而御渡之御条目也，於江戸表写之」とある。

1869 当御代御制法幷駄賃定之高札写　16.23—5
手写
16丁　24cm
内容は，武家御式目と天和2年（1682）の御高札式目，定書の写。

1870 江戸表聞合書類　16.23—6
前田家編輯方手写
8冊　23cm
内容は元禄6年（1693）～文化12年（1815）当用集。
① 元禄6年11月24日ヨリ12月29日迄江戸廻状写
同7年正月朔日ヨリ16日迄江戸廻状写
② 元禄7年2月22日ヨリ3月7日マデ
江戸御聞合御帳
今朝増上寺云々
元禄7年4月9日ヨリ29日迄
③ 元禄9年8月朔日ヨリ29日迄聞合之写
同9月朔日ヨリ晦日迄之廻状之写
④ 元禄9年10月朔日ヨリ29日迄之聞合之写
11月御用番
⑤ 同12月朔日ヨリ29日迄
⑥ 同10年正月朔日ヨリ29日迄ノ回状之写
同2月朔日ヨリ晦日迄ノ回状之写

同10年4月11日
同14年7月21日ヨリ御道具方
今日諸番頭云々
⑦ 宝永元年12月21日云々
2月朔日前田対馬守孝行云々
御老中方御4人云々
御老中阿部豊後守云々
御老中井伊掃部頭殿云々
御沙汰書之抜
御口上書之控
⑧ 5月御用番云々
尾張様へ御成之節御献上物等
天明7未6月より凡7年間御沙汰書之内
文化12年4月，日光二百回御神忌。
前田貞醇蔵の写。

1871 御遠忌大赦附札之覚　16.23—7
手写
巻子1　16cm
中川典克旧蔵。成立年享保6年（1721）。内容は常憲院（5代将軍綱吉）13回忌大赦。末筆「右之一巻一箱ニ認正月十日之夜以伝蔵上之書付之数二拾壱通外ニ遠慮流刑等之書付壱通」の書入れあり。

1872 御定書　16.23—8
前田家編輯方手写　明治年間
60丁　24cm
水村為世旧蔵の写。寛政2年（1790）の幕法集。上下2巻。

1873 公義二十七ケ条御定　16.23—9
手写
11丁　24cm
坪内伯孝旧蔵。内容は行倒者，迷子，自害者，喧嘩，盗賊，火事などに関するもの。宝暦4年（1754）制定のものを文政3年（1820）に改めて布告したもの。

1874 御触留　16.23—10
手写　享和2年（1802）
135丁　11×17cm
内容は，寛保4年（1744）から明和2年（1765）までの，老中，大目付等よりの触書写。

1875 公事訴訟取捌等　16.23—11
前田家編輯方手写
11丁　25cm
博奕，賭事に関する寛政6年（1794），8年のもの。

1876 天保憲令　16.23—12
柴山某手写　弘化元年（1844）
40丁　24cm
小木貞正旧蔵。本書「奥書ニ右ハ山清氏蔵本借用辰六月写柴山」とあり。朱筆付札に「天保家作の幕令」とある。内容は，天保14年の家作衣裳のほか人別改，江戸芝居，欠所町在所触等集録す。

1877 異国船渡来之儀ニ付御出府写草稿等　16.23—13
手写
8丁　12×18cm
附，筑前守様江戸御着府御作法。中川典克旧蔵。内容は，大目付より江戸留守居中への異国船渡来に関する嘉永2年（1849）の通達（通称無二念打払令の実施方について）。附録は嘉永3年14代慶寧の出府。

1878 御制禁品之義ニ付相伺候書付　16.23—14
手写
4丁　24cm
内容は，外国奉行からの，外国売渡制禁品々について伺候書付に対する返書と御触案。未4月は安政6年（1859）か。

1879 公儀御変革御書付等留　16.23—15
横山政和編
手写
28丁　12×18cm
横山政和旧蔵。文久2，3年（1862，63）のもの。

1880　再度就御上洛御法令・御下知状写　16.23—16
手写
8丁　24cm
内容は文久3年（1863）12月7日付の将軍の黒印状および老中の執達状。

1881　公儀御法度之覚　16.23—17
手写
1通　34cm
中川典克旧蔵。刀剣，頭髪，衣服に関するもの。日附，申2月17日。

定書一般

1882　万治以前御定書　16.23—18
手写
2冊　23cm
加賀藩の御定書集で最も古いもので，世に「金城古定書」といわれているもの。別名「慶長定書，慶長以来御定書，慶長寛永間定書」などがある。内容は慶長6年（1601）前田利長在判の定から，寛永21年（正保元年，1644）前田光高の定までが主体である。詳しくは刊本「加賀藩御定書」参照。当館090—619に1冊本がある。両書共に，寛文8年（1668）を含んでいる。

1883　御定書々抜　16.23—19
前田家編輯方手写
19丁　24cm
内容，前書から，衣裳，乗物，振廻，御城出入火事，侍屋敷，きりしたん，普請に関するものを抜書したもの。

1884　古今御定書　16.23—20
手写　延宝5年（1677）
7冊　25cm　帙入
四冊之御定書といわれるもので，別名に当用御法度書がある。内容は承応，明暦，万治，寛文中の法令集で，補遺があり7冊となっている。
①②③④　御定書之写
⑤　年中両度宛触申候四冊之外跡々ヨリ御家中触状
⑥　御前へ上申候御家中触状之四冊帳と前田対馬組中へ年中両度充触申候四冊帳と引合見申候処此分先日上申候帳面ニ無御座候ニ付書抜上之申候
⑦　年中両度充触申候四冊之外跡々ヨリ御家中触状之内其外寄合所触状之控之内此度吟味仕四冊帳へ載可申分書出候帳
参照，河合文庫「四冊物御定」，氏家文庫「御定書四冊物等」

1885　御定書之写　16.23—21
手写
7冊　25cm
前書と同文。

1886　御定書　16.23—22
加賀藩編
手写
5冊　24cm　紙袋入
4冊御定書を正徳中整理したもので，6冊御定書の第6冊を除いたもので，延宝7年（1679）迄を補ったもの。

1887　六冊之御定書　16.23—23
手写
7冊　23cm
別名「類聚定書」。4冊御定書を類別して6冊としたもの。享保7年（1722）迄のものが追加されている。
①　御定書之写
②　従先年於江戸御定書品々之写　} 藩士中定
③　公事場幷寺社方暨与力御定書之写
④　御算用場，改作奉行，御郡奉行御定書之写
⑤　普請会所，割場御定書之写
⑥　町会所，御作事会所，七尾，宮腰等御定書之写
⑦　御定書本帳墨附七拾三枚，正徳年中御年寄衆御改候帳面を以，享保三年令書写之候，猶又以旧本致参考，右御改之節被指除候品暨其以後被仰出條々御馬廻組頭留帳相考令附録者也。
参照　河合文庫御定書5冊

1888 御 定 書　16.23—24
手写
3冊　11.5×17.5cm
内容は前書と同様であるが，⑥の七尾，宮腰以下および⑦を欠く。

1889 定　　書　16.23—25
手写
14丁　24cm
内容は「慶長六年（1601）利長様壁書，同七年利長様御追加，同拾八年（1613）利光様新御追加，寛永元年（元和10年＝1624）利光様御目安場へ仰出」。

1890 加賀藩御定書　16.23—26
手写
101丁　21cm
昭和11年刊「加賀藩御定書」後編巻17雑事御定書と同内容であるが，小見出と排列に若干の差異がある。

1891 一統御定書箋解　16.23—27
湯浅祇庸著
手写
46丁　24cm
別名「一統定書通解」。承応3年（1654）から元禄3年（1690）までの定書に附した注釈集の草本で本文はない。なお，付札は奥村栄実（天保4年1833歿）である。

1892 一統御定書箋解　16.23—28
湯浅祇庸著
前田家編輯方手写
27丁　23.5cm
前書の写。

1893 触留抜萃　16.23—29
手写
6冊　25cm
成瀬正居旧蔵。承応3年（1654）～嘉永5年（1852）のもの。御用番からのもの，御用番宛のものを中心に，幕令も含む。
① 承応3年（1654）～宝暦9年（1759）
② 正徳4年（1714）～宝暦4年（1754）
③ 宝暦5年（1755）～同13年（1763）
④ 宝暦13年4月～天明4年（1784）2月
⑤ 天保頃
⑥ 弘化，嘉永頃

1894 触留抜萃一　16.23—30
手写
79丁　24cm
前田栄次郎旧蔵。前号②と同文。

1895 御定書考索附録　16.23—31
青地蔵人編
手写
36丁　23cm
早崎信太郎旧蔵。
巻首に「御定書本帳墨附七拾三枚，正徳年中御年寄衆御改候帳面を以，享保三年令書写候，猶以旧本致参考，右御改之節被指除候品暨其以後被仰出候條々御馬廻組頭御用番留帳相考令附録者也青地蔵人」とある。蔵人は斉賢（寛文12～享保13）。

1896 御定書考索附録　16.23—32
青地蔵人編
前田家編輯方手写
42丁　23cm
前書の写。

1897 国令漫録　16.23—33
岩原恵規著
自筆　天保5～7年（1834～36）
22冊　24cm
岩原姓一旧蔵。内容は万治以来家中一般への定書を集成したもの。御定書六冊の系統で，天保11年まで書加えられている。
① 目録，附録目録
② 御城中等御定，人数召連方等，乗物御定等，御子様方等ニ御出逢申節之御作法等
③ 御倹約ニ付総而被仰出等，衣類，家作，婚礼振舞，音信贈答

④ 江戸御屋敷御定，同会所，同割場，道中人馬賃目賃銀等御定
⑤ 出仕之部，品々仰出，看病引，学校之部
⑥ 割場，町会所，御作事，会所，七尾，宮腰御定
⑦ 御普請会所之部
⑧ 跡目養子縁組等，服忌，自他国御用或湯治等，遠慮閉門人等心得
⑨ 雑事，馬市，借用金銀返済方等，金銀銭通用并潰金且又金箔打候義諸秤
⑩ 公事場御定等，殺害人行倒者并検使等，罪軽重ニ付被仰付方等，寺社方御定等，宗門改方等，与力御定等
⑪ 御算用場格等，収納方并御下行方等，収納米預ケ方等
⑫ 御郡改作方御定等，松山御宿方并鳥構場，三御郡高借宿役
⑬ 自他国御扶持方并路銀駄賃宿賃等
⑭ 会所銀并旅用ニ付而之拝借金且又聖堂銀，出銀
⑮ 奉公人
⑯ 着類
⑰ 品々御法度，盗賊改方（附隠賃，富突，三笠附），家来之作法等，鉄炮御定
⑱ 献上物
⑲ 喧嘩御定并喧嘩口論旧例之荒増，手討旧例等，乱心人自害逐電人旧例等，検使旧例等，奉公人旧例等，慾而不届等之者夫々被仰付方旧例等
⑳ 附録1，同姓本末之訳，跡目被仰付方，縁組養子，御加増被下方，子弟被召出并新知等被下方，隠居料被下方，御知行等収納方，自他国詰人御扶持方，路銀宿賃馬銀，他国往来夏冬日限并道程，出銀，会所銀，御普請役，居屋敷
㉑ 附録2，御城中御定等都而往来方等或ハ両御門内等人数召連方等，御番所装束，士御番所ケ所，御城内心得方，御発駕之節御作法旧例，御寺御参詣等之節御行列，足軽小者召使方，武家諸法度，諸大名証人御免，境御関所諸場式日等
㉒ 附録3，松山縮，御切米員数調様，於江戸御大小将へ被仰渡，江戸ニ而奉公人，町方御定，御定書之内旧本ニ被指除候ケ条

編者は岩原規または恵と書いてあるが実名は恵規であろう。藩の与力で，ほかに「梅花無尽蔵」などの著書がある。

1898 **国令分類** 16.23—34

岩原恵規編
自筆　安政6年～文久2年（1859～62）
9冊　25cm

岩原性一旧蔵。国令漫録を書直したもの。
① 御城中等御定，人数召連方，乗物御定等，御子様ニ御出逢申節御作法等
② 御倹約ニ付被仰出等，家作，婚礼祝義，振舞，音信贈答，金銀借用返済方等
③ 御鷹場等并殺生方，鳥構場
④ 火事御定等之部
⑤ 縁組養子等，同姓本末庶流等，死去人遺物等，服忌令
⑥ 行状，風俗，惣而心得方等
⑦ 着服之部
⑧ 年頭御礼一件，諸御礼御奏者所等へ罷出方諸事為御礼御奏者所へ罷出間敷御日柄，諸御礼廻勤方等，御判印物被下方等，跡目等仰付方，隠居料被下方，当座御礼取合等
⑨ 拾遺一，殺生鷹仕等之部。

1899 **御横目心得并御法度御定書** 16.23—35

手写
29丁　25cm

中川典克旧蔵。万治元年（1658）から3年までのもの。

1900 **御定書雑事** 16.23—36

前田家編輯方手写
90丁　24cm

内容は，万治年間から宝暦年間までのもので，刊本「加賀藩御定書」の巻17の12項までで，以下は細目のみを記し本文は消略してある。「十二冊御定書」の巻11に当るもの。

1901　御定書等触状留　　16.23—37

手写

8冊　23.5cm

高畠定辟旧蔵。内容は，寛文2年（1662）から寛延3年（1750）にわたる家中および一般への定書を収む。

① 巻1（欠）
巻2寛文2～6年（1662～1666）
巻3上寛文8～延宝4年（1668～1676）
〃　下延宝5～天和3年（1677～1683）

② 巻4天和4～元禄2年（1684～1689）
巻5元禄3～同　9年（1685～1696）
巻6〃　10～同　16年（1697～1703）

③ 巻7〃　17～宝永6年（1704～1709）
巻8宝永7～正徳5年（1710～1715）

④ 巻9正徳6～享保4年（1716～1719）
巻10享保5～同　8年（1720～1723）
末尾欠

⑤ 巻11〃　9～同　10年（1724～1725）
巻12〃　11～同　12年（1726～1727）

⑥ 巻13〃　13～同　14年（1728～1729）
巻14〃　15～同　18年（1730～1733）

⑦ 巻15　〃19～元文5年（1734～1740）
巻16元文6～延享2年（1741～1745）

⑧ 巻17（欠）
巻18延享4～寛延3年（1747～1750）

1902　触　　留　　16.23—38

手写

120丁　27cm

内題「公事雑記」，題箋「壬戌十月ヨリ切用之触留」とあり。享和2年（1802）から文化3年（1806）までの諸触留である。

1903　触　　留　　16.23—39

陸原惟厚編

自筆　安政6年（1859）～明治2年（1869）

7冊　23cm

陸原惟厚旧蔵。御横目，定番頭宛のものを主とし，幕令も多く含む。

① 安政6年6月～万延元年（1860）7月
② 文久2年～同　3年
③ 文久4年（1864）～元治2年（1865）
④ 慶応2年1月～同　年5月
⑤ 慶応2年5月～同　年9月
⑥ 慶応2年10月～同　4年2月
⑦ 慶応4年1月～明治2年（1869）

1904　触　　留　　16.23—40

手写

3冊　25cm

安井顕比旧蔵。元治元年（1864）～慶応4年（1868）のもの。御横目，定番頭宛のものを主として，幕令も含む。

① 元治元年10月～慶応2年6月
② 慶応2年6月～同　3年12月
③ 慶応4年1月

1905　触　　留　　16.23—41

早川随勝編

自筆　嘉永6年～明治8年（1853～69）

4冊　24cm

早川随勝旧蔵。内容年代，嘉永6年（1853）～明治8年（1875）。御横目，監察局関係のものを主とする。

① 嘉永6年（1853）
② 弘化4年（1848）～安政3年（1856）
③ 安政2年（1855）～慶応2年（1866）
④ 明治3年（1870）～同8年（1875）

1906　触　　留　　16.23—42

早川随勝編

自筆　慶応3年～明治2年（1867～69）

2冊　12×18cm

早川随勝旧蔵。

① 慶応3年10月～明治元年12月
② 明治2年1月～12月

1907　触　　留　　16.23—43

手写

200丁　25cm

慶応3年（1867）1月から明治元年（1868）のもの。御用番申渡家中勤方などを記す。乾のみ

で坤を欠く。

家中定書

1908 北藩秘鑑　16.23—44

湯浅祇庸（弥左衛門）編

手写

4冊　24cm

別名「国格類聚」。文化10年（1813）成立。20巻。柳営秘鑑に倣って作ったもので，家中の生活，勤仕についての諸定を収録したもの。序文は津田鳳郷が書いている。湯浅祇庸は，初め定番御歩の書写役であったが，新番組書写役となり，旧例典故に精通した人物である。

① 巻1　御事額之部
　巻2　年中御城向御作法之部
② 巻3　御城中御定之部，諸役席等之部，諸番所名目之部
　巻4　諸御役支配之部，諸組役知高之部，遠所御人高之部，三都御屋敷詰人高之部
③ 巻5　諸組諸役御人高之部
　巻6　被召出等御格之部，諸組座列之部，諸御礼献上物之部
④ 巻20　諸事交錯之部
　巻7～19を欠いた端本である。

1909 国格類聚　16.23—45

湯浅祇庸編

手写

12冊　24cm

脇田尚保旧蔵。別名「北藩秘鑑」。全20巻。

① 巻1　御事額之部
② 巻2　年中御城向御作法之部
　巻3　御城中御定之部，諸御役席等之部，諸番所名目之部
③ 巻4　諸役支配之部，諸組役知高之部
　巻5　諸組諸役御人高之部，遠所在住御人高之部，三都御屋敷詰人高之部
④ 巻6　被召出等御格之部，諸組座列之部，諸御礼献上物之部
⑤ 巻7　御知行等収納方御定之部，諸願之部附，被下屋敷歩数之御定
　巻8　役出銀等御定之部，御供使路銀馬銀御定等之部，使馬銀被下御定
⑥ 巻9　火事御定之部，年中御触之部，御行列之部，諸場式日之部
　巻10　学校御定之部，御鷹方之部
⑦ 巻11　諸御作法之部　一
⑧ 巻12　〃　二
⑨ 巻13　〃　三
　巻14　〃　四
⑩ 巻15　〃　五
　巻16　〃　六
⑪ 巻17　御法会方等諸事之部
　巻18　御普代家筋之部
　巻19　服忌之部
⑫ 巻20　諸事交錯之部
　叙，凡例および跋を欠いている。

1910 御定書類纂　16.23—46

前田家編輯方手写

43丁　23cm

承応年間から延宝年間における家中の生活一般についての定書を類別したもの。

1911 御定書　16.23—47

手写

3冊　12×18cm

承応から延宝までの家中に対する法度書。4冊本のうち第1冊を欠く。

1912 御定書類聚　16.23—48

手写

81丁　23cm

家中に対する生活一般についての定書。承応から延宝までのものを類別。

1　衣服，乗物，徒侍，知行，蔵宿，出銀
2　跡目，縁組，養子，献上物，湯治，屋敷
3　御城中御定，御鷹場，宗門，鉄炮
4　奉公人，火事，喧嘩
5　雑

1913 御定書写　16.23—49

手写

13丁　11.5×17.5cm
井上如苞旧蔵。内容は，承応3年（1654）から元禄3年（1690）家中に対する定書。

1914　慶長年中御法度抜書一葉　16.23—50
手写
1通　16cm　包紙入
慶長16年(1611)浪人の宿泊，刀の寸法，踊り，角力についての法度。

1915　〔御留守中御定写〕　16.23—51
手写
2丁　24cm
慶長20年（1615）4月17日大坂出陣の前日，前田利常（利光）より奥村備後守宛の留守中定。

1916　典制彙纂　16.23—52
前田家編輯方手写
11冊　23.5cm
内容は万治から天保年間の法令，布達を類別集録したもの。第12冊欠本。編者不詳。
① 行状，節倹　上
② 行状，節倹　下
③ 諸向御省略，江戸詰人，倹約令
④ 衣服，飲食，家作
⑤ 御城中御定，火事御定
⑥ 御鷹場附魚鳥殺生
⑦ 諸御役勤方，跡目，御知行，縁組，養子，諸御礼献上物等，宗門，居屋敷等
⑧ 御借知，出銀，役銀，人足賃銀
⑨ 会所銀，御貸銀，附続銀，御城銀，御納戸銀
⑩ 借財書上等，宝暦5年銀鈔
⑪ 雑上
創文社版「藩法集4　金沢藩」参照。

1917　典制彙纂抜書　16.23—53
前田家編輯方手写
51丁　25cm
定番頭等への布達について抜書を中心に。

1918　御印留之写　16.23—54
前田家編輯方手写
40丁　23cm
万治元年(1658)から寛文4年(1664)に亙る。

1919　江戸御定書　16.23—55
前田家編輯方手写
31丁　23cm
寛文から元禄の江戸在府家中に対する定書。

1920　御定書　16.23—56
手写
1通　25cm
中川典克旧蔵。寛文8年（1668）の家中の衣類についての定書。

1921　古例集書　16.23—57
手写　宝暦12年（1762）
2冊　23.5cm
寛文から元文年間の家中一般への諸法令を集成したもの。
① 乗物御定以下　② 侍帳以下

1922　古例集書　16.23—58
手写
5冊　23.5cm
御横目所旧蔵。
全11部の中，①第1部，②第2部，③第3部，④第6，7，8部，⑤第11部。天和から宝暦頃までの，藩士一般の心得。

1923　松雲院様以降御代々之御条目　16.23—59
手写
24丁　23cm
脇田尚保旧蔵。5代綱紀から12代斉広まで。

1924　衣類等定書　16.23—60
手写
巻子1　25cm
寛文8年（1668）のもの3通継立。

1925　家中振舞之定　16.23—61
手写

1通　25cm
寛文8年（1668）仰出。

1926　御定書類　16.23—62
手写
5通　32cm　包紙入
① 寛文8年（1668）7月6日の「家中振舞之定」
② 寛文8年（1668）7月6日の「定」
③ 延宝6年（1678）の「御付札之写」（家中勤務方について）
④ 享保14年（1729）の「御定書」（家中の行跡について戒告）
⑤ 不明「覚」（定番馬廻に関する定書写）

1927　寛文御定書　16.23—63
手写
73丁　24cm
成立は寛文12年（1672）。御在国御在府江戸御定の附札がある。御見舞使者，火事，寺関係など。

1928　御定書　16.23—64
富田重貞手写
4丁　[illegible]×17.5cm
富田権六郎旧蔵。家中法令。延宝2年（1674）

1929　従先年於江戸御定書品々　16.23—65
手写
34丁　24cm
横山政和旧蔵。従前に家中に対して出した法令を貞享2年（1685）にまとめたものと，元禄2年（1689）江戸詰の面々に出したものを合綴。

1930　古例控　16.23—66
手写
2冊　24cm
元禄，享保期の家中への諸定書。

1931　江戸表御定書幷申談之覚之留　16.23—67
前田家編輯方手写
64丁　23.5cm
題箋「江戸表定書等二種」。「江戸詰人御扶持方渡り月帳」を収む。前者は佐々木定国編。元禄12年（1699）から宝暦元年（1751）までのものを記載す。前田貞醇旧蔵の写。

1932　宝永年中已来御触留之内抜萃　16.23—68
前田家編輯方手写
4丁　24cm
内容は宝永2年8月22日御触（切支丹死去類族縁組など）。同4年公辺御触書写之（御軍役の金銀）。明和7年4月（在府者の心得）。寛政2年12月（持家，長屋など）。文政元年8年（人持組にて3,000石以下のもの乗物無用）。同年10月（養子跡目相続）。同2年4月（新規，家来届など）。

1933　諸事御条目類聚　16.23—69
脇田尚方手写
88丁　23cm
脇田尚保旧蔵。内題「三君諸事御条目類聚」享保8年（1723）から宝暦元年（1751）まで吉徳・宗辰・重熙の三代に家中に出されたものを収む。

1934　与力家中侍縮方達書　16.23—70
手写
2通　28.5cm
衣服，博奕などについて。後者は享保14年（1729）の定。

1935　御改法ニ付泰雲院様被仰出候品々　16.23—71
手写
2丁　13×36cm
家中の行跡，心得等につき。泰雲院は10代重教。

1936　御書立之写　16.23—72
手写
10丁　25cm
加藤里路旧蔵。家中に対する緊縮令。宝暦5年（1755）のもの。

1937 御改法御条目　16.23—73
前田家編輯方手写
48丁　23.5cm
明和2年（1765）から天明7年（1787）までの家中に対する生活一般，勤仕などについての御定。

1938 泰雲公御取捌御条目　16.23—74
手写
96丁　24cm
天明5年（1785）から享和元年（1801）までの10代重教の代に出された条令が初めと終りにあるが，大半は当時の雑然たる覚書である。

1939 御　定　書　16.23—75
手写
57丁　9×19.5cm
天明，寛政期の家中法令。

1940 被仰出之趣書立　16.23—76
前田家編輯方手写
8丁　24cm
文化3年（1806）勝手方省略につき。

1941 被仰出之趣書立　16.23—77
手写
12丁　24cm
小木貞正旧蔵。家中への省略生活5カ年計画の仰出。化政期か。

1942 触　　留　16.23—78
手写
107丁　25cm
冠称「触口」小木貞正旧蔵。文政5年（1822）から同7年（1824）にかけての，家中勤方等触を収録したもの。

1943 定書条目等　16.23—79
奥村栄実編
手写
78丁　23cm
横山政和旧蔵。天保年間に栄実が定書を改定するために編した「定書條目」「諸品御法令」「定番頭出候分写」の3冊を写し合したもの。横山政和の序あり。

1944 御　定　書　16.23—80
前田家編輯方手写
73丁　23cm
天保元年(1830)から弘化4年(1847)に亙る。家中の外，一部分町方，郡方に関するものあり。

1945 御　触　写　16.23—81
手写
仮綴1（2通）　16cm
早川随勝旧蔵。御横目宛の無提灯徘徊取締り触と，定番頭宛の家中奉公人勤方についての触である。後者は嘉永7年（1854）2月。

1946 諸士風俗之儀ニ付御達幷請書控　16.23—82
手写　嘉永5年（1852）
2通　16cm　包紙入
加藤里路旧蔵。

1947 〔衣食住之儀ニ付覚書〕　16.23—83
奥村栄実編
手写
6丁　24cm
領国中への定書。

1948 類族大病之節看病之被仰出書　16.23—84
手写
1通　28cm
中川典克旧蔵。午9月28日付，3条の被仰出。
旧書名「類族大病之節之覚書」。

1949 諸士風俗之儀ニ付御達写　16.23—85
手写
1通　16cm

1950 御定書写　16.23—86
手写
巻子1　31cm
中川典克旧蔵。内容は，家中の借銀，頼母子などについての覚。「御前ヨリ出候御写之写」の

題箋あり。

1951　諸事御定書　16.23—87
片岡孫作手写
66丁　24cm
長谷川某旧蔵の写。万治から宝暦までの金沢町道橋，明屋敷，筵子縁組，乗物，衣類，火之元廻場などに関するもの。

高　札

1952　制札式　16.23—88
手写
12丁　18×19.5cm
今枝氏旧蔵。制札，高札の書式について述べたもの。

1953　御高札幷誓詞御前書写　16.23—89
前田家編輯方手写
26丁　23cm
寛永から嘉永にかけての高札(キリシタン宗門火附，強盗，徒党など）と，村役人の誓詞，誓詞前書などの写し。

1954　御高札等写　16.23—90
前田家編輯方手写
61丁　23.5cm
内容は，天和2年（1682）以降の加賀藩で用いられた高札の写し。越中新川郡十村杉木有一記録の写し。

明治法令

1955　明治改元之仰出書　16.23—91
手写
1通　18cm

1956　当節御取調書　16.23—92
手写
1通　16cm
王政御一新，藩知事設置のことについてのもの。

1957　御書抜書　16.23—93
手写
45丁　25cm
明治元年（1868）中の主に行政官よりの達の主なるものの写。

1958　御書付等留　16.23—94
多賀源介・加須屋十左衛門・荒木左次馬編
明治元年（1868）
69丁　24cm
明治政府布令の留。

1959　触留　16.23—95
手写　明治2年～6年（1869～73）
2冊　24cm
前田恒敬旧蔵。内容は，太政官法令留，藩機構設置，人事等藩治全般に関するもの。
① 明治2年，3年
② 明治3年～6年

1960　布令留　16.23—96
手写
102丁　23cm
版籍奉還の際における秩祿改革の記録など，明治2年(1869)から同6年(1873)に亙る記録。

1961　金沢表御布告大概　16.23—97
手写　明治3・4年（1870・71）
22丁　24cm
太政官，藩庁において出された布告を記す。

1962　〔廃藩置県勅詔幷前藩知事告諭〕　16.23—98
手写　明治4年（1871）
巻子1　15cm
太政官布告と前藩知事前田慶寧の告諭。

1963　御布告留　16.23—99
明治4年（1871）
31丁　25cm
井上如苞旧蔵。明治4年（1871）正月中に布告された，太政官布告（主として，風俗取締り，私塾について）および金沢藩庁の布告。

1964 御 触 留　16.23—100
奥村栄通編
自筆
16冊　11×17cm
慶応4年（1868）1月から明治8年（1875）12月に亙る政府法律，県関係の布告を記す。

特16.24 公儀状・建白

1965 御書井上筑後殿へ被遣候留　16.24—1
手写
29丁　29cm
キリシタン取締りに関する藩から幕府への報告書類。井上筑後守政重は寛永9年（1632）より万治元年（1658）まで大目付。

1966 御代々御書等　16.24—2
手写
158丁　24.5cm
3代～5代藩主の公儀状を収録。

1967 公方様御近習之面々へ御書出之写　16.24—3
手写
1通　17cm
内容年代，享保3年（1718）。

1968 国司二十一侯之建白　16.24—4
前田家編輯方手写
2丁　25cm
安政4年（1857）21大名が，開国以来の特に財政的国内混乱に対し農業を興し，兵学を興し国を守る必要を建白。

1969 条約等ニ付廻状写　16.24—5
手写
1通　16.5cm
安政条約の廻状。

1970 上使御老中水野和泉守殿上意振写　16.24—6
手写
1通　18cm
寛応2年（1866）隠居願受理と家督相続上意を伝えたもの。

1971 公儀書状　16.24—7
手写
3通　20cm
寒気見舞謝状，松平加賀守留守居役宛。

1972 大政一新ニ付口達書等　16.24—8
手写
3通　16cm
補相より各大名への口達写2通，行政官より版籍奉還勅許の通知写。

1973 牧野備前守書状　16.24—9
手写
1通　20cm
不破順命旧蔵。

1974 松平伊賀守書状　16.24—10
手写
1通　20cm
松平加賀守留守居役宛。

1975 金沢京師へ之御用状綴　16.24—11
手写　明治2年（1569）
240丁　25cm

1976 藩知事勅答文写　16.24—12
前田慶寧著
手写　明治2年（1869）
5丁　24cm

1977 金沢藩御届書綴　16.24—13
金沢藩編
手写　明治3年（1870）
17丁　25cm
前田従4位家族の死亡届や前田慶寧上京願，斉泰の東京居住願などの写。

1978 金沢藩知事前田慶寧御伺並達書　16.24—14
手写　明治4年（1871）

52丁　25cm
藩籍奉還，華族令などについて。

1979　政府への窺書並指令写　　16.24—15
手写　明治6年（1874）
6丁　24cm
家録10分の1削減などに関するうかがい並に指令。

特16.25　御　親　翰

1980　被仰出之品等抜書　　16.25—1
手写
4冊　24cm
寛文12年（1672）～元禄14年（1701）の御親翰の抜書帳。
① 寛文12年7月～天和2年12月
② 天和2年8月～元禄3年9月
③ 元禄3年10月～元禄13年8月
④ 元禄13年9月～元禄14年4月

1981　御親翰帳書抜　　16.25—2
手写
2冊　23.5cm
① 寛文12年（1672）～天和3年（1683）
② 天和3年12月～元禄4年（1691）9月

1982　被仰出之品等書抜　　16.25—3
手写
94丁　24cm
天和2年（1682）8月～元禄3年（1690）9月

1983　御真筆等写　　16.25—4
奥村栄実手写
10丁　23cm
延宝2年（1674）の家中宛，組頭宛の2通を収む。

1984　御親翰之写　　16.25—5
手写
98丁　24.5cm
延宝4，5年（1675，76）のもの。

1985　〔御真翰并御加筆之留帳〕　　16.25—6
奥村伊予・横山志摩編
手写　延宝5年（1677）
122丁　25cm
表題「御真翰并御加筆物御前へ上候節写置之」。
内容は寛文11年より延宝5年まで。

1986　御真翰御加筆之留帳　　16.25—7
手写　延宝9年（1681）
62丁　25cm

1987　御親翰之写　　16.25—8
手写
192丁　25cm
天和2年（1682）8月より同3年3月迄の分。

1988　御真翰写　　16.25—9
手写
24丁　12.5×19cm
内容年天和2年（1682）から貞享3年（1686）まで。御親翰のほか定書，触も収む。

1989　御親翰帳之内写　　16.25—10
手写
1通　15.5cm
貞享4年（1687）。

1990　御親翰写帳抜書　　16.25—11
手写　元禄元・2年（1688・1689）
2冊　24cm
① 元禄元年6月～11月
② 元禄元年12月～同　2年閏正月

1991　御親翰帳書抜　　16.25—12
手写
102丁　24cm
元禄3年（1690）10月～同12年（1699）7月分。

1992　御親翰之写　　16.25—13
手写
2冊　24.5cm
上，下巻とも宝永元年（1704）8月～同2年7

月。

1993 御親翰之写　16.25—14
手写
243丁　24.5cm
3冊の内中巻。宝永3年（1706）12月～同4年3月。

1994 御親翰幷御請之留　16.25—15
手写　明治年間
29丁　24cm
内容正徳元年（1711）～6年。

1995 御親翰帳之内跡目諸願之分書抜　16.25—16
手写
27丁　24cm
安永元年（1772）正月より9月まで。

1996 御親翰御請控等　16.25—17
手写
51丁　24cm
富田権六郎旧蔵。安永7年（1778）。

1997 御親翰留　16.25—18
高畠厚定手写　天明元年（1781）
4丁　11.5×17.5cm
高畠定辟旧蔵。

1998 御親翰写等　16.25—19
手写
127丁　23.5cm
延享3年（1746）～嘉永6年（1853）。

1999 御親翰帳抜書　16.25—20
11丁　12cm×18cm
中川典克旧蔵。天明9年（1789）～文政7年（1824）の家老中宛の親翰。

2000 年寄中等幷御家中一統へ被仰出候御書立等之控　16.25—21
奥村栄実編
手写
19丁　23cm
寛政元年（1789）11月，12月。

2001 御親翰帳之内書抜・雑之部　16.25—22
手写
138丁　23.5cm
寛政12年（1800）11月～文政6年(1823)12月。

2002 中将様御代御書立之覚　16.25—23
手写
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵。第1冊のみ。中将様は12代斉広
内容は享和2～3年家督相続当初の被仰出。

2003 江府御親翰帳書抜　16.25—24
前田家編輯方手写
69丁　23.5cm
奥村栄滋原蔵の写。享和3年（1803）～文化14年（1817）江戸在府中のもの。

2004 〔御親翰写等〕　16.25—25
手写　文化元年（1804）
1通　16cm　包紙入
馬廻頭・小将頭へ渡されたもの。

2005 御親翰帳之内書抜　16.25—26
前田家編輯方手写
11冊　23cm
奥村栄滋原蔵の写。
① 文政元年（1818）4月～文政6年5月
② 文政6年5月～天保元年5月
③ 天保元年8月～天保14年
④ 弘化2年3月～安政2年1月
⑤ 安政2年3月～安政5年11月
⑥ 安政6年1月～万延元年12月
⑦ 文久元年2月～文久2年12月
⑧ 文久3年1月～文久3年8月
⑨ 文久3年8月～文久3年12月
⑩ 慶応2年1月～慶応3年6月
⑪ 慶応3年7月～慶応4年（1868）9月

2006　御親翰帳之内書抜　　16.25—27
奥村栄通編
合綴1（9冊）　11×17cm
文政元年（1818）～慶応4年（1868）
① 文政元年（1818）より同13年迄
② 天保元年より年々於江府
③ 天保元年より同14年迄
④ 弘化2年より安政2年迄
⑤ 安政2年3月より同5年迄
⑥ 文久元年より同2年迄
⑦ 文久3年より同年12月迄
⑧ 慶応2年より同3年6月迄
⑨ 慶応3年7月より12月迄

2007　御親翰留　　16.25—28
手写　文政元年（1818）
458丁　23cm
文政元年（1818）～明治4年（1871），「但御請共」。

2008　御親翰拝写幷御請写下物　　16.25—29
中川貞矩手写　文政12年（1829）
15丁　12cm×18cm
中川典克旧蔵。
内容年代，文政元年（1818）～同7年（1824）
家老中宛。

2009　〔温敬公親翰案文〕　　16.25—30
手写
3通　26.5cm・17cm
温敬公は第13代藩主前田斉泰。家中半知借上および連年凶作にて勝手向逼迫につき。

2010　〔御親翰写等〕　　16.25—31
手写　文政5年（1822）
3通　15cm　包紙
寺社奉行，定番頭宛。家中に不心得の人多きにつき。

2011　〔御親翰写〕　　16.25—32
手写　文政5年（1822）
1通　16.5cm
御馬廻頭，小将頭宛。今般人多く咎申付候につき。

2012　〔御親翰帳之抜書〕　　16.25—33
手写
5冊　23.5cm
各冊とも表紙に「文政七年より天保八年御発駕迄，御親翰帳之抜書，六冊之内」とあり。
① 被召出候者新知組替御加増等惣而御充行之義等
② 役義被仰付幷被指除候者等，拝領物幷被下方長病人之せかれ代番等幷長病人病死跡之事
③ 寺社方之事，他国等町人御扶持願，御郡方年寄幷百姓御褒美等，屋敷之事
④ 流刑，閉門，減知，逼塞，遠慮，指控等，御叱，公事場御刑法方，人を致切害候者幷疵為負候者，軽キ者御停止を背候者，同心得違之者，身柄ニ而酔狂幷賊いたし候者，身柄ニ而自害仕損
⑤ 雑之部，同姓争未決之者，御家中之人々心得方被仰出之事，小松御城番之事，京都向等より御縁談之義申来候事

2013　御親翰内帳抜書　　16.25—34
中川典義編
手写
71丁　12×18cm
中川典克旧蔵。文政13年（1816）～天保3年（1832）。御家老留帳の内よりの抜書。

2014　御附方御親翰帳写　　16.25—35
前田家編輯方手写
102丁　23.5cm
奥村栄滋原蔵の写。内容年代，天保元年（1830～文久3年（1863）。

2015　江府御親翰帳書抜　　16.25—36
前田家編輯方手写
76丁　23.5cm
奥村栄滋原蔵の写。天保元年（1830）～同12年（1829）江戸在府中の書状。

2016　御親翰拝写　16.25—37
中川典義手写　天保４年（1833）
26丁　12.5×18cm
中川典克旧蔵。天明９年～天保７年（1836）の間の御親翰抜書。

2017　御親翰帳之内書抜　16.25—38
手写
３冊　24.5cm
天保８年（1837）～万延元年（1860）。各冊に「七冊之内」とあり。
① 小松，江戸詰等，出奔，亡気外出立帰候者間縮解等，喧嘩等，禁牢者等
② 雑（御省略，組入等，着服行粧等）
③ 役義被仰付幷差除候者等

2018　御親翰等御請控　16.25—39
奥村惇叙編
手写
25丁　20.5cm
内容は主に「御加筆物御請」。天保７年（1836）～10年（1839）。

2019　御親翰拝写等　16.25—40
中川典義手写
21丁　12×17.5cm
中川典克旧蔵。天保９年（1838）閏４月諸士風俗の儀につき被仰出。

2020　御親翰拝写且又頭々引取書共　16.25—41
富田外記手写
21丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。天保９年（1838）閏４月の諸士風俗の儀につき被仰出。

2021　御親翰拝写　16.25—42
手写
５丁　24cm
横山政和旧蔵。天保９年（1838）閏４月の諸士風俗の儀につき被仰出。

2022　御親翰写　16.25—43
中川典義手写
１通　17cm
不破順命旧蔵。13代前田斉泰より年寄中宛。戌閏４月とあり，天保９年か。諸士風俗の儀につき。

2023　御親翰拝写　16.25—44
中川典義手写
８丁　12×18.5cm
中川典克旧蔵。天保９年(1838)４月の被仰出。

2024　御親翰写等　16.25—45
手写　嘉永５年（1852）
４通　15cm　包紙
諸士風俗の儀につき御親翰写。子７月の三組頭へ演述の書取，同請書控。嘉永５年６月の御用番奥村内膳の申渡覚書。

2025　御意之趣書抜　16.25—46
猪山某手写
75丁　24cm
内容年代は嘉永７年（1854）正月～慶応４年（1868）10月，安政１～３年のものもあり。

2026　地震ニ付御親翰拝写　16.25—47
石黒嘉左衛門手写
１通　15.5cm　包紙
安政２年（1855）10月10日の被仰出。

2027　御親翰帳　16.25—48
手写
９冊　23.5cm
ただし第６冊を欠く。
① 安政３年（1856）７月～文久３年11月
② 元治元年正月～同　12月
③ 元治２年正月～同　12月
④ 慶応２年正月～同　７月
⑤ 慶応２年８月～同　12月
⑥ 慶応３年８月～同　12月
⑦ 慶応３年11月～同　12月
⑧ 慶応４年正月～同　３月

⑨ 明治元年4月～同 (1868) 6月

2028 御親翰等拝写　16.25—49
手写
4丁 24.5cm
安井顕比旧蔵。文久2，3年 (1862，1863) の被仰出。

2029 御親翰等留　16.25—50
手写
5丁 18×12.5cm
内容は，方今の時勢につき文久3年 (1863) 7月14日の被仰出。

2030 御親翰帳之内書抜附録　16.25—51
奥村栄通編
前田家編輯方手写
2冊 23.5cm
奥村栄滋原蔵の写。上下2冊。上巻は文久3年7月～10月。下巻は文久4年正月～4月。

2031 御親翰帳書抜　16.25—52
手写
4冊 24.5cm
各冊「八冊之内」とあり。内容は，文久元年 (1861) ～慶応3年 (1867)。
① 御家雑，御法事，富山大聖寺，年寄中等，御家中風俗等，御借知等，寺社方，自他国町人歴御御郡方之者御扶持被下候義等
② 小松，江戸詰等，出奔幷亡気外出立帰候者間縮解等，喧嘩等，禁牢者等
③ 縁組，養子，御屋敷，病気ニ付御宛行指上御暇願
④ 役儀被仰付幷被差除候者等

2032 御親翰帳　16.25—53
執政席編
手写 明治2年 (1869)
378丁 24.5cm
明治2年2月～8月の分。

2033 御親翰留　16.25—54
手写 明治3年 (1870)
91丁 24cm
正月～12月の分。

2034 御親翰類十二種　16.25—55
前田家編輯方編
編者手写
2冊 23.5cm
横山政和・横山隆平・横山隆章・前田内匠助・横山政孝原蔵の写。
① 組分御用之義ニ付御親翰等，組外御番頭へ被下御親翰等，御書之留，御軍粧等之儀ニ付御親翰之留，御親翰帳之内等抜書
② 金竜公御親翰留三種，金竜公御教諭之趣，御親翰御趣意書等，御親翰拝写等二種

2035 御親翰等之写　16.25—56
手写
66丁 8cm×18cm
富田権六郎旧蔵。内容は天和，貞享期のもの。ほかに在国中火事の定，藩臣の祿高の覚も収む。

2036 御親翰幷御定書之内　16.25—57
手写
32丁 20.5×13.5cm
富田権六郎旧蔵。内容は元祿～明和期のもの。

2037 被仰出之品三様合記　16.25—58
手写
46丁 23.5cm
脇田尚保旧蔵。内容は「被仰出之趣書立」(文政3年)，「御国并三都御入用図り」，「御請」(文化7年)，「拝借被仰付節御書出等之写」(自寛文5年至延宝5年)。

2038 御大横目へ被仰出覚書　16.25—59
手写
巻子 1通 28cm
中川典克旧蔵。

2039 御親翰写　16.25—60
手写
1通　15cm
前田筑前守より長大隅守宛。元治元年（1864）禁門の変に際してのもので，7月22日付，7月24日付，8月3日付。

2040 御印物并覚　16.25—61
10丁　25cm
中川典克旧蔵。酉3月27日付横目役につき。

2041 〔御親翰請書写〕　16.25—62
手写
仮綴1（9通）　25cm

2042 御親翰帳書抜　16.25—63
手写
51丁　23.5cm
御親翰帳などを照合して文言の異同を調べ，考証している。

特16.26 職　　制

職制一般

2043 藩国官職通考　16.26—1
湯浅祇庸著
手写
5冊　23cm
加賀藩制における役職の起源，沿革，役名の始まりなどを詳しく，資料によって調べたもの。巻序が連続しないのは，完成前の稿本の写の故であろう。第1本には，富田景周・森田良見および校合者横山政和の注記がある。文化9年成立。
① 巻1　御年寄衆諸御役
　巻2　人持組諸御役
③ 巻3　諸頭一
　巻4　諸頭二
③ 巻5　諸頭三
　巻6　諸頭兼役
④ 巻4　平士五奉行・御近習役
　巻5　諸士諸奉行
⑤ 巻6　遠所諸奉行
　巻7　諸場横目・平士諸役

2044 旧記御定写　16.26—2
御家老席編
手写
10丁　20cm
職制別の職掌事項を記す。

2045 寛文中役割等　16.26—3
手写
仮綴1（16通）　12.5cm
寛文年中の藩士の役職（町廻，御膳所，御馬廻等）。

2046 年寄中初諸役人夫々支配之帳　16.26—4
手写
14丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。年寄中その他役支配の役職名。

2047 金沢江戸御平生等御合紋帳　16.26—5
手写
27丁　14cm×22cm
人持，組頭，御細工所，非人小屋など全ての紋を絵図にて示す。

2048 与力指物目印紋之定　16.26—6
手写
1通　16.5cm
中川典克旧蔵。足軽組のうち，三組の分の定。

2049 職制改正布令留　16.26—7
前田家編輯方手写　明治2年（1869）
8丁　25cm
戸水信義旧蔵の写。職制改正と身分御取扱振りについて。

2050 職制改正諸達書　16.26—8
手写　明治2年（1869）
41丁　24.5cm
明治2年（1869）の藩職制改正記録。御算用場

が民政寮，会計寮に，改作所が御農局に，産物方が商法局に改正され，その職掌部分を記載す。

2051　職制御改正一巻　　16.26—9
武鑑方編
手写　明治２年（1869）
108丁　24cm
職制改正と身分振りについて記す。

2052　金沢藩職制　　16.26—10
手写
７丁　26cm

2053　家司職制　　16.26—11
永山平太編
手写
６丁　24cm
前田家の家令，家扶，家従の職務分担内容を記す。

2054　御支配方諸事留帳　　16.26—12
手写　明治３年（1870）
72丁　25cm
士族，卒族の称を定めた当時の，身分編成に関する支配方関係の届，許可の帳簿。

2055　諸士支配方取捌留　　16.26—13
手写
121丁　23.5cm
藩士の勤仕，賞罰，相続などに関する取扱方法や書式を63項目にわたり，具体例を掲げて列挙したもの。年代は藩政期全般。

（番　　割）

2056　江戸御屋舗御番帳写　　16.26—14
手写
25丁　23.5cm
中川典克旧蔵。江戸本郷邸の昼夜の警衛詰人，泊番人の時刻，部署責任者など勤務割当を記したもの。亥四月は寛文11年（1671）か，万治２年（1659）である。

2057　諸役人月番表　　16.26—15
手写
66丁　23.5cm
内容は，文政10年（1827）より天保７年(1836)に至る。御用番，城代以下，諸奉行，諸頭の月番表。

2058　村井又兵衛月番停止之達書　　16.26—16
手写
１通　16.5cm
前田土佐守宛。

2059　諸役前録　　16.26—17
手写
８丁　24cm
内容は，弘化（1844）以後の，年寄役の月番による御用順番を記したもの。

2060　三之御丸等御番割次第　　16.26—18
手写　文化３年（1806）
22丁　７×17.5cm
内容は，三の丸や橋爪御門，土橋御門，七拾間長屋御門，金谷御門を含む番割方を記す。

2061　三之御丸御番割帳　　16.26—19
手写　文化６・７年（1809・10）
54丁　８×18.5cm
内容は，三の丸・橋爪御門・土橋御門・七拾間長屋御門・金谷御門・御本丸・東御丸・薪御丸・石川御門・河北御門の番割帳。
未筆にて御門番勤役者の所属組頭名あり。

2062　出番引番書付名書　　16.26—20
前田家編輯方手写
５丁　25cm
内容は，藩士の出番，引番書付の名前を羅列している。

2063　御城中五ケ所四番御番割概　　16.26—21
手写

1通　24cm

2064　御番之次第　16.26—22
手写
6通　24cm.
番割留。

2065　泊番定書　16.26—23
手写
1通　17cm
一番（4人）と二番（4人）に分け，各2人づつ相勤めるよう定めたもの，3月12日付。

役　　所

2066　金沢城二ノ丸御殿御次内亘細絵図　16.26—24
手写
絵図1枚　176×243cm
「御造営之頃之図」とあり，詳細な間取り図である。二の丸の全図でなく，表向の部屋は記されていない。

2067　金沢城二之丸転席方絵図　16.26—25
手写
絵図1枚　76×53cm
間取図，部屋名など記入。

2068　金沢城土橋御門并御番所絵図　16.26—26
手写　天明8年（1788）
絵図1枚　彩色　40×28cm
「天明八歳戊申四月十一日，土橋御門并御番所絵図，御絵図写，菅原（高畠）厚定所持」。

2069　橋爪御馬廻御番所図　16.26—27
手写
絵図1枚　68×97cm

2070　金谷御番所并七疋建御厩等絵図　16.26—28
手写
絵図1枚　彩色　26×38.5cm

2071　金沢城下台所并会所割場等絵図　16.26—29
手写
絵図1枚　彩色　75×87cm
建物配置図。場所は今の黒門（西町口御門）をあがったところ。西町口御門とは，現在，理学部，教養部のあるところ。

2072　公事場絵図　16.26—30
手写
絵図1枚　120×66cm
高畠定辟旧蔵。

2073　御算用場絵図　16.26—31
前田家編輯方手写　明治43年（1910）
絵図1枚　46×70cm
安政元年（1854）に山田氏所蔵の絵図を写し，安政4年（1857）に修補を加えたものが，戸水信義蔵本となり，さらに，明治43年（1910）に編輯方が写したもの。

2074　今石動御役屋敷平図　16.26—32
富田外記著
手写　寛政10年（1798）
絵図1枚　84×100cm
富田権六郎旧蔵。

2075　魚津役屋敷絵図　16.26—33
手写　弘化3年（1846）
絵図1枚　27×40.5cm
富田権六郎旧蔵。

2076　輪島馬廻屋敷見取絵図　16.26—34
手写　安政5年（1858）
絵図1枚　彩色　66.5×46.5cm
本多政養旧蔵の写。輪島における馬廻屋敷，足軽組屋敷の位置を示す。

2077　輪島御馬廻十軒屋敷見取図　16.26—35
手写　文久3年（1863）
絵図1枚　34×56cm
本多政養旧蔵の写。

2078　金沢城作事所絵図　16.26—36
手写　嘉永5年（1852）
絵図1枚　53×72cm
「嘉永五年九月御仕法ニ付補理替絵図御達控」。作事所修築の際に作成されたもので，貼紙に敷地計画を示している。

2079　金沢城御作事所絵図　16.26—37
絵図1枚　彩色　48×72cm
作事所構内の配置図。

2080　作事木小屋等之図　16.26—38
手写
絵図2枚　27.5×40.5cm

2081　金沢城金谷御厩図　16.26—39
手写
絵図1枚　彩色　28×40cm
高畠定辟旧蔵。配置図。

2082　御鷹部屋見分詮議留　16.26—40
手写　天保6年（1835）
28丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。鷹部屋の建築設計書（材料や部屋の間敷などを記してある）。それに，鷹部屋の修覆費の入用書きあげを附す。

2083　三之御丸御番所図　16.26—41
手写
絵図1枚　77×111.5cm
10分の1縮尺側面図。

2084　石川河北御門足軽番所図　16.26—42
手写
絵図1枚　47×80cm
縮尺10分の1の側面図。

2085　尾坂足軽番所妻図　16.26—43
手写
絵図1枚　62×83cm
10分の1の切妻絵図。尾坂門は金沢城新丸へ通ずる大手口の門。

2086　御作事所御歩横目交代御貸家図　16.26—44
手写
絵図1枚　23.5×30cm
渡辺庸旧蔵。11坪半の間取り図。

2087　三之御丸腰掛図　16.26—45
手写
絵図1枚　72×86.5cm
10分の1縮尺側面図。腰掛は従者の控所。

2088　御奉行所腰掛台見取絵図　16.26—46
手写
絵図1枚　24×36cm
腰掛台の寸法のみ記す。

役　人　附

（組　分　け）

2089　金沢人持五組長　16.26—47
手写
23丁　24cm
脇田尚保旧蔵。末尾に，延宝6年（1678）正月2日付と記す。組中の者の役付，知行高，歳付を記す。

2090　人持組分より仰付候留　16.26—48
手写　元禄14年（1701）
11丁　12×18cm
人持組の組分け，および各個人の禄高を記す。

2091　人持組々分名書　16.26—49
手写　元禄14年（1701）
1通　16cm
前田貞醇旧蔵。人持組（大隅守組，主殿組，左衛門組，対馬組，壱岐組，出雲組，伊予組）。

2092　本多播磨守跡組交名帳　16.26—50
手写
10丁　7.5×19.5cm

2093 大小将六組総帳等　16.26—51
前田直躬手写
49丁　23cm
内容は天和2年（1682）から元祿13年（1700）に亘る。

2094 大小将同日書前録　16.26—52
手写
84丁　27cm
内容は，万治2年（1659）から慶応3年(1867)にわたる。

2095 大小将略譜　16.26—53
手写
44丁　23cm
神保氏旧蔵。内容年元祿15年（1702）から宝暦8年（1758）に亙る。

2096 大小将組前録　16.26—54
手写　宝歴10年（1760）～慶応4年（1768）
97丁　12×18cm
小木貞正旧蔵。年毎に，石高，氏名を記し経歴を附記してある。

2097 御大小将名列　16.26—55
手写
12丁　7×17.5cm
横山隆太旧蔵。天保8年（1837）より元治元年（1865）迄。石高，氏名を記し，住所を附記。

2098 御馬廻頭早繰　16.26—56
手写
7冊　23cm
脇田尚保旧蔵。
① 年中行事惣目録（正月年頭御作法之覚から12月献上目録江戸へ遣一件まで）
② 諸願之分（跡目，縁組，寺替など64項目）
③ 宝暦八年三輪藤兵衛組留帳ノ内など
④ 会所銀御政法之覚など
⑤ 御馬廻組頭被仰付候一巻ほか25項目
⑥ 御城代より組頭へ被相渡候御定書ほか26項目
⑦ 御知行割御定書ほか112項目。

2099 御馬廻十二組碁割　16.26—57
横山政孝編
自筆　文政元年（1818）
1枚　83×121cm
縦に12の組別，横に石高別（1500石以上，1000石以上，800以上，500以上，450以上，300石以上，200石以上，150石以上，数の外，当分支配に区分）の一覧表を作成し，石高，氏名を記す。石高氏名は，黒字，赤字，黄字，青地で区別してある。

2100 御馬廻十二組碁割　16.26—58
手写　嘉永7年（1854）
1枚　83×120cm
記載形式は，前書に同じ。

2101 御馬廻十二組碁割　16.26—59
手写　天保9年（1838）
1枚　55×80cm
縦12の組別，横は石高別に一覧表を作成し，石高，氏名を記す。

2102 御馬廻役名書　16.26—60
手写
1通　24cm
小松御馬廻，魚津御馬廻，輪島御馬廻，正院御馬廻に区分して，氏名を列記した一覧表。

2103 御馬廻組知行幷人数覚　16.26—61
手写　弘化3年（1846）
1通　24.5cm
中川典克旧蔵。馬廻組12組，定番御馬廻8組，および組外4組の惣知行高，惣人数高を記す。

2104 定番御馬廻八組碁割　16.26—62
野坂淡翁編
自筆　天保9年（1838）
1枚　41×40.5cm
中川典克旧蔵。定番御馬廻8組に属する藩士の石高と氏名一覧表。

2105　定番御馬廻八組碁割　16.26—63
手写　嘉永7年（1854）
1枚　56×40cm
定番御馬廻八組に属する藩士の石高と氏名一覧表。

2106　定番御馬廻八組碁割　16.26—64
横山政孝編
手写　嘉永7年（1854）
1枚　60×80.5cm
内容同前。

2107　定番御馬廻衆歳附所附帳　16.26—65
手写
3丁　9×18cm
富田権六郎旧蔵。馬廻組衆の交名帳（組頭の死去により，交替した組頭へつけられた組衆の年令，住所を記す）。

2108　新番組御歩名書　16.26—66
手写　嘉永3年（1850）
1通　16cm
武芸達者の故をもって新番組に加増，採用されたものの氏名。

2109　〔延享四年組分帳〕　16.26—67
前田中務編
手写
41丁　23.5cm
内容は延享4年（1747）。御馬廻，定番御馬廻，組外の組分の留帳。
旧書名「組分帳」

2110　組名帳　16.26—68
手写
44丁　23.5cm
内題に「寛政八丙辰歳十月改ル，寛政十三年六月十三日迄，改元享和元年手切改ル」とあり，また，原本に「山岸氏」とあり。人別に扶持，年令，氏名，略歴，且那寺，受人名を記す。そのあと「寛政十三年申二月廿三日改」「享和2年戌七月廿日改」人数を記す。

2111　御馬廻組外一件　16.26—69
横山蔵人・篠原監物著
手写　文政元年（1818）・嘉永7年（1854）
2冊　24cm
御馬廻，定番御馬廻，組外の組分けを記す。

2112　支配頭分幷御儒医記　16.26—70
中川典義著
自筆　文政11年（1828）
6丁　4.5×20.5cm
中川典克旧蔵。組外御番頭，御使番，頭並，儒者，医者などの扶持高と氏名を収載。

2113　組名列　16.26—71
手写　慶応3年（1867）
3丁　10×20.5cm
横山隆太旧蔵。24名分の石高，年令，氏名を貼付したもの。

2114　組別役名等　16.26—72
手写
16丁　12×18cm
組列，役名，隠居ならびに子息宛行の事を記す。

2115　平侍役懸組之人高数之内外覚　16.26—73
有沢惣蔵著
手写
1通　17cm

2116　三十人組幷手木組人数充行高帳　16.26—74
薄井丹助・山瀬武部兵衛・松本三右衛門共編
手写　明治2年（1869）
9丁　240cm
原題は「三十人組小頭等三十人組之者幷御手木頭同足軽人数御充行高帳」

2117　三十人組小頭等人数御切米等附帳　16.26—75
藤田新左衛門・名越市郎左衛門・高木孫助・河辺八右衛門共編
手写　文政9年（1826）
8丁　12×18cm

富田権六郎旧蔵。文政11年（1828）朱入。

2118　六組御歩人高帳　16.26—76
富永数馬等・北川久兵衛・遠藤紋太夫・前田源兵衛・里見孫太夫・稲垣与三右衛門共編
手写
21丁　24cm
内容年代，享保13年（1728）

2119　御歩並留　16.26—77
田辺仙三郎著
自筆　明治2年（1869）
212丁　24cm
内容は，御歩各人の年中切米高，年令，氏名を記す。なお裏文書あり。

2120　御歩行横目役懸之覚　16.26—78
手写
1通　25cm
12月7日付，津田源右衛門・中川八郎右衛門・多賀左近の署名。

2121　御歩横目之覚　16.26—79
手写
仮綴1（13通）　25cm
中川典克旧蔵。

2122　与力方御親翰等之控　16.26—80
手写
298丁　24cm
中川典克旧蔵。元禄13年（1700）～享保5年（1720）間の与力方の御親翰，遠書，諸届，諸願，任免，由緒書等の記録。

2123　富田次部左衛門与力之内自分仕度旨奉願一巻寄帳　16.26—81
手写
58丁　25cm
中川典克旧蔵。内題は「貞享三歳（1686）寅十月書付品々差上候副目録之内」

2124　与力等取捌一件　16.26—82
前田家編輯方手写　明治年間
70丁　23cm
享保18年（1733）～宝暦12年(1762)間の記録。

2125　同心壱巻覚書　16.26—83
手写　寛政3年（1791）
6丁　26cm
与力，同心設置の件に関する文書。

役　懸　り

（一　般）

2126　前録貞一覚書　16.26—84
前田貞一編
自筆
17丁　9×17cm
歴代の家老，若年寄，大老，公儀御用，御城方御用，小松城代，叙爵の次第について，就任年，氏名を記す。文政6年（1823）まで。前田貞醇旧蔵。

2127　御家老若年寄前録　16.26—85
手写
6冊　23cm
貞享3年（1686）から文政11年（1828）にわたる加賀藩家老・若年老名と各人の役歴など。

2128　家老若年寄等前録　16.26—86
前田家編輯方手写　明治年間
58丁　23.5cm
前半は「御家老」38丁，本多政以旧蔵の写。後半は「前録貞一覚書」（家老若年寄等前録）20丁，前田貞醇旧蔵の写。

2129　諸頭前録目録　16.26—87
手写
105丁　8×17cm
元禄期から嘉永期までの諸頭に任命された藩士一覧。

2130 諸頭前録拾遺　16.26—88
手写
2冊　23cm
中川典克旧蔵。諸頭，番頭に任命された藩士名

2131 諸頭全録之内　16.26—89
手写
139丁　27cm
諸頭を役別に列挙したもの。藩末以前の部分はいずれも写しであって，実際の書きつぎは慶応年間のもののみ。

2132 護国公時代役懸帳　16.26—90
前田家編輯方手写
105丁　23cm
護国公は，6代藩主吉徳。

2133 享保二十年役附　16.26—91
前田家編輯方手写
52丁　23cm

2134 勤方役掛控　16.26—92
享保20年（1735）
30丁　8.5×18.5cm
23の役職別に人名を記し，朱字で料知を書。

2135 役懸帳　16.26—93
手写
64丁　15×20cm
内容年代は，享保～延享頃か。
1番御近習，2番御広式，3番年寄中執筆役，御褒者番附御進物裁許，御用人，御寺方御名代，寺社奉行附取次，4番公事場，5番御算用場，6番町奉行，7番御普請会所，8番御作事所，9番会所，10番割場，11番小松御城番，火消，宗門改，鉄砲役，12番御弓方，13番御鉄砲方，14番盗賊改，喧嘩追掛者役，聞番，御判物方，御倹約，御貸銀，15番御台所，御細工奉行，御厩方，大手奉行，諸方御土蔵奉行，堂形，表御納戸，御武具，御書物，南御土蔵，御祐筆，16番御横目，新番小頭，三拾人頭，坊主頭，御茶堂，御徒小頭，定番小頭，17番御鷹方，18番当国御郡奉行，宮腰，小松，本吉，19番能州御郡奉行，所口町奉行，20番今石動等，高岡，魚津，砺波，射水御郡奉行，吉久，新川郡奉行，同郡加弥山裁許，東岩瀬御代官，越中境奉行，21番別宮口留御用，木滑口，河原山口，22番京都御屋敷詰人，大坂，大津，23番江戸御広式御用，御中屋舗御広式番，江戸御中屋敷御横目，24番預玄院様附，神田御前様附，亀次郎殿附，佐渡守様附，繁姫様附，桜田御前様附，勢之佐殿附，嘉三郎殿附，金谷御殿御用。

2136 役掛帳　16.26—94
手写　延享元年（1744）
60丁　23cm

2137 諸役名書　16.26—95
手写
文政元年（1818）
1通　16cm

2138 支配之人々役懸帳　16.26—96
手写　文政13年（1803）
15丁　6×17cm
成瀬正居旧蔵。

2139 御役人附　16.26—97
成瀬正敦編
前田家編輯方手写　明治年間
52丁　23.5cm
「天保三年辰三月改之」の役人附（奉行代官等）
成瀬正敦は当時御算用場奉行。

2140 諸役交名調理帳　16.26—98
手写
21冊　16×23cm
① 総御帳面呼出
② 総与力
③ 火消方御合紋並道具
④ 諸組人高等帳
⑤ 筑前守附
⑥ 金沢町奉行等交名
⑦ 役儀御免許頭分等交名
⑧ 大小将組幷用番支配

⑨ 馬廻組上
⑩ 馬廻組下
⑪ 定番馬廻組
⑫ 人持以上
⑬ 定番頭等交名
⑭ 三奉行等交名
⑮ 大組頭等交名
⑯ 御先手物頭等交名
⑰ 先弓筒頭等交名
⑱ 横目使番等交名
⑲ 御横目御使番等交名
⑳ 台所奉行等交名
㉑ 組外四組并用番支配

2141 諸役懸帳　16.26—99
手写
76丁　25cm
前田貞醇旧蔵。役をイロハ順にならべ，その役の藩士名を一見して判るようにしてある。

2142 御役并知行等仰付控　16.26—100
手写
仮綴1（6通）　12×18cm
早川随勝旧蔵。加州郡奉行，砺波射水郡奉行，新川郡奉行，高岡町奉行，魚津町奉行，境奉行，能州郡奉行，能州所口町奉行，小松町奉行，宮腰町奉行，松平，不破，山崎，与力など藩末期のもの。

2143 諸役人附帳并格帳　16.26—101
手写
50丁　12×18cm
諸役人附と諸役御格帳。

2144 役懸帳　16.26—102
加賀藩編
手写　明治元年（1868）～3年（1871）
3冊　26cm
① 御近習御用，御膳奉行，奥納戸奉行，表納戸奉行，御書物奉行等，南土蔵奉行，御祐筆御判物方御用，二ノ御丸御広式，多慶若様御附，金谷御附，年寄中席執筆等，御家老方執筆，御用所執筆，御奏者番，御寺方御名代，定火消役，所々請取火消，寺社奉行，公事場奉行，御算用場奉行，出銀奉行等銀手形引替奉行，小払奉行，金銀入立奉行，大加弥奉行，諸方御土蔵奉行，炭薪所御用，御算用場御勝手方，産物方御用，定検地奉行，堂形奉行，町奉行，御作事方御用等，会所奉行，割場御用等，学校御用，壮猶館，御筒製造奉行，製薬奉行，弾薬奉行，御筒奉行，御軍艦方，当国盗賊改方，火事之節盗賊改方，聞番，御料理頭等，御細工者頭，御馬奉行等，御武具奉行，新番御歩小頭，三十人頭，坊主頭等，御茶堂，御歩小頭，定番御歩小頭，御歩横目等，大筒方御歩小頭，御鷹方，改作奉行等，加州御郡奉行，能美郡御代官等，金石町奉行等，松任町奉行，小松町奉行等，本吉，所口，輪島，正院，能州御郡奉行等，宇出津，今石動等，高岡町奉行等，魚津，新川御郡奉行等，吉久，砺波射水御郡奉行等，境井所々口留，京大坂，稠松様御附，寿正院様御附。
② 藩庁，大参事，権大参事，権少参事，二等主簿，一等書史，公務局，会議局，庶務局，監察局，学政寮，軍政寮，文学局，武学局，海軍局，艦長，陸軍局，鋳砲局，弾薬局，兵器局，民政寮，郡治局，市政局，勧農局，理財局，商法局，営修局，刑獄寮，捕亡局，上士頭等，大隊長等，割場御用，家令。
③ 文学局，武学局，海軍局，陸軍局，鋳砲局，弾薬局，兵器局，民政寮，会計寮，郡治局，市政局，勧農局，理財局，営修局，捕亡局，上士頭等，商法局。

2145 御家中御裁許外諸事御用　16.26—103
手写
29丁　12×18cm
年寄，城代以下，諸奉行，諸裁許，代官などの役人名寄。

（奏者番・使番）

2146　御奏者番先録　　16.26—104
手写
10丁　11×16cm
成瀬正居旧蔵。内容は寛文元年（1661）から明和3年（1766）にいたる。寛文元年設置以来の奏者番の年度別名簿。

2147　御使番等知行高歳附帳　　16.26—105
手写
6丁　12×18cm
中川典克旧蔵。御使番，御番頭役などの氏名，年令，知行高，役料知等を書きしるす。

2148　御側附人役懸表　　16.26—106
手写
1通　31cm
中川典克旧蔵。安芸御前様・因幡御前様・栄君様の3人の附人表で，物頭，御用人，御台所頭などにわけて，附人の名前をそれぞれ書きあげたもの。三者共綱紀の女。

2149　御近習役掛并勝千代様御附等　　16.26—107
手写
15丁　12×18cm
前田道益旧蔵。内容は，寛政7年（1795）から文化10年（1813）にいたる近習御用，近習頭，奥小将，表小将，近習詰，近習番，奥納戸奉行，御膳部歩横目，奥小将御歩横目，勝千代（前田斉泰）様御付頭，同御側小将，同御抱守の歴名と任命日付を列挙したもの。

2150　御側廻之人々目形帳　　16.26—108
手写　文政8年（1825）
4丁　11×18cm
21貫200匁から，11貫目まで体重の重い順に記されていて珍らしい。

2151　勝千代様御附被仰付　　16.26—109
手写
1通　15.5cm
文政2年（1819）か。藤田求馬・関屋中務を御附に任じ，河村弥右衛門・中村武兵衛に，御附御大小将番頭を仰付け，武田善右衛門に御附大小将横目を，仰付けていることが知られるが，後欠文書，勝千代は前田斉泰。

2152　御住居御附方名帳　　16.26—110
手写　文政13年（1830）
15丁　12×18cm
横山政和旧蔵。「御住居」（斉泰夫人）御附の役人（用人，用達，医師，御侍，住居番，勘定役，横目足軽，品々御用役，坊主，小者，手木小頭，料理人，同心等々）の名を記したもの。

（公　事　場）

2153　公事場奉行相勤候人々名前覚帳　　16.26—111
手写
21丁　12×18cm
高畠定辟旧蔵。内容年寛永18年（1641）より文化元年（1804）にわたる。表紙朱筆がき「寛政二庚戌六月朔日御用番本多玄蕃助殿公事場御用番品川主殿被呼出前々より公事場奉行相勤候者之名前調出候様被申渡則留書へ申渡為相調帳面ニ仕立六月十日品川主殿より御用番本多玄蕃助殿へ相渡候帳面写」とある。

2154　公事場奉行前録　　16.26—112
手写
19丁　12×18cm
寛永から天保初めまで。附寺社奉行兼帯。前田栄次郎旧蔵。

2155　公事場御用之儀ニ付泰雲院様ヨリ被下候御親翰并御請写　　16.26—113
手写
9丁　16×24cm

2156　公事場役人名簿　　16.26—114
有賀某編
自筆
1通　8cm
成瀬正居旧蔵。寛政より天保迄の公事場役所役人名列。

天明元年（1781）の御親翰，書出等の留。横山隆幹旧蔵。

2157　公事場奉行被仰付候一件等　16.26—115
手写　慶応4年（1868）
6丁　24cm
公事場奉行，公事場懸りの交名。

（算　用　場）

2158　役員交名帳二種　16.26—116
手写
54丁　23cm
北村愛三郎旧蔵。元和至文政御算用場奉行交名帳。延宝至文政御算用者小頭後交名帳。貞享元年諸役附帳。

2159　御算用者名列帳　16.26—117
手写　嘉永6年（1853）
5丁　12×18cm
中川貞正旧蔵。内容は寛文12年（1672）。弘化4年（1847）の湯浅祇庸（弦斉）の写本を転写したもの。

2160　御算用者小頭等名列帳　16.26—118
手写
10丁　7×18cm
成瀬正居旧蔵。内容は享保から寛政期にわたる。

2161　御算用者小頭幷御算用者知行高等人数覚帳　16.26—119
手写　寛延4年（1751）
9丁　8×18cm
富田権六郎旧蔵。

2162　御算用者小頭・同小頭並・御算用者人数帳　16.26—120
手写
16丁　8×18cm
成瀬正居旧蔵。内容は宝暦から寛政期にわたる。

2163　二之御丸幷御算用場等役人交名帳　16.26—121
手写
16丁　8×18cm
成瀬正居旧蔵。

2164　御算用者住所記　16.26—122
手写
7丁　11×17cm
成瀬正居旧蔵。

（小　松　城　附）

2165　小松御城代幷御城番　16.26—123
手写　天明4年（1784）
5丁　8×18cm
成瀬正居旧蔵。万治2年（1659）より天明4年（1784）に至る小松城代ならびに小松城番の歴名帳。

2166　小松御城番之名書　16.26—124
前田矩正・織田主税編
手写　文政2年（1819）
19丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。延宝7年（1680）以降の小松城番の歴名を文政2年（1819）に整理したもの。その後文政8年(1825)まで書き継ぎあり。

2167　小松御城番交代等覚書　16.26—125
手写
12丁　12.5×18cm
内容年代，延宝7年(1768)～明和8年(1771)。

2168　小松御城番等年代　16.26—126
手写
2丁　12×18cm
文化12年（1815）までの覚書。

2169　〔小松城附足軽等歳附帳〕　16.26—127
手写　天明6年（1786）
11丁　25cm

旧書名「小松御城附足軽幷葭嶋居番人御切米高組分役附歳附帳」。小松城足軽。葭嶋番人の切米高と氏名，役名，年令を列挙したもの。

2170 〔小松城附足軽等歳附帳〕　16.26—128
手写　文化6年（1809）
11丁　24.5cm 旧書名「小松御城附足軽幷葭嶋居番人御切米高組分役附歳附帳」。

2171 〔小松城附足軽等歳附帳〕　16.26—129
手写
8丁　14×20.5cm
同前。前田貞醇旧蔵。旧書名「小松御城附足軽幷葭嶋居番人御切米高組分役附歳附帳」。

2172 〔小松城附足軽等歳附帳〕　16.26—130
手写　安政3年（1856）
9丁　24cm
旧書名「小松御城附足軽幷葭嶋居番人御切米高組分役附歳附帳」。小松城足軽，葭嶋番人の切米高と氏名，役名，年令を列挙したもの。

2173 〔小松城附足軽等歳附帳〕　16.26—131
手写　文久元年（1861）
8丁　24cm 旧書名「小松御城附足軽幷葭嶋居番人御切米高組分役附歳附帳」。

2174 小松御詰中役附　16.26—132
手写　明治2年（1869）
4丁　24cm
前田貞醇旧蔵。明治2年（1869）当時の小松城詰の諸役人の歴名。

（割　　場）

2175 御小人小頭幷御小人人数等帳　16.26—133
手写　明治2年（1869）
8丁　24cm
明治2年10月の123人の切米，年令，職務割，名前を書きあげたもの。

（細　工　所）

2176 加陽細工所始末　16.26—134
手写
38丁　20cm
今村氏旧蔵。「御細工所幷奉行之次第」，「御細工人之事」，「御細工所附足軽之哀」，「御細工所留書」など，延宝期までの比較的初期の細工所勤務者の沿革を記す。本書は延宝頃の成立か。

2177 御細工者本役兼芸歳附帳　16.26—135
前田家編輯方手写
22丁　25cm
藤田八郎兵衛等によって，文政9年（1826），11年（1828）に記された，細工方者共の扶持高と細工内容と兼芸内容の書きあげ。

2178 御細工者本役兼芸歳附帳　16.26—136
前田家編輯方編
前田家編輯方写手　明治年間
15丁　24cm
内容は，文政11年（1828）の細工者の扶持高と細工内容と兼芸内容の書きあげ。

（江　戸　方）

2179 〔江府支配方諸役人名帳〕　16.26—137
手写　元禄4年（1691）
7丁　9×19.5cm
旧書名　原題「勘解由内蔵助相達シ江府支配方諸役人名帳」。中川典克旧蔵。江府支配方の役名と役人名。

2180 〔江戸屋敷在住書〕　16.26—138
手写　享保6年（1721）
18丁　7.5×17.5cm
旧書名　原題「江戸詰人御上屋敷，御中屋敷幷御下屋敷在住書」。中川典克旧蔵。享保5年（1720）における江戸藩邸在住藩士の名簿。

2181 江戸表等人高御触抜書　16.26—139
御勝手方編
30丁　25cm
宇野富良旧蔵。延享年中（1744～1748）江戸詰人数倹約の規定。

2182 江戸屋敷詰等名書　16.26—140
手写
1通　15cm
上屋敷詰の役人名，中屋敷詰の役人名。
旧書名「御上屋敷詰等名書」。

2183 御在府中割場附足軽詰人名書帳　16.26—141
手写　文化8年（1811）
35丁　12×17cm
宇野富良旧蔵。

2184 御歩並以上御在府詰人名書　16.26—142
手写　嘉永2年（1849）
22丁　11.5×17cm
中川典克旧蔵。「但定府共」とあり，当時定詰人惣高2,186人。そのうち，266人の名あり。他は足軽，小者等詰高1,920人。

（そ　の　他）

2185 鉄砲奉行等名書　16.26—143
手写
1通　16cm
鉄砲，玉薬，薬合奉行名書。

2186 御台所奉行交名　16.26—144
手写　元禄12年（1699）
1通　16cm
元禄12年（1699），台所奉行へ提出された願書控。寛永～元禄にかけての台所奉行の名書と交代した年を記す。

2187 賄方役人同与力交名寄書　16.26—145
竹内五郎左衛門・伊藤平右衛門編
手写　元禄12年（1699）
1通　16cm
明暦元年（1655）より元禄12年（1699）至る，台所下裁許の歴名。

2188 御儒者・御医師・与力名書　16.26—146
成瀬正敦編
自筆
22丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。

2189 〔御厩方歳附帳〕　16.26—147
丹羽八郎左衛門・北川久兵衛編
手写　文政9年（1826）
4丁　12×18cm
原題「御厩方人々知行御扶持方御切米御給銀幷役儀歳附帳」。富田権六郎旧蔵。

2190 御鷹匠御餌指巣見鳥見幷自分共知行高切米高歳附帳　16.26—148
手写
3丁　7.5×17.5cm
中川典克旧蔵。享保6年（1721）の鷹匠知行高帳と鷹匠子供名書帳。

2191 御鷹方交名帳　16.26—149
手写
12丁　12×18cm
内容年文化11年（1829）。内題「御鷹匠，御鷹役，御歩並御餌指，御鷹巣見，御鳥見幷自分共知行高御切米高御扶持高等歳附帳」。

2192 御出入衆御間附幷坊衆名前　16.26—150
手写　文化10年（1813）
17丁　12×18cm
中川典克旧蔵。来客用の部屋（書院）付の役名と，その役についた人の氏名。また，その際における接待役など記す。

2193 遠所居住人等根帳　16.26—151
手写　明治3年（1870）
67丁　23cm
金石，本吉，辰巳，小松，今石動など，給金をもらっている士族の名を記す。

2194 越中国御蔵番御門番等名書　16.26—152
手写
3丁　24cm
氷見御蔵番，高岡古城御蔵番，御旅屋御門番，瑞龍寺掃除小者，東岩瀬御蔵番などの名簿。

役　　料

2195　八条姫君様被召仕御小人増御給銀付之帳　16.26—153

久世平助等編
手写　万治3年（1660）
2丁　25cm
久世平助は承応3年割場奉行となり，延宝5年定番御番頭となる。八条姫は三代藩主利常の娘富。寛永19年八条宮智忠親王の妃となり，寛文2年に歿した。

2196　他国割符鑑　16.26—154

手写　弘化3年（1846）
65丁　12×18cm
内容は，万治2年（1659）から文化期（19世紀前半）頃迄の他国往来についての定書写しと，御扶持方，知行出のこと，役料知のことを記す。

2197　役儀等御免拝領物　16.26—155

手写
37丁　25cm　1866
内容は文化8年（1811）～慶応2年（1855）の永年勤続に付いての勤務手当の記録。
旧書名「拝領物并役義御免」。

2198　役料御加増新知等覚　16.26—156

前田家編輯方編
編者手写　明治年間
19丁　25cm
前田直行蔵本の写。

2199　役替加増新知家督役掛等記録　16.26—157

手写
15冊　23cm
慶長元年（1596）より享保14年(1729)のもの。
① 慶長元年（1596）～延宝4年（1676）
② 延宝5年（1677）～元禄10年（1697）
③ 元禄11年（1698）～正徳元年（1711）
④ 正徳2年（1712）～享保8年（1723）
⑤ 享保9年（1724）～同　14年（1729）
⑥ 享保15年（1730）～元文4年（1739）
⑦ 元文5年（1740）～延享4年（1747）
⑧ 延享5年（1748）～宝暦6年（1756）
⑨ 宝暦7年（1757）～同　13年（1763）
⑩ 宝暦14年（1764）～明和7年（1770）
⑪ 明和8年（1771）～安永8年（1779）
⑫ 安永9年（1780）～天明5年（1785）
⑬ 天明6年（1786）～寛政2年（1790）
⑭ 寛政3年（1791）～同　11年（1799）
⑮ 寛政12年（1800）～文化3年（1806）

2200　道中日雇増銀之事　16.26—158

手写
1通　15cm
中川典克旧蔵。内容は道中にて逗留の節，一日当りの増銀について記す。

任　免・転　役

2201　村井出雲御城代被仰付帳　16.26—159

手写　元禄14年（1701）
2丁　24cm
村井出雲は老臣村井氏第5代井村親長，1万6,569石余，承応元年生れ。

2202　太梁公御親翰留御請控等　16.26—160

奥野主馬手写
9丁　23cm
明和8年（1771）の11代藩主治脩よりの書状請届控。親翰内容は，御算用場奉行指除きのことと，公事場奉行任命のことについて。

2203　前田姓壱人在番被仰付覚書　16.26—161

前田織江著
自筆　寛政6年（1794）
14丁　12×18cm
前田道益旧蔵。

2204　転役等留　16.26—162

前田家編輯方手写　明治初年
4冊　24cm
内容年代は，文化5年（1806）から文久3年（1863）にいたる。

2205 転役等品替之分　16.26—163
手写
260丁　25cm
内容は文化5年（1808）～慶応2年（1866）の記録。

2206 組替覚　16.26—164
手写
147丁　24cm
内容は，文化5年（1808）から慶応2年（1866）にいたる辞令集。

2207 山口源五郎願書写　16.26—165
手写　文政2年（1819）
2丁　12×18cm
病気につき役を免ずることを請うた願書。

2208 御細工方勤功願　16.26—166
手写
72丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。内容は天保3年（1823）の御細工方者どもの跡目願書き。

2209 御厩方勤功願　16.26—167
手写
7丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。内容年天保3年（1832）。

2210 御鷹方勤功願　16.26—168
手写
24丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。内容は天保3年（1832）の御鷹方役人の勤功願留。

2211 犬千代丸様御附等交代之節被下方　16.26—169
前田家編輯方手写　明治年間
4丁　24cm
天保6年（1835）成立，横山蔵人政孝手記より抜萃。

2212 奥御取次当分加人起請文前書写　16.26—170
手写
1通　24cm
不破順命旧蔵。内容年は万延2年（1861）。

2213 御沙汰書写　16.26—171
前田家編輯方編
手写　明治2年（1869）
45丁　23.5cm
明治元年（1868）～2年（1869）辞令。

2214 職制御改革之際辞令書　16.26—172
手写　明治2年（1869）
64丁　25cm
職制改正に伴う辞令発令書。

2215 御任官諸事留　16.26—173
手写　明治2年（1869）
93丁　25cm
中央政府からの大参事，少参事などの任官記録。

2216 御任官諸事留　16.26—174
手写　明治4年（1871）
25丁　26cm
横山隆起旧蔵。横山政和について，太政官からの任命，および，免官の達し記録。

2217 藤田平兵衛書状　16.26—175
自筆
1通　17cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛，今度横目被仰付云々。

2218 〔代役申渡書付〕　16.26—176
手写
2通　23cm
中川八郎右衛門，津田源右衛門より，1通は貝塚氏宛，他は中野及び不破氏宛。

2219 小幡右京届書　16.26—177
小幡右京著
手写
1通　26cm

咳気につき明日の出仕欠勤届，正月14日付，本多安房宛。

2220　江守九左衛門書付　　16.26—178
江守九左衛門著
自筆
1通　14.5cm
江守九左衛門より池田武兵衛宛，本日（5月28日）より野崎弥兵衛が出番の旨通知。

2221　遠所ニテ不計入用品覚書　　16.26—179
手写
9丁　12×18cm
広瀬知良旧蔵。本藤盛之助（作事所役人）が能州内浦の御蔵で癪にかかり，役を交代する。

2222　村井又兵衛宛御親翰写　　16.26—180
手写
1通　17cm
又兵衛病身につき上京供，執政，人持組免除されたことに関して記す。

2223　村井又兵衛請書　　16.26—181
村井又兵衛著
自筆
1通　17.5cm
多慶若様御用向兼帯免許の御親翰の請書。

2224　村井又兵衛書状　　16.26—182
手写
1通　16.5cm
前田右近宛の前田中務が病気につき小松城番免除を願ったもの。

2225　近藤松五郎稽古料申渡書　　16.26—183
手写
1通　15cm
近藤松五郎が大筒方御歩に召抱えられ稽古料50両を給されたことに関する定番頭宛の文書。

2226　野崎次兵衛達書　　16.26—184
野崎次兵衛著
自筆
1通　17cm
中川典克旧蔵。御家中面々一季居奉公人を採用するときは身元たしかなものを採用すべし。

2227　〔小林治部右衛門口上書〕　　16.26—185
手写
1通　17cm
奉公人庸人についての身分調について。

特16.27　勤　方　制　規

勤　方　一　般

2228　御定書写　　16.27—1
前田家編輯方編
編者手写
64丁　24cm
内容は万治元年（1650）から延宝4年（1676）にわたる公事場，寺社方，町会所，作事所，七尾，宮腰町奉行より出された法令の抜書。

2229　諸御定并仰出書　　16.27—2
手写
113丁　14×20cm
富田権六郎旧蔵。内容は，会所，御賄，諸事御定等の雑御定書を収録。内容年代は延宝年間から享保年間あたりまであり混在している。

2230　公用要鑑　　16.27—3
前田家編輯方手写
102丁　23cm
内容年代，元禄（1688）～享保(1735)。家来，捨子，御預ケ人，手討，喧嘩，養子，縁組等藩士の諸事にわたる事柄の規式を記す。

2231　支配方御条目帳　　16.27—4
成瀬正敦著
手写　天保7年（1836）
12丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。宝永3年（1706）から寛政4年（1792）までの支配方について，寛政4年「御

次江指上」げるものとして成立したものの手写。

2232 勤方纂 16.27—5
手写
2冊 23cm
享保17年（1732）～天保15年（1844）。
① 火消番勤方覚書幷心得，火消番勤方覚，定火消役古来ヨリ相勤候人々之覚，御用人勤方帳，指當勤方。
② 御奏者所留勤方之帳，御進物所勤方帳，二御丸御広式御鎖口番勤方帳，今石動御用勤方帳，今石動附足軽方帳，御横目足軽勤方書上帳，町肝煎勤方書上帳，算用聞勤方書上帳，今石動町家商人数書上帳，氷見町年寄勤方書上帳，氷見町肝煎勤方書上帳，氷見町総家数人数書上帳，土田義十郎勤方書上帳

2233 張出帳 16.27—6
手写
52丁 23cm
高畠定辟旧蔵。寛保3年(1747)～文政9年（1826)。横目を中心として勤方の内容を記す。

2234 外勤留 16.27—7
手写
114丁 23.5cm
59項の目録あり，御供方，諸役所向等につき記す，宝暦より天保期まで。

2235 於御国勤方之帳 16.27—8
手写
13丁 24.5cm
富田権六郎旧蔵。明和8年(1771)本多右門・生駒右膳・横山斉宮・大野木舎人，天明3年(1873)小幡式部・横山織部・大野木舎人，享保13年（1728）前田将監「於江戸勤方」

2236 於御国勤方之帳控 16.27—9
手写
12丁 25cm
成瀬正居旧蔵。

2237 奉行勤方 16.27—10
前田家編輯方手写
116丁 23.5cm
金沢町奉行勤方安永2年（1773），能州所口町奉行勤方天明3年（1783），越中境奉行茨木主殿留記天保7年（1836），御郡奉行並改作奉行取捌年中行事。

2238 従前々席張出之寄之内書抜 16.27—11
奥村栄通編
自筆
9丁 11×17cm
内容は享和元年（1801）～安政2年（1855)。御用番関係のもの。

2239 於御国勤方 16.27—12
竹田掃部等著
手写
7丁 24cm
竹田掃部・永原久兵衛・奥村源左衛門・奥野左膳・松平治部が御城詰番の勤方を書上げたもの。享和2年（1802）12月。

2240 袖裏規矩鈔等三種 16.27—13
奥村尚寛編
前田家編輯方手写
67丁 23cm
奥村栄滋旧蔵。袖裏規矩鈔，袖裏小録，袖裏漫筆（文化7年・8年の手記）

2241 勤向書上申帳 16.27—14
小西要助・吉竹金蔵著
文化13年（1816）
2丁 24.5cm
富田権六郎旧蔵。庄川御材木主附瞥三ケ所七木極印打渡方定役等の勤向を書上げる。

2242 私共勤向書上申帳 16.27—15
手写
7丁 24.5cm
富田権六郎旧蔵。内容は庄川御材木定役，御旅屋御土蔵番，町廻り等高岡町辈下の勤向を書上

げる。文化13年（1816）子4月，水落覚左衛門等13名の署名あり。

2243　金府勤方帳　16.27—16
手写
70丁　23.5cm
渡辺永一旧蔵。成立は文化末年頃。御寺御先詰方，御城中御供方，火叓御供方，披露方等，御鷹野御供方，御行歩御供方，御使用一巻，御番方等，諸叓勤方旧例，披露方等絵図。

2244　諸役向格縮方触留帳　16.27—17
手写
5丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。文政元年(1818)～同3年(1820)に出された倹約等の触書を記す。

2245　諸場御定書等　16.27—18
手写　文政8年（1825）
271丁　11.5×17.5cm
- 公事場幷寺社方暨与力御定書写
- 従先年於江戸御定書品々之写（延宝3年，貞享2年，天和3年）
- 町会所御作事会所，七尾，宮腰等御定之写
- 御算用場，改作奉行，御郡奉行御定之写
- 普請会所，割場御定書之写。

2246　当　用　弁　16.27—19
前田家編輯方手写
48丁　23.5cm
藩士勤方の手引書。内容は年頭御礼等揃刻限等，服附，御留守年頭揃刻限，御在国御留守共火叓方一巻，喧嘩一件，検使一件，当番中検使被仰渡幷遠所検使，当番中御親翰一件，当座之御礼有無，伺公之事，張文之事，訴訟人取捌，於御城中病人取捌，立会一件。文政，天保頃のものを多く収録。

2247　当　用　弁　16.27—20
前田家編輯方手写
4冊　23.5cm
宮北才一郎旧蔵。藩主の外出の際の勤方その他藩士の勤方の例規集。藩末のもの。

2248　必　用　弁　16.27—21
手写　明治初年
48丁　24cm
奥村栄滋蔵の写。

2249　支配方諸御礼廻勤等之覚　16.27—22
成瀬正敦手写　天保7年（1836）
6丁　8×18cm
成瀬正居旧蔵。跡目立等幷右御礼，養子，養女，御判物御印物頂戴，新知，御加増，分知，配知，組替，縁組，隠居剃髪等願，医者願，出家願，居屋敷拝領之事，御咎人御免，転役，拝領物幷蒙御意候事の際の御礼廻勤について記す。

2250　御国勤方控　16.27—23
手写　慶応元年（1865）
41丁　13×9cm
御番方心得，御供申談一巻，御番引出之一巻，御番方服，御供罷出ル心得，御参詣御供方，御参詣之節御供進退等を記す。

2251　御定書類　16.27—24
前田家編輯方手写　明治年間
123丁　23cm
片岡孫作旧蔵。内容は，公事場，作事場，普請会所，寺社方，会所等各役所定書と，宿村送り作法など収録す。

2252　故　新　録　16.27—25
前田家編輯方手写　明治年間
10冊　23cm
内容は各役所の役務，役職等への定書。
① 公事場御定，金沢町会所御定，所口町御定町会所出来方，時鐘，御算用場内ニ役所相立候，所口本町等歩数，浜地ノ内新ニ家建並相対請地願。
② 能州四郡船奉行就仰付置候ニ付船支配方，船往来調方，便船切手調方，運賃銀御定，乙ケ崎より七尾迄之内破損之船可致裁許御定，

勘定方役所相建後用銀等取捌候，後用銀之内御算用場江預候，制産銀。

③ 人別方御定，同取締方，九拾才者御定，同御達方，同御扶持米取方，男女十五才以上者書上方，奉公人御定，同取締方。

④ 御助小屋，無宿者，宗門改方，変死人検使方，越中境御関所等通書御定，過書調方。

⑤ 散小物成方，同上納方，同御算用帳等，御役銀，地子銀，伝馬役銀，府中町四十物船役銀，魚町引網役銀，和倉湯役銀，他国船澗役銀御定，諸商売役銀，諸役銀出来退転帳，人夫役，同上納方幷御算用方。

⑥ 御口銭方，同取立高月々御算用場江書出方同上納方，松前行目形筵，同御預所目形筵，江州行苧紬，澗改番所出来申付澗改役町人ニ申付候，魚問屋。

⑦ 打銀取立並払方，宿余荷銀，御用宿定，御用宿，御餌指止宿方，伝馬方御定，御用人馬掛渡方，御定賃銭ニ余荷銭共相払通行之人々江人馬掛渡方，中役。

⑧ 御詰塩才許，御詰米才許，同所雑用銀請取方，御家中諸役人知預置候蔵宿御定，火消方，類焼御達方，同御貸米願幷請取方。

⑨ 角場出来方幷町附足軽鉄砲稽古方，町附足軽江玉薬御渡方，町附足軽西洋流火術為致稽古候ニ付御達方，代銀致上納船筒薬請取方，野村隼人在役中より手合ニ而出来砲類，所口角場ニおいて致稽古度人々御入等，稽古所，小丸山等，所口在住被仰付候節，在住改方兼役ニ被仰付候ニ付引合方，在住巡見之節町方心得方，出火之節在住手合江人足指出方，在住手合御手当方御用与力旅宿方，御郡奉行手合之者借牢，加州改方引合方。

⑩ 永見屋牛之助，酒見与右衛門，三野才右衛門，和倉温泉和倉屋小五郎才許，新ニ町医者相願候者為試明倫堂江指出方，町年寄等年頭御礼，御入国ニ付所口町人御礼，御入家督御入国等之節町方江被下方，御入国御祝之節町役人江御能拝見，御法事之節氷見屋牛之助拝礼。

2253 故新録抄　16.27—26

前田家編輯方手写

9丁　26cm

内容は，在住改方兼役ニ被仰付候ニ付引合方一件，和倉湯役銀一件等，「故新録」よりの抜書。

2254 御定等留　16.27—27

手写

52丁　23cm

各役所勤方定書などのとめ。

2255 諸役人勤方帳標箋　16.27—28

奥村栄実編

前田家編輯方手写

24丁　23.5cm

諸役人勤方帳の標箋の内容を記したもので，御異風才許，御射手才許，御射手小頭，今石動等支配など63の役職を記す。

2256 覚書　16.27—29

手写

4冊　24cm

前田栄次郎旧蔵。勤方規式集で

① 出仕御帳，御判物等，諸御礼，献上物。

② 金谷献上物，披露方，唱之部，衣服之部，留書服，御進物裁許服，書状案文，出仕帳調方，上小紙書方，御飛脚之部，印鑑達方。

③ 御使者等，御門往来，御門勤番，御進物所。

④ 御文庫，御文庫巡見，御法事，雑品御礼所等。

2257 送方案文法則帳　16.27—30

手写

91丁　24cm

内容は，与力御医者之届紙面案文，年寄中内仕与力家老職より届紙面案文，年寄中等より家来，給人町地家求等送状案文など50項目。

2258 年中行事　16.27—31

手写

49丁　12×18cm

安井顕比旧蔵。郡奉行，改作奉行関係のもの。

2259 旧記御定写　16.27—32
手写
12丁　23cm
内容は，御家老役，御用人役，御近習頭，御小将頭，御徒頭，大御目付，御組才許，御台所奉行，御料理所下才許，御膳番，御作事奉行，御中小将，御式台，御算用所等の職務内容を記す。

2260 城中勤方帳　16.27—33
手写
20丁　24cm
南部祇知旧蔵。城中各職制役目役方。

2261 城内御作法之覚書　16.27—34
手写
本多安房守編
巻子1　24cm
成瀬正居旧蔵。年代不詳。最初に「備後守様被為入候ニ付御作法等去々年之春御登城之節之趣左之通ニ御座候，今般茂其趣を以附札ニ仕奉伺候且又御能無御座候ニ付其所ハ張消上之申候」とあり。

2262 御城中勤方覚　16.27—35
手写
1通　16cm
城中勤方につき8項目の疑問点を付札で答えている。

2263 覚　書　16.27—36
手写
82丁　23cm
本多政以旧蔵の写。藩主に拝面の際の諸規式の指図。

2264 正月城内行事　16.27—37
手写
9丁　11.5×18cm
正月1，2日の行事を記すが，未完。

2265 江戸御留守中御定并御発駕之節御作法附　16.27—38
手写　天保13年（1842）
14丁　24cm
前田貞醇旧蔵。

2266 留守居翁問答　16.27—39
手写
16丁　25cm
加賀藩留守居役勤心得につき，古格に詳しい古老と留守居役との問答の形式。

2267 国格旧例抄　16.27—40
手写
38丁　23cm
脇田尚保旧蔵。「賊人入申時心得」以下44項目にわたり，主として治安関係の執務上の心得。

2268 覚書四種　16.27—41
手写
77丁　23cm
- 諸事御礼等御条目并御門方御定（享和2＝1802，竹田掃部他）　15丁
- 同姓之内本末等之訳御用番年寄中差図之趣留（御馬廻頭）　6丁
- 品有之遣書内存書跡式願方等旧例　34丁
- 文政3年ヨリ被仰出等之覚書　19丁

2269 御守殿方御用　16.27—42
中川式部等編
手写
5丁　12×18cm
御守殿とは将軍の女が諸侯に嫁したもの。

2270 天罰起請文前書　16.27—43
手写
16丁　25cm
内容は，同心足軽小頭，同心横目，足軽小頭，御厩別当，御蔵懸足軽，御料理人，御鎖口番，下行方并小者才許，御膳所懸足軽，御作事方足軽，御武具方懸足軽の天罰起請文前書を記す。

2271 起請文前書　16.27—44
斉藤主馬等著

手写
6通　27cm
中川典克旧蔵。御家中一統出銀裁許等の起請文前書。明暦2年（1782）1通，万治3年(1660)3通，延宝8年（1680）2通。

2272　誓詞前書　16.27—45
手写
66丁　~~33丁~~　12×18cm
横山政和旧蔵。御近習頭，御料理頭など藩士の起請文前書。

2273　誓紙之案紙　16.27—46
手写
18丁　20cm
誓紙書きあげの要領。

2274　判形之品・印形之品・無判之品　16.27—47
成瀬正敦手写
3丁　23cm
成瀬正居旧蔵。判形，印形，無判にすべき書類の種類を記す。
旧書名「判形之品，印形之品等」。

2275　判形物之品・印形物之品・無判物之品　16.27—48
富田外記手写
4丁　11.5×17.5cm
富田権六郎旧蔵。前号と同内容。

2276　奉行勤方帳　16.27—49
手写
76丁　9×20cm
中川典克旧蔵。内容は，奉行勤方，公事場御定書等之写，公事場簞笥番勤方覚帳（享和2年），公事場割符所勤方覚帳（享和2年），公事場取次御用并検使勤方帳（享和2年），公事場留書役御算用者勤方帳（享和2年）からなる。

2277　公事場・御算用場・御普請会所御定考索附録　16.27—50
手写
14丁　12×18cm
井上如苞旧蔵。

2278　勤向縮方ニ付奉行方江申達留　16.27—51
手写
巻子1　16cm

2279　役向要用心覚　16.27—52
富田貞行著
自筆
5冊　12×36cm
富田氏旧蔵。文化9年（1812）～同14年(1817)で，著者が御奏者，今石動等支配の時のもの。

2280　於江府金府取啎旧記　16.27—53
手写　寛政4年（1792）
38丁　20cm
横山勇太郎旧蔵。表紙に「御大小将自分并家来共ノ事取捌留」とあり。

2281　隠居被仰付候以後要用抜粋　16.27—54
手写
15丁　24cm
横浜宣徳旧蔵。内容は主に文化7，8年のもの。

2282　諸事心覚　16.27—55
手写
79丁　12×17.5cm
野村信由旧蔵。

2283　諸事抜書　16.27—56
手写
22丁　13×34.5cm
高畠定辟旧蔵。内容は正徳～明和期の例によって作法，願紙面，届，証文の規式を示す。

2284　金沢雑記　16.27—57
手写
95丁　20cm
巻頭に目次があり，133項目にわたる藩士の雑記，犯罪，処罰や規式などを多く記している。年代は大体元禄以降安永期まで。

組　方

2285　組用近例合集　16.27—58
手写
2冊　23cm
脇田尚保旧蔵。内題「定番御番頭勤方之内差配近例合集」。文政期のものが多い。

2286　組頭御条目等之部　16.27—59
手写
57丁　27cm
延宝2年（1674）から享保12年（1727）までの組頭への心得。

2287　組頭御条目　16.27—60
前田家編輯方手写　明治年間
56丁　23.5cm
内容は延宝2年（1674）から享保17年（1732）にわたる。組頭のできた事情，内容について解説したもの。「長谷川氏旧記」より抜粋した片岡孫作手写を写したもの。

2288　職掌軌範　16.27—61
手写
8冊　24cm
元禄3年（1690）～同10年（1697）の間に5代藩主綱紀が奥小将組のために編制した一切の法文を輯録したもの。

2289　格　　帳　16.27—62
手写
合綴1（2冊）　24cm
安永8年（1779）～文化12年（1815）

2290　三品之諸士へ誓紙仰付之書　16.27—63
手写　天明5年（1785）
1通　17cm　包紙
定番御馬廻御番頭宛。包紙の朱書きに「天明五年十一月二日石野主殿助を以御渡之事，但委細当日御用番留帳ニ記置候」とあり。なお三品とは馬廻組，定番馬廻組，組外組に所属する士を御譜代三品の侍と称した。

2291　黔嶺秘稿　16.27—64
有沢致貞著
脇田尚方手写　天保4年（1833）
3冊　22cm
脇田尚保旧蔵。①人持組幷御組頭心得　②諸物頭之心得　③定番頭御馬廻頭心得。

2292　黔嶺秘稿　16.27—65
有沢致貞著
手写
2冊　34cm
前書と同文であるが，第3冊諸物頭心得を欠いている。横山政和旧蔵。

2293　黔嶺秘稿書抜　16.27—66
有沢致貞著
手写
11丁　24cm
第1冊「人持組幷御組頭心得」のみ。表題「鈐嶺秘稿書抜」

2294　支配方行事帳　16.27—67
成瀬正敦著
自筆　天保7年（1836）
9丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。内題「支配方行事大要」

2295　御番衆へ申渡覚　16.27—68
手写
2斗通　27cm
中川典克旧蔵。申2月付勤務規定。

2296　組中誓詞ニ付覚書　16.27—69
国沢次右衛門著
手写　寛政3年（1791）
1通　16cm
天明5年（1785）泰雲院（10代藩主重教）が御誓立ならびに組中誓詞前書を出した際の手続きについて述べる。

2297　組中誓詞之儀ニ付御書立　16.27—70
手写　寛政3年（1791）
1通　17cm
定番御馬廻御番頭へ出されたもので，三品の藩士の誓詞血判の差止めを告げる。

2298　定番御番頭へ被仰出之留　16.27—71
前田家編輯方手写
20丁　24cm
延宝2年（1674）～寛政3年（1791）の定番御番頭へ仰出されの抜書。

2299　定番頭等御条目　16.27—72
手写

19丁　24cm
脇田尚保旧蔵。内容は，元禄4年（1691）分条目中心。定番御馬廻などの組頭，組支配についての勤方条目。

2300　定番御馬廻番頭へ可申渡覚　16.27—73
手写
1通　32cm　包紙入
元禄4年（1691）の勤方の条目。

2301　定番御馬廻番頭江可申渡覚　16.27—74
手写
2冊　24cm　紙袋入
藤田与七郎旧蔵。外題「元禄4年被渡下候御定書之写」，享和3年(1803)年，文政7年(1824)年の2冊。主文は前書同文。旧書名「御定書之写」。

2302　定番御番頭へ御親翰等之私記　16.27—75
手写
39丁　23cm
脇田尚保旧蔵。重熙・重教・治脩・斉広・斉泰の親翰，御書立とそれに対する請書等を記す。

2303　定番頭等へ御渡御条目　16.27—76
手写　元文元年（1736）
58丁　26cm
内容は元禄3，4年（1690，91）のもの。

2304　御馬廻方年中行事　16.27—77
神谷守周手写　宝暦6年（1756）
52丁　11.5×17cm
宝暦6年戸田守勝が三輪允明の集書を借用して写したものを，神谷守周が手写したもの。

2305　於御国御馬廻頭勤方　16.27—78
高畠厚定手写　寛政8年（1796）
3丁　11.5×17cm
内題「於御国御馬廻頭勤方覚」明和8年(1771)12月の勤方相極書上の写。

旧書名「御馬廻頭勤方帳」。
2306　於江戸御馬廻頭勤方　16.27—79
高畠厚定手写　寛政8年（1796）
3丁　11.5×17.5cm
明和8年（1771）12月の定書

2307　御馬廻頭中へ被成下候御書立控　16.27—80
10通　17cm
寛政元年（1789）7，8，12月に出された御書立とそれに対する請書。

2308　御馬廻頭中へ被仰出候覚書　16.27—81
手写　文化4年（1807）
1通　15cm
文化4年（1807）に出された御親翰につき，御馬廻頭中へ聞合せの内容を記す。

2309　御馬廻頭御小将頭町奉行江御直ニ御渡之御書立等覚書留　16.27—82
手写　文化7年（1810）
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵。表題は「於御奥書院御馬廻頭御小将頭町奉行江御直ニ御渡之御書立幷年寄中ヨリ申渡候覚書留」

2310　御馬廻頭へ被下候御条目等之写　16.27—83
前田家編輯方手写
34丁　24cm
内容は延宝2年（1674）～元禄11年（1698）。

2311　御大小姓組御定書之写　16.27—84
手写
12丁　25cm
表題は「天和弐年貞享弐年元禄弐年御大小姓組御定書之写」

2312　加陽小姓組　16.27—85
有沢永貞撰
自筆　正徳元年（1711）
20丁　22cm
加賀藩小姓組の役柄と任務，心得について訓じたもの。

2313　御大小将御定　16.27—86
野村七兵衛手写　文政10年（1824）
13丁　12×18cm
野村信由旧蔵。天和2年（1682）の御定を主とする。

2314　御小将頭へ仰渡之覚　16.27—87
手写
1通　15cm
御小将頭へ守衛と配備，服装および建仁寺内両足院門内に揃うべきことを命ず。

2315　御小将頭当用抜書　16.27—88
横山引馬編
手写
74丁　12×18cm
横山勇太郎旧蔵。湯治帰御礼之事，御役人撰之節御近習勤候者茂無構加撰候事など55項について先例を記す。

2316　御小将頭被仰付候節之覚　16.27—89
横山引馬著
自筆
8丁　12×18cm
横山勇太郎旧蔵。横山引馬が御小将頭津田左近右衛門代を命ぜられ，両学校方御用を免除された時の覚書。

2317　小　性　廻　16.27—90
小笠原長時等著
手写
5冊　27cm
小姓役の心得。

2318　奥村・村井両大夫組衆教戒書写　16.27—91
手写　天保7年（1836）
10丁　24cm
天保6年(1835)7月奥村丹後守殿組中江被示諭候覚書，同年村井又兵衛殿組中江被申諭覚書。奥村丹後守は栄実，村井又兵衛は長道。巻尾に「右天保7年正月下旬岡氏より借用書取也，小泉盛美」とある。

2319　御先手物頭勤方留帳　16.27—92
本保密礼著
手写
2冊　23.5cm
原本は文化9年（1812）成立。金沢勤方で内容は，御国江戸表勤方帳両冊，御城三御門勤方，長谷観音祭礼御固勤方，寺中佐那武明神祭礼御固勤方，喧嘩追懸者役勤方，御刑法者検使勤方，火事之節御門々々御固勤方，御法事之節御施行奉行勤方，御法事之節御寺御門固勤方，御茶湯有之節御寺詰勤方，御城御焼失之砌御門固勤方，出仕登城幷年頭御礼着服附，役引幷出役書付，経書講釈聴聞一巻。

2320　小頭勤方等之内抜書　16.27—93
手写　天保3年（1832）
78丁　8×18cm
早川随勝旧蔵。「勤方帳追加」「諸事御礼勤之覚」（天保2年）も併録。

2321　御横目心得方　16.27—94
手写
65丁　23.5cm
陽広院（光高）御歌，金龍院（斉広）御親翰，武田・堀田・井伊・井上家目付心得などおよび加賀藩の横目関係の先例（主に寛政～文化期）を記す。

2322　御願与力法度之覚書　16.27—95
不破彦三・富田治部左衛門著
手写
1通　17cm
中川典克旧蔵。中川八郎左衛門宛。

2323　小頭御横目平同心勤方之覚　16.27—96
山本唯右衛門等編
手写
巻子　17cm
富田権六郎旧蔵。魚津，境，新川郡等に関する勤方で，魚津町奉行衆下か。

2324　御歩方組用早繰　16.27—97
手写
43丁　12×18cm
御歩方の諸帳作成のための規則書式等，旧例文化8年～天保12年（1811～1841）を引き記したもの。

2325 与力御定留　16.27—98
手写
3丁　24cm
内容年代は，万治2年（1656），与力知についての規定。

2326 与力御定等　16.27—99
横山政和手写　万延元年（1860）
44丁　12×18cm
横山政和旧蔵。
内容は，与力御定等四ケ条，本組与力被仰付候一件，元禄9年同被仰出等品々，高田治部左衛門自分仕与力一件，高山在番之与力罷帰御目見不被仰付一件，元禄6年与力同之留，縁組申上候控，元禄6年組付被仰付候一件，元禄9年神子田九左衛門一件，村瀬善兵衛小塚甚左衛門一件。

2327 与力御定等三種　16.27—100
前田家編輯方手写　明治年間
59丁　23cm
内容は，与力御定等（前号の写），三ノ二願与力控，願与力三ノ一三ノ二自分仕組附等被召出候趣控の3種よりなる。

2328 旧　記　16.27—101
手写
65丁　12×18cm
高畠定辟旧蔵。明和4年（1767）～天明2年（1782）の与力中心の38項目からなる諸達書を集めたもの。

2329 与力同心留記　16.27—102
手写
49丁　23cm
「与力同心知格式」「同心・足軽発端有増書」「酒井知大夫留記」「慶応二年同心御定」よりの抜粋。

2330 足軽同心へ可申渡案文　16.27—103
手写
1通　16cm
不破順命旧蔵。風俗矯正に関する申渡書。

2331 足軽中定書　16.27—104
手写
22丁　24.5cm
富田権六郎旧蔵。元禄11年(1698)元禄14年（1701），享保10年(1725)の定書を収録。享保10年山崎九郎右衛門から足軽小頭宛に出されたもの。

2332 組足軽方常変取捌留　16.27—105
野村信由編
自筆　天保12年（1841）
106丁　12×18cm
野村氏旧蔵。下のみ上なし。組足軽之義ニ付割場奉行江懸合一件，組足軽追込被仰付申渡候一巻など13項，および追加17項目を記す。

2333 御手木足軽組格等之儀ニ付御達　16.27—106
手写
1通　15cm
風俗取締り，倹約など。

2334 今般足軽小者へ申渡候趣　16.27—107
手写　文政10年（1827）
24丁　23.5cm
勤方の義に付。旧書名「足軽小者へ申渡候趣」。

役　懸　り

2335 御城代方寛文御定等　16.27—108
手写
12丁　25cm
留守中城中之定，御在国中火事之節御定，御留守中火事之節御定などを収録。

2336 御用番可承知書　16.27—109
手写
20丁　12×18cm
寛文頃より宝暦迄の御用番勤方書出し。

2337 御用番可心得覚書　16.27—110
前田家編輯方手写
~~47丁~~ 147丁　23.5cm

横山遠江守（隆章）が安政6年（1859）写したものの写し。旧書名「御用番等覚書」。

2338　年寄中可相捌御用大概覚書　16.27—111
前田直躬手写
9丁　23cm
公義其外御勤之事，御寺御名代之事等年寄中の勤方51項目を記す。

2339　御用番定等　16.27—112
手写
巻子1　37cm
2通の文書を継いで1巻としたもので，安房（本多），九郎左衛門（長），左衛門（横山），対馬（前田），因幡（奥村），伊予（奥村），民部(今枝)等の名が見え，寛文前後のものか。

2340　類聚御用番記　16.27—113
村井長貞著・奥村栄通補
奥村栄通手写
3冊　11×17cm　包紙入
御用番として勤務する者の，年中の礼儀作法や政務の処理についての心得を規定と口訣で解説したもの。第2・3冊は栄通の増補。

2341　類聚御用番記　16.27—114
村井長貞著・奥村栄通増補
前田家編輯方手写
2冊　24cm
前書と同内容であるが，附録2を欠く。

2342　年寄中等病気等之節従筑前守様御尋方等一件　16.27—115
手写
24丁　12×18cm
中川典克旧蔵。安政4年（1857）成立。筑前守は14代藩主慶寧。

（奏者番・近習）

2343　御奏者所御条目　16.27—116
前田矩正編
自筆
20丁　12×18cm
年頭御礼献上，跡目新知御礼献上，御加増拝領御礼献上，叙爵之御礼献上，縁組御礼献上子弟被召出候御礼献上，隠居被仰付候御礼献上，御祝儀御能之節献上，その他諸御礼について記す。

2344　御奏者所御条目　16.27—117
手写
20丁（折本）　16.5×8.5cm
富田権六郎旧蔵。年頭御礼献上，跡目新知御礼献上，御加増拝領御礼献上，叙爵之御礼献上，縁組御礼献上，子弟被召出候御礼献上，隠居被仰付候御礼献上，御祝儀御能之節献上その他諸御礼について記す。

2345　諸事御礼等御条目幷御門方御定　16.27—118
本多主水・奥野主馬佐・青木新兵衛・庄田監物編
手写　文政8年（1825）
41丁　24cm
前田栄次郎旧蔵。内容，文政7年（1824）。年頭御礼献上等諸事御礼，御門方物頭勤番御定等および於御国勤方からなる。

2346　諸事御礼御定　16.27—119
御奏者所編
手写
31丁　11×17cm
成瀬正居旧蔵。内容は年頭御礼献上等諸事の御礼について記す。元禄14年（1701）～延享5年（1748）。

2347　諸事為御礼登城仕品　16.27—120
富田貞行手写　享和2年（1802）
40丁　8×18cm
富田権六郎旧蔵。諸事為御礼登城仕品の外，諸事御礼献上，奏者番勤方，歴代奏者名等を記す。宝暦4年（1754）までの覚書。

2348 御近習頭見届之誓詞御前書　16.27—121
手写
7丁　26cm
御近習勤仕，御近習御横目，御隠密書写御用，御伝書書写御用，御徒御横目，足軽御横目，足軽御次坊主の誓詞前書文。

2349 執筆中等遺物等控帳　16.27—122
手写
7丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵。「今般御祝儀被下方」とあり。内容年代は明和8年（1771）。

（取　次　方）

2350 御式台勤方留帳　16.27—123
手写　元禄15年（1702）
22丁　8.5×17.5cm
富田権六郎旧蔵。御口上聞取方，御進物受納方等を記す。

2351 着到方心覚　16.27—124
野村某編
自筆　寛政5年（1793）
68丁　19cm
野村氏旧蔵。城内警備に当たる勤番者の出番や番引を取締る着到役の心覚。

2352 玄関之定等　16.27—125
手写
17丁　23cm
前田貞醇旧蔵。他に，横目役，馬方預り，土蔵方預り等の心覚も記す。

2353 取　次　方　16.27—126
前田家編輯方手写
78丁　23.5cm
京都向，筑前守様御取方，真龍院様御取次方若御前様御取次方等について。

2354 〔諸大夫御取次所等〕　16.27—127
手写
6丁　12×19cm
加賀藩重臣に対する取次方等を記す。

2355 御式台取次折本写抜帳　16.27—128
前田家編輯方手写
56丁　23.5cm
江戸屋敷における，幕府重臣，他藩大名，寺社等の取次方，祝儀，見舞等の受納方について記す。

（使　番・用　人）

2356 御近所火消幷御使役勤方留　16.27—129
高畠左門編
自筆
97丁　12×18cm
高畠定辟旧蔵。享保3，4年（1718，19）高田左大夫等が御近所火消を勤めた時の役方記録。

2357 使節勤要録　16.27—130
手写
82丁　11.5×17.5cm
野村寛旧蔵。御使人心得，御使勤方頭衆談，御進物御使，御時菜御使，御香典御使，御先使，火事御使，御次渡御使，品有之御使，御請使，急御使，御成日御使，御薬取御使，被下物之節取捌，雑記からなる。

2358 他国御使幷早打心得之覚　16.27—131
高畠左門編
手写
38丁　21cm
末尾に「元文三年勤方共承合此一冊ニ相調幷御一門様方御城下道程付早打持参之品々等記之者也高畠左門」とあり。他国御使諸事覚，御往来御供道中ニ而御使被仰渡候節之覚，御進物御国持参之御使，早打道中持参之品々，常道中御使之節持参之覚，道程泊付等を記す。

2359 御使番方覚書　16.27—132
横山引馬著
自筆

26丁　12×18cm
横山勇太郎旧蔵。内容は「御使番勤方帳明和9年」「御使番覚書」「御使番方江戸勤方覚書」旧署名「御使番勤方帳等」。

2360　御用人等出仕方心得覚書　16.27—133
手写
1通　24.5cm
中川典克旧蔵。出仕日および刻限などについて記す。

（公　事　場）

2361　公義御定等公事場ニ有之品々等　16.27—134
手写
72丁　23.5cm
脇田氏旧蔵。年代は寛永元年（1624）～寛政8年（1796）

2362　公事場御定書等　16.27—135
手写
113丁　23cm
万治元年（1658）～文政7年（1824）のもの。

2363　公事場御定書等之写　16.27—136
手写
45丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。万治元年（1658）～文政7年（1824）のもの。

2364　公事場御条目等書上候帳　16.27—137
手写
3冊　12×18cm
富田権六郎旧蔵。万治元年（1658）～寛政8年（1769）のもの。

2365　公事場御条目等書上候帳　16.27—138
中川顕忠手写
3冊　12×17.5cm
前書と同文。中川典克旧蔵。

2366　公事場定写　16.27—139
手写
1通　25cm
寛文11年（1671）成立。

2367　公事場横目方旧例考　16.27—140
不破東作編
手写
11丁　24cm
不破順命旧蔵。元禄3年（1690）～寛政5年（1793）のもの。

2368　公事場奉行覚書写　16.27—141
手写
2丁　12×36cm
内容年代は，明和5，6年（1768，1769）

2369　公事場奉行勤方帳　16.27—142
手写
4冊　12×18cm　紙袋入
① 公事場奉行勤方帳，明和8年永原求馬外
② 公事場御定書等之写，万治～寛政，富田貞行手写
③ 公事場簞笥番割符方，取次方，留書勤方帳写，享和2年，鈴木直右衛門外，富田貞行手写
④ （追加）公事場御定書之写，安政3年富田貞詳手写

2370　公事場奉行勤方帳　16.27—143
富田外記手写
57丁　12×18cm
内容は享和2年（1802）。

2371　御改法後被仰出候品々留帳　16.27—144
不破彦三・松平典膳・織田主税・渡辺主馬編
手写
15丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。原本成立は天明6年（1786）御改法は天明5年(1785)で，公事場関係のもの。

2372　公事場御用取啍方略帳　16.27—145
成瀬正徳編

自筆　寛政３年（1791）
51丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。内容は，吟味方，御刑法者，江戸欠落地廻欠落，御宥免者，牢死，聞届下済，入牢者，闕所，検使，奉公構，死骸拝領願，預者幷預者医者掛，賊物捌，過料銀，公事場貯銀行衛尋，代牢願之者。外29項。

2373　火事之節盗賊改役勤方帳　16.27—146
高畠厚定編
自筆　寛政８年（1796）
２丁　12×18cm
内容は，火事の際の盗賊改役の勤方について，元禄４年（1691）の前田駿河守の覚書と天明３年（1783）の覚書をのせる。

2374　公事場規矩附書法　16.27—147
中川顕忠（清六郎）編
自筆　享和元年（1801）
３丁　９×19.5cm
中川典克旧蔵。公事場式日始，年寄中公事場へ出座について記し，「諸方取遣之書法」を併録する。

2375　公事場御定書之写　16.27—148
手写
仮綴１（37丁）　25.5cm
文化14年（1817）～文政11年（1828）のもの。

2376　公事場奉行勤方帳　16.27—149
成瀬某手写
27丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。文政７年（1824）のもの。奉行は，多賀豫一右衛門・上坂主鈴・津田兵庫・遠田誠摩。

2377　公事場奉行勤方帳　16.27—150
富田織人編
手写　安政３年（1856）
42丁　24cm
内容年代は，文政７年(1824)。富田権六郎旧蔵。

2378　公事場奉行勤方帳　16.27—151
多賀予一右衛門等編
手写
52丁　~~42丁~~　23.5cm
文政７年（1824）の書上げ。奉行勤方として，科人之事，公事出入之事，訴状等有之節之事，一季居奉公人之事，欠落人之事，検使之事，御歩並以上之事，拷問幷吟味仕方之事，御歩並以上出奔人行衛尋之事，能州御預所者之事，他国等掛合之事，公事場江借牢者有之一巻之事，諸方取遣之書面文法等之事，両橋ニ札建申事，公事場式日ニ出座有無等之事，公事場御入用方之事，公事場浦廻米見之事，公事場懸り医者之事，公事場役人之事，公事場奉行之事を記す。

2379　公事場附役人勤方帳　16.27—152
成瀬某編
手写
23丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。文政７年（1824）の書上げ。公事場算筒番勤方帳，公事場割符所勤方帳（公事場取次幷検使方御用）勤方帳，公事場留書役御算用者勤方帳よりなる。

2380　公事場奉行諸事心覚留帳　16.27—153
成瀬正敦著
自筆
合綴１（５冊）　12×18cm
成瀬正居旧蔵。文政９年（1826）～同13年（1830）のもの。

2381　公事場御用諸事抜書早繰　16.27—154
手写　安政３年（1856）
144丁　24cm
富田権六郎旧蔵。
旧書名「公事場諸事抜書早繰」。

2382　公事場御用定文録　16.27—155
大野木某編
手写　慶応４年（1868）
21丁　16×11cm
大野木克征旧蔵。年寄衆江公事場より殿様等御用義ニより格級有之事など公事場よりの文面の

殿，様，印章，判形などの使用について記す。

2383　監職秘稿　　16.27—156
手写
2冊　23cm
脇田尚保旧蔵。公事場関係の心得書，記録，言上例などを収録したもの。

2384　公事場御条目書上帳　　16.27—157
手写
3冊　23cm
① 公事場式日，御刑法除日，言上書付，御隠密御吟味，公事場御穿鑿者，同公義幷他国江御届，同富山江御届，訴状，訴人，親幷夫手前訴人，諸事断，御刑法者検使，公事場ヨリ御預者，検使方等之事を記す。
② 賊等御刑法之儀ニ付被仰出，大罪者牢死仕候得ハ死骸御刑法可申付旨之被仰出，御刑法之儀等存寄有之候ハヽ可申上旨被仰出品々，科人吟味之上其者孝心等実意ニ付御刑法品替候者，御寺方願ニヨリ公事場ニ而取捌品遣候義，御吉事ニ付死刑等指控，御法事等之節死刑拷問指扣，赦被仰付方，御歩並以上之者ニ被仰出等品々，百姓ニ而も下人之事ニ付主人手前拷問ハ如何と指扣候処被仰出品々，父等依罪せかれ等被仰付方，追放刑ニ付被仰出品々，月数禁牢者，入墨之儀ニ付被仰出品，賊物取捌方御定，闕所一巻幷右代銀遣方。牢舎人賄方等御定，公事争論批判落着之事。
③ 公義御定等公事場ニ有之品々，諸浦船方等御定公事場ニ有之品々，御預所就被仰付候被仰渡之品々幷格式相極候一巻，公事場奉行幷役人，盗賊改奉行就被仰付候被仰渡，一季居奉公人御定其外欠落人有之節講人共江申渡方等品々，公事場ヨリ相廻候浦方等米見，蔵宿御縮方，御領国皮多共江申渡置候御定，公事場ニ而先年御料理御賄被下候節之様子定書，頼分難成品々之事。

2385　公事場規矩大綱　　16.27—158
手写
1枚　34.5×51.5cm
成瀬正居旧蔵。文政9年（1826）のもの。場用日定記として，藩主などの御祥月，御前日などによる吟味，禁牢，拷問などの差し控え日をしめす一覧表。

2386　検使方定帳　　16.27—159
手写
84丁　12×18cm
内容は，寛政6年（1794）

2387　検使断有之節夫々申渡方幷御用番ニ而取捌方格帳　　16.27—160
手写
21丁　12cm×18cm
内容は寛政6年（1794）。

2388　検使方定帳　　16.27—161
手写　享和元年（1801）
2冊　24cm
中川典克旧蔵。内容は表紙の朱筆部分より寛政6年（1794）における「但検使改有之節夫々申渡方幷御用番ニ而取捌方格記，附り検使役へ申渡置候条々」を収録したもの。

2389　検使方一巻　　16.27—162
高畠厚定手写　享和3年（1803）
19丁　12×18cm
高畠定辟旧蔵。検使方の取捌方について記す。なお，後半には「越中今石動御旅館御賄方御道具之覚」を載せる。

2390　検使格帳　　16.27—163
高畠定辟手写　安政6年（1859）
59丁　24cm
高畠定辟旧蔵。公事場詮義之上申来候検使格，乞食病死之節見届方之儀ニ付十村江申渡候一件，石川郡鶴森村領浜番人与右衛門方ニ於て宮腰町平木屋下人半左衛門疵付検使一件など42項の検使の例を記す。

2391 検使心得 16.27—164
手写
20丁 23cm
有沢氏旧蔵。口上書取立方，死骸渡方，預方，両検使，検使所入用之品，検使所間取り等を併録。

2392 刑法心得留九種 16.27—165
手写
132丁 23.5cm
諸事心得方留，御仕置者幷変死ニテ御横目罷出候覚帳，都テ異変取捌之帳，公事場御用取㕝方略帳，寛政6年変死人一件ニ付公事場ヨリノ紙面，御刑法者之義ニ付覚書，御刑法帳要用，御格帳抜出，改方一件。

2393 〔喧嘩等有之節之定〕 16.27—166
手写
8丁 18×17cm
門前幷途中で喧嘩があった際の取揃き方。

2394 津田氏覚書 16.27—167
津田林左衛門編
前田家編輯方手写
63丁 23cm
津田林左衛門蔵本の不破忠大夫手写本を写したもの。喧呰，自害以下61項目にわたる諸願，届等の規則，旧例を載す。

（算　用　場）

2395 御算用場格帳 16.27—168
松平内匠・奥村市右衛門編
前田家編輯方手写
60丁 23.5cm
内題「御算用場ニ而相勤申候格品々」
原本成立は元禄16年（1703）。御算用場の勤務内容の抜書。御算用場格帳の最初のもので，その後，延享3年（1746）安永元年(1772)，天明4年(1784)，文化元年（1804）文政7年(1824)などにも書上げられた。

2396 御算用場格帳 16.27—169
松平内匠・奥村市右衛門編
手写
96丁 12×17.5cm
富田権六郎旧蔵。前書と同文。安永，天明までの付札あり。

2397 御算用場格帳 16.27—170
松平内匠・奥村市右衛門編
手写
48丁 23cm
高畠定辟旧蔵。題箋「御算用場在勤格品々」。本文同前。

2398 御算用場格帳 16.27—171
遠田誠摩・小野次郎太夫・杉野善三郎編
手写
92丁 23.5cm
脇田尚保旧蔵。文化元年（1804）に書上げられたもの。
細目は，御算用場ニ而相勤申候格品々，御知行割格品々，御収納米請払格品々，御塩方格品々，御代官割格品々，御収納算用方格品々，御下行方格品々，路銀割符方格品々，諸方算用方格品々，御かり銀格品々，松木等伐渡候格品々入札ニ而御払ニ罷成品々。

2399 御算用場格帳 16.27—172
石野雅楽助等編
手写 文政7年（1824）
66丁 23cm
井上如苞旧蔵。内容は，御算用場役人の務め書きの抜書。

2400 御算用場ニテ相勤申格 16.27—173
石野雅楽助・笠間源太左衛門・堀孫右衛門・山崎頼母編
手写
44丁 12×18cm
成瀬正居旧蔵。文政7年（1824）の書上げ。末尾に「右御算用場格ニ立置相勤申品々古来御定之趣等元禄十六年書上申候帳面控を以其以来書

上申度ニ増減或前格与違ヒ申儀段下リニ書載上来申候処追々書加甚混シ分リ兼其上只今多分相違仕居申ニ付此度悉改正仕前々書上申振ニ不拘専ラ当時相勤申趣ヲ奉書上候古来御定之儀茂不用之ケ条ハ指省置申候……」とあり。

2401　御算用場改作奉行御郡奉行御定書之写　16.27—174
手写　文久3年（1863）
58丁　12×18cm
内容は，万治2年（1659）以降，承応年間にいたる御算用場，改作奉行，郡奉行からの御定。

2402　〔御算用場格帳〕　16.27—175
手写
75丁　24cm
旧書名「御算用場ニ而相勤候格品々」，富田権六郎旧蔵。内容は，勤務方，知行割収納未請払，塩方，代官割，収納算用方，未破損船方など収録す。

2403　御算用場勤方帳　16.27—176
手写
85丁　23.5cm

2404　〔御算用場書付上申帳〕　16.27—177
松平内匠・奥村市右衛門編
手写
77丁　23cm
旧書名「於御算用場格ニ相立置申品々書付上申帳」成瀬正居旧蔵。

2405　御算用場格帳之内書入候覚　16.27—178
手写
22丁　12.5×18cm
富田権六郎旧蔵。「安永元年調上候勤方帳之朱書」その他，新たに御算用場格帳に書入れられた項目を抜書したもの。

（小　松　城　附）

2406　小松御城代方之儀ニ付被仰出等　16.27—179
横山政和手写　文久3年（1863）
14丁　11×18cm
内容は延享3年（1746）の前田大学，横山蔵人の留。

2407　小松城番勤方帳　16.27—180
成瀬正居編
手写　安政4年（1857）
25丁　11×15.5cm
内容年代は宝暦6年（1756）。

2408　小松御城中御定目抜書等勤方等留　16.27—181
前田織江編
手写　寛政6年（1704）
35丁　12×18cm
前田道益旧蔵。二之御丸定番御馬廻張紙，佐渡殿（前田佐渡）当地ニ而御申渡之覚，佐渡殿ゟ番頭衆江被相渡候書付之写，および勤務内容等に関する覚書を収録。

2409　小松御城番勤方帳　16.27—182
手写
32丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。内容年代は享和3年（1803）

2410　小松御城番勤方帳　16.27—183
成瀬正居編
手写
33丁　12×18cm
内容年代は文政7年（1824），成瀬氏旧蔵。

2411　小松御城代之儀ニ付御親翰控。　16.27—184
手写
6丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。

2412　小松御城番一巻旧記等　16.27—185
前田貞直（中務）手写
44丁　25cm
前田貞醇旧蔵。内題「小松御城番一巻聞合覚」貞直は正徳2年～享保8年(1712～23)小松城番。

2413　小松御城番一巻旧記等　16.27—186
前田孝始手写
38丁　25cm
前田栄次郎旧蔵。孝始は寛政元～4年（1789～92）小松城番。

2414　〔小松御城格之覚帳〕　16.27—187
富田貞行手写
3丁　13×18cm
旧書名「小松御城附足軽御暇被下代人被召抱候御格之覚帳」。富田権六郎旧蔵。

（作　事　所）

2415　御作事奉行格帳　16.27—188
高畠厚定編
手写　天明8年（1788）
34丁　12×18cm

2416　相改候御作事所仕法帳　16.27—189
御勝手方編　1811
手写　文化8年（~~1861~~）
5丁　25cm
金谷佐太夫より本多勘解由宛。宇野富良旧蔵。文化8年（1811）に改正された御作事所仕法を記す。

2417　御仕法留　16.27—190
御作事所編
手写　慶応3年（1867）
181丁　24cm
慶応3年（1817）正月御作事所仕法を命ぜられた際の留書。

2418　御作事方格帳　16.27—191
神尾織部・松尾平九郎・寺嶋五郎兵衛編
手写
16丁　12cm
高畠定辟旧蔵。天明3年（1783）の書上げ。内容は，板批方毎年相極仕来候品之覚。寺社破損修理方毎年相極仕納候品々。金沢廻寺社方破損修理仕所々，能美石川河北郡越中能州寺社方破損修理仕申所々，その他木蔵，鉄物方，荒物方，御城中，小松御城中などについて記す。

2419　御作事所御定幷押紙面等写　16.27—192
手写
33丁　24.5cm
万治2年（1659）以降享保頃までの御定等を収録。

（割　場）

2420　割場御定書御条目　16.27—193
田中善左衛門編
手写　天保10年（1839）
39丁　12×18cm
田中正義旧蔵。承応4年（1655）～天保2年（1831）のもの。

2421　割場御条目等留　16.27—194
手写
53丁　23cm
万治より寛政年間までの「御代々被仰出割場御条目御定書」，安政5年正月の「割場附足軽等人別作法幷送状被遣案文」，元治元年9月の「割場格勤要録」より成る。

2422　御普請会所割場御定書之写　16.27—195
手写
42丁　12×17.5cm
井上如苞旧蔵。家中，寺庵等の拝領屋敷に対する規則，家中普請役の定め等を含む。

（細　工　所）

2423　定　書　16.27—196
手写
43丁　25cm
中川典克旧蔵。元禄14年（1701）～享保9年（1724）。細工奉行所及び三十人組召抱人の扶持加増の際の御印証文。年寄衆よりの仰渡書の写を含む。細工奉行宛。

2424　御細工所格式帳　16.27—197
有沢武貞編
手写　享保12年（1727）
51丁　23.5cm
御細工所役人の次第，入用物の格式，勤方格式などを記す。

2425　非人小屋前ヨリ格ニ相立候品々帳等　16.27—198
横山兵庫等編
手写
21丁　24cm
脇田尚保旧蔵。金沢廻道橋方毎日罷出勤方帳，享保17年，火矢御細工所勤方之帳，御定書等写を収む。

（御門方・番所）

2426　御門格弁妄　16.27—199
中村忠編
自筆　天明元年（1781）
28丁　12.5×17.5cm
近藤篤之旧蔵。夜中往来，火事之事，出家，町医之事等10項目に分け，御門での規則を記す。

2427　大組等足軽江戸増詰幷石川河北御門勤番相省申義ニ付伺之趣幷右頭紙面等控　16.27—200
御勝手方編
手写　文化7年（1824）
8丁　23cm
宇野富良旧蔵。組足軽が困窮を理由に江戸割場御雇等の省略方を願出たことに対する詮議録。
旧書名「大組等足軽江戸増詰并石川河北御門勤番并右頭紙面等控」。

2428　追分口御門勤方帳　16.27—201
手写
25丁　24cm
嘉永6年9月（1853）割場より追分口御門番人中へ出された定書。

2429　西御門格帳　16.27—202
手写　慶応3年（1766）
47丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。内容，慶応元～3年の西御門，南仮御門の勤方。

2430　三御門勤方録　16.27—203
手写
30丁　23.5cm
河北，石川，橋爪の三御門番人の心得を記す。

2431　〔三御門繰出方之事〕　16.27—204
手写
1通　16cm
旧書名「河北，石川，橋爪御門繰出方之事」。原題は「御門方操出方有無之事」。御門整備の処置について記す。

2432　御門方帳　16.27—205
手写
30丁　24cm
富田権六郎蔵。御門番への定，勤番者の役引等の願書及びそれに対する返書等を記す。

2433　御書立等写　16.27—206
手写
3通　16cm　包紙
天明6年（1786）足軽番人の呼び方につき（2通）。享和3年（1803）諸頭宛の行状心がけにつき。

2434　金谷御殿御門番勤方　16.27—207
前田家編輯方手写
5丁　24cm
不破順命旧蔵の写。安政7年（1860）御留守中の勤方など。

2435　橋爪御門手帳　16.27—208
手写
39丁　12×18cm
横山隆太旧蔵。定書，規則類を載す。

2436　御成之節御門締方覚書　19.27—209
佐々木定国編
前田家編輯方手写
13丁　24.5cm

将軍御成の節の江戸邸の門など締り方。

2437 **三之御丸御番方壱巻** 16.27—210
横山某編
手写
61丁 18×13cm
横山隆太旧蔵。上の巻のみ名目押・印鑑押など門鑑の定。

2438 **御番所定書** 16.27—211
手写
巻子1 24cm
高畠定辟旧蔵。「御城中御番等之品定書」の写に付紙をして当時と異なる点を註してある。

（台所方・配膳方・給仕方）

2439 **〔御親翰御定書写〕** 16.27—212
坂野忠兵衛編
手写
34丁 24cm
元禄10年（1697）～宝永元年（1704）のもの。坂野忠兵衛は台所方を勤む。元禄10年御台所方御改以来の，坂野忠兵衛宛御印御定書，御料理頭宛・御賄方与力中宛の御印御定書幷御覚書，表御台所御徒横目中宛・下御台所御徒横目中宛の御印御覚書，稲垣八平宛御印御定書を収む。

2440 **配膳方等目録** 16.27—213
手写
26丁 12×18cm
内容 ◦御祝方幷御給事人服附之部 ◦御刀持服之部 ◦御先詰罷越ケ所幷装束之部 ◦平日御先詰之節心得幷ケ所之部 ◦常配膳之部 ◦外御出之節小頭江相渡候品之部 ◦御番方之部 ◦同役被仰付候節之部 ◦雑之部。
文化～天保期のもの。

2441 **御膳米等定書** 16.27—214
手写
巻子1 25cm 包紙入
丑7月9日付，御算用場より出されたもの。

2442 **御給仕方勤法** 16.27—215
前田家編輯方手写
145丁 23.5cm
内容は寛政期までの旧例を挙げたもの。

（横　目）

2443 **江戸にて御横目誓紙跡書** 16.27—216
手写
17丁 23.5cm
中川典克旧蔵。寛文3年(1663)の起請文前書。

2444 **御横目所抜萃** 16.27—217
脇田尚方手写 天保11年（1840）
32丁 23.5cm
脇田尚方旧蔵。

2445 **横目心得覚**
手写 16.27—218
1通 25cm
中川典克旧蔵。3月24日付の定書。

2446 **〔横目勤方御定〕** 16.27—219
手写
1通 25cm
御定書の案文。

2447 **倹約之儀ニ付横目中心得** 16.27—220
手写
1通 28cm
巳3月19日の大横目中へ被仰出の覚。

（江　戸　方）

2448 **江戸乗物誓詞一巻** 16.27—221
手写
2冊 12×24cm 包紙入
前田貞醇旧蔵。内容年代は，享保11年（1726（～天明7年（1787）。

2449 **於江戸勤方** 16.27—222
前田将監編

手写　享和2年（1802）
4丁　24cm
富田権六郎旧蔵。享保13年（1728）前田将監書出の写。

2450 〔江戸詰諸役人心得方覚書〕　16.27—223
手写
1通　24cm
中川典克旧蔵。

2451 江戸御広式御用足軽取捌亡巻　16.27—224
高畠安定編
手写　天保13年（1842）
76丁　12×18cm
高畠定辟旧蔵。

2452 於江戸奥向御殿詰装束覚　16.27—225
手写
10丁　12×18cm
横山勇太郎旧蔵。

2453 江戸邸御門勤方　16.27—226
手写
72丁　23cm
本郷御屋敷御門勤方で，弘化4年本詰大御門勤方と御作事方御門格帳を収む。

2454 江戸御作事御門御定書　16.27—227
手写
40丁　23.5cm
横山政和旧蔵。文化4年（1807）3月の定。

2455 板橋口御門御成之節御門締方　16.27—228
手写
9丁　23cm

2456 江戸上御台所座席之儀御印御絵図之写　16.27—229
手写
絵図1枚　44×75cm
前田貞醇旧蔵。元禄10年10月22日相極とあり。

（そ　の　他）

2457 魚津在住御用勤方帳　16.27—230
富田外記編
手写
13丁　25cm
富田権六郎旧蔵。原本は明和9年（1772）12月成立。

2458 〔御廐方勤方覚書〕　16.27—231（~~134~~）
富田某手写　天保7年（1836）
3丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。

2459 〔建仁寺御旅館御門勤方〕　16.27—232（~~132~~）
手写　慶応元年（1865）
12丁　24cm
横山政和旧蔵。南仮御門，西之口通用門の番人宛定書。

特16.28 藩　　史

年　　表

2460 加陽年代要覧　16.28—1
奥村為質（栄実）編
森田良見手写
42丁　23.5cm
天文7年（1538）から天保10年（1839）までの加賀藩の重大事件を年表にしたもの。

2461 前田家年表　16.28—2
前田家編輯方編
編者手写
24丁　27cm
天文7年から明治41年に至る，豊凶，災害，将軍家，外交，藩関係のことを記録したもの。藩政時代が詳しい。

2462 寛永正保間年譜　16.28—3
前田家編輯方手写　明治年間
35丁　24cm
前田貞醇旧蔵の写。寛永10年（1633）から正保3年（1643）にわたる年譜。

2463 **加陽史記**　16.28—4
手写
23丁　24cm
岡田隷旧蔵。万治2年（1659）から寛文5年（1665）までの加賀藩の記事を年表的に載す。

2464 **諸事留帳**　16.28—5
手写　24cm
58丁　25cm
天和元年（1681）から宝永7年（1710）に至る加賀藩の一般的年譜。

2465 **加藩月暦譜**　16.28—6
前田家編輯方手写　明治年間
21丁　25cm
内容は，貞享3年（1686）の1年間の重要事項年表。

2466 **大事要覧**　16.28—7
手写
24丁　24cm
南部祗知旧蔵。元禄より文政までの藩の重要事項を目録的に記す。

2467 **考拠摘録目録**　16.28—8
前田家編輯方手写　明治年間
73丁　23.5cm
森田平次良見編「考拠摘録」50冊の初め30冊の目次。

2468 **考拠摘録**　16.28—9
森田良見編
自筆
50冊　33cm
天文7年（1538）から万治3年（1660）10月までの加賀藩関係の諸事項をかかげ，そのよるところの書籍と関係内容を抜萃。
① 天文記，弘治記
② 永禄記
③ 元亀記
④ 天正元年（1573）～3年（1575）
⑤ 天正4年（1576）～6年（1578）
⑥ 天正7年（1579）～9年（1581）
⑦ 天正10年（1582）
⑧ 天正11年（1583）
⑨ 天正12年（1584）春～9月
⑩ 天正12年9月11日
⑪ 天正12年9月12日～12月
⑫ 天正13年（1585）正月～6月
⑬ 天正13年7月～12月
⑭ 天正14年（1586）～15年（1587）
⑮ 天正16年（1588）～17年（1589）
⑯ 天正18年（1590）正月～6月
⑰ 天正18年7月～12月，天正19年（1591）
⑱ 文禄元年（1592）
⑲ 文禄2年（1593）
⑳ 文禄3年（1594）
㉑ 文禄4年（1595）
㉒ 慶長元年（1596）～2年（1597）
㉓ 慶長3年（1598）
㉔ 慶長4年（1599）正月～3月
㉕ 慶長4年閏3月～12月
㉖ 慶長5年（1600）
㉗ 慶長6年（1601）～7年（1602）
㉘ 慶長8年（1603）～10年（1605）
㉙ 慶長11年（1606）～14年（1609）
㉚ 慶長15年（1610）～17年（1612）
㉛ 慶長18年（1613）～19年（1614）
㉜ 元和元年（1615）
㉝ 元和2年（1616）～3年（1617）
㉞ 元和4年（1618）～6年（1620）
㉟ 元和7年（1621）～9年（1623）
㊱ 寛永元年（1624）～3年（1626）
㊲ 寛永4年（1627）～6年（1629）
㊳ 寛永7年（1630）～9年（1632）
㊴ 寛永10年（1633）～12年（1635）
㊵ 寛永13年（1636）～15年（1638）
㊶ 寛永16年（1639）～17年（1640）
㊷ 寛永18年（1641）～20年（1643）
㊸ 正保元年（1644）～2年（1645）
㊹ 正保3年（1646）～4年（1647）
㊺ 慶安元年（1648）～2年（1649）
㊻ 慶安3年（1650）～4年（1651）
㊼ 承応元年（1652）～3年（1653）

㊽ 明暦元年（1655）～2年（1656）
㊾ 明暦3年（1657）
㊿ 万治元年（1658）～3年（1660）

2469 国事異蹟綱領　16.28—10
前田家編輯方編
手写
天保13年（1842）～明治4年（1871）
43丁　25cm
藩末期の藩政の推移をまとめた年表。

史書・史料

2470 政隣記　16.28—11
津田政隣編
自筆
31冊　13.5×20cm
加賀藩の史実を，天文7年から文化11年まで編年体にまとめたもので，重要な記録である。編者は，700石，大小将組，治脩，斉広に仕えて，大小将番頭歩頭，町奉行，大小将組，馬廻組，宗門奉行を歴任，文化11年歿，59才。
① 天文7年（1538）～貞享4年（1687）
② 元禄元年（1688）～元禄16年（1703）
③ 宝永元年（1704）～宝永7年（1710）
④ 正徳元年（1711）～正徳5年（1715）
⑤ 享保元年（1716）～享保7年（1722）
⑥ 享保8年（1723）～享保20年（1735）
⑦ 元文元年（1736）～寛保3年（1743）
⑧ 延享元年（~~1746~~）～延享4年（~~1749~~）1744 1747
⑨ 延享4年（1747）～宝暦3年（1753）
⑩ 宝暦4年（1754）～宝暦10年（1760）
⑪ 宝暦11年（1761）～安永7年（1778）
⑫ 安永8年（1779）～天明2年（1782）
⑬ 天明3年（1783）～天明6年（1786）
⑭ 天明7年（1788）～天明9年（1789）
⑮ 寛政2年（1790）～寛政3年（1791）
⑯ 寛政4年（1792）
⑰ 寛政5年（1793）
⑱ 寛政6年（1794）～寛政7年（1795）
⑲ 寛政8年（1796）～寛政12年（1800）
⑳ 享和元年（1801）～享和2年（1802）
㉑ 享和3年（1803）
㉒ 文化元年（1804）～文化2年（1805）
㉓ 文化3年（1806）
㉔ 文化4年（1807）
㉕ 文化5年（1808）
㉖ 文化6年（1809）
㉗ 文化7年（1810）
㉘ 文化8年（1811）
㉙ 文化9年（1812）
㉚ 文化10年（1813）
㉛ 文化11年（1814）

2471 三壺聞書　16.28—12
山田四郎右衛門編
手写
25冊　23cm
別名「三壺記」。宝永年間の編纂で鎌倉，室町時代の簡略な記述にはじまり，信長・秀吉・家康を経て，加賀藩の記事のみとなり利常の死去で終。当館の別文庫に15冊，22冊本及び刊本あり。旧書名「新山田畔書」。

2472 三壺聞書　16.28—13
山田四郎右衛門編
手写
17冊　23cm

2473 新山田畔書　16.28—14
今枝直方編
自筆　元禄9年（1696）
4冊　26cm
別名「三壺記抜書」。山田四郎右衛門編の三壺記の抜書で，天文年間から明暦に至る前田家関係のものを撰んで編集し註を附し，かつ誤りを正している。今枝直記旧蔵。
旧書名「三壺聞書」。

2474 新山田畔書　16.28—15
今枝直方編
前田家編輯方手写
4冊　24cm
前号の写。

2475　新山田畔書之抄　　16.28—16
前田家編輯方編
編者手写
134丁　25cm
藩主，藩士に関する記事を抜萃したもの。

2476　自他群書　　16.28—17
森田盛昌編
手写　享保7年（1722）
3冊　23.5cm
「三壺聞書」の続編として編輯されたもの。盛昌は平次（良見柿園）の6代の祖にあたる。茨木氏の陪臣40石。

2477　袖裏雑記便索目録　　16.28—18
奥村尚寛編
自筆
162丁　11×17cm
上冊のみ。内題「袖裏便索録」。

2478　袖裏雑記目録　　16.28—19
奥村尚寛編
手写
85丁　24cm
元禄元年（1688）より寛政3年（1791）にかけての寺社一件，銀札，雑などの「袖裏雑記」についての目録。「三冊之内」とあり。

2479　袖裏雑記　　16.28—20
奥村尚寛編
自筆
40冊　23.5cm
奥村尚寛，字を静甫，白羽といい，慎斉，石台と号す。奥村宗家10代の当主。宝暦7年(1757)生，享和3年（1803）歿。袖裏雑記は本書40冊を前集とし，つづいて後集6冊，補綴14冊，附録1冊を以て完結する。藩初以来の諸法令は，慶長，元和，寛永の火災に多く失なわれたが，万治，寛文以降のものは，保存され頗る多量になった。それを尚寛が容易に探索しうるように，類別編纂したのが本書である。宝暦の火災以降，旧例を知りえたのは，実にこの一連の書があったためである。前集の内容は，元禄元年（1688）より寛政10年（1798）までを収めている。

2480　袖裏雑記　　16.28—21
奥村尚寛編
自筆
8冊　11.5×17.5cm
貞享3年（1684）から寛政元年（1789）にわたる，年寄勤方日記。

2481　袖裏雑記　　16.28—22
奥村尚寛編
手写
3冊　23cm
天和2年（1682）から元禄7年（1694）にわたる，跡式分知，役儀について記す。

2482　袖裏雑記　後集　　16.28—23
奥村尚寛編
手写
6冊　23.5cm
寛文3年(1663)御屋敷方才許之仕様委細書記申帳から，武家諸法度，金沢町中定，とくに御定書等について記す。

2483　袖裏雑記　後集　　16.28—24
奥村尚寛編
自筆
78丁　11.5×17cm
元禄3年（1690）から同7年（1694）にかけての年寄勤方日記留。

2484　袖裏雑記　後集（抄）　　16.28—25
前田家編輯方編
編者手写
2冊　24cm
袖裏雑記後集5と6より，慶長期から寛永期までの御定書を抄出したもの。

2485　袖裏雑記之抄　16.28—26
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴１（430丁）　26cm
家臣の由緒についての編輯方草稿。

2486　袖裏雑記附録　16.28—27
奥村尚寛編
手写
100丁　24cm
寛政２年（1790）以降の雑記の追加分。

2487　袖裏雑記補綴　16.28—28
奥村尚寛編
手写
14冊　24cm
寛文12年（1672）から宝永元年（1704）にかけての，知行，跡目，役方等についての記録。

2488　袖裏雑記零餘録　16.28—29
奥村尚寛編
手写
23冊　12.5×18.5cm
元禄９年（1696）から宝永６年（1709）の留帳之内（前田対馬覚書）より日記として筆写したもの。年寄勤方中日記。

2489　袖裏雑記零餘録　16.28—30
奥村尚寛編
手写
９冊　11×17cm
前号に同じ。不破順命旧蔵。

2490　袖裏雑記零餘前録　16.28—31
奥村尚寛編
前田家編輯方手写　明治年間
３冊　23.5cm
奥村栄滋旧蔵の写。内容は，貞享３年（1686）～元禄５年(1692)の若年寄前田対馬留帳の抄。

2491　袖裏雑記零餘後録　16.28—32
奥村尚寛編
自筆
４冊　11×17cm
享和２年（1802）と享和３年（1803）の御用番横山山城毎日帳之内を記す。年寄勤方中日記。

2492　袖裏雑記零餘後録　16.28—33
前田家編輯方手写　明治年間
４冊　23cm
奥村栄滋旧蔵の写。

2493　袖裏雑記零餘別録　16.28—34
前田家編輯方手写　明治年間
９丁　24cm
奥村栄滋旧蔵の写。家臣団各家の由緒雑記。

2494　袖裏雑記外集附録　16.28—35
奥村尚寛編
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　24cm
奥村栄滋旧蔵。元和から寛政頃までの雑覚書。

2495　袖裏雑記別集　16.28—36
奥村尚寛編
前田家編輯方手写　明治年間
２冊　23cm
奥村栄滋旧蔵の写。領中，家中のこと，触令等を雑多に収む。

2496　袖裏見聞録　16.28—37
奥村尚寛著，奥村栄実編
前田家編輯方手写
８冊　23cm
寛文年間から天保末期に見聞したことを順不同に記載したもの。したがって藩政（町方，郡方，家中）に関すること，藩主の法事に関すること，墓碑銘に関することなど内容は雑多。

2497　袖裏見聞別録　16.28—38
奥村尚寛著・奥村栄実編
前田家編輯方手写
47丁　23㎝ cm
袖裏見聞録の追加。

2498　袖裏愚考　　16.28—39
奥村尚寛著
手写
49丁　23cm
奥村栄滋旧蔵。藩士の諸規制などについて見解を記す。

2499　菅家見聞集　　16.28—40
出口政信編
手写
2冊　23cm
森田盛昌蔵本の写。第1本の序に「貞享改元の歳夏五月記之」とある。内容は①（1～4巻）天文7年（1538）～明暦2年（1656），②（5，6巻）明暦3年（1657）～貞享元年(1684)で，加賀藩の主要事蹟を記録したものである。
巻末に，
「序三窪権左衛門
編集　出口伊左衛門政信
校合　森田小兵衛盛昌」とある。

2500　菅家見聞集　　16.28—41
出口政信編
前田家編輯方手写　明治年間
7冊　23cm
① 1～4巻天文7年(1538)～元和5年(1619)
② 5～8巻元和6年(1620)～寛文8年(1668)
③ 9～10巻寛文9年(1669)～貞享元年(1684)
④ 続集1巻貞享2年(1685)～宝永7年(1710)
⑤ 〃 2巻正徳元年(1711)～享保9年(~~1727~~ 1724)
⑥ 〃 3巻享保9年(1724)～〃 12年(1727)
⑦ 〃 4巻〃 13年(1728)～元文3年(1738)
となっており，続集の編者は不詳である。出口政信は兵学者，宝永2年（1705）歿。

2501　菅家見聞続集　　16.28—42
前田家編輯方手写　明治年間
4冊　24cm
前書の第4～7冊と同文。

2502　御家日記　　16.28—43
手写
35丁　17×12cm
有沢貞庸旧蔵。表紙に「武道雑談集五十三」と附記してある。内題は「菅家見聞集追加」とあり，貞享2年（1685，綱紀43才）から享保9年（1724，綱紀歿）までの略記。

2503　本藩御年譜　　16.28—44
手写
2冊　23cm
① 天文7年（1538）～万治元年（1658）
② 万治2年～貞享2年（1685）。
菅家見聞集とほぼ同内容であるが，いくらか加除が行われている。朱入註記あり。

2504　〔馬淵氏〕本藩譜略　　16.23—45
馬淵高定編
手写
2冊　27cm
出口政信著「菅家見聞集」6巻を馬淵高定がその編した「武家混目集」160巻中に「賀陽御年譜」と題して関係事蹟を採入れた。これはその写し。他本による標註がついている。
内容は天文6年（1537）から貞享元年（1684）まで。書出を1年ずらしてある。編者は，通称友之助，父は高倫。寛文11年（（1671）12月5代綱紀の奥小姓，延宝7年（1679）馬廻組，天和2年（1682）大小将組，宝永2年（1705）より享保3年（1718）2月まで宮腰町奉行，同7年5月26日歿，66才。旧書名「本藩譜略」。

2505　加陽金府　　16.28—46
今枝恒明編
前田家編輯方手写　明治年間
13冊　23.5cm
別名「撫事集録」。武家混目集中の加陽年譜の写。四冊御定書および享保，元文の定書，吉徳・宗辰の卒去の次第などを収録したもの。享保13年（1728）以後に成立。
①②③ 加陽御年譜
④⑤ 金府諸式

⑥⑦⑧⑨　四冊御定書
⑩　正徳４年～享保５年の政事
⑪　享保６年～同９年の政事
⑫　享保10年～同13年の政事
⑬　享保13年～元文元年の政事

2506　昔日北華録　　16.28—47
堀麦水著
自筆
3冊　24cm

2507　昔日北華　　16.28—48
堀麦水著
手写　明治元年（1868）
4冊　23cm
富樫氏が加賀守に任ぜられてから，前田氏の両支藩成立までを記す。
①　第１，第２巻　　②　第３～第８巻
③　第９～第14巻　　④　第15～第18巻。

2508　北国太平記聞書　　16.28—49
前田家編輯方手写
61丁　23cm
加賀の一向一揆から勝家の入国，利家入国，佐々成政越中拝領，石動山攻略，佐々成政との対決等の戦闘を記述。

2509　前田家之記　　16.28—50
前田正虎編
前田家編輯方手写
15丁　23.5cm
一名「前田保（安，康）太夫筆記」という。富樫政親の滅亡から利長の死までを記載す。

2510　前田家之記　　16.28—51
前田正虎（康大夫）著
前田家編輯方手写
16丁　24cm
前号と同文。

2511　天　正　録　　16.28—52
手写
2冊　23cm
天文７年（1538）から慶長19年（1614）までの前田利家・利長・利常の記録。

2512　臼井氏見聞雑記　　16.28—53
前田家編輯方手写
76丁　23cm
天正から延宝年間にわたり，豊臣・徳川・前田氏，その他領国内外の出来事を雑然と列記したもの。

2513　正説起本　　16.28—54
小木貞行手写　文化９年（1812）
25丁　24cm
藩初より元禄期までの，加賀藩の役儀，その他諸事の起源を略記したもの。

2514　村井長時筆記　　16.28—55
前田家編輯方手写　明治20年（1887）
２冊　23.5cm
大聖寺村井家旧蔵。大聖寺藩士村井長時関係の文書を収録。長時は通称又兵衛，父は長明，寛永14年（1637）利常に召出され，父の没後正保２年（1645）大聖寺藩士300石となり，天和２年(1682)50石加増。町奉行，寺社奉行を勤め，元禄元年（1688）隠居，同４年歿。
目　次
①
- 利家様御代覚書
- 天和２年戌２月２日村井藤十郎へ調遣候跡書
- 貞享４年７月21日加賀様御尋ニ付申上跡書
- 村井主計ニ贈る書
- 酉ノ３月大原市兵衛等二人へ答る書
- 殿様ヨリ被仰出候一通
- 公儀ヨリ被仰出并一巻請答共３通
- 日本六拾四州知行高写帳

②
- 亡父覚書之内抜書并自分覚書
  附，村井先祖記

旧書名「筆記」。

2515　村井長時筆記抄　　16.28—56
前田家編輯方編
編者手写
174丁　25cm

2516　加越能大全　　16.28—57
岩原恵規著
手写　1758
18冊　26cm
永延元年（987）富樫氏が加賀に入った時から，万治元年（1468）の綱紀初世にいたる間の記事。第18本は目録。
旧書名「加越能大全附系図目録」

2517　三州紀略　　16.28—58
前田家編輯方手写　明治年間
4冊　23.5cm
天文7年～正保2年の加越能関係記事。
① 天文7年（1533）～文祿9年（1600），利家公御出生，村井又兵衛伝など49項
② 文祿2年（1593）～慶長19年（1614），利光公御誕生，前田又次郎卒去など66項
③ 慶長19年（1614）～寛永7年（1630），大坂軍役大筒定など48項
④ 寛永8年（1631）～正保2年（1645），光高公御縁組など76項

2518　万聞書　　16.28—59
手写
12丁　23cm
利家より利長へ言いおいたこと，元和の加越御軍役定など，多賀新左衛門の家来が聞き写したもの。

2519　加賀記　　16.28—60
久保一笑手写　宝永3年（1706）
51丁　23cm
一向一揆時代から前田治政初期の頃を中心に記したもの。追加として越中瑞泉寺，二俣本泉寺，越中勝興寺のことなども収む。鳳至輪島の久保一笑が，宮腰の鶴屋潤之の書を借りて写したもの。

2520　加陽隠見抜萃　　16.28—61
久徳尚則手写　天保13年（1842）
34丁　21cm
主として，利家・利長・利常・光高のことや，当時の合戦のこと，家臣のことなどを記す。文中，宝永2年，正徳3年のことも記す。小谷氏蔵の写。久徳猶行旧蔵。

2521　聞見交録　　16.28—62
前田家編輯方手写　明治19年（1886）
2冊　27.5cm
別名「交合説記」。加賀藩の起源からはじめて，江戸時代以降の加賀藩のことを中心に記す。法令，事件，風説など内容は雑多。

2522　田平氏雑記　　16.28—63
前田家編輯方手写
2冊　23cm
田平寛行蔵の写。加賀藩関係の歴史地誌的事項。

2523　混見摘写　　16.28—64
吉田守尚著
手写
11冊　23cm
本書は，織田・豊臣・徳川・前田，その他諸藩の武事，奇談，古人の評論等を載せ，加越能古戦場の事実も多く記されている。著者が寛保元年から安永4年まで35年間に輯録したものである。

2524　諸事起本　　16.28—65
手写　天明5年（1875）
37丁　23.5cm
加賀藩に関係する様々の事項の起源，初例をまとめたもの。

2525　御領国諸事御書上帳　　16.28—66
手写　文政2年（1819）
68丁　23.5cm
脇田尚保旧蔵。金沢城，小松城の広さ，家中仕置，百姓作法書，三カ国郡名，切支丹類族覚

書，郡打銀，納戸銀，草高，御領地のことなどの書上。文政2年（1819）写本の写。

2526 温故知新　16.28—67
浅田武元手写　文政5年（1822）
41丁　23cm
岡田隷旧蔵。巻頭に52項の目録あり。藩主，家中，および加越能の諸事について記したもの。

2527 加越能故事問答　16.28—68
森田柿園手写
2冊　24cm
著者は未詳。若林某が天保6年（1835）に写したものを，森田柿園（平次）が手写したもの。一名「金府旧記」という。藩侯，家中，金沢町などの故事旧例を問答形式で記したもの，巻尾に森田柿園の考証あり，昌披問答の異本だが，記事やや綿密なりと記してある。

2528 藩政類聚　16.28—69
手写　明治初年
6冊　23cm
①大礼　②職掌　③武備　④賞罰　⑤食貨，営作，地理　⑥変異を収録。天正から延享頃まで。

2529 森田平次意見書　16.28—70
森田良見（平次）著
手写　明治16年（1883）
5丁　24cm
前田家及び藩士の事跡，有名歌人などの伝，法律地誌など，加賀藩史のあらゆる分野にわたって，これまでの記録，研究の不備を指摘したもの。旧書名「意見書」。

2530 温故集録　16.28—71
森田良見編
自筆　明治20年（1887）
50冊　23cm
5代藩主綱紀が，前田氏系伝を尋ねるために古老に下問し集めた書札遺事記録を類聚したもの。

2531 温故集録之抄　16.28—72
前田家編輯方編
編者手写
2冊　25cm
「温故集録」のうち綱紀時代を「抄」として編輯方が編集したもの。

2532 温故集録抄　16.28—73
前田家編輯方手写
仮綴1　（224丁）　25cm
原著中から，産業，法令，史蹟，習俗，藩士など項目別に抄出したもの。

2533 加藩国初遺文　16.28—74
森田良見編
自筆　明治21年（1888）
26冊　23cm
天正3年（1575）以来，寛文元年（1661）までの前田家3代に関する古文書類を収録し，なお，筆者の註記を附す。

2534 旧藩遺文　16.28—75
森田良見編
自筆　明治32年（1899）
3冊　23.5cm
加賀藩関係古文書を影写したもの。判物，書状等多く収む。

2535 加藩諸事雑記　16.28—76
森田良見編
自筆
5冊　23cm
明和8年（1771）から安永2年（1773）にいたる諸事項を雑留めたもの。
① 年頭等規式古例，年頭規式等之記，松雲公御賀之記，相州新戸鷹場之記，松雲公遠所放鷹記，微妙公御参勤等動坐記，陽広公御参勤等動坐記，帰国御礼使節例，諸事旧例次第記，日光御社参記，元禄御成之記，御規式御能記。
② 御国目附尋問答書，能州公領村高記，江戸御使手扣帳，御在国中江戸御城使手扣帳，会

所提灯方手扣帳。
③ 執政席手扣留記，寛政八年正月日記，能州海岸御巡見記。
④ 加賀越前白山訴論記，白山幷麓地幕府領相成記，白山縁起ニ付尾添村願留記，越中越後国境争論記。
⑤ 越中岩瀬猟場訴論記，越中今石動埴生駅立記，加賀国二俣往来一件留記，加越能三州改作起本来歴，国益勘考私言，藩費省略方心附問答書，諸事省略方建白書，金沢町会所買上物等記。

2536 国事雑抄　　16.23—77
森田良見編
手写
25冊　23.5cm
嘉永６年（1853）から元治２年（1865）の間の加賀藩関係の帳簿より，慶長20年（1615）より天明５年（1785）までの法令，その他の文書を抄出したもの。
① 依大坂戦功四国一円恩賜之沙汰ほか90項。
② 90才以上者扶持米初テ就賜事ほか91項。
③ 白山神社御供田ほか93項。
④ 天徳院君御結納ほか42項。
⑤ 慶長18年之定書ほか70項。
⑥ 本多元祖安房守再仕之事ほか12項。
⑦ 卯辰八幡宮創立等之事ほか65項。
⑧ 瑞龍公慶長之定書ほか51項。
⑨ 菊池氏え被贈誓紙之條目ほか53項。
⑩ 能登宝達砿山定書等之写ほか86項。
⑪ 小松綿太物等運上銀ほか84項。
⑫ 小松沼町米蔵之事ほか66項。
⑬ 古国府勝興寺制札ほか80項。
⑭ 能登惣持寺諸法度ほか61項。
⑮ 山崎長門家士武功書ほか32項。
⑯ 金屋彦四郎猟船等諸役免許ほか62項。
⑰ 金沢町中二日読法度書ほか58項。
⑱ 佐那武社領幷産子村々ほか56項。
⑲ 黒津船社蔵之制札幷氏子村付御印書ほか86項。
⑳ 山代湯番堀口宗也え田地賜ル事ほか56項。
㉑ 白山神社制札ほか63項。
㉒ 越中境関所通行方之事ほか60項。
㉓ 越中境附与力知行所付ほか54項。
㉔ 越中境材木等調帳ほか39項。
㉕ 加越能三州宿送之人足伝馬之定書ほか46項。

2537 加賀藩史一班　　16.23—73
永山近彰編
自筆　明治42年（1909）
２冊　24cm
永山近彰は，世良太一らとともに加賀藩史稿（明治32年刊）の編輯にあたった。これは，史稿の付録のようなもので，抜けたこと，修正，わき道にそれた話などを載せたもの。

2538 加賀藩史稿　　16.23—79
永山匠彰編
手写
12丁　27cm
加賀藩史稿第１巻として目録を掲げ，附録歴世襲封一覧は，加賀藩，富山藩，大聖寺藩，七日市藩についてあげてある。

2539 加賀藩史料編年目録　　16.23—80
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
42冊　24cm
天文７年（1538）～天保14年（1843）まで。

2540 加賀藩史料編年目録（初稿）　　16.23—81
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
仮綴２　25cm
前書に較べ項目がすくない。年代は寛永元年から明治29年に及ぶ。

2541 加賀藩史料　　16.23—82
前田家編輯方編
編者手写
仮綴１　25cm

2542　抄録目録原帳　16.28—83
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
12丁　25cm
加賀藩史料編年目録の慶応3年分の草稿である。

2543　加賀藩史料目録　16.28—84
前田家編輯方編
編者手写
26丁　25cm
編年目録（42巻）加賀藩史料（巻之319まで）加賀藩史料分類等の目録。

2544　加賀藩史料　16.28—85
前田家編輯方編
編者手写
34丁　25cm
分類仮目録。小物成，物産，物価之部を含む。

2545　史料稿本目録　16.23—86
前田家編輯方編
手写
仮綴1（7丁）　24.5cm
天正2年（1574）2月～同3年2月28日まで。

2546　加賀藩史料索引　16.28—87
前田家編輯方編
編者手写
87丁　24.5cm

2547　加賀藩史料　16.28—88
前田家編輯方編
編者手写
319冊　25cm
刊本加賀藩史料（編年体，明治4年まで，17冊，編外1冊，日置謙編）の草稿で，刊本に省かれた事項も含まれていてより委しい。ただし，天保14年で終り，以下を欠いている。

2548　加賀藩史料　16.28—89
前田家編輯方編
編者手写
165丁　24cm
加賀藩史料作成のため，袖裏雑記等の記事を抄録したもの。

2549　加賀藩史料　16.28—90
前田家編輯方編
編者手写
136丁　25cm
目録未整理分，異変外6件。

2550　加賀藩史料　16.28—91
前田家編輯方編
編者手写
仮綴5　26cm
① 弘化年間
② 嘉永年間
③ 安政年間
④ 万延元年～元治元年
⑤ 明治年間

2551　加賀藩史料　16.23—92
前田家編輯方編
編者手写
68丁　25cm
加賀藩史料に入れなかった分。

2552　編年史料　16.28—93
前田家編輯方編
編者手写
20冊　23.5cm
加賀藩史料の原型となったもの。

2553　項目史料　16.28—94
前田家編輯方編
編者手写
11冊　23.5cm
加賀藩史料の編集資料の一つ。藩政史の史料を11項目に分類したもの。
① 朝廷に対する関係
② 幕府に対する関係
③ 戦　役

④ 内　政
⑤ 陽広公時代の摂政
⑥ 松雲公時代の摂政
⑦ 農　政
⑧ 産　業
⑨ 美　術
⑩ 社　寺
⑪ 同時代の人物

2554 **項目史料** 16.28—95
前田家編輯方編
編者手写
18丁　25cm
加賀藩史料の同種類の史料写本のうち，分類不能の分をあつめたもの。

2555 **諸家所蔵文書** 16.28—96
前田家編輯方編
編者手写
112丁　23.5cm
加賀藩史料の基礎史料集。藩主の判物，消息が多い。諸家に所蔵される加賀藩関係の文書を集録せしもの。

2556 **諸家所蔵文書写** 16.28—97
前田家編輯方編
編者手写
3冊　23cm
加賀藩史料の基礎史料集。藩主の判物，消息が多い。諸家に所蔵される加賀藩関係の文書を無差別に集録せしもの。

2557 **鈔録合集** 16.28—98
前田家編輯方編
編者手写
64冊　25cm
天保元年（1830）から明治4年（1871）にいたる藩末期の各種の記録文書を編年体に鈔録したもの。「加賀藩史料」藩末編の稿本。
① 天保元年（1830）
② 〃　2年（1831）
③ 〃　3年（1832）
④ 〃　4年（1833）
⑤ 〃　5年（1834）
⑥ 〃　6年（1835）
⑦ 〃　7年（1836）
⑧ 〃　8年（1837）
⑨ 〃　9年（1838）
⑩ 〃　10年（1839）
⑪ 〃　11年（1840）
⑫ 〃　12年（1841）
⑬ 〃　13年（1842）
⑭ 〃　14年（1843）
⑮ 弘化元年（1844）
⑯ 〃　2年（1845）
⑰ 〃　3年（1846）
⑱ 〃　4年（1847）
⑲ 嘉永元年（1848）
⑳ 〃　2年（1849）
㉑ 〃　3年（1850）
㉒ 〃　4年（1851）
㉓ 〃　5年（1852）
㉔ 〃　6年（1853）正月～7月
㉕ 〃　6年8月～12月
㉖ 安政元年（1854）
㉗ 〃　2年（1855）正月～8月
㉘ 〃　2年9月～12月
㉙ 〃　3年（1856）
㉚ 〃　4年（1857）
㉛ 〃　5年（1858）1月～7月
㉜ 〃　5年8月～12月
㉝ 〃　6年（1859）
㉞ 万延元年（1860）
㉟ 文久元年（1861）
㊱ 〃　2年（1862）1～8月
㊲ 〃　2年9月～12月
㊳ 〃　3年（1863）1月～3月
㊴ 文久3年4月～6月
㊵ 〃　3年7月
㊶ 〃　3年8月
㊷ 〃　3年9月
㊸ 〃　3年10月～12月
㊹ 元治元年（1864）正月～2月
㊺ 〃　元年3月～4月

㊻ 〃　元年5月～6月
㊼ 〃　元年7月
㊽ 〃　元年8月
㊾ 〃　元年9月～10月
㊿ 〃　元年11月～12月
(51) 慶応元年（1865）
(52) 〃　2年（1866）正月～7月
(53) 〃　2年8月～12月
(54) 〃　3年（1867）正月～6月
(55) 〃　3年7月～9月
(56) 〃　3年10月～12月
(57) 明治元年（1868）正月～2月
(58) 〃　元年3月
(59) 〃　元年4月～6月
(60) 〃　元年7月～12月
(61) 〃　2年（1869）1月～3月
(62) 〃　2年4月～12月
(63) 〃　3年（1870）正月～12月
(64) 〃　4年（1871）

2558　加賀藩史稿批評　16.28—99
森田良見等編
手写
28丁　24cm
史学雑誌第12編2号に載った書評の抄など。

2559　旧金沢藩事蹟文書類纂　16.28—100
前田家編輯方編
編者手写
38冊　24cm
明治維新前後における国事時事に関する諸記録文書を収集，写録したもの。前編（天保元年より嘉永5年），中編(嘉永六年より慶応3年)，後編（明治元年より同4年）よりなり，各編で庁令，民政，殖産等の項目にわけて記載する。

2560　加越能古文書写　16.28—101
手写　明治3年（1870）
53丁　23.5cm
森田良見校閲。内題「諸向より差出候御書類并古文書」。署名は御家祿方とあり，御家録編輯事業として領内の古文書を調査した際のもので藩初の古文書写本。

2561　加賀古文書　16.28—102
前田家編輯方編
編者手写
11冊　23cm
加賀国の中世，近世の各郡別に，所蔵文書を筆写したもの。内題は「加賀国古文書」。
①②③は江沼郡之部
④⑤⑥は能美郡之部
⑦⑧⑨は石川郡之部
⑩⑪は河北郡之部
旧署名「加賀国古文書」。

2562　能登古文書　16.28—103
前田家編輯方手写　明治年間
8冊　23.5cm
能登の社寺，戸長役場等旧蔵古文書を収載。
① 羽咋，一宮，滝谷
② 大島，長沢，堀松，大念寺新，梨谷小山，矢田，町，安部屋，富木，酒見，大福寺，鹿頭，笹波
③ 馬場，南，道下
④ 浦上，大沢，小伊勢，輪島
⑤ 時国，粟蔵，大谷，高谷，折戸，狼烟
⑥ 寺家，正院，金峰寺，春日野，鵜飼，松波
⑦ 宇出津，藤波，波並，鵜川，木住，中居，穴水
⑧ 三階，府中，七尾，小島，所口，武部，酒井，萩谷，中島

2563　能登国文書　16.28—104
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23.5cm
① 御家録方へ古文書差出候記録（筒井成孝の分）御先代様方御書并伝来之古文書写（筒井内記等），代々被下置候御扶持方御印物写（鳳至郡御扶持人十村筒井内記等），大沢村算用状（筒井成孝旧蔵の写），御印物之写（筒井成孝旧蔵の写），御印物写（木住村八郎左衛門），木住村八五郎所持旧書之写，御算用場御奉行所等より山岸村新四郎江病気御見舞等御紙面之写

② 南方村助兵衛所持阿部判官文書，鳳至郡舞谷村所持石動山泰徴書面，谷内村仙右衛門所持亀井六郎充書面，北村愛三所持山田秀次寄進状，本郷友吉郎所蔵文書写６通，川島村七海孫七郎所蔵文書写７通，嘉永四年今江吉田堀松三村にて新川開鑿に付村役人等連印状ニ十村裏書写，鳳至郡瑞穂村国分直方所蔵天正15年より文政８年までの旧記，鳳至郡本木村新田義八郎所蔵天正15年より寛文11年迄之旧記御印物写等，右同人所蔵年号不詳御印物等写，先祖由緒一類付帳（鳳至郡木住村八五郎家），新田系図（新田義八郎家）。

2564 **能登諸家文書** 16.28—105

前田家編輯方手写　明治年間

72丁　23.5cm

寓館与四郎旧蔵の写。内題「諸家，御印物御判物留」主に近世初期の御印物，御判物などを載す。

2565 **越中古文書** 16.28—106

前田家編輯方編

編者手写

17冊　23cm

越中国の中世，近世の寺院や個人所蔵の各文書を筆写したもの。内題「越中国古文書」。

①② 砺波郡関係
③④ 射水郡（高岡を含む）
⑤ 高岡鋳物師文書
⑥ 高岡関係
⑦ 射水郡下牧野村荒木岡三郎提出の六種
⑧ 古国府勝興寺文書など
⑨ 射水郡伏木浦旧記書類
⑩ 射水郡関係
⑪ 婦負郡之部
⑫⑬⑭ 上新川郡之部
⑮⑯⑰ 下新川郡之部

2566 **五箇山古文書写** 16.28—107

前田家編輯方手写　明治年間

69丁　23.5cm

水上善三郎，生田長四郎，瑞願寺旧蔵の主として近世初期の文書を載す。

2567 **寛永間古文書写** 16.28—108

前田家編輯方編

編者手写

70丁　23.5cm

藩老臣の書状類など。

2568 **古文書系図等** 16.28—109

前田家編輯方手写

２冊　23.5cm

寺社古文書や画賛，詩歌等の歴史的事蹟を収録したもの。

見聞記・雑記

2569 **乙夜之書物** 16.28—110

関屋政春（新兵衛）著

自筆　寛文９～11年（1669～71）

３冊　16.5×14.5cm　箱入

関屋政春は，寛永10年利常家臣となる（もと織田河内守長孝家士）。200石馬廻組，延宝５年350石，使番，先筒頭，貞享２年歿，71才。本書は，豊・徳二時代における加賀藩内外に関する事実を筆録したもの。上巻159条は寛文９年に中巻165条も同年，下巻151条は寛文11年に成立した。

2570 **壬子雑記** 16.28—111

手写

121丁　24cm

寛文７年から延宝５年までの各種の覚書，書付類を集録したもの。船手，博労に関するもの比較的多し。

2571 **壬子集録** 16.28—112

手写

101丁　27.5cm

寛文12年（1672）の家臣，寺社などの覚書，書付類を集録したもの。

2572 **駒井重勝日次記　抄** 16.28—113

駒井重勝著

前田家編輯方手写　明治27年（1894）
52丁　23.5cm
内容は，元禄３年(1594)～同４年。駒井重勝日次記は尊経閣文庫本「駒井日記」の欠けた部分を文部省書籍館本によって補ったものである。重勝は前田利長の家臣となった人であるが，以前は豊臣秀次に仕え，秀次の後秀吉・利長に迎えられた。

2573　千菊抄　16.28—114
手写
54丁　24cm
前田利家が利長に与えた書簡，豊太閤の利家にあてたもの，光高の百首，家康の秀忠夫人に贈った文（三賢訓），吉宗公夜話（柳営夜話）。後半は利家・利長・利常時代，配所の大槻，天明，寛政頃までの説話などをのせる。編者不詳。

2574　松雲公御手沢遺書写　16.28—115
前田家編輯方手写
30丁　23.5cm
内題「慶安二年之記」。正月から12月までの３代利常やその子万菊丸などについての文書の雑集で，同題名の２冊本とは関連なし。

2575　津田次郎左衛門覚書　16.28—116
津田千連著
森田平次手写　明治14年（1881）
59丁　23cm
別名は「寛永紀聞」奥書に次のごとくあり。「右雑記ハ反古ノ片紙ニ記載シ包紙ニ津田覚書トアルノミニテ誰ノ筆記ナルカ不詳然ルニ今之ヲ冊子ニナサン為折紙ノ反古ヲ親ク勘考スルニ寛永ノ頃ノ書簡等ニテ中ニモ津田二郎左衛門名宛ノ書簡アルヲ見レバ此雑記ハ津田次郎左衛門ガ肉筆ノ自記ナルコト著明ナリ」

2576　竹園雑記　16.28—117
手写
103丁　23cm
田内氏蔵本の天明７年（1787）10月28日付写本の写。著者が士風を伝えることを主眼として，加賀藩等における武勇，戦功その他の逸事を書きつづったもの。
内容は，清泰院殿御入輿之節奥村河内栄政理屋物語乃事，越中新川郡立山略記之事，能登国石動山天平寺略記之事，能州一宮の御事，加賀国白山比咩神社伝記，座中秘書(平家物語の事)，安見隠岐流罪之事，元和３年秀忠公御成之次第，光高公江御輿入之次第，大猷院様板橋辺迄御狩の砌光高様供奉，西国岩石の城岡島備中一番，柴田伊賀素生之事，有沢采女被召抱，鋸曳被仰付事，利長様御茶湯，権現様加藤清正儀御噂，村山豊前始終之事，於大坂北川森古屋等仂，広瀬助左衛門組外被仰付事，原田之先祖幷信長記大閤記等脱漏之事，中納言様御実名御改之事，本願寺東西二派に成起，岡島氏由緒之事，陽広院様御逝去小笹善七追腹之次条，前田肥後殿と村瀬九右衛門悴等喧咄一巻。

2577　老翁雑記　16.28—118
翠光堂竹庵著
手写　安政５年（1858）
37丁　23.5cm
内容は，寛文４年～弘化４年，自分の祖父の残した反古となるべき書き物をまとめたもの。

2578　旧記抜書　16.28—119
手写
３冊　23.5cm
前田貞醇旧蔵。延宝元年（1673）から正徳３年（1713）にかけて編年体にまとめた史料集。

2579　聞書　16.28—120
手写
90丁　27cm
野口之布旧蔵。天和２年（1682）から宝暦８年（1758）に至る，藩主，藩庁を主とした聞書を集む。表紙に天和２年至宝永４年，享保６年至延享中とあり，しかし，宝暦８年金沢大火の公義御届の写もみえる。

2580　故紙雑鈔　16.28—121
手写

105丁　27cm
貞享3年（1686）から弘化4年（1847）にいたる間の藩内における火事の際のけんか，地震，物価，饑饉，巡見使派遣，天保の御改法など世事一般をとりあげる。

2581　**貞享至元禄記録**　16.28—122
手写
46丁　23.5cm
岸秀実旧蔵。加賀藩の諸事件を記載したもの。

2582　**金子氏覚書**　16.28—123
前田家編輯方手写　明治年間
65丁　23cm
金子意永蔵書の写。藩主前田氏の加能領地，前田直時系の略譜，江戸辰口邸越後屋敷の考証記事，三壺記追加抜書，貞享より元禄迄記録抜書などを集録。

2583　**集古雑話**　16.28—124
手写
134丁　23cm
主として前田綱紀時代の説話，古老の嘉言，奇談などを集めたもの。各項話者の名が入っている。原本は2巻。

2584　**古今雑纂**　16.28—125
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
27丁　23cm
元禄3年（1690）から明治3年（1870）にいたる間の金沢城下の諸事件を記載したもの。金沢町焼失記事（元禄3，文政2）。宝暦6年の銀札くずれによる打ちこわし。安政5年の泣声一揆。元治元年の勤皇党処分など。

2585　**たもと草・同追加**　16.28—126
由比勝生著
自筆　元禄14年～宝永3年（1701～1706）
7冊　14×20cm
上中下，追加上中下および終の7冊より成る。上巻の跋に60才位から70才位くらいの間に記した雑記であることを述べ「干時元禄十四年辛巳年九月廿六日六十六歳勝生」とあり，最後の「終」の冊巻頭には50才をすぎてから思い立って記録したことをのべ「干時宝永三年丙戌卯月廿一日，七十一歳勝生」と記している。各冊巻頭に目録あり。内容は多岐にわたるが前田氏や加賀藩に関するものが多い。

2586　**たもと草抄**　16.28—127
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
223丁　24.5cm
由比勝生著「たもと草」（前号）からもっぱら加賀藩関係の記事を抜書したもの。

2587　**〔中村典膳覚書之抜書〕**　16.28—128
手写
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵。中村典膳は御近習取次。この覚書の内容年代は元禄7，8年（1694，5）。
旧書名「覚書之抜書」

2588　**つれづれ**　16.28—129
今枝直方著
自筆　延宝5年（1677）
83丁　25cm
今枝氏旧蔵。直方25才の時の自著。直方は延宝3年遺知14,000石をつぎ享保5年家老となり世子の傅を兼ね，享保3年歿，76才。本書は各項が「ある人の日」という書出しではじまり，諸々の聞書を収む。加賀藩関係も多く，別名を「三品記」と言う。

2589　**甲子聞書**　16.28—130
今枝直方著
自筆　貞享元年（1689）
2冊　25cm
加賀藩内及び他藩での出来書を記録したもの。清国兵乱の記事も含む。

2590　**甲子聞書**　16.28—131
今枝直方著
前田家編輯方手写

2冊　20cm
前号の写。

2591　壬申雑篇　　16.28—132
今枝直方著
自筆　元禄5年（1692）
5冊　20cm
元禄初年を中心に，今枝直方が見聞，採録した藩政に関する雑事を集めたものと思われるが，その1部（巻6，7，8，11，17のみ）を伝えるにすぎない。

2592　壬申雑篇　　16.28—133
今枝直方著
前田編輯方手写
5冊　24cm
前書の写。端本で，6，7，8当国篇，11諸国篇，17乱舞の5冊を残すのみ。

2593　重輯雑談　　16.28—134
今枝直方著
自筆　元禄9年（1696）
8冊　25cm
古記録集。公儀，当国，諸国，堂上方，軍事，学芸等の項にわける。

2594　重輯雑談　　16.28—135
今枝直方編
前田家編輯方手写
8冊　23cm
前号の写。

2595　貴賤当国雑志　　16.28—136
今枝直方編
自筆　元禄13年（1700）
66丁　20cm
今枝氏旧蔵。内題「御国貴賤諸事雑志」。別名「当国雑志」

2596　貴賤当国雑志　　16.28—137
今枝直方著
前田家編輯方手写
54丁
前号の写。

2597　温故雑録　　16.28—138
今枝直方編
自筆　元禄16年（1703）
131丁　27cm
今枝直方（八右衛門・内記・民部）。備前岡山侯の老臣日置右衛兵忠治の3男。承応2年（1653）生，寛文8年（1668）今枝民部近義の養子として前田綱紀に謁し，延宝3年(1675)11,000石，同7年（1679）本知14,000石を襲封，享保5年（1720）家老，世子の傅を兼ねる。享保13年（1728）歿，76才。

2598　温故雑録　　16.28—139
今枝直方編
前田家編輯方手写
2冊　24cm
前号の写。

2599　見聞雑誌　　16.28—140
今枝直方著
自筆　元禄16年（1703）
102丁　20cm
「由比楓雪企事」等15項の記録と，有栖川幸仁親王はじめ29通の「古今玉章」を載せる。

2600　見聞雑誌　　16.28—141
今枝直方著
前田家編輯方手写
91丁　24cm
前号の写。

2601　甲申雑書　　16.28—142
今枝直方著
自筆　宝永元年（1704）
2冊　20cm
今枝直記旧蔵。上下2冊。加賀藩関係その他の見聞雑録。

2602 甲申雑書　16.28—143
今枝直方著
前田家編輯方手写
2冊　24cm
前書の写。

2603 丙戌随筆　16.28—144
今枝直方著
自筆　宝永3年（1706）
67丁　20.5cm
今枝直記旧蔵。内容は宝永2年，3年（1705，6）などの加賀藩関係ほかの武家，公家，社寺などおよび民間の事件を含む消息を記す。

2604 丙戌随筆　16.28—145
今枝直方著
前田家編輯方手写
69丁　24cm
前書の写。

2605 〔自国辛卯随筆〕　16.28—146
今枝直方著
自筆　正徳元年（1711）
17丁　21cm
今枝氏旧蔵。

2606 〔自国辛卯随筆〕　16.28—147
今枝直方著
前田家編輯方手写
16丁　24cm
前号の写。

2607 正憃壬辰雑志　16.28—148
今枝直方著
自筆　正徳2年（1712）
94丁　19.5cm
加賀藩関係の記事，その他31項を収載。

2608 正徳壬辰雑志　16.28—149
今枝直方著
前田家編輯方手写
84丁　24cm
前書の写。

2609 癸巳雑志　16.28—150
今枝直方著
自筆　正徳3年（1713）
79丁　19.5cm
加賀藩主，家臣についての記事，他国からの覚書，雑談を記す。

2610 癸巳雑志　16.28—151
今枝直方著
前田家編輯方手写
78丁　24cm
前号の写。

2611 越年使役日記　16.28—152
今枝直方（楽木）著
自筆　正徳3・4年（1713・14）
2冊　19.5cm
上下2冊。上は往留還，下は雑談。各冊末尾に楽木の署名印，越年の意味は正徳3，4年（1713，14）に記録がわたっているため。
下巻目次
以人之物為我物之微妙公之御意，明暦大火水戸侯与当国之御間柄，信斎熱海湯治之疑，紀州頼宣卿事微妙公貶言，清泰公牛込御屋敷代地之諸談，被揚数多所而平尾曠地御拝領，至于水戸足遠行，寺書院之談，焼屋舗番人被仰付并中村亦七事種々之談，信斎要詞藤田褒美，国政模様微妙公御名言，信斎委身時危界，御家格式定而無害，改作之御奥意無識人，出合屋之事断○之御名言（微妙公），当公諸器金紋之談，御参勤自堺之脚力，贈刀于人時急緩之仕様，岩崎之事諸談，天守台之時微妙公御意，板倉重宗弑父之罪人殺様，土井名言密談之泄者非泄者一等同心表，黒田家紺染足袋之談，水戸臣牧野荒詞之談，当世御老中之褒貶魂屋造営間部詮之勘弁，御老中用意刀掟置，御城坊主風俗，御持筒頭戸田氏不知天道之悪口，江戸風俗古今大異而堕落之勤，江府下々奉公人無之重泰談，文昭公御時女寵格式遠昔，同御台御遠覧出仕侯伯之珍事，吹上御庭之女遊，浜御殿之談，文昭公御詞与御

仕置前後之悖，文昭公之大難，常憲公御清之貴服，不二山焼之談，文昭公御詞軽々鋪非公方畳（濃州事），吉保所望榊原宅地不與底意付近藤登助宅地御成之時御用地之談，常憲公狂賜，当世蒔絵器燃執金，女中江城出入古今大変，富士山焼時之略談，大地震之時諸談，坂東妄放鳥銃，同妄放麑，大岡盗公金，焉者殺同心妻而同夜一座遠嶋，荻原江州噂，凌雲院諸談（忠増・輝貞・宗之・喬朝）愚詞加之，身替之名号祐天和尚筆，浅間山焼之談，宝永山之噂，夫馬正宗之談，南泉一文字遠江長光，正宗中脇旨之天下一，忠遙指料且又物好，水野忠之家風異于他，黒田宣政之国政，光山深志于人，銀吹替容易難成之談，同事ニ付嶋津家之願，入津梁院盗穿盤等之談，菊花之賞翫，連歌師之談，富士主之噂，菊潭盛雲院等之噂，凌雲院之念仏，甲府城荻原金多貯，保山欲心之噂，町人吉保へ賄之仕様一品，類焼侯伯御暇之毀説，会津主御手伝之噂，酒井親受大手御門番之噂，御城女不義之談憶説追而可記，松姫君御局昏女之噂，病母之事ニ付テ霊夢之談，凌雲院与護持院論義之噂，正徳三極下旬四年正月中失火控板之数，濃州長生百姓繁栄之誉付，追加，本庄古城談，牧野防州噂，柿崎家談，長沼之事，ベラノ事，本長兵馬噂，国界風潮之談，泊駅辺之怪談。

2612　癸巳甲午越年使役日記　16.28—153
今枝直方著
前田家編輯方手写
2冊　24cm
前書の写。

2613　正徳甲午雑筆　16.28—154
今枝直方著
自筆　正徳4年（1714）
68丁　19.5cm
加賀藩関係その他25項目を収載。

2614　正徳甲午雑筆　16.28—155
今枝直方著
前田家編輯方手写
61丁　24cm
前号の写。

2615　正徳丙午集書　16.28—156
今枝直方著
自筆　正徳6年（1716）
91丁　19.5cm
加賀藩関係，その他の24項を収載。丙午は丙申の誤記。

2616　戊戌談話集　16.28—157
今枝直方著
自筆　享保3年（1718）
93丁　19cm
加賀藩関係その他16項を収載。

2617　享保戊戌輯書　16.28—158
今枝直方著
前田家編輯方手写　明治年間
80丁　23.5cm
今枝直規旧蔵の写。加賀藩主，幕府，他藩関係の覚書，その他火災などを記す。享保戊戌は3年（1718）。

2618　甲辰聞書　16.28—159
今枝直方著
自筆　享保9年（1724）
48丁　20cm
享保9年在府の際の聞書。

2619　甲辰諸談　16.28—160
今枝直方著
前田家編輯方手写
39丁　24cm
前号の写。

2620　御邦諸談　16.28—161
今枝直方著
自筆　享保11年（1726）
32丁　20cm
今枝直記旧蔵。加賀藩内の政策，法令等について記す。

2621 御邦諸談　16.28—162
今枝直方著
前田家編輯方手写
31丁　24cm
前号の写本。

2622 雑和志　16.28—163
今枝直方著
前田家編輯方手写　明治年間
35丁　23.5cm
内容年享保11年（1726）。

2623 当国古今雑談　16.28—164
今枝直方著
自筆　享保12年（1727）
34丁　20cm
当国金屋蠟燭座由緒。当国ノ小者江戸ニテ先年イサカイノ談。於本郷邸歌舞妙妓ノ書面。当国鷹ノ巣見トモ恩恵之諸書の4品を収む。

2624 当国古今雑談　16.28—165
今枝直方著
前田家編輯方手写　明治年間
32丁　24cm
前号の写。

2625 元禄至享保覚書　16.28—166
手写
146丁　23.5cm
後藤八郎兵衛旧蔵の写。元禄13年（1700）より享保17年（1732）にいたる越中境，関所関係，祭礼等の際の能狂言等を記す。旧書名「覚書」。

2626 元禄年間記録　16.28—167
手写
2冊　23.5cm
前田直行旧蔵の写。旧書名「記録」。

2627 関屋政知録　16.28—168
関屋政知（市右衛門）著
手写
2冊　24cm
関屋政和は，政春の次子。延宝5年綱紀に仕え新番歩，天和元年小頭，貞享3年遺知350石をつぎ，同4年細工奉行，元禄10年組外番頭，宝永7年留守居物頭，享保9年致仕，同16年歿85才本書は，藩政に関する慣習，規則，その他の記録である。有沢貞庸旧蔵。

2628 関屋録　16.28—169
関屋政知著
前田家編輯方手写
79丁　23cm
内容は，元禄から正徳にかかる間における加賀藩の公務，民事，刑事の取扱例を記載せるもの。前書と内容順序に差違がある。

2629 覚書　16.28—170
手写　宝永2年（1705）～同　5年（1708）
6丁　12.5×18cm
触書の写，火災の記事等を含む覚書。

2630 自正徳至天保雑留　16.28—171
前田家編輯方手写　明治年間
78丁　23.5cm
藩士の勤方，取締り等についての旧記を記す。旧書名「雑留」。

2631 享保録抄　16.28—172
前田家編輯方手写
274丁　25cm
享保録は，熊谷敬直の著「止斎正記」ともいい全7冊よりなる。元禄以降享保年間までの前田氏に関する事蹟を多く集録する。これは編輯方において主要部分のみを写したもの。

2632 享保年間之記　16.28—173
熊谷敬直（伴六郎）著
手写
4冊　24cm
岡田隷旧蔵。外題に「旧本題享保録」とあり，享保録のうち正徳6年（1716）より享保8年（1723）までの分を分冊したもの。序に享保9年（1724）6月20日源惇信守孟義済舟子とあり，附記して止斎者熊谷伴六郎，後改忠右衛門扶百

五拾石，宝永7呉服奉行，正徳3公事場横目，享保10歿，47才。

2633 懐恵夜話　16.28—174
由比勝生著
手写　享保4年（1719）
50丁　23.5cm
勝生は寛文元年父歿後四百石を襲いで前田綱紀に仕え，正徳3年退老，暫留と号し，享保4年歿84才。本書は利長から綱紀までの間の故事，旧伝を71項にわたって記述し評論を加えたもの。藩外の事蹟も多い。由比氏旧蔵。

2634 享保雑誌　16.28—175
前田家編輯方手写
2冊　23.5cm
天正～元禄間の加賀藩主藩臣のほか，藩外の事蹟説話などの雑録。

2635 浚新秘策　16.28—176
青地礼幹編
前田家編輯方手写
11冊　23cm
寛保4年(1744)成立。新井白石，室直清などの書翰を主として編したもので，享保7年から元文5年に亘る藩政の事情にくわしく，大槻一件も含まれている。

2636 可観小説　16.28—177
青地礼幹編
手写
17冊　23cm
全25巻を17冊に収む。本書は，著者の見聞，雑写などを雑然と集めたものだが，元禄～享保の世態をよくしりうる。寛保3年の記述を含む。

2637 加陽風土記　16.28—178
手写　寛延4年（1751）
107丁　24cm
巻末に「哺月堂」とあり，内容は「利家公草創之事」以下，前半に31項。後半に29項目にわたって，天文期より大坂陣までの利家・利長・利常三代にわたる各地および，加越能における合戦等のことを記す。

2638 金格秘書　16.28—179
前田家編輯方手写　明治年間
38丁　23.5cm
原本，久保安以所蔵で宝暦5年（1755）の成立かと思われる。加賀藩領の地誌。内容は，金沢城，小松城，家中方鉄砲稽古，家中馬数，城下出火之節手当，家中仕置，家中跡式，地方取，蔵米取，町方作法，百姓作法，百姓仕置，三カ国人数坪数，廻船所持之者，川船数，領国名産，運上物，温泉，道法，浦数，銀山，市日，盗賊改諸色相場，切支丹類族など。

2639 歳々略暦　16.28—180
前田家編輯方手写
24丁　24cm
内容は，享保から嘉永3年（1850）までの藩内の略年表。川尻屋五左衛門編の写。

2640 諸事被仰出日記　16.28—181
青地忠愛著
自筆
~~合綴5~~（20冊）　20cm
越登賀三州領内の行刑，藩士の職任免，知行，生歿，旧記などの覚書集。
① 明和6年（1769）～7年（1770）
② 明和8年（1771）
③ 明和9年（1772）
④ 安永2年（1773）
⑤ 安永3年（1774）
⑥ 安永4年（1775）
⑦ 安永7年（1778）～8年（1779）
⑧ 安永9年（1780）
⑨ 天明2年（1782）
⑩ 天明3年（1783）～4年8月（1784）
⑪ 天明4年9月（1784）～5年（1785）
⑫ 天明6年（1786）
⑬ 天明7年（1787）～8年9月（1788）
⑭ 天明8年10月（1778）～9年（1789）
⑮ 寛政2年（1790）～3年9月（1791）

⑯ 寛政３年10月（1791）～４年（1792）
⑰ 寛政５年（1793）～６年（1794）
⑱ 寛政７年（1795）～８年（1796）
⑲ 寛政９年（1797）～10年（1798）
⑳ 寛政11年（1799）～12年（1800）

2641 **佐々木定国より借写覚書** 16.28—182
手写　明和９年（1772）
８丁　14×19.5cm
前田貞醇旧蔵。綱紀・吉徳に関する見聞雑記。大槻内蔵允関係の記事もある。

2642 **旧記抜書** 16.28—183
手写
３冊　23cm
寛政２年（1790）から文政５年（1822）にかけて抜書したもの。

2643 **加陽抜萃** 16.28—184
僧宗延（芳春院住職）編
前田家編輯方手写　明治26年（1893）
38丁　23cm
原本は芳春院の僧宗延が寛政９年（1797）５月に金沢逗留の内に抜写したもの。芳春院関係，将軍綱吉が本郷邸へ来た時の拝領物，献上物，宣旨の写その他。

2644 **旧　　記** 16.28—185
手写　文化元年（1804）
62丁　11×17cm
藩士の動方，取締り等について，文化元年，同２年の記録。

2645 **種々口訣** 16.28—186
矢部裕之編
手写　文化元年（1804）
43丁　23.5cm

2646 **小川清太見聞録** 16.28—187
前田家編輯方手写
34丁　25cm
小川清太は13代藩主斉泰に近侍した人。この書も斉泰の事蹟に関連した記事である。中巻のみ。完本は氏家文庫にあり。
◦津田鳳卿
◦施政一班
◦「御側廻」と「御次内」
◦御用ノ間
◦土藩ノ士強テ築地ノ関門ヲ過キントス
◦京都ニテ他藩人ヲ殺セルモノヽ処分
◦某総督官
◦横浜ノ警衛
◦加藩仏式兵制ノ起源
◦招魂社
◦加藩蘭式兵制ノ起源
◦大野弁吉ト武田友月
◦銭屋五兵衛
◦輸出米
◦薩摩ノ軍艦ト七尾ノ造船所
◦三好軍太郎（隊長ノ心得如何）

2647 **書　　抜** 16.28—188
手写
11冊　24cm
文政元年（1818）から嘉永６年（1853）にいたる役職，財政，治安，民政等藩政全般にわたることがらの書抜。

2648 **文政五年見聞誌** 16.28—189
手写
74丁　24cm
文政５年（1822）正月元日より12月晦日までの日次記。
旧書名「勝千代様御参府見聞記」。

2649 **天保二年加賀藩政事蹟概略** 16.28—190
前田家編輯方手写
６丁　25.5cm
天保２年（1831）の諸事件，法令，貧民人数，前年江戸入用決算などを記す。

2650 **御家雑録** 16.28—191
98丁　11.5×17.5cm
天保８年（1837）から安政２年（1855）にいたる，御家雑，御法事，富山，大聖寺，年寄中等御家中風俗等，御借知等，寺社方，町人御郡之者等御扶持被下候義等を収む。

2651 御家雑等　16.28—192
手写
75丁　27cm
内容同前。

2652 近藤兵作手記風説書目録　16.28—193
近藤兵作編
前田家編輯方手写
2冊　24cm
風説書の目録2種，いずれも天保15年（1844）より嘉永3年（1850）まで。近藤信作(兵作)，弘化4年（1847）父のあとをつぎ180石，算学に長じ年寄長連弘を補け，安政元年連弘共に政務より退けらる。文久3年再び藩政に参与し，明治3年退老，同6年歿，77才。

2653 近藤集書　16.28—194
近藤信行（兵作）編
前田家編輯方手写　明治年間
31冊　23.5cm
弘化元年（1844）から明治元年（1868）にわたる。

2654 上書集　16.28—195
成瀬正居著
自筆　16.85-6
2冊　12×18cm　1-44，47-52有
慶応3年（1867）～明治2年（1869）の日記風に書かれた見聞，風聞記である。上書集の附録で第45，46巻の2冊。

2655 雑記　16.28—196
堀郁三郎編
自筆　明治24年（1891）
10冊　22.5cm
万延元年（1860）から明治元年（1868）までの加賀藩藩末期の記録を集成したもの。
① 堀郁三郎上書，元治元年（1864）4月公武規定書ほか41項。
② 元治元年（1864）8月清水寺境内ニ張紙之写但中川宮松平肥後守右之者云々書出し外33項。
③ 元治元年（1864）正月開鎖論ほか53項。
④ 元治元年（1864）水戸浪士越前へ入候節安達幸之助探索覚書ほか84項。
⑤ 元治元年（1864）2月至5月松平大弐京都詰中内状等留ほか4項。
⑥ 元治元年（1864）3月御家老役被仰付ヨリ7月16日ニ至ル本多図書日記ほか20項
⑦ 慶応4年（1868）正月慶喜反状明白ニ付仁和寺宮征討将軍被仰付追討被仰出ニ付諸藩方向ヲ定メ奉公スヘキ旨布告写ほか78項。
⑧ 明治元年（1868）4月徳川家相続等之義御問ニ付貢士陸原慎太郎等建言ほか86項。
⑨ 文久三年（1863）11月奉勅始末ほか23項。
⑩ 明治元年（1868）7月藩政之義ニ付意見書ほか42項。

2656 御改革ニ付御親翰写竝官江御届之品々等留記　16.28—197
金沢藩編
手写　明治8年（1875）
37丁　24cm
「県誌稿編修ノ節抜鈔」とあり。内容は明治2年（1869）10月。
旧書名「御改革ニ付御親翰等写」。

2657 佐川良助筆記　16.28—198
佐川良助（久連）著
前田家編輯方手写　明治23年（1890）
47丁　23.5cm　1885
本書は，明治元年(1868)成立。明治18年(8854)松平康荅筆写，それを明治23年（1890）編輯方が写す。「松平大弐康正一件」

2658 早川随勝集記　16.28—199
早川随勝編
自筆
89丁　23.5cm
文久2年（1862）から明治2年（1869）にかけての幕末の改革，政治事件，風説，触書等に関するものを集録したもの。早川随勝旧蔵。

2659 真偽一統志　16.28—200
手写

6冊　22cm

岡田隷旧蔵。内容下記のごとし。

① 連歌二種，琉球王使者（寛文11年），軍役之定，紀伊綱教公献上品（天和2年），寛文年中御領国十村江被仰渡書上候品々，氷室，加能地震被害（享保14年），大内夢物語など。

② 徳川家康一門，家臣，関ケ原合戦，大阪の陣などについての記述。

③ 前田利常小松在城時の事蹟，前田綱紀家督相続につき御礼申上候節覚，綱紀隠居願，前田利長大聖寺の戦い，吉田家の家譜，向井家伝覚，長久手の戦後の秀吉についてなど。

④ 前田綱紀隠居についてなど。

⑤ 小松浅井畷取合之記外ニ在之，那谷寺并御幸塚由来之事，小松近辺所々由来之事，末守記ニ付伝記有，本多安房守始末之記，御尋付而申上候（村井家），寛文七年相州新堂御供之覚，猪猟御供懸リ。

⑥ 本多安房守政直などについて。

2660 文慶雑録　　16.28—201

前田家編輯方手写　明治年間

32冊　23.5cm

幕末期における外交，民政，事件，尊攘運動などを集録したもの。

首巻

① 文政8年12月大田波之丞一件ほか6項。

② 天保13年3月矢部駿河守御預一件ほか12項。

③ 嘉永6年亜船浦賀へ渡来一件ほか6項。

④ 天保元年正月犬千代丸様御七夜之節上使ヲ以御拝領物等并御幟立之件ほか31項。

⑤ 万延元年3月外桜田一件主意書ほか30項。

⑥ 安政元年正月異船渡来一件香山栄左衛門等咄并風説ほか39項。

⑦ 天外仙人策ほか5項。

⑧ 文久2年極秘言説ほか30項。

⑨ 文久2年勅使大原左衛門督上書面ほか12項

⑩ 水府献策。

⑪ 山本元七郎上書。

⑫ 慶応2年正月長州処置之奏問并勅答ほか14項。

⑬ 慶応2年津和野軍目付ヨリ広島監察へ届并亀井侯ヨリ惣督等へ届書等ほか27項。

⑭ 元治元年より翌年ニ至水戸浪士降参一件等并浪士日記。

⑮ 外国御取扱并貿易之義ニ付堀田備中守ヨリ役々へ意見尋問書ほか23項。

⑯ 弘化3年3月異船之義ニ付筒井紀伊守申上候書付ほか9項。

⑰ 嘉永3年2月京都町奉行へ幕府ヨリ申来海防方書ほか16項。

⑱ 弘化4年3月信州地震録ほか1項。

⑲ 寛永11年ヨリ天保15年迄江戸城焼失覚書ほか35項。

⑳ 安政4年正月米国官吏閣老へ面会之件ニ付評定所一坐へ取扱方申渡ほか26項。

㉑ 天保14年ヨリ文久3年ニ至ル変異吉凶等抜書ほか32項。

㉒ 文久3年5月6日小倉侯ヨリ領海異船碇泊并長州攘夷之模様等口上書及長州ヨリ小倉へ使者口上書及返書ほか22項。

㉓ 元治元年7月長藩犯闕一件并九門御固各家名書ほか28項。

㉔ 慶応2年5月3末家等歎願書等長防処置之件ほか35項。

㉕ 元治元年2月3日会津侯参議推任之御沙汰書并同侯先祖正之ニ贈位ヲ願ハル件等ほか38項。

㉖ 文久3年9月和泉橋通リ張文ほか19項。

㉗ 慶応3年9月容堂侯王政復古之建言并別紙ほか47項。

㉘ 会藩国中へ檄文ほか39項。

㉙ 安政4年薩藩肝付兼武著東北風談ほか13項。

㉚ 元治元年正月新兵及指引人等被仰付人名書及同年5月被仰付人名書等ほか13項。

㉛ 万延元年3月桜田之変井伊家ヨリ届書等ほか6項。

2661 旧邦記　　16.28—202

前田家編輯方手写　明治年間

42丁　23cm

「旧邦記」4巻と「雑書之抜書」を収む。もと75条あった中から前田氏に関するもの29条を抜

萃したもので，宝暦３年桂樹軒倚杖署名のものの写。

2662　有沢永貞筆記　16.28—203
有沢永貞著
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　23cm
内題「丹羽五郎左衛門長秀一件幷三ケ国御領分之次第」。宝永５年（1708）成立。丹羽長秀と前田家不和の一件，および有沢武貞編の三ケ国領知の経過の記を写し，さらに永貞による増補，考証を記す。その延享度の写本の写。
旧書名「筆記 別名 丹羽五郎左エ門長秀一件」。

2663　博加雑談　16.28—204
邑巷軒蒙鳩子著
前田家編輯方手写　明治年間
67丁　23.5cm
「博加雑談」の中から前田氏に関係したもののみを抄録したもの。加賀国起源，歴史の外に，福島正則遠流，その他聞書等を記す。森田平次は，邑巷軒蒙鳩子を丹羽四郎左衛門としている。

2664　国事昌披問答　16.28—205
邑巷軒蒙鳩子著
前田家編輯方手写
95丁　23cm
別名，老若問答集。成立宝暦３年（1753）。加賀藩の種々の典故について問答体で記したもの。

2665　国事昌披問答　16.28—206
邑巷軒蒙鳩子著
22丁　24cm
後部4分の１のみで，前部がない。
玉造宗太旧蔵。著者名については刊本の解説参照。

2666　国事雑誌　16.28—207
手写
85丁　23.5cm
武家社会を中心とした世事一般について収録。

2667　雑抄六種　16.28—208
手写
94丁　24cm
抜志（雑記），高宮某見聞集抜書，貫知行の図り等，心芥記等抜書，高畠殺害抄，規窠。

2668　雑録備考抄附録　16.28—209
前田家編輯方編
手写
7冊　23cm
題名に「余毫」と附記してある。天和から宝暦までの雑覚書の写。

2669　坂井日記幷坂井留記抄　16.28—210
前田家編輯方編
手写
104丁　26cm
藩法令の写しや，たか狩，密猟，財政困窮，奢侈，予算，殿中武家作法，婚儀など雑多な記録，とくに藩財政の困窮を訴えたものが多い。

2670　見聞集　16.28—211
前田家編輯方手写
2冊　23.5cm
「長谷川旧記之内」とある。宝暦，安永期の出府中の藩士動方覚。

2671　加藩雑記　16.28—212
岡田政之（勝左衛門）手写
3冊　24.5cm
岡田隷旧蔵。政之は弘化４年歿。藩初から元禄頃迄の聞書集。

2672　北藩諸雑記　16.28—213
前田家編輯方手写　明治年間
78丁　23.5cm
内容は，奥村丹後守殿跡相続之事からはじまって，学校，白山下幕領，寺島蔵人，真龍院様江戸からの旅程，諸郡奉行，御国火事一巻帳等，旧記，留書等を集めたもの。原本成立万延元年。

2673　拾纂雑録　16.28—214
長谷川貞福編

前田家編輯方手写
51丁　23.5cm　明治年間
別名「加陽旧伝」。祖父，父，有沢致貞などの談話その他をまとめたもの。金城由来から大坂役まで。

2674 〔前田家雑録〕　16.23—215
前田家編輯方手写
仮綴1（205丁）　25cm
兵範記之抄，日次記，今枝文書，道長公記三ノ抄，蓮如上人記など雑多。

2675 九里夕庵等覚書　16.28—216
前田家編輯方手写
88丁　23.5cm
内容は
- 九里夕庵，坂井与左衛門，栂野覚兵衛，藤田内蔵允，由比勘兵衛覚書咄等書雑候品々
- 青地四郎左衛門等定私記
- 自分慎書
- 執事問答書
- 由比丸橋云々
- 桜井俊雄聞書
- 天保5年十一月三日於小立野与力町安武半之丞叔父日置知左衛門乃切害候一件聞書

政治事件

2676 浦野一類所刑一件　16.28—217
手写
45丁　24cm
寛文7年（1667）長氏領鹿島半郡をめぐる浦野事件の処分に際して派遣された，岡島甚七郎の記録帳。

2677 前田直躬内密手記　16.28—218
前田直躬著
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
① 佐渡守様御内々御用留（寛保3年），達御内聴候品留（延享2年），真如院一件并大槻事，真如院一巻（寛延元年）
② 御内々窺之品御親翰等留，起居秘録（宝暦3年），御内々窺之品御親翰御請之写（宝暦4年），奉達御内聴候品々留（明和8年），前田土佐守直躬言上。

2678 増補見聞大槻録　16.23—219
手写
2冊　23cm
大槻騒動。

2679 大槻一巻落着之写　16.23—220
手写
7丁　24cm
富田権六郎旧蔵。宝暦4年（1754）閏2月2日付の大槻朝元の一族一類の判決書。

2680 大槻一件　16.23—221
前田家編輯方手写
237丁　25cm
編輯方が集めた大槻騒動関係の記録の綴り。

2681 大槻内蔵允一件　16.23—222
手写
66丁　23.5cm
大槻内蔵允が処刑された際の記録などを集めたもの。

2682 大槻内蔵允落首刑付小紙写　16.23—223
手写
1通　15.5cm
中川典克旧蔵。宝暦4年（1754）大槻朝元の一類の判決書。

2683 大槻朝元事実談・大槻朝元年表　16.23—224
戸水信義述
前田家編輯方手写
39丁　23.5cm
戸水信義が，明治36年（1903）2月21日史談会で話した史談会記録，第572号の写し。又編輯方の編した大槻朝元関係の年表。

2684 越路かがみ　16.28—225
手写
27丁　24cm
序文に宝暦6年（1756）沙弥雲水述とあり，跋文に宝暦11年（1761）とあり。加賀藩御家騒動を扱い，最後に宝暦の金沢の銀札騒動に関連づけて小説風に記す。

2685 越路のかがみ　16.28—226
手写
21丁　23.5cm
加賀騒動を記す。

2686 虚実雑記　16.28—227
手写
12丁　24cm
前田直行旧蔵。宝暦5年（1755）銀札発行に関する風刺の文，歌などを収む。

2687 十村禁牢一件覚書　16.28—228
前田家編輯方手写
31丁　24cm
文政2年（1819）3月，加越能の十村28名に入牢を命じた一件。

2688 銭屋五兵衛詮議留　16.23—229
手写　明治初年
3冊　23cm
河北潟魚死浮異変について，嘉永5年，郡奉行等が宮腰銭屋五兵衛を詮議した際の記録。

2689 銭屋五兵衛一件　16.23—230
前田家編輯方手写
61丁　23cm
宮腰銭屋五兵衛潟魚一件ニ付關所迄記録，片岡孫作ヨリ写出ス。銭屋五兵衛一件書，原本戸水信義蔵。銭屋事蹟并伝，安井顕比。銭屋五兵衛之伝，傑士伝ヨリ抜書。

特16.29 支藩・預所

富山藩

2690 越中国知行所付　16.29—1
手写　元禄10年（1697）
16丁　28cm
元禄10年6月30日幕府へ提出した知行所覚の控。松平大蔵大輔は富山藩2代前田正甫。

2691 高辻帳原稿　16.29—2
手写
合綴1（2冊）　24.5cm
「淡路様御分上新川布瀬豊右衛門」，「淡路様御分下新川湯山三右衛門，蔵生加兵衛」

2692 富山領村々高免帳　16.29—3
前田家編輯方手写
75丁　23cm
杉本弥五郎蔵の写。文化6年（1809）の淡路守様御領分村々高免帳を天正寺村十兵衛より御改作所へ提出したもの。

2693 富山へ御領知分御絵図之次第　16.29—4
手写
2丁　19cm
寛永16年(1639)富山へ御地分けした後の変遷，御判物，公儀御用として絵図指上の次第など記録。

2694 〔万治三年富山領知替堺目絵図添書〕　16.29—5
手写
5丁　24.5cm
原題名「万治三年七月十八日，淡路守様富山御領知替堺目百姓中判形有之絵図」とあり，これはその添書の写。万治3年（1660）7月8日，富山藩領新川郡浦山辺16,800石および能美郡内20,000石を新川郡浦山辺の地と交換した。当時の資料を文化14年（1817）に点検したもの。なお朱入は元禄11年。淡路守，大蔵大輔は夫々富山初代および2代藩主。末尾に富山藩領の沿革を記す。旧書名「淡路守様富山御領知替堺目百姓中判形有之絵図添書」。

2695 富山城下図　16.29—6
手写
絵図3枚
① 「富山御城下絵図」とあり，朱引(道筋)，藍色（堀幷川），黄色（寺院），茶色（御家中），墨引之内（焼失），同外（無難之分）に色分け。93×50cm
② 「富山城下絵図」とあり，道筋，堀幷川，寺院，御家中，神社に色分け。82×50cm
③ 「富山城下図」とあり，3色，53.5×77cm

2696 婦負郡絵図　16.29—7
手写　明治元年（1863）
絵図1枚　彩色　266×110cm
太政官へ差し出した時の写し。

2697 北陸道越中国之内富山藩支配里程図面帳　16.29—8
手写　明治4年（1871）
5丁　24cm
石田太左衛門内蔵の写。富山藩内里程図。本街道，脇街道，領境，郡境，橋，川をが記入。

2698 富山御領絵図面御附札答書　16.29—9
手写
4丁　12×35.5cm
絵図面に附札をした事に対する解説。

2699 富山御条数等写　16.29—10
手写　明治初年
52丁　23cm
内容は，公儀触の写しなどの記録中心。

2700 富山御条目等六種　16.29—11
手写　明治初年
2冊　23cm
内容は，享和元年（1801）より嘉永3年(1850)に至る「御条目幷寄合所覚書」，「御寄合所張紙等写」，「御勘定所御定書」，「御小姓組御用談」，「江戸御館，御式台番勤方心得」，「御広式定書附御休息定書」等を収む。

2701 富山藩年中御定例　16.29—12
手写
91丁　23cm
「富山藩御郡役所年中行事」も収む。

2702 龍光公以降記録　16.29—13
前田家編輯方手写　明治年間
75丁　23cm
龍光公は富山藩祖利次。内容は，利次公以降記録，利次公御分国以降諸記事，五節句の時の年寄中へ目通のこと，拝領屋敷について，御家中六十年来の御暇を出された者，自滅したもの，断絶したものなど記す。

2703 富山御家旧記略　16.29—14
前田家編輯方手写　明治年間
67丁　23cm
利次公御分知之事附御人分，利次公御入部之事附御婚礼之事，利次公御参勤附犬千代様御出生之事など。

2704 諸旧記抜萃　16.29—15
手写　明治17年（1884）
74丁　23.5cm
富山藩の成立より富山県の成立にいたる間の旧記抜粋を集めたもの。

2705 越中古事記　16.29—16
手写
103丁　23cm
利長様富山御入城の事，富山城下町名の事，享保10年寺領の事，寺社人数御改の事などを内容とする。初期から宝暦年間迄の富山藩政についてのもの。

2706 富山記録十三種　16.29—17
前田家編輯方手写　明治年間
3冊　23cm
① 正甫公御覚書，御直書幷被仰出等写，宝暦十年以降抜萃，新川郡旧事略珍事録
② 上書向ニ付引合一条，天保九年巡見上使へ答方心得，慶応3年湊見分御役人へ答方心

得，飛州百姓騒動一件，飛騨国ト山論答書
③ 草島柳指場一件，練合七軒両村論地一件，
蟇寺籠場一件

2707 東都円歳録　16.29—18
手写
207丁　23.5cm
内題「東都円歳録同用衆記」。富山藩の在府中の年中行事，作法などを詳記したもの。文政末期のものか。

2708 龍光公御定書　16.29—19
前田家編輯方手写
83丁　23cm
龍光公は富山藩主初代利次。内容は龍光院様富山へ御引越等留。利次公被仰出書，寛永8年御定書よりなる。年代は寛永8年（1631）～正保2年（1645）。文久，慶応の写本の写。

2709 利興公以来歴世被仰出書　16.29—20
前田家編輯方手写　明治年間
83丁　23cm
題箋「利興公等被仰出書」。利興公は3代富山藩主。内容年代は享保3年（1718）から嘉永元年（1843）まで。

2710 富山一件書抜　16.29—21
横山政和編
前田家編輯方手写
34丁　26cm
津田内蔵助旧蔵の写。万延元年（1860）9月成立。内容は，安政3年（1856）から同7年（1860）。

2711 富山御一巻帳之内書抜等　16.29—22
手写
55丁　12×18cm
表題は「富山御一巻帳之内書抜幷詰中御用帳之内書抜」
安政3年（1856）から万延2年（1861）に至る御家政向につき抜書。

2712 富山支藩ニ関スル記事抄録　16.29—23
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　25cm
稠松様御暇願ノ事，富山御政事向親敷御承知被遊度ニ付安政6年云々等横山氏記録など写。
旧題「横山氏記録ヨリ富山支藩ニ関スル記事抄録」

2713 富山表風説書　16.29—24
前田家編輯方手写
69丁　23cm
富山表前々より繁花之風俗など富山における藩末の諸事。

2714 越後国高田之城為御請取留書　16.29—25
手写　延宝9年（1691）
43丁　24cm
延宝9年（1691）の越後騒動のため，高田藩主松平光長が除封された際，富山藩主前田正甫（大蔵大輔）が，高田城請取役を勤めたときの記録。

大聖寺藩

2715 加賀国江沼郡能美郡之内郷村高辻帳　16.29—26
手写
17丁　28cm
大聖寺藩前田飛騨守領分，149ケ村本高33万33石7斗3升高辻帳。天保3年（1832）作成。

2716 加賀国江沼郡能美郡之内郷村高辻帳　16.29—27
手写　10丁　24.6cm
前号の写。

2717 松平飛騨守領分高辻帳　16.29—28
手写　享保12年（1727）
20丁　25cm
大聖寺藩が貞享元年（1684）公儀へ出した高辻帳の写。江沼郡と能美郡の一部を含む。
旧書名「領分高辻帳」。

2718 大聖寺領高辻帳　16.29—29
手写
17丁　25cm
内容は，元禄14年（1701）6月朔日付のもの。

2719 〔大聖寺御領組合絵図〕 16.29—30
手写
絵図1枚　彩色　39.5×52.5cm
旧書名「江沼郡幷能美郡之内村々組合絵図，大聖寺御領」大聖寺町を除いて村々を色分け記載。

2720 大聖寺御領境分間絵図 16.29—31
絵図1枚　彩色　184×110cm　紙袋入
加賀藩との境界に，御境松，御境番数印，仮分間ノ見的などを詳細に記入。

2721 大聖寺御領巨細絵図 16.29—32
手写
絵図1枚　彩色　163×184cm　紙袋入
領内を拡大して江沼郡（白色），矢田野新田（浅黄色），能美郡の内（肉色）に分け，往還，道，一里塚を色別に，米蔵，塩硝蔵，塩竈を記入。山の通称を詳細に書込みしてある。

2722 大聖寺図 16.29—33
手写
絵図1枚　78×54cm
小木貞正旧蔵之写。

2723 大聖寺領村界相極ル絵図 16.29—34
手写，天保11年（1840）
絵図1枚　105×126cm
原本成立，万治3年（1660）。

2724 大聖寺領江沼郡奥山詳図 16.29—35
手写　元治元年（1864）
絵図1枚　80×117cm

2725 大聖寺御領村名帳 16.29—36
手写　慶応元年（1865）
9丁　24cm
◦能登国口郡米倉1個所収納米額及町倉1ケ幷ニ人名（慶応元年）
◦同年所口役所ニ保管スル銃砲ノ種類員数ノ調査を合綴。

2726 江沼郡図 16.29—37
手写
絵図1枚　彩色　105.5×99.5cm
高畠定辟旧蔵。江沼郡内の村々を記載。

2727 備後守御願ニ付御内意覚書 16.29—38
手写
1通　16cm
備後守は大聖寺藩主。

2728 備後守様御登城一件 16.29—39
富田外記編
自筆　文化9年（1812）
17丁　24cm
富田権六郎旧蔵。備後守は第9代藩主利之。

2729 桃之助殿御出府御行列附 16.29—40
手写
7丁　36×12cm
渡辺庸旧蔵。桃之助は14代大聖寺藩主利鬯（13代斉泰の7男）。安政2年(1855)襲封に先立ち，10月15日金沢を発して出府の途についた。

2730 桃之助殿御出府御行列附 16.29—41
手写　明治初年
2丁　24cm

2731 下道中駅路御宿之覚 16.29—42
手写
1通　16cm
内容は，大聖寺御発駕，小松小休，松任第1日目旅宿の記録。

2732 江戸御発駕之節御作法 16.29—43
中村左兵衛編
手写
巻子1　15cm
大聖寺第4第5代藩主について。

2733 聖藩家譜要略 16.29—44
佐分利政一編
手写

72丁　25cm
松見助五郎旧藏。内容は，御城来因略，御事略本家，同姓御家臣御歴代を記載す。

2734　大聖寺藩略譜　　16.29—45
手写
14丁　10×13cm
内容は，寛永以降寛政3年（1791）迄のごく簡単な記録。

七　日　市　藩

2735　旧七日市藩情一斑　　16.29—46
陸義猶著
自筆　明治31年（1898）
13丁　24cm
陸義猶（通称静一郎，字は正路，板善堂，俊軒，不知老斉，九皐居士，経徳書等と号す）天保14年（1843）生。幼より井口犀川に学び，明治2年藩命により諸国巡歴し，同4年5月藩政改革の必要を切論したが，廃藩により県属に任ぜられ，同6年辞して国事に奔走し，同11年島田一良等が大久保利通を刺殺したとき，義猶は斬奸状を草した為，捕えられ終身禁獄に処せられた。次いで同21年憲法発布の際，特赦を得，前田侯爵家の委嘱により，旧藩事蹟調査の事に当った。本書は，その時の事蹟取調委員として執筆したもの。内容は「本藩士武田耕雲斎等西上藩境ニ来ル，藩士横尾鬼角善計之ヲ退ケ以テ国難ヲ避ク」，「藩政改革改新守旧両党軋轢」，「藩職制，祿制ノ略」を収む。

旧　旧書名「七日市藩情一斑」

2736　旧七日市藩情一斑　　16.29—47
陸義猶編
前田家編輯方手写
12丁　25cm
前号と同内容。

土方領・預　所

2737　能州土方河内守知行所高物成之帳　　16.29—48
吉田武兵衛著
自筆　正保2年（1645）
34丁　32cm
本多安房守，横山山城守宛。吉田武兵衛は土方氏家臣。

2738　能登国土方兼三郎知行所村高帳　　16.29—49
手写
2丁　31cm
土方兼三郎知行所当分御預地の四町村等7カ村の高のみを記す。

2739　能州土方御領村名帳　　16.29—50
手写　慶応元年（1865）
1丁　24cm

2740　〔土方領境塚之絵図〕　　16.29—51
手写
絵図1枚　170×145cm
旧書名「土方領能州鳳至郡黒島村御領分境目境塚之絵図。

2741　土方氏旧領考　　16.29—52
田辺政己著
自筆　文政2年（1809）
10丁　28cm
内容は，土方氏の略歴と能登土方領の変遷を記す。田辺政己（吉左衛門・吉平）は宝暦3年（1753）生れ。天明6年（1786）新番組，御近習番加人，寛政8年（1796）御近習勤仕，文化12年(1815)家祿200石を襲ぎ，組外，御近習番，文政5年（1822）50石加増，同6年(1823)歿，71才。「能登日記」ほか著書多し。

2742　能州御預所村名帳　　16.29—53
手写　慶応元年（1865）
4丁　24cm

2743　御預所之内天明五年村替旧記　　16.29—54
手写
3丁　24cm
奥郡の土方領など，天明5年（1785）の村替について。

2744　御預所千路村等御村替記録　16.29—55
手写
5丁　23cm
成瀬氏旧蔵。

2745　能州御料所之由来等　16.29—56
前田家編輯方手写
4丁　25cm
岡部勇作旧蔵の写。能州御料所の由来，越中布市村と御引替之覚などを内容とす。

2746　能州御公領知村々御領地就被仰付候一巻控　16.29—57
前田家編輯方手写
8丁　25cm
岡部勇作旧蔵の写。内容は，享保7年（1722）の土方領が公領になった際の記録。

2747　能州御預地方一巻　16.29—58
手写　享保7年（1722）
31丁　24cm
成瀬正居旧蔵。内題「能登国御領知御預ニ付御代官日野小左衛門殿ヨリ来ル証文品々幷江戸御家老衆紙面且又御聞番御口上書等写置留」

2748　御預所御用之儀窺紙面　16.29—59
成瀬内蔵助著
手写
34丁　23cm
内容は，延享3年（1746）に家老へ提出したものの写。

2749　能州御預地巡見御用日記　16.29—60
手写　宝暦3年（1573）
14丁　21.5cm
富田権六郎旧蔵。宝暦3年（1753）3月22日から4月11日まで能州預所（幕府領を加賀藩が預った所）を巡見した時の覚書。

2750　御預所御用勤方帳　16.29—61
藤田兵部著
手写
17丁　23cm
内容は，天明3年（1784）に家老へ提出したものの控。

2751　御預所御算用者勤方帳　16.29—62
藤田兵部著
手写
6丁　23cm
内容は，天明4年（1785）に家老へ提出したものの控。

2752　御預所御用勤方帳　16.29—63
永原大学手写　寛政2年（1790）
16丁　24.5cm
天明3年（1783）に藤田兵部が書上げた勤方である。それ以前延享3年（1746）の勤方では当時相違の趣きがあるので書加えたもの。

2753　御預所勤方明細帳　16.29—64
津田治兵衛著
手写
10丁　23cm
内容は，寛政7年（1796）に家老へ提出したものの控。

2754　御預所村々不時見廻役人被遣候義ニ付被仰渡候一件　16.29—65
手写
13丁　23cm
内容は，文政5年（1822）の見廻。見廻役人は九律見源太郎。

2755　御預所御改革ニ付心覚手帳　16.29—66
手写
30丁　12×18cm
内容は，天保14年（1843）のもの。早川随勝旧蔵。

2756　〔御預地御用方手帳〕　16.29—67
多田治村手写　安政5年（1853）
19丁　24cm
「御預地方御用御手帳之内相分り候分抜書」安

政5年（1858）に，享保7年（1722）以来の預地御用に関して，預地方御用の六郎右衛門及び六蔵なる人物の手帳より，安田治村が抜書きしたもの。

2757　御預所村々五拾ケ年賦返上銀帳　　16.29—68
手写
154丁　24cm
安政6年（1859）から明治4年（1871）までのもの。

2758　〔御預所御取扱方一件〕　　16.29—69
手写
69丁　24cm
旧署名「御預所之儀御私領へ打込御取扱被仰渡候一件」。武部村与四郎が慶応3年（1867）から明治元年に亘り記録したもの。

2759　能州公領地等之留　　16.29—70
前田家編輯方手写
115丁　24cm
目次は，能州御公領地時代之覚，能州御預地一件（享保年中以後抜書），御預所幷御領国中男女宗門分帳，御預所以来御預高ト相成御私領へ打込之件。

2760　御預地方江被仰渡候御書立留帳　　16.29—71
手写
34丁　23cm
成瀬氏旧蔵。

2761　旧記等抜書　　16.29—72
手写
33丁　23cm
目次は，能州御預ケ地由来之事，他国者往還送り物之事など。

2762　元御預所村々明細帳一件　　16.29—73
手写　明治元年（1868）
70丁　24cm
氏旧
真館蔵の写。明治元年（1868）に過去の明細帳を写して作成されたもの。内容は鹿島郡矢田組について，享保8年（1723）の熊淵村，下村，天保8年（1837）の佐々波村，大野木村，八幡村，江泊村，黒崎村，東浜村，山崎村，庵村，慶応3年（1867）の庵村，大泊村，花園村の各明細帳を記す。

2763　〔御預所村々百姓行状書付〕　　16.29—74
奥野主馬著
手写
2丁　28cm　旧署名
成瀬正居旧蔵。「御預所能登国村々百姓等行状之儀被仰渡之趣申渡候御届書付」。

特16.3 藩　　士

特16.30 知　　行

知行判物・所付

2764 能州押水之内所々村付写　16.30—1
手写
1通　27.5cm
天正12年（1584）10月11日付，御印物，給人は奥村助右衛門・千秋主殿助。

2765 村井又兵衛知行宛行状写　16.30—2
手写
1通　15cm
天正13年（1585）2月28日付利家より村井又兵衛尉宛，蓮沼表の又兵衛の戦功に対し，加州石川，河北，能州の内を以て4千俵扶助。

2766 前田利家印物　16.30—3
手写
1通　24cm
宇野親孝旧蔵の写。天正13年（1585）前田利家より宇野宗右衛門宛の文書。
旧書名「前田利家知行書写」。

2767 御代々御知行御判印物幷所附等留帳　16.30—4
手写
33丁　24cm
利家から文政年間間に至るまでの判，印物，所付などの記録。

2768 石川・河北領知方村付写　16.30—5
手写
1通　28cm
内容は，慶長4年（1599）村井豊後守宛。

2769 本多家寛永物成帳　16.30—6
前田家編輯方手写
86丁　23cm
本多政均旧蔵の写。新田御物成帳，給人領高物成帳を併せ収録。
旧書名「本多家物成帳」。

2770 御一行留　16.30—7
手写
238丁　25cm
慶安3年（1650）～承応2年（1653）のもの。知行宛行状を集録。

2771 御一行之留　16.30—8
手写
170　丁26cm
藩士の知行所および知行高などの判物写を集録したもの，承応3年（1654）～万治元年(1658)のもの。

2772 御判物等之写　16.30—9
横山政孝編
手写　文化5年（1808）
11丁　24cm
慶安2年（1649）～享和2年（1802）にいたる歴代の横山蔵家(1万石)に対する判物の写し。

2773 御印之物写　16.30—10
前田家編輯方手写
28丁　23.5cm
万治2年（1659）の家臣，役方への扶持等。

2774 物成幷秋夫銀請取之覚　16.30—11
手写
3通　24cm
寛文4年(1664)射水郡津幡江村，飛径屋村等における加藤市右衛門分・加藤治兵衛分の請取。
旧書名「物成請取之覚書等」。

2775 松雲院様ヨリノ御物判ニ相洩候七手組以下之奥書之控　16.30—12
手写
1通　16cm
七手組，100石以上，組頭以上頭分以上，平士以下について5代綱紀のときの判物に，6代吉徳のときに加えた奥書の控。「松雲院様御代御判物等被下候義相洩，護国院様御代一統被成下候ニ付七手家以上より平士以下迄御判物等ニ御奥書之控御下物一通」と付紙あり。

2776 御家中御判物格　16.30—13
手写
25丁　26cm
白井憲成旧蔵。元文2年（1737）書上げの写。諸身分のもの上級家臣団の知行給付状書上げ，諸職制への役料給付状書上げ，附百姓町人御印物格が含まれる。

2777 御居間書院ニテ御印物頂戴之留　16.30—14
手写　宝暦13年（1763）
1通　24cm
成瀬正居旧蔵。宝暦13年8月4日御居間書院で御印物を頂戴した際の覚書。

2778 村井喜四郎知行宛行状写　16.30—15
手写
1通　34cm
寛政2年（1790）4月10日付治脩御判又兵衛遣領1万969石余の宛行状。旧書名「村井喜四郎知行状写」。

2779 御判物写被仰付候一巻　16.30—16
金沢御右筆部屋編
手写
14丁　24.5cm
天保8年（1837），嘉永7年（1854），安政6年（1859）のもので，御判物を写す際の注意とその形式を示したもの。

2780 題紙留　16.30—17
手写
646丁　24cm
安政5年（1858）から文久2年（1862）に至る藩士に対する切米，御加増，隠居料，新知などの記録。

2781 御先納加越能所々入目録　16.30—18
手写
1通　24cm
加賀藩算用場より今枝民部宛。

2782 知行所附役料所附之写　16.30—19
手写
4通　27cm
有沢才右衛門（延享5年1748）。小太郎（寛保2年1742）のもの。

2783 与力知行村附　16.30—20
菊地大学・伊藤内膳・永原左京編
自筆　正徳5年（1715）
1通　27cm　包紙入
竹下判兵衛本高300石の所附，村井主膳宛。河北郡大場村，砺波郡殿村，新川郡浜黒崎村。判兵衛正基は，村井家の家臣。宝永3年(1706)親長（5代，豊後守）に仕え6人扶持，ついで与力となり300石，享保21年（1736）家老役，宝暦8年（1758）8月歿。

2784 近藤錬作・東馬知行給付状写　16.30—21
手写
2通　16cm
近藤錬作は100石定番御歩小頭，東馬は80石定番御歩で錬作の養子。

2785 御判物御印物御作法書等頂戴被仰出窺惣列帳　16.30—22
手写
23丁　~~18cm~~　12×18cm
高畠定辟旧蔵。御印物頂戴候者，名書帳面，横目迄提出，人数しらべ。

2786 御判御印物返上之分願ニヨリ被返下候名書　16.30—23
手写
1通　16cm
戊申7月5日に記された文書，藩士より返上させた判物，印物を，その子孫の願によって返付した際の名書。

2787 御家中御判物格帳　16.30—24
手写
25丁　26cm
附，御書格大概，百姓町人御印物格。

2788 抜書　16.30—25
小原某編
手写

49丁　12×18cm
隠居，家督，旧記を集めたもの。文化期までの隠居料，家督の例。文政期までの知行出仕立，知行割方関係のことなどの覚書。

2789　知行高歳附帳　16.30—26
成瀬正敦（鍋吉）編
自筆　文化9年（1812）
仮綴1（3丁）　27cm

侍　　帳

2790　慶長之侍帳　16.30—27
前田家編輯方手写　明治年間
49丁　23.5cm
巻末に「享保2丁酉季中夏藤田安勝ヨリ求之書写」とあり，本書はその写しである。慶長17・8年頃のもので，人持組6組，馬廻組6組を組分けし，祿高，軍役人数，知行地の国別支給の割合を記載。刊本「加賀藩初期の侍帳」石川県図書館協会

2791　慶長之侍帳　16.30—28
手写
58丁　26.5cm
表紙に「慶長七八年之侍帳」とあれども内容は17・8年侍帳と同じ。

2792　慶長・延宝加陽分限帳　16.30—29
手写
62丁　23.5cm
「慶長年中御家中分限帳」，「延宝三乙卯四月改之御家中侍帳」を収載。
旧書名「加陽分限帳」。

2793　元和之始頃侍帳　16.30—30
手写
70丁　21cm
今枝氏旧蔵。

2794　元和之始頃侍帳　16.30—31
前田家編輯方手写
60丁　24cm
同前の写。

2795　元和之始金沢侍帳　16.30—32
前田家編輯方手写　明治年間
49丁　23.5cm
巻末に「享保二丁酉季中夏藤田安勝ヨリ求之書写」とあり，本書はその写しである。刊本「加賀藩初期の侍帳」。旧書名「金沢侍帳」。

2796　〔元和之始金沢侍帳〕　16.30—33
前田家編輯方手写　明治年間
63丁　23.5cm　旧書名「金沢侍帳」。

2797　侍　　帳　16.30—34
手写
9丁　24cm
内容は，元和4年（1618），5年（1619）頃，氏名の下に生国が入っている。旧書名「侍名帳」。

2798　寛永四年侍帳　16.30—35
前田家編輯方手写　明治年間
60丁　23.5cm
湯浅祇庸旧蔵本を天保14年（1843）森田良見が手写，それの写しである。
刊本「加賀藩初期の侍帳」。旧書名「侍帳」。

2799　〔寛永四年侍帳〕　16.30—36
前田家編輯方手写　明治年間
31丁　23.5cm
内容は，前号とほぼ同じ。旧書名「侍帳」。

2800　先代侍帳　16.30—37
手　写
47丁　23.5cm
野村伊兵衛旧蔵。包紙に「今按寛永十三年（1636）以後書」とあり。

2801　古組帳抜萃　16.30—38
手写
3冊　23cm
①　慶長2年（1597）～5年（1600）。承応2年（1656）小松侍帳，承応3年（1654）～明

暦3年（1657），御扶持方切米給銀帳。
② 万治元年（1658）～3年（1660）御家中与力帳。
③ 本多安房守知行高歳付之帳等，御人持衆御帳

文

2802 〔寛永元年侍帳〕 16.30—39
前田家編輯方手写 明治年間
56丁 23cm
湯浅祇庸旧蔵本を天保15年（1844）に森田良見が手写，それの写しである。旧書名「士帳」。

2803 寛文十一年士帳 16.30—40
前田家編輯方手写 明治年間
120丁 23.5cm
扉裏に「此士帳以加藤氏之蔵本書写畢，或云此帳者，松雲公御自撰而御座右ニ被為置御本也故年令等其誤無之ト云々。柿園舎森田良見」とあり，それの写本である。内容は，祿高，氏名，年令，役職，与力知，組附等と人持組所属与力，加州別宮附与力，越中境附与力までを記載。 旧書名「士帳」。
刊本「加賀藩初期の侍帳」

2804 元禄元年侍帳 16.30—41
前田家編輯方手写 明治年間
80丁 23.5cm
湯浅祇庸旧蔵本を天保15年（1844）に森田良見が手写し，それをさらに写したもの。
旧書名「侍帳」。

2805 元禄六年士帳 16.30—42
前田家編輯方手写 明治年間
87丁 23.5cm
巻末に「右士帳原本者越中砺波郡十村所持之由柴野氏より借用写之畢，柿園舎主人森田良見」とあり，さらにその写本。旧書名「士帳」。

2806 〔享保九年士帳〕 16.30—43
前田家編輯方手写 明治年間
2冊 23.5cm
湯浅祇庸旧蔵本を弘化元年（1844）に森田良見が手写，さらにその写しである。旧書名「士帳」。

2807 知行歳付帳 16.30—44
手写
巻子1 16cm
中川典克旧蔵。享保9年（1724）の知行高及び年令を記したもの。56人分を記す。
旧書名「知行歳時帳」。

2808 享保年間分限帳 16.30—45
前田家編輯方手写 明治年間
77丁 25.5cm

2809 〔天明三年侍帳〕 16.30—46
前田家編輯方手写 明治年間
2冊 23.5cm
別名「飛鳥川記」。森田氏旧蔵本の写。
旧書名「侍帳」。

2810 当時御家中分限帳 16.30—47
手写
3丁 11.5×33cm
寛政元年（1789）150石以下の知行人18人のほか，御徒以下の扶持人数十名の祿高，氏名を記す。

2811 金藩分限記 16.30—48
手写
44丁 23.5cm
内題は「金沢藩銘士記」巻末に「右熱田神宮々司従五位角田忠行所蔵，文化元年(1804)頃ノ記録ナリ」とあり，いろは順に石高，居住町名，氏名を記し，万石以上，千石以上を区別してある。

2812 加陽武将 16.30—49
集雅堂手写 文化4年（1807）
129丁 11×17cm
イロハ順に藩士の石高，氏名を記し，家紋，父の名，居住町名を附記する。

2813 帳秘藩臣録 16.30—50
富田是周著
手写
3冊 23cm

奥村慎猷旧蔵。
① 金沢諸臣名籍祿員5万石～300石。
② 284石～50石。
③ 100口～40俵外3口
附，文化4年（1807）ヨリ新知加増等。

2814 士　　帳　　16.30—51
手写　弘化元年（1844）頃
162丁　11.5×18cm
横山政和旧蔵。イロハ順に祿高，住所，氏名，家紋，手次寺を記載。

2815 御家中古分限帳　　16.30—52
手写　嘉永7年（1854）
50丁　12.5×35cm
成瀬正居旧蔵。イロハ順に，石高，所属の組わけ，住所，氏名を列挙。

2816 左武良以帳　　16.30—53
手写
150丁　23cm
「寛永17，8年（1640，41）以後ノモノ」と付箋あり。

2817 士　　帳　　16.30—54
手写
134丁　12×18cm
イロハ順。

2818 士　　帳　　16.30—55
手写
2冊　8×18cm
岡田棣旧蔵。イロハ順に祿高，住所，氏名，役職，家紋，手次寺を記入。

2819 侍　　帳　　16.30—56
前田家編輯方手写　明治年間
77丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵本の写。

2820 知行高現石人員調帳　　16.30—57
手写
97丁　23cm
岡田棣旧蔵。

2821 家祿奉還人名伊呂波寄　　16.30—58
明治7年（1874）
3冊　24cm
40俵から15俵までの士を書きあげてある。

2822 御家臣千石以上祿高番附　　16.30—59
手写
1枚　24cm　36×24cm
角力番附形式。森可参旧蔵。

2823 高岡衆分限帳　　16.30—60
前田家編輯方手写　明治年間
30丁　23.5cm
今枝直規旧蔵本の写。巻頭に「利長公慶長二年越中森山より富山江御移被成同四年金沢御越被成同十年富山江御隠居之時分被召連候人数之覚」とあり。

2824 利長公越中富山へ御隠居之節被召連人数之帳　　16.30—61
手写
26丁　11.5×17.5cm
内容は慶長10年（1605）。

2825 高岡附分限帳　　16.30—62
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　23cm
内容年代は，慶長10年（1605）。

2826 高岡衆分限帳　　16.30—63
手写
35cm　20cm
今枝氏旧蔵。

2827 小松士帳　　16.30—64
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24cm
湯浅氏旧蔵本を嘉永6年(1853)に森田良見が手写，それの写しである。題箋に寛永19年(1642)

と朱書あり。

16.30

2828　小松武鑑　19-30—65
手写　文久3年（1863）
25丁　23cm
附「小松奉行代々等」「微妙院様御在城之節之小松武鑑」とあり。

2829　小松御馬廻知行高帳等　16.30—66
文久3年（1863）
10丁　24cm
横山政和旧蔵。

2830　小松御侍衆之名付御知行并所書　16.30—67
手写
27丁　12×18cm
前田道益旧蔵。

切米・扶持・給金等

2831　御知行割格式等勤之覚　16.30—68
早川清次郎編
手写　弘化4年（1847）
15丁　12×18cm
原本成立は寛政6年。

2832　御家中奉行人定　16.30—69
手写
1通　32cm
中川典克旧蔵。内容は，奉公人并足軽，小者等給録書類を示す。中川八右衛門・津田源右衛門より長田惣兵衛など宛。

2833　〔惣女中御扶持方等〕　16.30—70
手写
6丁　24cm
旧書名「惣女中御扶持方御給金銀万渡り物代御仕着并御合力銀被下候帳」。内容年代は，元禄12年（1699）。

2834　在江戸之面々御扶持方之義ニ付本多図書紙面等写　16.30—71
御勝手方編
正徳5・6年（1715・16）
4丁　26cm
宇野富良旧蔵。

2835　小原余所右衛門等扶持覚　16.30—72
手写
1通　18cm
内容年代は，文政7（1824）。

2836　御切米渡方控帳　16.30—73
文久2年（1862）
15丁　25cm
3月の切米渡方で近藤周蔵ら29人分。3分の2渡米につき各々内訳記載，代銀差引の計算がなされている。

2837　打它弁次郎へ御扶持被下候一件　16.30—74
陸原慎太郎等著
自筆　元治元年（1864）慶応元年（1865）
仮綴1（6通）　18cm
陸原慎太郎・杉野幸九郎と行方百太郎・山岸太一郎との往復文書。

2838　御扶持方等渡り方　16.30—75
商法局編
明治2年（1869）
合綴1（3冊）　25cm

2839　従四位様御手廻小頭代并御手廻之者人数御切米高歳附帳　16.30—76
明治2年（1869）
4丁　24cm
従四位とは14代藩主慶寧。

2840　御切米指出帳　16.30—77
明治4年（1871）
合綴~~1=(20冊)~~　24cm
明治4年（1871）12月の北1番組から北20番組までの出納役宛の各組別の切米指出帳。切米とは玄米で支給する足軽，小者の給料で，俵数で数え，1俵は玄米5斗入り。正月～8月分を春

渡し，9月～12月を暮渡しという。これは暮渡しの原符であり，渡し済みを示すため，一項毎に朱でチェックしてある。

2841 御切米取立帳　16.30—78
8丁　24cm
御算用者，御料理人，新番，定番の御歩など60名分の記録。

2842 御切米請取方等　16.30—79
手写
92丁　23.5cm
◦検使請申節聞書大略　◦御切米之割
◦前々より御給事之次第　◦御供立落
◦教千代様御時分御長柄等図。

2843 惣小者御扶持御給銀等留帳　16.30—80
手写
7丁　12×23.5cm

2844 奥向の者扶持の覚　16.30—81
手写
7丁　24cm
原題名は「奥向女中等扶知給覚」。料理人，女中などの扶持を列記したもの。

新知・加増・絶家・減俸・隠居料等

2845 内山寛仲へ可申渡趣　16.30—82
手写
1通　16cm
本草学勤学の趣をもって知行の他，10人扶持を与える旨の文書。内山寛仲は，毛利元就の家人内山土佐の次男，慶長11年（1606）富山において前田利長につかえた医者である。祿300石。

2846 若年寄以上被仰付候儀等記　16.30—83
手写
76丁　24cm
御大老，諸太夫，年寄，御家老，若年寄に仰渡された新知加増，病気などについての延宝2年（1674）～延享3年（1746）の記録。

2847 松嶺院様衆給金請書ニ載不入分等　16.30—84
手写
3通　18cm
松嶺院は5代藩主前田綱紀の正室摩須。松嶺院衆，足軽，小者等への給金明細基準。

2848 於越後屋敷知行申渡人々　16.30—85
手写
巻子1　16cm
中川典克旧蔵，享保7年（1722）の内容。

2849 富田貞武御加増一巻留帳　16.30—86
氷見嘉左衛門著
自筆　寛延元年（1748）
15丁　24cm
富田権六郎旧蔵。富田貞武は通称弥六，治太夫，はじめ吉徳の小将として新知200石をうけ享保9年御使番となり10年150石を加え，16年遣知1600石をうけて人持に列し，先知を除かれ，延享2年御近習頭，寛延元年500石を加え御算用場奉行になる明和6年歿，61才。これは寛延元年2100石に昇った時の記録。

2850 御前様御附分限帳　16.30—87
前田家編輯方手写　明治年間
19丁　24.5cm
10代藩主前田重教夫人寿光院が紀伊家から，宝暦11年（1761）入輿した際，紀伊家よりつれて来た武士名とその石高を記したもの。

2851 被召出候者留書　16.30—88
手写
210丁　24cm
内容は文化5年（1808）から慶応2年（1866）に至る。

2852 新知留書　16.30—89
30丁　24cm
文化5年（1808）から元治元年(1864)の台帳。

2853 新知召出之者等覚　16.30—90
文政元・2年（1818・19）

2通　15.5cm
前田順之助新知180石，岡田茂右衛門10人扶持（隠居料），岡田勘陸200石，石黒平九郎50石加算（都合200石）中西巴門20石加増（都合100石）上田手蔵新知80石，渡辺芳郎35俵など。

2854　渡辺兵大夫加増之覚　16.30—91
手写
1通　16cm
天保9年（1838）渡辺兵大夫明倫堂都講について加増申渡。

2855　御加増御引足知等　16.30—92
275丁　24cm
原題「御加増御引足知等，弓料，異風料」

2856　知行相譲書上　16.30—93
手写
1通　15cm
内容は文化14年（1817）のもの。

2857　襲知仰付書　16.30—94
手写
2通　16cm
藩士何家かの当主への襲知許可。1通は寅の年号にて文政元年（1818），天保元年（1830），他は卯年にて文政2年，(1819)天保2年(1831)，天保14年（~~1836~~）と共に朱筆にて年代推定がなされている。1843

2858　与力知三之一并三之二・十歩一之事　16.30—95
手写
3丁　24cm
「享保13年（1728）与力方之帳之内」とあり。前田貞醇旧蔵。与力知高の願知，指与力知などの区別の仕立方（計算方法）を記す。

2859　惣与力人数知行高并明知役付歳付等之帳　16.30—96
寛延3年（1750）
49cm　23cm
中川典克旧蔵。

2860　在与力知并明知村分帳　16.30—97
横山政孝（蔵人）著
自筆　天保5年（1834）
21丁　23cm
横山政孝は1万石（内2千石与力知，1千石同心知）享和元年（1801）譲知，天保7年(1836)没。

2861　与力明知村附帳　16.30—98
横山政治郎著
18丁　24cm

2862　本多安房守政長願書等　16.30—99
1通　15.5cm
本多安房守から本多図書に対し，与力を命ぜられ1万石の役高を願うもの。

2863　与力知之願書留　16.30—100
手写
17丁　24cm
与力をかえる際にその名前と与力知を記して藩へ願書を出した際の覚。

2864　寄親附与力御加増の件遠　16.30—101
13丁　24cm
前田貞醇旧蔵。

2865　与力同心知留帳　16.30—102
前田家編輯方手写　明治年間
65丁　23cm
貞享3年（1686）の与力，同心知，その明知などに関する格式についての記録。

2866　上り知之分ニ付遠書　16.30—103
手写
1通　17cm
佐野鼎（河北郡俵原村）大津道順（才田村）吉田淳庵（指江村）の加州知が上り知になったことにつき辰（明治元年1868）閏4月付の達書。
旧書名「御算用場達書」

2867　兵賦除知米村附下帳　16.30—104
横山政和著

自筆　明治2年（1869）
3丁　24cm

2868 絶家判印物写　16.30—105
前田家編輯方手写　明治年間
5冊　23cm
内容は天正13年（1585）～安永元年（1772）のもの。

2869 絶家減禄雑記　16.30—106
67丁　12×18cm
内容は慶長7年（1602）～嘉永6年（1853）

2870 官署私徴　16.30—107
湯浅某手写
8丁　23.5cm
別名「富永記」延宝6年（1678）から元文期に至る減知を命ぜられた藩士名を記録したもの。

2871 亡家録附減知　16.30—108
52丁　24cm
文化3年から天保11年間の藩士中失踪などのほか罪を得て断絶あるいは減知を命ぜられた家を記載。

2872 絶家録　16.30—109
手写
3冊　12×18cm
小木貞正旧蔵。幕末までの加筆あり。

2873 年号等可レ絶家雑々録　16.30—110
43丁　12.5×18cm
小本貞正旧蔵。

2874 家禄減俸之義留　16.30—111
1通　16cm
安井顕比旧蔵。版籍奉還に際し家禄10分1減俸，かつ本年凶作につき，手形をして融通方，米売払方について記す。

2875 八嶋家伝来御一行物紛失届　16.30—112
八嶋金蔵著
自筆
1通　16cm
八嶋猪三郎改易につき曽相父権左衛門宛の御一行物の返還を求めた際，弟金蔵が紛失を届出たもの。伊藤所左衛門・佐藤小伝次宛。

2876 村井藤十郎勘忍料裁許状　16.30—113
奥村因幡・津田玄蕃・前田対馬共編
自筆　明暦2年（1656）
1通　32cm
村井藤十郎は村井氏主流5代親長，父の死去により明暦2年（1656）5才にして勘忍料2000石を与えられたもの。村井家家老石田三郎兵衛など4氏に宛てたもの，奥村ら3名は人持組である。

2877 隠居料等覚　16.30—114
3通　15.5cm
天保7年（1836），天保8年（1837），天保13年（1842）のもの。

2878 隠居交名帳　16.30—115
20丁　24cm

特16.31　家　格・系　譜

触　令

2879 御家中由緒書之儀幷奉行人之儀ニ付御触　16.31—1
手写
2丁　24cm
延宝6，7年（1678，79）の触。

2880 嫡流庶流之訳御詮儀之覚等　16.31—2
手写
11丁　24cm
天保4年（1833）～天保14年（1843）のもの。嫡流家，庶流家の成立事情覚と支配心得（馬廻頭へ，定番頭への布達）。

2881　御系譜書継ニ付調書　16.31—3
手写
仮綴1（111通）　18.5cm

家　　格

2882　家格之覚　16.31—4
手写
14丁　12×18cm

2883　公　族　譜　16.31—5
文政7年（1824）
95丁　24cm
前田修理，図書，織江・権佐・久兵衛・栄之助・八十左衛門・才記・内記・式部・金三郎・清八・主税之助・銀右衛門・脇五郎・与三男三郎・平助・大音鏡之助・高畠五郎兵衛・前田源兵衛の系譜。

2884　公族譜（前田三左衛門）　16.31—6
手写
28丁　24cm
安政年間（1854～59）原本成立。直之系々譜で第7代直良（なおさだ）までの系図。

2885　公族譜（前田左兵衛）　16.31—7
手写
8丁　24cm
慶応3年（1867）原本成立。直躬2男大学直央系譜で直毅までの系図。

2886　公族譜（前田源兵衛）　16.31—8
手写
6丁　24cm
直躬4男直賢系譜で直好までの系図。

2887　公族譜（前田主殿）　16.31—9
手写
17丁　24cm
安政2年（1855）原本成立。利政の女系譜で主殿助季明より鉄次郎季方までの系図。

2888　前田諸氏集譜　16.31—10
手写
143丁　23cm
前田姓の藩臣祖父曽の以下の血縁を記載。成立は寛文から元禄まで，なお，紙背文書がある。

2889　前田姓給禄　16.31—11
前田家編輯方手写　明治年間
35丁　25cm
前田姓を名乗る家々へ出された藩主の御判，御印物を集録。

2890　御先代様より前田姓へ被下置候御判物等しらべ　16.31—12
手写
13丁　~~41cm~~ 14.5cm
歴代藩主から前田姓へ出された判物の目録，慶長より寛政末年にいたる。

2891　熙　康　暦　16.31—13
奥村栄実著
前田家編輯方手写　明治年間
98丁　23cm
内容年代，貞享3年（1686）～文化13年(1816)藩臣の八家が補せられた職務を年次に記載したもの，熙康小鑑(貞享3年～天保3年)も収録。
旧書名「熙康暦附熙康小鑑」。

2892　八家代々記録　16.31—14
手写
12丁　24cm
加賀藩八家（本多・村井・長・両前田・横山・奥村）の系図を集めたもの。

2893　臣普略記　16.31—15
手写
17丁　24cm
岸秀実蔵の写，加賀藩の宿老・村井・長・本多横山家の由緒書。

2894　親類附帳四種　16.31—16
本多・奥村・前田・奥村著
手写

112丁　23cm
寛文７年（1667）原本成立。奥村氏旧蔵。
◦組中自分先祖一類附知行高之帳，本多安房
◦組中幷自分共親類附帳，前田対馬
◦組中自分親類由緒知行高歳附帳，奥村河内
◦組中幷自分共先祖一類附知行高之帳，奥村因幡。

2895　**一門幷執政参政履歴書**　16.31—17
明治16年（1883）
41丁　23cm
加賀藩出身の執政官，参政官の系歴，財産一覧表。

2896　**諸大夫等履歴**　16.31—18
前田家編輯方手写　明治年間
２冊　24cm
前田貞醇旧蔵の写。人持組にして叙爵されたものの履歴。

2897　**諸大夫由緒書**　16.31—19
嘉永７年（1854）
７丁　14.5×20.5cm
叙爵にあずかる藩士名，家老職の家，若年寄職の家を列挙。

2898　**加藩国老叙爵考**　16.31—20
森田良見（柿園）著
自筆
２冊　24cm

2899　**加藩国老叙爵考**　16.31—21
森田平次（良見・柿園）著
前田家編輯方手写
65丁　24cm
前書の写。著者の付札あり。

2900　**本多等諸大夫一件**　16.31—22
手写
157丁　23.5cm
元禄４・５（1691・92）にかけて各大名の家臣（家老クラス）で叙爵，位などをうけたものについての記録。ことに本多安房守についてはお礼の料理，能会などの記録が詳しい。

2901　**前田孝行叙爵一件**　16.31—23
前田家編輯方手写　明治年間
75丁　23cm
孝行は前田長種系第５代，元禄10年（1697）従五位下美作守に叙任。

2902　**本多政行・政成叙爵一件**　16.31—24
前田家編輯方手写　明治年間
53丁　23cm
内表紙に「寛延二己巳年二月十一日御発駕三月廿二日御帰着御叙爵為御礼御参府之節御公用留帳」，「田龍公為御叙爵御礼寛政十年江戸へ御出之節御覚書等之写」とあり，前者は政行，後者は政成に関するもの。田龍公は政成。

2903　**本多政質叙爵一件**　16.31—25
奥村有輝編
前田家編輯方手写　明治年間
107丁　23cm
内題「本多周防守叙爵被仰付候始終之留」，正徳５年（1715）本多政質が安房守に叙任されたお礼に，享保元年（1716）江戸へ行った記録など。

2904　**長大隅守叙爵一巻**　16.31—26
手写
87丁　24cm
前田貞醇旧蔵。原本成立は安永３年（1774）。

2905　**長九郎左衛門叙爵一件**　16.31—27
手写
５丁　24.5cm
前田貞醇旧蔵。安永４年(1775)奉書類の写し。

2906　**土佐守へ剣梅輪内之義ニ付被仰出趣**　16.31—28
手写
17丁　24cm
横山隆平旧蔵の写。
◦安永７年（1778）土佐守叙爵につき剣梅輪内

紋付伺
○旧例書（剣梅輪内紋について）。

2907　横山山城守叙爵之留写　16.31—29
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　24cm
横山山城守は横山家第９代横山隆盛，文化10年（1813）従五位山城守に叙任された際の記録。

2908　横山隆盛叙爵一巻　16.31—30
前田家編輯方手写　明治年間
124丁　23cm
横山隆盛は横山家第９代，寛政４年に遺知３万石を受け，文化10年（1813）に従五位山城守に叙任された際の記録。

2909　伊予守叙爵御礼御作法附　16.31—31
手写　文政４年（1821）
５丁（折本）　16cm×3cm
早川随勝旧蔵。伊予守は，藩臣奥村宗家11代栄実。藩主斉泰に献上物持参の記録。

2910　長将之佐殿叙爵被仰付候御使勤方覚　16.31—32
34丁　12cm×18cm
横山勇太郎旧蔵。長将之佐は長連弘。弘化４年（1847）に従五位下大隅守に任ぜられた時の記録。

2911　本多政通叙爵一件　16.31—33
前田家編輯方手写　明治年間
90丁　23cm
内題は「周防守叙爵一件」嘉永４年（1851）政通が周防守を叙任された時の記録。

系　譜・由　緒

2912　栄辱雑記　16.31—34
富永全昌（数馬）等編
手写
2冊　11.5×18cm
小木貞正旧蔵。内容年，延宝元年（1673）から明治元年（1868）にわたる。

2913　栄辱雑記　16.31—35
富永全昌（数馬）編
自筆
131丁　15.5×22cm
小木貞正旧蔵。一説には，入江八郎右衛門昌幸合著。延宝元年～貞享４年(1687)に，藩士が諸役を命ぜられた次第，家督相続，加増知減知，役儀免除，処罰等のことを編年に集録してある。

2914　御家老若年寄履歴　16.31—36
前田家編輯方手写　明治年間
66丁　23cm
成立は，明治17年（1884）。今枝宗軒・石野雅楽助・本多政醇・織田左近・大音帯刀・横山隆淑・竹内市三郎忠善・津田玄蕃・成瀬掃部吉勝・山崎穏斉・山崎盧・前田晋・前田静斉・前田式部・前田道益・松平大弐・不破為儀・藤田求馬・青山将監・篠原一貞。

2915　家老幷人持組家譜　16.31—37
前田家編輯方手写　明治年間
202丁　24cm
村井・本多・奥村・長・横山・前田（長種）・青山・深美・不破・松平・藤田の系図・宝暦期までを記す。

2916　加陽人持先祖　16.31—38
手写
２冊　22cm
人持組80名の由緒書。内容年代，寛文７年（1667）。　①　前田丹後・小幡不入・前田内蔵助・山崎兵部・大音主馬・・玉井勘解由・西尾与三右衛門・成瀬甚五左衛門・笹原監物・青山織部・笹嶋豊前・葛巻十右衛門・江守是屑・杉原仁右衛門・吉田平兵衛・福嶋武左衛門・小堀孫兵衛・岡田治太夫・有賀甚六・前田対馬・青山将監・津田玄番・寺西若狭・生駒内膳・岡嶋内膳・津田源右衛門・菊地大学・堀四郎右衛門・赤尾主殿・小川八郎右衛門・寺西新七・大橋又兵衛・湯原左平太・堀七郎兵衛・奥村亀松・奥村内匠・奥村河内・脇田九兵衛・岡嶋又兵衛

・前田主水・村兵助・富永右衛門・笹原大学。

②　斉藤中務・岡嶋甚七・冨田内蔵・津田宇右衛門・高田勘右衛門・熊谷久右衛門・横山右近・永原左京・不破彦三・奥野右兵衛・永原大学・織田織部・仙石勝左衛門・横山隼人・三浦勘右衛門・水原清左衛門・小野木作兵衛・長瀬新九郎・岩田四郎兵衛・長九郎左衛門・村井藤十郎・前田万之助・前田主殿・前田又勝・前田主膳・前田七郎兵衛・深美縫殿助・伴八矢・横山外記・古市主計・伊藤兵助・松平久兵衛・阿部甚右衛門・中川主馬・大窪忠左衛門・中黒太衛門・奥村因幡。

2917　諸士由緒帳　16.31—39

今枝直方編

5冊　14cm×19cm

人持組頭，人持組，諸組頭の寛文7年（1667）の由緒書。

①　（諸老）

本多安房政長・長九郎左衛門連頼・横山左衛門忠次・前田対馬孝貞・奥村河内栄清・奥村因幡庸礼・前田三左衛門直之・今枝民部・小幡不入長次・前田丹後

②　（本多政長・長連頼）

小幡宮内・松平玄蕃・奥村源左衛門・小幡右京・多賀左近・松平治部・奥村三郎兵衛・里見七左衛門・成田弥五兵衛・今村五郎兵衛・本多安房

③　（横山忠次・前田孝貞）

前田平太夫・前田権之助・岡嶋備中・中川八郎右衛門・篠原織部・富田治部左衛門・那古屋蔵人・竹田五郎左衛門・奥村又十郎・加藤図書・吉田忠左衛門・坂井与右衛門・大河原助右衛門・神戸蔵人・中川采女・横山左衛門

④　（奥村栄清・奥村庸礼）

青山将監・津田内蔵助・寺西若狭・生駒内膳・岡嶋内膳・津田源右衛門・菊池大学・堀四郎右衛門・赤尾主殿・小川八郎右衛門・寺西新七・大橋又兵衛・湯原左平太・堀七郎兵衛・奥村亀松・奥村内匠・奥村河内

⑤　（諸組頭中）

脇田九兵衛・岡嶋五兵衛・前田主水・村兵助・冨永小右衛門・笹原大学・斉藤中務・岡嶋甚七・冨田内蔵・津田宇右衛門・高田勘右衛門・熊谷久右衛門・青山長次郎・藤田八郎兵衛・津田次郎左衛門・服部左源太・小寺甚右衛門。

2918　荒子御伝来御普代　16.31—40

前田家編輯方手写　明治年間

7丁　24cm

利家が尾張荒子に在住していた頃からの譜代の家臣名簿。

2919　従大坂御陣以前之御譜代之人々子孫之有無等之品相考置分　16.31—41

有沢森右衛門著

2冊　23.5cm

2920　御尋ニ付申上候由緒　16.31—42

牧久兵衛等著

自筆　万治3年（1660）

巻子1　24.5cm

中川典克旧蔵。中川八郎右衛門・前田七郎兵衛に提出した軽輩藩士16名の由緒又は一類付。牧久兵衛・大場彦左衛門・野村忠兵衛・不破宗三郎・山本弥二左衛門・吉田惣左衛門・高柳喜平治・矢部七兵衛・品川孫七・田辺惣右衛門・渡辺弥平・近藤小左衛門・岸儀右衛門・三輪忠右衛門・伊与田五右衛門・高橋弥左衛門・加藤市右衛門。

2921　一類付之覚　16.31—43

手写　元禄9年（1696）

5丁　24.5cm

加藤権太夫・原久兵衛・大野伝右衛門・服部宇右衛門の4名で花押，捺印がある。

旧書名「系譜来歴伝記類」。

2922　当邦諸侍系図　16.31—44

今枝直方編

自筆　宝永2年（1705）

3冊　27cm

今枝氏旧蔵。

①　加賀藩主，富山，大正持，大和守・利政・

日向・安勝・利貞・利益，（以下藩士），本多・前田・奥村・長・横山・今枝・小幡・津田・多賀・玉井・青山・寺西・成瀬・神谷・大音・岡嶋・伴・中川・不破・山崎・永原・篠原・松平・菊池・奥野・品川・津田・竹田・生駒・西尾・三田村・篠嶋・織田・冨田・葛巻・伊藤・古市・赤井。

② 永井・藤田・稲垣・辻・半田・河野・佐々木・原・湯原・神尾・脇田・九里・野村・高田・加藤・小塚・中村・大橋・村・溝口・岡田・吉田・沢田・茨木・近藤・津田・栂・中黒・村田・森・関屋・駒井・青地・西村・長屋・斉藤・寺西・今村・和田・加須屋・小堀。

③ 仙石・不破・高畠・三輪・三輪・青木・青木・西村・水野・神戸・那古屋・熊谷・石野・平岡・山口・有賀・浅井・半田・江守・野村・渡部・里見・坂井・土方・冨永・佐藤・前田・赤尾・一色・北川・神保・井上・山本・阿部・長谷川・長瀬・宮崎・恒川・岩田・和田・板垣・大原・山森・吉田・斉藤・村瀬・岡田・浅香・沖・小幡・冨田・青木・池田・桜井・伊藤・井上・石黒・樫田・金森・上木・堀・丹羽・中村・奥村・成田・古屋・近藤・本保・服部・馬淵・矢野・宮井。

2923　重輯　当邦諸侍系図　　16.31—45

今枝直方編

自筆

64丁　26cm

今枝氏旧蔵。横山（長隆）・横山庶流(斉藤)・中門系小堀重時家系・伊勢駒井・堀丹後守一流・水野・藤田・馬淵・山森・小堀流諸家治部丞長武系・吉田・村田・田伏・一色・渡部・小塚・菊地諸家・中村・大嶋・大久保・北村・石里・吉田内記守氏系・河合・山口・桜井を記す。

2924　加陽諸士系譜　　16.31—46

手写　天明元年（1871）

2冊　23.5cm

中巻を欠いた上下巻，上巻はい～か，下巻ま～す，の順に加賀藩士の系図を集成したもの。各人に簡単な略歴を附してある。

2925　加陽諸家系図　　16.31—47

手写

34丁　24.5cm

天，地の巻を欠く。いろは順に「や」より「す」までの姓の家について各々，代々の略伝を記載。

2926　諸士先祖由緒幷一類付帳　　16.31—48

文政5～11年（1822～1828）

合綴1（13冊）　12×18cm

富田権六郎旧蔵。諸士は次の13名。

奥村弥左衛門	900石	文政7年
森吉左衛門	150石	〃
高村駿昌	130石	文政5年
河辺八左衛門	150石	〃
田辺安左衛門	400石	文政11年
藤田八郎兵衛	500石	文政7年
坪江桑元	100石	文政5年
名越市郎左衛門	150石	〃
仁岸尚全	130石	〃
依田十郎左衛門	100石	〃
矢木久栄	140石	〃
山崎七左衛門	100石	〃
藤田新左衛門	200石	文政6年

2927　諸士系譜　　16.31—49

津田信成（幹斉）著

天保3年（1832）

20冊　26.5cm

譜代三品（馬廻定番，馬廻組外）以上と射手，異風，火矢方，厩方，僧者，医師などの家系をイロハ順に記載したもの。

① 今枝・生駒・伊藤・伊東・茨木・石川・一色・井口・稲垣・岩田・坂垣・井上・石野・今井・石黒・市井・今村・伊勢・池田・板津・伊崎・磯松・池上・板坂・飯尾・出野・飯沼・石丸・稲葉・磯野・入江・飯田・生田・猪俣・宮崎・飯島・石野・稲・猪尾・池守・岩倉・稲垣・市川・石橋・生山・今川・石黒

② 伴附佐垣・原・長谷川・半田・林・原田・

羽田・服部・土師・馬場・橋爪・蜂谷・浜名・萩原・原篠・橋本・端・西尾・丹羽・西村・仁岸

③　本多・堀・本保・細井・堀田・堀部・星野・別所・富田・冨田・戸田・栂・土肥・富永・遠田・得田・豊田・富野・鴇田・徳田・長附神保・布目

④　奥村・大音・小幡・奥野・織田・岡島・岡田・大橋・大藪・大原・大久保・大窪

⑤　大河原・大石・小川・大田・小野木・大野・大村・大島・大脇・岡本・小倉・大塚・奥田・大屋・小瀬・大平・岡部・小篠・大場・大庭・小竹・大津・小原・隠岐・奥泉・岡谷

⑥　脇田・渡瀬・和田・渡辺・渡部・和多田・和角・若林・脇本・分部・脇葉

⑦　上坂・葛巻・神尾・神谷・金森・加藤・帰山・河原・菅野・河地・河村・神戸・樫田・加須屋・河野・河合・金子・笠間・川勝・賀古・上月・印牧・春日・河内山・改田・金谷・片岡・河北・勝尾・兼松・鴨野・川縁・神田・金岩・河島・片山・賀来・笠松

⑧　横山・横浜・葭田・吉田・吉野・横田・横地・吉見・横井・吉岡・吉川・吉村

⑨　玉井・竹田・多賀・高木・武田・高山・高畠・武部・高沢・高田・田尻・多羅尾・田辺・多胡・田伏・多田・谷・鷹栖・高嶺・高柳・高柳・立川・田中・武村・竹村・高桑・田内・辰己・玉川・高崎・武・竹内・田村・武山・竹中・竹内・高田・高木・竹下・高村・団

⑩　津田・辻・槻尾附寺島・恒川・鶴見・佃・柘植・角尾・角尾・塚本・土田・坪光・筒井・坪内・坪江

⑪　成瀬・中川・永原・永井・長屋・成田・中黒・長瀬・中村・内藤・名越・半井・中・長田・中島・中泉・中西・長井・中宮・中山・南保・中野・中吉

⑫　村井・村上・村・村田・村瀬・武藤附土肥・上木・氏家附団・上村・瓜生・内山・宇野・上坂・臼井・牛円・魚住・野村・野崎・野口・野田・野坂・野尻・能勢・九里・黒坂・国沢・栗田・久世・陸田・久津見（九津見）・窪田・久保・熊内・久能・桑島・黒川

⑬　山崎・山村・山森・山本・矢部・安見・山口・山路・山田・矢野・山岸・安田・八島・矢島・山下・安井・山内・山根・山原・山辺・八十島・矢田・安武・山脇・山名・山科・山家・保田

⑭　前田三左衛門直之・修理知好・利孝・備前利豊・高源院・対馬守長種・右馬允・松平治右衛門・甚五兵衛・松崎庄左衛門・松尾附内田・松原内匠一二・権兵衛・半右衛門・伊左衛門・寿詠・松田左兵衛・尾張守・玄宇・馬淵加左衛門高政・半大夫・治内喬貞・前波加右衛門・弥兵衛・牧野与左衛門・松宮清左衛門・牧甚左衛門・八百七・松江又右衛門・松本市郎右衛門貞昌・恒右衛門教定・松野逸角・増本半六郎・丸山了悦・曲直瀬

⑮　深美・不破・藤田・藤掛・古屋・古江・福島・福田・藤村・福岡・深尾・古沢・藤井・深谷・二口・二木・蔵江・近藤・小塚・駒井・小堀・小泉・小寺・後藤・小林・国府・小西・小森・小沢・郡・小川・児玉・小谷・児島・小杉・小畠・小宮山

⑯　江守・遠藤・江上・江尾・江間・榎並・寺西・豊島・寺内・出口・寺田・寺尾・青山・阿部・有賀・浅香（浅加）・浅井・青木附池田・青地・荒木・赤尾・安宅・赤井・姉崎・麻生・秋元・有沢・浅野・安達・新・赤佐・朝倉・天野・明石・有田・在山・跡地・新井

⑰　篠島・佐々木・斉藤・里見・佐藤・沢田・坂井・真田・坂野・佐久間・坂倉・篠井・斉田・佐竹・才所・沢村・桜井・山東・沢崎・佐々・佐川・崎田・佐伯・佐野・酒井

⑱　菊地・北川・岸・喜多岡・北村・木梨・木戸・菊田・木村・久徳・絹川・桐山・木下・木田・湯原・由比・行山・湯川・由美・湯浅・三田村・溝江・三輪・水野・宮崎・水原・三浦・宮井・三階・三島・神子田・水越・嶺・水上・箕浦・箕輪（蓑輪）・宮川・三吉・三宅・水島・溝江・三田・三橋

⑲　篠原・品川・庄田・塩川・進士・芝山・神保・進藤・島田・清水・下村・白江・志村・下田・白崎・篠田・土方・平岡・樋口・一木・人見・久田・平井・広瀬・平野・平松・比

良・平田・疋田
⑳ 森・森田・毛利・森口・仙石・千福・千秋関屋・千田・瀬川・関沢・千羽・関・関口・杉浦・杉江・杉山・鈴木・杉若・杉野・杉岡杉本・菅・寸崎。

2928 苗字寄　16.31—50
人割方編
手写　明治3年（1870）
43丁　24cm
イロハ順に，藩士の苗字を集めたもの。

2929 名家由緒伝　16.31—51
森田良見編
自筆　明治19年（1886）　井出松翠
40丁　23cm
佐々主殿・津田次郎左衛門・小瀬甫庵并坂井就安・木下順庵・沢田宗堅并同菖庵・室新助・五十川剛伯・山科長安・田中一閑并同左源太・内山覚中。

2930 御家中姓氏大略　16.31—52
伊藤安之著
手写
23丁　24.5cm
藩士の出身ならびに召出しの時期を分類したもの。

2931 諸士由緒帳　16.31—53
手写
合綴1（3冊）　25cm
笹井清左衛門・辻多門・駒井平左衛門。
旧書名「諸士並十村等由緒書」。

2932 新歩横目五人之親類附帳　16.31—54
6丁　24.5cm
中川典克旧蔵。田屋八郎兵衛・山辺勘右衛門・嶋八右衛門・斎藤八左衛門・高柳新兵衛の5人分。寛文6年（1666）以降に成立。旧書名「田屋八郎兵衛等新歩横目五人之親類附帳」。

2933 旧金沢藩士由緒抜書　16.31—55
石川県地理課地誌係手写　明治13年（1880）
7丁　23cm

2934 神尾氏等判物写　16.31—56
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
72丁　23.5cm
神尾図書助等・遠藤数馬・内田善平太・山本時正・古屋和夫・改田藥太郎・野村与平二等・渡辺永一の御判物集。

2935 与力本末略考　16.31—57
36丁　23cm
文化2年(1805)吉宏書とあり。榊原守典旧蔵。

2936 勝次郎様附坊主由緒一類附帳等　16.31—58
手写
16丁　23cm
富田権六郎旧蔵。元禄13年（1700）4月又は5月の勝次郎（6代吉徳の幼名）附，武藤柳翠・石丸鈞雪・田村近水・清水三秀の一類附帳。また，武藤・清水・田村の小者の宗門帳，および，右4人の年中給金覚などを収む。旧書名「勝次郎様附坊主由緒一類附并宗門帳」。

2937 足軽通考　16.31—59
前田家編輯方手写　明治年間
69丁　23cm
文化2年(1805)原本成立，加賀藩足軽の種類，沿革，勤務などを記したもの。

2938 加陽足軽由緒記　16.31—60
前田家編輯方手写　明治年間
4冊　23.5cm
①は1巻，②は2巻，③は本3，4巻，第④は6巻，元禄14年(1701)に藩主綱紀が，割場裁許に属する足軽のうち，越前府中以来前田氏に仕えた者及び慶長5年（1600）までに召出された者についての由緒書の集成。

2939 小者ニ関スル書類　16.31—61
手写
28丁　12×18cm
小者の各組，およびその小頭に関する由来，制規などを編集したものの草稿。本来は無題であったらしいが，編輯方の手により「小者ニ関ス

ル記録」と表題が付けられた。

2940 藩士兵卒等人口戸数帳　16.31—62
金沢藩編
明治２年（1869）
３丁　24cm

2941 卒戸籍等増減帳等　16.31—63
戸籍方編
明治４年（1871）
合綴１（13冊）　24cm

2942 族籍訂正願　16.31—64
金田市平著
明治31年（1898）
６丁　25cm
旧金沢藩における仲間30名，小者２千余百名が誤って平民に入籍されたため，改正願いを当時の県知事古沢滋宛に提出した際の控。

2943 先祖由緒幷一類附帳　16.31—65
11,761点　24cm　帙入
藩士の先祖由緒帳は，正保４年（1647）３月を初めとして何回も提出されているが，ここに一括したものは明治３年（少数はその前後）に金沢藩庁に提出された原本である。その内容は，まず当主の略歴にはじまり，溯って先祖以来の系譜と略歴，ついで当主の４親等（１部）までの親族を書きあげたもので，巻末に別載した事項の外に，当主の本国，生国，定紋，住居同姓者の記されたものもある。ただ，明治３・４年の藩士（陪臣を含む）の数は，士族卒族合せて１万７千余戸と見られるが，ここに載せたものは11,761点で，凡そ３分の１を欠いたことになる。

2944 青地系図帳　16.31—66
青地順行（妥女）編　慶応２年（1866）
手写　明治31年（1900）
13丁　25cm

2945 新撰青地氏本末家譜　16.31—67
陸義猶編
34丁　24cm

2946 新撰青地氏本末家譜　16.31—68
陸義猶編
前田家編輯方手写　明治年間
２冊　25cm
明治36年(1893)原本成立。青地基治家の家譜，青地家は藩末150石を受ける。その祖は青地礼幹，近江の佐々木氏より出る。

2947 青山家譜　16.31—69
手写
100丁　23cm
青山知親，青山知次の家系で，家老職にもついている大身の家柄。

2948 青山家々譜　16.31—70
前田家編輯方手写　明治年間
25丁　24cm
青山家は青山吉次の代に利家に1,000石をもって仕え，代々加賀藩士。長重で終っている。

2949 赤座甚七郎家系等略記　16.31—71
前田家編輯方手写　明治12年（1879）
30丁　24cm
幕末，加賀藩士赤座甚七郎の行状を中心とした簡単な系譜。

2950 明石数右衛門系図帳　16.31—72
手写
６丁　24cm
文政７年（1824）原本成立，有田義一旧蔵の写
明石数右衛門は明石定位。文化５年(1808)500石を賜わった。

2951 有沢家覚書　16.31—73
有沢貞幹編
安永２年（1773）
２冊　23cm
有沢長俊が，元和２年（1616）３代藤主利常に仕えて，代々加賀藩士。学問において聞こえた

家柄。天文元年（1532）～享保元年（1716）間の記録を含む。

2952　有山七郎右衛門先祖幷親類附帳　16.31—74
手写
2丁　25cm
中川典克旧蔵。寛文2年（1662）原本成立。

2953　伊東家系譜　16.31—75
伊東忠二郎編
手写　明治9年（1876）
仮綴1（3丁・1通）　24cm
表題「系図帳幷御筆之物添書」文政7年(1824)原本成立，添書は松平加賀守より松平美濃守宛，伊藤家は元禄14年(1701)御歩に召出され，宝永元年（1704）前田吉徳附属の御歩となり，享保2年（1717）御歩小頭となった戸左衛門の家。旧署名「系図帳幷御筆之物添書」。

2954　遠藤数馬系図帳　16.31—76
遠藤数馬編
手写
13丁　24cm
嘉永6年（1853）原本成立。遠藤数馬高広は慶長20年（1615）300石のち500石。利常に仕えたが後，高浜（大小将組）高貫，貫通（馬廻組）直烈，高環（作事奉行，普請奉行，竹沢御殿造営御用の主附，金沢分間絵図御用主附等），高朗，環三までを記す。

2955　岡野七右衛門先祖幷親類附帳　16.31—77
手写
2丁　24.5cm
寛文2年（1662）9月11日付帳のもの。

2956　火矢方小川家由来書等一件　16.31—78
加賀藩御家老方編
手写
25丁　24cm
横山政和旧蔵。寛政元年8月（1789）小川久太夫の書上たもの，先祖以来の由来書「火矢之類大概」「ほうろく火矢根元御細工所建形幷出来御箇数稽古年号等目録」，小川家は文禄の役で朝鮮から加藤清正に伴われて来た胃貞種（小川久次）の孫で，利長に召されて以来子孫は代々火矢方として仕えた。

2957　奥野家系譜　16.31—79
奥野主馬佐編
自筆　天保13年（1842）
69丁　23.5cm
奥野氏は人持組，末尾に「御判物等写」を附す。

2958　奥村氏記録　16.31—80
手写
4冊　23cm
天正11年（1583）～延享元年（1684）までの内容。

2959　奥村家譜　16.31—81
奥村河内守編
自筆　天明5年（1785）
182丁　27cm
永福より栄清までの家譜。

2960　奥村家譜　16.31—82
奥村主水（隆振）編
自筆　天明5年（1785）
33丁　28cm

2961　系譜異聞　16.31—83
奥村為質編
手写
21丁　29.5cm
八家奥村家の系譜。文化13年(1816)本文成立，文政5年（1822）栄実が追考している。

2962　奥村家譜　16.31—84
奥村伊予守（栄実）編
自筆　文政6年（1823）
265丁　27cm

2963　奥村福松家譜　16.31—85
奥村福松編

自筆　慶応2年（1866）
65丁　26cm　旧書名「奥村分譜」

2964　**奥村家譜**　16.31—86
前田家編輯方手写　明治年間
8丁　25cm
八家の1つ，奥村宗家の家譜，永福より清栄までを記す。

2965　**奥村家譜**　16.31—87
前田家編輯方手写　明治年間
仮綴1（177丁）　24.5cm
奥村家の家譜に関するもの。奥村家系図「但荒子旧記之内ニ有之分ト同品也　6丁」「奥村因幡家来覚書壬子集録ノ抄　14丁」「奥村家譜之抄」（天明5年迄）　157丁。
旧書名「奥村家系図」

2966　**奥村源左衛門由緒写**　16.31—88
前田家編輯方手写　明治年間
21丁　25cm
12世祖父長右衛門から6世祖父三郎兵衛長賢まで。

2967　**乙酉集録**　16.31—89
手写
2冊　28cm
重臣奥村氏の過去帳写，高田十郎兵衛（七尾城代）覚書そのほか多くの覚書を集む。宝永期のものが多い。

2968　**大音氏系図**　16.31—90
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　24cm
大音氏は，大音厚用が幼にして利長に仕え，代々藩士。

2969　**大音氏家系**　16.31—91
前田家編輯方手写　明治年間
20丁　23.5cm
大音氏は4,300石，嘉永迄を記す。

2970　**〔小野氏（村氏）系図〕**　16.31—92
手写
15丁　24.5cm
表題は「大麻止及小野氏川勾神秘系図」藩士村一慶（4,500石）で小野篁の系図。

2971　**小幡又助由緒帳**　16.31—93
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　25.5cm
享保6年（1724）成立。

2972　**貝塚義右衛門先祖幷親類附帳**　16.31—94
手写
2丁　24cm
中川典克旧蔵。寛文2年（1662）成立。父方祖父（貝塚蔵人）が利家から100石もらい代々藩士となる。

2973　**熱田加藤氏系図**　16.31—95
前田家編輯方手写　明治24年（1991）
36丁　23cm

2974　**加藤家系図**　16.31—96
加藤里路編
前田家編輯方手写　明治24年
2冊　23.5cm
1本は重廉から里有までの系図（60丁）。1本は「加藤家系図附録」と題し，事蹟や親類等の系図（46丁）。

2975　**神尾系図**　16.31—97
前田家編輯方手写　明治年間
71丁　23.5cm
神尾甚右衛門之直（図書，90石家老役）より直躬まで，表紙に「寛保三（1743）癸亥二月改之」とあるが，慶応4年（1868）まで記す。

2976　**神尾氏系図**　16.31—98
前田家編輯方手写
17丁　25cm
祖甚右衛門より寛保2年(1742)直温まで記入。1,700石，藩士。

2977　神尾氏系図抄　　16.31—99
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　25cm
神尾甚右衛門（佐々成政に仕え7,000石，後利家に仕え2,000石より，権三郎直忠(嘉永２年，遺知500石拝領，馬廻組，大小将組）まで，安政元年（1854）の直忠の記事で終了。

2978　神谷家譜　　16.31—100
手写
８丁　27cm
前田貞醇旧蔵。神戸信濃守近孝を祖とする。近孝は利家から利常まで仕え9,000石。２代目は横山長知の３男であった神谷式部長治。神谷三作までを記載。

2979　河瀬新左衛門先祖由緒一類附控　　16.31—101
手写
４丁　24cm
寛政５年(1793)原本成立。河瀬家は近江出身，２代利長の藩士となり100石を受ける。

2980　河瀬氏由緒帳　　16.31—102
河瀬重房手写　明治年間
41丁　26cm
河瀬氏は府中時代に加賀藩八家の村井長頴に仕え，長朝代に100石，親長代に250石を給された。

2981　河瀬六郎左衛門隠居仰付書　　16.31—103
手写
１通　８cm

2982　〔河原系図帳〕　　16.31—104
河原右近直行編
自筆　文政７年（1824）
６丁　15×19.5cm
河原家は元祖兵庫，尾張時代からの家臣にて足軽頭，兵庫（1000石足軽頭），兵庫直澄（1000石馬廻組），貞進直資（500石馬廻組）左次馬直英(500石馬廻組頭，大小将組，組外御普頭，盗賊改役)右近直行（500石馬廻組）と続く家系。

2983　神戸家系譜　　16.31—105
神戸清右衛門編
前田家編輯方手写　明治年間
50丁　25cm
弘化２年（1845）原本成立。天正12年（1584）蟹江城で戦死した神戸加助の家系。加助の子蔵人は前田右近秀継の室が蔵人の叔母であるため，母と共に之に寄り，1,000石を受け秀継の卒後，嗣子又次郎利秀に仕えた。後，前田利長に仕え，さらに1,000石を受け馬廻頭となった。著者清右衛門は神戸加助のむこ養子。

2984　神戸文書写　　16.31—106
前田家編輯方写　明治年間
17丁　24.5cm
前田利家の時，1300石を得た神戸清右衛門の子孫とみられるが，寛政年間には500石となる。

2985　菊地文書幷系図　　16.31—107
菊地武編
手写　明治17年（1884）
33丁　23cm
祖は藤原道隆を名のる。中祖として肥後の左衛門入道から出発，伊豆守，大学（生国越中）市左衛門，次郎兵衛と続き，次郎兵衛13才の時，前田綱紀に寛文12年（1672）養父市左衛門跡目として召しだされたことから以後藩臣となっている。

2986　北川系譜　　16.31—108
北川克由編
前田家編輯方写　明治年間
63丁　24cm
北川氏系譜，北川克由履歴書，北川克由家記録（安政１～慶応１）からなり，元祖北川茂助，慶長17年鉄炮者，切米29俵で召抱えられる。克由は嘉永７年御算門者となり，切米40俵同年公事場留書となる。

2987　九里系図幷旧記　　16.31—109
九里正令編
前田家編輯方手写　明治年間

42丁　23cm
元祖九里正貞・正永・貞則・監物・正長・貞正・正武・正令と続く中に，九里系図，小堀遠州贈坂寿庵書翰，附亀田鶴山添書，酉４月御尋ニ付申上候覚，系図帳（文政３）があり。

2988　国府家系図簿　16.31—110
国府賤六郎編
自筆　明治20年（1887）
11丁　16×19.5cm
祖は国府備中，実名は行年，その子は国府新助この人，慶長７年（1602）利長（２代藩主）に召出され，以後藩臣となる。

2989　駒井家系附赤松家系　16.31—111
（僧）関津編
15丁　19.5cm
駒井氏ははじめ前田利長に仕え1,000石を賜わりその後，加増され2,000石となる。以下駒井主水重次は光高に，外記は綱紀に仕える。

2990　近藤家譜　16.31—112
手写
18丁　24cm
近藤新左衛門蔵清（まさすけ）1,400石大小将組の家譜。先祖は近藤善右衛門尉光之で尾張荒子の生，利家が信長に仕えた頃から仕え，家老役を勤む。加増に１万石を給わり，所々城代を務む，２代目長広は大和守に移し大聖寺の陣に従い，大聖寺城代14,000石となる。この家譜は安政元年（1854）までを記す。

2991　近藤用政系図　16.31—113
前田家編輯方手写　明治年間
２丁　25cm
近藤秀用から同用政に至る２代の略歴を記入ことに用政について詳しい。彼は寛永２年(1625)歿。

2992　才村家譜　16.31—114
手写
15丁　27cm
前田貞醇旧蔵。寛政末期頃の成立。才村家は前田利家の祖父からの出身となっている。

2993　篠嶋遺書覚書　16.31—115
手写
２丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。篠嶋清了（織部，三蔵）の履歴。

2994　椎名左衛門由緒書　16.31—116
前田家編輯方手写　明治年間
４丁　25cm
篠島豊前の家来，知行70石を得る。

2995　〔品川左門勤仕向記録〕　16.31—117
品川浜著
手写
２丁　24cm
亡父品川左門の履歴を記録。

2996　〔篠原系図帳〕　16.31—118
篠原織部編
慶応２年（1866）
15丁・２通　15×19.5cm
篠原忠旧蔵。篠原家は3,500石人持組。

2997　斯波蕃系図　16.31—119
手写
15丁　23.5cm
斯波蕃は津田正邦のこと。通称１万石。人持組慶応元年(1865)家老となる。明治になって遠祖斯波尾張守高経の氏をついで斯波蕃と名のった。

2998　斯波蕃祖先以来事蹟書　16.31—120
斯波蕃著
手写　明治33年（1900）
９丁　24.5cm

2999　島田家系図　16.31—121
島田孝郷編
手写　明治19年（1886）
11丁　24cm

元祖は島田新兵衛，３代十兵衛は微妙院（３代藩主利常）の時寛永20年（1643）御射手組として召出されたことに始まる。その後代々藩につかえる。

3000　神保氏系図　16.31—122

１枚　116×70cm

安永期頃の筆，前田利常の代に召出され，前田綱紀の時馬廻組400石。神保舎人成章の時，安永４年（1775）には定番頭，御算用場奉行550石。

3001　神保舎人系図帳　16.31—123

新保舎人編

手写　12丁　24cm

文政７年（1824）原本成立。御親翰写（４丁）御直筆物写（２丁）をも含む，神保氏の祖八左衛門尚昌が微妙院（３代藩主利常）に召出され300石を賜り，後100石を加えられ計400石，子孫前田家につかえた。神保成章，神保安親らの家系である。

3002　関屋氏諸系　16.31—124

今枝直方手写　宝永２年（1705）

38丁　20cm

関屋氏の先祖は美濃野村侯織田河内守長孝の家士，寛永元年（1624）織田氏絶家の後寛永10年（1633）前田利常に仕えた家柄前田氏に仕えた時は関屋政春で，宝永年間は彼の次子政知が留守居物頭になった。

3003　増補関屋氏系譜　16.31—125

有沢永貞編

手写

42丁　23.5cm

文政10年（1827）関屋政良手写の写。関屋政春の家系。元祖戸一郎より一学政均（1,050石弘化４年）まで記入。

3004　仙石氏系図附文書　16.31—126

仙石久持編

前田家編輯方手写　明治年間

60丁　23cm

仙石堅二郎旧蔵の写。仙石氏は美濃国土岐末流となっている。信長，秀吉に仕え淡路国を領しその後讃岐一国を領し，その後信州小諸城６万石を有す。万治元年（1658）仙石政盛が，５代綱紀の代に加賀藩につかえ以降加賀藩臣となる。

3005　多賀系図三種　16.31—127

前田家編輯方手写　明治年間

99丁　24cm

① 堀氏多賀氏系図

② 多賀氏三家幷奥村氏世系

③ 多賀系図帳

附　多賀源介系図帳，多賀帯刀先祖由緒一類附帳を含む。

3006　多賀氏三家幷奥村氏世系　16.31—128

手写　天保13年（1842）

８丁　23cm

多賀氏の３家は利長公代に慶長10年（1605）に多賀秀識が奥小将として召出され以後藩臣となった家系。綱紀公代に寛文６年（1666）に多賀直方が召出され以後藩臣となった家系。同じく寛文９年（1669）多賀直房が召出され以後藩臣となった家系の３家である。奥村氏は奥村英記英資の家系。その他渡辺喜内による「高忠君御著述之由来」が含まれている。

3007　高畠家系　16.31—129

手写

13丁　22cm

3008　高畠家系図　16.31—130

高畠政徳・高畠定辟編

手写

33丁　23cm

明治23年（1896）系本成立藩臣高畠定吉の家系で定辟までを記す。

3009 **高畠家系図** 16.31—131
高畠政徳・高畠定辟編
自筆　明治23年（1890）
巻子1　24cm
藩臣高畠家の系図。

3010 **高畠家系図之抄** 16.31—132
前田家編輯方手写　明治年間
15丁　25cm
定恒までを記す。

3011 **武部家系譜帳** 16.31—133
武部勇左衛門手写　享和2年（1802）
5丁　15×20cm
安永2年（1773）に写してあったものを享和2年（1802）勇左衛門が自分の略歴をつけ加え写した。元祖は武部四郎左衛門正教，彼は高徳院（利家）越前府中に在府中召しかかえられ，その後，正行，直正と代々つかえる。勇左衛門の父は四郎左衛門。旧書名「系図帳」。

3012 **武部氏家系** 16.31—134
手写
6丁　24cm
武部氏は前田利家に仕え500石を領したが後，浪人となった武部越後の家系。

3013 **長九郎左衛門遺書幷言上一巻留帳** 16.31—135
手写　寛文11年（1671）
59丁　25cm
「先祖書幷一類之覚」知行所付目録，長九郎左衛門家来侍帳その他書状類，覚書等を含む。

3014 **長家系譜・写本覚書** 16.31—136
手写
20丁　24cm
延宝8年（1680）長弥太右衛門長安由緒書（弥太右衛門，神保と称している）元祖下総守は将軍義尚公に仕え天正5年より長連竜家人になっている。

3015 **長家譜** 16.31—137
長連起編
手写　天明5年（1785）
70丁　28cm
長家は加賀藩八家の一つ。

3016 **長家言譜** 16.31—138
長連恭編
手写　明治3年（1870）
84丁　26cm

3017 **長成連系図** 16.31—139
手写
11丁　24cm
これは信連より成連までの加賀老臣長氏の系図。成連は連竜より11代目，弘化元年生まれ。明治元年家をつぎ3万3千石，明治12年没，36才

3018 **長氏家譜大要** 16.31—140
長連三著
手写　明治26年（1893）
27丁　24cm
長克連までの「長氏系図」と「長氏由緒大要」より成る。

3019 **津田家系図** 16.31—141
前田家編輯方手写　明治年間
23丁　23.5cm
人持組3,000石の津田重久系の系図。元祖津田権太夫親実・子孫重久（利長に仕え5,500石大聖寺守将）の系図，重久・重以・重辰・重優・時庸・庸貞・庸詳・庸言・庸久・庸謹・庸行まで（慶応元年＝1865）迄を記す。

3020 **津田作次郎・津田六郎兵衛先祖由緒一類帳** 16.31—142
前田家編輯方手写　明治年間
10丁　25cm
内容年代は元禄9年（1696）。

3021　津田遠江先祖幷自分由緒高名　16.31—143
27丁　24cm
山本権太郎，山森乙八郎旧蔵。山森時新が献じたもの。内容は，津田重久（遠江）由来，重久一代働之事，山崎表敗北之事，重久由来幷先祖之事，遠江子男女覚，奥田継図覚，「元治二年（1865）正月表紙而已改ル」とあり。

3022　津田重久由緒　16.31—144
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　24.5cm

3023　津田重次由緒　16.31—145
手写
5丁　25cm
津田重久よりはじまる家柄で，津田重次は慶長2年（1597）利長に仕え，550石をたまわり出発した。宝暦7年（1757）断絶。

3024　津田重以由緒　16.31—146
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24.5cm
津田重以は重久の子，前田利長に仕えて300石，後に3,000石，人持組，万治元年（~~658~~ 1658）歿。

3025　津田・織田由緒の弁・津田譜愚考　16.31—147
富田景周著
前田家編輯方手写　明治年間
12丁　25cm
文化14年（1817）成立。

3026　津田家系譜　16.31—148
津田内蔵助編
前田家編輯方手写　明治28年（1895）
24丁　25cm
文政7年（1824）原本成立。斯波藩より借り写したもの。津田家は津田玄蕃の家系にて正勝・正忠・正真と続く家柄にて文政7年（1824）で津田内蔵助となっている。

3027　鶴見小十郎由緒幅之抄　16.31—149
前田家編輯方編
17丁　25cm
鶴見小十郎は文政3年（1820）生まれ，明倫堂生徒，江戸昌平坂学問所に学んだのち天保12年（1841）明倫堂に勤め訓導となる。安政6年（1859）金沢藩学校に勤む（易学部付），のち明倫堂助教，明治3年（870）権大属藩庁掛，公用人を勤む，同5年小松町医学校2等教師，同6年小学校1等出仕，のち英学校勤務をへて14年輪島師範学校，鳳至小学校などをへて明治17年（1884）辞職。

3028　寺西宗寛書翰 翰　16.31—150
1通　17cm
寺西宗寛の出した由緒帳にその祖母が前田右馬頭の娘とあることへの問い合せに対する宝永3年（1706）の返書，斉藤吉左衛門宛。

3029　富田勢源流系図　16.31—151
手写　享保4年（1719）
5丁　21cm
今枝氏旧蔵。加賀藩を風靡した中条流剣法の家系。名人越後重政（山崎六左衛門）もあり。

3030　内藤源兵衛先祖幷親類附帳　16.31—152
寛文2年（1662）
2丁　25cm
中川典克旧蔵。寛文2年（1662）9月10日附。父六左衛門は寛永16年（1639）利常に召出され同17年病死。私は当正月より召出され加州の生れ，7年以前に前田平太夫方に罷在り，他には奉公していない。

3031　中村小右衛門親類附帳　16.31—153
手写
2丁　24.5cm
中川典克旧蔵。寛文2年（1662）9月11日付。父長重鳥井左京に200石で仕え，のち牢人して当地へ来り12年以前死，兄2人は馬廻2,500石と笹原伝部与力150石，小右衛門（29才）は12年以前より本多安房殿に罷在。

3032 **成瀬又六様一類附** 16.31—154
手写
3丁　23.5cm
文化13年(1816)に原本成立し，文政6年(1823)より天保15年（1844）迄朱書で追加。

3033 **丹羽家系** 16.31—155
手写
8丁　19cm
丹羽長政から光重までの系図。および，天文19年（1550）～寛永4年（1627）までの長秀，長重の行状を記す。

3034 **丹羽佐左衛門先祖書** 16.31—156
12丁　20.5cm
丹羽佐左衛門の実父（肥田与右衛門）養父，兄弟などの行状を記す，丹羽佐左衛門は丹羽権平の養子，権平は初め佐々成政に仕え祿2万俵を受けたが後，成政から辞し，利家に仕えた。

3035 **野村伊太郎系図** 16.31—157
前田家編輯方手写
7丁　24cm
享保3年（1803）原本成立。

3036 **野村与三兵衛系図** 16.31—158
前田家編輯方手写
3丁　24cm

3037 **長谷川系図幷旧記** 16.31—159
前田家編輯方編
編者手写
109丁　23cm
長谷川氏の系図，知行状，由緒書，個人の略譜知行等について記す。長谷川三右衛門は慶長2年（1597）利家に仕えた。
旧書名「長谷川系図」。

3038 **藤田家譜** 16.31—160
藤田安勝編
編者手写　明治年間
18丁　24cm
前田内蔵允家譜とあり，正徳5年原本成立，敏達天皇より発し，小野妹子～小野道風～小野篁の家系を祖とすることになっている。藤田安次より本藩に仕う。

3039 **古江要人系図帳** 16.31—161
手写
3丁　15×20cm
延享4年（1747）原本成立。元祖古江孫兵衛，その子古江次右衛門定重は瑞龍院様御代慶長8年（1603）召しかかえられた。

3040 **不破家譜** 16.31—162
前田家編輯方手写　明治年間
60丁　23.5cm
4,500石，不破彦三家。

3041 **不破家先祖由来書** 16.31—163
前田家編輯方編
22丁　23cm
4,500石不破彦三家。

3042 **不破五郎兵衛先祖幷親類附帳** 16.31—164
寛文2年（1662）
7丁　24.5cm
中川典克旧蔵。不破五郎兵衛は切米50俵の下級武士，不破彦三家とは無関係。

3043 **堀田家系譜** 16.31—165
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　25cm
堀田左兵衛之武の嗣子の提出したもの。堀田家は家祿600石。享和3年（1803）原本成立。
旧書名「堀田家系図」。

3044 **本多家代々記録** 16.31—166
前田家編輯方手写
4冊　23cm
本多家初代政重から8代政礼までの略歴。
① 政重代，政長代，政敏代
② 政質代，政昌代
③ 政行代
④ 政成代，政礼代。

3045　本多氏記録　16.31—167
前田家編輯方手写
4冊　23cm
① 寛文元年（1661）本多安房守亭へ御成之節御献立之写
保科肥後守書翰等
御献上物家譜抜書
寛文2年（1662）御養子之願万作様御引請等云々
御在府云々
② 大乗寺請山附松木伐除一件
御家中御人帳
寄物
寛政3年（1791）毎日帳之内抜書
本多政行より超雲寺へ遣候書翰等
覚（能登巡回の記）
恭敏公御巣被遊候御歌
無表題（召出シ播磨守殿江）
③ 延享2年（1745）護国院様御法事云々
同四年大応院様御法事云々
天明4年（1784）於貞様御引取之儀云々
本多政行御隠居一件
寛政9年（1797）11月政行卒去并同年12月25日政成叙爵云々
文化6年（1809）6月縁組内意之留
文久4年（1864）月番加判并御城代方免許之一件
④ 御馬洗初覚書
伝来具足并刀等帳面抜書
伝来采幣并幕絵図
伝来之幕絵図
旗等絵図

3046　本多家由緒帳七種　16.31—163
前田家編輯方手写　明治年間
63丁　23cm
本多政以旧蔵の写
◦延宝3年（1675）正月19日先祖一類由緒帳（本多長五郎政冬）
◦寛延2年（1749）先祖并一類帳（本多政行）
◦天明5年（1785）先祖由緒一類附帳（本多政行）
◦寛政7年（1795）9月由緒控（本多玄蕃助政成）
◦同10年正月先祖並一類帳（本多政成）
◦文化9年（1812）先祖並一類附帳(本多政礼)
◦文政3年（1820）先祖并一類帳（本多政和）

3047　本多系譜　16.31—169
青地礼幹編
19丁　28.5cm

3048　本多家譜　16.31—170
本多政行編
天明5年（1785）
69丁　27.5cm
家祖本多政重から政行まで。

3049　本多系図　16.31—171
手写
34丁　24cm
藤原師輔より文化10年（1843）まで記入。

3050　本多系譜　16.31—172
前田家編輯方手写　明治年間
145丁　23cm
天保9年（1838）原本成立。藤原師輔より始まり，忠正（正信の3代前）からは生歿年代が加わり，9代政和（天保年代）まで記載。

3051　本多政和系図　16.31—173
前田家編輯方手写　明治年間
13丁　24cm
9代本多政和（文化10年8月生れ，弘化4年9月没）まで記載。
旧書名「本多政和公まで系図」。

3052　本多政以系図　16.31—174
手写　明治31年（1898）
16丁　23.5cm
本多家11代目，元治元年生まれ，明治10年6月歿。

3053　本多政以家系図　16.31—175
手写

17丁　25cm

3054　本多政以之祖以来事蹟書　16.31—176
斯波蕃編
手写
17丁　24.5cm
明治33年（1900）成立。

3055　本多家譜　16.31—177
前田家編輯方編
133丁　25cm

3056　本多家譜抄録　16.31—178
本多資松（政以）編
自筆　明治3年（1870）
49丁　27cm
資松は政以の初名。政重・政長・政敏・政賢・政昌・政行・政成・政礼・政和・政通・政均・政以の略履歴。

3057　本多家譜鈔録　16.31—179
本多資松（政以）編
前田家編輯方手写　明治3年（1870）
45丁　23cm
政重から政以まで。

3058　本多家来由緒帳　16.31—180
松田伝左衛門等編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
寛文11年（1671）における本多家家臣の由緒帳を収録。才村源太輔・松田伝左衛門・篠井源五左衛門・中川内丞。

3059　前田家譜　16.31—181
前田直時編
文政6年（1823）
66丁　23cm
前田利政の子直之系の家譜。利政から第6代直時までを記す。

3060　前田家譜　16.31—182
前田直方編
天明5年（1785）
38丁　28cm
前田利政，その子直元家。家譜の利政から直方（直元系5代）までを記載。

3061　前田家譜　16.31—183
前田孝友（大炊）・前田孝本（弾番）編
天明5年（1785）
2冊　29cm
① 長種系8代孝友まで。
② 9代孝本までを記す。

3062　前田内蔵助系図附下帳　16.31—184
前田家編輯方手写　明治年間
53丁　23.5cm
前田晋旧蔵の写。前田長種系の系図。長種の2代前の泰学より長種系第6代孝咨までを記す。下帳は長種系4代孝貞の次子勘解由孝和から6代内蔵助孝保まで記す。

3063　〔前田対馬守家譜〕　16.31—185
42丁　23cm
内題は「公族譜・前田対馬守」で前田長種系。安政4年（1857）成立のものに慶応3年(1867)一部を加えたもの。

3064　前田兵部系図帳　16.31—186
前田孝友編
前田家編輯方手写　明治年間
2冊　23cm
前田兵部孝友は長種系代8代，孝昌の嫡男である。原本成立は，
① 弘化3年（1846）
② 慶応3年（1876）

3065　前田大炊家譜之抄　16.31—187
前田家編輯方手写
45丁　25cm
前田大炊は加賀藩老臣前田長種系の第8代18,500石。天明5年（1785）原本成立。

3066　〔前田長時家譜〕　16.31—188
前田道益編
慶応３年（1867）
18丁　24cm
原題は「公族譜」長時は丹後と称し，長種の２男。旧書名「公族譜」。

3067〔前田長知家譜〕　16.31—189
前田直房編
慶応３年（1867）
10丁　24cm
原題は「公族譜，前田甚五郎」とあり，前田長種系の第２代長知の４男長知。
旧書名「公族譜・前田甚五郎」。

3068　前田将監家系　16.31—190
前田恒敬編
手写　明治初年
17丁　23cm
前田将監恒敬の家系で，その祖は長種系２代内記直知の４男恒知。彼は寛永８年（1631）召出され，直知遺知のうち3,000石を領した。恒敬は父恒風の知のうち2,900石を嘉永７年（1854）拝領し，小松城番，寺社奉行，御家老役，若年寄などをへる。なおこの系図は古系図をもとにし，後追筆し完成させたもの。

3069　作州殿御配知御願之一件留　16.31—191
前田恒敬編
手写
６丁　24cm
前田恒敬手記の写，天保13年(1842)前田直成(長種系２代直知の２男）家系復活のための願書。

3070　前田孝和（勘解由）系図帳　16.31—192
前田孝和編
延享４年（1747）
３丁　15×19.5cm
加賀藩の老臣，前田長種系の第４代孝貞の次子が前田孝和，孝和は3,000石を領し小松城番，江戸留守居を経て，享保13年御家老に進み，20年指除き，延享４年（1747）再び家老となった。旧書名「系図帳」。

3071　〔前田孝知家譜〕　16.31—193
前田錦松編
安政２年（1855）
５丁　23cm
原題は「公族譜，前田志摩」とあり。前田長種系の第２代直知の３男孝知の系譜。
旧書名「公族譜・前田志摩」。

3072　前田内蔵太家系下帳　16.31—194
前田孝錫編
９丁　24cm
前田内蔵太（孝錫）は孝和系の７代目，3,000石の家。

3073　前田兵部系図帳　16.31—195
三輪勘兵衛編
18丁　24cm
慶応３年（1867）系図に明治20年（1887）までを追記したもの。
旧書名「前田兵部孝友系図帳」。

3074　前田直行系図　16.31—196
手写
12丁　23cm
前田直之系。

3075　前田直行家覚書　1[illegible].31—197
前田家編輯方手写　明治年間
52丁　23cm

3076　前田直行家譜稿　16.31—198
前田家編輯方手写　明治年間
183丁　23cm

3077　前田直行祖先以来之事蹟　16.31—199
手写
５丁　24.5cm　旧書名「本[illegible]以・前田直行・横山隆平・斯波蕃祖先以来事蹟書」。

3078　前田土佐守家譜之抄　16.31—200
前田家編輯方手写　明治年間
89丁　25cm
前田土佐守（直之）家歴代の一類付帳を収録したもの。

3079 前田土佐守直信家譜　16.31—201
前田直信（土佐守）編
手写
11丁　24cm
原題は「家譜」内容は前田直信（土佐守）の履歴。

3080 前田直信系図　16.31—202
前田直信編
明治３年（1870）
11丁　25cm
前田直之家，利政より直信まで。

3081 故前田直信已来之系図並系譜　16.31—203
前田直行編
明治18年（1885）
８丁　24cm
前田直之家の系図と直信・直行父子の履歴を書きあげたもの。

3082 前田季明系図　16.31—204
手写
４丁　24cm
前田直之の娘が四辻権大納言公理に嫁して出生した子で，前田利常に仕え6,540石を給された家柄。

3083 前田系譜　16.31—205
手写
17丁　20cm
前田直之・前田主殿・前田利孝・前田利貞・前田利忠・前田重直・前田利益・前田安勝系のもの。

3084 〔前田三郎四郎家譜〕　16.31—206
前田民男編
慶応３年（1867）
７丁　24cm
原題は「公族譜前田民男」三郎四郎については実名不明と家譜にあるが，「前田平左衛門直決家譜」によれば，三郎四郎は和春と称したものらしい。詳細は「前田平左衛門直決家譜」参照
旧書名「公族譜・前田民男」

3085 〔前田平左衛門正次家譜〕　16.31—207
前田兵太郎（正固）編
手写
２冊　24cm
原題「公族譜，前田兵太郎」，前田正次は天正10年８月２日，前田三郎四郎和春の３男として尾張荒子で生まれた。
旧書名「公族譜・前田兵太郎」

3086 前田修理由緒　16.31—208
前田家編輯方手写　明治年間
11丁　25cm
前田修理知好は利家の３男，13,750石。

3087 前田修理家譜　16.31—209
前田家編輯方手写　明治年間
86丁　23cm
前田修理家は利常の兄弟知好から始まる家。

3088 前田三九郎系図帳　16.31—210
前田知足編
慶応２・３年（1866・67）
２冊　24cm
三九郎は知足，元祖は利家の３男知好で，知好の２男知辰よりはじまる家。

3089 系図帳　16.31—211
前田三九郎編
前田家編輯方手写
16丁　23.5cm
前田三九郎旧蔵の写，慶応２年（1866）原本成立。

3090 前田備前子女調　16.31—212
前田備前（貞親）編
１通　17cm
前田貞醇旧蔵。

3091 前田源左衛門系図帳　16.31—213
前田直諒編
慶応３年（1867）
８丁　23cm
前田源左衛門は直諒。元祖は５代綱紀に延宝３

年（1675）つかえた長恒，その後直道・直矩・直農・直孝・直諒と続く。

3092　前田又五郎系譜　16.31—214
前田孝敬編
手写
13丁　24cm
天保11年(1840)原本成立。前田又五郎孝敬は天明８年（1788）生れ，父は矩方，祖は利孝（利家５男）の次男孝矩。

3093　前田図書系図帳　16.31—215
前田貞発編
慶応３年（1867）　父貞
33丁　23cm
前田貞発の家系，貞発は前田貞事の子である。貞事は文政６年（1823）道の7,000石を受け継ぎ，定火消，小松城番，御家老となり，天保元年（1830）若年寄を兼ねる，祖は前田利貞。

3094　前田典膳系図帳　16.31—216
前田孝備編
慶応３年（1867）
10丁　23cm
前田典膳（孝備）は天保７年(1836)小松城番，嘉永３年（1850）公事場奉行，同４年寺社奉行兼公事場奉行，同７年御算用場奉行，安政５年（1858）若年寄，元治元年（1864）家老役などを歴任。

3095　前田清九郎家系　16.31—217
前田正房編
慶応３年（1867）
15丁　23cm
清九郎正房は御馬廻組太田作兵衛道吉の２男。天保７年（1836）瀬太夫養女へむこ養子願い命ぜらる。この家の祖は右衛門正尚で，彼は利家に聚楽にて召出され300石を給わった。

3096　前田仙太郎系図帳　16.31—218
前田直定編
８丁　23cm
前田仙太郎直定は，文政11年（1828）文久２年（1862）御近習，慶応元年（1865）御側小将を命ぜらる。祖は前田清八直忠。

3097　前田兵五郎家系　16.31—219
前田孝信編
手写
５丁　23cm
前田兵五郎孝信は天保４年（1833）生れ。慶応元年（1865）召出され，家祿1,000石を拝領し，寺社奉行支配となる。

3098　前田弥五作系図　16.31—220
前田和門編
手写
９丁　24cm
安政年間原本成立。弥五作和明は初名与三男三郎，享和２年（1802）生れ，文政５年（1822）召出され，父助三遖知拝領，御馬廻りに加えられる。祖は刑部和勝。

3099　前田式部系図帳　16.31—221
前田国規編
手写
２冊　23cm
①　弘化３年（1846）
②　慶応３年（1807）成立。
前田式部は国規で，その祖は利家の５男で七日市藩主となった利孝。

3100　前田監物系図帳　16.31—222
前田孝連編
前田家編輯方手写　明治年間
２冊　23cm
①　弘化３年（1846）
②　慶応３年（1867）原本成立。監物は孝連，祖は利孝（初代七日市藩主，利家の５男）。その３男の寄孝を祖とする家。

3101　松平康蕃系図　16.31—223
手写
９丁　23cm

松平玄蕃（大弐）家の系図。代々知行4,000～3,500石人持組，蛤御門の変の賞をおい自刃した家柄。

3102 馬淵友進先祖由緒幷一類附　16.31—224
手写
3丁　24cm
馬淵家は代々加賀藩士，享保7年（1722）原本成立。

3103 村井家々譜　16.31—225
村井親長著
手写
3丁　12×18cm
村井氏主流（年寄家）5代親長の提出した家譜の写し，文末に「今年十一月二日，出雲ニ称号御改被成」とあり，寛文末年もしくは延宝年間のものか。

3104 村井家系図　16.31—226
村井長世（長祥）編
手写
7丁　6.5×17.5cm
村井氏主流（年寄家）の系譜。寛政6年(1794)原本成立。

3105 村井家系図幷一類付　16.31—227
村井長世（長祥）編
手写
22丁　26cm
系図幷一類付（寛政6年）と御家譜書継之分あり。

3106 村井家譜　16.31—228
村井長穹・村井長世編
手写
2冊　20cm
村井氏は加賀藩老臣八家の一つで16,559石，長穹は7代，長世は8代。
① 天明5年（1785）
② 文政6年（1823）原本成立。

3107 村井家譜　16.31—229
村井長世編
手写
~~合綴1~~（7冊）　23.5cm
① 家譜（寛政2～文化4年）
② 家譜（文化5～文化9年）
③ 家譜書継（文化6年）
④ 系図並一類附（文化6年）
⑤ 家譜書継（文化9年）
⑥ 家譜書継
⑦ 〃

3108 村井家譜　16.31—230
村井長世編
手写
54丁　24cm
安達氏旧蔵。文政6年（1823）原本成立。村井氏の長頼より長世に至る家譜。

3109 村井家譜書継調理　16.31—231
6丁　24.5cm
内題「文政七年より之御家譜御書継調理」つまり書つぎのための下書，文政7年（1824）より同10年までを記す。

3110 村井家略譜　16.31—232
村井長在編
手写
6丁　12×18cm
「村井家略譜」とあるが，10代村井長貞の略歴文政8年（1825）～天保12年（1841）のもの。

3111 御家譜方目録調理方帳　16.31—233
手写
18丁　33cm
元保3年（1832）から藩末にかけて村井家譜作製のために準備された家蔵の文書目録，ならびに覚書，聞書などの抄録。

3112 村井家由緒書等目録　16.31—234
手写
1通　16cm

村井氏主流系譜及び由緒書の目録。

3113 村井家系　16.31—235
手写
24丁　26.5cm
今枝氏旧蔵。村井氏主流の祖長忠より長朝までの系図と略歴。

3114 村井家系　16.31—236
手写
12丁　12×18cm
加賀藩老臣・村井家の系譜。
① 長忠～長道までの系図
② 親長・長堅・長穹子女表
③ 長道時代の親翰等留。

3115 村井家譜　16.31—237
前田家編輯方手写　明治年間
34丁　25cm

3116 村井氏家譜　16.31—238
手写
8丁　24cm
内容は
① 村井長也履歴，文化4年（1807）
② 村井隼人一類付帳，天保7年（1836）。

3117 村井家法名帳　16.31—239
手写
10丁　23cm
村井氏主流（年寄家）の初代長頼から7代長穹にいたる間の一族の法名ならびに命日，行事を列挙したもの。

3118 改正 御遠忌調理　16.31—240
手写　文化12年（1815）
7丁 ~~17丁~~　8×18cm
村井家の歴代法名帳。

3119 村井家法名帳　16.31—241
手写　天保8年（1837）
14丁　23cm
仮綴1(5通)所

八家の1つ老臣村井家の法名帳，この帳には10世長貞までを載せるが，天保7年（1836）の第7世以後はつけ加えたものである。

3120 長松寺様（村井長貞）御統書　16.31—242
手写
1通　17cm
村井長貞の法号は長松寺守節貞幹大居士。長貞を中心とし，その縁ある者を記載。

3121 安井系譜　16.31—243
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　25cm
安井顕比旧蔵の写。利常公に寛永20年（1643）に仕え，150石拝領した安井義芳の家系。

3122 山崎家系　16.31—244
山崎長賀編
今枝直方手写　宝永5年（1708）
32丁　24cm
山崎家は長徳の時始めて利長に仕える。長徳（15,000石），光式，長応，長治，長賀。長賀は寛文5年（1665）遺知4,550石を受く，定火消，奏者番を勤め好学の人で享保12年（1727）没。

3123 山崎家譜　16.31—245
山崎範古編
前田家編輯方手写　明治年間
64丁　23cm
文政7年（1824）原本成立。山崎庄兵衛範古は長賀より5代目，文政及び天保期に家老職，5,500石。

3124 山田正勝系図　16.31—246
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　25cm
「寛永系図医師ノ部抄」と朱書あり，重正，正次，正勝（利長に仕えた），正信（のち医師となる）までを記入。

3125　横山系図　16.31—247
手写　明治23年（1890）
34丁　27cm
敏達天皇より長隆（家祖，天正10年利長に仕える）まで43代を記す。

3126　横山家譜并補註　16.31—248
高沢篤信編
手写
40丁　23cm
享保年中原本成立。旧書名「横山家譜」。

3127　横山家譜　16.31—249
横山大膳編
手写
30丁　26cm
天明5年（1785）成立。大膳は8代隆従。

3128　横山家譜　16.31—250
前田家編輯方手写　明治年間
31丁　25cm
横山隆従編「横山家譜」の写。
旧書名「横山家譜[illegible]抄」。

3129　横山家譜　16.31—251
横山隆章編
文政6年（1823）
41丁　27cm
隆章（求馬）は10代。

3130　横山隆平祖先以来事蹟書　16.31—252
手写
29丁　24.5cm　旧書名「本多政以・前田直[illegible]・横山隆平・[illegible]祖先以来事蹟書」。

3131　横山氏系図　16.31—253
前田家編輯方手写　明治年間
7丁　24cm

3132　横山略系図　16.31—254
38丁　~~18cm~~ 9.5×18cm
人持組横山氏（長秀系）の系図。長隆より正従（5代蔵人）まで。

3133　横山家系図等十三種　16.31—255
手写　明治17年（1884）
110丁　23cm
横山蔵人家略系図。宝暦10年（1760），明治元年（1869）の先祖一類附帳。御知行村附，人馬数帳など13種。

3134　〔横山政孝御続柄帳〕　16.31—256
8丁　12×18cm　方
表題は「御両家様御続柄帳」人持組横山氏（長秀系）8代政孝の養家と実家の縁続きを列挙したもの，後年の附箋あり。
旧書名「御両方様御続柄帳」。

3135　〔横山政孝御続柄帳〕　16.31—257
手写
10丁　12×17.5cm
旧書名「御続柄帳」。

3136　横山氏系図　16.31—258
横山政賢編
手写
70丁　23cm
横山氏の惣系図。横山政賢は明和2年（1765）祿を継ぎ，文化6年（1809）没す。

3137　横山外記由緒覚書写　16.31—259
手写　明治17年（1884）
4丁　24cm

3138　横山元儔先祖死後年号等覚　16.31—260
手写　天保12（1841）
仮綴1（2枚）　16cm
横山元儔は横山支家。初代は横山長隆の4男常隆。

3139　吉田家系　16.31—261
島田常保手写
8丁　21cm
今枝氏旧蔵の写。吉田茂清（利常につかえ寛文4年没）で終っている。

3140　吉田氏系図帳外二種　16.31—262
島田常保手写　文化10年（1813）

仮綴1（3冊）　19cm
島田孝郷旧蔵。利長の代に吉田伊織が1,000石を受けた後，代々加賀藩に仕える。

3141　和佐系図　16.31—263
前田家編輯方手写　明治年間
26丁　24cm
別名「根来系図」和佐忠実は利常の代，寛永元年新知行300石をもって仕え，代々加賀藩士，先祖は根来の出身。

3142　渡辺又作系図帳　16.31—264
渡辺又作著
前田家編輯方手写　明治年間
5丁　24cm
文政7年（1810）原本成立。

3143　渡辺与右衛門系図幷附属之書類　16.31—265
前田家編輯方手写　明治年間
17丁　24cm

特16.32　相　続・縁　組

総　記　・　規　式

3144　跡目養子之儀定　16.32—1
手写
1通　32cm
寛文11年（1671）のもの。

3145　参議公年表附録　16.32—2
青地礼幹（浚新斉）編
手写
72丁　23.5cm
青地基知旧蔵。参議公は5代綱紀。附録第1，同第2を合綴。なお，参議公年表には二種あり，一は別名菅綱記に同じいが，別に青地礼幹著のものがある。本書は後者の附録として作成されたと思われる。元和～寛文期の子供の由緒帳記載洩れ，再婚，使者等取次心得，家中長旗，馬上指物。
延宝2年～元禄3年の家作，跡式，嫁取，京，大坂詰人，堂形奉行，遣知相続，天罰起請文。

3146　家督相続一巻　16.32—3
手写　文政7年（1824）
8丁　25.5cm
外題は「同席向留帳」，書式を示したもの。
旧書名「同席向留帳」。

3147　縁　組　願　16.32—4
前田家編輯方編
編者手写
34丁　25cm
縁組願，養子願，養女願，嫡子願，役儀御免願，御番御免願，代番願，髪惣結願，刺髪願，御屋敷願，居屋敷願，縁組などの項目に分け藩士の各願を列挙してある。

3148　縁組願等　16.32—5
前田家編輯方手写
151丁　25cm
前田直行蔵本の写。嫡子，出家，十村，御屋敷，医者，養女願などを含む。

3149　服忌中縁組願ニ付遠書　16.32—6
手写
1通　15cm
定番頭宛，寛政度の服忌会の改訂乙丑十二月附。旧書名「親類縁組願ニ付遠書」。

3150　跡目等年月之調　16.32—7
前田家編輯方手写
62丁　25cm
前田直行旧蔵。跡目相続者名簿と石高に関する記録。

3151　遺　書　留　16.32—8
10丁　24cm
内容は前号と。同じ，天保11年（1840）～同13年（1842）跡目相続者の名簿と石高について記録したもの。

3152 御引移御婚礼御祝建等之帳面幷御親父様御示教之留置　16.32—9
梨園著
自筆　天保2年（1831）
1ら6丁　25cm
渡辺庸旧蔵。表題は「御引移御婚礼御祝建等之帳面致拝見一々，御親父様ヨリ御示敬被成下候義を留置」とあり。なお，「同苗尋ニ付答之趣留置幷余問之趣」を収む。

3153 御婚礼御式書　16.32—10
手写
2丁　34cm
渡辺庸旧蔵。武家の婚礼当日の盃ごとについての順序，会席などについての記録。

3154 縁組・跡目立・新番頭等奉達書覚　16.32—11
手写
138丁　13.5×19.5cm
野村氏旧蔵。

3155 定番御馬廻御番頭へ被仰出候御端書写等　16.32—12
野村与三兵衛著
手写
4通　16.5cm
三品の士（加賀藩では馬廻組，定番馬廻組，組外組に属する藩士を御譜代三品の士といった）の2，3男の与力への養子縁組についての書状。天明7年（1787）12月19指上候伺紙面控，同21日被成下候御端書写，同日指上候御請書控御用番野村与三兵衛とあり。同23日被成下候御褒書写，同日指上候御請書控。

3156 馬廻組之者相続願方ニ付窺　16.32—13
手写
1通　15.5cm
御馬廻頭よりの窺，丑9月付。
旧書名「親類縁組願ニ付願」。

3157 村井又兵衛覚書　16.32—14
手写
1通　16cm
藩士の縁組，役儀免除などの書類を御用番へ出したときの目録。藩末のもの。又兵衛は長在。

家督相続

3158 諸士御礼列覚書　16.32—15
手写
69丁　23.5cm
貞享3年（1686）～正徳6年（1716）の跡目相続を許された藩士の御目見得御礼の例をまとめた記録。

3159 隠居家督留書　16.32—16
手写
160丁　24cm
文化5年（1808）～慶応元年（1865）の台帳。

3160 江戸屋敷大広間ニテ跡目之節之図　16.32—17
前田貞発手写　元治元年（1864）
絵図1枚　50×34cm
前田貞醇旧蔵。「文化九年七月十日，於御大広間跡目立之節」「於御横目所出来分自分ニ写置」とあり。

3161 大音鉄男家督相続之申渡　16.32—18
手写
1通　16cm
文化13年（1816）7月，大音鉄男以下に申渡された家督相続の留書。

3162 文政元年家督相続之申渡　16.32—19
手写
1通　15.5cm
文政元年(1818)原本成立。佐々木絹之助(2,100石)，青木吉九郎（2,100石）山路栄吉(400石)賀古八郎太夫（400石）など24名。
旧書名「佐々木絹之助家督相続之申渡」。

3163 跡目相続等留書　16.32—20
手写
巻子6　16cm
跡目相続者名簿（石高），文政元年，文政2年，文政6年，文政9年，嘉永7年の跡目相続の許可年月日を記した記録。

3164 前田英丸等家督相続之申渡控　16.32—21
手写　文政3年（1820）
1通　16cm
文政3年（1820）7月10日付で家督相続を認められた前田英丸（前田三内養子）以下33人の歴名簿。

3165 織田鉄七等家督相続之申渡　16.32—22
手写
巻子1　15cm
織田鉄七以下27名について，相続知行をかいて認めたもの文政3年（1820）～天保3年(1832)のもの。

3166 御用番長甲斐守へ申渡書　16.32—23
手写　文政4年（1821）
1通　16cm
万堂一右衛門の他19人の遺知相続についての記録。

3167 跡目相続申渡之覚　16.32—24
手写
仮綴1（1通・3丁）　16cm
文政4年（1821）及び文政12年(1892)の分か。
旧書名「知行相続申渡之写」

3168 人見昌之進家督相続之申渡　16.32—25
手写　文政5年（1822）
1通　16cm
文政5年（1822）200石加増し500石となった加賀藩士。

3169 今枝万之佐家督相続之申渡　16.32—26
手写　文政5年（1822）
1通　17cm

3170 青地太郎兵衛家督相続之申渡　16.32—27
手写　文政6年（1823）
1通　16cm
青地清左衛門に200石，青地太郎兵衛に280石の遺領が継がれ，その他文政6年（1823）7月13日附で新知，加増された者の名とその知行を記す。

3171 横山政次郎等家督相続之申渡　16.32—28
巻子1　14cm
表題として「天保七年丙申七月四日於竹之御間二間御用番播摩守殿被仰渡」とあり，家督相続を仰せつけられた横山政次郎(政和)以下28名，隠居家督の4名の名前と知行を記す。

3172 村井嫡子願一件　16.32—29
手写　文久元年（1861）
5丁　12×18cm
村井家主流（年寄家）11代長貞が，初子藤十郎死去につき，又六（恒）を嫡子にすることを願い出た時の一件書類。

3173 村井家縁組，家督相続之覚　16.32—30
手写
仮綴1（8通）　17cm
村井靱負（16,569石余）の遺言により，又兵衛娘に前田内蔵助2男雄二郎を聟養子とし家督相続した一件書類。
旧書名「村井家縁組等之覚」

3174 溝江八左衛門等書状　16.32—31
溝江八左衛門・国符孫右衛門著
手写
1通　31cm
中川典克旧蔵。10月28日付，野崎弥兵衛・村田平兵衛・池田武兵衛宛。石原茂左衛門死去の後の知行，屋敷等の処置についての書状。

3175 中川八郎右衛門願書　16.32—32
中川八郎右衛門著
自筆
1通　16.5cm
嫡子左門前髪をとり，次男多仲袖留の願が許可されたことにつき，本多図書・青山将監・横山蔵人・前田兵部・玉井市正5人に宛た文書。この内容からこの八郎右衛門は長裕二惟忠と思われる。惟忠は元文4年遺知5,000石をつぎ，延享元年定火消，寛延3年家老，宝暦7年歿，44才。

3176　家督被仰付覚　16.32—33
手写
仮綴1（2通）
天保12年（1841），原弥三郎（150石），真田勘解由（600石）の2名分。

婚　礼

3177　縁組口上書　16.32—34
中川八郎右衛門著
自筆
3通　24cm
中川典克旧蔵。中川長種（万治元年大横目）の子，中川長輝（通称采女）の縁組に関する口上書。

3178　前田備前娘縁組仰出書　16.32—35
1通　17cm
内容は元禄9年（1696）
前田主税へ前田備前娘縁組仰付（藩主許可）。

3179　大野木隼人再縁願許可之達状　16.32—36
奥村伊予守著
自筆　享保13年（1728）
1通　17cm
旧書名「大野木隼人再縁願之件達」。

3180　大野木隼人再縁願聞届書　16.32—37
手写
1通　16cm
大野木隼人と中川式部姪との婚姻についての許可書，享保14年（1729）。

3181　村井又六様御目見御縁組一巻　16.32—38
屋漏堂手写　文化6年（1809）
64丁　12×18cm　旧書名「村井又六様御目見一巻，同御縁組一巻」。

3182　縁組ニ付御用番仰渡書等　16.32—39
本多播磨守著
2通　17.5cm
1通は7月13日付，村井鈴之助の子息を聟養子にすることを本多播磨守から命ぜられたものと，他の1通は村井又兵衛嫡女と前田弾番との縁組了承の旨村井又兵衛に宛てたもの。

3183　長門守様備後守様御屋敷之儀等控　16.32—40
手写
5丁　24cm
両人の屋敷と備後守の息女の縁談についての記録。

養　子

3184　養子ニ付口上書　16.32—41
松浦六郎左衛門著
自筆　貞享5年（1688）
2通　24.5cm
貞享5年3月26日附，与力の松浦六郎左衛門より村田平兵衛・野崎弥兵衛宛。1通は老年にて江戸詰仰付られたにつき養子願。1通はその養子を宜しく頼む旨の願。旧書名「家督ニ付口上書」。

3185　養子縁組願等　16.32—42
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
37丁　24cm
前田貞醇旧蔵。内容は元禄15年（1702）～安永8年（1779）。

3186　村井出雲養子一件留　16.32—43
手写
28丁　24cm
宝永4年（1707）の一件，村井出雲は加賀藩老臣村井氏第5代親長である。

3187　村井親長伺書
村井親長（出雲）編著　16.32—44
手写
1通　16cm
宝永5年（1708）9月，村井親長（知行16,569石，年寄）が，前田孝行の4男右源太（長堅）を養子とすることを願い出た伺書。
旧書名「村井出雲守書翰写」。

3188　村井靱負聟養子一件　16.32—45
手写
1通　16cm

3189　前田一学聟養子一件　16.32—46
手写
2通　17cm
前田貞醇旧蔵。内容は寛保4年(1744)のもの。前田図書の次男一学前田大学聟養子願書，前田大学の一学聟養子縁組願書。

3190　重熙公御親翰之写　16.32—47
手写
1通　16cm
延享3年（1746）内藤九郎右衛門の子息が身分の低い者に養子に行くことに対する藩主の許可。

3191　本多政房養子一件　16.32—48
手写
93丁　23cm
内容は安永6年（1777）のもの。

3192　縁組養子等抜書　16.32—49
手写
182丁　24cm
内容は文化5年（1808）～慶応3年（1867）。

3193　村井家養子等之留書　16.32—50
手写
6丁　19cm
天保9年（1838）のもの。加賀藩老臣村井氏第9代長道は天保7年没，その遺言により奥村賀直の7男（村井長貞・靱負・鈴之助）を養子とし，天保7年遺知を受けつぎ10代となった。しかし長貞にも子供なく，11代は前田蔵助孝保の2男，通称雄次郎を養子とするための手続きなどの留書をまとめたもの，なお雄次郎は天保13年に16,500石の遺知を正式に受けつぎ，長在となった。

3194　村井長在相続一件　16.32—51
手写　天保13年（1842）
仮綴1（3通）　14cm
村井長貞（靱負）死去につき，前田孝保2男雄二郎（長在）が末期養子を認められた際の御題紙。旧書名「村井氏聟養子ト相続ニ付申渡書」。

3195　前田直良家譜　16.32—52
手写
19丁　24cm
内容は弘化3年（1846）～文久2年（1861），「家譜」と題しているが，実は弘化4年(1847)に，斉泰の子静之介（直会）が，直良の養子に定められたこと，嘉永4年（1851）に直良が死去したこと，安政3年（1856）に養子直会が死去し，直良の庶子直信が家督を相続したことに関する記録である。

3196　前田大学聟養子仰出之書　16.32—53
手写
巻子1　17cm
前田大学の娘に前田図書2男一学を養子とするの件。

3197　改田粂之助等養子願　16.32—54
手写
3通　16cm
早川随勝旧蔵。

3198　村井又兵衛養子一件　16.32—55
手写
4丁　24cm

3199　横山蔵人養子一件　16.32—56
横山蔵人（山城守）編
5丁　26cm
横山隆太旧蔵。御用番宛文書。

3200　林伯立聟養子願等　16.32—57
手写
2通　17cm
中川式部宛の文書。

3201 前田弾番後見之件　16.32—58
高橋直右衛門・村井又兵衛・奥村内膳等著
手写
2 4通 16cm
弾番はおそらく長種系の11代前田孝敬であろう。前田弾番成長の後見役廃止についての，高橋直右衛門より村井又兵衛宛，村井又兵衛・奥村内膳より前田弾番宛の文書。

3202 前田政忠復姓願　16.32—59
前田政忠編
前田家編輯方手写　明治20・21（1887・88）
5丁 25cm
① 慶長15年（1610）11月前田利光判物写
② 明治20年（1887）2月復姓願（池田政忠より金沢区長宛）
③ 明治21年（1888）1月復姓届（前田政忠より利嗣家令宛）
④ 累代系図。
池田政忠は，その祖前田安勝（利家の兄）その子の利好は青木善四郎の子，兵部利忠を養子としたが，利家の子知好が改めて養子になったために分家し，池田と改姓，政忠はその11代目に当る。

特16.33 規　式・勤　仕

規式・心得一般

3203 御家中女房衣類直段之定　16.33—1
手写
1通 24cm
成立は寛文8年（1668）。

3204 旧例抜書　16.33—2
手写
3冊 23cm
内容は享保17年（1732）～宝暦12年（1762），第1冊は45項目，第2冊は64項目，第3冊は35項目，藩士の勤務，生活（宗旨，縁組み，養子，病気，看病など）一切についての規範となる事例を収載したもの。

3205 新製服忌令　16.33—3
山崎籍侃編
手写
32丁 23cm
内容は，藩の出した服忌令のうち，元文元年（1736）に新しく改正になったものを掲げ，それぞれの場合の例を掲出。

3206 諸式雑録　16.33—4
手写　明和8年（1771）
7丁 14×20.5cm
前田貞醇旧蔵。今枝直方蔵本の写。諸大夫，大老，七手家，知行高別公文書における敬称語の書式を記す。

3207 御時宜方之覚　16.33—5
横山引馬著
自筆　寛政元年（1789）
8丁 11.5×17.5cm
家中の士に対する礼儀，交際などの記録。

3208 朝廰纂要　16.33—6
富田景周著
手写　寛政5年（1793）
60丁 8.5×17cm
年中越出仕并当服等之覚，為御礼登城之覚，御礼御目見申上候次第并御礼席之図，諸御礼献上物等次第等，藩士御作法についての帳簿。

3209 朝廰纂要　16.33—7
富田景周著
手写　寛政5年（1793）
32丁 23cm

3210 朝廰纂要稿　16.33—8
富田景周著
前田家編輯方手写
48丁 23cm

付札あり。

3211 御規式一巻　16.33—9
手写　明治初年
4丁　24cm
内容は文化8年（1811）

3212 公事近例見聞記簿　16.33—10
児島五郎右衛門著
手写
85丁　23cm
内容は嘉永元年（1843）の記録，家中に関する47項の事項について集録したもの。

3213 服制御変革之留　16.33—11
手写
26丁　11×17cm
渡辺庸旧蔵。成立は文久2年（1862）から明治元年（1868）に亙る。

3214 富田覚書　16.33—12
手写
4冊　23cm
富田権六郎旧蔵。御判物，諸御礼，被露方，衣服之部，出仕調書方，書状案文，上小紙書方，御飛脚，印鑑，御使者等，御門往来，御門勤番，御進物所，御文庫，雑部，御礼所等から成る。

3215 古格便覧　16.33—13
手写
113丁　23cm
藩政時代における藩士の守るべき古格，古令148種を掲げて生活，勤務のさいの古例とし，その諸届，願いの様式を示したもの。

3216 御目見等絵図
手写　16.33—14
29丁　27cm
一村等山廻御通掛御目見御絵図，御謡初御規式略図，人持以下年頭御礼之図など規式に関する絵図。

3217 諸事旧例等　16.33—15
横山引馬編
自筆
85丁　12×18cm
横山勇太郎旧蔵。侍帳，人馬帳之事，宗門方寺替改葬等之事，他国者寓居之事，関所過書之事旧記など35カ条の旧例について書きあげたもの。

3218 服忌令　16.33—16
10丁　8.5×18cm
横山政和旧蔵。「是ハ元文ノ徳川氏ノ服忌令ノ本文面ヲ挙ケ末ニ御家ノ遺書大法ト云モノ書加ヘタリ」と朱書あり。

3219 御家中之人々上下着用之廉々　16.33—17
手写
1通　15cm

3220 〔衣服御改革ニ付定〕　16.33—18
手写
仮綴1（6通）　18cm
前題は「衣服ニ付定」。内容は衣服改革についての定書。旧書名「衣服ニ付定」。

3221 加陽宝録　16.33—19
前田家編輯方編
編者手写
116丁　23cm
家中の慣例のはじまりをはじめ，養子縁組，請人，欠落，自殺，喧嘩，捨子，行倒れ，禁牢，殺害，落し物などについて旧例を集めたもの。

3222 備忘篇　16.33—20
横山引馬著
自筆
22丁　12×18cm
横山勇太郎旧蔵。於御城中若喧咄等有之節之事，小鍛冶御雇刀取除方之事，江戸交代道中日振，橋爪御門挟箱往来之事，忌引書付之事など27ケ条からなる，藩士としておぼえていた方が便利なことについて具体的な記録。

3223 水野温故録　16.33—21
水野八郎右衛門編
手写
75丁　23cm
家督，死去，火事，けんか，自害人，乱心，出奔人，切腹などに分類し記録。

3224 諸願幷都テ御達方旧例取捌之品々　16.33—22
高畠定辟著
自筆
2冊　12×18cm
跡目一件，家来自害，縁組願，家来喧嘩切害公事場江渡候例，知行所引免一件など109項の諸願や旧例をあげる。

3225 聞見目録　16.33—23
手写
103丁　22cm
横浜宣徳旧蔵。妻離別之事紙面，家来口論一巻，言上紙面草案，閉門一巻など35余りの例をあげ様式を示したもの。

3226 御家人旧条記　16.33—24
3冊　23cm
藩士に対する諸規制。①は御仕置之類（役人の心得），②は主人之類（主人の心得），③は家類之類（家来の心得）。

3227 挨拶方仕出　16.33—25
手写
11丁　21cm
遁知相続の際，家老等への挨拶の文言を記す。

3228 諸士風俗等に付心得書　16.33—26
手写
8丁　28cm
諸士に対する日常生活心得書。

3229 杉山五左衛門書翰　16.33—27
手写
1通　30cm
伊勢参宮に付御暇願。津田源右衛門・中川八郎右衛門多・多賀左近宛。

御礼（御礼所）

3230 諸事御礼之為登城仕候品留　16.33—28
手写　17.5
27丁　~~7.5~~×18cm
享保10年（1725）のもの。家中之面々年頭進物之覚書，奏者番勤仕之帳なども含む。

3231 諸記類聚
手写　文政11年（1828）　16.33—29
8丁　24cm
玉造宗吉旧蔵。「諸組座列之部」とあり御礼の節の座列。

3232 諸礼式心得覚留　16.33—30
岩原恵規著
手写　天保7年（1836）
68丁　24cm
岩原性一旧蔵。年頭，御礼奏者所罷出，御礼廻勤方等諸事御礼式留。

3233 諸事御礼御定　16.33—31
手写
19丁　7×16.5cm
成瀬正居旧蔵。年頭御礼献上，跡目新知御礼献上，御加増拝領御礼献上，叙爵御礼献上，役儀被仰付御礼献上など。

3234 諸事御礼勤之覚　16.33—32
手写
19丁　12×18cm
早川随勝旧蔵。

3235 竹之間御礼所絵図　16.33—33
成瀬成正手写　天和3年（1683）
絵図2枚　35×66cm
成瀬正居旧蔵。「天和三年御太刀幷鳥目披露絵図」および「竹之御間年頭御礼所」

3236　御小書院御礼所之図　16.33—34
手写　享保12年（1727）
絵図1枚　28×39cm

3237　御小書院絵図　16.33—35
成瀬成正手写
絵図1枚　45×33cm
成瀬正居旧蔵。「元文三年正月朔日諸大夫之人々ヨリ奥村丹三郎名代之使者迄御小書院ニテ御礼被為請候絵図旧臘御詮儀有之相極候写」。

3238　御礼所之絵図等　16.33—36
高畠厚定著
手写
絵図9枚　28cm×40cm
高畠定辟旧蔵。
① 於大広間頭分以上御礼所之絵図（享保11年正月朔日）
② 於御小書院年寄衆御礼所之絵図（享保12年正月）
③ 於大広間寺社方御礼所跡々之絵図を以相改候絵図（享保15年）
④ 於大広間御謡初御規式御絵図（文化7年正月2日）
⑤ 備後守様御登城之節御玄関前之絵図（天保12年3月21日）
⑥ 村井又兵衛邸へ上使ノ図
⑦ 二ノ丸御玄関近傍御間之図
⑧ 竹ノ間等之図
⑨ 御小書院年頭諸大夫衆以下若年寄中迄御礼之絵図。
旧書名「於大広間頭分以上御礼所等之絵図」。

3239　御礼席御小書院御大広間之図　16.33—37
奥村為質手写　文化6年（1809）
彩図　5面　29cm
前田直方旧蔵の写。御小書院，若年寄以上御席之図。屋漏堂（奥村）の蔵書印あり。

3240　御小書院に於て諸大夫年寄中等御礼所之図　16.33—38
手写　文政10年（1827）
絵図1枚　40×56cm

3241　於大広間元日人持并組頭等御礼之図　16.33—39
手写　文化8年（1811）
絵図2枚　40×55cm　28×48cm
附，御料理頂戴所図。

3242　御礼所絵図　16.33—40
御横目所編
手写
24丁　27.5cm
内容は弘化4年（1847）。宮北第一郎蔵の写。御居間書院，二之間，四之間，御小書院，御料理之間の席次指図とその解説をしたもの。

3243　江戸御屋敷御居間書院御小書院ニテ御礼人等有之節絵図　16.33—41
手写　嘉永2年（1849）
絵図2枚　8×24cm・36×24cm
中川典克旧蔵。

3244　御礼所絵図　16.33—42
手写
絵図8枚
成瀬正居旧蔵。①24×18cm　②36×24cm　③24×18cm　④28×41cm　⑤49×33cm　⑥51×34cm　⑦23×34cm　⑧39×24cm。

御礼人帳

3245　元禄三年御礼次第諸役人付　16.33—43
前田家編輯方手写
56丁　23.5cm
前田貞醇旧蔵の写。元禄3年（1690）の役人名付（役職名及びその役職勤仕者を記す）。
旧書名「御礼次第」。

3246　元禄十六年年頭御礼次第　16.33—44
前田家編輯方手写
27丁　23.5cm
大島氏蔵の写。役人附。
旧書名「御礼次第」。

3247 御礼人帳　16.33—45
手写
2丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。宝暦13年（1763）9月15日，御使帰，組替，跡目，初而之御目見で藩主に御礼したものの職名，氏名を記す。

3248 今日御礼人帳　16.33—46
成瀬某手写
2冊　12×37cm
成瀬正居旧蔵。内容は明和2年12月25日と4年8月18日に「城内柳之御間で御目見したものの名簿。

3249 御礼人帳　16.33—47
手写
3丁　11.5×35cm
成瀬正居旧蔵。明和4年（1767）7月25日に藩主に御礼したものの氏名を記す。

3250 安永五年年頭御礼次第　16.33—48
前田家編輯方手写
28丁　23cm
前田貞醇蔵の写。安永5年（1776）の役人附なり。
旧書名「御礼次第」。

3251 明治元年御礼之次第　16.33—49
前田家編輯方手写
104丁　23.5cm
明治元年（1868）の役人附。知行，役料，役名，年令，職歴をも記す。
旧書名「御礼次第」。

3252 御礼之次第　16.33—50
前田家編輯方手写
117丁　23.5cm
表題に慶応3年とあるが明治元年以降で役料，年令，職歴を記す。

3253 御礼次第　16.33—51
手写　明治2年（1869）
18丁（折本）　12×20cm
藩士の明治2年（1869）にかえられた新役職名と石高を記したもの。

3254 御礼之次第　16.33—52
前田家編輯方手写
123丁　23.5cm
「明治二年（1869）九月以降のものなり」と付箋あり。知行，役料，役名，年令，職歴も記す。「明治元年御礼之次第」より後のもの，但年令は同一。

3255 御礼次第幷家政職員録　16.33—53
前田家編輯方手写
46丁　23.5cm
明治2年（1869）改正のもの知行，等級，職名を記す役人附と，御礼次第。

3256 御礼次第帳附家政職員録　16.33—54
前田家編輯方手写
81丁　23.5cm
明治2年（1869）の役人附と御礼之次第。

年頭御礼

3257 寛永十九年々頭御礼帳　16.33—55
一色主膳等編
手写　明治年間
9丁　24cm
一色主膳方伝来之写，年頭の御礼銭差上人および御礼銭額の記録。

3258 正月礼之次第　16.33—56
手写　延宝3年（1675）
巻子1　25cm
中川典克旧蔵。

3259 年頭御礼御作法書之写　16.33—57
手写
31丁　23cm
脇田尚保旧蔵。内容は享保11年（1726）の年頭のもの。

3260　年頭御規式之様子書立　16.33—58
手写　享保15年（1730）
1通　24cm
成瀬正居旧蔵。

3261　年頭を初都て献上物之覚　16.33—59
手写
27丁　12×18cm
高畠定辟旧蔵。藩士が，年頭，跡目新知，加増，縁組，隠居などの時，藩主に対する献上物の定。明和，安永頃のもの。附録として「諸事御礼之覚」寛保3年改がついている。

3262　年頭御作法書　16.33—60
手写　宝暦14年（1764）
1通　17cm
成瀬正居旧蔵。

3263　年頭御作法
手写　寛政9年（1797）　16.33—61
1通　16cm
前田貞醇旧蔵。

3264　年頭御作法　16.33—62
手写　文化4年（1807）
1通　17cm
前田貞醇旧蔵。

3265　年頭御規式御作法書　16.33—63
手写　明治年間
7丁　24cm
内容は文化7年（1810）の記録。

3266　年頭御作法口決　16.33—64
奥村栄実（為質）著
自筆　文化10年（1813）
29丁　12×18cm
1冊あり

3267　改正年頭御作法口決同附録附図共　16.33—65
奥村為質著
奥村栄通手写　文久2年（1862）
2冊・絵図1枚　11×17cm・35×48cm
絵図は「文久二年十二月出来元日於御居間書院年寄中ヨリ若年寄迄御盃頂戴被迎付候節之絵図」である。

3268　年頭御作法書写　16.33—66
前田矩正手写　嘉永2年（1849）
15丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。

3269　年頭御作法　16.33—67
村井長在手写　嘉永7年（1854）
2冊　11×17cm
嘉永6・7年の年頭作法書。

3270　年頭御礼献上物等格覚　16.33—68
片岡知方手写　安政4年（1857）
1通　24cm
藩士，寺院などより藩に対する献上記録。

3271　年頭御機嫌奉仕伺之文写　16.33—69
手写
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵。

3272　年頭御礼出仕ニ付被仰出　16.33—70
手写
3通　36cm
旧書名「年頭御礼出仕御門覚書」。

3273　年頭等御礼所之御絵図幷覚書　16.33—71
手写
16丁　12×18.5cm
前田貞醇旧蔵。

3274　年頭御作法書　16.33—72
手写
1通　16cm
前田貞醇旧蔵。

3275　年頭御作法　16.33—73
手写
2通　16cm
前田貞醇旧蔵。

3276 年頭御規式 16.33—74
手写
1通 17cm
渡辺庸旧蔵。「年頭御規式去春之御様子を以書立左之通」とあり，奏者番，寺社，公事場，算用場などの各奉行の連名から成る。

3277 前田若狭守於中屋敷御礼之絵図 16.33—75
手写
絵図1枚 24×17cm
享保5年（1729）正月2日第6代藩主吉徳年頭御礼のもの。中川典克旧蔵。

3278 年頭御規式御作法書 16.33—76
高畠厚定編
手写 文化6年（1809）
24丁 12×18cm
内容年代，享保15年（1730），延享5年（1748）。

3279 於江戸歳末より年始御殿へ御出之節御服等控 16.33—77
宝暦3年（1753）
3丁 12×36cm
中川典克旧蔵。

3280 年頭御作法附 16.33—78
前田織江（道済）著
寛政6年（1794）
12丁 12×18cm
前田道益旧蔵。寛政6年（1794）正月中御居間書院においての年頭作法書。

3281 年頭御礼等覚書 16.33—79
前田知周著
手写
12丁 12×18cm
文化14年（1817）年頭挨拶御礼など。

3282 年頭御作法書品々幷勝千代様御表へ御引移御作法 16.33—80
手写
15丁 12×18cm
勝千代（13代斉泰）年頭挨拶，内容は，文化14年（1817），文政3年（1820）。

3283 年頭御作法書 16.33—81
前田道済編
自筆 文政12年（1829）
10丁 12×18cm
正月中御居間書院においての年頭作法書，前田道益旧蔵。

3284 年頭御作法附 16.33—82
冨田某著
手写 天保4年（1833）
12丁 12×17cm
富田権六郎旧蔵。

3285 年頭御作法別記 16.33—83
天保10～12年（1839～1841）
11丁 12×17.5cm

3286 年頭御作法 16.33—84
成瀬正敦編
自筆 嘉永2年（1849）
18丁 18×12cm
御居間書院においての年頭作法，成瀬正居旧蔵。

3287 年頭御作法書 16.33—85
前田矩正編
自筆 安政4年（1857）
13丁 12×18cm
前田栄次郎旧蔵。奥書院，小書院において。

3288 年頭御作法附 16.33—86
手写 安政4年（1857）
12丁 12×18.5cm
奥書院以下の場所における心得。

3289 年頭御作法抜書 16.33—87
手写

1通　17cm

3290　年頭御作法附　16.33—88
手写
30丁（折本）　16×7.5cm
前田貞醇旧蔵。

3291　年頭御作法附　16.33—89
手写
8丁（折本）　16×7.5cm
横山政和旧蔵。江戸年頭作法で，登城，下城，装束等に関すること。

3292　年頭御作法附　16.33—90
手写
16丁（折本）　16×7.5cm

3293　年頭服附等　16.33—91
手写
22丁　7×16cm
渡辺庸旧蔵。御小書院装束など年頭服飾の事。

3294　年頭御礼披露方之図　16.33—92
1通・絵図1枚　24cm・28×39cm
。於御小書院諸太夫初年礼披露方之図。
。元日披露覚。

勤仕規式

3295　登城等之節万事心得方品々覚書　16.33—93
手写
35丁　12×18cm
前田恒敬旧蔵。登城規式，作法に関する記録。

3296　〔御居間書院にて諸大夫伺公所之絵図〕　16.33—94
手写
絵図1枚　35×49cm
前田貞醇蔵の写。内容は文政11年（1828）原題「於御居間書院諸大夫被仰付候節伺公所之絵図」とあり，月番を命ずる際のもの。
旧書名「暮日御用之節於御居間書院諸大夫伺公所之絵図」。

3297　登城方遠書　16.33—95
手写
1通　17cm
不破順命旧蔵。不破紋左衛門宛の暑気御尋御礼の使者被仰付につきの文書。

3298　登城方遠書ならびに請書　16.33—96
手写
2通　17cm　包紙入
長将之佐より前田内蔵助宛遠書と前田内蔵助より長将之佐宛請書。
旧書名「登城方遠書」。

3299　御登城等之御作法留　16.33—97
手写
17丁　23cm
広瀬知良旧蔵。内容は，藩士の作法留（登城，家老勤務，上級武士への作法，参詣，法事，道中御用，玄関番，傘持勤方など）を記す。

3300　覚　書　16.33—98
手写
19丁　12×18cm
外題「覚書上」主に登城の折の服装規式の事などを詳しく記す。寛保元年（1741）～延享2年（1745）。

3301　御下屋敷御出迎之節絵図　16.33—99
高畠某著
手写
絵図1枚　36×24cm
高畠定辟旧蔵。

3302　江戸御着之刻御作法　16.33—100
手写
1通　16cm

3303　行粧ニ付月番御演述之写　16.33—101
手写
1通　16cm
御家老，若年寄万石以上．人持3千石以下に分けて供廻りの規定。

乗物御免

3304 御参勤御供之節乗物御免一件　16.33—102
前田図書著
手写
8丁　24cm
前田貞醇旧蔵。内容は寛政8年（1797）。家来乗物乗用御免之儀，先例によって年寄衆へ御免願を差し出す。前田図書の乗物許可願。

3305 前田外記出府之節月切駕籠乗用御願控　16.33—103
手写
2丁　12×36cm
前田貞醇旧蔵。内容は延享3年（1746）外記出府之節月切駕籠乗用御願控。

3306 福嶋武左衛門書翰　16.33—104
手写
2通　16cm
殿様御迎之儀歩行難成乗物許可願，中川八郎右衛門・津田源右衛門宛。

3307 堀四郎右衛門書翰　16.33—105
手写
1通　30cm
中川典克旧蔵。道中御廻之歩行難成乗物許可願，中川八郎右衛門宛。

3308 玉井勘解由・成瀬内蔵助等乗物御願一巻　16.33—106
手写
27丁　24cm
前田貞醇旧蔵。内容は正徳2～3年（1712～3）．両人年をとったことでもあり足元危険なため乗物許可を願いでた記録。

3309 月切駕籠御免之覚　16.33—107
手写
3丁　12×18.5cm
前田貞醇旧蔵。病気持のため，駕籠乗用を許可された際のもの。延享3年（1745）及び元文3年（1739）の事例。

3310 乗物御赦免願　16.33—108
寺西三右衛門著
自筆　寛文2年（1662）
1通　26cm
寺西三右衛門より50才になったので乗物御赦免下さるよう願書が組頭にとどき，組頭から年寄中へ出された願書。

3311 乗物御免之留帳　16.33—109
手写
26丁　24cm
前田貞醇旧蔵。内容は元禄15年（1702）のもの。

披　露

3312 披露状控　16.33—110
村井靱貞手写　天保8年（1837）
5丁　11.5×18cm
藩士から藩主および一族への祝詞言上の控。

3313 披露方等御絵図　16.33—111
手写
30丁　24cm
前田栄次郎旧蔵。
- 於御居間書院叙爵御礼，嘉永元年9月15日
- 前田近江守長大隅守叙爵被仰付候節御礼此通御居間書院ニ而平士御礼
- 於御居間書院二之間平士御印物頂戴之図
- 於御居間書院三之間御近習頭支配之人々等，文政8年正月朔日

など具体的な例にのっとり，配置場所を指図したもの。

拝　領

3314 御拝領之鶴御披一巻之留　16.33—112
前田家編輯方手写　明治年間
18丁　24cm

内容は貞享3年（1686），藩主からの鶴料理の振舞について関係藩士の役儀，料理の内容，座席，部屋位置などについての記録。

3315　御拝領之鶴御披之節御作法書幷役付等　16.33—113
手写
7丁　24cm
8代藩主重熙の寛延4年（1751）に家臣に対して鶴料理を振舞った時の作法と料理の内容の記録。

3316　金谷御殿に於て頂戴物等図　16.33—114
手写　安永8年（1779）
絵図1枚　36×40cm
脇田尚保旧蔵。

3317　中将様御的御中附等　16.33—115
有沢才右衛門貞幹編
手写
1通　18cm　包紙入
内容は天明3年（1783）の弓術皆中の旨を記した目録。

3318　拝領之大的皆中之書付　16.33—116
手写
1通　32cm　包紙入
天明3年（1783）の拝領的の目録。

3319　御餌柄拝領之覚書　16.33—117
前田式部手写　天保11年（1840）
9丁　22cm
前田栄次郎旧蔵。

3320　御餌柄拝領之覚書　16.33—118
富田某手写　天保11年（1840）
14丁　12×18cm
富田権六郎旧蔵。

3321　於大書院三之御間御盃頂戴之図　16.33—119
手写　安政2年（1855）
絵図2枚　48×52.5cm
安政2年正月21日，大書院三の御間で家老御用人などが盃を頂戴した際の藩主，家臣の位置，御膳の配置などを図示したもの。

3322　御礼所絵図　16.33—120
絵図2枚　24×35.5cm
安房守御盃頂戴の際のもの。

3323　御拝領物目録　16.33—121
手写
2丁　24cm
鎧，著脊，佩楯，撰蔵，慢幕，暖簾幕，羽織，小袴，道服，弓，小筒，太鼓など13種の解説目録。

3324　銀子等拝領書付　16.33—122
井坂権右衛門等著
手写
2通　25cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。

3325　拝領鷹之儀ニ付書付　16.33—123
岡嶋鉄之助著
手写
巻子1　24cm
富田権六郎旧蔵。鷹拝領につき，その儀役人中への申上書。

3326　大野織人等連署状写　16.33—124
手写
1通　35.5cm
4月27日付大野織人・坂井小左衛門・成瀬主税より村井雄次郎宛，鷹狩りの梅首鶏2つ下賜の御意を伝う。

3327　石野雅楽等連署状写　16.33—125
手写
1通　35.5cm
鷹狩りの際の鴨の下賜に関するもの。

3328　津田玄蕃へ被下方御料理　16.33—126
前田家編輯方編

手写
4丁 25cm
津田玄蕃，被下方御料理目録。

献　　上

3329 御献上物萬控帳 16.33—127
手写
131丁（付書状11通） 24cm
中川典克旧蔵。中川長種家3代式部長定の享保9年（1724）から八郎右衛門典義の慶応3年（1867）までの藩主関係への献上物の覚書。添付書状は原本。

3330 御献上方留 16.33—128
手写 文化31年（1816）～文政6年（1823）
69丁 26cm
横山家より藩主への献上物，他家臣への贈答物についての留。当主横山蔵人。

3331 御誕生之節弓矢御献上覚書 16.33—129
手写
1通 12cm
元禄2年（1689）～天保4年（1833）までの旧例をあげたもの。
旧書名「御誕生之節弓矢御献上之事」。

3332 御誕生御祝儀目録 16.33—130
手写
2通 36cm 包紙
前田土佐守及び前田土佐守内よりの進上物目録。

預　　人

3333 御預ケ人有之節留 16.33—131
手写 元禄13年（1700）
21丁 24cm
加藤里路旧蔵。表題に「富永」とあり。前田五左衛門へ，山口源太兵衛および，伴八矢へ岡谷七右衛門を預人とした際の岡谷の切腹一件記録。

3334 御預人小倉多門一巻留 16.33—132
手写 元文4年（1739）
30丁 24cm
今枝民部預りの記録。
旧書名「小倉多門御預り被成候一巻」。

3335 御預人古屋八郎兵衛一件留 16.33—133
手写 享保11年（1726）
71丁 24cm
前田中務預り。
旧書名「小倉多門御預り被成候一巻」。

3336 閉門等御免之者ニ付御達 16.33—134
手写
1通 31cm
貞享3年（1686）原本成立。

科

3337 御料被仰付候者之親類遠慮之覚等 16.33—135
手写
2通 16cm
中川典克旧蔵。

特16.34 家伝・旧記・列伝

家 伝・旧 記

3338 旧藩士本多政以等万石以上十二家祖先以来事蹟 16.34—1
前田家編輯方編
編者手写 明治33年（1900）
2冊 25cm
明治33年宮内庁へ進達之草稿。

3339 諸家家伝稿本 16.34—2
森田平次（柿園）編
21丁 24cm
前田直行（前田直之系）本多政以，長克連，斯波蕃（津田玄蕃系）松平康蕃の重臣5家の家伝の稿本。
旧書名「前田直行家等伝」。

3340 御奉書等写 16.34—3
前田家編輯方編
手写

98丁　23cm
本多政以旧蔵。加賀藩老臣の文書と書判を集めたもの。

3341　古文書写　　16.34—4
前田家編輯方編
合綴1（15冊）　25cm
有賀家文書，本多家文書，聞見事記，古文書類纂等よりの抜書。

（家　　別）

3342　有賀家文書　　16.34—5
前田家編輯方編
手写
3冊　23cm
有賀政則旧蔵の写。有賀家は直政が4,000石で利家に仕えて後より代々の家臣。有賀家代々が藩主より賜った書籍名などを記す。

3343　有賀家文書　　16.34—6
前田家編輯方編
編者手写
46丁　25cm
藩士有賀家の古文書を集めたもの。

3344　有沢家文書　　16.34—7
手写
2.2 [illegible]通　35cm
天正～慶長期の有沢家宛の書状を中心とした記録。

3345　安藤文書　　16.34—8
前田家編輯方手写
21丁　23cm
安藤長左衛門は足軽頭，利光の判物などを記録。

3346　当家褒章録　　16.34—9
今方直方著
自筆　元禄5年（1692）
72丁　25cm
今枝氏旧蔵。

3347　自家秘記　　16.34—10
今枝直方著
前田家編輯方手写
45丁　23.5cm
今枝直規蔵の写。内容は慶長以来の，先祖，自他国藩主，幕府老中などからの今枝家宛の文書を集めたもの。今枝民部家14,000石。

3348　自家秘記抄　　16.34—11
今枝直方著
前田家編輯方手写
45丁　24cm
前号の写しで，目録，序言と末尾の項8条を欠いている。

3349　有初有終録　　16.34—12
今枝直方編
自筆　正徳5年（1715）
4冊　25cm
元，享，利，貞の4冊，今枝家の列伝。

3350　今枝氏文書　　16.34—13
前田家編輯方編
編者手写
59丁　25cm

3351　今枝氏古文書等写　　16.34—14
前田家編輯方編
手写
80丁　23cm

3352　奥村家記録
手写　　16.34—15
2冊　23cm
内容年代は延宝7年（1679）～宝永4年(1707)。

3353　奥村家記録　　16.34—16
手写
117丁　23.5cm
奥村栄滋旧蔵の写。内容年代は元文2年(1737)～宝暦3年（1753）。

3354 尾州荒子奥村家旧記等 16.34—17
前田家編輯方編
編者手写 明治年間
124丁 23cm
奥村栄滋旧蔵の写。奥村家初代奥村永福（助右衛門）の兄庄左衛門家子孫（荒子村在住）から得た奥村庄左衛門家の記録。

3355 大音家旧記 16.34—18
手写
18丁 23cm
大音氏は5,000石の藩士。

3356 小野政寛印章控 16.34—19
手写
5丁 12×18cm

3357 笠間儀左衛門家剣術之由緒 16.34—20
手写 嘉永3年（1850）
7丁 24cm
享和3年に笠間又兵衛のために笠間九兵衛が書いたものを写したもの。笠間氏は小将町に居住した藩士。

3358 〔片岡家所蔵旧記〕 16.34—21
前田家編輯方編
手写
86丁・2枚 23.5cm
片岡家は本書所収の享和3年（1803）系図によれば，朝倉義景一統にて，のち利家に100石で召され，230石となる。元和元年御使者番，元禄10年に御馬廻組，享保9年以降大小将組，組外番頭等を勤めた家，内容は主に役務関係書類。旧書名「片岡碧光所蔵日記」。

3359 加藤家祖伝 16.34—22
加藤里路編
自筆 明治18年（1885）
8丁 27.5cm
加藤重兼（しげかど）は信長，勝家，丹羽長秀に仕えたのち天正13年利長に仕える，3,500石人持組，その第1子重里，第2子重澄について記す，著者は1,500石，歌道を学び維新後白山比咩神社，射水神社，気多神社宮司に任ぜられ，晩年金沢にて興道社おをこして国学を講じた。

3360 神尾文書 16.34—23
前田家編輯方写 明治年間
4冊 23.5cm
① 瑞竜公賜神尾図書書 上
② 瑞竜公賜神尾図書書 下
③ 徹妙公賜神尾宗是図書主殿書
④ 陽広公賜神尾主殿助書
富山大聖寺両候賜神尾主殿書
徹妙公賜神尾数馬書
松雲公御書

3361 微妙公等御書写 16.34—24
前田家編輯方手写 明治年間
78丁 23cm
神尾直躬（藩士小姓組）が利常に献上した魚につけて出した進上書と利常の受取。

3362 九里文書 16.34—25
九里孟祥等編
前田家編輯方手写 明治年間
3冊 23.5cm
原本の箱書のうち乾は貞享5年（1688），坤は弘化3年（1864）で藩主の書状，藩重臣の書状を含む，明治7年（1874）までのもの。

3363 篠島卯三郎所蔵文書 16.34—26
前田家編輯方手写 明治年間
2冊 23.5cm
篠島卯三郎旧蔵。篠島豊前家（2,000石）の古文書。

3364 多賀家古文書 16.34—27
前田家編輯方手写 明治年間
105丁 23cm
多賀氏旧蔵の写。大和国宇多郡知行方目録（文禄4年），大坂御陣御役附，先祖由緒一類付并知行高歳付帳（元禄16年，多賀予一右衛門）な

ど。

3365 高畠旧記　16.34—28
手写
2冊　23cm
高畠定脖旧蔵。貞享元年（1684）～寛政5年（1793）の旧記を集めたもの。

3366 高畠旧記　16.34—29
手写
2冊　26cm
高畠定脖旧蔵。

3367 橘氏見聞鈔
手写　明治20年（1887）　16.34—30
156丁　23cm
別名「青山家記録」。「右橘氏見聞鈔一巻借青山真次蔵本写之」とあり。

3368 玉井家文書　16.34—31
手写
84丁　23cm
松雲公（前田利政の室）護国公（6代吉徳）御書等を含む。

3369 長家古文書　16.34—32
前田家編輯方編
編者手写
仮綴5　259丁　26cm

3370 長家事蹟抄　16.34—33
前田家編輯方編
編者手写
28丁　25cm
児玉清知旧蔵。

3371 長家記　16.34—34
手写
10丁　23cm
長九郎左衛門連頼に関する伝記。長家は加賀藩八家の一つ。

3372 長家聞書　16.34—35
手写　明治13年（1880）
2冊　23cm
北村愛三郎旧蔵の写。北村所蔵のものは宝暦5年（1755）写し。明治13年地理課地誌係田中正義等が借用し謄写したもの。

3373 長家事蹟　16.34—36
手写　明治19年（1886）
71丁　23cm
長家規式書，長家所蔵書画等，祖父長対馬守続連事蹟などを含む。原本には表題なく，手写時に仮に表題を附ける。

3374 津田家文書写　16.34—37
前田家編輯方編
編者手写　明治初年
31丁　25cm
津田家は加賀藩士で人持組の大身。正勝，孟昭，敬修と続いた家柄。

3375 当摩氏所蔵書類　16.34—38
手写
32丁　23cm
当摩彦太郎旧蔵の写。もとは元文3年（1738）の写し，後畠村御塚之義口上書等附絵図1枚（46×67cm　塚の所在をあらわす絵図），当摩彦太郎系図之内抜書，享保中長寿者人名などを含む。

3376 当摩氏文書　16.34—39
前田家編輯方手写　明治年間
79丁　23cm

3377 土肥家記　16.34—40
有沢永貞著
自筆　延宝9年（1681）
63丁　22cm
タイトルは「土肥家記異本」

3378 **土肥家記　異本** 16.34—41
有沢永貞著
手写
63丁　26cm
タイトルは「土肥家言記」と表紙

3379 **土肥家有沢氏略伝** 16.34—42
有沢永貞著
今枝直方手写　宝永2年（1705）
57丁　25cm
今枝氏旧蔵。中に弓之庄古城之図，越中新川郡方境之略図あり。

3380 **中川文書** 16.34—43
前田家編輯方編
手写
仮綴1（205丁）　25cm
中川八郎右衛門書状，寄進，その他諸々の写。中川氏は元禄期には5,000石の藩士。

3381 **中川典克旧蔵文書写** 16.34—44
前田家編輯方編
手写
仮綴15（406丁）　25cm
中川典克家の私信を集めたもの。

3382 **中川典克書類之写** 16.34—45
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
118丁　25cm
主に万治，寛文頃の書類が多い。

3383 **中川典克所蔵古文書** 16.34—46
前田家編輯方手写　明治年間
44丁　23.5cm
中川宗半（光重）関係の書状類を主に収録する。

3384 **中川氏旧蔵文書** 16.34—47
手写
~~208~~通　30cm
212

3385 **中村逸角家蔵文書** 16.34—48
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
64丁　23.5cm
中村逸角は曽祖父が豊臣秀吉に仕え，駿河17万3千石を領し，祖父伯耆守忠一は徳川家康に仕え伯耆で同禄を受けた。忠一の子通心後に浪々して江戸に居り逸角はその子であり慶安4年（1651）に利常に仕え500石を受けた。

3386 **中村文安所蔵文書** 16.34—49
前田家編輯方編
編者手写
82丁　23cm
中村文安は，藩の医師として初め10人扶持，寛政10年（1789）10人扶持を増し文化元年(1804)新知150石を受け，天保3年没，内容は中村家系図，勝丸様御保養之覚書，安永2年（1773）の先祖由緒一類附帳，明和9年（1772）の借銀買掛等書上帳控などを含む。

3387 **成田家記** 16.34—50
成田頼広編
前田家編輯方手写　明治年間
54丁　23.5cm
成田家の家譜，系図，成田勘左衛門一件などを収録。

3388 **成田三政家伝** 16.34—51
手写
41丁　21cm
本表紙では閑田三政家伝とあり。従正覚院殿安彦左馬助殿江被遣候一書趣，正覚院殿御物語承覚申趣，正覚院殿御幼少より御遠長迄之儀承覚并見及之趣の3書からなる。正覚院とは成田半右衛門三政の事。

3389 **成瀬氏所蔵旧記** 16.34—52
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
51丁　23.5cm
成瀬吉勝所蔵の写。成瀬氏所蔵の書状，帳面等

を収録。

3390 成瀬覚書　16.34—53
前田家編輯方編
編者手写
75丁　23.5cm
成瀬正居旧蔵の写。内表紙に朱筆で，「成瀬正居献書之内，半切之分写取候也」とあり。

3391 野村家文書　16.34—54
手写
45丁　23.5cm
野村七郎五郎宛の朝倉義景，明智光秀等よりの感謝状など。野村七左衛門宛の利常，光高綱紀の判物と野村家所蔵文書の写などを含む。

3392 俚諺譜　16.34—55
太平英陸編
前田家編輯方手写　明治年間
57丁　23cm
林久行旧蔵の写，深美秀剰の行状を記したもの，秀剰は初め堀丹後守直寄に仕え，大坂両役に出陣して功を立てたが，直寄の孫直定が早世したため浪人し，正保4年（1647）堀田加賀守正盛に仕え，その後寛文元年（1661）綱紀に仕えて6,000石人持組に列した。

3393 不破家文書　16.34—56
前田家編輯方編
編者手写　明治24年（1891）
102丁　23.5cm
不破源六（広綱）およびその子孫関係の文書を収録。

3394 本多氏旧記　16.34—57
前田家編輯方編
手写
5冊　23cm
本多政以旧蔵の写。内容は寛永5年（1628）～文化12年（1815）の記録。本多家所蔵の旧記類を収録。

3395 本多家古文書等　16.34—58
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
5冊　23.5cm
本多政以旧蔵の写。本多家所蔵の書画，道具，陶磁器の目録や書翰，その他の文書類を収録。

3396 本多氏蔵親翰写　16.34—59
前田家編輯方編
編者手写
16冊　23.5cm
本多家所蔵の親翰を収録したもの，3代利常から14代慶寧，富山，大聖寺，七日市候の分を含む。

3397 本多衛政甕所蔵書類　16.34—60
前田家編輯方手写
60丁　23.5cm
本多衛政甕旧蔵の写。御親翰写，起請文，言上物認方大綱などを所収。

3398 前田孝和覚書　16.34—61
手写
18丁　23.5cm
孝和は前田長種系4代孝貞の次子，享保13年家老となる。

3399 前田左京被召出候節之覚書等　16.34—62
手写
9丁　24cm
前田左京は前田孝友の先祖で，延宝6年9月金沢へ来て，11月召出され翌日知行3,000石を拝領。その正徳迄の履歴および関係文書の写。

3400 前田土佐守家政記録　16.34—63
手写
128丁　23cm
前田直行の家政の覚書と前田土佐守自家の御親翰と御請留。
旧書名「前田土佐守家録」。

3401 前田直行方旧記 16.34—64
前田家編輯方手写
4冊 23cm
① 慶長～寛文旧記
② 秘書留
③ 岡田太郎右衛門御答書
④ 御隠密御用（明和4年） など。

3402 前田直行書類 16.34—65
前田家編輯方編
手写
106丁 25cm
藩士の知行関係書類が多い。

3403 詠帰公・孝順公江御夜話之写 16.34—66
手写
15丁 24cm
詠帰公は重臣前田直方，孝順公はその子直養。夜話の成立は寛政年間か。

3404 前田貞醇所蔵旧記 16.34—67
前田家編輯方編
手写
28丁 24cm
武州昌平坂大成殿上梁文，元禄5年大君講経などを含む。

3405 前田晋旧記 16.34—68
前田家編輯方手写 明治年間
2冊 23cm
前田孝和家の家伝旧記。

3406 尾張熱田松岡氏伝記 16.34—69
手写
44丁 23.5cm
内容は，「尾州熱田松岡氏伝記」（文政6年松岡斉宮太夫，3丁），「由来書」（閏8月，松岡斉宮太夫，6丁），「熱田皇大神宮略縁記」（内人禰宜粟田国雄，4丁），「御書等写」（31丁）。松岡斉宮大夫は熱田神宮で前田家のために祈禱をした。

3407 三輪家伝書 16.34—70
前田家編輯方手写 明治年間
31丁 25cm
三輪吉宗（藤兵衛）に与えられた利家，利長の判物の写し。

3408 村井家宛御書 16.34—71
244通 42.5cm
歴代藩主（綱紀以降）が村井家にあてた到来物の礼状。

3409 村井文書 16.34—72
前田家編輯方編
5冊 23.5cm
利長・利常・芳春院（利家正室）より千世宛，芳春院より村井長次宛書状を収む。千世は利家と芳春院の娘，村井長次に嫁した。

3410 村井家文書写 16.34—73
前田家編輯方手写
21丁 23cm
村井氏主流（年寄家に）伝わる文書の写。
旧書名「村井家文書写九種」。

3411 選仏院様御代 16.34—74
手写
189丁 24cm
村井家文書の写，選仏院は村井家5代親長。

3412 万龍寺様御代本紙百通 16.34—75
手写
150丁 24cm
万龍寺様は年寄村井長穹（又兵衛）。その一代の間に長穹が受けた親翰，書状，もしくは長穹が差し出した御用状，書状など。

3413 村井家先祖之感状褒美等之事 16.34—76
村井親長（藤十郎）著
手写
2通 30cm
感状，褒美の有無問合せに対する返書。

3414 御判物写　16.34—77
村井長世（又兵衛）編
手写　文化5年（1808）
6丁　24cm
村井家に関する利常・光高・綱紀・吉徳・重教・治脩の判物を集めたもの。

3415 山崎左太郎先祖功績事蹟拾遺　16.34—78
手写
3丁　23cm
6世の祖次郎兵衛が泰雲院に仕え，服所奉行を勤めていた際，御召替を暖めんとして焼け火災になろうとした時勇気ある気転で災を防いだことなどの口碑を記す。
旧書名「先祖功績事蹟拾遺」。

3416 湯浅三輪両家伝書　16.34—79
森田良見編　嘉永2年（1849）
手写
61丁　23cm

3417 横山秘冊　16.34—80
文化2年（1805）
手写
35丁　23cm
御直封箱目次ととあり，御親翰，諸役者心得，武具，馬具等御渡品などを含む。

3418 横山氏覚書　16.34—81
横山政和編
前田家編輯方手写
10冊　23cm
横山政和旧蔵の写。内容は安政4年（1857）～明治2年（1869）の政寛覚書，旧記抜書，御用留抜書などを含む。

3419 横山氏記録　16.34—82
前田家編輯方手写
4冊　23cm
横山政和旧蔵の写。横山政房・政孝・政和らの手になる私日記，御家老方旧記，江府記録などの抜書，雑記類。

3420 横山氏所蔵旧記　16.34—83
前田家編輯方手写
80丁　23cm
横山政和旧蔵の写。

3421 横山隆平家蔵旧記　16.34—84
前田家編輯方手写
176丁　23cm
公方御実母，大閤御遺物，加州御城，小松御城などの史料を含む。

3422 横山隆平家蔵古文書等　16.34—85
前田家編輯方手写
117丁　23cm
横山家蔵の御親筆その他書類の写し。

3423 〔小野家・横山家略譜〕　16.34—86
手写
8丁　24cm
老臣横山氏の由緒となる資料を編じたもので略譜にあらず。横山氏は姓小野とも言う，近江国横山の地と賤ケ岳の横山長隆の戦功，寛永6年横山長知より今枝民部宛口書，中泉祐信撰の故横山半喜（長隆）墓碑銘を記す。
旧書名「小野家略譜」。

3424 小野戦功　16.34—87
手写
18丁　24cm
横山隆康旧蔵。元和3年（1617）大阪夏の陣後の戦功書上げのうち，横山山城守家中分である。

3425 脇田家伝書　16.34—88
脇田直賢（九兵衛，入道如鉄）著
手写
17丁　24cm
脇田直賢はもと朝鮮の人，7才にて文禄元年の役に宇喜多秀家の軍に加わり，渡邦し，芳春院に育てられた。前田利家の近侍となり，脇田重俊の女をめとって脇田姓となる。万治2年退老するまでに御算用場奉行，公事場奉行，町奉行を歴任する。この書は，その間の閲歴を万治3

年に記したもの。

3426 波辺文書 16.34—89
手写
3冊 23cm
加賀藩主6代前田吉徳の側室の浄珠院御消息を編したもの。

3427 波辺永一所蔵文書写 16.34—90
前田家編輯方手写
116丁 23cm
波辺与市郎がはじめて前田利常に仕えた（その際の知行状がこの文書の冒頭に掲載）時以来の文書，元和5年（1619）～明和2年（1765）までの記録。

列 伝

3428 諸士列伝 16.34—91
前田家編輯方編
手写
3冊 25cm
表紙に「加賀藩史料副原稿」とあり，藩士の列伝のための関係原史料を収録したもの。

3429 藩士列伝抄 16.34—92
前田家編輯方編
編者手写 明治年間
仮綴227 25cm
藩初の藩士の由緒，事蹟，行状，手紙などの記録，藩士列伝とあるが藩士だけではなく，藩と無関係のものも含まれる。

3430 武家耳底記 16.34—93
手写
2冊 24cm
浅香久敬（通郷）の著と思われるが，跋文では久敬の子，友郷の著としている。藩内外の士の逸話を集録したもの。

3431 金都柱石史 16.34—94
手写
ノ3冊 24cm
金都柱石小史を含む，主なる藩士の系譜，伝記を家別に記録したもの。

3432 残嚢拾玉集・浚新秘策之抄 16.34—95
前田家編輯方編
手写
123丁 24.5cm
加賀藩士の事蹟に関する部分の抄。

3433 利長公御代之おほへ書抄 16.34—96
前田家編輯方編
編者手写 明治年間
仮綴1（55丁） 25cm
村井長明の原著から藩士に関したものを抜書したもの。藩士名次の通り。
神谷信濃・村井勘十郎・村井豊後・村井長頼・横山長知・村井左馬助・高畠木工・高畠平右衛門・太田但馬・岡島備中・不破彦三・不破直光・神尾之直・富田下野・小塚権大夫・上坂又兵衛・稲垣与右衛門・大橋五郎兵衛・浅井左馬助・葛巻隼人・日根助五郎・松平康定・土方勘兵衛・前田利政・奥村主殿助・前田対馬守・奥村永福・近藤大和守・高畠石見・北村八兵衛・奥野金左衛門・山崎長門・篠原出羽。

3434 微妙公御夜話抄 16.34—97
前田家編輯方編
編者手写
64丁 25cm
虚堂子本と無署名本の2種の御夜話本から藩士関係の事項を抜出したもの。氏名次の通り。
横山長知・山崎長門・若城小兵衛・神戸蔵人・浅野藤左衛門・青山宗長・大橋市右衛門・宇野七郎右衛門・本多政長・小塚監物・高沢午助・岡嶋長春・市川長左衛門・生駒直方・本多政重・奥村五兵衛・今枝直治・高田弥右衛門・神尾秀直・伊藤重正・板垣小平・堀勘左衛門・渡辺助右衛門・中村久越・奥村河内・伴八矢・横山山城・山崎閑斎・奥村永福・梶川弥左衛門・山

岸三十郎・脇田直賢・黒坂吉左衛門・野村左馬・前田長時・奥村源左衛門・野崎惣八・奥村庸礼・北村平次郎・野々村勘左衛門・板坂平内・稲野九郎兵衛・板津八兵衛・横山忠次・前田孝貞・三浦勘左衛門・熊沢兵庫・稲葉左近・長谷川惣兵衛・水野勘兵衛・落合勘解由。

3435　微妙院様御夜話抄　16.34—98
前田家編輯方手写
36丁　25cm
山本本御夜話から藩士関係事項を抜出したもの。氏名次の通り。
津田正忠・今枝直治・大森三郎兵衛・山本五兵衛・瀬兵衛・野崎惣八・笠間源六・渡辺伊兵衛（大工）・長谷川徳左衛門・北川庄右衛門・由比定清・飯田忠左衛門・品川雅直・伊藤掃部・山本基庸・山崎光式・多田権内・本多政長・生駒内膳・本多政重・横山長知・神尾主殿・渡辺助右衛門・奥村永福・梶川弥左衛門・野左馬助。

3436　松雲公御夜話抄　16.34—99
前田家編輯方手写
仮綴1（111丁）　25cm
中村克正原著の松雲公御夜話，同追加の各々の話の内容と主な藩士などの名を見出しとしたもの。氏名次の通り。
高桑五兵衛・山崎小右衛門・山崎半左衛門・成田弥五兵衛・杉浦仁右衛門・奥村栄清・本多政重・水野源左衛門・稲垣三郎兵衛・篠原出羽・小川権右衛門・土方勘兵衛・横山貴林・津田孟昭・前田直堅・宝生将監・山村市十郎・前田孝貞・前波和兵衛・桜井宗蔵。

3437　享保雑誌抄　16.34—100
前田家編輯方手写
74丁　25cm
享保雑誌から，藩士の逸話を抄出したもの。
北川久兵衛・本多正信・本多政重・長連竜・浦野一件・長左兵衛・横山長知・横山康玄・滝長兵衛・多賀鷗庵・津田重久・富田越後・富田高定・伴八矢・不破彦五郎・松平康政・松平康定・森権大夫・矢嶋平左衛門・安見元勝・山崎長有・山崎久兵衛・吉見半左衛門・岡本左源太・奥村永福・大脇六右衛門・坂井与右衛門・沢橋兵大夫・大田但馬・村山豊前・山本基庸・有沢・稲葉左近・沢崎政直・片山延高・梶川弥左衛門。

3438　集古雑話抄　16.34—101
前田家編輯方手写
仮綴1（29丁）　25cm
原著から藩士の伝話を抄出したもの。菊地武直・今枝直恒・伴八矢・生駒直政・浅井政右・前田直之・横山貴林・本多政敏・本多政長・奥村惠輝・奥村庸礼・前田長成・前田孝貞・遠田勘右衛門・津田敬脩・奥村端兵衛・岡嶋忠四郎・坂井順元。

3439　高卑雑談抄　16.34—102
前田家編輯方手写
19丁　25cm
今枝直方の原著から次の藩士の逸話を抄出したもの。里見元昭・本多政重・堀内膳・横山長知・葛巻十右衛門・富田重康・富田宗高。

3440　浚新斎手記抄　16.34—103
前田家編輯方手写
仮綴1（15丁）　25cm
青地礼幹の原著から次の藩士関係事項を抄出したもの。富田蔵人高定・伴八矢・由比五郎左衛門正勝・岡田豊前・岡田喜六郎重元・岡田長門守・岡田助右衛門。

3441　混見摘写抄　16.34—104
前田家編輯方手写
仮綴1（45丁）　25cm
吉田守尚著の同書から，関係藩士分を抜書したもの。伴八矢長之・俣野五左衛門・大脇六郎左衛門・伴田知左衛門・津田重久・富田重政・生駒八郎右衛門・青山宗長・青山吉次・青木新兵衛・脇田九兵衛・吉田守氏・安見隠岐女・伴方矩・関屋雲八・前田三左衛門・前田長種・内藤

三郎左衛門（大鳥一平）・高畠木工・津田与三郎・篠島豊前・森権大夫。

3442 甲申雑書抄 16.34—105
前田家編輯方手写
仮綴1（68丁） 25cm
今枝直方甲申雑書および甲子聞書から次の藩士関係事項を抄出したもの。松田四郎右衛門・葭田内膳・浅井一政・内藤助右衛門・北条左京・津田源三郎・滝与右衛門・横山英盛・横山康玄・長時連・本多政長・前田孝貞・奥村庸礼・有沢永貞・池田十左衛門・池田新平・岡田長右衛門・葛巻昌俊・竹田市三郎・古市左近・津田玄蕃正忠・富田蔵人・中川巨海斎宗平・安見勝元・吉田大蔵。

3443 真偽一統志抄 16.34—106
前田家編輯方手写
仮綴1（60丁） 25cm
真偽一統志から藩士関係分を抄出したもの。水野勘兵衛・浅井一政・原三郎左衛門・臼井安右衛門・村井長頼・寺西治左衛門・竹田八右衛門・竹田市三郎・吉田大蔵系譜・奥村栄明・成瀬一政・付末森記のこと。

3444 加陽諸士言行筆記抄 16.34—107
前田家編輯方手写
仮綴1（36丁） 25cm
言行筆記から次の者について抜書したもの。岡崎長春・前田孝昌・前田長時・奥村伊予・奥村有輝・奥村修古・奥村永福・奥村庸礼・本多安房守・由比勘兵衛・本多政敏・本多政重・長連頼・横山山城守・高畠保定・遠田三郎大夫・長谷川徳右衛門・原九左衛門・原五郎左衛門・井上兵左衛門・堀兵馬・平岡志摩・久世平助・坂井五郎八・森権大夫・前波某・深山嘉右衛門・吉田丹治・四井主馬・小川八郎右衛門・安達久兵衛・有沢太郎左衛門・伊東平八・飯田忠左衛門・江守是雪・大音主馬助・奥村市右衛門・大場市右衛門・大平左馬・河地平左衛門・笠間安左衛門・近藤嘉左衛門・沢崎宗仁・篠原出羽・渋谷伊右衛門・本多家・村井家・北川庄右衛門・富田重政・津田敬脩・津田正忠・伴八矢・今枝近義・今枝主水妻・今枝直方・深見継殿・前田対馬・不破光昌・成田助九郎・山崎長門・松平伯耆康政・松平大弐・藤田安勝・永井織部・安見元勝・山崎半左衛門・吉田逸角・吉田大蔵・吉田忠左衛門・大橋市右衛門・稲葉左近・伊藤内膳正固・伊藤重澄・生駒内膳・青山宗長・青木新兵衛・浅井源右衛門・葛巻昌興・大野木克明・葛巻昌俊・神谷守政・松平久兵衛・梶川弥左衛門・神戸伝太夫・岡崎兵右衛門・村井豊俊。

3445 高卑雑談 16.34—108
今枝直方著
自筆 貞享元年（1684）
114丁 24cm
今枝氏旧蔵。加賀藩士，諸侯，幕臣などについてその行状，風聞などを記録したもの。

3446 高卑雑談 16.34—109
今枝直方著
前田家編輯方手写
150丁 24cm
前号の写し。

3447 前田御家雑録 16.34—110
前田家編輯方手写
93丁 25cm
前田家雑録上中および前田御家雑録巻第2から，藩士に関したものを抜萃したもの。

3448 本藩諸士言行録 16.34—111
前田家編輯方手写 明治年間
72丁 23.5cm
付札に「森田意見書ニ所謂湯浅祇庸著歟可考」とあり。本藩における歩士以上（重臣を除く）の言行を収録したもの。

3449 諸士言行録抄 16.34—112
前田家編輯方編
手写

14丁　24cm
奥村河内，中村万右衛門，山本孫八郎（基庸）ら11名の藩士の言行録。

3450　加陽諸士曾行筆記　16.34—113
手写
68丁　23.5cm
脇田尚保旧蔵。藩士の逸話などを録す。

3451　隠顕名籍　16.34—114
手写　嘉永5年（1852）
41丁　12×18cm
加賀藩士の武勇，手柄により加増された者の名前，功績など。

3452　加賀藩忠魂録　16.34—115
前田家編輯方編
大正2年（1913）
22丁　24cm
天正以来明治廃藩迄の藩士の戦士，殉死者等の名録，たゞし下級藩士には省かれているものもあり。

3453　加陽老臣武功之抄　16.34—116
前田家編輯方編
編者手写
仮綴1（96丁）　24.5cm
加賀藩の老臣，村井・津田・今枝・前田・奥村・本多・横山各家の武功に関する原史料を集めたもの。

3454　加陽老臣武功　16.34—117
手写
59丁　27cm
寛文10年（1670）に成立
本多政重武功覚書，寺西宗与譜
横山長知武功覚書，津田道空討捕首数覚書
奥村永福碑銘，今枝重直譜
奥村永福像賛，今枝重直碑銘
奥村永福具足の銘，高野蓮華寺記
末森鳥越御働之覚書，村井長頼一生武功覚書

3455　〔高徳公瑞龍公御家臣武功云々〕　16.34—118
手写
12丁　24cm
青地順行旧蔵。高徳公は初代加賀藩主利家，瑞龍公は2代藩主利長。「高徳院瑞龍公御家臣武功陽広公御意ニ而脇田如鉄書上候写」とあり。

3456　荒子府中衆家柄大阪二役等戦死姓名　16.34—119
手写
16丁　12×18cm
小木貞正旧蔵。石高も記載する。

3457　北越出陣戦功録　16.34—120
手写　明治元年（1868）
合綴1（24冊）　25cm
24隊隊長よりの「今度被仰渡候御沙汰書勲功式に相当り可申者交名帳」書きあげなど。

3458　北越凱陣賞典録　16.34—121
手写
80丁　24cm
内容は明治2年（1869）越後出張償典録明治元年の越後出兵の論功行賞に関する記録。

3459　北越戦争戦功等抜書　16.34—122
石川県編
手写
247丁　24cm
もと家臣達の家来に対する戦功書上帳。

3460　勤王諸士事蹟書類　16.34—123
前田家編輯方編
手写
4冊　23cm
① 不破富太郎・千秋順之助・大野木仲三郎・青木新三郎・福岡総助・小川幸三
② 松平大弐・駒井蹄庵・浅野屋佐平・野口斧吉
③ 宮永良蔵・永原慎太郎・石黒圭三郎・岡野判兵衛・広瀬勘右衛門・福岡文平・岡野外亀四郎・高木守衛・久徳伝兵衛・大野木源蔵・

谷村直・行山康左衛門・堀四良左衛門の各氏を含む。

④ 金沢藩上申書，椿孝之談話速記，野口之布談話速記，小川幸三等遺族提出書類，加賀勤王の墳墓などを含む。

3461 加賀藩勤王殉難士伝 16.34—124

前田家編輯方編

編者手写 明治32年（1899）

39丁 23.5cm

15名の贈位を上請した際に作った事蹟録，15名の名は，大野木克正・堀政材・久徳尚則・高木有制・浅野屋佐平・桂正直・谷村直・御園紹元・永原好知・広瀬政敏・松平義国・朝倉集義・岡野政繹・岡野四郎・宮永正純。

3462 旧加賀藩士前田晋等勤王事蹟及添書 16.34—125

前田家編輯方編

手写

28丁 25cm

3463 御追賞請願人名 16.34—126

前田家編輯方編

編者手写

2丁 25cm

元治勤王の事に関係する者として大野木克正ら14名とその他尊王の心厚き者として故人となった者の名前を列挙した記録。

3464 福岡義比等小伝 16.34—127

前田家編輯方手写

14丁 25cm

福岡義比（総助）・小川幸三・千秋藤篤・青木秀枝・大野木克敏・駒井躋庵・不破友風・以上7名の小伝，明治7年（1874）太政官から嘉永6年（1853）の勤王藩士家の事蹟の提出を求められたときの記録。

3465 大音七左衛門等役附 16.34—128

手写

3丁 12×18cm

前田貞醇旧蔵。簡単な履歴を記したもの。安永6年（1777）頃の成立と思われる。

3466 御歩並以上長寿一覧 16.34—129

手写

1枚 34.5cm×25cm

小木貞正旧蔵の写。原本は弘化2年（1845）に作成されている。相撲番付の形式で，加賀藩士御歩並以上の長寿者の年令，役職氏名を記している。最高年令90才以下70才迄。

旧書名「長寿一覧」。

（伝記 個人別）

3467 安達寛栗略歴 16.34—130

前田家編輯方編

編者手写 明治年間

10丁 25cm

安達は旧加賀藩士で，大村益次郎（当時江戸では村田蔵六）の門に学び，維新後，兵部省伏見兵学校2等教授となったが，京都で大村と一緒に暗殺された人物。

3468 有沢永貞年譜 16.34—131

有沢永貞著

手写

53丁 19cm

内容年代は寛永17年（1640）～天和3年(1683)。

3469 有沢永貞年譜附湯涌雑筆 16.34—132

有沢永貞著

前田家編輯方写

86丁 23cm

有沢永貞は兵法家，甲州流を伝え，これを加賀藩では有沢流と称した。

3470 梧井庵年譜 16.34—133

有沢武貞著

自筆

合綴（3冊） 20cm

内容は貞享元年（1684）～正徳5年（1715）まで。梧井庵は有沢永貞，武貞はその長子。

3471　梧井庵年譜　16.34—134
有沢武貞編
手写
40丁　23.5cm
有沢武貞の年譜。内容年代は寛永~~56~~16年（1639）～正徳５年（1715）。

3472　高臥亭之記　16.34—135
有沢武貞著
自筆
巻子１　24cm
高臥亭は有沢武貞の父，永貞の号。

3473　梧井庵先生墓碑銘　16.34—136
大島維直編
手写
２丁　24cm
梧井庵先生は加賀藩兵学者有沢永貞のこと。

3474　有田義一物語　16.34—137
石崎謙編
手写　明治24年（1891）
81丁　23cm
13代斉泰，14代慶寧に仕えた有田義一の伝記，後半は明治以降の御親翰写となっている。

3475　今枝重直墓碑銘　16.34—138
木下貞幹著
手写
４丁　24cm
錦里文集巻十八之抄である。

3476　乾州岡田君行状　16.34—139
陸羯猶著
前田家編輯方手写　明治32年（1899）
11丁　24cm
岡田雄次郎正忠，500石の行状。彼は馬廻組，軍艦棟取を歴任，明治初年には金沢藩権大参事となっている。

3477　乾州岡田君行状　16.34—140
陸羯猶著
刊　明治32年（1899）
７丁　23cm
岡田君とは岡田正忠（雄次郎）なり。500石で馬廻組，維新後加賀藩大参事となる。

3478　小川尽忠録　16.34—141
手写　文久２年（1862）～明治３（1870）
158丁　27cm
大清堂旧蔵。小川幸三を記す。

3479　小川幸三書状等写　16.34—142
前田家編輯方編
手写
105丁　23.5cm
- 小川幸三（忠篤）書状和歌文書
- 長州侯父子書翰
- 千秋家系譜
- 千秋順之助歌文
- 大野木栄蔵等栄辱雑記抄
- 宵木秀枝和歌
- その他

3480　小川忠篤・大野木克敏書翰等　16.34—143
前田家編輯方編
手写
67丁　23.5cm
忠篤は幸三（定番御歩並）幕士志士鶴来村医師の子で儒医，克敏は名仲三郎，政治，軍事を述ぶ。
旧書名「小川幸三・大野木克敏書翰等」。

3481　清斉尽忠録　16.34—144
手写
48丁　23cm
北陸新報第3806号，明治22年７月５日よりの写し，清斉尽忠録は小川幸三の賛なりとあり。

3482　小川清太実歴話　16.34—145
手写
1865　~~490丁~~　24.5cm
小川清太は13代前田斉泰に近侍した人。

3483 小幡宮内一巻 16.34—146
手写
21丁 24cm
元禄16年（1703）小幡宮内の一件（行跡悪く謹慎）に関する文書，宮内一門の小幡治部の釈明の文書などを含む。

3484 葛巻昌俊墓碑 16.34—147
手写
3丁 24cm
昌俊，雅号藤十郎，長じて隼人，天正3年(1575)近江の生れ，もと大野木氏，13才利家に仕えのち利長に仕えて武功あり。慶長5年1,250石となる。大坂の陣に功あり寛永8年計4,000石をうけて小将頭，旗奉行となり，人持組にのぼる。のち光高に仕えて富山城を守り正保元年家老となり，別に養老俸1,000石を受く，慶安3年又100石を加え翌4年（1651）歿，77才。末尾には「寛延歳次（1750）庚午秋七月十七日六世嫡孫葛巻頼母昌陽，四世支孫大野木隼人克寛，男右近克成敬建」とあり

3485 葛巻昌興履歴幷書翰等 16.34—148
手写
24丁 24cm
大野木克征旧蔵。葛巻権佐昌興関係の史料を集めたもの，昌興は多門，権佐，明暦2年生延宝元年3月18才で御子小将組に召出され綱紀に近侍，同年11月新知250石，同5年150石加増，貞享元年150石増加（合550石）元禄3年奥小将組より組附無の列加増300石仰付けらる。(35才)同5年3月9日以来多く閉居し7月初禁固され7月17日能州津向村に遠流さる。宝永2年配所に卒す50才。

3486 〔葛巻権佐昌興一件〕 16.34—149
手写
29丁 23cm
葛巻権佐は昌興。
旧書名「葛巻権佐一件」。

3487 〔葛巻有禎昌興伝〕 16.34—150
富田景周編
手写
6丁 25cm
横山政和旧蔵。葛巻有禎（権佐，昌興）の略伝とその詠める漢詩，和歌を収む。
旧書名「葛巻有禎伝」。

3488 河波有道事蹟 19.34—151
前田家編輯方手写
97丁 23.5cm
有道は椋園と号し通称豊太郎，文政5年11月生明治23年9月14日歿，69才。家は本多家の臣，明倫堂に学び，17才で書物取調係となり弘化4年本多政通の近侍となり，ついで侍講を兼ね，安政5年より江戸で村田伝蔵に蘭学を学び，明治元年明倫堂助教，また自ら梅鳴塾を開く，廃藩後各種学校に教え，傍ら実業を鼓吹す。
（目次）
河波多仲系図帳（嘉永元年）
有道先生略伝
功労履歴
竈ヲ改良致シ度シ
師範学校々長歯徳アル者ヲ為シ度シ
製塩改良目論
徳用竈問答
七万円灶図
水産会社出京竈改良之図
製糸坐繰器械改良履歴
於北海道豚幷鯨捕願
アグリ網試用ノ願
捕鯨同志申合等
百間堀道路開鑿

3489 北川亥之作君弔文 16.34—152
寺田福寿編
前田家編輯方手写 明治20年（1887）
4丁 25cm

3490 玉ノ浦日記 16.34—153
手写
19丁 24cm

外題「慶応丙寅三秋玉ノ浦日記」（慶応２年＝1866）藩士近藤兵作の４男岩五郎（22才）が遊学先の長崎で加賀藩を批判した薩摩藩士石神良平を伐り，自らも割腹した事件の記録。

3491　嶋田勝摩御糺記　　16.34—154
前田家編輯方編
編者手写
27丁　25cm
元治２年（1865）御先手廻嶋田勝摩御家老山田嘉膳殺害ニ付金沢表公事場ニおいて御糺方口書竝其後本人切腹被仰付候之留帳。

3492　鈴木官兵衛伝　　16.34—155
手写　明治初年
８丁　24cm
川島村役場旧蔵の写。元文５年（1740）鈴木継善伯元甫謹識とあり。

3493　関沢明清事蹟　　16.34—156
前田家編輯方手写
27丁　25cm
大日本水産会報の写，関沢明清は元加賀藩士にて天保14年（1843）金沢に生れる。大村益次郎門下生としてロンドンに渡り留学水産功労者。

3494　関沢明清君碑銘　　16.34—157
永山近彰著
自筆
３丁　24.5cm
関沢明清，壮猶館に蘭学を修めてのち江戸留学し，江川太郎左衛門・村田蔵六に師事し，ついで長崎に赴き，さらに藩より岡田秀之助と共にロンドンへ留学，明治２年致遠館教師となり，内務省農商務省に技師として勤む。水産保護につくし，我国で最初に抹香鯨２頭を捕えた。天保14年生れ明治28年没，55才。

3495　鶴鳴先生記録　　16.34—158
手写
50丁　23cm
横山政和旧蔵の写。「鶴鳴先生記録」，安井顕比旧蔵の写の「高沢殿草稿集帳」の２種。なお鶴鳴は高沢忠順（平次右衛門）の雅号。

3496　加陽忠孝実録夢　　16.34—159
手写
２冊　23.5cm
別名「高田善蔵伝」安永９年２月８日金谷御殿で高田善蔵が中村万右衛門を刺殺した事件の巷説を記したもの。なお巻尾に「安永九庚子仲秋作者不知」とある。

3497　高田善蔵一件　　16.34—160
手写
148丁　23cm
安永９年２月８日，高田善蔵一件の記録。

3498　高田・中邨之件　　16.34—161
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
仮綴２　25cm
高田善蔵（種麥）大小将組に班して500石を受け隠棲後の重教に仕えていた。安永９年２月８日金谷御殿に出勤し，定番頭並兼御用部室知行800石の中村万右衛門斉の至るを待ち之を刺殺した。暗殺の理由は答えず乱心のいたす所と答え，切腹した。この１巻には初本の高田善蔵・中村万右衛門略履歴及び安永９年２月８日刀傷以前之事，安永９年２月８日刀傷ヨリ14日即チ切腹前日ニ至ル，安永９年２月15日善蔵切腹ヨリ天明６年正月高田中村両家遺跡相続ニ至ル，善蔵・万右衛門２人の性行及び２人に関する世評詩歌類が収められている。

3499　高田・中村珍事仕抹　　16.34—162
手写　慶応３年（1866）
８丁　24cm
安永９年（1780）高田善蔵一件の言上書など。

3500 高田・植松切腹之記 16.34—163
手写
18丁 24cm
克己庵旧蔵。安永9年金谷御殿で近習高田善蔵が，大小将組500石の中村万右衛門を刺殺した事件，および寛政5年植松内蔵太が同人の妾と大津太右衛門が密通したとして殺害したが証拠なきにより切腹になった事件の記録。

3501 高田善蔵・植松内蔵太切腹一巻 16.34—164
脇田尚方手写
15丁 23cm
脇田尚保旧蔵。

3502 高山右近大輔軍功 16.34—165
手写 明治初年
7丁 24cm
高山右近は高山長房又は重友・友祥，薙髪して南坊（みなみのぼう）等伯，又は大虚といった。キリシタン名はジェースト。摂津高槻城主ダリオ高山飛騨守の子。天正6年荒木村重に与して信長に敗れ，のち赦さる。天正10年光秀討伐に功あり。11年柳ケ瀬に戦う。15年九州征伐に従ったが，キリシタン禁令に服せず封をうばわる。のちゆるされて利家に臣事した。慶長4年金沢城修築，5年大聖寺の役に出陣し，14年高岡城設計に当る。18年の禁教会に従わずルソンに逃れたが熱病に冒され元和元年に63才で歿す。金沢における住所は今の石浦神社附近という。

3503 田中一閑伝 16.34—166
前田家編輯方編
手写
26丁 25cm
田中家は先祖は江州高嶋郡田中村の領主，祖父の代寛文6年加賀藩に10人扶持，合力金50両で召抱られ，式昭の時，元禄15年新知300石となる。その子平之丞知顕遺知をつぎ，組外となり宝暦5年役銀奉行加人を勤む。（のち失錯露見し五ケ山流刑，配処にて宝暦7年歿），ここでは式昭の事蹟を集めている。
旧書名「田中一閑系譜」。

3504 田中式如由緒書 16.34—167
前田家編輯方編
手写
13丁 25cm
加賀藩の国学者田中左源太式如の由緒書，旧名松浦一郎，江戸にて弘文館で吉川惟足に習う。父遼は実得，一閑吉川惟足の高弟元禄13年歿。天和2年叡養子に入り，享保19年歿初め式昭のち式如と改む。
旧書名「田中左源太由緒書」。

3505 御傘指太兵衛一件 16.34—168
手写
4丁 24cm
文化12年（1815）3月11日に御傘指太兵衛が傘を落主の頭に当てた事件の処罰に関しての書類，太兵衛は「追込」の処置を受けた。

3506 加州仇討鑑鵆 16.34—169
前田家編輯方手写
24丁 23.5cm
近藤篤三旧蔵の写。宝暦9年（1759）4月2日田宮伝右衛門，備前岡山にて，兄の仇を討つ物語。

3507 足軽中村覚平太打擲の件 16.34—170
手写
1通 16cm
本多安房守の役人九助を足軽中村覚平太が打擲した一件につき口上書を出させるように伝えた書状，2月12日附村上源太夫から浅加作左衛門宛文書。旧書名「御手本足軽中村覚平太打擲の件返書之写」。

3508 永山亥軒（平太）先生行状 16.34—171
石崎謙手写 明治34年（1901）
5丁 25cm
松村（安達）敬之（称楠一郎，福光人，号西荘）の遺稿を友人の石崎謙が写したもの。亥軒は永山平太，諱は政時，椿園とも号す。文化12年生，足軽より歩にすすみ，祿60石，幼少より好学にして藩儒西坂錫（成庵）大島桃年（紫垣）に学び，江戸に出て安積良斉に師事し，数年後帰郷し，明倫堂教職に列す。文久3年京師

に従行し，尊王を説いたため，とがめられ，閉門に処せられた。明治元年解け３月貢士として選ばれ，集議院に出たが，まもなく職を免ぜられ，11月金沢藩少属，明治２年文学教師，置県して後は中学師範に十余年教師となる。明治12年中風を患って歿，65才。その著に「亥軒文献附詩稿」がある。

3509　永山平太由緒帳等之抄　16.34—172
前田家編輯方編
手写　明治年間
18丁　25cm
永山平太に関する文書を集めたもの。由緒帳之抄の他，安達敬之の「定軒先生碑陰記」岸秀実より石崎謙宛の定軒履歴，などを含む。

3510　羽野知顕事歴　16.34—173
前田家編輯方編
手写
７丁　26cm
羽野知顕の位階昇進の儀に関する請願（大正７年，寺内正毅総理宛）の文面の写しがあるから，それ以後に成立したものであろう。

3511　林小次郎文書写　16.34—174
前田家編輯方手写　明治年間
20丁　25cm

3512　不破富太郎外切腹之交名書　16.34—175
５丁　12×35.5cm
元治の変（禁門の変）における処罰に関する記録。

3513　本多安房守政重事蹟抜抄　16.34—176
前田家編輯方編
手写
36丁　25cm

3514　〔雑観談撰抜書〕　16.34—177
水島右近編
手写
17丁　24cm
庭田重条の日記「雑観談叢第24」から水島右近が自分に関係する部分の抜き。内容年代は正徳６年（1716）～享保２年（1717）。水島右近，名は苗雅で金沢神明宮の神主だったが，廷臣庭田重条に仕えて有職を学ぶ。享保４年藩士に列せられ，綱紀の書籍採訪の業に従う。宝暦５年72才で歿。

3515　三田村監物不慮之儀ニ付御答書　16.34—178
手写　享保14年（1729）
１通　17cm
三田村定敬（監物）4,000石人持組，享保14年（1729）12月27日自宅にて御馬廻300石堀弥三左衛門と口論刃傷，遠慮を命ぜらる。この文書は監物所属の組頭が監物の行動に不忠不義の点がなく，不慮の事故であることを理由に，処分の寛大ならんことを要望したもの。

3516　宮崎権太郎所蔵文書　16.34—179
前田家編輯方手写
153丁　24cm
前半は幕末から北越戦争と，その後の処置に関する記録，後半は雑記録。

3517　村井又兵衛記録　16.34—180
手写
420丁　25cm

3518　村井長頼伝記並覚書　16.34—181
前田家編輯方手写
21丁　24cm
前田直行旧蔵。長頼の伝記及び村井又兵衛のことを記す。表題に「故豊後守長頼様御代之有増其外大正持村井又兵衛殿より来覚書一冊」とあり。

3519　村井豊後守実名之覚　16.34—182
村井長堅著
自筆
１通　15cm

3520 室鳩巣行状之事 16.34—183
前田家編輯方編
手写
14丁 25.5cm
手記，書簡を収録。

3521 毛利六郎左衛門乱心一巻留帳 16.34—184
前田家編輯方手写
25丁 24cm
元文4年（1739）六郎左衛門が下女を殺害し知行召放された一件。

3522 安井顕比略系幷履歴書 16.34—185
前田家編輯方編
編者手写
19丁 25cm

3523 安井顕比所蔵書簡写 16.34—186
前田家編輯方手写
187丁 23cm
安井顕比（天保元年～明治26年）号青軒，220石，改作奉行，軍艦奉行，壮猶館主を歴任，明治後は徴士，金沢藩権大参事，公議人集議院議員などを歴任。この書簡は顕比の所へ来たものが多いが，出したものも入っている。

3524 山崎軍功記 16.34—187
前田家編輯方編
編者手写 明治年間
35丁 23cm
山崎次郎兵衛軍功記（慶長5年＝1600の大正持城攻撃）先祖軍功記を含む。

3525 湯川南里墓碑銘 16.34—188
前田家編輯方手写
2丁 24cm
湯川正路は通称宗右衛門，号南里，寛政9年（1797）18才で明倫堂句読師，12年（1800）陪臣を以て句読師に進み教授40年，天保9年（1838）歿，59才。

3526 横山隆平旧記 16.34—189
手写
22丁 24cm
隆平は老臣横山氏11代。3万石，人持組頭，明治33年男爵，鉱山業に従事蓄富を残す。

3527 長隆院〔横山長隆〕最後之略記 16.34—190
手写 明治15年（1882）
2丁 23.5cm
原本は寛政9年（1797）に成立。「明治十五年三月二十一日長隆院殿年回の節，御臣平手信敏ヨリ差出候写」とあり。横山長隆は老臣横山氏家祖，天文8年（1539）美濃国多芸郡室原に生れ，天性剛毅，のち越前大野城主金森右近に仕え，まもなく剃髪，ついで天正10年越前府中で利長に仕え，11年江州柳ケ瀬の役に旗奉行をつとめ敗戦の中で戦死，時に天正11年（1583）4月21日歿，46才。

3528 横山長隆公碑銘幷長知公伝 16.34—191
前田家編輯方手写
7丁 24cm
碑銘には中泉祐信撰。長知伝は錦里文集所載のもの。

3529 横山長知伝 16.34—192
木下貞幹著
手写
5丁 25cm
「錦里文集抄」。横山長知は加賀藩老臣横山氏第2代大膳のち山城守，文祿11年生，利家，利長，利常に従臣，正保3年歿，79才。

3530 脇田如鉄覚書 16.34—193
手写 明治年間
7丁 24cm
原本を宝暦12年（1762）に写したものの写し。脇田如鉄は脇田直賢，もと朝鮮の人，父は翰林学士金時省，文祿の役に7才にして宇喜多秀家の軍に伴われ岡山に来る。脇田重俊の女をめとりその名を継ぐ。文を好み，連歌をよくした。

の大阪陣
彼と同様利家の臣となったもの等の軍功についての記録。

特16.35　屋　　敷

制　規・記　録

3531　屋　敷　方　　16.35—1
前田家編輯方編
手写
7丁　25cm
屋敷方に関する万治2年（1659）の定書および古今定書。

3532　御屋敷方跡々格仕勤来候品之帳　　16.35—2
手写
205丁　24cm
万治～宝永期における藩士の所有屋敷についての法規集。172項目を収載。

3533　御　定　書　　16.35—3
手写
40丁　25cm
内容は，寛文10年（1670）の家中屋敷構等についての定書。

3534　御屋舗方留　　16.35—4
手写
68丁　24cm
寛文期～正徳期の家臣の屋敷拝領に関する記録。

3535　替地渡方しらべ帳　　16.35—5
手写
13丁　24cm
宝暦9，10年（1759，60）藩士の居屋舗を御用地に指上げ，その替地の記録。

3536　押　　留　　16.35—6
御屋敷方編
手写
3冊　24cm
藩士の居屋敷の返納拝領の記録。
① 宝暦9年（1759）～寛政5年（1793）
② 寛政6年（1794）～万延元年（1860）
③ 万延2年（1861）～明治3年（1870）

3537　与力御屋敷拝領判帳　　16.35—7
手写
2冊　24cm
宝暦10年（1760）～明治2年（1869）の台帳。

3538　御屋敷拝領判帳　　16.35—8
手写
3冊　24cm
屋敷拝領判物の控。明和9年（1772）～安永3年（1774）。

3539　御屋敷拝領判帳　　16.35—9
手写
72冊　25cm
下級武士が屋敷地を拝領した際の安政4年（1857）～明治2年（1869）の判帳。慶応4年（1868）からは「留帳」と改名。

3540　御屋敷所願判帳　　16.35—10
手写
220丁　24cm
安政5年（1858）～慶応3年（1867）の知行150石以下の下級武士の屋敷地拝領願いの台帳。

3541　所口小代官拝領居屋敷打渡一件留　　16.35—11
手写
8丁　24cm
真館与四郎旧蔵。明和4年（1764）の記録。

3542　御屋敷方格帳ニ相洩申品幷近年年寄中申渡候品等帳　　16.35—12
横山義六郎編
自筆　文政5年（1824）

46丁　24cm

3543　天保年間渡屋敷帳　16.35—13
手写
8冊　23cm
天保2年（1831）～同10年（1839）に毎年，藩士が拝領した屋敷地，請地の坪数と人名を記録した帳簿。

3544　横山義六郎居屋敷拝領願等写　16.35—14
手写
4通　16cm
横山隆太旧蔵。天保11年（1840）原本成立。

3545　水原清幽口上書　16.35—15
水原清幽（保延）著
手写　明治元年（1868）
1通　17cm
水原保延は祿 950石，金沢町奉行，馬廻組を経て算用場奉行，河北郡山之上村領の富田治部左衛門請地のうちを切りわけて，水原清幽請地となし，家来を指置く旨を横山三左衛門に願出たもの。

3546　屋敷拝領地願　16.35—16
手写　明治2年（1869）
2通　24cm
高柳与左衛門及び萩原十之進より市政局宛，いずれも「巳六月」付。旧書名「高柳与左衛門・萩原十之進拝領地について願書」。

3547　屋敷拝領方願書　16.35—17
4通　24cm
明治3年（1869）に市政局に出されたもの。

3548　足軽組地面当分才許覚
手写　明治3年（1870）　16.35—18
巻子1　24cm

3549　小松御馬廻御番頭達書　16.35—19
手写
2通　17cm
① 辰（2月20日附）小松御馬廻太田道太郎が中村吉五郎跡屋敷地として八日市地方に 400歩の屋敷地を借用するについての願書，馬廻番頭田辺誠三郎・山田保之助宛。
② 番頭両人より村井又兵衛宛の達書。
旧書名「小松御算用場奉行達書」。

3550　〔金沢町奉行達書〕　16.35—20
手写
2通　16.5cm
金沢町奉行より1通は改作奉行宛，他は御算用場宛。吉江民五郎・黒田乙三郎がそれぞれ田井村領，笠舞村領の百姓地を屋敷地として拝領を願い出た件につき，改作所，算用場へあてたもの。旧書名「町奉行達書」。

3551　横山縫殿屋敷拝領願并図　16.35—21
手写
1通　24cm
三浦八郎左衛門宛。横山縫殿は祿高150石。

3552　斉藤貞蔵居屋敷ニ付願書　16.35—22
手写
1通　24cm
居屋敷の拝領願い。

3553　中村吉五郎拝領地願　16.35—23
手写
1通　15cm

3554　屋敷打渡済控　16.35—24
手写
仮綴1（6枚）　26cm
泉野，大豆田，小立野，田井，堀川，大樋の各町のもの。

3555　居屋敷についての上申書　16.35—25
手写
2通　23cm
寺西伝左衛門・神保妥男の屋敷拝領の普請に関する文書。

3556　佐々主殿之助屋敷につき届書　16.35—26
不破宗三郎・高橋儀兵衛著
自筆
1通　24cm
中川典克旧蔵。佐々主殿之助屋敷不足につき打渡し。中川八郎右衛門宛文書。

3557　井上井之助達書　16.35—27
手写
1通　15cm
横山義六宛の文書で，横山義六の屋敷拝領願が許可された旨のもの。

3558　岩田嘉久平達書　16.35—28
手写
1通　15cm
横山義六宛。屋敷拝領願が許可され，その引渡しについての達書。
旧書名「岩田嘉久平書翰」。

3559　中川八郎右衛門等達書　16.35—29
手写
1通　16.5cm
御横目武藤平左衛門屋敷拝領につき，4月7日付，中川八郎右衛門・津田源右衛門・玉井市正より，佐賀助八宛。

3560　与力屋敷請取之書　16.35—30
横山左衛門著
自筆
巻子1　30cm
篠原織部・永原左兵衛宛。

3561　村田平兵衛口上書等　16.35—31
手写
巻子1　16.5cm
下屋敷普請関係書状8通を継立。

3562　屋敷方新御絵図御入用一件　16.35—32
御屋敷方編
手写
6冊・仮綴1（4通）
内容年代は天保9年（1838）。
①　御絵図弐枚新出来ニ付品々一巻之日記11丁
24cm
②，③，④，⑤　12.5×36cm
⑥　4通綴
⑦　新御絵図御入用銀入払簿　3丁　24cm

屋敷割絵図

3563　屋敷打渡絵図　16.35—33
手写
4冊　23cm
寛政7年（1795）～慶応2年（1866）の絵図の台帳。

3564　打渡絵図牒　16.35—34
滝兵之佐等著
自筆　慶応3年（1867）
50丁　24.5cm
御用地，武士の請地，地域別実測図（部分図）を綴ったもの。

3565　請地屋敷地変更見取図　16.35—35
手写
91丁　23cm
慶応4年（1868）～明治2年（1869）の武士の請地を綴ったもの。

3566　拝領地絵図面　16.35—36
手写
48丁　23cm

3567　足軽組屋敷（浅野川々除通）図　16.35—37
手写
絵図1枚　27×38cm
「浅野川々除通茨木源五左衛門殿御組居屋舗」とある。小頭が「右，私に才許致候屋敷如文御座候」と記す。

3568 足軽組屋敷（浅野町）図　16.35—38
手写
絵図1枚　24×53cm

3569 足軽組屋敷（浅野町）図　16.35—39
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×64cm

3570 足軽組屋敷（安藤町）図　16.35—40
手写　天保7年（1836）
絵図1枚　23×60cm

3571 足軽組屋敷（石浦新町）図　16.35—41
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×52cm

3572 足軽組屋敷（石坂本間町）図　16.35—42
手写　文化6年（1809）
絵図1枚　24×61cm

3573 足軽組屋敷（石坂町）図　16.35—43
手写　享和4年（1804）
絵図1枚　25×40cm

3574 足軽組屋敷（石坂町・崎助九郎）図　16.35—44
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×52cm

3575 足軽組屋敷（石引町）図　16.35—45
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×52cm

3576 足軽組屋敷（石引町）図　16.35—46
手写　文政5年（1824）
絵図1枚　24×67cm

3577 足軽組屋敷（御歩町）図　16.35—47
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×47cm

3578 足軽組屋敷（木新保）図　16.35—48
手写
絵図1枚　24×47cm

3579 足軽組屋敷（玉泉寺後）図　16.35—49
手写　文政13年（1830）
絵図2枚　24×78cm・24×46cm

3580 足軽組屋敷（玉泉寺辺）図　16.35—50
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×59cm

3581 足軽組屋敷（小立野）図　16.35—51
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　28×51cm

3582 足軽組屋敷（小立野・石引町）図　16.35—52
手写　文化元年（1804）
絵図2枚　24×44cm・24×52cm

3583 足軽組屋敷（犀川川上・富山町）図　16.35—53
手写　文化2年（1805）
絵図1枚　24×36cm

3584 足軽組屋敷（犀川主馬町）図　16.35—54
手写
絵図2枚　24×53cm・24×72cm

3585 足軽組屋敷（犀川主馬町）図　16.35—55
手写　文政5年（1823）
絵図1枚　24×70cm

3586 足軽組屋敷（桜畠五番丁）図　16.35—56
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×37cm

3587 足軽組屋敷（三社町）図　16.35—57
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　23×54cm
面積，家数，人数を記載。

3588 足軽組屋敷（十三間町）図　16.35—58
若林孫作著
文化元年（1804）

絵図1枚　24×49cm
面積，家数，人数記載。若林孫作は小頭。

3589　足軽組屋敷（十三間町）図　16.35—59
市原庄兵衛著
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×57cm
市原庄兵衛は小頭。面積，家数，人数を記載。

3590　足軽組屋敷（主馬町）図　16.35—60
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×71.5cm
面積，家数，人数記載。

3591　足軽組屋敷（新竪町）図　16.35—61
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×33.5cm
面積，家数，人数記載。

3592　足軽組屋敷（新竪町後）図　16.35—62
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　28×57cm
面積，家数，人数記載。

3593　足軽組屋敷（杉浦町）図　16.35—63
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×48cm
面積，家数，人数記載。

3594　足軽組屋敷（千日町）図　16.35—64
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×36cm
面積，家数，人数記載。

3595　足軽組屋敷（竪町）図　16.35—65
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×69cm
面積，家数，人数記載。

3596　足軽組屋敷（竪町・池田屋小路）図　16.35—66
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×84cm
面積，家数，人数記載。

3597　足軽組屋敷（寺町）図　16.35—67
手写　文化13年（1816）
絵図1枚　24×46.5cm

3598　足軽組屋敷（寺町・犀川川除町）図　16.35—68
手写　文化13年（1816）
絵図1枚　45.5×57.5cm

3599　足軽組屋敷（寺町等）図　16.35—69
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　51×24cm

3600　足軽組屋敷（寺町杉木林続）図　16.35—70
手写　文政4年（1821）
絵図1枚　24×72cm

3601　足軽組屋敷（寺町八番丁）図　16.35—71
手写　文政11年（1828）
絵図1枚　24×47cm

3602　足軽組屋敷（寺町融山院後）図　16.35—72
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　24×48.5cm

3603　足軽組屋敷（寺町玄光院前）図　16.35—73
手写　文化元年（1804）
絵図1枚　23×48cm

3604　足軽組屋敷（早道町）図　16.35—74
手写　文化4年（1807）
絵図1枚　24×71cm

3605　割場総組地絵図　16.35—75
御屋敷方編
手写　明治2年（1869）
仮綴5（絵図64枚）　24×35cm　包紙
割場とは，明組足軽等を所割し，割場奉行が警備，飛脚，荷物宰領などの勤務を割当て担任させる役所。

3606 組地軒数并絵図　16.35—76
手写　明治3年（1870）
仮綴1（10通・絵図11枚）　24.5×35㎝
犀川々上，富山町組地など。

3607 御先手足軽并聞番附足軽等組屋敷絵図 16.35—77
手写　宝暦9年（1759）
29丁　24㎝
組別の屋敷配置図。

3608 笠舞村地内飛地町元小人并小者方持地并屋舗地歩数打立分間絵図　16.35—78
手写
絵図1枚　28×70㎝
畑地屋敷地を色分けした絵図。

3609 台所町図　16.35—79
手写
絵図1枚　30×42㎝
金沢の町の1つで台所同心，台所附板前小者の組地であった。住居者の名を記載。

3610 三十人組屋舗所附帳　16.35—80
中村周蔵著
自筆　明治3年（1870）
4丁　24㎝
三十人組とは，藩主の御手廻りとも称し，槍持草履取，挟箱持などを職務とした小者身分の者。

3611 三十人組居屋屋敷図（犀川々除町）　16.35—81
手写　文政元年（1804）
絵図1枚　24×61㎝
旧書名「三十人組居屋敷図」。

3612 小立野口弐拾参番組絵図　16.35—82
手写　明治年間
絵図1枚　47×35㎝
小立野下の口仰西寺裏の御中間組地をあらたに卒方組地として改正した際の絵図。

3613 卒家作地調理名書　16.35—83
軍事掛卒使役方編
明治4年（1871）
仮綴1（6丁・1枚）12×35㎝
明治初年家作を願った卒につき，場所，姓名を記す。

3614 卒替地願并不望者名書　16.35—84
卒使役方編
明治4年（1871）
仮綴1（3丁・2通）　12×35㎝
戸籍方宛。旧書名「卒ヨリ替地面相願候者共名書」。

3615 卒家作地ケ所地交名　16.35—85
軍事掛卒使方編
7丁　12×34.5㎝
明治初年，家作を願い出た卒の場所と姓名を列記し，「打渡済」などの注記や付箋あり。

御貸家絵図

3616 小松御城番御貸家之絵図　16.35—86
手写
絵図1枚　彩色　52×143㎝
小松城番の役宅（北貸家，南貸家）の平面間取図。

3617 小松御城番御貸家之絵図　16.35—87
手写
絵図8枚
前田貞醇旧蔵。
① 小松御城中三御丸之内御城番御貸家（文久4年）36×53㎝
② 小松御馬廻番頭田辺仙三郎貸家（文政6年建直）54×37㎝
③ 小松御城三ノ丸貸家屋絵図　27.5×39㎝
④ 小松御城附御馬廻番頭貸家（卯3月）23×40㎝

⑤ 小松留守居物頭貸家絵図　27.5×40.5cm
⑥ 小松御城附御留守居物頭跡御貸家（慶応3年）28×39.5cm
⑦ 二ノ丸舟小屋（寅4月）24×36cm
⑧ 堀番貸家　33×40cm

3618 小松御城番北御貸屋絵図　16.35—88
前田貞事手写　嘉永元年（1848）
絵図1枚　彩色　32×39cm
前田貞醇旧蔵。前田貞事（図書）は文政9年（1826）より小松城番を務め7,000石。

3619 山御年寄衆御貸小屋絵図　16.35—89
文政5年（1822）
絵図1枚　33×89.5cm

屋敷絵図

3620 奥村河内守宅絵図　16.35—90
手写　安永8年（1779）
絵図1枚　87×106cm
「教千代様御宮参御行列附属図」と注記あり。玄関を中心とした奥村邸の部分図，玄関部分に御供人配置の指図あり。

3621 津田玄蕃下屋敷絵図　16.35—91
手写　天保19年（1734）
絵図1枚　36×24cm

3622 本多・奥村其外御用地絵図　16.35—92
手写
絵図1枚　49×37cm
中川典克旧蔵。

3623 本多家上屋敷屋形絵図　16.35—93
手写
絵図1枚　107×192cm

3624 本多安房守居宅絵図　16.35—94
手写
絵図1枚　240×155cm

3625 前田中務屋敷図　16.35—95
手写
絵図1枚　34×49cm
前田貞醇旧蔵。

3626 右馬頭様御家指図　16.35—96
手写
絵図1枚　101×72cm

3627 村腰斉輔等宅地・畑・山林境図　16.35—97
手写
絵図1枚　46×32cm
村腰斉輔・池谷金造・海野惣吉の宅地と間に田庄助・柏木徳兵衛・北村恭市などの畑などについての境界絵図。

3628 馬坂新町元下屋敷図　16.35—98
手写
絵図1枚　39×36cm

3629 横山山城守揚地図　16.35—99
絵図1枚　24×36cm
中川典克旧蔵。

3630 客間飾付　16.35—100
前田家編輯方手写　明治年間
手写
85丁　23cm
前田晋[illegible]蔵の写。
前田孝錫（普，内蔵太）邸の元文4年（1739）～延享5年（1748）に於ける来客の節の飾付。

特16.36　家　事・陪　臣

家　訓・遺　書

3631　永貞遺訓鈔　16.36—1
有沢永貞著
手写　文政8年（1825）
63丁　24cm
内題「自修若壮老学術記」。有沢貞庸跋。

3632　永貞遺訓鈔　16.36—2
有沢永貞著
手写
42丁　24cm
同前の写。

3633　加藤治兵衛願書　16.36—3
手写
1通　26.5cm
控の文書。丁丑6月廿23日。加藤治兵衛が病死するに際し，養子忰金十郎（20才）を召仕えさせて下さるよう願ったもの。中村宗右衛門宛。
旧書名「加藤治兵衛口上書」。

3634　富田貞直遺書　16.36—4
手写
1通　17cm

3635　選仏院様御筆物写　16.36—5
手写
13丁　24.5cm
原本は藩初（利常時代）か。村井家家臣に対する訓令など。選仏院は村井親長。「安房殿は此方縁者の棟梁に候へハ」とあり本多氏系のものか。

3636　御遺書御下物
村井長世著　16.36—6
手写
6丁　24cm

3637　村井靱負遺書　16.36—7
手写
1通　18cm
家老宛。老臣村井家の9代長道，7代長穹などが靱負を名のるが，この文書は誰であるかは正確にはわからない。

3638　村井長貞遺書控　16.36—8
手写
1通　16cm　包紙入
長貞は老臣村井家の第10代，文化9年生れ，天保7年遺知16,569石余を受け，同13年歿，31才。家老中宛。

3639　御触并御返書留　16.36—9
手写
114冊　25.5cm
横山隆起旧蔵。横山家関係のもの。内容年代宝暦9年（1759）～明治期。

家　　事

3640　平士五百石以下へ御貸渡御触等　16.36—10
手写
41丁　22cm
早川随勝旧蔵。内容は貸銀規定と返上規定の記録。

3641　金子借用書　16.36—11
板坂久右衛門著
自筆　慶応4年（1868）
1通　23cm
宵地伊三郎宛。

3642　奇　妙　譚　16.36—12
前田家編輯方手写　明治年間
6丁　25cm
今川全蔵（藩士）の家庭不和と変死に関することなど，家庭的なもめごと，不幸などについて聞き知った事を記録したもの。

3643　大野木良之助勝手向之儀ニ内々紙面　16.36—13
奥村内膳著

自筆　天保6年（1835）
1通　16cm
村井又兵衛宛文書。3月8日附。先代弾正の代より借財嵩み勤仕にも指支えにつき良之助は奥村内膳組に属する旨の文書。

3644　佐藤帯刀書状　16.36—14
手写
1通　32cm
津田源右衛門・中川八郎右衛門宛，借銀（会所銀）についての返書。

3645　中村次右衛門拝借金一件　16.36—15
手写　享保11年（1726）
1通　24cm
中川典克旧蔵。中村次右衛門より中川式部宛文書。

3646　貸金返納ニ付書付　16.36—16
御勝手方著
手写
2通　15cm
不破順命旧蔵。不破紋左衛門宛文書。不破紋左衛門が江戸表へ御用を勤め数日逗留，15両借受けたものの分割返済を願出，勝手方にて許可した書状。内容は嘉永5年（1852）。

3647　借金返済延期願　16.36—17
手写
1通　16cm
不破順命旧蔵。

3648　保　金　覚　16.36—18
手写
1通　16cm
不破順命旧蔵。御算用場より不破紋左衛門宛。

3649　本多氏心覚　16.36—19
前田家編輯方手写
53丁　23cm
内表紙に「本多家家政向ノ分」とあり。内容年代は享保8年（1723）～文政12年（1829）。

3650　前田孝矩書状　16.36—20
手写
3通　16cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛文書。主膳勝手方の儀につき報状。前田孝矩（数馬）は七日市藩主利意の子，貞享4年（1687）新知2,500石を受け正徳元年（1711）小松御城番，同2年（1712）歿。

3651　前田左京勝手之様子届書　16.36—21
手写
1通　25cm
中川典克旧蔵。左京は前田誠明（のぶあきら）。七日市藩主2代前田利意の2男，綱紀に仕えて祿3,000石を受け，後500石を加え，享保元年若年寄に任じ，同8年5月6日歿。延宝7年1月10日本多安房守に提出した収支報告である。

3652　御吉事御案内之所名書留　16.36—22
手写　天保5年（1834）
12丁　12.5×34.5cm
藩士のもの。

3653　善法寺僧正等御招請ニ付御客附献立御作法等控　16.36—23
手写　明和5年（1768）
8丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。原題は「明和五戊子年六月二日八幡新善法寺僧正様法眼様金沢御出府，同月廿八日御屋敷へ御招請ニ付御客附御献立御作法付等控」。

3654　庄兵衛様御初御招請之節於御奥方々様御盃事之次第　16.36—24
手写
3丁　25cm
渡辺庸旧蔵。安政元年（1854）家老前田孝本（美作守）の長子孝中（菊之丞）と人持山崎範古（庄兵衛）の子範正（七郎左衛門）の長女が婚約した時の式次第。

3655　前田将監養方甥左太夫義御部屋忍出候一巻　16.36—25
前田土佐守著
手写　明治初年
13丁　24cm
内容の年代は元文５年（1740）。

3656　長浩院殿一周忌ニ付往復書状控　16.36—26
村井靱負著
手写
７丁　12×36cm
長浩院は，村井家９代長道（ながただ）。浩翁・浩斉・浩然道者と称し文化13年（1816）新知2,500石，文政11年（1828）父の遺知をつぎ16,569石，天保７年（1836）５月10日歿，40才。法号天竜寺長安臨道浩然大居士。

3657　横山義六郎覚書　16.36—27
手写
１通　24cm
横山義六郎家計の覚書。

3658　横山蔵人病死之件諸事留　16.36—28
21丁　23.5cm
横山隆起旧蔵。表題には「天保七年正月廿五日より之諸事留」とあり，横山蔵（政孝）の病気届および歿後遺骸を金沢まで運ぶ際の諸事留。

3659　給養中勘銭請取帳　16.36—29
横山大参事著
自筆　明治３年（1870）
19丁　24.5cm
横山氏の家臣の知行を藩より中勘受けとりしたことについての記録。

陪　臣

3660　証人御奉行へ被遣候御書付跡書　16.36—30
手写
９丁　24cm
内容は，明暦２年（1656）における，藩士の家人改めを藩主証明によって幕吏へ届けたときの藩主証明書控の写。

3661　当国陪臣分限帳　16.36—31
今村直方手写　寛文10年（1670）
76丁　21cm
本多氏をはじめ16家の陪臣の扶持高。なお，備前日置猪右衛門忠治家の家系についても記録する。

3662　奥村・山崎家臣由緒書上之写　16.36—32
手写
29丁　26.5cm
表紙付紙に「青地順行蔵書御借上分」とあり，巻尾に「葛巻図書蔵本之写」とあり。山崎久兵衛・石原孫兵衛・服部太郎右衛門・服部源左衛門・窪田孫八郎・中西伝兵衛・三田村四郎兵衛・木村三郎右衛門・熊野兵右衛門・半井大学・小島平右衛門・荒木次郎兵衛，森屋九郎兵衛・内田三郎兵衛・樋口五郎右衛門・坂井九右衛門・尾崎与兵衛・尾崎惣左衛門・薗角兵衛・岡部左兵衛・味嶋半右衛門・宇野助左衛門・進藤六左衛門・中村馬左衛門・瀬川四郎右衛門・横田覚太夫・木崎八郎左衛門・井口清左衛門・下田午兵衛・野上甚五左衛門・豊田次兵衛・山崎作右衛門・山崎忠左衛門・向七兵衛・向八右衛門・大塚金左衛門・笠井蔵人，笠井勘兵衛，以上39人（惣知行高6,590石）の寛永８年（1631）５月晦日付の由緒，武功，知行，年令などを記す。以上は「山崎長門家士軍功書」（「山崎長門守家来侍帳」）と同じ。そのあとに37名（合7,300石）の戦功を記してある。

3663　家中給人卒人前本高所付之帳　16.36—33
前田家編輯方手写
73丁　23cm
本多政以旧蔵。内容は慶安元年（1648）。当初「本多家中給人高所付帳」なる名称をつけられていた。

3664　自分人馬数之帳　16.36—34
中川長輝著
手写

2丁　25cm
中川典克旧蔵。中川氏の延宝8年（1680）における知行高，人馬数を藩へ書き上げた記録。

3665　前田図書家来御城中御門御通者交名書　16.36—35
前田図書著
自筆
1通　19cm
前田貞醇旧蔵。前田図書の家来，給人10人，歩組1人，足軽4人についての御門通過証明。

3666　前田対馬書状　16.36—36
手写
1通　36cm
村井藤十郎が願い出た，家来の跡目相続に対する認可状。前田対馬らより奥村因幡宛。藤十郎は親長，対馬は孝行，因幡は徳輝か。貞享，元禄頃のもの。

3667　村井家家中知行宛行状　16.36—37
手写
16丁　12×18cm
村井長次（又六，出雲17,000石，人持組頭）が家中に与えた知行宛行状を集録したもの。内容年代は天正20年（1592）～慶長11年（1656）。
旧署名「村井氏家礼知行書写」。

3668　村井飛騨守家来知行取侍帳　16.36—38
手写　元和2年（1616）
25丁　25cm
村井飛騨守は老臣村井家3代村井長家。

3669　村井藤十郎ニ付置申度人数之帳　16.36—39
手写
5丁　26cm
村井藤十郎は村井氏主流（年寄家）5代親長。村井一家が必要とする男女使用人の名前と給与を列記したもの。

3670　村井藤十郎付置申度人数帳　16.36—40
手写
5丁　26cm
小姓，門番等48名を村井藤十郎が傭入れることを申し出たもの。藤十郎は村井氏5代親長（通称出雲）。

3671　藩中諸作法留抄　16.36—41
手写
24丁　24cm
村井家諸作法抜書。村井家家臣たちに対する諸教諭と藩中に対する諸教諭，及び諸作法（登城の節・御用番様より書状差出の節など）からなる。

3672　山崎長門守家来侍帳　16.36—42
今枝直方手写　正徳4年（1714）
52丁　20cm
山崎庄兵衛長賀旧蔵の写。山崎長賀らの祖の長門（長徳）は越前の人で，初め朝倉義景に仕え，朝倉歿後，明智光秀に仕え，光秀歿後佐久間安次の旗奉行として柳瀬の役に出陣，その後前田利長に仕え1万5千石。閑斎と号し，元和6年（1620）歿。

3673　御当代御家中へ被下置候知行高之覚　16.36—43
手写　安政5年（1858）
23丁　24cm
老臣村井家（16,569余石）の家中の侍帳。給人以下，足軽，女中，小者まで詳細に記載してある

3674　御家中分限帳　16.36—44
文政元年（1818）
6丁　12.5×36cm
横山家の侍帳。轅輪弥次右衛門130石，その父轅輪学山隠居料30石以下足軽，同心まで記入。

特16.37　私　文　書

3675　〔新井白石・室鳩巣等書簡〕　16.37—1
前田家編輯方編
編者手写
2冊　23.5cm
小瀬雅山旧蔵の写。内表紙に右書翰真蹟小瀬雅

山蔵とあり。上巻は小瀬復庵と新井白石，下巻は室鳩巣と小瀬復庵・本多鶴夢・赤座正軒・稲生若水の書翰。

3676 青木新兵衛書状　16.37—2
青木新兵衛著
手写
1通　17cm
前田図書宛。

3677 青山織部等書状　16.37—3
青山織部著
手写
1通　18cm
青山織部は青山宗長，綱紀に2,650石で仕える。中川八郎右衛門宛。八郎右衛門は中川重勝。

3678 青山四郎左衛門書状　16.37—4
青山四郎左衛門著
手写
1通　18cm
前田図書宛。犬千代様の祝に関する目録などに関しての書翰。

3679 秋元喜三右衛門書状　16.37—5
秋元喜三右衛門著
手写
2通　18cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。

3680 秋元但馬守宛書状　16.37—6
松平某
手写
1通　21cm
6月19日付。書付の下書きの添状。
旧書名「秋元但馬守宛松平某書翰」。

3681 浅井主税書状　16.37—7
浅井主税著
手写
1通　17cm
大野木克征旧蔵。宝暦2年（1752）大拙和尚宛

3682 安達隼太書状　16.37—8
安達隼太著
自筆
1通　17cm
石田左平治宛。

3683 荒木六兵衛書状　16.37—9
荒木六兵衛著
手写
2通　32cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。1通には六兵衛と伴八矢の連署状。

3684 有沢九八郎書状　16.37—10
有沢九八郎著
手写
1通　14cm
九八郎は永貞。

3685 有沢武貞・山本基庸両先生往復書記　16.37—11
甕清軒編
手写
6丁　22cm
享保9年（1724）山本基庸書状。同年有沢武貞返書，基庸返書の写。基庸は延宝～享保期の学者，文人，徴妙公夜話の著者。武貞は正徳～元文期の兵学者，著書多し。
旧書名「武貞・基庸両先生往復記」。

3686 〔御親翰写幷有沢才右衛門返書控〕　16.37—12
手写　天明3年（1783）
2通　17cm　包紙入
信玄・謙信・家康が逆臣などを自ら成敗した記録の有無についての質問と返答。才右衛門は貞幹。

3687 〔謙徳院様御親翰来由之覚〕　16.37—13
有沢貞幹著
手写　安永2年（1773）
1通　17cm　包紙
御軍装について尋ねた8代重熙（謙徳院）の御親翰を調査した事情を記す。

3688 安藤猪左衛門書状　16.37—14
安藤猪左衛門著
手写
5通　36cm
中川八郎右衛門等宛。

3689 五十嵐主膳書状　16.37—15
前田家編輯方手写　明治年間
2丁　24cm
横山政孝宛。

3690 生駒伝吉書状等　16.37—16
手写
巻子1　16cm
奥村兵部宛。生駒伝吉は重信，承応3年(1654)金沢生れ，享保4年（1719）歿，1,000石，享年66才。芭蕉に師事して「そこの花」をあらわす。

3691 石田三郎兵衛書状　16.37—17
手写
1通　12cm
高桑義左衛門宛。金子拝領についての謝礼。

3692 石田三郎兵衛書状　16.37—18
石田三郎兵衛著
手写
1通　18cm
安達治部右衛門宛。

3693 磯野平左衛門書状　16.37—19
磯野平左衛門著
手写
1通　16cm
中川八郎右衛門等宛。

3694 伊藤内膳書状　16.37—20
伊藤内膳著
手写
1通　37cm
中川八郎右衛門宛。

3695 今枝民部書状　16.37—21
今枝直寛（民部）著
手写
1通　16cm　包紙入
文政4年(1821)今枝直寛より村井長道（靱負）宛の写。

3696 今枝民部書状　16.37—22
今枝民部著
手写
4通　19cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門等宛。今枝民部は直恒（1通），近義（3通）

3697 今枝民部等書状　16.37—23
今枝民部著
手写
1通　18cm
村井藤十郎宛。民部は近義か。

3698 伊与田六右衛門等書状　16.37—24
伊与田六右衛門著
手写
1通　29cm
津田源右衛門等宛。

3699 宇野兵次郎書状　16.37—25
宇野兵次郎著
手写
1通　17cm
早川随勝（清兵衛）宛。

3700 遠藤次左衛門書状　16.37—26
遠藤次左衛門著
手写
1通　16cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。

3701 小笠原信濃守書状　16.37—27
手写
1通　18cm
太刀，馬代進上に対する返礼。中川八郎右衛門

宛。旧書名「未呼淡路守書状外二」。

3702　**岡田雄次郎書状**　16.37―28
岡田雄次郎著
手写
1通　15cm
村井又兵衛宛。

3703　**奥村助右衛門書状**　16.37―29
手写
1通　23.5cm
文化13年（1816）5月13日付，生島将監宛。京都妙顕寺が当地に着くことに付き助右衛門は奥村宗家11代栄実。

3704　**奥村助右衛門等書状**　16.37―30
手写
巻子1　16.5cm
5通分を写したもの。奥村助右衛門の他に松波大舎人・河野玄蕃らの書状もある。

3705　**奥村伊予守書状**　16.37―31
奥村伊予守著
手写
1通　16cm
11月26日付中川式部宛，病気見舞，贈り物の御礼等。

3706　**奥村因幡守書状**　16.37―32
奥村因幡（庸礼）著
自筆
1通　16cm
9月23日付奥村淵兵衛宛，御親翰をいただいたことについて。庸礼は奥村氏支家2代，寛永20年家を継ぎ，1万0450石，承応元年家老，万治3年人持組頭，寛文9年12,450石，貞享3年大年寄，同4年歿。なお淵兵衛は邦長(600石)か。

3707　**奥村内膳書状**　16.37―33
奥村内膳著
自筆　天保5年（1834）
1通　16cm　包紙入
11月11日付村井又兵衛宛返書。天保甲とあり，天保5年であろう。内膳は奥村支家12代，惇叙村井又兵衛は村井長道。

3708　**奥村内膳書状**　16.37―34
奥村内膳著
自筆
1通　15.5cm
前田図書宛11月29日付。前田貞醇旧蔵。

3709　**奥村内膳返書案**　16.37―35
奥村内膳著
自筆
1通　16cm
鷹司家中の高橋兵部権大輔等宛。
旧書名「鷹司様へ返書之扣」。

3710　**奥村温良書状**　16.37―36
奥村温良（内記）著
自筆
1通　18cm
前田直堅（近江守）宛。人持組頭奥村温良（奥村支家，禄17,450石）より，年寄前田直堅にあてて，正徳3年（1713）より小松城番在任中の前田貞直（中務，禄7,000石）が病気を理由に辞任を願い出ている義につき報告したもの。前田貞醇旧蔵。旧書名「小松城番ニ関シ奥村内記ヨリ前田近江守ヘノ書」。

3711　**小幡平三書状継立**　16.37―37
小幡信政著
自筆
巻子1　16cm
富田権六郎旧蔵。富田織人宛。信政は，400石，寛延2年（1769）歿，75才。

3712　**小幡和平書状**　16.37―38
小幡和平著
自筆
1通　16cm
小幡和平は藩士，明治初年第12国立銀行設立当初頭取となった。書面に岡田雄次郎などの名前が見られるから幕末維新期のもの。内容は御調達金子に関する書状。

3713 勝尾半左衛門書状　16.37—39
勝尾信処（半左衛門）著
自筆
1通　34cm
村井又兵衛宛。信処は人持，天保3年歿，70才

3714 河村昌守書状　16.37—40
河村昌守著
自筆
1通　16cm
大野木克征旧蔵。大野木舎人宛，5月11日付。藩主の様子などについての記述。

3715 来田新左衛門書状継立　16.37—41
来田由親（新左衛門）著
自筆
巻子1　30cm
葛巻権佐昌興宛。来田は熱田神官御師か。元禄3年頃のもの。
旧書名「来田新左衛門書翰」。

3716 幸田孫右衛門書状　16.37—42
幸田孫右衛門著
自筆
1通　29cm
中川典克旧蔵。中川某宛。

3717 国府孫右衛門書状　16.37—43
国府孫右衛門著
自筆
仮綴1（2通）　17cm
中川典克旧蔵。1通は野崎孫兵衛等宛，他は不詳。

3718 後藤平八郎書状　16.37—44
後藤平八郎著
自筆
2通　17cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。後藤平八郎は宝暦3年（1753）歿，57才。
57

3719 近藤三郎左衛門書状　16.37—45
近藤三郎左衛門著
自筆
1通　16cm
前田備前宛。

3720 坂井三郎兵衛書状　16.37—46
手写
2通　16cm
内容は元禄9年（1696）。十市新次郎の血統についての返書。永原治兵衛等宛。

3721 佐野鼎書状　16.37—47
佐野鼎著
手写
1通　14.5cm
横山隆太旧蔵。帰山仙之助宛，万延元年(1860)アメリカへ出発前の消息。佐野鼎は安政元年(1854)藩士に徴用，西洋砲術師範方棟取役，万延元年暇を乞い，幕府使節に随い米国へ赴き，文久元年（1861）再び藩に帰る。

3722 柴屋宗与書状　16.37—48
柴屋宗与著
自筆
1通　15cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。

3723 芝山弥一郎書状　16.37—49
芝山弥一郎著
自筆
1通　16cm
中川八郎右衛門宛。

3724 清水作左衛門書状等　16.37—50
手写
巻子1　26cm
内容は長州征伐などの時局について。
旧書名「清水作左衛門書翰等」。

3725 進藤丈信書状　16.37—51
進藤丈信著
自筆
3通　32cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。

3726 神保氏・不破氏書状等　16.37—52
手写
4通　26cm　包紙2
1通は延宝5年（1677）に神保順助が御馬廻役にあって借銀願いをしたもの。1通は，不破平左衛門が3代藩主前田利常の親翰について記したもの。
なお，他の2通は神保・不破に関係なし。その内の1通は八条姫付き奉公人についての文書。
旧書名「神保氏不破氏同書等」

3727 瀬川五郎兵衛等書状　16.37—53
瀬川五郎兵衛著
自筆
1通　17cm
中川典克旧蔵。奥村主馬助・中川八郎右衛門宛。今枝民部より筑前守様への献上物に対する返書。

3728 関屋市右衛門書付　16.37—54
関屋市右衛門著
手写
1通　14.5cm
役義御免につき松雲院より下された判物2通を返上する旨を記す。市右衛門は政知（まさとも）であろう。延宝5年綱紀に仕え，350石，関屋録の著あり。

3729 多賀左近書状　16.37—55
多賀左近著
自筆
2通　15cm
中川八郎右衛門・津田源右衛門宛。越後の雪がひどく人馬等に損害がはなはだしかったが元気であるとの返書。

3730 高田善右衛門書状　16.37—56
手写
1通　35cm
村井靱負宛10月2日付。藩主の病気（脚気）見舞の取りつぎ。

3731 高山真人書状　16.37—57
手写
1通　18cm
津田十之進宛。

3732 田中主殿頭書状　16.37—58
田中主殿著
自筆
1通　17cm
中川八郎右衛門・堀内丞助宛。内容は御馳走の御礼。

3733 田辺惣右衛門書状　16.37—59
田辺惣右衛門著
自筆
4通　16cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門等宛。大風雨に付饑内，西国地方で被害がおこったことについての報告。

3734 玉井勘解由口上書　16.37—60
玉井解勘由著
自筆
1通　17cm
中川典克旧蔵。

3735 玉井市正書状　16.37—61
玉井市正著
自筆
2通　17cm
中川八郎右衛門・津田源右衛門宛。

3736 長連愛書状　16.37—62
長連愛著
自筆　文政9年（1826）
1通　17cm
村井豊後守宛。長連愛は加賀藩老臣長家8代，寛政12年（1800）襲知33,000石，甲斐守叙任，内容は珍姫様の有馬弥作殿との縁組許可についての報告。

3737　長九郎左衛門書状　16.37—63
手写
1通　17cm
成瀬監物宛の後欠文書。

3738　長九郎左衛門書状　16.37—64
手写
1通　17cm
前田図書宛，8月28日付。

3739　長又三郎書状　16.37—65
手写
1通　16cm
有沢森右衛門宛10月17日付，面会時刻の案内。

3740　中川和平御免之儀ニ付長又三郎示談之紙面写　16.37—66
手写
1通　16cm
天保5年（1834），村井又兵衛宛。

3741　長大隅守宛書状　16.37—67
手写
1通　15cm
中川典克旧蔵。中川某の書状下書き。

3742　津田源右衛門書状　16.37—68
津田源右衛門著
自筆
1通　17.5cm
2月21日付，多賀左近・中川八郎右衛門宛。

3743　津田源右衛門等書状　16.37—69
津田源右衛門著
自筆
3通　17cm
中川八郎右衛門等宛。

3744　津田弥市右衛門口上書　16.37—70
津田弥市右衛門著
自筆
1通　17cm
弥市右衛門は定番馬廻組，その組付長瀬新八郎当月21日追放について「御一行」之通を指出した際の添書，本多安房守等6人宛。

3745　寺西秀澄書状　16.37—71
寺西秀澄著
自筆
1通　29cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛，江戸へ証人仕立申付。秀澄は若狭・治右衛門，天正10年（1582）利家に仕え祿1,000石，のち父秀則の祿5,000石を加える。寛永18年（1641）歿。

3746　富田次大夫書状　16.37—72
富田次大夫著
自筆
1通　16cm
村井主膳宛，御封目御印送り状。富田次大夫は弥六・貞武。前田吉徳の側小姓として新知200石，享保9年（1724）御使番，同16年(1731)父重貞の遺知1,600石をうけて人持に列す。延享2年（1745）御近習頭，天明3年（1783）歿。

3747　富田外記宛書状　16.37—73
手写
1通　15.5cm
差出人不詳

3748　中川式部宛書状　16.37—74
手写
15通　18cm
中川典克旧蔵。岡本式部・大野木舎人・成瀬内匠・本多安房守・成瀬内蔵助・富田織人・庄田兵庫・津田伝八郎・有沢森右衛門・遠田勘右衛門・中川伊勢守・今村喜大夫・村上栄五大夫・前田大学・奥村伊予守・前田信濃守が差出人。

3749　中川修明書状　16.37—75
中川修明著
自筆
1通　35cm
前田図書宛，藩主のお目見えにあずかったこと

と，そのお祝に肴を一折もらったことの礼状。

3750 中川弥左衛門書状 16.37—76
中川弥左衛門著
自筆
仮綴1（3通） 19cm
中川典克旧蔵。硯箱等出来に関する内容。
旧書名「御硯箱等書付」。

3751 中川弥左衛門書状 16.37—77
中川弥左衛門著
自筆
1通 14cm
中川八郎右衛門宛，中納言様に献上物を送った旨内容。

3752 中川八郎右衛門宛書状 16.37—78
手写
1通 17cm
時候挨拶と勤務についての援助依頼。発信人は奥村丹後守か。

3753 中川長種書状 16.37—79
中川長種著
自筆
1通 16.5cm 包紙入
今枝内記宛。長種は元禄14年（1701）歿。

3754 寛延四年留 16.37—80
中川惟忠著
手写
1通 18cm
富田筑後宛の謝状の控。中川典克旧蔵。

3755 西尾隼人宛書状 16.37—81
手写
1通 17cm
筑前守様御小姓衆へ御供申付の儀は，去冬から当春迄で半年期の任期がきれたはずにつき問い合せ。発信人不詳。

3756 野崎右平次書状控 16.37—82
手写
1通 17cm
筆者は近習役人。宛名不詳。

3757 野村五郎兵衛等へ御使御口上書 16.37—83
手写
1通 28cm
野村五郎兵衛は永重。寛文4年（1664）1,200石を襲ぐ。元禄7年（1469）歿までの史料。平田清左衛門宛。 1694

3758 中将様御筆之御端書御請之下書 16.37—84
原五郎左衛門著
手写
3通 18cm
横山隆幹旧蔵。

3759 原田幽翁書状 16.37—85
原田幽翁著
自筆
1通 31cm
木村左仲宛。

3760 伴八矢書状 16.37—86
伴八矢著
自筆
1通 16cm
中川八郎右衛門宛。

3761 伴八矢手前之義ニ付被仰渡御請覚 16.37—87
久田源丞著
手写
1通 30cm
中川典克旧蔵。伴八矢は長重。中川八郎右衛門・佐々木道求宛。

3762 伴源右衛門口上書 16.37—88
手写
1通 38cm
玉井市正等宛。

3763 半田正興書状 16.37—89
手写

1通　42cm
前田図書宛。

3764　久田清左衛門書状　16.37—90
久田清左衛門著
自筆
1通　17cm
富田権六郎旧蔵。近火見舞に対する返書。留次太夫様宛。

3765　久田篤敬書状　16.37—91
久田篤敬著
手写
2通　17cm　包紙入
富田権六郎旧蔵。富田貞武宛。病気見舞に小菊を贈られた礼状など。久田篤敬は350石。

3766　大坂夏之陣前夜平野きわ書状　16.37—92
平野きわ著
自筆　元和1年（1615）
1通　13cm
元和元年5月6日，藩士平野才六郎の妻女が大坂の陣中から子の半三宛に出した決死の書状。

3767　福田新左衛門明保書状　16.37—93
福田新左衛門著
自筆
1通　18cm
中川典克旧蔵。中川八郎右衛門宛。御家老役就任の祝。

3768　不破彦三書状　16.37—94
不破彦三著
手写
1通　17cm
村井出雲宛，政孝の小脇刺入手についての返書。紙背に文あり。

3769　堀弥右衛門書状　16.37—95
堀弥右衛門著
自筆
1通　15cm
中川八郎右衛門・津田源右衛門宛。御老中様迄書付差上候という返書。

3770　堀学之丞書状等　16.37—96
手写
3通　16cm

3771　堀学之丞口上書　16.37—97
手写
1通　16cm
松沢権兵衛等宛。

3772　本多安房守書状　16.37—98
手写
1通　17cm
前田図書からの頂戴物に対する礼文。

3773　本多安房守と横山蔵人往返紙面写　16.37—99
本多安房守著
前田家編輯方手写
4丁　24cm
表紙に朱書で「横山蔵人は政孝なり，文化の末か文政の始比の書面ならん」とあり。
旧書名「本多安房守より横山蔵人往返紙面二通」。

3774　本多播磨守書状　16.37—100
本多播磨守著
手写
2通　16cm
村井又兵衛宛，御勝手向窮乏に対する銀子御申立の件。

3775　本多周防守書状案　16.37—101
手写
2通　16cm
割場奉行千羽甫左衛門旧例を用いず当座の理屈でさばくような「不正」の疑いに関し，才気あり用に立つ者なので容赦依頼の内容。旧書名「千羽甫左衛門義ニ付本多周防守書翰」。

3776　前田土佐守書状　16.37—102
手写
巻子1　16cm
富田次大夫宛，2通継立。

3777 梅　葵　継　16.37—103
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
2冊　23.5cm
別名「秘用留」。前田土佐守直方関係の書状等を収録したもの。末尾に「右之一冊前田土州直方公方ニ有之縅帳竪紙面之分共左之通拝借写之如此両冊縅置」とあり。

3778 前田図書書状　16.37—104
前田図書著
自筆
1通　17cm
本多安房守等宛。書状につないだ紙に宛所の一人である奥村主人より前田図書宛の拝見した旨の印書あり。

3779 前田図書書状　16.37—105
前田図書著
自筆
1通　17cm
村井又兵衛宛。内容は戸田村一件について。

3780 前田駿河守書状　16.37—106
前田駿河守著
手写
1通　17cm
前田図書宛。藩主より紗綾2巻拝領についての報告。

3781 前田中務宛来状　16.37—107
手写
2通　18.5cm　包紙
前田中務病気に付，保養の命を受けた際のもの。1通は3月4日付のもので一木逸角・大地縫殿左衛門より前田中務宛に保養の主命を伝えた折紙。他の1通は同日大地縫殿左衛門より前田中務宛に御意御礼承知の由を伝えたもの。
旧書名「大地縫殿左衛門書状」。

3782 内用書状留　16.37—108
手写
93丁　24cm
前田孝友・前田貞一等の私信と相手方の返書を集めたもの。寛政10年（1798）成立。

3783 前田直時書状　16.37—109
前田直時著
自筆
1通　17cm
村井豊後守宛の時候の挨拶。前田直時は直之系6代主税，文化5年（1808）新知2,000石，同9年（1812）11,000石，，年寄同13年(1816)人持組頭，従五位下土佐守叙任，文政11年(1828)歿。

3784 前田孝貞書状　16.37—110
前田孝貞（対馬）著
手写　延宝3年（1675）
1通　26cm
延宝3年（1675）2月諏訪大祝にあてて藩主のための祈禱の返礼を書き送ったもの。孝貞は祿21,000石の家老。
旧書名「前田対馬守直書写」。

3785 前田孝友書状　16.37—111
前田孝友著
自筆
1通　17cm
村井又兵衛宛。相公様御膳中への献上物など。孝友は前田長種系8代，安永6年(1777)18,500石を継ぐ，享和3年（1803）従五位下伊勢守叙任，文政4年（1821）致仕。

3786 前田主膳殿書付ニ付而拙子共愚案　16.37—112
前田対馬等著
手写
1通　29cm
中川典克旧蔵。前田右近大夫等宛。頼母子，娘縁組に関することで，金銭の出納に関する異義申し立てに対する釈明を行なったもの。
前田主膳殿より書付御出候ニ付而之

3787 前田大学書状　御相談拙子共愚16.37—113
手写　案」。
1通　16cm
前田図書宛，前田大学は前田知雄1,000石か。

3788 松浦豊太郎書状控　16.37—114
松浦豊太郎著
手写
2通　18cm
前田従四位宛，時候の挨拶。

3789 松沢庄太夫等書状　16.37—115
松沢庄太夫・土田左平次著
自筆
1通　30cm
小林卒右衛門宛，雲州様道中無事のことなどの消息。

3790 松平休慎入道書状　16.37—116
松平休慎入道著
手写
1通　17cm
中川典克旧蔵。前田信濃守宛，子息右京大夫（寺社奉行）の近況につき報告したもの。

3791 松原一信書状　16.37—117
松原一信著
自筆
1通　34cm
前田図書宛。

3792 水島右近書状　16.37—118
水島右近著
自筆
1通　33cm
8月28日付今枝民部宛。水島右近は苗雅（たねまさ）。もと金沢神明宮神主，有職の学に通じたため享保4年（1719）30人扶持の藩士に列せられた。のち前田綱紀の書籍採訪の業に従う。宝暦5年（1755）72才で歿。

3793 溝江平七郎書状　16.37—119
溝江平七郎著
手写
1通　24cm

3794 溝口源右衛門書状　16.37—120
溝口源右衛門著
自筆
1通　17cm
多賀信澂宛。多賀信澂はおそらく直方か，知行6,000石，若年寄人持組。溝口氏は1,000石，馬廻組。内容は多賀信澂より借覧依頼の鎧の図に関する返書。

3795 村井出雲書状　16.37—121
手写
2通　17cm
中川典克旧蔵。村井家家老石田左平次宛。村井出雲は親長，老臣村井氏第5代，長朝の嫡男，承応元年（1652）金沢に生れ，宝永5年(1704)従五位下豊後守に叙任し，正徳元年（1711）60才にして歿。

3796 村井親長書状　16.37—122
村井親長（出雲）著
手写
巻子1　15cm
村井親長は16,569石年寄。彼が村井家家老石田左平次・小林平右衛門両人にあてた書状9通の写し。
旧書名「村井出雲書状」。

3797 村井長祥請書写　16.37—123
手写
1通　16cm
村井長祥，長じて長世，老臣八家の第8代，この文書は津田修理宛。

3798 村井長世書状下書　16.37—124
手写　文政8年（1825）・10年（1827）
2通　16.5cm
剣術の稽古，改名について。

3799 村井又兵衛長道書状　16.37—125
手写
1通　18.5cm
本多播磨守・前田大炊・成瀬掃部・青山将監宛，藩主の出府，参勤，前田大炊・成瀬掃部の

御目見などについて記す。

3800　村井靱負書状　16.37—126
手写
1通　16cm
加賀藩老臣村井家では7，9，10代などが靱負を名乗った。長甲斐守・横山土佐守宛。
旧書名「村井靱負書翰写」。

3801　村井豊後守書状　16.37—127
手写
3通　16cm

3802　村井主膳書状　16.37—128
村井主膳著
手写
1通　8cm
石田左平次宛の熟瓜一折到来の返礼。

3803　村井主膳書状　16.37—129
手写
1通　17cm
石田左平次宛。

3804　村井主膳書状　16.37—130
村井主膳著
手写
1通　17.5cm
溝江太左衛門宛。大聖寺藩士村井氏の出自が宇多源氏でなく平氏であると述べている。
旧書名「村井又兵衛二付書翰」。

3805　村井又兵衛宛御書写　16.37—131
手写
1通　39cm
前田貞醇旧蔵。正月4日附，年頭の祝義として太刀馬を藩主に贈った礼状。

3806　村井又兵衛書状　16.37—132
村井又兵衛著
手写
1通　18cm
縫殿左衛門宛。

3807　村井平兵衛宛書状　16.37—133
手写
巻子1　16cm
拝領物の御礼につき。

3808　村井長八郎書状　16.37—134
村井長八郎著
自筆
1通　16cm
村（井）又兵衛宛。

3809　室鳩巣書簡集　16.37—135
手写
152丁　25cm

3810　室新助書状　16.37—136
室新助著
手写
3通　17cm
富田権六郎旧蔵。大地新八郎宛，享保14年（1729）同15年，年不詳の3通。

3811　矢田勘兵衛等請書写　16.37—137
手写
2通　15cm
1通は矢田勘兵衛等3名より仙仏院様一周忌の法事に関して，1通は内藤林左衛門・矢田勘兵衛等4名より御時宜役中村勝左衛門に関して。いずれも村（井）又兵衛近習衆中宛。

3812　山岸七郎兵衛書状　16.37—133
山岸七郎兵衛著
手写
1通　17cm
村井又兵衛宛。

3813　山本久太郎書状　16.37—139
山本久太郎著
自筆
1通　15cm
横山義門宛。

3814　山本素百蔵書翰　16.37—140
山本素百蔵著
自筆
7通　17cm
富田権六郎旧蔵。富（田）織人宛。

3815　山本基庸書状　16.37—141
山本基庸著
自筆
1通　30cm
富田権六郎旧蔵。藤田内蔵允宛。山本基庸は通称源右衛門・源太郎，初め延宝5年（1677）3月前田綱紀の歩士に召出されて書物役を命ぜられ，元禄7年（1694）父長時の遺知100石を継ぎ，組外に編せられ，後正徳3年（1713）加恩共に200石を領し，享保10年（1725）歿。学を室鳩巣に受け詠歌を好んだ。

3816　山本基庸書状　16.37—142
山本基庸著
自筆
1通　17cm
茨木覚左衛門宛。基庸の私撰の著書提出の内意に対する返答。

3817　由美弥二郎書状　16.37—143
由美弥二郎著
手写
6丁　23.5cm　17
九里香山・幸左衛門宛。内容年代明和6年（~~16~~69）。前田重教が不破和平（浚明）の冬至の詩について由美弥二郎（希賢）に批評させたところ，唐詩類苑にあると虚偽を述べたため，翌年知行召上げとなった経過を記している。

3818　横山政寛宛書状　写　16.37—144
手写
6丁　24cm
横山政寛は天正年間家老。

3819　横山氏所蔵書状　16.37—145
前田家編輯方編
編者手写　明治年間
87　7~~8~~丁　23cm
横山蔵人宛。横山で蔵人と称したのは，政寛・正従・政和の三名，これは政和宛の書状。

3820　横山山城守書状　16.37—146
横山山城守著
手写
1通　37cm
8月18日付，恵眼寺宛。

3821　横山義六郎書状　16.37—147
横山義六郎著
自筆
1通　32cm
横山隆太旧蔵。6月19日付，御近習頭中宛。時候見舞，義六郎は元儀。

3822　横山義六郎書状　16.37—148
横山義六郎著
1通　16cm
娘の婚礼祝儀に対する御礼。

3823　横山忠次書状　16.37—149
横山忠次（左衛門）著
1通　15cm
永井伝七郎宛。
旧書名「横山左衛門書翰」。

3824　吉田大蔵書状之写　16.37—150
吉田大蔵著
手写
3通　29cm
柏木磯五郎旧蔵の写。柏木三郎右衛門宛。

3825　渡辺源五郎書状　16.37—151
渡辺源五郎著
手写
2通　16cm
渡辺源五郎は寛政12年（1800）父聡の遺知110石をつぎ，年寄中席御用となり組外に列し，文化3年（1806）50石を加え諸職を経る。

3826　渡辺源七口上書　　16.37—152
渡辺源七著
自筆
1通　16cm
中川八郎右衛門宛。

3827　渡辺所左衛門書状　　16.37—153
渡辺所左衛門著
手写
1通　16cm
中川典克旧蔵。多賀左近等宛。

特16.38　私　記　録

3828　御上京中自分日記　　16.39—1
赤井伝右衛門（直喜）著
自筆　慶応4年（1868）
52丁　12×18cm
全3冊のうちの甲之部のみ。直喜は文政5年遺知をつぎ祿300石大小将。斉泰に従って上京。

3829　赤井直喜手控　　16.39—2
赤井直喜著
前田家編輯方手写　明治年間
5冊　仮綴1（4冊）25cm
明治21年79才の時，なお存にして，自からの伝聞事項をかきつづけた。本書にも明治20年までの記事がある。

3830　浚新斎手記　　16.39—3
青地礼幹著
手写　寛政8年（1796）
51丁　23cm
青地礼幹の手記。号浚新斎，室鳩巣の弟子。

3831　有沢永貞日記　　16.39—4
有沢永貞著
自筆　元祿2年（1689）～正徳3年（1713）
15冊　16×11cm
主として金沢から江戸への道中，江戸在府中の私日記。有沢家は兵学の家。筆者は300石，軍学に通じ著述きわめて多し。
日書名「日記紀行」。

①　辛巳紀行（元祿14年秋）
②　宝永戊子江戸下向
③　宝永6己丑2月19日より江戸
④　宝永5戊子7月より江戸
⑤　元祿15壬午閏月
⑥　元祿14辛巳8月より江戸日記
⑦　己巳江府覚書（元祿2年）
⑧　宝永8辛卯正月および表紙欠の日記
⑨　宝永6己丑重陽より江戸
⑩　宝永7庚寅8月より
⑪　正徳2壬辰年2月より
⑫　正徳2壬辰年10月朔日より3年3月迄
⑬　正徳3年癸巳4月朔日より
⑭　癸巳雑記紀行
⑮　7月小（写本）

3832　江戸日記　　16.33—5
有沢永貞著
自筆　正徳4年（1714）
31丁　12×18cm
8月4日より12月29日迄。

3833　有沢武貞年譜　　16.33—6
有沢武貞著
自筆　天和2年（1682）～元文3年（1733）
合綴1（6冊）　18×13cm
自筆の日記である。
①　年譜　天和2年～正徳5年
②　年譜　享保11年～同14年
③　年譜　享保15・16年
④　年譜　享保17年～19年
⑤　年譜　享保20～22年
⑥　年譜　元文3年

3834　江戸万留　　16.33—7
有沢武貞著
自筆　享保9～14年（1724～29）
合綴1（2冊）　11.5×17cm
①　享保9年11月～享保10年
②　享保13年9月～同14年3月

3835　〔有沢惣蔵留書〕　　16.33—8
有沢致貞著

自筆　享保20年（1735）
117丁　11×17cm

3836　謙徳院様御親翰　　16.33—9
手写
1通　16.5cm　包紙入
7月6日付，有沢惣蔵宛。

3837　日　積　録　　16.33—10
有沢貞幹著
自筆　宝暦6年（1756）～宝永8年（1779）
3冊　12.5×18.5cm
貞幹は通称小⊙太郎才右衛門，元文4年父の祿の3分の1を継ぎ，寛保2年本知200石に復して組外に列し，御近習番，御使者番から昇進して御槍奉行になり，天明5年150石を加え，寛政元年役儀御免，同2年歿。
① 宝暦6年1～4月　　題名「日記」
② 〃　7年5～10月　　〃
③ 〃　8年1～4月　　〃
④ 〃　9年8～12月　　〃
⑤ 〃　10年1，2月　　〃
⑥ 〃　〃　9月　　〃
⑦ 〃　〃　10～12月　　〃
⑧ 〃　11年1～4月　　〃
⑨ 〃　〃　4～8月　　〃
⑩ 〃　〃　8～12月　　〃
⑪ 〃　12年1～4月　　〃
⑫ 〃　〃　4～6月　　〃
⑬ 〃　〃　6～12月　　〃
⑭ 〃　13年1～5月　　〃
⑮ 〃　14年（明和元年）1～2月　　〃
⑯ 明和元年9～10月　　〃
⑰ 〃　3年1，2，8月　　〃
⑱ 〃　6年1～8月　　〃
⑲ 〃　〃　9～12月　　〃
（7年の記事もあり）
⑳ 〃　7年9～12月　　〃
㉑ 〃　8年1～5月　　題名「日積備忘録」
㉒ 〃　〃　6月　　〃　「備忘日積録」
㉓ 〃　〃　8～10月　　〃　「日積備忘録」
㉔ 〃　〃　11，12月　　〃
㉕ 〃　9年1，2月　　〃
㉖ 〃　9年（安永元年）4～9月　　「備忘日積録」
㉗ 安永元年10～12月　　〃
㉘ 〃　2年1～5月　　「日積録」
㉙ 〃　2年6～9月　　〃
㉚ 安永8年正月7日御使相済金沢より江戸へ罷帰候節覚書（同月18日迄）

3838　道中備忘　　16.33—11
有沢貞幹著
手写
38丁　12×18cm
信越廻り江戸迄の道中日記。9月27日金沢発足，10月11日江戸着。

3839　〔有沢倚貞日記〕　　16.33—12
有沢倚貞著
自筆　宝暦13年（1763）
39丁　12×18cm
倚貞は通称小三郎，父は盛貞，宝暦9年(1759)遺知の3分の1を受け組外に列し，11年(1761)本祿200石を嗣ぎ，大小将を経て表小将，明和7年（1770）旅中武州深谷で歿，24才。これは宝暦13年（1763）7月15日～8月の日記。

3840　高　臥　棄　　16.33—13
有沢貞庸著
自筆
5冊　21cm
副題は①金沢発足前より道中筮江戸江迄之覚書②江戸発足前より金沢江着迄之覚書，③江戸詰中覚書の3冊，および④御隣国領主，⑤屑函。

3841　諸事日記　　16.33—14
沢三木（有沢貞庸）著
自筆　文化13年（1816）～文政4年（1821）
3冊　17×12cm
① 文化13年11月～同14年12月
② 文政3年正月～12月
③ 文政4年正月～12月

3842 諸事日記　16.38—15
沢三木（有沢貞庸）著
手写　文政5年（1822）
2冊　12×34cm
筆者は当時御近習詰の士であった。個人生活，勤務上のことなど日記風にきわめて簡単に記載したもの。

3843 諸事日記　16.38—16
有沢師貞著
自筆　文化11年（1814）
32丁　13.5×16.5cm
正月より4月4日迄。本書の前半は在江戸，後半は江戸より金沢に向う道中日記である。有沢師貞は有沢貞庸の子，文政4年（1821)新知100石を受け，天保8年父の遺知450石を継いだ。

3844 諸事日記　金府　16.38—17
有沢師貞著
自筆　文化11年（1814）
87丁　12×18cm
文化11年4月～10月金沢における日記。

3845 日積録　16.38—18
得成軒（有沢貞正）著
自筆　嘉永6年（1853）～安政4年（1857）
仮綴1（4冊）　12.5×18cm
貞正は「得成軒」と号したことが知れる。
① 嘉永6年9月～12月　江府日積録
② 嘉永7年正月～4月1日　江府日積帳
③ 安政3年正月～4月1日　日積帳
④ 安政4年8月～12月6日　日図帳

3846 日積録　16.38—19
有沢貞庸著
自筆　文政7～天保8年（1824～37）
9冊　14×19cm
貞庸は貞幹の子，当時は大組頭御近習頭兼帯で天保8年7月歿，70才。
①一　文政7年
②七　〃　13年
③九　天保2年
④十　〃　3年
⑤廿　〃　4年
⑥廿一　〃　5年
⑦廿二　〃　6年
⑧廿三　〃　7年
⑨廿四　〃　8年1月19日まで
漢数字は原本の番号で，2～6，8，11巻を欠く。

3847 御在府中被渡下御直封之品写　16.38—20
手写　文化7年（1810）
82丁　23cm
有沢氏旧蔵。主に軍事関係の記録・心得覚。

3848 辰巳役志　16.38—21
今枝直方著
自筆　元禄2年（1689）
3冊　25cm
今枝直記旧蔵。上中下3冊。元禄元・2年の江戸および金沢との往復の道中に記した日記・覚書。

3849 辰巳役志　16.38—22
今枝直方著
前田家編輯方手写
3冊　24cm
前号の写。

3850 東武使役志　16.38—23
今枝直方著
前田家編輯方手写　明治年間
88丁　23cm
今枝直規蔵の写。内容は享保5年（1720）出張の旅日記，公用であるが私的な記録も含む。

3851 朝聘使志　16.38—24
今枝直方著
自筆　元禄11・12年（1698・99）
4冊　24cm
元禄11年12月6日，直方が金沢を出発，12年の元日に将軍に太刀献上の役目を果し，2月4日金沢帰着までの旅日記。第4冊は道中の事物に

ついての見聞記。

3852 朝聘使志　16.38—25
今枝直方著
前田家編輯方手写
4冊　24cm
前号の写。

3853 岩田伝左衛門盛照筆記　16.38—26
前田家編輯方手写
19丁　25cm
内容は文政7年（1924）2月竹沢御殿の教諭方を命ぜられた際の記録。伝左衛門盛照は祿1,000石，高岡町奉行，新川郡奉行，作事奉行を経て定番頭になり，文政8年隠居して祿300石をうけた。

3854 老農道草　16.38—27
上田耕（作之丞）著
手写
5冊　23.5cm
上田耕が能越に流浪し記した短篇を集めたもので全10巻。主として藩の政治経済に関する意見を述べている。

3855 老の道種　再々篇　16.38—28
上田耕（作之丞）著
自筆　嘉永5年（1852）
5冊　27cm
① 嘉永3年（1850）7月25日より9月15日迄
② 9月16日より嘉永4年正月10日迄
③ 正月11日より3月4日迄
④ 3月4日より4月16日迄
⑤ 前後不明の附録にあたるもの。

3856 老之道種　再々篇　16.38—29
上田耕著
手写
202丁　23.5cm
その一のみ。

3857 幻斎遺訓　16.38—30
上田耕著
手写
28丁　23cm
原本は安政5年（1858）に作之丞が筆記し，二男喜久馬へ与えたものという。

3858 山中湯治日記　16.38—31
大野木克明著
手写
117丁　12×18cm
正徳5年（1715）の記録，大野木克明は初め綱紀の奥小姓にはじまり，享保9年には1,650石をうけた。綱紀に60年間仕えて親任を得，和漢の文筆に才があった。

3859 官事拙筆　目録　16.38—32
奥村栄通著
手写
2冊　23cm
内容は弘化元年（1844）11月2日～嘉永6年（1853）4月4日までの栄通の日記の項目。第1本は① 1～15巻，弘化元年11月2日～嘉永元年6月20日 ② 16～25巻，嘉永元年6月21日～同3年4月24日。第2本は，③ 26～36巻，嘉永3年4月25日～同5年4月9日迄 ④ 36～40巻，嘉永5年4月6日～同6年4月4日迄。

3860 私事拙筆　16.38—33
奥村栄通著
手写
4冊　23.5冊cm
奥村氏旧蔵。内容は弘化3年（1846）～嘉永7年（1854）。全10巻。奥村宗家13代，17,000石，弘化元年養子として入って間もなくの記。

3861 御親翰写　16.38—34
手写
1通　17cm　包紙入
（宝暦3年）5月14日付，上総介利見（9代重靖）より丹後守宛。
旧書名「前田重靖御親翰三」。

3862 雑記　16.38—35
手写　寛政12年（1800）

3丁　10×13cm
高畠定辟旧蔵。「湯原氏，青山五左衛門へ問合之内抜書」「長瀬五郎右衛門殿手帳之内抜書」などを含む雑多な記事を抜書きした留帳。
旧書名「湯原氏青山五左衛門へ問合之内抜書」。

3863 寺嶋随筆　16.39—36
寺島兢著
手写　天保3年（1832）
50丁　23.5cm
寺島蔵人配流の日記，そのうち「寺島悲歎」は彼の能登配流の命を受けた際のことを記す。

3864 寺嶋静斉随筆　16.39—37
寺島兢著
手写
11丁　24cm
天保7年寺島蔵人能登へ配流の時のことを記す。前号の「寺島悲歎」と同文。

3865 直言上之品等目録写　16.38—38
成瀬某手写　文政10年
5丁　12×18cm
成瀬正居旧蔵。元禄12年（1699）～文政12（1829）までの親翰抜萃目録。

3866 御親翰等写　16.39—39
前田家編輯方手写
107丁　23cm
本多政以旧蔵の写。本多安房守宛の前田利長・徳川頼宣・前田光高・斉広・綱紀・利常・治脩・宗辰らの御親翰を順不同で収載。

3867 御親翰写　16.39—40
前田家編輯方編
編者手写
仮綴9　25cm
。慶長19年（1614）頃加州知行御軍役，。御親翰宝永2年（1705），明和8年（1771），安永3年（1774）頃，寛政3年（1791）頃その他。いずれも前田貞醇旧蔵の写。

3868 御親翰類　16.39—41
前田家編輯方編
編者手写
2冊　23.5cm
宝永2年（1705）～天明5年（1785）のもの。前田貞醇蔵の写。

3869 〔留帳抜書〕　16.39—42
手写
4丁　12×18cm
前田貞醇旧蔵。内容は前田貞直の「心覚」その他からの抜書で正徳～寛保期の雑記録。
旧書名「心覚」。

3870 心覚留帳抜書　16.33—43
前田貞直著
手写
8丁　13×35cm
内容は元禄～寛政期にわたる雑記録。
旧書名「心覚抜書」。

3871 菅原直養覚書　16.33—44
菅原（前田）直養著
前田家編輯方手写
3冊　23cm
内容は寛政5年（1793）～享和4年（1804）までの記録。巻8，9を欠く。
① 巻1～7　寛政5年～10年
② 巻10，11　寛政13～享和2年
③ 巻12，13　享和3，4年
直養は老臣前田直方の次男で安永元年生れ，通称内匠助。寛政10年新知2,500石，同13年正月年寄となる。文化2年歿，34才。

3872 御親翰写　16.33—45
前田家編輯方手写
4冊　23.5cm
前田直行旧蔵の写。書翰類。
① 徹妙公・陽広公・松雲公上
② 松雲公下
③ 護国公等
④ 太梁公・斎敬様・金竜公・温敬公・恭敏公

3873 御親翰写　16.38—46
前田家編輯方手写
126丁　23.5cm
前田直行旧蔵の写。3代～12代藩主までの書状，申渡など。

3874 御殿御用之留帳　16.38—47
手写
105丁　12×18cm
前田栄次郎旧蔵。宝暦元年（1751）11月～宝暦3年（1753）8月の内容，御用留と題されているが内容はむしろ私日記に近い。

3875 補忘録　16.38—48
前田采真斎著
自筆　寛政13年（1801）～文化9年（1812）
3冊　~~12cm~~ 12.5×18.5cm
前田栄次郎旧蔵。政務に関するが主に個人的な日記。
① 寛政13年（享和元年）
② 文化8年10月
③ 文化9年3月11日より役向留

3876 明忘録　16.38—49
前田采真斎著
手写　文化元年・2年（1804・05）
合綴1（2冊）　13×19.5cm
前田栄次郎旧蔵。
① 文化元年
② 文化2年

3877 諸日記　16.38—50
手写　嘉永2年（1849）
10丁　24cm
前田貞醇旧蔵。

3878 御親翰等写　16.38—51
前田家編輯方編
編者手写　明治19年・22年（1886・89）
60丁　23.5cm
慶長17年（1613）～天明6年（1786）のもの。前田錦太郎所蔵御判物等写，横山隆幹等より献納之御書等写の二種。知行目録，書翰，被仰出，家中御定書など。

3879 御留主留　16.38—52
村井又兵衛著
自筆　宝暦12年（1762）
1丁　12×18cm
宝暦6年11月1日～3日までの記録，御用番年寄の村井又兵衛が自分の持病のことを主に書いている。

3880 袖裏日記　16.38—53
村井長道著
自筆　寛政10年（1798）
38丁　23.5cm
村井長道は村井家9代16,569石(内与力知1,110石)，又六・靱負・又兵衛と称し，号は浩翁・浩斉・無間子・私春堂・屋漏堂。能楽にひいでた才能を持っていた。

3881 毎日雑書留　16.38—54
村井長貞著
手写
15丁　12×36cm
村井長貞は文化9年(1829)～天保13年(1842)。表紙に「申九月」とあり，上記期間中，遏知16,569石をうけて村井家10代となった天保7年（長貞25才）の記録であろう。

3882 毎日帳　16.38—55
村井鈴之助（長貞）著
手写
12丁　12×36.5cm

3883 日並記　16.38—56
手写
25丁　12×18cm
庚子春日並記，癸亥三冬日並記の合綴，村井長貞の自筆日記か。主に読書録。

3884 日記　16.38—57
山本忠大夫等著

手写
10冊（折本）　16.5×7.5cm
前田貞醇旧蔵。内容は元文元年（1736。

3885 湯浅翁手簡　16.39—53
湯浅祇庸著・森田良見編
森田良見手写　明治10年（1877）同22年（1889）
102丁　23.5cm
湯浅祇庸は弥左衛門，150石，享和2年生れ，万延1年歿。森田良見への書簡集。私事の書状の他に，地理，歴史に関する記事も含む。
旧書名「手簡」。

3886 直幅紙面之写　16.39—59
横山政和校
手写　明治17年（1884）
3丁　23.5cm
内容は天明5年（1785）。

3887 蘭洲筆記　16.39—60
横山政和著
自筆　嘉永7年（1854）
26丁　12×17.5cm
漢詩等の雑記。蘭州は政和の号。

3888 日記断片　16.39—61
手写
1通　17cm
藩士（江戸詰）の日記。

特16.39 支　　藩

富　山　藩

3889 〔慶長十年富山侍帳〕　16.39—1
前田家編輯方編
編者手写
21丁　23.5cm
表題は「富山侍帳」。内題は「慶長十年利長様富山江被召連候人々」。刊本あり。
旧書名「富山侍帳」。

3890 富山藩武鑑　16.39—2
手写
17丁　13×20.5cm
家老以下，役職別に石高，氏名，年令を記す。貞享3年（1686）か。

3891 富山御藩中分限帳　16.39—3
手写　安政2年（1855）
14丁　12×18cm
表紙に松田所持とあり。家老役以下，役別に石高，職務，氏名を記す。

3892 富山藩分限帳　16.39—4
前田家編輯方編
編者手写
103丁　23cm
内表紙に「安政七年三月庚申富山御家中分限帳」とあり。

3893 富山分限帳　16.39—5
前田家編輯方編
編者手写
70丁　23.5cm
杉木弥五郎旧蔵の写。「三ケ国御人分之面々，龍光院（利次）様御代分限帳」，「利次公御分国之砌御番帳之写」。他に「天保十年（1839）淡路守様家中武鑑」を含む。

3894 富山御家中之様子　16.39—6
手写
6丁　25cm
早川随勝旧蔵。文中安政4年（1857）の年号あり。

3895 旧富山藩士佐脇氏譜略　16.39—7
前田家編輯方編
編者手写
5丁　24cm
渡辺庸旧蔵。同家は清洲の城代を務め，後前田氏に仕え，利常の時に200石，富山嶋祖利次に仕え600石，さらに加増され，800石となる。
旧書名「佐脇譜略」。

3896 水野善政録　16.39—8
前田家編輯方手写　明治年間

2冊　24cm
内題「加越能水野善政録」。①巻1～4，②巻5～7。水野氏は富山藩臣。6代利与に仕えた八郎右衛門以下の治政上の功績を叙す。

大聖寺藩

3897　大聖寺藩士禄高帳　16.39—9
竹内裕手写　明治24年（1891）
53丁　23cm
内容は寛永16年（1639）～延宝2年（1674）。

3898　大聖寺藩中分限帳　16.39—10
手写　安政2年（1855）
13丁　12×18cm
松田某旧蔵。家老以下役職別に祿高，役職姓名を記す。

3899　大聖寺分限帳　16.39—11
手写
21丁　20cm
今枝氏旧蔵。拾遺利治公領と副題あり利治は初代大聖寺藩主。

3900　大聖寺分限帳　16.39—12
手写　明治初年
14丁　23cm
今枝直方旧蔵の写。

3901　大聖寺藩中侍分　16.39—13
前田家編輯方編
編者手写　明治22年（1889）
28丁　23cm
戸水信義旧蔵の写。江沼郡御高附も含む。

3902　大聖寺家臣役付等　16.39—14
前田家編輯方編
編者手写
53丁　24cm

3903　〔前田系図〕　16.39—15
前田常五郎編
自筆　明治31年（1893）
3丁　27cm
綱紀4男利章（大聖寺藩4代）の2男信成家の系図，信成はのち臣列に下り，家老職を勤めた。その信成を初代とし，2代信片・3代信住・4代信敏・5代常五郎に至る系図を記す。

3904　〔前田系図附由緒〕　16.39—16
前田信道編
手写　明治26年（1893）
合綴1（2冊）　27.5cm
大聖寺藩主前田利章（4代）の次子信成の次男信寿の家系，信寿を初代として2代信順・3代信道までの系図と由緒略歴を記す。

3905　〔前田系図〕　16.39—17
前田幹編
手写　明治26年（1893）
5丁　28cm
大聖寺藩5代利道の5男利寧（としやす・臣席に下り家老を勤む）を初代とし，2代義胤・3代胤典・4代幹までの系図（家老職）。

3906　大聖寺村井家記　16.39—18
手写
33丁　24.5cm
村井豊後守又兵衛から，加賀藩臣村井親長（藤十郎・出雲）に申し送った記録。

3907　村井勘十郎由緒一類付帳　16.39—19
村井勘十郎著
手写　享保16年（1731）
10丁　24cm
加賀藩老臣村井氏傍系の村井勘十郎家（長頼の子長明の系譜，大聖寺藩士500石）。

3908　村井又兵衛之覚書　16.39—20
手写
5丁　23.5cm
村井長明の子が祖父，父の来歴を述べ，子孫へ訓戒としたもの。

3909　芝山東方先生小伝　16.39—21
手写
19丁　24.5cm
芝山は東方真平，大聖寺藩士で藩末の経世学者。

特16.31—65

先祖由緒幷一類附帳

凡　　例

帙番号　**当主の氏名**（別名，通称）　父の名前　秩禄　成立年代（Mは明治）
檀那寺　丁数　冊数

なお，秩禄は明治以前の知行ですが，誤差もあるのでご了承下さい。

目　　次

あ……1
い……9
う……21
え……28
お……29
か……42
き……53
く……60
こ……67
さ……82
し……91
す……102
せ……107
そ……109
た……110
ち……142
つ……142
て……149
と……153
な……155
に……181
ぬ……182
ね……182
の……182
は……190
ひ……195
ふ……202
へ……215
ほ……215
ま……218
み……235
む……242
め……248
も……248
や……252
ゆ……274
よ……275
わ……286

あ 行

（帙 1）相 川　　要（要左衛門，富業）　誠左衛門富礼　60石　M3　37才　長周寺　7丁

相 川 孝太郎　義明　9石　M7　4才　光専寺　4丁

相 川 七 平（七左衛門，正義）　甚蔵　15俵　M3　43才　乗善寺　4丁

相 川 徳 平（善右衛門，寿之）　平左衛門厚生　100石　M3　42才　妙慶寺　9丁

相 河 愛之助（盛政）　貞元　3人扶持　M3　26才　聖興寺　2丁

相 河 辰 吾（貫道）　貞元　3人扶持　M4　28才　聖徳寺　2丁

相 坂 虎 吉（昌明）　武平　4俵　M4　29才　上宮寺　4丁

相 坂 復 吉（守直）　角之丞友直　200石　M3　21才　宝集寺　10丁

相 坂 与 次（与次右衛門，義一）　与次右衛門義摸　9人扶持　M3　48才　正福寺　10丁

相 沢 賢三郎（良成）　大監　2人半扶持　M3　36才　妙源寺　3丁

青 池 一 郎　弥門　300石　M7　24才　宗寿寺　18丁

青 池 増 造（増右衛門，直義）　増右衛門秀輝　2人扶持　M3　61才　浄住寺

青 池 弥 門　弥門　300石　M5　宗寿寺　14丁

青 木 嘉久見（外喜造，政房）　金多郎正方　550石　M3　36才　立像寺　9丁

青 木　　叶（七左衛門，有朝）　覚左衛門有久　6人扶持　M3　44才　昌柳寺　7丁　2冊

青 木 勘七郎（正高）　多膳正信　800石　M3　47才　高岩寺　13丁　2冊

青 木 喜久馬（貫如）　友右衛門　140石　M3　27才　定光院　9丁　2冊

（帙 2）青 木 久太郎（以存）　仙左衛門　80石　M2　15才　妙応寺　11丁　2冊

青 木 鬼 六（国久）　一貞　2人扶持　M3　56才　勝興寺　2丁　2冊

青 木 粂 治（重則）　源兵衛忠重　120石　M3　46才　妙応寺　8丁

青 木 敬多郎（正勝）　勘七郎正高　800石　M4　11才　高岩寺　4丁

青 木 幸 平（幸左衛門）　権左衛門酋幸　50石　M3　56才　常徳寺　7丁

青 木 才 造（才兵衛，伊久）　志證元久　6人扶持　M3　55才　徳竜寺　6丁　2冊

青 木 左 吉（寛明）　積善　100石　M3　60才　全性寺　6丁

青 木 雅 吉　寛明　100石　M8　19才　全性寺　9丁

青 木 左 平（左門，正敏）　忠左衛門正通　150石　M3　54才　立円寺　12丁

青 木 卯 松（昌盛）　義平祐宅　350石　M3　22才　松月寺　16丁

青 木 七 郎（有福）　七左衛門　1人扶持　M3　14才　昌柳寺　2丁

青 木 重太郎（寛正）　武平　25石　M3　33才　全性寺　4丁

青 木 新九郎　弥五郎　10石　M7　37才　久法寺　5丁

青 木 清次郎（靖共）文左衛門由義　2人扶持　M3　16才　妙典寺　6丁　2冊

青 木 専次郎（専左衛門，直義）　100石　M3　39才　真成寺　11丁

青 木 善四郎（備）　茂左衛門定邦　150石　M3　長久寺　10丁

青 木 他吉郎　以存　30石　M7　9才　妙応寺　9丁

青 木 多 聞（幸正）　敬次郎正種　70石　M3　43才　立像寺　9丁

青 木 鉄太郎（敬常）　嘉左衛門　1人扶持　M3　13才　玉泉寺　3丁

（帙 3）青 木 白 露　幸平　50石　M6　40才　常徳寺　5丁

青 木 八 郎（嘉左衛門，敬以）　平之丞有信　8人扶持　M3　38才　玉泉寺　5丁

青 木 武 平（貞一）　積善寛貞　50俵　M3　55才　全性寺　8丁

青木 武兵衛（義一） 嘉左衛門 8人扶持 文政8 43才 玉泉寺 6丁
青木 古次郎（功時） 栄山成功 100石 M4 17才 本行寺 3丁
青木 文次（文左衛門，由義） 50石 文之丞由章 M3 44才 妙典寺 9丁 2冊
青木 平太郎 村男 20俵 M5 22才 妙典寺 4丁
青木 亮助（茂永） 牛右衛門永賢 100石 安政4 40才 大乗寺塔頭定光院 9丁 2冊
青木 孫太郎（為永） 亮三 5石 M3 23才 定光院 4丁 2冊
青木 正勝 正高 800石 M7 14才 高岩寺 8丁
青木 松太郎（吉忠） 甚蔵 12俵 M3 28才 蓮昌寺 6丁 2冊
青木 茂七（正清） 才兵衛直親 40俵 M4 42才 高岩寺 10丁
青木 弥太郎（酉重） 幸左衛門 2人扶持 M3 37才 常徳寺 3丁
青木 与（与左衛門，貞友） 400石 M3 32才 蓮昌寺 14丁
青木 与三郎（久次） 川山貞次 230石 M3 31才 金剛寺 11丁
青木 吉衛（吉左衛門，久貫） 2人扶持 M3 27才 徳竜寺 4丁
青木 良衛（良左衛門，義登） 良助保恵 100石 M3 66才 法照寺 11丁
青木 吉九郎（庶政） 新六直政 40俵 M4 16才 高岩寺 3丁
青木 柳左衛門（良次） 康左衛門 30石 慶応4 31才 超雲寺 4丁
（帙 4）青地 伊三郎（孝友） 四郎左衛門善親 100石 M3 16才 極楽寺 3丁
青地 三郎太郎（采女，順行） 信左衛門順信 800石 M3 52才 西方寺 13丁 2冊
青地 庄八（庄右衛門，茂） 半兵衛 50石 善徳寺支院 4丁 2冊
青地 藤太（著明） 権左衛門 50石 M3 44才 大蓮寺 8丁 2冊
青地 和平太（信直） 信茂 2人扶持 M4 56才 福念寺 4丁
青地 直喜（信忠） 和平太 2人扶持 M4 25才 福念寺 2丁
青地 半四郎（基治） 半三郎基明 400石 M3 34才 西方寺 20丁
青地 万（万之丞，豊守） 直作豊平 50俵 M3 39才 大蓮寺 7丁
青野 一記（信美） 甚七知貞 3人扶持 M4 25才 超願寺 3丁
青野 春三郎（順左衛門，則一） 久右衛門正高 40俵 M3 61才 蓮華寺 9丁
青野 甚兵衛（甚七，知貞） 七兵衛知美 M3 56才 超願寺 7丁
青野 稔（至誠） 佐太夫直武 40俵 M3 29才 蓮華寺 8丁
青山 丹樹（芥清） 百助芳好 300石 M4 51才 妙法寺 5丁
青山 勘七（敏男，庄兵衛，故信） 庄右衛門守故 4人扶持 M3 57才 宗徳寺 5丁 3冊
青山 敏男（故則） 庄兵衛 3人扶持 M3 30才 宗徳寺 4丁
青山 久太郎 与三 150石 M8 18才 実性院 12丁
（帙 5）青山 鉉吉（直道） 宣十郎賀敏 130石 M3 29才 照円寺 13丁
青山 栄（清次） 与三惣次 50俵 M4 19才 3丁
青山 貞吉（克敬） 権太郎順成 2人扶持 M3 17才 桃雲寺 9丁
青山 茂記（保命） 昇 10俵 M4 17才 本長寺 2丁
青山 茂（忠次） 将監成次 50俵 M4 34才 3丁
青山 務（孝次） 将監成次 50俵 M4 33才 2丁
青山 集三郎（雛直） 信左衛門雛敏 150石 M3 41才 照円寺 8丁
青山 昇（永徳） 清七惇 60石 M4 56才 本長寺 4丁

青 山 弥太郎（芳幹） 六左衛門芳容 180石 M3 妙法寺 9丁
青 山 与 三（憑次） 将監成次 7,650石 M3 39才 全昌寺 25丁 2冊
赤 井 喜一郎（方知） 喜内率由 10人扶持 M3 45才 敬栄寺 5丁 2冊
赤 井 喜 内（伝右衛門，直喜） 亥之助 直次 300石 M3 61才 本光寺 15丁
赤 井 五左衛門（宗備） 喜内 4人扶持 M3 41才 敬栄寺 4丁
赤 井 七 郎（久次） 清左衛門久之 3人扶持 M3 37才 等願寺 5丁
赤 井 直 道（鎌三郎） 直喜 150石 M6 38才 本光寺 10丁 2冊
赤 井 政次郎 吉平 10石 M6 19才 浄教寺 4丁
（帙 6） 赤 尾 栄 男（昌之） 熊松 9人扶持 M4 22才 円祐寺 10丁
赤 尾 権左衛門（重学，新吾） 権左衛門 40石 M3 34才 妙応寺 10丁 2冊
赤 尾 甚 平（則明） 幸平政直 32俵 M3 55才 円祐寺 10丁 2冊
赤 尾 宗 七（宗兵衛，温廉） 宗兵衛克誠 70石 M3 49才 円祐寺 10丁
赤 尾 常次郎（正敬） 勘十郎社守 200石 M3 14才 成学寺 8丁
赤 尾 和平大（励修） 宗七温廉 8俵 M4 22才 円祐寺 8丁
赤 木 他三郎（為之） 重左衛門久之 2人扶持 M3 30才 広済寺 5丁
赤 木 亥之吉（久一） 他三郎為之 2人扶持 M3 広済寺 5丁
赤 倉 幸 作（幸左衛門，為直） 幸左衛門為定 3人扶持 M3 46才 勝満寺 5丁
（帙 7） 赤 座 庵（孝厚） 久兵衛孝敬 40俵 M3 28才 棟岳寺 6丁
赤 座 熊 吉（孝治） 亥之助 300石 M4 45才 棟岳寺 13丁
赤 座 豊 吉 亥之助 60俵 M3 36才 棟岳寺 14丁
赤 座 亥太郎（孝恭） 熊吉 150石 M4 22才 棟岳寺 3丁
赤 座 喜十郎（孝本） 左守孝行 450石 M3 22才 棟岳寺 12丁
赤 座 貢 庶（小矢太，孝信） 貢英章 200石 M3 57才 棟岳寺 12丁
赤 座 豹次郎（惟孝） 小矢太孝信 300石 M3 23才 棟岳寺 4丁
赤 座 甚七郎（孝知） 弥三郎孝順 800石 M3 58才 棟岳寺
赤 座 他四郎 甚七郎 800石 M6 20才 棟岳寺 6丁
赤 座 左（永原孝義） 久兵衛孝敬 3,000石 M3 29才 棟岳寺 18丁 2冊
赤 座 大 八（主税，孝一） 権佐孝晴 2,500石 M3 34才 15丁
赤 座 荘（左門，孝辰） 好知 500石 M3 28才 棟岳寺 14丁
赤 座 屯（孝清） 孝勝 300石 M3 35才 棟岳寺 13丁
（帙 8） 赤 座 亮三郎（孝愛） 左京孝昌 150石 M4 59才 棟岳寺 10丁
赤 座 寅二郎（政雄） 治兵衛政恒 800石 M3 31才 棟岳寺 10丁
赤 丸 元 吉（維善） 源右衛門秀盛 40俵 M3 25才 光教寺 9丁
明 石 勘三郎（定啓） 数右衛門重道 200石 M3 45才 希翁院 15丁
明 石 源太郎（季賢） 久兵衛季重 250石 M3 48才 浄住寺 13丁
明 石 貞 男（久章） 権太郎胤章 130石 M3 17才 妙成寺 9丁 2冊
明 石 順 吉（吉久） 弥太夫為行 50石 M3 30才 妙成寺 8丁
明 石 春 作（為元） 春作 10人扶持 M3 27才 因徳寺 8丁
明 石 雅 男（永頼） 平八義卿 2人扶持 M4 27才 浄行寺 7丁
明 石 雄 七（文） 昭斉 7人扶持 M3 26才 林幽寺 5丁 2冊
茜 弥五郎（長久） 弥三左衛門 40石 慶応元 18才 本竜寺 3丁

（帙 9）阿 岸 寿 斉（一成） 宗五郎一友 2人扶持 M3 74才 浄智寺 3丁
阿 岸 左 守（定一） 寿斉一成 2人扶持 M3 38才 浄智寺 3丁
秋 村 乙三郎（浅治） 次左衛門茂則 2人半扶持 M3 19才 西源寺 6丁
秋 本 其 応（孝之） 1人扶持 M3 73才 専光寺 3丁 2冊
秋 本 甚 蔵（吉之） 其応 6人扶持 M3 37才 専光寺 4丁
秋 本 栄太郎（直之） 甚蔵 6人扶持 M3 4才 専光寺 4丁
秋 山 平 三（近恭） 平佑良恭 130石 M3 35才 妙円寺 13丁
朝 才 治（輝光） 才之助輝昇 7人扶持 M3 51才 松月寺 4丁 2冊
朝 清 三（輝明） 才治輝光 3人扶持 M3 18才 松月寺 3丁 2冊
浅 井 治三郎（正忠） 治郎右衛門政滋 12俵 M4 34才 繁久寺 8丁 2冊
浅 井 清 吉（信政） 浅井徳兵衛 5人扶持 M3 28才 端泉寺 3丁
浅 井 伝太郎（光永） 政之進光高 33俵 M3 3才 光覚寺 4丁
浅 井 深（宗嘉意，成章） 藤左衛門兼徳 650石 M3 58才 松月寺 12丁
浅 井 処（成功） 宗嘉意成章 150石 M3 30才 松月寺 4丁
浅 井 直 記（外与吉，敬典） 弥兵衛 7人扶持 M3 29才 蓮昌寺 6丁 2冊
浅 井 弘五郎（好近） 善左衛門 5石 M3 24才 浄住寺 4丁 2冊
浅 井 平太郎（好生） 平左衛門好知 170石 M3 26才 浄住寺 10丁
浅 井 鷹五郎（政令） 源右衛門政虎 1,000石 M3 28才 宝勝寺 17丁 2冊
浅 井 善 衛（善左衛門，好優） 権丞富有 60石 M3 60才 浄住寺 6丁
（帙 10）浅 江 金 吾（良能） 民之助 100石 M3 25才 光専寺 6丁
浅 尾 市 次（文左衛門，成憲） 百助成勢 60石 M3 34才 法光寺 7丁
浅 尾 銀三郎（正吉） 進山昌次 75石 M3 20才 安楽寺 7丁
浅 尾 銀之介（昌吉） 進左衛門 75石 M2 19才 17丁
浅 尾 新次郎（一義） 宇兵衛 6人扶持 M3 29才 願生寺 3丁
浅 尾 鉄三郎（昌明） 只右衛門昌忠 180石 M3 22才 安楽寺 8丁
浅 尾 卜（勇左衛門，昌連） 弥三左衛門昌秀 6人扶持 M3 42才 安楽寺 9丁 2冊
浅 尾 与左衛門（久則） 理助 5人扶持 M2 46才 勝光寺 3丁
浅 岡 喜 六（昌知） 喜左衛門広信 50俵 M3 63才 光覚寺 10丁
浅 岡 政左衛門（政喜） 喜六昌知 50俵 M3 38才 光覚寺 7丁
浅 加 千太郎（一貞） 晋六郎近良 7人扶持 M3 42才 端光寺 8丁 2冊
浅 香 庵（一郷） 伊織養郷 1,000石 M3 56才 高岩寺 16丁
浅 香 孫 六（主馬，典郷） 雙川承郷 1,400石 M3 47才 高岩寺 13丁
浅 香 巌 菊（誠郷） 孫六典郷 70俵 M4 25才 高岩寺 12丁
浅 香 与右衛門（与三，友郷） 150石 M3 55才 端光寺 11丁
浅 香 嘉一郎（信郷） 与右衛門友郷 100石 M3 21才 端光寺 7丁
浅 香 九 平（九之丞，阜郷） 左近茂郷 600石 M3 39才 端光寺 9丁
浅 香 安 郷 治郷 250石 M6 24才 瑞光寺 7丁
（帙 11）浅 賀 弥市郎（方次） 文右門継方 100石 M3 36才 妙法寺 7丁
浅 賀 与 吉 与三郎 2人扶持 M6 7才 光専寺
浅 川 幾太郎（元直） 一平 50石 M3 32才 西勝寺 10丁
浅 川 一 平（仙左衛門，一儀） 一平義

復　3人扶持　M3　42才　西勝寺　9丁　2冊

浅川右平（紀紹）　新之助義廉　6人扶持　M2　21才　西勝寺　8丁　2冊

浅川清作（直清）　粂一郎直貞　2人扶持　M4　38才　西勝寺　7丁

浅川　注（昌胤）　新次祐之　10人扶持　M4　53才　西勝寺　8丁

浅川与十郎　新七　2人扶持　M6　7才　東本願寺別院　4丁

浅木源七(市之丞，篤信）　伊太夫肇陽　60石　M3　39才　安楽寺　9丁　2冊

浅木太三郎　庄八　10石　M6　9才　西源寺　3丁

朝倉欽吾（集義）　弥平氏景　100石　M3　43才　承証寺　12丁

朝倉権作（景命）　権作景京　180石　M3　48才　全昌寺　10丁

朝倉　栄（義晴）　弥右衛門義久　30俵　M3　31才　本因寺　8丁

朝倉甚次郎（貞康）　庄右衛門義政　35俵　M3　63才　円光寺　5丁

朝倉　元（義三）　久作義方　140石　M3　31才　棟岳寺　7丁

朝倉　譲（義賢）　折之丞範之　30俵　M3　15才　本因寺　11丁

朝倉亮五郎（景光）　惣助義比　57石　M4　11才　承証寺　7丁

(帙 12) 浅地覚摩（覚左衛門，知幾）　覚次郎幾直　40石　M3　48才　善徳寺　7丁　2冊

浅地外吉　知幾　40石　M5　8才　善徳寺　7丁

浅地三郎（左兵衛，内能）　彦右衛門一之　4人扶持　M3　25才　西照寺　4丁

浅地宅之助（忠継）　金左衛門　30石　M1　善徳寺　5丁

浅地政五郎（幾次）　孫三郎幾秀　2人扶持　M2　43才　善徳寺　5丁　2冊

浅路宅次　三郎　10石　M6　28才　西忍寺　4丁

浅津儀右衛門（吉高）　九右衛門吉幸　40石　M3　45才　妙法寺　4丁　2冊

浅津　渉　九右衛門吉幸　30俵　M3　33才　静明寺　2丁

浅津喜重郎　忠美　30俵　M5　3才　妙法寺　4丁

浅津辰次郎（一成）　宇右衛門一房　60石　M3　24才　浄安寺　9丁

浅田角次（高次）　吉郎兵衛定次　6人扶持　M3　45才　心蓮社　5丁

浅田源太郎（盛次）　角次　2人扶持　M3　20才　心蓮社　3丁

浅田勝次郎　吉太　7人扶持　M6　42才　全性寺　4丁　2冊

浅田吉太（成好）　7人扶持　M3　64才　全性寺　4丁3-2冊

浅田　葆（伴左衛門，安定）　造酒有方　60石　M3　28才　本法寺　9丁　2冊

浅田　蕃（世良）　岡右衛門世易　60石　M3　6丁

浅田庄次郎（忠一）　弥三八　20俵　M5　25才　光福寺　4丁

浅田甚吾（甚兵衛，孔昭）　甚右衛門伝基　12俵　M3　善照坊　5丁　2冊

浅田専之丞（世良）　甚右衛門　60石　M1　照円寺　5丁

浅田孝治　彦治　30俵　M5　23才　聞善寺　6丁

浅田太郎（武鋪）　万次郎武成　50俵　M3　27才　専光寺　7丁

(帙 13) 浅田忠作（善道）　則一　6人扶持　M5　23才　光円寺　3丁　2冊

浅田常三郎（三楽）　順作三省　100石　M3　22才　専光寺　13丁

浅田徳松　耕作　10石　M7　28才　東本願寺別院　3丁

浅田彦平（彦兵衛，則一，彦助）　養母龍　6人扶持　M3　55才　光円寺　3丁　2冊

浅田披登見（七郎太夫，久左衛門，主善）　六右衛門主知　130石　M3　47才　立像

寺　5丁　2冊

浅田益之丞（守衛，主恒）　七郎太夫　5石　M3　21才　立像寺　2丁　2冊

浅田増太郎（道一）　新左衛門　3人扶持　M3　実成寺　3丁

浅田万次郎（武成）　愛蔵　50俵　M3　54才　専光寺　8丁

浅田勇次郎　浅田孔昭　6石　M7　26才　善照坊　6丁

浅田米作（勝武）　徳佐衛門勝芳　40俵　M3　31才　蓮華寺　6丁

浅野伊三郎（貞行）　喜太夫政勝　3人扶持　M3　44才　慶覚寺　3丁

浅野栄次郎（綱直）　有味　35俵　M3　50才　乗善寺　3丁

浅野　栄　不卜　35俵　M6　19才　乗善寺　3丁

浅野義門（賞喜）　丈九郎慶賞　70石　M4　59才　乗善寺　4丁

浅野五八郎（五佐衛門，行忠）　五兵衛　行久　2人扶持　M3　本誓寺　4丁

浅野三郎平（重孝）　坂尻屋二平　6人扶持　元治1．47才　善徳寺　5丁

浅野　周（周左衛門政，父）　三郎左衛門政次　150石　M3　67才　久昌寺　11丁

浅野信次　与三次　3人扶持　M5　西光寺　3丁

浅野鈴太郎（尚之）　弁之助　100石　M3　26才　瑞光寺　8丁

浅野直作（直記，保明）　直作　50石　慶応2　30才　乗善寺　7丁　2冊

（帙 14）浅野施政　政周　150石　M6　17才　久昌寺　8丁

浅野又太郎（政員）　与三兵衛　150石　M3　23才　専光寺　1丁

浅野水見（守一）　伊三郎　1人扶持　M3　18才　慶覚寺　6丁　2冊

浅村豊吾（一久）　栄八是一　2人扶持　M3　48才　光専寺　7丁

浅村安直　又次信房　40俵　M5　17才　乗光寺　7丁

麻場源二（保徳）　半次仲次　50俵　M3　56才　照円寺　3丁

葦名遠海四郎（四郎左衛門，盛明）　宗之進盛昌　8人扶持　M3　51才　棟岳寺　13丁　2冊

葦名盛英（磐）　四郎左衛門盛明　4人扶持　M3　20才　棟岳寺　4丁　2冊

麻生次郎（永頼）　政右衛門　200石　M3　37才　宝勝寺　9丁

麻生為三郎（高久）　伴之進　30石　M3　12才　西方寺　4丁　2冊

安宅義十郎（惟孝）　栄之助允升　200石　M3　55才　法船寺　10丁

安宅嘉久他郎（正路）　義十郎惟孝　40俵　M4　19才　法船寺　4丁

安宅武平（厚重）　庄左衛門　60石　M3　42才　高岸寺　13丁　2冊

安達一雄（久左衛門，保之）　久五郎　20俵　M3　26才　妙国寺　8丁

安達官右衛門（氏重）　源五兵衛　40石　M3　50才　立像寺　6丁

安達閑吾（敬之）　増之助安之　120石　M3　23才　西方寺　7丁

安達菊男（善政）　九左衛門　2人扶持　M4　25才　光教寺　4丁

（帙 15）安達権平（行）　太左衛門　40石　M3　31才　等雲寺　7丁　2冊

安達三次郎（友于）　喜右衛門　7人扶持　M3　34才　瑞泉寺　10丁　2冊

安達　武（武左衛門，定一）　武左衛門定方　100石　M3　29才　等雲寺　9丁

安達平治（品道）　清八郎右広　5人扶持　M3　40才　光専寺　4丁

安達太多藤（豊作，道喜）　清八郎右広　3人扶持　M3　18才　光専寺　4丁

安達常次郎　一雄　20俵　M5　23才　妙国寺　7丁

安達藤次郎（政芳）　勘之助政宣　400　M3　18才　善隆寺　11丁

安達松太郎（基実）　幸之助寛栗　100石　M3　15才　静明寺　8丁

安達弥三郎（氏久）　寛二氏重　40石

M4　11才　立像寺　4丁

安達余所之助（善政）　九左衛門　2人扶持　M1　11丁

阿閉喜六（小右衛門，貞孝）八郎左衛門貞久　60石　M3　53才　本法寺　7丁

跡治庄蔵（正長）　庄蔵正康　60石　M3　52才　妙泰寺　8丁

跡治慎一郎（正義）　庄三正長　60石　M4　14才　妙泰寺　6丁

跡地茂作（恪恭）　義平由儀　100石　M3　11才　立像寺　8丁

穴太源平（紀政）　源兵衛紀隆　40俵　M3　48才　大蓮寺　8丁

穴太　鑛（政保）　源介　90石　M3　19才　大蓮寺　10丁

姉崎乙八郎（貴政）　左内政隆　100石　M3　46才　妙国寺　12丁

（帙 16）姉崎武一（五郎左衛門）　九内武中　160石　M3　46才　円光寺　9丁

姉崎鍛三郎　乙八郎　100石　M7　22才　妙国寺　6丁

阿部可楽　勘太夫信義　7石　M6　61才　全昌寺　5丁

阿部義門（忠長）　坦山忠篤　400石　M3　41才　常松寺　10丁

阿部財次郎（正継）　新吉　5人扶持　M2　15才　常松寺　13丁　2冊

阿部安吉　正継　5人扶持　M6　11才　常松寺　6丁

阿部甚十郎（敬忠）　粂助直忠　1,500石　M3　30才　常松寺　13丁

阿部太三次（義門，信心）　可楽信定，右門　4人扶持　M3　18才　全昌寺　10丁　2冊

阿部松太郎（信満）　三之助信民　160石　M3　25才　全昌寺　9丁

天野清三郎（義風）　五兵衛直行　35俵　M3　52才　9丁

天野景貫（欽八郎）　義風　35俵　M6　31才

天野吉重郎（景行、景之）　斧吉　7人扶持　M3　47才　開禅寺　10丁　2冊

天野小藤太（惣左衛門，憲章）　武兵衛員兄　9人扶持　M3　60才　如来寺　6丁　2冊

天野橘江（隆世）　惣左衛門憲章　2人扶持　M3　28才　如来寺　6丁　3冊

天野準平（貞明）　増右衛門貞勝　47俵　M3　45才　西福寺　12丁

（帙 17）天野東代朔（信忠）　吉之丞房一　3人扶持　M4　22才　真成寺　4丁

天野松五郎（景福）　五兵衛直行　45俵　M3　46才　西福寺　13丁

天野百枝（景明）　吉重郎　15俵　M3　25才　開禅寺　4丁

雨夜郁太郎　淑　30石　M6　本長寺　6丁

雨夜寛二（鉦左衛門，淑）　喜左衛門　30石　M3　仁随寺　6丁　2冊

雨夜五郎（小左衛門，吉政）　八百記　政栄　35石　M3　40才　本長寺　10丁　2冊

雨夜左平太（覚右衛門，一雄）　五郎左衛門一虎　60石　M3　立像寺　6丁

雨夜辰男（一秀）　覚右衛門一雄　17俵　M3　3丁

飴沢久太郎　雄親　35俵　M5　19才　光覚寺　5丁

新　右門（訓運）　九郎三郎敬近　100石　M3　58才

荒井小源太（義忠）　瀬左衛門義信　50俵　M3　39才　福念寺　5丁

荒井陶然（治兵衛，宗知）　弥一郎知良　130石　M3　55才　福念寺　9丁

荒井兵三（義次）　治兵衛宗知　130石　M5　28才　福念寺　8丁

荒井保太郎（顕定）　保二郎　40俵　M3　1才　福念寺　4丁

荒井雄次郎（正友）　仙左衛門式方　35石　M3　13才　広済寺　7丁　2冊

新井　穿（斧太郎，直方）　思斎軒輔徳　100石　M3　49才　宝勝寺　18丁

荒尾捨吉郎（親孝）　小輔　70石　M3　18才　10丁

荒尾馮馬（平左衛門，親常） 國右衛門親応 180石 M3 41才 棟岳寺 9丁

荒尾兵太郎 友作 6石 M8 1才 亳摂寺 3丁

（帙 18）荒川趁吾（知止） 新蔵尚翁〔祖父〕 40俵 M3 28才 妙慶寺 5丁

荒川他吉郎（俊敬） 久兵衛定道 40石 M3 19才 妙応寺 17丁

荒川武次（武左衛門，輔周） 武左衛門知喜 5人扶持 23才 実成寺 5丁 2冊

荒川忠太郎（貞安） 安之丞貞幹 35俵 M3 24才 妙典寺 10丁

荒川安次（貞均） 為四郎貴恒 10人扶持 M3 30才 妙典寺 11丁

荒木いゑ 与三吉 7.5石 M7 26才 成覚寺 4丁

荒木市松 員隆 20俵 M6 25才 立像寺 5丁

荒木嘉源太（龍左衛門，政敏） 粟翁政策 60石 M3 26才 常松寺 9丁 2冊

荒木九八郎（益貫） 平左衛門貞夫 240石 M3 66才 立像寺 9丁

荒木孝作（孝左衛門，康房） 孝蔵康忠 5人扶持 M4 28才 慶覚寺 3丁

（帙 19）荒木左次馬（貫直） 津大夫亮直 800石 M3 32才 浄住寺 12丁

荒木他吉郎（重政） 佐助 2人扶持 M2 30才 正円寺 6丁

荒木但見（理兵衛，継信） 猪之助継新 100石 M3 48才 松山寺 10丁 2冊

荒木伝八（長谷川織人，勝則） 弥左衛門勝鋭 100石 M3 25才 法光寺 9丁

荒木友次郎（保之） 八郎栄貞 4俵 M3 15才 勝満寺 4丁

荒木直江（維久） 理兵衛継信 2人扶持 M3 19才 松山寺 6丁

荒木八郎（栄貞） 中村宗吉 9俵 M3 54才 勝満寺 3丁

荒木 雅（雅右衛門，吉尚） 章平 5人扶持 慶応3 25才 光教寺 5丁 2冊

荒木玄春（克敬） 玄春敬 10人扶持 M4 41才 広済寺 13丁

荒木義次 幸作 35俵 M6 20才 広済寺 5丁

荒木良造（直方） 50石 M2 33才 善徳寺 8丁

（帙 20）有井周平（重勝） 清太夫 25俵 M3 25才 妙典寺 8丁

有岡久米雄（久米人，益友） 小右衛門 澗生 100石 M3 41才 献珠寺宝勝寺 8丁

有賀磐次郎（政則） 寛兵衛政善 1,600石 M3 4才 国泰寺 12丁 2冊

有来平吉（吉次） 新兵衛 20俵 M3 32才 本能寺内慈眼院 5丁

有沢一六（新右衛門，貞正） 采子吉師貞 550石 M3 39才 永福寺 10丁

有沢小十郎（貞明） 采女吉師貞 60俵 M3 31才 永福寺 5丁

有沢梅三郎（重貞） 与兵衛貞延 200石 M3 20才 永福寺 13丁

有沢小吉（沢右衛門，貞固） 至少貞親 300石 M3 永福寺 12丁

有田信六（鉦右衛門，福一） 昌平福信 250石 M3 29才 極楽寺 13丁

有田章二（福則） 昌平福信 80石 M3 24才 極楽寺 5丁

（帙 21）有松 長（右衛門，良一） 五左衛門良垈 40石 M3 48才 安楽寺 3丁

粟田与三郎 与三次 7石 5斗 M7 8才 仰西寺 3丁

粟野喜三郎（光時） 左太夫正勝 7人扶持 M3 38才 専光寺 9丁 2冊

粟野黄白（成人，健太郎、良房） 津右衛門良忠 24俵 M3 49才 善隆寺 5丁 2冊

粟野鵠平（一貫） 外次郎 2人扶持 M3 31才 専光寺 4丁

安西金三郎（義貫） 清六 10俵 M3 17才 浄住寺 5丁

安西清六（義制） 保左衛門義金 10

阿波加新太郎 甚六 17石 M7 46才 広昌寺 6丁

人扶持　M3　52才　浄住寺　9丁　2冊
安藤　茂（氏綱）　誹斉　2人扶持　M4　29才　永伝寺　2丁　2冊

い　行

(帙 22) 飯尾常男　歓邦　200石　M7　21才　本光寺　10丁
飯尾喜八郎（満祐）　吉平　80石　M3　30才　本光寺　5丁
飯嶋右三郎（満正）　与太夫　15俵　M3　妙慶寺　8丁
飯島　行（仲右衛門，維信）　権蔵維吉　110石　M3　58才　雲竜寺　7丁
飯島権蔵（鍵太郎，維則）　仲右衛門　4人扶持　嘉永4　16才　2丁
飯嶋定由（吉蔵，文次）　政之丞重郷　35石　M3　27才　伏見寺　3丁　2冊
飯島辰次（維則）　仲右衛門維信　4人扶持　M3　35才　4丁
飯田織江 → 飯田寛次郎（信道）　帯刀左衛門圓章　300石　M3　32才　広誓寺　10丁
（長連(織江)）を見よ
飯田鉄三郎（忠效）　寛次郎信道　300石　M5　13才　広誓寺　10丁
飯田五郎（亮蔵，保順）　久太郎保久　42石　M3　23才　西光寺　7丁
飯田　覚（永世）　世英　70石　M3　43才　竜淵寺　6丁
飯田四郎（金左衛門，正篤）　他三郎　正儀　80石　M3　40才　立像寺　9丁
飯田信一郎（信秀）　帯刀左衛門　80石　M3　24才　広誓寺　6丁
飯田全吉（正中）　金左衛門正篤　17俵　M3　14才　立像寺　5丁
飯田弥吉　吉松　15俵　M6　本長寺　7丁
飯村元吉（元右衛門，義直）　三左衛門　5俵　M4　42才　頓聴寺　2丁
飯森ちか　政之　10石　M6　7才　実成寺　5丁
飯森鈁太郎（憲政）　八十次　15俵　M3　16才　本光寺　7丁
飯森要遵　政之　10石　M7　32才　実成寺　7丁
飯森吉郎（正道）　左助　35俵　M3　55才　東本願寺別院　9丁
飯森録郎　守久　7石　5斗　M8　16才　松月寺　5丁
(帙 23) 飯山端左衛門（恒安）　満平　45石　M1　43才　広済寺　6丁
飯山平之介（勝平）　持左衛門　35石　M3　24才　広済寺　7丁
井浦良吉（忠章）　理三郎忠且　20俵　M5　20才　興徳寺　5丁　2冊
五十子左仲（善右衛門，常行）　善右衛門方華　170石　M3　39才　妙典寺　11丁　2冊
五十子遖作　政美　10石　M7　4才　妙円寺　5丁
五十嵐作次郎（和喜）　作之丞喜一　30俵　M3　26才　西源寺　9丁
五十嵐信一（次太郎，信国）　文五郎　20俵　M3　9才　広昌寺　5丁
五十嵐兵作（友久）　兵次郎　15俵　M3　18才　本長寺　6丁
五十嵐政盛（将男）　鍋次郎　20俵　M3　24才　光専寺　6丁
井川　豊　庄太夫　10石　M8　62才　本福寺　5丁
(帙 24) 生橘　亘（重正）　耕作正志　40石　M3　36才　長徳寺　6丁　2冊
生橘金三郎（重章）　亘　3人扶持　慶応3　7才　長徳寺　2丁
生熊賢太郎（但庸）　八右衛門但善　5人扶持　M3　14才　妙典寺　5丁
生熊左源太（弘政）　右大夫弘実　130石　M3　51才　妙円寺　7丁
生熊倉吉（包愛）　五百記包貞　9人扶持　M3　28才　妙円寺　7丁　2冊
生熊八郎（八右衛門，但善）　有竹但恭　110石　M3　44才　妙典寺　13丁
生熊但庸　但善　42石　M6　17才　妙典寺　8丁
生熊弘重　弘政　42石　M7　24才　妙円寺　7丁
生森佐十郎（直温）惣兵衛　35石　M2

40才　成学寺　7丁

生　山　頼太郎（宗直）　権之丞　130石　M3　32才　妙慶寺　9丁

池　岡　武右衛門（久大夫，国道）　武右衛門　2人扶持　元治1　36才　三光寺　8丁

（帙 25）池　上　嘉十郎（竹政）　小八　15俵　M4　願念寺　5丁

池　上　　進（頼貞）　五左衛門　5人扶持　慶応2　59才　円長寺　6丁

池　上　鉄　蔵（正之）　佐与吉高朗　70石　M1　22才　唯念寺　12丁

池　嶋　七三郎（温良）　文左衛門　4人扶持　慶応2　16才　興徳寺　5丁

池　田　右　平（祐平）　半六　20俵　M3　58才　立像寺　6丁

池　田　喜久馬（英秀）　一睡貞義　120石　M3　37才　本妙寺　15丁

池　田　久左衛門（忠幸）　平作　7人扶持　M2　48才　仁随寺　5丁

池　田　粂太郎（忠秀）　久左衛門　2人扶持　M2　12才　仁随寺　4丁

池　田　慶次郎（義知）　津大夫　20俵　M3　29才　真行寺　5丁

池　田　定　友（伝之丞，伝五郎）　伝左衛門　20俵　M3　30才　専光寺　6丁

池　田　三十郎（善幸）　3人扶持　M2　25才　静月寺　3丁

池　田　茂次郎　栄　9.5石　M6　8才　乗光寺　5丁

池　田　茂　房（治三郎）　治大夫　20俵　M3　23才　本光寺　6丁

池　田　清三郎　義六　60俵　M7　本妙寺　4丁　2冊

池　田　太二郎（祐久）　平兵衛　50石　M3　12才　安立寺　6丁

池　田　辰之助（近信）　弥左衛門　M3　27才　承証寺　5丁

池　田　知　能（仙之丞，仙三）　治右衛門　定庸　40石　M3　42才　安楽寺　5丁　2冊

池　田　秀　実（玄昌）　三同　15人扶持　M3　45才　弘願寺　9丁

池　田　平　二（平右衛門，茂貞）　岩五郎　20俵　M3　48才　西勝寺　6丁

池　田　保登里（伝吉，祐保）　五郎左衛門　祐治　70石　M3　17才　安立寺　8丁

池　田　近　賢（珍左衛門，知足）　珍左衛門可近　70石　M3　58才　承証寺　7丁

池　田　弥　内（弥右衛門，本於，本治）　太左衛門本実　40石　M3　47才　妙成寺　6丁　2冊

（帙 26）池　田　保三郎（福次）　89俵4斗　M3　23才　蓮昌寺　14丁

池　田　八十男　弥左衛門　10俵　M3　27才　承証寺　6丁

池　田　与吉郎（安兵衛，一由）　五兵衛　2人半扶持　M3　31才　西方寺　3丁

池　部　勝次郎　善治　5石　M6　39才　勝満寺　5丁

池　森　作左衛門（正清）　外次郎　30石　M2　45才　妙法寺　8丁

池　森　半次郎（政明）　半之丞　20俵　M3　20才　正福寺　9丁

生　駒　貞　幹（伝七郎，規一）　権兵衛　650石　M3　52才　実成寺　9丁

伊　藤　喜　幸（喜兵衛政義，喜平）　午三克救　300石　M3　28才　禅栖院　12丁

崎

石　井　喜太郎（義親）　二平　15俵　M3　28才　常徳寺　4丁　2冊

石　井　七重郎（七之助，朝喜）　七蔵　15俵　M3　18才　照円寺　4丁

石　井　七　三（七蔵，朝冨）　七郎左衛門　30俵　M3　64才　照円寺　4丁

石　井　為　忠（宗兵衛，宗二）　市郎兵衛　35俵　M3　46才　照円寺　5丁

石　井　藤　吉（謙幸）　善蔵　15俵　M3　14才　瑞泉寺　4丁

石　井　　等（恭記）　清三　35俵　M3　39才　善徳寺　5丁

（帙 27）石　浦　格太郎（逝貞）　政左衛門　3人半扶持　M2　11才　西源寺　6丁

石　浦　一　誠（次左衛門，久平）　次左衛門一誠　50俵　M3　40才　広済寺　10丁

石　浦　寛　勝（佐吉郎）　用五郎寛教　70

石　M3　26才　広済寺　7丁　2冊
石　上　石之介（千年）　行蔵　2人扶持　M2　20才　経王寺　7丁
石　川　　巌（良興）　伝吾　20俵　M4　23才　善福寺　6丁
石　川　岩之助（貞昌）　左次馬　6人扶持　M2　23才　専光寺　7丁
石　川　栄左衛門（敬用）　七左衛門　30俵　M3　67才　徳仁寺　6丁
石　川　九　郎（庫太，時習）　吉左衛門時敏　100石　M3　23才　松山寺　7丁
石　川　見　斉（貞吉）　太次右衛門　7人扶持　安政6　松山寺　8丁
石　川　咸　律（平太郎）　平作　15俵　M3　18才　西源寺　5丁
石　川　勝左衛門（信愛）　遊全　2人扶持　安政4　23才　8丁
石　川　昌三郎（知新）　昌叟従人　35石　M3　40才　円長寺　6丁
石　川　信　一　政勝　10石　M6　31才　実成寺　8丁
石　川　賀　規（宗作）　貞助親賀　50石　M3　47才　妙法寺　6丁　2冊
石　川　孝　恭（元立）　桂造文賢　7人扶持　M3　24才　本泉寺　5丁　2冊
石　川　知　久（喜太郎）　昌左衛門　20俵　M3　49才　立像寺　6丁
石　川　絜　矩（駒之）　兵勝定矩　600石　M3　35才　宝憧寺　8丁
石　川　　洲　絜矩　600石　M7　30才　宝憧寺　6丁
（帙　28）石　川　敬　義（廉太郎）　扶綱　3人扶持　M7　26才　東本願寺別院　6丁　2冊
石　川　平　作（但吉）　太兵衛　15俵　M3　46才　西源寺　6丁
石　川　兵　蔵（篤行）　兵蔵　25俵　M3　39才　本誓寺　5丁
石　川　良　晴（元四郎）　織右衛門　20俵　M3　40才　栄明寺　7丁
石　川　柳　作（長之助，直恒）　元右衛門　20俵　M5　栄明寺　3丁　2冊
石　倉　謙　造（藤蔵，久次）　兵左衛門　20俵　M3　26才　賢聖坊　5丁
石　黒　怡　楽（伝右衛門，盈謙）　喜助盈静　7人扶持　M3　71才　妙典寺　6丁　2冊
石　黒　宇万伎（真福）　琢二真得嘉　7人扶持　M3　25才　因徳寺　3丁
石　黒　永次郎　言智　10石　M8　29才　善福寺　5丁
石　黒　栄太郎　三八　150石　M7　12才　立像寺　7丁
石　黒　覚　治　友治　16.5石　M6　25才　光専寺　7丁
石　黒　喜十郎（幸直）　権之介　15俵　M3　21才　浄安寺　8丁
石　黒　久太郎（包知）　庄平　23俵　M3　53才　経王寺　7丁
石　黒　熊次郎（政局）　儀陸　15俵　M3　28才　弘願寺　5丁
石　黒　小右衛門（直義）　藤作　10人扶持　M1　43才　13丁
石　黒　小　平（正安）　勘四郎　1人半扶持　M4　63才　光西寺　3丁
石　黒　権　平（清直）　轍　170石　M3　38才　久昌寺　11丁
石　黒　作　馬（算福）　作兵衛　18俵　M3　47才　永昌寺　4丁
石　黒　三　郎（親正）　順平　15俵　M3　22才　慶恩寺　7丁
石　黒　山　木（久敬）　庄兵衛　30石　M3　77才　妙感寺　3丁
（帙　29）石　黒　鈕太郎　宜令　120石　M8　等願寺　11丁
石　黒　顕左衛門（直一）　彦右衛門　60石　M1　36才　竜淵寺　14丁
石　黒　庄次郎　八郎　18俵　9才　5丁
石　黒　新　平（保徳）　勾当　3人扶持　M2　立像寺　2丁
石　黒　祐　男（政則）　新左衛門　80石　安政6　17才　松山寺　11丁
石　黒　助之丞（一吉）　元之丞　4人扶持　慶応4　27才　放生寺　4丁
石　黒　武　寿（常右衛門，善八）　善五大

夫　100石　M3　59才　妙応寺　6丁

石黒龍喜千（一義）　一郎直義　3人扶持　M3　17才　慶恩寺　4丁

石黒　民　覚治　16石5斗　M7　6才　光専寺　5丁

石黒智英（平三）　平次右衛門　40俵　M3　43才　西源寺　7丁

石黒つね　清五郎　10石　M6　19才　善福寺　4丁

石黒直義（一郎，五三）　藤作忠順　10人扶持　M3　46才　慶恩寺　11丁

石黒魚淵（堅三郎）　判大夫　150石　M3　54才　立像寺　14丁

石黒鍋吉（秀金）　久蔵　20俵　M3　33才　法光寺　4丁

石黒信生（勇作，信成）　定左衛門杖信　100石　M3　45才　常福寺　10丁

石黒　昇（進，光知）　次郎左衛門知弘　500石　M4　23才　竜淵寺　17丁　2冊

石黒八郎（義郷）　甚蔵　18俵　M3　44才　善徳寺　6丁

石黒判平　数馬信氏　M3　竜淵寺　10丁

（帙　30）**石黒久茂**（鉄吉）　円蔵一嗣　35俵　M3　32才　妙法寺　10丁

石黒平治（平之助，富幾）　平吉郎　30俵　M3　40才　専光寺　6丁

石黒光綱（太郎）　七左衛門遊山信定　500石　M3　本長寺　11丁

石黒　儁（一郎）　道以直之　11人扶持　M3　31才　専光寺　13丁

石黒喜作（忠貞）　覚左衛門忠昌　M3　37才　蓮覚寺　10丁

石坂伊之作（伊太夫，善保）　伊助　20俵　M3　42才　専光寺　6丁

石坂勘太郎　伊之作　20俵　M5　21才　専光寺　5丁

石坂専之介（一之）　太郎左衛門　M3　22才　持専寺　2丁

石崎外吉（楽平）　次左衛門　15俵　M3　23才　聖興寺　4丁

石崎武寛（三郎左衛門）　九右衛門武幸　7人扶持　M3　50才　専長寺　6丁

石崎藤太郎（和則）　覚平　20俵　M5　願念寺　8丁

石崎十喜松　他見矢　15俵　M6　6才　勝満寺　2丁

石崎信之（八兵衛）　先八兵衛　25俵　M3　28才　願念寺　8丁

石崎義忠（恒太郎）　源太郎　15俵　M3　20才　願念寺　5丁

石田　宇（宇仲，忠永）　宇太夫　40石　M4　安楽寺　4丁

石田景玄（平太）　平大夫景次　100石　M3　46才　妙典寺　8丁

石田五左衛門（栄，勝久）　五左衛門富勝　3人扶持　M2　56才　勝満寺　6丁　2冊

石田和男（佐一郎，宗直）　五左衛門　45石　M3　22才　勝満寺　6丁　2冊

石田鎌六（宗貞）　和男宗直　45石　M5　勝満寺　4丁

（帙　31）**石田孝之**（増之丞，蓁）　半左衛門　25俵　M3　27才　因徳寺　7丁

石田鼎一（甚六，久方）　25俵　M5　7才　実成寺　5丁

石田宣政（一江）　嘉兵衛　25俵　M3　28才　蓮華寺　5丁

石田乗美（平三郎）　平八郎　20俵　M3　17才　本長寺　5丁

石田八百　平八　10石　M7　本長寺　5丁

石田八三　八右衛門　20俵　M3　34才　光専寺　5丁

石田正清（金三郎）　清大夫　25俵　M3　38才　本光寺　5丁

石田正安（栄磨）　栄三郎　20俵　M3　26才　立像寺　7丁

石田光度（弥吉，延之）　惣五郎　20俵　M3　31才　実相寺　4丁

石田保謙（繁二郎）　縫右衛門保全　50石　M3　16才　勝満寺　8丁　2冊

石田　豊（忠三，景信）　平太景玄

4人扶持 M4 24才 妙典寺 3丁 2冊

石出 猪三郎（至信） 吉左衛門 20俵 M3 50才 大蓮寺 7丁

石出 猛（敷秀） 藤左衛門 5人扶持 M3 33才 大蓮寺 5丁

石寺 覚之助（当直，庵） 清次郎 3人扶持 安政5 20才 徳翁寺 9丁

石野氏 重（主馬，弥平） 貢馬 230石 M3 56才 大蓮寺 12丁

石野氏 正（右近，碌一） 雅楽助氏衍 1,550石 M3 30才 大蓮寺 15丁 2冊

石野 信春（弥作，久男） 安右衛門 15俵 M3 27才 聖興寺 3丁

石野 湊（源兵衛，以文） 村右衛門 以教 40石 M3 46才 実成寺 5丁

石野与一（与四之助） 与作 15俵 M3 27才 上宮寺 5丁

(帙 32) 石橋 昌吉（数正） 宗進 5人扶持 M2 19才 蓮覚寺 3丁

石橋 良平（忠良） 良蔵妙真 40俵 M3 27才 法船寺 6丁

石橋 和平 和川 50俵 M3 55才 善隆寺 11丁

石間 宗八（宗右衛門，敏義） 也次右衛門 20俵 M3 41才 建聖寺 10丁

石丸 堅造（則愷） 瀬平則久 5人扶持 M7 44才 東本願寺別院 5丁 2冊

石丸 左平（政信） 安五郎政明 60俵 M3 47才 宝勝寺 5丁

石丸瀬左衛門（則従） 五兵衛 40石 文久2 49才 東本願寺別院 4丁

石丸 順之助（則愷） 瀬左衛門 2人扶持 白銀6枚 文久2 31才 東本願寺別院 5丁

石丸所左衛門（定僧） 平右衛門 40石 M3 63才 浄智寺 6丁

石丸 安五郎（政明） 八郎政孝 150石 M3 61才 宝勝寺 7丁

石山一見（与三八，正忠） 力右衛門 18俵 M3 20才 専光寺 6丁

石山二太（兵馬，孝之） 源五郎 2人扶持 万延2 25才 西勝寺 8丁

泉 喜久男（周蔵，英勝） 吉郎兵衛 22俵 M3 51才 乗光寺 6丁

泉 五重郎（五兵衛，友直） 五兵衛 18俵 M3 49才 聖興寺 4丁

泉 清作（久安） 清蔵 20俵 M3 42才 知覚寺 8丁

泉 全身（孫左衛門，孫之丞，孫六） 孫左衛門教敬 6人扶持 M3 39才 浄智寺 4丁 2冊

泉 則篤（市之丞，一二） 市右衛門 20俵 M3 37才 蓮昌寺 4丁

泉 要助（要，盛光） 甚兵衛 3人扶持 3俵 M3 37才 小万寺 4丁

和泉八左衛門（維則） 七左衛門 50石 M2 50才 珉徳寺 4丁

泉崎 志津男（孔武） 3人扶持 M3 61才 静明寺 6丁

泉崎 次三郎（雍睦） 志津男 11俵 M4 19才 静明寺 5丁

(帙 33) 泉沢 惣平（時安） 惣安 12俵 M4 86才 西法寺 2丁

伊勢 吉平（吉備，芳政） 権左衛門 22俵 M4 16才 西方寺 3丁

伊勢 慎吾（貞良，杢左衛門） 右平貞道 100人扶持 M3 極楽寺 12丁

伊勢半次（安定） 定右衛門 15俵 M3 26才 浄明寺 3丁

伊勢政順 吉平 11石 M7 10才 西方寺 4丁

井関伊右衛門（化教） 竜左衛門 25石 M1 56才 誓海寺 4丁

井関 卯子吉（式化） 伊右衛門 5人扶持 安政5 18才 11丁 2冊

井関久次 貞次 25石 M8 62才 永順寺 4丁

井関甚八（久次） 源六 30俵 M3 58才 永順寺 3丁

井関好義 貞幹 15石 M7 45才 浄住寺 9丁

井関太郎右衛門（貞幹） 太郎右衛門 40石 文久3 59才 浄住寺 9丁
井 関 太十郎（好義） 太郎右衛門 2人扶持 M3 41才 浄住寺 6丁 2冊
伊 関 百 寿（梶右衛門，嘉二恵） 嘉右衛門 20俵 M3 48才 長周寺 9丁
伊 関 勇次郎（方政） 伝太夫 20俵 M3 27才 本浄寺 7丁
磯 田 正 秀（静作） 安兵衛 20俵 M3 26才 常福寺 6丁
磯 野 兵 馬（政楢） 右兵左衛門 9人扶持 M3 26才 円祐寺 15丁
磯 松 正 庸（孝三郎） 保山正位 300石 M3 28才 経王寺 10丁
磯 村 久次郎（道守） 藤次郎 2人扶持 M2 22才 正覚寺 5丁
磯 村 文太郎（武経） 房男 20俵 M4 11才 西源寺 7丁
板 賀 義 知（甚太郎） 源助知信 25俵 M3 28才 正覚寺 6丁
（帙 34） 板 坂 菊太郎（敦親） 忠次郎徳親 200石 M3 23才 妙泰寺 10丁
板 坂 尚 貞（大三郎） 森右衛門尚弼 200石 M3 14才 妙泰寺 9丁
板 坂 久（知通） 佚翁通朗 200石 M3 45才 妙泰寺 15丁
板 坂 道 雄（伝，誠之） 寛窓久道 130石 M3 35才 妙泰寺 14丁
市 井 栄左衛門（当孝） 甚八 5人扶持 元治2 46才 西源寺 5丁
市 井 清（正忠） 仙太郎忠久 12俵 M4 25才 西勝寺 8丁
市 井 三太郎（喜時） 義作 2人扶持 文久3 41才 西勝寺 12丁
市 川 愛二郎 同一 7石 M8 9才 超雲寺 4丁
市 川 欽 三（吉蔵，信友） 喜左衛門成知 40俵 M3 47才 善隆寺 6丁
市 川 逸 記（織之助，古寿） 良左衛門 35俵 M3 24才 本因寺 8丁
市 川 一 正（静治） 与左衛門 15俵 M3 21才 願念寺 5丁
市 川 喜十郎（知彰） 造 40俵 M3 21才 善隆寺 2丁
市 川 金 策（武蔵） 作太夫 5人扶持 M3 26才 法然寺 2丁
市 川 幸次郎（義直） 幸平 15俵 M3 19才 法然寺 5丁
市 川 幸 平（直行） 太兵衛 20俵 M3 59才 法然寺 7丁
市 川 是 伯（元吉） 洞元 5人扶持 M3 27才 善隆寺 5丁
市 川 為 準（水平，依時） 道作 4人扶持 M3 51才 善隆寺 7丁
市 川 知 行（造） 喜左衛門成知 40俵 M3 49才 善隆寺 7丁
（帙 35） 市 川 文 吾（治以） 五兵衛治世 4人扶持 M3 48才 超雲寺 5丁 2冊
市 川 正 秀（信吾） 治内 20俵 M4 26才 敬栄寺 7丁
市 川 積 善（和人） 源三郎忠知 100石 M3 27才 妙法寺 9丁
市 川 弥五郎（唯茂） 弥助 20俵 M3 69才 西勝寺 4丁
市 河 三 鼎（渡） 三山，三兵 250石 M3 37才 本是寺 15丁
一 木 清六郎（公福） 源太郎公忠 500石 M3 36才 浄安寺 13丁
市 島 美 敬 有鄰 12石5斗 M7 27才 名願寺 8丁
市 原 久右衛門（就本） 勘左衛門茂実 2人半扶持 M2 48才 聖興寺 9丁
市 原 作右衛門（清之） 次右衛門 30石 M2 37才 慶覚寺 8丁
市 原 多 門（久之） 楽翁，有親 8人扶持 M5 43才 聖興寺 6丁 2冊
市 原 万 平（平馬，有国，保明） 万平 明保 8人扶持 M3 45才 善福寺 6丁 2冊
市 原 守 衛（則正） 作右衛門 15俵 M3 19才 徳竜寺 5丁
市 村 市郎兵衛 理平 9石5斗 M7 28才 長光寺 4丁
市 村 休 翁（愛之） 2人扶持 M3

67才　願念寺　2丁

市　村　幸三郎（茂一）　幸次郎　15俵　M3　31才　常福寺　4丁

市　村　宗一郎（守精）　伊左衛門　15俵　M3　22才　福念寺　9丁

市　村　辰之助（紀義）　兵摩　3人半扶持　M2　25才　光専寺　3丁

(帙 36) 市　山　弥仲太（安定）　安左衛門　60石　天保10　44才　希翁院　17丁

一　色　昌　保（源三郎）　源右衛門昭氏　100石　M3　67才　大蓮寺　13丁

一　色　幸次郎　昌保　100石　M6　37才　大蓮寺　10丁

一　色　昌　和（賛造）　覚　24石　M8　24才　大蓮寺　5丁　2冊

井　東　伊三郎（敬義）　孫兵衛　15俵　M3　22才　妙玄寺　7丁

伊　東　西　帰（小左衛門，以如）　卯兵衛　祐金　350石　M3　62才　極楽寺　15丁

伊　東　十　平（孚，忠勝）　梅寿　5人扶持　M3　浄住寺　5丁

伊　東　八　郎（八郎左衛門，祐行）　八郎左衛門祐義　4人扶持　M3　54才　善徳寺　8丁　2冊

伊　東　　寛（愛親）　兵蔵愛信　M5　33才　瑞雲寺　6丁

伊　東　己吉郎（光徳）　其楽　200石　M3　26才　妙泰寺　7丁

伊　東　安太郎（愛人，愛敬）　兵蔵　230石　M3　6才　瑞雲寺　9丁

伊　東　明　久（弥吉）　弥兵衛　15俵　M3　18才　西勝寺　4丁

藤

伊　藤　在　義　在信　20石　M7　30才　蓮覚寺　9丁

伊　藤　栄　次（忠陸）　与三右衛門　11俵　M4　44才　西方寺　4丁

伊藤嘉左衛門（加教）　弥右衛門　50石　M2　60才　立像寺　9丁

(帙 37) 伊　藤　休　意（権左衛門，正荘）　権左衛門長光　100石　M3　59才　妙円寺　7丁　2冊

伊　藤　勝次郎（端荘）　権左衛門　30石　M2　16才　妙円寺　3丁

伊　藤　勝次郎（保道）　六右衛門　3人扶持　M2　23才　5丁

伊　藤　義一郎（守政）　方一郎　45俵　M5　47才　照台寺　8丁

伊藤喜三右衛門（嘉勝）　喜三兵衛　40石　M3　30才　永順寺　14丁

伊　藤　儀三郎（勝身）　喜久馬　200石　M3　妙法寺　12丁

伊　藤　才太郎（清一）　喜兵衛　20俵　M3　18才　唯念寺　7丁

伊　藤　重　輔（政之）　七之丞　6人扶持　M2　52才　浄光寺　3丁

伊　藤　茂　忠（茂作）　茂三郎　18俵　M3　24才　専光寺　5丁

伊　藤　茂　行（太三郎，勝国）　新左衛門　15俵　M3　22才　浄明寺　5丁

伊　藤　　静（寿盈）　清蔵　20俵　M3　20才　因徳寺　6丁

伊　藤　重九郎（武左衛門，信顕）　六左衛門　6人扶持　M2　45才　慶恩寺　8丁

伊　藤　助太夫（信寛）　助左衛門信方　50石　M1　54才　浄行寺　7丁

(帙 38) 伊　藤　大三郎（孝生）　嘉左衛門　5人扶持　M2　30才　東本願寺別院　4丁

伊　藤　太十郎（衆允）　五郎右衛門　20俵　34才　本浄寺　7丁

伊　藤　但　見（直温）　数馬　80石　安政4　25才　本妙寺　11丁

伊　藤　鎮次郎　牛兵衛延昷　20俵　M4　23才　法光寺　6丁

伊　藤　恒之助（矩為）　縫殿　60石　慶応2　15才　浄安寺　16丁

伊　藤　常　乗（順晃）　久米重順　50俵　M4　23才　瑞光寺　8丁

伊　藤　徳太郎　則毅　10石　M7　9才　西源寺　5丁

伊　藤　八兵衛（他吉，博時）　三郎右衛門　120石　安政5　18才　12丁

伊　藤　彦　六（友茂）　彦左衛門　2人扶持　M3　40才　慶恩寺　6丁

伊　藤　孫　六（祐順）　五郎左衛門　90石

安政4　33才　瑞雲寺　10丁

(帙 39) 伊藤和一(与四次郎)　与四郎　20俵　M2　19才　専光寺　6丁

伊藤理新(喜一郎)　安兵衛　18俵　M3　17才　専光寺　3丁

伊藤正康　重　114石　M7　13才　高岸寺　9丁　2冊

伊藤又八郎(一守)　方一郎　40俵　M5　33才　照台寺　5丁

伊藤茂三郎(経則)　茂左衛門　20俵　M3　32才　西源寺　7丁

伊藤弥三郎(久吉)　良左衛門　3俵　M3　高岸寺　3丁

伊藤保三郎　外次郎　10石　M8　1才　法光寺　7丁

伊藤八十吉(弥三郎，在義，八十八)　宇左衛門在信　50俵　M3　26才　蓮覚寺　8丁

伊藤　可　源太　30石　M6　24才　妙慶寺　7丁

伊藤吉次　喜一郎　20俵　M3　37才　照台寺　8丁

伊藤　了(保之助，祐廉，保八)　次郎左衛門　20俵　M2　40才　照台寺　9丁

伊藤亮佐久(喜信)　喜八郎　20俵　M4　29才　徳栄寺　6丁

(帙 40) 稲枝琴太郎　清琴　3人扶持　M7　西勝寺　5丁

稲枝亮作　俊宣　3人扶持　M6　24才　西勝寺　2丁

稲垣周一(太一，周行)　章左衛門　78俵　M3　57才　承証寺　14丁

稲垣一平(周急)　太一　40俵　M3　32才　承証寺　8丁　2冊

稲垣　爵(守廉)　志津馬為文　1,000石　M3　47才　浄住寺　22丁

稲垣基雄淡　52石　M7　17才　11丁

稲川喜三(茂次)　権平義次　20俵　M5　35才　長教寺　6丁

稲葉意休(信辰)　十佐衛門信一　2人扶持　M3　75才　円長寺　6丁

井波喜兵衛(吉永)　安右衛門　2人扶持　M2　41才　慶覚寺　5丁

井波源太郎(文郷)　仕平　2人扶持　慶応2　53才　9丁

井波兵太郎　兵作　9石　M6　16才　徳栄寺　3丁

稲本悠三(安太郎，儀次)　覚大夫　15俵　M3　広済寺　6丁

稲本録郎(鉦吉郎，正一)　清介　20俵　M3　20才　広済寺　4丁

乾　久三(久右衛門，政孝)　清右衛門　15俵　M3　39才　東本願寺別院　3丁

乾　外次郎(直久)　逸角　7人扶持　慶応4　45才　妙典寺　5丁

乾　直定(新四郎)　逸角直如　100石　M3　55才　妙典寺　6丁　2冊

乾　寨一郎(久米人，直而)　新四郎直定　2人扶持　M3　30才　妙典寺　5丁

乾　政吉　耕作　8石　M6　13才　松縁寺　8丁

(帙 41) 井野虎之助(克定)　晋次郎　6人扶持　M1　33才　妙玄寺　4丁

井上栄太郎　致由　10石　M8　2才　安立寺　4丁

井上栄八郎(一清)　澁島一則　60俵　M3　37才　7丁

井上一寿(弥三兵衛，邊)　弥兵衛　25俵　M3　55才　本覚寺　9丁

井上喜久馬(政秀)　勘七政周　150石　M3　68才　照円寺　16丁

井上匡平(祥郷)　見龍　6人扶持　M3　39才　常福寺　7丁

井上潔知(歩)　辰之助包孝　150石　M3　34才　蓮昌寺　7丁

井上源太郎(一徳)　多門一直　250石　M3　16才　蓮昌寺　11丁

井上是致(他次郎)　孝平　18俵　M3　20才　妙福寺　9丁

井上索二(八左衛門，忠観)　弥五兵衛簡忠　M3　実成寺　12丁

井上作馬(作之丞，政章)　和美　2

人扶持 M2 37才 妙典寺 9丁
井上茂好（勇） 清五兵衛 35俵 M3 56才 安立寺 6丁
井上藤太郎 茂好 12石 M6 2才 安立寺 5丁
井上新次郎（好政） 勇 15俵 M3 20才 安立寺 7丁
井上只太郎 一寿 12.5石 M7 12才 本覚寺 6丁
井上忠次（三郎兵衛，三郎平） 与八郎 25俵 M3 50才 安立寺 7丁
井上忠敬（勘六） 藤大夫政則 300石 M3 33才 専光寺 16丁
（帙 42）井上忠吾（忠左衛門，正忠） 順徳 40俵 M3 55才 善福寺 9丁
井上 比（本立） 三四郎尚志 100石 M3 41才 弘願院 10丁
井上鈕太郎（道之） 比本立 100石 M5 27才 弘願院 11丁
井上鉄蔵（義正） 弥三右衛門 60石 M2 64才 立像寺 5丁
井上常男（義光） 鉄蔵 4人扶持 M3 19才 立像寺 6丁
井上伝左衛門（宛直） 義左衛門 70石 M2 55才 妙典寺 16丁
井上直作（由孝） 文内 2人扶持 M3 26才 妙立寺 3丁
井上尚久（孫人，梧平） 勝左衛門 40石 M3 26才 松月寺 8丁
井上延栄 延玄 11石 M7 30才 光教寺 4丁
井上 舜（屋章） 久大夫隆重 40俵 M3 42才 永願寺 4丁
井上八郎兵衛（幸待） 平左衛門 50石 安政7 56才，立像寺 24丁
（帙 43）井上一二三（才兵衛） 円三郎久周 50俵4斗 M3 61才 光専寺 11丁
井上幸定（才次） 一二三義定 40俵 M4 24才 光専寺 9丁
井上孫二（直保） 伝左衛門 1人扶持 M2 18才 4丁
井上政忠（秀三郎） 源兵衛忠久 200石 M3 37才 全性寺 19丁
井上正保（平左衛門，平作） 吉平 40俵 M3 47才 法然寺 5丁
井上盛童（権平） 唯蔵之盛 130石 M3 36才 松月寺 14丁
井上安平（安右衛門，茂信） 八左衛門 30俵 M3 58才 静明寺 6丁
井上祥子（佐七郎） 栄信，幸待 3俵 M3 25才 立像寺 5丁
井内亀吉（通知） 茂八 10人扶持 文久1 16才 7丁
井口猪三郎（恭邦） 理右衛門 15俵 M3 21才 珉徳寺 8丁
井口勝男（忠剛） 久兵衛時敏 40石 M3 19才 蓮華寺 6丁
井口義平（信行） 義三郎 180石 M2 21才 高岸寺 9丁
井口久太夫（清信） 三次郎 2人扶持 安政6 31才 8丁
井口九一（九右衛門，応信） 吟右衛門崇 60俵 4斗 M3 69才 徳竜寺 5丁
井口久敏 九一 20石 M7 23才 徳竜寺 7丁
井口源六（富房） 源兵衛 10俵 M4 34才 瑞泉寺 3丁
井口銓次郎（久忠） 久左衛門 15俵 M3 17才 光専寺 4丁
井口為一（五左衛門，祝始郎） 九左衛門之為 35俵 M3 42才 善徳寺 6丁
井口永政（与左衛門，与一） 善左衛門 20俵 M3 45才 慶恩寺 8丁
井口 済（嘉一郎） 七大夫武啓 100石 M3 59才 徳竜寺 10丁
（帙 44）井口久直（準三郎） 次左衛門 40俵 M3 24才 等雲寺 9丁
井口久宣（久左衛門，久吾） 久之丞 18俵 M3 48才 光専寺 6丁
井口ふさ 善右衛門 10石 M7 48才 慶恩寺 5丁
井口保重（伊三郎） 定平致盈 30俵

M3　26才　大円寺　7丁

伊子忠和（将左衛門，将三）　新六忠春　70石　M3　45才　妙立寺　10丁

伊子忠恕（久男）　忠和　26石　M6　15才　妙立寺　6丁　2冊

猪俣直江（景晴）　小兵衛　160石　M5　58才　本光寺　6丁　2冊

猪俣景吉（常太郎，景正）　直江景晴　160石　M5　28才　本光寺　7丁

（帙 45）猪山　彦（彦蔵，直之）　彦蔵信之　180石　M3　59才　極楽寺　11丁

猪山左内（成之）　彦蔵直之　40俵　M3　27才　極楽寺　13丁

井原作左衛門（安秀）　仙之丞　2人扶持　M3　50才　願生寺　3丁

井原くら　安秀　5石　M7　16才　願生寺　3丁

井原霊明　安秀　5石　M8　27才　願生寺　3丁

今　矢柄（久之）　俊平　50石　安政4　26才　真長寺　7丁

今　太次馬　久之　19石　M7　29才　真長寺　9丁

今井[illegible]（信幸）　忠左衛門信英　27俵　M5　55才　栄明寺　3丁　2冊

今井三内（雅一）　左大夫雅信　60俵2斗　M3　55才　慈雲寺　6丁

今井重矩（健蔵，健吉）　清八　20俵　M3　35才　成蓮寺　4丁

今井秀作（秀寅）　弥兵衛　15俵　M3　25才　東本願寺別院　3丁

今井　泉（兼和）　昌斬維政　54俵　M3　51才　西方寺　8丁

今井善造（善蔵）　善右衛門　15俵　M3　28才　西源寺　3丁

今井太平（定良）　太平　15俵　M3　39才　光専寺　3丁　2冊

今井恒平（弥十郎）　伊助　15俵　M3　26才　東本願寺別院　4丁

今井藤馬（義信）　勘六信之　4人扶持　M3　30才　東本願寺別院　3丁

今井　久（久太郎，雅飭）　彦左衛門雅幸　300石　M3　26才　慈雲寺　14丁

今井平一（平左衛門，兼美）　三四郎兼定　70石　M3　46才　長善寺　8丁　2冊

今井平後郎（兼久）　平左衛門兼美　3人扶持　M3　16才　長善寺　4丁

（帙 46）今井政延（末次郎）　与三七　15俵　M3　31才　名願寺　3丁

今井政盛（権次郎）　理右衛門　15俵　M3　25才　正楽寺　3丁

今井光則（作左衛門，作五郎，簡定）　作左衛門　5人扶持　M4　43才　勝満寺　3丁　2冊

今井八百次郎　藤馬　4人扶持　M5　1才　東本願寺別院　3丁

今井良三郎（矩道）　多宮矩静　500石3　44才　真行寺　14丁

今枝弥平次（直応）　内記易良　14,000石　M4　57才　13丁

今川一二（源次郎，為富）　長助　15俵　M3　30才　光専寺　3丁

今川栄吉（成安）　権右衛門　20俵　M3　25才　本光寺　13丁

今川一也（朔四郎）　半六　86俵　M4　20才　等願寺　6丁

今川権次郎　弥外次　5石4斗　M6　13才　等願寺　7丁

今川甚三郎（充親）　栄吉　20俵　M4　16才　本光寺　8丁

今川半六（敏行）　休翁有慶　120石　M3　65才　等願寺　8丁一席

今川昌治（[illegible]太郎）　大順　3人扶持　M3　18才　等願寺　8丁

今川又吉（道直）　金蔵有政　150石　M3　36才　等願寺　8丁

今地三平（政之助，正明）　嘉左衛門　11人扶持　元治1　23才　西源寺　14丁

（帙 47）今村伊太夫（乗蔵）　久之丞　2人扶持　M2　49才　西光寺　7丁

今村伊太郎（祐正）　伊右衛門祐次　40俵　M3　15才　本覚寺　3丁

今村市三郎（市蔵，辰茂）　孫三郎　25

俵 M3 36俵 名願寺 7丁
今村伊八郎（信敬） 宗左衛門 40石 慶応4 15才 7丁
今村兎朔（潤） 八方軒友賢 50石 M3 52才 正福寺 6丁
今村景徳（喜太郎，景政） 五郎兵衛景光 300石 M3 22才 放生寺 11丁
今村計延（清之丞，鉄男） 六太夫 20俵 M3 31才 願楽寺 5丁
今村儀一（辰三郎） 半之丞 20俵 M3 17才 宗徳寺 5丁
今村喜平（申道） 喜左衛門 2人扶持 M2 33才 瑞泉寺 5丁
今村久次郎（義定） 久太郎 15俵 M3 17才 道林寺 4丁
今村謙吉（佐平） 佐兵衛惟一 50石 M3 名願寺 7丁
今村謙七（鎌蔵） 弥三郎 15俵 M3 51才 聞善寺 6丁
今村耕作〔端本〕 1丁
今村五郎（与三次郎，正冨） 九右衛門 15俵 M3 20才 専光寺 3丁
今村貞良（二之助，徳二，是則） 仁助 15俵 M3 31才 光専寺 3丁
今村次右衛門（政邦） 丈右衛門 70石 M1 48才 法然寺 10丁
今村　茂（虎次郎，政時） 九郎兵衛 15俵 M3 27才 専光寺 3丁
今村志津衛（伊右衛門，祐次） 九左衛門祐之 51俵 M3 45才 本覚寺 6丁
今村次太夫（定吉） 次郎吉 5人扶持 M3 28才 極楽寺 3丁
今村清作（表山） 恒作 6人扶持 慶応3 27才 7丁
今村清三郎（茂忠） 定之丞 15俵 M4 16才 珉徳寺 4丁
今村専丞（三弥，美恭） 小佐次 30石 安政3 35才 常照寺 5丁 2冊
（帙 48） 今村宗作（吉蔵，定良） 市右衛門 2人扶持 M3 46才 長念寺 4丁
今村宗次郎（信正） 栄次郎 15俵 M3 20才 光専寺 4丁
今村隆也（丈五郎，先） 林右衛門隆中 6人扶持 M3 22才 名願寺 4丁
今村拓治 宗作 2人扶持 M5 21才 5丁
今村種晴（耕作） 栄蔵 18俵 M3 30才 本誓寺 5丁
今村東郊（権兵衛，輝朝） 庸之助右保 150石 M3 34才 承証寺 12丁
今村徳衛（徳左衛門，克宣） 徳左衛門克忠 40石 M3 照円寺 7丁
今村直定（甚兵衛，左平） 右内直清 8人扶持 M3 43才 興徳寺 6丁 2冊
今村八郎（守俊） 八左衛門 2人扶持 M2 24才 瑞泉寺 2丁
今村初太郎 定吉 5人扶持 M5 極楽寺 4丁
今村政清 政令 300石 M5 20才 鶴林寺 5丁
今村りう 六兵衛 12石 M10 55才 願楽寺 4丁
今村里太夫 15俵 慶応1 48才 静明寺 7丁
今村鐐他郎 4俵 M3 西光寺 3丁
井村猪六（猪之助，武明） 吉右衛門 20俵 M3 44才 瑞泉寺 6丁
井村作之丞（政徳）源右衛門 9人扶持 M1 36才 願念寺 7丁
井村秀作 吉男 20俵 M4 18才 瑞泉寺 6丁
井村虎三郎 秀作 10石 M6 8才 本性寺 5丁
井村　意（意平，知一） 三六 20俵 M4 22才 本誓寺 6丁
井村直次郎（八郎） 意 20俵 M5 17才 本誓寺 6丁
井村義次（庄七） 彦四郎 15俵 M3 31才 西方寺 4丁
（帙 49） 入江こと 左平次 4石 M7 18才 専光寺 5丁

入江昌影（長重郎） 半蔵昌盛 300石 M3 35才 長久寺 12丁
入江皆富（朝魚） 宅左衛門忠諸 60石 文久2 21才 光覚寺 12丁
入江弥作（則清） 弥三兵衛 15俵 M3 26才 専光寺 4丁
入江与作 与平 M6 35才 慶覚寺 1丁
岩井源五郎（正叙） 豊左衛門方救 35俵 M3 51才 西方寺 7丁
岩井叙久（熊吉） 九右衛門 15俵 M3 長徳寺 3丁
岩内義平（吟平，義幸） 辰三郎 12俵 M4 31才 希翁院 7丁
岩尾昌隣（余所男） 喜遊，道胤 130石 M3 33才 弘願院 3丁
岩木貞直（雅吉） 和一郎中貞 9人扶持 M3 27才 円長寺 6丁
岩木弥三郎（弥次右衛門，一久） 弥助 15俵 M3 31才 光専寺 3丁
岩城助貞（兵作） 兵助 20俵 M3 24才 妙典寺 5丁
岩城忠義（直治郎） 直次郎 20俵 M3 39才 円光寺 6丁
岩城豊常（鉄之介，昌勝，周三郎） 岩之助 20俵 M3 専光寺 6丁
岩城護之（貞造） 50俵 M3 45才 専光寺 3丁
岩倉伊三郎（永宣） 文右衛門 40石 M1 39才 高岩寺 5丁
岩倉金一郎（珍音） 彦造 15俵 M3 23才 高岩寺 9丁
岩崎音之丞（景貞） 清右衛門 3人半扶持 M2 20才 高源院 3丁
岩崎勝見 浅之丞 50石 慶応2 25才 照円寺 8丁
岩崎きん 津平 4.5石 M7 13才 浄光寺 2丁
岩崎金左衛門（雅之助，有吉） 50石 慶応2 23才 大岩寺 13丁
（帙 50） 岩崎孫之丞（矩一） 弥左衛門 7人扶持 慶応2 42才 常徳寺 10丁
岩崎政 有吉 19石 M7 2才 大岩寺 7丁
岩崎鯉三 有吉 19石 M7 31才 大岩寺 9丁
岩崎利右衛門（友清） 清兵衛 2人扶持 M2 52才 3丁
岩崎聯叟（満堯） 弥兵衛美満 7俵 M3 62才 善徳寺 4丁
岩田朝次郎（易一） 栄吉 3人扶持 文久2 20才 蓮華寺 13丁
岩田卯八郎（規賢） 与三左衛門 4人扶持 M2 46才 西教寺 4丁
岩田斧吉 安久 44石9斗 M8 27才 常松寺 10丁
岩田作次郎 政直 7石5斗 M7 9才 高岸寺 3丁
岩田顕一郎（一匡） 陸六 25俵 M4 45才 静明寺 6丁
岩田甚次郎（行信） 久右衛門篤 2人扶持 M3 29才 西光寺 6丁
岩田清太夫（篤） 50石 M2 64才 12丁
岩田文太夫（行信） 清大夫 2人扶持 慶応2 25才 5丁
岩田雄太郎（保則） 市郎保定 11俵 M3 19才 立円寺 4丁
（帙 51） 岩野玉記（幸治） 喜内 50石 M2 23才 棟岳寺 9丁
岩野儀郎 儀六 43石 M7 27才 高岸寺 8丁
岩村源五郎（勝忠） 喜内 3人扶持 M4 25才 本是寺 5丁
岩村作右衛門（篤行） 作右衛門 60石 M2 46才 珉徳寺 8丁
岩村作右衛門（久賢） 庄蔵 4人扶持 安政4 49才 本行寺 6丁
岩村松三郎（稠則） 作右衛門 9俵 M3 34才 本行寺 4丁
岩村戸右衛門（経倫） 戸右衛門 7人扶持 慶応4 62才 本是寺 14丁

岩 村 襄 隣（源右衛門，源七） 経倫 12石 M7 38才 本是寺 5丁 2冊
岩 室 瀬 兵（瀬兵衛，安治） 平格慎 50石 M3 37才 法光寺 10丁
岩 室 鍵太郎（一安） 瀬兵衛 7俵 M3 10才 法光寺 5丁
岩 脇 孝 道（八之丞，八十次） 与三助 25俵 M3 47才 法船寺 7丁

う 行

（帙 52）上 生 源 次（久義） 源左衛門 13俵 M3 44才 専光寺 4丁
上 木 久 平（儀路） 多門信尚 250石 M3 58才 円光寺 11丁
上 木 忠太郎（定儀） 久平儀路 250石 M4 円光寺 12丁
上 木 九 郎（庸之） 与二郎 800石 M3 31才 蓮覚寺 11丁
上 坂 乙 男（正吉） 勘十郎 15俵 M3 25才 光徳寺 4丁
上 坂 景 順（小平太） 九右衛門景庭 50石 M3 22才 長久寺 7丁
上 坂 吉十郎（吉一） 理吉 12俵 M4 40才 正福寺 6丁
上 坂 滝次郎 九右衛門 M4 7丁
上 坂 信 安（徳三郎） 豊太夫信久 4人扶持 M3 31才 上宮寺 7丁 2冊
上 坂 元 之（治三郎） 逸之助信政 100石 M3 33才 西蓮寺 13丁
上 杉 寛 二（寛） 順道 5人扶持 M5 25才 12丁
上 杉 八 郎（知安） 八左衛門 8人扶持 M3 28才 光教寺 7丁
上 杉 半 平（易彰，半之進） 梶之助易順 9人扶持 M3 37才 本長寺 5丁 2冊
上 田 歩（宗右衛門，信義） 八郎左衛門信道 400石 M3 49才 松山寺 12丁 2冊
上 田 郁（津右衛門，為雄） 庄兵衛 22俵 M3 44才 乗善寺 4丁
上 田 幾 太（尚久） 太仲維貞 50石 M3 36才 浄誓寺 7丁
（帙 53）上 田 一 学（幹親，正人） 作 40俵 M3 24才 妙玄寺 6丁
上 田 歌 男（歌之助，直久） 6人扶持 M3 48才 妙典寺 6丁 3冊
上 田 幸次郎（信久） 歌男直久 2人扶持 M3 15才 妙典寺 4丁
上 田 宇 平（勝忠） 清大夫 20石 M3 45才 照円寺 5丁
上 田 永五郎（正勝） 庄平 15俵 M3 19才 専長寺 5丁
上 田 栄 治（栄蔵，友成） 弥平 17俵 M3 74才 専長寺 3丁
上 田 栄太郎（信幸） 儀右衛門 15俵 M3 20才 東本願寺別院 4丁
上 田 綏 作（正一） 彦助政信 40俵 M3 24才 妙玄寺 8丁
上 田 音次郎（政之） 伊三郎 20俵 M4 23才 妙立寺 7丁
上 田 改 作（政勝） 勘左衛門政旭 40俵 M3 41才 妙玄寺 6丁
上 田 薫（一貞） 平左衛門 2人扶持 M3 20才 本性寺 3丁
上 田 覚次郎（信敬） 覚左衛門満堯 50石 M3 26才 本性寺 7丁
上 田 一 雄（喜兵衛） 喜右衛門 15俵 M3 26才 西勝寺 6丁
上 田 勝太郎（妙伯） 清七 15俵 M3 50才 恵光寺 4丁
上 田 勝 見（保之） 理右衛門保延 5人扶持 M3 39才 竜渕寺 6丁
上 田 嘉 六（一只） 和右衛門 3人扶持 M4 56才 乗光寺 2丁
上 田 喜 三（福矩） 太助 3人扶持 M4 68才 本泉寺 3丁
上 田 喜久郎（福信） 喜三 4人扶持 M4 25才 本泉寺 4丁
上 田 吉 郎（作，貞幹） 善五郎茂昌 80石 M3 56才 妙玄寺 9丁
上 田 久太郎（正保） 小源太正中 3人扶持 M3 36才 善福寺 3丁 2冊
上 田 清 江（清右衛門，永貞） 八百記

250石 M3 40才 瑞光寺 8丁 2冊

上田 金蔵 勝忠 5石 M8 照円寺 6丁

(帙 54) 上田 久米太（久米之助，春知） 保左衛門 25俵 M3 42才 専長寺 4丁

上田 玄白（唯一） 逸安惟咸 40石 M3 51才 大念寺 6丁

上田 耕平（政武） 仁兵衛政 30石 M5 54才 弘願寺 2丁 2冊

上田 忠次郎（政忠） 耕平政武 30石 M5 15才 弘願寺 3丁

上田 再佐久（平左衛門，一清） 平兵衛，直乗 7人扶持 M3 49才 本性寺 6丁

上田 作衛（作左衛門，儀方） 祐三郎 季重 24俵 M3 37才 本誓寺 6丁 2冊

上田 作平（作左衛門，良幸） 40石 M3 43才 高岸寺

上田 三平 和兵衛 20俵 M3 44才 7丁

上田 次吉（直次） 次三郎 15俵 M3 16才 本竜寺 4丁

上田 茂三（茂右衛門，清繁） 長兵衛 7人扶持 M3 33才 慶恩寺 4丁

上田 七惣（七蔵，正一） 七左衛門 15俵 M3 18才 本誓寺 4丁

上田 治平（浜兵衛，栄乗） 治右衛門 30石 M3 74才 慶恩寺 6丁

上田 畯大（宗節，収蔵） 善島 M4 47才 5丁

上田 庄三郎（正種） 孫九郎 9俵 M4 28才 光済寺 3丁

上田 庄太郎（行定） 与三之助 15俵 M3 17才 慶覚寺 3丁

上田 庄平（政友） 長大夫 18俵 M3 60才 専長寺 4丁

上田 小馬（義次） 久平 6人扶持 M4 27才 盛法寺 3丁

上田 次郎吉（正次） 津助 24俵 M3 28才 専長寺 5丁

上田 甚五郎（行春） 甚兵衛 18俵 M3 37才 妙典寺 7丁

上田 甚作（則正） 甚兵衛 2人扶持 M4 32才 常福寺 3丁

上田 信太郎（忠一，信之助） 直居忠直 2人扶持 M3 7才 慶覚寺 6丁 2冊

上田 晋平（好謙） 新左衛門好之 14俵 M3 45才 乗善寺 5丁

(帙 55) 上田 助次郎（一政） 市兵衛 15俵 M3 24才 慶恩寺 3丁

上田 角男（幸元） 宗次郎 10俵 M4 17才 上宮寺 4丁

上田 清吾（清左衛門，親聖海） 清右衛門 1人半扶持 M4 48才 光専寺 3丁

上田 惣治（益次） 清右衛門 1人半扶持 M4 33才 光専寺 3丁

上田 清七（氏豊） 彦右衛門 15俵 M4 49才 恵光寺 6丁

上田 精三（清兵衛，資命） 清五兵衛 30俵 M3 46才 実成寺 11丁

上田 清太郎（言智） 清九郎 20俵 M3 41才 徳竜寺 9丁

上田 清兵衛（農夫治） 直三郎 21俵 M3 36才 12丁

上田 清磨（清之丞，軌知） 丈右衛門 30俵 M3 56才 本行寺 6丁

上田 他四郎（矩之） 仙五郎重治 30俵 M3 43才 広済寺 12丁

上田 多仲（維貞） 五兵衛守一 50石 天保10 44才 浄誓寺 8丁

上田 達治（正之） 勇作 20俵 M3 26才 慶恩寺 5丁

上田 太平（幹則） 市兵衛 2人半扶持 M4 44才 勝満寺 4丁

上田 玉城（貞行） 八十八一房 5人扶持 M3 28才 全性寺 7丁

上田 忠二（一法） 久右衛門 1人半扶持 M3 29才 蓮華寺 4丁

上田 忠次郎（惟一） 覚之丞克定 40俵 M3 25才 本性寺 6丁

上田 藤次郎（知信） 由左衛門 20俵 M3 17才 実成寺 6丁

上 田 銅太郎（朝保） 惣之助 20俵 M3 21才 尊光寺 5丁
上 田 外茂吉 弥十郎 10石 9才 実成寺 9丁
上 田 豊三郎（幸雅） 喜兵衛 15俵 M3 22才 西勝寺 8丁
（帙 56）上 田 寅次郎 矩之 15石 M7 9才 妙泰寺 6丁
上 田 直 吉（正義） 順吉有之 100石 M3 17才 西光寺 8丁
上 田 八三郎（成久） 雅右衛門成彦 40俵 M3 8才 妙泰寺 7丁
上 田 八 郎（八郎兵衛，昌久） 仁兵衛 10俵 M3 29才 因徳寺 5丁
上 田 八太郎（武次） 3人扶持 M3 11才 名願寺 2丁
上 田 久 尾（吉田久尾，政次） 作左衛門 15俵 M3 22才 慶恩寺 6丁
上 田 一二三（直時） 安兵衛 12俵 M4 39才 福念寺 4丁
上 田 文 作（宜矩） 忠次郎 15俵 M3 50才 光専寺 5丁
上 田 文 二 善方 12石5斗 M7 6才 心蓮社 5丁
上 田 文 次（清忠） 宗右衛門 2人扶持 M4 67才 敬栄寺 4丁
上 田 勇 作（清次） 文次 2人扶持 M5 33才 敬栄寺 5丁
上 田 又五郎（敬達） 兵右衛門 20俵 M3 42才 立像寺 7丁
上 田 軌 治 軌知 10石 M7 22才 本行寺 6丁
上 田 無事居（繁左衛門，匡幸，吉興）判左衛門匡睦 40石 M3 51才 弘願寺 5丁 2冊
上 田 弥十郎（近頼） 吉左衛門 20俵 M3 33才 実成寺 9丁
上 田 保五郎（乗久） 栄蔵 18俵 M3 34才 専長寺 4丁
上 田 安治郎（茂明） 理太夫 20俵 M3 37才 妙立寺 5丁
上 田 安 平（安兵衛） 又四郎 M3 73才 恵光寺 4丁
上 田 八十八（理右衛門，保延） 源左衛門保之 80石 M3 59才 竜渕寺 8丁
上 田 保 之 保延 80石 M6 42才 竜渕寺 5丁
上 田 八 音（六左衛門，成一） 上田休翁成信 110石 M3 48才 妙泰寺 8丁
上 田 与三吉（政近） 与三郎 9俵4斗 M4 24才 安楽寺 5丁
上 田 良 吉（弥太夫，善方） 弥九郎 25俵 M3 38才 心蓮社 6丁
上 田 良 三（軌亮） 大右衛門 20俵 M4 32才 本行寺 6丁
上 田 和太夫（茂規） 八十大夫 5人扶持 M2 32才 妙典寺 5丁
（帙 57）上 野 蛙遊見（重矩） 惣左衛門重福 40石 M3 28才 瑞泉寺 6丁
上 野 歩（太郎兵衛，重春） 伊兵衛 6人扶持 M3 33才 善徳寺 4丁
上 野 十 之（以忠） 七左衛門忠喜 35石 M3 37才 高岸寺 5丁
上 野 久 作（一忠） 市助 2人扶持 M4 29才 本光寺 3丁
上 野 源太郎（昭道） 金左衛門昭邦 120石 M3 16才 少林寺 10丁 2冊
上 野 五左衛門（重矩） 惣左衛門 40石 M2 27才 瑞泉寺 7丁
上 野 三 作（慶之） 藤兵衛 50石 文久3 35才 高岸寺 10丁
上 野 嘉太郎 三作順信 50石 M5 7才 高岸寺 6丁
上 野 小 斉（小島一行） 太兵衛 3人半扶持 M5 60才 光徳寺 7丁
上 野 小次郎（督輝） 小島 2人半扶持 M4 26才 光徳寺 4丁
上 野 盛 馬（連英） 孫十郎連喜 100石 慶応1 32才 瑞源寺 27丁
上 野 忠三郎（則親） 忠右衛門 15俵 M4 50才 慶恩寺 5丁
上 野 初三郎（直行） 伊六 2人扶持 M5 27才 林幽寺 2丁
上 野 安太郎（一力） 伊兵衛 5人扶持

M３　13才　善徳寺　4丁
上原　　歩（重方）　雀往居方　400石　M３　43才　国泰寺　9丁
上原　勘十郎（随道）　右兵衛庸道　100石　M３　34才　愛染院　13丁
上原　喜久男（補之）　清之進補貞　３人扶持　M３　16才　立像寺　6丁　2冊
（帙　58）上原　専次郎（勘右衛門，金秋）　辰次郎　12俵　M３　28才　常福寺　5丁
上原　徳太郎（道之）　勘十郎随道　50俵　M４　5才　愛染院　6丁
上原　勇次郎（貞克）　治平　150石　M３　20才　国泰寺　15丁
植松　清二郎（永成）　平左衛門永貞　180石　M３　16才　本光寺　5丁
上村　宇三郎（一秀）　与三次　15俵　M３　27才　敬栄寺　3丁
上村　嘉四郎　徳蔵　18俵　M４　66才　光教寺　3丁
上村　九八（恒吉）　久兵衛　12俵　M３　24才　尊光寺　4丁
上村　源次郎（政勝）　伝右衛門　13俵　M３　21才　敬楽寺　3丁
上村　宅平（宅之丞，正直）　宅平　20俵　M３　58才　長周寺　3丁
上村　徳三郎（道義）　嘉四郎　12俵　M４　24才　光教寺　5丁　2冊
上村　豊次郎（専助，為義）　専助　15俵　M３　29才　仁真寺　3丁
上村　半次郎（信守）　宗助　M３　23才　専光寺　4丁
上村　半六（信正）　五郎右衛門　２人扶持　M３　90才　専光寺　2丁
上村　　央（信義）　小右衛門　20俵　M４　31才　善照坊　8丁
上村　兵作（直政）　半次郎茂政　40俵　M３　40才　妙玄寺　8丁
上村　来作（信次）　孫次　15俵　M３　24才　福念寺　4丁
上村　要次郎（有政）　３人扶持　M３　24才　徳竜寺　5丁　2冊
魚住　小作（繁）　清右衛門　6俵　M５　38才　慶覚寺　5丁
魚住　七三郎（易秀）　七右衛門易則　２人扶持　M３　21才　開善寺　6丁　2冊
魚住　滄耳（滄）　恭葬恭　12人扶持　M３　56才　心蓮社　16丁
（帙　59）宇木野　三九郎（清則）　善次　25俵　M３　20才　長楽寺　8丁
卯坂　豊作（之一）　藤次郎　11俵　M３　19才　長周寺　5丁
宇佐美　昇三（尚次）　清五郎　18俵　M３　13才　徳善寺　6丁
宇佐美　覚四郎　尚次　9石　M６　14才　徳善寺　4丁
氏家　幸多郎　亥三郎　550石　M５　7才　本光寺　7丁
氏家　甚信（行莫）　吉兵衛　15俵　M３　35才　超雲寺　3丁
氏家　鉄男（定近）　第九郎孝本　200石　M３　34才　承証寺　14丁
氏家　保次（保右衛門，定知）　藁丈孝寿　100石　M３　37才　承証寺　16丁
牛坂　次作（次助，道信）　善助　12俵　M３　45才　上宮寺　4丁
丑嶋　勝太郎（時行）　林左衛門　20俵　M３　19才　如来寺　4丁
牛田　五太（直孝）　甚兵衛　６人扶持　M５　54才　本覚寺　3丁
牛田　鉄太郎（知棟）　七三助　15俵　M３　27才　常福寺　6丁
牛田　文吉　多久馬　M３　28才　6丁
牛円　元七郎（元長）　新平長陳　90石　M３　40才　興徳寺　9丁
牛村　喜作（忠喜）　市三郎　15俵　M４　33才　光専寺　5丁
牛村　喜太郎（知明）　喜助　20俵　M３　14才　慶恩寺　4丁
牛村　左平次（左五右衛門，一政）　佐次兵衛一宗　２人扶持　5俵　M３　38才　正覚寺　3丁　2冊
牛村　太一郎（一氏）　左五右衛門一政　4俵　M３　12才　正覚寺　3丁
牛村　長太郎（豊穐）　与三右衛門　15俵

M3　24才　光専寺　3丁

(帙　60) **臼井喜三治**（和貴）　文休重和　50石　M3　29才　西勝寺　7丁　2冊

臼井少次（金左衛門，守行）　左太夫守平　50石　M3　36才　西勝寺　7丁　2冊

臼井　儀（憲成）　長左衛門憲良　60俵　M3　48才　久昌寺　7丁

臼井忠太郎（憲之）　榎門憲一　150石　M3　25才　久昌寺　9丁

臼井吉次郎（一永）　吉郎　10俵　M4　21才　西勝寺　4丁

臼井吉郎（一久）　長左衛門　10俵　M4　52才　西勝寺　4丁

臼井理八郎（近信）　理右衛門如一　43石　M3　26才　照円寺　5丁　2冊

児井児一（児一，英通）　錠五郎　徹穀　100石　M3　49才　少林寺　9丁

児井喜雄（小兵衛，英富）　小兵衛重之　30石　M3　71才　少林寺　5丁　2冊

児井順次郎（英旦）　小兵衛　120石　M3　20才　少林寺　14丁　2冊

薄井　庵（義清）　清助　20俵　M3　40才　専光寺　4丁

薄井嘉平（啓次郎，應備）　季良應時　100石　M3　43才　本光寺　5丁

薄井亀吉（道久）　恒三　7俵　M4　27才　専光寺　6丁

薄井喜久雄（茂之）　清助　25俵　M3　34才　専光寺　8丁

薄井久馬雄（茂農）　多十郎　20俵　M3　27才　専光寺　5丁

薄井小弥太（弥左衛門，有一）　小右衛門有愛　50石　M3　38才　本光寺　7丁　2冊

(帙　61) **薄井茂太郎**　有信　二人扶持　M7　6才　専光寺　6丁

薄井清内（忠熙）　清之進　27俵　M3　23才　慶覚寺　7丁

薄井太仲（善之進，正則）　善作　25俵　M3　57才　願楽寺　7丁

薄井丹治（貞清）　左平甲清　100石　M3　68才　本光寺　8丁

薄井恒三（有信）　清助　4人扶持　M3　58才　専光寺　5丁　2冊

薄井友吉（則貞）　恒三　20俵　M3　27才　専光寺　5丁　2冊

薄井直喜（定省）　貞清　100石　M6　48才　本光寺　5丁　2冊

臼関政治（理三郎，金里）　理兵衛　M3　20才　等源寺　4丁

臼谷仙二郎（清太夫，方正）　茂左衛門　20俵　M3　40才　専光寺　6丁

臼谷多喜鯉（信景）　康之丞　20俵　M3　24才　等願寺　9丁

臼村武十郎（有義）　雅之丞有常　40石　M3　24才　浄光寺　5丁

宇多建次郎（信志）　源右衛門　3人扶持　M3　19才　常福寺　4丁　2冊

宇多　茂（源右衛門，信晴）　清右衛門信定　35石　M3　57才　常福寺　6丁　2冊

内尾正平（太郎左衛門，唯有）　六兵衛　15俵　M3　41才　福念寺　3丁

内尾六三郎（義円）　与三吉　2人扶持　M5　25才　勧帰寺　7丁　2冊

内木伊三郎　次大夫　3人扶持　M4　23才　因徳寺　8丁

内島卯三郎　米三　M8　常福寺　3丁

内島米三（米人，国選）　平蔵　15俵　M3　21才　常福寺　4丁

(帙　62) **内田伊三郎**（則久）　吉右衛門　1人半扶持　M3　瑞泉寺　4丁

内田市五郎（成立）　市五右衛門　27俵　M3　35才　慶恩寺　7丁

内田市三（庸忠）　平作　25俵　M3　19才　竜淵寺　8丁

内田こま　庸忠　25俵　M8　13才　竜淵寺　6丁

内田市平（市左衛門，友成）　次郎右衛門　6俵　M4　50才　照台寺　2丁

内田宗左衛門（茂正）　幾右衛門　1人半持　M3　専光寺　4丁

内 田 右藤次（余所録，孝勝） 政之佑孝信 60石 M3 30才 妙法寺 7丁 2冊
内 田 宇 平 幾右衛門 1人半扶持 M4 専光寺 5丁
内 田 鉄五郎（親栄） 甚八郎 80石 M3 53才 善福寺 6丁
内 田 閑 休（忠之） 右太夫 1人扶持 M4 蓮昌寺 7丁
内 田 栄（忠次） 閑休 2人扶持 M4 54才 蓮昌寺 8丁
内 田 喜久馬（武啓） 喜蔵 25俵 M3 31才 慶恩寺 11丁
内 田 喜三郎（理則） 松太郎 2人半扶持 M4 大蓮寺 8丁
内 田 喜 六（是則） 喜三郎 2人半扶持 M4 22才 大蓮寺 9丁
内 田 喜十郎（義久） 喜右衛門 20俵 M3 13才 名願寺 5丁
内 田 喜太郎（快起） 喜左衛門 25俵 M3 43才 慶恩寺 5丁
内 田 喜平太（信勝） 判大夫信興 150石 M3 28才 善福寺 14丁 2冊
内 田 喜与次（宗直） 庄右衛門 2人扶持 M2 52才 西方寺 7丁 2冊
内 田 源 八（虎政） 源助 20俵 M3 56才 妙法寺 6丁
内 田 耕 平（正道） 清九郎正純 100石 M3 妙法寺 10丁
（峡 63） 内 田 丈太郎（貞之） 作右衛門貞広 50石 M3 20才 名願寺
内 田 新 治（新蔵，春久） 春貞 3人扶持 M3 61才 専光寺 3丁 2冊
内 田 宗次郎 宇左衛門 1人半扶持 M3 21才 専光寺 7丁
内 田 藤右衛門（藤平，惟吉） 安兵衛 5人扶持 M2 55才 大蓮寺 4丁 2冊
内 田 藤 作（定則） 六佐衛門箇則 50俵 M3 41才 名願寺 7丁
内 田 八 郎 八郎兵衛 20俵 M3 27才 浄行寺 9丁
内 田 平 作（定好） 小三郎 28俵 M3 52才 慶恩寺 9丁
内 田 和 六（政義） 市兵衛 20俵 M4 42才 浄行寺 7丁
内 田 安次郎（是則） 和六 20俵 M3 20才 浄行寺 10丁
内 田 米太郎（温久） 貞衛温恭 5人扶持 M2 5才 勝興寺 4丁 2冊
（峡 64） 内 見 初三郎（是次） 元助 2人扶持 M4 51才 光西寺 3丁
内 見 清三郎（元清） 元助 2人扶持 M4 41才 光明寺 3丁
内 村 茂三郎（言智） 甚右衛門 20俵 M4 38才 光西寺 5丁
内 村 弥 六（友久） 弥兵衛 15俵 M3 44才 専徳寺 5丁
内 本 左 門（惣太郎，協一，邦局） 頼母協久 30石 M3 62才 本行寺 7丁 2冊
内 本 八 尾 協一 11石 M7 9才 本行寺 8丁
内 本 平 七（七左衛門，貞之） 平丞貞久 50石 M3 46才 本行寺 7丁
内 本 協 和（権太郎） 協一 11石 M7 17才 本行寺 6丁 2冊
内 山 幾他郎 尚倫 40俵 M6 妙泰寺 5丁
内 山 彦 七（彦蔵，尚倫） 平左衛門重孝 40俵 M3 39才 妙泰寺 5丁
内 山 菊太郎（祐之） 彦蔵 3人扶持 M3 14才 円長寺 4丁
内 山 銀十郎 平司郎信久 3人扶持 M5 19才 徳善寺 5丁
内 山 小太郎（吉紀） 与右衛門紀道 7人扶持 M4 14才 正福寺 5丁
内 山 庄 平（義信） 小右衛門 1人半扶持 M3 39才 竜泉寺 4丁
内 山 重 吉（義重） 庄平義信 1人半扶持 M3 16才 竜泉寺 4丁
内 山 霊太郎（基） 宗友 3人扶持 M3 27才 妙泰寺 6丁
内 山 玉 記（善次） 与三太夫一喜 2人扶持 M3 18才 瑞泉寺 4丁 2

冊

内 山 兵 作（助戒） 長右衛門 25俵 M3 72才 超雲寺 6丁

内 山 猶三郎 兵作 35俵 M6 8才 超雲寺 5丁

内 山 与三郎（度幸） 兵作 20俵 M3 22才 乗光寺 6丁

内 山 平司郎（平右衛門，信久） 吉郎 3人扶持 M3 29才 徳善寺 7丁

内 山 平 八（行貫） 平蔵 25俵 M4 23才 法船寺 8丁

(帙 65) **内 山 与十郎**（輝之） 善吉 18俵 M4 15才 三光寺 13丁

畝 林 一 雄（長松，信喜） 嘉右衛門 15俵 M3 23才 専光寺

卯 野 栄 吉（茂満） 与兵衛 2人扶持 M3 40才 祐専寺 4丁

卯 野 清 治（正秀） 孫三 1人半扶持 M3 24才 善福寺 5丁

卯 野 孫 三（一光） 孫助 1人半扶持 M3 52才 善福寺 4丁

宇 野 次三郎（福久） 藤兵衛 30俵 M3 40才 光西寺 3丁

宇 野 亀一郎 次三郎 30俵 M7 光西寺 3丁

宇 野 銀太郎（定静） 五郎作 70石 M3 25才 寿経寺 6丁 2冊

宇 野 大 作（富素） 七郎富潤 130石 M3 56才 妙丹寺 14丁

宇 野 直 作（富有） 七郎富潤 75石 M3 52才 妙円寺 9丁

宇 野 源一郎（富良） 大作 130石 M3 27才 妙円寺 7丁

宇 野 佐一郎（義直） 左内義実 8人扶持 M3 21才 開禅寺 8丁

宇 野 外次郎（武重） 八十男休景 35石 M4 26才 等雲寺 8丁

宇 野 辰 治（辰丞，久平） 辰太夫 25俵 M3 34才 法船寺 7丁

宇 野 親 孝（辰太郎） 洪平保親 100石 M3 46才 実成寺 16丁

宇 野 桃 午（義則） 佐一郎 20俵 M3 30才 慶恩寺 6丁

宇 野 直次郎（益之） 三郎左衛門 120石 M3 21才 妙法寺 7丁

(帙 66) **宇 野 八 郎**（八郎左衛門，親賢） 彦左衛門親喜 40俵 M3 68才 慶恩寺 11丁

宇 野 兵次郎（親其） 八郎左衛門親賢 40俵 M3 32才 慶恩寺 5丁

宇 野 政之丞（休景） 八十兵衛 35石 M2 22才 等雲寺 8丁

宇 野 与 一（順美） 観随順命 8人扶持 M3 38才 瑞泉寺 6丁

宇 野 百太郎（順時） 与一 1人扶持 M3 14才 3丁

鵜 野 侏（伊三郎，長忠） 弥左衛門 35石 M3 本覚寺 6丁

鵜 野 清五郎（春宝） 元右衛門 10俵 M4 48才 本覚寺 4丁

卯野木 佐 平（佐兵衛，甕彦） 庄助 3人扶持 M4 56才 誓玄寺 3丁

海 野 鉄太郎（貞行） 保之助 20俵 M3 30才 等願寺 3丁

梅 上 権太郎（季節） 又吉 15俵 M3 41才 瑞泉寺 4丁

梅 沢 勝 平（勝左衛門，為文） 次助 6人扶持 M3 57才 慶覚寺 4丁 2冊

梅 沢 続（重左衛門，金照） 十左衛門昜照 6人扶持 M3 28才 慶覚寺 3丁

梅 沢 兵 太（一直） 兵左衛門一政 7人扶持 M3 29才 法船寺 7丁

梅 田 直 三（直人，保誠） 喜内孝隆 40俵 M3 40才 常福寺 7丁

梅 原 可 也（石之介，政允） 平兵衛質直 85石 M3 28才 妙慶寺 7丁

梅 村 馨（十郎左衛門，近義） 十太夫近礼 60石 M3 42才 蓮昌寺 7丁 2冊

梅 村 喜太郎（可宗） 喜右衛門可績 50石 M3 40才 蓮華寺 5丁

梅 村 喜 平（儀右衛門，博保） 5人扶

持　M３　34才　円長寺　３丁
梅村森江（温方）　権六定行　11人扶持　M３　36才　善徳寺　12丁　２冊
(帙　67) 浦上喜藤次（勝正）　九十郎　110石　M３　46才　本光寺　２丁　２冊
浦上作次郎（一元）　与四郎　10俵　M３　19才　専光寺　３丁
浦上長十郎（家扶）　長十郎　150石　M３　12丁
浦岸源次郎（一勝）　善兵衛　15俵　M３　光専寺　４丁
浦田直次郎（敬礼）　九右衛門　20俵　M３　22才　徳竜寺　10丁
浦田安三郎（致由）　弥平　20俵　M４　16才　静明寺　５丁
浦野　貫（庄兵衛，義達）　庄兵衛義正　30石　M３　28才　瑞雲寺　５丁　２冊
浦山茂太郎（春清）　次郎兵衛輝祖　50俵　M３　25才　極楽寺　８丁
瓜生久五郎（久蔵，久直）　与三左衛門　２人扶持　M４　67才　光西寺　３丁
瓜生久四郎（永正）　久五郎　２人扶持　M４　36才　光西寺　４丁
瓜生孝太郎（武成）　彦兵衛武　140石　M３　49才　承証寺　10丁
瓜生銑太郎（共之）　勘蔵礼質　100石　M３　24才　浄智寺　10丁
瓜生多茂男（幸左衛門，維範）　加兵衛　90石　M３　51才　浄智寺　12丁
瓜生又次郎（友定）　小兵衛　15俵　M３　34才　因徳寺　４丁
瓜生余所吉　広平　18俵　M４　12才
上棚次六（次郎兵衛，貞行）　弥右衛門　20俵　M３　34才　専乗寺　３丁

え行

(帙　68) 江尾八重松（義信）　判次郎義質　100石　M３　17才　極楽寺　５丁
江上祥平（平太夫，忠久）　平七郎　20俵　M３　42才　松林寺　６丁
江上鉄男（有輝）　熊之助有信　200石　M３　29才　広智寺　21丁
江川作次郎（行盛）　去四郎　15俵　M３　23才　長楽寺　３丁
江川準平（良知）　林右衛門一之　５人扶持　M４　29才　専光寺　５丁　２冊
江川伝次郎（英定）　伝右衛門　15俵　M３　28才　瑞泉寺　４丁
江川弥八郎（重之）　弥五郎　25俵　M３　45才　本行寺　７丁
江口栄作（権蔵，永侶）　権平　25俵　M３　45才　妙応寺　４丁
江口久太郎（基広，基匡）　孫太郎　３人扶持　M３　13才　西勝寺　７丁　２冊
江口久平（助左衛門，孝一）　儀兵衛　20俵　M３　７丁
江口吟三郎（栄次）　伊太郎　25俵　M３　25才　妙応寺　11丁
江口舒治郎（松之丞，有信）　嘉兵衛　20俵　M３　31才　妙応寺　８丁
江口　肇（房之助，嘉昌）　八十八　18俵　M３　21才　本是寺　５丁
江口半九郎（包云）　半太夫　25俵　M３　28才　本光寺　４丁
(帙　69) 江崎源吉（為先）　源蔵　15俵　M４　52才　円光寺　５丁
江崎吉郎次（忠義）　吉造　15俵　M４　43才　広済寺　５丁
江沢平次郎（忠正）　彦太郎　５人半扶持　M２　17才　勝満寺　４丁
江嶋与吉　吉次　６石　M７　５才　本誓寺　５丁
江嶋吉次（則之）　吉右衛門　12俵　M４　47才　本誓寺　６丁
江波鉄五郎（春雄）　弥三八　６俵　M４　17才　仰西寺　３丁
榎並市太郎（為貴）　波江　３人扶持　M２　18才　瑞光寺　４丁　２冊
榎並文次郎（忠愛）　朔次郎　150石　M３　20才　瑞光寺　７丁　２冊
海老栄作　栄之助　20俵　M３　40才　瑞雲寺　７丁
海老慶三郎（清邑）　栄之助　15俵　M３　16才　瑞雲寺　５丁

海 老 安次郎（安之丞，義春） 初三郎 20俵 M3 31才 瑞雲寺 8丁
海老本 和 平（諒信） 与兵衛 12俵 M3 53才 妙源寺 4丁
海老本 良 作（秀勝） 和平 2人扶持 M4 21才 妙源寺 5丁
(帙 70) 江 間 三 吉（久喬） 篁斉 200石 M3 34才 棟岳寺 24丁
江 間 省 吾（敬忠） 元林成 10人扶持 M3 56才 棟岳寺 7丁
江 村 七 郎（盛行） 五兵衛 2人扶持 M4 59才 正楽寺 3丁
江 村 甚 三（信義） 喜内 20俵 M4 20才 西光寺 4丁
江 村 兵 作（勅義） 吉平 15俵 M3 33才 浄永寺 3丁
江 村 与 作（友次） 仁右衛門 3人扶持 M4 57才 光専寺 3丁
江 村 与三吉（敏通） 喜右衛門 15俵 M3 20才 正覚寺 3丁
榎 村 多喜男（正次） 五兵衛 2人扶持 M4 35才 常福寺 3丁
江 守 栄次郎（有福） 清右衛門 15俵 M3 25才 長周寺 4丁
江 守 貞 勝（値方） 典膳 1000石 M3 44才 実成寺 14丁
江 守 端 山（新八郎，隆中） 万三五 550石 M3 41才 実成寺 11丁
江 守 精 一 端山 450石 M7 20才 実成寺 8丁
江 守 屯（憲章） 隼太照方 90石 M4 37才 上宮寺 8丁
江 守 半 外（紋左衛門，立昔） 紋七元昔 3人扶持 M3 34才 西源寺 10丁
円 田 庄 平（勝成） 十右衛門 2人半扶持 M4 33才 専光寺 3丁
遠 藤 岩太郎（了，秀景） 弥兵衛 2人半扶持 M3 18才 月照寺 5丁 2冊
遠 藤 数 馬（高庸） 数馬高朗 700石 M19 26才 妙慶寺 13丁
遠 藤 太次郎（高年） 数馬高庸 700石 M4 24才 妙慶寺 18丁
遠 藤 勘 二（清忠） 吉郎 20俵 M3 33才 円光寺 6丁
遠 藤 左次馬（昆蔵） 甚左衛門 2人扶持 M2 52才 久昌寺 6丁
遠 藤 啓（昆員） 左次馬昆蔵 100石 M3 26才 久昌寺 13丁
(帙 71) 遠 藤 三 六（晴久） 弥五兵衛恒久 50石 M3 48才 慶恩寺 7丁
遠 藤 紫 作（正保） 助左衛門正毅 120石 M3 39才 長久寺 14丁 2冊
遠 藤 督 二 新八 12俵 M4 40才 仁随寺 5丁
遠 藤 兎毛男（旨正） 昌平朝明 50石 M3 22才 本光寺 7丁
遠 藤 友次郎（直方） 八左衛門 200石 M3 27才 名願寺 12丁
遠 藤 与 作 与三次 20俵 M5 21才 実成寺 5丁
遠 藤 吉次郎（竜三丞，元成） 孫太郎 20俵 M3 22才 法船寺 8丁
遠 藤 与三次（与三兵衛，幸正） 和平 20俵 M3 実成寺 6丁
遠 藤 和三郎（胸房） 善七 15俵 M3 27才 専光寺 4丁

お 行

(帙 72) 追 川 鉄太郎（定一） 伝蔵 30俵 M3 27才 法船寺 5丁
老 田 景 教（来） 開 10俵 M4 30才 安楽寺 2丁 2冊
逢 坂 孫太郎 孫衛 11石 M7 19才 正覚寺
大 味 如 金（三郎左衛門，金延） 如軒 金厚 50石 M3 36才 安立寺 10丁
大 井 玄 学（茂述） 玄正 5人扶持 M2 47才 立円寺 9丁
大 井 玄 洞（直） 玄洞 8人扶持 慶応2 立円寺 7丁
大 井 小左衛門（秀則） 玄正 6人扶持 慶応4 30才 立円寺 9丁
大 石 隼 蔵（杢右衛門，秀直） 大作 300石 M3 31才 14丁
大 石 集 馬（義建） 弥左衛門 23俵

M4 23才 全昌寺 7丁

大浦仙六（信道） 福寿院 3人扶持 M1 26才 上行寺 3丁

大浦信行 八左衛門 10石 M6 37才善福寺 2丁

大浦平次（忠正） 喜兵衛 15俵 M3 30才 西念寺 4丁

大川きよ 嘉十郎 7.5石 M6 18才 徳善寺 4丁

大川安兵衛 嘉十郎 7.5石 M8 27才 徳善寺 3丁

大河原三四郎（定文） 八右衛門 280石 M3 19才 蓮昌寺 14丁

大河原惺作（定儀） 六左衛門 50石 M2 19才 11丁

大河原 臣 博監 350石 M6 26才 宗竜寺 9丁

大河原弥澄（弥左衛門，博厚） 八郎左衛門忠純 350石 M3 54才 宗竜寺 8丁

（帙 73）大木野弥八郎（喜之） 喜平 25俵 M3 33才 立像寺 7丁

大樛喜久太郎 八十六 10石 M7 6才 妙立寺 3丁

大久保采女（直道） 金之丞 60石 M1 17才 本行寺 13丁

大久保栄八（唯人，忠英） 六平忠順 200石 M3 50才 10丁

大窪伝太郎（雄政） 藤右衛門 200石 M3 54才 大乗寺 8丁

大窪友吉（信実） 清太左衛門 15俵 M3 18才 経王寺 7丁

大熊清次郎（永一） 清太夫 1人半扶持 M3 24才 教願寺 4丁

大崎勝政（勘次郎） 弥十郎 15俵 M3 25才 専光寺 5丁

大崎源太郎（正次） 治左衛門 18俵 M3 22才 広済寺 4丁

大崎友喜（治左衛門，正則） 太兵衛 2人扶持 M4 49才 広済寺 4丁

大崎和三郎（政成） 千左衛門 5人扶持 M2 21才 専信寺 4丁

大沢蛙休（善右衛門，申治） 戯休申之 2人扶持 M4 54才 本浄寺 4丁 2冊

大沢湊（申正） 善右衛門 6人扶持 M3 16才 本浄寺 5丁

大沢八丞（胖） 八内 3人扶持 M3 44才 長徳寺 6丁

大沢吉次郎（永） 八丞胖 3人扶持 M3 24才 長徳寺 6丁

（帙 74）大島鰹三郎（近道） 新左衛門 180石 M2 16才 10丁

大島甚平（宗政） 甚作 12俵 M3 20才 繁久寺 7丁

大島太三次（太兵衛，久雙） 紋兵衛 2人扶持 M3 56才 常福寺 3丁 2冊

大島 鍋（鍋吉，直賢） 楽翁武稚 250石 M3 40才 法光寺 12丁

大杉義門（祐之） 義平祐宅 130石 M3 42才 11丁

大杉小平次（平次兵衛，敏昌） 小平次 2人扶持 M3 55才 善徳寺 6丁

大杉外七（敏次） 平次兵衛 1人扶持 M3 17才 善徳寺 5丁

大杉 直（致福） 清兵衛 15俵 M4 光専寺 6丁

大杉文次郎（清李） 太次郎 18俵 M3 19才 慶恩寺 7丁

大杉政吉（清蔵，政吉） 小左衛門清勝 5人扶持 M3 善徳寺 4丁

大杉良平（森江） 治大夫 15俵 M3 30才 本光寺 4丁

（帙 75）大瀬才記（永主） 伝平 10俵 M3 35才 養智院 3丁

大瀬伝平（維主） 鍵五郎 170石 安政4 38才 養智院 14丁

大瀬友作（直温） 甚作 80石 慶応2 39才 12丁

大瀬八十郎（知久） 伊左衛門 8人扶持 文久3 27才 養智院 8丁

太田伊三次（敷方） 吟右衛門 2人扶持 天保9 74才 誓念寺 5丁

太田衛門（孝之） 次右衛門 5人扶持 M2 33才 乗光寺支坊 3丁
太田勘七（友久） 宗右衛門 2人扶持 M4 本覚寺 3丁
太田久作（清元） 庄右衛門 3人扶持 M3 51才 永照寺 3丁
太田源太（義郷） 治右衛門 50石 M3 20才 即願寺 6丁
太田耕民（久蔵，真房） 久蔵真吉 2人扶持 M3 薙法寺 4丁 2冊
太田小太郎（正勝） 久平 2人扶持 M4 20才 永照寺 6丁
太田三郎左衛門（定保） 孫三郎 90石 文久3 44才 名願寺 11丁
太田駒太郎（定清，定次） 三郎左衛門 4人扶持 M3 18才 名願寺 4丁 2冊
（帙 76）太田左平 節蔵 7.5石 M7 25才 薬王院 5丁
太田重行（重光） 清蔵正光 50俵 M3 21才 妙法寺 3丁
太田たつ 善兵衛信之 5石 M7 28才 東本願寺別院 4丁
太田友久（孝作） 小平 2人扶持 M4 35才 永照寺 4丁
太田直道（久四郎） 久四郎 30俵 M3 42才 浄喜寺 3丁
太田八郎左衛門（祐氏） 丹右衛門 8人扶持 M1 30才 8丁
太田久通（捨三郎） 市内 2人扶持 M4 26才 回向寺 4丁
太田安平（安之丞，敷教） 友左衛門 40俵 M2 46才 等願寺 5丁
太田良次郎 敷教 20石 M7 4才 等願寺 5才
太田ゆき 為之 35俵 M6 14才 光専寺 5丁
太田余三吉（正次） 宗蔵 2人扶持 M4 13才 本行寺 5丁
太田米兵衛（知重） 才兵衛 30石 M2 31才 全性寺 6丁
太田録太郎（宗竹） 善蔵 10俵 M3 11才 光教寺 2丁
大高可輔（俊三郎，安胤）庄次郎元胤 130石 M3 46才 如来寺 6丁
大舘与三郎（定則） 采右衛門 2人扶持 M1 15才 仁随寺 4丁
大谷成時 長左衛門 7.5石 M7 24才 聖泉寺 2丁
大地道休（新八郎，昌也）大蔵昌之 370石 M3 52才 善明院 11丁
（帙 77）大塚半平（信定）金左衛門 150石 M2 32才 常松寺 13丁
大塚正義（忠右衛門，宋吉，） 采右衛門正幸 50石 M3 35才 蓮昌寺 6丁
大塚操（助三，長昌） 八十八 50石 M3 36才 松月寺 11丁
大塚八十八（長祥） 多吉維寧 150石 M3 55才 松月寺 12丁
大坪有平（堯供） 平兵衛直善 35俵 56才 善徳寺 6丁
大坪久三郎（子直） 兵馬 1人半扶持 M4 46才 妙国寺 5丁
大坪外吉（尚寛） 甚六 2人扶持 M4 24才 唯念寺 4丁
大坪堯卿（平三郎） 有平堯供 35俵 M3 善徳寺 4丁
大津恒次郎 斧吉 10石 M7 9才 光専寺 5丁
大津貞丞（豊郷） 弥助 160石 M2 45才 本行寺 11丁
大津安十郎（雅庸） 唯之進 3人扶持 M4 53才 経王寺 3丁
大津勇太郎（忠恕） 安十次 3人扶持 M2 16才 経王寺 3丁
大津弥一郎 忠恕 60石 M7 5才 経王寺 7丁
大塚十左衛門（兼信） 巳之助兼之 200石 M3 42才 静明寺 9丁
大塚半二（時一） 半兵衛 12俵 M3 56才 西源寺 3丁
大塚静喜（久太郎，時信） 半兵衛 12俵 M3 19才 西源寺 3丁

大 坪 波 江（光順） 藤左衛門 6人扶持 M2 52才 光円寺 9丁 2冊
大 坪 可（光武） 波江光順 1人扶持 M3 26才 光円寺 2丁
大 坪 兵 馬（兵右衛門，子諒） 理助 3人扶持 M3 62才 妙国寺 4丁
（帙 78） 大 西 準 吉（知道） 専翁 50石 M2 41才 善導寺 8丁
大 西 倉 治（弥三治，清春） 太左衛門 2人扶持 M4 42才 全性寺 5丁
大 西 壮兵衛（直継） 弥兵衛 2人扶持 M2 43才 妙国寺 4丁
大 西 他次郎 清陸 15俵 M3 20才 慶覚寺 6丁
大 野 歩（一布） 津右衛門 4人扶持 慶応4 67才 妙法寺 2丁
大 野 久米男（克豊） 幾重 1人扶持 M3 17才 聞善寺 3丁
大 野 昌太郎（保宜） 彦右衛門 40石 M2 17才 光教寺 5丁
大 野 甚 作（可伝） 甚左衛門 20俵 M3 71才 昌柳寺 3丁
大 野 豊之助（佳年） 良左衛門 50石 慶応4 13才 妙法寺 8丁
大野 兵左衛門（守貞） 林右衛門 2人扶持 M3 19才 勝満寺 3丁
大野 与右衛門（綏之） 与右衛門 120石 安政4 37才 金剛寺 10丁
大野木 源 蔵（外三郎，克正） 弾正克誠 150石 M3 44才 宝集寺 6丁 2冊
大 場 栄次郎 惟一 20石 M6 16才 大円寺 5丁
大 場 勘次郎 藤忠 20石 M6 18才 大円寺 7丁
大 場 ひ さ 藤忠 20石 M7 15才 大円寺 6丁
大 場 金五郎（貞則） 丈左衛門 4人扶持 M3 法然寺 3丁
大 場 源 三（源蔵，良直） 長左衛門 2人扶持 M4 33才 常願寺 3丁
大 場 左巴三（忠昌） 源兵衛家忠 200石 M3 59才 法光寺 10丁
大 場 又三郎（宗明） 左巴三 100石 M3 17才 法光寺 4丁
大 場 時太郎 克子 5人扶持 M7 3才 妙応寺 7丁
大 場 茂三郎（万信） 茂林 3人扶持 M3 19才 善性寺 5丁
大 場 吉太郎（信成） 勇次郎信守 7人扶持 M3 20才 大円寺 8丁
（帙 79） 大 橋 有 義（次三郎） 八郎右衛門 20俵 M3 44才 名願寺 5丁
大 橋 一平太（慎之） 甚六郎慎親 2人扶持 M3 24才 名願寺 5丁 2冊
大 橋 慎 親（甚六郎） 東馬慎始 80石 M3 56才 名願寺 8丁 2冊
大 橋 き よ 勘蔵 M6 51才 本妙寺 6丁
大 橋 欣太郎（永頼） 和大夫 150石 M3 5才 5丁
大 橋 貞 篤（豊次郎） 作太郎貞固 70石 M4 15才 真行寺 8丁
大 橋 成 政（作平） 作之丞成徳 800石 M3 14才 妙成寺 21丁
大 橋 忠 勝（清三郎） 鉄之助忠順 50俵 M3 17才 本覚寺 8丁
大 橋 東再久（当和） 久翁 5人扶持 M3 48才 長徳寺 5丁
大 橋 直 之（卯八郎） 卯三郎 25俵 M4 20才 瑞泉寺 7丁
大 橋 久 翁（当顕） 久左衛門 32俵 M3 75才 長徳寺 8丁
大 橋 正 由（謙蔵，正番） 七郎右衛門自之 150石 M3 36才 西光寺 10丁
大 橋 又 平（織江，克成） 如水苗成 400石 M3 56才 大乗寺 17丁 2冊
大 橋 道 成（周三郎） 如水苗成 80石 M3 大乗寺 6丁
大 橋 九 郎（主馬，是成） 如水苗成 80石 M3 52才 大乗寺 7丁
大 橋 幸 弘（台庵，為則，固） 弥伝直光 7人扶持 M3 42才 法船寺 5丁 2冊
大梯飭 伝 平 15俵 M6 4才 本行寺

6丁

(峡 80) 大 原 左源太(寛照) 小左衛門 250石 M3 42才 8丁

大 原 常久子(綱寛) 十郎左衛門 30石 M3 72才 久昌寺 3丁

大 平 菊 枝 均 100石 M8 3才 全昌寺 6丁

大平小市右衛門(英教) 小市右衛門 70石 M2 47才 全昌寺 11丁

大 平 倡次郎(英直) 小市右衛門英教 2人扶持 M3 23才 ~~全性寺~~ 4丁

大 平 三 楽(此母) 欣大夫以道 90石 M3 61才 妙正寺 14丁

大 平 下 枝(重左衛門, 秀房) 善左衛門教充 14俵 M3 61才 正福寺 4丁 2冊

大 平 半 内(秀教) 重左衛門 2人扶持 M3 22才 正福寺 5丁

大 平 保三郎(直次) 伝次郎直永 100石 M3 34才 全昌寺 11丁

大町 喜久太郎 喜久馬 2人扶持 M7 8才 敬栄寺 5丁

大 町 佐平士(政之丞, 義方) 茂平義質 80石 M3 39才 安楽寺 11丁 2冊

大 町 隼之丞(安之) 唯右衛門 3人扶持 M2 57才 光徳寺 4丁

大 村 可 一 隆重 10石 M7 23才 西勝寺 4丁

大 村 久 一(喜平, 一久) 武左衛門 2人扶持 M4 25才 遍照寺 3丁

大 村 勝 正(千吉) 吉四郎 100石 M3 21才 立像寺 8丁

大 村 佐次馬(豊久) 八十太夫 55石 M2 57才 善照寺 5丁

大 村 多美弥(一久) 佐次馬豊久 3人扶持 M3 21才 善照寺 7丁

大 村 潤 方 新左衛門 25俵 M6 42才 妙法寺 3丁

(峡 81) 大 村 て つ(鉄) 友右衛門 4人扶持 M7 30才 西照寺 4丁

大 村 友(友右衛門, 欣忠) 友右衛門伊欣 150石 M3 52才 立像寺 10丁

大 村 友 朔(喜久人, 正綱) 勘次 2人扶持 M3 19才 専光寺 4丁

大 村 知 幸(直作, 友之) 伝蔵久之 40俵 M3 47才 宝勝寺 8丁

大 村 元 房(三平) 知幸友之 40俵 M4 20才 宝勝寺 4丁

大 村 平 作(保幸) 甚作 2人扶持 M3 28才 光現寺 3丁

大 村 正 綱 正盛 2人半扶持 M7 22才 4丁

大 村 正 之(勘七) 勘左衛門 1人半扶持 M4 36才 3丁

大 村 ム メ 長左衛門 1人半扶持 M7 59才 浄行寺 4丁

大 村 良 三(良之助, 良蔵, 友之) 友右衛門 3人扶持 M3 47才 西照寺 6丁 2冊

大 森 庄三郎(真一) 権六 2人扶持 M3 28才 徳善寺 4丁

大 森 文 蔵 長蔵 1人半扶持 M3 善徳寺 4丁

大矢十郎右衛門(敬親) 如済 60石 M2 53才 16丁

大 矢 勇太郎(共立) 沢 2人扶持 M4 25才 瑞光寺 3丁

大 屋 鎰次郎(寄一) 卯左衛門寄兼 2人半扶持 M3 16才 大蓮寺 7才 3冊

大 屋 金 松(広政) 仙三郎規以 40俵 M4 18才 名願寺 6丁

大 屋 吉 平(則清) 権作 25俵 M3 49才 蓮華寺 12丁

(峡 82) 大 屋 兢(行直) 源太夫 25俵 M3 26才 典妙寺 11丁

大 屋 雑 之(左太郎) 左平 2人扶持 M4 25才 誓入寺 2丁

大 屋 左太夫(光安) 五左衛門 2人扶持 文久3 45才 誓入寺 7丁

大 屋 志津馬(寄久) 卯左衛門寄兼 30石 M5 30才 大蓮寺 5丁 3冊

大 屋 七三郎(豊次) 弥三助 20俵 M

3　51才　長周寺　3丁
大屋善二郎（智央）　儀三郎　M3　18才　光専寺　5丁
大屋礎平（忠順）　恒右衛門益房　50俵　M3　45才　本行寺　7丁
大屋輝忠（孝二郎）　覗兵衛　80石　M2　24才　妙正寺　9丁　2冊
大屋延載（新作）　友二郎　25俵　M3　37才　本行寺　8丁
大谷内至盛（順太郎）　順左衛門　2人扶持　M4　17才　願念寺　5丁
大藪勘一（清八郎，忠良）　織部清明　700石　M3　27才　国泰寺　9丁
大脇有吉（重栄）　元準　7人扶持　安政5　16才　上宮寺　12丁
大脇助親（平山，平左衛門）　兵右衛門助友　90石　M3　57才　常福寺　7丁
大脇助次（平作，兵右衛門）　平左衛門助親　90石　M7　35才　常福寺　5丁　2冊
大脇　大（五左衛門，弥太郎成久）　五郎左衛門成裕　30石　M3　29才　法然寺　2丁
大脇直政（六郎左衛門，大六）　六郎左衛門直之　300石　M3　56才　雲竜寺　8丁　2冊
大脇康晟（康八，直良）　六郎左衛門　80石　M3　41才　雲竜寺　5丁
(峡　83)　岡　卯三郎（継善）　慎五郎　70石　M2　47才　西勝寺　10丁
岡　辰太郎（克允）　卯三郎　2人扶持　M3　15才　西勝寺　5丁　2冊
岡　覚太郎（信行）　覚　1人扶持　M4　16才　上宮寺　4丁
岡　啓之助（有忠）　儀右衛門　3人扶持　文久3　18才　西源寺　4丁
岡　三吉（吉正）　仲衛　4人扶持　文久1　45才　西勝寺　8丁
岡　仲衛（正立）　三吉　2人扶持　M3　24才　西勝寺　3丁
岡　直吉（光直）　元吉　2人半扶持　慶応3　18才　17丁
岡崎金作（信卓）　左太夫信固　15石　M4　67才　妙国寺　6丁
岡崎　盛（儀右衛門，盛行）　貞右衛門　20俵　M3　52才　妙輪寺　5丁
岡崎新平（政恒）　伝兵衛　30俵　39才　光専寺　5丁
岡崎直吉（之直）　新蔵　15俵　M3　22才　慈雲寺　8丁
岡崎弥太郎（政照）　弥平正次　23俵　M5　13才　敬栄寺　3丁
岡沢貞一郎　良貞　9石　M7　30才　願成寺　5丁
小笠原五記（貞盈）　式左衛門　8人扶持　安政4　24才　瑞光寺　10丁
小笠原恒三（貫一）　祖山和貫　150石　M2　63才　瑞光寺　8丁
小笠原和一（三門，和一）　恒三貫一　150石　M4　23才　瑞光寺　7丁
小笠原善太郎　為忠　50石　M7　20才　棟岳寺　6丁
小笠原　彊　又太夫淡翁義一　5人扶持　M4　33才　宝勝寺　8丁
小笠原真澄（又作，義成）　淡翁義一　150石　M3　39才　宝勝寺　9丁　2冊
小笠原のぶ　真澄　150石　M7　12才　宝勝寺　7丁
(峡　84)　岡嶋一理（十太郎）　伴進為憲　30石　M3　20才　法船寺　10丁　3冊
岡嶋季四郎（正直）　十兵衛　2人扶持　慶応2　24才　4丁
岡嶋玄俊（順）　歌亭　30石　M2　59才　6丁
岡嶋十兵衛（理音）　藤左衛門　200石　慶応2　64才　21丁
岡嶋平学（一守）　狐左衛門一中　300石　M3　53才　宗竜寺　21丁
岡嶋優平（欽）　歌亭　2人半扶持　M2　35才　西大寺　5丁
岡田喜千太郎（英定）　友女英信　25俵　M5　9才　正福寺　7丁
岡田久次郎　信安　10石　M8　17才　開禅寺　7丁

岡田国成 国定 100石 M7 17才 開禅寺 6丁
岡田源次郎（当嗣） 源左衛門 50石 M2 22才 雲竜寺 4丁
岡田源三（当恒） 団右衛門守一 3人扶持 M3 53才 雲竜寺 4丁
岡田　茂（当民） 源三当恒 2人扶持 M3 14才 雲竜寺 3丁
岡田酡一郎（次郎助，保之） 次郎助保立 7人扶持 M3 45才 浄安寺 5丁 2冊
岡田小左衛門（為矩） 半左衛門 2人扶持 安政5 36才 9丁
岡田茂人（方則） 源左衛門 2人扶持 M3 14才 雲竜寺 3丁
岡田庄治（直政） 弥四郎直定 100石 M3 58才 法界寺 7丁
岡田庄太郎 重栄 25俵 M6 9才 正福寺 6丁
（帙 85） 岡田尽之助（信次） 普八 5人扶持 M1 19才 松縁寺 3丁
岡田忠次郎 丈太郎 10石 M7 21才 宗寿寺 6丁
岡田長蔵（政親） 儀太夫 3人扶持 M2 29才 仰西寺 5丁
岡田外喜雄 保之 7人扶持 M7 4才 浄安寺 4丁
岡田富松（貞友） 十右衛門貞幹 650石 M3 19才 金剛寺 11丁
岡田ハル 為規 2人扶持 M8 12才 願楽寺 5丁
岡田休好（太左衛門，直清） 杢右衛門直誠 130石 M3 62才 法界寺 11丁
岡田弥三丞（哉武） 弥左衛門 7人扶持 慶応3 23才 光専寺 4丁
岡田雄巣（雄之，直温） 与一直方 200石 M3 39才 立像寺 7丁
岡田与兵衛 麻男 2人扶持 M7 23才 浄行寺 4丁
小形ひな 治郎 15俵 M6 19才 聖泉寺 3丁

阿形覚平（覚兵衛，祇敬） 品大夫忠為 100石 M3 64才 妙法寺 7丁
阿形三郎（有為） 覚兵衛 50俵 M3 37才 妙法寺 5丁
岡野啓造（啓蔵，和平） 得友温厚 2人扶持 M3 23才 真教寺 4丁
岡野仙策（是重） 幾左衛門 5人扶持 M2 44才 西照寺 4丁
岡野達二郎（正治） 恒右衛門正次 35石 M2 15才 法光寺 10丁
岡野直三郎（政元） 政平 70石 M3 35才 承証寺 5丁
岡野判次郎（政以） 判兵衛 100石 M3 39才 浄安寺 4丁
岡部於外雄 康彰 80石 M6 16才 妙法寺 11丁
岡部敬二郎（武高） 茂三郎高任 2人扶持 M3 17才 本光寺 3丁
岡部清六（政春） 粂之丞 2人扶持 M4 乗善寺 4丁
岡部良三郎（康孝） 皆右衛門 1人扶持 M3 15才 妙法寺 5丁
（帙 86） 岡村梅于三（信近） 十楯 2人扶持 M4 56才 回向寺 4丁
岡村鋼三（信之） 内蔵多 2人扶持 M2 16才 回向寺 6丁
岡村左兵衛（知良） 和兵衛 35石 M2 36才 運信寺 5丁
岡村松吉 権吉 6石 M7 唯然寺 4丁
岡本　勇（孝行） 三郎 120石 M3 38才 蓮福寺 6丁 2冊
岡本右平 平右衛門直重 5人扶持 M3 25才 覚正寺 5丁 2冊
岡本大五郎（茂世） 三策世昭 6人扶持 M3 32才 浄安寺 7丁 2冊
岡本　勝（定世） 三策世昭 4人扶持 M3 20才 浄安寺 7丁
岡本久太郎（直則） 甚之丞 25俵 M3 21才 願念寺 4丁
岡本　啓（久興） 誠一久恭 60石 M3 42才 成学寺 6丁 2冊

岡本 慶三郎（常道） 貞造 7人扶持 M3 12才 法船寺 4丁 3冊
岡本 幸次郎（方恒） 幸吉 20俵 17才 本覚寺 6丁
岡本 虎仙（茂忠） 和平 2人扶持 M4 12才 静明寺 6丁
岡本 斉（亮次郎，以忠） 判事 60石 元治1 16才 12丁
岡本 三郎（孝和） 平八孝恭 120石 M3 61才 蓮福寺 10丁
岡本 左与六（官原） 次郎兵衛 40俵 M3 60才 徳竜寺 6丁
(帙 87) 岡本 庄平（一信） 庄平 20俵 M3 30才 光専寺 7丁
岡本 申三郎 貞造 7人扶持 M7 9才 法船寺 4丁
岡本 誠一（久恭） 清左衛門久行 100石 M5 成学寺 8丁
岡本 善右衛門（孝尚） 善右衛門 80石 M3 43才 徳栄寺 9丁
岡本 永福（与猪子） 猪左衛門永訓 50俵 M3 30才 安立寺 8丁
岡本 平右衛門（雄勝） 善助 40石 M2 50才 覚正寺 4丁
岡本 松太郎 高時 15俵 M7 15才 勝満寺 3丁
岡本 保之丞（当方） 善助 40石 M3 46才 覚正寺 3丁
岡本 林左衛門（市助，昭鎮） 八郎 7人扶持 慶応1 48才 極楽寺 7丁
岡山 勝右衛門（正勝） 孫之進 110石 M3 58才 昌柳寺 10丁
小鹿山 晋吾（左次馬，久忠） 金右衛門 安政5 21才 9丁
小柄 弥八郎（勝守） 弥平 10俵 M4 17才 慶恩寺 3丁
小川 官兵衛（信近） 金之丞 60石 M2 31才 善照寺 11丁
小川 吉平（吉春） 伊平 4人扶持 M5 37才 勝興寺 3丁
小川 儀平（教知） 儀平克広 100石 M3 68才 善性寺 9丁
小川 啓太郎 恭安 130石 M7 33才 開禅寺 5丁
小川 権太郎（一政） 八兵衛 15俵 M3 13才 西勝寺 3丁
小川 さと 源蔵 25俵 M8 42才 光専寺 7丁
小川 左平（安晴） 宋女安信 100石 M5 49才 光覚寺 7丁
(帙 88) 小川 重幸 則近 65石 M6 25才 妙法寺 9丁
小川 純助（信行） 作太郎 7人扶持 M2 25才 本性寺 6丁
小川 慎三郎（長堅） 六三郎 130石 M2 14才 宝勝寺 15丁
小川 佐守（敏勝） 兵左衛門 35石 安政4 31才 8丁
小川 全右衛門（定省） 全右衛門 60石 元治2 31才 9丁
小川 他作（後甫） 喜夕 4人扶持 安政4 33才 瑞泉寺 8丁
小川 忠（忠四郎，民治） 余所之助 氏元 150石 M3 19才 融山院 8丁
小川 恒七郎（盛美） 歩親知 500石 M5 16才 光覚寺 12丁
小川 鉄之助（允敷） 左内 8人扶持 M2 24才 立像寺 7丁
小川 文次郎（直義） 新五左衛門 60石 M2 25才 妙国寺 6丁
小川 弥五郎 市郎左衛門 230石 慶応2 10才 永福寺 17丁
小川 八音（平右衛門，正安） 津左衛 定安 200石 M3 56才 光覚寺 6丁
小川 与五兵衛（則知） 数右衛門 110石 安政6 34才 西光寺 18丁
沖 斐（半之助，文行） 半兵衛 20俵 M3 25才 広済寺 7丁
沖 自静（良作，衍玲） 崧 20俵 M4 24才 照台寺 5丁
沖 勝三郎（暉昌） 弘二郎 20俵 M3 35才 広済寺 7丁
沖 虎三（虎次郎，盛定） 初左衛門 1人半扶持 M4 29才 照台寺 4丁

(帙 89) **沖　孫吉**（孫之丞，茂栄） 東右衛門 20俵 M3 60才 慶覚寺 5丁
沖　正記（桑太郎） 宗左衛門 20俵 M3 18才 因徳寺 8丁
沖　保清（吉太郎） 吉兵衛 20俵 M3 40才 極楽寺 5丁
小木恒太郎（貞正） 治兵衛貞精 40俵 M3 22才 西養寺 10丁
小木宅次（直良） 庄右衛門 20俵 M4 33才 上宮寺 8丁
小木忠三郎（為之） 弥兵次 20俵 M3 39才 上宮寺 10丁
小木忠次郎（義忠） 忠三郎 20俵 M4 22才 上宮寺 7丁
小木良治（良助，嘉連） 良助 20俵 M3 26才 善徳寺 9丁
隠岐卯吉郎（朝茂） 正左衛門 10俵 M3 39才 興徳寺 4丁
隠岐嘉茂（正左衛門，朝英） 次郎太夫朝隆 10人扶持 60才 興徳寺 6丁 2冊
沖田寿信（清太郎） 清兵衛 17俵 M4 25才 等願寺 3丁
荻田鬼男（庄五郎，令定） 庄蔵 7人扶持 M3 22才 本是寺 4丁
興津咬菜（定静） 吉左衛門 40石 M3 65才 浄徳寺 4丁
興津順吉（寅蔵，重昌） 喜兵衛良之 50俵 M3 浄徳寺 6丁
沖野勝芳（勝男，司直） 作右衛門時敏 200石 M3 26才 照円寺 12丁
沖野貫一（良助，直一） 九右衛門頼庸 40俵 M3 20才 東本願寺別院 8丁
沖野定賢（静治） 九右衛門頼庸 27.5俵 M3 44才 善福寺 9丁
沖野精義（蒼次郎） 順沢 3人扶持 M3 15才 照円寺 6丁
沖野幸平（永矩） 徳兵衛永言 60石 M3 76才 聖興寺 9丁
(帙 90) **沖野清四郎**（孝之） 太助 20俵 M3 60才 正覚寺 4丁
沖野永董（徳兵衛，順平） 幸平永矩 60石 M3 41才 聖興寺 8丁 2冊
沖野永叔（知福） 宗計 3人扶持 M3 25才 法船寺 7丁
沖野正之（常五郎） 順佐 3人扶持 M3 18才 西福寺 7丁
沖野宗喜（喜三郎） 宗徳 3人扶持 M3 15才 法船寺 6丁
沖野盛房（千次郎） 長太夫直景 50俵 M3 47才 立円寺 6丁
沖野弥一郎 清四郎 10石 M7 11才 正覚寺 3丁
荻野　愛 小兵衛 10石 M8 22才 徳竜寺 4丁
荻野音佐久（正儀） 茂右衛門 20俵 M3 22才 徳竜寺 5丁
荻野永太郎（淑慎） 善右衛門 3人扶持 M3 22才 波着寺 4丁
荻野軍平（善右衛門，善清） 七兵衛有之 45石 M3 46才 波着寺 7丁
荻野祐喜（善右衛門，直忠） 秋蔵 2人扶持 M3 26才 慶恩寺 4丁
荻野弥作（良貫） 与左衛門 20俵 M3 52才 徳竜寺 7丁
沖村勝知（源吾） 治太夫 25俵 M3 32才 全性寺 6丁 2冊
沖村小作（小兵衛，友岡） 七右衛門 15俵 M3 58才 慶恩寺 3丁
沖村富太郎 小作 15俵 M7 慶恩寺 4丁
奥田喜三（直恒） 喜三次直信 30俵 M3 47才 常徳寺 7丁
奥田吉之助（悉之） 惣兵衛 65石 M3 15才 常松寺 12丁
奥田惣太夫（永茂） 勘左衛門 2人扶持 M3 44才 光覚寺 3丁
奥田忠易（直二） 安之丞 20俵 M4 42才 久昌寺 6丁
奥田　肇（宗範，勝成） 宗伝 60石 慶応2 11丁
(帙 91) **奥田師一**（惣左衛門，蔀） 遊翁師義 200石 M3 36才 竜淵寺 10丁

奥田吉太郎 師一 250石 M6 2才 竜淵寺 8丁

奥田保太郎（正之） 兵左衛門 15俵 M3 16才 本是寺 8丁

奥田遊翁（師義） 次郎右衛門知英 50石 M3 81才 竜淵寺 5丁

奥田与八（与兵衛、久一） 与太夫 2人扶持 M3 64才 正福寺 3丁 2冊

奥田頼太郎（勇，悉之） 惣兵衛悉以 65石 M3 13才 常松寺 8丁

奥野氏輝（通五郎） 三郎七陳昌 60俵 M3 44才 大乗寺 8丁

奥野武隆（清五郎） 三郎七陳昌 550石 M3 48才 大乗寺 12丁

奥野　其（鳥助，義為） 波江 1人扶持 M3 26才 慶恩寺 4丁 2冊

奥野波江（武景） 覚三助 2人扶持 M3 55才 慶恩寺 4丁

奥野万吉 新八 9.5石 M7 13才 願成寺 6丁

小熊百度（定行） 幸助 6人扶持 M4 45才 本福寺 3丁

小熊茂三郎（三良） 利助 6俵 M3 21才 受念寺 3丁

奥村於外吉 勝行 170石 M8 24才 本是寺 7丁

奥村勝行（梅次郎） 靭屓長勝 170石 M3 51才 本是寺 10丁

奥村十寸男（敬明） 主鈴忠篤 350石 M3 金剛寺 12丁

奥村銅十郎（親明） 十寸男敬明 150石 M3 16才 金剛寺 4丁

奥村定明（乙五郎、定） 十寸男 50俵 M4 11才 3丁

奥村貫治遠 11石 M7 35才 宗寿寺 5丁

奥村通宴（純太郎） 千松昌芳 500石 M3 53才 金剛寺 15丁

奥村喜久松 通宴 500石 M7 6才 金剛寺 4丁

奥村源六郎（頼元） 勇太郎 120石 M1 16才 大乗寺 14丁

奥村英庸（喜太郎） 喜太郎英信 120石 M3 25才 永福寺 9丁

（帙 92） 奥村権太郎 英庸 120石 M7 2才 永福寺 7丁

奥村淡靄（善右衛門，長郷） 和十郎 直温 150石 M3 69才 11丁

奥村早苗（永世） 淡靄 150石 M4 38才 金剛寺 4丁

奥村茂全（季政） 茂済 4人扶持 M3 63才 8丁

奥村甚三郎（直昌） 新左衛門師昌 350石 M3 永福寺 13丁

奥村為質（万作） 外三喜為信 40俵 M3 47才 慶恩寺 11丁

奥村長安之（善九郎） 源左衛門栄之 1,700石 M3 26才 金剛寺 14丁 2冊

奥村則友（他見男） 左京篤輝 12,000石 M3 29才 永福寺 32丁 1丁

（帙 93） 奥村英勝（卯八郎） 五郎左衛門英章 200石 M3 27才 永福寺 6丁 2冊

奥村安吉 五平英章 30俵 M3 20才 永福寺 9丁

奥村正雄（精二郎） 友左衛門政節 80石 M3 25才 本是寺 7丁

奥村政佑（弥左衛門，友作，冬四郎） 友左衛門政節 800石 M3 36才 本是寺 15丁

奥村当孝（春作） 元清当知 35俵 M3 45才 本覚寺 8丁

奥村造酒（常房） 安久 100石 M3 金剛寺 14丁

奥村　安（義勝） 七左衛門義直 180石 M3 27才 蓮覚寺 8丁

奥村征茂（平馬） 悦翁征方 850石 M3 19才 妙成寺 9丁

奥村良平（恕行） 元策 4人扶持 M3 等願寺 9丁

奥山市三郎（保正） 与平 2人扶持 M4 17才 愛染院 4丁

奥山喜一郎（克忠） 斧右衛門 35石

M2　20才　心蓮社　8丁

(帙 94) 小倉休可(守衛，就方)　金右衛門成良　3人扶持　M3　65才　広昌寺　6丁

小倉新平(永政)　九八郎恒徳　30石　M2　52才　本覚寺　6丁　2冊

小倉貞右衛門(正路)　新平　60石　M1　28才　本覚寺　8丁

小倉新左衛門(成重)　守衛　3人扶持　M2　31才　広昌寺　3丁

小倉すて　勘左衛門　2人扶持　M8　68才　長光寺　3丁

小倉太作　久兵衛　1人半扶持　天保11　慶恩寺　7丁

小倉藤作(藤茂)　藤作　2人半扶持　M3　45才　因徳寺　5丁

小倉豊之介(延寿)　吉右衛門　5人扶持　慶応3　27才　乗光寺　4丁

小倉広達(幸九郎)　幸沢　3人扶持　M3　17才　徳栄寺　7丁

小倉米吉郎(永知)　閑徳　4人半扶持　慶応2　16才　雨宝院　5丁

小佐親亮(権平)　浦三亮容　50俵　M3　44才　了願寺　9丁

小佐守忠(善之助，善次)　善太郎　20俵　M3　23才　金剛寺　7丁

尾崎一平(与一郎，正俊)　与兵衛　2人扶持　M3　26才　大乗寺　5丁　2冊

尾崎晋三(蕃庶)　閑甫　5人持扶　M2　53才　西光寺　4丁

尾崎与兵衛(正順)　右内　45石　M2　57才　大乗寺　15丁

小笹丈左衛門(知重)　丈右衛門　40石　M3　54才　善導寺　2丁

尾佐竹丈三(保敬)　隼太　30石　M3　28才　蓮覚寺　8丁

小沢伊三七(正冨)　長右衛門　15俵　M3　36才　本浄寺　3丁

小沢亥六(亥左衛門，信近)　鉄之丞　介福　90石　M3　56才　竜淵寺　9丁

小沢覚治(政近)　亥六　90石　M4　22才　竜淵寺　9丁

小沢乙三郎(正克)　喜三右衛門　30石　M3　25才　慶覚寺　5丁

小沢覚三郎(依定)　喜三右衛門　30石　M4　慶恩寺　7丁

(帙 95) 小沢源禄(又次)　常右衛門　7人扶持　M4　66才　西源寺　2丁

小沢庄三(庄蔵，厚親)　順左衛門　100石　M3　46才　慶恩寺　7丁

小沢珍次郎(祐左衛門，茂敬)　清太夫　20俵　M3　40才　妙輪寺　5丁

小沢友次(友)　鉄之丞　80石　M3　54才　竜淵寺　3丁

小沢文次郎(則正)　喜兵衛　2人扶持　M4　27才　光現寺　2丁

小沢美登里(慎平，勝義)　和吉　20俵　M4　23才　徳栄寺　6丁

小沢森治(森之助，清忠)　甚兵衛　30俵　M3　60才　円長寺　6丁

小沢誉処　友次　80石　M7　3才　竜淵寺　6丁

小沢与八郎(篤忠)　八郎　20俵　M3　41才　広済寺　8丁

押野半外(半左衛門，正直)　仁右衛門　20俵　M3　70才　東本願寺別院

押野勝見(正一，半蔵)　半外半左衛門　15俵　M3　27才　東本願寺別院　7丁　2冊

押野安之佐(貞直)　甚太夫　3人半扶持　M2　安楽寺　10丁

押原又之丞(種重)　兵左衛門　6人扶持　M2　36才　永順寺　4丁

小瀬来吉(良知)　復庵良雄　100石　M3　63才　普明院　25丁

小関眷陸(伊右衛門，安来)　喜太夫　30俵　M3　74才　善福寺　6丁

小関新三郎(成安)　伊右衛門　15俵　M3　25才　善福寺　7丁

小関　磨　忠邦　25俵　M6　29才　善福寺　5丁

(帙 96) 小田幾太郎(友久)　伝兵衛　100石　M3　56才　経王寺　7丁

小田粂之助(孝之)　三郎兵衛　2人扶持　M2　15才　静明寺　5丁

小田 清右衛門（永清） 五城 50石 文久3 37才 東本願寺別院 9丁
小田 清太郎（宗豊） 源右衛門 15俵 M3 38才 回向寺 3丁
小田 常太郎 宗豊 15俵 M7 6才 回向寺 3丁
織田 庵（又鉄，信孚） 三郎兵衛信一 11俵 M3 32才 妙典寺 6丁
織田 栄吾（重菊） 錦作 120石 M5 26才 高岸寺 13丁
織田 錦作（源左衛門，則正） 復作 120石 M3 48才 高岸寺 10丁
織田 丹歌（権左衛門，信豊） 円左衛門信民 100石 M3 51才 寿経寺 8丁
織田 行（和平，信敏） 権左衛門信豊 3人扶持 M3 15才 寿経寺 6丁
織田 幸民（小野人，守一） 敬吉 80石 M3 34才 浄安寺 6丁 2冊
織田 忠（大垣友衛，信重） 守人信正 4人半扶持 M3 46才 聖興寺 5丁 2冊
織田 小太郎（大垣重太郎，正秀） 友衛信重 2人扶持 聖興寺 4丁
織田 こん 当喜 50石 M8 45才 高岸寺 5丁
織田 懋（敬蔵，重栄） 宗兵衛貫考 150石 M3 53才 浄安寺 8丁
織田 信統 五太夫信幸 150石 M3 19才 宗竜寺 13丁
織田 益興（主膳） 是楽益堅 3,000石 M3 25才 竜淵寺 16丁
織田 幹信（文平） 文太夫適胤 50石 M4 45才 高厳寺 5丁
織田 義太郎（夙成） 義左衛門允成 150石 M3 20才 高岸寺 10丁
（帙 97） 織田 島永知（春太郎，環） 団右衛門永武 6人扶持 M3 29才 蓮覚寺 9丁 2冊
小竹 歩（政伯） 伝三 15俵 M3 25才 妙法寺 8丁
小竹 有房（安太夫，伝三） 安之助 35俵 M3 69才 妙法寺 6丁
小竹 政伯 有房 25俵 M8 30才 妙法寺 8丁
小竹 一次（理知） 半次 22俵 M4 35才 静明寺 4丁
小竹 環蔵（正忠） 松閑 60石 慶応2 41才 願念寺 9丁
小竹 喜三郎（信行） 長左衛門 45石 M1 33才 善徳寺 5丁
小竹 勝左衛門（森房） 嘉太夫 6人扶持 M2 福念寺 3丁
小竹 政二（政右衛門，昌猷） 専左衛門 35俵 M3 56才 蓮覚寺 9丁
小竹 清六（定庶） 五郎左衛門 4人扶持 M2 33才 静明寺 8丁
小竹 武備（喜平次） 十左衛門武経 60石 M3 33才 宝勝寺 11丁 2冊
小竹 鍋吉（武次） 喜平次 4人扶持 M3 9才 宝勝寺 4丁
小竹 直正（繁造） 閑遊直従 90石 M4 47才 浄住寺 6丁
小竹 広左衛門（道貫） 定安 40石 慶応3 39才 妙法寺 11丁
小竹 安太郎（道則） 広左衛門斧道貫 3人扶持 M3 12才 妙法寺 9丁 2冊
小竹 百十郎（博篤） 大作 50石 安政4 28才 妙法寺 7丁
（帙 98） 小谷 久四郎（忠次） 伝助 15俵 M3 43才 慶恩寺 5丁
小谷 権太郎（武盛） 常三郎古政 100石 M3 静明寺 6丁
小谷 三作（成光） 治兵衛 4人扶持 M3 36才 乗光寺 3丁
小谷 伝八郎（成孝） 兵左衛門信敏 420石 M3 18才 静明寺 13丁 2冊
落合 誠作（義兼） 丈五郎 20俵 M3 浄智寺 8丁
落合 弥三男（弥太夫，直儀） 弥三太夫 20俵 M3 62才 禅栖院 5丁
大音主馬（厚成） 光雪厚義 4,300石 M2 30才 太岩寺 19丁

乙　崎　小三郎（景房）　八郎兵衛　10俵　M5　41才　東本願寺別院　3丁
音　田　治　平（弘孝）　佐平治平　2人扶持　M2　48才　蓮覚寺　5丁　2冊
音　田　治三郎（弘治）　治平　1人扶持　M2　22才　蓮覚寺　2丁　2冊
音　地　左　盛　（村住）　左太夫村貞　200石　M3　54才　浄安寺　11丁
音　地　　新　村住　200石　M6　33才　浄安寺　7丁
音　地　近　徳（伝太郎）　儀左衛門　永貞　160石　M3　50才　久昌寺　8丁
（帙　99）乙　丸　永　八（盛孝）　孝右衛門　15俵　M3　19才　乗光寺　3丁
乙　村　甚太郎（知道）　清右衛門　5人扶持　M2　25才　東本願寺別院　4丁
乙　村　清　作（知直）　清右衛門　35石　M2　35才　東本願寺別院　5丁
乙　村　武十郎（元勝）　武兵衛　1人扶持　M4　18才　東本願寺別院　4丁
乙　村　直太郎（知依）　清寛知行　2人扶持　M3　17才　東本願寺別院　4丁
尾　上　平九郎（時数）　平九郎　15俵　M5　45才　妙法寺　3丁
尾　内　信　茂　信明　15俵　M6　15才　本妙寺　5丁
尾　内　秀　政　新助　35俵　M7　61才　長徳寺　7丁
尾　内　賀　明　秀政　35俵　M7　33才　長徳寺　5丁
小野木　来　助（福成）　瀬左衛門　60石　安政4　31才　11丁
小野木　貞之助　源左衛門　3人扶持　M3　1丁
小野木　平八郎（良幹）　八百記　100石　天保10　32才　円光寺　11丁
小　原　　勇（維則）　嘉門　2人扶持　M3　15才　寿経寺　3丁
小　原　音三郎　尚方　50石　M8　22才　浄光寺　3丁
小　原　勝　平　直理　60石　M7　30才　宗寿寺　8丁

小　原　喜三次（喜太夫，信定）　弥五郎　25俵　M3　63才　名願寺　6丁
小　原　義重郎（藤幸）　喜右衛門　15俵　21才　善福寺　5丁
（帙 100）小　原　次　作（政久）　次右衛門　20俵　M3　23才　妙法寺　6丁
小　原　清之丞（為則）　弥作　4人扶持　文久3　29才　仰西寺　8丁
小　原　荘太郎（行修）　仙作行儀　40俵　M3　23才　3丁
小　原　太　喜（太左衛門，方行）　与三左衛門　18俵　M3　32才　正覚寺　3丁
小　原　忠　友（栄太郎）　喜久男　20俵　M4　15才　本光寺　6丁
小　原　前　綿（作太郎，澄）　秀冨　8人扶持　M6　33才　立円寺　4丁　2冊
小　原　　釟（一春）　釟　2人扶持　M4　34才　善徳寺　4丁
小　原　常太郎（好良）　治太夫　15俵　M3　23才　実成寺　7丁
小　原　鉄太郎　作右衛門　6人扶持　M2　15才　即願寺　4丁
小　原　広　海（金作八音，之貞）　伊右衛門之貞　100石　M3　35才　安楽寺　8丁
小原平左衛門（恒敬）　平作　40石　M2　41才　妙応寺　11丁
小　原　兵八郎（将能）　兵右衛門将禮　200石　嘉永3　30才　開禅寺　29丁
（帙 101）小　原　孫　次（秀富）　孫右衛門　8人扶持　M2　58才　立円寺　5丁
小　原　正　信　正静　160石　M7　38才　本長寺　8丁
小　原　充　正（源三郎）　喜兵衛　20俵　M3　19才　実成寺　9丁
小　原　行　修　行儀　40俵　M6　26才　4丁
小　原　吉太郎（正信）　弥平正静　50俵　M3　34才　本長寺　6丁
小　原　四十七（宗右衛門，晋述）　余所右衛門晋商　100石　少林寺　14丁
小　俣　武　平　武次郎　20俵　M6　30才

—小高 弥治（弥左衛門，正種）弥五郎
久種 150石 M3 49才 珉徳寺 10丁
（帙185）にあり

上宮寺　4丁
尾　山　昌次郎　佐吉　1人半扶持　M6　14才　本昌寺　3丁
尾　山　吉太郎（久行）　久兵衛　3人扶持　M2　11才　妙法寺　6丁

か　行

（帙 102）蚊　泉　清　三（久勝）　与吉　20俵　M3　慶恩寺　5丁
改　田　正　樹（粲太郎）　他作　350石　M3　18才　三宝寺　14丁　3冊
帰　山　　帰（宿，早人主作）　汲河主智　200石　M3　20才　常松寺　13丁
帰　山　惟　一（甚太郎）　作右衛門　25俵　M3　40才　本妙寺　7丁
帰　山　惣七郎（満政）　惣七郎　15俵　M3　12才　福念寺　4丁
帰　山　宗太郎（義雅）　宗次　15俵　M3　20才　善徳寺　10丁
帰　山　観　光（年松）　義三郎　150石　M3　45才　雲竜寺　14丁
帰　山　道　盛（宗次）　孝之丞　20俵　M3　37才　善徳寺　9丁
帰　山　良　延　源右衛門良康　60石　M3　43才　本妙寺　3丁
蚊々田　多次郎（久行）　与右衛門　1人半扶持　M5　30才　乗光寺　3丁
加々井　貞　助（道成）　和太夫　70石　M2　23才　松山寺　11丁
香　川　基　諸（左平，左兵衛）　四郎左衛門善討　8人扶持　光専寺　8丁
柿　沢　猪三郎（秀政）　栄之助　20俵　M4　24才　大円寺　6丁
柿　沢　栄太郎（政法）　伊兵衛　18俵　M3　40才　安立寺　5丁
柿　沢　歓　児（源右衛門，静検）　源左衛門敬以　50石　M3　33才　如来寺　6丁　2冊
柿　沢　権　平（権兵衛，友幸）　権兵衛　15俵　M3　39才　願楽寺　3丁
（帙 103）柿　沢　志津男（清房）　庄兵衛　15俵　M3　23才　本因寺　3丁
柿　沢　新　作（春宗）　栄之助　20俵　M3　37才　大円寺　6丁
柿　沢　善三郎（茂一）　庄治郎　20俵　M3　33才　大円寺　8丁
柿　沢　忠　国（吉三，吉蔵）　伊兵衛　20俵　M3　41才　安立寺　4丁
柿　沢　信　重（良助）　吉之丞　M3　34才　長徳寺　4丁
柿　沢　　木（周次郎，義之）　良助　18俵　M3　19才　長徳寺　6丁
柿　沢　正　茂（鉄吉）　嘉久次　15俵　M4　16才　慶恩寺　4丁
柿　沢　安　二（平六，春忠）　十五郎　25俵　M4　30才　実成寺　7丁
柿　沢　与八郎　八郎　15俵　M5　15才　因徳寺　4丁
柿　田　久　平（吉忠）　久太夫　1人半扶持　M4　44才　林幽寺　3丁
柿　田　八十男（久左衛門，且元）　忠兵衛致篤　50石　M3　70才　智覚寺　4丁　2冊
柿　田　鉄五郎（信行）　八十男且元　50石　M4　18才　智覚寺　4丁
柿　田　正　次（清四郎）　与三右衛門　15俵　M3　33才　林幽寺　3丁
柿　田　　実（津右衛門，重政）　津太夫　50石　M3　37才　正福寺　5丁　2冊
柿　田　安　作（友定）　仕兵衛　3人半扶持　M3　41才　林幽寺　3丁
（帙 104）柿　谷　逸　平（啓明）　宇兵衛啓忠　13俵　M3　57才　聖泉寺　5丁
柿　谷　　啓　逸平　13俵　M7　32才　聖泉寺　4丁
柿　谷　左　右（左兵衛義啓）　逸平啓明　2人扶持　M3　28才　聖泉寺　3丁
柿　畠　親　房（雄次郎）　徳之丞　2人半扶持　M3　19才　瑞泉寺　4丁
垣　本　虎十郎（賢明）　佐五右衛門賢英　6人扶持　M3　24才　本行寺　5丁
角　田　茂　清（勝喜，彦左衛門）　清作　18俵　M3　41才　法光寺　4丁
角　田　政　言（甚九郎）　与右衛門　20俵　M3　57才　真成寺　4丁

角田義定（外吉） 甚九郎 15俵 M3 20才 真成寺 4丁
角村勝久（善太郎） 善右衛門 13俵 M4 52才 浄誓寺 6丁
針 角間清俊（栄次郎） 伊助清明 50俵 M3 36才 名願寺 3丁
角間惟精（十八郎，六三郎，正忠） 兵蔵維新 50俵 M3 31才 棟岳寺 6丁
角間貞次（右市） 左市 20俵 M4 25才 実成寺 8丁
角間資美（用助，用蔵，資義） 用助 資行 30石 M3 39才 広済寺 4丁 2冊
角間輝道（静吾，照道） 喜三郎 20俵 M3 24才 東本願寺別院 8丁
角間期安（甚七，直久） 喜三郎 15俵 M3 21才 上宮寺 2丁
角間二平（元之） 千太郎 2人扶持 M4 45才 専光寺 4丁
（帙 105） 角間彦七（直定） 八左衛門 15俵 M3 37才 徳栄寺 3丁
角間弘家（三六） 万右衛門 17俵 M3 専光寺 4丁
角間正道（久三郎） 弥三右衛門 15俵 M3 39才 超願寺 3丁
角村以明（小太郎） 新右衛門 15俵 M3 20才 慶恩寺 4丁
掛上東作（東左衛門，友之） 作右衛門 20俵 M3 21才 西照寺 5丁
掛飛準吉（孝継） 八十 2人扶持 文久1 13才 願楽寺 5丁
掛飛八十（進，秀一） 八左衛門忠一 60石 M3 51才 願楽寺 10丁 2冊
掛飛寛裕（才次郎） 茂右衛門寛緯 100石 M3 66才 本長寺 8丁 2冊
掛飛寛信（桔） 寛裕 100石 M8 23才 本長寺 8丁 2冊
蔭山正英（繁） 友三郎 100石 M3 24才 伝燈院 11丁
（帙 106） 賀古清禎（金八） 庄兵衛清澄 300石 M3 33才 宗竜寺 10丁
賀古清保（武十郎） 一静 270石 M3 32才 15丁
笠井善之丞（直之） 久七郎 55石 M2 22才 常松寺 17丁
笠木喜笠（一房） 吉左衛門 15俵 M3 23才 常徳寺 6丁
笠場二三郎（義信） 幸右衛門 15俵 M4 20才 妙玄寺 7丁
笠間矩孝（勇次郎） 荘兵衛 18俵 M3 20才 永順寺 3丁
笠間良左衛門（久行） 平太夫 50石 M3 29才 蓮覚寺 9丁
笠松 春 茂太郎 10石 M7 5才 長国寺 6丁
笠松理新（又次郎） 伝助 15俵 M3 25才 光専寺 3丁
樫田清作（忠昴） 八兵衛 2人扶持 元治2 64才 即願寺 8丁
樫田忠貞（九右衛門，八十八） 九右衛門忠郷 30石 M3 42才 高岸寺 6丁 2冊
樫田忠益（良三郎） 清作忠昴 2人扶持 M3 19才 即願寺 7丁
樫田豊資（謙二，彦兵衛） 信三郎秀知 400石 M3 34才 大乗寺 7丁
樫田雅知（豊作，惣太夫） 惣八 25俵 M3 36才 乗善寺 6丁
樫見乙一（太三郎） 善六 15俵 M3 26才 福念寺 5丁
樫森徳平（徳左衛門，久良） 徳兵衛 20俵 M3 46才 仰西寺 5丁
梶山源太郎（充之） 源左衛門 18俵 M3 31才 光現寺 3丁
柏 弥之（平作） 弥左衛門 2人扶持 M4 41才 本光寺 3丁
（帙 107） 数枝正道（治郎，七郎） 八郎輝景 50俵 M3 46才 広済寺 13丁
春日義方（於兎男） 栄五郎 250石 M3 26才 如来寺 10丁
加須屋有俊（貞徒） 七郎右衛門比平 300石 M3 29才 本光寺 16丁
加須屋十左衛門（好清） 兵左衛門由満

350石　M3　本光寺　13丁

葛巻昌道（繁木）　外須夫昌矣　2,130石　M4　松月寺　13丁　2冊

片糸忠久（忠太郎，久忠）　保兵衛　20俵　M3　26才　永照寺　5丁

片糸祇武（円平）　甚助　20俵　M3　40才　玄門寺　6丁

片岡篤行（巌）　七左衛門斯穐　190石　M3　35才　三宝寺　11丁

片岡益治（八平，八兵衛）　八音昆治　35石　M3　33才　本光寺　4丁　2冊

片岡嘉久男（久之丞，政好）　清太夫　20俵　M3　48才　善徳寺　5丁

片岡清一（源治，源左衛門，清一）　助之丞一静　7人扶持　妙典寺　3丁　2冊

片岡珺光（辰太郎，友智）　助大夫智次　150石　M3　15才　蓮昌寺　9丁

（峡 108）片岡権作（知止）　勘助知栄　7人扶持　M3　57才　広済寺　5丁　2冊

片岡権太郎（一道）　権右衛門　15俵　M4　23才　西福寺　4丁

片岡　茂定三　7人扶持　M7　11才　松山寺　4丁

片岡秀太郎　民江　70石　M6　12才　静明寺　9丁

片岡庄八（庄左衛門，庄太夫，貞猶）　兵左衛門貞氏　27俵　M3　67才　正福寺　7丁　2冊

片岡甚内（甚左衛門，知幸）　甚八　18俵　M3　36才　正覚寺　5丁

片岡甚兵衛（以義）　九八郎　70石　M2　31才　10丁

片岡捨司郎（知哲）　三右衛門知方　330石　M3　29才　本光寺　15丁

片岡喬幸（源六，源蔵，喬幸）　佐源太喬知　100石　M3　44才　常松寺　8丁

片岡定三（栄二，美貞）　文次郎　7人扶持　M4　27才　2丁

片岡虎太郎（政勝）　久之丞　15俵　M3　16才　善徳寺　4丁

片岡嘉晃　嘉光　28俵　M6　35才　正福寺　6丁

片岡孫兵衛　孫兵衛　10人扶持　文政9　21丁

片岡義定（義治，義左衛門，道定）　源右衛門　15俵　M3　46才　松山寺　3丁

片岡義三（道広）　源兵衛　5人扶持　M4　13才　松山寺　3丁

潟岡弥三郎（友一）　元助　3人扶持　M4　30才　願念寺　4丁

潟上祐保（喜三郎）　直次　1人半扶持　M4　33才　本誓寺　4丁

潟上常久（玄庵）　玄男常申　5人扶持　M3　真長寺　6丁

（峡 109）堅田長平（六兵衛，信友）　六右衛門　2人半扶持　M3　30才　東本願寺別院　3丁

堅田徳友（成男）　陸進徳知　25俵　M3　31才　西光寺　6丁

堅田詮政（鈑次郎）　弥三郎宗之　60石　M3　21才　本因寺　9丁

堅田半次郎（古和）　守衛　3人扶持　M2　25才　本因寺　4丁

堅田益男　古和　3人扶持　M6　3才　本因寺　3丁

堅田政至（寅男，寅之助，自種）　半助自門　26俵　M3　20才　本因寺　6丁　2冊

片山遠平（君平，純）　君平　170石　M3　29才　長周寺　5丁

片山貞年（半）　休斎貞則　120石　M3　30才　善福寺　7丁

片山政徳（直太郎）　繁六孝時　150石　M4　16才　因徳寺　8丁

勝尾多一（宝太郎，永春）　喜三郎永政　40俵　M3　承証寺　11丁

勝尾照元（外吉）　武左衛門　15俵　M3　20才　勝興寺　4丁

勝尾信量　善作　100石　M7　30才　鶴林寺　7丁

勝尾半信（半左衛門，信忠）　半左衛門信順　1,100石　M3　43才　鶴林寺　13丁

（峡 110）勝岡源次（義清）　垣　20俵　M5

16才　蓮花寺　4丁

勝岡　　坦（源佐，義嗣）　孫次郎　20俵　M3　36才　蓮華寺　5丁

勝岡道正（方次郎，道正）　道則　100石　M3　18才　本光寺　5丁

勝木菊正（古道）　大四郎氏定　100石　M4　35才　承証寺　8丁

勝木三郎（氏後）　権太夫氏秀　35俵　M3　24才　聞善寺　8丁

勝木七郎（則一）　惣左衛門　15俵　M3　27才　仰西寺　5丁

勝木元善（兵馬）　兵助元直　60石　M3　56才　立円寺　7丁　2冊

勝木信十郎（元良）　兵馬　4人扶持　万延1　16才　4丁

勝木中央（余所吉，富治）　重太夫　30石　M3　31才　徳栄寺　5丁　2冊

勝木則明　則孝　10石　M7　31才　仰西寺　5丁

勝木　　辺（慎武）　嘉太郎　20俵　M3　25才　本因寺　7丁

勝木政之（安太郎，正之）　惣兵衛　18俵　M3　16才　光専寺　5丁

(帙 111)　勝木義忠（忠次郎）　八丞　24俵　M3　31才　珉徳寺　10丁

勝木頼敬（伊三八，清左衛門）　清左衛門頼理　40石　M3　49才　如来寺　11丁　2冊

勝嶋甚六（吉太郎，定則）　甚六　20俵　M3　16才　常福寺　5丁

勝嶋近儀（晋平）　6人扶持　M3　22才　広済寺　7丁　2冊

勝田稲男（稲生，長久）　貫兵衛長汎　20石　M3　17才　妙慶寺　6丁

勝田貫兵衛（長汎）　十左衛門　70石　M2　39才　妙慶寺　19丁

勝田長久　長汎　70石　M6　20才　妙慶寺　7丁

勝田助三郎　幹一　10石　M6　5才　妙正寺　6丁

勝田直衛（長倍）　十左衛門長遐　30石　M3　39才　妙慶寺　10丁　2冊

勝田良嶽（春吉，知貞）　宇左衛門知致　6人扶持　M3　高岸寺　5丁

勝見永次郎（有庸）　正蔵　15俵　M3　20才

勝見貞之（源次）　伊右衛門　20俵　M3　48才　慶恩寺　4丁

勝見豊次（正荘，正蔵）　順之助　20俵　M3　52才　専光寺　6丁

勝見信正（宇太郎）　戸左衛門　20俵　M3　28才　専光寺　8丁

勝見秀知（正太郎）　正蔵豊次　30俵　M3　27才　専光寺　8丁

勝見政敦（吉太郎）　伊兵衛　20俵　M3　24才　専光寺　6丁

勝見正成（忠太郎）　意平順幸　7人扶持　M3　12才　敬栄寺　3丁　2冊

(帙 112)　勝村守馬（義正）　源兵衛　1人扶持　M3　27才　蓮福寺　3丁

勝村武久（他喜次郎）　初左衛門　70石　M3　6才　蓮福寺　5丁　2冊

加藤秋太（有唯）　増之丞　8人扶持　M3　38才　立像寺　7丁　2冊

加藤時太　秋太有唯　8人扶持　M7　6才　立像寺　6丁

加藤卯三郎（真氏）　三治　15俵　M3　光専寺　6丁

加藤喜十郎（文行）　浪右衛門　9人扶持　M2　23才　鶴林寺　10丁

加藤喜兵衛（忠弘）　為兵衛　30石　M2　30才　竜淵寺　4丁

加藤欽吾（正之）　庄太夫　5人扶持　M4　44才　静明寺　5丁

加藤九重郎（信善）　九兵衛　15俵　M3　22才　慶恩寺　3丁

加藤九八郎（直忠）　九八郎　40石　M1　22才　12丁

加藤九平（九兵衛，信善）　清次郎　20俵　M3　67才　慶恩寺　4丁

加藤九兵衛（重威）　余所之助　450石　天保9　59才　大乗寺　9丁　2冊

加藤貢馬（貞明）　清六明良　50石　安政6　23才　蓮覚寺　11丁

加藤 源太郎（由成） 直作 2人扶持 慶応3 17才 西勝寺 6丁

加藤 卑左衛門（義立） 与右衛門義誠 60石 M1 52才 即願寺 5丁

加藤 幸次（寄正） 吉助 2人半扶持 M3 28才 光福寺 3丁

加藤 小太郎 保太郎 10石 M8 12才 願念寺 7丁

加藤 権次郎 三郎 2人扶持 M8 12才 本誓寺 4丁

加藤 三平（修理，里路） 采女里有 1,500石 M2 39才 大乗寺 10丁

加藤治部左衛門（有隣） 貞右衛門重堵 450石 延享3 36才 大乗寺 9丁

（帙 113） 加藤 俊太郎（寛勝） 四郎左衛門寛信 3人扶持 M3 18才 瑞雲寺 3丁 2冊

加藤 新作（義孝） 安右衛門 10俵 M4 照円寺 3丁

加藤 甚兵衛（理著） 新八 40石 天保10 35才 蓮覚寺 9丁

加藤 清五郎（重正） 知足九兵衛重成 450石 慶応3 19才 大乗寺 12丁 3冊

加藤 万次郎（里衛） 清五郎重正 450石 M4 大乗寺 8丁

加藤 荘太郎（延秋） 学馬義延 2人扶持 M3 23才 照円寺 9丁

加藤 外男（捨吉，一義） 徳兵衛 4人扶持 M2 17才 浄安寺 3丁

加藤 他家男 唯六 10石 M7 8才 伏見寺 5丁

加藤 忠敏（鉾太郎） 兵蔵正忠 7人扶持 M3 14才 妙国寺 9丁

加藤 鉄次郎（直温） 定四郎忠之 50俵 M3 27才 長久寺 8丁

加藤 徳太郎 義立 60石 M7 10才 即願寺 5丁

加藤 徳兵衛（義信） 栄助 70石 M2 50才 浄安寺 12丁

加藤 寛勝（清次郎，四郎左衛門，寛信） 四郎左衛門寛済 80石 M3 46才 瑞雲寺 8丁 2冊

加藤 半太郎（和定） 半右衛門 4人扶持 M2 22才 福念寺 5丁

（帙 114） 加藤 保太郎（紀頼） 弥三八 15俵 M3 19才 誓願寺 6丁

加藤 弥三八（弥太夫，紀永） 弥太夫 30俵 M3 61才 誓願寺 7丁

加藤 余所之助（重辰） 直次郎 450石 文政8 37才 大乗寺 10丁

加藤 六兵衛（正之） 文郎左衛門 5人扶持 慶応3 38才 法然寺 5丁

加藤 和左衛門（重春） 和左衛門 7人扶持 M3 37才 西勝寺 6丁

金 石 与 元近 40俵 M8 40才 本光寺 7丁

岩

金 有右平（宗蔵，弘景） 息哉明景 150石 M3 51才 本光寺 11丁

金 岩克己 右平 150石 M7 23才 本光寺 6丁

金 岩善文（坦二） 平助善度 150石 M3 48才 本光寺 8丁

金 岩虎吉（貞之） 栄之丞道之 40俵 M3 15才 本光寺 14丁

金 岩元近（次郎九） 七兵衛篤敬 40俵 M3 54才 本光寺 10丁

金 崎幸太郎 勝成 15俵 M6 5才 聖興寺 3丁

金 崎正克（順太郎，政通） 太一郎 15俵 M3 25才 西源寺 4丁

金 森 金（亨，宗左衛門，好精） 九兵衛 30俵 M3 38才 西方寺 6丁

金 森次朔（由正） 次左衛門 5人扶持 M4 55才 善徳寺 3丁

金 森小成（唯人，孚先） 鈔四郎義一 500石 M3 33才 月心寺 11丁

金森 森信章（八十郎） 吉左衛門信之 500石 M3 33才 高岩寺 11丁

（帙 115） 金谷篤行（佐多与） 多門 60俵 M3 36才 月心寺 6丁

金谷栄松（堅災） 喜三郎 15俵 M3 27才 誓法寺 6丁

金谷金信（和太郎） 久右衛門 2人

扶持　M4　西照寺　4丁

金谷三治（高清）　市郎右衛門　20俵　M3　41才　東本願寺別院　7丁

金谷孔彰（与十郎）　多門武英　350石　M3　45才　月心寺　11丁

金谷延賢（友男）　源吾延正　50石　M3　24才　仰西寺　5丁　2冊

金山勝次（長五郎）　佐助　15俵　M3　30才　専光寺　5丁

包　三郎（清兵衛，義則）　甚之助義元　25俵　M3　40才　金剛寺　3丁

金内克成（孫三，郎兵衛）　太兵衛信中　60石　M2　54才　広昌寺　7丁　2冊

金浦成貞（乙吉）　左次郎　20俵　M4　29才　安楽寺　4丁

金岡政定（権二，紋蔵）　権四郎　15俵　M3　30才　光専寺　5丁

金川政憲（歩，仁左衛門）　卯三郎　20俵　M3　23才　専光寺　7丁

金子明秀（江兵）　弥助　8人扶持　M3　33才　玄門寺　7丁

金子伊三郎（賢元）　江兵　9人扶持　嘉永2　49才　全性寺　7丁

金子炫男（勘三郎）　勘之丞　20俵　M3　35才　承証寺　5丁

金子勝国（与三郎）　辰三郎　15俵　M4　17才　極楽寺　6丁

金子勘次（正武）　宗左衛門　1人半扶持　M4　61才　西照寺　4丁

金子義一郎（義勝）　宗左衛門　20俵　M3　26才　西照寺　7丁

金子喜平次（元忠）　源左衛門　10俵　M4　22才　本蓮寺　6丁

金子　清（棟一）　吉兵衛　23俵　M3　17才　名願寺　7丁

金子清茂（一平）　吉之助　40俵　M3　32才　名願寺　8丁

（帙 116）**金子源三郎**（是則）　喜平次　11俵　M4　65才　本蓮寺　6丁

金子此面（忠順）　恰　3人扶持　M3　54才　常福寺　3丁　2冊

金子重太郎　惣作　25俵　M8　実成寺　5丁

金子重正（政吉，直用）　清丞　35俵　M3　54才　等願寺　6丁

金子成之（彦左衛門）　嘉膳成親　12人扶持　M3　26才　法船寺　10丁

金子庄作（庄之助，知正）　庄右衛門　18俵　M3　西光寺　4丁

金子清三郎（吉蔵，惺）　章蔵雋　60石　M3　38才　勝光寺　3丁　2冊

金子誠馬（将英）　伊三郎賢元　9人扶持　M4　29才　全性寺　6丁

金子惣吉（吉永）　村右衛門　1人半扶持　M4　42才　福念寺　4丁

金子惣作（惣左衛門，茂清）　惣三郎　35俵　M3　60才　実成寺　6丁

金子孝一（乙吉）　多十郎　60石　M3　19才　聖興寺　10丁　2冊

金子太七（則忠）　太八　10俵　M4　51才　本蓮寺　6丁

金子庸久（敬二，慶蔵）　吉蔵幸久　40俵　M3　31才　妙感寺　11丁

金子藤作（金藤）　孫作　20俵　M4　28才　建聖寺　9丁

金子篤太郎（友定）　寛翁兼定　350石　M3　45才　妙国寺　13丁

金子徳太郎　与二郎　15俵　M7　2才　福念寺　4丁

金子忠吉　一忠　9人扶持　M6　34才　大円寺　7丁

金子登行（治兵衛，五平）　三翁展親　100石　M3　44才　西養寺　7丁

（帙 117）**金子陳正**（卯八郎）　半太夫知義　70俵　M3　43才　妙感寺　10丁

金子久治（粂次郎，久福）　小左衛門　15俵　M3　23才　常願寺　4丁

金子文治（友輔）　彦兵衛　12俵　M4　41才　本敬寺　6丁

金子平治（元安）　喜平次　11俵　M4　60才　本蓮寺　5丁

金子政一（武十郎）　武左衛門　7人扶持　M4　31才　経王寺　6丁

金子正則（熊吉） 平兵衛正是 50石 M3 27才 大円寺 8丁 2冊
金子方久（良太郎） 栄五郎 18俵 M3 8才 西光寺 5丁
金子政好（賢二郎，仙蔵，政好） 甚作 20俵 M3 29才 本行寺 9丁
金子道悦（周平） 弥六郎成久 26俵 M3 円祐寺 10丁
金子安定（貫陸，貫右衛門） 団右衛門 35俵 M3 57才 長蓮寺 8丁
金子安太郎（安則） 市郎左衛門知久 90石 M3 59才 聖興寺 12丁
金子意永（治藤平） 治右衛門 30俵 M4 50才 福念寺 8丁
金子義信（吉平） 庄右衛門 18俵 M3 31才 西方寺 5丁
金子与二郎（包守） 与太郎 15俵 M3 14才 福念寺 3丁
兼子盛男（好知） 清蔵 55石 M3 36才 光覚寺 13丁
金嶋一嘉（作平，茂嘉） 藤作 20俵 M3 41才 西方寺 5丁
金嶋当次郎（朝則） 善左衛門 20俵 M3 36才 西方寺 6丁
金田源造（義守） 長兵衛 12俵 M4 51才 光現寺 4丁
金田誠吾（知久） 尉右衛門 20俵 M3 24才 西福寺 5丁
金田台八郎（芳金） 鋲平 20俵 M3 28才 妙慶寺 5丁
金田忠勝（伊三郎） 善七 20俵 M3 21才 善照坊 4丁
（帙 118） 金田久之（庄二郎） 良平 20俵 M3 24才 妙慶寺 6丁
金田平作（行近） 喜作 7人扶持 M2 60才 蓮福寺 7丁
金田正久（恒三，恒右衛門） 恒右衛門 21俵 M4 53才 昌柳寺 10丁
金田正良（甚四郎） 小右衛門 15俵 M3 34才 称名寺
金田基之（清三郎） 五左衛門 50俵 M4 44才 妙慶寺 5丁
金田之庸（久平，久兵衛） 鉄之助恵之 50俵 M3 44才 妙慶寺 11丁
金田吉三郎（秀定） 与作 2人扶持 M5 専光寺 4丁
金田義直（義一，武直） 儀太夫 25俵 M4 54才 昌柳寺 8丁
金野春清（久次，久之介） 久太夫 20俵 M3 16才 常徳寺 4丁
金平小源（保） 定三郎 7人扶持 M4 39才 東本願寺別院 2丁
印牧一斎（恒三郎，忠順） 大助之忠 60俵 M3 35才 妙成寺 4丁
印牧誠篤（次郎，重蔵） 右門政長 80石 M3 33才 本是寺 7丁 2冊
印牧当工郎（忠告） 大助之忠 150石 M3 40才 妙成寺 8丁
印牧成美（清六郎） 平摩弘道 60俵 M3 45才 妙成寺 5丁
印牧政道（藤太郎） 孫太夫行忠 150石 M3 31才 妙成寺 13丁
印牧幸昌（要） 要人以正 150石 M3 43才 妙成寺 13丁
兼松信義 信延 10人扶持 M7 16才 賢聖坊 6丁
金丸喜太郎 孝正 20俵 M6 18才 本覚寺 6丁
金丸忠四郎 友義 200石 M7 10才 妙応寺 7丁
金丸忠正（吉十郎） 喜三郎忠恕 30俵 M3 35才 敬栄寺 6丁
金丸虎次郎 豊三郎 20俵 M7 3才 本覚寺 5丁
金丸正魚（和重郎） 和左衛門 20俵 M3 21才 本覚寺 6丁
（帙 119） 金村三郎平（勘右衛門，芳直） 三郎兵衛 15俵 M3 48才 善徳寺 4丁
金村茂則（太吉） 12俵 M3 26才 誓入寺 4丁
金村惣夢（紀盛） 徳右衛門 11俵 M5 62才 善徳寺 4丁
金村為正（庄右衛門） 三郎兵衛 15俵 M4 善徳寺 4丁

金村秀元（次三郎） 平作 13俵 M4 28才 光照寺 4丁
金村芳包（弥之助） 小右衛門 15俵 M3 45才 円長寺 4丁
金村嘉政（太郎治，大兵衛） 与四郎 M3 24才 東本願寺別院 4丁
兼村栄太郎（延清） 九右衛門 15俵 M3 20才 長周寺 5丁
鹿野右平（盈久） 宇兵衛敏盈 100石 M3 昌柳寺 9丁 2冊
加納亥三吉（信敬） 文次 2人扶持 M4 9才 光専寺 7丁
加納永太郎（孫七，孫太郎，栄信） 孫六 25俵 M3 52才 円長寺 6丁
加納喜久治 三四郎 10石 M8 29才 名願寺 6丁 2冊
加納貞次郎 志津衛 15俵 M3 18才 名願寺 8丁
加納清次郎（次一） 兵作 15俵 M3 18才 浄行寺 3丁
加納文次 円左衛門 21俵 M2 45才 光専寺 9丁
加納勇左衛門（武知） 勇左衛門 70石 安政6 38才 光専寺 14丁
桃木慶次郎（義勝） 甚次郎 20俵 M3 19才 経王寺 7丁
桃木基近（友造） 友左衛門 25俵 M3 40才 願念寺，本長寺 8丁
椋木則保（信次郎） 什翁則明 35俵 M4 23才 経王寺 10丁
鎌田兵造（直政） 八郎次 30俵 M3 49才 興徳寺 6丁
（帙 120） 神尾 先（吉太郎，矩補） 喜兵衛 5人扶持 M4 18才 浄行寺 3丁
神尾次孝（淳吉，次孝） 昌二与次 17人扶持 M4 29才 国泰寺 8丁
神尾直候（孝次郎） 嘉門直行 300石 M4 45才 国泰寺 11丁
神尾直忠（権三郎） 伊兵門直中 500石 M3 50才 11丁 国泰寺
神尾直躬（篤次郎） 葛山友直 1,550石 M3 42才 国泰寺 13丁
神尾直發 友内直久 300石 M3 30才 国泰寺 15丁
上坂景光（誠三郎） 平次兵衛景充 100俵 M3 13才 如来寺 4丁
上坂景充（平次兵衛，九郎） 友近景純 3,000石 M3 37才 如来寺 13丁
上坂忠次郎 景充 3,000石 M7 18才 如来寺 8丁
上坂千景（丈夫） 左次馬景長 200石 M3 42才 如来寺 6丁
上島恒太郎（忠行） 安左衛門 15俵 M3 19才 妙典寺 4丁
上嶋義一郎（義忠） 弥六 15俵 M3 20才 西岸寺 8丁
上嶋専三郎（忠且） 常右衛門丞皎 6人扶持 M3 46才 西光寺 7丁
上嶋半平（半丞，之平） 喜作 20俵 M3 43才 本浄寺 5丁
上嶋比次郎（春道） 吉次 20俵 M4 25才 唯念寺 4丁
上条弥太郎（時之） 有喜時尹 140石 M3 42才 経王寺 7丁
上林善六（与幸） 善吉 15俵 M3 42俵 乗善寺 4丁
上森八十次（義一） 八次郎 15俵 M5 52才 立川寺 2丁
神谷好多（徳太郎，昌豊） 徳兵衛 20俵 M3 21才 光専寺 5丁
神谷忠二（守信） 徳右衛門 15俵 M3 25才 光専寺 4丁
神谷忠平（忠蔵，豊安） 18俵 M3 51才 西光寺 4丁
神谷平治 市郎右衛門 15俵 M3 42才 常福寺 5丁
（帙 121） 神谷守約（十郎，外記） 郎守胤 1,500石 M3 26才 10丁 2冊
神谷善一（九左太） 三右衛門 15俵 M3 31才 光専寺 4丁
神谷好一（徳右衛門，好一） 吉左衛門 20俵 M3 68才 光専寺 5丁 2冊
上山弘太郎（直吉） 直右衛門 20俵

M3　18才　本浄寺　7丁
上　山　小三郎（久義）　茂久平　15俵　M3　23才　徳竜寺　5丁
上　山　権太郎（一次）　兵四郎　20俵　M5　17才　徳竜寺　8丁
上　山　　茂（義次）　安兵衛　20俵　M3　28才　正覚寺　8丁
上　山　治　平（久有）　宗助　25俵　M3　56才　願性寺　7丁
上　山　治太郎（久明）　治平　15俵　M3　22才　願性寺　5丁
上　山　判兵衛（直治）　判兵衛等　75石　M3　46才　宗竜寺　7丁　2冊
上　山　正　次（権左衛門，三津喜）　八郎右衛門　20俵　M3　28才　安立寺　6丁
神　代　精　三（武太郎，意興）　伝右衛門　佳岳　50石　M3　20才　全昌寺　7丁
亀　井　左太夫（清六，清右衛門，守政）　2人扶持　M3　52才　蓮昌寺　3丁　2冊
亀　田　　臣（登次郎，喜俊）　仁兵衛　15俵　M3　31才　西方寺　7丁
亀　田　清　勝（政次郎，清勝）　次助　15俵　M3　43才　善徳寺　4丁
亀　田　長　安（五兵衛，後平）　長兵衛長久　3人扶持　M3　36才　常福寺　3丁　2冊
亀　谷　彦一郎（正道）　宇左衛門　15俵　M3　27才　常楽寺　5丁
亀　谷　是　信（宇八郎，基）　宇左衛門　15俵　M3　24才　常楽寺　5丁
（帙 122）萱　津　安　貞（数馬）　吉左衛門安光　8人扶持　M3　49才　開禅寺　8丁　2冊
茅　野　宜　隆（準平）　正益一寿　4人扶持　M3　48才　3丁
茅　野　太吉郎　宜隆　4人扶持　M7　7才　西福寺　4丁
苅　沢　政　幸（長平）　吉兵衛　15俵　M3　30才　専光寺　3丁
狩　谷　竹　幹　竹翰　100石　M7　27才　7丁
狩　谷　直　道　直員　100石　M8　43才　妙国寺　8丁
河　合　一　元　一成　7石　M7　25才　徳竜寺　9丁
河　合　喜太郎（幾喜）　市右衛門惣久　20俵　M3　41才　因徳寺　5丁
河　井　喜藤次（尹精）　三平　5石　M3　24才　大乗寺　3丁
河　合　儀兵衛（萬）　方助　9人扶持　天保13　36才　6丁
河　合　孝之介（則直）　理兵衛　6人扶持　M2　22才　三宝寺　8丁
河　合　小五郎（介直）　五郎兵衛　15俵　M3　27才　本長寺　6丁
河　合　三　助（是吉）　儀右衛門　6人扶持　M3　51才　浄智寺　6丁
河　合　潤　吉　一正　33俵　M7　承証寺　5丁
河　合　清　造（守一）　又七　3人扶持　M4　60才　静照寺　3丁
河　合　太次郎（幸定）　太兵衛　12俵　M4　35才　珉徳寺　4丁
河　合　太　平（太兵衛，久幸）　五右衛門　2人半扶持　M3　59才　珉徳寺　2丁
河　合　常之助（友定）　半左衛門　6人扶持　M2　28才　如来寺　9丁
河　合　孫三郎　磯治　6人扶持　M6　16才　浄智寺　6丁
河　合　三　省（定次郎）　儀八　3人扶持　M4　26才　法船寺　3丁
河　合　守兵衛（保右）　凌雲　6人扶持　M1　31才　実成寺　4丁
河　合　廉之助　甚右衛門　7人　扶持　M1　47才　弘願院　6丁
（帙 123）川　上　寛　治（熊次郎，定一）　金左衛門　定章　3人半扶持　M3　22才　本因寺　4丁　2冊
川　上　鉱二郎（自延）　宗吾　60石　M2　22才　願念寺　7丁
河　上　作左衛門（作太夫，偏高）　半作　3人扶持　安政4　42才　浄光寺　10丁
河　上　　繁（記肥）　包　1人半扶持　M4　17才　浄光寺　7丁
河　上　丈左衛門（長光）　左平　2人扶持

文久3　43才　仰西寺　5丁

河上仁三郎（光長）　丈左衛門　1人扶持　M2　14才　仰西寺　1丁

河上平右衛門（治長）　2人扶持　慶応3　26才　因徳寺　3丁

川北元周（周）　懇中　70石　元治2　41才　善照坊　13丁

河北恒之助（吉享）　30石　慶応2　30才　聞善寺　6丁

河北守男（惟休）　勇左衛門　2人扶持　M2　23才　等願寺　8丁

川口久右衛門（方供）　菊翁　25石　M3　65才　光教寺　4丁

川口三之丞（政保）　直政　35石　M2　名願寺　9丁

川口清次郎（保清）　辰之丞　4人扶持　M1　28才　宗竜寺　6丁

河毛義助（喜之）　丹下　5人扶持　慶応2　36才　西養寺　6丁

（帙124）川越甚之丞（外次郎，宗敬）　七左衛門　宗之　90石　元治1　12才　円祐寺　17丁

川越巴　六左衛門　17石　M7　23才　即願寺　6丁

川越友右衛門（術吉）　勘蔵　5人扶持　M3　38才　本性寺　6丁　2冊

河越健太郎（重久）　円左衛門　6人扶持　M3　16才　即願寺　7丁

河越源八　源左衛門　2人扶持　M2　51才　西光寺　5丁

河崎亥之助（為直）　良助　3人扶持　文久3　13才　乗善寺　3丁

河崎粂太郎（正孝）　庸之助　15俵　M3　15才　徳栄寺　5丁

河崎小太郎（有久）　3人扶持　M2　9才　経王寺　3丁

河崎犀次（忠章）　犀右衛門　10俵　M3　20才　浄光寺　5丁

河崎左吉郎（為貫，一衛）　左六　9人扶持　慶応2　20才　光覚寺　9丁

河崎貞六（造之）　八之丞知方　7人扶持　慶応2　41才　9丁

河崎三次郎（重久）三郎　2人扶持　M5　25才　2丁

河崎治助　豊左衛門　4人扶持　M2　31才　宗竜寺　6丁

河崎會平（定一）　金太夫一重　20俵　M3　31才　西方寺　10丁

河崎武（武左衛門，富久）　武左衛門森富　40俵　M3　46才　全性寺　7丁

河崎多仲（則栄）　市丞　190石　M1　24才　立像寺　17丁

河崎廉次（庸蔵，正忠）　吉左衛門　30俵　M3　53才　徳栄寺　8丁

河崎寄盛（文左衛門）　林次郎　20俵　M3　56才　西方寺　4丁

（帙125）河崎金丞（清明）市右衛門　90石　安政4　33才　瑞光寺

河崎左兵衛（正友）　康之丞　5人扶持　M1　51才　立像寺　6丁

河崎治太夫（正勝）　五兵衛　60石　M3　24才　立像寺　12丁

河嶋十蔵（良知）　善之丞　30石　M2　19才　全性寺　9丁

河嶋昇次郎（勝忠）　熊次　6人扶持　M1　34才　浄安寺　2丁

河嶋真次郎（友清）　金丞　5石　M3　28才　瑞光寺　4丁

河嶋甚太郎　則儆　20石　M7　敬栄寺　6丁

河島亮直（兵吉郎）　孝作以直　200石　M3　41才　慈雲寺　12丁

河島忠順（参三郎，孝久）　平五郎孝安　150石　M3　23才　9丁

河嶋元春（甚八）　35俵　M5　13才　35俵　妙典寺　7丁

河嶋柳斉（吉種）　態次　3人扶持　M3　47才　浄安寺　10丁

河嶋梓（勝太郎，則政）　仍代本則　7人扶持　M3　18才　浄住寺　8丁　2冊

河瀬楽軒（輝）　楽軒　40石　M3　58才　竜源寺　10丁　2冊

河瀬武貞（義八郎）　竜次郎武直　100石　M3　23才　直行寺　10丁

河瀬寛介（重房） 左門 400石 慶応2 16才 2丁
河内良太郎（信次） 荘作 15俵 M3 19才 浄行寺 4丁
河地弥三太夫（保定） 弥次右衛門 200石 M3 39才 妙法寺 15丁
（帙126） 川端丈太郎（正秀） 円兵衛 15俵 M3 23才 天景寺 6丁
河辺鎮次郎（宗重） 銈六郎 7人扶持 M2 16才 18丁
河辺弥太夫（包雅） 十郎兵衛 60石 慶応2 66才 7丁
河辺理三郎（為孝） 弥太夫 2人扶持 M1 17才 3丁
川村清作 善平 10石 M7 28才 性晃寺 5丁
川村友之助（公雄） 七左衛門 5人扶持 M2 22才 蓮覚寺 16丁
河村勇（成克） 豊重 6人扶持 M3 40才 浄住寺 6丁
河村嘉太郎 助左衛門 1人半扶持 M1 19才 円徳寺 4丁
河村勝次郎（親信） 七郎 5人扶持 M3 26才 唯念寺 6丁
河村亀次郎（孟知） 甚七 4人扶持 M1 28才 徳栄寺 2丁
河村清春（幸之丞，耕作） 幸右衛門 20俵 M3 35才 上宮寺 9丁
河村謙太郎 助三郎 25石 M7 静明寺 6丁
河村こん 定一 2人扶持 M7 8才 禅栖院 4丁
河村左一郎（永久） 豊之助 2人扶持 M2 18才 5丁
河村貞之助（貞之助，秀勝） 東兵衛 30石 M2 47才 超願寺 6丁 2冊
河村順太郎 秀房 10石 M7 4才 少林寺 4丁
河村晋陸（頼孝） 辰之進 2人扶持 M4 51才 因徳寺 6丁
河村良三郎（頼道） 晋陸 2人扶持 M2 16才 因徳寺 8丁
河村助左衛門（可一） 五右衛門 2人扶持 慶応2 55才 円徳寺 5丁
河村助太夫（吉行，渡） 甚五兵衛吉享 80石 慶応2 31才 松山寺 8丁
河村清五郎（森久） 五左衛門 20俵 M3 54才 専光寺 6丁
河村清太郎（和充） 清五郎 15俵 M3 28才 専光寺 6丁
（帙127） 河村宗太郎（弘間） 太兵衛 2人半扶持 M3 23才 浄誓寺 4丁
河村惣太郎（定宗） 竹次郎 2人半扶持 M3 10才 大源寺 3丁
河村伝之丞（之昌，省三郎） 伝兵衛 2人扶持 文久2 19才 珉徳寺 5丁
河村由男之昌 2人扶持 M6 珉徳寺 7丁
河村藤四郎（基永） 藤吉郎 2人扶持 慶応2 42才 5丁
河村徳次 松三郎 15俵 M3 立像寺 6丁
河村とよ 孟知 2人扶持 M8 4才 徳栄寺 4丁
河村知幾（均之助，作三） 作之助以貫 40俵 M3 35才 8丁
河村又三郎 正信 30石 M7 16才 照円寺 5丁
河村元直（炭郎） 和藤太 2人扶持 M4 22才 光専寺 4才
河村八十八（政右衛門，定政） 七郎行信 40俵 M3 60才 静明寺 8丁
河村敬典（駒太郎） 源左衛門 20俵 M3 31才 本覚寺 8丁
河村余次郎（勝幸） 丈右衛門 2人扶持 M3 41才 廻向寺 3丁
河原一郎（直道） 藍物直忠 500石 M3 22才 融山院 9丁
河原乙吉（正吉） 兵左衛門 30石 M2 11才 聖泉寺 4丁
河原徳兵衛（貞重） 幸左衛門 5人扶持 M2 42才 禅栖院 4丁
河原正信（松三郎） 丈左衛門直忠 30石 M3 17才 照円寺 3丁 2冊

河原吉蔵（一則） 吉郎 2人扶持 M2 7才 仰西寺 4丁
河原良吉（信重） 吉三郎 3人扶持 文久3 33才 光専寺 5丁
神田一平（信和） 奏次郎信之 250石 M3 42才 長久寺 15丁
神田定友（武三郎） 磯右衛門 30俵 M3 64才 安楽寺 7丁
（帙 128） 神田忠厚（清次郎） 九郎右衛門 63俵 M3 46才 上宮寺 6丁
神田忠勝（喜平） 弥三丞忠允 27俵 M4 43才 広済寺 5丁
神田与明（善右衛門） 助八友久 35俵 M3 58才 蓮福寺 7丁
神田為義（右平，九之丞） 九兵衛 25俵 M3 37才 上宮寺 4丁
神田彦次郎（直則） 与左衛門 15俵 M3 43才 広済寺 3丁
神田正中（辰介，辰三） 九郎左衛門 120石 M3 39才 上宮寺 8丁
神田政信（庫太，善休） 平蔵政宣 200石 M3 51才 長久寺 8丁
神田正徳（徳太郎，正勝） 与三郎 2人扶持 M4 17才 光徳寺
神田以敬（吉左衛門，吉左右） 善左衛門布信 400石 M3 59才 全昌寺 10丁
神田元一（宗七郎） 宗兵衛 1人半扶持 M4 41才 泉竜寺 2丁
神田義信（幾久治） 武三郎 25俵 M3 31才 蓮昌寺 6丁
神田義広（喜作） 源太郎 25俵 M3 42才 安楽寺 7丁
神波市造（信清） 義左衛門永保 120石 M3 64才 本是寺 14丁
神波重五郎（応祥） 忠兵衛武貞 500石 M3 31才 宝勝寺 15丁
神原信三（忠左衛門，幸時） 伊左衛門時幸 1人半扶持 M3 63才 竜淵寺 6丁
神原兵次郎 信三 7石 M8 7才 竜淵寺 5丁
神原田代（八右衛門，友之） 太郎右衛門為政 50石 M3 33才 竜淵寺 8丁 2冊
神原至善（新次郎） 右兵衛有朋 70石 M3 52才 瑞泉寺 6丁
（帙 129） 神戸久米之助（応知） 清右衛門 19俵 M2 18才 6丁
神戸五十郎（保十郎，亮長） 吉兵衛元則 80石 M3 48才 興徳寺 6丁
神戸潜（清右衛門，正盛） 清右衛門 500石 M3 31才 希翁院 11丁
神戸応一（八十男，信知応弁） 清右衛門応承 19俵 M3 19才 心蓮社
神戸貫道（喜三郎） 清次郎 20俵 M3 38才 心蓮社 5丁
神戸寿（純太郎，直温） 清左衛門直貫 21俵 M3 17才 心蓮社 6丁
神戸盛定（金三郎） 五郎左衛門盛善 400石 M3 37才 希翁院 12丁
神戸盛光（亨） 学之丞盛秀 230石 M3 22才 希翁院 18丁
神戸盛徳（吉太郎） 作次郎 80石 M3 56才 国泰寺 6丁
神戸盛久（米男） 久之助 130石 M3 21才 国泰寺 10丁
神戸盛房（嘉左衛門） 貞之丞盛正 100石 M3 40才 妙法寺 15丁
神戸盛之（加平） 治大夫盛典 250石 M3 41才 希翁院 15丁

き行

（帙 130） 菊井順平（知行） 遊斉 100石 M3 34才 善福寺 8丁
菊田嘉十郎（貞之） 喜円則之 2人扶持 M3 18才 浄安寺 6丁
菊田喜三（喜内，則之） 栄太郎貞乙 50石 M3 57才 浄安寺
菊田丈五郎（賢高） 忠右衛門 75石 M3 56才 妙応寺 5丁
菊田他家吉（賢方） 信二郎賢良 100石 M3 62才 妙応寺 13丁
菊田篤太郎（賢一） 政太郎鑑賢 150石 M3 11才 妙応寺 11丁

菊田宗記（一清） 観山一元 40石 M3 44才 全性寺 8丁

菊池倪二（九十郎，武貞） 九右衛門 慶貞 800石 M3 25才 永福寺 12丁

菊池武及 武成 3,200石 M7 18才 静明寺 10丁 2冊

菊池兵九郎（武成） 十六郎武貫 3,200石 M3 33才 静明寺 17丁

菊池七郎（欽信） 七之助敬義 6人扶持 M3 26才 金剛寺 4丁

木越喜太郎（忠義） 七郎壷次 5人扶持 M3 専長寺 5丁

木越三次郎（安綱） 専蔵安敷 40石 M3 17才 敬栄寺 8丁

木越七郎（成政） 鉄之助 20俵 M2 25才 光琳寺 6丁

（帙 131） 木越甚六（貞右衛門，一政） 定之助 正政 3人扶持 M3 24才 妙応寺 5丁 2冊

木越専蔵（安敷） 源五右衛門 40石 M2 65才 敬栄寺 8丁

木越孫六（孫右衛門，忠久） 2人扶持 M4 東本願寺別院 2丁

木坂龍太郎（重春） 喜庵重宗 40俵 M4 17才 承証寺 4丁

木崎右守（信久） 半五右衛門 6人扶持 M3 44才 浄安寺 8丁 2冊

木崎伝太郎（洵） 右守 1人扶持 M3 14才 浄安寺 3丁 2冊

象嶋虎次郎（正茂） 1人半扶持 M4 25才 妙正寺 4丁

岸 一清（保定，猪三右衛門） 猪之右衛門成章 40石 M3 59才 本覚寺 8丁

岸 敦和（五郎兵衛，丹宮，賓） 一清保定 M3 4人扶持 40才 本覚寺 5丁 3冊

岸 伊八郎（治綱） 鉄之助 7人扶持 M3 47才 浄光寺 9丁

岸 右源友住 2人扶持 M7 7才 敬栄寺 6丁

岸 五郎（五郎右衛門，寿富） 昌左衛門直之 50石 M3 58才 浄光寺 3丁

岸 沙（喜哲） 弥門喜賀 200石 M3 22才 玉竜寺 8丁 2冊

岸 忠治郎（忠直） 鎮次郎政直 400石 M3 21才 宗徳寺 12丁

岸 徳太郎（雅吉） 永之助雅言 200石 M3 16才 法船寺 6丁

（帙 132） 岸 平次（平次右衛門，精一） 平左衛門惠次 80石 M3 41才 宝乗寺 7丁

岸 龍三郎（秀実） 平馬 50俵 M3 27才 超雲寺 8丁

岸 六郎左衛門（寿茂） 五郎右衛門寿富 50石 M3 30才 浄光寺 6丁 2冊

岸井宇平（宇兵衛，順次） 太助証次 70石 M3 70才 恵光寺 7丁

岸井清太（孝次） 宇兵衛順次 40俵 M3 65才 恵光寺 3丁

岸井亀三郎（惟明） 幸作 40俵 M4 17才 恵光寺 10丁

岸田源吾（徳右衛門，有富） 源左衛門 37石 M2 70才 広済寺 12丁

岸田式治（甚九郎，孝友） 源五有富 3人扶持 M3 48才 広済寺 8丁 2冊

岸田環（栄次郎，有方，義高） 式治 2人扶持 M3 15才 広済寺 3丁 2冊

岸原欣之丞（徳安） 幸左衛門 55石 M2 38才 成学寺 5丁

岸原与尾喜（知逸） 与太夫 20俵 M3 22才 成学寺 8丁

木島建六（行正） 源兵衛行恒 100石 M3 53才 仰西寺 15丁

木島恒次郎（経久） 太郎左衛門経成 7人扶持 M3 23才 開禅寺 7丁 2冊

岸本幸三郎（安明） 惣三郎 15俵 M3 34才 専長寺 4丁

岸本権平（伸和） 六郎兵衛 15俵 M3 58才 長周寺 5丁 2冊

岸本三四郎（正延） 三四郎 18俵 M3 28才 光教寺 7丁

(帙 133) 岸本倡太郎 伸和 2人扶持 M7 19才 長周寺 5丁

岸本発己（源次，家郷） 善太天 50石 M3 23才 専長寺 6丁 2冊

岸本安太郎 幸三郎 15俵 M6 11才 専長寺 4丁

岸本与平次（文左衛門，好茂） 2人扶持 与兵衛好広 M3 本光寺 3丁 2冊

岸山駿五郎（朝興） 孫作朝善 50石 M3 41才 全性寺 6丁

喜田畊蔵（友直） 幸平 6人扶持 慶応4 15才 妙法寺 8丁

喜田毛里雄（友直） 幸平吉勝 6人扶持 M4 18才 善照坊 7丁

喜田仙吉（久勝，仙之助） 幸平吉勝 4俵 M3 14才 妙法寺 3丁 2冊

北浦太郎次 半左衛門 20俵 M5 38才 本行寺 5丁

北尾粂吉（為長） 兵吉為久 2人半扶持 M3 22才 妙法寺 5丁 2冊

北尾外茂男（孝幸） 彦兵衛門 2人扶持 M4 31才 妙法寺 7丁

北岡好二郎（方辰） 善兵衛 5人扶持 M4 22才 即願寺 4丁

北岡八十八（一寛） 伊兵衛 5人扶持 M3 47才 竜門寺 3丁

喜多岡孝一郎（勝善） 武左衛門勝栄 400石 M3 36才 月照寺 10丁

喜多岡善左（善左衛門勝巳） 如兵衛貞行 150石 M3 42才 極楽寺 13丁

北川万清（茂人，則房） 円蔵広隆 60石 M3 34才 妙法寺 6丁

北川久平（清暉） 久兵衛篤暉 1,200石 M3 52才 国泰寺 10丁 2冊

北川金八（貞英） 金右衛門 30俵 M3 24才 妙典寺 6丁

(帙 134) 北川七十郎（貫忠） 彦七迫吉 180石 M3 51才 久昌寺 9丁

北川清右衛門（一之） 藤助 7人扶持 M2 65才 光教寺 5丁

北川清作（信一） 清右衛門 7人扶持 M2 26才 光教寺 5丁 2冊

北川友次郎（信義） 清右衛門 3人扶持 M2 22才 光教寺

北川他茅吉（典承） 茂兵衛信秋 35俵 M3 30才 名願寺 7丁

北川徳太郎（正二） 孫六郎正恭 130石 M3 12才 本法寺 9丁

北川年麿（直左衛門，信秀） 文左衛門尚之 100石 M3 42才 国泰寺 14丁

北川登茂男（信義） 周山 3人扶持 M4 25才 光教寺 4丁

北川正義 伊平太 25俵 M6 25才 昌柳寺 5丁

北川茂介（則房） 円蔵 60石 M2 37才 妙法寺 6丁

北川安三郎（定直） 安右衛門定方 40俵 M3 35才 昌柳寺 5丁

北川米太郎（益俊） 梅之丞 200石 M3 31才 国泰寺 10丁

北地敬太郎（武明） 浩作武 6人扶持 M3 20才 浄行寺 6丁

北嶋巍門（儀左衛門，宗信） 健三郎 宗続 45俵 M3 41才 円長寺 8丁

北島啓造（政厚） 金左衛門政因 45俵 M3 28俵 徳竜寺 6丁

北島権八（吉雄） 万吉郎秀雄 35俵 M3 48才 円長寺 15丁

北嶋 周（信厚） 周平信明 40俵 M3 35才 妙国寺 9丁

北嶋辰太郎 為清 15石 M8 20才 徳竜寺 7丁

(帙 135) 北嶋平左衛門（為清） 左六郎為知 45俵 M3 42才 徳竜寺 9丁

北嶋平作（勝正） 九左衛門 3人扶持 M1 53才

北嶋弥三吉（定吉） 又右衛門 10俵 M3 34才 専光寺 3丁

北庄平八（資直） 武兵衛資忠 60石 M3 36才 妙典寺 5丁

北 庄 赤 平（赤右衛門，助舎） 平八郎 篤忠 100石 M3 36才 妙典寺 7丁
北 隅 円治郎（守右衛門，通信） 半蔵頼之 40俵 M3 32才 法船寺 8丁
北 谷 亘 孟興 6人扶持 M7 50才 妙典寺 7丁
北 谷 新 平（義一） 亘孟承 6人扶持 M3 29才 妙典寺 6丁 2冊
北 村 永太郎（尚一） 順吉 100石 M3 28才 本覚寺 7丁
北 村 治（治郎吉，元一） 治平元立 3人扶持 M3 15才 広済寺 4丁
北 村 音 吉（元貞） 源右衛門籍元 40俵 M3 7才 即願寺 8丁
北 村 官 三（朝将） 粂之助 20俵 M3 21才 本是寺 8丁
北 村 喜久男（清平） 重右衛門 15俵 M3 28才 専光寺 3丁
北 村 喜久磨（政忠） 弥助政久 7人扶持 M3 27才 本長寺 5丁
北 村 清（清右衛門，信義） 清右衛門信明 2人扶持 M3 37才 本浄寺 4丁
北村 五左衛門（明義） 里雄 5人扶持 M3 70才 願楽寺 8丁
北 村 小 平（友忠） 清左衛門 1人半扶持 M4 43才 本誓寺 4丁
北 村 小矢太（定保） 丈翁喜発 7人扶持 M3 59才 名願寺 6丁
北 村 三 作（友定） 北左衛門 100石 M3 40才 善福寺 14丁
北 村 権 平（和太郎，方一） 三作 100石 M3 20才 善福寺 9丁
北 村 作太夫 育次郎 20俵 M3 38才 善福寺 7丁
北 村 作 平 三之丞 20俵 M3 30才 等願寺 8丁
（帙 136） 北 村 左兵衛（有礼） 三左衛門 8人扶持 M2 常徳寺 4丁
北村 治左衛門（勝幸，武一郎） 粂吉 4人扶持 M2 17才 慶恩寺 4丁 2冊
北 村 砂 安治 1人扶持 M4 21才 光徳寺 3丁
北 村 順 吉（定言） 太左衛門 100石 M3 17才 善福寺 13丁
北 村 尚 一 100石 M6 31才 3丁
北 村 荘 三（貞固） 庄助 20俵 M4 40才 即願寺 6丁
北 村 志 郎（義尊，金吾） 右衛門頼敬 2人扶持 M3 38才 常願寺 4丁 2冊
北村 次郎兵衛（介忠） 多吉 15俵 M3 40才 道安寺 5丁
北 村 甚五郎（義連） 五左衛門 40石 M3 38才 願楽寺 7丁 20冊
北 村 甚 吉（忠昌） 次郎吉 2人扶持 M4 25才 廻向寺 5丁
北 村 甚 八（景房） 八十八 2人扶持 M4 48才 光専寺 5丁
北 村 善 平（善兵衛，善次） 新左衛門 20俵 M3 39才 実成寺 7丁
北 村 宗 專（宗兵衛・如則） 伝左衛門 40石 M3 22才 蓮昌寺 6丁
北 村 津 る 次郎作 15俵 M6 6才 道安寺 3丁
北 村 徳 次（徳兵衛，輝弘） 忠兵衛 20俵 M3 41才 善福寺 3丁
北 村 虎 吉（次之） 五左衛門袁次 2人扶持 M3 15才 蓮昌寺 8丁
北 村 直 三（直之丞，盛道） 丈右衛門 20俵 M3 常願寺 5丁
北 村 半（武知） 八太夫武忠 100石 M3 35才 本覚寺 12丁
（帙 137） 北 村 兵 庫（知定） 安住 60石 M3 40才 蓮昌寺 11丁 2冊
北 村 楼 一（拝昌） 八兵衛剛 320石 M3 28才 月心寺 13丁
北 村 牧 多（弥右衛門，尚重） 弥右衛門尚之 100石 M3 44才 西方寺 10丁
北 村 勇太郎（政茂） 吉二政美 100石 M4 12才 善福寺 6丁
北 村 雄 平（教之） 覚左衛門宣教 60石 M3 21才 願楽寺 7丁

北村与作（義久） 喜左衛門 2人扶持 M4 21才 専光寺 4丁
北村善広 善次 20俵 M5 21才 実成寺 5丁
北村良平 甚太夫 20俵 M3 36才 等願寺 6丁
北山 統（邦昌） 潤左衛門尚正 6人扶持 M3 43才 光徳寺 9丁 2冊
橘沢吉平（信徳） 和平 3人扶持 M3 47才 禅栖院 4丁
城戸十城（次六郎，崇之） 覚兵衛 6人扶持 嘉永3 24才 13丁
城戸 到（高交） 十城 6人扶持 M4 20才 安楽寺 8丁
城戸元次郎（昌次） 元助 80石 M3 14才 9丁
城戸志津男（吉左衛門，一昌） 津右衛門一房 60俵 M3 28才 光専寺 7丁
城戸 通（茂之介，信門） 元右衛門昌長 M3 32才 本長寺 5丁
木梨平六（左兵衛，信実） 珍南斉成宣 250石 M3 24才 大乗寺 13丁
木梨 実（久之助，政之） 孝三郎政一 350石 M3 26才 大乗寺 10丁
(帙 138) 絹川弥路久（温孝） 曲金温正 300石 M4 55才 雲竜寺 9丁
木下休三（於兎一郎，宗虎） 平八郎宗峰 150石 M3 28才 禅林寺 15丁
木下太郎（傭） 平之介勉 70俵 M3 22才 成学寺 8丁
木下 砂（直保） 作左衛門 4人扶持 M3 23才 慶恩寺 6丁
木原小三郎（祐之） 順治郎 90石 M3 30才 法光寺 7丁 2冊
木船鉄吉（豊直） 儀左衛門 20俵 M3 22才 聖安寺 5丁
木村篤道 朝風 2人扶持 M7 26才 経王寺 6丁
木村 庵 海翁一節 100石 M3 47才 大蓮寺 7丁
木村猪太郎 益 150石 M7 18才 大蓮寺 51丁
木村一二（忠光） 七郎右衛門 1人半扶持 M3 22才 慶恩寺 3丁
木村宇吉 武十良 120石 M6 13才 本光寺 12丁
木村雲八（助五郎，喜久） 成左衛門喜之 13人扶持 M3 45才 妙応寺 11丁 2冊
木村起善 庵 100石 M7 23才 大蓮寺 7丁
木村学次郎（義忠） 吉左衛門 5人扶持 M3 29才 乗光寺 2丁 2冊
木村嘉久太郎（頼久） 荘左衛門 40石 M3 16才 浄光寺 4丁 2冊
(帙 139) 木村一身（政右衛門，孝之） 次右衛門敬明 3人扶持 M3 49才 弘願院 9丁 2冊
木村甲子郎（博捷） 権左衛門 90石 M4 8才 8丁
木村亀太郎（精重） 円太夫 20俵 M3 35才 真成寺 4丁 2冊
木村喜久男（久好） 理太夫好一 6人扶持 M3 34才 西勝寺 5丁
木村喜三太（直秀）五郎兵衛秀信 8人扶持 M3 57才 経王寺 5丁
木村久馬（和正，和寧） 昌蔵 50石 M3 35才 宝乗寺 7丁 2丁
木村喜十郎（憲良） 昌蔵 3人扶持 M3 28才 宝乗寺 4丁 2冊
木村九平（恕） 平右衛門展親 150石 M3 50才 持明院 11丁
木村九郎（九郎兵衛，保実） 九郎兵衛孝定 40石 M3 29才 妙応寺 9丁
木村源蔵（源蔵，充益） 清次能近 2人扶持 M3 65才 蓮覚寺 4丁 2冊
木村建次郎（忠貞） 藤右衛門清之 65石 M3 18才 祐専寺 6丁
木村小平（小兵衛） 小平次 2人扶持 M3 62才 勝光寺 3丁 2冊
木村駒次郎（敏喜） 左衛門 35石 M3 36才 照円寺 3丁

(帙 140) 木 村 左一郎 (左次兵衛, 直英) 才兵衛好吉 5人扶持 M3 52才 興徳寺 5丁 2冊
木 村 栄 (伊左衛門, 宣春) 伊左衛門宣丙 40石 M3 46才 棟岳寺 9丁
木 村 槃 蠡 (定供) 権三郎定勝 200石 M3 22才 安立寺 18丁
木 村 三五七 (久人, 清詮) 右門 100石 M3 47才 承証寺 7丁 2冊
木 村 さ た 政智 10石 M8 24才 了願寺 3丁
木 村 三 作 (之成) 文左衛門之信 11人扶持 M3 36才 善福寺 11丁 2冊
木 村 繁 生 (光輝) 喜右衛門直輝 400石 M3 24才 蓮昌寺 11丁
木 村 茂 (綱賀) 四郎兵衛 25俵 M3 28才 光専寺 6丁
木 村 七 郎 (七郎右衛門, 貞員) 七郎右衛門貞昜 70石 M3 35才 妙応寺 10丁 2冊
木 村 順之助 (一馥) 瀬平 3人扶持 M2 23才 実成寺 9丁
木 村 庄三郎 (正次) 五太夫 2人扶持 M4 16才 善福寺 6丁
木 村 鍾三郎 (純貞) 5人扶持 M3 28才 妙応寺 5丁

(帙 141) 木 村 四 郎 (順左衛門, 常方) 木工左衛門房方 35石 M3 55才 経王寺 9丁 2冊
木 村 新 平 75石 M3 36才 本長寺 4丁
木 村 助 三 (尚之) 助左衛門尚貞 40石 M3 49才 善隆寺 6丁 2冊
木 村 助八郎 (秀) 平左衛門秀詮 200石 M3 51才 少林寺 8丁
木 村 捨 作 (安治) 武左衛門 100石 M3 29才 静明寺 20丁 2冊
木 村 誠三郎 (景弼) 寿伯斉信弼 100石 M3 40才 少林寺 13丁
木 村 清太郎 (銛久) 雄太郎 3人扶持 M4 乗善寺 5丁
木 村 清 八 (為一) 伝三郎栄為 40俵 M3 41才 名願寺 10丁
木 村 誠八郎 (忠順) 文吾平将興 2人半扶持 M3 38才 光専寺 7丁 2冊
木 村 善 吾 (善蔵, 一貞) 善左衛門 1人半扶持 M3 22才 広済寺 3丁
木 村 善 次 (正民) 久遊斉忠久 100石 M3 60才 善福寺 10丁
木 村 善 治 (善之丞, 一之) 源太夫 20俵 M3 35才 名願寺 8丁
木 村 善次郎 (森郡) 道順 5人扶持 M3 40才 養安寺3丁 2冊
木 村 善 蔵 (容之) 常阿 75石 M3 33才 玉泉寺 6丁
木 村 惣 喜 (良顕) 喜左衛門良貞 80石 M3 45才 棟岳寺 10丁

(帙 142) 木 村 貴 知 七郎 10石 M7 28才 正福寺 3丁
木 村 太 作 (太左衛門, 英知) 太郎左衛門英清 50石 M3 47才 浄光寺
木 村 忠 正 (小平) 荷風忠近 100石 M3 35才 雲竜寺
木 村 辰五郎 (益) 惣五郎昌善 150石 M3 65才 大蓮寺 6丁
木 村 玉 六 (忠久) 荷風忠近 75石 M3 31才 雲竜寺 7丁
木 村 丹 治 (専蔵, 慶信) 左仲憲久 120石 M3 47才 長久寺 8丁
木 村 錡次郎 十平 20俵 M6 15才 名願寺 8丁
木 村 忠太郎 (景光) 清左衛門景明 150石 M3 伝灯寺 13丁
木 村 続 (脩之) 三郎左衛門直之 8人扶持 M3 38才 超雲寺 6丁 2冊
木 村 伝四郎 (政之) 清左衛門 2人扶持 M4 32才 浄願寺 5丁
木 村 藤 吾 (藤左衛門, 矩建) 藤左衛門矩広 50石 M3 39才 蓮福寺 7丁 2冊
木 村 登喜太郎 (正一) 良吉定則 50俵 M3 23才 安立寺 9丁
木 村 徳太郎 (房之) 梅遊斉房尹 50石

М３　18才　本因寺　８丁　２冊
木　村　直　江（正道）　与右衛門正近　３人扶持　М３　53才　宝乗寺　７丁
木　村　八郎平（八郎兵衛，之綱）　八百五郎　40石　М３　59才　高乗寺　９丁　２冊
（帙 143）木　村　花　実（有時，然）　数馬　200石　М３　少林寺　13丁
木　村　平　重（篤）　平兵衛琢　150石　М３　22才　本長寺　13丁
木　村　文　二（清直）　寛二貞好　40俵　М４　35才　照円寺　６丁
木　村　平　造（平兵衛，久米）　平助　15俵　М３　41才　東本願寺別院　４丁
木　村　　朴（成允）　十郎左衛門成之　270石　М３　37才　玉泉寺　９丁
木　村　又四郎（貞固）　亀六永貞　100石　М３　26才　高岩寺　９丁　２冊
木　村　又　三（又之丞，有益）　遊翁證且　60石　М３　35才　経王寺　５丁
木　村　又　平（清蔵，伴寛）　林蔵　20俵　М３　46才　蓮福寺　７丁
木　村　　湊（一臣）　瀬平由行　３人扶持　М３　23才　実成寺　７丁
木　村　群　吉（定則）　右太夫定勝　78石　М４　14才　真成寺　８丁　２冊
木　村　安太郎（致恭）　捨作安治　100石　М５　６　静明寺　９丁
木　村　八十八（八右衛門，一道）　八右衛門正寿　30石　М３　39才　法然寺　５丁　２冊
木　村　弥　仲（寛伴）　井亮寛具　７人扶持　М３　51才　真成寺　７丁
木　村　弥八郎（保任）　希静　180石　М３　42才　玉泉寺　９丁
木　村　勇次郎（直勝）　仙助房吉　５人扶持　М３　23才　経王寺　３丁　２冊
（帙 144）木　村　　爹（勘七郎，佐浮，維興）　孫七世成　25俵　М３　38才　光専寺　15丁
木　村　抑太郎（重几，万治，朋信）　与三右衛門有朋　60石　М３　32才　大蓮寺　12丁　２冊
木　村　与　作（治良）　与作　５人扶持　М３　49才　真成寺　６丁
木　村　吉　次（種永）　吉之助　20俵　М３　29才　法然寺　９丁
木　村　好　人（憲章）　増之丞　４人扶持　慶応２　19才　４丁
木　村　良五郎（津右衛門，直清）　５人扶持　М３　45才　大蓮寺　２丁　２冊
久　徳　伝　太（伝兵衛，尚則）　嘉兵衛政信　100石　М３　44才　如来寺　10丁
久　徳　覚　平（楢行）　嘉兵衛政信　200石　М３　36才　如来寺　11丁
久　徳　頼　作（直之介，尚寛）　嘉兵衛尚善　75石　М３　33才　如来寺　10丁
（帙 145）杏　　敏次郎（立）守右衛門景直　100石　М３　52才　立像寺　９丁
行　事　又　八（八郎左衛門，知治）　八郎左衛門知治　50石　М３　43才　愛染院　８丁
経　田　　必（御秋）　善右衛門　２人扶持　М４　41才　竜泉寺　４丁
清　木　与太郎（正時）　清五郎　15俵　М３　妙寿寺　４丁
洌　崎　守　衛（維簡）　遊山維章　80石　М３　59才　光覚寺　６丁
洌　崎　　巌（金作，維武）　守衛　４人扶持　万延１　16才　光覚寺　４丁
清　瀬　元　柳（正基）　６人扶持　М３　34才　専光寺　７丁
清　瀬　静　磨（与右衛門，忠良）　与太夫　２人扶持　М３　才29　仰西寺　６丁
清　田　捨次郎（重好）　九左衛門　４人扶持　М４　22才　長願寺　３丁
清　波　喜太郎（義上）　五郎左衛門義路　50石　М３　15才　乗善寺　６丁
桐　山　久三郎（為賢）　久太夫為一　35俵　М３　40才　法光寺　５丁
桐　山　昇　平（喜左衛門，宗明）　治右衛門成明　150石　М３　45才　全昌寺　13丁
桐　山　千太郎（稱成）　桂稱直　110石　М４　19才　全性寺　５丁
桐　生　廉　平（篤好）　左次兵衛久基　８

人扶持　M4　44才　久昌寺　6丁

く　行

(帙 146) 陸　田　繁次郎（道教）　常之丞道正　100石　M3　30才　蓮昌寺　11丁

陸　原　愼太郎（惟厚）　政太郎　140石　M4　31才　聖泉寺　9丁

久々江　与　次（与次兵衛，幾喜）　八左衛門　2人扶持　M4　30才　静明寺　7丁

枸　杞　作　平（正次）　作助　2人扶持　M4　51才　光専寺　4丁　2冊

日　下　勝　美（乙作，自安）　七郎右衛門　自知　60石　M3　19才　本光寺　11丁　2冊

日下部　　周　武兵衛主忠　75石　M3　53才　常松寺　13丁

日下部　　休（善八郎，主信）　永太郎多福　500石　M3　雲竜寺　9丁

草　薙　良　平（尚賢）　市之丞　180石　M3　30才　普明院　8丁　2冊

草　野　　寔（清風）　伊三助清武　50俵　M3　37才　徳竜寺　10丁

草　野　五　郎（鑑物）　松兵衛鑑信　25俵　M3　34才　専光寺　9丁

草　野　　茂（正之）　五郎右衛門包之　25俵　M3　39才　9丁

草　野　昌太郎（清任）　七之丞　20俵　M3　16才　誓入寺　5丁

草　間　休　平（茂明）　善太夫安原　130石　M5　42才　経王寺　4丁

草　間　皆　吉　茂明　130石　M5　23才　経王寺　5丁

草　間　鍵太郎（安定）　鉄之助　130石　M3　22才　経王寺　7丁

(帙 147) 串　田　嘉　吉（嘉兵衛，原信）嘉兵衛　3人扶持　M4　17才　光教寺　3丁

櫛　田　庄　三（庄左衛門，善政）　善左衛門　15俵　M3　44才　光教寺　4丁

櫛　田　巍　政　庄左衛門　15俵　M3　24才　光教寺　5丁

櫛　葉　昌太郎（一行）　治左衛門　30俵　M4　46才　東本願寺別院　10丁

櫛　葉　丹次郎　昌太郎　10石　M8　21才　東本願寺別院　8丁

九　島　立　喜（清直）　弥三右衛門清房　7人扶持　M3　38才　本性寺　6丁

九　島　彦二郎（信方）　彦左衛門忠周　80石　M3　31才　長久寺　10丁　2冊

葛　野　佐渡嗣（彦太郎，成一，篤）　可也成明　260石　M3　13才　立像寺　12丁

楠　　佐平太（織人，正託）　次郎太夫可継　120石　M3　22才　松月寺　7丁

楠　　志賀太（志賀太郎，正令）　助八郎正忠　100石　M3　22才　真行寺　12丁

楠　　瀬　平（瀬兵衛，正直）　瀬兵衛正万　90石　M3　34才　真行寺　9丁

楠　　弥忠太（正可）　源太夫可幹　300石　M3　21才　松月寺　12丁

葛　葉　伊　平（伊兵衛，貞久）　伝之助　3人扶持　M4　36才　広済寺　6丁

葛　葉　乙　吉（経義）　喜左衛門　1人半扶持　M3　19才　広済寺　2丁　2冊

葛　葉　喜　内（喜左衛門，長吉）　長四郎　2人扶持　M3　56才　広済寺　6丁　2冊

(帙 148) 葛　葉　久　作（満久）　嘉兵衛　1人半扶持　M4　38才　真行寺　5丁

葛　葉　善七郎　喜兵衛　3人扶持　M4　30才　真行寺　5丁

葛　葉　銭太郎（政方）　喜兵衛　8俵　M4　26才　広済寺　5丁

久　世　新　三（新左衛門，忠一）　善七知貞　100石　M3　55才　立像寺　11丁

久　世　新太郎（政一）　新左衛門　50俵　M3　28才　立像寺　5丁

久　世　伝三郎（しげ氏）　数馬　150石　M4　26才　立像寺　7丁

久　世　良三郎（貞喜）　守衛　284石　M4　45才　立像寺　17丁

朽　木　三郎治（五兵衛，頼定）　与平次　20俵　M4　37才　西照寺　5丁

口　村　喜　平（忠房）　喜三右衛門　1人扶持　M5　41才　知覚寺　4丁

口　村　喜　歳（忠安）　喜平　1人扶持　M4　14才　知覚寺　3丁

杏木清造（清兵衛，政次） 清兵衛 1人半扶持 M3 48才 瑞泉寺 4丁
杏木清吉（政勝） 清兵衛 15俵 M3 22才 瑞泉寺 4丁
久津田安男（永時） 安左衛門 20俵 M3 50才 7丁
九津見錬作（頼一） 宇左衛門頼通 200石 M3 28才 松月寺 11丁
久津見禽語（胖左衛門，義彰） 才記頼隆 150石 M3 43才 松月寺 8丁
国枝鎗太郎（是則） 猪右衛門清明 100石 M3 36才 本法寺 7丁
（帙 149） 国沢三作（貞生） 小兵衛貞重 500石 M4 23才 妙国寺 13丁
国沢所平（正清） 喜久馬正覚 200石 M3 35才 妙国寺 9丁
国沢哲雄（祐之） 5人扶持 M3 14才 妙応寺 3丁 2冊
国沢彦次郎（好之） 伊助 2人扶持 M4 49才 専光寺 3丁
国田朝平（甚左衛門，包政） 佐次右衛門 15俵 M3 45才 善行寺 3丁
国谷猶作（信成） 平太夫 50石 M4 24才 上宮寺 4丁
国友勝次郎（寿明） 友蔵 26俵 M3 39才 慶念寺 3丁
国友銃次郎（重光） 新八重章 6人扶持 M3 17才 浄安寺 7丁
国友徳平（重当） 寛次郎当規 15人扶持 M3 38才 浄安寺 7丁
国友芳平（丈右衛門，信光） 与四兵衛 2人扶持 M4 59才 徳円寺 3丁
国原喜六（規忠） 林右衛門 2人扶持 M4 44才 宝泉寺 4丁
国原半次（春忠） 林右衛門 2人扶持 M4 33才 宝泉寺 3丁
国原太善（正次） 善八 2人扶持 M4 17才 浄行寺 4丁
国松千縁 嘉左衛門 20俵 M3 38才 端泉寺 5丁
国見大作（正仁） 清左衛門 2人扶持 M4 25才 徳栄寺 4丁
国峰政次郎（規直） 次郎太夫 2人扶持 M3 45才 蓮昌寺 3丁
国村喜三郎（規清） 吉右衛門 2人扶持 M4 38才 慶覚寺 3丁
（帙 150） 久野久五郎（忠順） 久左衛門 2人扶持 M4 63才 上宮寺 5丁
久野幸蔵（孝信） 金左衛門 50石 M2 65才 珉徳寺 6丁
久野左久馬（孝成） 孝信 50石 M3 33才 珉徳寺 9丁
久野太三郎（信久） 太兵衛 15俵 M3 33才 東本願寺別院 4丁
久野与太郎（国久） 弥平 15俵 M3 20才 専光寺 3丁
九里歩（覚右衛門，正訓） 歩正令 1200石 M3 58才 桃雲寺 11丁 2冊
九里覚次郎（鉄，直諒） 覚左衛門正訓 200石 M3 29才 桃雲寺 7丁 2冊
九里幸一（幸左衛門，安重） 如夢 650石 M3 31才 永福寺 14丁
九里檀（永豊） 橘次郎知貫 200石 M3 26才 成学寺 11丁
窪久右衛門（久平，一力） 吉兵衛 3人扶持 M4 60才 養法寺 4丁
久保一二 三太夫 25俵 M3 28才 正福寺 6丁
久保乙吉（政元） 与兵衛 15俵 M3 26才 林幽寺 3丁
久保嘉吉郎 永三郎 25俵 M3 26才 因徳寺 7丁
久保数雄（政清） 市太夫 25俵 M3 35才 因徳寺 7丁
久保加藤次（忠行） 宗行 3人扶持 M3 21才 本光寺 6丁
久保喜三二（安茂） 次兵衛 18俵 M3 29才 弘願寺 5丁
久保幾三郎（就清） 三郎右衛門 20俵 M3 47才 法光寺 8丁
久保勲一 一知 8.5石 M7 30才 慶徳寺 7丁
久保啓次郎 増蔵 15石 M7 8才 等源寺 4丁

久保定治（定右衛門，正景） 久左衛門 2人扶持 M4 44才 林幽寺 3丁
久保三桝（吉清） 三桝 250石 M3 60才 極楽寺 8丁
（帙 151） 久保錠太郎（正之） 定右衛門 1人扶持 M4 15才 林幽寺
久保辰太郎（増範） 安太夫 30俵 M3 19才 等源寺 5丁
久保忠作（忠左衛門，正平） 忠三郎 20俵 M3 46才 蓮華寺 5丁
久保定円（直知） 定三直方 80石 M3 24才 極楽寺 9丁
久保直吉（信直） 徳之丞 20俵 M3 15才 経王寺 5丁
久保直次郎（達志） 良平 40俵 M3 22才 東光寺 11丁
久保直太郎（清勝） 清左衛門 20俵 M3 9才 上宮寺 6丁
久保　甫（甫助，矩一） 三郎右衛門 21俵 M3 70才 因徳寺 7丁
久保矩包 矩一 21俵 M6 31才 法光寺 6丁
久保　久（人，和正） 庄太夫 27俵 M3 35才 因徳寺 9丁
久保百二（吉朋） 三柳 200石 M4 21才 極楽寺 7丁
久保八百記（義克） 沢右衛門 2人扶持 M4 30才 願成寺 5丁
久保弥三次（弥助，祐友） 弥右衛門 20俵 M3 70才 道林寺 4丁
久保泰二（官兵衛，艾之） 九兵衛 M3 45才 実成寺 8丁
久保与吉郎（喜末） 吉右衛門 10俵 M4 46才 等源寺 3丁
久保吉太郎 三右衛門 15俵 M3 19才 林幽寺 3丁
久保和六（平蔵，直氏） 平助 30俵 M3 49才 仰西寺 9丁
窪生勘六（真平） 理林 24俵 M4 等願寺 6丁
窪尾兵作（照房） 又之丞 20俵 M3 46才 正福寺 5丁
窪田市平（一茂） 喜八 2人扶持 M5 祐専寺 3丁
窪田卯三郎（均） 清次郎敦堅 50俵 M3 41才 立像寺 8丁
窪田宇太郎 宇八 8.5石 M7 18才 松縁寺 6丁
窪田覚二（覚之丞，義一） 要左衛門 18俵 M3 28才 蓮光寺 6丁
（帙 152） 窪田礒八（太郎助，受正） 兵蔵潤栄 60石 M3 48才 慈雲寺 5丁 2冊
窪田周平（永領） 礒八受正 2人扶持 M3 28才 慈雲寺 4丁
窪田喜八郎（政明） 安左衛門喜宜 3人扶持 M3 17才 興徳寺 5丁 2冊
窪田久馬 理左衛門 20俵 M4 31才 願楽寺 7丁
窪田小隅（伴右衛門，孝昇） 伴丞 20俵 M3 51才 願楽寺 7丁
窪田左五郎（惟室，左祐） 左二郎政室 8人扶持 M3 27才 本是寺 6丁 2冊
窪田左平（秀実） 権佐秀雄 300石 M3 51才 立像寺 10丁
窪田治作（方任） 藤左衛門 20俵 M3 37才 立像寺 8丁
窪田治三郎（市丞，武信） 治右衛門 70俵 M3 立像寺 9丁
窪田治平（保貞） 治太夫 18俵 M3 40才 妙国寺 5丁
窪田鍬古（安兵衛，信之） 長左衛門 25俵 M3 43才 立像寺 8丁
窪田重平（之一） 文右衛門 7人扶持 M4 41才 宝性寺 4丁
窪田治郎平（延房） 次平 2人扶持 M4 43才 本誓寺 6丁
窪田甚六（茂勝） 金大夫 2人扶持 M3 47才 法照寺 8丁
窪田誠造（元忠） 和兵衛 15俵 M4 41才 光専寺 4丁
窪田竹次郎（正永） 次助 2人半扶持 M3 本誓寺 5丁
窪田千柄（順久） 平八郎昌信 9人

扶持　M3　43才　静明寺　5丁

窪田鉄雄（雄之助，由寿）　浅右衛門　20俵　M3　23才　妙慶寺　7丁

窪田藤左衛門（之道）　甚左衛門　4人扶持　M3　28才　光教寺　5丁

窪田富太郎（道貞）　弥五作　6人扶持　M4　11才　普願寺　5丁

（帙153）窪田友次（三郎左衛門，正道）　友男　20俵　M3　22才　立像寺　8丁

窪田秀五郎　保貞　9石　M8　4才　妙国寺　3丁

窪田文二郎（正武）　再福　5人半扶持　M4　10才　普願寺　5丁

窪田政尾（茂正）　藤左衛門之道　4人扶持　M4　19才　光教寺　6丁

窪田　衛　秀実　300石　M7　21才　立像寺　11丁

窪田安次郎（喜宜）　角右衛門成信　57石　興徳寺　8丁

窪田弥太郎（勝義）　孫左衛門　15俵　M5　上宮寺　3丁

久保田　爾（他吉郎，源全）　祥右衛門　全好　40俵　徳竜寺　8丁

久保田直太　金八　10.5石　M7　22才　願成寺　7丁

久保田兵馬（兵右衛門，納紋）　順左衛門納良　80石　M3　42才　専光寺　8丁　2冊

熊谷何五郎（直服）　銓三郎　200石　M3　18才　法光寺　11丁

熊谷九八郎（貞章）　左守富宅　60石　M3　34才　因徳寺　8丁　2冊

熊谷熊能（直治）　靱屓直知　200石　M3　21才　長久寺　10丁

熊谷啓二（直久）　三九郎　5人扶持　M4　42才　西念寺　3丁

（帙154）熊谷小平太（千春）　数寸蕪孝思　70石　M3　23才　大円寺　8丁

熊谷　可（直義）　猪兵衛直信　80石　M3　40才　実成寺　11丁

熊谷　亘（治郎左衛門，丹治，信篤）　80石　M3　37才　金剛寺　10丁　2冊

熊木左守（武兵衛）　2人扶持　M3　52才　浄福寺　4丁

熊木栄次郎（忠弘）　左守　2人扶持　M4　16才　浄福寺　5丁

熊木徳二（金平）　久右衛門　9俵　M3　37才　真行寺　3丁　2冊

熊沢甚内（庸徳）　喜恵庸言　18俵　M3　71才　東本願寺別院　5丁　2冊

熊沢　猛（浚明）　甚内庸徳　12俵　M3　24才　東本願寺別院　2丁　2冊

熊沢太三郎（良明）　佐太吉　20俵　M3　24才　成学寺　6丁

熊沢弥三郎（祐之）　竜助　2人扶持　M4　18才　東本願寺別院　6丁

熊田喜八（致遠）　喜六　25俵　M3　23才　恵光寺　11丁

熊田平作（成良）　平蔵　2人扶持　M3　24才　善徳寺　5丁

（帙155）熊野卯作（久道）　四郎右衛門　50石　M2　27才　全昌寺　11丁

熊野吉蔵（吉郎，直春）　吉兵衛　3人　扶持　M4　46才　誓光寺　3丁

熊野兵吉（定忠）　千三郎定之　40俵　M3　19才　本性寺　8丁

熊走太吉（正忠）　太兵衛　2人扶持　M4　19才　仁随寺　4丁

雲田平八（末清）　安三郎　20俵　M3　58才　玄門寺　3丁

倉　茂三郎（亮忠）　兵兵衛　15俵　M3　23才　専光寺　5丁

蔵　栄三（津兵衛，元昂）　栄三郎　20俵　M3　29才　心蓮社　4丁

蔵　重男（儀左衛門）　栄三郎　30俵　M3　50才　心蓮社　6丁

蔵　登幾男（信正）　六兵衛　20俵　M3　瑞泉寺　7丁

蔵　弥次郎（稠次郎，成蔭）　六兵衛守一　30俵　M3　17才　瑞泉寺　5丁

蔵越桑吉（久一）　弥吉　2人扶持　M4　22才　仰西寺　4丁

倉坂市三郎（正明）　久左衛門　2人扶持　M3　13才　光現寺　3丁

倉田与九郎（一忠） 理右衛門 15俵 M3 39才 西源寺 4丁
蔵田直次郎（助直） 助右衛門 15俵 M3 26才 勝興寺 4丁
倉知閑年（宗左衛門，彰善） 伊兵衛 方義 60石 天保10 34才 雲竜寺 9丁
倉知幾太郎（行徳） 三右衛門行久 10人扶持 M3 43才 雲竜寺 5丁
倉知新吾（新左衛門，陳善） 倉知閑牛彰善 60石 M3 31才 雲竜寺 10丁
倉知外三郎 操 42石 M7 松縁寺 8丁
倉知弥三郎（行正） 清馬 100石 M3 8才 雲竜寺 7丁
倉見乙次郎（正路） 3人扶持 M3 東本願寺別院 3丁 2冊
倉見くみ 与兵衛 3人扶持 M8 東本願寺別院 3丁
倉本弥八（久仲） 与八 1人半扶持 M4 38才 光円寺 3丁
倉屋仙作（直英） 嘉助 8俵 M4 53才 妙立寺 4丁
倉屋安太郎（英保） 仙作 5俵 M4 17才 妙立寺 4丁
（帙 156） 栗田幸作（資矩） 伝兵衛資方 250石 M3 58才 高岸寺 8丁
栗田甚吾（甚兵衛，吉勝） 栄治吉正 30石 M3 35才 専光寺 3丁 2冊
栗田休（一之） 八十郎 150石 M3 18才 高岩寺 9丁
栗田豊（宇右衛門，資之） 幸作資矩 250石 M3 35才 高岸寺 5丁
栗原猪太郎（武元） 孫七郎 35俵 M4 16才 善照坊 5才
栗原洪平（右太夫） 喜太夫元英 50石 M3 46才 本是寺 4才 2冊
栗原小沓（伊三助，正善） 与三次 33俵 M3 65才 等願寺 7丁
栗原保久 小沓 33俵 M6 24才 等願寺 5丁
栗原左平（助左衛門，久益） 太三郎 23俵 M3 71才 本是寺 4丁
栗原清八郎（優彭） 清左衛門 25俵 M3 22才 高岸寺 5丁
栗原善作（善兵衛，正信） 七左衛門 20俵 M3 40才 願念寺 6丁
栗原孫七郎（真武） 六兵衛 35俵 M3 71才 善照坊 8丁
栗本豊作（友之） 七右衛門友行 70石 M3 18才 極楽寺 5丁
（帙 157） 栗山新（道定） 弥左衛門龍兄 40石 M3 25才 常福寺 6丁
栗山久三（忠義） 惣七 3人扶持 M4 41才 少林寺 3丁
栗山脊平（脊之助，義平） 庄助 20俵 M3 55才 善隆寺 5丁
栗山覚（覚兵衛，勝行，覚之助） 右京政秀 2人半扶持 M3 29才 静明寺 3丁 2冊
栗山三郎（忠満） 吉太夫 25俵 M3 30才 極楽寺 6丁
栗山茂（茂太夫，惟泰） 用左衛門 25俵 M3 48才 乗善寺 8丁
栗山茂太郎 茂 25俵 M5 4才 乗善寺 6丁
栗山伝吉（心正） 儀左衛門慎 60俵 M3 54才 妙円寺 6丁
栗山富栄 三郎忠栄 25俵 M5 13才 極楽寺 8丁
栗山友一（友之助，直正） 佐五左衛門 25俵 M3 28才 妙円寺 12丁
栗山直江（直人，貴知） 安丞貴林 40俵 M3 23才 静明寺 5丁
栗山はつ 庄助 10石 M7 55才 善隆寺 4丁
栗山兵左衛門（章一） 弥次兵衛 45石 M1 51才 浄安寺 4丁
栗山鋲太郎（直好） 庄左衛門庄作章一 5人扶持 M3 18才 浄安寺 5丁 2冊
栗山貢（得定） 鍛太夫得房 40俵 M3 安立寺 9丁
栗山安平（孝敬） 豊助 30俵 M3 38才 浄明寺 13丁

倶利山　繰（秀一）　吉三郎　20俵　M3　19才　西光寺　4丁

黒梅泊　鷲（猶人，則之）　浅右衛門章則　70石　M3　65才　月照寺　9丁　2冊

黒梅直　記（則正）　泊鷲則之　70石　M3　23才　月照寺　8丁

黒梅六　郎（義郎）　伊助　1人半扶持　M3　53才　願念寺　6丁

(帙158)　玄応甚　録（甚右衛門，自明）　長蔵　3人扶持　M3　59才　本誓寺　3丁　2冊

黒川衛　二（矢衛二，寅亮）　半兵衛寅亮　40俵　M3　27才　本行寺　11丁

黒川音　治（篤秀）　六左衛門篤昌　3人扶持　M3　26才　長久寺　8丁

黒川嘉十郎（武久）　善太郎　2人扶持　M3　21才　専光寺　4丁

黒川　要（要人，衡盛）　保太郎光重　25俵　M3　23才　蓮華寺　8丁

黒川義　一（雅之）　英吉　30俵　M3　39才　本性寺　8丁

黒川耕　作（直好）　七之丞　20俵　M4　32才　安立寺　7丁

黒川孝次郎（義直）　彦太夫　35俵　M3　19才　蓮昌寺　7丁

黒川自　然（良安）　玄龍　180石　M3　54才　養照寺　8丁

黒川　砂（清蔵，厚好）　宗太夫好則　2人扶持　M3　48才　円光寺　3丁

黒川次郎造（也義）　次郎助　15俵　M3　26才　瑞泉寺　3丁

黒川新　五（儀直）　豊次郎籌久　80石　M3　37才　妙泰寺　15丁　2冊

黒川新　三（新蔵，信守）　金左衛門信之　4人扶持　M3　42才　円長寺　4丁

黒川清五郎（清太夫，以政）　六左衛門篤昌　110石　M3　50才　長久寺　9丁　2冊

(帙159)　黒川宗太郎（好員）　清蔵厚好　1人扶持　M3　円光寺　2丁

黒川　亨（因置）　唯右衛門因信　2人扶持　M3　37才　立像寺　5丁　2冊

黒川伝　吉（嘉明）　彦九郎　20俵　M3　49才　本是寺　6丁

黒川登喜男（三太夫，方則）　喜祿斉　60石　M3　23才　8丁

黒川徳太郎　義孝　7.5石　M6　6才　蓮昌寺　5丁

黒川彦　造（彦兵衛門，正忠）　弥太郎　20俵　M3　24才　名願寺　10丁

黒川文　平（幸成）　宗三郎以重　40石　M3　58才　蓮華寺　8丁　2冊

黒川平　二（錦之）　半左衛門並昌　80石　M3　51才　慶覚寺　9丁

黒川　旋（季信）　文平　2人扶持　M3　27才　蓮華寺　8丁

黒川安　平（安兵衛，久国）　1人半扶持　M4　41才　聞善寺　2丁

黒川要次郎（泰好）　保太郎　2人扶持　M3　23才　蓮華寺　6丁

黒川良　平（久具）　元良哲　20人扶持　M3　39才　善徳寺　10丁

黒川燐　麟（僻安）　新五　10俵　M3　19才　妙泰寺　6丁

(帙160)　黒坂景治郎（景光）　左衛景政　500石　M3　39才　玉泉寺　10丁

黒坂幸二郎（純修）　治郎左衛門　7人扶持　M3　21才　光徳寺　7丁　3冊

黒坂亀　松（純貞）　純修　7人扶持　M4　8才　光徳寺　4丁

黒沢信次郎（定平）　庄九郎定平　4人扶持　M4　16才　瑞泉寺　6丁

黒沢他喜男　定平　22俵　M5　14才　瑞泉寺　7丁

黒沢辰　次（辰右衛門，久源）　辰右衛門　18俵　M3　42才　本行寺　9丁

黒瀬梶　間（由則）　八左衛門　2人扶持　M3　51才　瑞泉寺　4丁

黒瀬喜三郎　6.5石　M5　23才　勝光寺　4丁

黒瀬源之助（又八，追貞）　善内　10人扶持　M3　52才　妙慶寺　5丁　2冊

黒瀬又　男（持之）　又八　2人扶持

M３　４才　妙慶寺　４丁　２冊

黒瀬梁介（政保）　勘之丞　30石　M３　40才　妙国寺　５丁

（帙 161）黒田市平（正輝）　甚兵衛　１人半扶持　M４　61才　浄行寺　３丁

黒田伊平（伊太夫、時房）　伊太夫方一　３人扶持　M３　60才　善照坊　３丁　２冊

黒田栄吉（一力）　左四郎　20俵　M３　19才　専光寺　３丁

黒田乙三郎（信則）　久米之介成次　40俵　M５　33才　等願寺　４丁

黒田勝見（勝左衛門，政一）　勝左衛門転政　50石　M３　30才　善福寺　５丁

黒田かめ　九平兼近　15石　M７　23才　妙正寺　３丁

黒田監三（思近）　九平兼近　30俵　M３　23才　妙正寺　７丁

黒田帰一（栄之助，武礼）　佐一右衛門文礼　50石　慶恩寺　４丁　２冊

黒田喜三郎（定勝）　久兵衛　２人扶持　M４　30才　円長寺　３丁

黒田喜太郎（政勝）　大助　15俵　M３　22才　専長寺　３丁

黒田吉三（文兵衛，永幸）　45石　M３　40才　蓮福寺　６丁　２冊

黒田　雲（和人，永由）　弥兵衛　15俵　M３　21才　本覚寺　３丁

黒田耕平（照房）　善左衛門　25俵　M４　47才　唯念寺　７丁

黒田五平（五郎左衛門，有幹）　小左衛門三愛　２人扶持　M３　35才　光徳寺　６丁

黒田三郎（正容）　伝左衛門義馳　35俵　M３　21才　安立寺　７丁

黒田三郎（紀道）　三五郎　20俵　M３　15才　常福寺　５丁

黒田三次（一生）　三郎平　15俵　M３　22才　慶覚寺　３丁

黒田茂三（次平）　太四郎　15俵　M３　27才　専光寺　５丁

黒田丈平（丈左衛門，頼元）　丈右衛門　20俵　M３　43才　照台寺　９丁

黒田次郎（知行）　次郎吉　３人扶持　M３　44才　法憧寺　５丁　２冊

黒田次郎三郎（義忠）　彦三郎　15俵　M３　36才　東本願寺別院　４丁

（帙 162）黒田甚九郎（甚助，貞義）　弥兵衛信広　70石　M３　46才　等願寺　８丁

黒田甚吾（甚左衛門，為貞）　35石　M３　48才　妙因寺　７丁　２冊

黒田甚平（信安）　甚左衛門　25俵　M３　51才　浄誓寺　４丁

黒田　晋（信任）　新次郎弘　30俵　M３　16才　妙正寺　５丁

黒田宗吉（直一）　次郎　１人半扶持　M３　12才　法憧寺　３丁

黒田太次郎（義春）　太左衛門　20俵　M３　慶恩寺　３丁

黒田唯三（伝之進，光卿）　同流博郷　300石　M３　62才　普明院　11丁

黒田常三郎（宗重）　伝九郎久宗　70石　M３　40才　浄安寺　５丁

黒田常三（義守）　常之助　20俵　M３　23才　唯念寺　８丁

黒田八平（忠道）　八兵衛　２人扶持　M５　53才　光徳寺　４丁

黒田兵五郎（正和）　兵右衛門　20俵　M４　42才　興徳寺　12丁

黒田平蜃郎（術省）　平丞　23俵　M３　42才　長徳寺　９丁

黒田平四郎（義忠）　平五郎　20俵　M３　68才　善福寺　３丁

黒田やそ　平四郎　10石　M６　39才　善福寺　３丁

黒田万太郎（信明）　乙三郎信則　40俵　M５　13才　等願寺　７丁

黒田保太郎（金則）　五郎左衛門　20俵　M３　19才　善徳寺　７丁

黒田弥太郎（房次）　七之丞　20俵　M３　７才　唯念寺　６丁

黒田勇太郎（正立）　竜之助　２人扶持　M３　14才　正覚寺　３丁　２冊

黒田与作（伊吉）　与三兵衛　３人扶

持　M4　40才　慶覚寺　3丁
黒　田　与三郎（忠一）　与三吉　20俵　M3　28才　光専寺　7丁
黒　田　吉太郎（重明）　忠左衛門　20俵　M3　32才　西願寺　5丁
黒　田　与十郎（与右衛門，金忠）　仁右衛門　15俵　M3　38才　常徳寺　3丁
（帙 163）桑　木　　抄（忠郷）　助太夫　20俵　M3　20才　正覚寺　4丁
桑　木　千　畝（堅之助，愛信）　善左衛門　25俵　M3　29才　正覚寺　7丁
桑　木　大三郎（道好）　善左衛門　24俵　M4　23才　正覚寺　9丁
桑　嶋　栄次郎（正勝）　次右衛門　1人半扶持　M4　善福寺　3丁
桑　嶋　忠太郎（貞智）　半十郎貞久　100石　M3　29才　少林寺　8丁
桑　嶋　　続（有礼）　三左衛門篤礼　8人扶持　M3　44才　常徳寺　4丁
桑　嶋　清三郎　有礼　8人扶持　M6　23才常徳寺　7丁
桑　嶋　半　六（半兵衛，稽善）　半右衛門　15俵　M3　43才　福念寺　5丁
桑　嶋　方　友（友規）　三左衛門吉道　120石　M4　55才　少林寺　8丁
桑　田　庄太郎（忠一）　文作忠明　3人扶持　M3　徳善寺　3丁　2冊
桑　名　慶太郎（定久）　文蔵　20俵　M3　28才　長円寺　7丁
桑　名　健次郎（友直）　大純　6人扶持　M3　23才　光覚寺　6丁　2冊
桑　原　卯　一（卯右衛門，正信）　丈助　2人扶持　M3　61才　乗善寺　4丁
桑　原　和　勝（蔦貞）　喜内　2人扶持　M3　32才　乗善寺　7丁　2冊
桑　原　閑　内（長邦）　判太夫福長　12人扶持　M3　50才　浄光寺　10丁　2冊
桑　原　甚太郎（元存）　閑内長邦　12人扶持　M4　18才　浄光寺　10丁
桑　原　菅　平（道経）　治兵衛　18俵　M4　44才　浄光寺
桑　原　与一郎（道和）　菅平　10俵　M4　17才　浄光寺　3丁
桑　原　喜　内（喜兵衛，貞方）　貞行　11俵　M3　乗善寺　7丁
（帙 164）桑　原　定　吉（義勝）　定左衛門義次　23俵　M3　38才　浄光寺　8丁　2冊
桑　原　如　雪（小左衛門，信行）　次右衛門信貞　120石　M3　松山寺　6丁　2冊
桑　原　宗　禎（恒定）　宗貞恒茂　30俵　M3　68才　浄光寺　7丁
桑　原　宗宜郎（恒重）　宗禎　15俵　M3　47才　浄光寺　4丁
桑　原　東　作（半作衛門，成勝）　弥左衛門　6人扶持　M3　40才　7丁　2冊
桑　原　直次郎（信重）　小左衛門信行　2人扶持　M3　16才　松山寺　4丁
桑　原　文　平（正次）　卯右衛門　9俵　M3　22才　乗善寺　5丁
桑　原　正　次　卯一　10俵　M7　29才　乗善寺　4丁
桑　原　勇　作（重長）　重丞直善　30俵　M3　45才　浄光寺　11才　2冊
桑　原　良五郎（好明）　喜三郎　15俵　M3　52才　慶恩寺　5丁
桑　村　権　六（真正）　権右衛門　12俵　M3　59才　徳善寺　3丁
桑　村　治　作（治助，培本）　治助　15俵　M3　28才　本誓寺　5丁
桑　村　太三郎（乗一）　太右衛門　15俵　M3　19才　徳善寺　3丁
桑　本　康　平（七兵衛，充次）　安兵衛　11俵　M3　65才　徳善寺　3丁
桑　本　三次郎　康平　11俵　M5　徳善寺　3丁
桑　山　源　造（復仁）　弥左衛門　23俵　M3　29才　真成寺　5丁

こ　行

（帙 165）小　生　　慈（一以）　左柳京寿　5人扶持　M4　32才　光照寺　2丁　2冊
小　池　太　作（忠直）　庄平　4.5石　M3　18才　報恩寺　5丁
小　池　義三郎　太作　4.5石　M6　16才

報恩寺　5丁

小　池　九兵衛（知常）　八郎左衛門　100石　M2　46才　本光寺　10丁

小　池　耕次郎（雅）　定左衛門　4人扶持　M3　15才　本光寺　3丁　2冊

小　池　　定（定右衛門，惟成）　吉左衛門惟允　70石　M3　44才　本光寺　6丁　2冊

小　池　準　吉（良泰）　伴太　50石　M3　23才　本行寺　3丁

小　池　初太郎（正行）　豊左衛門　50俵　M3　28才　3丁

小　池　伴四郎（元徳）　伴右衛門　17俵　M4　60才　光専寺　8丁

小　池　伴　太（良翰）　伴太夫良顕　100石　M3　52才　本行寺　9丁　2冊

小　池　弥之宇（尚由）　進六成寧　8人扶持　M3　43才　正福寺　6丁

小　池　鯉　作（信輝）　丈右衛門　27俵　M3　27才　玄門寺　5丁

小　池　六　郎（宣秀）　宗三郎　30俵　M3　38才　広済寺　9丁

小　石　久八郎（一範）　弥八郎一房　33俵　M3　65才　承証寺　7丁

小　石　喜与見（友直）　昇八一友　21俵　M4　因徳寺　5丁

小　石　勇　喜（久源）　喜与見　12俵　M4　19才　因徳寺　6丁

小　石　為次郎（一房）　弥八郎一房　30俵　M3　承証寺　10丁

（帙 166）小　泉　浅　喜（重則）　庄左衛門　11俵　M3　46才　本誓寺　5丁

小　泉　　与（伯寿，周太郎）　与太夫伯貞　70石　M3　46才　浄光寺　8丁　2冊

小　泉　伊　作（伊左衛門，善達）　甚八　20俵　M3　善福寺　4丁

小　泉　伊三郎（勝久）　太一郎　15俵　M4　28石　願念寺　5丁

小　泉　市　三（以正）　亥三郎以則　28俵　M3　39才　上宮寺　5丁

小　泉　右衛門（増定）　津右衛門　45石　M3　55才　慶恩寺　9丁

小　泉　嘉　織（久平，直重）　猪之助直方　29俵　M3　24才　浄光寺　5丁　2冊

小　泉　角太郎（青久）　与兵衛　15俵　M4　34才　瑞泉寺　9丁

小　泉　一　馬（忠則）　久作　20俵　M3　17才　善徳寺　6丁

小　泉　勝左衛門　善三郎　10石　M7　31才　経王寺　8丁

小　泉　亀太郎　浅喜　11俵　M6　14才　本誓寺　3丁

小　泉　喜十郎（平之）　宇兵衛　10俵　M4　28才　大乗寺　4丁

小　泉　久三郎（盛高）　清治　2人扶持　M4　20才　希羽院　4丁

小　泉　金　次（悦之）　与太夫　20俵　M4　38才　禅栖院　5丁

小　泉　与　一　弥太郎　28俵　M6　32才　願楽寺　6丁

小　泉　吾　作（有久）　作丞　12俵　M4　62才　仁随寺　6丁

小　泉　駒三郎（正善）　与兵衛　15俵　M3　27才　聖興寺　3丁

小　泉　小弥太（清勝）　銀三郎　23俵　M3　37才　恵光寺　6丁

小　泉　佐津美（敬義）　秀左夫　M4　35才　高岸寺　5丁

（帙 167）小　泉　　茂（常安）　磯之助　150石　M3　28才　禅栖院　8丁

小　泉　伙太郎（盛俊）　浅之丞盛方　500石　M3　33才　本長寺　11丁

小　泉　潤　平（俊英）　一河増章　110石　M3　29才　妙慶寺　10丁

小　泉　清　治（盛通）　清八　2人扶持　M3　50才　希翁院　4丁　2冊

小　泉　善三郎（篤忠）　善之丞　20俵　M3　29才　5丁

小　泉　桑太郎　勝左衛門　10石　M7　経王寺　9丁

小　泉　外次郎（宗正）　惣八　15俵　M4　18才　永順寺　5丁

小　泉　丹　治（甚助，信房）　七郎次　25

俵　46才　善徳寺　9丁
小泉長重郎（定明）　小三郎　15俵　M3　31才　竜雲寺　5丁
小泉　統（義正）　惣之助　20俵　M3　30才　宗徳寺　5丁
小泉常之（有斐）　喜左衛門　20俵　M3　24才　妙法寺　5丁
小泉直三郎（与平）　30俵　M5　31才　誓円寺　6丁
小泉半次（正盛）　孫作　18俵　M4　31才　光教寺　7丁
小泉弥朝（儀定）　伝之助　15俵　M3　26才　西源寺　4丁
小泉文三郎（文蔵，義成）　昌九郎　18俵　M3　37才　上宮寺　7丁
小泉又三郎（一正）　安次郎　11俵　M4　25才　東本願寺別院　7丁
小泉松五郎（永宣）　弥太郎　20俵　M3　28才　経王寺　9丁
小泉松太郎　善達　10石　M6　6才　善福寺　4丁
小泉真順　盛俊　54石　M7　30才　本長寺　8丁
（帙 168）小泉守男（金蔵，信勝）　喜助　15俵　M3　22才　正久寺　4丁
小泉弥五郎（元享）　数右衛門　15俵　M3　47才　安楽寺　4丁
小泉弥須美（祇雅）　八三郎　20俵　M3　32才　善徳寺　6丁
小泉弥三八（弥三右衛門，忠近）　和兵衛　2人扶持　M3　62才　安楽寺　4丁
小泉弥三松（親方）　弥右衛門　20俵　M3　25才　唯念寺　6丁
小泉弥太郎（和興）　弥兵衛和行　28俵　M3　56才　願楽寺　6丁
小泉与三男（半兵衛，定良）　15俵　M3　45才　徳善寺　4丁
小泉良造（和義）　吾作　2人扶持　M4　30才　仁随寺　6丁
小出惣四郎（豊次）　半四郎　15俵　M3　39才　4丁
籠田良次郎（信次）　兵蔵　15俵　M4　14才　永照寺　4丁
合田寛郷（平次）　小平田寛敬　100石　M3　43才　瑞源寺　12丁
河内山寿富（秀松）　怦斎　200石　M3　34才　雲竜寺　12丁
上月以孝（銀次郎）　数之助以信　200石　M3　18才　高岸寺　10丁
河野逸角（義信）四郎兵衛直行　55石　文政13　18才　立円寺　19丁
河野源五郎（久幸）　唐兵衛　10石　慶応2　28才　竜門寺　11丁
河野弥次平（文太郎，正通）　久太郎　180石　嘉永5　31才　竜門寺　23丁
幸野禹之吉（之孝）　70石　M3　52才　浄照寺　8丁
（帙 169）楮原喜平治（康貞）　喜左衛門　15俵　M3　27才　本覚寺　3丁
小馬次三郎（篤平）　五石衛門　20俵　M3　28才　開正寺　4丁
香林村　勝（義忠）　儀兵衛　3人扶持　M3　28才　廻光寺　3丁
香林村蕃宣（茂右衛門）　助三蕃庶　19俵　M3　58才　極楽寺　5丁
香村順助（源兵衛，貴重）　藤右衛門　40石　M3　66才　法然寺　6丁
香村貴房（順吉）源兵衛貴重　40石　M3　26才　法然寺　6丁
香村小録（有儀）　金六矩有　100石　M4　6才　法然寺　6丁
郡山周平（冨次）　伊左衛門　22俵　M4　37才　等願寺　5丁
郡山　統（庸是）　甚四郎　15俵　M4　22才　照円寺　6丁
幸林徨男（鎌之助，忠矩）　半左衛門　30俵　M3　53才　円融寺　7丁
小神吉造（貞徳）　吉蔵　10俵　M4　23才　乗永寺　3丁
国府数馬（知之）　良友　100石　M3　53才　妙正寺　13丁
国府信二（直行）　新六　30俵　M3　永照寺　3丁
国府新造（直有）　信二　30俵　M3

41才　永照寺　4丁
国府新七（直次）　信二　25俵　M3　30才　永照寺　4丁
国府栄久（久朝）左次馬久直　30石　M3　68才　高岩寺　5丁
国府誠九郎（永久）　栄久久朝　70石　M3　39才　高岩寺　10丁
国府賤六郎　判二　200石　M7　23才　妙正寺　5丁
国分又勝（致和）　且右衛門致福　3人扶持　M3　12才　法船寺　3丁
国分　亘（且右衛門，致福）　長太夫　保寿　70石　M3　49才　法船寺　7丁
小坂伊三郎（正忠）　藤兵衛　15俵　M3　21才　光琳寺　4丁
小坂栄作（良直）六右衛門　20俵　M3　59才　広済寺　5丁
小坂栄治（作左衛門，安信）　作右衛門　20俵　M3　唯念寺　5丁
小坂嘉久次（正美）　紋左衛門　15俵　M3　32才　浄盧寺　5丁　2冊
（帙 170）小坂嘉三郎（政忠）　善助　2人半扶持　M4　17才　専光寺　4丁
小坂勝二（伝之進，秀輝）　安太夫　25俵　M3　28才　三光寺　3丁
小坂勘七（吉近）　勘助　2人扶持　M4　51才　専光寺　3丁
小坂勘平（政近）　平兵衛　1人半扶持　M5　17才　仰西寺　3丁
小坂勘六（勘右衛門，元一）　勘右衛門　1人扶持　M3　53才　光専寺　3丁
小坂義三郎（家政）　七之助　12俵　M3　32才　照円寺　3丁
小坂喜三（吉右衛門，金忠）　弥三郎　2人扶持　M3　32才　西方寺　5丁
小坂喜三次（一正）　仁左衛門　11俵　M4　24才　光専寺　4丁
小坂喜太郎（熊之助，恒秀）　弥八　20俵　M3　12才　西勝寺　6丁
小坂久作（同昌）　小助　1人半扶持　M4　48才　聖興寺　3丁
小坂熊五郎（永休）　傳五左衛門直一　50俵　M3　24才　三光寺　8丁
小坂幸朔（貞固）　勘右衛門　1人半扶持　M4　24才　仰西寺　4丁
小坂小平（久行）　七左衛門　2人半扶持　M5　32才　専光寺　4丁
小坂朔二（正清）　孫右衛門　1人半扶持　M4　24才　光専寺　4丁
小坂作平（忠由）　源右衛門　2人扶持　M3　32才　仰西寺　4丁
小坂　茂（棟忠）　市蔵　20俵　M3　25才　西源寺　5丁
小坂次作（晴高）　佐吉　15俵　M3　39才　善徳寺　4丁
小坂寿安（秀実）　寿安　50石　M3　57才　光専寺　6丁
小坂大安（友直）　寿安　2石　M3　32才　光専寺　3丁　2冊
小坂次郎吉（里次）　利助　1人半扶持　M4　34才　本誓寺　3丁
小坂清作（清恒）　清右衛門　15俵　M3　30才　専光寺　5丁
小坂清三郎（秀乗）　清右衛門　15俵　M3　19才　専光寺　4丁
小坂清八郎（金杉）　清八郎　15俵　M3　25才　東本願寺別院　4丁
小坂清六（清左衛門，勝茂）　五兵衛　1人半扶持　M3　37才　光専寺　3丁
小坂仙造　長三郎　1人半扶持　M3　27才　光専寺　3丁
小坂宗次郎　惣七　1人半扶持　M4　19才　光専寺　4丁
小坂惣太郎　棟忠　10石　M6　11才　西源寺　5丁
小坂外三郎　清右衛門　20俵　M3　25才　専光寺　4丁
（帙 171）小坂太次郎（義信）　五郎右衛門　15俵　M3　23才　本浄寺　5丁
小坂坦路（舛兵衛，一征）　伊兵衛喜一　70石　M3　80才　三光寺　9丁
小坂他丑（一和）　担路　70石　M4　19才　三光寺　7丁
小坂忠三郎（忠左衛門，忠正）　兵吉

15俵　M３　45才　浄光寺　３丁
小　坂　長三郎（明信）　惣助　15俵　M３　32才　永照寺　５丁
小　坂　恒　秀　弥八　20石　M６　15才　西勝寺　４丁
小　坂　徳三郎（正久）　藤吉　20俵　M３　63才　道入寺　３丁
小　坂　な　越　作右衛門　3.6石　M６　25才　仁随寺　４丁
小　坂　は　津　義三郎　6.1石　M６　４才　照円寺　３丁
小　坂　久　政（文左衛門，文太郎）　庄蔵　15俵　M３　37才　専光寺　４丁　２冊
小　坂　　弘（義光）　作右衛門　１人半扶持　M５　26才　仁随寺　３丁
小　坂　与三郎（安尚）　文蔵　15俵　M３　33才　西源寺　３丁
小　坂　文三郎（文蔵，友保）　文蔵　15俵　M３　31才　西源寺　３丁
小　坂　茂　平（正勝）　小左衛門　17俵　M４　36才　徳善寺　10丁
小　坂　保　平（保右衛門，邦興）　十蔵雅興　80石　M３　64才　本誓寺　11丁
小　坂　八十二（守正）　与左衛門　２人扶持　M４　25才　端泉寺　３丁
小　坂　要　造（与左衛門，忠茂）　吉助　20俵　M３　44才　西方寺　５丁
小　坂　与　作（勘）　権右衛門　16俵　M４　45才　瑞泉寺　５丁
小　坂　与三吉（清一）　新右衛門　１人半扶持　M４　20才　仰西寺　５丁　２冊
小　坂　与　平（昌之）　喜兵衛　７俵　M４　52才　光専寺　４丁
小　坂　六三郎（是定）　半右衛門　３人扶持　M４　32才　光専寺　３丁
小　坂　和藤次（光忠）　六蔵光重　15俵　M４　43才　玄門寺　４丁
（帙 172）**小　崎　与三治**（与三左衛門，行政）　与右衛門　２人扶持　M３　65才　金剛寺　４丁　２冊
小　崎　与　作（義実）　与三治行政　２人扶持　M３　43才　金剛寺　６丁　２冊
越　浦　久次郎（久蔵，越之）　清右衛門　２人扶持　M４　47才　廻向寺　３丁
小　塩　直　吉　12俵　M７　６才　勝光寺
越　川　多三郎（信久）　八兵衛　３人扶持　M４　23才　広済寺　２丁
越　沢　宗　久（宗助，忠義）　宗助　15俵　M３　42才　等雲寺　４丁
越　嶋　宗四郎（治一）　宗右衛門　２人扶持　M４　37才　専称寺　４丁
越　田　栄　次（喜太夫，信基）　喜助　５人扶持　M３　42才　瑞泉寺　３丁　２冊
越　田　喜久男（喜兵衛，成矢）　喜助　15俵　M３　25才　光西寺　３丁
越　田　喜重郎（清重）　弥三次　15俵　M４　20才　廻向寺　４丁
越　田　吉三郎（吉義）　与兵衛　15俵　M３　32才　真教寺　３丁
越　田　久　七（久左衛門，久信）　六兵衛　15俵　M３　39才　永久寺　３丁
越　田　久　平（忠由）　仁兵衛　２人扶持　M４　43才　西源寺　４丁
越　田　金次郎（忠久）　喜兵衛　15俵　M３　21才　仰西寺　４丁
越　田　五三郎（友藤）　五左衛門　２人扶持　M４　45才　聖興寺　４丁
越　田　孝太郎（友行）　五三郎　１人扶持　M４　14才　聖興寺　３丁
越　田　小三郎（清永）　甚右衛門　２人扶持　M４　21才　長福寺　３丁
（帙 173）**越　田　重　六**（貞信）　平兵衛　２人扶持　M４　32才　仁随寺　２丁
越　田　春太郎（友一）　五三郎　５俵　M４　17才　聖興寺　３丁
越　田　甚　七（恒信）　甚兵衛　21俵　M３　62才　光専寺　４丁
越　田　甚　三（玄海）　三郎兵衛　16俵　M３　68才　浄行寺　３丁
越　田　甚太郎（康勝）　弥兵衛　11俵　M４　24才　乗善寺　４丁
越　田　甚　六（正方）　嘉助　３人　M４　60才　妙源寺　３丁
越　田　助次郎（起直）　新七　15俵　M３

27才　光専寺　4丁
越田善四郎（業信）　栄助　15俵　M3　23才　報恩寺　3丁
越田惣八郎（義明）　勘右衛門　11俵　M4　45才　宝性寺　4丁
越田富治（冨直）　久太郎　2人扶持　M4　34才　浄哲寺　3丁
越田虎二郎（善兵衛，孝則）　15俵　M3　23才　本覚寺　2丁
越田二平（一久）仁右衛門　10俵　M4　48才　常願寺　3丁
越田初三郎（信元）　嘉八　13俵　M4　24才　慶恩寺　3丁
越田斧太郎（友義）　惣八郎　1人扶持　M3　13才　宝性寺　3丁
越田茂三郎（信清）　武左衛門　8俵　M4　18才　善徳寺　3丁
越田弥一郎（安定）　万右衛門　7俵　M4　長福寺　3丁
越田弥平（幸久）　善兵衛　8俵　M4　73才　照台寺　4丁
越田与吉（友保）　忠兵衛　7俵　M4　30才　乾徳寺　2丁
越田和平（善平）　与兵衛　10俵　M4　36才　瑞須寺　4丁
腰田久太（是芳）　八十歳　20俵　M4　43才　称名寺　5丁
（帙174）越谷作平（時久）　作兵衛　1人半扶持　M4　45才　照円寺　2丁
越仲文次郎（未照）　忠兵衛　2人扶持　M4　33才　専徳寺　4丁
越沼為次郎（之秀）　豊次郎　3人扶持　M4　18才　願楽寺　5丁
越野しけ（夫，八左衛門）　4.9石　M7　66才　西源寺　3丁
小柴新三郎（新左衛門，良寿）　源左衛門　15俵　M3　42才　覚正寺　4丁
小柴安男（由朋）　久太夫　20俵　M3　43才　法光寺　5丁
越場　貢（貢平，義運）　吉右衛門　6人扶持　M4　42才　浄福寺　2丁
越原　歩（以行）　吉之助　3人扶持　M4　20才　聞善寺　3丁　2冊
越原市次郎（春久）　伊兵衛　18俵　M3　51才　慶覚寺　5丁
越原善三郎（安儀）　善太郎　15俵　M3　20才　専光寺　5丁
越原惣太郎（政茂）　権次郎　20俵　M3　20才　善徳寺　3丁
越原平三郎（道供）　浜兵衛　15俵　M3　22才　廻向寺　3丁
越原雅五郎（是定）　茂助　15俵　M3　25才　善照坊　3丁
越原保次（守忠）　恒男　20俵　M3　28才　常栄寺　6丁
小島　歩（主信）与左衛門信義　30石　M3　39才　大蓮寺　7丁
小島伊之吉（常孝）　太四郎　18俵　M4　19才　妙法寺　7丁
小島伊平（義金）　伊三郎　20俵　M3　42才　本是寺　9丁
（帙175）小島英作（正友）　閑高　10俵　M3　59才　妙法寺　5丁
小島栄松（正次）　市之丞正窓　40俵　M3　20才　妙法寺　9丁
小島雄虎（良貞）　惣三郎　18俵　M3　27才　妙法寺　13丁
小島鬼男（勝唯）　三之助　5人扶持　M3　28才　蓮覚寺　3丁
小島勘六（勘左衛門，実時）　久之丞　20俵　M3　43才　光明寺　6丁
小島喜一郎（栄三郎）　15俵　M5　2才　専長寺　7丁
小島喜子平（蕙良）　吉蔵　60石　M3　64才　仁随寺　7丁
小島　清（永定）　清五郎　20俵　M3　14才　実成寺　8丁
小島皐吉清　10石　M8　実成寺　4丁
小島粂次（久）　清五郎　20俵　M3　24才　実成寺　9丁
小島喜陸（陟朗）　源之丞　24俵　M3　33才　放生寺　7丁
小島敬二（行成）　七左衛門　9俵

M4　19才　万福寺　5丁

小　島　源五平（小島源之丞重旨）　庄太夫　俊忠　60石　M3　52才　長久寺　10丁　2冊

小　島　　栄（栄左衛門，知雄）　徳左衛門宣延　50俵　M3　60才　妙法寺　8丁

小　島　左　平（左太夫，庸茂）　宗兵衛　30俵　M3　放生寺　5丁

小　島　左　守（明庶）　左衛門明敏　2人扶持　M3　24才　松山寺　5丁

小　島　　茂（権平，従理）　幸左衛門従好　40石　M3　45才　本是寺　7丁　2冊

小　島　治三郎（安久）　治左衛門　5人扶持　M4　11才　浄照寺　3丁

小　島　志津江（守雄）　熊次郎　20俵　M3　24才　長久寺　8丁

（帙 176）**小　島　秀　平**（舛之助，貞恩）　与左衛門　25俵　M3　51才　浄安寺　5丁

小　島　周　平（助太夫，貞登）　和太夫　25俵　M3　44才　法光寺　6丁

小　島　守　馬（守人，言定）　喜平治　18俵　M3　29才　妙法寺　7丁

小　島　正　吉（直一）　廬　100石　M4　21才　妙法寺　3丁

信

小　島　伝　造（新造，守政）　喜太夫　18俵　M3　39才　慶覚寺　4丁

小　島　晋　陸（孝貞）　晋斎　5人扶持　M3　妙法寺　5丁

小　島　清五郎（親忠）　清左衛門親行　40俵　M3　25才　因徳寺　11丁

小　島　正　甫（一政）　湖雪　14俵　M3　65才　妙法寺　7丁

小　島　斌三郎　正甫　6人扶持　M7　妙法寺　5丁

小　島　多　仙（由充）　竟仙　5人扶持　M3　35才　妙法寺　5丁

小　島　辰　吉（知之）　和三郎　40俵　M3　19才　慈雲寺　3丁

小　島　為　吉（由為）　貞三　3人扶持　M3　31才　妙法寺　5丁

小　島　太郎八（太郎左衛門，明敏，仙太夫）　賤翁一則　70石　M3　51才　松山寺　6丁　2冊

小　島　坦次郎（豊直）　次郎平　50俵　M3　31才　瑞泉寺　10丁

小　島　鉄　男（従義）　権平　3人扶持　M3　16才　本是寺　3丁

小　島　鉄　平（有定）　嘉淳　3人扶持　M3　18才　妙法寺　6丁

小　島　藤　吾（虎之助，友右衛門，教貞）　有右衛門有善　3人扶持　M3　43才　善福寺　7丁　2冊

小　島　藤　造（令政）　石之助　5人扶持　M3　34才　蓮光寺　4丁

小　島　虎太郎（尚之）　壮平尚清　100石　M4　15才　極楽寺　7丁

小　島　　汀（好邇）　全慶褒高　80石　M3　58才　瑞泉寺　11丁

小　島　波　江（庄左衛門，貞義，波治）　太兵衛　M3　29才　香林寺　6丁

（帙 177）**小　島　　鑒**（義起）　喜藤次定義　100石　M3　48才　妙法寺　9丁

小　島　半　三（与右衛門，又勝）　善之助　15俵　M3　38才　東本願寺別院　5丁

小　島　兵　三（兵蔵，経定）　徳左衛門宣延　40俵　M3　49才　妙法寺　6丁

小　島　　牧（信房）　牧進為信　7人扶持　M3　31才　妙国寺　9丁

小　島　正　義　正友　3人扶持　M8　24才　妙法寺　3丁

小　島　　岬（乙橘，珍章）　七左衛門珍儀　5人扶持　M3　20才　徳善寺　6丁　2冊

小　島　弥源次（順勝）　弥八郎金定　25俵　M3　47才　妙法寺　11丁

小　島　八十吉（瀬左衛門，義久）　喜右衛門　24俵　M3　51才　上宮寺　5丁

小　島　吉　二（為善）　庄兵衛　30俵　M3　54才　敬栄寺　8丁

小　島　義　次　義久　9石　M7　上宮寺　4丁

小　島　柳三郎（教成）　友右衛門　3人扶持　M3　18才　善福寺　3丁　2冊

小　島　臨五郎（宗備）　晋斎　42俵　M3　43才　妙法寺　6丁
小　島　和三郎（知継）　和太郎勝昌　40俵　M3　53才　慈雲寺　8丁
児　島　猪之助（直重）　青次郎　2人扶持　M2　15才　光善寺　2丁
狐　島　勘　平（恒友）　宗助　12俵　M4　40才　浄福寺　4丁
五　島　勘三郎（時安）　半助　15俵　M3　45才　長因寺　4丁
越　光　誠　作（久忠）喜兵衛　2人扶持　M5　37才　光専寺　3丁
越　村　栄九郎（忠久）　嘉右衛門　2人扶持　M4　29才　林幽寺　3丁
越　村　嘉吉郎（義行）　惣右衛門　15俵　M3　27才　善福寺　5丁
越　村　一　二（藤兵衛，一正）　藤助　25俵　M3　46才　恵光寺　3丁
越　村　金　男（義時）　清次郎　15俵　M3　31才　西源寺　4丁
（帙 178）越　村　喜左太（忠久）　喜助　23俵　M3　37才　照円寺　5丁
越　村　喜三次（政直）　直次郎　3人扶持　M3　23才　勝興寺　3丁　2冊
越　村　吉太郎（久秋）　栄馬　11俵　M3　16才　善徳寺　3丁
越　村　喜　八（喜左衛門，則由）　平助　8俵　M4　48才　三光寺　3丁
越　村　喜　平（勝芳）　庄助　2人扶持　M4　58才　椹生寺　3丁
越　村　喜　六（喜兵衛，義定）　勘助　6俵　M4　40才　浄行寺　3丁
越　村　金　吾（清治）　五兵衛　10俵　M3　16才　瑞泉寺　4丁
越　村　幸次郎（幸正）　清兵衛　15俵　M3　25才　善福寺　4丁
越　村　五　作（五左衛門，忠正）　五兵衛　10俵　M3　42才　本正寺　4丁
越　村　五　平（五兵衛，近則）　仕平　15俵　M3　25才　光教寺　3丁
越　村　　斜（義次）　吉右衛門　15俵　M3　19才　仰西寺　2丁
越　村　甚　作（政次）　甚兵衛　10俵　M3　22才　西福寺　3丁
越　村　新　八（清勝）　徳兵衛　15俵　M324才　願正寺　4丁
越　村　清次郎（国勝）　清助　2人扶持　M4　34才　等願寺　4丁
越　村　他次郎（忠明）　藤助　25俵　M3　37才　廻向寺　5丁
越　村　太八郎（一尚）　太兵衛　15俵　M3　37才　願念寺　3丁
越　村　太　平（忠義）　長右衛門　3人半扶持　M4　28才　万福寺　3丁
越　村　恒　吉（正直）　作兵衛　2人扶持　M4　26才　光徳寺　3丁
越　村　常　松（信一）　与三兵衛　15俵　M3　23才　照台寺　3丁
越　村　伝九郎（忠久）　八九郎　2人扶持　M4　45才　専徳寺　3丁
越　村　棟　造（高永）　善四郎　15俵　M4　28才　永安寺　3丁
越　村　久　雄（久右衛門）　久兵衛　2人半扶持　M4　28才　斉光寺　2丁
越　村　茂　作（一布）　太三郎　12俵　M3　40才　聖泉寺　4丁
越　村　安次郎（義忠）　忠左衛門　9俵　M5　25才　西方寺　4丁
越　村　弥三六（幸久）　伊右衛門　9俵　M5　64才　専光寺　5丁
越　村　弥　八（直一）　次郎右衛門　3人扶持　M4　54才　弘願寺　3丁
越　村　勇次郎（道昌）　作左衛門　2人扶持　M4　45才　願正寺　2丁
越　元　喜三太（喜三右衛門，直之）　七左衛門　3人扶持　M3　52才　恵光寺　5丁
越　元　喜三郎（兼栄）　喜三左衛門　15俵　M3　19才　恵光寺　3丁
（帙 179）越　山　完太郎（喜勝）　一丞秀貫　18俵　M3　27才　西勝寺　7丁
越　山　茂　作（久兵衛，淳之）　久兵衛　15俵　M3　64才　名願寺　3丁
越　山　久太郎　浄之　15俵　M6　20才

名願寺　4丁

越　山　綱太郎（政則）　和三郎　15俵　M3　25才　祐泉寺　3丁

越　山　甚之定（甚力，茂久）　勘助　7俵　M4　35才　等願寺　3丁

越　山　弥　音（弥左衛門，一定）　文蔵　15俵　M3　30才　瑞泉寺　3丁

越　山　与三吉（繁信）　吉助　15俵　M3　30才　道林寺　4丁

越山余所次郎（秀明）　権六　10俵　M3　26才　西勝寺　7丁

五所村　忠　平（忠一）　忠次郎　10俵　M4　23才　専光寺　3丁

小　杉　市治郎（友方）　半蔵久　7人扶持　M3　17才　瑞泉寺　6丁　2冊

小　杉　栄　三（栄左衛門，友久）　用蔵　25俵　M3　59才　徳栄寺　10丁

小　杉　九　平（知仲）　次郎吉　20俵　M3　37才　高源院　7丁

小　杉　三次郎（正知）　三郎右衛門　15俵　M3　17才　正覚寺　4丁

小　杉　七　男（又八，信之）　八兵衛知定　M3　41才　大蓮寺　6丁　2冊

小　杉　甚　吉（本之）　端左衛門　9俵　M3　18才　光専寺　5丁

小　杉　清　作（伊右衛門，為行）　市三郎　12俵　M3　30才　願楽寺　5丁

小　杉　太平次（元勝）　太郎兵衛　11俵　M4　39才　西蓮寺　4丁

小　杉　友　吉（元致）　太平次　7俵　M4　19才　西蓮寺　4丁

小　杉　常　男（貞幸）　尉左衛門　13俵　M3　37才　瑞泉寺　6丁

小　杉　伝　七（正直）　伝七　10俵　M4　48才　西土寺　3丁

小　杉　伝　六（善雅）　遊翁善光　14俵　M3　33才　善徳寺　4丁

（帙 180）**小　杉　与三郎**（与右衛門，知久）　与右衛門　15俵　M3　58才　普願寺　4丁

小　杉　四十作（助之丞，信成）　孫三郎　20俵　M3　39才　徳栄寺　7丁

小　杉　和　平（佐平衛，住敬）　源次郎　20俵　M3　33才　長久寺　6丁

児　玉　義　門（久勝）　志適久孝　500石　M3　42才　永順寺　10丁

児　玉　　串（伯氏）　伝蔵伯重　70石　M3　42才　永福寺　6丁

児　玉　直次郎（一）　三内　40俵　M3　40才　永順寺　5丁

児　玉　保　七（照発）　三郎左衛門直照　60石　M3　35才　真成寺　12丁　2冊

小　塚　一　平（安之）　平左衛門恵廸　180石　M3　55才　浄住寺　9丁

小　塚　平太郎（秀延）　一平安之　180石　M5　22才　浄住寺　8丁　2冊

小　塚　善四郎（金道）　善五郎　25俵　M3　54才　本性寺　4丁

小　塚　金　房（広助）　金道　25俵　M8　25才　本性寺　4丁

小　塚　久　平（秀直）　胖翁秀堅　300石　M3　37才　善隆寺　12丁

小　塚　太郎八（将監）　掃部貞元　文久4

小　塚　藤一郎（藤右衛門，忠和）　八右衛門忠順　700石　M3　40才　浄住寺　13丁　2冊

（帙 181）**小　塚　外鐵男**（義有）　孫治武義　40俵　M5　10才　願楽寺　7丁

小　塚　八　郎（猪大夫，政潤）　旁求　100石　M3　48才　浄住寺　9丁

小　塚　　勝（政方）　衆蔵惇　200石　M3　49才　本長寺　9丁　2冊

小　塚　棟太郎（竜勝）　勝政方　200石　M5　16才　本長寺　5丁

小　塚　　貢（嘉武）　慶太郎　20俵　M3　30才　願楽寺　6丁

小　塚　吉太郎（勝秀）　雅右衛門秀勝　200石　M3　26才　長久寺　12丁

小　寺　義　門（義門）　雅右衛門孝類　60俵　M3　41才　宝勝寺　13丁

小　寺　宗　休（杢右衛門，孝思）　雅右衛門孝類　600石　M3　55才　宝勝寺　12丁　2冊

小　寺　守　衛（孝尊）　雅右衛門孝類　150石　M3　53才　宝勝寺　13丁

小寺甚平（孝経） 完休孝思 600石 M4 18才 宝勝寺 7丁

小寺敬二郎 知帰 150石 M7 13才 宝勝寺 6丁

小寺源六（丈右衛門，満之） 丈之助 20俵 M3 66才 久証寺 6丁

小寺七郎（七兵衛，方成） 50石 M3 44才 本覚寺 6丁 2冊

小寺正平（豊次） 茂平 20俵 M3 38才 上宮寺 5丁

小寺知郷 孝尊 150石 M6 20才 宝勝寺 5丁

（峡 182） 小寺八太（八蔵，八太夫，定知） 長太夫 20俵 M3 26才 上宮寺 8丁

琴 与吉郎（儀高） 久兵衛 20俵 M3 37才 善徳寺 4丁

後藤国介（尚勝） 敬嗣郎尚重 230石 M3 31才 妙慶寺 6丁

後藤鍵三郎（政敏） 新六久政 80石 M3 26才 光教寺 7丁 2冊

後藤幸次郎（一市） 左次馬 M4 28才 上宮寺 6丁

後藤治三郎（之安） 次右衛門 20俵 M3 16才 善福寺 6丁

後藤正太郎（彦右衛門，成豊） 喜兵衛 寛栗 70石 M3 16才 妙国寺 8丁

後藤甚五郎（広當） 勘蔵 25俵 M3 35才 光教寺 7丁

後藤甚太郎（忠友） 時之介 20俵 M3 12才 浄土寺 7丁

後藤新平（元淳） 五兵衛繁庶 30石 M3 34才 妙正寺 8丁 2冊

後藤瀬平（正之） 正次 600石 M3 26才 本光寺 16丁

後藤蓼一（杢兵衛，和敬） 久兵衛忠道 100石 M3 45才 妙国寺 8丁

後藤孝重 孝則 19俵 M5 13才 静明寺 4丁

後藤 工（善左衛門，栄寿） 三之助 M3 53才 敬栄寺 6丁

後藤珍意工 25俵 M6 33才 敬栄寺 5丁

後藤多楽斎（銀平，義連） 左次馬義方 18俵 M3 71才 西勝寺 9丁

後藤忠平（忠兵衛，知幸） 武兵衛 20俵 M3 31才 西照寺 6丁

（峡 183） 後藤直松（清一） 友之助 25俵 M3 33才 正覚寺 7丁

後藤盤穀（忠種） 駒太郎敬武 M3 37才 妙慶寺 6丁

後藤彦次（孝則） 兵丞 19俵 M4 45才 静明寺 6丁

後藤俵吉（平左衛門，尚賢） 永五郎 正庸 30俵 M3 33才 本長寺 12丁

後藤文治（明嘉） 喜兵衛 5人扶持 M4 33才 円長寺 8丁

後藤兵作（蔭親） 駒太郎数武 17人扶持 M3 妙慶寺 9丁

後藤平二（六右衛門，金正） 六之進 25俵 M3 33才 光教寺 5丁

後藤又吉（孝成） 宗兵衛 20俵 M3 21才 光専寺 6丁

後藤三弥喜（義正） 文楽斎義連 90石 M4 41才 西勝寺 11丁

後藤民平（光興） 長兵衛 20俵 M3 妙観院 2丁

後藤弥市（基雄） 弥一兵衛 25俵 M4 54才 正覚寺 7丁

後藤雄二郎 基雄 12.5石 M6 15才 正覚寺 5丁

後藤弥三二（之易） 理助 22俵 M4 59才 妙感寺 4丁

後藤米三（直始） 弥三二 10俵 M4 17才 妙感寺 3丁

後藤柳馬（苗喜） 清太夫 30俵 M4 50才 立像寺 8丁

伍堂市三郎（晴之） 与三兵衛 15俵 M3 18才 円満寺 4丁

伍堂又晋斎（維則） 吉右衛門 90石 M3 60才 浄行寺 6丁

伍堂春閣（知則） 又晋斎 15俵 M3 27才 浄行寺 5丁

伍堂与吉郎（守次） 与兵衛 3人扶持 M4 13才 円満寺 3丁

悟 道 保 見（長直） 安兵衛 2人扶持 M3 31才 瑞順寺 3丁

小 中 熊太郎（和一郎，之義） 熊之助 5人扶持 M4 18才 妙慶寺 5丁 2冊

（帙 184） 小 西 宇三郎（光行） 八百記 6人扶持 M3 16才 道林寺 5丁 2冊

小 西 栄 三（信量） 伊左衛門 20俵 M4 35才 仰西寺 5丁

小 西 作 平（作兵衛，之正） 宇兵衛 2人扶持 M4 59才 本昌寺 5丁

小 西 す へ 宇兵衛 7俵 M7 53才 本昌寺 3丁

小 西 幾久男（一之） 作平 7俵 M4 21才 本昌寺 5丁

小 西 吉 平（吉左衛門，勝安） 吉之助 20俵 M3 64才 蓮福寺 4丁

小 西 吉三郎（勝則） 吉平 20俵 M4 14才 蓮福寺 4丁

小 西 元 碩（監撫） 陽元臨 7人扶持 M3 22才 光源寺 7丁 2冊

小 西 幸 作（資朗） 小三郎 15俵 M3 24才 道林寺 5丁

小 西 三右衛門（重簾） 善右衛門 10俵 M3 63才 光琳寺 3丁 2冊

小 西 重 郎（重左衛門，重成） 喜蔵 20俵 M3 40才 徳仁寺 6丁

小 西 茂 利（福善） 幾右衛門 7人扶持 M4 30才 西勝寺 4丁

小 西 春 二（盛之助，盛衛，一幸） 武左衛門 20俵 M3 39才 妙福寺 4丁

小 西 甚 吾（甚五右衛門，義成） 四郎左衛門 20俵 M3 43才 瑞泉寺 6丁

小 西 善太郎（成章） 助六安章 6人扶持 M3 9才 福念寺 3丁 2冊

小 西 多喜雄（芳喬） 甚左衛門 20俵 M3 28才 光教寺 6丁

小 西 為次郎（成之） 三右衛門 5俵 M3 13才 光琳寺 3丁

小 西 忠五郎（貞一） 秀之丞貞常 M3 36才 蓮昌寺 12丁

小 西 弥三郎（定正） 由兵衛 5俵 M4 57才 妙教寺 3丁

小 西 保 身（翥勝） 7人扶持 M3 33才 道林寺 5丁 2冊

（帙 185） 小 畠 弥 治（弥左衛門，正種） 弥五郎久種 150石 M3 49才 珉徳寺 10丁

小 林 市 造（市蔵，世則） 武右衛門世昌 70石 M3 56才 月正寺 6丁

小 林 乾（六左衛門，昌幸） 四郎兵衛重照 150石 M3 41才 妙典寺 20丁

小 林 岩次郎（金秋） 七之丞 15俵 M3 36才 光教寺 3丁

小 林 嘉十郎（玄周） 勘蔵 20俵 M4 41才 禅栖院 4丁

小 林 員 人（祇知） 円七 20俵 M3 20才 西源寺 5丁

小 林 勝次郎（成憲） 儀左衛門成式 10人扶持 M3 24才 静明寺 7丁

小 林 勘左衛門（清重） 清右衛門 30石 M3 59才 昌柳寺 7丁

小 林 勘 治（勘兵衛，清明） 甚左衛門清重，茂平 6人扶持 M3 33才 昌柳寺 5丁 2冊

小 林 菊太郎（守義） 吉左衛門増宣 250石 M3 35才 賢聖坊 13丁

小 林 吉 郎（一道） 八左衛門 8俵 M4 39才 長徳寺 3丁

小 林 喜平次（勝正） 清右衛門 20俵 M3 34才 昌柳寺 5丁

小 林 久 平（久兵衛，豊房） 九兵衛 20俵 M3 42才 善導寺 5丁

小 林 憲 治（朝治） 長次 10石 M6 24才 常徳寺 3丁

小 林 謙 三（隠栄） 喜太夫 20俵 M4 40才 弘願寺 8丁

小 林 源 馬（佑武） 庄左衛門 12俵 M4 35才 浄照寺 4丁

小 林 幸左衛門（重友） 5人扶持 M2 49才 光覚寺 5丁

小 林 孝二郎（一清） 孝二郎 25俵 M3 33才 妙法寺 8丁

（帙 186） 小 林 栄（政恒） 柳翁 70石 M3

30才　7丁
小林　佐太郎（喜春）　左太夫信武　40石　M3　17才　名願寺　7丁　2冊
小林三郎左衛門（信茂）　三郎左衛門　40石　M1　23才　三宝寺　3丁
小林　志加　一則　10石　M7　12才　7丁
小林　茂見　（文之丞，直政）　茂太郎　20俵　M3　39才　三光寺　5丁
小林　繁（道久）　彦三右衛門　17俵　M4　41才　静明寺　5丁
小林　爵（信茂）　三郎左衛門忠茂　5人扶持　M3　24才　三宝寺　5丁
小林　俊次郎（宗武）　六右衛門宗親　40石　M3　24才　悦叟寺　9丁
小林　順平（善則）　市造世則　8俵　M4　22才　月心寺　5丁
小林　商作（作兵衛，貞次）　覚左衛門貞一　50石　M3　36才　長福寺　7丁　2冊
小林太郎兵衛（富処，富年）　太郎兵衛信処　10人扶持　M3　38才　蓮昌寺　6丁　2冊
小林　清三（清之進，左衛門，重幸）　磯太夫重定　40俵　M3　33才　妙法寺　8丁
小林　太喜男（太左衛門，昭茂）　仙右衛門昭邑　50俵　M3　70才　蓮福寺　7丁　2冊
小林　仙作（昭包）　太左衛門昭茂　40俵　M3　43才　蓮福寺　5丁　2冊
小林　武治（政義）　静政明　250石　M3　17才　妙典寺　7丁
小林　太三次（助次郎，成久）　太右衛門　15俵　M3　29才　浄照寺　4丁
小林　太三松（太右衛門，成清）　甚九郎　20俵　M3　65才　運信寺　4丁
（帙 187）小林　他十郎（直盛）　十左衛門　19俵　M4　44才　西勝寺　6丁
小林　民（自朗）　儀左衛門茂章　6人扶持　M3　39才　名願寺　8丁
小林　保（守一）　菊太郎守義　250石　M4　30才　賢聖坊　7丁
小林　仲次郎（良盈）　宇兵衛　20俵　M3　31才　名願寺　10丁
小林　長次（長右衛門，直忠）　長右衛門　20俵　M3　65才　常徳寺　3丁
小林　恒衛（一如）　多仲自善　100石　M3　59才　賢聖坊　5丁
小林　政太郎（一義）　恒衛一如　100石　M5　16才　賢聖坊　5丁
小林　伝太郎（正氏）　虎十郎善氏　40石　M3　32才　妙泰寺　7丁　2冊
小林　藤太郎（政成）　藤右衛門政行　2人扶持　M3　15才　円長寺　4丁　2冊
小林　友喜（新右衛門，忠房）　仁左衛門　15俵　M3　21才　浄福寺　3丁
小林　文吾（重友）　18俵　M4　52才　光覚寺　5丁
小林　文作（一則）　武兵衛一元　30俵　M5　53才　成学寺　9丁
小林　文次郎（善儔）　善左衛門　20俵　M3　36才　上宮寺　4丁
小林　平吉郎（昭政）　周次郎昭貞　40俵　M3　27才　蓮福寺　3丁　2冊
小林　兵次郎（誠慎）　理兵衛　18俵　M3　42才　弘願院　5丁
小林　補佐太郎（征一）　佐五右衛門　20俵　M4　20才　本覚寺　6丁
小林　益男（秀茂）　平左衛門英勝　400石　M3　21才　瑞源寺　11丁　2冊
小林　宗武　宗親　40石　M6　27才　悦叟寺　6丁
（帙 188）小林　茂平（清重）　清右衛門清則　30石　M4　60才　昌柳寺　11丁
小林　守衛（逸精）　惣左衛門守次　30石　M3　38才　光教寺　5丁
小林　守部（善氏）　幸右衛門　40石　M1　50才　妙泰寺　6丁
小林　紋太（六右衛門，宗親）　紋太夫宗醴　350石　M5　51才　悦叟寺　8丁
小林　理太郎　誠慎　9石　M6　3才　弘願院　6丁
小堀　牛山（左兵衛，頼種）　牛右衛門

頼図 2,000石 M3 35才 極楽寺 17丁

小堀正立（栄） 宗説正盛 10人扶持 M3 18才 本因寺 8丁

小堀醇一（醇一郎，政修） 金五右衛門政令 200石 M3 20才 高岩寺 9丁 2冊

小堀郁芳（金五右衛門，政令） 八十八太夫政保 1,000石 M3 57才 高岩寺 18丁

駒井章（守景） 建三郎守直 100石 M3 22才 光覚寺 13丁

駒井栄三郎（元貞） 久次郎永清 35俵 M3 34才 慈雲寺 6丁

駒井覚二（基明） 伝四郎 11俵 M4 43才 聖泉寺 3丁

駒井勝太郎（守常） 斉宮守信 100石 M3 14才 光覚寺 7丁

駒井睿太郎 祐則 700石 M6 2才 雲竜寺 6丁

駒井晋（守周） 吉次郎守詮 500石 M3 19才 光覚寺 15丁

（帙 189） 駒井清二郎（直行） 頼母直茂 700石 M3 34才 雲竜寺 10丁

駒井丹平（守包） 丹山守典 130石 M3 41才 光覚寺 17丁

駒井貞次郎（守章） 銭二郎守和 150石 M3 17才 光覚寺 6丁

駒形信造（予右衛門，孝義） 与左衛門孝重 4人扶持 M3 56才 西願寺 4丁 2冊

駒形覚平（孝厚） 予右衛門孝義 9俵 M3 31才 西願寺 3丁

駒崎卯一（定右衛門，善之） 鉄五郎 5人扶持 M3 58才 本行寺 4丁

駒崎久二（久兵衛，秀一） 鉄五郎 20俵 M3 49才 本行寺 4丁

駒崎幸二（則篤） 幸作 20俵 M4 39才 名願寺 6丁

駒崎鍋太郎（義一） 八右衛門 15俵 M3 広済寺 4丁

駒沢栄二（八兵衛，明清） 八兵衛行久 90石 M3 61才 4丁

駒沢作治郎（作太夫，示親） 弥三右衛門 15俵 M3 36才 専光寺 3丁

小俣登久 武平 10石 M8 16才 上宮寺 3丁

小松一蔵（時成） 久左衛門景政 100石 M3 36才 永昌寺 9丁

小松栄三郎（義忠） 市二 15俵 M5 16才 広済寺 4丁

小松繁（助右衛門，景次） 模景連 150石 M3 36才 永昌寺 14丁

小松次作（方房） 次郎兵衛 15俵 M3 27才 仁真寺 4丁

小松次三郎（勝春） 次右衛門 15俵 M3 24才 本念寺 3丁

小松和兵衛（信陽） 権右衛門 40石 元治2 62才 恵光寺 6丁

小松倉三郎（信成） 茂休信陽 40石 M3 31才 恵光寺 6丁

小松宗平（徳友） 宗兵衛徳通 4人扶持 M3 長徳寺 4丁

小松鉄三郎（正友） 宗兵衛 2人扶持 M3 26才 長徳寺 3丁 2冊

小松初三郎（久貞） 次助 4人扶持 M3 44才 称仏寺 3丁

小松孫太郎（宗永） 孫助 15俵 M3 23才 浄行寺 3丁

（帙 190） 小村伊三七（勝定） 八郎兵衛 2人扶持 M3 37才 光琳寺 3丁

小村吉太郎（尚平） 与左衛門 1人半扶持 M3 17才 万福寺 3丁

小村太三次（道清） 太右衛門 2人扶持 M4 53才 光楽寺 5丁

小村小仙（道次） 太右衛門 1人半扶持 M4 15才 光楽寺 4丁

小村太三郎（建行） 惣右衛門 15俵 M3 43才 西勝寺 2丁

小村鉄三（直忠） 五左衛門 3人扶持 M3 23才 正覚寺 3丁

小村文三郎（織若） 文蔵 18俵 M3 31才 光専寺 5丁

小室孫作（謙） 孫右衛門 20石 M

5　26才　東本願寺別院　3丁

小　森　亥之吉（只秋）　大造　2人扶持　M3　42才　乗善寺　6丁

小　森　市太郎（良知）　亥之吉　6俵　M3　16才　乗善寺　4丁

小　森　栄次郎（栄）　栄之丞　20俵　M3　19才　福念寺　6丁

小　森　久米三（大満）　辰平基治　35石　M3　18才　妙円寺　7丁

小　森　五　郎（五郎右衛門，久由）　九左衛門則忠　18俵　M3　34才　唯念寺　6丁

小　森　茂　谷（源兵衛，良勝）　楽斎良貞　300石　M3　29才　光専寺　15丁

小　森　次　郎（愛次）　喜右衛門　20俵　M3　35才　妙円寺　11丁

小　森　新　六（安本）　栄作　12俵　M4　43才　福念寺　4丁

小　森　静一郎（忠久）　久作　20俵　M3　21才　妙円寺　9丁

小　森　大　造（嘉角）　七右衛門　2人扶持　M4　乗善寺　3丁

小　森　琢　磨（義雅）　甚左衛門　20俵　M3　22才　妙円寺　7丁

小　森　太　吉（勝久）　間兵衛　8俵　M4　21才　永照寺　4丁

小　森　鉄三郎（一定）　与三次郎　18俵　M3　16才　仁随寺　5丁

小　森　半　司（半左衛門，為勝）　甚吉郎　10才　M3　51才　名願寺　5丁

小　森　又　作（道久）　又兵衛　7俵　M4　63才　光現寺　3丁

（帙 191）小　森　弥三郎（忠包）　伝助　7人扶持　M4　26才　廻向寺　3丁

古　森　義　六（義知）　儀太夫　20才　M3　35才　西勝寺　5丁

古　森　吉太郎（義重）　九十郎　20俵　M4　17才　超願寺　6丁

古　森　和三二（和右衛門，理則）　和太夫　20俵　M3　29才　専光寺　8丁

小　屋　恒　吉（長房）　照房　80石　M3　31才　成学寺　10丁

小　柳　吉三郎（正則）　久右衛門　2人扶持　M2　29才　常福寺　3丁

小　柳　左右平（昌享）　甚左衛門　60石　M3　53才　常福寺　11丁

小　山　元　伯（秀一）　太仲秀是　70石　M3　53才　運信寺　9丁　2冊

小　山　直　吉　元伯秀一　70石　M6　27才　運信寺　8丁

小　山　三四郎（清一）　三右衛門　15俵　M3　52才　善徳寺　4丁

小　山　弥三郎（清常）　三四郎　1人半扶持　M3　21才　善徳寺　3丁

小　山　如　村（良左衛門，貞昌）　要道武美　100石　M3　本行寺　11丁

小　山　伝　三（光忠）　如村貞昌　100石　M5　25才　本行寺　5丁

小　山　清　吉（永芳）　嘉右衛門　2人半扶持　M3　16才　妙敬寺　4丁

小　山　静　治（一信）　庄左衛門　8俵　M5　53才　妙敬寺　3丁

小　山　盛　興　静治　4石　M8　26才　妙敬寺　3丁

小　山　太三郎（久嘉）　善九郎　15俵　M3　21才　西光寺　6丁

小　山　忠太郎（忠信）　瀬兵衛　220石　M3　10才　本行寺　6丁

小　山　文　平（政信）　又七　1人半扶持　M4　34才　妙敬寺　3丁

小　山　林　平（朝光）　六郎兵衛忠勝　18俵　M3　41才　大円寺　4丁

小山田　貞次郎（義制）　茂左衛門　50俵　M3　49才　竜国寺　7丁

（帙 192）近　藤　篤　之　仙蔵睦雅　35俵　M3　43才　三光寺　7丁

近　藤　　新（新左衛門，蔵清）　新左衛門増承　1,400石　M3　54才　竜淵寺　12丁　2冊

近　藤　伊三平　（伊左衛門，藤次）　岩之丞　20俵　M3　51才　万福寺　4丁

近　藤　猪之吉（敬辰）　和左衛門敬親　70石　M3　28才　本因寺　8丁

近　藤　右　内（貴知）　四郎左衛門政之

14俵 M3 40才 唯念寺 8丁 2冊
近藤 常喜（善兵衛，善八，一安） 宗伝 40俵 M3 64才 法船寺 6丁
近藤 喜作（一久） 常喜一安 40俵 M4 21才 法船寺 6丁
近藤 喜三郎（安定） 三之丞 12俵 M4 35才 棟岳寺 6丁
近藤 清（則誠） 新右衛門成有 110石 M3 55才 高岸寺 10丁
近藤 久太郎（延安） 喜平次 20俵 M3 20才 三光寺 8丁
近藤 久太郎（朝房） 作左衛門朝之 100石 M3 36才 本光寺 7丁
近藤 斤四郎（信夫） 信成 150石 M3 29才 西蓼寺 7丁
近藤 熊太郎（忠之） 佐左衛門定直 50俵 M3 29才 法船寺 13丁
近藤 庫太（加左衛門，忠明） 加次馬惟信 100石 M3 47才 玄門寺 11丁
近藤 源次郎（保房） 市左衛門 25俵 M3 46才 三光寺 8丁
近藤 綱作（勝宗） 右内勝久 150石 M3 35才 妙慶寺 6丁
近藤 小太郎（益尋） 彦右衛門 25俵 M3 38才 本行寺 10丁
（帙 193） 近藤 駒太郎（義雄） 十右衛門 20俵 M4 13才 長周寺 8丁
近藤 権三郎（森一） 岩之丞 19俵 M3 49才 光円寺 9丁 二冊
近藤 重男（重人，幸即） 吉兵衛幸邦 40俵 M3 31才 妙立寺 12丁
近藤 茂（正之） 清則誠 40俵 M3 22才 高岸寺 3丁
近藤 治平（次大夫，元睿） 七之丞 18俵 M3 51才 長周寺 6丁
近藤 周造（周蔵，師輔） 周蔵師臣 50石 M3 少林寺 6丁
近藤 甚八（甚蔵，芳義） 幸次郎義広 40石 M3 47才 妙正寺 9丁 2冊
近藤 清次郎（清明） 次助 15俵 M3 24才 等雲寺 4丁
近藤 外吉（勝行） 右内勝久 35俵 M3 30才 妙慶寺 5丁
近藤 近（英義） 七左衛門 21俵 M4 44才 少林寺 14丁
近藤 常太郎（則勝） 清五郎之徳 80石 M3 17才 安楽寺 7丁 2冊
近藤 常英 英義 21俵 M6 少林寺 11丁
近藤 常盤（常丞，義房） 兵馬 10俵 M3 19才 国泰寺 4丁 2冊
近藤 鉄次郎（信好） 兵作 280石 M3 41才 西蓼寺 7丁
近藤 伝三（伝蔵，正道） 周伝 40俵 M3 43才 妙正寺 6丁
（帙 194） 近藤 寿松（吉右衛門，経知） 吉左衛門 20俵 M3 39才 妙正寺 6丁
近藤 直次郎（幸且） 吉兵衛幸邦 40俵 M3 27才 妙立寺 13丁
近藤 鍋吉（英直） 近 10俵 M4 17才 少林寺 8丁
近藤 初三郎（栄忠） 権三郎 19俵 M3 19才 光円寺 3丁
近藤 文次（義一） 里川義重 50石 M3 28才 妙正寺 6丁 2冊
近藤 文太郎（恒之） 常助恒春 7人扶持 M3 14才 専光寺 5丁
近藤 兵馬（義制） 兵馬義道 70石 M3 37才 国泰寺 10丁
近藤 孫市（弼温） 孫市弼直 50石 M3 41才 光覚寺 4丁
近藤 孫三郎（安之） 丹弥安栄 50石 M3 22才 西蓼寺 7丁 2冊
近藤 孫三（正忠） 孫平 25俵 M3 29才 光覚寺 8丁
近藤 増三郎（義正） 八郎右衛門 20俵 M3 40才 長周寺 10丁
近藤 圭（幸左衛門，幸忠） 20俵 M3 33才 勝満寺 6丁
近藤 弥四郎（友久） 弥光 15俵 M4 28才 超願寺 3丁
近藤 雄四郎（順信） 勘太夫順執 100石 M3 25才 蓮覚寺 11丁
近藤 誉吉郎（勝善） 右内勝久 100石

M３　38才　妙慶寺　９丁
金　堂　幸太郎（義幸）　由兵衛　15俵　M３　17才　道林寺　３丁

さ　行

(峡 195) 斎　賀　弥三吉（正邦）　弥三助　30石　M２　35才　立像寺　４丁
斎　木　壮次郎（森太郎，正通）　新左衛門　正邦　80石　M３　44才　本因寺　15丁　２冊
才　所　左　守（英直）　又七郎英政　150石　M３　56才　瑞雲寺　10丁
才　田　藤五郎（叔守）　藤右衛門　15俵　M３　28才　慶覚寺　５丁
才　田　留次郎　藤四郎　7.5石　M８　18才　徳栄寺　３丁
斎　田　九　平（貞固）　三左衛門貞清　150石　M３　60才　本因寺　８丁
斎　田　貞　金（武喜）　九平貞固　150石　M３　36才　本因寺　５丁　２冊
斎　田　言　通　秀松言柄　100石　M３　24才　妙応寺　10丁
斎田千万太郎（安政）　安宗　300石　M３　妙応寺　13丁
斎　田　ち　よ　半助　10石　M７　36才　長徳寺　３丁
斎　田　彦　平（貞舛）　甚八郎実信　100石　M３　39才　妙応寺　13丁
斎　田　松三郎（勝忠）　喜三勝吉　11俵　M３　16才　専光寺　４丁
斎　田　与十郎（秀発）　与八郎秀茂　100石　M３　65才　本因寺　７丁
斎　藤　亥之吉（兄為）　藤斎正章　120石　M３　38才　大乗寺　11丁
斎　藤　右　内（直温）　直候　230石　M３　27才　松山寺　11丁
(峡 196) 斎　藤　金　菊（信敬）　太左衛門　１人扶持　M３　15才　仁随寺　３丁　３冊
斎　藤　吉太郎　与比　130石　M７　31才　瑞泉寺　８丁
斎　藤　銀十郎（正貞）　守　70石　M３　立像寺　10丁
斎　藤　熊　吉（孝本）　喜六孝和　40俵　M３　52才　立像寺　９丁
斎藤三郎太夫（忠友）　三郎右衛門　200石　文久３　18才　真行寺　12丁
斎　藤　三九郎（新左衛門，則道）　新助　50石　M３　59才　全昌寺　７丁
斎　藤　鉄太郎（八十太夫，自善）　次右衛門自行　110石　M３　44才　立像寺　９丁　２冊
斎　藤　三十郎（安之）　自善　４人扶持　M３　19才　立像寺　５才　２冊
斎　藤　三　卯（尚克）　半太夫　100石　M３　16才　広昌寺　10丁　２冊
斎　藤　次　八（介盛）　安左衛門介族　50俵　M３　61才　全性寺　５丁　２冊
斎　藤　十　郎　宗一　170石　M６　24才　瑞雲寺　６丁
斎藤宗左衛門（善終）　佐左衛門　60石　M２　46才　本浄寺　13丁
斎　藤　佐　双（成功）　宗左衛門善終　60石　M４　16才　本浄寺　６丁
(峡 197) 斎　藤　誠　一（好義）　吉左衛門　450石　M３　50才　松山寺　10丁
斎　藤　政八郎（盛直）　市右衛門　120石　M３　松山寺　８丁
斎　藤　賢太郎（盛高）　政八郎盛直　120石　M４　13才　松山寺　６丁
斎　藤　全太郎（信忠）　営四郎　300石　M３　35才　法船寺　９丁
斎　藤　宗　一（宗右衛門，忠順）　170石　M３　46才　瑞雲寺　８丁
斎　藤　宗太郎（重視）　助左衛門　３人扶持　M３　39才　本誓寺　10丁
斎　藤　武十郎（之信）　勝左衛門信久　400石　M３　36才　大乗寺　12丁
斎　藤　　半（正容）　善右衛門直安　130石　M３　44才　立像寺　14丁
斎　藤　民　男　正容　130石　M７　23才　立像寺　11丁
斎　藤　多　楽（庄左衛門，政則）　十左衛門　３俵　M３　61才　長久寺　３丁
斎　藤　珍次郎（好直）　勘十郎好休　250石　M３　25才　正福寺　９丁

斎藤 常太郎（嘉平） 武右衛門 5人扶持 M2 16才 長久寺 4丁

斎藤 外馬吉（和信） 岡之丞 40俵 M3 42才 妙泰寺 8丁

斎藤 直吉（永安） 良之助永保 100石 M3 17才 長久寺 4丁

(帙 198) 斎藤 儀盛（忠友） 三郎右衛門忠養 200石 M3 25才 真行寺 8丁

斎藤 八郎（為政） 丈五郎貫慶 100石 M3 36才 浄安寺 8丁

斎藤 半治（太左衛門，信行） 太左衛門信益 50石 M3 48才 仁随寺 6丁 3冊

斎藤 彦雄（恒固） 彦太夫恒親 70石 M3 36才 経王寺 5丁

斎藤 平太郎（吉充） 栄左衛門常往 50石 M5 56才 願楽寺 4丁 2冊

斎藤 鉉吉（惟徳） 平太郎吉充 50石 M3 18才 願楽寺 3丁 3冊

斎藤 平八郎（新蔵，一平） 此面資友 40石 M3 56才 浄安寺 6丁

斎藤 孫八（克寛） 丹左衛門貞 70石 M3 45才 浄安寺 6丁

斎藤 政明（従五位） 駿河守政隣田地 3町 M3 63才 10丁

~~斎藤 政春 判太夫 120石 M3 36才 浄住寺 8丁~~

斎藤 又八（八蔵，忠久） 又夢忠恭 230石 M3 42才 高岩寺 8丁

斎藤 保之 又八 230石 M7 24才 高岩寺 7丁

斎藤 松三郎（善言） 外男 1,750石 M3 31才 松月寺 19丁 2冊

斎藤 無一（久左衛門，栄三） 久太夫 三章 30石 M3 37才 妙円寺 6丁 2冊

(帙 199) 斎藤 弥織（貞蔵，介平） 次八 40俵 M3 34才 全性寺 2丁 2冊 政春

斎藤 八十男（津左衛門，知行） 判太夫 120石 M3 36才 浄住寺 8丁 二冊

斎藤 雄吉（定次） 文之助定広 40俵 M3 31才 妙相寺 9丁 2冊

斎藤 雄太郎（鎮里） 五郎左衛門峯矩 100石 M3 45才 大乗寺 9丁

斎藤 与司郎（与右衛門，全功） 与右衛門 100石 M3 34才 経王寺 6丁 2冊

斎藤六郎左衛門（知良） 覚右衛門知憲 60石 M3 42才 棟岳寺 10丁

斎藤 良吉（知一） 六郎左衛門知良 60石 M4 11才 棟岳寺 6丁

斎藤 良太郎（与比） 新三郎正義 130石 M3 43才 瑞泉寺 12丁

才村 仲（教隆） 和太夫教定 5人扶持 M3 43才 仰西寺 4丁 2冊

才村 佐吉郎（盛教） 仲教隆 5人扶持 M5 17才 仰西寺 6丁

阪元 慎（乙格，連） 元慎 5人扶持 M3 41才 本浄寺 4丁 2冊

阪 尚教（元慎，融然翁） 6人扶持 桂庵 M3 69才 本浄寺 6丁 2冊

佐賀 喜八郎（孝久） 隼之助孝始 120石 M3 50才 乗善寺 9丁

(帙 200) 坂井 伊太（恒徳） 権五郎民親 160石 M3 立像寺 13丁

坂井 権次郎 伊太 160石 M6 立像寺 4丁

坂井 英朔（忠儀） 小三郎 9俵 M5 22才 西源寺 3丁

坂井 栄之丞 平六 50石 M1 33才 慶恩寺 7丁

坂井 織右衛門（其治） 幸蔵 5人扶持 M1 30才 5丁

坂井 喜三郎（政行） 義左衛門 40石 M4 29才 乗光寺 4丁

坂井 義太郎（貞久） 義助 20俵 M4 17才 円成寺 6丁

坂井 久平（久兵衛，宗信） 市郎兵衛 7俵 M3 60才 祐専寺 3丁

坂井 粂之助 理作 20俵 M7 13才 長福寺 6丁

坂井 敬池 節造 5人扶持 M3 8丁

坂井 健六 秀堅 180石 M6 30才

瑞雲寺　7丁

坂井洗耳　小太夫為美　30俵　M5　52才　法船寺　4丁

坂井黄耳（弘）　洗耳　30俵　M4　23才　法船寺　6丁

坂井小平（昌一）　勘蔵昌世　500石　M3　39才　普明院　13丁

坂井小与次郎　一貞　70石　M7　17才　本行寺　7丁

坂井武次郎（幸清）　善兵衛　2人扶持　慶応2　41才　広済寺　9丁

坂井権平（正影）　五太夫　60石　M2　30才　浄智寺　8丁

坂井弥太郎（敏之）　佐兵衛易之　70石　M3　69才　慶恩寺　9丁

坂井左一郎（好之）　弥太郎敏之　40俵　M3　24才　慶恩寺　4丁

坂井不見（市郎左衛門，安愛）　彦右衛門安久　100石　M3　58才　立像寺　8丁　2冊

坂井直清　不見　100石　M7　32才　立像寺　9丁

坂井四郎太（誘太郎，邦永）　紋兵衛　8人扶持　安政2　17才　本長寺　9丁

（峡 201）**坂井せい**　九平　20俵　M7　6才　長徳寺　3丁

坂井誠吉　弥　70石　M6　27才　慶恩寺　9丁

坂井関之丞（安之）　市郎左衛門　5石　M3　29才　立像寺　3丁

坂井せん　義助　20俵　M8　27才　円成寺　5丁

坂井外五郎（為一）　八百次郎　30俵　M3　28才　弘願院　4丁

坂井卓爾登　100石　M7　27才　立像寺　6丁

坂井　環　定規　19俵　M6　30才　法船寺　5丁

坂井ちい　理兵衛　20俵　M8　56才　長福寺　6丁

坂井豊左衛門（信義）　直右衛門　7人扶持　M3　47才　法船寺　6丁

坂井初弥（三郎兵衛，成英）　伊織成志　450石　M3　44才　開禅寺　10丁

坂井弥三郎（尚友）　弥左衛門　70石　文久3　14才　本行寺　15丁

坂井与四郎（与四右衛門，茂行）　保次郎　15俵　M3　43才　本光寺　4丁

酒井久右衛門（輔之）　権三　30石　元治1　32才　高岩寺　11丁

酒井金二郎（重久）　直次　20俵　M4　25才　光徳寺　6丁

酒井元三郎（久忠）　元右衛門　15俵　M3　22才　広済寺　3丁

酒井惺卿（晃）　永左衛門　6人扶持　安政4　50才　全性寺　2丁

酒井せき　将曹　9石　M7　4才　本性寺　7丁

酒井友之丞（喜重）　幸左衛門　30石　M1　21才　乗光寺　4丁

酒井孫六（清友）　与太夫　3人扶持　元治2　52才　立像寺　7丁

（峡 202）**坂上津左衛門**（邦寿）　右内　8人扶持　文久3　45才　開禅寺　10丁

佐垣甚太郎（正勝）　小平　100石　M3　55才　光覚寺　7丁

佐垣友三（資則）　甚太郎正勝　100石　M5　25才　光覚寺　8丁

佐垣文三郎（資之）　仙次郎資次　150石　M3　27才　光覚寺　12丁

榊原小太郎（守脩）　三郎兵衛　60俵　M3　31才　妙慶寺　6丁

榊原三郎平（三郎兵衛，有邑）　逸翁守典　130石　M3　56才　妙慶寺　12丁

坂田周吉（清慎）　淡斎　3人扶持　M3　18才　乗光寺　4丁

坂戸直作（直光）　佐助　25俵　M3　53才　永照寺　2丁

坂戸直吉　直光　25俵　M6　8才　永照寺　4丁

坂野順陸（順左衛門，善行）　四郎　60石　M2　39才　照円寺　7丁

坂野太熊（勇之進，定静）　小与六定玄　50石　M3　19才　照円寺　6丁　2

冊

坂 部 三 郎（三郎左衛門，親宝） 豊左衛門親義 100石 M3 44才 宝乗寺 9丁

(帙 203) 坂 本 甚 蔵（定則） 定甫 6人扶持 M1 30才 慶恩寺 3丁

坂 本 熊次郎（惟孝） 彦右衛門 35石 M1 大円寺 4丁

相 良 甚 六（吉左衛門，種秀） 良左衛門 7人扶持 M3 41才 専光寺 5丁 2冊

相 良 直 喜（秀之） 吉左衛門種秀 2人扶持 M3 18才 専光寺 5丁

佐 川 茂 三（敬止） 如童貞惟 150石 M3 37才 立像寺 7丁

佐 川 良 作（久連） 武兵衛忠久 70石 M3 48才 光徳寺 6丁

佐 川 久 作（武久） 武兵衛忠久 4人半扶持 M3 41才 光徳寺 5丁

向 坂 捨 吉 貞吉 2人扶持 M7 16才 慶徳寺 5丁

崎 田 一 平（小左衛門，政達） 楳篤斎政通 330石 M4 44才 承証寺 5丁 2冊

崎 田 政 徳 政達 330石 M7 21才 承証寺 6丁

崎 田 源 吉（源之丞，胤良） 甫遊直吉 6人扶持 M4 30才 本蓮寺 6丁 2冊

桜 田 半 陸（平之進，雅直） 平兵衛 2人扶持 M3 29才 光西寺 4丁

(帙 204) 佐 久 林 三（友延） 与右衛門秀延 35俵 M3 22才 西方寺 7丁

佐久間 喜平次（与三郎，直道） 余所男 80石 M3 31才 慶恩寺 6丁

佐久間 伍 一（信一） 与助信守 40俵 M3 44才 立像寺 10丁

佐久間 清 三（清蔵，盛之） 五左衛門寛盛 100石 M3 大乗寺 15丁

佐久間 外三男（雅信） 乙鉄建嗣 150石 M3 30才 本光寺 6丁

佐久間 屯 平（重能，吉兵衛，矩能） 誠正吉兵衛 2人扶持 M4 58才 立像寺 4丁 2冊

佐久間 勇 吉（景京，吉太郎） 吉兵衛屯平 1人扶持 M4 24才 立像寺 2丁 2冊

佐久間 鍋 吉（秀盛） 清太夫盛英 100石 M3 52才 大乗寺 9丁

佐久間 久（盛恒） 喜太夫盛時 150石 M3 50才 大乗寺 16丁

佐久間 雄三郎（盛良） 楽翁盛庸 300石 M3 29才 蓮昌寺 12丁

佐久間 雄次郎 平三 25俵 M6 7才 了願寺 6丁

(帙 205) 桜 井 旭（甚五，平蔵，学） 千歳直寛 150石 M3 40才 宝勝寺 11丁

桜 井 市 平（宗太夫，則一） 市郎左衛門 20俵 M3 金剛寺 5丁

桜 井 蕉（孝友，権太郎） 弥次右衛門樹友 4人扶持 M3 19才 定光院 8丁 2冊

桜 井 金 雄（金右衛門，直遵） 文平直昭 200石 M3 34才 如来寺 8丁

桜 井 久 吾（久太郎，一久） 安右衛門 6人扶持 M3 13才 瑞雲寺 5丁 2冊

桜 井 五郎兵衛（善実，新八） 伝右衛門邦吉 2人扶持 M3 79才 光徳寺 5丁 3冊

桜 井 五太夫（義則） 五郎兵衛 1人扶持 M3 31才 光徳寺 5丁 2冊

桜 井 左一郎（左衛士，朝兄） 彦左衛門朝香 9人扶持 M3 35才 宝憧寺 6丁

桜 井 左 仲（肥重） 定之丞肥起 55石 M3 32才 実成寺 5丁

桜 井 左 平（村敦） 和兵衛村孝 130石 M3 31才 浄安寺 10丁

桜 井 重 三（右左衛門，保秀） 半左衛門 実一 M3 37才 最勝寺 9丁

桜 井 七四郎（久太郎，審固） 久左衛門直廉 60石 M3 34才 照円寺 7丁 2冊

桜井晋次郎（定一） 庸次郎 1人扶持 M3 10才 浄安寺 4丁

桜井鑫三（光忠） 6人扶持 M3 32才 照円寺 7丁

桜井宗八郎（官兵衛，長平） 宗左衛門長乗 5人扶持 M3 22才 慶恩寺 5丁

(帙 206) 桜井為平（為兵衛，正綱） 平士郎正資 250石 M3 51才 11丁

桜井常男（貞之） 隼之助 10俵 M3 27才 定光院 3丁

桜井常次郎（有允） 2人扶持 M3 40才 円祐寺 4丁 2冊

桜井鉄次郎（敬良） 次郎左衛門 15俵 M3 26才 徳竜寺 5丁

桜井藤一（実直） 藤一 20俵 M3 33才 繁久寺 8丁 2冊

桜井東摩（一貞） 有水貞衛 120石 M3 26才 大蓮寺 7丁

桜井　渉（清茂） 孫助 3人扶持 M3 48才 正覚寺 3丁

桜井孫太郎（清門） 渉 1人扶持 M3 26才 正覚寺 3丁 2冊

桜井　迅（知親） 渉 1人扶持 M3 18才 正覚寺 3丁 2冊

桜井早太（惣左衛門，貞次） 久太夫貞之 10人扶持 M3 39才 定光院 7丁 2冊

桜井彦太郎（貞之） 彦太夫貞永 100石 M3 47才 定光院 8丁

桜井秀造（秀蔵，忠精） 仙次郎元成 30俵 M3 49才 東本願寺別院 6丁

桜井房記（房次郎，重久） 甚太郎本久 40俵 M3 20才 広済寺 6丁

桜井正明（春喜千） 為平正綱 36俵 M3 16才 6丁 2冊

桜井政五郎（敬義） 助太夫義勝 100石 M3 35才 即願寺 6丁

桜井政之丞（清茂） 孫助 3人扶持 元治2 44才 正覚寺 5丁

桜井益吉（茂兵衛，信勝） 太平 7人扶持 M3 35才 長徳寺 6丁

桜井又七郎 審固 60石 M6 1才 照円寺 5丁

桜井茂三郎（伊右衛門，勝則） 長左衛門勝久 2人扶持 M3 34才 善照坊 4丁

(帙 207) 桜井　弥（弥左衛門，安正） 五左衛門安政 30石 M3 定光院 9丁 2冊

桜井庸次郎（有政） 晋平彰一 50石 M3 28才 浄安寺 8丁 2冊

桜井与平（与兵衛，義之） 善兵衛 1人半扶持 M3 36才 常願寺 4丁

桜井与六（安左衛門，一富） 又右衛門一房 110石 M3 48才 瑞雲寺 9丁

鮭延節三（節蔵，義行） 秀庵義知 35人扶持 M3 50才 大乗寺 11丁

笹井　雙（当宗） 重三郎 50石 M3 17才 光徳寺 4丁

篠井久馬（十蔵，則至） 清太夫則之 150石 M3 60才 真行寺 5丁 2冊

篠井錯五郎（則近） 十蔵 10俵 M3 39才 真行寺 4丁 2冊

篠井定馬（元右衛門，則清） 元右衛門則明 150石 M3 58才 真行寺 8丁

篠井織男（則順） 清太夫 6人扶持 M3 51才 真行寺 4丁

篠井源吾（源五右衛門，公則） 源五右衛門朝則 500石 M3 43才 真行寺 11丁

篠井耕馬（則益） 耕造則茂 5人扶持 M3 44才 真行寺 6丁 2冊

篠井重理（正方） 権左衛門正香 300石 M3 52才 実成寺 11丁

篠井清次（領節） 左源太領会 80石 M3 21才 実成寺 7丁

篠井民男（銀重郎，則友） 覚丞則近 160石 M3 22才 真行寺 9丁

(帙 208) 篠井当二郎（則久） 覚丞 160石 M3 22才 真行寺 7丁

篠井巴門（金政） 半右衛門政恒 70

石　M3　39才　実成寺　7丁
篠井幸雄（美錦）　孫左衛門美在　250石　M3　33才　実成寺　8丁
佐々木静谷（宇兵衛，宇平，義鋲）　孫六義親　120石　M3　57才　実成寺　7丁
佐々木孝七　静谷義鋲　120石　M4　20才　実成寺　4丁
佐々木次三郎（直春）　次郎右衛門　2人扶持　M3　10才　希翁院　3丁
佐々木次郎（次郎右衛門，堅春）　次郎右衛門　5人扶持　M3　38才　希翁院　4丁
佐々木新平（新左衛門，一国）　新左衛門盛富　60石　M3　44才　月照寺　9丁　2冊
佐々木誠喜（鍋二郎，孫兵衛，定舒）　兵庫定正　2,100石　M3　42才　宝勝寺　10丁
佐々木泉玄（守公）　泉景守継　12人扶持　M3　66才　上宮寺　11丁
佐々木四馬（守直）　泉玄守公　12人扶持　M4　31才　上宮寺　9丁
佐々木雅次郎（光重）　泉玄　60俵　M3　27才　上宮寺　3丁
佐々木他見弥（守義）　泉竜　40俵　M3　23才　上宮寺　10丁
佐々木　光（藤次郎，幸秀）　藤平藤兵衛　3人扶持　M4　21才　本光寺　4丁　2冊
佐々木友作（元友，尚古）　宗庵尚一　5人扶持　M3　18才　浄福寺　4丁
佐々木与平　尚古　5人扶持　M6　37才　浄福寺　6丁
笹木守登（為本）　右門　35俵　M4　42才　起雲寺　8丁
篠島喜三（平左衛門，清約）　久左衛門　清通　M3　50才　真成寺　11丁
篠島休次郎　清緝　2,500石　M5　7才　宝勝寺　9丁
（峡 209）篠島左平（久大）　守撲惟清　300石　M3　59才　月心寺　16丁
篠島捨三（捨蔵，清順）　左平久大　300石　M4　42才　月心寺　13丁　2冊
篠島又市（清緝）　源兵衛清信　2,500石　M3　41才　宝勝寺　13丁
笹田治太郎　清五郎米民　25俵　M5　22才　妙玄寺　3丁
笹田猪鹿（吉郎左衛門，当孝）　矢平　4人扶持　M3　31才　西光寺　6丁
笹田八朔（儀定）　猪三郎正儀　10俵　M3　19才　願楽寺　7丁　2冊
笹田弥平太（守義）　銀次郎守貞　120石　M3　妙応寺　7丁　2冊
笹村重太郎（重之助，兼則）　定右衛門忠保　12俵　M3　15才　珉徳寺　4丁　2冊
佐雙左仲（定寅）　久左衛門定静　100石　M3　19才　高岸寺　8丁
佐雙亘理（賢一）　恒右衛門賢易　180石　M3　35才　全昌寺　10丁
三段崎三郎（三郎左衛門，元継，良章）　兵助直虎　35石　M3　36才　経王寺　10丁　2冊
三段崎開三郎（元継）　三郎左衛門　2人扶持　M2　27才　実成寺　6丁
（峡 210）三段崎　正（基直）　新左衛門基定　200石　M3　26才　経王寺　12丁　2冊
三段崎廉作　基正　200石　M7　経王寺　10丁
佐竹清二郎（義方）　小五郎　100石　M3　16才　本行寺　11丁
佐々逸郎（良政）　正益侑政　10人扶持　M3　本是寺　8丁
佐々吉郎（致政）　斉藤次政信　200石　M3　33才　本是寺　8丁
佐々才二郎（才二郎，彰正）　数右衛門彰善　M3　常福寺　5丁
佐々　栄（鋭成）　他十郎重熹　7人扶持　M3　36才　本是寺　10丁
佐々順平（卯門，政明）　卯門為政　150石　M3　41才　本是寺　15丁
佐々与三郎（正則）　勘兵衛　100石　M3　34才　本是寺　9丁
佐藤右八郎（武英）　権之丞則道　25俵

M３　39才　広済寺　８丁
佐藤永五郎（助左衛門，親正）　右兵衛一実　300石　M３　33才　妙正寺　15丁
佐藤乙吉（直礎）　北翁直簡　1,200石　M３　35才　浄住寺　10丁
佐藤喜市郎（直幸）　森右衛門直照　40俵　M３　23才　大円寺　９丁
佐藤吉左衛門（栄政）　半左衛門　20俵　M３　善徳寺　３丁　２冊
(帙 211) 佐藤五郎兵衛（信景）　保左衛門　45石　慶応２　35才　珉徳寺　３丁
佐藤佐六（直致）　三木之進亮直　60石　M３　24才　高厳寺　11丁　２冊
佐藤治平（治兵衛，忠與）　弥四郎敬忠　700石　M３　30才　善福寺　13丁
佐藤習馬（貞之進，知遠）　作久美知宜　600石　M３　31才　浄徳寺　10丁
佐藤順造（咏）　順泰　50石　M３　37才　玄門寺　８丁
佐藤誠一（直応）　倚松直房　500石　M３　29才　浄住寺　14丁
佐藤　儀（儀左衛門，元幹）　儀左衛門元知　200石　M３　46才　善福寺　９丁
佐藤辰男（清寛）　栄左衛門　３人扶持　M３　５才　静明寺　３丁
佐藤鉄五郎（昌盛）　良助以敬　９人扶持　M４　36才　長久寺　６丁
佐藤寅吉　鉄次郎　15俵　M７　11才　慶徳寺　５丁
佐藤直記　直蔵　15俵　M７　22才　宗寿寺　６丁
佐藤　秀　半右衛門　25俵　M７　41才　因徳寺　５丁
佐藤　一（清兵衛，為之）　多作益之　150石　M３　38才　承証寺　７丁
佐藤皆吉（謙）　衡平伸　50石　M３　18才　長周寺　６丁　２冊
里沢義一　三郎　50石　M６　36才　本妙寺　４丁
里沢三郎（三郎左衛門，一方）　甚兵衛一好　50石　M３　55才　本妙寺　５丁
(帙 212) 里沢甚八（甚兵衛，一政）　三郎左衛門　１人扶持　M３　本妙寺　３丁
里沢甚兵衛（好一）　茂兵衛　50石　文政８　40才　本妙寺　８丁
里沢久男（久之丞，方則）　三郎左衛門一方　３人扶持　M３　22才　本妙寺　３丁　２冊
里見亥三郎（元確）　七左衛門元資　700石　M３　56才　宝勝寺　15丁
里見見里（元貞）　亥三郎元確　200石　M３　41才　宝勝寺　６丁
里見佐治平（佐左衛門，為信，佐次平）　佐左衛門　18俵　M６　61才　等願寺　３丁　２冊
里見辰二郎（元久）　大助元正　６人扶持　M３　19才　徳竜寺　６丁
里見　常（政人，元常）　右門元成　300石　M３　14才　宝勝寺　10丁
里見恒五郎（恒之丞，宣雄）　恒右衛門宣安　７人扶持　M３　45才　西福寺　６丁　２冊
里見任太郎（吉正）　恒五郎宣雄　７人扶持　M４　13才　西福寺　４丁
里見元克（元一）　孫太夫元勝　300石　M３　30才　宝勝寺　10丁
真田勘吾（佐次兵衛，信恭）　侯翁信従　600石　M３　29才　高岸寺　10丁
真田三郎（義啓）　保作義則　40石　M３　22才　宗林寺　９丁
真田　右（右門，輝浄）　弥六定道　50石　M３　55才　仁随寺　６丁
真田守男（要人，当久）　千左衛門諸昌　60石　M３　36才　仁随寺　４丁　２冊
真田可道　万之　11石　M７　26才　慶徳寺　宗寿寺　７丁
(帙 213) 佐野市太郎　久茂　20俵　M６　20才　正満寺　４丁
佐野一見（内右衛門，信敬）　鉄之助信恭　50石　M３　36才　永久寺　７丁
佐野源三（源蔵，公方）　源蔵公典　100石　M３　53才　希翁院　９丁　２冊
佐野公房（久）　源蔵公方　50石　M

7　21才　希翁院　7丁　2冊

佐野休竟（将之）　源五左衛門将春　3人扶持　M3　77才　西本願寺別院　5丁

佐野庫太（信敬）　五郎右衛門敬義　M3　13才　高岸寺　6丁

佐野源次郎（公秀）　源蔵公典　7人扶持　M3　43才　希翁院　9丁　2冊

佐野三郎（六郎，忠時）　雄吉好古　7人扶持　M3　37才　三光寺　8丁

佐野参四郎（信輝）　平四郎信広　15俵　M3　54才　帰徳寺　4丁

佐野純平（好晴）　平兵衛朝運　120石　M3　38才　希翁院　12丁

佐野晋朔（武兵衛，信武）　武兵衛　2人扶持　M3　49才　道林寺　4丁

佐野　　殳（詮蔵，忠直）　健蔵，為詮　100石　M3　31才　希翁院　12丁

佐野惣平（惣右衛門，安勝）　伊兵衛　重安　30石　M3　37才　専光寺　5丁　2冊

佐野武次　信武　1人扶持　M7　24才　道林寺　3丁

佐野信吾（寛次郎，将易）　平之亮秋将　40石　M3　24才　西源寺　7丁　2冊

（帙214）佐野　　昇（幸之進，公光）　千三郎公清　80石　M3　33才　希翁院　10丁

佐野半次　為一　23俵　M5　13才　妙正寺　5丁

佐野普二（喜太郎，武次）　武兵衛　1人扶持　M3　20才　道林寺　2丁

佐野　　豊（善次）　宇兵衛　7人扶持　M4　55才　西方寺　2丁

佐伯源太郎（信忠）　小左衛門輝高　12俵　M5　26才　称念寺　8丁　2冊

佐伯直吉（弥左衛門，忠恕）　與右衛門公英　8人扶持　M4　36才　浄光寺　7丁　2冊

佐伯武左衛門（英信）　治左衛門武信　80石　M3　49才　珉徳寺　7丁

佐伯真奈翁（龍済，正辰）　拙高　2人扶持　M3　54才　永福寺　4丁　2冊

佐伯木工男（正豊）　真奈翁　5人扶持　M3　16才　永福寺　4丁

佐伯芳太（一信）　武左衛門共信　80石　M4　21才　珉徳寺　8丁

佐村木栄吉　一忠　19石　M6　4才　禅柄院　5丁

佐村木甚吉（春郷）　勘左衛門春清　11俵　M3　38才　香林寺　5丁　2冊

鮫村安太郎（勝則）　小平　2人扶持　M3　21才　久昌寺　2丁

沢　　茂登（市郎右衛門，方直）　助左衛門一直　50石　M3　25才　法光寺　6丁　2冊

沢　　直江（有典）　直江有方　50石　M3　46才　法光寺　5丁

沢井志津江（貞治）　23俵　M3　30才　成学寺　5丁

沢阜忠平（徳三郎，幸寿）　知左衛門　幸重　40俵　M3　60才　妙玄寺　7丁

（帙215）沢木於兎雄（正俊）　市郎右衛門　7人扶持　M3　22才　常福寺　2丁

沢木七郎（永次）　徳蔵永世　40石　M3　18才　妙応寺　5丁　2冊

沢木徳次（徳蔵，永世）　七郎兵衛　4人扶持　M3　57才　3丁　2冊

沢崎喜一（供親）　竹雀高之　330石　M4　26才　棟岳寺　7丁

沢崎喜平次（金三郎，光貫）　七左衛門光磨　4人扶持　M3　32才　大蓮寺　9丁　2冊

沢崎金次郎　高久　90石　M7　29才　棟岳寺　9丁

沢崎左平（左内，左治兵衛，高正）　清蔵高貞　50石　M3　44才　棟岳寺　13丁　2冊

沢崎宗太郎（高直）　左平高正　1人扶持　M3　15才　棟岳寺　2丁

沢崎七郎（七郎左衛門，喜成）　仁右衛門　5人扶持　M3　54才　妙法寺　5丁

沢崎丈三郎（清之丞，保方）　新吾儀敬

11人扶持　M3　40才　本長寺　8丁　2冊

沢崎宗三（宗左衛門，好義）　清左衛門脩義　140石　M3　44才　棟岳寺　6丁　2冊

沢崎大次郎（正信）　市郎右衛門　50石　M3　14才　妙典寺　11丁　2冊

(峡 216) 沢崎高直　高正　50石　M7　19才　棟岳寺　11丁

沢崎　環（吉左衛門，隆敬）　隆之　50石　M3　26才　棟岳寺　5丁

沢崎竹雀（左門，高之）　宗右衛門高供　330石　M3　53才　棟岳寺　8丁　2冊

沢崎寛裕　善述　17俵　M8　33才　5丁

沢崎兵太郎（高久）　九右衛門　90石　M3　52才　棟岳寺　10丁

沢崎　護（守介，寛栗）　源太夫寛正　150石　M3　32才　棟岳寺　9丁

沢崎弥三郎（善述）　安之丞　3人半扶持　M3　56才　8丁　2冊

沢崎安吉（善寛）　善述　1人扶持　M3　28才　5丁　2冊

沢崎好宗　好義　140石　M5　14才　棟岳寺　6丁

沢崎吉郎（好宗）　宗左衛門　3人扶持　M3　12才　棟岳寺　2丁

沢崎和平次（誠人）　治郎兵衛本茂　60石　M3　50才　法船寺　7丁

沢田一郎平（一郎右衛門，敏政）　一郎右衛門施政　600石　M3　58才　愛染院　14丁

沢田男也　千町　30石　M7　2才　西養寺　2丁

~~沢田勝三（孝則）　章平　2人扶持　M3　23才　本長寺　5手~~

沢田勝馬（直道）　源左衛門　60俵　M3　西養寺　4丁

(峡 217) 沢田粂五郎（尚徳）　静閑尚風　100石　M3　47才　妙泰寺　10丁

沢田源太（長住）　源左衛門長程　M3　63才　西養寺　7丁

沢田幸作（市左衛門，義信）　市左衛門　6俵　M3　47才　大法寺　7丁

沢田　栄（一政）　孫右衛門　40石　M3　28才　6丁

沢田子祐（主馬，尚賢）　静閑尚風　450石　M3　51才　妙泰寺　11丁

沢田与三郎（尚篤）主馬尚賢　50俵　M4　17才　妙泰寺　10丁

沢田章平（章蔵，孝成）　7人扶持　M3　68才　本長寺　3丁　2冊

沢田孝則　孝成　7人扶持　M7　27才　本長寺　5丁

沢田　巧（刻忠）　一郎右衛門敏政　150石　M3　27才　愛染院　8丁

沢田則孝　久左衛門　3人扶持　M5　20才　養願寺　4丁

沢田春松（覚之助，直温）　円次郎　50俵　M3　浄智寺　8丁　2冊

沢田文平（文左衛門，之政）　順左衛門　35石　M3　45才　真成寺　5丁　2冊

沢田勢三郎（直成）　之政　35石　M6　29才　真成寺　5丁

沢田　貢（常吉）　沢山清賢　250石　M3　47才　愛染院　9丁

沢田茂平（方吉）　初左衛門　35石　M3　42才　願念寺　4丁　2冊

沢田安太郎（長久）　源太長住　150石　M4　22才　西養寺　6丁

沢田廉平　随元　15俵　M6　20才　養願寺　4丁

沢田和平太（敏慎）　閑翁敏行　200石　M3　36才　愛染院　11丁

(峡 218) 沢根喜平（孝始）　虎三郎敏睦　100石　M3　妙円寺　7丁

沢根るい　孝始　100石　M7　42才　妙円寺　5丁

沢野一兵（弾卿）　理太夫　25俵　M3　26才　最勝寺　9丁

沢野右内（順高）　丈次郎篤敬　70石　M3　59才　本光寺　9丁

沢田義門（静方）主膳　1000石　M3　42才　持明院　16丁

沢 野 兼次郎（武佳） 信吾 3人扶持 M4 12才 妙源寺 6丁
沢野七郎左衛門（志応） 七郎左衛門 40石 M2 39才 超願寺 4丁
沢 野 重太郎（志道） 七郎左衛門志応 40石 M3 15才 超願寺 5丁
沢 野 善次郎（高克） 右内 7人扶持 M3 23才 本光寺 4丁
沢 野 常 三（徳重） 作右衛門吉定 3人扶持 M3 44才 浄行寺 7丁
沢 野 半 斎（忠勝） 沢右衛門 1人扶持 M4 78才 勝満寺 4丁
沢 原 磯次郎（由永） 磯五郎 15俵 M3 18才 東本願寺別院 3丁
沢 原 源太郎 源次 20俵 M6 11才 寿経寺 6丁
沢 辺 弥二郎（陳房） 源太夫義疎 35俵 M3 40才 安楽寺 10丁
沢 村 乙三郎 久 18俵 M7 18才 西福寺 5丁
沢 村 久米次郎（武治） 甚右衛門縄武 250石 M3 17才 三宝寺 10丁
沢 村 恒 三（恒右衛門，武成） 甚之助 武徳 200石 M3 54才 三宝寺 13丁
沢 村 廉太郎（武昌） 恒三武成 200石 M4 22才 三宝寺 10丁
沢 村 徳三郎（寘徴） 吉兵衛清行 50俵 M3 41才 寿経寺 6丁
沢 村 彦太郎（保民） 昌三郎原穂 50俵 M3 12才 大円寺 4丁
（帙 219） 三 階 卯三郎（忠行） 直右衛門敬親 3人扶持 M3 28才 専光寺 5丁
三 階 久 平（貞蔵、守道） 久左衛門 5人扶持 M3 49才 専光寺 5丁
三 階 伴 六（尚辰） 清馬尚吉 350石 M3 51才 長久寺 11才
三 清 鑒（武規） 新蔵 5人扶持 M3 40才 瑞泉寺 5丁 2冊
三 清 与三郎 久安 20俵 M7 1才 瑞泉寺 4丁
山 東 甚 平（甚兵衛，永清） 次五右衛門陳保 200石 M3 55才 久昌寺 8丁
山 東 直 永清 200石 M7 28才 久昌寺 5丁
山 東 友 作（友之進、義次） 作右衛門 高義 55石 M3 41才 心蓮社 5丁 2冊
山 納 賢 吉（賢蔵，八三郎，維則） 八郎兵衛福恭 11俵 M3 43才 本覚寺 3丁 2冊
三 辺 伊三郎（知清） 伊作知定 5人扶持 M4 28才 慈楽寺 4丁
三 明 秀 英（甚平，甚太夫，英通） 甚五右衛門景吉 50石 M3 50才 正福寺 9丁
三 明 景 通 秀英 50石 M6 16才 正福寺 6丁
三 明 勇次郎 秀英 50石 M7 正福寺 5丁

し 行

（帙 220） 椎 名 他吉郎（永淳） 勝次郎宣一 40石 M3 21才 光乗寺 12丁 2冊
椎 橋 他二郎 喜一 20俵 M5 11才 浄行寺 6丁
塩 川 誠 馬（安） 銀右衛門保定 150石 M3 67才 承証寺 7丁
塩 川 鉄次郎（徳一） 誠馬安 80石 M3 37才 承証寺 4丁
塩 川 文太郎（之保） 孫七雅休 350石 M4 11才 承証寺 8丁
塩 川 孫 七（安兵衛，雅休） 安左衛門 久悠 350石 M3 62才 承証寺 9丁
塩 崎 左 市 友八 14俵 M7 10才 惹摂寺 5丁
塩 田 喜 三（嘉平次，一則） 吉兵衛 6人扶持 M4 39才 光専寺 4丁 2冊
塩 田 富 男 一則 M8 38才 光専寺 3丁
塩 屋 三 郎（助行） 三橋助道 100石 M3 20才 全昌寺 8丁
塩 屋 新 五（新五左衛門，知国） 千助 国安 110石 M3 61才 長久寺 5丁

塩屋八郎（八郎，方国） 新五左衛門知国 35俵 M3 23才 長久寺 6丁

志賀栄吉（直方） 八十八軌茂 40俵 M3 39才 妙法寺 12丁

志賀喜兵衛（昌景） 庄左衛門昌行 80石 M3 59才 6丁

志賀鍵次郎（昌一） 喜兵衛昌景 30石 M3 16才 妙慶寺 6丁

志賀錠五郎（昌之） 喜平昌景 80石 M4 28才 妙慶寺 4丁

志賀範之 八十吉 20俵 M6 23才 浄誓寺 5丁

志賀米二郎 昌一 30石 M7 2才 妙慶寺 5丁

(帙 221) 鹿田浮則 栄次 20俵 M6 本覚寺 3丁

鹿田直太郎（正省） 文平正明 80石 M4 11才 本覚寺 8丁

鹿田儀克 九右衛門 20石 M6 願楽寺 4丁

鹿田文平（正明） 文平正復 90石 M3 56才 本覚寺 8丁

敷津林平（宜邦） 100石 M3 36才 妙立寺 10丁

敷波次三郎（高正） 治平 4人半扶持 M2 44才 専昇寺 2丁

敷村外男（清之丞，良知） 清太夫満之 5人扶持 M3 19才 本泉寺 5丁 3冊

敷村八郎（好正） 外男良知 5人扶持 M4 24才 本泉寺 4丁

志田左太郎（清貞） 甚兵衛友立 11俵 M3 14才 慈雲寺 5丁 2冊

品川左門（武好） 芳斎武佳 3,000石 M3 53才 宝円寺 10丁 2冊

品川 浜 左門 3,000石 M6 38才 宝円寺 6丁

篠田温良 良金 30俵 M5 17才 妙法寺 5丁

篠田嘉吉（貞一） 余太夫貞亨 40俵 M4 56才 善福寺 10丁 2冊

篠田幾久衛（信光） 伊右衛門信久 75石 M3 41才 慈雲寺 10丁

篠田五八（孝則） 五左衛門熙 100石 M3 65才 善徳寺 8丁

(帙 222) 篠田周太郎（貞元） 嘉吉貞一 40俵 M4 21才 善福寺 7丁

篠田主仙（順之） 弥三兵衛 12俵 M3 67才 乗善寺 7丁 2冊

篠田準之助（成章） 甚左衛門 4人扶持 慶応3 29才 徳竜寺 3丁

篠田甚左衛門（包矩） 九左衛門 35石 嘉永7 43才 徳竜寺 4丁

篠田忠六（忠左衛門，久義） 五左衛門 80石 M3 44才 善徳寺 11丁

篠田虎吉（久次） 弥五郎 40俵 M3 21才 善徳寺 7丁

篠田半六（成章） 喜平包矩 4人扶持 M3 33才 徳竜寺 4丁

篠田 操（織人一正） 八百記正行 22俵 M3 31才 蓮昌寺 5丁 2冊

篠田茂十郎（和憲） 弥三兵衛和之 60俵 M3 57才 乗善寺 9丁

篠田弥太郎（政一） 貞治為則 50俵 M3 三光寺 7丁

篠田和平（一勝） 和左衛門一兼 12俵 M3 36才 西源寺 6丁

篠塚半次郎（一元） 半四郎 15俵 M5 12才 松月寺 3丁

篠原 勇（織部，忠篤） 弥助忠意 3,500石 M3 22才 桃雲寺 8丁 2冊

篠原一三郎（佐治右衛門，勅典） 小宵親義 800石 M3 28才 桃雲寺 12丁

篠原勘六（一貞） 監物精一 3,000石 M3 41才 立像寺 20丁 2冊

(帙 223) 篠原惟善（勘左衛門，克起） 台四郎 1,000石 M3 43才 桃雲寺 15丁

篠原下枝 正知 35俵 M7 7才 三光寺 9丁

篠原純平（正知） 栄吉友知 40俵 M3 25才 三光寺 11丁 2冊

篠原鈑四郎（仲立） 勘左衛門篤行 80石 M3 桃雲寺 5丁

篠 原 弥太郎（良昌） 孫六郎容章 30俵 M3 48才 本行寺 5丁
篠 原 与左衛門（光矩） 佐助 M3 55才 上宮寺 9丁
斯 波 一 郎（勝幸） 右左衛門 40俵 M3 23才 9丁
斯 波 帰 一（友吉） 権之助 50俵 M3 28才 東本願寺別院 8丁
斯 波 定 一（正従） 直七郎正義 700石 M3 15才 昌柳寺 9丁
斯 波 蕃（玄蕃，正行） 内蔵助正行 10,000石 M3 28才 総持寺 17丁 2冊
斯 波 勇次郎（義明） 幸兵衛義知 50俵 M3 36俵 西方寺 10丁
柴 垣 喜平治（則盛） 欣平 2人扶持 M3 48才 極楽寺 4丁
柴 垣 欣 平（言智） 文右衛門善則 3人扶持 M3 70才 極楽寺 10丁
(帙 224) 柴 垣 常 男（常右衛門，重與） 欣平 30石 M3 44才 極楽寺 4丁 2冊
柴 垣 則 盛 金平 13俵 M6 50才 極楽寺 6丁
芝 木 磯 次（磯元助，久友） 順之助 25俵 M3 14才 長徳寺 5丁
芝 木 元太郎（安信） 伊右衛門 1人半扶持 M3 22才 等雲寺 5丁
芝 木 権 平（申之） 八郎兵衛 40俵 M3 70才 実成寺 5丁
芝 木 昌 平（史生，重房） 権平 35俵 M3 36才 実成寺 3丁
芝 木 武十郎 幸助 25俵 M3 64才 蓮覚寺 4丁
芝 木 辰 雄（辰之助，義久） 武十郎 25俵 M3 34才 蓮覚寺 4丁
芝 木 弥増平（弥右衛門，正行） 太兵衛 50石 M4 51才 実成寺 6丁 2冊
芝 木 与平治（与市郎） 与左衛門 5人扶持 M3 41才 5丁
柴 田 栄五郎（盛久） 七郎左衛門久安 100石 M3 31才 本光寺 12丁
柴 田 学 而（学左衛門，正静） 左次馬正虎 50石 M3 39才 瑞泉寺 4丁
柴 田 勝 平（真武） 理兵衛兼章 12俵 M5 40才 繁久寺 9丁 2冊
柴 田 健三郎（一正） 藤右衛門 35俵 M3 62才 静明寺 9丁
柴 田 茂（正孝） 健三郎 7人扶持 M3 22才 静明寺 6丁
柴 田 政 二（政房） 山蔵 23俵 M4 55才 浄安寺 5丁
柴 田 善太郎（元一） 善左衛門貫伴 70石 M3 26才 本光寺 8丁
柴 田 唐 馬（篤親） 登庵 6人扶持 M4 60才 上宮寺 5丁 3冊
柴 田 幸治郎（正英） 唐馬篤親 6人扶持 M4 29才 上宮寺 5丁
(帙 225) 柴 田 正 孝 一正 35俵 M5 24才 静明寺 7丁
芝 野 情五郎（市太郎，政次） 太兵衛 18俵 M3 光慶寺 3丁
芝 野 善三郎（文明） 皆吉 11俵 M4 松月寺 5丁
柴 野 市太郎（宗広） 左五右衛門 2人扶持 M4 26才 照円寺 7丁
柴 野 栄次郎（勝房） 小三郎義光 7人扶持 M3 27才 妙慶寺 6丁
柴 野 円 平（円右衛門，義弘） 園右衛門 23俵 M3 42才 正福寺 5丁
柴 野 乙吉郎 勝信 7人扶持 M7 11才 本覚寺
柴 野 嘉三郎（来易） 孫市郎 15俵 M3 36才 照台寺 4丁
柴 野 金 平（則政） 則明 9人扶持 M3 44才 真福院 6丁 2冊
柴 野 小十郎（誠茂） 小助 25俵 M3 20才 静明寺 8丁
柴 野 左五六（忠盛） 市蔵 17俵 M4 照円寺 4丁
柴 野 昇 子（文三郎，正忠） 文太夫 20俵 M3 24才 照円寺 6丁
柴 野 甚 作（勝信） 八十丞 7人扶持 M3 29才 本覚寺 9丁
柴 野 善 作（良直） 吉蔵 20俵 M3

45才　本覚寺　7丁

柴野　　拓（尚暗）　甚助　50俵　M3　38才　妙円寺　8丁

柴野林多（作兵衛，信正）　作助定好　7人扶持　M3　28才　本覚寺　7丁

柴野久吉　直太郎　20俵　M5　16俵　本覚寺　7丁

柴野文左衛門（照道）　宇左衛門照久　7人扶持　M3　40才　専光寺　6丁　2冊

(帙 226) 芝原永治郎　重左久　20俵　M6　25才　妙正寺　4丁

柴原恵嘉太（浅之丞，義宣）　三吉　45俵　M3　48才　妙典寺　10丁

柴原参吉（茂，義鑑）　浅之丞　7人扶持　M3　22才　妙典寺　14丁

芝山　　歩（正栄）　新斎正就　150石　M3　41才　法光寺　18丁

芝山猪四郎（久磨人，重明）　多門正明　60石　M3　23才　安楽寺　5丁

芝山角太郎（敏久）　松三郎寛象　110石　M3　28才　妙国寺　10丁

芝山小平（友暗）　貞之進重矩　40俵　M3　44才　妙国寺　6丁

芝山清七（行蔵）　甚八友之　30俵　M3　48才　長徳寺　7丁

芝山半次（基右衛門，善正）　甚八友之　25俵　M3　44才　広済寺　8丁

芝山　　宏（直左衛門，貞成）　章兵衛以礼　150石　M3　44才　妙国寺　6丁

芝山平次（忠之進，嘉重）　平右衛門　惇叙　550石　M3　30才　浄安寺　14丁

芝山　　歴（松之助，芳成）　弥左衛門　20俵　M3　16才　妙国寺　4丁

柴山鋼三郎　八左衛門　100石　M3　48才　9丁

柴山　　安　鋼三郎　100石　M7　4才　全昌寺　7丁

柴山他喜男（尚則）　喜一郎尚道　70石　M3　17才　本法寺　9丁　2冊

柴山敏農　孫三郎　28俵　M3　31才　7丁

(帙 227) 渋江藤次郎（伯包）　藤左衛門　2人扶持　M3　16才　光西寺　3丁

渋江藤平（藤左衛門，屯）　兵左衛門　4人扶持　M3　50才　光西寺　3丁

渋谷喜平太（元永）　喜平太元貞　140石　M3　32才　本長寺　6丁　2冊

渋谷為松（厚則）　歳松従厚　60石　M5　9才　常福寺　6丁

渋谷歳松（従厚，潜太夫，従定）　潜蔵従充　60石　M3　41才　常福寺　6丁　2冊

渋谷富三郎（重顕）　豊太夫重愷　50石　M3　26才　立像寺　8丁　2冊

渋谷彦七郎（宗貫）　彦作　30俵　M3　47才　了願寺　7丁

島　　一慰（豊年）　権之丞豊良　80石　M3　68才　善福寺　5丁

島　　嘉久男（嘉久左衛門，実正）　9人扶持　M3　30才　長久寺　9丁

嶋　　喜一郎（成幸）　勘左衛門　1人半扶持　M3　27才　広誓寺　3丁

嶋　　金太郎（信次）　権太郎　3人扶持　M4　8才　木蓮寺　3丁　2冊

(帙 228) 嶋　　九平（九左衛門，実尚）　九左衛門克昌　5人扶持　M3　64才　長久寺　8丁

嶋　　七郎（直正）　八右衛門　50俵　M3　51才　長久寺　4丁

嶋　　重次郎（安一）　竹次郎　2人扶持　M4　正福寺　4丁

島　　鉄太郎　九左衛門実尚　80石　M3　37才　長久寺　9丁

島　外茂次郎　豊年　80石　M7　善福寺　4丁

嶋　　尚（徳太郎，常保）　寛蔵延寿　40石　M3　31才　竜淵寺　8丁

志摩如寿（新一郎，新平）　友右衛門　友阜　150石　M6　30才　蓮昌寺　7丁　3冊

元禄

池ノ嶋友次（友右衛門，友阜）　弥藤次　和平　150石　M3　63才　蓮昌寺　9丁

嶋川富男（高光）　枚太高久　100石　M3　18才　法光寺　7丁

嶋倉右内（守為）　良蔵永興　50石

M３　52才　常徳寺　９丁　２冊
島倉甚五兵衛（秀世）　甚兵衛　30石　弘化４　13才　常徳寺　９丁
島倉鉄三郎　八郎　10石　M８　８才　西光寺　６丁
島倉脇太郎（行之）　九八郎保度　35俵　M３　39才　妙法寺　７丁
嶋崎猪之助（信成）　億万　40石　M２　30才　光教寺　６丁
嶋崎喜笠　依昂　15俵　M７　27才　善照坊　８丁
島崎佐平（冬温）　庄右衛門冬温　80石　M３　33才　本行寺　７丁
(帙 229) 嶋崎　潤晋　40石　M４　13才　徳翁寺　５丁
嶋崎　晋（進，易退）　元尚有信　40石　M３　48才　徳翁寺　７丁
嶋崎　萬（琢次郎，信成）億万因親　40石　M３　31才　光教寺　６丁
嶋沢儀平（儀左衛門，政韶）　清兵衛政徳　100石　M３　67才　承証寺　６丁
嶋沢新太郎　儀平　100石　M６　39才　承証寺　５丁
嶋田伊三郎（道政）　伊兵衛　５人扶持　M３　24才　香林寺　３丁
嶋田猪太郎（一之）　太兵衛　２人扶持　M４　16才　浄土寺　２丁
嶋田一郎（朝勇）　金助鋤安　30俵　M３　23才　光専寺　５丁
嶋田伊平　善丞　７人扶持　M３　38才　６丁
嶋田嘉吉郎（定勝）　与八郎　２人扶持　M３　30才　西福寺　７丁
嶋田吉太郎（久之助，永平）　右四郎　１人半扶持　27才　竜雲寺　４丁
嶋田磯八郎（磯之助，尋房）　佐兵衛　23俵　M３　46才　西蓮寺　５丁
嶋田九兵衛（重久）　九兵衛　２人扶持　慶応３　51才　東本願寺別院　５丁
嶋田金助　久兵衛　20俵　天保15　光専寺　４丁
島田九平次（九兵衛，直勝）　嘉兵衛　11俵　M３　浄行寺　９丁
島田源五郎（真允）　六郎左衛門　４人扶持　M３　35才　専光寺　３丁
嶋田元三郎（覚兵衛，浅時）　覚左衛門　15俵　M３　52才　乗善寺　４丁
島田こう　釣三郎　20俵　M６　妙福寺　６丁
嶋田耕作（勝正）　吉左衛門　１人半扶持　M３　37才　真如院　５丁
嶋田幸平（貞夫）　伝左衛門惟親　50俵　M３　37才　西光寺　９丁
嶋田三喜（三蔵，寔伸）　定助　２人扶持　M３　41才　徳竜寺　５丁
嶋田　重　兵次郎　23俵　M８　５才　西光寺　５丁
(帙 230) 嶋田治三郎（忠茂）　治太夫　３人扶持　M３　15才　浄土寺　３丁
嶋田治太夫　治兵衛　35石　元治１　49才　浄土寺　３丁
嶋田次平（忠久）　治兵衛　35石　M３　54才　浄土寺　５丁
嶋田　順（惟明）　孫兵衛惟親　22俵　M３　58才　成学寺　６丁
嶋田順吉（元忠）　兵右衛門元久　４人扶持　M３　31才　西光寺　９丁
嶋田順七（助左衛門，成親，孟）　勘右衛門道　150石　M３　27才　妙泰寺　18丁
嶋田順次郎（正保）　誠左衛門相保　200石　M３　46才　本光寺　10丁
嶋田順太郎（安頼）　純二郎頼隆　M４　承証寺　８丁
嶋田庄吉郎　庄助　20俵　M３　41才　名願寺　７丁
嶋田庄次郎（足庁）　十作　20俵　M５　25才　宝幢寺　８丁
島田瑜之助（惟広）　孫兵衛惟允　35石　M２　39才　成学寺　５丁
嶋田甚三（潤次郎，忠一）　安左衛門忠屋　８人扶持　M３　43才　光覚寺　６丁
嶋田甚七（行成）　甚兵衛　25俵　M

3　49才　実成寺　6丁

嶋田甚次郎（友茂）　甚吉　20俵　M3　46才　妙福寺　7丁

嶋田新六（重久）　与右衛門重之　45石　M4　31才　月照寺　5丁

島田　将（勝太郎，邦基）　白露軒永基　250石　M3　28才　了願寺　6丁

嶋田清次（清蔵，儀借）　清蔵儀包　12俵　M3　62才　光泉寺　5丁

嶋田善八　善兵衛　10俵　M3　37才　勝光寺　3丁

嶋田外二郎（常方）　柳吉直方　26俵　M3　18才　妙法寺　8丁　2冊

（帙231）嶋田忠四郎（直忠）　吉左衛門　10俵　M4　56才　竜雲寺　3丁

嶋田常太郎（有義）　九郎太夫有誉　90石　M3　35才　因徳寺　8丁　2冊

嶋田鉄次郎（礼久）　三之助礼則　100石　M3　22才　全性寺　7丁

嶋田時男（義忠）　順吉元忠　14俵　M4　24才　西光寺　8丁

嶋田徳平（篤右衛門，吉継）　徳兵衛吉秀　2人扶持　M3　42才　正覚寺　4丁　2冊

嶋田愛信　孫治　20俵　M6　24才　安楽寺　4丁

嶋田早太（潤太郎，文次郎，可也）　半左衛門信定　15俵　M3　32才　静明寺　7丁　2冊

嶋田伴十郎（十方）　忠蔵　13俵　M4　33才　妙源寺　11丁

嶋田半次郎（忠勝）　与兵衛　15俵　M3　善性寺　4丁

島田伴六（定静）　松山定正　6人扶持　M3　39才　本是寺　8丁

嶋田寿友（一十郎）　誠之介　100石　M3　12丁

島田文次郎（当暢）　要暢時　100石　M3　13才　蓮昌寺　8丁　2冊

嶋田平次（平左衛門，直教）　紋左衛門　12俵　M3　38才　本法寺　4丁　2冊

嶋田兵次郎（直義）　幸蔵　20俵　M3　37才　8丁

嶋田釣三郎　寿一　20俵　M6　妙福寺　5丁

嶋田　貢（之忠）　久右衛門　4人扶持　M4　46才　善性寺　5丁

島田盛男　多仲政之　130石　M3　30才　本光寺　8丁

（帙232）島田弥一（弥左衛門，好信）　弥太夫　18俵　M3　常徳寺　5丁

嶋田安太夫（儀備）　清蔵　2人扶持　慶応　2　58才　7丁

嶋田保平治（義貞）　勘之助　15俵　M3　34才　長徳寺　7丁

嶋田与一郎（寿一）　彦作　20俵　M3　21才　妙福寺　6丁

嶋田佳矣　早太可也　15俵　M5　5才　静明寺　5丁

嶋中昌平（長右衛門）　伝丞　19俵　M4　50才　7丁

嶋中　豊　昌平　19俵　M7　14才　正覚寺　5丁

嶋野朔馬　恒九郎　40石　M3　37才　実成寺　6丁

嶋野貞孝　貞康　25俵　M6　善性寺　8丁

嶋野新作（正和）　新蔵　35俵　M3　46才　広誓寺　6丁

島野徳三郎（豪）　歓叟嘉量　35俵　M3　31才　善性寺　6丁

嶋村嘉平（正中）　嘉平衛　2人扶持　M4　48才　超雲寺　3丁

島村源太郎（将人，秀叙）　由左衛門秀一　9人扶持　M3　21才　常福寺　8丁

島村嶋磨（半之助，芳章）　半之助詮芳　12俵　M3　23才　雲竜寺　4丁　2冊

嶋村次郎作（次郎助，清成）　理兵衛　M3　47才　西源寺　3丁　2冊

嶋村新作（為次）　半太郎為直　40俵　M3　32才　法然寺　7丁

嶋村政一　金男　2人扶持　M7　30

才　乗永寺　4丁
嶋　村　金次郎（行教）　勘太夫　2人扶持　M3　40才　乗永寺　4丁　2冊
嶋　村　徳太郎（安信）　安左衛門　2人扶持　M4　16才　道林寺　3丁
嶋　村　　操（守人，政春）　佐四郎　7人扶持　M3　24才　極楽寺　5丁
（峡 233）嶋　村　与　市（武知）　東作安知　29俵　M3　49才　妙感寺　6丁　2冊
嶋　村　錬太郎　兵作　15俵　M6　33才　頼称寺　3丁
清　水　一　三（敦良）　貞右衛門　100石　M3　44才　西方寺　9丁
清　水　右　朔（貫義）　孫之丞　15俵　M4　31才　長徳寺　3丁
清　水　栄　作（嘉左衛門，敬則）　八左衛門　20俵　M3　37才　浄土寺　6丁
清　水　栄　二（正近）　仁右衛門　2人扶持　M3　45才　瑞泉寺　4丁
清　水　音喜久（方武）　四郎左衛門正明　50俵　M3　29才　大蓮寺　11丁
清　水　佳一郎（貞固）　平次郎　2人扶持　M4　法然寺　7丁
清　水　　梶（梶右衛門，一隆）　梶右衛門一致　6人扶持　M3　33才　西光寺　5丁
清　水　勘　三（勘蔵，重之）　文平　40俵　M3　21才　長徳寺　6丁
清　水　寛　造（寛兵衛，篤参）　源左衛門　30俵　M3　実成寺　7丁
清　水　勘　六（八郎兵衛，博近）　勘兵衛庸共　60石　M3　52才　常福寺　6丁　2冊
清　水　喜　作（善明）　嘉右衛門　15俵　M3　19才　妙国寺　3丁
清　水　義十郎（重孝）　佐太夫能孝　33俵　M3　42才　蓮昌寺　14丁
清　水　吉　二（吉助，春宝）　幸左衛門　30俵　M3　49才　光専寺　8丁
清　水　　清（安春）　喜十郎　15俵　M3　西源寺　2丁
清　水　　清（全左衛門，照直）　全左衛門為時　45石　M3　26才　立円寺　10丁　2冊
（峡 234）清　水　金太郎（照道）　50石　M3　7才　立円寺　3丁　2冊
清　水　金三郎（直信）　平助　13俵　M4　24才　光専寺　9丁
清　水　金之助（愛之）　小十郎親之　40俵　M3　25才　長徳寺　8丁
清　水　九　八（太兵衛，義篤）　太右衛門　35俵　M3　62才　妙国寺　6丁
清　水　熊　男（実隆）　棟太郎誠実　250石　M3　2才　大蓮寺　9丁
清　水　粂三郎（秀久）　茂兵衛惟久　8人扶持　M3　27才　妙泰寺　6丁　2冊
清　水　次　平（次郎左衛門，純如）　次左衛門　35石　M3　43才　竜昌寺　8丁　2冊
清　水　謙　六（善一）　次平純如　35石　M6　21才　竜昌寺　6丁　2冊
清　水　　興（恭澄）　武助佳致　70石　M3　33才　大乗寺　8丁
清　水　洪　平（尚共）　九左衛門道之　40俵　M3　36才　長徳寺　10丁
清　水　五　平（佐久）　庄五郎　2人扶持　M4　26才　瑞泉寺　3丁
清　水　小　守（友之）　八太夫友一　5人扶持　M3　24才　上宮寺　4丁
清　水　小　六（一信）　保右衛門将勝　6人扶持　M3　42才　聞善寺　4丁
清　水　左平次（左太夫，直忠）　左平18俵　M3　55才　等願寺　5丁
清　水　志津衛（昌一）　与吉郎　35俵　M3　46才　恵光寺　7丁
清　水　　沙（相典）　佐平　1人半扶持　M3　36才　真教寺　6丁
（峡 235）清　水　周　吉（貞安）　詢太郎　7人扶持　M3　21才　長徳寺　15丁　2冊
清　水　　潤（新左衛門，昌弘）　新左衛門安貞　6人扶持　M3　51才　桂岩寺　5丁　2冊
清　水　省　吾（具察）　砂為寿　14俵　M4　30才　2丁

清 水 庄五郎（正連） 五右衛門 2人半扶持 M4 54才 瑞泉寺 4丁
清 水 丈太郎（兼行） 喜右衛門貞知 50俵 M3 36才 浄光寺 9丁
清 水 升 平（正行） 兵右衛門 3人扶持 M4 57才 長徳寺 4丁
清 水 昌兵衛（敬篤） 守八郎 35石 M1 32才 善導寺 9丁
清 水 章 松（鈔之助，嘉親） 長太夫 18俵 M3 妙慶寺 6丁
清 水 甚 吉（善順） 善右衛門 3人扶持 M4 56才 慶覚寺 2丁
~~清水新太郎（新左衛門，轍雄，軌郷） 保三郎多四郎亮郷 100石 10丁~~
清 水 杉 作 18俵 M6 7才 徳善寺 5丁
清 水 静 吾（由雄） 徳右衛門 20俵 M4 28才 常徳寺 6丁
清 水 清次郎（為寿） 清右衛衛 4人扶持 M1 27才 長徳寺 2丁
清 水 清次郎（甚右衛門，直大） 忠兵衛直好 50俵 M3 44才 本妙寺 10丁
清 水 清八郎（惟亮） 五郎左衛門斯好 120石 M3 56才 大蓮寺 6丁
清 水 誠 六（充徳） 武次郎知徳 100石 M3 47才 善福寺 7丁
清 水 誠 六（知義） 乙吉 18俵 M4 39才 西方寺 5丁
清 水 瀬 平（傳基） 源七 12俵 M4 33才 長徳寺 7丁
(帙 236) 清 水 全太郎（武文） 余祿武義 6人扶持 M3 13才 妙応寺 5丁 2冊
清 水 宗太郎（元光） 宗蔵 12俵 M3 17才 真成寺 3丁
清 水 外 男（昌利） 新左衛門 2人扶持 元治1 12才 2丁
清 水 外 男（道徳） 八郎兵衛 3人扶持 M3 30才 常福寺 5丁 2冊
清 水 外次郎（孝友） 清三 20俵 19才 東本願寺別院 5丁
清 水 太 吉（正一） 太兵衛 20俵 M3 20才 正覚寺 7丁
清 水 他三郎 惟亮 120石 M7 26才 大蓮寺 4丁
清 水 多四郎（亮卿） 又十郎篤卿 100石 M3 61才 仰西寺 8丁
清 水 轍 雄（新左衛門，軌郷） 多四郎 30俵 M3 23才 仰西寺 2丁 2冊
清 水 辰 男 定勝 30俵 M5 16才 長徳寺 5丁
清 水 為 治（房益） 和平 20俵 M3 43才 長福寺 7丁
清 水 忠太郎（朝範） 伊平良孝 18俵 M5 24才 浄土寺 7丁
清 水 伝（伝左衛門，雅休） 常右衛門 20俵 M3 40才 妙源寺 8丁
清 水 伝太夫（与平，京門） 伝兵衛 11俵 M3 60才 聖興寺 3丁
清 水 登茂男（忠信） 弥太郎 20俵 M3 26才 徳栄寺 7丁
清 水 友 作（友之助，忠義） 伊太郎 18俵 M3 6才 浄土寺 5丁
清 水 友 吉（政久） 太助 15俵 M3 24才 真乗寺 3丁
清 水 友七郎（友左衛門，一春） 吉左衛門 4人扶持 M4 長久寺 5丁 2冊
清 水 豊 次 和平 10石 M7 15才 覚照寺 4丁
清 水 半 与三平 20俵 M3 照台寺 8丁
清 水 鍋 吉（知栄） 丈四郎 10俵 M4 西勝寺 6丁
清 水 延 興（甚作） 孫作 20俵 M6 37才 本是寺 2丁 2冊
(帙 237) 清 水 甫（賢次，善左衛門，思順） 久右衛門宗方 50石 M3 45才 仁随寺 6丁
清 水 初三郎（以義） 庄太郎 8俵 M4 29才 上宮寺 3丁
清 水 八 平（六蔵，順） 六蔵弘毅 19俵 M3 64才 西方寺 4丁
清 水 半 七（久之） 半兵衛 11俵 M3 48才 本浄寺 2丁
清 水 彦 之（彦之丞） 八右衛門 20俵

M3　56才　実成寺　7丁

清水　　深（紋左衛門，定義）　判太夫　定清　7人扶持　M3　36才　真成寺　8丁

清水文斎（弼直）　新左衛門安貞　5人扶持　M3　52才　桂岩寺　5丁

清水文太郎　為忠　20俵　M5　17才　西光寺　5丁

清水文平（通政）　九左衛門通之　40俵　M3　56才　長徳寺　16丁

清水平次郎（貞次）　喜三右衛門忠好　13俵　M3　56才　法然寺　7丁

清水平造（平右衛門，与居）　六右衛門与正　14俵　M3　64才　西方寺　4丁

清水平造（忠幸）　平蔵　20俵　M4　45才　本是寺　8丁

清水兵平（兵左衛門，政成）　吉助　20俵　M3　38才　仁随寺　7丁

清水孫作（孝之）　孫太夫　23俵　M4　58才　西方寺　4丁

清水孫平（孫兵衛，源盛）　竹之丞　23俵　M3　44才　瑞泉寺　7丁

清水又勝（弘清）　八平　2人扶持　M4　32才　西方寺　4丁

清水又吉（平之進，脇貞）　判太夫　5人扶持　M3　25才　真成寺　4丁　2冊

清水　　湊（基久）　弥太郎　35俵　M3　19才　長周寺　7丁

清水八百作（信安）　吉平　20俵　M5　16才　光徳寺　8丁

清水弥作（次定）　次兵衛　15俵　M3　60才　本浄寺　3丁

清水安太郎（虎一）　直衛吉則　9人扶持　M4　42才　西方寺　6丁

清水友太郎（正之）　久之助孝之　50俵　M3　25才　妙慶寺　6丁

（帙 238）清水与一（従厚）　助左衛門　20俵　M3　37才　立像寺　8丁

清水余吉郎　左文　30俵　M6　17才　実成寺　8丁

清水余所吉（治秋）　九左衛門道之　35俵　M2　33才　長徳寺　10丁

清水理吉（宗則）　弥三右衛門　15俵　M3　38才　善福寺　4丁

清水　　柳（正信）　弥三右衛門　40俵　M3　47才　浄土寺　10丁

清水龍多（生清）　八左衛門　18俵　M3　23才　名願寺　3丁

清水流平（保之）　太左衛門　7人扶持　M3　41才　永順寺　5丁　2冊

清水柳平（正定）　円右衛門升平　7人扶持　M7　32才　長徳寺　4丁　2冊

清水　　凉（信親）　雄乙　3人扶持　M3　32才　西方寺　5丁

清水和平（良度）　彦助　20俵　M2　59才　覚照寺　5丁

志村　　勇　言従　1,050石　M7　18才　宗龍寺　8丁

志村平吉（言従）　左守言善　1,050石　M3　24才　宗龍寺　12丁

志村平内（杢之進）　五郎太夫　300石　M3　43才　16丁

示野伊作（伊助，助由）　茂兵衛　15俵　M3　33才　願念寺　4丁

示村弥吉（勝次）　武兵衛　1人半扶持　M4　30才　瑞泉寺　2丁

示村矢十郎（氐重）　喜左衛門氐皎　60石　M3　41才　瑞泉寺　8丁

示村与太郎（之一）　善太郎　15俵　M3　19才　聖興寺　4丁

（帙 239）下田京一郎（京介，美啓）　三穎政備　10人扶持　M3　48才　徳蓮寺　6丁

下田吉太郎（規幸）　丈吉　20俵　M3　36才　立像寺　8丁

下田清造（清左衛門，敏行）　平右衛門　20俵　M3　61才　福念寺　4丁

下田他市郎（茂一）　丹治　20俵　M3　24才　真長寺　6丁

下田雅良　敏行　20俵　M6　22才　福念寺　3丁

下田　　盛（和儀）　弥三郎武政　4人扶持　M3　29才　蓮覚寺　3丁

下田与作（信一）　弥市郎　M3　30

才　妙法寺　4丁
下　田　与三郎（年隆）　長兵衛　15俵　M3　22才　瑞泉寺　3丁
下　田　和太郎（守洪）　和平　40俵　M3　21才　妙円寺　6丁
下　田　和　平（守備）　和三左衛門為直　70石　M3　48才　妙円寺　8丁
下　間　幾久男（弥右衛門，頼敬）　津右衛門頼元　3人扶持　M3　60才　三光寺　7丁
下　間　吉　平（信元）　幾久男　2人扶持　M4　56才　当願寺　3丁
下　村　栄次郎　喜一　10石　M7　12才　照円寺　4丁
下　村　嘉一郎（貞明）　左太吉　1人扶持　M3　15才　乗善寺　4丁　2冊
下　村　貫　二（保忠）　仕兵衛正定　30俵　M3　35才　上宮寺　4丁
下　村　喜　一（喜左衛門，助行）　八右衛門　20俵　M3　44才　照円寺　4丁
下　村　喜　平（忠達）　喜右衛門　3人半扶持　M3　49才　蓮福寺　2丁
下　村　久太郎（忠正）　喜平　2人半扶持　M3　16才　蓮福寺　3丁
下　村　儀兵衛（信一）　甚八　5人扶持　M3　38才　正円寺　8丁
下　村　源　太（源蔵，正勝）　源蔵　18俵　M3　17才　東本願寺別院　6丁
下　村　五八郎（忠勝）　八左衛門忠吉　18俵　M3　59才　高岩寺　4丁
下　村　甚　六（直昌）　安右衛門　12俵　M4　81才　妙慶寺　5丁
下　村　佐久馬　甚六　12俵　M6　45才　妙慶寺　5丁　2冊
下　村　仕　平（仕兵衛，正定）　仁右衛門　2人半扶持　M3　64才　上宮寺　3丁
（帙 240）下　村　善四郎（下続）　半助　2人半扶持　M3　56才　光源寺　3丁
下　村　他吉郎　貞次郎　15俵　M7　28才　正覚寺　2丁
下　村　太　作（後忠）　太助　2人扶持　M4　34才　正安寺　3丁
下　村　為太郎（教徃）　伝太夫教詣　9人扶持　M3　27才　本行寺　6丁
下　村　常　男（義正）　常治　20俵　M3　20才　浄智寺　6丁
下　村　鉄　男（則次）　重蔵　3人扶持　M4　30才　本行寺　5丁
下　村　外喜男（時方）　直三　12俵　M4　28才　光教寺　4丁　2冊
下　村　直　三（安清）　善六　10俵　M4　64才　光教寺　3丁
下　村　　済　秀充　15石　M7　19才　西勝寺　6丁
下　村　半　六（秀充）　秀定　3人半扶持　M3　36才　西勝寺　6丁
下　村　彦四郎（直固）　新七直広　6人扶持　M3　42才　乗念寺　5丁　2冊
下　村　平　三（平蔵，光栄）　勘六豊方　29俵　M2　55才　西源寺　8丁　2冊
下　村　　栄（右衛門七，乗義）　平蔵　10俵　M3　27才　西源寺　3丁　2冊
下　村　文次郎（勝久）　文助　1人半扶持　M3　18才　光専寺　3丁　2冊
下　村　文　平（義定）　文太夫　50石　M2　45才　高岸寺　7丁
庄　司　角　次（角左衛門，信愛）　多助　50石　M3　46才　瑞光寺　7丁
庄　司　弥左喜（弥左衛門，正一）　弥左衛門義重　9人扶持　M3　44才　妙福寺　8丁
（帙 241）庄　田　作　馬（作左衛門，従隆）　浮木　140石　M3　47才　永福寺　7丁　2冊
庄　田　左次馬（共之）　小左衛門　2人扶持　M3　39才　玄門寺　5丁　2冊
庄　田　徳三郎（忠行）　左次馬　1人扶持　M3　20才　玄門寺　2丁　2冊
庄　田　左太郎（孝友）　穆翁阜　300石　M3　38才　永福寺　13丁
庄　田　次　平（治左衛門，当信）　治左衛門当宜　M3　40才　長徳寺　7丁
庄　田　　錫（孝親）　誠摩孝廉　1,600石　M3　24才　永福寺　11丁
庄　田　常太郎（武保）　勇左衛門是保　6

人扶持　M3　13才　長徳寺　7丁　2冊

庄田豊哉　助左衛門　20俵　M3　41才　6丁

庄田文五郎（八郎右衛門）　文太夫　21俵　M3　11丁

庄田守衛（十右衛門）　市佑孝憲　150石　M3　50才　永福寺　8丁　2冊

所村磯二（磯之助）　磯右衛門　15俵　M3　54才　照円寺　5丁

白井亥太郎（正廉）　恒之助有恒　40俵　M3　16才　如来寺　7丁

白井清吾（吉左衛門，厚章）　太右衛門　40石　M4　50才　高参寺　5丁　2冊

白石七郎（得之）　藤左衛門秀一　60石　M3　34才　極楽寺　7丁

白石鉄三郎（鉄之介，生之）　七郎得之　30石　M3　11才　極楽寺　7丁

（帙 242）**白江卓馬**（直内）　孫平次直益　100石　M3　30才　妙国寺　8丁

白江徳平（徳左衛門，直次）　衛兵衛賢直　M3　52才　本光寺　4丁　2冊

白江紋平（真美）　嘉一郎　30俵　M3　46才　善徳寺　7丁

白江安太郎（竜右衛門，成名）　休悦　265石　M3　22才　妙国寺　9丁

白川和太利（政直）　善兵衛　15俵　M3　23才　本光寺　3丁

白崎殿（直道）　四郎兵衛直政　70石　M3　57才　承証寺　6丁　2冊

白崎嘉治馬（直載）　澄直道　3人扶持　M3　29才　承証寺　7丁　2冊

白崎恒吉（四郎，顕）　玄水　12人扶持　M3　27才　善福寺　14丁

白崎恒三郎（定知）　3人扶持　M3　26才　浄誓寺　6丁　二冊

~~**白崎恒之丞**（定知）　3人扶持　M2　25才　浄誓寺　2丁~~

白崎孫起（勝之進，信成）　市郎右衛門信広　40石　M3　33才　浄誓寺　6丁

白崎六郎（織人，辰高）　宗右衛門　15俵　M3　28才　会勝寺　3丁

白崎和三郎（一成）　和兵衛　12俵　M4　15才　光照寺　6丁

白崎渉（清弘）　武左衛門貞直　40石　M4　49才　静明寺　4丁

代崎中（宇左衛門，昌中）　卯左衛門昌庸　70石　M3　28才　本法寺　6丁　2冊

神茂（太郎左衛門，義重）　太郎左衛門義保　30石　M3　29才　瑞雲寺　3丁　2冊

神太三郎（厚義）　太郎左衛門義保　15俵　M3　23才　瑞雲寺　3丁

（帙 243）**進士出身**（政醇）　斎宮克忠　620石　M3　32才　高岩寺　12丁

進士仙次郎（克明）　源十郎武教　100石　M3　48才　高岩寺　14丁

進士登左雄　克明　100石　M6　24才　高岩寺　10丁

進士儀雄（武任）　弥門聞楽斎武和　100石　M3　34才　高岩寺　13丁

進藤卯八郎（以詮）　作之助　20俵　M3　37才　西方寺　6丁

進藤才次郎（善房）　安之丞　20俵　M3　38才　法光寺　5丁

進藤甚作（正知）　豊右衛門　18俵　M3　54才　法光寺　6丁

進藤甚八（孝左衛門，寛之）　楽翁言道　300石　M3　45才　浄安寺　10丁

進藤健（一晴）　安衛　2人扶持　M4　16才　立像寺　4丁

進藤多代（四郎左衛門，忠順）　久左衛門忠寛　100石　M3　23才　西方寺　7丁　2冊

進藤安衛（一房）　長兵衛　11俵　M4　51才　立像寺　4丁

（帙 244）**進藤皆衛**（皆右衛門，宝富）　次郎左衛門寛宝　100石　M3　50才　西方寺　8丁　3冊

進藤保三（直之）　良助行安　20俵　M3　33才　立像寺　7丁

神納緑（伊左衛門，勝平）　伊右衛門　1人扶持　M3　26才　東本願寺別院　3丁

神保 磯次郎（立雄） 吉之助照徹 25俵 M3 43才 放生寺 5丁
神保 才三（才蔵，信逸） 又三郎信之 150石 M3 64才 蓮昌寺 9丁
神保 貞右衛門（亮永） 貞右衛門 300石 天保3 66才 盛泉寺 40丁
神保 三（権五郎，成之） 舎人維則 550石 M3 39才 放生寺 14丁 2冊
(帙 245) 神保 七九郎 千次郎 100石 M3 28才 宗竜寺 6丁
神保 千次郎（保之） 如何正継 150石 M3 57才 宗竜寺 15丁
神保 外三郎（信継） 才三信逸 150石 M4 22才 蓮昌寺 9丁
神保 半四郎（照正） 兵馬照令 300石 M3 30才 放生寺 8丁
神保 彦太郎（定保） 宗男箇水 80石 M3 44才 久昌寺 5丁
神保 袁次郎（表蔵，正表） 半蔵正名 180石 M3 19才 久昌寺 11丁
神保 安太郎（正之） 舎人維則 80石 M3 34才 放生寺 9丁
神保 弥（克永） 貞右衛門永孚 300石 M3 24才 盛泉寺 9丁
新保 与（与三郎，知政） 彦三郎 20俵 M3 21才 専光寺 5丁
新保 市三郎（政行） 市兵衛 1人半扶持 M4 73才 慶覚寺 2丁
新保 乙吉（信次） 喜助 15俵 M4 22才 慶恩寺 5丁
新保 一尾（義一） 伊三郎 15俵 M3 19才 光専寺 3丁
新保 吉五郎（幸保） 清五郎 30俵 M3 28才 慶覚寺 10丁
新保 清四郎（紀道） 清五郎 11俵 M4 24才 慶覚寺 3丁
新保 佐吉 八十八 25俵 M6 11才 妙円寺 6丁
新保 茂（九左衛門，祐次） 次右衛門 20俵 M3 39才 慶覚寺 3丁
新保 荘三郎（武知） 惣助 15俵 M3 25才 勝満寺 3丁
新保 小善（小兵衛，有明） 与兵衛 15俵 M3 35才 唯念寺 4丁
新保 清次郎（清勝） 清太夫 20俵 M3 32才 6丁
新保 誠八（宗行） 銀三郎 6人扶持 M3 44才 本光寺 4丁
新保 太一 曽正 6人扶持 M6 3才 本光寺 4丁
新保 他三郎（中正） 弥平 5人扶持 M4 20才 専光寺 4丁
新保 半六（雄左衛門，正富） 半蔵 10俵 M3 45才 専光寺 4丁
新保 与十郎（正清） 与三兵衛 4人扶持 M3 54才 玄門寺 3丁

す 行

(帙 246) 末岡 栄三（忠永） 恒之丞 20俵 M3 34才 広済寺 8丁
末岡 吉三郎（元次） 吉次 2人半扶持 M4 20才 道林寺 4丁
末岡 吉次（吉蔵，元之） 吉蔵 11俵 M3 46才 道林寺 4丁
末岡 源太郎（一東） 小兵衛 15俵 M3 24才 西源寺 5丁
末岡 小平（小兵衛，将之） 弥三太夫 一東 22俵 M3 53才 西源寺 4丁
末岡 七平（景友） 喜兵衛 2人扶持 M3 29才 光専寺 2丁
末岡 伝録（伝兵衛，有方） 伝兵衛 30俵 M3 48才 西光寺 5丁
末岡 久次（賢政） 久兵衛 8俵 M4 真教寺 3丁
末岡 孫作（孫助，定保） 久五郎 15俵 M3 44才 常福寺 4丁
末岡 元次 元吉 11俵 M7 23才 道林寺 3丁
末岡 与吉郎（永清） 与三之助 15俵 M3 27才 善福寺 5丁
末岡 理作（勝元） 仁兵衛 2人扶持 M4 44才 光専寺 3丁
末友 弼秀（吉平） 吉太夫弼寿 9人扶持 M4 35才 名願寺 6丁
末松 善三（良武） 判二 20俵 M3

55才　当福寺　6丁

末松　多喜馬（一道）　丈左衛門一清　55石　M3　34才　法然寺　7丁

末松　　統（直正）　弥兵衛沖直　25俵　M3　36才　安楽寺　8丁

末松　彦三郎　彦右衛門　M6　29才　善正寺　1丁

末松　　広（仙助，直正）　弥兵衛　25俵　文久4　29才　安楽寺　10丁

末松　文吾（道高）　与三右衛門　2人扶持　M4　38才　上宮寺　5丁

末村　三郎（八百記，一常）　又次　3人扶持　M4　27才　光専寺　4丁　2冊

末村　藤馬（藤蔵，道遠）　兵三共之　6人扶持　M5　32才　光専寺　4丁　2冊

末村　兵三（兵左衛門，共之）　藤蔵親秀　6人扶持　M3　62才　光専寺　4丁

(帙 247)　菅田　辰男（義武）　周之丞義継　10俵　M3　23才　妙玄寺　5丁

菅田　八十男（実行）　半左衛門正則　5人扶持　M4　18才　専光寺　4丁

菅田　弥八郎（信兆）　200石　M1　8才　1丁

菅波　他三郎（允外）　勘右衛門以政　30俵　M5　21才　本是寺　4丁

菅原実喜（美喜雄，実是）　覚次郎実輝　200石　M3　22才　宗徳寺　16丁

菅本　會平　清次郎　10俵　M7　20才　慶徳寺　5丁

杉　　弥二（安右衛門，一元）　吟左衛門元次　180石　M3　52才　鶴林寺　9丁

杉浦　乙八郎（寛幸）　永左衛門　2人扶持　15才　東本願寺別院　3丁

杉浦　喜平（友輔）　7人扶持　M3　46才　寿経寺　4丁　2冊

杉浦　庄平（友里）　喜平　14俵　M4　30才　寿経寺　4丁　2冊

杉浦　清六（善左衛門，守継）　庫太守穀　800石　M3　45才　禅栖院　17丁　2冊

杉浦　永久（寛貞）　九右衛門　45石　M4　51才　東本願寺別院　5丁

杉浦　守重　守継　800石　M7　20才　禅栖院　8丁

杉江喜久太郎（氏定）　甚平氏興　35俵　M4　法然寺　5丁

杉江　鐵三郎（洞貫）　久五郎一貫　7人扶持　M3　24才　超雲寺　9丁

杉江　　泮（政和）　助四郎啓佐　200石　M3　29才　雲竜寺　8丁

杉江　雄次郎（政雄）　泮政和　200石　M4　11才　雲竜寺　7丁

杉江　兵八（李左衛門，敏政）　李左衛門邦政　600石　M3　44才　雲竜寺　7丁

杉江　又一（伝兵衛，秀直）　伝八寛澄　170石　M3　37才　高岩寺　9丁

(帙 248)　杉岡　喜三次（政幸）　増右衛門政和　100石　M3　44才　妙泰寺　9丁

杉岡　吉平（吉蔵，知明）　吉郎兵衛　2人半扶持　M3　61才　正覚寺　4丁

杉岡　　錫（江太郎，尚達）　新次　50石　M3　15才　禅栖院　7丁　2冊

杉岡　他作（正一）　吉蔵　12俵　M4　38才　正覚寺　7丁

杉坂　伊左美（伊左衛門，喜共）　式之丞　喜直　130石　M3　27才　本光寺　6丁　2冊

杉坂　治三郎（茂久）　藤崎　5人扶持　M3　43才　本光寺　4丁

杉坂　雄三（敬一）　安次郎喜宗　4人扶持　M3　32才　善隆寺　6丁

杉沢　　巴（宗義）　助三宗愛　22俵　M3　26才　西勝寺　5丁

杉田　作馬（宣忠）　保三由之　6人扶持　M3　34才　聖興寺　4丁　2冊

杉田　元二郎　好忠　10石　M7　10才　等雲寺　6丁

杉谷　清左衛門　忠左衛門　23俵　M3　40才　西勝寺　8丁

杉谷　松五郎（平太夫，正房）　喜左衛門　20俵　M3　47才　超雲寺　5丁

杉谷　弥十郎（直定）　弥一郎　1人半扶持　M5　30才　光現寺　3丁

杉谷　与三郎（金直）　新九郎金雄　35俵

M3　23才　本陽寺　6丁

杉中太平（有角）　太左衛門常延　6人扶持　M3　55才　乗善寺　3丁

杉中有敬　有角　6人扶持　M6　24才　乗善寺　5丁

杉中外与吉　善興　20俵　M6　2才　妙円寺　5丁

（帙 249）杉野一好　庸知　2人扶持　M7　40才　正福寺　3丁

杉野幸九郎（脩近）　貞之助篤見　300石　M3　41才　妙国寺　15丁

杉野省吾（恒人，直道）　覚左衛門弘道　120石　M3　29才　本光寺　8丁

杉野甚作　甚二　15俵　M6　8才　安専寺　3丁

杉野栖麓（他人弥，政直）　郡政忠　200石　M3　21才　竜門寺　17丁　2冊

杉野荘太郎　喜造　10石　M8　14才　浄誓寺　4丁

杉野半三郎　定久　15俵　M6　11才　松月寺　6丁

杉原辰四郎　忠平　18俵　M6　17才　大円寺　3丁

杉原安太郎（敬親）　八郎兵衛政親　23俵　M3　34才　西勝寺　6丁　2冊

杉部八郎（則昌）　清左衛門一忠　50石　M3　46才　静明寺　6丁　2冊

杉部粂二郎（則久）　八郎　2人扶持　文久3　14才　静明寺　3丁

杉部庄作（庄右衛門，命重）　素朴保命　20俵　M3　49才　静明寺　6丁

杉村勘六（明業）　和助政信　10俵　M3　49才　慶覚寺　5丁　2冊

杉村喜久馬（喜左衛門，改知）　久左衛門　11俵　M4　37才　証満寺　4丁　2冊

杉村鍵次郎（久武）　才兵衛　5人扶持　M3　35才　本覚寺　7丁

杉村左豊次（元忠）　左兵衛忠房　40俵　M3　57才　教恩寺　6丁　2冊

（帙 250）杉村繁樹（信以）　長太郎信常　70石　M5　40才　長久寺　5丁　2冊

杉村精一郎（與之）　且随孝思　110石　M5　50才　長久寺　8丁　2冊

杉村直吉（義久）　久之助忠久　5人扶持　M3　32才　本覚寺　6丁　2冊

杉村保男　善七　20俵　M5　22才　広済寺　5丁

杉本五百枝（宗寛）　久太郎義一　180石　M5　26才　妙応寺　17丁

杉本　　憩（信之）　隼之助全好　200石　M3　52才　承証寺　6丁

杉本乙菊　憩　200石　M7　25才　承証寺　6丁

杉本伊三郎（清房）　伊三左衛門　7人扶持　M3　27才　常福寺　6丁

杉本右仲（醴一）　杢左衛門　3人扶持　M2　55才　全昌寺　3丁

杉本且之　一晴　100石　M6　40才　西福寺　8丁

杉本勘六（則正）　文右衛門　2人扶持　M4　23才　正円寺　5丁

杉本義十郎（太左衛門，長重）　右喜助　7人扶持　M3　48才　妙感寺　3丁

杉本駒次郎　長重　7人扶持　M7　16才　妙感寺　3丁

杉本久録（久平）　久蔵　2人扶持　M4　65才　常徳寺　2丁

杉本源治（源兵衛，善令）　源兵衛　15俵　M3　27才　善徳寺　4丁

杉本源造（源蔵，能久）　八左衛門能景　8人扶持　M3　52才　正福寺　7丁　2冊

杉本幸次郎（朝満）　幸助　3人扶持　M4　20才　本長寺　3丁

（帙 251）杉本作之進（偏幹）　作左衛門　8人扶持　M2　18才　全昌寺　9丁

杉本左門（秀寿）　平蔵　28俵　M3　54才　広済寺　15丁　2冊

杉本甚次郎（一義）　甚道　1人半扶持　M5　20才　本長寺　M3

杉本　　性（礼報）　作左衛門礼和　8人扶持　M3　19才　全昌寺　8丁

杉本清次郎（信朝）　清左衛門方朝　3人扶持　天保4　14才　広済寺　9丁

杉本 清次郎（方明） 良左衛門方定 40石 M3 21才 広済寺 5丁
杉本 善四郎（一則） 清助 9俵 32才 西勝寺 3丁
杉本 他作（乗勝） 吉之丞悦邑 3人扶持 M3 34才 慶覚寺 5丁 2冊
杉本 恒次郎（惟和） 和左衛門友貞 40俵 M3 24才 西勝寺 11丁
杉本 伝次（彦右衛門，高重） 八左衛門預一 40石 M3 49才 浄福寺 4丁
杉本 徳三郎（厚重） 幸右衛門昌清 150石 M3 西方寺 10丁
杉本 直冒 直方 130石 M7 34才 松山寺 7丁
杉本 伴七（成章） 無事経則 200石 M3 47才 極楽寺 6丁
杉本 文三（有正） 勘六 2人扶持 M4 39才 5丁
杉本 兵作（朝輝） 和平 12俵 M4 37才 本因寺 6丁
杉本 三百喜（三右衛門，一晴） 瀬左衛門忠吉 100石 M3 69才 西福寺 5丁
杉本 杢（礼一） 杢左衛門礼節 14俵 M3 56才 全昌寺 5丁
杉本 安太郎（久周） 九郎次清周 35俵 M3 30才 即願寺 10丁
杉本 余一（九兵衛，恭） 三六有尚 100石 M3 38才 実成寺 9丁
（峡 252） 杉本 理兵衛（理平，景之） 幸助 3人扶持 M4 44才 本長寺 3丁
杉本 六三郎 徳三郎 10俵 M3 33才 超願寺 5丁
杉本 六次（端左衛門，直方） 半左衛門直為 130石 M3 60才 松山寺 9丁 2冊
杉本 和三郎（政春） 栄助 30俵 M3 23才 西光寺 6丁
杉山 喜三太（義勝） 金之助 20俵 M3 善徳寺 7丁
杉山 義平（正次） 義兵衛 1人半扶持 M4 69才 浄明寺 3丁
杉山 熊吉（直諒） 平左衛門直政 100石 M3 17才 浄住寺 5丁
杉山 敬太郎 三輪 200石 M7 20才 蓮光寺 9丁
杉山 小隼太（延群） 小左衛門 600石 M3 45才 了願寺 9丁 2冊
杉山 延徳 延群 600石 M7 32才 了願寺 6丁
杉山 五平（五兵衛，行篤） 九郎次 18俵 M3 65才 昌柳寺 7丁
杉山 三郎（和左衛門，直温） 和左衛門直徳 40石 M3 33才 長周寺 9丁
杉山 少三（少右衛門，好定） 少助 20俵 M3 23才 光専寺 5丁
杉山 彦一 彦助 18俵 M5 46才 大泉寺 6丁
杉山 文六（有栄） 清助 23俵 M4 56才 常徳寺 3丁
杉山 森二（竜之助，則胤） 彦助 20俵 M3 22才 極楽寺 6丁
杉山 八十平（八兵衛，正平） 伊三郎 23俵 M3 33才 昌柳寺 7丁
杉山 径（正建） 大助 20俵 M3 34才 妙円寺 5丁
（峡 253） 杉若 勇 勇作 21俵 M4 32才 唯念寺 4丁
杉若 磯八（正方） 橘蔵 24俵 M4 55才 唯念寺 5丁
杉若 左太郎（有之） 十太由 1人扶持 M3 18才 仁随寺 4丁
杉若 十太由（代治，成光） 喜平太兼次 40石 M3 42才 仁随寺 8丁 2冊
寸崎 安三郎（訓成） 安左衛門昌訓 230石 M3 22才 妙典寺 7丁
洲崎 久平（譲） 喜左衛門 20俵 M3 39才 仰西寺 9丁
洲崎 三郎（沢右衛門，従之） 市左衛門 6人扶持 M3 39才 慶恩寺 4丁 2冊
洲崎 錬太郎 徳温 20俵 M7 12才 妙典寺 4丁
鈴木 沙（善太郎，政折） 儀門通温 50石 M3 22才 蓮覚寺 10丁 2冊

鈴木 於免男（一光） 甚右衛門 40俵 M3 25才 浄安寺 5丁

鈴木 音三（音左衛門，忠治） 市之丞 24俵 M3 39才 慈雲寺 4丁 2冊

鈴木 嘉内（敦蕪） 橘左衛門 11俵 M3 32才

鈴木 義三郎（明順） 平太郎明久 70石 M3 27才 妙玄寺 6丁

鈴木 喜十郎（英知） 伝平 40俵 M4 48才 昌柳寺 7丁

鈴木 幾太郎（知康） 甚之丞 20俵 M3 19才 善徳寺 6丁

鈴木 久作（幸保） 久平寛幸 3人半扶持 M3 15才 上宮寺 4丁

鈴木 儀六（久敬） 60石 M4 43才 西方寺 3丁 2冊

鈴木 金三郎（克忠） 五兵衛希博 70石 M3 17才 名願寺 12丁

鈴木 金太郎 清八 15俵 M7 7才 空善寺 4丁

（峡 254） 鈴木 九太郎（茂平） 宅左衛門 15俵 M4 71才 静照寺 6丁

鈴木 啓次郎（惟和） 甚太夫惟基 40俵 M3 26才 光専寺 8丁

鈴木 元吉（忠順） 元泰守寛 5人扶持 M3 14才 善徳寺 4丁

鈴木 建作（貞茂） 六郎兵衛貞行 35俵 M3 55才 印勝寺 7丁

鈴木 貞好 貞茂 35俵 M5 25才 印勝寺 5丁

鈴木 顕三郎（顕正） 吉太夫重古 6人扶持 M3 27才 専光寺 4丁

鈴木 元太郎 柔 8人扶持 M7 17才 瑞光寺 6丁

鈴木 幸吉 幸三郎直賢 20俵 M5 7才 名願寺 7丁

鈴木 幸平（昆吉） 甚作 6人扶持 M4 42才 勘帰寺 3丁

鈴木 こま 則之 10石 M7 本性寺 4丁

鈴木 権之介（貞忠） 権九郎貞勝 30石 M2 46才 興徳寺 7丁

鈴木 権兵（権兵衛，正暉） 孫八郎直永 9人扶持 M3 長久寺 9丁

鈴木 左吉郎（武道） 常吉 11俵 M3 20才 聖興寺 3丁 2冊

鈴木 しけ 幸蔵 20俵 M8 24才 名願寺 8丁

鈴木 成雄（唯右衛門，武重） 唯右衛門定道 100石 M3 41才 極楽寺 8丁 2冊

鈴木 茂（教道） 又助道信 5人扶持 M3 19才 徳栄寺 7丁

鈴木 七三郎 7俵 M6 8才 聖興寺 4丁

鈴木 七郎（成美） 七郎 30俵 M3 38才 光専寺 10丁

鈴木 純一（忠正） 五兵衛希博 200石 M3 22才 名願寺 10丁

鈴木 順作（尚清） 源太夫 6人扶持 M2 44才 妙法寺 3丁

（峡 255） 鈴木 尉五郎（義質） 惣左衛門 M4 47才 本長寺 8丁

鈴木 庄馬（庄左衛門，衛道） 清太夫致亮 70石 M3 59才 安楽寺 7丁 2冊

鈴木 四郎（貞忠） 権九郎貞勝 30石 M∞ 47才 興徳寺 8丁

鈴木 甚吾（常伸） 伊左衛門是伸 40石 M3 38才 西勝寺 4丁

鈴木 信造（顕允） 信吾 10俵 M3 15才 善福寺 9丁

鈴木 甚六（甚蔵） 甚蔵 20俵 M3 49才 仰西寺 6丁

鈴木 清三郎（貞一） 権之介 3人扶持 M2 20才 興徳寺 5丁

鈴木 清三（高朗） 助左衛門 300石 M3 27才 宗竜寺 13丁

鈴木 清太夫（清馬，久左衛門，矩直） 久左衛門矩次 22俵 M3 42才 三光寺 10丁 2冊

鈴木 惣次（惣右衛門，末友） 伴九郎 5人扶持 M3 61才 観帰寺 4丁 2冊

鈴木武次郎（幾喜） 善左衛門 40俵 M3 11才 本是寺 6丁

鈴木辰四郎（昔孝） 藤馬昔厚 7人扶持 M3 27才 本行寺 6丁

鈴木辰与聞（辰右衛門，正常） 瀬兵衛 教正 180石 M3 63才 広昌寺 11丁

鈴木伝平（英通） 源右衛門知寛 40俵 M3 80才 昌柳寺 6丁

鈴木藤一郎（重則） 一馬 250石 M3 26才 広誓寺 11丁

鈴木藤作（藤正） 小右衛門 2人扶持 M4 47才 安楽寺 3丁

鈴木訥平（信左衛門，行） 朝霞和儀 50俵 M3 71才 善福寺 7丁

鈴木交茂 弥三男 9石 M8 19才 専長寺 7丁

（帙256） 鈴木虎太郎（智舛） 吟左衛門知正 100石 M3 41才 三宝寺 7丁

鈴木鳴海（成章） 三左衛門久幸 14俵 M3 30才 徳栄寺 7丁

鈴木八郎平（森正） 八寿見 4人扶持 M3 25才 珉徳寺 3丁 2冊

鈴木隼太 衛道 70石 M5 22才 安楽寺 8丁

鈴木平雄（資富） 清兵衛 30俵 M3 48才 勧帰寺 7丁

鈴木文治（啓蔵，則之） 次太郎 20俵 M3 26才 本姓寺 6丁

鈴木文造（義方） 永太郎成之 80石 M3 53才 名願寺 6丁

鈴木孫三（永則） 孫右衛門 15俵 M3 24才 専光寺 3丁

鈴木孫八（只祐） 弥三男 10俵 M4 29才 道入寺 5丁

鈴木正富 平雄 30俵 M7 13才 松山寺 5丁

鈴木茂平（政清） 仙友直政 150石 M3 52才 妙玄寺 6丁

鈴木弥次郎（珍） 立白直彦 10人扶持 M3 37才 仰西寺 12丁

鈴木与四郎（正秀） 与三右衛門 7人扶持 M3 22才 全性寺 6丁

（帙257） 鈴木里余（茂友） 武次郎 2人扶持 M4 12才 仰西寺 6丁

鈴木良準（柔） 柳崖 8人扶持 安政4 瑞光寺 9丁

鈴木　亘（有全） 次郎右衛門 130石 M3 37才 妙泰寺 9丁

鈴坂太平（太左衛門，勝行） 太左衛門 2人扶持 M4 45才 聖興寺 3丁

須田吉四郎（義章） 権丞義幸 60石 M3 17才 霊泉寺 7丁

須田徳兵衛（直之） 藤左衛門 3人扶持 M3 56才 智覚寺 3丁

須田直以（半助，綏之） 徳兵衛直之 50石 M3 18才 智覚寺 6丁 2冊

須田文平（由久） 儀兵衛由信 50石 M3 29才 賢聖坊 7丁

住田元五郎（興，幸孝） 甚八直之 15俵 M3 21才 本光寺 7丁

陶山幸次郎 喜太夫 5人扶持 M3 28才 大円寺 6丁 2冊

諏訪　茂（栄三郎，好武） 重左衛門好方 50俵 M3 20才 興徳寺 5丁

諏訪八郎（師文） 八左衛門師彭 60石 M3 28才 承証寺 8丁

諏訪　渡（九左衛門，全方） 竜左衛門全房 30俵 M3 55才 興徳寺 8丁

せ　行

（帙258） 瀬尾一三 一八 50石 M7 18才 波着寺 4丁

瀬尾一八（一左衛門，清久） 市郎右衛門清茂 50石 M3 57才 波着寺 6丁

瀬尾往来（八十左衛門，忠頼） 八十八忠順 200石 M3 32才 慶恩寺 10丁 2冊

瀬尾　要（要人，貞矩） 平進貞畳 120石 M3 58才 極楽寺 11丁 2冊

瀬尾平也（貞規） 要人貞矩 5人扶持 M3 39才 極楽寺 6丁 3冊

瀬尾東馬（藤兵衛，尚義） 東馬尚昌 50石 M3 49才 智覚寺 4丁

瀬尾文三郎（忠信） 仁右衛門忠之 50

石 M3 55才 慶恩寺 10丁

瀬尾与一（与右衛門，徳宝） 甚右衛門定宝 7人扶持 M3 42才 広誓寺 4丁

瀬川宇平（為孝） 宇左衛門信道 30俵 M3 66才 立像寺 10丁

瀬川久三（久右衛門，民章） 我笑成章 170石 M3 57才 妙法寺 12丁

瀬川幸馬（為誠） 宇平 30俵 M3 39才 立像寺 7丁

瀬川甚作（宗直） 佐左衛門宗有 14俵 M3 58才 西光寺 9丁 2冊

瀬川彦四郎（信一） 兵右衛門信直 5人扶持 M3 13才 妙法寺 8丁 2冊

（峡 259） 瀬川益男（正房） 清右衛門憲律 4人扶持 M3 19才 超願寺 6丁

瀬川与一郎（与一右衛門，季行） 工郎兵衛久行 55石 M3 48才 西源寺 7丁 2冊

関伊太郎（伊之助，元平） 又三郎豊成 80石 M3 10才 大円寺 5丁 2冊

関 貫平（正為） 左太夫 40石 M2 40才 大円寺 9丁

関 久平（秀鋭） 小太郎秀万 150石 M4 39才 本因寺 8丁

関 熊（左織，勝重） 兵次郎勝芳 50俵 M3 24才 本光寺 7丁

関 熊吉（重安） 善左衛門 4人扶持 慶応4 15才 5丁

関 幸作（喜之） 市右衛門由昌 70石 M3 50才 実成寺 5丁 2冊

関 香雪（河上遙，香，三郎，秋香） 誠左衛門敬典 2人扶持 M3 27才 長周寺 5丁 2冊

関 周吉（懿徳） 周庵 2人扶持 慶応4 17才 竜国寺 2丁

関 周節（周進，周庵，肆義，信篤） 周庵信篤 60石 M3 41才 竜国寺 7丁 2冊

関 順作（順左衛門，敬義） 6人扶持 M3 31才 報恩寺 4丁 2冊

関 善哉（官之丞，善左衛門，重材） 善左衛門重弘 60石 M3 44才 本因寺 10丁 2冊

関 銑太郎（時叙） 由之助時重 60石 M3 23才 法光寺 9丁

関 兵次郎（勝芳） 助左衛門佐流 100石 M3 54才 本光寺 6丁

（峡 260） 関 正男（篤昌） 折三篤 10人扶持 M5 19才 報恩寺 3丁

関 保太郎（正実） 余所男実成 9人扶持 M3 21才 本性寺 10丁

関 弥八郎（孝信） 七左衛門 100石 M3 50才 慶覚寺 10丁

関 友閑（与左衛門，豊済） 武兵衛 80石 安政3 50才 大円寺 10丁

関 余所鉄（孝敬） 栄翁孝之 150石 M3 32才 慶覚寺 8丁

千木藤七（正国） 市郎右衛門 2人扶持 M4 57才 東本願寺別院 3丁

関口丈平（五郎兵衛，常並） 市右衛門常之 23俵 M3 41才 鶴林寺 7丁 2冊

関口 開（武達） 善啓勝武 40俵 M3 29才 妙慶寺 7丁

関沢孝三郎（明清） 遯翁 60俵 M3 東光院 7丁

関沢称平 五郎 18俵 M7 24才 蓮光寺 5丁

関沢鉄太郎（房矩） 安太郎定房 250石 M4 3才 東光院 10丁 2冊

関沢安次郎 安太郎 250石 M5 2才 東光院 7丁

関野治平（久行） 治郎太夫久英 7人扶持 M3 24才 国泰寺 5丁

関屋八平（政成） 平馬政恒 200石 M3 53才 法船寺 12丁

関屋庸平（佐左衛門，政信） 一学政均 1,050石 M3 46才 法船寺 26丁

瀬戸忠太（恒知） 理右衛門 22俵 M4 54才 円満寺

瀬戸弥吉郎 忠太 22俵 M5 14才 円満寺 9丁

(帙 261) 瀬波善蔵（道厚） 与右衛門 2人半扶持 M4 42才 西源寺 3丁
瀬野信矢（勝久） 庄八 7人扶持 M3 23才 蓮福寺 7丁
瀬野平六（祐之） 又太夫 9人扶持 M3 41才 太岩寺 6丁
瀬山茂太郎 17俵 M3 23才 慶恩寺 4丁
世良田勝重 勝興 105石 M7 28才 立円寺 6丁
世良田三郎（李左衛門，勝興） 七兵衛勝吉 105石 M3 29才 立円寺 7丁 2冊
世良田童男（勝重） 早休 2人扶持 M3 24才 立円寺 5丁
仙石堅二（堅二郎，政直） 内匠政学 2,000石 M3 35才 高岸寺 13丁 2冊
仙石徳十郎（久勝） 通之助久直 300石 M3 45才 高岩寺 14丁
千秋織平（織人，良一） 権之介良譲 400石 M3 44才 妙成寺 17丁
千秋覚弥（茂右衛門，盛征） 豊太夫信章 50石 M3 36才 妙泰寺 6丁 2冊
千秋喜内（茂弘） 才次郎保茂 6人扶持 M3 48才 本行寺 7丁
(帙 262) 千秋堅三郎（範正） 順之助藤範 80石 M3 13才 妙成寺 10丁
千秋栄（季諧） 半丞季凝 400石 M3 56才 瑞光寺 9丁
千秋三辰（辰蔵，秀穎） 左蔵秀範 200石 M3 31才 妙成寺 12丁
千秋省三（信克） 周二郎信澄 400石 M3 33才 大乗寺 10丁
千秋次郎勝（勝左衛門，範忠） 三郎兵衛範知 500石 M3 38才 鶴林寺 17丁
千秋季雪（民之佐） 季諧 400石 M6 31才 瑞光寺 11丁
千秋良左（良左衛門，久次） 判太夫良久 100石 M3 24才 妙成寺 7丁
千秋錬太郎（良知） 余所三郎 150石 M5 4才 妙成寺 10丁
千田卯三郎（知則） 和平 2人扶持 慶応4 16才 本妙寺 2丁
千田和平（勝久） 和太夫政勝 17俵 M3 51才 本妙寺 5丁 2冊
千田久太郎 忠作 13俵 M6 12才 善徳寺 4丁
千田きん 新造 15俵 M8 15才 法船寺 5丁
千田源吾（源蔵，福氏） 全左衛門庸命 70石 M3 36才 本光寺 9丁
千田茂太郎（治直） 小一右衛門申之 250石 M3 28才 極楽寺 14丁
千田新蔵（新助，可富） 藤作 3人扶持 M3 48才 法船寺 6丁 2冊
(帙 263) 千田清六（快孝） 勘左衛門信孝 100石 M3 47才 真行寺 8丁
千田忠作（忠蔵，重信） 久蔵重正 13俵 M3 52才 善徳寺 4丁
千田のぶ 太四郎 20俵 M6 8才 永照寺 3丁
千田万録（六左衛門，公正） 庄太夫公共 M3 29才 浄光寺 8丁 2冊
千田立作（喜右衛門，友之） 津兵衛 50石 M3 44才 乗光寺 5丁 2冊
千野彦四郎 彦四郎 15俵 M6 58才 東本願寺別院 3丁
千羽小三郎（貞年） 義左衛門貞勝 11俵 M3 23才 祐専寺 4丁 2冊
千羽種菊（正之） 彦太夫 350石 M3 14才 因徳寺 6丁
千羽彦六（勝元） 伝蔵 30俵 M3 41才 法然寺 10丁

そ 行

(帙 264) 祖泉一二（顕忠） 太左衛門 2人扶持 M4 27才 専徳寺 3丁
祖泉留男（正和） 小平 2人扶持 M4 28才 専徳寺4丁
副田左次馬（本章） 源四郎本秋 120石 M3 45才 希翁院 9丁
副田常五郎（一貞） 佐兵衛 25俵 M

4　26才　妙典寺　7丁
會川一郎（斜，敬政）　藤作　20俵　M3　22才　経王寺　4丁
會川乙三郎（義次）　亥三郎　3人扶持　文久3　浄光寺　5丁
會川升平（敦厚）　長太夫　4人扶持　文久3　66才　慶覚寺　6丁
會川寅次郎（栄太郎，敦忠）　升平敦厚　4人扶持　M3　29才　慶覚寺　6丁　2冊
會川虎之助（義之）　乙三郎　3人扶持　M2　13才　浄光寺　2丁
會川虎松（一之）　渡一昌　3人扶持　M3　13才　浄光寺　2丁
會川　渡（一昌）　亥三郎為義　3人扶持　M3　37才　浄光寺　4丁
蘇川太四郎（正則）　3人扶持　M3　22才　放生寺　4丁
會田儀太郎（毅知）　甚太夫毅直　20俵　M5　29才　本覚寺　5丁　2冊
會田源三郎（源之進，定俊）　新六　18俵　M3　26才　蓮福寺　4丁
會田孝次郎（政施）　庄大夫政忠　150石　M3　40才　本光寺　7丁
會田静三（吉左衛門，正雄）　源蔵政倹　250石　M3　40才　本光寺　10丁
會根田　久（広純）　久太夫　5人扶持　M4　59才　心蓮社　4丁
會根田もと　与一　20俵　M7　17才　光現寺　5丁
會根田元次（信之）　元三郎　25俵　M4　27才　妙国寺　8丁
會根田吉郎（忠一）　丈助　30俵　M3　53才　妙国寺　8丁
（帙265）園　覚（才之助，定良）　孫左衛門　定章　70石　M3　23才　法船寺　11丁　2冊
園　七五三（之直）　全之　200石　M3　18才　安楽寺　6丁
園　政次郎　覚　70石　M7　14才　法船寺　9丁
園木彦九郎（行尚）　平三郎　40俵　M3　25才　法船寺　5丁
園田一太郎（朝忠）　一兵衛朝敏　300石　M3　44才　本光寺　12丁
園田　要（朝之）　一兵衛朝敏　62俵　M3　37才　本光寺　16丁
園田勝太郎（豊勝）　才右衛門豊昭　27俵　M3　29才　西養寺　6丁　2冊
園田喜三郎（良久）　喜兵衛　1人半扶持　M4　27才　円休寺　3丁
園田久三郎（久平）　庄助　15俵　M3　24才　来生寺　4丁
園田匡郎（秀孝）　八十射秀堅　150石　M3　32才　西養寺　7丁
園部勘十郎（熙純）　勘左衛門　20俵　M3　20才　放生寺　7丁
園部喜一郎（徹直）　嘉久平守身　40俵　M3　禅栖院　8丁
園部喜三郎（保連）　平八郎保之　40俵　M3　35才　法光寺　6丁
園部喜太郎（勝藤）　永太郎　20俵　M3　25才　放生寺　7丁
園部元吉（照之）　仙次郎昭氏　80石　M4　33才　法光寺　6丁　2冊
（帙266）園部甚太（甚太夫，成孝）　左助　23俵　M3　71才　法光寺　6丁
園部新平（命幸）　平八郎保之　120石　M3　45才　法光寺　8丁
園部鎗吾（鎗吾郎，正友）　清三郎友直　40俵　M3　32才　禅栖院　8丁
園部藤馬（昌信）　五郎右衛門有信　140石　M3　24才　香林坊　7丁　2冊
園部八平（則一）　宗九郎照明　100石　M3　58才　法光寺　7丁
園部与作（茂則）　与兵衛　12俵　M3　54才　光教寺　4丁
園部由次郎（愛秀）　少之助　20俵　M3　35才　広済寺　8丁
園部良作（充順）　伊太夫　25俵　M3　50才　法光寺　9丁

た　行

（帙267）田井辰治（辰左衛門，茂房）　30石

M4　36才　善福寺　3丁　2冊
田井直次（直右衛門，定之）　伊右衛門信之　15俵　M3　48才　善福寺　3丁
平　三郎（寿盛）　三休豊盛　100石　M5　31才　久昌寺　14丁
平　三休（三郎左衛門，清丞，豊盛）　木工佑昌盛　100石　M3　55才　久昌寺　13丁　2冊
平　保十郎（盛直）　昌次郎盛家　10人扶持　M3　34才　久昌寺　8丁　2冊
田内文太郎（敬孫）　素随世顕　200石　M3　41才　妙慶寺　10丁
髙　清吾（実一）　徳兵衛　15俵　M3　30才　慶覚寺　6丁
多賀　鰍（直春）　数馬直良　5,000石　M3　24才　大乗寺　13丁
多賀源介（直道）　典膳富隣　2,700石　M3　49才　大乗寺　12丁　2冊
多賀直竿　直道　2,700石　M6　24才　大乗寺　5丁
多賀　楽（建物，定正）　於菟助維貞　400石　M3　23才　大乗寺　16丁
高井才二（義秀）　平作　18俵　M3　29才　東漸院　5丁
高井半四郎（義祐）　半兵衛　15俵　M3　33才　光専寺　3丁
高井保太郎（信久）　保平　15俵　M4　本浄寺　4丁
高井保平（保之丞，昌信）　和右衛門　20俵　M3　63才　本浄寺　3丁
（帙 268）高尾伊三郎（督久）　清兵衛　11俵　M4　31才　真成寺　8丁
高尾宇三郎（定幸）　甚右衛門　18俵　M3　28才　最勝寺　5丁
高尾喜久馬（七右衛門，雅智）　七郎兵衛　25俵　M3　妙法寺　3丁
高尾左吉（芥辰）　儀右衛門　2人扶持　M3　43才　大円寺　3丁
高尾太郎吉（秀貞）　和兵衛　15俵　M3　28才　光教寺　3丁
高尾常次郎（雅則）　七右衛門　15俵　M3　17才　妙法寺　3丁
高岡貞三郎（義丘）　与兵衛　20俵　M3　32才　竜門寺　4丁　2冊
高木有胤　有制　60石　M7　17才　7丁
高木亥三郎　数枝美暢　100石　M6　5才　等願寺　7丁
高木伊八郎（則久）　伊三兵衛　20俵　M3　30才　善徳寺　6丁
高木伊平次（伊助，知定）　伊助　18俵　M3　52才　瑞泉寺　3丁
高木為楽（兵左衛門，保喬）　要助　35俵　M3　60才　本是寺　8丁
高木折次郎　為楽　35俵　M5　12才　本是寺　6丁
高木右左美（直勝）　右八郎　20俵　M3　46才　乗善寺　8丁
高木永太郎　久教　1,000石　M7　19才正福寺　7丁
高木折八（源右衛門，正一）　右平太恭立　35俵　M3　69才　願楽寺　5丁
高木嘉十郎（正之）　宅右衛門　11俵　M4　31才　上宮寺　4丁
高木嘉八郎（久之助，基秀）　次三郎　18俵　M3　27才　乗善寺　6丁
高木喜太郎（一元）　喜八　15俵　M3　三光寺　4丁
高木久平（太兵衛，正之）　安兵衛　2人扶持　M3　43才　光専寺　3丁
高木熊次郎（茂元）　弥兵衛　15俵　M3　20才　西源寺　3丁
高木源太郎（正則）　源右衛門　35俵　M3　16才　願楽寺　2丁
（帙 269）高木幸作（祐恒）　伝兵衛　1人半扶持　M4　50才　善徳寺　3丁
高木孝七（小左衛門，久教）　由三久忠　1,000石　M3　44才　正福寺　13丁
高木降平（惣左衛門，成美）　予六郎安代　4人扶持　M3　61才　西光寺　6丁　2冊
高木是治男（竜左衛門）　三四郎　15俵　M3　26才　聞願寺　4丁
高木作男（作左衛門，秀正）　儀次郎

18俵 M3 47才 因徳寺 4丁
高木定吉（久平） 弥兵衛 15俵 M3 39才 願勝寺 2丁
高木三郎（三郎兵衛，定好） 次郎兵衛 35俵 M3 60才 西勝寺 4丁
高木　稠（甚之丞，尚義） 甚左衛門 20俵 M3 22才 仰西寺 4丁
高木秀作（信道） 文川 2人扶持 M3 23才 等願寺 6丁
高木準平（政一） 八兵衛 15俵 M3 27才 専光寺 3丁
高木新次郎（政勝） 長左衛門 18俵 M3 42才 雲竜寺 5丁
高木新平（尚信） 雄左衛門 6人扶持 文久3 30才 法光寺 6丁
高木祐春（定好） 数右衛門 3人扶持 M3 51才 本覚寺 10丁
高木清吉（義盛） 与三郎 15俵 M4 41才 広済寺 4丁
高木誠太郎 則正 30俵 M6 7才 敬栄寺 5丁
高木清八（虎一） 清八 2人扶持 M5 28才 恵光寺 3丁
高木他左衛門（勝房） 長左衛門 2人扶持 M5 22才 雲竜寺 5丁
高木鉄男（為則） 弥吉 18俵 M4 25才 上宮寺 5丁
高木藤十郎（豊房） 駒太郎彦太夫 20俵 M3 25才 厳照寺 5丁
高木　貫（信忠） 貫斎 25俵 M3 29才 本妙寺 9丁
高木直作（信根） 茂庵 9人扶持 M2 54才 乗光寺 10丁
（帙 270） 高木　登（安之丞，清定） 仁右衛門 2人扶持 文久3 22才 智覚寺 2丁
高木春孝 祐春定好 4人扶持 M5 15才 本覚寺 7丁
高木　久（知久） 錐左衛門知一 50俵 M3 27才 成学寺 8丁
高木桃二郎 直勝 20俵 M6 5才 乗善寺 5丁
高木文吾（成允） 惣左衛門 3人扶持 M3 26才 西光寺 4丁
高木文三郎（正回） 文五郎 20俵 M3 16才 本妙寺 5丁
高木平二（直正） 平右衛門 1人半扶持 M4 39才 善徳寺 4丁
高木平七（祐平） 安右衛門祐之 100石 M3 68才 願楽寺 9丁
高木祐一 祐平 100石 M6 29才 願楽寺 9丁
高木豊吾（秀網） 与兵衛 11俵 M3 23才 西光寺 4丁
高木孫九郎（茂村） 孫次 15俵 M3 28才 西方寺 4丁
高木孫次（周安） 与兵衛 20俵 M3 72才 西方寺 5丁
高木正直 正則 100石 M8 13才 本行寺 6丁
高木　貢（忠一） 和平 15俵 M3 25才 西勝寺 4丁
高木守衛（有制） 左右次 60石 M3 49才 西方寺 4丁
高木弥三八（一和） 弥助 2人扶持 M4 55才 善徳寺 2丁
高木雄平（珍正） 和左衛門 5人扶持 M3 22才 瑞雲寺 4丁
高木与平（与兵衛，昌一） 清太夫 30俵 M3 61才 全性寺 7丁
高木与一 与平昌一 30俵 M5 16才 全性寺 6丁
高木与吉郎（直義） 蟻之助 15俵 M3 14才 乗善寺 8丁
高木六郎（守右衛門，久延） 由三久忠 M3 31才 正福寺 10丁
高木和太郎（昌則） 和左衛門 5人 扶持 M3 21才 瑞雲寺 5丁
高木和平（嘉幸） 治平 12俵 M4 61才 西勝寺 3丁
高城織太郎（市之丞，慶忠） 織之助 15俵 M3 4才 聖興寺 4丁
（帙 271） 高岸源六（定勝） 平兵衛 11俵 M4 48才 善照坊 5丁
高岸多平（定行） 平兵衛 5人扶持

M4　43才　善照坊　3丁
高　岸　為　三（佐治右衛門，延成）　助三元秀　10俵　M3　50才　妙典寺　3丁
高　口　清三郎　範吾　35俵　M5　等願寺　4丁
高　口　　務（辰左衛門）　辰平　25俵　M3　27才　等願寺　5丁
高　口　正　春（盛）　作兵衛　25俵　M4　23才　等願寺　6丁
高　倉　伊　作（伊左衛門，磯義）　磯右衛門　1人半扶持　M4　50才　光専寺　3丁
高　倉　市三郎（茂良）　惣左衛門　6俵　M5　27才　上宮寺　3丁
高　倉　小三郎（清定）　友平　20俵　M4　25才　全性寺　8丁
高　倉　宅次郎（義致）　与三助　20俵　M3　35才　妙輪寺　3丁
高　倉　　寳（源之丞，周房）　次太夫　20俵　M3　47才　全性寺　5丁
高　倉　八百三（精一）　権太夫　10人扶持　M3　55才　極楽寺　4丁　2冊
高　倉　弥三郎　与三助　20俵　M5　19才　妙輪寺　3丁
高　倉　弥三八（知栄）　久太夫　M3　53才　安楽寺　8丁
高　桑　温　知　伝七　24俵　M6　21才　6丁
高　桑　　勇（勇太郎，正祥）　兎喜正氏　45石　M3　12才　経王寺　5丁
高　桑　猪太郎（義勝）　猪六　20俵　M3　30才　経王寺　5丁
高　桑　一　木（文左衛門，為行）　忠右衛門長能　8人扶持　M3　50才　安楽寺　5丁　2冊
高　桑　栄　伝（昌時）　伝九郎　2人扶持　M4　18才　慶恩寺　3丁
高　桑　覚　二（惟一）　茂平守一　33俵　M4　28才　興徳寺　9丁
高　桑　吉太郎（康武）　徳三郎知武　15俵　M3　21才　大蓮寺　4丁
高　桑　義　平（重一）　吉兵衛　13俵　M4　20才　大泉寺　3丁
高　桑　久次郎（寛安）　安右衛門　1人半扶持　M4　50才　本遠寺　4丁
高　桑　久太郎（道隆）　文次郎　20俵　M3　25才　極楽寺　5丁
高　桑　久　平（寛信）　和太夫　20俵　M3　43才　東本願寺別院　4丁
（帙 272）高　桑　清　秀　右平　18俵　M7　24才　玄光院　3丁
高　桑　金　吾（清左衛門，雅景）　右仲雅良　85石　M3　40才　妙玄寺　6丁　2冊
高　桑　金太郎（延宗）　平左衛門延房　7人扶持　M3　37才　了願寺　7丁　2冊
高　桑　久米治（辰秋）　伊助　2人扶持　M4　44才　光教寺　3丁
高　桑　定　七（定義）　仙次郎　15俵　M4　34才　蓮昌寺　5丁
高　桑　佐太郎（盛義）　四郎右衛門　15俵　M3　24才　敬栄寺　3丁
高　桑　茂　男（猪之吉，恭房）　作兵衛恭村　30石　M3　21才　慈雲寺　6丁　2冊
高　桑　卯　盛（倫行）　次郎兵衛貞清　40石　M3　23才　広済寺　7丁　2冊
高　桑　茂　利（清忠）　弥右衛門　20俵　M3　33才　専光寺　7丁
高　桑　七　喜（七郎右衛門，永正）　善左衛門成久　70石　M3　54才　正福寺　5丁　2冊
高　桑　　鄰（友之助，一則）　紋左衛門　20俵　M3　59才　蛮昌寺　6丁
高　桑　篁　吾（只芳）　小左衛門　25俵　M3　50才　名願寺　5丁
高　桑　重　三（重右衛門，重次）　武兵衛　5人扶持　M3　44才　林幽寺　3丁
高　桑　純　一（次右衛門，理）　次右衛門直之　55石　M3　51才　蓮昌寺　7丁　2冊
（帙 273）高　桑　省　吾（政信）　甚助　2人扶持　M3　45才　乗善寺　2丁
高　桑　新　吾（甚太夫，正久）　孫六　20

俵 M3 28才 西方寺 6丁
高 桑 新次郎（武信） 治左衛門 5人扶持 M3 28才 妙円寺 3丁
高 桑 新太郎（一忠） 惣太夫 15俵 M3 14才 立像寺 5丁
高 桑 甚太郎（安成） 久太夫 1人扶持 M4 22才 本誓寺 3丁
高 桑 新之丞（竹信） 次左衛門 5人扶持 M2 27才 妙円寺 1丁
高 桑 甚 平（克善） 七之丞 12俵 M4 30才 専光寺 7丁
高 桑 誠 馬（誠左衛門，一則） 喜助友吉 24俵 M3 58才 名願寺 6丁
高 桑 保（良幸） 新右衛門 20俵 M4 50才 常福寺 8丁
高 桑 忠 造（斌兼） 伊三郎久豊 25俵 M3 28才 静明寺 6丁
高 桑 常 三（有政） 長四郎 20俵 M3 25才 林幽寺 6丁
高 桑 藤 造（藤蔵，義則） 茂兵衛 20俵 M3 30才 妙立寺 8丁
高 桑 一（好正） 勘六 30俵 M3 27才 上宮寺 8丁
高 桑 繁三郎（義正） 彦右衛門 20俵 M3 24才 慶恩寺 5丁
高 桑 彦 一（具清） 忠人扶持 具爾 40俵 M3 39才 極楽寺 8丁
高 桑 孫八郎（忠基） 喜八 20俵 M3 22才 蓮昌寺 4丁
高 桑 政五郎（伝左衛門，義政） 伝太夫重之 55石 M3 35才 常徳寺 8丁
高 桑 以 敬 理平 25俵 M8 23才 善証寺 4丁
高 桑 紋太郎（正則） 友之助 15俵 M3 23才 蛮昌寺 6丁
高 桑 弥一郎（信俱） 八十太夫章俱 7人扶持 M3 72才 善福寺 5丁
高 桑 弥四郎（経長） 庄左衛門 20俵 M4 35才 西光寺 7丁
（峡 274） 高 桑 安三郎（知一） 喜休知礼 120石 M4 妙慶寺 7丁
高 桑 保 松（信一） 善兵衛永頼 370石 M3 28才 乗善寺 19丁
高 桑 弥寿良 次良右衛門 22俵 M4 慶恩寺 6丁
高 桑 八十男（友房） 弥一郎信俱 2人扶持 M3 41才 善福寺 5丁
高 桑 弥三作（弥三丞，直行） 源次 20俵 M3 30才 本法寺 7丁
高 桑 弥八郎（以孝） 太夫 23俵 M3 30才 西方寺 11丁
高 桑 酉 三 惣衛 15俵 M8 27才 久法寺 6丁
高 桑 雄太郎（為茂） 文左衛門為行 2人扶持 M3 15才 安楽寺 4丁
高 桑 吉 郎（孝之） 嘉兵衛 20俵 M3 43才 徳栄寺 5丁
高 桑 米 作（宗成） 儀十郎 15俵 M4 25才 珉徳寺 6丁
高 桑 良 進（正氏） 五左衛門 45石 M1 39才 経王寺 5丁
高 桑 良 平（良左衛門，重宣） 良左衛門重郷 40石 M3 35才 常徳寺 4丁 2冊
高 坂 銀太郎（良冨） 覚良一 2人扶持 M4 27才 善徳寺 3丁 2冊
高 崎 栄次郎（正固） 十左衛門善行 100石 M3 21才 本光寺 11丁
高 崎 嘉 平（武恒） 清五郎之武 200石 M3 47才 本光寺 9丁
高 沢 覚 治 藤平 21俵 M7 45才 全昌寺 3丁
高 沢 勤 吾（菊之助，晋） 仙之助仙十郎達 50石 M4 14才 妙国寺 3丁 2冊
高 沢 左次馬（敦盛） 左次馬敦信 200石 M3 37才 10丁 2冊
（峡 275） 高 沢 三 郎（潤） 仙之宣 8人扶持 M3 45才 妙国寺 5丁
高 沢 重 郎（正之） 竿馬正智 25俵 M3 30才 本浄寺 6丁
高 沢 仙之助（達） 順助 50石文久3 59才 妙国寺 5丁
高 沢 東 作（忠朋） 平十郎忠道 450

石 M3 51才 西養寺 16丁
高沢文作（良正） 儀右衛門，清造 20俵 M3 20才 常松寺 3丁
高島鎌次郎（雄房） 甚左衛門 20俵 M3 31才 妙典寺 5丁
高島　巌 雄房 10石 M7 4才 妙典寺 4丁
高島喜三次（朝成） 喜太夫 25俵 M3 46才 乗善寺 4丁
高島久馬 久平 8石 M5 15才 松縁寺 5丁
高島権太郎（秀勝） 太十郎 20俵 M3 24才 唯念寺 7丁
高島順左衛門（厚義） 2人扶持 M3 37才 光覚寺 7丁
高島順三郎（言告） 万右衛門 40石 M3 40才 専光寺 11丁
高島正作（重右衛門，永定） 弥三兵衛 15俵 M3 39才 善徳寺 3丁
高島正平（節） 正穎吉彰 120石 M3 52才 極楽寺 4丁
高島甚六（勝忠） 甚六 7俵 M4 53才 乗善寺 3丁
高島清八郎（守定） 清右衛門 9俵 M4 62才 厳照寺 4丁
高島太郎（信和） 宅右衛門 20俵 M3 22才 蓮昌寺 8丁
高島徳太郎（亮張） 茂助 15俵 M3 18才 覚円寺 4丁
高島直三（露直） 太左衛門 15俵 M3 21才 敬栄寺 3丁
高島彦六（吉郎太夫，正治） 吉郎左衛門 17俵 慶応4 49才 安楽寺 9丁
高島孫次郎（義正） 彦六 7俵 M24才 安楽寺 9丁
高島文平（次大夫，忠正） 次平 20俵 M3 41才 妙典寺 3丁
(峡 276) 鷹栖権太郎（明久） 寛文久張 9俵 M3 46才 本光寺 9丁
鷹栖茂三 安兵衛 10石 M8 徳竜寺 2丁
鷹栖慎次郎 （敬義） 茂三正忠 20俵 M5 20才 徳竜寺 6丁
鷹栖甚平（甚兵衛，保益） 善助 20俵 M3 38才 勝満寺 4丁
鷹栖清次（勝成） 市右衛門 11俵 M5 51才 勝満寺 3丁
鷹栖定二（昌周） 助八 7俵 M4 20才 勝満寺 4丁
鷹栖伝次郎（敦輝） 伝三郎 20俵 M4 21才 光専寺 3丁
鷹栖藤一郎（盛正） 太右衛門 15俵 M3 25才 勝満寺 5丁
鷹栖久男（久蔵，秀正） 安左衛門 20俵 M3 28才 勝満寺 4丁
鷹栖英作（清方） 与三九郎 15俵 M4 19才 善福寺 5丁
高瀬逸角（五郎右衛門，篤敬） 六郎兵衛忠篤 22俵 M3 46才 宝勝寺 7丁 2冊
高瀬嘉禄（嘉左衛門，直行） 伊兵衛貞由 11俵 M3 28才 東本願寺別院 3丁 2冊
高瀬勘二（義政） 辺 20俵 M4 24才 光徳寺 7丁
高瀬勘太郎 信一 10石 M6 8才 妙典寺 3丁
高瀬吉三郎（尚） 与平 20俵 M4 20才 妙典寺 5丁
高瀬久平（定継） 理右衛門 12俵 M3 瑞泉寺 3丁
高瀬孝次郎（幸知） 次右衛門 2人扶持 M4 37才 珉徳寺 6丁
高瀬五郎（親正） 五兵衛 35俵 M3 75才 本行寺 7丁
高瀬権七（五左衛門，正久） 小三郎 15俵 M3 49才 善性寺 4丁
高瀬三郎（政勝） 茂左衛門 8俵 M4 28才 経念寺 3丁
高瀬三郎 親正 35俵 M5 38才 本行寺 5丁
高瀬周平（正則） 嘉兵衛 15俵 M3 30才 徳善寺 4丁
高瀬多郎（信勝） 13俵 M4 27才

妙正寺　2丁

(帙 277) 高瀬　長次郎（哉武）　惣五郎　20俵　M4　27才　妙典寺　11丁

高瀬　富五郎（正之）　和左衛門　20俵　M3　33才　本行寺　8丁

高瀬　彦太郎（元茂）　彦四郎　9俵　M3　24才　妙法寺　6丁

高瀬　文二（歳久）　文之助　20俵　M3　24才　高岸寺　6丁

高瀬　安太郎（良幸）　万蔵　20俵　M3　本行寺　7丁

高瀬　弥三平（孫左衛門，定久）　弥六左衛門　20俵　M3　52才　本行寺　5丁

高瀬　弥六（良春）　源兵衛　20俵　M3　62才　浄善寺　6丁

高田　亥太郎（一清）　小一郎知貞　100石　M3　58才　専光寺　9丁

高田　巌（信孝）　仁右衛門成信　40石　M3　15才　正福寺　5丁

高田　右平次（惟永）　右太夫惟則　90石　M3　29才　立像寺　7丁

高田　栄太郎（勝行）　喜助　9俵　M4　17才　称蓮寺　2丁

高田　長美（五郎左衛門）　3人扶持　M6　77才　光福寺　3丁

高田　嘉平（種徳）　幸助種学　400石　M3　31才　極楽寺　12丁

高田　亀太郎（幸貞）　幸平　2人扶持　M3　17才　善福寺　3丁

高田　吉三（安久）　吉右衛門　25俵　M3　43才　西勝寺　4丁

高田　久平（信久）　佐次右衛門　11俵　M4　34才　西源寺　3丁

高田　久平（久兵衛，種親）　主膳　450石　M3　49才　極楽寺　13丁　2冊

~~高田　九八郎（孟辰）　伝之助能守　6人扶持　M3　36才　本光寺　7丁~~

高田　啓太郎　伝二　3人扶持　M7　20才　西勝寺　4丁

高田　源四郎（信治）　林右衛門政友　7俵　M3　39才　普眼寺　3丁

高田　栄　太三郎衛門　15俵　M3　22才　万福寺　4丁

(帙 278) 高田　次吉郎（貞正）　八左衛門　15俵　M3　39才　聖興寺　4丁

高田　周作（寄道）　次郎兵衛　6人扶持　M4　40才　専称寺　5丁

高田　顕之助（孟辰）　伝之助　6人扶持　M2　35才　本光寺　7丁　2冊

高田　省吾（武種）　平太郎種告　250石　M3　43才　興徳寺　11丁

高田　次郎三郎（定之）　次郎三郎　12人扶持　M4　才　善徳寺　4丁

高田　惣吉（正信）　次郎三郎　1人半扶持　M4　27才　善徳寺　4丁

高田　輔左衛門（寄道）　次郎兵衛　6人扶持　M3　39才　専称寺　7丁

高田　誠二（愛之助，義一）　孫助　15俵　M3　徳善寺　3丁

高田　進（信孝）　仁右衛門　6人扶持　M1　13才　正福寺　5丁

高田　千作（久次）　五左衛門　3人扶持　M3　27才　光福寺　3丁

高田　武三郎（貞守）　武重郎　20俵　M4　18才　本誓寺　3丁

高田　定次郎（久英）　順太郎　9人扶持　M3　18才　上宮寺　4丁　2冊

高田　鉄三郎（種之）　伝大夫種義　450石　M3　11才　大乗寺　11丁

高田　伝二（吉右衛門，友一）　吉蔵3人扶持　M3　56才　西勝寺　4丁　2冊

高田　徳三郎（長友）　徳兵衛　15俵　M3　26才　願楽寺　5丁

高田　兵次郎（清定）　孝左衛門　2人扶持　M6　24才　香林寺　4丁

高田　弥栄松（種一）　弥八郎種昌　550石　M3　14才　興徳寺　11丁

高田　弥十郎（伯勝）　八右衛門　15俵　M3　24才　専光寺　3丁

高田　弥太郎（嘉永）　新蔵　20俵　M3　21才　広誓寺　6丁

高田　勇次郎　徳次郎　20俵　M3　30才　広誓寺　7丁

高田　磊作（国幹）　貞五郎資　80石

M3　33才　専光寺　7丁

高田六平（六兵衛，清友）　弥三郎　20俵　M3　42才　光徳寺　7丁

(帙 279) 高谷弥三郎（国房）　権兵衛　15俵　M3　19才　専通寺　3丁

高辻数江（規好）　弥太夫正規　22俵　M3　43才　少林寺　12丁

高辻　新（規和）　数江規好　12俵　M4　22才　少林寺　13丁

高波菊松（直孝）　藤市　15俵　M4　22才　承証寺　8丁

高波幸作（其政）　甚作　20俵　M3　34才　承証寺　7丁

高波藤市（直定）　善兵衛　20俵　M3　69才　承証寺　6丁

高西儀平（種久）　義兵衛　35石　M4　53才　専光寺　3丁　2冊

高西外次郎　儀平　35俵　M6　16才　専光寺　3丁

~~高西津太夫~~（種久）　善兵衛　~~35石 M1~~　~~専光寺 3丁~~

高西徳他郎（吉太夫，義久）　50石　M3　22才　光教寺　5丁　2冊

高西安太郎（義房）　豊朔　20俵　M4　14才　常福寺　4丁

高丹羽円平（久伝）　徳兵衛　24俵　M4　54才　珉徳寺　4丁

高丹羽円陸（重久）　円平　10俵　M4　25才　珉徳寺　5丁

高根尾半蔵（甚吉，佳明）　甚蔵　50石　元治3　16才　妙正寺　10丁

高野　覚（市左衛門，行久）　藤七　2人扶持　M3　40才　慶恩寺　3丁

高野源三郎（尚頼）　恰和義　35石　M3　26才　円祐寺　9丁

高野朔治（清房）　藤左衛門　5人扶持　M3　28才　妙慶寺　5丁

高野　高（皆右衛門，尚美）　40石　M3　34才　全性寺　9丁　2冊

高野恒次郎（祐守）　小右衛門　15俵　M3　25才　三宝寺　3丁

高野友二郎　景則　22俵　M3　20才　円祥寺　5丁

高野柳作（高安）　佐五兵衛　5人扶持　M3　34才　妙慶寺　4丁

(帙 280) 高橋　篤（実清）　西喜為清　60石　M3　34才　法船寺　8丁

高橋　歩（右左之助，永知）　重之助　20俵　M3　22才　日澄寺　12丁

高橋　歩（九左衛門，忠長）　甚五郎　忠尚　150石　M2　29才　実成寺　10丁

高橋家貞（元安）　貞順　5人扶持　M3　14才　法然寺　8丁

高橋岩尾（達徳）　勇左衛門　4人扶持　M3　19才　真行寺　4丁　2冊

高橋右平（直温）　太左衛門嘉久　60石　M3　45才　妙泰寺　7丁

高橋栄太郎（智昭）　源左衛門秀房　40俵　M3　43才　法然寺　5丁

高橋往来（忠一）　勝太郎忠之　150石　M4　45才　実成寺　22丁

高橋乙五郎（三郎，直頼）　三来　9俵　M4　22才　西源寺　5丁

高橋音三郎（鳴盛）　貞助宅之　40俵　M3　30才　大蓮寺　9丁

高橋直右衛門（智厚）　三左衛門　100石　M3　55才　大蓮寺　15丁

高橋鑑太郎（以貫）　厳言道　50石　M3　27才　少林寺　6丁　2冊

高橋幾一（清之助，道友）　清太夫　20俵　M3　26才　承証寺　5丁

高橋規矩雄（匡円）　権左衛門匡博　130石　M3　25才　妙立寺　4丁

高橋喜作（重寫）　万平寫信　35俵　M3　22才　広済寺　6丁

高橋喜作（喜右衛門，倶明）　寛太郎　20俵　M3　覚蓮寺　8丁

高橋義太郎（仙吾，正茂）　20俵　M5　東本願寺別院　4丁

(帙 281) 高橋義門（道善）　助三整成　30俵M3　50才　三光寺　6丁　2冊

高橋久太郎（道久）　藤兵衛　6俵　M3　12才　仰西寺　3丁　2冊

高橋　清（勝久）　伊大夫　25俵　M

3　19才　妙典寺　7丁

高橋儀六（明義）　儀六郎　20俵　M3　40才　妙法寺　8丁

高橋金三郎（自正）　自房　25俵　M3　33才　月心寺　6丁

高橋銀二郎（陳貞）　戸左衛門陳義　100石　M3　51才　西蓮寺　10丁

高橋九思郎（定益）　亥之逸定永　200石　M3　28才　西勝寺　15丁

高橋熊次郎（貞政）　庄蔵　15俵　M3　20才　広済寺　8丁

高橋粂吉　茂八　12.5石　M7　6才　寿経寺　5丁

高橋源吾（正体）　貞右衛門吉綱　40俵　M3　35才　光教寺　7丁

高橋小一郎（友英）　小太郎　20俵　M3　3才　蓮覚寺　5丁

高橋五作（一保）　左次兵衛　20俵　M3　55才　広済寺　7丁

高橋駒太郎（智茂）　下水智原　100石　M4　大蓮寺　10丁

高橋小弥太（次善）　庄三郎　30俵　M3　61才　妙円寺　7丁

高橋孤六郎　平兵衛知常　80石　M3　41才　法然寺　9丁

高橋　　済（勝吉）　弥大夫数与　7人扶持　M3　30才　妙法寺　6丁

高橋　　栄（歩，成道）　了斎　6人扶持　M4　38才　正楽寺　3丁

高橋朔男　淳之　9石　M6　2才　東本願寺別院　6丁

高橋作太郎（成伯）　五作　M4　26才　広済寺　5丁

（帙 282）高橋左源次（守道）　武丞　5石　M3　21才　極楽寺　3丁　2冊

高橋三次（孝一）　三斉　9俵　M4　39才　西源寺　5丁

高橋二朔（順之，九之丞）　武左衛門　20俵　M3　31才　広済寺

高橋　　荘（荘兵衛，作善）　貞助宅之　110石　M3　46才　大蓮寺　13丁

高橋順太郎（守之）　荘兵衛作善　40俵　M3　20才　大蓮寺　4丁

高橋順平（直寛）　敷左衛門　180石　M3　38才　妙慶寺　11丁

高橋省吾（勇左衛門，達義）　権之助　達直　M3　53才　真行寺　11丁　2冊

高橋庄治（貞元）　茂右衛門　30俵　M3　45才　9丁

高橋庄平（庄助，国保）　次助　20俵　M3　49才　慶覚寺　7丁

高橋善太郎（国久）　庄平　20俵　M3　17才　慶覚寺　5丁

高橋甚吉（正伯）　増三郎　20俵　M3　23才　等願寺　6丁

高橋新太郎（清一）　宇右衛門　25俵　M3　37才　広済寺　9丁

高橋新八郎（重成）　新八貞綱　4人扶持　M2　20才　照円寺　7丁　2冊

高橋信六郎（智久）　熊五郎智末　80石　M3　31才　大蓮寺　8丁

高橋　　錫（判兵衛，義重）　八百親一　40石　M3　59才　妙円寺　5丁　2冊

高橋　　倫（良栄）　栄左衛門　20俵　M3　23才　慶覚寺　6丁

高橋静吾（忠厳）　茂平　18俵　M3　29才　妙典寺　5丁

（帙 283）高橋精路（政之丞）　金之亟　20俵　M3　善福寺　7丁

高橋清太郎（定清）　文右衛門　15俵　M3　21才　仰西寺　6丁

高橋仙吾（正茂）　仙右衛門　20俵　M3　38才　東本願寺別院　6丁

高橋仙次郎（克明）　兵右衛門　35石　M3　14才　大蓮寺　7丁

高橋善四郎（成正）　安右衛門　20俵　M3　30才　正福寺　6丁

高橋奏造（盛忠）　善八郎　25俵　M3　43才　法船寺　7丁

高橋惣治郎（正勝）　奏造　15俵　M3　法船寺　6丁

高橋宗太郎（正）　兵左衛門応馮　5人扶持　M3　妙立寺　4丁　2冊

高橋宅治（忠房）　宅次自房　20俵

M3　45才　照円寺　5丁

高橋武尾（勘右衛門，守孝）　勘右衛門守之　100石　M3　48才　極楽寺　7丁

高橋武一丞（守孝）　勘右衛門　100石　安政4　35才　極楽寺　8丁

高橋武十郎（知勝）　武右衛門　3人扶持　M3　22才　常福寺　6丁　2冊

高橋武三（知命）　清作命永　16俵　M3　43才　常福寺　5丁

高橋多室（義盛）　次左衛門義門　18俵　M3　36才　極楽寺　6丁

高橋長平（義春）　善七　20俵　M3　60才　超願寺　3丁

高橋津禰　重一　15石　M8　3才　極楽寺　5丁

高橋恒三（教愛）　七右衛門重矩　9俵　M3　38才　仁随寺　5丁　2冊

高橋恒太郎（正胤）　弥次郎　20俵　M3　38才　日澄寺　10丁

（峡 284）高橋鉄三　小一郎　10石　M7　蓮覚寺　7丁

高橋伝八郎（直政）　伝八　25俵　M3　38才　広済寺　5丁

高橋藤吉（藤兵衛，道昌）　藤兵衛道之　12俵　M3　43才　仰西寺　5丁　2冊

高橋騰吾（直之丞，貞信）　助七郎　20俵　M3　日澄寺　9丁

高橋登免　11.5石　M6　23才　妙法寺　6丁

高橋友三（永信）　藤左衛門惟寅　40石　M3　42才　専光寺　9丁

高橋直喜（可久）　和吉郎　20俵　M4　16才　慶恩寺　8丁

高橋直次郎（知左衛門，重一）　一信　40石　M3　19才　極楽寺　7丁　2冊

高橋　登（富正）　鏸富兄　45石　M3　19才　太岩寺　7丁

高橋　八（通，正潟）　八左衛門　40俵　M3　35才　広済寺　12丁

高橋文作（文右衛門，在清）　安左衛門　20俵　M3　73才　仰西寺　4丁

高橋兵右衛門（好隆）　甚兵衛　35石　慶応2　26才　大蓮寺　5丁

高橋　辺（義則）　茂守　18俵　M3　21才　慶恩寺　7丁

高橋政之丞（成道）　了斎　6人扶持　慶応2　34才　正楽寺　3丁

高橋増五郎（成教）　粂次郎成方　8人扶持　M3　43才　西勝寺　9丁

高橋増太郎（勝行）　幸左衛門　20俵　M3　18才　慶覚寺　7丁

高橋又男（種徳）　才三郎種房　120石　M4　24才　広済寺　6丁

高橋松次郎（忠親）　直江貞親　40石　M3　14才　蓮華寺　6丁

高橋道三郎　一一　30石　M6　19才　松縁寺　8丁

（峡 285）高橋　架（兵左衛門，応馮）　一達健音　70石　M3　51才　妙立寺　7丁　2冊

高橋元吉（篤行）　閑休重房　110石　M3　35才　慈雲寺　9丁

高橋茂八（茂右衛門）　覚之丞　25俵　M3　40才　寿経寺　5丁

高橋八百人（勝吉）　弥太夫　7人扶持　M2　29才　妙法寺　8丁

高橋八十二（幹太郎，幾喜）　藤兵衛7俵　M3　16才　妙泰寺　5丁

高橋八十次（九右衛門，淳之）　市丞　23俵　M3　72才　東本願寺別院　5丁

高橋　凉（重宗）　錫　40石　M5　20才　妙円寺　5丁

高橋和吉郎（忠茂）　和助　20俵　M4　31才　広済寺　5丁

高橋和作（武安）　源蔵　18俵　M3　17才　慶恩寺　5丁

高橋和三郎　七郎　15俵　M3　20才　本覚寺　6丁　2冊

高橋　亘（景員）　吉丞景命　19俵　M3　26才　極楽寺　6丁

高橋　渡（吉之丞，忠政）　理助　20俵　M3　32才　蓮覚寺　6丁

(帙 286) 高 畠 伊三郎 儀兵衛 20俵 M3 広済寺 6丁
高 畠 善 八 (定親) 善大夫定則 300石 M3 71才 妙典寺 8丁
高 畠 徳次郎 (定一) 善八 200石 M3 22才 妙典寺 3丁
高 畠 外次郎 善八 500石 M6 20才 妙典寺 9丁
高 畠 直 (平十郎, 定永) 白翁定囚 1,200石 M3 23才 高岸寺 12丁
高 畠 忠 平 (忠重) 忠兵衛 11俵 M4 54才 広済寺 3丁
高 畠 統 (成行) 清六郎智次 150石 M3 59才 妙典寺 14丁
高 畠 恒太郎 忠平 1人扶持 M6 32才 広済寺 2丁
高 畠 直 作 (定保) 直記定一 100石 M3 常泉寺 11丁
高 畠 昇 (利貞) 与左衛門 9俵 M3 29才 仏性寺 3丁
高 畠 辟 (五郎兵衛, 定辟) 摂山安定 500石 M3 45才 長久寺 15丁
高 畠 巌 (錞太郎, 重定) 五郎兵衛定辟 200石 M3 19才 長久寺
高 畠 直 松 (易直) 摂山安定 60俵 M3 36才 長久寺 9丁
高 畠 萬 造 (忠之) 次郎兵衛忠直 6人扶持 M3 48才 等願寺 7丁
高 畠 余所男 (政徳) 喜静政寛 200石 M3 42才 宝勝寺 8丁
高 林 源 平 (義一) 源兵衛 12俵 M4 44才 常福寺 3丁
高 林 茂 (三右衛門, 信包) 弥八郎信行 35俵 M3 41才 妙国寺 7丁
高 林 多喜五郎 (信氏) 多十郎敬義 35俵 M4 9才 妙国寺 3丁
高 林 庇 (克寛) 晩翠景寛 100石 M3 27才 妙国寺 10丁
高 林 弥三郎 (豊義) 喜三右衛門 15俵 M3 17才 浄念寺 4丁
(帙 287) 高 原 猪三二 (武貞) 権左衛門 9人扶持 M3 43才 少林寺 9丁 2冊
高 原 松太郎 (武時) 猪三二 10俵 M3 18才 少林寺 3丁
高 原 節 (政寿) 弥助 20俵 M3 15才 善徳寺 3丁
高 原 平 馬 (庸勝) 専右衛門庸徳 50石 M3 30才 法船寺 6丁
高 伏 源 六 (有国) 市郎右衛門 2人扶持 M4 39才 聖安寺 3丁
高 間 豊 吾 (豊太夫) 源兵衛 25俵 M3 53才 発願寺 7丁
高 間 保太郎 清角 12,5石 M8 14才 西方寺 5丁
高 松 半 吉 半助 10俵 M4 光西寺 2丁
高 松 吉 二 (善正) 半吉 10俵 M4 27才 光西寺 3丁
高 松 吉次郎 (行成) 次郎兵衛 8俵 M3 26才 廻向寺 5丁
高 松 粂次郎 (忠久) 平四郎 15俵 M4 15才 慶恩寺 5丁
高 松 小三郎 (好則) 小助 7俵 M4 42才 専光寺 3丁 2冊
高 松 栄 (与兵衛, 忠明) 15俵 M3 31才 知覚寺 3丁
高 松 作太郎 (一元) 小吉 17俵 M4 22才 発願寺 4丁
高 松 佐 平 (久之) 伊右衛門 5俵 M4 31才 3丁
高 松 清 作 (徴正) 忠義 5俵 M4 23才 弘願院 5丁
高 松 仙次郎 (安友) 善助 5俵 M3 16才 等雲寺
高 松 善 平 (正貞) 小兵衛 5人扶持 M4 40才 4丁
高 松 恒 男 (孝輝) 長蔵信孝 25俵 M3 20才 真証寺 5丁
高 松 富 吉 (隆治) 富吉 15俵 M4 17才 発願寺 5丁
高 松 兵 作 (保虎) 兵助 12俵 M4 23才 普泉寺 3丁
高 松 緑 (弥平, 道平) 半吉 6俵 M4 29才 万福寺 3丁

高松力男 新助 15俵 M3 23才 発願寺 4丁

田上三平（員正） 員詳 23俵 M3 58才 正覚寺 4丁 3冊

（帙 288） 田上周太郎（員忠） 員正 23俵 M4 15才 4丁

田上太一（太左衛門，景英） 喜兵衛 15俵 M3 46才 心蓮社 5丁 2冊

田上兵太（為忠） 伝大夫尚賢 25俵 M3 50才 西方寺 8丁

田上又六 久五郎 11俵 M6 43才 本誓寺 4丁

田上 貫（為正） 兵太為忠 9俵 M3 27才 西方寺 4丁

高見 巌（義則） 太苗 20俵 M4 13才 月心寺 6才

高道市太郎（知之） 頭兵衛 9俵 M3 18才 万福寺 2丁

高道省吾（政一） 長兵衛 6人扶持 M4 20才 真光寺 3丁

高峰 昇（紳） 玄台清臣 10人扶持 M3 44才 国泰寺 6丁

高嶺重平（重郷） 休亭乃章 130石 M3 44才 弘願院 8丁

高嶺清八（懐徳） 源太左衛門信行 200石 M3 38才 弘願院 10丁

高嶺孫一（清定） 寛翁清一 150石 M3 49才 弘願院 6丁

高宮喜太郎（信一） 宗太夫 18俵 M3 25才 西勝寺 7丁

高宮源次郎（遂次） 久蔵 18俵 M3 33才 実成寺 6丁

高宮甚吉（甚太夫，清巷） 甚内 20俵 M3 42才 実成寺 8丁

高宮甚三郎（延次） 甚平 20俵 M5 11才 実成寺 7丁

高宮新太郎（正雅） 純右衛門 20俵 M3 21才 7丁

高宮善三郎（康次） 勘助 15俵 M3 31才 永照寺 5丁

高宮八十二郎（惟久） 安左衛門 20俵 M3 16才 妙福寺 7丁

（帙 289） 高村 和（一正） 久兵衛 11俵 M3 46才 廻向寺 4丁

高村喜三郎（兼房） 三右衛門 8俵 M4 40才 善徳寺 3丁

高村金三（朝定） 与兵衛 20俵 M3 32才 浄照寺 6丁

高村小左久 忠四郎 9石 M8 20才 願成寺 6丁

高村三作（三右衛門，春近） 長右衛門 1人半扶持 M3 68才 善徳寺 3丁

高村三太郎 吉兵衛 7俵 M4 18才 善徳寺 3丁

高村 順（定行） 春達 3人扶持 M3 19才 棟岳寺 6丁

高村俊吾（伯治） 茂春治慶 5人扶持 M3 32才 棟岳寺 5丁

高村正一 与門 57俵 M5 21才 棟岳寺 5丁

高村清作（八兵衛，茂悦） 半兵衛 15俵 M3 26才 善徳寺 3丁

高村清六郎（愚心） 清左衛門保愚 35俵 M3 28才 棟岳寺 11丁

高村仙吾（忠正） 又助 2人扶持 M4 21才 善徳寺 3丁

高村全七（知儀） 藤右衛門 8俵 M4 28才 善徳寺 3丁

高村仙十郎（芳教） 左延 3人扶持 M4 21才 棟岳寺 6丁

高村太次馬（兵馬，宗布） 久左衛門 30俵 M3 40才 棟岳寺 9丁

高村 次 定行 3人扶持 M7 6才 棟岳寺 6丁

高村伝五郎（義秀） 吉之助 19俵 M3 39才 正福寺 6丁

高村豊五郎（蔀） 予二郎幾作 40俵 M3 27才 名願寺 10丁

高村半六（直辰） 半左衛門 2人扶持 M4 31才 上宮寺 3丁

高村文作（盛之） 文右衛門 9俵 M4 59才 善徳寺 3丁

高村松太郎（重勝） 吉左衛門 2人扶

持　M2　19才　勝満寺　3丁
高村茂朔（中行）　茂喜　3人扶持　M3　30才　棟岳寺　5丁
高村弥三八（九兵衛，信良）　九郎兵衛　2人扶持　M4　56才　善徳寺　3丁
高村吉次（政勝）　宗大夫　3人扶持　M4　58才　勝満寺　3丁
高村与門（一徹）　佐隆範敬　57俵　M3　71才　棟岳寺　8丁　2冊
高村理佐久（助之進，酉正）　直左衛門　3人扶持　M3　21才　棟岳寺　6丁
（峡 290）高本清作（慎之助，知一）　半之助　80石　M2　22才　光専寺　17丁
高柳磯男（恭茂）　三右衛門　15俵　M3　26才　善徳寺　3丁
高柳伊平（定保）　伊右衛門　9俵　M4　31才　善徳寺　4丁
高柳嘉治馬（愷致）　嘉右衛門　8俵　M5　29才　東本願寺別院　4丁
高柳嘉平（孝之）　武右衛門　23俵　M3　42才　慶恩寺　6丁
高柳鞠三（秀央）　与左衛門　22俵　M3　22才　最勝寺　10丁
高柳吉太郎（吉次）　吉平　1人扶持　M3　19才　善徳寺　5丁
高柳吉平（初吉）　佐兵衛　8俵　M3　43才　善徳寺　5丁
高柳久作（良国）　小右衛門　8俵　M3　29才　光徳寺　3丁
高柳幸二郎（重著）　久馬二　20俵　M5　15才　鶴林寺　8丁
高柳小平（良春）　九右衛門　2人扶持　M4　40才　善徳寺　3丁
高柳駒三郎（良知）　清七　15俵　M3　19才　善照坊　8丁
高柳佐吉（政茂）　次郎三郎　2人扶持　M3　48才　善徳寺　3丁
高柳左平次（孝友）　小平太　15俵　M3　44才　棟岳寺　6丁
高柳　茂（鉄太郎，盛政）　才右衛門　5人扶持　慶応2　20才　妙円寺　6丁
高柳庄二郎（遵）　庄三郎　25俵　M4　31才　善徳寺　9丁
高橋甚太郎（義央）　甚助　15俵　M3　19才　善徳寺　5丁
高柳精一　文司　120石　M6　22才　承証寺　4丁
高柳清七（好文）　次助　20俵　M3　53才　善照坊　5丁
高柳初三郎（忠道）　五太夫　16俵　M3　25才　善徳寺　3丁
高柳八郎（幸武）　仁兵衛　25俵　M3　40才　本因寺　7丁
高柳ひな　半右衛門　5石　M6　59才　永願寺　4丁
高柳又吉（勝則）　甚兵衛　2人扶持　M3　23才　光教寺　4丁
（峡 291）高柳茂三郎（盛重）　彦左衛門　10俵　M4　30才　常念寺　6丁　2冊
高柳元六郎　孝友　20俵　M6　7才　棟岳寺　6丁
高山鉢次（鉢右衛門，信定）　善左衛門元延　60俵　M3　56才　妙応寺　10丁　2冊
高山幾太郎（信一）　鉢二信定　60俵　M5　7才　妙応寺　9丁
高山閑生（武佳）　50俵　M3　71才　妙法寺　10丁
高山三態（和三郎）閑生　50俵　M3　36才　妙法寺　7丁
高山金次（知一）　清九郎　20俵　M4　18才　慶恩寺　5丁
高山源次　源兵衛　20俵　M3　西勝寺　4丁
高山作平（定政）　定直　17　人扶持　M3　43才　妙正寺　14丁
高山潤造（安之助，惟昭）　源助　20俵　M4　41才　開禅寺　6丁
高山淳平（為光）　丈助則定　15俵　M4　43才　西勝寺　6丁
高山甚平（甚左衛門，富久）　勘助栄久　18俵　M3　43才　慶覚寺　7丁
高山竹次郎（直政）　新丞　4人扶持　M4　24才　開禅寺　4丁

高山　保（保泰，一之）　久兵衛　12俵　M4　40才　伏見寺　5丁
高山　長四郎（則一）　伊助　9俵　M4　71才　光教寺　2丁
高山　伝次郎　茂兵衛　15俵　慶応4　17才　長福寺　3丁
高山　直三（義成）　八十兵衛　20俵　M4　26才　西方寺　10丁
高山　八十（八十兵衛，晴易）　八十大夫　35俵　M3　46才　妙法寺　11丁
高山　仁太郎（祐安）　午兵衛　15俵　M3　25才　成学寺　4丁
高山　兵次（兵蔵，直方）　兵蔵直温　23俵　M3　48才　伏見寺　5丁
（峡 292）高山　操（元秀）　喜聞斎元成　500石　M3　29才　妙応寺　13丁
高山　安太郎（勝之）　伝兵衛　2人扶持　M4　14才　本誓寺　3丁
高山　弥平（賀鷹）　佐兵衛　15俵　M3　31才　哲光寺　4丁
高山与作（定一）　伊左衛　320石　M3　29才　妙正寺　19丁
高山米作（津右衛門，義敬）　徳左衛門　15俵　M3　33才　慶恩寺　3丁
高山林之助（林平，林谷）　三郎兵衛　2人扶持　M2　25才　西勝寺　5丁
田川伊太郎　士一　20俵　M6　4才　願興寺　5丁
田川右也（豊寿）　吉蔵　7人扶持　M3　39才　道林寺　5丁
田川喜一（勝久）　左太夫　10俵　M4　37才　善行寺　4丁
田川清吾（清蔵，景仲）　10俵　M3　63才　長福寺　3丁
田川喜太郎（法光）　清蔵景仲　4人扶持　M3　26才　長福寺　3丁　2冊
田川学男（義光）　七太夫　11俵　M3　26才　道林寺　3丁
田川盛馬（以政）　伝右衛門　6人扶持　M4　55才　道林寺　4丁
田川士一　伊兵衛　20俵　M3　16才　願楽寺　5丁
田川忠平（忠次）　忠兵衛　15俵　M3　29才　上宮寺　4丁
田川　辺（冬雄）　5人扶持　M3　弘願院　3丁
田川孫一（孫左衛門，貞敷，孫一）　伝右衛門　30石　M2　46才　道林寺　5丁　3冊
多河初三郎（忠直）　清右衛門　15俵　M3　17才　勝満寺　4丁
滝　十九郎（定幸）　十兵衛　25俵　M3　30才　西福寺　7丁
滝　庄平（庄右衛門，之忠）　猪之助　15俵　M3　23才　慶覚寺　4丁
滝　甚次郎（延定）　藤三郎　3人扶持　M3　39才　聖興寺　4丁　2冊
（峡 293）滝　清四郎（信鎌）　与三左衛門　2人扶持　M4　56才　弘願寺　3丁
滝　千鶴（則忠）　平之助久次　33俵　M3　21才　善照坊　7丁
滝　長太郎（行村）　宇兵衛　15俵　M3　20才　専徳寺　3丁
滝　常男（松兵衛，松之丞，善信）　松兵衛元信　22俵　M3　40才　妙応寺　5丁　2冊
滝　徳次郎（忠善）　権右衛門　15俵　M3　28才　聖興寺　4丁
滝　久男（久左衛門，幸虎）　久大夫　一次　7人扶持　M3　46才　妙応寺　7丁　2冊
滝　孫八（孫右衛門，敬敏）　弥兵衛　敬啓　42俵　M3　49才　極楽寺　11丁
滝　和三郎（虎一）　和左衛門　1人扶持　M4　12才　法然寺　4丁
滝　和平（和左衛門，一茂）　和平太　6人扶持　M3　48才　法然寺　4丁
滝尾とん　嶽澄　15俵　M7　11才　慶覚寺　5丁
滝尾和三郎（嶽澄）　和右衛門　15俵　M3　25才　慶覚寺　4丁
滝川和太郎（永頼）　秀蔵友直　40俵　M3　22才　妙慶寺　10丁
滝沢伊三郎　伊助　12俵　M4　17才

西勝寺　3丁

滝　沢　永五郎（允憲）　佐祐允徳如夢軒　100石　M3　51才　如来寺　8丁

滝　沢　勝太郎　良平　8俵　M8　3才　妙源寺　3丁

滝　沢　留太郎（為安）　左守為恒　94石　M4　7才　如来寺　5丁

滝　沢　良　平（有恒）　左平　8俵　M4　30才　妙源寺　3丁

滝　瀬　百　瀬（儀昌）　50俵　M3　28才　蓮覚寺　5丁

滝　田　　勇（鳴人）　半兵衛　15俵　M3　26才　専称寺　5丁

滝　田　治三郎（朋次）　喜太郎　20俵　M3　18才　繁久寺　6丁

滝　田　太郎吉　与三右衛門　15俵　M3　22才　松岡寺　3丁

滝　田　友　作（通長）　吉丞尚定　35石　M3　32才　東本願寺別院　5丁

（帙 294）滝　田　勇次郎（延友）　庄兵衛篤久　40石　M3　17才　松岡寺　5丁

滝　田　余三吉（清則）　喜左衛門　20俵　M3　33才　繁久寺　8丁

滝　波　　昺（才兵衛，直能）　多膳教直　250石　M3　27才　照円寺　13丁

滝　村　甚次郎（正直）　甚左衛門　11俵　M4　27才　光専寺　5丁

田　口　武十郎（吉之丞，義隅）　甚右衛門　M3　48才　常福寺　3丁

武　　茂（信一）　晋蔵信之　25俵　M4　27才　2丁

武　　小　作（信正）　晋蔵信之　200石　M3　32才　本光寺　8丁

武　　徳太郎（信行）　栄八信国　150石　M3　16才　本光寺　10丁

武　　初次郎（信義）　金右衛門信行　300石　M3　24才　本光寺　8丁

武　　六三郎（信清）　徳之丞信義　180石　M3　15才　本光寺　7丁

武　井　弥三次（金茂）　弥三右衛門　15俵　M3　16才　妙国寺　4丁

竹　内　　稔（茂二郎，寿基）　平二　20俵　M3　19才　常栄寺　7丁

竹　内　　嵓（永三郎，敬定）　重助　20俵　M3　26才　実成寺　8丁

竹　内　宇　吉（勝義）　宇兵衛　20俵　M3　22才　常福寺　7丁

竹　内　宇　作（宇右衛門，宣成）　兵左衛門宣延　50石　M3　53才　徳栄寺　5丁　2冊

竹　内　栄　吾（良信）　丈左衛門　75石　M3　56才　妙円寺　5丁

竹　内　栄　造（善信）　七郎　20俵　M3　55才　正福寺　6丁

竹　内　　賢（忠左衛門，茂吉）　藤蔵　20俵　M3　49才　西勝寺　9丁

竹　内　下　問（甚之進，保寿）　常右衛門　20俵　M3　36才　正願寺　4丁　2冊

竹　内　喜久馬（保明）　他兵衛保久　11俵　M3　38才　松月寺　5丁　2冊

（帙 295）竹　内　義三郎（茂仲）　嘉左衛門　25俵　M3　26才　極楽寺　11丁

竹　内　喜十郎（運充）　喜兵衛　20俵　M4　30才　敬栄寺　8丁

竹　内　吉三郎　清左衛門　20俵　M3　63才　慶覚寺　7丁

竹　内　久次郎（和久）　栄助　15俵　M3　20才　因徳寺　6丁

竹　内　儀　門（他左衛門，元一）　儀兵衛　元亮　100石　M3　62才　大蓮寺　5丁

竹　内　喜　六　頼元　25俵　M7　17才　妙円寺　5丁

竹　内　金太郎（則直）　保太郎　20俵　M3　19才　長周寺　7丁

竹　内　源太郎（元勝）　他左衛門　50俵　M3　32才　大蓮寺　3丁

竹　内　幸佐久（安久）　清左衛門　3人扶持　M3　16才　本覚寺　7丁

竹　内　是　則　金太郎則直　20俵　M5　19才　長周寺　5丁

竹　内　才次郎（忠順）　作平　6俵　M4　14才　仰西寺　6丁

竹　内　作　平（才兵衛，如矢）　14俵　M3　50才　仰西寺　7丁

竹内 佐太郎（季次） 五郎右衛門 13俵 M4 30才 法光寺 5丁
竹内 佐太郎（是知） 丈右衛門 2人半扶持 M3 24才 恵光寺 4丁 2冊
竹内 左富（左門，昌忠） 喜済昌方 9人扶持 M3 30才 慶恩寺 7丁 2冊
竹内 三郎（保義） 常右衛門 15俵 M3 23才 正願寺 7丁
竹内 静男（昌明） 他兵衛孝明 50石 M3 23才 長徳寺 5丁
竹内 十三（友直） 十郎兵衛友武 150石 M3 49才 雲竜寺 12丁
竹内 寿三郎（茂次） 屯 2人半扶持 慶応2 11才 極楽寺 2丁
竹内 鈔次郎（秀政） 森三 15俵 M3 17才 円光寺 4丁
竹内 丈三（孝信） 平太夫 19俵 M4 29才 大蓮寺 3丁
竹内 次郎（次郎右衛門，信近） 庄作 25俵 M3 51才 慶覚寺 5丁
（峡 296） 竹内 信治（与右衛門，安氏） 与藤太 25俵 M3 40才 瑞泉寺 4丁
竹内 甚助（直達） 与左衛門 3人扶持 安政4 42才 4丁
竹内 森三（孝正） 小太夫 30俵 M3 65才 円光寺 5丁
竹内 鋲太郎 清敬定 4人扶持 M5 5才 本覚寺 6丁
竹内 甚大夫（如矢） 甚大夫 2人扶持 慶応4 仰西寺 10丁
竹内 甚太郎（知信） 甚兵衛 3人扶持 M4 10才 本竜寺 4丁
竹内 甚六（甚助，正信） 甚佐衛門 20俵 M3 63才 円長寺 5丁
竹内 清吾（清左衛門） 清三郎 25俵 M3 39才 浄明寺 7丁
竹内 制五郎（助太郎，忠興） 友進義方 33石 M3 26才 珉徳寺 6丁 2冊
竹内 清次郎（貞一） 清簡 3人扶持 M4 14才 本覚寺 5丁
竹内 清次郎 清吾 25俵 M5 14才 静明寺 8丁
竹内 専二郎 林作 20俵 M3 17才 広済寺 9丁
竹内 善太夫（忠広） 弥門 40石 文政8 43才 本是寺 10丁
竹内 善八（善蔵，由春） 善五左衛門 25俵 M3 30才 瑞泉寺 7丁
竹内 善八郎（忠篤） 善太郎 200石 M3 才 正福寺 8丁
竹内 宗三郎（安成） 宗三郎 10俵 M4 42才 勧帰寺 7丁
竹内 宗七（雪勝） 八十八 10俵 M3 33才 等雲寺 4丁
竹内 工（成友） 与左衛門 10俵 M3 29才 上宮寺 3丁 2冊
竹内 武三郎（嘉憲） 武左衛門 4人扶持 M3 22才 常福寺 3丁
竹内 他三郎（忠幸） 金作 20俵 M3 18才 如来寺 5丁
竹内 匡一 正信 20俵 M6 24才 円長寺 4丁
竹内 辰次郎 弥門 40石 M6 18才 本覚寺 4丁
（峡 297） 竹内 屯（茂与） 左兵衛茂房 30石 M3 43才 極楽寺 5丁 2冊
竹内 他門（政明） 三八政一 100石 M3 30才 雲竜寺 7丁
竹内 千尋（基貞） 休徳基 40俵 M3 37才 本覚寺 6丁
竹内 長九郎（金茂） 八十八 10俵 M4 53才 3丁
竹内 藤一郎（寿良） 孝次郎昌訓 100石 M3 26才 安立寺 5丁
竹内 藤作（武左衛門，善嘉） 5人扶持 M3 53才 4丁
竹内 徳三郎（元一） 徳兵衛 24俵 M3 28才 円光寺 6丁
竹内 文次郎（賢文） 大三郎 20俵 M3 24才 本光寺 4丁
竹内 平次郎 良信 75石 M8 28才 妙円寺 4丁
竹内 まさ 吉三郎 20俵 M7 4才

慶覚寺　4丁

竹内又三郎（義定）　甚助　15俵　M3　20才　円長寺　5丁

竹内み川　良信　75石　M7　16才　妙円寺　4丁

竹内弥三郎（重成）　吉兵衛　8俵　M3　30才　本覚寺　4丁

竹内弥三吉（貞一）　栄之介　3人扶持　M4　28才　専光寺　6丁

竹内弥門（恒方）　善太夫　40石　M3　54才　本覚寺　6丁

竹内勇吉（一元）　伊平　2人半扶持　M4　光専寺　3丁

竹内雄二郎（暁春）　清喜　5人扶持　M3　23才　本覚寺　10丁

竹内与三郎（正一）　八十八　6俵　M4　23才　祐専寺　4丁

竹内良平（頼元）　丈左衛門　35俵　M3　62才　妙円寺　6丁

竹内良平（自直）　弥太郎　50俵　M3　33才　瑞泉寺　6丁

竹内林平（守貞）　左太夫　8俵　M3　36才　極楽寺　7丁

竹内和平（守一）　理助　19俵　M3　36才　善福寺　4丁

武内和寿美（和兵衛，直次）　和左衛門　10俵　M3　54才　広済寺

（帙 298）武岡　貢（平太夫，重則）　平蔵　20俵　M3　22才　瑞泉寺　4丁　2冊

竹越喜三郎（忠良）　喜千　15俵　M3　21才　永照寺　4丁

竹越捨五郎（直忠）　喜千　20俵　M5　11才　永照寺　5丁　2冊

竹沢左太郎（成之）　猪右衛門有鄰　45石　M3　40才　本是寺　5丁

竹下卯三郎（直久）　半次直矩　19俵　M2　28才　浄誓寺　5丁

竹下英八郎（政信）　久大夫政純　50俵　M3　30才　仰西寺　12丁

竹下喜一　幸右衛門　13俵　M4　51才　聖泉寺　4丁

竹下金次郎（保義）　六兵衛　15俵　M3　19才　本竜寺　4丁

竹下賢也（録資，以正）　蔵六正立　40石　M3　18才　西雍寺　3丁　2冊

竹下　繁（幸之丞，義明）　良次郎　25俵　M3　19才　長周寺　11丁

竹下　蕃（久作，光明）　久大夫光一　7人扶持　M3　28才　長周寺　5丁　2冊

竹下津一（勝為）　喜一　15俵　M4　22才　4丁

竹下甚六（正直）　忠太夫　20俵　M3　61才　誓円寺　5丁

竹下清次郎（清友）　唯七　20俵　M3　18才　善福寺　5丁

竹下誠造（篤敬）　良蔵　20俵　M3　49才　誓円寺　7丁

竹下恒次郎（永嗣）　良平之信　150石　M3　24才　仰西寺　8丁

竹下虎三（虎之助，信久）　舛右衛門　25俵　M3　45才　長周寺　8丁

竹下八三郎（直秀）　勝左衛門　20俵　M3　37才　誓円寺　5丁

竹下安次郎（喜左衛門，喜宣）　喜平　20俵　M3　12才　誓円寺　8丁

竹下養次郎　与八郎　18俵　M5　15才　玄門寺　7丁

（帙 299）竹下与八郎（一美）　与八郎　18俵　M4　23才　玄門寺　8丁

竹下来太郎　久太夫政純　50俵　M3　20才　仰西寺　8丁

竹下　立（蔵六，正立）　判兵衛正照　300石　M3　46才　西雍寺　9丁

竹下量平（武右衛門，有遥）　磯大夫　清端　33俵　M3　68才　7丁

竹下錬太郎　直久　M6　3才　19俵　浄誓寺　8丁

竹島猪朔（伊之助，勝清）　市朗右衛門　12俵　M3　63才　乗永寺　4丁

竹嶋伊三郎（千之丞，永吉）　伊右衛門　15俵　M3　39才　等願寺　4丁

竹嶋伊三次（伊右衛門，武久）　次郎兵衛　20俵　M3　64才　等願寺　3丁

竹島平作（平助，春明） 平助 15俵 M3 36才 本覚寺 4丁

竹田市三郎（忠和） 市三郎忠善 3,530石 M3 48才 15丁 2冊

竹田勝見（伊右衛門，政正） 九兵衛 6俵 M4 32才 慶恩寺 3丁

竹田　　蔀（和貫） 市三郎忠和 50俵 M4 18才 2丁

竹田外三郎（忠次） 善之助 20俵 M3 18才 専光寺 9丁

竹田渓平（忠友） 鉱十郎 300石 M3 50才 本覚寺 17丁

竹田藤七（藤左衛門，金次） 藤七 6俵 M3 54才 専勝寺 4丁

武田右仲（広業，直業） 7人扶持 M3 62才 善正寺 4丁 2冊

武田一二（定助，政由） 半兵衛 15俵 M3 26才 善正寺 3丁

（峡 300） 武田鍵五郎（信発） 喜左衛門信敏 400石 M3 31才 浄安寺 20丁

武田静男（栄政） 次郎市 15俵 M3 25才 禅童寺 5丁

武田庄治（次郎兵衛，一方） 嘉右衛門 5人扶持 M3 25才 禅童寺 5丁

武田甚次郎（信固） 才兵衛 150石 M3 48才 浄安寺 13丁

武田清休（清左衛門，義一） 源次郎 美昭 130石 M3 72才 浄安寺 7丁

武田外次郎（忠貞） 久右衛門 10俵 M3 17才 西源寺 5丁

武田友作（友左衛門，信秀） 秀造信一 100石 M3 43才 祇陀寺 7丁

武田勇吉 勇次郎 15俵 M5 14才 長念寺 4丁

竹中　　章（錠太郎，為友） 太兵衛為吉 120石 M3 23才 妙慶寺 11丁

竹中伊久（友信） 伊介 9俵 M4 42才 西勝寺 4丁

竹中伊久重（伊介） 伊助定房 10俵 M3 68才 西勝寺 3丁

竹中嘉久治（栄則） 伝右衛門 35俵 M3 59才 光徳寺 7丁

竹中邦香（蛸蜂，忠） 権太夫忠行 40俵 M3 31才 蓮覚寺 7丁

竹中幸次郎（勝行） 幸左衛門 7人扶持 M3 21才 経王寺 3丁 2冊

竹中　　雀（礼和） 文次郎 130石 M3 36才 上宮寺 7丁

竹中駿吉 礼和 130石 M6 4才 上宮寺 6丁

竹中　　井（昌之，耕之丞） 信壮信伴 2人扶持 M3 27才 上宮寺 6丁 2冊

竹中常平（常左衛門，安忠） 宗右衛門 5人扶持 M3 31才 乗善寺 2丁

竹中貞次郎（資治） 八左衛門 50俵 M4 蓮覚寺 5丁

竹中真澄（後素） 鉄蔵尚道 35俵 M3 光専寺 11丁

（峡 301） 武野八郎（秀隆） 宗兵衛 5人扶持 M3 34才 長徳寺 3丁

竹橋和多理（尚文） 九郎大夫 17俵 M4 21才 教願寺 4丁

竹林桂一（定正） 佐平 8俵 M4 24才 慶恩寺 4丁

竹林健次郎（充春） 昌六一充 30石 M3 12才 西源寺 5丁

竹林佐平（定信） 佐次兵衛 8俵 M4 56才 慶恩寺 3丁

竹林清作（忠直） 徳右衛門 7俵 M4 20才 空泉寺 3丁

武林幸六（幸右衛門，直孝） 幸右衛門孝始 55石 M3 53才 実成寺 8丁 2冊

武林左守（孝肥） 幸右衛門直孝 4人扶持 M3 29才 3丁

竹部一美（政忠） 伊助 8俵 M4 20才 光専寺 4丁

武部衛守（吉直） 治郎左衛門吉甫 100石 M3 53才 超雲寺 8丁 2冊

武部喜一郎（且成） 勇左衛門 30石 M3 16才 西勝寺 2丁 2冊

武部喜久男（喜右衛門，友勝） 伊右衛

門 18俵 M3 45才 等願寺 7丁
武部金作（亮長） 清蔵 15俵 M3 32才 専光寺 5丁
武部金次郎 常三 20俵 M6 16才 広済寺 5丁
武部　建（周蔵，定方） 権左衛門定之 24俵 M3 58才 円祐寺 5丁
武部謙作（定経） 津右衛門 6人扶持 M2 45才 極楽寺 11丁
武部健太郎（一喜） 与一 25俵 M5 8才 因徳寺 8丁
武部小一（武一） 清蔵 20俵 M3 43才 専光寺 4丁
武部恒三（定之） 建 15俵 M4 32才 円祐寺 5丁
武部権之丞 権左衛門 17俵 文久4 52才 円祐寺 6丁
武部作次郎（敦正） 八之丞敦定 40俵 M3 57才 静明寺 4丁
（帙 302）武部大次郎（勘左衛門，定勝） 東太郎定次 22俵 M3 35才 広済寺 5丁 2冊
武部常次郎（貞且） 弥五郎 20俵 M3 44才 唯念寺 5丁
武部貞次郎（喜継） 平作憲 40俵 M3 52才 立像寺 11丁
武部伝平（甚丞） 甚作 30俵 M3 58才 本是寺 6丁
武部直江（肖） 喜兵衛 15俵 M3 35才 承証寺 5丁
武部弘之輔（一繁） 辰大夫 35石 M2 32才 大蓮寺 4丁
武部文平（勝政） 吉蔵 20俵 M3 44才 因徳寺 6丁
武部　誠 知右衛門 12俵 M3 49才 願称寺 3丁
武部左源太（源之丞，亮則） 久太郎 20俵 M3 27才 常福寺 6丁
武部治作 紋右衛門 25俵 M4 長周寺 9丁
武部準次郎（知喜） 孫之丞 20俵 M3 30才 本行寺 9丁
武部　生（生知） 定次郎知政 120石 M4 42才 大円寺 16丁
武部善八郎（直道） 善蔵 27俵 M3 39才 光教寺 9丁
武部善六郎 善五郎 20俵 M3 32才 因徳寺 8丁
武部宗太郎（喜蔵，友国） 喜右衛門 15俵 M3 24才 専光寺 4丁
武部益三郎（惟賢） 友之丞惟孝 40俵 M3 13才 善福寺 8丁
武部又吉（尚昌） 茂平 18俵 M3 乗善寺 8丁
武部亦策（幸之助，生知） 定次郎知政 120石 M3 42才 大円寺 17丁
（帙 303）武部茂一（嘉幸） 茂平 18俵 M3 24才 乗善寺 5丁
武部茂平（茂大夫，正則） 伊右衛門 5俵 M3 61才 乗善寺 4丁
武部与一（与大夫，輝一） 小右衛門 25俵 M3 34才 因徳寺 10丁
武部与七 小平次 15俵 M3 宝性寺 4丁
武部録太郎（定勝） 謙作 1人扶持 M3 12才 極楽寺 5丁 2冊
竹正久太郎（義正） 甚太郎 20俵 M5 11才 円光寺 3丁 2冊
竹俣伊三郎（茂武） 武右衛門 3俵 M3 41才 即得寺 3丁
竹俣孫平（孫助，直忠） 久右衛門 9俵 M4 59才 慶恩寺 3丁
竹俣与三郎（直一） 市右衛門 6俵 M4 39才 慶恩寺 3丁
竹松武三郎（暉元） 弥之助 15俵 M3 25才 本竜寺 5丁
竹宮千三郎（市郎右衛門，信之） 六之助 M3 43才 存立寺 4丁
武宮弥三平（好信） 理八 18俵 M3 49才 本法寺 6丁
竹村伊三郎（太兵衛，好玄） 太兵衛 15俵 M3 36才 光徳寺 3丁
竹村市之丞（彰徳） 藤右衛門 5人半扶持 M2 32才 上宮寺 4丁

竹村岩太郎（定静） 久米蔵 13俵 M4 35才 本是寺 5丁
竹村栄次郎 吉兵衛 20俵 M3 26才 乗善寺 8丁
竹村嘉一郎（信勝） 金平 13俵 M3 19才 妙福寺 8丁
竹村一男（義時） 七左衛門 15俵 M3 22才 願念寺 5丁
竹村勝次（直次） 忠太 2人扶持 M3 20才 光専寺 3丁
竹村嘉太郎（冨貞） 波間 10俵 M3 21才 善照坊 2丁
竹村閑山（弥左衛門，克就） 弥左衛門克誠 11俵 M3 53才 上宮寺 4丁
竹村喜久治（五左衛門，忠辰） 五左衛門 3人扶持 M3 22才 専光寺 3丁
竹村幾久馬（政由） 茂助政成 150石 M3 47才 法船寺 12丁
（峡 304） 竹村吉三郎（質直） 吉郎次 20俵 M3 18才 常福寺 8丁
竹村儀八郎（為則） 甚八 20俵 M3 52才 徳栄寺 5丁
竹村喜平（喜兵衛，安吉） 吉郎兵衛 8俵 M3 49才 正福寺 3丁
竹村久三郎（正富） 喜左衛門正直 50俵 M3 24才 安立寺 7丁
竹村啓治（啓之丞，道次） 恒右衛門 30俵 M3 55才 成覚寺 7丁
竹村慶太郎 藤平 10石 M8 11才 徳栄寺 5丁
竹村源吾（嘉忠） 十兵衛 18俵 M4 57才 本光寺 11丁
竹村建作（允信） 儀右衛門 18俵 M3 20才 本是寺 8丁
竹村亢六（右衛門，定勝） 小右衛門 13俵 M4 33才 教願寺 3丁
竹村作五郎（信幸） 林左衛門 30俵 M3 55才 興徳寺 8丁
竹村左守（信之） 新左衛門信好 5人扶持 M3 53才 西光寺 6丁 2冊
竹村三七（茂之） 九平 20俵 M3 29才 7丁
竹村俊三（知道） 伊右衛門知久 40俵 M3 23才 本光寺 11丁
竹村順馬（順之助，正茂） 定左衛門東貢 5人扶持 M3 25才 立円寺 4丁
竹村定平 定左衛門 40石 M4 立円寺 3丁
竹村甚作（直正） 作右衛門 15俵 M3 仰西寺 5丁
竹村慎十郎（信平） 栄山 9俵 M4 26才 上宮寺 5丁
竹村甚八（由一） 吉左衛門 9俵 M4 28才 願性寺 4丁
竹村清作 与次郎 15俵 M3 23才 願行寺 4丁
竹村清次（助次郎，基信） 清次 2人扶持 慶応3 18才 乗善寺 6丁
竹村清三（与三丞，勝良） 冒左衛門 20俵 M3 45才 極楽寺 7丁
竹村清六（政一） 佐兵衛 9俵 M5 31才 祐専寺 4丁
（峡 305） 竹村善次（吉定） 与大夫 30俵 M2 55才 本誓寺 7丁
竹村全次郎（東政） 定平東貢 40石 M4 25才 立円寺 3丁
竹村忠太（直章） 与右衛門 12俵 M4 49才 光専寺 3丁
竹村　統 閑山克就 2人扶持 M7 28才 上宮寺 4丁
竹村直正 永則 20俵 M6 25才 仰西寺 5丁
竹村波間（富政） 歩之助冨矩 36俵 M3 58才 善照坊 6丁
竹村速見（敬一） 孫兵衛通正 5人扶持 M3 59才 4丁 2冊
竹村彦二（正一） 林左衛門 35石 M4 59才 5丁
竹村文次郎（正一） 九郎兵衛 3人扶持 M4 31才 養安寺 4丁
竹村兵四郎（則道） 兵五郎 20俵 M3 24才 極楽寺 6丁
竹村茂三郎（英治） 吉兵衛 15俵 M

3　18才　乗善寺　6丁

竹村保二（友之）　吉兵衛　8丁　M4　44才　瑞泉寺　3丁

竹村勇之助（勇次郎，信文）　左守信之　50石　M3　西光寺　5丁　2冊

竹村庸作（安之）　全太郎　25俵　M3　29才　東本願寺別院　8丁

竹村吉治（知久）　六郎次　25俵　M3　43才　極楽寺　7丁

武村忠太郎（忠兵衛，政清）　忠蔵　3人扶持　M4　19才　知覚寺　3丁

武村平吾（福安）　春二郎安通　250石　M3　21才　極楽寺　9丁

竹松他吉郎（良勝）　弥平　15俵　M5　17才　本竜寺　4丁

竹山熊次郎（友政）　勇太郎　40俵　M3　29才　静明寺　11丁

武山三郎（三郎左衛門，恒忠）　三郎左衛門恒貞　45俵　M3　33才　法然寺　6丁　2冊

武山治部男　小平　78俵　M7　24才　如来寺　5丁

武山三津喜（頼時）　三津喜　50石　M2　35才　本覚寺　11丁

（帙 306）多胡　要（要人，盛善）　小三郎　200石　M2　64才　心蓮社　9丁

多胡喜久　良則　M7　75才　永昌寺　2丁

多胡盛一　盛善　300石　M6　38才　心蓮社　7丁

多胡辰男（辰右衛門，良則）　宗左衛門為成　12俵　M3　51才　永昌寺　4丁 2行

~~多胡辰之丞（良則）　宗右衛門　3人扶持　慶応4　49才　永昌寺　4丁~~

多胡守衛（宗元）　清左衛門為成　2人扶持　M3　57才　永昌寺　4丁 2行

~~多胡守人（清左衛門，宗元）　宗左衛門　2人扶持　安政6　49才　10丁~~

多胡雄太郎（盛一）　要人　100石　M3　35才　心蓮社　4丁

田子島鉄男（茂久）　長右衛門　20俵　M3　20才　広済寺　5丁

大宰孫九郎（友邦）　太郎左衛門友信　88俵　M3　46才　松山寺　7丁

田崎喜一郎（喜久）　幸助　18俵　M4　29才　玄光院　7丁

田崎貞次郎（定久）　幸助　15俵　M4　35才　玄光院　6丁

田沢久七（元辰）　一　8俵　M4　41才　照台寺　2丁

田沢権三郎（義正）　権三郎　40俵　M3　42才　乗善寺　6丁

田鹿幸十郎（一親）　亮助　20俵　M4　16才　西光寺　8丁

田島伊三郎（道春）　義大夫　5人扶持　M5　27才　光福寺　3丁

田島一平（一信）　与三右衛門　18俵　M4　34才　上宮寺　5丁

田島吉太郎（安行）　市三郎　15俵　M3　22才　福念寺　4丁

田島幸松（吉左衛門，良明）　吉左衛門　15俵　M3　33才　長善寺　3丁

田島作治（義次）　太右衛門　8俵　M4　33才　本誓寺　2丁

田島新作（義平）　権兵衛　8俵　M4　74才　常福寺　2丁

田島信三（木立）　信左衛門本茂　40俵　M3　24才　極楽寺　6丁

田島新太郎（力位）　訪平　2人扶持　M4　20才　善福寺　6丁

田島津平（正元）　平作盈正　100石　M3　61才　極楽寺　6丁

田島宗吉（政房，宗兵衛）　吉兵衛　5人扶持　M4　45才　妙福寺　5丁　2冊

（帙 307）田島初三郎（一幸）　六大夫善之　14俵　M3　23才　善福寺　4丁

田島訪平（与兵衛，良信）　与三助　17俵　M3　50才　善福寺　4丁

田島又吉（嘉兵衛，太都）　太兵衛　15俵　M3　42才　願楽寺　5丁

田島安次郎（義生）　信左衛門本茂　40俵　M3　21才　極楽寺　7丁

田島庸三（定理）　宗左衛門珍儀　40

俵 M3 25才 立像寺 13丁

田島吉次（吉之助，長次） 安兵衛 6俵 M3 30才 乗光寺 4丁

田島六大夫（善之） 弥兵衛 3人扶持 文久3 64才 善福寺 4丁

田尻磯二（幾右衛門，宗春） 小右衛門 7俵 M4 37才 賢徳寺 3丁

田尻一貫（武矩） 与右衛門武信 400石 M3 25才 本光寺 9丁

田尻省吾郎（通雅） 久左衛門 14俵 M3 29才 真福院 3丁 2冊

田尻太一郎（秀実） 善右衛門 5人扶持 M4 26才 円光寺 3丁

田尻忠太郎（勝延） 喜十郎勝之 22俵 M3 15才 真福院 6丁

田尻良平（久左衛門，在通） 伊助寧政 28俵 M3 62才 真福院 8丁

多田一郎（一郎，永久） 満穂増定 3人扶持 M4 22才 慶恩寺 3丁

多田喜三二（喜左衛門，光次） 喜左衛門 18俵 M3 45才 永順寺 5丁

多田喜太郎（友久） 宗兵衛 5俵 M3 15才 専光寺 3丁

多田吉他郎（孝明） 鉄左衛門 2人扶持 M2 14才 静明寺 3丁

多田謙一郎（謙蔵，子従） 忠兵衛 3人扶持 M3 48才 仰西寺 4丁 2冊

多田綱之介（秀一） 主斗秀等 550石 M3 39才 大蓮寺 15丁

多田小平（英貞） 与四郎英信 40俵 M3 50才 妙典寺 5丁

多田権太郎 100石 M3 33才 蓮昌寺 14丁

多田三郎兵衛（知治） 徳次仲知 16俵 M1 15才 超願寺 3丁

（峡 308）多田左守（秀元） 左守秀朱 200石 M3 37才 極楽寺 9丁

多田庄太（庄左衛門，茂如） 庄左衛門茂正 50石 M3 39才 静明寺 7丁

多田鎗次郎（秀茂） 逸次郎 87俵 M3 30才 蓮昌寺 14丁

多田宗平（宗兵衛，友成） 和兵衛 4人扶持 M3 39才 泉光寺 4丁

多田卓英 明勝 7人扶持 M6 静明寺 4丁

多田初太郎 寿直 18俵 M6 12才 全性寺 4丁

多田　実（勝敬） 鉄左衛門 7俵 M3 14才 静明寺 5丁

只村彦太郎（三正） 与三吉知正 19俵 M3 27才 仰西寺 6丁

田近彦太郎（勝信） 太助 15俵 M3 23才 本隆寺 4丁

立川一磨（庄太郎，祐忠） 魚遊順之 150石 M3 21才 浄安寺 10丁

橘　莞爾（源蔵有時） 鉄平有恒 40俵 M3 20才 本長寺 9丁

橘　亀太郎（則国） 太左衛門 3俵 M3 16才 光徳寺 3丁

橘　茂樹（茂，則次） 源太郎 80石 M3 24才 本長寺 7丁

橘　善三郎（勝則） 弥四郎 15俵 M3 32才 願楽寺 4丁

橘　太平 与左衛門 11俵 M5 62才 光徳寺 3丁

橘　彦治（宅右衛門，義政） 彦四郎 15俵 M3 35才 称名寺 4丁

橘　兵馬（重矩） 久大夫 30俵 M3 33才 光敬寺 6丁

舘本尚之（義尚） 仁兵衛 1人半扶持 M3 22才 因徳寺 4丁

辰上小平（小右衛門，正信） 嘉兵衛 12俵 M3 64才 福念寺 3丁

辰川清作（寿） 清蔵 15俵 M3 18才 名願寺 3丁

辰川太三郎（伊右衛門，正春） 小右衛門 12俵 福念寺 3丁

立田為次郎 清次郎 7石 M7 5才 正覚寺 5丁

立野亀久男（知徳） 太助 15俵 M3 22才 浄行寺 3丁

立野又次郎（久義） 甚大夫 17俵 M4 18才 浄行寺 3丁

(帙 309) 辰巳 伊八太郎（正信） 吉四太郎 15俵 M3 39才 広済寺 4丁
辰巳 吉三郎（吉大夫，則親） 権六 35俵 M3 28才 善福寺 6丁
辰巳 久次郎（良久） 安兵衛 2人扶持 M4 53才 道林寺 3丁
辰巳 啓（信能） 判九郎 150石 M3 23才 鶴林寺 10丁
辰巳 孝作（興久） 七兵衛 1人半扶持 M4 49才 等願寺 3丁
辰巳 佐吉郎（成友） 伊兵衛 15俵 M3 18才 等願寺 3丁
辰巳 佐六（直行） 佐兵衛 11俵 M4 37才 道林寺 3丁
辰巳 重平（重左衛門，福器） 庄助 6人扶持 M4 63才 乗善寺 5丁
辰巳 閏吉（吉政） 誠大夫喜侑 40石 M3 16才 上宮寺 6丁
辰巳 新作（直一） 甚兵衛 15俵 M3 32才 常慶寺 4丁
辰巳 新平（一忠） 新助 2人扶持 M5 36才 広済寺 3丁
辰巳 誠太夫（喜侑） 金大夫 40石 M3 59才 上宮寺 4丁
辰巳 弥太郎（弁貞） 十兵衛 30俵 M3 54才 慶恩寺 5丁
辰巳 弥八郎（茂則） 弥三丞 20俵 M3 34才 道林寺 6丁
辰巳 与作（春満） 三右衛門 18俵 M3 38才 西光寺 6丁
辰巳 与太郎（則之） 三右衛門 15俵 M4 23才 善福寺 3丁
辰巳 六十郎（安重） 清大夫安貞 130石 M3 33才 鶴林寺 14丁
辰巳 和平（正友） 和平 20俵 M3 74才 仁随寺 3丁
立村 友三郎（頼近） 右左衛門 50石 M2 長周寺 3丁
辰村 五郎（昌信） 安右衛門 14俵 M4 30才 善福寺 2丁
辰村 七三郎（為久） 市兵衛 5俵 M5 才32 善福寺 3丁
辰村 虎吉（為之） 八十吉 15俵 M3 21才 西方寺 6丁
辰村 八十吉（栄国） 和助 24俵 M3 42才 西方寺 5丁
辰村 与作（昌安） 孫助 8俵 M5 41才 善福寺 3丁
堅野 竹松 茂八勝本 20俵 M5 15才 西光寺 4丁
(帙 310) 田中 伊三郎（正平） 孫助 2人扶持 M4 48才 善福寺 3丁
田中 造（昌則） 半之助 25俵 M3 28才 善徳寺 10丁
田中 稲生（真親） 幸作真淳 70石 M3 30才 承証寺 8丁
田中 伊八郎（季平） 伊八郎 20俵 M3 17才 本妙寺 5丁
田中 宇平太（正厚） 善左衛門正和 2人扶持 M3 32才 松山寺 8丁 2冊
田中 宇兵太（昭達） 鳩五郎 40俵 M3 36才 浄安寺 14丁
田中 栄吾（栄介，義茂） 弥三右衛門 20俵 M3 58才 永伝寺 5丁
田中 於登吉（定勝） 武大夫 27俵 M3 36才 心蓮社 7丁
田中 一雄（喜之） 孝逸惟一 30俵 M3 31才 法船寺 8丁
田中 一二（武大夫，義登） 勘大夫 25俵 M3 71才 心蓮社 5丁
田中 嘉太郎 嘉右衛門 3人扶持 M1 妙正寺 4丁
田中 亀太郎（時厚） 源之丞朝延 3人扶持 M3 49才 安立寺 6丁
田中 勘兵衛（定寛） 勘兵衛 90石 M1 34才 11丁
田中 喜久磨（忠照） 喜曽兵衛忠包 5人扶持 M3 22才 安立寺 7丁
田中 喜三郎（喜三兵衛，時忠） 喜兵衛 20俵 M3 32才 善徳寺 5丁
田中 幾太郎（基徳） 竜左衛門助広 7人扶持 M3 25才 心蓮社 2丁 2冊
田中 吉太郎（則定） 隼之助 3人扶持 M2 12才 専徳寺 1丁 2冊

田中久平（久大夫，吉勝） 八左衛門 20俵 M3 52才 専光寺 5丁

田中　清（藤左衛門，義勝） 藤蔵 11俵 M4 35才 本蓮寺 3丁

(帙 311) 田中金七（嘉政） 久蔵 25俵 M3 39才 願念寺 7丁

田中九八郎（永友） 作兵衛永芳 50俵 M3 40才 法船寺 10丁

田中九郎（一忠） 九郎右衛門 2人扶持 M3 20才 善福寺 5丁

田中源吉（孝之助，政一） 孝逸 5人扶持 M3 14才 法船寺 6丁

田中謙作（周左衛門，克好） 権左衛門 30石 M3 48才 等雲寺 3丁

田中源太郎（包道） 平丞 25俵 M3 19才 善徳寺 7丁

田中源太郎（知之） 亀太郎 2人扶持 M3 23才 安立寺 3丁

田中源之丞（正良） 源左衛門 60石 万延1年 21才 全昌寺 8丁

田中耕吉（恒之助，英信） 茂右衛門 20俵 M3 28才 8丁

田中幸作（友行） 助三郎 3人扶持 M3 42才 浄行寺 3丁 2冊

田中貢作（直如） 五郎左衛門直政 40俵 M3 33才 宗徳寺 9丁

田中耕作（耕蔵，有道） 弥右衛門有恪 40石 M3 18才 安立寺 6丁

田中耕三郎（幸之丞，雅一） 幸左衛門 20俵 M3 34才 大蓮寺 6丁

田中恒三（直久） 孫助 20俵 M4 46才 月照寺 6丁

田中駒之助（定明） 定右衛門 30石 M2 17才 西勝寺 4丁

田中権太郎（朝次） 才三郎 15俵 M3 11才 祇陀寺 4丁

~~田中権之助（道政） 権七 40石 M2 43才 永順寺 4丁~~

田中斉一（斉右衛門，友明） 久大夫 20俵 M3 50才 法船寺 11丁

田中佐一郎（精陳） 多左衛門 2人扶持 慶応2 20才 了願寺 2丁

田中作二郎（作左衛門） 道政 40石 M3 44才 永順寺 3丁

田中作造（作之助，佐久） 清丞 20俵 M3 33才 浄泉寺 6丁

田中作平（九左衛門，自知） 九左衛門自道 6人扶持 M3 52才 妙典寺 4丁 2冊

田中佐久平 雄親 30俵 M6 39才 本妙寺 5丁

(帙 312) 田中定七（信之） 左大夫知之 10人扶持 M3 40才 法然寺 6丁

田中三郎彦 20俵 M6 25才 月照寺 3丁

田中三次（美行） 弥三兵衛 8俵 M3 41才 敬栄寺 3丁

田中三平（三右衛門，正好） 三弥正信 M3 55才 承証寺 7丁

田中三弥（正之） 三平正好 4人扶持 M3 25才 承証寺 4丁 2冊

田中重晴 重致 80石 M6 22才 久昌寺 9丁

田中治三郎 友近 25俵 M5 12才 西勝寺 7丁 2冊

田中治七郎（正信） 勘右衛門 12俵 M3 36才 繁久寺 7丁 2冊

田中七郎（彦大夫，重孝） 清左衛門 5人扶持 M3 30才 本是寺 4丁

田中仕平（仕右衛門，中一） 与四兵衛 15俵 M3 浄行寺 4丁

田中重次郎（一文） 武兵衛 20俵 M3 28才 蓮覚寺 7丁

田中収三（収蔵，直一） 外左衛門正豊 2人半扶持 M3 31才 本浄寺 5丁 2冊

田中周太郎（愚） 周左衛門 3人扶持 M3 17才 等雲寺 3丁

田中重丁（重之助，茂良） 平助 3人扶持 M3 40才 大蓮寺 6丁

田中潤五郎（吉兵衛，徳興） 弥兵衛良詮 30俵 M3 45才 長久寺 7丁

田中淳次郎（弥次兵衛，好治） 豊和 3人扶持 M3 20才 法船寺 6丁

田中春平（真国） 春井 3人扶持 M4 29才 徳円寺 7丁

田中定太郎 七郎 5人扶持 M5 7才 常徳寺 3丁

田中定太郎（定朝） 定右衛門勝定 30石 M3 18才 西勝寺 6丁

田中祥当 甚平 18俵 M5 23才 善徳寺 7丁

田中四郎（良忠） 四郎右衛門 11俵 M4 59才 慶恩寺 3丁

（帙 313） 田中甚三郎（甚蔵，直道） 甚八 20俵 M3 28才 西勝寺 8丁

田中信十郎（宗信） 儀平 9俵 M3 22才 永順寺 5丁

田中信吾（温） 誰斎 10人扶持 M3 34才 立像寺 2丁

田中鈴馬（則孝） 60石 M3 9才 松山寺 6丁 2冊

田中捨次郎（政一） 初太郎 50石 M1 22才 本因寺 7丁

田中清吾（政秀） 林丞 25俵 M3 20才 善徳寺 8丁

田中清五郎（伝大夫，一清） 喜左衛門 5人扶持 M3 30才 本是寺 4丁

田中清三郎（八蔵） 喜助 1人半扶持 M3 23才 慶恩寺 3丁

田中政次郎（之通） 権作 20俵 M3 20才 本長寺 6丁

田中清八（忠久） 治兵衛 2人扶持 M3 51才 瑞泉寺 3丁

田中善吾（善五大夫，雄親） 甚五兵衛 30俵 M3 67才 本妙寺 8丁

田中善作（長左衛門，茂只） 六右衛門 15俵 M3 24才 正覚寺 3丁

田中仙太郎（正忠） 平次郎 20俵 M3 43才 浄行寺 5丁

田中善太郎（史生，正義） 伝右衛門 40俵 M3 55才 本是寺 12丁

田中荘次郎（景福） 豊蔵敬景 17俵 M3 15才 波着寺 5丁

田中大玄（元泰尚徳） 折肱 50石 M3 53才 善徳寺 5丁 2冊

田中太作（幸左衛門，政治） 幸蔵政勝 7人扶持 M3 42才 敬栄寺 4丁 2冊

田中唯七（兼光，唯之丞） 丈大夫兼直 7人扶持 M3 28才 本因寺 8丁

（帙 314） 田中多仲（本次） 善五郎永次 150石 M3 59才 融山院 6丁

田中多仲（武信） 保，章義 20俵 M5 25才 西方寺 6丁

田中辰二（一久） 恒三 15俵 M3 18才 月照寺 4丁

田中　巽（武也） 丹治 20俵 M4 19才 善徳寺 7丁

田中玉樹（端） 周助惟貞 16俵 M4 36才 永順寺 4丁

田中千馬造（拙之助） 慶介 20俵 M3 26才 仰西寺 5丁

田中忠四郎（頼一） 忠兵衛 15俵 M3 39才 善福寺 6丁

田中千代 岩雄 20俵 M7 28才 西方寺 5丁

田中次之 多仲 86俵 M6 33才 融山院 7丁

田中鉄三 吉勝 20俵 M7 10才 専光寺 5丁

田中伝三郎（正親） 専助 15俵 M4 18才 光教寺 6丁

田中伝三（伝蔵，輔一） 忠蔵 30俵 M3 64才 大蓮寺 8丁

田中藤次郎 頼一 1人半扶持 M7 善福寺 3丁

田中藤太郎（忠正） 鉄三郎 20俵 M3 15才 常徳寺 5丁

田中徳太郎（徳之助，守知） 徳左衛門 20俵 M3 18才 上宮寺 7丁

田中友三郎（忠晴） 大佐 7人扶持 M3 31才 静明寺 6丁 2冊

田中友太郎（従之） 藤馬従貞 2人扶持 M3 20才 常徳寺 6丁

田中豊太郎 定庸 25俵 M7 32才 蓮昌寺 5丁

田中豊平（善信） 甚四郎 25俵 M

4　50才　願念寺

田中虎吉　20俵　M8　11才　西方寺　6丁

田中直次郎（直忠）　惣大夫　20俵　M3　25才　本妙寺　6丁

田中直治（政之）　弥三郎　20俵　M4　27才　長周寺　7丁

田中波江（範蔵，正式）　喜左衛門正和　150石　M3　43才　松山寺　7丁

（帙 315）田中　庭（庭蔵，品康）　春井音吉　30俵　M3　62才　徳円寺　7丁

田中稔次郎（春寿）　春井　3人扶持　M3　徳円寺　6丁

田中信成（稲生）　吉大夫信敏　8人扶持　M3　35才　玄門寺　6丁　2冊

田中信義　忠次　2人扶持　M6　21才　静明寺　4丁

田中　登（政一）　初太郎政秀　50石　M3　24才　本因寺　6丁

田中はつ　春井　4人扶持　M8　36才　徳善寺　6丁

田中隼太（多左衛門，久忠）　五郎左衛門精義　100石　M3　45才　了願寺　6丁　2冊

田中隼之助（義方）　平兵衛　3人扶持　慶応2　56才　専徳寺　4丁

田中半次郎（守誠）　半助守次　40石　M3　31才　随順寺　3丁　2冊

田中半平（小左衛門，重貞）　弥兵衛勝久　15俵　M3　65才　西方寺　5丁

田中　彦（彦助，由之）　孫助　20俵　M3　69才　月照寺　4丁

田中文次郎（一治）　鍋吉　15俵　M3　19才　善正寺　3丁

田中文太郎（正和）　文左衛門　2人扶持　M3　20才　照円寺　6丁

田中兵吾（兵庫，猛之）　兵庫躬之　6人扶持　M3　41才　願成寺　6丁　2冊

田中兵午郎（元次）　兵九郎　20俵　M3　34才　超雲寺　11丁

田中平作（平左衛門，義方）　平兵衛　義久　3人扶持　M3　60才　専徳寺　5丁

田中平次（行直）　五左衛門　17俵　M4　42才　仁随寺　9丁

田中平兵衛（邦晴）　慈休　7人扶持　天保4　32才　専光寺　6丁

（帙 316）田中豊作（文之丞，一正）　庄兵衛　25俵　M3　41才　心蓮社　5丁

田中方平　和兵衛康礼　60石　M3　68才　興徳寺　6丁　2冊

田中豊和（式和）　金斉　25俵　M4　56才　法船寺　7丁

田中孫次郎（正友）　四郎　2人扶持　M4　19才　慶恩寺　3丁

田中方吉（直義）　平次郎　20俵　M3　29才　浄行寺　4丁

田中政之丞（信之）　左大夫　10人扶持　慶応2　35才　法然寺　10丁

田中又勝（喜久進，喜明）　与三左衛門　25俵　M3　34才　本性寺　6丁

田中又介（正景）　忠兵衛　3人扶持　元治1　33才　善徳寺　6丁

田中万作（一次）　金斉　4人扶持　M4　44才　法船寺　8丁

田中　貢（玄大夫，憲孝）　源大夫　20俵　M3　29才　大蓮寺　7丁

田中満二（儀門，武正）　吉右衛門　20俵　M3　24才　蓮覚寺　10丁

田中陸吉（重信）　作兵衛永誉　50俵　M3　35才　法船寺　9丁

田中茂三郎（政茂）　茂右衛門　15俵　M3　18才　聖興寺　4丁

田中元遠（春久）　春井　2人扶持　M3　38才　徳円寺　4丁

田中八百七（朝忠）　新左衛門朝宗　150石　M3　32才　月照寺　11丁

田中弥吉郎（信定）　弥兵衛　15俵　M3　19才　願称寺　3丁

田中弥作（元孝）　弥左衛門　25俵　M3　40才　法光寺　8丁

田中　安（平兵衛，邦均）　平兵衛邦晴　40石　M3　28才　専光寺　7丁

田中康男（易則） 専次 2人扶持 M4 30才 本行寺 6丁

田中安太郎（直内） 幸左衛門政次 3人扶持 M3 18才 敬栄寺 4丁 2冊

田中安平（安大夫，備資） 与大夫 20俵 M3 69才 善徳寺 5丁

（帙 317） 田中弥三次（喜一） 弥三 3人扶持 M3 26才 極楽寺 8丁

田中勇吉（常寛） 伊兵衛 2人扶持 M3 37才 願念寺 9丁 2冊

田中雄治（八左衛門，知喜） 次郎左衛門 20俵 M3 29才 上宮寺 5丁

田中勇太郎 安平 20俵 M6 6才 善徳寺 6丁

田中与市郎（頼立） 孫助 15俵 M3 22才 本誓寺 4丁

田中与吉（与三兵衛，義忠） 四郎右衛門 2人扶持 M4 56才 慶恩寺 3丁

田中由門（清省） 歓翁忠厚 11人扶持 M3 47才 法然寺 5丁 2冊

田中良秀（直三，良秀） 弥三郎 20俵 M4 25才 蓮昌寺 7丁

田中与三男（永図） 権蔵維祺 62俵 M3 45才 本光寺 13丁

田中理三雄（勝貞） 理右衛門 20俵 M3 24才 長周寺 5丁

田中龍三郎（正一） 竜之助 15俵 M3 20才 等願寺 5丁

田中良五郎（定好） 久五郎 28俵 M3 30才 遍照寺 11丁

田中鍼左衛門（章臣） 一水 30石 M3 36才 照円寺 4丁

田中良作（邦孚） 権作 20俵 M3 11才 本長寺 5丁

田中良太郎 外三郎 45俵 M6 15才 興徳寺 6丁 2冊

田中良之助（正明） 量助 23俵 M3 10才 善徳寺 6丁

田中林太郎 （貞為） 儀三郎 20俵 M5 実相院 4丁

田中 渉（正明） 準政之 22俵 M4 11才 4丁

田中和六（和左衛門，佇義） 六佐衛門 110石 M3 51才 静明寺 10丁 2冊

（帙 318） 棚田啓吉（覚之助，実次） 銀太郎 20俵 M3 27才 浄行寺 7丁

棚田源三（正義） 間兵衛 30石 M4 45才 誓光寺 4丁

棚田源兵衛（徳恒） 与三助 30石 M2 43才 誓光寺 3丁

棚橋喜一郎 豊吾 20俵 M3 33才 盛立寺 8丁

棚橋喜左次（茂正） 喜左衛門忠之 50石 M3 39才 妙慶寺 7丁 2冊

棚橋喜三次（寛明） 長左衛門 25俵 M3 最勝寺 9丁

棚橋吉太郎（武栄） 良之助武久 50俵 M3 25才 来教寺 9丁

棚橋義六（義左衛門，易全） 定之助 易重 4人半扶持 M3 28才 来敬寺 5丁 2冊

棚橋幸五郎（弥太夫，易直） 平作易弘 60石 M3 41才 来教寺 5丁 2冊

棚橋璽次郎（安忠） 伝左衛門 20俵 M3 19才 来教寺 8丁

棚橋常治（忠栄） 覚佑 30石 M4 32才 善照坊 7丁

棚橋平吉郎（易義） 幸五郎 2人半扶持 M3 12才 来敬寺 2丁 2冊

棚橋茂久男（茂久助，正茂） 喜左次茂正 3人扶持 M3 14才 妙慶寺 3丁 2冊

田辺市三（荘正） 喜大夫 35俵 M3 64才 本是寺

田辺英三郎（貞信） 左兵衛 330石 M4 37才 大乗寺 9丁

田辺栄次郎（歩平） 彦右衛門 15俵 M3 21才 善福寺 4丁

（帙 319） 田辺 治（森人，吉定） 周三郎順之 35俵 M3 22才 妙円寺 5丁

田辺嘉朔（儀休） 九右衛門 10俵 M4 63才 西源寺 2丁

田辺寛三郎 仙三郎 150石 M3 27

才　大乗寺　6丁

田辺官造（守明）　喜蔵　20俵　M3　28才　本是寺　5丁

田辺喜市郎（正之）　権平恭近　60俵　M3　50才　大乗寺　8丁

田辺喜久太郎（信道）　藤蔵瑞道　200石　M3　57才　松月寺　7丁

田辺菊馬（直諒）　八左衛門玄通　200石　M3　49才　松月寺　11丁

田辺吉六（美道）　六兵衛　8俵　M4　33才　善福寺　3丁

田辺喜平　喜右衛門　15俵　M3　27才　本是寺　6丁

田辺久午郎（盛親）　八十八盛勝　35石　M4　14才　大念寺　3丁

田辺久平（久左衛門，忠静）　孫助安静　110石　M3　53才　妙泰寺　8丁

田辺金一郎（弥左衛門，武基）　弥三丞　20俵　M3　33才　照円寺　9丁

田辺九平（九兵衛，世豪）　適斉豪雄　400石　M3　48才　了願寺　13丁

田辺健斎（武兵衛，少守）　昌八美雅　40俵　M3　60才　浄光寺　9丁　2冊

田辺　耕（耕蔵，昌之）　吉蔵昌房　100石　M3　35才　本長寺　11丁

田辺三四郎　尚成　120石　M6　33才　本長寺　5丁

田辺次三郎（信行）　太平　35俵　M5　19才　本是寺　4丁

田辺　鎮（布農）　余所吉恭農　50俵　M3　39才　善福寺　16丁

田辺重久郎（直忠）　五兵衛忠宗　7人扶持　M3　34才　本是寺　8丁

（帙 320）田辺省八（少則）　健斉少守　40俵　M4　22才　浄光寺　6丁

田辺治郎（守，直勝）　東笋安静　60俵　M3　43才　妙泰寺　7丁

田辺新作（新左衛門，金秋）　新左衛門　2人扶持　M3　35才　善福寺　4丁

田辺助正　皆平　85俵　M5　46才　妙泰寺　7丁

田辺正作（作左衛門，尚成）　浅右衛門尚徳　120石　M3　本長寺　6丁

田辺誠三（昌次）　平之助　300石　M3　37才　妙立寺　9丁

田辺誠摩（直忠）　理兵衛　2人扶持　M4　27才　善福寺　4丁

田辺仙三郎（信武）　判次郎典義　300石　M3　55才　大乗寺　15丁

田辺外男　喜市郎　30石　M6　13才　大乗寺　6丁

田辺　拓（為光）　喜左衛門安忠　40俵　M3　20才　妙円寺　6丁

田辺太兵衛（信抽）　与左衛門　35俵　M3　78才　本是寺　8丁

田辺常三郎（敬親）　茂太郎　170石　M3　37才　本長寺　9丁

田辺鉄三郎　辺　10石　M7　本是寺　6丁

田辺藤平（助太夫，知正）　栄次郎以政　300石　M3　26才　大乗寺　8丁

田辺富三郎（是静）　東笋安静　60俵　M3　42才　妙泰寺　6丁

田辺土龍（助正）　皆右衛門助欽　50俵　M3　44才　妙泰寺　5丁

田辺尚武　竜衛　16石　M7　19才　久法寺　7丁

田辺　春（塚之進，維明）　維基　110石　M3　20才　竜淵寺　9丁　2冊

田辺　久（徳著）　嘉朔　7俵　M4　30才　西源寺　2丁

（帙 321）田辺文吉（勝則）　文右衛門　15俵　M3　23才　照台寺　4丁

田辺文三郎（清一）　50石　M3　16才　竜淵寺　6丁　2冊

田辺文三（尊陸）　文次郎　12俵　M4　60才　雲竜寺　3丁

田辺平左衛門（貞交）　六三郎　7俵　M3　32才　敬栄寺　4丁　2冊

田辺平六　六三郎　15俵　M5　34才　敬栄寺　5丁

田辺　辺（春信）　喜右衛門　20俵　M3　23才　本是寺　8丁

田辺皆平（皆右衛門，助欽）　弥平助

延 130石 M3 71才 妙泰寺 7丁
田辺 弥四郎（吉一） 仁平吉直 40俵 M3 26才 広済寺 5丁
田辺 八十八（盛勝） 歩勝信 35石 M3 12才 大念寺 5丁
田辺 祐三 誠摩 2人扶持 M8 25才 善福寺 4丁
田辺 膺（義治） 良節義一 8人扶持 M3 40才 善徳寺 6丁
田辺 吉次（吉兵衛，可直） 半五郎 5人扶持 M3 45才 静明寺 4丁
田辺 与三平（忠勝） 孫右衛門 15俵 M3 44才 瑞泉寺 4丁
田辺 良造（理尚） 弥平 15俵 M4 19才 善福寺 7丁
田辺 六三郎（命貞） 六兵衛 3人扶持 M3 70才 敬栄寺 3丁 2冊
田辺 魯長生（維基） 甚左衛門 4人扶持 M3 57才 竜淵寺 7丁
田辺 和太郎（頼一） 菊馬直諒 72俵 M4 8才 松月寺 7丁
谷 伊三郎（勝由） 清左衛門 8俵 M5 20才 照円寺 3丁
谷 久七（一益） 甚左衛門 2人扶持 M5 40才 浄願寺 3丁
谷 九一（直温） 九一郎道博 300石 M3 32才 承証寺 9丁
谷 源次（源助，清次） 六右衛門 20俵 M3 60才 勝興寺 4丁
谷 作次（安行） 三右衛門 8俵 M4 38才 専福寺 2丁
谷 藤太郎（勝紀） 源蔵 15俵 M3 22才 勝興寺 4丁
谷 与利 小照 25石 M8 承証寺 8丁
谷 孫作（久則） 孫七 8俵 M4 40才 本誓寺 3丁
谷 茂三郎（正一） 清八 15俵 M3 21才 広済寺 6丁
（峡 322） 谷内一郎（良唯） 儀兵衛 15俵 M3 19才 光専寺 5丁
谷内幸作 豊六 2人半扶持 M7 17才 常福寺 4丁
谷内 治三郎（正次） 治兵衛 15俵 M3 24才 常福寺 3丁
谷内 せつ 九平 5石 M7 15才 照円寺 3丁
谷内 全太郎（忠秋） 助太郎 9俵 M3 15才 遵楽寺 4丁
谷内 常三郎（正之） 太十郎 1人半扶持 M4 13才 光専寺 3丁
谷内 仁三郎 忠秋 4石 M8 15才 遵楽寺 3丁
谷内 豊六 幸助 18俵 M4 常福寺 4丁
谷尾 佐七郎（一信） 作右衛門 15俵 M3 26才 光専寺 5丁
谷尾 余所男（尚之） 円蔵朝元 19俵 M3 24才 興徳寺 6丁
谷川 一平（善継，信保） 10俵 M3 40才 等願寺 2丁 2冊
谷川 嘉作（賢則） 七郎左衛門 2人扶持 M3 51才 名願寺 9丁
谷川 蘗吉（直一） 嘉作賢則 13俵 M3 21才 名願寺 8丁
谷口 栄太郎 善平 15俵 M7 17才 福念寺 5丁
谷口 吉次郎（富勝） 権右衛門 18俵 M4 31才 徳竜寺 5丁
谷口 久次郎（勝好） 吉兵衛 7俵 M4 25才 照円寺 3丁
谷口 三次郎（為信） 九左衛門正直 50俵 M3 26才 蓮昌寺 11丁
谷口 清次郎 清三郎 5石 M8 29才 本善寺 3丁
谷口 善六（直左衛門，光之） 六左衛門 10俵 M3 43才 福念寺 5丁
谷口 太三郎（重登） 与三右衛門 10俵 M4 31才 照円寺 3丁
谷口 鍊吉（彦右衛門，行平） 九左衛門正直 50俵 M3 34才 蓮昌寺 9丁
谷口 良五郎（光久） 直左衛門光之 4俵 M3 13才 福念寺 5丁
谷崎 作平（可章） 初次郎雖碁 50石

M3　58才　妙福寺　5丁

谷崎　恒（恒右衛門，義章）　作平可章　7俵　M3　27才　妙福寺　4丁　2冊

(帙 323) 谷村　吉太郎（安春）　与八　1人半扶持　M4　25才　照円寺　3丁

谷村　吉平（勝清）　吉兵衛　6俵　M4　69才　光福寺　3丁

谷村　喜八（吉左衛門，道之）　藤右衛門　3人扶持　M3　39才　専光寺　3丁

谷村　久次郎（忠勝）　伝右衛門　2人扶持　M4　27才　万福寺　4丁

谷村　久平（信然）　次左衛門　18俵　M3　44才　本浄寺　4丁

谷村　熊太郎（正忠）　茂人右衛門　9俵　M3　16才　上宮寺　3丁

谷村　啓二郎（武正）　啓次　18俵　M3　22才　真成寺　4丁

谷村　小藤太（徹迅）　次右衛門　12俵　M3　24才　西勝寺　5丁

谷沢　三次（吉左衛門，寿貞）　伊助　20俵　M3　聖泉寺　3丁

谷沢　恒吉（豊信）　三次　20俵　M5　15才　玄光院　4丁

谷橋　源太郎（義茂）　瀬左衛門　10俵　M4　28才　福念寺　4丁

谷橋　虎二郎（善貞）　瀬左衛門　3人扶持　M4　20才　福念寺　4丁

谷保　弥三八（治栄）　喜久次　2人半扶持　M4　23才　東本願寺別院　5丁

谷俣　喜久次（治明）　弥三八　11俵　M4　63才　東本願寺別院　6丁

谷俣　治栄　治世喜　11俵　M6　25才　東本願寺別院　5丁

谷村　喜三次（一則）　作兵衛　2人扶持　M4　39才　照円寺　3丁

谷村　小平（勝茂）　新右衛門　8俵　M4　61才　永福寺　3丁

谷村　治作（義勝）　七兵衛　15俵　M3　34才　専光寺　3丁

谷村　七郎（七郎右衛門，保仲）　七郎右衛門　7俵　M3　50才　光専寺　3丁

谷村　庄平（庄兵衛，義明）　20俵　M4　38才　善照坊　6丁

(帙 324) 谷村　甚三（亮助，孝昌）　甚九郎　23俵　M3　41才　真成寺　9丁

谷村　真平（庸慎）　文輔庸命　12俵　M3　31才　真成寺　6丁

谷村　清作（忠清）　伝右衛門　15俵　M5　39才　妙成寺　2丁

谷村　清太郎（輝政）　才次　20俵　M4　15才　極楽寺　4丁

谷村　清八（金暗）　清八　15俵　M3　専光寺　4丁

谷村　宗吉（次右衛門，知次）　伝右衛門　10俵　M4　63才　西勝寺　5丁

谷村　常三（道正）　弥助常方　7人扶持　M3　27才　静明寺　5丁

谷村　定三郎（有義）　与吉　8俵　M4　16才　乗善寺　4丁

谷村　房太（惟延）　喜一郎　28俵　M3　36才　浄行寺　6丁

谷村　与八（一之）　与三右衛門　6俵　M4　64才　照円寺　3丁

谷村　和平（正次）　吉之丞　11俵　M4　51才　徳竜寺　6丁

谷山　善三郎（忠久）　弥平次　9俵　M4　22才　本浄寺　4丁

谷山　弥平次（定右衛門，忠原）　弥平次好忠　14俵　M3　63才　本浄寺

種田　渉（正時）　次左衛門　20俵　M4　22才　広済寺　4丁

田納　宇三郎（永之）　市次郎　8俵　M4　上宮寺　5丁

田納　嘉吉郎（義雄）　喜兵衛　2人半扶持　M4　25才　3丁

田納　金作（守義）　喜兵衛　2人扶持　M4　22才　乗光寺　3丁

田納　幸次郎（幸之助，忠義）　七三郎　15俵　M3　29才　養楽寺　3丁

(帙 325) 田畑　一郎（市郎左衛門）　三郎右衛門　25俵　M3　43才　照円寺　5丁

田畑　永太郎（孝正）　市郎左衛門　17俵

M3　17才　照円寺　7丁

田畑半六（義為）　判蔵為幸　17俵　M3　32才　妙正寺　5丁

田畑万作（止定）　惟和　5人扶持　M3　29才　超雲寺　9丁

田原喜千太郎　喜雄久本　30俵　M5　12才　東本願寺別院　4丁

田原喜雄（喜左衛門，久本）　喜蔵　30俵　M3　59才　東本願寺別院　6丁

田原吉郎（九郎兵衛，之則）　九兵衛　20俵　M3　73才　仁随寺　4丁

田原与平（与右衛門，安則）　与右衛門　7俵　M3　54才　仰西寺　4丁

田原　実（直輝）　惣右衛門直重　35俵　M3　22才　如来寺　7丁

田平栗太郎（寛行）　楹三郎篤行　120石　M3　27才　金剛寺　12丁

田平耕造（造酒，渡）　次左衛門渡正　30石　M3　66才　金剛寺　4丁　2冊

田平左守　耕造　30石　M6　28才　金剛寺　4丁

田平直松（寛邦）　楹輔篤邦　40石　M3　9才　金剛寺　5丁

（帙 326）田伏亥太郎（義行）　作二郎義行　100石　M3　20才　妙慶寺　7丁

田伏金重郎（義敬）　喜八郎義訓　150石　M3　23才　妙慶寺　11丁

田部七郎　玉吉　10石　M7　61才　宗寿寺　10丁

玉井乙鉄　勝見　1,000石　M7　23才　金剛寺　8丁

玉井克三（貞忍）　頼母貞吉　50俵　M4　28才　大乗寺　4丁

玉井勝見（藤左衛門，自誠）　湛斉　自明　1,000石　M3　41才　金剛寺　13丁

玉井久六（貞固）　勘解由貞矩　50俵　M4　44才　大乗寺　5丁

玉井九十郎（勘解由，貞寛）　頼母貞吉　5,000石　M3　28才　大乗寺　11丁　2冊

玉井立吉（由政）　勘左衛門　4人扶持　M3　27才　真成寺　4丁　2冊

玉井　湊（一正）　喜三次一貫　8人扶持　M3　26才　妙応寺　7丁

玉伊懐遠（定右衛門，定章）　善大夫　70石　M3　66才　真成寺　10丁　2冊

玉伊義三郎（信善）　善右衛門守　5俵　M3　真成寺　5丁

玉伊子節（善右衛門，守）　善大夫　40石　M3　61才　真成寺　6丁　2冊

玉伊丹吾（直章）　懐遠　10俵　M3　22才　真成寺　8丁

（帙 327）玉川久作（忠永）　新左衛門　15俵　M3　23才　西方寺　4丁

玉川孤源太（成秀）　二源太成善　400石　M3　43才　永福寺　12丁

玉川小豊太（豊左衛門，光忠）　計之助　150石　M3　62才　雲竜寺　6丁

玉川庄太郎（芳一）　喜三次郎　15俵　M3　22才　慶忍寺　5丁

玉川清次郎　成秀　400石　M7　17才　永福寺　5丁

玉川余所男（敬明）　惣左衛門敬房　120石　M3　36才　雲竜寺　12丁

玉木生実（久右衛門，貞政）　環翁師貞　150石　M3　58才　本覚寺　11丁

玉木　環（信貞）　久右衛門貞政　100石　M3　21才　本覚寺　5丁

玉越圀三（定惟）　圀右衛門忠定　6人扶持　M4　61才　智覚寺　6丁

玉越順太郎（忠一）　置三定惟　5人扶持　M3　28才　智覚寺　5丁

玉越彪八郎（定行）　置三　11俵　M4　24才　知覚寺　5丁

玉田伊三喜　左門　6人扶持　M8　20才　真成寺　6丁

玉田左門（景之，清之進）　新平景高　6人扶持　M3　45才　真成寺　4丁　2冊

玉造小宗太（小右衛門，隆倫）　小右衛門隆晃　140石　M3　37才　安楽寺　8丁

田 丸 栄次郎（貞且） 清之丞且秀 35俵 M3 17才 慶恩寺 6丁
田 丸 治三郎（信隆） 左助信賢 130石 M3 30才 承証寺 10丁
田 丸 十五郎（信成） 千之丞信敬 110石 M3 20才 承証寺 11丁
(帙 328) 田 丸 鐵佐久 甚右衛門 20俵 M6 29才 慶恩寺 3丁
田 丸 太三郎（一久） 吉兵衛 9俵 M4 32才 願清寺 3丁
田 丸 理 平（儀重） 誠四郎 20俵 M4 35才 善徳寺 4丁
田 宮 伊三次（伊之助，道茂） 善兵衛 18俵 M3 41才 願念寺 4丁
多 宮 久 吾（美久） 吉之助 20俵 M4 15才 瑞泉寺 10丁
多 宮 重次郎（定一） 与太郎秀定 25俵 M4 6才 瑞泉寺 3丁
多 宮 与太郎（秀定） 久之丞親定 25俵 M3 30才 瑞泉寺 11丁 2冊
田 向 覚左衛門（覚右衛門，時栄） 覚右衛門時重 3人扶持 慶応2 50才 少林寺 13丁
田 向 久 平（亀之助） 権太郎 5石 安政6 35才 少林寺 9丁
田 村 栄二郎（生長） 弥五平亀年 20人扶持 M3 36才 法船寺 6丁
田 村 吉 郎（通成） 由兵衛 2人扶持 M4 39才 光徳寺 3丁
田 村 幸 作（忠久） 二右衛門 15俵 M3 34才 光徳寺 3丁
田 村 財 記（乙三郎，昌栄） 三醒昌久 60石 M3 30才 妙応寺 7丁 2冊
田 村 茂（茂右衛門，実時） 吉助 11俵 M3 45才 瑞泉寺 4丁
田 村 友次郎（忠一） 吉之丞 20俵 M3 29才 金剛寺 5丁
田 村 虎次郎（勝孝） 庄作 15俵 M3 20才 因徳寺 5丁
田 村 弥太郎 栄二郎 50俵 M7 10才 法船寺 4丁
田 村 与三郎 五右衛門 15俵 M3 23才 教栄寺 4丁
田 村 与四郎（秀邦） 清右衛門 15俵 M3 33才 本浄寺 4丁
為 村 良 曹（作左衛門，矩保） 伊助 35俵 M3 57才 誓願寺 4丁
為 村 六 郎（承苗） 作五郎 25俵 M3 39才 誓願寺 5丁
(帙 329) 田 屋 平 三（平蔵，秀慈） 万作 9俵 M3 28才 妙泰寺 6丁
田 屋 萬 作（清左衛門，方啓） 安左衛門弘毅 10俵 M3 64才 妙泰寺 6丁 2冊
田 屋 柳 作（朋秀） 随意庵秀尚 120石 M3 34才 悦叟寺 10丁
多羅尾 左一郎（守一） 左一郎守静 300石 M3 46才 蓮昌寺 12丁
垂 水 権 六（秀堅） 李八秀則 150石 M3 37才 大乗寺 7丁 2冊
垂 水 三四郎（秀升） 九十男 5石 M3 37才 大乗寺 5丁 2冊
檜 見 嘉 平（以礼） 弥右衛門 4人扶持 M3 53才 広済寺 3丁
檜 見 小太郎（以時） 嘉平以礼 1人扶持 M3 9才 広済寺 2丁
檜 山 佐太郎（孝一） 九兵衛 15俵 M3 23才 西福寺 3丁
多和田 甲子郎 意一 100石 M7 9才 極楽寺 11丁
多和田 新 蔵（正由） 庄太夫止令 80石 M2 22才 極楽寺 10丁
多和田 外 男（意一） 平八郎 100石 M1 16才 極楽寺 13丁 2冊
多和田 時太郎（敏之） 六右衛門 30石 M2 16才 極楽寺 3丁
多和田 彦 八（六右衛門，敏政） 八兵衛 信敏 220石 M3 47才 極楽寺 10丁 2冊
(帙 330) 俵 円太郎（善明） 安兵衛 15俵 M3 19才 慶恩寺 3丁
俵 久太郎（藤久） 文太郎 10俵 M3 42才 慶恩寺 7丁
俵 十 太（太郎兵衛，孝定） 七三郎

18俵　M3　50才　聖泉寺　4丁
俵　甚吉（道高）　甚左衛門　10俵　M4　33才　慶恩寺　5丁
俵　初三郎　義久　2人半扶持　M8　30才　慶恩寺　6丁
団　三太郎（保）　多三　150石　M3　24才　承証寺　4丁
団　多三（親）　栄次郎　450石　M3　63才　承証寺　11丁
団　保親　450石　M6　27才　承証寺　10丁
丹家茂喜（高三）　浅右衛門義光　60石　M3　37才　棟岳寺　8丁　2冊
丹家又次郎　浅右衛門義光　60石　M8　32才　棟岳寺　6丁

ち　行

（帙 331）近岡五平（五兵衛，忠貞）　定　20俵　M3　61才　本妙寺　5丁
近岡道誠（忠蔵）　楢大夫　10俵　M3　55才　正福寺　4丁
近岡ます　五平　20俵　M6　28才　本妙寺　4丁
秩父重幾（乙二郎，重行）　立道豊満　110石　M3　36才　浄安寺　15丁
秩父直吉　清之　60俵　M6　浄安寺　7丁
茶山勝三（勝忠）　兵左衛門　7人扶持　M1　45才　5丁
茶山豊也　勝三勝忠　7人扶持　M5　11才　専光寺　4丁
中条恒三（則久）　栄寿方索　70石　M3　56才　松山寺　10丁
中条恒之丞（則久）　栄寿　70石　安政6　45才　松山寺　9丁
中条鉄男　紋二　18俵　M7　37才　浄光寺　3丁
中条直紀（平蔵，親久）　恒三則久　2人扶持　M3　27才　松山寺　5丁
中条信暉（久男）　久左衛門　21俵　M3　25才　西方寺　5丁　2冊
中条紋二（栄久）　所平　18俵　M4　75才　浄光寺　4丁

（帙 332）長九郎（成連）　大隅守連恭　33,000石　M5　29才　瑞源寺　20丁　3冊
長群児郎（連時）　五郎左衛門連守　150石　M3　18才　本性寺　15丁
長源四郎（連誠）　心計連義　40石　M3　27才　徳翁寺　11丁　2冊
長小次郎（連豪）　琢磨　200石　M2　15才　瑞源寺　25丁　2冊
長三蔵（連孝）　三郎兵衛　130石　慶応3　30才　開禅寺　19丁
長庄右衛門（連方）　与六左衛門連憲　150石　文久3　伝燈院　15丁
長次郎左衛門（益五郎）　五兵衛　300石　嘉永7　21才　徳翁寺　25丁
（帙 333）長心計（連義）　八郎大夫連栄　500石　M5　48才　徳翁寺　8丁　2冊
長仙（連敏）　弥仁兵衛連容　50石　M5　36才　瑞雲寺　4丁
長鎮吉　連時　150石　M7　12才　本性寺　8丁
長連（織江，貞連）　作大夫吉連　100石　M3　34才　久昌寺　8丁　2冊
長連一　連秦　120石　M6　東嶺寺　8丁
長連徳（加兵衛，連徳）　与市右衛門連章　10人扶持　M3　東嶺寺　10丁
長隼太（隼人，仲彦）　遊楽斉　60俵　M3　36才　開禅寺　8丁
長叔郎（連篤）　大隅守連弘　200俵　M4　23才　開禅寺　1丁
長六郎（連茂）　六郎左衛門連真　300石　M4　31才　桃雲寺　9丁

つ　行

（帙 334）柄崎久二郎（金政）　久四郎　11俵　M4　27才　光林寺　5丁
塚田喜内（一景）　源助　30俵　M3　46才　光徳寺　4丁
塚田せん　栄蔵　10俵　M7　26才　正覚寺　6丁
柄原清作（清右衛門，友春）　清右衛門友高　2人扶持　M3　38才　3丁　2冊

柄本伊六（正勝） 作右衛門 8俵 M4 35才 専光寺 4丁

柄本与太郎（金義） 与三郎 20俵 M3 19才 徳竜寺 4丁

塚本嘉六（加久之丞，寛通） 直次 18俵 M3 56才 法光寺 3丁

塚本喜三郎 嘉六 18俵 M6 17才 安楽寺 3丁

塚本謙吉（厚通） 瀬左衛門 18俵 M3 41才 善通寺 5丁

塚本鎌松茂 14俵 M6 5才 善導寺 4丁

塚本幸平太（幸左衛門，押文） 幸平清生 3人扶持 M3 33才 光専寺 4丁 2冊

塚本　茂（久野人，貞一） 立斉貞光 4人扶持 M3 17才 善道寺 5丁

塚本次平（与兵衛，比則） 久五郎 15俵 M3 49才 浄行寺 4丁

塚本清七（直忠） 新次恒 80石 M3 59才 法船寺 5丁

塚本惣平（駒之助，正次） 戸左衛門 20俵 M3 蓮覚寺 6丁

塚本　隆（政英） 治平 11俵 M4 20才 長徳寺 4丁

塚本宅次（義右衛門，隈美） 保右衛門隈茂 M3 40才 善道寺 7丁 2冊

塚本鉄太郎（補守） 半三郎 25俵 M3 16才 正覚寺 5丁

塚本友男（知孝） 澗底正勝 35俵 M3 30才 10丁

塚本外最勝（雄規） 平大夫 25俵 M4 37才 本光寺 13丁

塚本外与吉（正賢） 宇三郎 18俵 M3 18才 安楽寺 6丁

塚本彦次郎（平郷） 孝馬遠郷 40俵 M3 29才 慶恩寺 5丁

塚本勝記（申之） 信左衛門重行 8人扶持 M4 23才 妙円寺 4丁

（帙 335） 塚本弥三郎（豊邑） 次兵衛 15俵 M3 24才 浄光寺 4丁

塚本保太郎（用左衛門，而真） 丹七好問 40石 M3 44才 永福寺 4丁 2冊

塚本六郎（六左衛門，義高） 権右衛門 15俵 M3 33才 西法寺 3丁

津川喜六（銀左衛門，方矩） 七郎左衛門 25俵 M3 49才 静明寺 6丁

津川　蛟（済） 喜三大夫 40石 M3 59才 蓮覚寺 6丁 2冊

津川恒作（直政） 紋左衛門信幸 5人扶持 M3 14才 本福寺 5丁

津川寅作（友直） 団之丞 6人扶持 安政4 41才 妙玄寺 5丁

津川虎次郎（方房） 銀右衛門 20俵 M3 18才 静明寺 5丁

津川元三郎 友直 6人扶持 M6 26才 妙玄寺 5丁

津川弥三六（和満） 喜三大夫 35俵 M3 57才 経王寺 6丁

槻尾甚九郎（直之） 外三郎直之 150石 M3 51才 光覚寺 8丁

槻尾安太郎 左内直信 300石 M3 26才 光覚寺 8丁

佃　久太（之政） 三生 300石 M3 了願寺 8丁

佃　甚太郎（道定） 覚右衛門義定 300石 M4 37才 融山院 8丁

柘　弓木（恭久） 郷兵 10俵 M3 33才 松月寺 3丁

柘　郷兵（正恭） 茂太郎 10俵 M3 69才 松月寺 8丁 2冊

柘　恭久 正恭 10俵 M6 41才 松月寺 9丁

柘　一馬（信一） 音之丞信之 350石 M3 15才 雲竜寺 10丁

（帙 336） 津沢栄太郎 幸二 10俵 M7 15才 瑞泉寺 2丁

津沢吉次（定一） 清吉 15俵 M3 23才 光現寺 6丁

津沢幸二（源兵衛，正賢） 吉右衛門 20俵 M3 61才 瑞泉寺 7丁

津沢幸馬（幸蔵，貞良） 善平 8俵 M3 21才 祐泉寺 4丁

津沢善平（貞一） 幸蔵 12俵 M4 49才 祐泉寺 7丁
津沢徳造（五右衛門，忠明） 和右衛門 18俵 M3 53才 長周寺 6丁
津沢勇二（幸之丞） 喜三平 20俵 M3 22才 妙典寺 5丁
津沢和藤次（信直） 和右衛門 23俵 M3 29才 長周寺 6丁
辻 秋成 秋久 86俵 M6 40才 宝泉坊 8丁 2冊
辻 新（新五左衛門，貞康） 才兵衛好吉 30石 M3 59才 立像寺 7丁 2冊
辻 市郎（務本） 市郎左衛門経孝 55石 M3 33才 全性寺 7丁
辻 宇門（宇左衛門，定業） 和兵衛定則 85石 M3 15才 全性寺 7丁 2冊
辻 乙七郎 市郎 3人扶持 M3 全性寺 3丁
辻 嘉久平（勝正） 宗栄 6人扶持 M3 54才 妙玄寺 6丁
辻 勝次 俵五郎 20俵 M5 12才 勝満寺 7丁
辻 勘栄（勘助，景之） 3人扶持 M3 33才 浄福寺 4丁
辻 金吾（金左衛門，是久） 宅左衛門 35俵 M3 52才 本光寺 11丁
辻 銀次郎（久胤） 良三 50俵 M3 33才 承証寺 6丁
辻 金之丞（安貞） 幸蔵 3人扶持 M2 35才 光教寺 7丁
（帙 337） 辻 孝作（直一） 市右衛門 3人扶持 M4 40才 専光寺 5丁
辻 孝三（孝蔵，章弘） 宗作協和 50俵 M3 妙玄寺 7丁
辻 孝造（小左衛門重暉） 幸蔵重陰 6人扶持 M3 30才 静明寺 9丁 2冊
辻 鋼造（鋼蔵，豊朗） 九兵衛豊武 8人扶持 M3 45才 高源院 6丁 2冊
辻 権左衛門 権左衛門 1人扶持 寛政1 53才 経王寺 4丁
辻 権二（嘉一） 豊大夫一布 7人扶持 M3 31才 慶恩寺 5丁 2冊
辻 作太郎（時乗） 久兵衛 17俵 M3 18才
辻 三郎（三郎左衛門，補克） 多門補信 450石 M3 42才 実成寺 9丁
辻 三郎平（尚政） 才兵衛好古 30石 M3 47才 立像寺 7丁
辻 繁三（明敬） 宗吉肥起 40俵 M4 39才 妙玄寺 6丁
辻 七郎（武成） 仁之助守忠 700石 M3 39才 宝泉坊 10丁
辻 順吉（久道） 津左衛門 5人扶持 M3 22才 光専寺 6丁
辻 四郎（四郎左衛門，正義） 順太郎忠善 40俵 M3 42才 妙成寺 6丁 2冊
辻 新平（新左衛門，任養） 宗朴 50俵 M3 62才 妙玄寺 8丁
辻 末松 清次郎 60俵 M6 3才 実成寺 7丁
辻 宿根（三竜） 五郎左衛門雅美 100石 M3 75才 承証寺 8丁
辻 助三郎（尚政） 才兵衛 30石 M2 46才 立像寺 6丁
辻 捨次郎 藤次 8俵 M6 14才 専立寺 4丁
辻 清次郎（矯） 多門 60俵 M3 37才 実成寺 5丁
（帙 338） 辻 清大夫（篤賢） 直人 3人扶持 M2 26才 3丁
辻 銓次郎（明廸） 宗作協和 80石 M3 妙玄寺 6丁
辻 宗吉（肥起） 宗益 57俵 M3 73才 妙玄寺 8丁
辻 宗午郎（一忠） 宗右衛門 50俵 M3 60才 慶恩寺 10丁
辻 宗作（任周） 新左衛門 3人扶持 M3 19才 妙玄寺 6丁
辻 鐵怠楼（泉，正政） 宗之進 2人

扶持　M3　28才　妙玄寺　6丁
辻　宗弥太（孝寿）　嘉久平　3人扶持　M3　19才　妙玄寺　4丁
辻　宅　市（宅右衛門，秋久）　軍平秋方　130石　M3　67才　宝泉坊　21丁
辻　民　男（安貞）　幸蔵重陰　14俵　M3　35才　光教寺　9丁
辻　常（秋得）　万作定守　150石　M4　31才　高岸寺　11丁
辻　定次郎（保之）　七郎左衛門　11俵　M3　14才　仰西寺　6丁
辻　覊　馬（秋成）　宅右衛門　100石　M3　宝泉坊　7丁
辻　外余太郎（直知）　清八　20俵　M4　6才　照円寺　6丁
辻　二三郎　勘栄　3人扶持　M7　9才　常福寺　3丁
辻　半　作（久之）　銀之助信貞　100石　M3　62才　高岸寺　10丁
辻　半次郎（親厚）　守之助親之　180石　M3　25才　承証寺　8丁
辻　俵五郎（正勝）　伊三郎　20俵　M3　37才　勝満寺　7丁
辻　文　吾（久左衛門，与重）栄左衛門　40石　M3　35才　高源院　6丁　2冊
辻　弁太郎（知正）　半作久之　100石　M4　19才　高岸寺　6丁
（帙 339）辻　松三郎　宗右衛門遐寿　40俵　M3　29才　西光寺　9丁
辻　万　作（定守）　如翁守一　150石　M3　57才　高岸寺　11丁
辻　三千雄（省吾，治安）　尚平行時　100石　M4　17才　承証寺　6丁
辻　無為庵（豊武）　3人扶持　M3　72才　高源院　3丁
辻　本　男（篤賢）　直人篤信　3人扶持　M3　26才　慶覚寺　4丁
辻　弥三郎　安次是一　25俵　M6　15才　本光寺　6丁
辻　四五六（重信）　九兵衛豊武　12俵　M3　33才　高源院　6丁
辻　米　吉　遽怠楼　3人扶持　M5　16才　妙玄寺　4丁
辻　利　吉（元成）　平助　9俵　M4　21才　専光寺　3丁
辻　良　三（久近）　宿根　50俵　M3　55才　承証寺　4丁　2冊
辻　和兵衛（定則）　平蔵　85石　M2　43才　全性寺　4丁
津　路　外次郎（嘉一）　平右衛門　4俵　M4　14才　真行寺　4丁
辻　原　猪　八（猪右衛門，元春）　久太夫　18俵　M3　46才　光専寺　4丁
辻　粂太郎（元次）　猪八　15俵　M4　22才　光専寺　5丁
辻　原　小　作（小右衛門，元次）　小兵衛　10俵　M3　71才　光専寺　4丁
辻　原　善吉郎（久次）　文次郎　10俵　M3　27才　光専寺　4丁
辻　村　幸　喜（市太夫，春房）　彦太夫　30俵　M3　53才　少林寺　7丁
（帙 340）津　田　永太郎（克勲）　角兵衛克一　60俵　M3　36才　松月寺　4丁
津　田　久　米（政明）　津兵衛　15俵　M3　24才　西岸寺　4丁
津　田　権五郎（銑三郎，敬賢）　腿潜道賢　500石　M4　15才　宝勝寺　9丁　2冊
津　田　左　一　藤四郎　18俵　M7　30才　正覚寺　9丁
津　田　津（藤蔵，慎康）　新蔵永康　350石　M3　46才　放生寺　17丁
津　田　新五郎（敬親）　少左衛門章臣　650石　M3　27才　極楽寺　13丁
津　田　清　陸（孝政）　久兵衛　100石　M3　51才　唯念寺　6丁
津　田　善六郎（久武）　亮之助鳳郷　250石　M3　56才　放生寺　12丁
津　田　惣　二（正次）　惣七　8俵　M3　50才　等願寺　4丁
津　田　惣　平（清明）　惣兵衛　8俵　M3　54才　浄照寺　2丁
津　田　忠（克之）　仲見実休　200石　M3　53才　玉竜寺　9丁
津　田　九十九（信栄）　猪左衛門由政　120

石　M3　50才　希翁院　7丁

津　田　虎三郎（尚信）　平兵衛　150石　M3　23才　6丁

津　田　文　平（邦哲）　安兵衛定賢　60俵　M3　61才　松月寺　8丁

津　田　孫　六（孫兵衛，直勝）　清助　15俵　M3　48才　光円寺　3丁

津　田　政太夫（信任）　八十郎　100石　元治1　15才　5丁

土　上　善三郎（名右衛門，定国）　名右衛門　10俵　M3　43才　専勝寺　3丁

土　川　覚　平（覚右衛門，信比）　伊太夫　信重　150石　M3　41才　少林寺　7丁

土　川　　陟（惟義）　幸左衛門　18俵　M3　18才　法船寺　6丁

土　倉　和　作（覚兵衛，政知）　兵大夫　18俵　M3　34才　唯念寺　5丁

（峡 341）土　田　衛三郎（親知）　伊右衛門親命　10人扶持　M3　30才　本行寺　8丁　2冊

土　田　幾久尾（武義）　平兵衛　20俵　M3　18才　西方寺　7丁

土　田　儀三郎（長義）　儀平　18俵　M5　29才　浄哲寺　7丁

土　田　義十郎（礼行）　善作庶幾　30俵　M3　34才　放生寺　9丁

土　田　喜太郎（保貞）　喜兵衛保光　3人扶持　M3　32才　正円寺　3丁　2冊

土　田　義太郎（定義）　甚五兵衛　13俵　M4　16才　誓願寺　6丁

土　田　粂三郎（勝久）　与三郎　23俵　M3　31才　大円寺　7丁

土田　久米太郎　五平　13俵　M7　9才　浄哲寺　5丁

土　田　庫　太（時国）　庄助　15俵　M3　34才　瑞泉寺　5丁

土　田　源三郎（忠久）　源之丞　18俵　M3　44才　本姓寺　4丁

土　田　源四郎（守直）　次郎左衛門守躬　100石　M3　昌柳寺　10丁

土　田　幸　作（幸左衛門，忠朝）　六郎左衛門良忠　5人扶持　M3　56才　上宮寺　6丁　2冊

土　田　五　平（厚廉）　五左衛門　15俵　M3　42才　浄哲寺　6丁

土　田　駒　太（惣兵衛，友一）　駒之助　20俵　M3　35才　西方寺　7丁

土　田　権　六（美摸）　権平　30俵　M3　54才　浄哲寺　6丁

土　田　左一郎（凝礼）　左一郎　18俵　M3　32才　本性寺　5丁

土　田　鑿　平（鉄之助，季重）　喜兵衛　20俵　M3　25才　正円寺　4丁

土田　庄右衛門（種長）　惣兵衛　9俵　M3　47才　光専寺　2丁

土　田　晋　吉（秦任）　惣蔵秦留　110石　M3　16才　常福寺　8丁

土　田　清八郎（善兼）　儀七郎　20俵　M3　29才　名願寺　8丁

（峡 342）土　田　　拓（敬寛）　彦之丞常寛　80石　M3　47才　龍淵寺　11丁

土　田　宅之進（守之）　周蔵　65石　M2　39才　仰西寺　8丁

土　田　太　作（勝政）　栄之助　25俵　M3　13才　立像寺　8丁

土　田　太平次（太左衛門，茂義）　茂右衛門　25俵　M3　39才　立像寺　8丁

土　田　常太郎（武房）　源造　18俵　M4　23才　浄哲寺　6丁

土　田　　伝（直行）　南皐直諒　5人扶持　M3　18才　浄哲寺　6丁　2冊

土　田　伝太夫（直諒）　八右衛門忠直　100石　M3　49才　浄哲寺　8丁　2冊

土　田　　半（半蔵，守之）　周蔵全之　65石　M3　41才　仰西寺　8丁

土　田　兵　太（安敬）　兵大夫安始　100石　M3　40才　昌柳寺　10丁

土　田　孫次郎（義茂）　重太夫　25俵　M3　7才　妙玄寺　6丁

土　田　政次郎（忠栄）　治兵衛　15俵　M3　32才　運信寺　3丁

土　田　　貢（信義）　甚左衛門　20俵　M3　24才　蓮福寺　6丁

土　田　和三郎（吉長）　庄平　9俵　M4　17才　光専寺　4丁　2冊

土 村 権次郎（昌之） 喜太夫 8俵 M 4 23才 西福寺 4丁
土 谷 栄次郎（友好） 治左衛門 8俵 M3 22才 西源寺 2丁
土 谷 建 進（建七，正玄） 理兵衛満房 2人扶持 M3 30才 専光寺 2丁 2冊
土 谷 左次馬（在明） 泉涓克明 200石 M3 46才 蓮昌寺 12丁
土 谷 庄次郎（正次） 嘉太郎正則 6人扶持 M3 名願寺 3丁
土 谷 新四郎（保之） 群陸 2人扶持 天保13 39才 10丁
（帙 343） 土 谷 清 平（信久） 清兵衛 7人扶持 M4 44才 敬栄寺 6丁
土 谷 泉 涓（克明） 逸翁慎明 30石 M3 65才 蓮昌寺 11丁
土 谷 卓 親 朝親 130石 M8 23才 蓮昌寺 5丁
土 谷 伝 七（芳続） 新左衛門 10俵 M3 47才 本福寺 3丁
土 谷 判 平（僚） 吟六隆之 50石 M 3 21才 妙典寺 6丁
土 谷 　 杢（九内，朝親） 采女厚豊 130石 M3 62才 蓮昌寺 10丁
土 谷 森 戸（満房，理兵衛） 新左衛門正房 7人扶持 M4 59才 専光寺 4丁 2冊
土 谷 治 平（治左衛門，静方） 次郎兵衛静友 7俵 M3 49才 西源寺 3丁 2冊
土 屋 重三郎（政供） 庄右衛門 15俵 M3 22才 成学寺 3丁
土 屋 重 平（金成） 庄右衛門 15俵 M3 30才 成学寺 5丁 2冊
土 屋 東 一（永善） 弥右衛門 12俵 M4 67才 運信寺 4丁
土 屋 　 優（他喜男，冨久） 辰之進冨郷 50石 M3 19才 蓮覚寺 6丁 2冊
土 屋 又 吉 又右衛門 12俵 M4 24才 教栄寺 3丁
土 屋 弥太郎（正守） 東一永善 12俵 M5 28才 運信寺 3丁 2冊
土 屋 与三郎（久正） 重右衛門 20俵 M3 23才 本誓寺 3丁
土 山 栄 松 弥高 50石 M7 12才 全昌寺 7丁
筒 井 菊太郎（正道） 昇五郎正居 120石 M3 15才 経王寺 9丁
筒 井 誉 吉（幸三郎，則応） 右門則友 200石 M3 経王寺 9丁
（帙 344） 堤 　 久 作（武次） 安之丞 13俵 M 2 49才 光教寺 4丁
堤 　 鼎 三（孝之助，従清） 沢右衛門 30石 M3 19才 浄安寺 4丁
堤 　 八 郎（忠勝） 八右衛門 20俵 M3 22才 昌柳寺 8丁
堤 　 兵 作（貞次） 次郎八是次 14俵 M3 64才 浄行寺 5丁 2冊
綱 村 与九郎（九兵衛，信雄） 嘉兵衛 15俵 M3 46才 正覚寺 5丁
恒 川 鉾五郎（武之） 松三郎以長 200石 M3 39才 本行寺 21丁
恒 川 清 造（新左衛門，寿福） 判左衛門登寿 650石 M3 51才 本覚寺 19丁
恒 田 　 勝 弥三郎 20俵 M6 29才 三光寺 2丁
恒 田 耕 作（弥三丞，一行） 弥三郎 20俵 M3 27才 三光寺 7丁
恒 田 良三郎（長知） 政右衛門長忠 20俵 M3 19才 全性寺 6丁
常田市郎左衛門（平康） 孫右衛門平章 50石 慶応1 50才 常福寺 5丁
角 尾 喜太郎（直政） 善右衛門直次 130石 M3 21才 少林寺 8丁
角 尾 貞次郎（篤信） 七郎 20俵 M4 常福寺 4丁
角 尾 昌 次（一義） 七郎 15俵 M3 24才 妙典寺 6丁
角 尾 　 磨（好義） 亮左衛門行義 250石 M3 20才 少林寺 9丁
角 淵 経 直（鯉八郎，恒直） 玄晏恒隆

5人扶持　M3　18才　全性寺　4丁
角淵　安左衛門（恒直）　玄晏　7人扶持　M1　16才　全性寺　6丁
津原藤市　荘次郎　12俵　M7　23才　慶徳寺　4丁
坪井吉三郎（政正）　磯之丞貞軌　150石　M3　20才　蓮昌寺　7丁　2冊
坪井吉太郎　伝次　20俵　M7　8才　願念寺　6丁
(帙 345) 坪井外次郎（友一）　市次郎　20俵　M3　18才　円長寺　5丁
坪井清吉郎　外次郎友一　20俵　M5　5才　円長寺　5丁
坪井伝次（伝右衛門，春房）　弥三兵衛　20俵　M3　63才　願念寺　4丁
坪内一致　60俵　M6　45才　2丁
坪内九平（幹類）　吉郎右衛門錫類　200石　M3　58才　11丁
坪内三郎（次之）　兵蔵信之　30俵　M3　50才　浄哲寺　13丁
坪内潤六（良一）　瀬大夫　21俵　M4　40才　10丁
坪内庄九郎（直一）　庄太夫　20俵　M3　18才　徳善寺　5丁
坪内庄遊（庄兵衛，玉成）　庄右衛門　18俵　M3　55才　景寛寺　4丁
坪内泉太郎（則喜）　吉左衛門延敬　30俵　M3　23才　浄哲寺　7丁
坪内文太郎（行久）　文左衛門　15俵　M3　22才　永照寺　5丁
坪内弥十郎（為一）　瀬大夫　18俵　M4　36才　浄哲寺　7丁
坪内可数（作太郎，能成）　庄兵衛　15俵　M3　22才　景寛寺　5丁
坪江重三郎（知貫）　助左衛門知彰　100石　M3　29才　善徳寺　11丁
坪光菊太郎（正方）　幸助　150石　M3　40才　献珠寺　8丁
坪光喜六（六左衛門，義幸）　友之進義居　100石　M3　51才　献珠寺　7丁　2冊
坪光順太郎（以忠）　六左衛門　5人扶持　M3　13才　献珠寺　4丁　3冊
坪坂弥吉郎（忠繁）　甚左衛門　15俵　M3　27才　聖泉寺　3丁
坪田伊作（兼々）　伊右衛門　15俵　M3　26才　聖興寺　4丁
坪田作五郎（直清）　作左衛門武清　50俵　M3　30才　久昌寺　6丁
坪田武平（弥三右衛門，勝忠）　武左衛門　20俵　M4　46才　浄光寺　5丁
(帙 346) 坪田益登（作右衛門，智明）　作大夫　25俵　M3　23才　浄光寺　9丁
坪田和平（作左衛門，武清）作兵衛美武　100石　M3　65才　久昌寺　7丁
坪根金治（金蔵，適成）　久太夫　20俵　M3　21才　松岡寺　5丁
坪根辰次郎（盛勝）　与三左衛門　20俵　M3　15才　瑞泉寺　4丁
坪野五十次（与左衛門，弥郷）　与左衛門　20俵　M3　49才　西福寺　5丁
坪野栄太郎（弥幸）　与左衛門　15俵　M3　20才　西福寺　4丁
坪野彦五郎（一高）　藤[illegible]衛門　20俵　M3　41才　浄運寺　3丁
坪村吉三郎（義定）　九右衛門　2人半扶持　M4　29才　徳竜寺　3丁
釣川源三郎（正連）　与右衛門　15俵　M3　42才　光玄寺　6丁　2冊
釣部和三郎（季当）　三郎兵衛　20俵　M3　34才　専光寺　6丁
釣本小太郎（小）　与兵衛　15俵　M3　21才　本誓寺　4丁
敦賀久平（粂之助，守之）　久兵衛守静　14俵　M3　54才　成学寺　5丁　2冊
敦賀　湊（亀輔，守吉）　久平守之　9俵　M3　23才　成学寺　4丁　2冊
鶴木義三郎（輝則）　伝四郎　25俵　M3　25才　聖興寺　6丁
鶴木元吉（恆明）　義三郎　20俵　M4　4才　聖興寺　4丁
鶴来九八（九兵衛，基信）　九兵衛　7俵　M4　56才　長徳寺　4丁

鶴 来 左 一（基一） 九八基信 7俵 M4 24才 長徳寺 5丁
鶴 来 七右衛門（重儀） 九左衛門 2人扶持 M3 57才 願念寺 4丁
鶴 来 庄三郎（信武） 庄助 10俵 M4 25才 上宮寺 3丁
鶴 来 善 三（満之） 猪太夫 18俵 M3 51才 超雲寺 5丁
鶴 来 倉 次（時之） 伊右衛門 20俵 M3 31才 西福寺 5丁
鶴 来 他三郎 次三郎 10俵 M5 28才 願念寺 5丁
鶴 田 宇三郎 宇八 15俵 M8 19才 本覚寺 4丁
鶴 田 宇 八（卯兵衛，勝富） 宇兵衛 15俵 M3 50才 本覚寺 3丁
（帙 347） 釣 見 岩次郎（政忠） 宗七 2人扶持 M3 18才 聖興寺 3丁
釣 見 庄次郎（久勝） 庄兵衛 15俵 M3 21才 常福寺 3丁
鶴 見 円 三（正雄） 円太郎 5人扶持 M3 46才 広済寺 2丁
鶴 見 円太郎（正庸） 円助正意 35俵 M3 80才 広済寺 6丁 2冊
鶴 見 儀 六（清兵衛，貞行） 善右衛門貞義 120石 M3 42才 高岸寺 7丁
鶴 見 小十郎（柄） 白林憲親 140石 M3 51才 高岸寺 5丁
鶴 見 左次馬（義高） 左門義方 100石 M3 49才 大乗寺 10丁
鶴 見 左太郎 左次馬義高 100石 M7 20才 大乗寺 6丁
鶴 見 少 三（少左衛門，吉重） 権兵衛広胖 16俵 M3 42才 超雲寺 7丁
鶴 見 丈 三（三郎兵衛，宗憲） 鉄七成憲 5人扶持 M3 30才 光専寺 7丁
鶴 見 清 音（清人，氏民） 孫九郎 5人扶持 M3 25才 徳栄寺 3丁
鶴 見 清 蔵（宗純） 助十郎 7人扶持 M3 52才 広済寺 7丁 2冊
鶴 見 他喜男（勝之） 龍兵衛輔信 40俵 M3 29才 大乗寺 12丁
鶴 見 善 六（正則） 彦右衛門 2人扶持 M4 60才 正興寺 2丁
鶴 見 徳太郎（直道） 松之助 15俵 M3 25才 智覚寺 4丁
鶴 見 藤茂居（藤兵衛，知一） 喜兵衛 15俵 M3 23才 徳竜寺 3丁
鶴 見 直次郎（宗親） 清蔵 7人扶持 M4 広済寺 5丁
鶴 見 聞二郎（有成） 和大夫子和 210石 M3 36才 大乗寺 7丁
鶴 見 孫九郎（氏公） 孫九郎 35俵 M3 66才 徳栄寺 9丁 2冊
鶴 見 政太郎（武林） 勇左衛門 18俵 M3 36才 弘願寺 4丁
鶴 見 弥一郎（言松） 嘉右衛門 12俵 M4 17才 3丁
鶴 見 了 吉（正連） 円助 15俵 M4 39才 広済寺 4丁

て 行

（帙 348） 出 口 磯五郎（晃貞） 覚右衛門 19俵 M4 23才 光教寺 8丁
出 口 嘉十郎（芳直） 文次郎 20俵 M3 22才 名願寺 8丁
出 口 久 太（政久） 久兵衛政陽 130石 M3 69才 仰西寺 10丁
出 口 義 陸（茂保） 九郎次 22俵 M3 59才 光教寺 5丁
出 口 孝太郎（正安） 久太正久 130石 M4 12才 仰西寺 7丁
出 口 新 五（新左衛衛，伊政） 弥左衛門伊秋 1人半扶持 M3 66才 専光寺 3丁 2冊
出 口 善九郎（一定） 猪之助 14俵 M3 40才 広済寺 6丁 2冊
出 口 泉太郎（勝忠） 和三郎 35俵 M3 36才 本浄寺 3丁
出 口 藤次郎（信忠） 作太郎 20俵 M4 19才 超雲寺 6丁
出 口 友次郎（正忠） 新左衛門伊政 3人扶持 M3 12才 専光寺 3丁
出 口 初三郎（貞朝） 八助 11俵 M4 32才 福念寺 3丁

出口平助（伸之） 文右衛門保之 25俵 M3 61才 正覚寺 5丁
出口民三郎（教寛） 60俵 M3 55才 仰西寺 6丁
出口保平（茂実） 安兵衛 15俵 M3 30才 専長寺 4丁
出口与市（求福） 新左衛門 10俵 M5 40才 光専寺 4丁
出口立安（亮） 順亨遂一 50石 M3 38才 聞成寺 5丁 2冊
出口和三郎（直時） 和大夫 35俵 M3 70才 本浄寺 4丁
出崎宗次（宗兵衛，近良） 宗兵衛 15俵 M3 33才 光覚寺 3丁
手下喜三二（喜兵衛，正幸） 喜三郎 20俵 M3 20才 東本願寺別院 5丁
手下次吉郎（芳政） 源左衛門 18俵 M3 23才 常福寺 5丁
手下足上（成次） 惣右衛門 16俵 M4 31才 仰西寺 3丁
手下政五郎（秀政） 政助 15俵 M3 26才 善徳寺 5丁
（峡 349） 手嶋藤四郎（信一） 八蔵 15俵 M3 49才 照円寺 4丁
豊島（てしま）（としま）三見よ
手塚幸造（幸蔵，正勝） 茂右衛門 20俵 M3 36才 長福寺 6丁
鉄田鋲平（市右衛門，道勝） 市右衛門 15俵 M3 39才 等源寺 3丁
手取冬三（冬兵衛，勝平） 冬兵衛 3人扶持 M3 15才 常福寺 3丁
出野琴男（詮邦） 平五郎 15俵 M3 21才 大乗寺 8丁
出野兼三（資生） 九兵衛 20俵 M3 28才 大乗寺 8丁
出野清三（清左衛門，季道） 左五郎 季武 150石 M3 52才 妙円寺 13丁
出野平五郎（一之） 九兵衛 20俵 M3 45才 大乗寺 6丁
出野弥九郎（清忠） 弥右衛門 15俵 M3 29才 専光寺 4丁
出村伊三郎 次郎兵衛 15俵 M3 26才 本覚寺 3丁
出村次平（嶋由） 次兵衛 10俵 M4 58才 敬栄寺 2丁
出村伝次（好貞） 甚太郎 6俵 M3 22才 光専寺 4丁
出村茂平（正軽） 平助 20俵 M4 40才 珉徳寺 4丁
寺井栄太郎（盛金） 勘助 15俵 M3 25才 常福寺 2丁
寺井九平（孝久） 喜六 11俵 M4 65才 乗善寺 3丁
寺井源六（久之） 九右衛門 2人半扶持 M4 34才 乗善寺 4丁
寺井三作（金昌） 三之助 12俵 M4 27才 勝満寺 6丁
寺井庄一郎（忠義） 才助 15俵 M3 29才 瑞泉寺 4丁
寺井太三郎（重政） 太八 2人扶持 M4 15才 真成寺 4丁
寺井太平（重定） 太郎兵衛定行 15俵 M4 35才 真成寺 4丁
寺井弥太郎（秀継） 六右衛門 15俵 M4 22才 西福寺 4丁
寺内善四郎（景勝） 甚太郎 20俵 M3 43才 了願寺 7丁
寺内常三（秀知） 兵作秀冬 100石 M4 25才 円光寺 5丁
寺内兵作（秀冬） 吉大夫秀房 100石 M3 66才 円光寺 8丁
寺内亦八郎（方寿） 甚太郎 20俵 M3 19才 静明寺 7丁
寺内弥三治（久寿） 清之丞 20俵 M3 17才 誓願寺 9丁
（峡 350） 寺尾伊三八（信義） 安之助 15俵 M3 42才 専光寺 4丁
寺尾吉郎（義則） 久平 9俵 M5 30才 聖興寺 4丁
寺尾幸太郎 彦兵衛 27俵 M4 10才 5丁
寺尾定吉（自郷） 瀬左衛門道通 40石 M3 49才 妙法寺 11丁 2冊
寺尾沢太郎（良貞） 甚蔵良富 170石 M3 37才 善徳寺 14丁

寺尾 次一郎 次平 20俵 M5 15才 乗善寺 4丁
寺尾 次平（次右衛門 定次） 次右衛門 20俵 M3 75才 乗善寺 4丁
寺尾 清八郎（直寛） 太郎兵衛直道 50石 M3 16才 妙泰寺 6丁
寺尾 太々知（太郎兵衛，直道） 宗兵衛直重 100石 M3 51才 妙泰寺 6丁
寺尾 種彦（鉦鼓，知良） 才作清成 50俵 M3 42才 14丁
寺尾 津平（津右衛門，政忠） 津右衛門政福 140石 M3 48才 妙応寺 7丁
寺尾 直侯 直道 100石 M6 30才 妙泰寺 5丁
寺尾 湊（三太郎，一正） 喜三次 8人扶持 安政6 15才 14丁
寺岡 玉水（岩之助，栄） 又次郎之則 5人扶持 M3 64才 高印寺 7丁 2冊
寺岡 欣太（毎信） 宅右衛門一信 30石 M3 47才 高印寺 5丁 2冊
寺岡 楨（宅右衛門，一信） 宅右衛門喜言 300石 M3 67才 高印寺 7丁 2冊
寺岡 又三郎（庸行） 宇左衛門盛行 150石 M3 39才 高印寺 8丁
（峡 351） 寺垣 十三（成孝） 増三郎雄孝 50俵 M4 51才 成学寺 9丁
寺垣 楹（信之丞，忠固） 十右衛門忠義 140石 M3 27才 成学寺 7丁 2冊
寺垣 吉蔵（吉久） 吉兵衛 20俵 M3 28才 本是寺 7丁
寺門 悠磨（勝義） 九郎兵衛 20俵 M4 24才 宝乗寺 9丁
寺口 吉次郎（良定） 小兵衛 15俵 M3 23才 勝光寺 3丁
寺窪 善作（義則） 弥平 9俵 M4 17才 西方寺 7丁
寺窪 宗次郎（村忠） 与左衛門 12俵 M4 35才 5丁
寺窪 弥平（維則） 右平太 28俵 M4 53才 西方寺 7丁
寺窪 余所吉（昭武） 仁三郎 10俵 M3 37才 本長寺 5丁
寺越 政次郎（定益） 政五郎 20俵 M3 28才 専光寺 4丁
寺崎 耕平（守正） 平太夫 17俵 M4 36才 三宝寺 5丁
寺崎 小十郎（景仰） 新次郎 21俵 M3 29才 慶覚寺 3丁
寺崎 善太郎（智一） 太右衛門 15俵 M3 21才 常福寺 3丁
寺崎 寅男（惟正） 太助 15俵 M3 19才 光覚寺 3丁
寺崎 貢（良衍） 惣左衛門 2人扶持 M4 40才 光専寺 7丁
寺沢 伊三郎（春里） 宗兵衛 2人扶持 M4 28才 願念寺 4丁
寺沢 治平（友安） 宗兵衛 2人扶持 M4 50才 願念寺 4丁
寺沢 松雄（松之助，義一） 武左衛門 25俵 M3 52才 蓮覚寺 4丁
寺嶋 潤太郎（清之） 政吾 2人扶持 M4 13才 聞善寺 3丁
寺嶋 政吾（清道） 茂兵衛 40石 M4 58才 聞善寺 4丁
寺嶋 篤二（武之） 寛叟武暉 70石 M3 31才 妙泰寺 11丁
寺嶋 錬太郎（家従，孝） 主馬肇 300石 M3 34才 心蓮社 9丁
（峡 352） 寺田 伊三郎（近好） 勘右衛門 15俵 M3 25才 常福寺 3丁
寺田 栄次郎（久之） 与助 15俵 M3 20才 常福寺 3丁
寺田 喜作（孝則） 喜十郎 15俵 M3 27才 因徳寺 3丁
寺田 喜平（惟一） 清進 100石 M3 29才 承証寺 7丁 3冊
寺田 儀平（儀左衛門） 30俵 M3 49才 10丁
寺田 孝作（順孝） 小左衛門 3人扶持 M4 48才 正覚寺 5丁

寺田順陸（錫頼） 丈平 4人扶持 M3 18才 徳竜寺 5丁
寺田少賢 新和 150石 M7 47才 善照坊 6丁
寺田丈五郎（興周） 丈平 4人扶持 M3 28才 徳竜寺 5丁
寺田丈平（正明） 五兵衛興之 55石 M3 53才 徳竜寺 6丁 2冊
寺田新和（新之丞，賢純） 新兵衛賢良 150石 M3 56才 善照坊 12丁
寺田辰三郎（信之） 間兵衛 2人扶持 M4 25才 慶恩寺 3丁
寺田八郎（庸至） 敬五郎允亢 100石 M3 37才 善照坊 10丁
寺田米八（十之助，明啓） 十右衛門 20俵 M3 38才 慶覚寺 4丁
寺田良造（良蔵，直延） 唯二郎 M3 20才 了願寺 8丁
寺田六郎（将明） 戚寒将盛 260石 M3 33才 善照坊 15丁
寺地市平（氏清） 孫兵衛 2人扶持 M4 43才 慶恩寺 3丁
寺地源吾（篤之助，盛正） 吉平 15俵 M2 24才 慶恩寺 3丁
寺津市三郎（市三郎，市右衛門） 2人扶持 M3 51才 永順寺 5丁
寺津五作（勝一）喜兵衛 2人扶持 M4 25才 永順寺 3丁
（帙 353） 寺中嘉藤次（喜兵衛，金春） 嘉右衛門 15俵 M3 30才 専長寺 3丁
寺中久平（成政） 津右衛門 8俵 M4 38才 常松寺 3丁
寺西篤男（直一） 鑑次郎 500石 M3 25才 月心寺 15丁
寺西一平（武力） 弥五郎武寿 170石 M3 29才 法光寺 18丁
寺西乙三郎（秀元） 杢兵衛秀敬 200石 M3 43才 大乗寺 14丁
寺西勘太（敏徳） 勘六郎敏行 150石 M3 28才 経王寺 13丁
寺西喜久馬（為房） 玉山正興 280石 M3 44才 雲竜寺 12丁
寺西久太郎（成親） 藤馬質新 130石 M3 58才 妙正寺 13丁
寺西金次郎（定義） 与三郎 15俵 M3 25才 等願寺 2丁
寺西九郎（秀直） 重九衛門秀方 500石 M3 31才 瑞雲寺 16丁
寺西鍬太郎 左一郎 M3 8才 2丁
寺西啓太郎（政継） 勘五右衛門 200石 M3 43才 妙成寺 10丁
寺西左一郎（佑武） 勘太夫 13俵 M3 49才 4丁 2冊
寺西重次郎 喜久馬 48石 M7 雲竜寺 4丁
寺西十三（十蔵，成器） 久太郎 60俵 M3 26才 妙正寺 11丁
（帙 354） 寺西森平（森兵衛，直良） 彦九郎 200石 M3 64才 妙応寺 12丁
寺西宗餘（秀周） 蔵人秀詮 7,000石 M3 75才 瑞雲寺 6丁
寺西多宮 相外武美 180石 M3 44才 妙玄寺 12丁
寺西徳三郎（秀敬） 要人秀周 7,000石 M3 23才 瑞雲寺 28丁
寺西豊太郎 政継 200石 M6 21才 経王寺 8丁
寺西祐次郎 秀元 200石 M5 9才 大乗寺 11丁
寺西与市郎（正世） 三郎平世負 60石 M3 15才 全昌寺 10丁
寺西錬次郎（直通） 森兵衛直良 100石 M3 35才 妙応寺 6丁
寺村静二（八次郎，政恒） 九郎右衛門 15俵 M3 24才 常福寺 4丁
寺村与三郎（信常） 弥三郎 20俵 M3 28才 光専寺 5丁
寺本喜太郎（直英） 宇左衛門直衛 3人扶持 M3 33才 蓮花寺 4丁
寺本孝作（友房） 清丞義方 100石 M3 44才 本行寺 6丁 2冊
寺本藤四郎（直之） 篤次郎直一 2人扶持 M3 23才 松山寺 5丁
寺本篤次郎（直一，直則） 宇佐衛門直

芳 70石 50才 松山寺 6丁 2冊

と 行

(帙 355) 土 井 三郎平(信之) 松藤 2人半扶持 M3 35才 勝満寺 3丁
土 井 方 里(恒一, 久也) 兵左衛門 20俵 M3 37才 善徳寺 4丁
東 郷 一 哉(言永) 永清永寧 110石 M3 57才 妙慶寺 9丁
任 田 彦兵衛(芳文) 彦兵衛 5人扶持 慶応4 3丁
任 田 弥 平(清一) 孫兵衛 3人扶持 M4 45才 東本願寺別院 3丁
当 摩 時 代(兵衛, 一高) 太間高久 6人扶持 M3 42才 浄尊寺 12丁
遠 田 交 通(新造, 交連) 新蔵 12俵 M3 51才 円長寺 3丁
遠 田 平五郎(亮僧) 完右衛門 20俵 M3 49才 妙泰寺 6丁
栂 成 治 忠右衛門 20俵 M3 34才 成蓮寺 5丁
富 樫 蟲 平(孫二, 安直) 伝左衛門 1人扶持 M3 59才 妙典寺 5丁
富 樫 賜(真雅) 半兵衛真一 12俵 M4 53才 善徳寺 5丁
土 岐 蕙(忠負) 良哲 3人扶持 M3 64才 広済寺 3丁 2冊
土 岐 三 析(篤美) 大安 6人扶持 M2 37才 広済寺 6丁
土 岐 無 事(信重) 有寛 3人扶持 M2 50才 徳善寺 5丁
(帙 356) 土 岐 倹僕(文左衛門, 門正, 正) 無事 40石 M3 11才 徳善寺 7丁 2冊
土 岐 雄 吉(忠負) 安恵 50石 M3 35才 広済寺 5丁
冨 木 善 七(義平) 次郎三郎 11俵 M3 56才 照円寺 5丁
時 田 義 一(蚊蜂, 義一) 忠兵衛 20俵 M3 25才 本覚寺 6丁
得 田 鉄太郎 一章 300石 M6 18才 浄住寺 5丁
得 田 成 章 章吉 50石 M7 20才 浄住寺 8丁
徳 田 岩之丞(助行) 三橘助道 100石 M2 19才 全昌寺 9丁
徳 田 雲 平(一直, 千之助, 吉直) 十右衛門直久 70石 M3 静明寺 8丁
徳 田 九十郎(行信) 六右衛門 1人半扶持 M3 28才 満福寺 4丁
徳 田 茂 治(昌蔵) 伴進治教 50石 M3 40才 円光寺 10丁 2冊
徳 田 瀬 平(正則) 十右衛門 4人扶持 M2 40才 静明寺 5丁
徳 田 忠 之(右之郎, 忠之) 喜兵衛一敬 50俵 M3 35才 妙法寺 6丁
徳 田 親 之(太左衛門) 太左衛門親教 50石 M3 26才 妙泰寺 7丁 2冊
徳 田 伴 喜(治教) 入右衛門茂久 2人扶持 M3 69才 円光寺 6丁
徳 田 直 松(直記, 則直) 雲平一直 2人扶持 M3 16才 静明寺 5丁
徳 田 文 璟(有年) 文璟 5人扶持 M3 誓願寺 4丁
徳 田 光 次(伊三七郎) 外次郎 50石 M3 6才 仁随寺 3丁
(帙 357) 徳 田 諸 忠(秀松) 森右衛門諸繁 70石 M3 18才 円光寺 7丁 2冊
徳 田 保之丞(政一) 十右衛門 4人扶持 M1 34才 静明寺 2丁
徳 永 和三郎 安定 10石 M8 12才 蓮昌寺 5丁
徳 光 庄 平(庄右衛門, 一満) 清藤 2人扶持 M3 52才 広誓寺 3丁
徳 村 平 馬(直之) 助三 2人扶持 M3 29才 唯念寺 6丁
徳 山 静(幾右衛門, 三維) 晩翁 40俵 M3 50才 国運寺 4丁
戸 嶋 吉 造(満之) 吉右衛門 30俵 M3 51才 真成寺 10丁 2冊
戸 嶋 寛 次(以貫) 吉造満之 15俵 M5 23才 真成寺 7丁 2冊
戸 田 厚 美(鉄男, 方明) 右門方元 700石 M3 19才 大乗寺 9丁
戸 田 勝 次(庁掌) 五右衛門勝任

150石 M3 35才 宝泉坊 10丁

戸田勝則（清六郎） 有常斉勝順 600石 M3 34才 宝泉坊 11丁

戸田政章（清造） 清右衛門 15俵 M3 15才 専光寺 3丁

殿村斧吉（孝義） 甚吉 15俵 M3 33才 宗善寺 5丁

鳥羽 勇（源之助，一善） 源蔵 2人扶持 元治1 25才 8丁

土肥直平（隼三） 武兵衛正平 540石 M3 22才 玉泉寺 11丁

土肥政次（喜三郎） 三之丞乗義 6人扶持 M3 46才 6丁 2冊

（帙 358）戸水登弥太（六郎右衛門，知一） 登弥太 2人扶持 M3 58才 慶覚寺 4丁 2冊

戸水 房次作 4石 M7 4才 3丁

戸水文次郎（昌之） 八兵衛 2人扶持 M3 20才 大蓮寺 3丁

富瀬たか 以忠七 12石 M7 14才 浄光寺 3丁

富田一則（唯作） 儀右衛門一孝 150石 M3 55才 千手院 18丁

富田矩方（琴十郎） 七兵衛矩真 110石 M3 25才 浄光寺 11丁 2冊

富田謙次郎（正一） 宇平次 M5 15才 浄照寺 5丁

富田健太郎（純忠） 五十郎知則 2人扶持 M3 14才 仰西寺 9丁

富田貞固（外記） 織人貞詳 2,400石 M3 29才 本長寺 10丁 2冊

富田貞良（清三郎） 堅六貞固 150石 M3 37才 本長寺 8丁

富田志一（鉄三郎，信世） 才一 15俵 M3 23才 蓮福寺 7丁

富田重秀 方穀 2,500石 M7 27才 慈雲寺 9丁

富田清三郎（久元） 庄右衛門 12俵 M3 32才 光西寺 3丁

富田善治（善右衛門，友幸） 長左衛門幸郷 5人扶持 M3 62才 安楽寺 5丁

富田総（勘次） 長左衛門 13俵 M3 20才 成学寺 5丁 2冊

（帙 359）富田知則（五十郎） 伝之丞景則 50石 M3 48才 仰西寺 9丁 2冊

富田乗勝（勘次，勝昌，政之進） 伝右衛門勝寛 50石 M3 48才 成学寺 9丁 2冊

富田開（栄左衛門，孝久） 昌左衛門孝正 150石 M3 51才 8丁

富田方穀（岩弥，治部左衛門） 織部 2,500石 M3 56才 慈雲寺 13丁 2冊

富田元四郎（駒三郎，景貞） 宇兵衛景章 300石 M3 17才 慈雲寺 10丁

富田安太郎（一直） 弥八郎一知 350石 M3 25才 千手院 13丁

富田幸尚（唯記，周左衛門） 甚右衛門 15俵 M3 31才 松林寺 4丁

富能源右衛門（清常） 源右衛門 2人扶持 M2 45才 本泉寺 3丁

富能要吉（常伝） 源右衛門 4俵 M3 19才 本泉寺 3丁 2冊

富野文蔵（以道） 直右衛門 7人扶持 慶応2 41才 6丁

冨山嘉兵衛（頼澄） 半左衛門 8人扶持 慶応2 55才 6丁

冨山鏗太郎（頼方） 嘉兵衛頼澄 2人扶持 M3 22才 3丁 2冊

冨山登（忠良） 六左衛門 250石 M3 28才 10丁

（帙 360）友田運蔵（安基） 半左衛門安成 2人扶持 M3 44才 乗光寺 4丁

友田重吉（良太郎，重吉） 清八郎本立 4人扶持 M3 18才 西勝寺 5丁 2冊

友田七代（九一，九左衛門，定当） 覚右衛門高当 47俵 M3 62才 長徳寺 6丁

友田甚吉郎（当昷） 判蔵 14俵 M3

30才　長徳寺　3丁

友田当喜（喜内，判蔵，当栄）　太郎右衛門　3人扶持　M3　62才　長徳寺　5丁　2冊

友田彦一（厚慎）　津左衛門厚賃　62俵　M3　51才　敬栄寺　6丁

友田秀正（信治，儀右衛門）　儀平　3人半扶持　M3　51才　聖興寺　4丁

友田安清（駒太郎）　運蔵　12俵　M4　10才　乗光寺　4丁

供田吉平（吉右衛門，有義）　市兵衛　2人扶持　M4　47才　聖興寺　4丁

供田宗吾（喜三次）　宗吾　2人扶持　M4　17才　光専寺　3丁　2冊

供田友政（次三郎）　吉兵衛　9俵　M3　16才　敬栄寺　2丁

供田平吉（平左衛門，清平）　平右衛門　2人扶持　M3　41才　敬栄寺　3丁

友山栄三郎　次政　20石　M7　21才　静明寺　5丁

豊島喜太郎　近直　100石　M5　12才　棟岳寺　6丁

（帙 361）豊島幸平（幸左衛門，近直）　源左衛門近信　100石　M3　51才　9丁

豊島七次郎（是政）　弥三右衛門　25俵　M3　20才　専光寺　6丁

豊島晋太郎（是将）　熊二郎是方　100石　M3　39才　棟岳寺　11丁

豊島　巽　永幸　25俵　M5　19才　専光寺　4丁

豊島鎮太郎（弥三右衛門）　甚五平　25俵　M3　57才　6丁

豊島兵治（勝義）　与三八　2人扶持　M4　18才　名願寺　5丁

豊島弁次郎（布武）　熊二郎是方　17人扶持　M3　34才　棟岳寺　9丁

豊島松他郎（是祐）　康九郎是知　17人扶持　M3　45才　棟岳寺　12丁　2冊

豊島康九郎（是知）　新十郎是邑　200石　M3　73才　棟岳寺　16丁

豊島安三郎　平吉郎　60俵　M3　48才　棟岳寺　7丁

（帙 362）豊島保平（永頼）　喜左衛門頼行　100石　M3　39才　伝灯寺　11丁

豊島祐吉（喜兵衛，栄孝）　浴叟　60俵　M3　29才　伝灯寺　5丁

豊島　豊（元珍）　三右衛門　35俵　M3　64才　名願寺　10丁

豊島　豊（八郎左衛門）　弥内久綱　6人扶持　M3　20才　善照坊　5丁　2冊

豊島与三八（弥兵衛，一定）　弥右衛門　5人扶持　M4　66才　名願寺　3丁　2冊

豊田有則（米松）　勇　100石　M4　18才　寿経寺　9丁

豊田　勇（有義）　駒之丞有定　100石　M3　52才　寿経寺　10丁

鳥居祥七（朝臣）　平次　250石　M6　22才　禅栖院　10丁

鳥山佐吉（政友）　重郎右衛門政民　100石　M3　32才　浄光寺　11丁

鳥山孫兵衛（弘明）　孫兵衛　2人扶持　M2　37才　静明寺　3丁

な　行

（帙 363）内藤伊平（伊兵衛忠友）　作右衛門　33俵　M3　63才　善徳寺　5丁

内藤　沖（伝左衛門，保房）　伝左衛門　20俵　M3　36才　極楽寺　6丁

内藤喜一郎（順信）　大喜正徳　100石　M4　28才　法光寺　5丁

内藤喜久松（次兵衛）　次右衛門　20俵　M3　22才　法船寺　7丁

内藤金三郎（栄政）　平助　30俵　M3　56才　妙玄寺　6丁

内藤幸次郎（政一）　作之進政次　30俵　M3　35才　法船寺　6丁

内藤重美（勘右衛門，政真）　作之進政次　90石　M3　46才　法船寺　7丁

内藤　茂（幸忠）　又右衛門春雄　35石　M3　46才　全性寺　9丁

内藤　繁（邦美）　慎吾亮雄　30石　M3　21才　高岸寺　4丁

内藤　順　作右衛門　9石　M7　61

才　善徳寺　3丁
内藤四郎（四郎左衛門，信一）　十平　信真　100石　M3　56才　法船寺　7丁
内藤新次（歳信，新之丞）　新蔵歳忠　3人扶持　M3　27才　高岸寺　5丁　2冊
内藤捨太郎　栄政　10石　M7　10才　妙玄寺　9丁
内藤静吾（政忠）　四郎兵衛良政　150石　M3　46才　高岸寺　10丁
内藤惣次郎（正一）　十兵衛正礼　450石　M3　14才　常松寺　10丁
内藤そと　邦美　30石　M6　9才　高岸寺　4丁
内藤琢馬（五郎兵衛，歳重）　五郎左衛門歳之　50石　M3　29才　高岸寺　7丁　2冊
内藤蘆心（義兵衛，周之）　勘兵衛　150石　M3　大蓮寺　10丁
内藤　透（栄世）　如山敦　35俵　M3　15才　妙国寺　6丁
（帙364）内藤兵五郎（兵右衛門三行）　林左衛門　200石　M3　20才　安楽寺　11丁　2冊
内藤　誠（光）　忠作信章　150石　M3　52才　静明寺　9丁　2冊
内藤正木（宜）　如山敦　200石　M3　18才　妙国寺　10丁
苗尻喜平次（久蔵，正古）　喜右衛門　15俵　M3　名願寺　4丁
直江栄造（金友）　伊助　15俵　M3　27才　瑞泉寺　3丁
直江久吾（久左衛門，温清）　清左衛門　2人扶持　M3　60才　専光寺　3丁　2冊
直江久作（忠久）　与兵衛　3人扶持　M3　22才　専光寺　3丁
直江久太郎（春久）　久左衛門　1人扶持　M3　24才　専光寺　4丁
直江五作（五助，友時）　庄助　15俵　M3　44才　乗善寺　5丁
直江直吉（次郎助，信本）　藤七　15俵　M3　39才　光専寺　3丁
直江彦三郎（朝忠）　直助　20俵　M3　32才　願念寺　4丁
直野源吉（安則）　源助　15俵　M3　43才　超雲寺　4丁
直野茂尾（慎次郎，正訓）　了敬正路　4人扶持　M3　21才　長久寺　3丁　2冊
直山喜九郎（久芳）　宗四郎　20俵　M3　46才　超雲寺　4丁
直山長三郎（直安）　惣右衛門　15俵　M3　27才　光専寺　3丁
直山虎一　宗吾　20俵　M6　13才　超雲寺　4丁
直山鉾次郎（為久）　森右衛門　25俵　M3　39才　超雲寺　8丁
直山松次郎（勝次）　春太郎勝真　30俵　M3　2才　超雲寺　8丁
中　精一（正巳）　藤左衛門公忠　M4　55才　法船寺　10丁
（帙365）中井伊三郎（則密）　伊六　1人半扶持　M4　19才　瑞泉寺　5丁
中井伊六（是則）　伊津麿　2人扶持　M4　55才　瑞泉寺　5丁
中井乙三郎　喜平　50俵　M7　8才　慶恩寺　4丁
中井喜平（忠之）　弥藤次尚之　40俵　M3　58才　慶恩寺　8丁
中居熊男　武国　35俵　M6　6才　明王院　4丁
中居武次郎（松善）　豊吉　35俵　M3　43才　明王院　3丁
半井 → P178を見よ
永井伊三郎（幸元）　伊兵衛　15俵　M3　30才　願成寺　5丁
永井斧吉（直好）　弥八郎正忠　200石　M3　26才　安立寺　11丁
永井勝男（治吉）　十郎左衛門正治　2人扶持　M3　20才　実成寺　5丁　2冊
永井勝太郎（陳善）　永井軒陳丕　280石　M3　46才　真成寺　13丁
永井喜久男（喜久右衛門，尚昷）　100石　M3　24才　如来寺　8丁

永井 喜太郎（宗久） 文藤 20俵 M3 27才 高岸寺 5丁
永井 吉三郎（好栄） 太四郎 20俵 M3 32才 西養寺 5丁
永井 久三（久蔵） 幸左衛門 20俵 M3 27才 大蓮寺 4丁
永井 桑太（尚光） 100石 M3 39才 如来寺 13丁
永井 貢二郎（尚英） 貢馬尚哲 300石 M4 28才 如来寺 14丁
永井 駒三（一成） 元治郎 15俵 M3 22才 法船寺 3丁
永井 常太郎（正勝） 九左衛門 20俵 M3 22才 浄晢寺 4丁
永井 甚五郎（孝一） 柳左衛門 20俵 M3 20才 法然寺 7丁
永井 甚太郎（善継） 喜作 5人扶持 M3 17才 永照寺 2丁
永井 清作（作兵衛，之信） 3人扶持 M4 34才 東本願寺別院 4丁
永井 清三郎（尚次） 兵馬尚弼 350石 M3 53才 如来寺 11丁
（帙 366） 永井 九十九（成友） 友之助秀文 40俵 M3 25才 真成寺 11丁
永井 テツ 5石 15才 浄安寺 4丁
永井 平八（平右衛門，直温） 助之進 温良 150石 M3 50才 西光寺 7丁
永井 孫六（織部，正興） 舎人従周 1,750石 M3 44才 15丁
永井 又三郎（福敬） 喜左衛門 15俵 M3 15才 4丁
永井 万（幾次郎，主一） 万之丞陳 守 40俵 M3 34才 真成寺 10丁
永井 安平（安右衛門，政行） 豊右衛 門 20俵 M3 64才 妙正寺 6丁
永井 柳三（柳左衛門，孝賢） 久太夫 孝政 30俵 M3 70才 法然寺 6丁
長井 市三郎（成一） 喜兵衛 15俵 M3 32才 専光寺 3丁
長井 平次郎（良） 陶斉寛卿 150石 M3 65才 瑞雲寺 7丁
長井 理平（忠一） 忠左衛門 1人半 扶持 M4 63才 東本願寺別院 3丁
中泉 亀三郎（直好） 宇左衛門 15俵 M3 28才 西光寺 3丁
中泉 三郎（三郎右衛門） 又六 20俵 M3 東本願寺別院 4丁
中泉 繁三（次助，久之） 三郎右衛門 15俵 M3 33才 東本願寺判院 4丁
中泉 七平（七左衛門，既清） 義三郎 既久 200石 M3 46才 光覚寺 7丁
中泉 清太郎（昭元） 五左衛門左昭長 60石 M3 15才 光教寺 6丁 2冊
永江 貞次郎（貞之） 常三郎 18俵 M4 7才 養願寺 5丁
永江 七蔵 栄蔵 7石 M7 33才 慶徳寺 4丁
永江 二郎（孝之） 十五郎 18俵 M4 36才 養願寺 5丁
永江 龍生（奏） 十五郎 50石 M3 41才 養願寺 8丁
永江 常三郎（惟真） 十五郎 18俵 M3 23才 養願寺 5丁
（帙 367） 中尾 歩（方定） 喜与三 2人扶持 M4 23才 永順寺 5丁
中尾 一郎平（兵右衛門，義隆） 恒次郎 義温 45石 M3 41才 真行寺 8丁
中尾 永造（喜三丞，敷秀） 喜三次 20俵 M3 42才 常福寺 7丁
中尾 喜与三（方直） 善介 2人扶持 M3 56才 永順寺 5丁
中尾 三作（権左衛門，久国） 兵助久 年 35石 M3 37才 承証寺 8丁
中尾 治吉郎（維孝） 覚之丞忠義 4人 扶持 M4 11才 本妙寺 3丁
中尾 尚一（藤太郎） 藤次郎 20俵 M2 23才 浄行寺 5丁
中尾 藤作（兵右衛門，義隆） 恒次郎 45石 M1 39才 真行寺 11丁
中尾 翠（尚行） 為之助 20俵 M3 18才 妙応寺 5丁
長尾 勘三（弥右衛門，信之） 与右衛 門義門 130石 M3 70才 高岸寺 10丁

長尾 健次郎（正富） 忠之進 1人半扶持 M3 27才 宗寿寺 2丁

長尾 源門（源太左衛門，景行，景治） 柳叟景隆 650石 M3 46才 真行寺 18丁

長尾 三郎平（尚安，尚久） 三郎平久安 4人扶持 M3 32才 久昌寺 8丁 2冊

長尾 左守（正則） 仙次郎秀正 60石 M3 53才 開禅寺 7丁

長尾 八之門（八之右衛，景明） 頼母 2,030石 M3 46才 真行寺 14丁

長尾 丸景門 八之門 500石 M7 27才 8丁

長尾 元吉（節，政行） 市郎左衛門 知政 70石 M3 27才 長久寺 8丁

中上 理平（理助，仲之） 理右衛門 15俵 M3 42才 永昌寺 4丁

中神 久太（正明） 直右衛門 15俵 M3 35才 妙正寺 3丁

（帙 369） 中川 有定 有献 350石 M6 24才 全昌寺 8丁

中川 岩吉 文四郎 6石 M7 興宗寺 5丁

中川 数磨（佐次平，秀光） 佐次兵衛 秀正 7人扶持 M3 41才 聖興寺 4丁 2冊

中川 喜作（勝伯） 昌蔵 1人半扶持 M5 27才 極楽寺 4丁

中川 源治（源五兵衛，全為） 甚五兵衛全福 50石 M3 59才 善照坊 9丁

中川 小平太（因作） 義兵清因睦 300石 M3 32才 真行寺 12丁

中川 小弥太（守人，有之） 鉄之助有好 70石 M3 38才 真行寺 13丁

中川 作太郎（平盛） 直右衛門 15俵 M3 22才 恵光寺 3丁

中川 左源太（因存） 九右衛門 5石 M3 20才 真行寺 5丁

中川 左平（九右衛門，因豊） 左中豊 100石 M3 65才 真行寺 9丁 2冊

（帙 369） 中川 甚八（正憲） 衛門常則 100石 M3 59才 静明寺 8丁 2冊

中川 甚六（忠良） 四郎左衛門基理 400石 M3 48才 宝勝寺 36丁

中川 清五郎（儀一） 喜三次 1人半扶持 M5 34才 浄然寺 4丁

中川 清六郎（典克） 典惇 5,000石 M4 20才 宝円寺 10丁 2冊

中川 宗吉（旨正） 宗兵衛 15俵 M3 39才 西勝寺 4丁

中川 武雄 廉 80石 M7 9才 本善寺 9丁

中川 藤吉（政乗） 弥吉郎 30俵 M3 57才 瑞泉寺 5丁

中川 藤平（藤助，茂春） 和助 15俵 M3 41才 安専寺 3丁

中川 直吉（信念） 長右衛門 15俵 M3 28才 西源寺 5丁

中川 平吉郎（孝報） 150石 M3 全昌寺 13丁

中川 平膳（弘毅） 栄之助忠意 1,000石 M3 36才 放生寺 14丁

中川 八門（八右衛門，有献） 曳太郎 有隣 350石 M3 44才 全昌寺 19丁

（帙 370） 中川 由次郎（義成） 由兵衛 15俵 M3 28才 常願寺 5丁

中川 由造（延次） 三郎右衛門 18俵 M3 54才 善徳寺 5丁

中川 与三次（勝久） 嘉右衛門 2人半扶持 M3 34才 光専寺 2丁

中川 良太郎（忠昭） 武十郎忠順 200石 M5 24才 宝円寺 11丁

中河 磯平（与三左衛門，勝房） 新八 秀次 40俵 M3 39才 本覚寺 6丁

中黒 卯八郎（善全） 庄太夫憲之 60俵 M3 38才 西養寺 8丁

中黒 季七郎 成三 30石 M8 9才 西養寺 5丁

中黒 繁（秀堅） 十八秀外 1,500石 M5 20才 西養寺 6丁

中黒 成三（祐得） 武左衛門 60俵 M3 51才 西養寺 5丁

中黒 仙橘（憲宜） 庄太夫憲之 320

石 M4 48才 西養寺 4丁
中黒十八（六左衛門，秀外） 1,500石 M3 53才 西養寺 9丁 2冊
中黒半次（完右衛門，義政） 宗兵衛 15俵 27才 経王寺 3丁
中越市郎（茂久） 市兵衛 2人扶持 M4 69才 光福寺 3丁
中越久平（忠連） 小兵衛 3人扶持 M3 29才 光西寺 3丁
中越幸造（秀弘） 徳平 15俵 M3 24才 善導寺 4丁
中越 久（茂信） 千右衛門 3人扶持 M4 46才 3丁
中越清八（邦保） 文之丞 2人半扶持 M4 39才 西源寺 4丁
中越たけ久 3人扶持 M6 27才 西元寺 3丁
中越 通（友之） 助左衛門 3人扶持 M4 47才 称念寺 3丁
中越安太郎（勝義） 安兵衛 15俵 M3 22才 竜淵寺 6丁
中越六三郎 久 3人扶持 M6 26才 西元寺 3丁
長崎三郎（三郎兵衛，義従） 庄藤 M3 43才 宝勝寺 9丁
長崎清太郎 平七 12俵 M7 7才 光源寺 5丁
（帙 371） 長崎平七（正平） 平兵衛 2人扶持 M4 60才 光源寺 5丁
長崎与八（与右衛門，義方） 平兵衛 義久 120石 M3 44才 宝勝寺 9丁
中沢 桂 勝貴 3人扶持 M7 18才 4丁
中沢喜十郎（蕃） 喜六和貴 2人扶持 M3 22才 本因寺 5丁 2冊
中沢七三郎（則一） 七左衛門 2人扶持 M3 24才 西源寺 7丁
中沢捨次郎（勝貴） 喜六和貴 4人扶持 M3 17才 本因寺 5丁 2冊
中沢善四郎（定行） 善左衛門 15俵 M3 24才 東本願寺別院 3丁
中沢大助（庸久） 亥之助 6人扶持 文久2 34才 正覚寺 11丁
中沢 精（源蔵，勝行） 喜六和貴 55石 M3 25才 本因寺 5丁 2冊
中沢津左衛門（為継） 忠左衛門吉忠 40石 M3 55才 本法寺 3丁
中沢孫六郎（孫兵衛，庸久） 亥之助維久 6人扶持 M3 42才 正覚寺 13丁
中沢松太郎 庸久七 6人扶持 M6 7才 正覚寺 6丁
永沢啓造（理右衛門，喜通） 理兵衛 20俵 M3 40才 妙泰寺 6丁
永沢周治（治助，敦雄） 安右衛門 30俵 M3 53才 妙泰寺 10丁
永沢直記（直助，克久） 治助 20俵 M3 22才 妙泰寺 8丁
永沢安次郎 周治 20俵 M7 6才 妙泰寺 4丁
長沢伊三郎（一真） 甚平 1人半扶持 M4 18才 慶覚寺 4丁
長沢三郎左衛門（政行） 市郎左衛門 70石 M3 27才 長久寺 12丁
長沢清太郎（忠勝） 久左衛門 1人半扶持 M3 17才 等願寺 4丁
長沢長太郎 清太郎 1人半扶持 M7 3才 等願寺 4丁
長沢半平（行安） 啓蔵 1人半扶持 M3 専光寺 3丁
（帙 372） 中島 庵（一誠） 茂左衛門繁中 100石 M3 蓮覚寺 6丁
中島亥太郎（信定） 興山信久 50俵 M3 34才 蓮覚寺 12丁
中島一次（祐之） 一次 18俵 M3 38才 西勝寺 6丁
中島入男（成行） 真鉄成美 150石 M3 34才 本行寺 8丁
中島 巌（弘定） 十蔵弘道 50石 M3 30才 妙慶寺 9丁 2冊
中島卯三郎（清富） 喜三次 1人半扶持 M4 19才 永伝寺 2丁 2冊
中島栄作（直秀） 喜千兵衛 15俵 M3 22才 願楽寺 6丁
中島嘉久馬 久之助 5人扶持 M3

34才　円祐寺　5丁　2冊
中島　嘉七郎（幸保）　宗善　5人扶持　M4　19才　光教寺　7丁
中島　勘次郎（房勝）　源右衛門　20俵　M3　18才　仁随寺　5丁
中島　義一郎（安実）　弥三郎　2人半扶持　M4　37才　専光寺　5丁
中島　喜三次（善通）　善助　15俵　M4　49才　永伝寺　2丁
中島　喜太郎（正久）　惣兵衛　2人扶持　M5　33才　竜源寺　4丁
中島　喜千三（直固）　甚五左衛門　2人扶持　M4　47才　光専寺　3丁
中島　久平（一之）　久蔵　2人扶持　M4　63才　慶因寺　3丁
中島　教太郎（忠朝）　七平　20俵　M4　11才　福念寺　4丁
中島　　啓（信政）　興山信久　100石　M3　38才　蓮覚寺　8丁
中島　啓太郎　嘉久馬　2人扶持　M3　12才　円祐寺　3丁
中島　賢二郎（知春）　徳順行春　5人扶持　M4　23才　心蓮社　6丁　2冊
中島　小石郎（安政）　浦左衛門　6人扶持　M3　12才　愛染院　5丁　2冊
中島　幸次郎（近寿）　織右衛門　20俵　M3　40才　栄明寺
（帙 373）中島　作次郎（嘉幸）　清吉　15俵　M4　25才　孝久寺　3丁
中島　三郎（保久）　豊太夫　5人扶持　M5　24才　善徳寺　4丁
中島　三郎平（是光）　善兵衛　15俵　M4　47才　西念寺　3丁
中島　三左（信道）　盈信　40俵　M3　53才　心蓮寺　9丁
中島　茂雄（茂人，信義）　謙八郎経義　80石　M3　14才　6丁
中島　次作（金忠）　与兵衛　2人扶持　M3　33才　広済寺　4丁
中島　次作（定勝）　次左衛門　2人扶持　M3　21才　照台寺　5丁　2冊
中島　七平（七左衛門，忠久）　宇右衛門　20俵　M3　74才　福念寺　3丁
中島　七郎（忠之）　七蔵　16俵　M3　40才　乗永寺　3丁
中嶋　次平（忠成）　武二郎忠恕　50俵　M3　60才　本行寺　9丁
中嶋　重三郎（清勝）　弥三助　4人扶持　M4　27才　光専寺　3丁
中嶋　重太郎　末男忠仲　40石　M7　4才　慶恩寺　5丁
中嶋　順策（幸政）　善策　2人扶持　M3　28才　光教寺　8丁
中嶋　末男（九左衛門，忠仲）　孫兵衛　40石　M3　45才　慶恩寺　4丁
中嶋　末之助（有敬）　孫左衛門　35石　26才　即願寺　12丁
中嶋　清四郎（信重）　甚九郎　15俵　M3　42才　善徳寺　4丁
中嶋　誠太郎（正則）　清右衛門　3人扶持　M5　13才　瑞泉寺　3丁
中嶋　善作（正幸）　作之丞　1人半扶持　M5　29才　専光寺　3丁
中嶋　他嘉吉（頼一）　源右衛門　20俵　M3　19才　仁随寺　5丁
中嶋　他吉郎（堅智）　忠右衛門堅敬　3人扶持　M3　19才　極楽寺　8丁
中嶋　太三（太兵衛，直一）　次郎助　20俵　M3　49才　法光寺　5丁
中嶋　質義　次平忠成　50俵　M6　31才　本行寺　7丁
中嶋　他美弥（矩肥）　弥三治　15俵　18才　妙福寺　6丁
中嶋　致作　弥一太夫　25俵　M3　16才　慶恩寺　4丁
中嶋　忠平（忠蔵，宗忠）　蔵助　3人扶持　M3　39才　西念寺　3丁
（帙 374）中嶋　長平（忠庸）　善平　25俵　M3　29才　極楽寺　5丁
中嶋　恒次（久兵衛，為久）　六大夫　2人扶持　M3　43才　慶恩寺　5丁
中嶋　徳三郎（貞雄）　都衛貞諦　3人扶持　M3　18才　蓮覚寺　6丁　2冊
中嶋　直吉（行範）　長順　2人扶持

M3　17才　愛染院　6丁

中嶋直政　直一　20俵　M6　17才　法光寺　6丁

中嶋　中（政行）　善四郎忠育　20俵　M5　15才　慶恩寺　5丁　2冊

中嶋任平（徳蔵昌省）　壮兵衛　50俵　M3　62才　愛染院　9丁

中嶋久男（成勝）　健左衛門　100石　M3　52才　本行寺　13丁

中嶋文吉（惟唯）　兵衛惟定　35俵　M3　24才　心蓮社　9丁

中嶋兵二郎（純真）　弥潤　50俵　M3　57才　愛染院　6丁

中島[illegible]（富春，守人）　亀毛富徳　50石　M3　29才　円光寺　6丁　2冊

中島孫三（有庸）　成儀　35石　M3　27才　即願寺　6丁

（帙375）中島政吉（良幸）　徳左衛門　15俵　M3　30才　西念寺　4丁

中島ます　兵二郎　5人扶持　M6　6才　愛染院　4丁

中島又吉（秀一）　小左衛門　8俵　M5　40才　光専寺　4丁

中島万三郎（武章）　順吉武敏　70石　M3　28才　常福寺　7丁　2冊

中島弥左（直一）　弥伝　30俵　M3　57才　愛染院　6丁

中島弥三郎（文勝）　弥三郎　20俵　M3　35才　法船寺　4丁

中島保太郎（茂貞）　孫丞　20俵　M3　慶恩寺　4丁

中島弥曾吉（清愛，憲愛）　左吾六恵迪　11人扶持　M3　妙国寺　9丁　2冊

中島弥三治（弥十助，安秀）　儀次　30俵　M3　55才　妙福寺　7丁

中島弥三平（自清）　宅右衛門　30俵　M4　58才　瑞泉寺　6丁

中島弥太郎　弥三郎　20俵　M5　10才　法船寺　3丁

中島与一郎（吉平）　三郎平　15俵　M4　23才　専光寺　4丁

中島余所吉（章与）　喜兵衛門章善　70石　M3　18才　妙慶寺　5丁　2冊

中島六平（定一）　長右衛門　8俵　M4　60才　長徳寺　2丁

（帙376）永嶋一造（守諸，善太夫，守次）　善左衛門守信　70石　M3　38才　専光寺　7丁　2冊

永嶋右内（伸久）　甚兵衛正勝　5人扶持　M3　39才　浄土寺　5丁

永嶋嘉久平（孝正）　孫六　20俵　M3　50才　建聖寺　10丁

永嶋嘉平（盛貞）　喜十郎　1人半扶持　M4　32才　浄土寺　4丁

永嶋嘉平次（祐左衛門，真方）　嘉兵衛　3人扶持　52才　建聖寺　7丁

永嶋喜十郎（成政）　宇右衛門　2人扶持　M4　67才　浄[illegible]寺　3丁

永嶋源五郎（寔清）　市之丞寔造　60石　M3　39才　蓮華寺　8丁

永島幸吉郎（常幸，懐幸）　秀左衛門懐徳　50石　M3　40才　専光寺　5丁　2冊

永島作右衛門（介茂）　作右衛門　18俵　M3　真成寺　5丁

永島左平（雄左衛門影尊）　左平太　20俵　M3　50才　建聖寺　7丁

永島島都（懐夾，九兵衛）　九兵衛　100石　M3　26才　高巌寺　10丁　2冊

永島十郎（十太夫，守之）　善太夫　25俵　M3　25才　常徳寺　6丁

永島助三（伸久）　甚兵衛　5人扶持　安政6　8丁

永島惣七（理右衛門，正時）　宗右衛門　2人半扶持　M3　65才　浄土寺　3丁

永島　統（福規）　十左衛門　25俵　M3　41才　3丁

永島恒太郎（一正）　助三　小判三両　M1　10才　2丁

永島徳太郎（織之助，茂章）　三丞　20俵　M3　41才　立像寺　8丁

(帙 377) 永島直作(正一) 甚兵衛正一 3人扶持 M3 40才 浄土寺 4丁 2冊
永島彦三郎(安恒) 太郎左衛門 5人扶持 M3 26才 浄土寺 3丁 2冊
永島弥八(元保) 五右衛門 9俵 M4 37才 浄土寺 3丁
長島一平(文右衛門, 麻芳) 次右衛門 15俵 M3 19才 東本願寺別院 2丁
長島貫左(貫左衛門, 忠成) 小助 2人扶持 M3 46才 西勝寺 2丁
長島敬二郎 保正 20石 M7 8才 円光寺 7丁
長島耕作(珍意) 久兵衛 3人扶持 M4 35才 本誓寺 5丁 2冊
長島善六(直之) 次助 3人扶持 M3 31才 仰西寺 3丁
長島伝二(茂門) 茂兵衛 15俵 M4 39才 専光寺 4丁
長島八百記(保正) 春釣保興 60石 M3 20才 円光寺 8丁 2冊
中須賀市次郎(一安) 安右衛門 2人扶持 M3 48才 普念寺 4丁
中杉顕忠(覚右衛門, 顕忠) 伝左衛門 厚忠 6人扶持 M3 44才 西源寺 6丁 2冊
中杉良太郎(忠徳) 覚右衛門 M3 12才 西源寺 3丁
(帙 378) 長瀬清(清成) 十之丞 5人扶持 M3 33才 久昌寺 2丁
長瀬敬事郎(有則) 如海百忠 1,000石 M3 26才 久昌寺 13丁
長瀬源太平(良弘) 保五郎 18俵 M3 37才 妙慶寺 5丁
長瀬光吉(五郎左衛門, 忠昌) 勝左衛門忠嘉 800石 M3 20才 久昌寺 13丁
長瀬権七(忠儀) 太右衛門 M4 15俵 68才 妙典寺 4丁
長瀬次郎(忠真) 佐兵衛 2人扶持 M4 48才 道林寺 3丁
中田一角(乙鉄, 恒久) 与三郎久明 100石 M3 21才 悦叟寺 9丁 2冊
中田久太郎(政忠) 仁左衛門 2人扶持 M4 29才 広済寺 4丁
中田九十郎(永正) 久七 2人扶持 M4 17才 善福寺 4丁
中田九内(信弘) 鉄三郎 13俵 M4 79才 上宮寺 6丁
中田粂次郎(成秀) 久右衛門 12俵 M3 31才 専光寺 5丁
中田左源太(教道) 喜内知教 60石 M3 39才 光教寺 7丁
中田順太郎(惟秀) 白黒 1人半扶持 M4 17才 光徳寺 2丁
中田清太郎(義一) 喜右衛門 15俵 M4 26才 等願寺 3丁
中田惣次郎(忠保) 清右衛門 1人半扶持 M3 12才 瑞泉寺 3丁
中田白黒(惟明) 貞順 9俵 M4 46才 光徳寺 2丁
中田兵次(惟久) 助八 11俵 M3 46才 本浄寺 4丁
中田政男(則清) 九内 9俵 M4 26才 上宮寺 6丁 2冊
中田与三郎(助安) 与兵衛 2人扶持 M5 33才 慶覚寺 7丁
中田録三郎(重之) 久之助 6人扶持 M3 14才 光教寺 6丁
中田六郎(成之) 六右衛門 4人扶持 M4 27才 願称寺 3丁
(帙 379) 永田一無(貫和) 与六景久 5人扶持 M4 63才 瑞光寺 6丁
永田栄太郎(正村) 与兵衛 18俵 M3 14才 徳善寺 7丁
永田欣吾(昌芳, 芳重) 嘉太夫 20俵 M3 26才 専光寺 5丁 2冊
永田耕作(作左衛門) 半作福勝 29俵 M3 55才 浄光寺 6丁
永田正忠 耕作 10俵 M4 23才 浄光寺 7丁
永田才三郎(寛之) 定之丞 18俵 M4 21才 徳善寺 6丁
永田作太郎(信久) 藤造 20俵 M5

15才 専光寺 6丁

永田 毅（幾久太郎，篤敬，信熙） 嘉兵衛信重 10俵 M3 27才 本覚寺 8丁 2冊

永田俊三（永久） 昌三郎 20俵 M3 48才 専光寺 7丁 2冊

永田丈三（丈之助，保知） 栄之助重保 30俵 M3 35才 専光寺 6丁

永田醒太郎（良左衛門，豊春） 忠兵衛 10俵 M3 37才 善性寺 3丁 2冊

永田貫和 如嶋 6人扶持 M6 64才 瑞光寺 5丁

永田只左久（保一） 覚之助 20俵 M3 15才 専光寺 7丁

永田網五郎（武久） 三十郎 M3 52才 徳善寺 8丁

永田益次郎（寛彰） 完之丞 24俵 M4 24才 妙慶寺 7丁

永田美以 丈左衛門保寿 20俵 M7 専光寺 3丁

永田森外（政秀） 清次郎 16俵 M3 32才 真福院 8丁

永田六平（六兵衛重勝） 休意保定 45石 M3 61才 妙慶寺 5丁

（帙 380） 長田伊太郎（至善） 伊之助 15俵 M3 17才 実成寺 6丁

長田沖男（沖右衛門，武信） 新兵衛 武久 130石 42才 円光寺 7丁

長田丈平（丈左衛門，一定） 与兵衛 13俵 M3 玄門寺 6丁 2冊

長田一吉 一定 13俵 M6 31才 玄門寺 5丁

長田勘六（勘歳，啓忠） 文左衛門啓善 35石 M3 43才 聖興寺 3丁 2冊

長田喜十郎（員英） 義助 2人扶持 M4 27才 慶覚寺 3丁

長田亀重郎（寿茂） 惣左衛門茂幸 5人扶持 M3 23才 実成寺 6丁

長田喜太郎（正房） 宗次 1人半扶持 M4 32才 慶覚寺 5丁

長田久作（満房） 久兵衛 11俵 M3 24才 徳龍寺 7丁

長田金三郎（直永） 吉右衛門 15俵 M3 25才 専光寺 3丁

長田九六（定則） 与兵衛 9俵 M4 47才 玄門寺 5丁

長田五三郎（政重） 五郎兵衛 9俵 M3 19才 玄門寺 3丁

長田小十郎（武正） 小左衛門武久 150石 M4 44才 開禅寺 6丁

長田権次郎（政章） 庄太郎 7俵 M5 26才 西福寺 3丁

長田三郎（平左衛門，厚生） 平四郎 11俵 M3 36才 聖興寺 4丁

長田左六（義永） 津右衛門 3人扶持 M4 願念寺 4丁

長田新左衛門（克則） 権平 60石 慶応3 25才 妙正寺 8丁

（帙 381） 長田新二（新左衛門，克則） 権平勝信 60石 M3 28才 妙正寺 5丁

長田誠吉（永治） 弥門永重 50石 M3 13才 浄安寺 7丁

長田善造（一則） 伊之助 20俵 M3 44才 実成寺 6丁

長田善左衛門（定則） 善左衛門 5人扶持 M3 久昌寺 3丁

長田宗次（正之） 宗雪 2人扶持 M4 66才 慶覚寺 4丁

長田他作（少左衛門，光貞） 少左衛門光政 5人扶持 M3 善福寺 3丁

長田恒三郎（質直） 兵馬律栄 250石 M4 42才 月心寺 9丁

長田徳三郎（永栄） 長右衛門 20俵 M3 玄門寺 3丁

長田豊太郎（定吉） 善左衛門定則 60石 M3 18才 久昌寺 6丁 2冊

長田ます 惣賀 9俵 M7 20才 実成寺 5丁

長田幹太郎 知儀 25石 M8 16才 浄安寺 7丁

長田 稔（知儀） 栄次郎知方 100石 M3 34才 浄安寺 9丁

長田茂三郎（義一） 吉右衛門 15俵

M3　19才　善行寺　3丁

長田良吉（則能）　良左衛門　35石　M3　23才　西勝寺　4丁　2冊

長田良太郎（定興）　佐左衛門種因　100石　M3　17才　久昌寺　5丁

長田和平（和兵衛，孝美）　和兵衛　15俵　M3　40才　円光寺　4丁

（帙 382）中滝　昇　伊左衛門　25俵　M3　29才　松山寺　5丁

長竹作治（清立）　庄右衛門　2人扶持　M4　58才　専光寺　3丁

長竹文次郎　作次　2人扶持　M6　18才　専光寺　3丁

中谷　鼎（清治，武虎）　喜十次　M3　24才　弘願寺　5丁

中谷光平（安積）　六兵衛　15俵　M3　22才　弘願寺　4丁

中谷初三郎（一成）　又吉　5人扶持　M3　40才　本竜寺　3丁

中地良治（成董）　良左衛門　25俵　M3　32才　唯念寺　6丁

長門秀五郎（致芳）　亮左衛門弥秀　16俵　M3　15才　三宝寺　5丁

中西市次郎（起元）　与太郎　9俵　M3　30才　妙典寺　5丁

中西逸角（脩安）　財之助安興　200石　M3　31才　妙慶寺　8丁

中西　巌（春房）　彦左衛門　7人扶持　M4　34才　西勝寺　3丁

中西英重郎（弼直）　英作　20俵　M3　34才　名願寺　6丁

中西　薫（嘉織，恒春，徳三郎，如春）　為三郎　10人扶持　M3　33才　妙慶寺　8丁　2冊

中西　清（正名）　順左衛門　36俵　M4　35才　鶴林寺　7丁

中西小平（守之）　訓之助　30俵　M3　54才　慶恩寺　7丁

中西五郎（五郎兵衛，唯栄）　五郎太夫栄広　17俵　M3　瑞泉寺　7丁

中西作五郎（親則）　交雀友之　100石　M3　41才　妙慶寺　8丁

中西佐久馬（忠時）　三右衛門　15俵　M3　24才　慶覚寺　5丁

中西　茂（正直）　善右衛門　15俵　M3　26才　5丁

中西修造（恒太郎，尚章，尚昌）　原蔵昌行　M3　8人扶持　20才　光覚寺　5丁　2冊

（帙 383）中西順太郎（立）　津左衛門憧　7人扶持　M3　17才　常福寺　9丁

中西順平（直光）　清兵衛　18俵　M3　39才　慶覚寺　6丁

中西昇三郎（寛之）　寂翁　150石　M3　49才　専光寺　5丁

中西正七郎（之行）　新太郎　59俵　M3　18才　鶴林寺　5丁

中西甚八（勝茂）　甚之丞　16俵　M3　42才　西方寺　4丁

中西宗吉（定一）　宗兵衛　30俵　M3　50才　専長寺　7丁

中西宗平（多嘉）　宗兵衛惟清　12俵　M3　49才　専光寺　4丁

中西外語郎（以当）　久太夫以孝　50俵　M3　30才　妙慶寺　11丁

中西瑳次郎（信章）　木工孝章　30俵　M3　30才　鶴林寺　11丁

中西常男（善之丞，義直）　善七　18俵　M3　51才　慶恩寺　5丁

中西恒三（一正）　平兵衛　27俵　M4　29才　浄行寺　5丁

中西てい　原蔵昌行　8人扶持　M7　48才　光覚寺　5丁

中西伝六（信久）　伝六　9俵　M4　41才　玄門寺　4丁

中西　年（純泰，直方）　了亭　6人扶持　M3　46才　静明寺　6丁　2冊

中西直登（勝栄）　甚八　1人半扶持　M4　21才　西方寺　3丁

中西　中（重幸，庄左衛門）　久蔵　45石　M4　45才　法光寺　3丁　2冊

中西鍋吉（茂勝）　儀太夫　20俵　M3　17才　妙立寺　6丁

中 西 則 正 少平 47俵 M7 21才 6丁
中 西 八 郎（忠吉） 吉太夫信秀 50俵 M3 30才 名願寺 9丁
中 西 文 作（文蔵，達忠） 兵吉 20俵 M3 29才 名願寺 8丁
中 西 文三郎（則善） 八郎左衛門則地 60石 M3 8才 西方寺 7丁
中 西 文次郎（充明） 吉右衛門 15俵 M3 29才 光専寺 4丁
中 西 兵 吉（孚休） 半太夫 25俵 M3 46才 名願寺 9丁
（峡 384） 中 西 益 松衛 200石 M6 宝憧寺 7丁
中 西 又三郎（信定） 惣五通方 130石 M4 18才 本長寺 8丁
中 西 松 衛（松兵衛，重綱） 紋左衛門 200石 M3 59才 宝憧寺 13丁
中 西 松太郎（久信） 伝六 4俵 M4 21才 玄門寺 4丁
中 西 保一郎（信夫） 津三郎信仲 50俵 M3 37才 名願寺 9丁
中 西 弥三次（義之） 弥作 20俵 M3 20才 光徳寺 5丁
中 西 勇次郎（定盛） 五平 3人扶持 M4 44才 常福寺 4丁
中 西 与三男（与右衛門，朝知） 助三郎 25俵 M3 法光寺 9丁
中 西 余所吉（智定） 宗兵衛 15俵 M3 19才 専遠寺 4丁
中 西 理三郎（良好） 千作 20俵 M3 22才 浄行寺 6丁
中 根 三 郎（庄太夫，友輔） 久佐友賢 100石 M3 36才 瑞光寺 9丁 2冊
中 根 大 六（清白） 角右衛門知白 230石 M4 48才 瑞光寺 9丁
中 野 栄 作（正明）又右衛門 2人扶持 M4 53才 善性寺 4丁
中 野 栄 次（信道） 栄助 1人半扶持 M5 50才 宗蓮寺 3丁
中 野 数 馬（佑賢） 次郎八信也 50俵 M3 57才 瑞泉寺 12丁
中 野 勘 六（近貞，虎之助，吉近） 伊三太定之 10俵 M3 34才 真福院 4丁 2冊
中 野 喜三次（則清） 宗宅 57俵 M3 20才 瑞泉寺 5丁
中 野 吉三郎（勝友） 吉右衛門 15俵 M3 30才 真福寺 3丁
中 野 吉十郎（景成） 平助 2人扶持 M4 28才 万福寺 3丁
中 野 吉 郎（信正） 兵衛 15俵 M3 18才 光専寺 6丁
（峡 385） 中 野 喜平次 半兵衛 2人扶持 M3 21才 静妙寺 6丁
中 野 義 門（義信） 忠五郎 2人扶持 M4 26才 円長寺 5丁
中 野 清（輝久） 太右衛門 7人扶持 M3 44才 4丁
中 野 喜 六（直之） 吉助 20俵 M4 45才 三宝寺 9丁
中 野 源 次（勝忠） 弥平太 25俵 M3 51才 妙慶寺 6丁
中 野 公 吉（敬） 随庵達 180石 M3 35才 正福寺 15丁
中 野 佐吉郎（正富） 庄六 30俵 M3 22才 光徳寺 7丁
中 野 次三郎（房儀） 源次郎 15俵 M3 34才 円長寺 5丁
中 野 重太郎（武貞） 佐六 15俵 M3 19才 勝満寺 7丁
中 野 十 平（十兵衛，茂政） 市兵衛 15俵 M3 28才 伏見寺 4丁
中 野 庄太郎（信好） 庄三郎 15俵 M3 21才 聖泉寺 3丁
中 野 治郎吉（則忠） 太右衛門 2人扶持 M4 21才 西方寺 3丁
中 野 祐五郎（直久） 与十郎正直 40俵 M3 34才 瑞泉寺 6丁
中 野 清 純（栄馬，則孝） 丈右衛門 70俵 M3 46才 蓮覚寺 6丁
中 野 瀬 平（清久） 義兵衛 15俵 M3 20才 哲光寺 4丁
中 野 宗 六（種氏） 宗碩 4人扶持 M4 40才 瑞泉寺 6丁

中野 外次郎（政清） 甚左衛門 4人扶持 M4 19才 敬栄寺 4丁

（帙 386） 中野 太平（友一） 太右衛門 8俵 M4 65才 瑞泉寺 2丁

中野 民栄（栄左衛門，逸景） 伊兵衛 M4 33才 哲光寺 4丁

中野 忠次（定一） 佐左衛門 1人半扶持 15才 恵光寺 4丁

中野 長造（長藤，則武） 長太夫 30俵 M3 49才 長福寺 5丁

中野 常三（義一） 三多郎義政 48石 M3 41才 光円寺 4丁

中野 伝二（伝蔵，行貞） 伝兵衛行省 40俵 M3 36才 瑞泉寺 8丁

中野 豊太郎 中 25俵 M6 8才 実成寺 5丁

中野 直記（安則） 伊三太 11俵 M4 真福院 4丁 2冊

中野 初三郎（守一） 徳兵衛 20俵 M3 15才 上宮寺 4丁

中野 判二（頼久） 半助 23俵 52才 静明寺 5丁

中野 秀三（知崇） 権兵衛知固 45石 M3 37才 妙正寺 9丁 2冊

中野 文造（昌則） 栄作 8俵 M3 28才 善性寺 5丁

中野 孫一郎（辰隆） 源次 20俵 M4 17才 妙慶寺 8丁

中野 松太郎（義信） 吉郎兵衛 23俵 M3 35才 徳竜寺 6丁

（帙 387） 永野 惣二（直正） 半兵衛 6俵 M4 40才 願楽寺 4丁

長野 市三郎（忠知） 惣兵衛 15俵 M4 30才 東本願寺別院 4丁

長野 勘六（織人，貞造，有功） 伝造 有孚 70石 M3 33才 大円寺 4丁 2冊

長野 九平（太兵衛，忠良） 次左衛門 10俵 M3 36才 東本願寺別院 3丁

長野 興平（興兵衛，義忠） 九兵衛 15俵 M3 48才 照円寺 3丁

長野 和当太（祐之） 周蔵尚賢 57石 M3 33才 三光寺 9丁

長能 甚作（行勝） 又二郎 15俵 M3 25才 宗善寺 5丁

長能 又二郎（行定） 又助 12俵 M4 宗善寺 3丁

中橋 権六（政一） 権左衛門 4人扶持 M4 67才 乗船寺 3丁

中橋 恒二（恒右衛門，忠明） 久四郎 15俵 M3 51才 承証寺 3丁

中橋 津平次（津右衛門，忠保） 恒右衛門 20俵 M3 承証寺 6丁

中橋 友三（友左衛門，清久） 恒右衛門 30俵 M3 58才 承証寺 6丁

中橋 初三郎 恒二 15俵 M5 16才 承証寺 5丁

中橋 貢（盛政） 権六 3人半扶持 M4 29才 乗船寺 4丁

中橋 弥九郎（良久） 弥次右衛門 15俵 M3 30才 光敬寺 3丁

中浜 剣次郎（元重） 龍淵 2人扶持 M3 仰西寺 3丁

中浜 左一郎（直久） 左太夫 15俵 M3 20才 妙正寺 5丁

中林 佳十郎（秀直） 丈五郎 25俵 M3 39才 西方寺 8丁

中林 勘次（忠之） 長右衛門 9俵 M4 55才 東本願寺別院 5丁

中林 久次（忠久 久蔵） 忠助 7俵 M3 39才 浄照寺 3丁

中林 粂次郎（久忠） 勘次 2人扶持 M4 19才 東本願寺別院 4丁

中林 権次郎（定一） 五郎兵衛 15俵 M3 28才 竜泉寺 3丁

中林 七郎（弥三太夫，是伯） 弥三郎 20俵 M3 55才 西方寺 7丁

中林 太作（定一） 源右衛門 8俵 M4 30才 浄正寺 3丁

中林 伝吉（永保） 仕平 9俵 M3 47才 徳竜寺 3丁

中林 元吉（金政） 小兵衛 15俵 M3 28才 専光寺 4丁

長林 五十二（五郎右衛門，為英） 宮右

衛門　20俵　M3　本浄寺　4丁

(帙 388) 中原茂三（義安）　記佐三助　23俵　M4　43才　善照寺　10丁

中房久作（義陳）　三郎太夫　35俵　M3　65才　大円寺　6丁

中振幾馬（正隆）　清蔵　25俵　M3　28才　妙典寺　5丁

中振庄作（元久）　庄作元勝　18俵　M3　40才　等雲寺　7丁

中振丈平（正直）　丈之助　25俵　M3　44才　本妙寺　6丁

中振鉄三郎（信近）　勘助　12俵　M4　12才　常徳寺　4丁

中宮市次郎（正忠）　市蔵　25俵　M3　30才　本因寺　6丁

中宮角二（仙右衛門，当直）　仙右衛門高国　22俵　M3　57才　本浄寺　5丁　2冊

中宮久平（生村）　久平　15俵　M3　24才　常徳寺　3丁

中宮粂治（牛之助，富勝）　牛之助　20俵　M3　16才　全性寺　4丁

中宮五朔（五左衛門，義将，生将）　30石　M3　41才　本円寺　6丁　2冊

中宮しけ　行直　20俵　M8．3才　勝満寺　4丁

中宮　繁（知定）　嘉久平　25俵　M3　24才　正覚寺　6丁

中宮治作（保忠）　作右衛門　30俵　M3　28才　即願寺　9丁

中宮治兵（輝正）　治助　2人扶持　M3　31才　林幽寺　3丁

中宮甚左（甚左衛門，周房）　小左衛門　M3　54才　本因寺　7丁

中宮庸雄（誠之）　平太夫　27俵　M4　32才　本因寺　10丁

中宮　中（政二郎．秀政）　半兵衛久秀　150石　20才　全性寺　9丁

中宮孫作（孝之）　安兵衛　24俵　M3　44才　正福寺　7丁

中宮八十次（八十之助，是道）　和左衛門　25俵　M3　33才　正福寺　7丁

中宮与八郎（清忠）　与兵衛　25俵　M3　42才　本因寺　6丁

(帙 389) 中村秋弥（久，信行）　駒之助貞之　300石　M3　34才　本光寺　13丁

中村　旭（秀隆）　吉郎兵衛　24俵　M3　26才　慶覚寺　8丁

中村　興（興右衛門，盛一）　九左衛門　20俵　M3　48才　興徳寺　7丁

中村　新（一政）　伊兵衛　15俵　M3　20才　泉龍寺　3丁

中村五百木（五兵衛，政良）　五兵衛政醇　400石　M3　58才　大蓮寺　9丁

中村　庵（正義）　清大夫　20俵　M3　35才　光専寺　5丁

中村郁太郎（文成）　新助　20俵　M3　16才　高岸寺　6丁

中村伊作（吉勝）　安右衛門　3人扶持　M4　54才　光専寺　3丁

中村伊三郎（信之）　伊太郎　20俵　M3　20才　東本願寺別院　7丁

中村　勇（勇右衛門，昌義）　勇左衛門員昌　40石　M3　53才　即願寺　5丁　2冊

中村猪三男（恒久）　所左衛門弘毅　80石　M3　22才　三宝寺　11丁　2冊

中村市之丞（成之）　市郎右衛門　2人扶持　慶応4　60才　西方寺　7丁

中村市平（政直）　半兵衛　15俵　M3　28才　東本願寺別院　5丁

中村一郎　多門　300石　M6　25才　瑞光寺　7丁

中村市郎（市右衛門，清永）　市兵衛　18俵　M3　46才　広済寺　3丁

中村一貫（泉吉，祐幸）　次郎右衛門　5人扶持　M4　21才　願楽寺　4丁　2冊

中村逸平（一貫）　有無一章　500石　M3　40才　蓮昌寺　10丁

中村逸平（新次郎，尚一）　安兵衛　8人扶持　安政5　31才　15丁

(帙 390) 中村稲平（甚右衛門，忠重）　甚左衛門朝重　23俵　M3　30才　上宮寺　4丁

2冊

中村 伊之吉（則方） 衆之助 20俵 M3 16才 永順寺 6丁

中村 猪之吉（義直） 左次馬宗季 5人扶持 M3 27才 本竜寺 5丁 2冊

中村 伊平（伊兵衛，直挙） 伊右衛門直道 10俵 M3 45才 瑞泉寺 4丁 2冊

中村 巌（弥五左衛門，顕久） 平蔵顕定 50俵 M3 27才 本長寺 8丁

中村 岩太郎 肇 17人扶持 M6 16才 法光寺 6丁

中村 宇三郎（義忠） 重藤 20俵 M3 24才 永照寺 9丁

中村 宇仲（宇右衛門，包巻） M3 15俵 36才 円光寺 3丁

中村 宇平（宇兵衛，之定） 宇左衛門 60石 M3 38才 全昌寺 8丁 2冊

中村 宇平次（勝忠） 平四郎 15俵 M3 29才 専光寺 6丁

中村 運平（正久） 喜右衛門 M3 20俵 42才 蓮覚寺 6丁

中村 ゑい 21石 M8 56才 興宗寺 6丁

中村 栄三郎（正一） 卯之助政業 200石 M3 安楽寺 13丁

中村 栄二郎（巨訓） 厳五左衛門時敏 7人扶持 M3 27才 慈雲寺 8丁 2冊

中村 栄次郎（以寛） 久男一之 100石 M4 8才 蓮昌寺 8丁

中村 永太郎（正秀） 儀右衛門 20俵 M3 23才 法船寺 6丁

中村 衛門（敦貞） 藤馬 50石 M3 60才 仰西寺 8丁 2冊

（帙 391） 中村 織三（直之） 才記友直 50石 M3 35才 開禅寺 9丁 2冊

中村 嘉久五郎（静嘉） 太郎兵衛 20俵 M3 11才 慶覚寺 5丁

中村 格太郎（可一） 外之助 100石 M3 16才 久昌寺 8丁

中村 覚丞（正之） 新八 3人扶持 慶応3 30才 慶恩寺 2丁

中村 嘉次郎（正忠） 清太郎正之 50俵 M3 25才 唯念寺 11丁

中村 数衛（保貞） 嘉右衛門保基 40俵 M3 37才 崇禅寺 7丁

中村 数男（一行） 金之丞 20俵 M3 21才 法船寺 6丁

中村 和平（積重） 楽哉元孝 200石 M3 43才 大蓮寺 12丁

中村 勝男（良蔵，季置） 良助 20俵 M3 41才 妙慶寺 8丁

中村 勝三郎（元綱） 助太夫 15俵 M4 32才 本性寺 6丁

中村 勝二（勝左衛門，正房） 友右衛門正忠 60石 M3 48才 本覚寺 6丁

中村 勝美（政一） 左膳寅弘 40俵 M3 38才 寅成寺 12丁

中村 金松（景常） 善兵衛景政 100石 M3 大乗寺 12丁

中村 嘉兵次（嘉兵衛，貞勝） 与三太夫 11俵 M3 40才 竜雲寺 6丁

中村 亀之助（宗興） 左治馬 40石 M2 28才 本竜寺 3丁

中村 勘才（勘兵衛，教則） 十太夫 5人扶持 M3 58才 善福寺 6丁 2冊

中村 寛三郎 敦貞 15石 M7 9才 仰西寺 7丁

中村 勘治（勘助，忠賢） 勘助 20俵 M3 70才 東本願寺別院 4丁

中村 閑重郎（正儀） 正之 130石 M3 法光寺 13丁

（帙 392） 中村 勘六（忠成） 勘六 18俵 M3 44才 長周寺 5丁

中村 喜市 喜平次時行 18俵 M5 18才 常徳寺 6丁

中村 儀右衛門（守侯） 儀右衛門 3人扶持 M2 31才 浄行寺 6丁

中村 鬼角（三郎兵衛，従貞） 嘉兵衛紀貞 65石 M3 39才 名願寺 13丁

中村 喜久馬（重発） 覚之助 60俵 M3 43才 等雲寺 11丁

中村 喜久馬（清太郎，秀勝） 八三 8俵 M3 27才 等経寺 5丁
中村 義左久（秀晴） 新平 20俵 M4 浄光寺 9丁
中村 義十郎（賢友） 六左衛門珍孝 100石 M3 57才 本覚寺 8丁
中村 競（権左衛門，富正） 茂左衛門富喬 16俵 M3 36才 西養寺 6丁
中村 喜太郎 久兵衛 15俵 M3 24才 乗光寺 5丁
中村 吉五郎（正明） 遊翁正則 17人扶持 M3 35才 法光寺 8丁
中村 吉三郎（邦昌） 熊次郎方昌 800石 M3 46才 瑞光寺 13丁
中村 吉三郎（直之進，政一） 喜左衛門 50石 M1 28才 仰西寺 3丁
中村 吉蔵（秀久） 伊之助 25俵 M4 29才 光専寺 7丁
中村 吉太郎 良作 17俵 M7 16才 本光寺 5丁
中村 吉太郎 有重 14俵 M7 12才 広済等 5丁
中村 吉平（吉左衛門，親久） 吉兵衛 20俵 M3 70才 妙泰寺 4丁
中村 吉馬（雅都） 清次郎 25俵 M4 44才 光教寺 7丁
中村 吉郎次（義富） 吉郎平 25俵 M3 31才 仰西寺 11丁
中村 喜八（喜兵衛，政義） 吉兵衛 20俵 M3 46才 直乗寺 5丁
（帙 393） 中村 喜平（安平） 弥左衛門 15俵 M4 41才 勝満寺 3丁
中村 喜平（作左衛門，庄六，子種） 葆斉直子 650石 M3 51才 金剛寺 13丁
中村 喜平次（時行） 喜左衛門 18俵 M3 53才 6丁
中村 久吾（武敬） 越中屋庄兵衛 4人扶持 M3 71才 慶恩寺 3丁
中村 久作（直行） 久作 18俵 M3 39才 聞善寺 3丁
中村 久七（世政） 久右衛門 15俵 M3 28才 本智寺 2丁
中村 久次郎（久春） 安兵衛 8俵 M5 31才 願正寺 4丁
中村 久蔵（久三，道高） 利兵衛 3人扶持 M4 40才 静照寺 5丁
中村 久平（吉久） 孫助 15俵 M3 25才 正光寺 5丁
中村 久馬（昌永） 平兵衛 17俵 M3 40才 願楽寺 5丁
中村 恭平 平八 130石 26才 本長寺 8丁
中村 清（清左衛門，茂勝） 清左衛門 16俵 M4 38才 西勝寺 6丁 2冊
中村 喜与三（参次） 清太郎 9俵 M4 24才 慶覚寺 5丁
中村 義六（信近） 彦兵衛信之 110石 M3 45才 宗禅寺 9丁
中村 金吾（大安） 利右衛門 15俵 M4 41才 浄行寺 5丁
中村 金七（通栄） 準吉 12俵 M4 28才 名願寺 8丁
中村 銀次郎（義章） 文太夫 19俵 M3 30才 乗善寺 7丁
中村 公兵（貞人，和義） 藤太夫 25俵 M3 20才 願楽寺 6丁
中村 九内（友直） 久兵衛 2人扶持 M4 45才 等願寺 3丁
中村 熊吉（之只） 伴丞 13俵 M4 53才 名願寺 6丁
中村 庫作（次太夫，親直） 次平 30俵 13才 敬栄寺 6丁
中村 啓五郎（宗興） 左作馬 5人扶持 M3 29才 本竜寺 5丁
中村 敬三 巌 50俵 M5 17才 本長寺 7丁
（帙 394） 中村 源吉（尚行） 源次 27俵 M4 38才 実成寺 6丁
中村 源吾（綿寺） 宅右衛門 20俵 M4 46才 名願寺 5丁
中村 鐵三郎（之栄） 采男将元 130石 M3 17才 蓮昌寺 9丁

中村源二（源蔵，友定） 伊右衛門 15俵 M4 40才 勝満寺 2丁
中村源七（源次，義久） 作太夫 20俵 M3 25才 広済寺 6丁
中村 源右衛門（憲保） 利右衛門 3人扶持 M3 47才 浄行寺 5丁 2冊
中村源太郎（一知） 鍛作 20俵 M3 43才 真成寺 9丁
中村元八郎（富久） 吉右衛門 20俵 M3 38才 成学寺 12丁
中村源陸（季邦） 道泉政近 80石 M3 72才 本妙寺 11丁
中村小一郎（主忠） 大作事忠 40俵 M3 44才 唯念寺 9丁
中村貫知 他次郎 2人扶持 M3 25才 永照寺 5丁
中村孝作 理平 22俵 M7 35才 松縁寺 6丁
中村幸作（幸之進，道治） 吉兵衛 30石 M3 41才 乗善寺 3丁
中村耕作（尚一） 安兵衛尚方 8人扶持 M3 43才 妙典寺 12丁
中村江三郎（茂次） 新七 5俵 M4 17才 徳栄寺 4丁
中村幸次郎（秀一） 五兵衛 15俵 M3 20才 正覚寺 3丁
中村幸治郎 一貫 500石 M6 9才 蓮昌寺 6丁
中村幸造（定忠） 平蔵 20俵 M4 43才 願念寺 5丁
中村肥富（敦久） 衛門 4人扶持 M1 24才 仰西寺 3丁
中村小作（延秋） 忠兵衛 12俵 M4 23才 浄智寺 4丁
中村小三郎（折次） 平右衛門 2人扶持 M4 27才 願正寺 3丁
中村小十郎（正仲） 次助 18俵 M3 36才 敬栄寺 6丁
中村小次郎（定正） 長善 2人半扶持 M4 35才 専光寺 3丁
（峡 395） 中村小太郎（村勝） 伊作 3人扶持 M4 22才 光専寺 3丁
中村小太郎（慎窓） 丹太夫有郷 150石 M3 46才 承証寺 9丁
中村小隼（主膳，正度） 庫太忠正 800石 M3 大蓮寺 13丁
中村駒太郎（方弼） 十郎兵衛方静 180石 M3 27才 14丁
中村五郎（竹茂） 佐五右衛門知程 7人扶持 M3 40才 常福寺 8丁
中村小六（安玄） 六右衛門 8俵 M3 25才 大念寺 4丁
中村小平 伊八 6石 M6 25才 願成寺 5丁
中村左一（与左衛門，有重） 紋左衛門 14俵 M3 40才 広済寺 6丁 2冊
中村左一（能房） 権四郎 15俵 M3 31才 慶覚寺 5丁
中村 栄（美清） 太左衛門 18俵 M4 20才 光琳寺 5丁
中村作一（作之丞，知義） 九八郎 25俵 M3 39才 本智寺 6丁
中村作五郎（正行） 和太夫 100石 M3 22才 西蓮寺 11丁
中村朔二（忠弘） 初右衛門一嘗 250石 M3 23才 雲竜寺 15丁
中村左久馬（尚徳） 左兵二 5人扶持 M4 27才 称名寺 3丁
中村左治馬（篤敬） 左兵衛一敬 7人扶持 M4 30才 称名寺 3丁 2冊
中村佐十郎（則清） 七郎 9俵 M4 36才 名願寺 8丁
中村左太郎（可政） 庄蔵可則 M3 200石 24才 久昌寺 13丁
中村佐太郎（安連） 三右衛門 15俵 M3 24才 広済寺 2丁
中村左中（直温） 弥兵衛 18俵 M3 33才 常徳寺 6丁
中村里美（倶平） 伝兵衛倶存 100石 M3 24才 安楽寺 9丁
（峡 396） 中村左内（賀茂） 条之助 20俵 M3 29才 専勝寺 8丁
中村左内（武影） 茂左衛門 50石

M2　57才　4丁
中村　早苗（文左衛門，政博）　清作　30俵　M3　47才　慶覚寺　10丁
中村　三郎（為好）　久作為之　70石　M3　42才　妙応寺　12丁　2冊
中村　左兵次（一敬）　九兵衛　1人扶持　M4　78才　称名寺　3丁
中村　三作（正次）　鋲次郎房次　35俵　M3　30才　等願寺　7丁
中村　三治（好経）　茂右衛門　8俵　M3　28才　勝満寺　4丁
中村　三松（実義）　乙助　15俵　M3　29才　月照寺　4丁
中村　三楽（弥兵衛，政薗）　欽遊政恒　100石　M3　48才　大蓮寺　9丁
中村　茂城（泰啓）　大助　18俵　M4　31才　願念寺　6丁
中村　成義　米成　15俵　M8　20才　浄行寺　3丁
中村　　茂（温良）　源陸季邦　40俵　M3　30才　本妙寺　14丁
中村　次左衛門（政正）　次郎大夫　30石　M2　23才　願楽寺　6丁
中村　次作（時緒）　次平　8俵　M4　38才　願称寺　3丁
中村　次三郎　市郎右衛門　15俵　M3　24才　光専寺　3丁
中村　次太郎（次郎右衛門，成幸）　次郎右衛門　2人扶持　M4　67才　2丁
中村　七三郎（光広）　七左衛門　3人扶持　M5　38才　願照寺　4丁　2冊
中村　七十郎（景正）　清吉　15俵　M3　17才　専光寺　5丁
中村　七郎（昌盛）　六右衛門忠恒　100石　M3　53才　仰西寺　10丁
中村　七郎（七右衛門，武知）善右衛門　15俵　M3　44才　東本願寺別院　3丁
（帙 397）中村　　蔀（正之）　新八有栄　12俵　M3　35才　慶恩寺　4丁
中村　次内（次左衛門，守重）　平次兵衛　120石　M3　68才　了願寺　8丁
中村　次八（祐親）　次右衛門　30俵　M3　法船寺　5丁
中村　次八（次右衛門，直一）　千重郎　司直　450石　M3　42才　本覚寺　10丁
中村　次平（一之）　次右衛門　12俵　M4　47才　乗善寺　3丁
中村　十三郎（政之）　仕兵衛政一　200石　M3　50才　久昌寺　8丁
中村　充二郎　勘治忠賢　20俵　M6　20才　東本願寺別院　3丁
中村　重太郎（茂次）　文蔵　6俵　M3　17才　本福寺　4丁
中村　重平（重左衛門，幾喜）　久丞　18俵　M3　32才　知覚寺　4丁
中村　順二郎（則行）　九郎兵衛美矩　60俵　M3　49才　仰西寺　7丁
中村　周三（周蔵，加一）　紋之丞　30俵　M3　50才　名願寺　8丁
中村　順三（孝則）　弥兵衛　20俵　M3　23才　常徳寺　7丁
中村　順八（立）　順之助　30俵　M3　52才　仰西寺　10丁
中村　恂平（知義）　安右衛門　10人扶持　M4　61才　三宝寺　4丁
（帙 398）中村　鈔喜（金三郎，清春）　佐助　15俵　M3　27才　名願寺　5丁
中村　昌玄（守賢）　昌平治成　6人扶持　M3　48才　願楽寺　4丁　2冊
中村　庄次郎　清作　20俵　M6　8才　小林寺　5丁
中村　庄造（政一）　庄太郎　24俵　M4　24才　東本願寺別院　7丁
中村　昌次郎（久勝）　八十郎錦次　40俵　M3　43才　高岸寺　9丁
中村　庄太郎（盛友）　与四郎　15俵　M4　18才　勝興寺　4丁
中村　鍋太郎　兵六　250石　M7　25才　蓮昌寺　6丁
中村　正平（信孝）　源蔵信行　35俵　M3　33才　妙慶寺　6丁
中村　庄平（貫親）　喜兵衛　23俵　M3　52才　光教寺　5丁
中村　庄六（喜平，直愛）　祿之助　5

人扶持 M3 32才 仰西寺 6丁 2冊
中村 所左衛門（弘毅） 所左衛門 5人扶持 M2 62才 三宝寺 10丁
中 村 四 郎（四郎兵衛，主一） 四郎兵衛一吉 200石 M3 54才 本光寺 12丁
中 村 次 老（芳之） 伴丞 30石 M4 45才 名願寺 4丁
中 村 治郎太（治郎太夫，美敞） 永蔵 30俵 M3 52才 光専寺 8丁
中 村 二 陸（次左衛門，直盛） 戸左衛門 35俵 M3 63才 法光寺 5丁
中 村 真 庵（駒之助，尚賢） 逸平 3人扶持 文久3 14才 3丁
中 村 甚 吉（政直）金助 2人扶持 M4 52才 乗善寺 3丁
中 村 真 吉（美充） 東左衛門 15俵 M3 20才 妙典寺 6丁
中 村 信 吾（守悦） 仙三守一 80石 M3 45才 了願寺 8丁
中 村 甚 語（始繕） 弥四郎寛沖 40俵 M3 36才 実成寺 11丁
中 村 信 作（彰信） 太左衛門 8俵 M3 16才 西称寺 3丁
中 村 甚三郎 甚七 17俵 M3 56才 徳善寺 6丁
（峡 399）中 村 甚太郎（英孝） 甚太夫 20俵 M3 37才 仰西寺 6丁
中 村 甚 次（直右衛門，定一） 甚兵衛 12俵 M3 37才 慶恩寺 3丁
中 村 甚 平（則之） 興右衛門 18俵 M3 47才 遍照寺 3丁
中 村 精（浦太） 卯左衛門有 50石 M3 34才 妙典寺 4丁
中 村 清 吉（清蔵，金勝） 九郎次郎 2人扶持 M4 37才 願称寺
中 村 清 吾（美敬） 東左衛門 20俵 M3 32才 妙典寺 6丁
中 村 清 作（則政）栄次郎 20俵 M3 20才 少林寺 6丁
中 村 清三郎（成長） 喜助 15俵 M3 30才 善正寺 3丁
中 村 清次郎（俊茂） 弥門 9俵 M4 25才 善福寺 4丁
中 村 清 六（行克） 洪左衛門義行 11俵 M3 64才 乗善寺 6丁 2冊
中 村 善 吉（善左衛門，久敬） 三百記 150石 M3 62才 本性寺 8丁
中 村 善 作（善兵衛，守正） 善右衛門 2人扶持 M3 34才 普念寺 3丁
中 村 善 二（政安） 善右衛門 20俵 M4 54才 仰西寺 10丁
中 村 善太郎（正信） 清右衛門 9俵 M4 25才 西光寺 5丁
中 村 善 六（好登） 弥助 10俵 M4 50才 光専寺 3丁
中 村 総 一（博忠） 三次郎博良 40俵 M3 40才 実成寺 9丁 2冊
中 村 惣 吉（正勝） 常三 20俵 M3 32才 慶覚寺 7丁
中 村 宗 七（宗左衛門，寅清） 宗左衛門 2人半扶持 M3 60才 願成寺 5丁
中 村 惣太郎（三祥） 三右衛門 15俵 M3 24才 善福寺 5丁
中 村 太一郎 正房 84俵 M7 17才 安楽寺 6丁
中 村 平（平左衛門，正一） 清左衛門 20俵 M3 47才 名願寺 4丁
中 村 多喜乙 貫 30俵 M6 15才 願楽寺 6丁
中 村 他 吉（一治） 他左衛門 15俵 M4 24才 知覚寺 3丁
中 村 沢 三（沢之丞，安渠） 九右衛門 25俵 M3 36才 西源寺 6丁
（峡 400）中 村 武 治（則喜） 九左衛門 18俵 M3 18才 本長寺 4丁
中 村 竹次郎（政春） 織之助常春 35石 M3 27才 願楽寺 6丁
中 村 他三郎（道隆） 伊兵衛 2人扶持 M2 15才 瑞泉寺 4丁
中 村 薫（久米三，清一） 重藤 22俵 M3 23才 永照寺 9丁
中 村 甚 六（宣幸） 次郎右衛門 株幸

50石 M3 30才 願楽寺 4丁 2冊
中 村 辰三郎（守一） 七兵衛 15俵 M3 23才 善徳寺 3丁
中 村 多 仲（重男，自成） 十郎兵衛自久 35石 M3 16才 昌柳寺 6丁
中 村 太 平（太兵衛，玄行） 仁三郎 3人扶持 M4 42才 常願寺 3丁
中 村 大美弥（次八郎，殷親） 庫作 15俵 M3 22才 5丁
中 村 為 吉（為之助，定次） 九左衛門 20俵 M3 16才 善福寺 3丁
中 村 為次郎 兵平 2人扶持 M2 21才 上宮寺 4丁
中 村 為 三（武祐，守貞） 6人扶持 M3 22才 高岸寺 5丁 2冊
中 村 保（正善） 円右衛門 8俵 M3 22才 久昌寺 5丁 2冊
中 村 多 門（正従） 文三郎政和 300石 M3 59才 瑞光寺 11丁
中 村 竹 馬（直篤） 宅之助貫寛 120石 M3 44才 妙国寺 16丁
中 村 阡（米之助，一秀） 源五郎宗時 100石 M3 24才 実成寺 9丁
中 村 忠（嘉平，忠徳） 九郎兵衛 10俵 M4 48才 瑞泉寺 3丁
中 村 忠次郎（政直） 源次右衛門政義 100石 M3 21才 実成寺 12丁
中 村 長 造（保教） 甚左衛門 5人扶持 M4 49才 光徳寺 5丁
中 村 束（久左衛門，定久） 義左衛門 30俵 M3 67才 本法寺 8丁
中 村 束（惣右衛門，信中） 虎二郎 信成 500石 M3 31才 瑞光寺 12丁
（帙 401） 中 村 造（言智） 佐助 22俵 M3 38才 専光寺 4丁
中 村 恣（久蔵，良幸） 久五郎 20俵 M3 32才 本浄寺 5丁
中 村 鼎五郎（良三郎，義政） 中 2人扶持 M3 善徳寺 5丁
中 村 貞二郎（鎌之助，金康） 余所鉄 25俵 M3 円祐寺 5丁
中 村 鉄十郎（幸明） 兵左衛門 2人扶持 M2 13才 光徳寺 5丁
中 村 鉄次郎（義次） 儀右衛門 15俵 M4 30才 照台寺 2丁
中 村 鉄 六（鉄蔵，忠貫） 源次兵衛敬義 100石 M3 77才 波着寺 8丁
中 村 伝 伝右衛門伝弥 10石 M7 33才 全昌寺 7丁
中村 伝右衛門（重近） 晩山重春 35石 M3 40才 浄行寺 8丁
中 村 藤 吉（吉友） 藤吉 8俵 M4 27才 浄行寺 4丁
中 村 東五郎 兼盛次内 120石 M6 26才 了願寺 5丁
中 村 藤次郎（三忠） 甚右衛門 9俵 M3 27才 等願寺 4丁
中 村 藤太郎（子勝） 久米丞子述 190石 M3 31才 金剛寺 15丁
中 村 時太郎 政博 15石 M8 11才 慶覚寺 6丁
中 村 徳 治（善右衛門，一正） 善右衛門 10人扶持 M3 東本願寺別院 3丁
中 村 徳 平（近里） 源之丞近直 50俵 M3 44才 光専寺 7丁
中 村 徳 馬（成章） 平八 25俵 M3 35才 善福寺 12丁
中 村 敏 求 源陸 80石 M6 42才 本妙寺 11丁
中 村 富三郎（富之輔，尚成） 大輔 15俵 M3 32才 系願寺 4丁
中 村 外毛男（秋満） 理三郎 20俵 M3 22才 実成寺 8丁
中 村 友 来（武照） 左内 4人扶持 M3 28才 4丁
中 村 知 左（知左衛門，予） 弥次郎敬忠 100石 M3 48才 8丁 2冊
（帙 402） 中 村 虎 男（義直） 9石 M6 6才 本竜寺 6丁
中 村 虎 雄（愛信） 勘大夫 20俵 M3 20才 本覚寺 7丁
中 村 虎 吉（義武） 栄三郎 10俵 M3 17才 久昌寺 3丁
中 村 虎 吉 善吉 150石 M5 37才

本性寺　5丁

中村　虎三郎（尚武）　鉄他郎是善　60俵　M3　26才　徳善寺　12丁

中村　直作（及時）　弥一右衛門　28俵　M3　31才　真成寺　6丁

中村　直次（友正）　福松　10俵　M3　40才　浄願寺　3丁

中村　　中（義頼）　次兵衛　15俵　M4　44才　善徳寺　4丁

中村　　央（之久）　八郎左衛門之隼　200石　M3　39才　承証寺　10丁

中村　　幟（一久）　兵左衛門　11俵　M4　18才　西源寺　4丁

中村　　権（金之丞，永政）　助太郎　15俵　M3　28才　常光寺　5丁

中村　　鑒（信幸）　三右衛門穏重　4人半扶持　M3　常福寺　5丁

中村　八三郎（貞正）　彦四郎　15俵　M3　31才　上宮寺　5丁

中村　八　三（知一）　弥右衛門　13俵　M4　54才　寿経寺　5丁

中村　隼　太　久充　29俵　M8　26才　願成寺　6丁

中村　半三郎（行政）　儀平　20俵　M3　73才　即願寺　3丁

中村　半　次（直武）　半左衛門直貞　100石　M3　26才　常福寺　12丁

中村　半四郎　半平　11俵　M7　33才　勝光寺　4丁

中村　半之丞（倶平）　伝兵衛　100石　M2　23才　安楽寺　11丁

中村　半之助（新七，茂久）　九郎太夫　20俵　M4　54才　徳栄寺　4丁

中村　　東（東左衛門，法政）　左衛滑門　2人扶持　M4　70才　妙典寺　3丁　2冊

中村　彦十郎　辰世　15俵　M7　27才　浄光寺　4丁

中村　久　男（伝蔵，一之）　哲之助以一　100石　M3　34才　蓮昌寺　11丁

中村　　寿（武彭）　茂左衛門　50石　M4　59才　2丁

（帙 403）

中村　秀　勝　知一　13俵　M8　30才　寿経寺　6丁

中村　一二三（守候）　浅右衛門問候　15俵　M3　32才　6丁

中村　俵五郎　（五郎兵衛，善隆）　俵五郎　20俵　M3　42才　妙慶寺　8丁

中村　兵　平（在房）　八郎正房　6人扶持　M3　上宮寺　4丁　2冊

中村　　開（節義）　五兵衛　8俵　M5　22才　願称寺　3丁

中村　寛　栗　育馬　21俵　M7　28才　興宗寺　4丁

中村　　広（子光）　楽哉　650石　M4　20才　金剛寺　12丁

中村　　含（兵左衛門，幸治）　長左衛門　45石　M3　光徳寺　5丁　2冊

中村　文次郎　（知之）　左一郎　25俵　M3　36才　光徳寺　8丁

中村　平　吉（信松）　平右衛門　20俵　M3　39才　光徳寺　5丁

中村　平吉郎（勝重）　平作勝房　35石　M3　14才　竜雲寺　8丁

中村　平　治（信行）　平三　2人扶持　M4　35才　永順寺　6丁

中村　兵次郎（庸也）　兵左衛門　8俵　M4　48才　普念寺　3丁

中村　平　三（信貞）　平右衛門　8人扶持　M4　58才　永順寺　4丁

中村　兵太郎（保房）　甚太夫　25俵　M3　32才　経王寺　5丁

中村　平八郎（忠誨）　平太夫清弾　130石　M3　56才　本長寺　10丁

中村　平　馬（正秀）　津左衛門　20俵　M3　25才　広済寺　8丁

中村　兵　六（之虎）　常喜之政　150石　M3　57才　蓮昌寺　9丁

中村　豊　吾（豊五左衛門，立孝）　豊遊立誠　60石　M3　37才　蓮昌寺　7丁　2冊

中村　宝次郎（武忠）　左内　4人扶持　M3　21才　桂岩寺　2丁　2冊

（帙 404）

中村　　樊（兼敦）　少兵衛兼孝　100

石 M3 38才 本妙寺 9丁
中村政男（正友） 政次 15俵 M3 16才 法光寺 8丁
中村政次郎（久忠） 官兵衛与比 30俵 M3 27才 実成寺 10丁
中村政次（正房） 兵次 20俵 M3 47才 法光寺 7丁
中村又勝（義正） 数馬近正 250石 M3 28才 瑞光寺 17丁
中村松造（時貞） 嘉蔵 15俵 M3 38才 西方寺 5丁
中村 衛（嘉久馬，惟一） 団九郎精一 80石 M3 30才 唯念寺 5丁
中村 貢（政正） 次郎太夫真美 30石 M3 24才 願楽寺 9丁
中村 実（輝顕） 宇左衛門 28俵 M3 43才 正覚寺 7丁
中村無眼（縫殿右衛門，久充） 八兵衛久富 8人扶持 M3 63才 願成寺 4丁
中村 迺（半太夫，有条） 良平 20俵 M3 29才 広済寺 5丁
中村木工（房之助，忠住） 新左衛門 25俵 M3 23才 光専寺 6丁
中村茂三（好房） 六右衛門 15俵 M3 25才 願念寺 3丁
中村守男（守人，政直） 仕兵衛政一 17人扶持 M3 47才 久昌寺 6丁
中村弥一（弥兵衛，正次） 弥三兵衛 11俵 M3 45才 広済寺 5丁
中村弥一郎（春綱） 平作清綱 8人扶持 M3 38才 光教寺 4丁 2冊
中村矢久茂（正孝） 閑重郎正義 130石 M4 23才 法光寺 9丁
中村弥作（弥三郎，勝之） 弥六 18俵 M3 21才 上宮寺 5丁
中村弥三郎（信勝） 弥三八 22俵 M3 45才 西方寺 5丁
中村弥十郎（節宜） 弥三助 11俵 M3 35才 仰西寺 3丁
中村弥重郎（惟正） 部知新 300石 M3 29才 安楽寺 9丁

（帙 405）中村安次郎（喜一） 弥右衛門 1人半扶持 M4 13才 慶恩寺 3丁
中村保造（安兵衛，勝政） 重太夫 20俵 M3 29才 願念寺 7丁
中村保房 在房 6人扶持 M6 25才 上宮寺 5丁
中村保平（保太夫，勝正） 清八 5人扶持 M3 33才 本行寺 5丁
中村八十男（八十太夫，延久） 久大夫 5人扶持 M3 36才 本行寺 5丁
中村八十八（源左衛門，直好） 武左衛門直安 200石 M3 59才 西養寺 10丁
中村安三平（信篤） 弥右衛門 1人半扶持 M4 23才 慶恩寺 3丁
中村家外平（行忠） 九左衛門孝高 200石 M3 57才 西養寺 14丁
中村弥太郎 喜兵衛 15俵 M3 29才 三光寺 3丁
中村弥平（七郎兵衛，安重） 佐十郎 13俵 M3 68才 名願寺 6丁
中村弥門（弥左衛門，俊寿） 弥左衛門俊直 19俵 M3 60才 善福寺 4丁
中村雄吉（繁幸） 弥貴繁 35俵 M5 15才 光専寺 4丁 3冊
中村勇吉（誠道） 小三郎 3人扶持 M3 14才 西養寺 9丁
中村勇次郎（時式） 喜三郎 18俵 M3 23才 常徳寺 7丁
中村勇之助（誠道） 小三郎 3人扶持 M3 14才 西養寺 9丁
中村与一（宣善） 左太夫惟善 45石 M3 59才 慶覚寺 6丁 2冊
中村与一（与右衛門，米成） 覚右衛門 15俵 M3 72才 浄行寺 3丁
中村要三 仙蔵 2人扶持 M5 57才 立像寺 2丁 2冊
中村与吉郎（久也） 与三助 2人扶持 M4 7才 勝満寺 3丁
中村与吉郎（義則） 小左衛門 4人扶持 M2 24才 専光寺 3丁
中村与作（成美） 長右衛門 15俵

M3　18才　浄行寺　3丁

中　村　与三郎（忠温）　九郎兵衛　20俵　M3　34才　常福寺　6丁

（帙 406）中　村　由太郎　勘六　9石　M6　16才　長周寺　4丁

中　村　与七郎（清民）　松右衛門真依　50俵　M3　40才　実成寺　6丁

中　村　善　述（敬太郎）　是平善継　50石　M3　11才　高岸寺　8丁

中　村　善　久　宣善　45石　M6　32才　慶覚寺　6丁

中　村　与次郎（保矩）　与三次　20俵　M3　18才　専光寺　5丁

中　村　与三一（以義）　与左衛門　10俵　M4　42才　寿経寺　5丁

中　村　与三男（義定）　与吉郎義則　4人扶持　M3　22才　専光寺　7丁

中　村　与三次（和左衛門，義高）　和平太　2人扶持　M3　30才　妙典寺　3丁　2冊

中 村 与三次郎（義忠）　嘉平　3人扶持　M4　21才　端泉寺　3丁

中　村　与太郎（友成）　久哉　2人扶持　元治1　18才　蓮福寺　5丁

中　村　　米　久男一之　100石　M7　8才　蓮昌寺　7丁

中　村　米三郎（直信）　平内左衛門直矩　7人扶持　M3　33才　本覚寺　11丁

中　村　与　八（与兵衛，幸直）　与三助　8人扶持　M3　55才　桂岩寺　3丁

中　村　与　平（一貫）　与三兵衛　10俵　M4　35才　専光寺　3丁

中　村　理三郎（茂幸）　和三郎　25俵　M3　46才　実成寺　11丁

中　村　柳　平（信令）　新助　18俵　M3　32才　静明寺　6丁

（帙 407）中　村　良　吉（知之）　衒叟之義　150石　M3　48才　蓮昌寺　16丁

中　村　良三郎（貞久）　嘉右衛門保基　40俵　M3　23才　崇禅寺　8丁

中　村　良次郎（易直）　所左衛門弘毅　5人扶持　M3　19才　三宝寺　7丁　2冊

中　村　鐐　三（鐐左衛門，行信）　三郎兵衛行久　6人扶持　M3　47才　寿経寺　5丁

中　村　鐐　造（清規）　丹毛清宣　6人扶持　M3　37才　願楽寺　8丁

中　村　亮　平（重左衛門，正房）　太次馬　正光　110石　M3　60才　安楽寺　8丁

中　村　錬太郎（恭幸）　喜太夫恭政　40石　M3　25才　妙法寺　7丁　2冊

中　村　和一郎（昭敏）　藤五左衛門時敏　80石　M3　29才　慈雲寺　8丁　2冊

中　村　脇三郎（親道）　安右衛門　100石　M3　43才　金剛寺　5丁

中　村　和三郎（友雄）　弥三助　15俵　M3　19才　静光寺　3丁

中　村　　弥（他左衛門，時庸）　和作庸　徳　100石　M3　50才　3丁

中　村　和　六（和左衛門，将親）　昌蔵　20俵　M3　28才　実成寺　7丁

（帙 408）永　村　松太郎（白力）　九郎兵衛　18俵　M3　40才　善徳寺　4丁

長　村　小三郎（善義）　権七　8俵　M3　21才　宗禅寺　4丁

長　村　五　平（清貝）　五右衛門　11俵　M4　46才　慶覚寺　3丁

長　村　宗　平（永宗）　権七　8俵　M4　36才　宗禅寺　2丁

長　村　太　平（長勝）　九郎兵衛　9俵　M4　42才　西勝寺　3丁

中　本　初　三（初蔵，正一）　林之助　11俵　M3　28才　玄門寺　4丁

中　本　弥　平（弥左衛門，正行）　弥次兵衛　8俵　M3　27才　専光寺　3丁

永　矢　喜太郎（之孚）　喜兵衛　20俵　M3　26才　慶覚寺　6丁

長　屋　彦　六（彦右衛門，定住）　丈助　5人扶持　M3　39才　乗善寺　6丁　2冊

長　屋　文五郎（貞周）　理休　9人扶持　M5　38才　高岸寺　6丁

長　屋　八十六（道弘）　権作郁利　60石　M3　55才　乗善寺　5丁　2冊

中 保 保 吉（一布） 弥兵衛 3人扶持 M3 16才 西念寺 3丁

中 山 愛（義一） 平九郎義次 5人扶持 M3 56才 徳竜寺 6丁

中 山 伊 作（保房） 伊兵衛 18俵 M3 40才 専徳寺 4丁

中 山 宇 平（一忠） 与三右衛門 3人扶持 M4 63才 慶恩寺 3丁

中 山 外 鉄 遊翁 190石 M6 22才 本行寺 6丁

中 山 一 枝 小左衛門 40石 M3 44才 光専寺 3丁

中 山 一 勇（是正） 甚兵衛 15俵 M3 26才 徳竜寺 7丁

中 山 喜十郎（祐友） 喜三右衛門 20俵 M3 18才 伝泉寺 4丁

中 山 儀 門（儀左衛門，守正） 儀平守定 35俵 M3 42才 大乗寺塔司 3丁

中 山 清 定（清静） 90石 M6 32才 妙感寺 9丁

中 山 義 六（之次） 信蔵 15俵 M3 22才 長周寺 3丁

中 山 義 六（清定） 遊翁清栄 190石 M4 28才 本行寺 11丁

中 山 金左衛門（庄蔵，清静） 津左衛門 90石 安政4 39才 妙感寺 10丁

（帙 409） 中 山 幸 三（善右衛門，直得） 長兵衛直政 50石 M3 50才 少林寺 4丁

中 山 権五郎（雅訓） 権作 7人扶持 M3 42才 少林寺 8丁

中 山 定次郎（直義） 権平直道 18俵 M3 18才 専光寺 5丁

中 山 茂太郎（定方） 源之丞安定 100石 M3 21才 本行寺 10丁

中 山 周 平（恭斧，公忠） 恭安 5人扶持 M3 49才 西源寺 3丁 2冊

中 山 潤次郎（正幸） 小左衛門 18俵 M3 12才 道林寺 6丁

中 山 心（良方） 勘左衛門 23俵 M4 50才 立像寺 9丁

中 山 新二郎（一貫） 林荘 20俵 M4 25才 大乗寺 5丁

中 山 甚太郎（尹正） 甚左衛門尹敬 40俵 M3 28才 大乗寺塔司高安軒 8丁

中 山 誠太夫（允治） 誠太夫 35石 文久3 34才 開禅寺 6丁

中 山 幸（幸之進，慎三） 幸左衛門 18俵 M3 43才 善徳寺 7丁

中 山 善太郎（逸足） 次郎右衛門 3人扶持 M4 24才 本福寺 4丁

中 山 雙（祥仲） 平左衛門 4人扶持 M4 51才 仰西寺 3丁

中 山 宗左衛門（義一） 平九郎 5人扶持 M2 55才 徳竜寺 9丁

中 山 惣之進（清定） 金左衛門 5石 M1 26才 妙感寺 3丁

中 山 平（春人，一道） 友右衛門良道 90石 M3 42才 本行寺 6丁

中 山 辰三郎（義秀） 善之助 2人扶持 M4 42才 知覚寺 4丁

中 山 忠太郎（重久） 佐太夫 5人扶持 M3 16才 光楽寺 4丁 2冊

中 山 常 治（為英） 休 45石 M3 24才 希翁院 4丁

中 山 鉄太郎（良直） 心 20俵 M3 15才 立像寺 7丁

中 山 友三郎 儀門守正 35俵 M6 大乗寺塔司 3丁

中 山 直（政一） 幸左衛門 50石 M3 30才 郷西寺 2丁

中 山 中（恭久） 睡了恭寛 7人扶持 M3 22才 本長寺 5丁

（帙 410） 中 山 常之助（常治，一正） 小右衛門 15俵 M3 21才 光専寺 4丁

中 山 梅 桜（尚徳） 庄九郎尚哉 40俵 M3 48才 大乗寺塔司 4丁

中 山 半 治（半兵衛，為義） 才右衛門為春 11俵 M3 56才 永伝寺 4丁

中 山 繁 治（久隆） 孝太郎 18俵 M3 34才 善徳寺 5丁

中 山 繁次郎（正賢） 覚左衛門 30俵 M3 27才 乗善寺 7丁

中 山 久 亨（武次郎） 来介久徳 110

石 M3 21才 7丁
中山 湊(直次) 利平 18俵 M4 23才 善徳寺 6丁
中山守衛(帥) 義左衛門貫徳 55石 M3 39才 本法寺 5丁
中山茂一郎(茂左衛門,満堯) 孫右衛門 2人扶持 M3 62才 大乗寺塔司 4丁
中山安太郎 定次郎直義 18俵 M5 18才 専光寺 4丁
中山 休(為知) 半右衛門 2人扶持 M3 60才 希翁院 4丁
中山弥平(知一) 津太夫允経 35石 M3 41才 開禅寺 5丁
中山有叟(金左衛門,清静) 津左衛門清忠 90石 M3 52才 妙感寺 8丁
中山雄之丞(為一) 半兵衛 1人扶持 M3 22才 永伝寺 3丁
中山米次郎(正直) 粂太郎 18俵 M3 19才 通林寺 7丁
中山量造(進) 恭斎 50石 M3 29才 妙立寺 6丁 2冊
中山林荘(林蔵,一定) 兵蔵 20俵 M3 52才 大乗寺 4丁
永山喜三次(次助,為忠) 次助 15俵 M3 42才 光覚寺 6丁
永山磯太郎(柔喜) 采右衛門 18俵 M3 38才 徳善寺 11丁
永山吉三郎(吉左衛門,一之) 次兵衛 2人半扶持 M3 32才 照円寺 3丁
永山儀平(儀左衛門,忠栄) 吉左衛門 23俵 M3 76才 妙円寺 6丁
永山喜六郎(清忠) 次助 15俵 M3 18才 光覚寺 4丁
永山建次郎(篤) 次右衛門 15俵 M3 40才 東本願寺別院 4丁
(帙 411) 永山次太郎(幸通) 次左衛門 9俵 M5 22才 仰西寺 3丁
永山順作(一政) 林左衛門 4人扶持 M4 41才 慶恩寺 5丁
永山勝平(与左衛門) 由兵衛 11俵 M4 20才 照円寺 3丁
永山武栄 儀平 10石 M7 妙円寺 6丁
永山貴二(方) 松之丞直矢 50俵 M3 46才 宝乗寺 8丁
永山藤七郎(祐吉) 勘太夫 2人扶持 安政3 37才 慶恩寺 3丁
永山徳三郎(信勝) 善助 25俵 M3 27才 徳竜寺 5丁
永山虎七郎(親良) 伊兵衛 15俵 M3 20才 因徳寺 5丁
永山 久(伊左衛門,清一) 弥左衛門佐清 40俵 M3 55才 妙円寺 7丁
永山兵五郎(豊秋) 佐五右衛門豊物 100石 M3 62才 妙円寺 7丁
永山平太(政時) 市次郎 60石 M3 56才 長周寺 10石
永山弥十郎(一昌) 伊左衛門清一 40俵 M3 24才 妙円寺 7丁
永山安平(安太郎,真秀) 安左衛門 18俵 M3 32才 徳竜寺 8丁
永山弥須美(寿綿) 猪三郎寿道 40俵 M5 41才 浄心寺 5丁
永山弥太郎(政輝) 弥太郎彰善 20俵 M4 26才 実成寺 7丁
(帙 412) 永山弥兵治(綿守) 猪三郎 24俵 M3 35才 本光寺 10丁
永山与三次(美季) 伊兵衛 18俵 M3 19才 本光寺 7丁
永山与八(一則) 次右衛門 9俵 M3 41才 東本願寺別院 4丁
長山九郎(頼忠) 九兵衛 15俵 M3 32才 等願寺 4丁
半井喜一郎 貞清 6人扶持 M6 9才 全性寺 2丁
半井義八(当次) 清左衛門 45石 M3 37才 真長寺 7丁
半井順吉(成明) 七右衛門允明 50石 M3 18才 大蔵寺 7丁
半井全吉(勝定) 兵次郎知定 250石 M3 32才 立像寺 11丁
半井洗作(貞清) 喜太郎貞正 6人扶持 M3 47才 全性寺 5丁

p156に入る

半井　勝（直方）　才次郎直之　60石　M3　27才　立像寺　11丁　2冊
名川　直章（彦右衛門）　彦右衛門義方　50石　M3　43才　了願寺　15丁　2冊
名越　嘉十郎（久信）　伊助　15俵　M3　24才　慶覚寺　3丁
名越　銀次郎　安則　80石　M7　19才　長久寺　7丁
名越　幸二（甚兵衛，三正）　三郎太夫　什信　300石　M3　61才　本覚寺　9丁
名越　春三郎（三治）　宗左衛門三省　500石　M3　42才　雲竜寺　14丁
名越　武次郎（安則）　義兵衛安政　160石　M3　63才　長久寺　9丁
名越　伝三郎（重信）　四郎兵衛　15俵　M4　29才　西蓮寺　3丁
（峡 413）名越　友吉郎（豊一）　恒之進顕忠　150石　M3　24才　長久寺　7丁
名越　又徳（織人，三忠）　甚兵衛三正　60俵　M3　42才　本覚寺　7丁
梨子村　徳三郎（昌信）　紋助　15俵　M3　25才　本興寺　4丁
南志見　吉太郎（連英）　木工助　7人扶持　嘉永6　17才　霊泉寺　13丁
七尾　競（宣文）　銅次郎宣陽　50石　M3　60才　乗善寺　3丁
七尾　逸太郎（宣哲）　競宣文　50石　M4　23才　乗善寺
七尾　初三郎（則一）　甚太夫　2人扶持　M4　24才　等願寺　4丁
名畑　久平（久勝）　五郎兵衛　3人扶持　M4　35才　乗永寺　3丁
鍋沢　和吉（栄行）　和兵衛　15俵　M3　21才　徳善寺　4丁
鍋野　定吉（行典）　幸左衛門　15俵　M3　21才　孝教寺　3丁
波　与四郎（与右衛門，定永）　与兵衛　10俵　M3　30才　真行寺　3丁
波原　桃吉（政友）　15俵　M3　18才　仰西寺　3丁
那谷　新六（行正）　弥平　2人扶持　M4　22才　普念寺　3丁
那谷　弥平（行定）　弥左衛門　1人半扶持　M3　33才　普念寺　3丁
名雪　喜久馬（喜太夫，正房）　源兵衛　5人扶持　M3　38才　慶恩寺　6丁
名雪　喜三平（喜三丞，知行）　喜太夫　20俵　M3　65才　慶恩寺　6丁
名雪　源太郎（源太夫，貴春）　源蔵　35俵　M3　64才　慶恩寺　3丁
楢葉　岩太郎（一由）　六兵衛定顕　80石　M3　45才　円光寺　5丁
楢葉　酉次郎（貞近）　武次郎貞成　130石　M3　43才　円光寺　8丁
成田　伊三郎（信平）　佐兵衛　10俵　M4　28才　随順寺　3丁
成田　栄作（磯兵衛，正行）　清太夫　18俵　M3　55才　専長寺　4丁
成田　外鐵（守昌）　内蔵太並保　1,000石　M3　42才　全昌寺　11丁
成田　喜右衛門（由信）　直左衛門　4人半扶持　M2　25才　随順寺　5丁
成田　喜作（政武）　為次郎　20俵　M3　38才　瑞泉寺　8丁
（峡 414）成田　粂太郎（頼元，粂之助，頼恕）　藤左衛門頼久　30石　M3　13才　大乗寺　5丁　2冊
成田　源治郎（行保）　磯兵衛　15俵　M3　27才　専長寺　4丁
成田　恒造（清太夫，恒蔵，安友）　清太夫　15俵　M3　44才　専長寺　4丁
成田　好平（勇之助，良直）　方助良哉　30俵　M3　44才　瑞泉寺　4丁
成田　駒次郎（平左衛門，義景）　又七　7俵　M3　40才　専光寺　3丁
成田　常三（由信）　直左衛門　18俵　M4　27才　瑞順寺　6丁
成田　庄平（豊時）　吟右衛門　17俵　M3　68才　少林寺　6丁
成田　清三郎（友久）　清太夫　15俵　M3　21才　専長寺　6丁
成田　知代三（滋房）　吉郎右衛門　9俵　M4　48才　浄土寺　4丁
成田　八九郎（頼則）　宗左衛門信順

500石 M3 39才 全昌寺 9丁
成田 文次郎（成述） 五太夫 20俵 M3 63才 瑞泉寺 6丁
成田 平七（左内，光厚） 駿之丞義厚 50石 M3 22才 善行寺 6丁
成田 安次郎（茂勝） 文次郎 15俵 M3 22才 瑞泉寺 6丁
成田 八三（八三左衛門，正房） 幸助 正次 7人扶持 M3 48才 長久寺 6丁 2冊
(帙 415) 成瀬 亥三雄（内蔵助，当恭） 内蔵助当信 8,000石 M3 45才 雲竜寺 13丁 3冊
成瀬 幾久次郎（正重） 与一郎正時 250石 M4 17才 雲竜寺 7丁
成瀬 謙三郎 当恭 8,000石 M5 37才 雲竜寺 10丁
成瀬 甚五（正居） 主税正敦 2,500石 M3 43才 雲竜寺 17丁 2冊
成瀬 甚太郎（正当） 甚五正居 84俵 M4 19才 2丁
成瀬 与一郎（正時） 常右衛門正業 250石 M3 46才 雲竜寺 8丁
鳴田 良次郎（正次） 又之丞 9俵 M3 17才 願称寺 3丁
縄村 多三郎（忠且） 庄兵衛 15俵 M3 25才 専光寺 4丁
縄村 弥三郎（次郎兵衛，良之） 弥右衛門 20俵 M3 妙正寺 5丁
(帙 416) 南部 伊平（伊兵衛，祇知） 文蔵 35俵 M3 67才 立像寺 8丁
南部 右平（義豊） 文蔵 5人扶持 M1 65才 立像寺 8丁
南部 栄次郎（元知） 九左衛門喜重 40俵 M3 35才 法船寺 8丁
南部 興隆 政男 35俵 M5 31才 立像寺 8丁
南部 角次郎（知直） 多三郎 20俵 M4 41才 法船寺 6丁
南部 加し久 豊知 18俵 M7 14才 妙典寺 6丁
南部 九平（九左衛門，正儀） 40石 M3 50才 専光寺 10丁 3冊
南部 啓荘（恒次郎，昌直） 柔蔵 20俵 M3 27才 浄智寺 7丁
南部 謙次郎（興隆） 右平義豊 6俵 M4 30才 光琳寺 3丁 2冊
南部 孝平（幸左衛門，惟忠，光忠） 宗伯 30石 M3 43才 専光寺 4丁 2冊
南部 憙（喜左衛門，良信） 伝左衛門 25俵 M3 35才 上宮寺 9丁
南部 雅太平（原武） 佐平 15俵 M3 46才 浄運寺 6丁
南部 三郎（知房） 宅左衛門信房 8人扶持 M3 37才 昌柳寺 5丁
南部 （（清蔵，直方） 次左衛門 直養 90石 M3 31才 玉竜寺 11丁
南部 準三（清蔵，久知） 清之丞 20俵 M3 21才 妙立寺 7丁
南部 省三（親） 十助 25俵 M3 39才 法船寺 8丁
南部 清吾（清之丞，豊知） 喜十郎 7人扶持 M3 46才 妙典寺 7丁
(帙 417) 南部 喜次（以宣） 吉左衛門 3人扶持 M4 57才 西方寺 3丁
南部 壮四郎（壮右衛門，正忠） 壮右衛門正信 50石 M3 44才 正福寺 5丁
南部 惣平（惣左衛門，国久） 建之助 久方 40俵 M3 44才 慶覚寺 9丁
南部 孝進（頼一） 玄又 10俵 M3 33才 本因寺 2丁
南部 太三郎（清左衛門，信茂） 伊兵衛 20俵 M3 30才 超願寺 10丁
南部 忠平（忠兵衛，篤忠） 惣右衛門 20俵 M3 52才 浄智寺 7丁
南部 鉄三郎（正信） 忠次 20俵 M3 20才 心運社 6丁
南部 当八郎（頼精） 平蔵 10俵 M3 18才 本因寺 3丁 2冊
南部 兵三郎（正秀） 九左衛門正儀 8俵 M3 16才 専光寺 6丁 2冊
南部 平進（平蔵，万空） 玄又頼道 80石 M3 49才 本因寺 6丁 2冊

南 部 勇太郎（一栄） 甚吉一好 40俵
M3 20才 本是寺 8丁
南 部 柳 三（柳蔵，好善） 与一郎好和
40俵 M3 31才 本是寺 11丁
（帙 418）南 部 良太郎（義通） 右平義豊 50石
M3 45才 立像寺 7丁 2冊
南 保 佐一郎（一貞） 佐四郎 15俵 M
3 27才 瑞泉寺 4丁
南 保 太郎吉（一照） 幽夢一友 150石
M3 24才 国泰寺 7丁
南 保 鉄 作（正中） 勘七 10俵 M4
45才 光専寺 4丁
南 保 篤志郎（作蔵，義知） 勘七 30石
M3 34才 光専寺 3丁
南 保 友 重 幽夢一友 150石 M8
16才 7丁
南 保 豊 貞 一義 180石 M5 18才
国泰寺 9丁 2冊
南 保 虎次郎（豊武） 之翁一豊 180石
M3 23才 国泰寺 8丁
南 保 三 男（譲） 玄隆定 5人扶持
M3 32才 国泰寺 10丁
南 保 安三郎（直政） 安右衛門 15俵
M3 21才 上宮寺 3丁
南 保 和一郎（清明） 嘉右衛門 20俵
M3 32才 長周寺 5丁

に 行

（帙 419）新 山 吉太郎（貞一） 八十次 2人扶持
慶応4 16才 8丁
仁 岸 誉 吉 朝之 150石 M7 7才
承証寺 5丁
西 川 伊 忠（謙蔵） 源兵衛 30石 M
3 53才 東本願寺別院 7丁 2冊
西 川 孚（甚太郎，正克） 元吉 4
人扶持 M3 16才 正福寺 3丁 2冊
西 川 元 吉（正信） 甚兵衛 50石 文
久2 51才 9丁
西 坂 善 山（善蔵，忠良） 彦兵衛忠直
57俵 M3 72才 妙応寺 12丁 2冊
西 坂 豊 平（知一） 唯八 3人扶持
M3 26才 竜国寺 5丁
西 坂 文太夫（知愛） 豊太夫 8人扶持
慶応2 61才 13丁
西 崎 改 造（伝太郎，兼勝） 改造 2
人扶持 安政6 15才 8丁
西 崎 成 次（孫次郎） 喜三郎 15俵
M3 17才 西源寺 5丁
西 崎 西次郎（富久） 仁三郎 2人扶持
慶応2 22才 4丁
西 崎沢 啓（政一） 又蔵為国 2人扶
持 M3 26才 専光寺 5丁
西 崎沢庄 蔵（恭太郎，儀一） 喜太夫
60石 安政5 15才 専光寺 5丁
西 崎沢嘉 次（又蔵，為国） 貞蔵為政
9人扶持 M3 46才 専光寺 11丁
西 田 左 内（作孚） 左内好義 7人扶
持 M2 40才 珉徳寺 8丁
西 田 洵 次 十郎右衛門 33俵 M4
11丁
（帙 420）西田 兵左衛門（常二郎，有信） 兵左衛門
60石 文久1 21才 安立寺 9丁
西 田 平太郎（方義） 平馬方貞 11俵 嘉大夫
M3 27才 蓮昌寺 5丁 3冊
西 田 方 貞（平馬） 平太夫方貴 120
石 M3 55才 蓮昌寺 8丁 2冊
西 田 守 衛（政義） 左次馬 35俵 M
3 36才 宗竜寺 8丁
西 野 久兵衛（直清） 久太郎 2人扶持
M2 45才 西方寺 6丁
西 村 亥之吉（為栄） 宗大夫 20俵 M
3 44才 如来寺 7丁
西村 卯右衛門（貞勝） 清之進 100石
M1 20才 10丁
西 村 惟 喜（栄太郎） 喜久馬喜久 35
石 M3 12才 浄安寺 3丁 2冊
西 村 佐次郎（良実） 七太夫良直 28俵
M3 54才 蓮福寺 6丁 2冊
西村 甚右衛門（俊英） 甚右衛門 6人扶
持 慶応2 78才 竜昌寺 6丁
西 村 西 西（要助，元智） 良左衛門
25俵 M3 34才 高岸寺 8丁
西 村 成三郎（通直） 鍛次郎信之 50俵
M3 23才 安立寺 8丁
西 村 大 元（久忠） 太四郎 1人半扶

持　M4　46才　西源寺　4丁
西　村　七百幾　清八　15俵　M7　38才　専称寺　5丁
(帙 421) 西　村　正　実（稠太郎）　佐次郎良実　28俵　M5　13才　蓮昌寺　7丁　2冊
西　村　政　武（喜左衛門）　久次郎勝友　35石　M3　55才　大円寺　4丁
西　村　正　詳（安太郎）　安之助　30俵　M3　22才　光専寺　6丁
西　村　挙　通（要人）　周之助義高　80石　M3　31才　浄安寺　9丁
西　村　与太郎　丈夫　20石　M8　17才　浄安寺　5丁
西　屋　　勇（永尚）　3人扶持　M2　28才　雲竜寺　4丁
西　屋　尚　賢　他次平　70石　M7　36才　雲竜寺　7丁
西　屋　他次平（尚茂）　左内　70石　M2　65才　雲竜寺　10丁
西　屋　庸太郎（尚賢）　他次平尚茂　3人扶持　M3　32才　雲竜寺　5丁
新田　半左衛門（信次）　庄助　4人扶持　M2　49才　西蓮寺　2丁
丹　羽　次　郎（次郎兵衛，履信）　祐大夫　広賢　150石　M3　50才　広昌寺　7丁　3冊
丹　羽　孝　則（鉾左衛門，孝則）　権佐孝友　800石　M3　50才　宗竜寺　30丁　2冊
丹　羽　直　祐（誠馬）　権兵衛　90石　M3　34才　広昌寺　10丁
丹羽口　仁三郎（正国）　善八　15俵　M3　15才　唯念寺　5丁

ぬ　　行

(帙 422) 額　　三　郎（亨助，居易）　信平居泰　8人扶持　M2　35才　専長寺　5丁
額　宮　庄　造（友忠）　伊右衛門　15俵　M4　46才　浄光寺　7丁
抜　山　庄次郎　景勅　20俵　M6　13才　乗光寺　6丁
布　崎　弥　平（正久）　弥右衛門　17俵　M4　64才　寿経寺　3丁
布　目　多喜男（澄清）　伴四郎貞清　5人扶持　M3　10才　竜淵寺　3丁
布　目　時　詮　雅時　200石　M6　22才　大蓮寺　9丁
布　目　雅　時（大太郎，貞時）　観山雅時　200石　M3　49才　大蓮寺　11丁
沼　木　栄二郎（栄助，貞信）　伝太夫　18俵　M3　36才　廻向寺　4丁
沼　田　采　江（秀敏）　将曹秀一　7俵　M3　20才　金剛寺　3丁　2冊
沼　田　秀　一（将曹）　将曹秀弘　60石　M3　40才　金剛寺　9丁　2冊

ね　　行

根　来　音三郎（為則）　盛之助　2人扶持　慶応3　17才　慶恩寺　6丁
根　来　盛　男（盛之助，勝直）　豊左衛門　善則　30石　M3　55才　慶恩寺　8丁　2冊

の　　行

(帙 423) 能　石　三四郎　幸重　16俵　M7　19才　上宮寺　4丁
能　石　与三郎（幸一）　卯之助　16俵　M3　32才　上宮寺　4丁
野泉　与三五郎（勝直）　与兵衛　15俵　M3　36才　常承寺　3丁
能　　他三郎　鉄三郎　二人扶持　M7　4才　徳円寺　4丁
能　鉄　三　郎（年一）　逸男　2人扶持　M4　28才　徳円寺　5丁
能　生　吉三郎　久兵衛　1人扶持　M3　17才　東本願寺別院　4丁
苗　加　鹿　度　又吉　15俵　M4　40才　万福寺　2丁
苗　加　　汁（祐行）　辰三郎　8俵　M5　33才　万福寺　2丁
苗　加　与三郎　万蔵　2人扶持　M4　30才　万福寺　3丁
野　上　勘　六（金秋）　兵蔵　2人半扶持　M4　本覚寺　4丁
野　上　久　平（信正）　久次郎　11俵　M4　33才　大円寺　4丁

野 上 甚 之（貞友） 友治 23俵 M4 55才 桂岩寺 5丁
野 上 与三郎（一房） 次右衛門 15俵 M3 25才 長周寺 3丁
能 川 善太郎（成行） 藤次郎 11俵 M3 29才 光専寺 4丁
能 川 善 六（善助，信一） 善兵衛 15俵 M3 52才 常福寺 5丁 2冊
能川 惣左衛門（惣作） 太助 4人扶持 M4 29才 長楽寺 3丁
能 川 緑（則房） 好吉 4人半扶持 M4 42才 月心寺 5丁
能 川 与三吉（清久） 仁兵衛 15俵 M3 21才 乗善寺 3丁
野 川 清 吾（政忠） 清八郎 20俵 M3 22才 光徳寺 4丁
能 岸 小 平（安久） 与三次郎 13俵 M4 28才 乗善寺 5丁
能 岸 与吉郎（篤方） 与兵衛 20俵 M3 17才 仁随寺 5丁
野 岸 喜久治（半蔵，久永） 久平 15俵 M3 27才 照円寺 4丁
能 口 新 次（政信） 新兵衛 2人扶持 M4 30才 月照寺 2丁
野 口 庵（信久） 与左衛門泰明 5人扶持 M3 45才 東本願寺別院 5丁
野 口 亥三郎（正之） 昌八 11俵 M3 23才 真成寺 4丁 2冊
野 口 右藤次（秀発） 甚五左衛門英実 120石 M3 33才 融山院 7丁
野 口 金 道 信久 5人扶持 M6 19才 姓光寺 3丁
（帙 424） 野 口 喜一郎（以成） 喜太夫 27俵 M4 28才 本法寺 5丁
野 口 吉 六（政之） 吉六信之 2人半扶持 M3 33才 蓮昌寺 5丁 3冊
野 口 久 平（清尚） 善五太夫 25俵 M3 62才 専光寺 8丁
野 口 源五郎（水上） 仕平 10俵 M4 55才 林幽寺 3丁
野口 小左衛門（基之） 和左衛門 6人扶持 慶応1 62才 正福寺 3丁
野 口 五三郎（与左衛門，行近） 源助 2人扶持 M3 19才 林幽寺 2丁
野 口 五郎三（資富） 甚右衛門仁敦 300石 M4 53才 法船寺 8丁
野 口 作太郎（信久） 小左衛門 1人半扶持 M4 9才 瑞泉寺 3丁
野 口 佐久平（信春） 八兵衛 20俵 M3 19才 妙典寺 6丁
野 口 左権平 権大夫 25俵 M3 45才 専光寺 7丁
野 口 山 墅（甚五左衛門，英実） 安右衛門秀章 120石 M3 57才 融山院 7丁
野 口 志馬太（善輔，信易） 甚五太夫 25俵 M3 59才 善徳寺 5丁
野 口 祝（基重） 小左衛門基之 10俵 M3 40才 妙正寺 5丁
野 口 次 郎（貞如） 清太夫重久 130石 M3 16才 長久寺 10丁
野 口 津次郎（之光） 寛左衛門正之 50石 M3 31才 全性寺 3丁
野 口 清 作（清久） 清介 2人半扶持 M4 57才 正覚寺 4丁
野 口 善 造（頼久） 四郎兵衛 2人扶持 M5 42才 西福寺 3丁
野 口 外次郎（帷則） 太助 6俵 M3 20才 光専寺 3丁
野 口 多 作（青旦） 権文 25俵 M3 40才 本法寺 3丁
野 口 為三郎（義一） 市十郎 20俵 M4 15才 正福寺 6丁
野 口 徳二郎（徳蔵，忠保） 徳蔵 15俵 M3 長徳寺 4丁
野 口 彦太郎（一政） 彦兵衛 20俵 M3 24才 正福寺 4丁
野 口 普 三（基之） 和左衛門 6人扶持 M4 71才 正福寺 6丁
野 口 政之丞（基重） 小左衛門 10俵 M1 38才 妙正寺 3丁
（帙 425） 野 口 弥三郎（以廉） 喜大夫 25俵 M3 19才 本法寺 4丁
野 口 安太郎（在之） 弥平 1人半扶持

M4　16才　専光寺　3丁

野口弥平（在好）　弥助　2人扶持　M4　38才　専光寺　3丁

野口良知　清尚　25俵　M7　21才　専光寺　6丁

野口余所吉（一如）　治左衛門栄政　70石　M3　12才　長久寺　11丁　2冊

野口磊蔵（之布）　寛左衛門　40俵　M3　41才　全性寺　3丁

野坂勝次（相知）　清助　20俵　M3　27才　立像寺　7丁

野坂小平（小兵衛，正之）　浴翁政孝　70石　M3　54才　正覚寺　11丁

野坂近男（遂吉）　守衛遂良　200石　M3　32才　正覚寺　9丁

野坂長四郎（往守）　庄助　15俵　M3　39才　本浄寺　4丁

野坂半六（時中）　小兵衛　50石　M3　17才　正覚寺　4丁

能崎喜久馬（義久）　与三右衛門　9俵　M4　33才　浄照寺　4丁

能崎竹次郎（正道）　与兵衛　15俵　M3　28才　安楽寺　3丁

野崎五百里（宗左衛門，良邦）　市良左衛門良貴　50石　M3　46才　乗善寺　6丁　2冊

野崎伊太郎（政一）　伊太夫　15俵　M3　18才　浄住寺　5丁　3冊

野崎栄次郎（金道）　久次郎　2人扶持　M4　33才　光教寺　5丁　2冊

野崎　　薫（信貞）　兵三郎　18俵　M4　24才　惣持寺　5丁

野崎覚左衛門（信敬）　覚左衛門　55石　M2　25才　本性寺　7丁

野崎嘉平次（久）　与三太夫　2人扶持　慶応2　55才　4丁

（帙 426）野崎喜太郎（保辰）　九平　20俵　M3　20才　蓮昌寺　5丁

野崎吉三郎（義高）　吉右衛門　5人扶持　M3　28才　円長寺　3丁　2冊

野崎吉三（安正）　吉左衛門　2人扶持　M4　66才　円長寺　3丁

野崎吉平（吉兵衛，安朝）　泉丞安次　30石　M3　52才　賢聖坊　4丁

野崎吉平（倫喜）　清太夫　20俵　M3　47才　光円寺　7丁

野崎久作　兵馬　9石　M7　25才　惣持寺　8丁

野崎久次郎（金秋）　久蔵　13俵　M4　58才　光教寺　5丁

野崎群太郎（義正）　平助　15俵　M5　29才　3丁

野崎五郎平（五郎右衛門，審定）　五郎右衛門審祐　26才　M3　47才　唯念寺　5丁　2冊

野崎作次郎（文方）　喜太夫　20俵　M3　54才　西蓼寺　6丁

野崎左次馬（一元）　利兵衛元之　16俵　M3　29才　願念寺　5丁

野崎治吉（定義）　長次郎　2人扶持　M4　27才　専光寺　3丁

野崎周平（堯友）　泉丞安憲　3人扶持　M3　52才　3丁

野崎庄喜（義為）　庄右衛門　20俵　M3　26才　善福寺　5丁

野崎昇三郎（義勝）　勘三郎　15俵　M3　23才　妙源寺　3丁　2冊

野崎　　臻（久照）　平八郎久連　5人扶持　M3　35才　玉竜寺　5丁

野崎信一郎（堯信）　市郎平堯意　3人扶持　M3　19才　唯念寺　8丁

野崎捨次郎　保辰　20俵　M6　8才　蓮昌寺　4丁

野崎荘助（交高）　五左衛門　2人扶持　M2　36才　妙立寺　5丁

野崎宗平（正宣）　惣兵衛　9俵　M4　69才　浄光寺　3丁

野崎太吉（祐忠）　理八　15俵　M4　23才　光教寺　7丁

野崎他吉郎（清次）　孫太郎清秋　25俵　M3　39才　東本願寺別院　7丁

野崎辰太郎（則直）　静耕則敏　140石　M3　33才　妙法寺　12丁

（帙 427）野崎長三郎（沖友）　覚左衛門　11俵

M4　56才　照円寺　3丁
野崎長次郎（忠勝）　和兵衛　2人半扶持　M4　40才　真成寺　3丁
野崎徳次郎（金久）　五郎右衛門　15俵　M3　28才　西源寺　4丁
野崎虎男（嘉一）　嘉平次　1人半扶持　M4　19才　円長寺　3丁
野崎八郎（荘兵衛，交高）　五左衛門　交明　5人扶持　M3　37才　妙立寺　6丁
野崎久見（敦善）　理作　12俵　M4　28才　真福院　6丁
野崎平左衛門（一清）　平兵衛　7人扶持　文久3　43才　本性寺　6丁
野崎平太郎（一貞）　平左衛門　2人扶持　M2　20才　2丁
野崎平八郎（久連）　孫太夫久政　100石　M3　62才　玉竜寺　9丁　2冊
野崎守男（政由）　与右衛門　15俵　M3　30才　瑞泉寺　4丁
野崎弥三郎（保之）　弥左衛門　11俵　M4　20才　妙典寺　4丁
野崎弥十郎（一良）　喜三右衛門　15俵　M3　47才　勝満寺　4丁
野崎　安（忠三郎，倡三）　十左衛門　三忠　200石　M3　20才　慶覚寺　12丁　2冊
野崎安次郎（近舜）　専之助近員　6人扶持　M3　28才　真福院　9丁　2冊
野崎与一（好道）　与三右衛門　2人扶持　M4　50才　願念寺　5丁
野崎与平（与左衛門，良好）　与作　25石　M3　52才　常福寺　5丁
野崎理作（富綿）　理太夫　23俵　M4　56才　真福院　7丁
野崎和平（幸次）　幸左衛門　2人半扶持　M4　45才　徳栄寺　4丁
（帙428）能沢宗馬（幸郷）　宗左衛門　19俵　M3　24才　法船寺　5丁
野沢清太郎（行老）　清八通任　5人扶持　M3　26才　福念寺　6丁
野沢文八郎（弥八郎，正度）　丈四郎　25俵　M3　35才　円光寺　7丁
野治儀平（儀兵衛，佐忠）　鹿久左衛門佐保　26俵　M3　46才　法光寺　7丁
野治熊男（冨懿）　滝次冨友　50石　M3　26才　妙福寺　5丁
野治九郎平（儀保）　九大夫　25俵　M3　63才　法光寺　5丁
野治庄蔵　儀保　25俵　M6　28才　法光寺　5丁
野治直三（政儀）　弥大夫　25俵　M3　39才　法光寺　6丁
能路為次（英章）　小左衛門　3人半扶持　M4　29才　善徳寺　4丁
能島次吉郎（得能）　次右衛門　15俵　M3　32才　蓮福寺　4丁
能島安平（定順）　7人扶持　M3　39才　東本願寺別院　5丁
野島善次（勝秀）　長左衛門　20俵　M3　47才　祐専寺　5丁
野島友吉（一忠）　六兵衛　4人扶持　M4　34才　善徳寺　3丁
野島弥三次（守信）　甚右衛門　8俵　M3　54才　徳竜寺　3丁
野尻磯松（嘉太夫，久秀）　嘉兵衛　2人扶持　M3　33才　勝満寺　3丁
野尻喜八（政吉）　久兵衛　2人扶持　M3　46才　光専寺　4丁
野尻康太郎（祐春）　宗助　20俵　M3　28才　慶覚寺　4丁
野尻甚次郎（一明）　金太郎　25俵　M3　20才　因徳寺　6丁
野尻堀男（六兵衛，入道）　六兵衛　2人扶持　M4　29才　聖興寺　4丁
野尻勇三郎（銀久）　嘉右衛門　15俵　M3　21才　光元寺　5丁
野尻与三郎（啓行）　彦六郎啓督　200石　M3　35才　長久寺　12丁
野尻余所鉄（保乂）　四郎左衛門直貞　150石　M3　30才　長久寺　15丁
（帙429）能瀬梅三郎　知平　2人扶持　M7　3才　広済寺　3丁
能瀬嘉平（嘉左衛門，成郷）　伝右衛

門成吉　4人扶持　M3　37才　光円寺　4丁
能瀬次作（勝秀）　新八　15俵　M4　38才　慶恩寺　5丁
能瀬修太郎（友秋）　伊太夫　11俵　M4　8才　専光寺　4丁
能瀬庄次郎（道幸）　庄助　2人扶持　M4　31才　善徳寺　5丁
能瀬常次郎（厚直）　勇蔵　2人半扶持　M4　18才　願慧寺　2丁
能瀬清次（行平）　与左衛門　2人扶持　M4　52才　広済寺　4丁
能瀬清次郎（為基）　伊三郎　15俵　M3　15才　光円寺　4丁
能瀬伝六（成久）　佐助　9俵　M4　63才　光円寺　5丁　2冊
能瀬文次郎（知平）　清次　11俵　M4　23才　広済寺　5丁
野瀬幸作（幸蔵，知貞）　幸之助　30俵　M3　44才　円祐寺　11丁
野瀬寿三郎（景澄）　九郎次郎　12俵　M3　41才　常福寺　5丁
野瀬善太郎（一信）　判六　5俵　M4　15才　慶恩寺　3丁
野瀬判六（正一）　次左衛門　10俵　M4　50才　慶恩寺　4丁
野瀬　湊（小太郎，直吉）　才助9俵　M3　23才　慶恩寺　4丁
野瀬　渡（幸忠）　才助　15俵　M3　21才　慶恩寺　4丁
野田信一　長八　14俵　M7　23才　宗寿寺　5丁
野田捨五郎（直義）　潤次郎一清　150石　M3　18才　常福寺　16丁
野田伝三　作兵衛　11俵　M5　徳善寺　4丁
野田富三郎（好定）　次吉郎　20俵　M4　23才　善福寺　5丁
野田八郎（知久）　権右衛門知之　14俵　M4　25才　円祐寺　3丁
能地幸三郎　平左衛門　15俵　M3　27才　本誓寺　4丁
野根山栄次郎（栄之助，直知）　藤次郎　20俵　M3　19才　祐専寺　4丁
野根山重三郎（寅明）　藤次郎　20俵　M3　29才　祐専寺　6丁
野根山友次郎（信義）　勘蔵　18俵　M3　16才　大蓮寺　7丁
野根山盛男　幸右衛門　5人扶持　M3　25才　大蓮寺　3丁
（帙 430）野々宮儀六（七右衛門，貞行）　甚兵衛　20俵　M3　60才　高岸寺　5丁
野々村三九郎（雅矩）　雅長　70石　M3　36才　本覚寺　5丁
倡村稲生（高明）　五左衛門　40石　M2　23才　善徳寺　20丁
倡村五左衛門（貞雅）　半兵衛　3人扶持　M2　善徳寺　14丁
能見喜久平（又右衛門，正房）　又右衛門　30俵　M3　53才　徳竜寺　7丁
能村左平（景廉）　三右衛門　3人扶持　M4　28才　善徳寺　3丁
能村次作（豊次）　次助　8俵　M4　31才　乗善寺　3丁
能村竹次郎（友好）　吉郎　2人半扶持　M4　17才　上宮寺　3丁
能村鍋吉（親良）　久次　20俵　M3　18才　専光寺　4丁
野村　庵（三郎左衛門，英林）　三郎左衛門直政　100石　M3　67才　妙典寺　8丁
野村伊作（重高）　市右衛門　1人半扶持　M4　47才　称名寺　2丁
野村伊三郎（正次）　伊太夫　20俵　M3　30才　瑞泉寺　5丁
野村伊十郎　庄左衛門　15俵　M3　39才　西方寺　6丁
野村一二（常人，幸一）　吉兵衛　12俵　M3　21才　善福寺　4丁
野村伊平（保章）　伊平　20俵　M3　42才　専光寺　6丁
野村宇平次（明景）　宇平太　20俵　M3　49才　立像寺　6丁
野村栄五郎　栄之助　20俵　M3　27才

広済寺　5丁

野村栄作（栄丞，義昼）勇丞　20俵　M3　43才　立像寺　10丁

野村円次郎（政舟）　丈太夫　25俵　M3　20才　浄安寺　5丁

野村乙吉（知景）　小平　2人扶持　M4　26才　蓮昌寺　4丁

野村乙次郎（忠儀）　喜兵衛　15俵　M3　26才　仰西寺　4丁

（帙 431）野村角次（角兵衛）角平　20俵　M3　35才　勝円寺　6丁

野村覚馬（敬礼）　啓二郎忠信　850石　M3　43才　棟岳寺　13丁

野村一美（正平）　伝四郎　15俵　M3　23才　光源寺　3丁

野村寛次（雅通）　与三吉　15俵　M4　18才　円長寺　5丁

野村勘四郎（政勝）　勘右衛門　15俵　M3　27才　成学寺　3丁

野村儀一（有政）　与五郎　7人扶持　M3　24才　照台寺　5丁

野村喜作（五右衛門，政幸）　吉右衛門　3人扶持　M3　55才　瑞泉寺　3丁

野村喜三（四郎兵衛，清次）　喜助　15俵　M4　44才　乗善寺　3丁　2冊

野村吉次（吉左衛門，義親）　吉平　20俵　M3　63才　願念寺　5丁

野村吉太郎（幸敬）　仙次郎　15俵　M5　1才　本誓寺　4丁

野村吉六　畦　18俵　M6　27才　真福院　5丁

野村吉斉（格行）　儀兵衛　2人扶持　M4　74才　敬栄寺　3丁

野村喜八（好定）　又治　12俵　M3　19才　善福寺　5丁

野村久二郎（百稲）　甚蔵直則　40俵　M3　39才　瑞泉寺　12丁

野村久太郎　七平　10石　M7　8才　妙典寺　4丁

野村久太郎（一久）　久兵衛　15俵　M3　19才　善性寺　4丁

野村喜六（次郎左衛門）　余三五郎友方　130石　M3　62才　瑞雲寺　12丁

野村金太郎（豊一）　清太　6俵　M3　11才　経王寺　4丁

野村金太郎（重久）　喜左衛門　9俵　M5　27才　祐専寺　4丁

野村邦太郎（道忠）　小右衛門　15俵　M3　19才　善徳寺　5丁

野村粂三（粂人，信雅）　粂次郎成教　5人扶持　M3　43才　妙国寺　7丁

野村啓三郎　安太郎　2人扶持　M6　2才　善徳寺　2丁

野村源四郎（保一）　太三郎　25俵　M3　45才　妙典寺　8丁

野村源太郎（一義）　又六郎　15俵　M4　15才　瑞泉寺　5丁

（帙 432）野村恒作（長行）　長左衛門村長　2人扶持　M3　30才　西方寺　6丁　2冊

野村恒太郎（義次）　清助　15俵　M3　30才　妙法寺　3丁

野村幸平（重次）　小兵衛　2人扶持　M4　38才　蓮昌寺　3丁

野村小三郎（義一）　甚大夫　20俵　M3　28才　乗光寺　6丁

野村小太郎（光久）　理平　2人扶持　M4　14才　善徳寺　3丁

野村小平（正重）　小左衛門　11俵　M3　66才　蓮昌寺　3丁

野村小矢太（一知）　小矢太一元　8人扶持　M3　22才　善性寺　3丁

野村五郎（豊重）　金左衛門　3人扶持　M3　71才　経王寺　5丁

野村佐四郎（良度）　佐兵衛　15俵　M3　19才　林幽寺　3丁

野村佐六（義永）　与右衛門　8俵　M4　53才　敬栄寺　2丁

野村三内（孝之）　辰之助孝重　25俵　M3　44才　真長寺　7丁　2冊

野村三平（義永）　永助　20俵　M3　58才　妙典寺　7丁

野村志喜男（文太郎，維道）　三内　10俵　M3　19才　真長寺　3丁

野村治吉（一忠）　与兵衛　22俵　M

3　宝幢寺　4丁

野村　　繁（宗道）　与大夫　30石　M3　27才　立像寺　4丁

野村　次三郎（近直）　次助　20俵　M3　34才　広済寺　9丁

野村　自笑（五郎兵衛，永保）　岩之助　永貞　1,200石　M3　42才　如来寺　13丁　2冊

野村　七平（七之丞，茂清）　貞右衛門　30俵　M3　65才　妙典寺　7丁

野村　七郎（主馬，則礼）　伝七保礼　200石　M3　21才　松月寺　5丁

野村　七郎（七右衛門，正則）　七右衛門　8俵　M3　21才　善福寺　2丁

野村　重太郎（直気）　七郎右衛門　15俵　M3　40才　専光寺　3丁

野村　周平（時平）　定之助　10俵　M4　39才　徳善寺　4丁

（帙 433）野村　勝喜（弥右衛門，直久）　長右衛門　9俵　M3　専光寺　4丁

野村　庄作（喜勝）　重右衛門　12俵　M4　40才　祐専寺　3丁

野村　庄次郎（直廉）　理兵衛　18俵　M4　36才　真福院　5丁

野村　庄太郎　定吉　15俵　M6　7才　誓光寺　5丁

野村　庄平（友之）　仁兵衛　1人半扶持　M4　45才　本浄寺　3丁

野村　勝平（則意）　弥助　15俵　M3　27才　光西寺　3丁

野村　信朔（忠一）　久七郎　15俵　M3　26才　唯念寺　5丁

野村　信三郎（亮廷）　久三郎　18俵　M4　32才　善徳寺　4丁

野村　甚三郎（一安）　甚九郎　20俵　M3　23才　桂岩寺　5丁

野村　新三（仙吉，新左衛門，約博）　新之丞景福　50石　M3　39才　妙典寺　11丁　2冊

野村　新八（政房）　幸助　8俵　M3　40才　円長寺　3丁

野村　精一　宗貞　50石　M7　24才　如来寺　14丁

野村　清吾（清右衛門，信定）　九右衛門　30俵　M3　66才　徳竜寺　5丁

野村　静三郎（寛）　要人昭峰　150石　M2　30才　松月寺　13丁

野村　政治郎（忠成）　忠兵衛　18俵　M3　16才　光専寺　3丁

野村　清太（豊則）　五郎豊重　60石　M3　45才　経王寺　7丁

野村　清太郎（一久）　小右衛門　2人扶持　M4　9才　善徳寺　4丁

野村　清八郎（秀貞）　清八紀貞　50俵　M3　桂岩寺　7丁

野村善右衛門（耕作，登一）　善兵衛　9俵　M4　36才　福念寺　4丁

野村　善九郎（元一）　平右衛門　17俵　M4　55才　専光寺　5丁

野村　惣次（惣兵衛，久一）　惣兵衛　20俵　M3　57才　浄照寺　4丁

野村　宗次郎（定一）　庄助　10俵　M4　33才　常福寺　3丁

野村　惣太郎（忠久）　三郎右衛門　15俵　M4　40才　専光寺　4丁

（帙 434）野村　外男（茂信）　文平　20俵　M4　25才　立像寺　5丁

野村　外松（貞長）　外茂男貞一　150石　M4　1才　8丁

野村　辰次郎（晟春）　和兵衛　15俵　M3　27才　永順寺　4丁

野村　為三（為之丞，和厚）　東左衛門　20俵　M3　36才　円光寺　5丁

野村　長松（忠明）　九郎兵衛　15俵　M3　41才　光専寺　4丁

野村　　統（治久）　善太夫重治　12俵　M3　19才　妙法寺　4丁

野村　　統（清次）　庄八　11俵　M5　29才　本誓寺　4丁

野村　伝二（永貞）　吉兵衛格行　8俵　M3　28才　敬栄寺　4丁

野村　伝七（保礼）　遊翁之礼　600石　M3　51才　松月寺　10丁　2冊

野村　藤七（道政）　宗左衛門　15俵

M3　31才　長福寺　4丁　2冊
野　村　藤次郎（正固）　長左衛門　2人扶持　M3　19才　西方寺　4丁
野　村　篤　衛（篤左衛門，守之）　多宝惟孝　140石　M3　26才　善福寺　8丁　3冊
野　村　徳　男（為政）　徳兵衛　15俵　M3　27才　妙源寺　4丁
野　村　徳　治（村盈）　源兵衛　18俵　M3　31才　立像寺　6丁
野　村　　冨（祐之）　東左衛門　15俵　M4　27才　円光寺　4丁
野　村　兎毛男（連之助，徳成）　東左衛門　20俵　M3　40才　円光寺　5丁
野　村　登茂三（八右衛門，成久）　八右衛門　15俵　M3　22才　光教寺　3丁
野　村　外代吉（一忠，勝忠）　小矢太一元　2人扶持　M3　18才　善性寺　3丁　2冊
野　村　虎一郎（虎之助，共忠，共政）　和平共政荘之進　6人扶持　M3　14才　本光寺　6丁　2冊
（帙 435）野　村　直　記（定平）　忠太夫　8俵　M5　24才　光琳寺　4丁
野　村　直次郎（貞朝）　吉太郎　15俵　M3　14才　光専寺　4丁
野　村　二　平（末次）　仁右衛門　6俵　M4　40才　西勝寺　3丁
野　村　　鼇　守之　140石　M7　21才　善福寺　7丁
野　村　八　郎（茂則）　八郎右衛門　13俵　M4　56才　本光寺　3丁
野　村　　半（半兵衛，倡宗）　采女倡之　250石　M3　36才　大乗寺　10丁
野　村　彦三郎（忠之）　彦兵衛忠宗　15俵　M3　45才　専光寺　3丁
野　村　文次郎（晴之）　栄助　15俵　M3　19才　広源寺　3丁
野　村　平　作（平右衛門，直友）　長左衛門　7俵　M3　36才　西方寺　6丁
野　村　平次郎　伊左衛門　10俵　M3　62才　本妙寺　8丁
野　村　孫　勝（孫兵衛，政行）　理平　15俵　M3　27才　乗善寺　2丁　2冊
野　村　孫　次（茂仲）　儀兵衛　6俵　M4　31才　聞善寺　5丁
野　村　増三郎　理右衛門　20俵　M3　19才　瑞泉寺　6丁
野　村　益　見（虎之助，吟左衛門，成宣）　正親成之　35石　M3　28才　極楽寺　8丁　2冊
野　村　亦　作（吉勝）　小三郎　2人扶持　M5　37才　願生寺　3丁
野　村　又三郎（友一）　五郎右衛門　15俵　M3　25才　瑞泉寺　3丁
野　村　又八郎（有国）　庄八郎　15俵　M3　33才　哲願寺　6丁
野　村　松之丞（宗道）　与大夫　30石　M2　26才　立像寺　3丁
野　村　桃太郎（昌訓）　吉之丞　20俵　M3　6才　妙典寺　6丁
野　村　弥　作（勝正）　弥兵衛　15俵　M3　19才　東本願寺別院　4丁
野　村　弥十郎（嘉幸）　治郎助　11俵　M4　31才　東本願寺別院　4丁
野　村　安次郎（謙邑）　安大夫　20俵　M3　65才　金剛寺　4丁
野　村　安太郎（一久）　新左衛門　10俵　M3　17才　妙典寺　5丁
野　村　安太郎（基俊）　長左衛門　15俵　M3　22才　西福寺　3丁
（帙 436）野　村　弥十八（直之）　弥右衛門　4俵　M3　21才　専光寺　3丁
野　村　弥太郎（敏政）　八十次政武　35俵　M4　26才　照台寺　6丁
野　村　勇　造（源丞，友生）　勇助　20俵　M3　43才　立像寺　5丁
野　村　与一郎（与三丞，知喜）　丈左衛門　20俵　M3　30才　林幽寺　6丁
野　村　与　作（久信）　与兵衛　11俵　M4　49才　光源寺　4丁
野　村　与三郎（隆次）　二兵衛　15俵　M3　9才　万福寺　3丁
野　村　嘉　真（為之助，賀真）　弥之助

25俵 M3 40才 興徳寺 7丁

野村与三（与三兵衛，嘉績） 与六郎 猶則 1,700石 M3 56才 蓮昌寺 14丁

野村与三次（正成） 与三郎 20俵 M3 31才 光専寺 6丁

野村与三八（宗久） 緩兵衛 13俵 M3 41才 本覚寺 4丁

野村与三松（信之） 清助 8俵 M5 31才 永照寺 4丁

野村米作（次兵衛，定次） 又右衛門 15俵 M3 28才 照台寺 3丁

野村理三郎（為恒） 佐兵衛 9俵 M5 33才 超雲寺 5丁

野村理平（光誠） 七之助 2人扶持 M4 49才 善徳寺 3丁

野村和三郎（直光） 和兵衛 12俵 M3 37才 慶恩寺 2丁 2冊

野村和三郎（貞礼） 兵次郎貞兼 300石 M4 3才 松月寺 10丁

野村和十郎（可勝） 善太郎 24俵 M4 20才 善照坊 7丁

野村和平（共政） 和平有道 1人半扶持 M3 54才 本光寺 6丁

野村和平次（秀立） 作左衛門 25俵 M4 39才 聖興寺 5丁

能本久平（征央） 久之丞 11俵 M4 22才 円長寺 4丁

（帙 437） 能本源次（義之） 文左衛門 13俵 M4 60才 常光寺 3丁

能本源次郎（由孝） 源次 3人扶持 M4 19才 常光寺 4丁 2冊

能本重平（十兵衛，忠重） 仁右衛門 重次 15俵 M3 66才 本浄寺 4丁 2冊

能本常吉（一可） 駒一 1人半扶持 M4 29才 西源寺 3丁

能本梅龍（政武） 泊兵衛俊秀 1人扶持 M10 69才 桂岩寺 5丁

能本圀雄（治右衛門，咲彦） 梅竜 21俵 M4 34才 桂岩寺 5丁

野本 菴（三郎，定視） 七郎左衛門 定礼 4人扶持 M3 31才 本光寺 7丁 2冊

野本清吾（七郎左衛門，定礼） 平八郎定善 50石 M3 59才 本光寺 9丁 2冊

野本弥三郎（勝行） 弥兵衛 15俵 M3 慶恩寺 4丁

能知 勇（行定） 徳兵衛 3人扶持 M4 24才 乗光寺 3丁

能知訓兵（喜忠） 徳右衛門 25俵 M4 25才 乗光寺 3丁

野脇源八（八郎左衛門，清久） 八三郎昌明 5人扶持 M3 37才 普願寺 4丁

野脇幸左衛門（幸七，栄昭） 八郎左衛門 7人扶持 M4 45才 西光寺 4丁

野脇直江（清成） 梅干之助 10人扶持 安政5 30才 7丁

は 行

（帙 438） 萩 源吉 六兵衛 10石 M6 36才 妙典寺 6丁

萩 専之助（武興） 安左衛門 30石 M3 22才 全性寺 6丁

萩原 薫（業昌） 八兵衛克昌 150石 M3 46才 円光寺 10丁

萩原 耕（定一） 与市 15俵 M3 因徳寺 4丁

萩原茂守（十之進） 円蔵 7人扶持 M3 29才 実成寺 7丁

萩原清二郎 清九郎 10石 M8 31才 本光寺 3丁

萩原太郎（忠力） 惣兵衛 5人扶持 M2 25才 浄安寺 8丁

萩原孝穂（孝雄） 幸蔵矩純 40俵 M3 35才 因徳寺 9丁

萩原林太郎（正中） 鎭馬 15俵 M3 16才 全性寺 11丁

羽喰弘志（才之助，政次） 才助 20俵 M3 44才 長周寺 4丁

羽喰季忠（（孝之進，孝四郎） 孝右衛門福教 40石 M3 26才 常福寺 8丁 2冊

土師正順（湊） 清大夫正正直 500石 M3 42才 松月寺 11丁
土師正長 正順 500石 M7 26才 松月寺 7丁
橋爪古六（知之） 七之丞 2人扶持 慶応4 31才 専光寺 7丁
橋爪外二郎（外次郎，定良） 貞吉 10人扶持 M3 20才 妙典寺 13丁 2冊
橋爪満章（安太郎） 貞右衛門 9俵 M4 33才 蓮昌寺 7丁
（帙 439） 橋本忠久（与兵衛，与平） 与三右衛門 2人扶持 M3 34才 光専寺 3丁
橋本友次郎（邦基） 六左衛門 5人扶持 M2 19才 光覚寺 3丁
橋本友吉（吉平，友次） 吉右衛門 2人扶持 M3 39才 光専寺 3丁
橋本直作 直作 M6 40才 安楽寺 1丁
橋本速見（康次郎，信之） 亮左衛門 50石 M2 25才 8丁
橋本 六左衛門（政正） 六左衛門 40石 M2 28才 光覚寺 13丁
長谷勘七（道定） 助七 2人扶持 M4 47才 専光寺 3丁
長谷吉太郎（正久） 与右衛門 9俵 M5 19才 永照寺 3丁
長谷九郎平（九郎兵衛，永吉） 半右衛門 9俵 M3 60才 照円寺 3丁
長谷小十郎（小助，正武） 孫兵衛 15俵 M3 45才 妙円寺 4丁
長谷弥十郎 吉太郎 9俵 M5 27才 永照寺 4丁
長谷川逸次（尚正） 五右衛門尚忠 120石 M3 48才 西養寺 7丁 2冊
長谷川海山（五兵衛，之定） 平八成之 100石 M3 61才 妙典寺 8丁
長谷川量雄（晋，克明） 勝助規適 35俵 M3 35才 大蓮寺 6丁
長谷川洪左衛門（乙作，克則） 善五郎 2人扶持 文久3 22才 専徳寺 7丁
長谷川甲平（克則） 伴七 37石 M3 54才 蓮昌寺 5丁 2冊
長谷川五太夫（孝篤） 五右衛門 120石 M2 23才 12丁
長谷川治平（定旦） 甚右衛門 3人扶持 M3 31才 専光寺 3丁
（帙 440） 長谷川順之助（信義） 兵右衛門 4人扶持 文久3 23才 妙感寺 10丁
長谷川準也 与一 150石 M7 22才 本覚寺 12丁 2冊
長谷川孝篤（五郎兵衛，筏） 五衛門孝祐 120石 M3 24才 蓮昌寺 9丁
長谷川他三郎（知克） 善五郎 3人扶持 M4 20才 専徳寺 5丁
長谷川為定（常吉） 惣大夫保定 50俵 M3 55才 本覚寺 9丁
長谷川忠平（敦） 平五郎直清 80石 M3 44才 蓮昌寺 9丁
長谷川知澄 重助 30俵 M6 26才 妙法寺 7丁
長谷川又次郎（敬忠） 廉平敬身 6人扶持 M3 42才 少林寺 6丁
長谷川八十二（観政） 与一郎知政 6人扶持 M3 26才 超雲寺 7丁 2冊
（帙 441） 長谷川六蔵 其翁 200石 M3 38才 千手院 14丁
長谷田太竹（元昆） 仁右衛門 12俵 M4 51才 慶覚寺 4丁
長谷田元秀 太竹 12俵 M7 24才 慶覚寺 4丁
畑 貞共（昌三郎） 金左衛門貞固 60石 M3 24才 本覚寺 8丁
畑 八百吉 元福 10石 M7 12才 賢聖坊 7丁
畑 勇次郎（金次郎，則伊） 太兵衛 1人半扶持 M4 21才 廻向寺 3丁
秦 秀穂（禎太郎） 二里 30俵 M3 26才 雲竜寺 3丁
端 丈夫（晴貫） 丈仲貫 10人扶持 M3 44才 高岸寺 6丁
羽多 清（嘉价） 嘉右衛門 2人扶持 M4 49才 願楽寺 3丁
羽田正忠（作） 乙八正経 400石 M3 25才 宝勝寺 11丁

畠山幸次郎 連方 150石 M6 16才 伝灯寺 9丁

畠山義比 義生 150石 M6 38才 9丁

蜂谷長平（信成） 信行 90石 M3 37才 本行寺 7丁

八田金元（伊右衛門） 与右衛門 6俵 M3 36才 光琳寺 3丁

八田式人（宗直） 市佑 50石 M2 21才 乗善寺 8丁

八田判平 忠平 150石 M6 27才 乗善寺 8丁

八田又吉（久勝） 半六 2人扶持 M4 31才 浄行寺 5丁

八田柳之助（義正） 三助 3人半扶持 M1 29才 3丁

服部数馬（正直） 太郎右衛門之正 200石 慶応3 23才 融山院 11丁

服部金好（七兵衛，七三郎） 長助 15俵 M3 42才 西源寺 3丁

服部鑑太郎（義質） 九平矩義 40俵 M3 26才 安楽寺 12丁

（帙 442） 服部元太郎（庸行） 徳三郎以庸 150石 M4 29才 8丁

服部三作（源八郎，棟敬） 紋内 50石 安政2 26才 13丁

服部善五郎（金政） 茂左衛門 5人扶持 M3 27才 如来寺 4丁

服部銓二郎 義助 160石 M7 12才 長久寺 7丁

服部隆貞（半） 栄左衛門 20俵 M3 14才 専光寺 6丁

服部恒足（他三郎） 善太夫恒通 50俵 M3 42才 鶴林寺 6丁

服部政範（十兵衛） 秀二郎頼及 250石 M3 44才 静明寺 9丁

服部正行（平太郎） 辰之助 90石 M3 33才 西巌寺 5丁

服部庸永（永五郎，義庸） 元太郎庸行 150石 M5 14才 安楽寺 6丁

服部八十八（要左衛門，茂政） 栄助 20俵 M3 49才 仰西寺 8丁

服部頼次（伊助，伊守） 伊左衛門 15俵 M3 41才 本隆寺 5丁

羽野匡尚 源助 20俵 M6 46才 西方寺 3丁

羽野真角（尚光） 甚之助 9人扶持 文久3 31才 常徳寺 5丁

馬場玄二郎（和貴） 玄弘信任 8人扶持 M3 39才 開禅寺 7丁

馬場孝多（義孝） 直江 12俵 M4 23才 上宮寺 7丁

馬場雄八郎（兼信） 源太兼政 100石 M3 49才 長円寺 9丁

土生篤行（甚平） 安進温恭 50石 M3 37才 上宮寺 7丁 2冊

土生有友（湊） 右門忠順 8人扶持 M3 32才 立像寺 7丁 2冊

（帙 443） 土生源六郎（源之進，篤秀） 安進温恭 3人扶持 M3 33才 上宮寺 6丁 2冊

土生貞固（太郎吉） 市郎右衛門 8俵 M4 16才 妙源寺 4丁

土生庄次郎（知寿） 庄助 20俵 M3 30才 善徳寺 4丁

土生津禰篤彦 3人扶持 M7 6才 上宮寺 3丁

浜口新左衛門（定勝） 沢右衛門 3人扶持 文久3 38才 安立寺 8丁

浜口久之助（定之） 新左衛門 3人扶持 M2 12才 安立寺 4丁

浜野吉太郎（光忠） 仁右衛門 6人扶持 慶応4 32才 棟岳寺 4丁

浜野則景（喜久次郎） 三次則次 23俵 M3 23才 本因寺 8丁

浜村孝次郎（善孟） 右太夫 55石 M2 16才 本法寺 5丁

羽村昌蔵（成寛） 文左衛門 40石 元治1 45才 9丁

早川克忠 克一 20石 M6 35才 崇禅寺 10丁

早川克一（庄助） 茂兵衛克復 40俵 M3 38才 9丁

早川嘉兵衛（秋定） 浅休秋実 180石

M3　44才　浄住寺　8丁

早　川　亨太郎　守之　35俵　M6　11才　5丁

早　川　権　平　一貫　25石　M7　37才　崇禅寺　8丁

早　川　祐　則（直江，颯）　波江　80石　M1　40才　10丁　2冊

早　川　忠　恕（義三郎）　徳三翁随周　80石　M4　38才　11丁

（帙 444）早　川　朝　吉（佐久馬，政朝）　和兵衛　2人扶持　M4　32才　専生寺　5丁

早　川　正　名（源五右衛門，源五）　理兵衛正身　140石　M3　45才　常福寺　11丁

早　川　随　勝（清次郎）　徳三翁随周　110石　M3　44才　12丁

早　川　随　正（直之助）　森右衛門随紘　40俵　M5　31才　9丁

早　川　義　成（渉，義永）　徳右衛門　15俵　M3　23才　聞乗寺　4丁

早　川　　渉（数馬，和義）　数之助和在　180石　M3　33才　浄住寺　9丁

早　崎　牛太郎（義敬）　貞右衛門　20俵　M5　20才　蛮昌寺　4丁

林　　有　隣（伝吉郎）　久之助　120石　M3　42才　妙応寺　17丁

林　　亥三郎（至直）　栄助　3人扶持　M3　43才　本誓寺　3丁

林　　一正（他家司郎）　大造正勝　100石　M4　11才　本是寺　7丁

林　　鑑三郎（鑑正）　源蔵　5人扶持　慶応2　31才　長周寺　4丁

林　　喜久太郎　茂平　10石　M7　18才　乗善寺　4丁

林　　吉太郎（光房）　左次馬　45石　M2　26才　月照寺　5丁

林　　久太郎（廉正）　藤蔵　18俵　M3　26才　極楽寺　6丁

林　　九兵衛（重次）　七十郎　10人扶持　M1　9丁

林　　玄　前（孫三）　左次馬玄栄　80石　M3　43才　妙国寺　9丁

林　　源二郎（有道）　源右衛門　60石　M2　27才　月照寺　6丁

林　　戸左衛門（成之）　戸左衛門　50石　安政6　35才　18丁

林　　以　則（茂三）　嘉大夫正義　45俵　M3　37才　法然寺　8丁

（帙 445）林　　定　則（淳四郎）　唯睡軒定成　700石　M3　32才　竜淵寺　11丁

林　　安　敬（七郎）　数馬安敦　250石　M4　35才　真行寺　5丁

林　　脩　造（直行）　吉郎兵衛　3人扶持　M3　45才　専光寺　4丁　2冊

林　　純　作（敬義）　弥五作　8人扶持　天保4　39才　妙国寺　8丁

林　　駿太郎（為之助，光久）　磯右衛門　60石　M2　13才　本是寺　8丁

林　　淳之助（良伸）　助大夫　2人扶持　万延1　25才　6丁

林　　次郎吉（雪好）　左久平　15俵　M3　23才　長周寺　8丁

林　　末之助（吉忠）　森木　4人半扶持　M2　51才　正覚寺　5丁

林　　清　司（文忠）　清右衛門文忠　8人扶持　M3　45才　照円寺　4丁　2冊

林　　冑　翠（茂三郎，則友）　清兵衛　2人扶持　M2　16才　2丁

林　　清兵衛（豊矩）　清斉　7人扶持　天保13　35才　照円寺　5丁

林　　善太夫（政貞）　与三左衛門　70石　M2　42才　西善寺　8丁

林　　外次郎（武重）　和左衛門武貞　2人半扶持　M3　25才　妙慶寺　5丁

林　　孝（杉六，定周）　小左衛門　100石　M3　55才　本是寺　5丁

林　　武　雄　孫二　23俵　M8　22才　聞善寺　4丁

林　　武　貞（順太郎）　伝右衛門永重　M3　32才　妙応寺　16丁

林　　太左衛門（暢旨）　源右衛門　9人扶持　文久3　45才　妙応寺　9丁

林　　他三郎（展英）　順展章　29俵　M4　20才　正覚寺　6丁　2冊

(帙 446) 林　周　知（六麿文，六左衛門）　森左衛門安盛　130石　M3　58才　妙応寺　10丁
林　忠左衛門（茂時）　同休　4人扶持　安政4　45才　専光寺　7丁
林　津久里（久行）　吉兵衛友行　21俵　M5　57才　松月寺　8丁　2冊
林　道　廷（喜作）　長八郎　8俵　M3　25才　仏姓寺　3丁
林　貫　義（文左衛門，樫木）　久右衛門貫通　100石　M3　59才　本覚寺　8丁
林　貞　吉（信成）　戸左衛門　3人扶持　M2　21才　3丁
林　鉄　蔵（重定）　二右衛門　2人扶持　M2　29才　西源寺　9丁
林　時　男（政之助，暢一）　吉左衛門　2人扶持　M2　13才　妙応寺　3丁
林　敏　行　平大夫　20俵　M5　35才　宝樹寺　3丁
林　　訥（昌五郎，為忠）　敬蔵穆　120石　M3　52才　浄土寺　12丁
林　とよ　孫二　23俵　M7　16才　聞善寺　5丁
林　虎之助（直之）　武左衛門　5人扶持　慶応4　30才　実成寺　3丁
林　伸　一（六郎）　倡三　60石　M3　32才　福念寺　8丁

(帙 447) 林　暢　旨（太左衛門，平三）　源右衛門暢発　9人扶持　M3　52才　妙応寺　9丁
林　則　茂　茂時　24俵　M8　34才　専光寺　4丁
林　徳　孝（又一，以一）　三郎斉昌一　100石　M3　46才　惣持寺　14丁
林　則　友　豊矩　7人扶持　M6　照円寺　4丁　2冊
林　八　郎（敬忠）　左一郎　60石　慶応2　65才　了願寺　10丁
林　政　敏（錠太郎）　善太夫政貞　70石　M3　14才　西蓼寺　6丁
林　政　知（静一郎）　武左衛門政一　300石　M3　24才　法船寺　7丁
林　政　律（喜久松）　休耕政之　250石　M3　18才　立像寺　15丁
林　政　房（赫雄）　源左衛門　20俵　M4　専光寺　5丁
林　万　作（孝儀）　久右衛門由義　90石　M3　21才　月照寺　7丁　2冊

(帙 448) 林　百　千（直政）　武左衛門　40石　慶応4　44才　実成寺　9丁
林　弥一郎（信行）　作左衛門　10人扶持　M2　32才　松月寺　8丁
林　安　行（宗左衛門）　甚八安則　60石　M3　51才　本光寺　8丁　2冊
林　安　之　安行　60石　M6　28才　本光寺　7丁
林　弥太郎　大作　70石　M3　7才　長周寺　10丁
林　由左衛門（英信）　宗兵衛　35石　M2　64才　長楽寺　3丁
林　喜　敏（尚賢）　喜兵衛　3人扶持　慶応1　42才　6丁
林　由　適（小金吾，与一）　平左衛門　由訓　110石　M3　37才　三宝寺　7丁　2冊
林　良太郎　貫義　100石　M8　25才　本覚寺　3丁

(帙 449) 早田淑則（喜三）　儀右衛門督良　8人扶持　M3　20才　了願寺　7丁　2冊
早田保明（衛門，権弥）　弥作保承　50石　M3　38才　浄光寺　5丁
原　一　学（先信）　半左衛門信成　60石　M4　64才　珉徳寺　3丁　2冊
原　栄次郎　可一　9石　M7　19才　専光寺　4丁
原　喜久雄（喜久丞，茂政）　忠兵衛　20俵　M3　53才　西願寺　5丁
原　金太郎（政矩）　和左衛門　15俵　M3　18才　道林寺　6丁
原　軍　治（政平）　広之助　20俵　M4　16才　西願寺　6丁
原　源次郎（成章）　一学　3人扶持　慶応2　17才　珉徳寺　6丁

原　志津人（茂永）　大太夫　120石　M3　42才　13丁
原　七兵衛（知次）　嘉右衛門　2人扶持　慶応2　40才　7丁
原　周　平（真一）　彦兵衛　2人扶持　M3　23才　慶恩寺　5丁
原　鮮之助（義信）　50石　安政4　35才　広哲寺　5丁
原　外三郎　定敬　120石　M7　9才　妙慶寺　7丁
原　伝　八　伝九郎　15俵　M7　29才　亀摂寺　5丁
原　藤　作（茂政）　久太郎　11俵　M4　33才　願念寺　4丁　2冊
原　又吉郎（一直）　衛門　40石　M2　10才　光円寺　8丁
原　田　吉太郎（宗直）　吉之助　15俵　M3　31才　唯念寺　5丁
原　田　吉　平（吉之助，吉蔵，朝知）　久兵衛　23俵　M3　73才　唯念寺　6丁
（帙 450）原　田　恭　平（任）　醍味　5人扶持　文久3　27才　高岩寺　7丁
原　田　玄　順（柔）　玄昌　60石　M3　34才　高岩寺　8丁
原　田　八　平（八右衛門，秀久）　八右衛門秀直　120石　M3　39才　妙典寺　8丁
春　名　繁　春（繁蔵）　丈左衛門　2人扶持　M4　24才　敬栄寺　3丁
伴　信　成（弥八郎）　太三郎勝章　150石　M4　30才　融山院　9丁
伴　左巴三（源兵衛，方宴）　源太兵衛為美　300石　M3　60才　大乗寺　8丁
伴　資　富（一角）　五兵衛資武　250石　M3　51才　大乗寺　9丁　2冊
伴　方　義（八矢）　八矢方至　5,000石　M3　27才　大乗寺　22丁　2冊
（帙 451）伴　鉄五郎（親之）　左太夫親晴　130石　M3　53才　融山院　8丁
伴　美　本　左巴三　500石　M7　25才　大乗寺　6丁
半　田　景　一（鉦次郎）　安左衛門景正　600石　M3　25才　鶴林寺　8丁
半　田　幸（幸蔵，親郷）　常翁親之　150石　M3　36才　本長寺　7丁
半　田　盛　次（清次，清光）　清右衛門　20俵　M4　33才　成蓮寺　6丁
半　田　兵三郎　清八　50石　M6　7才　本妙寺　8丁
半　田　正　信（鉄三郎）　権陸正邦　450石　M3　17才　桃雲寺　14丁
半　田　殖　造（三郎右衛門，忠義）　周作　20俵　M3　26才　常通寺　8丁　2冊
半藤十郎左衛門（方明）　十郎左衛門　70石　天保4　56才　桃雲寺　5丁

ひ　行

（帙 452）日　尾　弥次郎（由之）　彦四郎　2人扶持　M3　35才　光専寺　4丁　2冊
東　三次郎（致敬）　権七　10俵　M3　68才　超雲寺　3丁
東　清　次（清助，尚）清助　15俵　M3　29才　光現寺　4丁
東　方　大治郎　寛則　100石　M5　25才　善徳寺　4丁
東　方　八　郎（寛則）　権左衛門寛忠　100石　M3　56才　明光寺　7丁
干　潟　作　次（為次）　小平　12俵　M4　45才　蓮昌寺　6丁
干　潟　松次郎（孝之）　藤左衛門　13俵　M4　20才　妙典寺　6丁
疋　田　市三郎　一吉　3人半扶持　M7　6才　正覚寺　4丁
疋　田　右太夫（重之）　右大夫　80石　M3　43才　真成寺　8丁
疋　田　織　平（織兵衛，直栄）　閑斉　150石　M3　52才　承証寺　7丁
疋　田　吉　次（知之）吉右衛門　2人扶持　M3　19才　照台寺　5丁
疋　田　源　六（在欣）　源助　30俵　M3　35才　長徳寺　8丁
疋　田　左　平（直政）　文作　80石　M3　27才　妙感寺　3丁　2冊
疋　田　二　三（重之）　右太夫則之　80石　M3　43才　真成寺　7丁
疋　田　慎　政　延行　15石　M8　26才

照円寺　10丁

疋田新平（延久）　甚左衛門安広　150石　M3　61才　照円寺　6丁

疋田善造（久之丞，正一）　久大夫　20俵　M3　31才　本是寺　5丁

疋田長太郎（一吉）　弥三郎　3人半扶持　M5　23才　正覚寺　3丁

疋田文作（直行）左太夫直行　150石　M3　63才　妙感寺　8丁

疋田平四郎（直応）　吉兵衛　8俵　M4　28才　善徳寺　5丁

（帙 453）疋田弥八（朋信）　久兵衛　15俵　M4　41才　円長寺　4丁　2冊

疋田理三郎（理則）　理兵衛　20俵　M3　52才　常福寺　3丁

樋口健作（晳好）　弥三大夫　25俵　M3　27才　本光寺　8丁

樋口鉉次郎（鉉蔵，政則）　斧吉勝行　35俵　M3　23才　乗善寺　6丁

樋口好三（儀兵衛，信一）　甚八　5人扶持　M3　38才　照円寺　7丁

彦坂七平（七郎右衛門，政平）　七郎衛門政之　90石　M3　38才　妙国寺　9丁

久江朔内（三春）　久三郎　19俵　M4　39才　願成寺　4丁

久江外次郎（政訓，昌訓）　三五六　3人扶持　M4　29才　上宮寺　4丁　2冊

久江常男（五左衛門，政之）　五兵衛　政豊　8人扶持　M3　31才　真長寺　6丁　2冊

久江半二（半左衛門，茂忠）　太郎次　25俵　M3　40才　願成寺　5丁

久江田熊雄（正順）　藤七　12俵　M4　25才　願成寺　8丁

久江田藤七（正好）　藤蔵　22俵　M3　58才　願成寺　6丁

久嶋徳男（徳左衛門）　三郎左衛門　30俵　M3　58才　光徳寺　6丁

久田嘉十郎（為一）　清右衛門　15俵　M3　46才　東本願寺別院　6丁

久田勘十郎（正徳）　勘左衛門宣徳　35石　M3　19才　浄誓寺　6丁　2冊

久田湖太郎（元宣）　庄蔵宣教　23俵　M3　20才　広済寺　4丁

久田権作（伊正）　小兵衛　2人扶持　M4　26才　当源寺　3丁

久田作平（作蔵，守之）　検校　40俵　M3　39才　専通寺　7丁

久田清作（由良）　庄助　20俵　M3　61才　雲竜寺　4丁

久田善太郎　篤定　350石　M7　13才　経王寺　7丁

久田常三（喜次郎，篤定）　義左衛門　篤基　350石　M3　35才　経王寺　14丁

（帙 454）久田兵作（久之）　宇右衛門　2人扶持　M4　48才　等願寺　3丁

久田米三郎（済時）　作蔵済寛　250石　M3　35才　実成寺　14丁

久田練兵（政一）　半左衛門維則　200石　M3　33才　経王寺　15丁

久村大六（六右衛門，福久）　文助　11俵　M3　41才　妙立寺　3丁

久村藤次郎（興孝）　庄助　22俵　M4　58才　波着寺　5丁

久村兵三郎（正久）　久左衛門　15俵　M3　39才　浄誓寺　3丁

久村基三郎　弥六郎　14俵　M7　2才　浄住寺　5丁

久村弥六郎（順恩）　鉄次郎　14俵　M3　63才　願成寺　4丁

久村与八（貞次）　与三助　18俵　M3　50才　願成寺　3丁

土方三九郎（乙吉，忠久）　伊大夫久春　11俵　M3　24才　大円寺　4丁　2冊

土方丈平（信治）　丈之助　3人扶持　M3　19才　大円寺　10丁

土方惣平（貞右衛門，懿実）　惣右衛門　5人扶持　M3　45才　大円寺　6丁

土方遠男（当達）　二五七　10俵　M4　29才　大乗寺　2丁

土方鍛次郎　清次郎　250石　M8　18才　大乗寺　7丁

土方二五七（当監）　源右衛門　250石

M4　58才　大乗寺　6丁

土　方　与八郎（蓍氏）　孫左衛門栄久　300石　M3　41才　高岩寺　12丁

菱　本　　先（半左衛門，喜一）　工右衛門　17俵　M3　45才　誓願寺　3丁

人　見　成　正　成憲　50石　M6　22才　浄安寺　6丁

人　見　清五郎（忠正）　昌之進忠進　800石　M3　41才　善福寺　12丁

人　見　平　六（平兵衛，成憲）　津左衛門知高　50石　M3　49才　浄安寺　7丁　2冊

日　柳　　元（久太郎，曜英）　与大夫定次　5人扶持　M3　21才　立円寺　4丁　2冊

（帙 455）日　山　成　男（一直）　安左衛門　3人扶持　慶応3　13才　長久寺　3丁

日　山　　昉（安左衛門，敬直）　八右衛門雅忠　70石　M3　39才　長久寺　10丁　2冊

日　向　清　七（一清）　又蔵　4人扶持　M4　50才　専光寺　3丁

日　向　太　作（倍直）　政右衛門　5人扶持　M2　29才　安楽寺　8丁

日　向　政太郎（政右衛門，倍常）　和左衛門信嗣　50石　M3　54才　安楽寺　9丁　2冊

日　向　八百記（正忠）　平兵衛　18俵　M4　18才　善徳寺　5丁

比　良　左　内（景福）　左内景行　280石　M3　40才　上宮寺　7丁

平　井　織　衛（織兵衛，昌秀）　弥吉武督　100石　M3　62才　極楽寺　19丁

平　井　和　忠（規忠）　銀右衛門規武　12俵　M3　14才　善照坊　3丁

平　井　喜　内（甚之丞，信近）　伴右衛門信広　18俵　M3　49才　善照坊　8丁

平　井　　清（昌邑）　為兵衛昌貞　60石　M3　29才　極楽寺　17丁

平　井　金　平（茂右衛門，盛廸）　治右衛門　啓廸　150石　M3　50才　妙泰寺　9丁　2冊

平　井　　殻（邦寿）　清山邦信　50石　M3　44才　妙立寺　5丁　2冊

平　井　小三郎（直安）　小重郎　20俵　M3　40才　東本願寺別院　9丁

（帙 456）平　井　三　郎（貴知）　初右衛門　20俵　M4　39才　西光寺　3丁

平　井　信太郎　為平方久　17俵　M5　15才　専長寺　4丁

平　井　清　義　守江　13俵　M6　36才　浄安寺　7丁

平　井　誠　次（一成，徹周）　勘六郎徹一　5人扶持　M3　33才　円光寺　8丁　2冊

平　井　清　蔵　与三郎　20俵　M5　30才　浄安寺　4丁

平　井　辰次郎（清直）　作左衛門　13俵　M4　16才　徳栄寺　6丁

平　井　為　平（方久）　彦大夫方道　17俵　M3　40才　専長寺　3丁

平　井　　保　金平　150石　M6　20才　妙泰寺　6丁

平　井　貞　一　貞三　40俵　M6　21才　経王寺　8丁

平　井　貞　一（貞右衛門，茂就）　嘉蔵貞就　35石　M3　63才　法然寺　5丁

平　井　貞次郎　信近　18俵　M8　19才　雲竜寺　5丁

平　井　貞　三（武房）　林左衛門信武　40俵　M3　41才　経王寺　6丁

平　井　孫　六（徹道）　又吉　22俵　M4　47才　円光寺　5丁

ひ

平　井　胃　直　昌秀　25石　M6　32才　極楽寺　12丁

平　井　守　江（清明）　仙之助　13俵　M5　67才　浄安寺　6丁

（帙 457）平　岩　謙　作（丈左衛門，晋）　金左衛門信任　70石　M3　38才　常松寺　6丁

平　尾　右平太（安左衛門，忠顕）　半右衛門知命　150石　M3　40才　玉竜寺　6丁　2冊

平　尾　善太夫（知終）　紋太夫　5石　安政4　26才　唯念寺　2丁

平尾紋三（知近） 善大夫知新 70石 M3 62才 唯念寺 6丁 2冊
平岡 勇（左近，克昌） 直之丞致恭 800石 M3 29才 国泰寺 10丁
平岡栄次郎 里美 30俵 M5 9才 善導寺 4丁
平岡家外男（為仲） 九皐徐容 100石 M3 18才 国泰寺 16丁
平岡石太郎（順美） 善八 12俵 M3 38才 浄光寺 4丁
平岡 平（照茂） 要太郎番延 10俵 M3 27才 等雲寺 5丁
平岡兵四郎（兵左衛門，里美） 兵助 30俵 M3 50才 善導寺 4丁
平賀左仲（雅資） 勘左衛門雅勝 40石 M3 55才 妙法寺 7丁 2冊
（帙 458） 平賀 茂（徳次郎，雅寿） 時太郎雅忠 50石 M3 19才 広済寺 10丁 2冊
平賀与吉郎（勝忠） 左兵衛昌福 80石 M3 49才 立円寺 13丁 2冊
平川左右作（礼行） 善右衛門 25俵 M3 30才 善福寺 6丁
平川周作（一呼） 東安 7人扶持 M3 31才 正覚寺 5丁 2冊
平川外余吉（昌徳） 与三次郎亀有 11俵 M3 30才 正覚寺 5丁 2冊
平木久我太（義久） 次三郎 15俵 M3 25才 常福寺 4丁
平木作五郎（作兵衛，清方） 錂作直延 15人扶持 M3 48才 本是寺 9丁
平木甚八（甚右衛門，則清） 清右衛門 20俵 M3 64才 心蓮社 5丁
平木清五郎（（政直） 仁兵衛 15俵 M3 23才 等願寺 3丁
平木兵太郎（保景） 兵助 20俵 M3 22才 本是寺 5丁
平木安太郎（則正） 甚右衛門 20俵 M3 23才 心蓮社 5丁
平崎 伝（長次郎，政恒） 清六政久 14俵 M3 48才 本浄寺 4丁 2冊
平沢 歩（友之助，之教） 順左衛門 正教 35石 M3 27才 光専寺 9丁
平沢市郎平（市郎右衛門，時次） 市郎右衛門 12俵 M3 69才 名願寺 3丁
平沢彦七（清貫） 善蔵 13俵 M3 39才 光専寺 2丁
（帙 459） 平田磯次郎（庸一） 実有庸 40俵 M3 15才 桃雲寺 6丁
平田乙男 忠順 100石 M7 11才 実成寺 4丁
平田勝造（勝蔵，友久） 甚十郎 18俵 M2 39才 実成寺 7丁
平田勝多（勝人，次勝） 万吉 11俵 M3 22才 蓮福寺 7丁
平田懐之 政友 100石 M7 19才 蓮昌寺 9丁
平田 貫（職氏） 内匠職逸 100俵 M4 36才 雲松院 6丁
平田慶次郎（忠知） 宗助 2人扶持 M4 46才 徳円寺 3丁
平田源七 重助 8俵 M4 52才 廻向寺 4丁
平田作馬（能幸） 清叟 100石 M3 44才 桃雲寺 6丁
平田重三（宮内，重蔵，得寿） 5人扶持 M3 47才 妙国寺 9丁 2冊
平田二郎（直忠） 貫斉政直 35俵 M3 33才 高岸寺 8丁
平田太四郎（与善） 忠兵衛 8俵 M5 34才 浄安寺 5丁
平田忠順 直順 100石 M5 23才 実成寺 6丁
平田辰磨 辰雄 10石 M8 15才 長周寺 5丁
（帙 460） 平田次夫（定道） 治大夫定房 20俵 M3 46才 専光寺 4丁
平田房次郎 定道 20俵 M6 16才 専光寺 5丁
平田斧司郎（礼叙） 繁之丞言行 40石 M3 32才 真成寺 10丁 2冊
平田 実（有庸） 清左衛門 200石 M3 58才 桃雲寺 13丁
平田八六（八兵衛，実福） 彦左衛門

30俵 M3 45才 長周寺 8丁

平田米重郎（貞政） 安之丞 20俵 M3 16才 蓮華寺 5丁

平田米二郎（政友） 徳之助正種 100石 M3 48才 蓮昌寺 11丁

平手太郎（監物，信敏） 忠左衛門信美 300石 M3 66才 融山院 13丁 3冊

（帙 461） 平野猪十郎（貞幹） 嘉太夫 40石 M4 26才 寿経寺 5丁

平野嘉一（春道） 与平 8俵 M4 19才 廻向寺 3丁

平野勝次（清次） 銀之助 20俵 M4 立像寺 6丁

平野喜左（喜左衛門，孝正） 多吉 20俵 M3 63才 仰西寺 4丁

平野喜三郎（在直） 小源太敬直 100石 M4 12才 妙典寺 4丁

平野九郎（九郎兵衛，引伸） 三郎引時 19俵 M3 60才 了願寺 6丁 2冊

平野　啓（五兵衛，忠純） 五兵衛知礼 60石 M3 50才 徳竜寺 7丁

平野小源太（敬直） 五左衛門副直 100石 M4 36才 妙典寺 7丁 2冊

平野貞吉（元享） 彦之丞元良 60俵 M3 32才 妙典寺 4丁

平野成義 引伸 19俵 M6 37才 了願寺 5丁

平野重六（和厚） 重郎兵衛知和 7人扶持 M3 22才 長久寺 6丁

平野七郎（七郎左衛門，忠次） 七郎左衛門忠安 30石 M3 37才 祐専寺 6丁 2冊

平野十次郎（忠勝） 次兵衛 20俵 M3 24才 善徳寺 5丁

平野新吾（新五右衛門，是忠） 新五右衛門是直 170石 M3 35才 妙泰寺 7丁 2冊

平野甚七（元功） 林左衛門定功 50俵 M3 53才 12丁

平野甚太郎（正業） 与三男秀隆 100石 M3 33才 本光寺 10丁

平野甚太郎 忠一 15俵 M5 15才 西方寺 3丁

平野仙次郎（元正） 彦之丞元良 180石 M3 38才 妙典寺 9丁

（帙 462） 平野太作（満房） 太四郎 20俵 M3 47才 徳善寺 6丁

平野他司郎（信久） 安太郎信広 40石 M3 22才 金剛寺 8丁 2冊

平野　力（則方） 遊翁信久 140石 M3 46才 本光寺 9丁

平野八郎（八郎大夫，吉有，致永） 九八郎員永 50石 M3 39才 道林寺 5丁 2冊

平野彦三郎（安忠） 弥十郎 20俵 M3 26才 円長寺 8丁

平野正次（歳定） 儀兵衛 8俵 M3 28才 永順寺 4丁

平野　衛（引広） 九郎 9俵 M4 35才 了願寺 7丁

平野　貢（甚之丞，信勝） 20俵 M3 31才 西福寺 2丁

平野弥五郎（一芳） 吉郎兵衛 15俵 M3 24才 善性寺 5丁

平野弥十郎（一房） 吉兵衛 33俵 M3 61才 浄智寺 6丁

平野与三次（永義） 与兵衛 20俵 M3 30才 徳竜寺 6丁

平野与平（一定） 孫九郎 4俵 M4 57才 廻向寺 2丁

平野理三郎（勝清） 清太夫 20俵 M4 21才 実成寺 5丁

（帙 463） 平松栄作（勝之） 又七 15俵 M3 西福寺 4丁

平松義十郎（宗久） 十左衛門宗房 25俵 M3 35才 善徳寺 5丁

平松久作（友之） 善右衛門 8俵 M4 52才 永順寺 3丁

平松銀六（銀右衛門，孚尹） 清門正興 100石 M3 37才 本長寺 13丁

平松玄楮（保則） 彦三郎 1人扶持 M4 53才 法然寺 3丁

平松重三（顕尹） 三次郎 9俵 M4 22才 愛染院 4丁
平松順平（長頼） 新左衛門頼長 35石 M3 34才 極楽寺 9丁
平松庄六（信春） 久蔵 9俵 M4 42才 廻向寺 4丁
平松新七（金行） 新助 15俵 M3 31才 西福寺 3丁
平松誠一 節操 150石 M5 23才 本長寺 9丁
平松仙吾（景行） 文蔵 12俵 M4 28才 極楽寺 8丁
平松為吉（儀時） 久蔵 2人半扶持 M2 18才 廻向寺 4丁
平松千葉（浅右衛門，種元） 勘六種興 60石 M3 41才 極楽寺 8丁
平松正直 吉三正己 20人扶持 M5 24才 本長寺 8丁
平松美佐雄（小右衛門，孝次） 晩翠正敷 150石 M3 56才 本長寺 14丁
平下良三（良左衛門，一清） 良助秋仲 40石 M3 40才 福念寺 6丁
平山磯五郎（直之） 熊之丞 18俵 M3 29才 大泉寺 6丁 2冊
平山代晋（信行） 壱岐介末重 5人扶持 M3 42才 専光寺 4丁
広岡喜太郎 直勝 25俵 M5 18才 成学寺 6丁
広岡恂之助（忠順） 十蔵忠善 2人扶持 M4 22才 高岸寺 7丁
（帙 464） 広岡助左衛門（忠善） 宅右衛門 35石 M2 57才 高岸寺 5丁
広岡文五郎（清信） 順左衛門有信 40俵 M3 45才 高岸寺 12丁
広岡与一（良長） 平 10石 M7 8才 善徳寺 4丁
広上勝男（春方） 文作 4人扶持 M4 30才 浄誓寺 3丁
広川全作 順平 20俵 M5 22才 常光寺 6丁
広川辰三郎 義久 10石 M6 6才 勝連寺 7丁
広崎順平（美喬） 留順 4人扶持 M3 40才 上宮寺 7丁
広崎文吾（福救） 栄典且厚 50俵 M3 48才 上宮寺 6丁
広沢民弥（有嘉） 弥三郎 7人扶持 M3 25才 静明寺 5丁
広嶋昌平（寿綱） 金五郎永政 4人扶持 M3 35才 照円寺 6丁
広嶋松太郎 昌平寿綱 4人扶持 M6 10才 照円寺 5丁
広瀬栄松（正久） 勘右衛門政敏 200石 M3 26才 法船寺 10丁
広瀬嘉次馬 三郎二 100石 M6 34才 本因寺 5丁
広瀬鎌次郎 渡 150石 M7 11才 蓮昌寺 8丁
広瀬喜作（永満） 喜右衛門 12俵 M4 57才 浄誓寺 3丁
広瀬喜三次（直次） 貞元 3人扶持 M3 31才 善照坊 6丁
広瀬喜平（正芳） 佐左衛門 7人扶持 M4 70才 久昌寺 5丁
広瀬喜陸（知良） 喜内定栄 35俵 M3 30才 立像寺 7丁
広瀬金太郎（正信） 昇右衛門 50石 M3 21才 徳竜寺 6丁 2冊
広瀬源太郎（貴忠） 小八郎貴重 30俵 M3 45才 久昌寺 9丁
広瀬源六（源兵衛，亮記） 文大夫亮保 15俵 M3 43才 善導寺 6丁
広瀬左次馬（博久） 隼之進久照 100石 M3 17才 妙応寺 6丁
（帙 465） 広瀬三郎二（儀房） 文太兵衛貞固 100石 M3 65才 本因寺 6丁
広瀬佐和美（季則） 久之丞 7人扶持 M4 25才 長周寺 7丁
広瀬三橋（常人，永保） 伊右衛門永春 13俵 M3 37才 西光寺 4丁
広瀬　砂（仙蔵，直政） 喜三右衛門直信 14俵 M3 67才 伏見寺 4丁
広瀬丈三（丈左衛門，兼則） 作左衛門 60俵 M3 70才 善徳寺 6丁
広瀬四郎（四郎左衛門，重英） 武左衛門自重 40石 M3 58才 正覚寺4丁
広瀬新太郎（定正） 清六 20俵 M4

広 根 和 作（明行） 新右衛門徳明 70石 M3 48才 専光寺 8丁 2冊
（帙 469） 広 野 一 木（幸幹） 了仲 5人扶持 M3 32才 光教寺 5丁
広 野 銀三郎（尚信） 甚左衛門尚正 30石 M3 40才 浄行寺 6丁 2冊
広 野 策二郎（種克） 作兵衛 15俵 M3 19才 慶覚寺 2丁 3冊
広 野 勢 平 伊竹 4人扶持 M7 30才 本法寺 3丁
広 野 多三郎（実満） 佐兵衛 11俵 M3 47才 蓮福寺 4丁
広 海 二三郎 二三郎 50俵 M7 45才 慶徳寺 5丁
広 村 亥三男 重正 12俵 M6 31才 瑞泉寺 5丁
広 村 甚三郎（定次，定重） 喜右衛門定信 10俵 M3 52才 善徳寺 4丁 2冊
広 村 誠 八（重正） 仙右衛門政近 12俵 M3 51才 瑞泉寺 3丁
広 村 米太郎 甚三郎 9俵 M3 24才 善徳寺 5丁
広 善 太 作（蔭親） 半之助 20俵 M3 27才 妙立寺 5丁

ふ 行

（帙 469） 深 江 久 男（吉久） 与左衛門 17俵 M3 36才 三宝寺 5丁
深 尾 善十郎（政孝） 主馬之助政陽 150石 M3 57才 光覚寺 10丁
深 須 官 二（官兵衛，興方） 藤右衛門義方 18俵 M3 39才 法然寺 4丁
深 田 栄三郎（義正） 半助 20俵 M3 19才 願楽寺 5丁
深 田 昇 二（勝幸） 安丞 20俵 M3 47才 願楽寺 8丁
深 谷 垠（保次） 堅太郎保高 100石 M3 47才 寿経寺 8丁
深 谷 鉉三郎（是行） 清左衛門 10俵 M4 21才 善照坊 4丁
深 谷 高 樹（守典） 誠介支貞 80石 M3 寿経寺 10丁
深 谷 庄九郎（義忠） 庄大夫 20俵 M4 48才 東本願寺別院 4丁
深 谷 荘太郎（晴重） 甚六 15俵 M4 25才 超願寺 3丁
深 谷 鉄次郎（一秀） 清左衛門 10俵 M3 27才 聞善寺 3丁
深 谷 半 造（半右衛門，正之） 新右衛門 1人半扶持 M3 24才 了願寺 3丁
深 谷 茂八郎（雲海） 清左衛門 15俵 M3 27才 善照坊 5丁
深 谷 弥 平（忠満） 弥次右衛門 20俵 M3 44才 専光寺 6丁
深 町 歩（貞一） 三郎左衛門貞通 15俵 M3 66才 成学寺 5丁
深 町 伊 織（文兵衛，暉忠） 要人忠起 150石 M3 乗光寺 8丁
深 町 勝 雄（忠正） 伊三五郎忠盛 40俵 M3 38才 乗光寺 9丁
深 町 幸四郎（長吉） 兵作 7人扶持 M3 39才 乗善寺 6丁
深 町 清 太（清太夫，茂定） 宗右衛門 20俵 M3 37才 浄安寺 7丁
深 町 清太郎 清太 10石 M7 6才 浄安寺 3丁
深 町 鉄五郎（計明） 欣左衛門 25俵 M3 33才 法船寺 6丁
深 町 百 当（五郎左衛門，貞久） 歩 9俵 M3 42才 成学寺 4丁 2冊
（帙 470） 深 見 栄五郎（政章） 忠兵衛信一 5人扶持 M3 27才 本光寺 8丁 2冊
深 見 灌二郎（淳蔵，則喜） 順蔵宣昭 35俵 M3 37才 善照坊 8丁
深 見 喜多雄（喜大夫，信幸） 喜右衛門 20俵 M3 41才 慶恩寺 10丁
深 見 三 郎（浅之丞，貞雪） 浅右衛門 20俵 M3 25才 願楽寺 6丁
深 見 甚次郎（信保） 権平 20俵 M3 34才 慶恩寺 6丁
深 見 治世幾（治左衛門，好信） 藤左衛門助信 140石 M3 63才 法然寺 10

18才　妙福寺　5丁

広瀬清五郎（義寿）　清摩　3人扶持　M4　18才　成学寺　7丁

広瀬清馬（清左衛門，従之）　清右衛門続従　40俵　M3　46才　成学寺　7丁

広瀬善二郎（一貫）　盤竜斉友之　100石　M3　34才　成学寺　10丁

広瀬仙太郎（元利）　成男元重　130石　M3　44才　国泰寺　10丁

広瀬宗次郎（厚和）　晩翁浚　150石　M3　39才　蓮昌寺　14丁

広瀬太作（政信）　勇太郎正房　50俵　M3　22才　本因寺　9丁

（帙466）広瀬千磨八郎（雅智）　伝右衛門尚重　300石　M3　18才　全昌寺　8丁

広瀬鉄磨（鉄蔵，定好）　貞像　3人扶持　M3　22才　善照坊　8丁

広瀬伝右衛門（尚重）　栄次郎重尚　300石　M3　61才　全昌寺　6丁

広瀬掉舟（家扶，胤信）　采桑胤祿　450石　M3　41才　蓮昌寺　12丁

広瀬友三郎（正次）　初三郎　1人半扶持　M4　21才　光西寺　4丁

広瀬直記（忠）　三右衛門紹興　6人扶持　M3　59才　広智寺　10丁　2冊

広瀬直忠　直政　2人扶持　M7　33才　伏見寺　4丁

広瀬　昇（義兵衛，之和）　助左衛門　50俵　M3　25才　本行寺　5丁

広瀬伴四郎（常晁）　久翁常徳　120石　M3　33才　成学寺　10丁

広瀬彦市（元房）　多三郎元貞　150石　M3　31才　永久寺　14丁

広瀬弘五郎（為知）　勇左衛門為政　130石　M3　43才　大蓮寺　8丁　2冊

広瀬平吉　義登　35俵　M6　15才　名願寺　4丁

広瀬平造（平蔵，正仲）　茂助　15俵　M3　39才　広済寺　4丁

広瀬平八（吉久）　喜之丞　8俵　M3　39才　光専寺　4丁

広瀬平八郎（義登）　平八郎　35俵　M3　66才　名願寺　5丁

広瀬　辺（由房）　隼之助克房　100石　M3　60才　本因寺　12丁

広瀬孫三（義太夫，孫右衛門，忠順）　孫右衛門類置　90石　M3　34才　鶴林寺　13丁　2冊

（帙467）広瀬政男（坤友）　弁蔵　18俵　M3　27才　徳善寺　10丁

広瀬茂三郎（助三郎，祐正）　茂助　15俵　M3　25才　広済寺　4丁

広瀬百太郎（直忠）　仙蔵　9俵　M3　30才　伏見寺　4丁

広瀬弥太郎　三作　10石　M8　14才　照円寺　5丁

広瀬与三松　政一　25俵　M7　10才　長久寺　7丁

広瀬理吉　清二　18俵　M6　専光寺　3丁

広瀬　渡（永頼）　歓斉忠順　150石　M3　30才　蓮昌寺　10丁

広田亥一郎　作平　11石　M7　32才　広徳寺　9丁

広田嘉三郎（直久）　嘉助　13俵　M4　23才　永順寺　5丁

広田伍一（茂武）　平兵衛広煥　30俵　M3　33才　徳竜寺　11丁

広田作兵衛（友久）　伊兵衛　2人扶持　元治2　54才　善徳寺　4丁

広田多九男　嘉三郎　13俵　M6　3才　永順寺　6丁

広田与三太郎（順孝）　藤七僖順　15俵　M5　19才　西照寺　5丁

広谷覚馬（覚兵衛，敬久）　善蔵尚敬　11俵　M3　50才　光専寺　4丁

広谷他吉郎（伴次）　武兵衛伴一　50石　M3　33才　上宮寺　5丁

広谷直作　甚治友明　18俵　M5　16才　専光寺　3丁

広根浪江（尚高）　伊右衛門尚光　6人扶持　M3　40才　専光寺　7丁　2冊

広根松太郎（公栄）　和作　4人扶持　文久3　6才　専光寺　4丁

丁　2冊
深　見　行　信（友雄）　治左衛門治世幾　140石　M7　36才　法然寺　12丁　2冊
深　見　　亘（興孝）　瀬平用之　50石　M3　37才　法然寺　7丁
深　美　釣次郎（秀婁）　右秀宣　100俵　M4　13才　松月寺　4丁
深　美　　右（右京，秀宣）　兵庫秀栗　4,500石　M3　41才　松月寺　9丁
深　美　八百次郎（秀峻）　秀宣　4,500石　M6　21才　松月寺　8丁
福　井　小八郎（祐之）　助之丞　20俵　M3　37才　円祐寺　6丁
福　江　与　一（与三右衛門，茂正）　豊四郎　6俵　M3　47才　勝満寺　4丁
福　岡　栄　八（政次）　栄蔵　6人扶持　M5　46才　蓮覚寺　3丁
福　岡　嘉　七（好信）　理兵衛　15俵　M3　26才　照台寺　3丁
福　岡　勝太郎（篤重）　多三郎　8俵　M4　20才　仁随寺　4丁
福　岡　喜三郎（兼正）　喜助　15俵　M3　41才　慶恩寺　5丁
福　岡　幾三郎（好藤）　勘左衛門　15俵　M3　26才　東本願寺別院　3丁
福　岡　儀　二（永祥）　儀右衛門　35石　M4　54才　乗善寺　3丁
福　岡　義重郎（清門）　伝五丞　20俵　M3　24才　成蓮寺　9丁
（帙 471）福　岡　鬼　六（保道）　宗作宗次　19俵　M3　34才　西光寺　8丁　2冊
福　岡　粂太郎（忠清）　清之丞忠弘　5人扶持　M3　16才　高岸寺　4丁
福　岡　巌重郎（栄左衛門，正勝）　久輔　15俵　M3　30才　道林寺　4丁
福　岡　幸三郎（政勝）　嘉助　6俵　M4　49才　長安寺　3丁
福　岡　幸次郎（清忠）　甚四郎　20俵　M4　25才　成蓮寺　8丁
福　岡　小三郎（一久）　宗兵衛　15俵　M3　22才　真行寺　4丁
福　岡　権　平（久祐）　弥五兵衛久業　120石　M3　40才　超雲寺　7丁　2冊
福　岡　才　六（才之助，秀一）　要人永一　50石　M3　41才　承証寺　9丁　2冊
福　岡　七三郎（通乗）　善七　2人扶持　M4　29才　専光寺　3丁
福　岡　治　平（道正）　治兵衛　2人扶持　M4　48才　善光寺　3丁
福　岡　庄太郎　小三郎　15俵　M7　13才　真行寺　4丁
福　岡　正　八（信左衛門，俊彦）　五郎兵衛通和　50俵　M3　33才　徳竜寺　13丁
福　岡　清九郎（吉丞，方平）　八左衛門　20俵　M3　33才　立像寺　5丁
福　岡　誠次郎（景貞）　五郎大夫　20俵　M3　37才　成蓮寺　8丁
福　岡　武十郎（真行）　武右衛門　20俵　M3　39才　立像寺　5丁
福　岡　友　吉（正定）　栄之助信正　40俵　M3　45才　西光寺　12丁
福　岡　奈次馬（伝五丞，清植）　次右衛門　20俵　M3　57才　成蓮寺　8丁　3冊
（帙 472）福　岡　並　江（常人，義元，茂元）　与市　茂路　70石　M3　40才　極楽寺　7丁　2冊
福　岡　久　男（宗忠）　宗兵衛　15俵　M3　19才　真行寺　3丁
福　岡　文　平（文兵衛，秀一）　喜三右衛門　15俵　M3　40才　本蓮寺　3丁
福　岡　政次郎（武孝）　惣右衛門　9俵　M4　20才　西源寺　4丁
福　岡　政　次（清卞）　伝五丞　20俵　M3　21才　成蓮寺　8丁　2冊
福　岡　弥次郎（弥助，好正）　五兵衛　15俵　M3　41才　光徳寺　4丁
福　川　八三郎（義栄）　八兵衛　20俵　M3　39才　浄安寺　6丁
福　島　勘　七（行正）　勘右衛門　15俵　M3　38才　光徳寺　5丁
福　島　幾太郎（安貞）　庄兵衛　11俵　M4　12才　承証寺　4丁
福　島　吉五郎（吉之丞，良正）　吉太郎　20俵　M3　26才　善徳寺　4丁

福島吉三（吉蔵，政岡） 市左衛門 22俵 M3 24才 正覚寺 4丁
福島喜藤次（温清） 甚五兵衛尚清 6人扶持 M3 31才 承証寺 6丁 2冊
福島久省（新助，則忠） 久次 15俵 M3 25才 善徳寺 3丁
福島清（正茂） 伊右衛門 5人扶持 M4 36才 善性寺 2丁
福島重作（重蔵，多益） 重蔵 11俵 M3 42才 珉徳寺 3丁 2冊
福島庄平（安次） 庄兵衛 15俵 M3 38才 上宮寺 3丁
福島信吾（信之丞，維徳） 七右衛門 維均 50石 M3 49才 蓮昌寺 6丁 2冊
福島捨吉（用方） 源五右衛門 19俵 M4 21才 浄安寺 7丁
福島誠造（久永） 源助 15俵 M3 26才 善徳寺 5丁
福島蔵六（亮左衛門，精） 一雨斉政保 250石 M3 52才 竜淵寺 8丁
福島丹治（吉次） 才右衛門 40石 M4 57才 慶覚寺 4丁
（帙 473） 福島束（則忠） 権丞 4人半扶持 M4 39才 慶覚寺 5丁
福島篤太郎（定安） 鉄之助安定 400石 M3 17才 光覚寺 13丁
福島二三郎（弘毅） 仁左衛門 15俵 M3 19才 本覚寺 3丁
福島二平太（正幸） 半右衛門正篤 400石 M3 46才 本光寺 16丁
福島半六（半兵衛，克生） 豊左衛門 章浮 40石 M3 40才 浄光寺 4丁 2冊
福島茂三郎（定一） 次吉 15俵 M3 18才 裾専寺 4丁
福島弥平次（甚兵衛，直久） 甚右衛門 直道 200石 M3 32才 雲竜寺 11丁 2冊
福島余所男（正勝） 与兵衛 5人扶持 M4 31才 東本願寺別院 3丁
福島与三松（久明） 三次郎 15俵 M3 35才 唯念寺 5丁
福田稲男（縫右衛門） 縫右衛門直徴 70石 M3 39才 本因寺 8丁
福田鍬太郎（義直） 平左衛門一昌 200石 M3 27才 10丁
福田鍒一 磯次正和 10人扶持 M6 5才 大円寺 4丁
福田吉二（吉左衛門） 余所助 140石 M3 49才 真行寺 13丁
福田久治（則久） 久兵衛 7俵 M4 32才 善徳寺 2丁
福田権八（英義） 丈助 18俵 M3 24才 妙典寺 7丁
福田左太（左大夫，睦武） 弥三右衛門 5人扶持 M4 25才 専信坊 3丁 2冊
福田早苗（守人，正之） 5人扶持 M3 22才 妙慶寺 4丁
福田周三（周左衛門，明保） 左平和守 100石 M3 42才 真行寺 9丁
福田寿太郎 三郎平 300石 M5 22才 希翁院 11丁
（帙 474） 福田甚太郎 鉄次郎 12俵 M4 44才 専徳寺 5丁
福田待時郎（登） 粂男貞一 30俵 M3 21才 大円寺 9丁
福田太次郎（知一） 3人扶持 M3 17才 西勝寺 3丁
福田常吉（孝政） 吉右衛門 15俵 M3 22才 超雲寺 3丁
福田虎一（皆人） 範兵衛 18俵 M3 18才 浄誓寺 6丁
福田半二（友行） 小兵衛 7人扶持 M4 61才 長安寺 3丁
福田兵次（繁栄） 清左衛門 15俵 M3 30才 乗光寺 5丁
福田孫次郎（重治） 武兵衛 40石 M5 24才 本法寺 4丁
福田守衛（直成） 昌山成章 35石 M3 41才 妙慶寺 5丁
福田与吉（則正） 三右衛門 9俵 M4 19才 光徳寺 4丁

福田吉次（吉兵衛，直義） 儀平 18俵 M3 63才 善福寺 4丁
福田良米（良蔵，秀景） 甚大夫景久 25俵 M3 59才 本光寺 5丁
福武菊太郎（知親） 和三郎 15俵 M3 23才 寿経寺 5丁
福武喜三次（是則） 喜三太 20俵 M3 18才 妙法寺 7丁
福武銀次郎 勝久 10石 M7 23才 妙法寺 8丁
福武佐吉（作左衛門，竹勝） 左吉 25俵 M3 66才 妙法寺 6丁
福武又吾（徳蔵，久忠） 甚之丞 25俵 M3 45才 妙法寺 7丁
福富三平（房則） 重右衛門 17俵 M4 64才 照台寺 3丁
福富重平（本橘） 三兵衛 15俵 慶応3 40才 照台寺 4丁
福富伝二 三平 17俵 M6 41才 照台寺 3丁
福野源四郎（忠行） 庄左衛門 15俵 M3 33才 西源寺 4丁
福畠伊八（伊左衛門，義正） 吉兵衛 8俵 M3 47才 祐専寺 3丁
福畠平二（平兵衛，義久） 平兵衛 25俵 M3 41才 善福寺 5丁
福原宇禰吉（元信） 三九郎元知 3人扶持 M3 本光寺 3丁
福原吉三郎（安茂） 惣兵衛 9俵 M4 26才 西源寺 3丁
福原金太郎（和次） 吉太郎 20俵 M3 37才 本誓寺 6丁
(峡 475) 福原孝作（一孝） 潤作一知 6人扶持 M3 50才 本光寺 5丁 2冊
福原清八（政芳） 長左衛門 7人扶持 M3 51才 真光寺 3丁
福原八郎（八郎兵衛，朝清） 孫八朝義 30石 M3 40才 珉徳寺 5丁
福村与（与三左衛門，良富） 勘四郎 25俵 M3 46才 妙法寺 8丁
福村市三郎（朝之） 粂吉 6俵 M4 27才 西福寺 3丁
福村乙吉（信道） 吉十郎 10俵 M4 24才 願念寺 6丁
福村嘉六（光正） 嘉左衛門久正 3人扶持 M3 26才 心蓮社 4丁 2冊
福村九八（初左衛門，直則） 権左衛門 8俵 M3 42才 東本願寺別院 2丁
福村粂吉（経広） 与三右衛門 8俵 M4 54才 西福寺 3丁
福村小三郎（安平） 小右衛門 15俵 M3 33才 乗光寺 4丁
福村作次郎（茂友） 清左衛門 1人半扶持 M3 28才 常願寺 3丁 4冊
福村三郎（孝次） 吉平孝安 40俵 M3 43才 真教寺 8丁
福村二八（安兵衛，信久） 清蔵 20俵 M3 31才 妙法寺 7丁
(峡 476) 福村省吾（朝安） 忠大夫信之 35俵 M3 52才 西方寺 5丁
福村胃蔵（知光） 久左衛門維起 150石 M3 19才 真教寺 8丁
福村章平（次吉，一秀） 惣兵衛 15俵 M3 24才 本立寺 4丁
福村清左（清左衛門，栄年） 与三兵衛 2人半扶持 M3 54才 常願寺 3丁 3冊
福村清次郎（有吉） 市平 7俵 M4 29才 然円寺 3丁
福村清太郎（友明） 次郎兵衛 20俵 M3 40才 善徳寺 3丁
福村惣平（惣兵衛，茂一） 次助 8俵 M4 49才 本竜寺 3丁
福村外次郎（忠之） 喜右衛門 6俵 M4 19才 永順寺 3丁
福村忠次郎（善行） 和平 8俵 M4 35才 専光寺 5丁
福村伝三郎（是成） 吉平孝安 30俵 M3 39才 真教寺 8丁
福村彦三郎（信明） 八郎兵衛 3人扶持 M4 31才 善徳寺 3丁
福村文次郎（抱懇） 惣三郎 20俵 M4 29才 慶恩寺 6丁

福村　守（照房）　七右衛門　25俵　M3　55才　本性寺　9丁

福村　湊（吉蔵，信美）　六兵衛　4人扶持　M3　33才　蓮光寺　4丁

福村弥三次郎（友久）　八郎兵衛　2人扶持　M4　22才　善徳寺　3丁

福村弥平次（妙誠）　仁兵衛　15俵　M3　35才　願念寺　4丁

福村勇三（秀一）　惣兵衛　15俵　M3　20才　本竜寺　3丁

福村与吉（勝正）　市助　7俵　M4　59才　西源寺　4丁

（帙 477）福本戸一郎（温雅）　喜残温古　80石　M3　9才　長周寺　9丁　2冊

福本辰事（九郎右衛門，忠一）　九郎右衛門忠久　14俵　M3　28才　立像寺　8丁　2冊

藤井数馬（昌茂）　誠大夫正人　70石　M3　30才　松月寺　10丁

藤井活安（政行）　一潤斉政郷　5人扶持　M3　36才　永安寺　5丁

藤井喜久松　胤信　25俵　M8　1才　静明寺　5丁

藤井吉次郎　安之丞在道　70石　M3　15才　願楽寺　9丁

藤井喜八郎（正門）　八之丞　18俵　M3　50才　誓円寺　5丁

藤井喜陸（政一）　権四郎　10俵　M4　44才　慶恩寺　6丁

藤井熊次郎（昌言）　清之丞昌蔵　50俵　M3　49才　松月寺　11丁

藤井健太郎　政一　10俵　M6　7才　慶恩寺　5丁

藤井権次郎（金定）　次助　10俵　M3　24才　善福寺　4丁

藤井貞為　保祐　20人扶持　M6　33才　開禅寺　5丁

藤井三四郎（友左衛門，友茂）　友右衛門　25俵　M3　42才　玄門寺　6丁

藤井次作（次助，兼恒）　外吉　10俵　M3　45才　永久寺　4丁

藤井治三郎（政永）　久兵衛　15俵　M3　25才　専光寺　3丁

藤井準吉（愛成）　宗吾亮長　35石　M3　47才　本光寺　5丁　2冊

藤井甚太郎（貞宜）　半太夫　20俵　M3　21才　禅栖院　5丁

藤井全貞（保祐）　貞元永明　20人扶持　M3　60才　7丁

藤井多室（均）　宇右衛門恒有　80石　M3　22才　願楽寺　12丁

（帙 478）藤井長平（貫重）　八郎大夫　40石　慶応4　40才　西養寺　5丁

藤井鉄太郎（昌親）　喜左衛門昌成　130石　M3　34才　等雲寺　13丁

藤井凸凹（幸左衛門，久胤）　孝作通胤　40俵　M3　49才　願楽寺　8丁

藤井友吉（正以）　喜八郎　18俵　M3　21才　誓円寺　6丁

藤井豊五郎（胤信）　伝兵衛　35俵　M3　51才　静明寺　8丁

藤井豊三（坤文）　全五郎　25俵　M3　28才　静明寺　7丁

藤井八郎（延仙）　新助懿恭　50石　M3　68才　5丁　2冊

藤井ひさ　嘉六　20俵　M7　20才　上宮寺　4丁

藤井敬儀（重蔵，知言）　重蔵知親　35石　M3　20才　立像寺　4丁

藤井平作（平之助，政勝）　七郎　20俵　M3　36才　慶恩寺　9丁

藤井弁次郎（恒久）　隼之助恒信　40石　M3　13才　立像寺　9丁　2冊

藤井方亭（保一）　方朔一　20人扶持　M3　30才　専光寺　7丁

藤井安平（安太夫，義居）　平丞恒久　80石　M3　41才　立像寺　10丁　2冊

藤井弥八（弥左衛門，信房）　九右衛門　2人扶持　M3　54才　常福寺　3丁

藤井雄作（又助，邑正）　嘉六　20俵　M3　23才　上宮寺　7丁

藤井四五六（政任）　久仙　10俵　M4　41才　円長寺　7丁

（帙 479）藤井与三郎（則久）　与三右衛門　18俵

M3　26才　専光寺　4丁
藤井柳平（延周）　八平　18俵　M4　45才　善照坊　6丁
藤江伊所次（則清）　清宗　6俵　M4　43才　光専寺　6丁
藤江円太（半左衛門，友秋）　小兵衛　友久　8人扶持　M3　41才　善証寺　8丁　2冊
藤江牛太（牛右衛門，勝実，一以）　貫翁一治　150石　M3　59才　円光寺　9丁　2冊
藤江久太夫（永良）　久太夫　7人扶持　慶応3　64才　光専寺　9丁
藤江清宗（清右衛門，則貞）　理左衛門則之　11俵　M3　73才　光専寺　6丁
藤江銀次郎（信房）　弥十郎　20俵　M3　11才　本法寺　5丁
藤江幸作（覚左衛門，政之）　幸左衛門　4人半扶持　M3　41才　興徳寺　6丁　2冊
藤江小三郎（信秀）　弥十郎　15俵　M3　19才　本法寺　6丁
藤江駒太郎（政頼）　覚左衛門　2人半扶持　慶応2　14才　興徳寺　2丁
藤江佐次馬（武敏）　平助　11俵　M4　41才　大円寺　9丁
藤江三平（充形）　栄丞充之　19俵　M4　48才　蓮昌寺　4丁
藤江茂呂（直之）　栄助則之　14俵　M3　33才　仁随寺　6丁
藤江新遊（孚義）　幸左衛門孚喜　14俵　M3　56才　蓮華寺　6丁
藤江専作（武綱）　14俵　M4　38才　浄行寺　4丁
藤江専之丞　3人扶持　M3
藤江外男（直一）　専馬　76俵　M3　16才　宗徳寺　14丁
藤江外作（甚丞，義之）　倭左衛門　19俵　M3　29才　浄智寺　4丁
藤江長三（長蔵，弘一）　仙左衛門　18俵　M3　28才　西福寺　4丁
（帙480）藤江　励（是規）　幸馬　40石　M3　20才　瑞泉寺　6丁
藤江外茂男　松三郎　12俵　M6　5才　連福寺　5丁
藤江卍一　牛太一以　150石　M5　27才　円光寺　9丁
藤江　久（永良）　久大夫永虎　7人扶持　M3　67才　光専寺　7丁
藤江平八（武左衛門，成芳）　平八　20俵　M3　46才　極楽寺　4丁
藤江松三郎（高虎）　孫右衛門　12俵　M4　27才　連福寺　7丁
藤江　好（孚忠）　新権，9俵　M4　18才　蓮花寺　3丁
藤江弥次郎（清忠）　弥左衛門　20俵　M3　31才　等願寺　3丁
藤江安三郎（永一）　久大夫　1人扶持　慶応2　16才　光専寺　5丁
藤江与吉郎（保重）　与兵衛　8俵　M3　20才　福念寺　3丁
藤江由太郎（義政）　武左衛門　20俵　M3　25才　極楽寺　8丁
藤江与三二（与兵衛，保忠）　誠八　12俵　M3　50才　福念寺　6丁
藤江六太郎（信行）　弥十郎　20俵　M3　33才　本法寺　6丁
藤江六　郎（勝清）　貞右衛門　20俵　M3　21才　栄明寺　6丁
藤江和平次（倭左衛門，義元）　吉太夫　義平　18俵　M3　50才　浄智寺　5丁
藤尾直作（重近）　孫右衛門　11俵　M3　27才　願称寺　3丁
藤尾孫平（孫右衛門，為重）　和兵衛　11俵　M3　62才　願称寺　3丁
藤岡市江（市之丞，市衛，通学）　幸大夫　25俵　M3　45才　専光寺　7丁
藤岡儀六（儀左衛門）　久右衛門　20俵　M3　54才　専光寺　7丁
藤岡佐太郎（明卿）　兵吉　15俵　M3　18才　2丁
藤岡三治郎（基康）　太郎兵衛　2人扶持　M2　29才　本浄寺　3丁
藤岡徳三郎（福昌）　伊太夫　20俵　M

3　14才　真教寺　5丁

藤岡兵吉（辰時）　兵大夫　30俵　M3　83才　専光寺　4丁

藤岡勇六郎（親明）　幸之助雄親　30俵　M3　35才　専光寺　5丁

藤岡与十郎（弼庸）　太郎兵衛　25俵　M3　27才　即願寺　5丁

（帙 481）藤懸並木（十郎兵衛，頼善）　隼人頼之　500石　M3　51才　了願寺　15丁　2冊

藤懸　　等（静定）　隼太定制　300石　M3　36才　常松寺　16丁

藤木甚太郎（正行）　五右衛門　11俵　M4　48才　浄照寺　5丁

藤沢愛造　貫規一　20俵　M5　17才　大乗寺　7丁

藤沢　　与（信治）　吉平　20俵　M4　32才　善徳寺　5丁

藤沢　　毫（慎終）　寛兵衛　5人扶持　M3　37才　超願寺　5丁

藤沢源吉（有和）　惣左衛門　20俵　M3　35才　願念寺　10丁

藤沢源六（源之助，忠之）　儀平　20俵　M3　57才　蓮覚寺　9丁

藤沢幸作（幸正）　源助　20俵　M3　36才　珉徳寺　3丁

藤沢幸造（幸助，正忠）　幸次郎　20俵　M3　22才　妙感寺　6丁

藤沢駒五郎（是久）　隼之助直道　50俵　M3　37才　全性寺　7丁

藤沢駒次郎（温則）　善蔵　20俵　M3　16才　名願寺　5丁

藤沢佐吉（久茂）　孫三　20俵　M3　24才　大乗寺　7丁

藤沢定吉（慎儀）　三九郎令儀　90石　M3　23才　極楽寺　13丁

藤沢三九郎（令儀）　助丞顕忠　150石　M3　55才　極楽寺　11丁

藤沢三平（良治）　孫三　20俵　M3　33才　大乗寺　4丁

藤沢重太郎（茂成）　太郎左衛門　20俵　M4　16才　大乗寺　6丁

藤沢尉次郎（正則）　太左衛門　20俵　M3　24才　願念寺　12丁

（帙 432）藤沢甚吾（啓）　源兵衛匡　9人扶持　M3　17才　桂岩寺　5丁

藤沢甚太郎（政徳）　銀之助政高　90石　M3　11才　極楽寺　11丁　2冊

藤沢甚太郎（義忠）　辰太郎　20俵　M4　25才　正福寺　9丁

藤沢千次郎（賢平）　幸蔵　20俵　M5　51才　大乗寺　3丁

藤沢他作（直静）　隼之助直道　40俵　M3　31才　全性寺　6丁

藤沢建美（久太夫，兵蔵，建次，善一）　惣助　20俵　M3　26才　願念寺　5丁

藤沢太郎左衛門（三茂）　孫三　20俵　M3　37才　大乗寺　6丁

藤沢常作（常之丞，好文）　常右衛門　20俵　M3　55才　実成寺　8丁

藤沢鉄男（則一）　音二　20俵　M4　14才　月心寺　7丁

藤沢友次郎（良信）　清之助保久　40俵　M3　16才　全性寺　11丁

藤沢隼太（貞良）　健三直一　40俵　M5　8才　5丁

藤沢栄雄（栄之助，守備）　清助　20俵　M3　47才　善徳寺　4丁

藤沢　　貫（規一）　専左衛門　20俵　M3　29才　大乗寺　6丁

藤沢与作（信久）　儀右衛門致知　19俵　M3　50才　妙玄寺　6丁　2冊

藤島　　茂（作左衛門，忠儀）　作之丞　20俵　M3　32才　専光寺　5丁

藤島すて　和太夫　12俵　M7　41才　因徳寺　5丁

藤島清五郎（清左衛門，清信）　宗兵衛　12俵　M3　52才　因徳寺　5丁

藤島和太郎（知久）　和大夫　12俵　M3　48才　因徳寺　5丁

（帙 483）藤田一平（信正）　平左衛門　15俵　M3　24才　常福寺　3丁

藤田伊六（茂実）　伊兵衛　9俵　M

4　51才　専光寺　4丁

藤田　磐之介（直敬）　三右衛門　10俵　M2　36才　大円寺　4丁

藤田　宇平太（安茂）　宇平太　20俵　M3　38才　長久寺　7丁

藤田　格　斧（良秀）　吉広　5人扶持　M3　24才　静明寺　6丁

藤田喜左衛門（信教）　喜太夫　40石　慶応4　43才　広済寺　8丁

藤田　喜太郎（勝正）　弥助　15俵　M3　24才　成覚寺　4丁

藤田　吉三郎（久則）　甚六　15俵　M3　24才　常徳寺　4丁

藤田　儀　平（茂友）　太郎兵衛成福　14俵　M3　36才　成学寺　3丁

藤田　金治郎（久儀）　隼太郎　40石　M2　2才　願楽寺　3丁　2冊

藤田　金八郎（勝平）　伊三郎　2人扶持　M3　29才　光専寺　5丁

藤田　郡次郎（久宜）　甚之丞　2人扶持　M4　32才　高楽寺　4丁

藤田　元　吾（正方）　六郎佐　22俵　M3　44才　大蓮寺　9丁

藤田　健太郎（知好）　作兵衛　20俵　M3　10才　常徳寺　7丁

藤田　玄　透（才兵衛，信衛）　才左衛門　在友　40石　M3　66才　願楽寺　8丁　2冊

藤田　鉱　吉（貞興）　与三助　20俵　M3　14才　仰西寺　8丁

藤田　鞆　三（信教）　喜太夫保教　40石　M4　46才　広済寺　7丁

藤田　駒　太（一親）　惣右衛門　15俵　M3　31才　慶覚寺　4丁

藤田　駒太郎（政忠）　是四郎　15俵　M5　22才　聖安寺　4丁

藤田　是四郎（厚延）　七郎右衛門　18俵　M5　55才　聖安寺　5丁

藤田　作　男（佐左衛門，有道）　友右衛門有発　120石　M3　37才　西勝寺　7丁

藤田　佐久平（貴知）　作次郎栄知　30俵　M3　30才　実成寺　6丁

(帙 484)　藤田　三十郎（正明）　求馬安定　2,000石　M3　42才　16丁　2冊

藤田　し　け　元甫　22俵　M8　6才　大蓮寺　7丁

藤田　　繁　武吉　120石　M7　20才　実成寺　5丁

藤田　治　朔（治左衛門，定久）　与三次　20俵　M3　42才　仰西寺　8丁

藤田　七九郎（七兵衛，一元）　七助　2人扶持　M3　55才　願称寺　3丁

藤田　七　郎（一林）　作次郎　20俵　M3　20才　実成寺　7丁

藤田　重五郎（安貫）　新蔵安行　500石　M3　35才　高岸寺　13丁

藤田　重　作（重左衛門，勝之）　磯兵衛門　11俵　M4　72才　成学寺　3丁

藤田　春　堂（正儀）　与三之助　8俵　M4　37才　広済寺　8丁　2冊

藤田　俊　平（貞之丞，寛知）　作次郎　20俵　M3　17才　本浄寺　3丁

(帙 485)　藤田　淳　平（信之丞，古平）　惣左衛門　能孝　60石　M3　39才　常松寺　5丁　2冊

藤田　新一郎（全助，定幸）　永左衛門永久　3人扶持　M4　23才　東本願寺別院　6丁　2冊

藤田　誠一郎（六左衛門，維正）　佐六郎　重孝　50石　M3　45才　大蓮寺　8丁　2冊

藤田　清次郎（由光）　林蔵　18才　M3　22才　弘願院　4丁

藤田　箭十郎（一隣）　藤左衛門一興　60石　M3　46才　金剛寺　5丁

藤田　全　三（全蔵，至正）　寛翁至如　100石　M3　40才　妙典寺　11丁

藤田　善多郎　隆平　20俵　M6　13才　常徳寺　4丁

藤田　宗　吉（信吉）　宗健剛　4人扶持　M3　26才　常徳寺　7丁

藤田　宗　健（剛）　宗沢　4人扶持　元治2　59才　常徳寺　6丁

藤田 素雅意（平左衛門，宅進，知和） 安進知貞 110石 M3 56才 慶恩寺 8丁

藤田 外末 鉄三郎 50俵 M5 8才 実成寺 4丁

藤田 鉄三郎（良度） 五郎兵衛 50俵 M3 53才 実成寺 3丁

藤田 藤三（直道） 市佑直温 210石 M3 64才 大円寺 8丁

藤田 外喜男（康光） 初三郎 15俵 M4 25才 西福寺 4丁

藤田 得二（右源太，忠成） 勘右衛門久為 4人扶持 M3 32才 乗善寺 8丁

藤田 徳次（政信） 徳兵衛 8俵 M4 43才 随順寺 3丁

藤田 得之丞（忠成） 勘右衛門 4人扶持 M2 30才 乗善寺 5丁

藤田 虎吉（正信） 又右衛門 15俵 M3 26才 常福寺 4丁

（帙 486） 藤田 直治（直人，盈信） 佐九郎 20俵 M3 37才 立像寺 6丁

藤田 初三郎（行永） 市助 15俵 M3 28才 西福寺 3丁

藤田 巴弥美（清幸） 久大夫安貞 130石 M3 54才 実成寺 8丁

藤田 武吉（清平） 孫左衛門清茂 120石 M3 52才 実成寺 10丁

藤田 文平（勝清） 重作 2人半扶持 M4 42才 成覚寺 3丁

藤田 平作（作左衛門，清輝） 宇平太 7人扶持 M3 48才 長久寺 4丁

藤田 兵次郎（勝房） 兵五郎 15俵 M3 36才 妙源寺 4丁

藤田 三百作 七郎右衛門 10俵 M5 49才 聖安寺 4丁

藤田 操 紫雅意 110石 M7 21才 慶恩寺 8丁

藤田 道三郎（静久） 道仙正延 5人扶持 M3 50才 専光寺 10丁

藤田 巳之吉（義一） 文次郎 18俵 M3 32才 妙国寺 6丁

藤田 弥作（権丞，寿幸） 五左衛門 20俵 M3 41才 立像寺 6丁

藤田 弥三郎 勝平 2人扶持 M6 4才 光専寺 4丁

藤田 保二（保政） 伊左衛門 20俵 M3 29才 本福寺 6丁

藤田 弥門（則栄） 弥郎兵衛則定 70石 M3 30才 開禅寺 8丁

藤田 幸江（朝文） 清作 20俵 M4 48才 実成寺 5丁

藤田 養安（政起） 格斧良弘 5人扶持 M4 24才 静明寺 6丁

藤田 与七郎（友之） 栖雲友善 80石 M3 33才 妙典寺 8丁

藤田 与八郎（久則） 勘右衛門久為 10人扶持 M3 35才 乗善寺 8丁

藤田 隆平（交之） 善兵衛 20俵 M3 46才 常徳寺 7丁

藤田 和平（門兵衛，保佑，保則） 門兵衛保之 7人扶持 M3 64才 常徳寺 4丁 2冊

（帙 487） 藤高 五郎八（八郎右衛門，慎之） 五郎八 60俵 M3 80才 本光寺 6丁

藤高 新治郎（受之） 半蔵 20俵 M3 17才 本光寺 6丁

藤高 基（文蔵，善高） 丈平正元 12俵 M3 30才 本光寺 5丁 2冊

藤波 順平（公寿） 柳興 5人扶持 M3 23才 大蓮寺 3丁

藤波 柳与（武茂） 富次郎 5人扶持 M3 49才 大蓮寺 3丁

藤野 吉五郎（吉之丞，忠久） 久三郎 20俵 M3 21才 瑞泉寺 7丁

藤野 周平（清左衛門，重孝） 甚左衛門 6人半扶持 M3 49才 光徳寺 2丁 2冊

藤野 彦一郎（豊大夫，美福） 兵助 20俵 M3 62才 宝蔵寺 8丁

藤野 平吾（直之丞，豊政） 豊大夫 20俵 M3 40才 宝蔵寺 6丁 2冊

藤野 弥三郎（弥栄） 喜右衛門 20俵 M4 19才 妙国寺 7丁

藤橋知佳昌雪 25俵 M7 2才 浄行寺 6丁
藤橋安喜（安之助，昌雪） 伝左衛門 25俵 M3 37才 浄行寺 5丁
藤橋庸三（庸人，帆佳） 辰之助 25俵 M3 31才 浄行寺 7丁
不島加寿美（幾望） 仙太郎幾則 90石 M3 50才 妙法寺 14丁
不島喜六（源蔵，安久） 源兵衛安恭 100石 M3 48才 妙法寺 7丁
不島　統（源五右衛門，直之） 源六郎直茂 80石 M3 37才 妙法寺 10丁
不島与吉（義美） 孫四郎 15俵 M3 22才 慶恩寺 3丁
普島源八（武忠） 次郎兵衛 11俵 M4 66才 願念寺 3丁
普島徳三郎（武勝） 源八 7俵 M3 29才 願念寺 4丁
普島直記 順斉 11俵 M7 33才 東本願寺別院 4丁
（帙 488） 藤村覚馬（覚右衛門，佑一） 甚右衛門 15俵 M3 44才 専光寺 4丁
藤村喜平（佐吉，時久） 伝右衛門 15俵 M3 41才 常福寺 4丁
藤村義平（義兵衛，孝久） 彦右衛門 10俵 M4 64才 高印寺 3丁
藤村久米男（久米吉，半蔵） 35俵 M6 43才 9丁
藤村源造（一政） 源左衛門 1人半扶持 M4 83才 願楽寺 3丁
藤村源平（案行） 源造 2人扶持 M4 34才 上宮寺 5丁
藤村孝一郎（孝弘） 茂平 12俵 M4 15才 高印寺 3丁
藤村小三郎（雅知） 小左衛門 10俵 M3 14才 勘帰寺 3丁
藤村助之進（善一） 幽夢 60石 M2 39才 久昌寺 6丁
藤村善太郎（善兵衛，永良） 甚右衛門 15俵 M3 27才 超雲寺 3丁
藤村辰三郎（成信） 伊右衛門 2人扶持 M4 16才 超雲寺 4丁
藤村忠七（忠蔵，安寛） 忠左衛門安宜 300石 M3 21才 如来寺 7丁
藤村直作（直左衛門，直正） 文七 15俵 M3 47才 西覚寺 5丁
藤村浪江（善一） 幽夢善道 70石 M3 40才 久昌寺 10丁
藤村破世渡（丈左衛門，是登） 丈右衛門是保 35石 M3 43才 三宝寺 5丁
藤村半三（半蔵，千繩） 半大夫邦房 35俵 M3 40才 瑞雲寺 9丁
藤村平八郎（成勝） 伊右衛門 5人扶持 M3 23才 超雲寺 4丁
藤村雄四郎（信典） 勇左衛門観成 15俵 M3 23才 敬栄寺 6丁
藤本　勇（限右衛門，正直） 紋右衛門正広 50石 M3 19才 松月寺 4丁
藤本喜平（忠秀） 庄八 20俵 M4 26才 瑞泉寺 6丁
藤本久三郎（佳盛） 六郎右衛門 15俵 M3 38才 浄誓寺 3丁
藤本甚作（幸定） 喜兵衛 25俵 M3 43才 三宝寺 4丁
藤本清八（久忠） 藤兵衛 15俵 M3 29才 光専寺 4丁
藤本鉄平（清方） 喜兵衛 6人扶持 M4 37才 三宝寺 3丁
（帙 489） 伏田元幹（博昌，厚昌） 太庵博道 80石 M3 45才 妙国寺 5丁 2冊
二上末吉（幸豊） 松軒林房 5人扶持 M3 14才 万福寺 7丁 2冊
二上徳三郎（秀延） 吉之助 3人半扶持 M4 29才 乗船寺 5丁
二木学順（直行） 好運直知 50石 M3 52才 本竜寺 6丁 2冊
二木九平（九兵衛，忠勝） 九兵衛 6俵 M3 66才 本哲寺 3丁
二木順平（順之助，盈寿） 与右衛門 盈矩 16俵 M3 37才 東本願寺別院 5丁 2冊
二木庄次郎（清貞） 清助 15俵 M3 21才 常福寺 4丁
二木清三（清左衛門，栄正） 清助

10俵　M3　24才　常福寺　3丁

二木　善四郎（政忠）　六兵衛　20俵　M3　73才　東本願寺別院　2丁

二木　惣三郎（義真）　作右衛門　11俵　M3　18才　徳善寺　5丁

二木　雙二（並栄，信順）　順孝信重　150石　M3　40才　9丁

二木　長作（安忠）　八左衛門　9俵　M4　46才　敬栄寺　3丁

二木　鉄太郎（宗正）　喜助　10俵　M3　19才　徳善寺　3丁

二木　仁三郎（由忠）　与三太郎　15俵　M3　4才　教栄寺　3丁

（帙 490）二口　猪三郎（義久）　安之丞　6人扶持　M3　14才　長徳寺　6丁　2冊

二口　伊太郎（朝次）　源左衛門　5人扶持　M2　17才　法光寺　3丁

二口　久作（久茂）　久左衛門　17俵　M3　善福寺　3丁

二口　源吾（源左衛門重次）　助太夫為次　40石　法光寺　5丁　2冊

二口　幸太郎　清次　15俵　M6　5才　道林寺　3丁

二口　甚三郎　15俵　M4　21才　少林寺　3丁

二口　新三（新右衛門，定次）　六右衛門　2人半扶持　M3　62才　法船寺　3丁　2冊

二口　甚太郎　久作　17俵　M8　15才　善福寺　2丁

二口　清五郎（清次）　文三郎　15俵　M3　28才　道林寺　5丁

二口　時松（冬蔵貞信）　立蔵　60石　M3　18才　恩徳寺　6丁　2冊

二口　八十二（一義）　伊右衛門　20俵　M3　37才　道林寺　4丁

二口　与三吉（成勝）　与四郎　15俵　M3　25才　等願寺　4丁

二松　喜作（一友）　新兵衛　9俵　M4　45才　光専寺　4丁

二松　喜三郎（一久）　喜作　9俵　M4　18才　光専寺　4丁　2冊

二松　鶴三（甚五左衛門，重儀）　八兵衛重績　80石　M3　43才　松山寺　8丁　2冊

二見　弥太郎（秀之）　弥右衛門秀次　16俵　M4　28才　本覚寺　3丁

淵田　忠三（忠左衛門，忠明）　吟次郎　20俵　M3　30才　広済寺　9丁

淵村　覚二（覚兵衛，有方）　覚左衛門　2人扶持　M3　69才　慶恩寺　4丁　2冊

淵村　恒三郎（義虎）　勘左衛門　15俵　M3　20才　東本願寺別院　3丁

（帙 491）淵村　清三郎（行政）　清太夫　20俵　M3　28才　西方寺　6丁

淵村　鉄男（柾勝）　覚兵衛有方　15俵　M3　29才　慶恩寺　5丁　2冊

舟木　磯八（重高）　清蔵重昌　60石　M3　39才　開禅寺　8丁

舟木　粂次郎（昌信）　次郎左衛門　20俵　M3　21才　本浄寺　3丁

舟木　助次郎　粂次郎　20俵　M6　19才　本浄寺　4丁

舟木　三五六（吉政）　喜太夫重厚　3人扶持　M3　34才　妙泰寺　6丁

舟木　茂太郎（明徳）　市之丞　100石　M3　41才　本因寺　6丁

舟木　治三郎（湊重定）　脇太郎　50俵　M3　35才　本因寺　5丁

舟木　伝内（忠之）　伝内　100石　M3　13才　浄光寺　13丁

舟木　　巴（伝左衛門勝好）　五兵衛　5人扶持　M3　30才　西勝寺　3丁　2冊

舟木　友次郎（恒政）　勘四郎　15俵　M3　24才　東本願寺別院　3丁

舟木　弥一郎（以庸）　市之丞　50俵　M3　33才　本因寺　6丁

舟喜　源七郎（為佳）　治部右衛門佳芸　80石　M4　69才　大蓮寺　6丁

舟喜　鉄外（篤好）　源七郎　10俵　M4　31才　大蓮寺　2丁

舟崎　久次郎（但代）　久次郎　15俵　M

3　34才　勝楽寺　4丁　2冊

舟橋静男　丹六茂景　14俵　M3　18才　月心寺　7丁

舟橋甚平（甚兵衛，次房）　次助　8俵　M4　45才　広済寺　3丁

舟橋二三郎（茂満）　仁兵衛　2人半扶持　M4　38才　常照寺　3丁

舟山猪三巳（惣右衛門，貞固）　惣右衛門貞之　瑞光寺　9丁　2冊

舟山武記（新左衛門）　新丞尚在　5人扶持　M3　28才　瑞光寺　6丁

（帙 492）古市甚太郎（尚一）　新蔵政直　100石　M3　39才　妙法寺　9丁

古市友作（政忠）　太郎左衛門仁寿　50俵　M3　36才　光覚寺　12丁

古川猪太郎（直温）　小助　18俵　M3　25才　立像寺　4丁

古川音男（有国）　善之助　20俵　M3　19才　東本願寺別院　6丁

古川覚次（有典）　覚之春丞有　14俵　M3　49才　浄行寺　5丁

古川喜太郎（義之）　庄蔵　25俵　M3　15才　光専寺　4丁

古川十平（十右衛門，師次）　才兵衛　師忠　3人扶持　M3　46才　安立寺　8丁

古川瀬吉郎　覚之丞　1人扶持　M2　11才　浄行寺　2丁　2冊

古川外次郎（武陸）　外之助　18俵　M3　18才　西源寺　8丁

古川代吉（正益）　丞兵衛　18俵　M3　30才　徳翁寺　3丁

古川常男（是信）　兵太夫吉貞　16俵　M3　32才　太岩寺　7丁

古川鉄太郎（正近）　安之丞　20俵　M3　17才　広済寺　5丁

古川半次郎（惟一）　半二　18俵　M4　22才　妙国寺　5丁

古川　秀（常幹）　十左衛門常直　50石　M3　29才　妙泰寺　6丁

古川弥三吉（義道）　三次郎　9俵　M4　23才　常栄寺　5丁

古河志津馬（正端）　九郎兵衛広居　90石　M3　27才　正覚寺　8丁　2冊

古木金太郎（基武）　次左衛門　13俵　M3　25才　超雲寺　5丁

古木次郎（篤登）　幸助　25俵　M3　34才　上宮寺　9丁

古木八郎（廉暉）　八之助　20俵　M3　22才　慶覚寺　5丁

古木茂平（瀬太夫，在原）　幸助　18俵　M3　67才　上宮寺　5丁

（帙 493）古郡豊平（包道）　新兵衛　12俵　M4　48才　善徳寺　6丁

古坂保喜（保左衛門，博季）　昌九衛門　8人扶持　M3　38才　浄光寺　4丁　2冊

古沢勝弥（信孝）　長八　15俵　M3　31才　万徳寺　5丁

古沢友三郎（等清）　貞右衛門等品　40俵　M3　28才　蓮昌寺　7丁

古沢又五郎（信好）　又右衛門信成　200石　M3　18才　三宝寺　11丁

古島清八（直経）　八左衛門　15俵　M3　30才　超雲寺　3丁

古杉孫市（作之丞，庸親，重晴）　如夕　18俵　M3　44才　本浄寺　6丁　2冊

古瀬佐太郎（直行）　次作　8俵　M3　20才　乗善寺　5丁

古瀬次作（国次）　善六　12俵　M3　43才　乗善寺　6丁

古田佐吉（有安）　佐吉　20俵　M3　24才　正福寺　7丁

古田作馬（由三）　七兵衛　15俵　M3　26才　聖光寺　4丁

古田信次郎　征成　33俵　M7　20才　寿経寺　5丁

古田全作（寿方）　嘉大夫　20俵　M3　26才　慶恩寺　3丁

（帙 494）古田惣平（惣兵衛，末直）　兵左衛門　20俵　M3　41才　正福寺　10丁

古田友男（業知）　友次郎　20俵　M3　19才　正福寺　8丁

古田友三（一忠） 和右衛門 25俵 M3 41才 正福寺 8丁
古田直一郎（直之丞，延秋） 元丞 30俵 M3 50才 正福寺 12丁
古田又三郎（勝次） 太四郎 15俵 M4 浄誓寺 4丁
古田　貢（守人，辰相） 吉郎左衛門之近 40俵 M3 28才 正福寺 6丁
古田弥三郎（半之丞，秀政） 半三郎 15俵 M3 35才 仰西寺 5丁
古田弥三（政成） 弥三助 33俵 M3 59才 寿経寺 10丁
古田八十八（貞一） 左大夫 20俵 M3 45才 正福寺 8丁
古田与吉郎（一好） 与左衛門 20俵 M4 39才 本妙寺 8丁
古戸兵松（任実） 与三兵衛 8俵 M3 56才 仰西寺 3丁
古戸弥三次郎（照房） 兵松 6俵 M3 18才 仰西寺 4丁
古丸善次（保景） 宅之丞 20俵 M3 49才 聖興寺 5丁
（帙 495）古村吉次（政房） 四郎兵衛 13俵 M4 32才 瑞泉寺 2丁
古村吉太郎（直友） 三吾 9俵 M4 26才 道林寺 5丁
古村喜平（由貴） 与三兵衛 1人半扶持 M4 37才 瑞泉寺 3丁
古村甚四郎（直鰹） 甚八 15俵 M3 27才 善徳寺 3丁
古村与平（兼久） 与右衛門 20俵 M3 40才 長徳寺 6丁
古村良三郎（正月） 勇之助 23俵 M3 23才 大円寺 9丁
古矢源治（仁左衛門，義明） 佐兵衛 15俵 M3 21才 永順寺 3丁
古谷善作（善蔵，保良） 清助 8俵 M3 42才 永順寺 3丁
古屋歓三（三右衛門，安孚） 三右衛門安同 11俵 M3 64才 蓮覚寺 7丁 2冊
古屋喜市郎（永一） 三左衛門永信 300石 M3 13才 宗徳寺 9丁
古屋比毋（和久） 晋左衛門和寿 400石 M3 56才 宗徳寺 7丁 2冊
古屋清太郎 和久 400石 M6 11才 宗徳寺 6丁
古屋清太郎（篤義） 安左衛門篤行 50石 M3 24才 蓮覚寺 7丁 2冊
古屋唯右衛門（安定） 三右衛門 120石 M2 31才 蓮覚寺 9丁
古屋鉄脇（諧孝） 杢保興 60俵 M3 41才 宗徳寺 7丁
古屋壽太郎（安止） 唯右衛門安定 120石 M4 12才 蓮覚寺 6丁 3冊
古屋徳三郎（徳兵衛，定平） 七三郎 15俵 M3 36才 光教寺 3丁
古屋虎他郎（克寛） 小源太美員 500石 M3 17才 宗徳寺 11丁
（帙 496）不破卯之吉（方一） 千之丞方行 100石 M3 48才 妙法寺 6丁
不破一雄（貫兵衛，致知） 知休端義 150石 M3 55才 宝泉坊 7丁
不破加平（時帥） 清五時易 100石 M3 27才 妙法寺 13丁
不破勘平（源蔵，時則） 源六郎時理 6人扶持 M3 27才 妙法寺 4丁
不破義重郎（敏行） 太三之次 40俵 M3 28才 月心寺 14丁
不破儀門（儀左衛門，元幸） 儀左衛門元直 50石 M3 36才 光覚寺 8丁
不破金五郎（謙） 亮三郎貞順 200石 M3 25才 広誓寺 5丁
不破久米雄（方久） 卯之吉 17人扶持 M3 36才 妙法寺 10丁
不破庫太（弥左衛門，照明） 爲斉照信 7人扶持 M3 63才 開禅寺 7丁 2冊
不破啓太郎（定友） 久左衛門篤友 280石 M3 39才 妙法寺 13丁
不破健山（健五郎，明富） 勘三郎直勝 130石 M3 62才 瑞雲寺 14丁
不破巌太郎（宣刀） 丈右衛門宣著 35俵 M3 29才 6丁

不 破 源六郎（時理） 紋左時敏 50石 M3 47才 妙法寺 9丁 2冊
不 破 殷（照次） 弥左衛門照明 4人扶持 M3 29才 開禅寺 12丁 2冊
不 破 五 助 和楽 500石 M6 広誓寺 19丁
(帙 497) 不 破 銷 吉 文作 10人扶持 M6 22才 全昌寺 4丁
不 破 七 平（光重） 吉左衛門光暢 100石 M3 29才 法船寺 9丁
不 破 丈吉郎（丈右衛門，宣著） 由左衛門定廉 200石 M3 53才 立像寺 13丁
不 破 生 八（元直） 有終 50石 天保4 34才 光覚寺 8丁
不 破 四 郎（四郎左衛門，守克） 四郎左衛門貞次 45俵 M3 73才 本法寺 9丁
不 破 甚九郎 守克 45俵 M6 25才 本法寺 7丁
不 破 建（安左衛門，艮則） 頼母則貞 200石 M3 40才 本光寺 11丁
不 破 清三郎 儀門 50石 M6 7才 光覚寺 9丁
不 破 誠 三（巳之助，永清） 三郎兵衛永元 150石 M3 38才 月心寺 12丁
不 破 雙 二（半蔵，義次） 権佐信敏 1,000石 M3 23才 全昌寺 20丁
不 破 太 三（多蔵，之次） 宇兵衛之貞 150石 M3 56才 月心寺 12丁
(帙 498) 不 破 屯（光次） 五郎兵衛光輝 330石 M3 47才 法船寺 12丁
不 破 鉄 吉（有） 七鋳郎有重 200石 M3 10才 本光寺 9丁
不破 外喜次郎（好謙） 秀之進盈貫 250石 M3 13才 宝泉坊 6丁
不 破 外久馬（致明） 一雄致知 150石 M4 19才 宝泉坊 7丁
不 破 外世次郎（富安） 建山明富 130石 M4 15才 瑞雲寺 8丁
不 破 直吉郎（正範） 久三郎直勝 100石 M3 43才 妙法寺 9丁
不 破 直 作（修本） 平太郎敬直 180石 M3 21才 浄住寺 9丁
不 破 判 六（厚隆） 加兵衛廉 500石 M3 44才 三宝寺 16丁
不 破 彦 三（為儀） 彦三為貫 4,500石 M3 49才 広誓寺 17丁 4冊
不 破 彦 八（八之進，久重） 八之丞友寿 35俵 M3 34才 本法寺 12丁
不 破 久 吉（正保） 万吉 150石 M4 13才 松月寺 9丁
不 破 栄 末（知弘） 吉大夫政武 3人扶持 M3 29才 光覚寺 3丁
不 破 文 作（直一） 文中経徳 10人扶持 M3 48才 全昌寺 11丁
(帙499) 不 破 元太郎（久重） 多蔵 60俵 M3 36才 月心寺 9丁
不 破 弥三丞（知弘） 吉太夫 3人扶持 M3 29才 光覚寺 3丁
不 破 祐 吉（守英） 新右衛門守平 5人扶持 M3 45才 本法寺 5丁
不 破 弥三郎（貞順） 東左衛門貞時 700石 M3 41才 広誓寺 23丁
不 破 良太郎（和忠） 勘六郎和英 80石 M3 15才 本法寺 9丁
不 破 廉太郎（之次） 富太郎友風 100石 M3 21才 妙法寺 8丁
不 破 和三郎（方義） 外次郎方之 500石 M3 47才 広誓寺 9丁

へ 行

逸 見 閑三郎 嘉種 110石 M7 23才 国泰寺 8丁
逸 見 啓（次郎左衛門，種章） 宇兵衛種樹 130石 M3 49才 国泰寺 7丁
逸 見 全 三（種徳） 源左衛門種章 100石 M3 49才 国泰寺 10丁 2冊
逸 見 休（種栄） 源左衛門種章 180石 M3 61才 国泰寺 9丁 2冊

ほ 行

(帙 500) 宝 橋 他三郎（昌清） 伊三郎 12俵 M4 25才 弘願院 3丁 2冊

宝島津志馬（専直） 25俵 M3 28才 敬栄寺 4丁
宝島伝作（村久） 伝内 15俵 M4 18才 浄誓寺 5丁
北条伊平（勝孝） 徳兵衛 2人扶持 M4 59才 本福寺 3丁
北条時良（三一，四郎，良永） 条助 7人扶持 M3 22才 妙典寺 8丁
星野茂兵衛（暗親） 庄太郎 5人扶持 M2 45才 大法寺 8丁
星山辰三郎（直元） 庄大夫 10人扶持 安政5 30才 6丁
細井金衛（汲音，有正） 弥三郎 23俵 M4 48才 真成寺 4丁
細井政久（康平） 鉄精政房 400石 M3 21才 広誓寺 10丁
細川玄重（直記，玄重） 孝助玄象 35俵 M3 34才 宝性寺 12丁
細木茂（一久） 彦右衛門 20俵 M3 35才 遣覚寺 6丁
細木哲二郎（正義） 伝次郎 15俵 M3 20才 瑞泉寺 6丁
細田衛門（忠政） 七左衛門 50石 M2 31才 光覚寺 11丁
細田朝則（宇太郎） 徳左衛門 18俵 M3 25才 得蔵寺 4丁
細野千次郎（尚貞） 四郎左衛門 5人扶持 M2 52才 広誓寺 5丁
細野卓孝（弥三郎） 弥兵衛直安 35石 M3 41才 静明寺 8丁 2冊
細野直重（潤次郎） 治郎左衛門 100石 M3 34才 広誓寺 8丁
細野半兵衛（温良） 権兵衛 60石 慶応3 51才 本行寺 9丁
細野半六（助左衛門，良信） 半兵衛 温良 60石 M3 18才 本行寺 9丁
（帙501） 堀栄太郎（且平） 早太透成 5人扶持 M4 12才 瑞光寺 7丁
堀景定（渉，昇蔵） 善蔵政好 50俵 M3 34才 6丁
堀嘉十郎（盛義） 幸治 15俵 M3 15才 上宮寺 5丁
堀一喜（掃部，秀敬） 五兵衛 150石 M3 28才 瑞雲寺 6丁 2冊
堀寛兵衛（於治） 左太夫貞光 7人扶持 M3 35才 西源寺 7丁
堀寛兵衛（直幸） 四郎太夫 5石 安政4 34才 本行寺 2丁
堀久次郎（定一） 茂右衛門 20俵 12才 本因寺 7丁
堀啓次郎 霞 10石 M7 8才 全性寺 7丁
堀源左衛門（久章） 津太夫久道 7人扶持 慶応2 24才 5丁
堀元三郎（久孝） 善八 20俵 M3 23才 大円寺 6丁
堀剛作（友直） 右衛門 20俵 M3 19才 西照寺 9丁
堀孝子郎（誠之） 久太夫 7人扶持 文久3 38才 上宮寺 9丁
堀五平（葛之助忠之） 団右衛門 20俵 M3 42才 全性寺 7丁
堀重十郎（金左衛門，金定） 源太郎 15俵 M3 53才 光福寺 3丁
堀成一（徳三郎，成広） 与八郎成和 150石 M3 25才 妙応寺 16丁
堀清平（清太夫，一之） 鉄之助 20俵 M3 32才 本行寺 5丁
堀誠摩（正施） 嘉左衛門 110石 文久3 22才 立像寺 10丁
堀善六（信岡） 仁左衛門 15俵 M3 27才 浄行寺 4丁
堀忠知（八郎左衛門，準作） 作兵衛 20俵 M3 40才 西照寺 8丁
（帙502） 堀鉄太郎（儀一） 定八 80石 安政6 17才 鶴林寺 10丁
堀寿晟（寒六，久章） 津太夫 久道 7人扶持 M4 29才 智覚寺 4丁
堀友太郎（昌正） 又左衛門 15俵 M3 19才 西照寺 9丁
堀信正（才二郎，信正） 佐平賛 200石 M4 17才 照国寺 8丁
堀信義（与右衛門，信義） 清左衛門鎮定 170石 M3 32才 瑞光寺 12丁

堀　武平（宏）源五兵衛　40石　M2　37才　15丁
堀　文平（葉斎）葉崖　9人扶持　文久3　18才　普願寺　4丁
堀　兵太郎（存誠）　孝子郎　2人扶持　M2　17才　上宮寺　3丁
堀　政忠（良三）　適政保　300石　M3　27才　浄安寺　12丁
堀　正幸（徳之助）　喜太夫　20俵　M3　32才　実成寺　8丁
堀　元右衛門（透成）　順八　5人扶持　安政4　41才　瑞光寺　10丁
堀　盛信（虎次郎）　八十左衛門　盛忠　6人扶持　M3　37才　妙法寺　7丁
堀　八重豊作　20俵　M7　4才　徳善寺　2丁
堀　弥十吉　勝忠　20俵　M7　8才　本妙寺　5丁
堀　与右衛門（信義）　清左衛門　170石　M3　32才　瑞光寺　16丁
堀　六兵衛（豊貫）　与大夫　5人扶持　M1　29才　因徳寺　3丁
堀内喜参（成富）彦左衛門　2人扶持　M4　13才　本行寺　9丁
堀内源五右衛門（是弊）　源右衛門　50石　M2　43才　9丁
（帙503）堀内七郎兵衛（銀次郎，政景）　宇太夫　10人扶持　元治1　34才　悦叟寺　6丁
堀内　深（定保）　甚七　15俵　M3　21才　仰西寺　6丁
堀尾直太郎（晴只）　九兵衛　6人扶持　M3　11才　希翁院　5丁
堀岡録平（守忠）　源八　7人扶持　M2　36才　願楽寺　5丁
堀口弐人（貞明）　伴右衛門　3人扶持　M2　16才　広済寺　3丁
堀口判十郎（伴右衛門，良房）　次郎左衛門　70石　M2　39才　広済寺　8丁
堀部　隆政道　170石　M7　23才　宝勝寺　6丁
堀村与六郎亘　11俵　M7　11才　徳栄寺　3丁

本阿弥清義（多嘉雄，清儀）　俊策之廉　300石　M4　19才　経王寺　7丁　2冊
本江資清（幸三郎）　宗五郎　18俵　M3　42才　光専寺　5丁
本江友次　次芳　15俵　M5　1才　光専寺　3丁
本郷善太郎（忠秋）　善吉　15俵　M3　19才　瑞泉寺　3丁
本郷武道（茂多，政房）　茂次　15俵　M3　18才　勝与寺　3丁
本郷鉄太郎　安貞　25俵　M7　16才　本覚寺　4丁
本郷本茂（浅右衛門）　半右衛門　8俵　M3　46才　空泉寺　5丁
本郷与八郎（喜之）　孫八　11俵　M3　40才　西光寺　4丁
本庄三郎兵衛（長廉）　円兵衛　80石　元治2　45才　高岩寺　19丁
本庄　寛（彦四郎，長畝）　治六郎長廉　80石　M3　12才　高巌寺　9丁
本庄道規（鍋吉，道挙）　喜左衛門政挙　100石　M3　19才　妙正寺　7丁
（帙504）本多　葵　周居六　1,000石　M6　21才　大乗寺　8丁
本多　衛（政養）　主水政基　3,000石　M3　27才　9丁
本多貞五郎　（政醇）　10,000万石　M6　2才　大乗寺　12丁
本多政明（要）　政和　200俵　M4　29才　大乗寺　5丁
本多政以（資松）　政均　50,000万石　M3　7才　大乗寺　16丁　2冊
本多政正（栄五郎）　政均　200俵　M4　5才　大乗寺　5丁
本多政由（悌三郎）　政均　200俵　M4　5才　大乗寺　5丁
本多政之　弥一　500石　M6　11才　大乗寺　5丁
本多　芳　衛政養　3,000石　M7　5才　大乗寺　9丁
誉田鹿角（頼道）　甚五兵衛定寛　80石　M3　44才　恵眼寺　10丁　2冊

(帙 505) 本保久安（久五郎安倖） 甚六郎 150石 M3 40才 妙成寺 9丁
本保正徳（孫八郎） 平太夫全昌 450石 M3 40才 妙成寺 16丁
本保好方（才三郎，左膳） 雅楽助 500石 M3 妙成寺 6丁
本保令儀（松次郎） 十太夫有隣 1,800石 M3 26才 妙成寺 10丁
本保遂良（外次郎） 政五郎 250石 M3 37才 妙成寺 16丁
本間けん 武七郎 10石 M8 15才 妙典寺 3丁
本間軌久 軌房 20石 M6 妙慶寺 5丁
本間軌房（八十八） 八十左衛門軌一 60石 M3 妙慶寺 8丁
本間冒太郎（清重） 冒大太 2人扶持 M3 5才 本因寺 5丁
本間宗之進（保道） 伝助 6人扶持 M3 55才 本因寺 4丁

ま 行

(帙 506) 前川栄次郎（守之） 宇右衛門守正 50俵 M3 21才 実成寺 7丁
前川佐太郎（武久） 佐太郎 20俵 M4 37才 立像寺 5丁
前川三郎（一以） 佐左衛門 30俵 M3 34才 円光寺 9丁
前川忠藤（清忠） 忠兵衛 25俵 M3 26才 勝満寺 4丁
前川秀三（則次） 兵衛 25俵 M3 26才 円光寺 5丁
前川 湊（閤） 畳左衛門 M4 27才 瑞光寺 3丁
前川畳進（義厚） 畳左衛門義正 50石 文久3 瑞光寺 3丁
前[illegible]渉（根長） 清三郎根勝 180石 M3 妙国寺 8丁
前田音吉（道知） 丹斉道章 86俵 M4 34才 月照寺 4丁 2冊
前田 幹 支峰 100石 M3 29才 5丁
前田貫一郎（錦松） 新之丞 150石 M3 23才 玉竜寺 10丁 2冊
前田規矩男（厳，知行） 斧五郎文済 170石 M3 25才 妙国寺 10丁
前田橘三（孝和） 静斉孝備 2,500石 M3 17才 21丁 2冊
前田銀三郎（正孝） 清九郎正房 300石 M3 27才 雲竜寺 14丁 2冊
(帙 507) 前田源三（源左衛門，直諒） 勘右衛門直孝 150石 M3 41才 玉竜寺 13丁 2冊
前田孝次郎（孝友） 兵部孝享 4,000石 M4 33才 16丁 2冊
前田才次郎（直時） 小左衛門 80石 M3 38才 専念寺 5丁 2冊
前田貞事 中務貞道 7,000石 弘化4 53才 11丁
前田左平（左兵衛，直毅） 500石 M3 41才 桃雲寺 10丁
前田三吉（直信） 静之介直会 11,000石 M4 31才 桃雲寺 37丁 2冊
前田孫八郎（信兆） 直信 200石 M3 10才 桃雲寺 6丁 2冊
前田七十郎（高茂） 助大夫高也 40石 M3 19才 12丁 2冊
(帙 508) 前田七郎（主馬，直温） 主馬玄前 1,500石 M3 41才 竜淵寺 16丁 2冊
前田瞬一（万之輔知足） 倉松知哲 6,000石 M3 18才 宝円寺 16丁
前田潤屋（監物，孝央） 忠山翁孝連 3,000石 M3 22才 15丁 2冊
前田祥五郎（孝朝） 求馬孝直 80石 M3 31才 玉竜寺 13丁 2冊
前田 晋（内蔵太，孝錫） 内蔵助孝保 3,000石 M3 40才 14丁 2冊
前田民男（定正） 甚左衛門定信 150石 M3 43才 雲竜寺 13丁 2冊
(帙 509) 前田常五郎 無為 84石 M7 13才 実性院 7丁 2冊
前田兵太郎（正固） 脇五郎政幹 300石 M3 48才 禅栖院 11丁 2冊
前田鋼吉郎（徳基） 脇五郎政幹 80石 M3 40才 禅栖院 5丁 2冊

前田 外喜男（孝階） 忠山翁高連 50俵 M4 12才 5丁 2冊
前田 徳太郎（和道） 弥五作和明 350石 M3 45才 雲竜寺 15丁 2冊
前田 晴見（将監，恒敬） 清友斎恒風 3,400石 M3 42才 玉竜寺 14丁 2冊
前田 左平（左兵衛，直毅） 一毛斎直政 500石 M3 41才 桃雲寺 11丁
(帙 510) 前田 孫六（国規） 式部矩正 3,000石 M4 55才 宝円寺 9丁
前田 政治（規遵）孫六国規 3,000石 M4 20才 宝円寺 9丁
前田 又記（織江，道益） 丹斎道章 7,000石 M3 48才 月照寺 25丁 2冊
前田 又勝（貞発） 図書貞事 7,000石 M3 29才 15丁
前田 門次郎（季方） 主膳季久 2,450石 M3 20才 太岩寺 12丁 2冊
前田 豊（弾番，孝敬） 大炊孝中 18,000石 M3 24才 21丁 2冊
前田 与平次（兵左衛門，親重） 一学則親 80石 M3 46才 玉竜寺 9丁 3冊
(帙 511) 前波 喜平（荘右衛門，為信） 喜三右衛門為憲 60石 M3 53才 静明寺 7丁
前波 義六（清太夫，義陳） 清左衛門 35俵 M3 56才 高岸寺 8丁
前波 瀬八郎（景澄） 与三左衛門景道 300石 M3 22才 宝円寺 10丁
前波 信英 為信 60石 M8 25才 静明寺 6丁
前波 文次郎（政之丞，富佐） 儀六 20俵 M3 52才 西光寺 6丁
前波 与市郎（成正） 兵助 15俵 M3 35才 祐専寺 5丁
前波 和作（和兵衛，正忠） 助丞正之 150石 M3 30才 承証寺 10丁
前野 和重郎（房平） 清五郎 20俵 M3 67才 本浄寺 4丁
前村 和一郎（信安） 次市兵衛 15俵 M3 37才 光専寺 3丁
馬替 四郎平（正次）四郎右衛門 15俵 M3 34才 専光寺 3丁
牧 嘉平次（達聡） 金吾喜之 100石 M4 44才 常松寺 4丁
牧 機一（藤五郎，良益） 鉋次郎 20俵 M4 23才 浄智寺 9丁
牧 喜三郎（於十代，茂勝） 吉左衛門 15俵 M3 18才 法照寺 4丁
牧 喜太郎（節義） 惣左衛門 15俵 M3 20才 西方寺 4丁
牧 橘 男（有一） 昌逸 7人扶持 M3 50才 名願寺 6丁
牧 謙（彦左衛門，忠種） 酔翁忠次 150石 M3 32才 東光院 16丁
牧 喜老久（喜三郎，忠久） 弥三右衛門 15俵 M3 32才 慶恩寺
牧 憲（助太郎，鎌政） 与兵衛 15俵 M3 21才 常福寺 3丁
牧 治三郎（行次） 順慶 3人扶持 M3 15才 名願寺 5丁
牧 昌平（近知） 昌逸 53俵 M3 63才 名願寺 6丁
牧 初左衛門（昌五郎，正直） 善兵衛 10俵 M4 33才 常福寺 3丁
牧 末松（孝友） 卯之助孝一 60俵 M3 29才 善徳寺 5丁
牧 清次郎（定善） 九兵衛 10俵 M3 23才 妙照寺 5丁
牧 清三（清蔵，勝清） 吉左衛門 15俵 M3 24才 法照寺 4丁
(帙 512) 牧 外松（政親） 吉之助惟和 50俵 M3 30才 全性寺 7丁
牧 忠平（久一） 忠蔵 11俵 M4 49才 大蓮寺 7丁
牧 常太郎（貞安） 少之進 3人扶持 M3 21才 名願寺 4丁
牧 篤治郎（武福） 吉之助惟和 50俵 M3 41才 全性寺 10丁
牧 虎一郎（一明）八百七 25俵 M3 23才 本行寺 7丁
牧 八郎（元久） 佐助 8俵 M5 40才 光徳寺 4丁

牧　穂坂（次郎右衛門，勝政）　吉左衛門　15俵　M3　31才　法照寺　3丁
牧　宗喜（森清）　知左衛門森次　50石　M4　57才　本因寺　5丁
牧　八百七（孝忠）　卯之助孝一　100石　M3　51才　善徳寺　8丁
牧　康造（茂景）　順慶　2人扶持　M3　21才　名願寺　5丁
牧　与作（少之進，貞一）　栄佐　4人扶持　M3　56才　名願寺　5丁
牧　龍平（盈寿）昌斎　3人扶持　M3　20才　名願寺　5丁
牧田次郎作　和平　1人半扶持　M2　25才　真成寺　2丁
牧田将英　一吉　7人扶持　M5　29才　真成寺　6丁
牧田和平（一吉）　瀬太夫　7人扶持　M3　60才　真成寺　5丁　2冊
巻田吉郎（信重）　清左衛門信儀　45石　M3　23才　安立寺　5丁
（帙513）牧野加治男（好正）　道清信義　5人扶持　M3　56才　灯明庵　4丁　2冊
牧野吉郎（致吉）　彦七致政　10俵　M3　30才　正福寺　5丁　2冊
牧野粂太郎（永正）　清之丞　20俵　M3　40才　西源寺　5丁
牧野源三郎（久吉）　佐左衛門　30石　慶応2　11才　2丁
牧野才三郎（知政）　牧野　90石　M3　24才　如来寺　7丁
牧野三之丞　（習之）将曽　10人扶持　M3　50才　永福寺　8丁
牧野次録（重国）　与三右衛門　5人扶持　M4　40才　常福寺　4丁
牧野甚平（治氏）　十郎左衛門正治　5人扶持　M3　27才　浄安寺　6丁　2冊
牧野鎗次郎（虎之）　三之丞　5石　M3　21才　永福寺　2丁
牧野将曹（習之）　将曹由之　10人扶持　M3　50才　永福寺　8丁
牧野　貢（勘左衛門，胤英）　弥五作　為英　100石　M3　40才　永福寺　5丁　2冊
牧野余吉郎（包道）　岩五郎　22俵　M4　25才　願念寺　5丁
牧野与四郎（忠仲）　太兵衛　15俵　M3　30才　常福寺　4丁
牧野六郎（佐左衛門，久道）　佐左衛門久信　150石　M3　49才　永福寺　10丁　2冊
牧林知重　平次　40石　M7　18才　本浄寺　4丁
牧林平次（平兵衛，平之進，致知）　藤兵衛　40石　M3　49才　本浄寺　4丁　3冊
（帙514）牧村久四郎（久之）　茂兵衛　15俵　M3　39才　聖泉寺　4丁
牧村幸太郎（茂定）　辰左衛門　20俵　M3　22才　三光寺　8丁
牧村善八（一久）　仁左衛門　4人扶持　M5　51才　常福寺　3丁　2冊
牧村与三郎（清勝）　辰左衛門　20俵　M4　15才　三光寺　8丁
牧山新六（六郎左衛門，安親）　安佑信久　50石　M3　60才　妙法寺　5丁
間口健次郎（昌浄）　七之助　20俵　M2　41才　高岸寺　9丁
正木栄太郎（久幸）　仁右衛門　18俵　M3　31才　大円寺　4丁
正木吉次郎（祐之）　鉄之助　20俵　M3　円光寺　4丁
正木安一　滝右衛門　20俵　M3　53才　専通寺　4丁
正木九重郎　安一　10石　M8　28才　林幽寺　3丁
正木治三郎（一信）　勇蔵信重　41石　M3　24才　静明寺　7丁
柾木九八（正成）　太七　15俵　M3　26才　西源寺　3丁
正谷忠次（能則）　弥平兵　15俵　M3　25才　長福寺　3丁
政見次郎吉（忠春）　次郎右衛門　15俵　M3　30才　上宮寺　3丁

正村市太郎（賢保） 勘兵衛 18俵 M3 20才 西勝寺 4丁
増井七三郎（是一） 太三右衛門. 15俵 M3 25才 敬栄寺 4丁
増井太吉郎（正之） 由兵衛 15俵 M3 25才 専光寺 6丁
増井孫太郎（郷之） 孫右衛門 15俵 M3 26才 専光寺 3丁
増井政吉（正成） 次左衛門 15俵 M3 30才 本覚寺 5丁
増江喜平次（喜右衛門，久牛） 喜右衛門 15俵 M3 41才 本竜寺 4丁
増江平五郎（季邦） 喜右衛門 15俵 M3 19才 本竜寺 3丁
升崎架也（半左衛門，止敬） 宇兵衛 5人扶持 M4 46才 善福寺 4丁
升崎柏葉（茂次） 孫市 2人扶持 M4 22才 善福寺 4丁
升崎孫市（茂郷） 宇兵衛 17俵 M3 53才 善福寺 3丁
増崎与吉（則善） 六兵衛 15俵 M3 24才 瑞泉寺 3丁
（帙515） 増田一万（啓迪） 九兵衛啓行 100石 M3 35才 立像寺 9丁
増田岩五郎（知春） 宇八郎 19俵 M4 28才 光専寺 5丁
増田栄三郎（清石） 三郎右衛門 15俵 M3 46才 智覚寺 4丁
増田円作（円蔵，之正） 孫右衛門 18俵 M3 52才 上宮寺 5丁
増田一男（長兵衛，清続） 小右衛門 15俵 M3 42才 寿願寺 4丁
増田嘉平（交明） 嘉右衛門 4人扶持 M4 49才 立円寺 4丁
増田儀重郎（為久） 儀右衛門 20俵 M3 28才 長徳寺 4丁
増田喜内（景貞） 半平景福 100石 M3 30才 鶴林寺 8丁 2冊
増田久平（忠住） 金助 20俵 M3 69才 光徳寺 6丁
増田啓太郎 忠安 15俵 M7 6才 福念寺 4丁
増田耕作（長民） 宗兵衛 7人扶持 M3 52才 鶴林寺 4丁 2冊
増田三作（知幾） 喜三八知貞 40俵 M4 37才 立像寺 13丁
増田親太郎 千三郎 20俵 M5 18才 西照寺 6丁
増田政五郎（久安） 吉次郎 15俵 M3 34才 福念寺 4丁
増田千三郎（辰久） 千丞 20俵 M3 43才 西照寺 6丁
増田琢磨（敏卿） 沖右衛門卿善 50石 M3 38才 宝勝寺 8丁
増田常三（常右衛門，義休） 岡右衛門 25俵 M3 55才 西照寺 6丁
増田藤吉郎（清之助，好章） 右太夫 25俵 M3 38才 静明寺 9丁
増田蠶作（友乗） 宇平次信定 30俵 M3 27才 立円寺 6丁
増田八郎（八郎兵衛，平忠） 八郎兵衛 9俵 M4 61才 光専寺 3丁
増田隼見（長久） 宗兵衛長祥 5人扶持 M3 42才 鶴林寺 6丁 2冊
増田孫朔（惟一） 孫七 25俵 M3 41才 上宮寺 4丁
（帙516） 増田又次郎 久平 20俵 M5 12才 光徳寺 6丁
増田茂利作（晴永） 藤吉郎 20俵 M3 24才 専勝寺 8丁
増田弥平（高則） 助左衛門安敦 5人扶持 M3 42才 立像寺 5丁 2冊
増田米吉郎（米之丞，信勝） 弥左衛門 20俵 M3 25才 浄明寺 4丁
増田与平（与兵衛，宗次） 大作珍強 40俵 M3 39才 立円寺 9丁
升田弥平（正弘） 平吉 10俵 M4 37才 長徳寺 5丁
増永金太郎（勝清） 2人扶持 M4 18才 崇禅寺 3丁
増野吉太郎（勝由） 次郎兵衛 10俵 M3 36才 専光寺 4丁
増野幸次郎（一春） 嘉兵衛 15俵 M3 26才 極楽寺 3丁

増野藤吉（唯宣） 藤九郎 24俵 M4 38才 浄照寺 7丁

増野文三郎（友信） 忠兵衛 15俵 M3 24才 専光寺 4丁

増野文次郎（義春） 嘉兵衛 20俵 M3 41才 極楽寺 4丁

増穂恒男（永年） 幸平政直 23俵 M3 52才 乗光寺 7丁

升村金二郎（助作，一義） 助七 15俵 M3 24才 真教寺 3丁

升村与十郎（良貞） 作之丞 12俵 M5 37才 浄照寺 5丁

桝村　功（久知） 治三郎 15俵 M4 19才 常松寺 7丁

桝村伊三郎（義方） 仁之助 15俵 M3 29才 慶恩寺 3丁

桝村　勇（定勝） 勇次郎 15俵 M3 20才 慶覚寺 4丁

桝村市郎（厚） 市平 25俵 M4 29才 妙典寺 7丁

桝村宇平（知久） 作之丞 6俵 M4 32才 慶覚寺 5丁

桝村栄之助（幸成） 寿六 50石 慶応4 19才 光教寺 5丁

桝村喜久次（鉄之助，正一） 九右衛門 15俵 M3 40才 光教寺 6丁

増村久次郎（正忠） 仁兵衛 15俵 M3 24才 瑞泉寺 4丁

増村健太郎 厚 25俵 M6 12才 妙典寺 4丁

増村　栄（幸成） 寿六当幸 50石 M3 光教寺 7丁

（呉517） **増村甚三郎**（道久） 喜四丞 25俵 M3 24才 妙典寺 8丁

増村甚之丞（常信） 宝左衛門 2人扶持 M3 29才 善福寺 6丁

増村政次郎（喜三助，政則） 徳左衛門 15俵 M3 35才 西源寺 4丁

増村　民 季為 10石 M8 8才 東本願寺別院 5丁

増村藤作（藤綱） 五右衛門 4人扶持 M4 29才 道林寺 2丁

増村豊作（惣左衛門，英好） 敬左衛門 25俵 M3 64才 妙典寺 4丁

増村宝次（常幟） 宝左衛門常久 12俵 M3 30才 善福寺 5丁

増村茂三郎（季為） 茂一郎 30俵 M3 43才 東本願寺別院 6丁

増本次郎作（則一） 和平 15俵 M3 28才 徳栄寺 4丁

増本惣吉（行孝） 善朔 20俵 M4 27才 専光寺 4丁

増山運平（善兵衛，奉忠，善太郎） 善兵衛奉久 7人扶持 M3 44才 瑞泉寺 5丁 2冊

増山太見男（太左衛門，義直） 太左衛門 25俵 M3 48才 西光寺 3丁

俣沢邦太郎（保景） 四郎兵衛 18俵 M3 41才 光専寺 4丁

俣野勘六（正次） 七之丞 12俵 M4 39才 等願寺 6丁

町村鍬作（至戎） 喜多作富喬 50石 M3 25才 法光寺 8丁 2冊

松井栄五郎（栄太郎，義次） 幸左衛門 15俵 M3 18俵 専長寺 4丁

松井音男（栄行） 新助 15俵 M4 40才 道林寺 4丁

松井数馬（直善） 六左衛門 35石 M3 31才 円長寺 4丁

松井勝太郎（正景） 安太郎 20俵 M3 19才 西方寺 6丁

松井喜十郎（一守） 喜平次 20俵 M3 28才 徳竜寺 4丁

松井喜平（喜左衛門，和喜） 喜平次 20俵 M3 30才 徳竜寺 7丁

松井久平（保忠） 甚四郎 20俵 M5 25才 西方寺 6丁

（帙518） **松井清喜三**（通和） 喜蔵 23俵 4M 45才 浄誓寺 7丁

松井金三郎（信久） 貞之丞 20俵 M4 15才 本法寺 4丁

松井銀二郎（静之） 次郎右衛門 20俵 M3 26才 慶恩寺 5丁

松井健二郎（知定） 知久 35俵 M3

18才　徳竜寺　9丁
松井孝次（孝之助，勝幸）　喜三郎　20俵　M3　23才　徳竜寺　8丁
松井幸次郎（包義）文左衛門　30俵　M3　57才　全性寺　7丁
松井権左衛門（良正）　昌寿　60石　M1　32才　常徳寺　6丁
松井左守（慶貞）　茂棟　3人扶持　M3　36才　成学寺　8丁
松井次郎左衛門（昌久）　茂棟　8人扶持　安政1　50才　8丁
松井甚太郎（嘉定）　喜蔵　20俵　M3　55才　西方寺　6丁
松井参平（正直）　久左衛門助信　30俵　M3　45才　本法寺　6丁
松井善吉（友一）　長四郎　2人扶持　M4　38才　勧帰寺　3丁
松井双兎次郎（信勝）　貞之丞　22俵　M3　24才　実成寺　5丁
松井辰平（辰右衛門，為知）　石平秀明　40俵　M3　45才　西方寺　7丁
松井種男（昌親）　初三郎　8人扶持　M4　6才　成栄寺　8丁
松井為三郎（邑之）　誠左衛門　20俵　M3　19才　徳竜寺　6丁
松井鋳鉄（起信）　孫左衛門種盛　6人扶持　M3　44才　本覚寺　6丁
松井忠八（佐助，為由）　忠右衛門　15俵　M3　31才　専光寺　4丁
松井外茂吉　甚太郎　20俵　M6　21才　西方寺　5丁
松井宣正　安太郎宣善　30俵　M5　16才　西方寺　6丁
松井　晴　平五郎　23俵　M7　11才　本性寺　5丁
松井八郎（堯一）　昌寿元堯　40石　M3　38才　常徳寺　6丁
松井半造（津右衛門，清貞）　長兵衛　15俵　M3　42才　東本願寺別院　4丁
松井半六（智定）　宗助　4人扶持　M4　53才　常光寺　4丁
松井平五郎（種国）　平兵衛　20俵　M3　40才　本性寺　7丁
（帙519）松井茂作（茂助，愛時）　茂右衛門　25俵　M3　37才　本法寺　4丁
松井弥三郎（政勝）　清右衛門　20俵　M3　21才　立像寺　2丁
松井安太郎（宣善）　五右衛門則忠　30俵　M3　52才　西方寺　8丁
松井与三郎（虎友）　常之助　30俵　M3　52才　徳竜寺　7丁
松井嘉一（臣隣）　雅隣　63俵　M3　31才　徳竜寺　11丁
松井余所次郎　起信　6人扶持　M8　23才　法光寺　6丁
松井和三郎　金右衛門　18俵　M4　24才　光専寺　6丁
松浦栄三郎（藤助，清国）　藤助　15俵　M3　31才　照円寺　3丁
松浦九左衛門（左辟）　九左衛門　40石　M2　42才　6丁
松浦万次郎（松栄）　与右衛門　15俵　M3　18才　浄心寺　4丁
松浦与五郎（与右衛門，敏勝）　新助　15俵　M3　50才　浄心寺　3丁
松江　啓（元久）　和左衛門正一　150石　M3　42才　妙法寺　16丁
松枝十内（松太郎，義直）　十之丞　100石　M3　14才　本光寺　7丁　2冊
松枝鉄吉（信高）　七兵衛　5人扶持　慶応3　40才　鶴林寺　4丁
松尾岩次郎（豊章）　重三郎　20俵　12才　聖興寺　5丁
松尾源次郎（源兵衛，春成）　次兵衛　15俵　M3　31才　法千寺　4丁
松尾左内（善茂）　与右衛門宣善　18俵　M3　16才　乗善寺　7丁
松尾次郎吉（幸親）次郎吉　15俵　M3　41才　蓮福寺　5丁
松尾清作（幸久）　孫左衛門　2人扶持　M4　56才　光正寺　3丁
松尾武十郎（登之）　惣七　20俵　M3　21才　願念寺　6丁
松尾多次見（忠三）　伊織近徳　7人扶

持　M3　22才　唯念寺　6丁

（帙 520）松　尾　平九郎（栄義）　縫藤栄進　600石　M3　43才　善福寺　11丁

松　尾　鈁次郎（惟忠）　専助惟清　7人扶持　24才　極楽寺　4丁

松　尾　孫三郎（春正）　孫兵衛　15俵　M3　25才　知覚寺　4丁

松　尾　与　三（政勝）　平四郎　20俵　M3　18才　道林寺　6丁

松　尾　与三郎（秀正）　次郎左衛門　8俵　M4　47才　専光寺　3丁

松　尾　和吉郎（平一）　平四郎　15俵　M3　29才　仰西寺　5丁

松　岡　小三郎（輝久）　久作　20俵　M3　24才　4丁

松　岡　喜　平（保一）　吉兵衛　2人扶持　M4　40才　西勝寺　3丁

松岡五左衛門（友敬）　五左衛門　7人扶持　慶応2　28才　7丁

松　岡　小　平（輝正）　久作　20俵　M3　22才　照円寺　3丁

松　岡　三　郎（兼勝）　外吉　2人半扶持　M4　25才　善福寺　4丁

松　岡　次　吉（明満）　七右衛門　15俵　M3　21才　唯念寺　5丁

松　岡　茂　男（周助，近宗）　茂平次　15俵　M3　29才　長覚寺　5丁

松　岡　省　三（忠一）　真二　25俵　M3　33才　妙円寺　6丁

松　岡　駿　次（有与）　善左衛門　3人扶持　M4　24才　昌柳寺　3丁

松　岡　伝　吉（次右衛門，兼保）　善右衛門　3人扶持　M3　48才　唯念寺　5丁

松　岡　彦　平（一重）　彦兵衛　11俵　M4　41才　長福寺　3丁

松　岡　安　次（敦忠）　弥太夫　20俵　M3　55才　唯念寺　5丁

松　岡　勇　次（祐知）　彦次　15俵　M3　21才　善福寺　3丁

松　岡　与兵衛（孝義）　鳩之丞　5人扶持　M2　34才　常栄寺　5丁

松　岡　立　作（信定）　幸蔵　5人扶持　M3　34才　専長寺　4丁

松　川　喜十郎（一政）　善八　15俵　M3　19才　常福寺　3丁

松　川　小太郎（政貞）　清之丞政貞　150石　M3　22才　静明寺　11丁

松　川　善　八（永茂）　紺屋善助　20俵　M3　76才　常福寺　3丁

松　川　倶　勝　善八　20俵　M5　26才　常福寺　5丁

松　木　吉　三（清信）　覚之丞　15俵　M3　24才　上宮寺　3丁

（帙 521）松　木　　常（左市，惣丞，以孝）　波江　4人扶持　文久3　16才　2丁

松　木　波　江（孝友）　右左衛門則舜　70石　M3　47才　妙成寺　7丁

松　倉　喜三太（信且）　喜左衛門　5人扶持　M4　26才　西源寺　2丁

松　倉　喜三丞（信且）　喜左衛門　5人扶持　慶応2　21才　西源寺　3丁

松　倉　勇太郎　喜三太　5人扶持　M7　4才　西源寺　6丁

松　坂　一　見（恒人，善久）　権兵衛善得　60石　M3　24才　珉徳寺　6丁　2冊

松　坂　重　男（定嘉）　藤蔵　22俵　M4　18才　寿徳寺　5丁

松　坂　甚　太（行天）　甚兵衛　6人扶持　M3　23才　上宮寺　6丁

松　坂　又　吉（言智）　徳兵衛　18俵　M3　33才　西光寺　5丁

松　崎　磯二郎（友且）　与左衛門　1人半扶持　M4　23才　光福寺　3丁

松　崎　市　平（市右衛門，道能）　十左衛門　30俵　M3　59才　西照寺　6丁

松　崎　乙次郎　長之　38俵　M8　19才　西方寺　8丁

松　崎　勝太郎（嘉戻）　予一　5石　M3　20才　実成寺　3丁

松　崎　嘉　平（賢章）　吉右衛門　20俵　M3　36才　西照寺　8丁

松　崎　季三郎（正直）　善太郎時敏　800石　M3　25才　棟岳寺　15丁

松　崎　幸　造（良方）　幸左衛門　35石

M3　61才　西照寺　4丁

松崎駒太郎（長之）　交左衛門　100石　M3　67才　西方寺　8丁

松崎是助（有道）　吉左衛門　70石　M2　32才　立像寺　10丁

松崎貞親　惟親　12人扶持　M6　34才　極楽寺　10丁

松崎丈太郎（貞親）　久太夫　9俵　安政4　極楽寺　3丁

松崎清五郎（正信）　久太夫　20俵　西照寺　9丁

（帙 522）松崎土牛（徳兵衛，正久）　藤左衛門　正彰　50俵　M3　55才　極楽寺　12丁

松崎鳴海（千左衛門，平志）　18俵　M3　27才　妙国寺　4丁

松崎半四郎（昌道）　幸左衛門　5人扶持　M4　40才　妙玄寺　4丁　2冊

松崎判平（自直）　颯二武　150石　M4　25才　7丁

松崎　久（惟親）　吉郎兵衛展親　12人扶持　M3　66才　極楽寺　10丁

松崎牧太（有道）　玄左衛門有充　170石　M3　33才　立像寺　12丁

松崎予一（嘉績）　斉宮嘉忠　70石　M3　55才　実成寺　10丁

松崎瀬二（詞盛）　瀬左衛門　35俵　M3　49才　少林寺　7丁

松沢　茂（保之）　八十吉　20俵　M3　23才　光福寺　4丁

松沢甚太郎　茂　20俵　M6　13才　光福寺　6丁

松沢八十八（貞固）　源吾　11俵　M3　26才　聖興寺　4丁　2冊

松沢理平（忠之）　俵三　150石　28才　竜昌寺　6丁

松下嘉七（勝友）　嘉左衛門　20俵　M3　24才　仁随寺　4丁

松下嘉太郎（行道）　喜右衛門　20俵　M3　14才　長久寺　6丁

（帙 523）松下嘉六（武則）　与兵衛　5人扶持　M4　56才　専長寺　4丁

松下新六（良助，有好）　源八三好　18俵　M3　52才　善性寺　4丁

松下兎毛之介（義勝）　甚右衛門　20俵　M3　37才　西光寺　5丁

松島栄太郎（矩通）　直助伯印　50俵　M3　34才　円光寺　9丁

松島　運　孫三　80石　M5　33才　円光寺　12丁

松島且見（則頼）　弥三兵衛　4人扶持　M4　53才　上宮寺　4丁

松島勝見（直政）　蔵左衛門　20俵　M3　26才　即願寺　5丁　2冊

松島勘三郎（直之）　与右衛門　2人扶持　M3　蓮福寺　5丁　2冊

松島吉太郎（義一）　勘太夫　20俵　M4　23才　長善寺　5丁

松島孝三郎（実正）　九八郎実尚　40石　M3　浄然寺　5丁

松島次三郎（矩定）　波門中矩　80石　M3　法船寺　7丁

松島甚次郎（甚蔵，幸重）　甚九郎　30俵　42才　浄光寺　6丁

松島瑞碩（美実）　瑞碩金美　20人扶持　M3　40才　6丁

（帙 524）松島捨五郎（昌印）　直助伯印　40俵　M3　24才　円光寺　8丁

松島多吉郎（義勝）　甚兵衛　18俵　M3　30才　専光寺　4丁

松多島津由（一行，初之助）　17俵　M3　35才　妙福寺　5丁　2冊

松島鉄太郎（則正）　且見　2人扶持　M3　19才　上宮寺　4丁

松島仲三（仲右衛門，普次）　沖右衛門　15俵　29才　極楽寺　5丁

松島文平（文右衛門，温恭）　源右衛門温寛　7人扶持　M3　41才　等雲寺　5丁　2冊

松島孫一（杢之丞，許興，杢左衛門）　孫太夫武元　100石　M3　54才　東光院　7丁　2冊

松島孫三（信由）　甚太夫昌伯　80石　M3　70才　円光寺　11丁

松島孫喜（孫兵衛，珍儀）　十兵衛

30俵　M3　59才　妙福寺　9丁
松　島　弥太郎（春信）　次郎八　5人扶持　M4　34才　月心寺　3丁
松　島　与三次（信一）　吉太郎　9俵　M3　21才　林幽寺　5丁
（帙 525）松　田　市　次（友春）　七蔵　2人扶持　M4　63才　極楽寺　3丁
松　田　伊　平（伊左衛門，頼信）　忠左衛門信正　7人扶持　M3　60才　鶴林寺　6丁
松　田　雲　翁　嘉助　10石　M6　69才　浄哲寺　3丁
松　田　嘉治衛　秀賢　8人扶持　M6　9才　三宝寺　8丁
松　田　嘉十郎　昌行　25俵　M8　28俵　実成寺　5丁
松　田　勘　次（勘左衛門，長福）　太八郎　15俵　M3　29才　本浄寺　4丁
松　田　吉　二（吉太夫，義平）　平太夫　25俵　M3　36俵　実成寺　7丁
松　田　吉　三（吉之丞，善之）　庄右衛門　20俵　M3　43才　妙応寺　6丁
松　田　儀　平（義敬）　儀兵衛　25俵　M3　32才　東本願寺別院　12丁
松　田　喜平次（伊住）　小兵衛　8俵　M4　48才　徳竜寺　3丁
松　田　義　門（憲成）　佳蔓憲信　200石　M3　28才　本因寺　8丁
松　田　久　作（景久）　伊左衛門　2人扶持　M4　28才　光教寺　5丁
松　田　久　七（忠行）　伊兵衛　15俵　M3　28才　願念寺　3丁
松　田　久　平（明永）　栄太郎　5人扶持　M5　30才　法船寺　3丁
松　田　金五郎　伊平　7人扶持　M7　19才　鶴林寺　3丁
松　田　金太郎（義房）　平助　15俵　M3　22才　寿徳寺　3丁
松　田　熊次郎（忠行）　重兵衛　15俵　M3　28才　宝性寺　6丁
松　田　源八郎（信成）　源八郎　100石　M3　46才　妙福寺　9丁
松　田　幸四郎（政直）　幸助　11俵　M4　34才　本竜寺　4丁
松　田　幸太郎（政春）　庄助　13俵　M3　34才　願楽寺　3丁
松　田　小三郎（克之）　葦原克和　24俵　M3　16才　浄住寺　4丁
松　田　権　作（猪之助，忠勝）　吉郎太夫　25俵　M3　43才　善徳寺　6丁
松　田　三郎太（又右衛門，尚之）　大助義之　50俵　M3　51才　妙典寺　8丁　2冊
（帙 526）松　田　左　六（孝平）　随悦孝之　18俵　M3　49才　慶恩寺　4丁
松　田　　茂（嘉三郎，頼久）　茂左衛門　頼綱　50石　21才　永照寺　4丁
松　田　　繁（秀賢）　助左衛門秀恭　8人扶持　M3　50才　三宝寺　7丁
松　田　重　作（定尚）　重右衛門　10俵　M3　22才　長徳寺　3丁
松　田　順　平（昌信）　孝丞　28俵　M4　53才　長周寺　7丁
松　田　省　吾（相尹）　茂左衛門相尚　80石　M3　真成寺　7丁
松　田　庄　平（弥永）　善四郎　7俵　M4　37才　正覚寺　2丁
松　田　四　郎（四郎左衛門，保隆）　忠三郎保家　50石　M3　51才　鶴林寺　7丁
松　田　壬　作　東英　50石　M6　32才　聖興寺　5丁
松　田　新　六（克則）　葦原克和　48俵　M3　24才　浄住寺　11丁
松　田　助　進（秀賢）　助左衛門　8人扶持　安政4　34才　三宝寺　7丁
松　田　精一郎（郷憲）　昇五郎卿明　350石　M3　25才　法光寺　16丁
松　田　善太郎（貞平）　太左衛門　20俵　M3　19才　安楽寺　4丁
松　田　外　吉（忠戻）　理助　15俵　M3　28才　本竜寺　2丁
松　田　外次郎（憲一）　政吉憲之　400石　M3　33才　法光寺　10丁
松　田　泰　輔（迪戈興）　東英　3人扶持　24才　聖興寺　1丁

松田 多喜男（定勝） 駒太 20俵 M4 24才 蓮昌寺 8丁

松田 竹三郎（清政） 彦右衛門 15俵 M3 27才 西光寺 4丁

松田 太三郎（為福） 市蔵 2人扶持 M4 20才 極楽寺 3丁

松田 太平（秀一） 善四郎 8俵 M5 49才 普念寺 4丁

松田 他美男（克信） 葦原克和 25俵 M3 19才 浄住寺 4丁

松田 統（伊左衛門，信幸） 伊兵衛 32才 即願寺 4丁

松田 恒三（匡虎） 雅七長正 21俵 M4 20才 浄智寺 4丁

（帙 527） 松田 亭三郎（元渡） 新五兵衛伊元 50俵 M3 48才 妙福寺 7丁

松田 鉄吉 甚之丞 18俵 M3 17才 善福寺 5丁

松田 東英（温） 東英 50石 M3 61才 聖興寺 6丁 2冊

松田 徳次（徳右衛門，盛芳） 長兵衛 7人扶持 M4 41才 光専寺 3丁

松田 徳平（徳兵衛，得正） 左兵衛 15俵 M3 37才 東本願寺別院 3丁

松田 仲太郎（永行） 彦兵衛 15俵 M4 23才 聖興寺 5丁

松田 八郎（次郎吉，政秀） 九三 25俵 M3 30才 東光院 6丁

松田 彦太郎（忠吉） 彦助 3人半扶持 M4 45才 西大寺 6丁

松田 彦八（彦兵衛，公正） 彦右衛門 2人扶持 M3 64才 長念寺 2丁

松田 広（正知） 吉郎兵衛 2人半 扶持 M4 54才 観帰寺 4丁

松田平 作（秀一） 安三郎景行 150石 M3 32才 承証寺 10丁

松田平 朔（昌行） 紋 25俵 M3 27才 実成寺 7丁

松田 兵三郎（久之） 兵左衛門 12俵 M4 23才 専徳寺 3丁

松田平 造（祐之丞，信善） 半太夫 35俵 M3 52才 実成寺 6丁

（帙 528） 松田 孫之丞（何長） 作兵衛 2人扶持 安政7 45才 東本願寺別院 5丁

松田 孫之（何長） 作兵衛何武 2人 扶持 M4 46才 東本願寺別院 3丁

松田 雅大夫（長正） 嘉助 21俵 M3 42才 浄智寺 6丁

松田 増太郎（好之） 友右衛門成章 80石 M3 20才 瑞光寺 9丁 2冊

松田 又三郎（十左衛門，忠重） 勝三郎 恵明 22俵 M3 29才 鶴林寺 7丁

松田 元吉（七左衛門，安定） 戈右衛門 15俵 M3 46才 広済寺 6丁

松田 元三郎（美真） 七郎右衛門 20俵 M3 38才 妙願寺 4丁

松田 浦次郎（正議） 市三郎 14俵 M3 22才 瑞泉寺 3丁

松田 嘉久（永之） 喜兵衛 12俵 M4 31才 慶恩寺 5丁

松田 与八郎（喜一） 八十雄 20俵 M3 23才 本泉寺 6丁

松田 柳貞（義正） 善兵衛 12俵 M3 44才 照円寺 5丁 2冊

松田 亮三（亮蔵，之祐） 忠八 40俵 M3 31才 浄安寺 6丁

松田 緑平（佳角） 八十吉 9俵 M4 51才 経王寺 3丁

（帙 529） 松平 勝次郎（勝康） 石入定康 9俵 M3 18才 妙慶寺 9丁

松平 熊次郎（経貞） 八郎左衛門康明 90俵 M3 33才 妙慶寺 7丁

松平 潤吉（康蕃，大弐） 大弐康正 4,700石 M3 22才 16丁 3冊

松平 誠三郎 義国 20石 M7 11才 常松寺 6丁

松平 外三郎（康年） 久兵衛 1,500石 M3 13才 妙慶寺 10丁

松平 保（康保） 薙斉康貞 2,000 石 M3 24才 妙慶寺 14丁 2冊

松平 外幾三郎（定信） 永三郎祐信 180 石 M3 13才 妙慶寺 13丁

松 平 梅盛岳（義国） 吉兵衛 40俵 M 3 57才 常松寺 7丁
松 平 勇 三（義右衛門，康乂） 甚右衛門康之 150石 M3 43才 妙慶寺 14丁
松 平 和十郎（康純） 織人康道 350石 M3 29才 妙慶寺 14丁
松 谷 半 二（邦雅） 嘉兵衛 15俵 M 3 22俵 光専寺 3丁
松 寺 鶴千代（織忠） 茂兵衛 8俵 M 3 22才 勧帰寺 3丁
松 寺 茂 平（茂兵衛，茂松） 茂平 8俵 M3 58才 勧帰寺 3丁
松 戸 善太郎（勝基） 藤九郎 35俵 M 3 43才 久昌寺 6丁
（帙 530） 松 永 加久三（昌次） 久左衛門吉昌 30俵 M3 49才 常福寺 7丁
松 永 和 男（忠善） 良治郎信義 35石 M3 20才 高岸寺 8丁 2冊
松 永 亀次郎（太助） 清 15俵 M7 16才 唯然寺 6丁
松 永 菊太郎 勇次郎 2人扶持 元治2 16才 本法寺 2丁
松 永 喜三郎（一之） 長次郎 2人扶持 M4 33才 道林寺 3丁
松 永 健太郎（昌之） 権作昌広 13俵 M4 20才 浄行寺 4丁 2冊
松 永 　 稠（明義） 秀太郎 30俵 M 4 36才 明観院 3丁
松 永 　 茂（光徳） 庄蔵光知 55俵 M3 47才 本光寺 8丁
松 永 甚 吉（寛） 勘助 30俵 M3 48才 大円寺 8丁
松 永 　 鍋（宗吉） 良左衛門尚朝 12俵 M3 18才 善照坊 5丁 2冊
松 永 孫 七（孫太夫，政明） 孫兵衛 20俵 M3 49才 静明寺 4丁
松 永 萬 作（倡） 惇倡 110石 M3 46才 高岸寺 6丁
松 永 安太郎（尚秋） 恒吉 8俵 M4 瑞泉寺 4丁
松 永 弥三吉（忠秀） 弥平 5俵 M3 25才 慶覚寺 3丁
松 永 勇次郎（直寛，顕） 昌之助克寛 17俵 M3 48才 本法寺 6丁 2冊
松 永 与 作（永明） 伊助 3人扶持 M4 39才 道林寺 3丁
松 波 音 作（義以） 順作久義 70石 M3 52才 常松寺 6丁
松 波 文 太（敬久） 景栄 4人扶持 M3 53才 上宮寺 4丁 2冊
松 波 平 太（忠左衛門，義生） 丈甫義制 150石 M3 61才 立円寺 11丁
松 波 茂 吉（貞幹） 源七郎貞得 50俵 M3 32才 全性寺 8丁
（帙 531） 松 能 清 三（清左衛門，智有） 清兵衛 40石 M3 31才 東本願寺別院 3丁 2冊
松 能 忠 平（忠兵衛，忠信） 忠右衛門 7俵 M4 44才 聖興寺 4丁
松 野 喜三次（友安） 安兵衛 9俵 M 5 聖光寺 3丁
松 野 幸 作（永行） 長右衛門 8俵 M4 46才 因徳寺 4丁
松 野 小三郎（清金） 次兵衛 15俵 M 3 38才 福念寺 4丁
松 野 銭次郎（義勝） 常之助義長 7人扶持 M3 27才 西方寺 7丁
松 野 善次郎（元明） 善左衛門 8俵 M4 29才 珉徳寺 4丁
松 野 初三郎（一秀） 幸作 6俵 M4 16才 因徳寺 4丁
松 野 隼 太（助信） 庄之助直武 180石 M3 36才 正福寺 12丁
松 野 半 平（半太夫，邦祝） 伝吉 18俵 M3 47才 4丁
松 野 茂 平（直重） 長兵衛 10俵 M 4 41才 蓮福寺 3丁
松 野 六 郎（盛行） 六左衛門盛安 8人扶持 M3 41才 西方寺 6丁
松 原 伊三七（伊三左衛門，景永） 七左衛門 30俵 M3 62才 安楽寺 7丁
松 原 磯次郎（貞一） 伊三左衛門 22俵 M4 28才 安楽寺 7丁
松 原 伊太郎（茂之） 伊平 20俵 M3

15才　立像寺　5丁

松原伊平（万広）　佐助　20俵　M3　49才　立像寺　7丁

松原一記（孟敦）　鐸治郎　13俵　M4　33才　承証寺　7丁

松原告三郎（直正）　和左衛門　20俵　M4　20才　妙輪寺　6丁

松原久八（久勝）　小兵衛　10俵　M4　42才　慶恩寺　3丁

松原慶三郎（芳政）　佐一郎　20俵　M3　25才　妙輪寺　6丁

松原敬三（良作，包房）　喜惣太　20俵　M3　37才　浄行寺　6丁

松原敬太郎（武住）　敬太郎　20俵　M3　41才　6丁

（帙532）松原弘一郎（弘蔵，之一）　弘静之寿　100石　M3　20才　浄安寺　7丁

松原小四郎（行直）　平蔵　35俵　M3　47才　実成寺　9丁

松原犀之助（忠一，引馬）　引馬泰一　350石　M3　39才　高印寺　10丁　2冊

松原三平（包嘉）　三郎兵衛　30俵　M3　40才　恵光寺　7丁

松原治吉郎（景福）　弥三郎　20俵　M3　35才　慶恩寺　7丁

松原匠作（敦扶）　源兵衛義寿　25俵　M3　33才　上宮寺　6丁

松原庄太郎（一幸）　伝太郎一清　100石　M3　妙典寺　13丁

松原昌平（間平，米延）　善兵衛　8俵　M3　34才　西方寺　3丁　2冊

松原清太郎（清之介，勝定）　清左衛門　20俵　M3　12才　名願寺　4丁

松原清六（小右衛門，信之）　栄助　8俵　M4　38才　広済寺　4丁

松原孝乎　一棟　35俵　M7　29才　慶恩寺　6丁

松原繁樹（逸格，允懐）　柏庵　60石　天保8　27才　3丁

松原斧吉郎（久栄）　庄左衛門　20俵　M3　42才　浄安寺　6丁

松原放重丘（成貞）　喜右衛門道忠　15俵　M5　5才　西福寺　3丁

松原又次（浅右衛門，久方）　久左衛門直之　6人扶持　M3　52才　光覚寺　5丁　2冊

松原保三（一知）　石山一得　60俵　M3　45才　永福寺　6丁

松原八十二（勝助）　八十八　23俵　M3　21才　本長寺　8丁

松原良盛　敬太郎　20俵　M5　18才　慶恩寺　6丁

（帙533）松宮沖次（沖右衛門，沖久）　平四郎　20俵　M3　62才　西光寺　5丁

松宮軌緑（知尚）　佐兵衛　15俵　M4　39才　円長寺　2丁

松宮生而（清三郎，正徳）　小右衛門正安　700石　M3　19才　妙慶寺　14丁

松宮為告（永胤）　宗左衛門政行　130石　M3　34才　長周寺　9丁

松宮米太郎　沖久　20俵　M7　21才　西光寺　3丁

松村伊三郎（正勝）　又右衛門　3人扶持　M4　23才　慶覚寺　3丁

松村卯八郎（定原）　茂定一　11俵　M3　48才　専長寺　3丁　2冊

松村栄左衛門（清相）　十之丞　3人扶持　M3　31才　静明寺　2丁

松村覚治（儀治）　源蔵　6人扶持　M4　31才　智覚寺　3丁

松村嘉平（一之）　長四郎　3人扶持　M4　62才　慶覚寺　3丁

松村勘太夫（親之）　勘大夫　40石　M2　39才　雲竜寺　13丁

松村喜久馬（金好）　清九郎　35俵　M3　60才　本覚寺　4丁

松村吉次（吉左衛門，以成）　三郎右衛門　M3　44才　西勝寺　4丁

松村吉平（一之）　次右衛門　3人扶持　M4　36才　法船寺　3丁

松村九平（永義）　磯右衛門　3人半扶持　M4　63才　観帰寺　3丁

松村 源次郎（矩持） 源五郎 20俵 M3 35才 本覚寺 7丁

松村 小三郎（盛友） 三右衛門 9俵 M4 24才 本智寺 2丁

松村 五平（五太夫，村定） 五郎太夫 25俵 M3 77才 直乗寺 4丁

松村 三郎（茂行） 弥右衛門 15俵 M3 24才 専光寺 3丁

松村 三六（温重） 善次 8俵 M4 45才 唯念寺 5丁

松村 重三（正久） 仁左衛門 9俵 M4 39才 西源寺 2丁

松村 治作 千左衛門 8俵 M5 40才 西勝寺 3丁

松村 七郎（好正） 平助 8俵 M4 32才 瑞泉寺 4丁 2冊

松村 七郎次（喜知） 清九郎 25俵 M4 55才 常願寺 7丁

（帙534） 松村 純次郎（忠茂） 曽左衛門 15俵 M3 26才 本覚寺 5丁

松村 真太郎（義方） 曽左衛門 15俵 M3 29才 本覚寺 6丁

松村 勘（立次郎，貞勝） 松柏貞敏 12俵 M3 39才 本光寺 6丁 2冊

松村 清喜（勘左衛門，一冬） 喜左衛門 12俵 M3 74才 善徳寺 4丁

松村 清次（義一） 四郎右衛門 2人扶持 M5 31才 常福寺 3丁

松村 清馬（清春） 清吉 15俵 M3 23才 専光寺 6丁

松村 仙作（正敬） 六兵衛 8俵 M4 31才 乗善寺 3丁

松村 善十郎（善助，植朝） 善兵衛 18俵 M3 32才 専光寺 6丁

松村 善次郎（民清） 善太夫 18俵 M3 28才 専光寺 5丁

松村 仙太郎（匡時） 昌平 12俵 M3 19才 安楽寺 3丁

松村 曾三（曽左衛門，定次） 曽太夫 30俵 M3 61才 本覚寺 6丁

松村 常次郎（安忠） 和太夫 20俵 M3 20才 慶覚寺 5丁

松村 貞二（貞助，茂政） 栄助 15俵 M3 52才 願念寺 5丁

松村 信好 金好 35俵 M6 2才 常願寺 4丁

（帙535） 松村 彦三郎（宣猶） 市太郎喜之 26俵 M3 36才 浄光寺 7丁 2冊

松村 俵次郎（忠勝） 善左衛門 2人扶持 M3 40才 観敬寺 4丁

松村 又六郎（忠一） 三右衛門 20俵 M3 39才 専光寺 5丁

松村 萬（清廉） 万次清之 13俵 M3 53才 本行寺 4丁

松村 操（直右衛門，種良） 晴山房直 60石 M3 33才 広済寺 5丁 2冊

松村 緑（雅智） 義兵衛 15俵 M3 25才 崇禅寺 3丁

松村 弥作（雅休） 三郎兵衛 12俵 M4 42才 光源寺 6丁

松村 与市（久兵衛，道政） 伊右衛門 9俵 M4 25才 専光寺 3丁

松村 与吉（喜兵衛，虎勝） 権三郎 15俵 M3 25才 願称寺 2丁

松村 与作（与佐衛門，忠行） 伝兵衛 7俵 M3 35才 正覚寺 4丁 2冊

松村 余所次郎（一正） 市郎平 20俵 M3 9才 慶恩寺 4丁

松村 錬太郎（彰吉） 八郎左衛門彰 200石 M3 28才 雲竜寺 10丁

松村 六郎（一道） 清喜 8俵 M4 45才 善徳寺 4丁 2冊

（帙536） 松本 勇（宗盛） 宗兵衛 15俵 M3 32才 本覚寺 4丁

松本 伊太郎（理良） 岡右衛門 25俵 M3 36才 玄光院 5丁

松本 市太郎（正登） 戈右衛門 15俵 M3 広済寺 3丁

松本 一平（勘左衛門，定一） 勘右衛門氏房 35石 M3 39才 因徳寺 10丁 2冊

松本 亥之助（和一） 半左衛門 50石 M2 31才 珉徳寺 10丁

松本栄光（嘉延） 久平 9俵 M4 36才 立像寺 5丁

松本鉄三郎（正房） 俊一郎 18俵 M4 24才 妙慶寺 7丁

松本嘉一郎（兼定） 嘉三郎 8俵 M5 19才 向廻寺 2丁

松本覚太郎（兆貫） 忠平 20俵 M4 28才 日澄寺 6丁

松本覚平（佐茂） 栄次郎 12俵 M3 33才 善福寺 4丁

松本嘉三郎（好房） 嘉右衛門 8俵 M5 38才 向廻寺 2丁

松本梶馬（義勝） 梶右衛門 30俵 M3 51才 本覚寺 6丁

松本嘉平次（房一） 治兵衛 20俵 M3 47才 瑞光寺 7丁

松本磯右衛門（嘉幸） 小右衛門守房 40石 M3 57才 安立寺 5丁 2冊

松本喜久太（喜太夫，清茂） 喜平太 35俵 M3 58才 因徳寺 5丁

松本喜作（勝友） 文助 9俵 M4 33才 浄土寺 3丁

松本喜三郎（三郎右衛門，春吉） 嘉左衛門 20俵 M3 39才 本誓寺 6丁

松本喜三郎（嘉兵衛，孝昇） 勘右衛門 2人扶持 M3 48才 敬栄寺 3丁

松本儀三（儀蔵，良信） 五郎兵衛徳基 39俵 M3 46才 大円寺 5丁

松本喜三次（由貞） 喜兵衛 4俵 M4 65才 光専寺 4丁

松本喜三七（喜三左衛門，行久） 喜左衛門 20俵 M3 60才 安立寺 4丁

松本喜太郎（弘一） 喜太夫 20俵 M3 35才 超願寺 5丁

松本吉三郎（善景） 善右衛門 15俵 M3 17才 敬栄寺 4丁

（帙537）松本喜八郎（延直） 喜兵衛 25俵 M3 40才 因徳寺 8丁

松本喜平（喜左衛門，政行） 仁右衛門 10俵 M3 49才 常福寺 3丁

松本喜熊（勝忠） 喜三次 8俵 M4 35才 光専寺 6丁

松本久次郎（保定） 嘉平 19俵 M4 25才 専光寺 6丁

松本清（喜清） 太平善久 12俵 M3 21才 専光寺 3丁

松本蟻隆（市之丞，修照） 永三郎 23俵 M3 20才 常徳寺 6丁

松本ぎん 戈右衛門 15俵 M6 37才 広済寺 3丁

松本金太郎（栄信） 三四郎 20俵 M4 22才 東本願寺別院 5丁

松本粂次郎（房義） 平兵衛 5人扶持 M3 19才 本覚寺 4丁

松本軍平（営貞） 吉左衛門之次 7人扶持 M3 38才 本長寺 10丁

松本源七 源蔵 12俵 M4 41才 照円寺 7丁

松本源六（源左衛門，信安） 藤次郎 18俵 M3 50才 徳善寺 5丁

松本孝二（孝介，直温） 久作 60俵 M3 31才 西源寺 3丁

松本幸次郎（近友） 正作信行 35俵 M3 15才 12丁

松本幸次郎（秀賀） 幸八 23俵 M3 22才 珉徳寺 4丁

松本恒三（茂一） 弥太夫 12俵 43才 光専寺 8丁

松本耕造（時敏） 幸三郎 20俵 M3 20才 光専寺 8丁

松本幸他郎（行年） 喜作 11俵 M4 16才 正光寺 2丁

松本幸八（網賀） 吉兵衛 11俵 M4 54才 珉徳寺 4丁

松本孝平（幸之助，公守，義忠） 弥兵衛 15俵 M3 33才 正覚寺 2丁

松本五平（政久） 彦兵衛 1人半扶持 M4 慶応寺 3丁

松本駒次郎（佑冨） 清之丞 2人扶持 M4 29才 心蓮社 5丁

松本権三郎（智直） 清左衛門 25俵 M3 46才 玄光院 4丁

松本節之（節衛，正道） 兵左衛門 15俵 M3 22才 蓮華寺 7丁

松本左太郎（庸哉） 覚左衛門 20俵 M3 43才 日澄寺 6丁

（帙538）松本佐六（道王） 市郎右衛門 2人扶持 M4 44才 安楽寺 3丁

松本三四郎（親忠） 忠右衛門 30俵 M3 53才 東本願寺別院 4丁

松本七三郎（七之助，久行） 七郎 20俵 M3 12才 光専寺 4丁

松本七五三（盛定） 兵左衛門 20俵 M3 32才 蓮華寺 6丁

松本周太郎（寿一） 林蔵 20俵 M4 22才 妙法寺 6丁

松本俊一郎（兵蔵，信敏） 源左衛門 24俵 M3 妙慶寺 7丁

松本淳吉（信方） 祐三 18俵 M3 29才 瑞泉寺 7丁

松本丈五郎（満定） 丈左衛門賢正 40石 M3 西方寺 11丁

松本庄次郎（忠明，矩忠） 庄兵衛矩明 14俵 M3 30才 仰西寺 4丁 2冊

松本庄太郎（良篤） 庄右衛門 8俵 M3 18才 珉徳寺 3丁

松本次郎松（有信） 柳庵有実 40石 M3 16才 宝乗寺 4丁

松本甚七郎（当平） 八左衛門 25俵 M3 33才 浄照寺 6丁

松本慎吾（惟正） 善八 20俵 M4 24才 長徳寺 7丁

松本新平（新兵衛，維善） 源蔵 35俵 M3 62才 照円寺 5丁

松本清玉（亢行） 亢右衛門 4人扶持 M4 16才 本覚寺 3丁

松本清九郎（丈厚） 順作丈当 18俵 M3 44才 静明寺 7丁

松本清伍（清蔵，芳明） 豊作 20俵 M3 40才 因徳寺 10丁

松本清作（作三丞，豊功） 清右衛門 20俵 M3 36才 聖興寺 3丁

松本誠二（義尚） 仁六衛 14俵 M4 26才 光徳寺 3丁

松本清次郎（忠次） 伝兵衛 15俵 M3 24才 正光寺 4丁

松本清三（礼蔵，元次） 元右衛門 15俵 M3 21才 本覚寺 4丁

松本清与門 長三郎 12俵 M6 31才 西聖寺 3丁

松本善二（善右衛門，忠一） 善右衛門 25俵 M3 38才 敬栄寺 9丁

（帙539）松本双橘（義忠） 宗平 2人扶持 M4 17才 開善寺 4丁

松本宗二（知久） 所平 3人扶持 M4 39才 専光寺 3丁

松本宗次郎（人） 又兵衛 3人扶持 M4 46才 浄土寺 3丁

松本宗平（貞良） 七右衛門 8俵 M4 60才 開善寺 4丁

松本宗平（政次） 茂政徳 5人扶持 M3 36才 超願寺 5丁

松本卓爾 宝三郎 100石 M7 41才 願楽寺 7丁

松本他三郎（則安） 嘉三次茂則 50石 M3 17才 安立寺 5丁

松本辰之助（一元） 宅左衛門 2人扶持 M2 33才 円長寺 3丁

松本辰見（宅左衛門，一元） 宅左衛門元勝 12俵 M3 34才 円長寺 3丁

松本民男（和一） 半左衛門和之 60石 M3 32才 珉徳寺 7丁

松本多美男（勝秀） 儀太郎 15俵 23才 恵光寺 5丁

松本忠七（忠平，忠之丞，允亢） 与三太夫 20俵 M3 28才 瑞泉寺 5丁

松本長次（長蔵，正竹） 栄蔵 15俵 M3 44才 妙法寺 4丁

松本貞吉（庸賀） 幸八 16俵 M4 31才 珉徳寺 4丁

松本鉄吉（行安） 松本屋多吉 15俵 M3 42才 等願寺 3丁

松本鉄太郎（行正） 与右衛門 12俵 M3 20才 3丁

松本渡一郎（陳好） 喜左衛門 25俵

松本庄平（義次） 庄右衛門 2俵 M4 55才 珉徳寺 4丁

M３　31才　名願寺　10丁

松　本　東　二（原嗣，原之）　景三実採　２人扶持　M３　33才　万福寺　11丁　２冊

松　本　藤　平（忠行）　太吉　９俵　M３　43才　行雲寺　３丁

松　本　徳太郎（言正）　三三郎言恵　150石　M３　22才　西源寺　８丁

松　本　年太郎（教明）　年万有教　100石　M３　24才　極楽寺　10丁

松　本　　福　新平　18俵　M７　10才　照円寺　５丁

松　本　冨　二（輝貞）　吉平　20俵　M３　23才　上宮寺　６丁

（帙 540）松　本　友　雄（友左衛門，有儀）　如川達義　30石　M３　39才　広済寺　５丁

松　本　友　二（信清）　惣兵衛　20俵　M３　42才　浄照寺　５丁

松　本　豊　平（豊左衛門，有親）　豊左衛門富穀　80石　M３　50才　蓮昌寺　８丁　２冊

松　本　直　江（恒美）　次左衛門美方　50石　M３　30才　西源寺　11丁　２冊

松　本　二十郎（一秀）　茂三郎　18俵　M３　54才　瑞泉寺　５丁

松　本　八三郎（八兵衛，一正）　八左衛門　15俵　M３　29才　西光寺　３丁

松　本　八　郎（八郎左衛門，貞吉）　喜右衛門喜助　３人扶持　M３　27才　光誓寺　３丁　２冊

松　本　久　男（一元）　六郎兵衛　２人半扶持　M４　28才　西源寺　３丁

松　本　　弥（弥兵衛，正明）　吉大夫　20俵　M３　46才　専光寺　６丁

松　本　久　之（久助，森永）　磯左衛門　15俵　M３　27才　称名寺　３丁

松　本　文　次（安定）　文右衛門　15俵　M３　33才　禅祥寺　３丁

松　本　平　治（正房）　平兵衛　30石　M４　33才　本覚寺　４丁

松　本　平二郎（啓延）　宗太夫　20俵　M３　45才　光専寺　４丁

松　本　兵太郎（一之）　清九郎　２人扶持　M３　18才　静明寺　７丁

（帙 541）松　本　宝三郎（義賢）　鈎玄察行　100石　M３　64才　願楽寺　９丁

松　本　益　男（重左衛門，重直）　景三実採　５人扶持　M３　30才　満福寺　11丁

松　本　又五郎（近秀）　増右衛門　20俵　M３　35才　大円寺　８丁

松　本　又四郎（和久）　和明　９俵　M４　56才　瑞泉寺　３丁

松本　三男治郎（三郎右衛門，更）　九左衛門殖礼　６人扶持　M３　42才　広済寺　10丁　２冊

松　本　絞　平（紋左衛門，政勝）　孫左衛門　25俵　M３　42才　玄光院　４丁

松　本　弥　一（道，為種）　孫市右衛門為知　70石　M３　20才　了願寺　７丁　２冊

松　本　弥　作（義則）　和三郎　11俵　M３　11才　専光寺　４丁　２冊

松　本　安　二（安右衛門，剛）　惣左衛門　４人扶持　M３　23才　願念寺　３丁

松　本　安次郎（助友）　清助　９俵　M３　16才　常福寺　５丁

（帙 542）松　本　弥三次（宮延）　庄兵衛　12俵　M３　41才　西源寺　５丁

松　本　裕　三（俊）　武右衛門　18俵　M４　48才　瑞泉寺　４丁

松　本　幸　馬（昌清）　覚兵衛愛秀　35俵　M３　28才　善福寺　11丁

松　本　勇久栄（長武）　弥太夫長政　７俵　M４　37才　光専寺　５丁

松　本　与吉郎（甫忠）　熊之助甫重　28俵　M３　23才　高岩寺　９丁　２冊

松　本　与吉郎（興久）　佐吉　15俵　M３　20才　正妙寺　３丁

松　本　与三男（良久）　弥三兵衛　15俵　M３　32才　聖興寺　４丁

松　本　与　平（与兵衛，成茂）　清右衛門　15俵　M３　45才　長徳寺　３丁

松　本　頼太郎（信之）　順左衛門信清　35

俵　M3　27才　極楽寺　8丁

松本理門（如春）　理三郎如春　50俵　M3　36才　徳善寺　7丁

松本良三郎（良蔵，信忠）　吉左衛門盈信　50俵　M3　55才　西源寺　7丁　2冊

松本和三郎（義定）　作太郎　2人扶持　M2　33才　専光寺　4丁

（帙543）松山卯吉　宣重　61俵　M8　21才　松山寺　11丁

松山喜久男（喜保）　宗助　15俵　M3　27才　光専寺　5丁

松山喜十郎（忠行）　善左衛門　20俵　M3　39才　伝燈院　8丁

松山吉太郎（政成）　中兵衛　15俵　M3　27才　専徳寺　5丁

松山甚三郎（忠義）　林之丞　12俵　M3　23才　仰西寺　5丁

松山谷雄（宣辰）　錝之助　150石　M3　15才　松山寺　8丁

松山　良（多喜男，宣重）　良左衛門宣継　230石　M3　22才　松山寺　12丁　2冊

松山又五郎（則一）　孫兵衛　7俵　M4　24才　本誓寺　3丁

松山　緑（義明）　徳平　20俵　M3　22才　聖興寺　7丁

曲直瀬霸枝郎（霜庵，景福）　元策通厚　6人扶持　M3　36才　全性寺　14丁

曲直瀬安治郎（盛明）　道策　15人扶持　M3　14才　十念寺　7丁　2冊

間鍋監二（延安）　徳間　18俵　M3　24才　本誓寺　3丁

（帙544）真野宗古（規一）　宗古芳明　11人扶持　M3　60才　因徳寺　8丁

真野宗琢　宗古　11人扶持　M6　26才　因徳寺　10丁

間野霞之丞（蔀，一俊）　只右衛門一行眠鷗　45石　M3　24才　光覚寺　13丁　2冊

間野甚平（甚右衛門，敬義）　幸左衛門保明　45石　M3　38才　7丁

馬淵勘三（勘左衛門，有義）　辰五郎行信　230石　M3　浄安寺　7丁

馬淵順吉（行信）　辰五郎　60俵　M3　35才　浄安寺　6丁

馬淵昇太郎（真品）　伝次　20俵　M4　8才　妙立寺　8丁

馬淵清八（八百左衛門，董篤）　徳左衛門董栄　180石　M3　42才　本行寺　6丁　2冊

馬淵弥市郎（友生）　沖左衛門友成　90石　M3　16才　成学寺　9丁

馬淵与市（為信）　孫兵衛　12俵　M4　32才　本行寺　4丁

馬淵与三次（忠行）　吉右衛門　5俵　M4　29　才　専光寺　4丁

馬淵　渉（源蔵）　伝八郎　20俵　M3　34才　法照寺　7丁

（帙545）丸岡伝一郎（元愛）　伝四郎　18俵　M3　26才　即願寺　3丁

丸岡文華（吉兵衛，正幸）　清次郎　23俵　M3　40才　玄門寺　5丁

丸木喜平（喜兵衛，孔安）　重兵衛　7俵　M4　29才　妙法寺　4丁

丸木周太郎（安久）　秀助　10俵　M4　18才　妙法寺　3丁

丸木重平（重兵衛，孔厚）　佐兵衛　11俵　M4　53才　妙法寺　4丁

丸田長治（長之助）　源五佐衛門　20俵　M3　33才　誓円寺　11丁

丸田長平（有恪）　助左衛門　30俵　M3　56才　誓円寺　8丁

丸田兵左（兵左衛門，資道）　兵衛道義　35石　M3　40才　珉徳寺　5丁

丸谷一次（一道）　半右衛門　7俵　M4　34才　善福寺　2丁

丸山　厳（正豊）　清吉　15俵　M3　18才　東本願寺別院　3丁

丸山粂男（粂人，乗勝）　弥三左衛門　20俵　M3　21才　浄誓寺　3丁

丸山佐一郎（助義）　清吉　15俵　M3

29才　東本願寺別院　3丁
丸山慎吾（応方）　了悦応之　150石　M3　23才　光覚寺　11丁
円山錬三（致道）　叶致成　50石　M3　36才　昌柳寺　5丁　2冊

み　行

（帙546）三浦　　表（友右衛門，半太夫，道之）　源太夫道則　7人扶持　M3　36才　宝勝寺　7丁　2冊
三浦一雄　賢高　1,300石　M6　宝勝寺　9丁
三浦金次郎　源吾知孝　70石　M5　16才　宝勝寺　7丁
三浦源吾（多門，知孝）　多門知賢　70石　M3　41才　宝勝寺　7丁　2冊
三浦建次郎（高義）　孝蔵則永　25俵　M3　33才　法船寺　6丁
三浦他吉（滝法）　源太夫道則　2人扶持　M3　22才　宝勝寺　7丁　2冊
三浦鉄三郎（敏純）　伊右衛門　4人扶持　M3　36才　聖興寺　2丁　2冊
三浦八郎（八郎左衛門，賢高）　又蔵寿直　1,300石　M3　54才　宝勝寺　12丁
三浦彦太郎　亢堅　10俵　M7　6才　長久寺　3丁
三浦平三（平左衛門，久新）　源右衛門久形　35石　M3　41才　蓮昌寺　6丁　2冊
三浦幹男（米吉，恭満）　大元貞満　5人扶持　M3　27才　善徳寺　5丁　2冊
三上甚造（甚蔵，景智）　甚蔵　20俵　M3　23才　長周寺　6丁
三上多二郎（惟幸）　松柏　350石　M3　22才　極楽寺　7丁　2冊
（帙547）三上忠次郎（和常）　周造武和　40俵　M4　13才　蓮昌寺　6丁
三上田吉幸　350石　M7　7才　極楽寺　7丁
三上兵三郎（貞恒）　理右衛門　50石　M3　31才　常徳寺　7丁　2冊
三上孫市（元正）　善左衛門孚　50俵　M3　28才　立像寺　8丁
三川なお　春忠　15俵　M6　3才　光円寺　3丁
三木幸輔（珍守）　治郎兵衛　3人扶持　M3　27才　専光寺　3丁
三木次郎（次郎兵衛，政直）　善兵衛政教　70石　M3　37才　本長寺　13丁
三木信吉郎（政詮）　多門映政　100石　M3　57才　開禅寺　7丁
三木　　森（珍守）治六珍儀　3人扶持　M3　27才　専光寺　5丁
三木守衛（政一）　丈三郎政春　50石　M3　35才　本長寺　9丁
神予田清作（荘蔵，正中）孫三郎成已　150石　M3　47才　久昌寺　7丁
三崎波治（義友）　政之丞義稠　7人扶持　M3　34才　妙典寺　4丁
三崎文三郎（一知）　五兵衛　30俵　M3　36才　西源寺　8丁
三島毛六（元長）　新之丞元温　100石　M3　60才　本長寺　9丁
三島源太（松三郎，元長）　続元亀　130石　M3　24才　本長寺　8丁
三島　　叙（孫之進，元親，元惇）　源右衛門元成　200石　M3　38才　本長寺　8丁　2冊
美嶋庫太（時保）　六郎右衛門久保　40石　M3　28才　光教寺　10丁
（帙548）水尾藤七郎（信守）　勘太夫祐秀　14俵　M4　47才　慶恩寺　5丁　2冊
水尾流作（一三）　3人扶持　M2　10才　心蓮舎　3丁　2冊
水落重義　茂平　20俵　M7　35才　本行寺　4丁
水上亀次郎（為質）　清五兵衛　13俵　M3　47才　長徳寺　5丁　2冊
水上喜八（信幸）　喜助貞成　2人扶持　M3　35才　瑞泉寺　4丁
水上喜八郎（儀一）　誠六郎一允　200石　M3　46才　専光寺　10丁
水上庄太郎　竜作　11俵　M6　18才

瑞泉寺　4丁

水上庄平（庄太夫，義啓）　右平太　25俵　46才　本円寺　5丁

水上次六郎（信行）　又作　15俵　M3　40才　乗善寺　5丁

水上助三郎（直吉）　勘五右衛門直栄　19俵　M3　18才　慶覚寺　5丁

水上清三郎（晴尚）　亀次郎　2人扶持　M2　15才　長徳寺　3丁

水上壮次郎（士直）　遊平秀土　28俵　M4　15才　正福寺　8丁

水上長太郎　良太郎　20俵　M6　7才　本覚寺　5丁

水上伝吉（吉蔵，易定，外次郎）　易通　7人扶持　M3　19才　広済寺　6丁　2冊

水上布勝　布頼　70石　M8　42才　広昌寺　5丁

水上又吉（秀和）　荘次郎士直　28俵　M4　16才　正福寺　8丁

水上龍作（信照）　茂兵衛　11俵　M3　43才　瑞泉寺　3丁　2冊

水上龍平（竜左衛門，布為）　八郎左衛門布頼　70石　M3　61才　広昌寺　8丁　2冊

水上良太郎　重平正之　20俵　M5　5才　本覚寺　6丁

水上錬次郎（之明）　犀蔵求彦　9人扶持　M3　17才　正福寺　5丁

水上　亘（得右衛門，信友）　清兵衛信治　2人扶持　M3　39才　極楽寺　4丁

（帙549）水越喜六（八兵衛，政雄）　八郎左衛門政乂　350石　M3　28才　広誓寺　14丁

水越作太郎（交友）　元正幸安　6人扶持　M3　10才　極楽寺　4丁

水越貞吉（道政）　平遊敬之　51俵　M3　43才　広誓寺　14丁

水越庄次郎（正伴）　五郎左衛門弘毅　50石　M3　33才　開善寺　5丁　2冊

水越寿二郎（方定）　玄寿政定　8人扶持　M3　21才　宝勝寺　6丁

水越又鉄（正令）　順左衛門正道　150石　M3　15才　広誓寺　9丁

水越良三郎（直明）　仙寿直敬　500石　M4　20才　雲竜寺　6丁　2冊

（帙550）水嶋弘二郎（成従）　栄蔵成養　35俵　M3　26才　照円寺　12丁

水嶋兵磨（一之）　丈左衛門一貫　45石　M3　32才　浄光寺　11丁　2冊

水嶋安太郎（苗克）　宇八郎苗方　30人扶持　M3　15才　光覚寺　7丁

水田貫三（幸種）　如琢三種　3人扶持　M3　37才　光専寺　8丁

水田庄兵衛（幸種）　如琢　3人扶持　M3　37才　光専寺　9丁

水田そと　兵助　25俵　M7　55才　西方寺　5丁

水田久男（勝幸）　甚右衛門勝平　25俵　M3　浄安寺　12丁

水谷　哥　市郎左衛　35俵　M7　27才　三光寺　5丁

水谷喜久次郎（知清）　常人　100石　M3　10才　大蓮寺　6丁

水谷直太郎　易氏　30俵　M5　16才　長徳寺　5丁

水野一二（次郎兵衛，武庸）　孫三郎　武貞　180石　M3　60才　少林寺　8丁

水野ゑい　良蔵　16俵　M7　32才　妙慶寺　4丁

水野数馬（儀一）　左兵衛精一　100石　M3　49才　蓮昌寺　8丁

水野金重郎　武庸　180石　M6　22才　少林寺　6丁

水野金太（知道）　大作安定　120石　M3　36才　実成寺　10丁

水野幸治郎（対介，信一）　宅左衛門久敬　130石　M3　21才　高岩寺　14丁

水野小吉郎（武朗）　乙吉武儀　90石　M3　24才　極楽寺　10丁

（帙551）水野小平（小左衛門，政久）　源大夫　政彰　150石　M3　54才　松月寺　9丁

水野権三郎（之定）　権之丞　180石

M3 45才 6丁
水野沢辺（沢右衛門，永重） 沢右衛門貞賢 150石 M3 62才 月心寺 10丁
水野周次郎（映業） 幸左衛門映貞 25俵 M3 39才 遣福寺 10丁
水野小次（成信） 成法 300石 M3 40才 善福寺 7丁
水野全三郎（正友） 沢辺永重 150石 M5 22才 月心寺 7丁
水野太次馬（政幸） 逸角武基 300石 M3 37才 承証寺 14丁
水野遂治 守衛遂良 300石 M7 21才 承証寺 8丁
水野鎮吉 政久 150石 M7 22才 松月寺 5丁
水野 漪（克則） 源次克正 45俵 M3 28才 妙典寺 10丁
水野時男（忠篤） 遊侯貫一 180石 M4 18才 雲竜寺 10丁
水野直三（明英） 金左衛門延昌 12俵 M3 54才 妙典寺 5丁 2冊
水野八郎（永成） 采男倍成 670石 M3 33才 善福寺 9丁
水野又吉郎（武俊） 乙吉 2人扶持 M2 16才 極楽寺 4丁
水野八百記（有信） 良蔵広成 2人扶持 M3 40才 妙慶寺 5丁
水野八百記（恭英） 東馬恭明 50俵 M3 36才 妙典寺 5丁
水野麟太郎（生清） 久左衛門生輝 30俵 M3 30才 善徳寺 13丁
水橋 湊（寿一） 小左衛門久勝 13俵 M3 33才 慶覚寺 4丁
水原 清（清之進，保和） 清幽保延 950石 M3 43才 宗徳寺 16丁
水村貢作（和広） 和兵衛 4人半扶持 慶応2 極楽寺 3丁
水村友三（為正） 和兵衛 4人半扶持 M3 41才 極楽寺 4丁
（帙 552）溝江六郎（正豊） 鉄馬 150石 M3 24才 妙法寺 16丁
溝口文太郎（之房） 良太郎 100石 M3 40才 浄光寺 11丁
溝口好馬（勝行） 判大夫勝良 1,000石 M3 28才 宝乗寺 18丁
三田十一（饒，好義） 鍠太郎功 150石 M3 23才 妙慶寺 10丁
三谷満房 井三治一実 30俵 M5 19才 専光寺 5丁
三田村勘左衛門（湊，重方） 十左衛門 5人扶持 M2 49才 徳竜寺 4丁 2冊
三田村 計（主計，定形） 桂山定体 3,300石 M3 33才 長久寺 12丁
三田村駒次郎（温久） 佐七郎温良 100石 M3 31才 真行寺 9丁
三田村左助 兵太郎 90石 M3 26才 立像寺 11丁
三田村三郎（孝恭） 柳之助孝正 150石 M3 41才 名願寺 8丁
三田村信三郎（壱行） 忠五郎主正 60俵 M3 30才 名願寺 20丁
三田村新七（温宗） 佐七郎温良 130石 M3 43才 真行寺 9丁
三田村新平（主義） 新平主善 100石 M3 42才 名願寺 12丁
三田村清太郎（方幸） 武三方転 50石 M4 16才 立像寺 6丁
三田村蒔田（定命） 兵太郎定中 90石 M3 26才 立像寺 8丁
（帙 553）三井喜久男（他吉郎，由知） 瀬左衛門由久 7人扶持 M3 18才 極楽寺 7丁
三越早次郎 独 15俵 M7 13才 長周寺 4丁
三寺遂豊（松太郎） 与八郎 21俵 M6 19才 願楽寺 5丁 2冊
三寺与八郎（抱一） 磯右衛門身脩 21俵 M3 63才 願楽寺 4丁 2冊
三橋希一（直信） 安平業成 100石 M3 25才 棟岳寺 11丁
三橋篤太郎（有成） 鉄三郎信之 50俵 M3 31才 棟岳寺 9丁
三引銀次郎（継之） 和三郎継猶 9人

扶持　M3　19才　伝燈院　6丁　2冊

三屋三郎（八右衛門，誠之）　清残篤忠　60石　M3　52才　慈雲寺　10丁　2冊

三屋誠造（重行）　八右衛門　2人扶持　M2　18才　6丁

（帙 554）水登余所松　又吉　20俵　M6　10才　慶恩寺　4丁

皆川与一郎（義晶）　与三右衛門義近　6人扶持　M3　35才　珉徳寺　4丁

南　清五郎（正中）　源左衛門美則　180石　M3　41才　玄門寺　7丁

峯　篤太郎（直壮）　七左衛門直武　150石　M3　21才　真行寺　8丁　2冊

嶺　植木（仙次郎，政之）　新助　60石　M2　33才　承証寺　7丁

嶺　幸咲（幸右衛門，寛壮）　新兵衛寛信　100石　M3　43才　承証寺　10丁

嶺　牧三（馬殖）　東五郎賢　50俵　M3　53才　安楽寺　10丁

御影池　潔（式人，久徴）　和平久敬　120石　M3　30才　立像寺　8丁

御影池　翠（友邦）　千吉増高　130石　M3　17才　法光寺　7丁

箕浦愛吉（一次）　彦右衛門維基　60石　M3　28才　立像寺　7丁

（帙 555）蓑輪欣一郎（長蓼）　沢右衛門長真　130石　M3　31才　本覚寺　7丁

蓑輪多仲（宣恭）　知大夫　350石　M3　40才　円光寺　8丁

三村甚平（一貞）　宇右衛門　14俵　M3　61才　慶恩寺　5丁

三村豊松（有一）　政吉淑儀　16俵　M3　34才　了願寺　6丁　2冊

見本伊八（勇左衛門，智雄）　八左衛門句慶　60石　M3　59才　玄門寺　5丁

見本庄左衛門（正）　儀左衛門　35石　M2　玄門寺　5丁

見本　中（条理）　津兵衛副条　20俵　M3　49才　聖興寺　6丁

見本彦之丞（条理）　佐五右衛門　3人扶持　元治1　49才　聖興寺　7丁

見本八百音（一勝）　伊兵衛　12俵　M4　33才　聖興寺　5丁

宮　仕平（三左衛門，久吉）　和三兵衛　11俵　M3　44才　照円寺　4丁　2

宮　宗次郎（宗信）　宗太夫達宗　35俵　M3　31才　常福寺　9丁

宮沢　喜（久勝）　三左衛門　1人扶持　M3　15才　照円寺　2丁

宮　平馬（清誠）　宗大夫　25俵　M3　22才　経王寺　8丁

宮井往来（篤行）　柳之助正道　17人扶持　M3　43才　妙法寺　7丁

宮井敬太郎（貞彦）　柳之助正道　17人扶持　M3　34才　妙法寺　7丁

宮井孝次郎（克諧）　誠右衛門善行　300石　M4　24才　14丁

宮井時吉（協）　脩治郎　600石　M3　2才　棟岳寺　12丁

宮井新八（直左衛門，可績）　新八成冨　35石　M3　52才　名願寺　6丁

宮井外吉（定一）　吉北　17人扶持　M4　20才　浄住寺　11丁

（帙 556）宮内与十郎（吉友）　与四右衛門　2人扶持　M3　33才　東本願寺別院　3丁

宮尾覚太郎（直篤）　次左衛門直成　5人半扶持　M3　20才　瑞泉寺　3丁　2冊

宮尾三次（信之）　豊大夫　18俵　M3　36才　大円寺　6丁

宮岡市次（則一）　儀左衛門　30俵　M3　46才　連福寺　7丁

宮方　順（菊麿）　宿称夏麿　3人扶持　M3　44才　専光寺　4丁　2冊

宮方直江（直衛，時雍）　五左衛門晴志　50俵　M3　48才　専光寺　7丁

宮川久平（有光）　源八吉久　18俵　M3　47才　妙立寺　7丁

宮川清春　正秋　17俵　M6　27才　随順寺　2丁

宮川健太郎（嘉兵衛，輝正）　18俵　M3　24才　全性寺　4丁

宮川脩平（基之）　清左衛門保之　18俵　M3　42才　本誓寺　5丁

宮川 常太郎（友国） 庄蔵友顕 30俵 M3 18才 唯念寺 4丁
宮川 忠弥 弥三八 21俵 M7 23才 西福寺 3丁
宮川 鎮吉（則元） 文作則重 20俵 M3 32才 極楽寺 5丁 2冊
宮川 十三郎（友徳） 久兵衛友経 300石 M3 40才 静明寺 10丁
宮川 一（友于） 久兵衛友経 300石 M3 46才 静明寺 10丁
宮川 判平（七左衛門，権） 繁蔵友秀 300石 M3 59才 静明寺 6丁
宮川 文二郎（貞朝） 改之進貞保 17俵 M3 36才 唯念寺 8丁 2冊
宮川 弥三八（弥左衛門，当恒） 喜兵衛 11俵 M3 61才 西福寺 3丁
宮川 和平（十左衛門，保之） 十左衛門保定 50石 M3 52才 極楽寺 4丁
宮木 磯平（磯右衛門，朝成） 磯太夫 23俵 M3 78才 善照坊 4丁
宮木 永三郎（範之） 磯右衛門 15俵 M3 23才 善照坊 5丁
（帙 557） 宮城 義三郎（篤元） 市郎大夫永篤 18俵 M3 18才 法然寺 5丁
宮城 弥学（方之） 八郎兵衛久品 120石 M3 55才 三光寺 6丁 2冊
宮北 喜久男 十之進 2人扶持 慶応4 14才 3丁
宮北 喜三（十郎左衛門，賀教） 十郎左衛門共久 70石 M3 51才 永順寺 7丁
宮北 敬三郎（三友） 順蔵季友 40俵 M3 27才 光徳寺 8丁
宮北 才市郎（栄静） 才右衛門 20俵 M3 29才 光教寺 8丁
宮北 十之進（賀教） 十郎左衛門共久 70石 慶応2 47才 12丁
宮北 静陸（友直） 長円 50俵 M3 64才 光徳寺 9丁
宮北 総平（敬典） 津左衛門直之 30俵 M3 42才 光教寺 9丁
宮北 他三郎（直方） 久右衛門正房 40俵 M3 40才 光徳寺 7丁
宮北 常安（義長） 仙順 3人扶持 M3 9才 光徳寺 7丁
三宅 転（定喜） 六兵衛定邦 90石 M3 35才 盛泉寺 12丁
三宅 蔵士（清逸） 豊太夫 10俵 M3 51才 大乗寺 2丁
三宅 軍太郎（思成） 平済景尹 300石 M4 27才 成学寺 13丁
三宅 元江（与一兵衛，清緝） 豊大夫 清定 250石 M3 52才 大乗寺 7丁
三宅 惟中（寿） 良雄 3人扶持 元治2 24才 広済寺 5丁
三宅 十郎（伊左衛門，直之） 十郎兵衛良直 130石 M3 53才 久昌寺 8丁
三宅 鈔太郎（清貞） 与一兵衛 5石 M3 26才 大乗寺 3丁
三宅 宅三（禎） 良雄精 60石 M3 46才 広済寺 4丁
三宅 当一（恒） 当一蘭 70石 M4 46才 広済寺 3丁
（帙 553） 三宅 藤馬（知道） 善右衛門知定 80石 M3 9才 妙玄寺 8丁
三宅 寛久 寛象 10俵 M7 本行寺 5丁
三宅 平三（正良，正一） 平大夫正路 450石 M3 44才 高岩寺 13丁
三宅 復一（有実） 130石 M3 1丁
三宅 右（喜兵衛，信方） 右太夫信覚 6人扶持 M3 49才 光専寺 4丁 2冊
三宅 茂作（直儀） 伊左衛門 40石 文久1 26才 3丁
三宅 弥平次（弥右衛門，寛衆） 70石 M3 54才 本行寺 6丁 2冊
三宅 与六（寛久） 弥右衛門 5石 安政4 19才 本行寺 2丁
宮崎 一三（林左衛門，元規） 主殿元忠 400石 M3 53才 放生寺 11丁
宮崎 栄五郎（義比） 丈助 30俵 M3

36才　妙玄寺　9丁

宮崎　敬二郎（則忠）　徳丞永盈　30俵　M3　27才　上宮寺　5丁

宮崎　権太郎　重行　400石　M6　15才　神葬　8丁

宮崎　三弥（元高）　実想　500石　M3　42才　鶴林寺　21丁

宮崎　治助（忠道）　治助　6石　元治1　21才　善徳寺　4丁

宮崎　重三郎（好義）　藤左衛門好学　140石　M2　43才　全昌寺　7丁

宮崎　錡太郎（則立）　左門則久　60石　M3　16才　瑞雲寺　7丁

宮崎　信次郎（元信）　蔵人元彦　800石　M3　56才　鶴林寺　15丁

宮崎　清三（清三，寅）　倹校督一　50俵　M3　56才　本竜寺　5丁

（帙559）宮崎　旋（泉，時敏）　清八光朝　70石　M3　54才　広済寺　5丁

宮崎　善二（善兵衛，知準）　庄蔵　10俵　M3　39才　善徳寺　4丁

宮崎　宗三郎（小野，保忠）　宗良保次　19俵　M3　17才　因徳寺　6丁　2冊

宮崎　辰三（辰之助，昌勝）　庄右衛門定則　11俵　M4　28才　本覚寺　5丁　2冊

宮崎　丹次（丹下，時信）　四郎時僧　80石　M3　37才　全昌寺　11丁　2冊

宮崎　忠作（運景）　忠五郎　30俵　M3　46才　本誓寺　3丁

宮崎　常男（庄三郎，定延）　庄右衛門定則　5人扶持　M3　35才　本覚寺　5丁　2冊

宮崎　又右衛門（元敬）　藤兵衛敬寛　50石　M3　53才　乗善寺　6丁　2冊

宮崎　又吉郎（武俊）　十五左衛門倉　70石　M4　18才　全昌寺　14丁

宮崎　美也登（庄右衛門，則安）　庄右衛門　32石　M3　37才　三光寺　6丁　2冊

宮崎　保之助（時敏）　清八　70石　文久3　47才　広済寛　6丁

宮崎　勇六郎（捨五郎，正行）　武吉善行　7人扶持　M3　22才　本光寺　4丁

宮崎　喜入（所左衛門，政敬）　又右衛門元敬　50石　M3　30才　乗善寺　8丁

宮崎　与三治（忠道）　治助春定　12俵　M4　27才　善徳寺　5丁

宮島　定之助（義友）　友甫　4人扶持　M2　28才　大念寺　3丁

宮島　順作（清之）　太一郎之知　15俵　M3　27才　乗光寺　4丁

宮島　誠陸（清明）　七左衛門　4人扶持　M3　36才　妙法寺　4丁　2冊

宮島　義政　悦由　20俵　M6　26才　勝福寺　4丁

（帙560）宮瀬　亥三郎　軏玄　18俵　M7　16才　妙国寺　4丁

宮田　　銀　吉郎兵衛　1人半扶持　M6　19才　東本願寺別院　4丁

宮田　左美弥（佐太夫，義蓮）　20俵　M3　32才　本覚寺　8丁

宮田　甚太郎　伊三次　11俵　M7　1才　本願寺末寺　5丁

宮田　つや　民勇　16俵　M7　5才　願成寺　7丁

宮田　東吾（東左衛門，重吉）　東安重勝　15俵　M3　42才　本竜寺　6丁

宮田　久治（半左衛門，重朝）　十右衛門矯遂　5人扶持　M3　43才　東本願寺別院　4丁

宮田　又三（又蔵，諒）　湖三　50俵　M3　63才　妙福寺　12丁

宮地　吉太郎（政一）　権左衛門　35俵　M2　32才　瑞泉寺　6丁

宮地　甚太郎（秀正）　久兵衛秀章　25俵　M3　19才　融山院　4丁

宮地　勇次郎（政倫）　友次郎政次　100石　M3　17才　融山院　11丁

宮地　理門（理右衛門，惟親）　理左衛門惟和　50俵　M3　76才　本是寺　9丁

宮地　和三郎（政忠）　権左衛門　35俵　M3　36才　融山院　6丁

宮永平伝（良左衛門，久成）　伝八

12俵　M3　43才　東本願寺別院　5丁　2冊

(帙561) 宮野一平（保村）　常平　18俵　M3　47才　瑞禅寺　9丁

宮野信太郎（直道）　宗兵衛　1人半扶持　M1　16才　西福寺　3丁

宮野藤八（清三郎，則凭）　左守　7人扶持　M3　24才　珉徳寺　8丁　2冊

宮橋茂平（元成）　孫兵衛　20俵　M3　52才　光徳寺　4丁

宮橋弥平（知信）　弥兵衛　12俵　M4　43才　光徳寺　4丁

宮原純平（貞自）　是助英逸　10人扶持　M3　55才　高岩寺　6丁　2冊

宮原安治（安左衛門，定賢）　三郎左衛門保定　70石　M3　32才　本因寺　10丁　2冊

深山鎌三郎　猶三　20俵　M6　11才　長久寺　4丁

深山誠一郎（忠左衛門，重正）　弥太郎　6人扶持　M3　24才　本光寺　5丁　2冊

宮村小野男（一親）　辰二　30俵　M3　22才　超願寺　6丁

宮村源太郎（有道）　与三助　25俵　M3　40才　本光寺　9丁

宮村幸次郎（英信）　善右衛門　6俵　M4　30才　光専寺　2丁

宮村権太郎　二十郎　15俵　M6　7才　慶覚寺　5丁

宮村作平（立医，是助）　作兵衛立愛　50石　M3　43才　蓮昌寺　8丁　2冊

宮村佐太郎（明方）　仁郎右衛門　2人扶持　M4　28才　善福寺　4丁

宮村治三郎（重之）　治平　9俵　M2　19才　西福寺　3丁

宮村治平（正広）　治助　5石　M2　53才　西福寺　3丁

宮村周平（小左衛門，美忠）　長八郎　政忠　15俵　M3　48才　広済寺　5丁　2冊

(帙562) 宮村甚太郎　好明　15俵　M8　2才　高参寺　4丁

宮村宗八（宗右衛門，広貞）　善之丞　2人扶持　M2　47才　波嶺寺　6丁

宮村貞次郎（宗忠）　敬祐　3人扶持　M3　16才　専長寺　13丁

宮村二十郎（村清）　七左衛門　15俵　M3　22才　慶覚寺　3丁

宮村半四郎（半兵衛，満正）　伊右衛門　4人扶持　M3　44才　願念寺　4丁　2冊

宮村　開（伊右衛門，時行）　助太夫行之　M3　27才　本光寺　4丁

宮村松太郎（長章）　作平立匡　2人半扶持　M3　15才　蓮昌寺　4丁　2冊

宮本　巌（安右衛門，友信）　八兵衛信方　35石　M3　52才　極楽寺　5丁　2冊

宮本三平（友次）　九兵衛　4人扶持　M3　極楽寺　5丁

宮本　末栄蔵　2人扶持　M7　26才　極楽寺　4丁

宮本太三郎（義永）　喜三郎　8俵　M4　14才　常福寺　4丁

宮本頼三　順教　M4　25俵　本誓寺　3丁

三好　清（種勝）　政之丞種図　35石　M3　22才　蓮昌寺　7丁

三好金八（清次）　孫太夫清方　14俵　M3　48才　浄永寺　5丁

三好善吾（善蔵，貫直）　金蔵正直　40俵　M3　47才　妙感寺　14丁

三好二太郎（保弘）　専左衛門　5人扶持　M4　31才　2丁

三好　弥左衛門（保弘）　専左衛門　5人扶持　M2　29才　専光寺　3丁

三好由次郎（貞良）　源蔵直養　6人扶持　M3　24才　承証寺　9丁

三善善三（一儀）　原二一貫　170石　M5　21才　10丁

三輪喜十郎（吉次）　辰三郎　60俵　M3　23才　長令寺　6丁

三輪小源太（稠人，照路）　勘兵衛照寛

80石　M3　33才　長令寺　14丁

(峡 563) 三　輪　信次郎（正則）　伝作政温　5人扶持　M3　20才　大円寺　4丁　2冊

三　輪　杉　也（杉右衛門，正治）　浅右衛門正信　M3　49才　大円寺　5丁

三　輪　清治郎（正心）　伝作政温　18俵　M3　24才　大円寺　5丁

三　輪　辰三郎（定次）　太左衛門勝好　100石　M3　63才　長令寺　12丁

三　輪　平　吉（定一）　亀令定次　100石　M5　35才　長令寺　8丁

三　輪　孫　三（景礼）　藤兵衛基明　1,130石　M3　49才　長令寺　18丁　2冊

三　輪　万太郎（政平）　健之佐政正　1,000石　M3　12才　本覚寺　12丁

次　三　輪　良家郎（昌直）　作兵衛　200石　M3　57才　本覚寺　9丁

三　輪　鐐　平（勘兵衛，許久）　岩之助定　130石　M3　39才　妙応寺　11丁

む　行

(峡 564) 向　　勝　太（之政）　覚左衛門正知　8人扶持　M3　33才　瑞泉寺　7丁

向　　宗十郎（誠道）　清三誠行　100石　M3　16才　常松寺　13丁　2冊

向　　友之輔（之政）　覚左衛門　8人扶持　M2　32才　瑞泉寺　9丁

向　田　嘉重郎（勝久）　孫九郎　2人扶持　M4　39才　長光寺　3丁

向　田　喜　六（当信）　宗兵衛　10俵　M5　33才　長楽寺　3丁

向　田　金太郎（有中）　升左衛門貞一　45俵　M3　33才　長徳寺　8丁

向　田　源　吾（源兵衛，清永）　源右衛門　15俵　M3　49才　超願寺　4丁

向田　升左衛門（貞一）　升之進　50石　慶応3　28才　長徳寺　10丁

武　藤　寛　山（保左衛門，元忠）　澱之助　元良　400石　M3　68才　雲竜寺　10丁　2冊

武　藤　喜七郎（一秀）　半丞　25俵　M3　14才　光教寺　4丁

武　藤　貢三郎（武尚）　源蔵尚周　50俵　M3　32才　静明寺　10丁

(峡 565) 武　藤　左太郎（幸信）　六兵衛　20俵　M3　23才　蓮昌寺　6丁

武　藤　尉太郎（道成）　次太夫　27俵　M3　28才　浄光寺　4丁

武　藤　丈　平（久太夫，永安）　仙蔵　35俵　M3　60才　光教寺　6丁

武　藤　辰十郎（寛秋）　太仲秋久　25俵　M3　15才　瑞泉寺　6丁　2冊

武　藤　清五郎（元発）　常作元義　100石　M5　20才　宝勝寺　9丁

武　藤　辟治郎（一）　六郎　20俵　M5　11才　光教寺　8丁

武　藤　清太郎（三章）　宗兵衛　30石　M2　17才　6丁

武　藤　外　男（元安）　左門　150石　M3　34才　承証寺　7丁

武　藤　常次郎（信吉）　権太郎有永　200石　M3　17才　妙典寺　10丁

武　藤　文次郎　外男　150石　M6　21才　承証寺　7丁

武　藤　良二郎（元信）　寛山元忠　400石　M5　19才　雲竜寺　7丁

武　藤　良　平（政次）　義左衛門栄政　30石　M3　26才　妙玄寺　3丁

武　藤　類　象　良太夫元淳　200石　M3　27才　宝勝寺　12丁

武　藤　和　平（元徳）　平兵衛　200石　M3　56才　立像寺　14丁

宗　守　新　吉（貞近）　佐助　2人扶持　M4　40才　聴信寺　5丁

宗　守　弥　六（房嘉）　小兵衛　13俵　M4　52才　聴信寺　4丁

村　　一　平（幸太夫）　幸左衛門　20俵　M3　28才　照円寺　6丁

村　　外次郎（義之）　治兵衛　7俵　M4　19才　三宝寺　4丁

村　　文太郎（正知）　文蔵　6俵　M4　27才　仰西寺　4丁

村　　平　八（有道）　久右衛門　6俵　M4　44才　廻向寺　5丁

(帙 566) 村　政八（幸清）　政右衛門　25俵　M3　28才　専光寺　7丁
村　又五郎（厚正）　勘助　6俵　M4　43才　等願寺　4丁
村　弥三次（春明）　九兵衛　10俵　M4　33才　東本願寺別院　4丁
村　勇次郎（知矩）　甚兵衛　50石　M3　26才　眠徳寺　6丁　2冊
村井勝蔵（恒幸）　2人扶持　文化7　51才　献珠寺　3丁
村井吉平（吉兵衛）　五郎右衛門　15俵　M3　39才　正覚寺　3丁
村井久太郎（元忠）　佐久左衛門　10人扶持　M3　51才　道入寺　6丁　2冊
村井　清（依賢）　唯二郎依性　200石　M3　21才　承証寺　10丁
村井作太郎（邦久）　重左衛門　100石　M3　31才　立像寺　11丁
村井貞吉（清定）　貞輔　15俵　M3　24才　本昌寺　6丁
村井左平（本春）　嘉十郎　18俵　M3　37才　宝性寺　5丁
村井左門（忠知）　半七郎忠一　100石　M3　24才　7丁
村井丈吉（条左衛門，武則）　助大夫　6人扶持　5丁
村井小作（清久）　助三郎　20俵　M3　46才　本浄寺　8丁

(帙 567) 村井甚太郎（易久）　覚左衛門応之　6人扶持　M3　16才　献珠寺　6丁
村井清造（貞輔，正忠）　清蔵　25俵　M3　42才　本昌寺　5丁
村井民三（長）　恒　150俵　M3　9才　1丁
村井　恒（又兵衛，長在）　靱負長貞　16,569石　M3　37才　桃雲寺　12丁　2冊
村井豊次郎（清久）　久左衛門　15俵　M3　20才　本昌寺　5丁
村井直磨（祐保）　直右衛門　20俵　M3　23才　長円寺　6丁
村井孫作（孝次）　三之丞孝友　220石　M3　29才　妙典寺　10丁
村井又七郎（知住）　民三郎　150石　M3　27才　開禅寺　16丁
村井杜三郎（重政）　元右衛門長之　40石　M3　21才　高岸寺　5丁　2冊
村井雷一郎（正享）　我遊斎正就　150石　M3　24才　妙典寺　8丁
村井和作（照明）　和大夫　25俵　M3　24才　成学寺　7丁
村岡　辺（義方）　聞道久義　6人扶持　M3　32才　妙典寺　8丁　2冊
村上浅江（政近）　市次郎　9俵　M4　51才　浄国寺　3丁
村上伊平（勝清）　吉右衛門　2人扶持　M5　57才　専光寺　3丁　2冊

(帙 568) 村上　巌（直徳）　覚大夫友直　3人扶持　M3　22才　願成寺　8丁　2冊
村上乙次郎（一明）　二三郎　20俵　M5　12才　本是寺　7丁
村上鑑十郎（顕清）　信次郎助国　50俵　M3　30才　仰西寺　13丁
村上喜一郎（照清）　権左衛門国清　100石　M3　36才　仰西寺　17丁
村上吉三郎（信近）　五郎右衛門　15俵　M3　23才　4丁
村上久作（孝秀）　久平　18俵　M3　46才　安立寺　5丁
村上庫太（寛居）　助九郎教方　350石　M3　42才　了願寺　12丁
村上敬三（権兵衛，敬之）　源五右衛門屯　10人扶持　M3　25才　善福寺　10丁　2冊
村上　謙　勘陸　100石　M3　47才　11丁
村上源次（吉次）　八右衛門　2人半扶持　M5　32才　4丁
村上佐久平（十兵衛，正方）　平右衛門　18俵　M3　57才　浄智寺　3丁
村上淳吉（新蔵，貞勝）　宇左衛門貞固　40俵　M3　17才　本是寺　9丁
村上準平（清勝）　伊平　2人扶持　M5　32才　専光寺　4丁　2冊

村上庄次（元政） 仁之助 15俵 M3 27才 慶恩寺 3丁
村上昌次郎（守明） 織人 500石 M3 24才 宝勝寺 13丁
村上信吾（将勝） 長蔵 20俵 M3 28才 因徳寺 7丁
村上信次郎（助国） 矢代国興 100石 M3 64才 仰西寺 11丁
(鉄569) 村上誠五郎（誠右衛門，清尋） 七左衛門清成 100石 M3 34才 全昌寺 7丁
村上善作 善兵衛 M6 36才 仁象寺 2丁
村上竹次郎（好勝） 玉吉 15俵 M3 18才 西源寺 5丁
村上他次郎（和吉） 新平定義 18俵 M5 23才 安立寺 4丁
村上長次郎 義好 15俵 M7 27才 専光寺 4丁
村上長太郎（義好） 清右衛門 15俵 M3 26才 専光寺 4丁
村上常雄 権平 50俵 M8 36才 仰西寺 10丁
村上豊吉郎（広定） 徳左衛門 8俵 M3 9才 永順寺 3丁
村上半三（半兵衛，惟美） 武平 25俵 M3 71才 本是寺 8丁
村上平作（開次） 平吉開度 50俵 M3 63才 本是寺 5丁
村上平馬（平蔵，一秋） 与左衛門 7俵 M3 24才 正楽寺 3丁
村上益五郎（久国） 八十吉 150石 M3 42才 仰西寺 14丁
村上又三郎（義久） 小三郎 15俵 M3 18才 専光寺 5丁
村上又太郎（寛兵衛，清禎） 鷹揚斎清貞 150石 M3 19才 蓮華寺 10丁
村上美和雄（義則） 粂翁義直 40石 M3 22才 5丁
(鉄570) 村木直喜知（義胤） 吉大夫政一 30石 M3 27才 久昌寺 5丁
村木政次郎（友安） 栄蔵 18俵 M3 35才 超願寺 5丁
村木文次郎（兼春） 弥助 20俵 M3 17才 超願寺 5丁
村木文平（友久） 平大夫 12俵 M3 41才 久昌寺 6丁
村越 来（衛門孝之） 新介好昭 50石 M3 43才 妙円寺 5丁 2冊
村越弥三男（以忠） 嘉順以徳 12俵 M4 43才 等願寺 7丁
村沢嘉平次 覚左衛門 6人半扶持 M1 59才 3丁
村沢喜六（国則） 喜助国一 5人扶持 M3 44才 仁随寺 4丁
村沢佐吉郎（吉之丞，義清） 吉右衛門 15俵 M3 26才 照台寺 7丁
村沢早苗 鳴海 6人半扶持 M5 31才 本長寺 6丁
村沢菅子 菅臣 35俵 M6 11才 敬栄寺 4丁
村沢清久郎（常信） 清蔵 35俵 M3 19才 照台寺 7丁
村沢忠平（弥左衛門，菅臣） 半左衛門代尚 35俵 M3 45才 敬栄寺 7丁
村沢俊将 正直 17俵 明7 25才 専光寺 4丁
村沢友男（敬之） 友之丞温良 35俵 M3 開禅寺 9丁
村沢又三（清左衛門，国氏） 40俵 M3 22才 仁随寺 6丁
村沢和太里（永世） 和三郎国次 40俵 M3 26才 妙法寺 6丁
村瀬要蔵（久徳） 弥大夫久明 12俵 M3 45才 妙泰寺 4丁
村瀬直記（有格） 直助順 10俵 M3 32才 妙福寺 7丁 2冊
村瀬弥太郎（徳久） 要蔵 6俵 M3 13才 妙泰寺 4丁
村田市三郎（勝正） 七郎右門 2人半扶持 M4 29才 本誓寺 3丁
村田 礒（永政） 小左衛門 20俵 M3 23才 道林寺 8丁
村田宇内（宇左衛門，元惇） 三郎左

衛門元愷　100石　M3　58才　妙玄寺　6丁

(帙571) 村田栄次(義一)　四兵衛　15俵　M3　32才　瑞泉寺　3丁

村田栄太郎(正義)　吉平　20俵　M4　24才　長徳寺　6丁

村田　香(勇左衛門，長道)　香斎長清　50石　M3　31才　善福寺　5丁　2冊

村田哥善知(景義)　久左景理　700石　M5　20才　高岸寺　13丁

村田儀太郎(儀左衛門，履信)　儀大夫克順　100石　長徳寺　15丁

村田吉次郎　仁助　M3　24才　光専寺　2丁

村田久四郎(茂直，久大夫)　千助茂射　70石　M3　60才　松山寺　7丁　2冊

村田儀六(儀左衛門，直脇)　吉蔵　25俵　M3　43才　西勝寺　6丁

村田九十郎(清久)　弥助　7俵　M4　14才　3丁

村田健作(邦貞)　七五郎　15俵　M4　西勝寺　5丁

村田元太郎(善左衛門，村政)　善兵衛　15俵　M3　19才　瑞泉寺　5丁

村田五一郎(安見)　五右衛門　9俵　M3　22才　等願寺　5丁

村田　耕(耕作，信之)　建助　30俵　M3　45才　慶恩寺　8丁

村田耕作(直正)　団助直秀　300石　M3　40才　高岸寺　11丁

村田孝次郎(朝常)　虎一郎　7人扶持　M3　40才　善徳寺　5丁

村田五平(五左衛，一寿)　五左衛門一定　100石　浄安寺　9丁　2冊

村田小三郎(勝忠)　与三右衛門　15俵　M3　20才　弘願寺　4丁

村田五三郎(一志)　五兵衛　12俵　M3　69才　専光寺　3丁

村田早苗(恒道)　如山恒信　250石　M3　41才　円光寺　14丁

(帙572) 村田三次(昇七，永次)　小左衛門　20俵　M3　27才　正福寺　8丁

村田周次郎(則政)　五大夫則明　40石　M3　34才　大乗寺　6丁　2冊

村田昌平(西正)　平兵衛　17俵　M4　37才　善福寺　6丁

村田四郎平(四郎左衛門)　昌右衛門明備　100石　M3　58才　本光寺　4丁

村田捨次郎(知好)　徳平　8俵　M4　善福寺　5丁

村田清太郎(守明)　孝左衛門守次　150石　M3　34才　妙円寺　6丁

村田政六(知信)　喜三次　20俵　M3　28才　上宮寺　5丁

村田善司郎　弥一信久　50石　M5　18才　常栄寺　6丁　2冊

村田惣九郎(苗雅)　太郎左衛門　15俵　M3　35才　浄誓寺　4丁

村田宗平(要人，正行)　大助　26俵　M3　35才　西念寺　3丁

村田太三郎(元春)　太郎兵衛　2人扶持　M2　18才　唯念寺　2丁

村田太十郎(知義)　太作　9俵　M4　39才　照円寺　3丁

村田唯吉(錫)　良助千里　100石　M3　58才　本是寺　12丁

村田他美(福正)　準三福辰　80石　M4　29才　浄安寺　10丁

村田為次郎(為茂)　弥助　2人扶持　M4　13才　専光寺　3丁

村田為三(永清)　佐次郎永久　9人扶持　M3　17才　4丁

村田為之助　佐次馬　9人扶持　M2　16才　12丁

村田常太郎(信友)　武兵衛　2人扶持　M3　19才　上宮寺　4丁　2冊

村田常三久(甚五右衛，成慈)　安右衛門　25俵　M3　50才　妙泰寺　7丁

村田伝太郎(政国)　伝之丞　20俵　M3　49才　7丁

村田徳平(嘉幸)　徳左衛門　12俵　M4　54才　善福寺　5丁

村田友造(守正)　知太夫　20俵　M

3　28俵　専光寺　7丁
村田　　豊（太郎兵衛，易春）　太助易行　16俵　M3　56才　唯念寺　5丁
(峡 573) 村田　鍋吉（直正）　初太郎時定　100石　M3　32才　高岸寺　13丁
村田　初三郎（助直）　徳三郎直貞　300石　M5　25才　崇禅寺　10丁
村田　半六（武貞）　右左衛門盛秀　35俵　M3　27才　経王寺　11丁
村田　彦作（則重）　伝左衛門　7人扶持　M3　30才　西勝寺　7丁
村田　武平（武兵衛，友久）　小助　5人扶持　M3　45才　上宮寺　3丁
村田　文三郎（定儀）　五左衛門　2人扶持　慶応2　29才　3丁
村田　豊作（長得）　業軒時成　400石　M3　33才　高岸寺　11丁
村田　又七（又助，孝正）　長右衛門　20俵　M3　74才　法船寺　5丁
村田　　貢（珍明）　六之助　25俵　M3　31才　承証寺　6丁
村田　弥一（弥三右衛門，信次，信久）　三章信峯　50石　M3　70才　常栄寺　7丁　2冊
村田　弥三郎　弥助　2人扶持　M3　13才　専光寺　1丁
村田　弥三郎（義一）　安左衛門　12俵　M4　45才　善福寺　4丁
村田　弥十郎（秀之）　弥左衛門　20俵　M3　11才　西勝寺　6丁
村田　保三郎（益貫）　右郎右衛門　15俵　M3　43才　称名寺　3丁
村田　安太郎（義久）　守三郎　6人扶持　M3　15才　正福寺　5丁
村田　安太郎（正勝）　又七　15俵　M3　29才　法船寺　4丁
村田　弥太郎（成之）　権兵衛　20俵　M3　58才　光専寺　5丁
村田　弥平（義一）　権作　20俵　M3　29才　専光寺　8丁
村田　嘉春（善武）　伊右衛門　8俵　M4　16才　慶恩寺　4丁
村田　与十郎（秀久）　勘左衛門　15俵　M3　22才　瑞泉寺　4丁
村田　与四郎（茂久）　太兵衛　15俵　M3　28才　常福寺　3丁
村田　良吉　唯吉　40俵　M6　27才　4丁
村田　亮太郎　弥五六　80石　M5　15才　本行寺　6丁
(峡 574) 村谷　忠次（一布）　忠兵衛　13俵　M3　45才　広済寺　6丁
村松　　魁（匡快）　順左衛門　25俵　M3　22才　金剛寺　7丁
村松　伊三男（七之丞，善述）　伊三郎　18俵　M3　24才　光専寺　5丁
村松　亥三郎（友親）　文左衛門致和　40俵　M3　14才　光専寺　10丁
村松　亥四松　宗治郎　30俵　M6　5才　光専寺　7丁
村松　加久男（儀堂）　平太郎　18俵　M3　23才　光専寺　5丁
村松　吉陸（道直）　忠次郎　25俵　M3　46才　本是寺　7丁
村松　　作（福久）　作之丞　20俵　M3　30才　光専寺　6丁
村松　善三（善蔵，延秋）　善蔵　18俵　M3　26才　光専寺　5丁
村松　壮次郎（和成）　壮右衛門　12俵　M3　12才　本誓寺　4丁
村松　宗治郎（信敦）　宗蔵　30俵　M3　60才　光専寺　6丁
村松　登志男（秀英）　三左男秀実　70石　M3　26才　禅栖院　12丁
村松　弥三次（徳左衛門，平久）　茂左衛門　M3　39才　光専寺　4丁
村松　八十八（勝永）　仙八郎　20俵　M3　45才　願念寺　5丁
村松　与三吉（如矢）　与一郎　18俵　M3　21才　慶覚寺　5丁
村松　和吉（和左衛門，安次）　宗蔵　20俵　M3　66才　光専寺　7丁
(峡 575) 村見　甚太郎（義幸）　市兵衛　15俵　M3　24才　安楽寺　5丁

村 櫛 乙 吉（良一） 喜太夫 15俵 M 3 17才 勝満寺 5丁
村 本 勝 衛（友則） 善蔵則定 14俵 M3 23才 敬栄寺 6丁
村 本 熊 吉（熊之助，直幸） 津平次 20俵 M3 7才 瑞泉寺 4丁
村 本 源 次（久之） 甚兵衛 18俵 M 3 26才 専光寺 3丁
村 本 孝次郎（儀定） 清大夫 20俵 M 3 28才 円祐寺 6丁
村 本 恒 三（徳隣） 喜大夫 16俵 M 3 33才 勝満寺 5丁
村 本 順太郎（明信） 清兵衛 15俵 M 3 32才 等願寺 3丁
村 本 甚四郎（友仲） 甚兵衛 12俵 M 4 47才 専光寺 5丁
村 本 甚太郎（友次） 甚四郎 8俵 M 4 19才 専光寺 6丁
村 本 清五郎（成元） 与吉 15俵 M3 42才 西源寺 3丁
村 本 武（定清） 理兵衛 1人半扶持 M4 49才 光徳寺 4丁
村 本 多三次（多三右衛門，信茂） 多助 20俵 M3 58才 等願寺 4丁
村 本 太三郎（金茂） 太右衛門 12俵 M4 29才 乗善寺 4丁
村 本 統（剛塞） 平右衛門 70石 M3 45才 瑞泉寺 12丁
村 本 恒 次（恒之丞，之信） 常三郎 20俵 M3 34才 永照寺 6丁
村 本 泰之助（善則） 善蔵 3人扶持 慶応2 19才 敬栄寺 4丁
村 本 友 三 金茂 12俵 M6 29才 乗善寺 5丁
（帙 576） 村 本 与 一（友平） 市郎右衛門 15俵 M3 25才 敬栄寺 3丁
村 本 与三八（重正） 彦兵衛 15俵 M 3 35才 宗徳寺 4丁
村 山 権次郎（吉守） 甚六 1人半扶持 M4 31才 法然寺 6丁
村 山 次三次（次右衛門，忠道） 次助 20俵 M3 67才 浄照寺 3丁
村 山 周 造（市右衛門，政之） 善兵衛 20俵 M3 67才 乗善寺 4丁
村 山 準 三（藤五郎，豊貞） 文蔵 33俵 M4 44才 慶恩寺 6丁
村 山 準太郎（豊茂） 藤五郎 15俵 M 3 19才 慶因寺 6丁
村山 盛右衛門（直重） 喜左衛門 2人扶持 M3 55才 東本願寺別院 6丁
村 山 外次郎（忠之） 忠蔵 20俵 M3 19才 乗善寺 4丁
村 山 文太郎（茂作，定保） 盛右衛門直重 15俵 M3 19才 東本願寺別院 7丁 2冊
村 山 安 平（頼之） 仙右衛門 6俵 M4 61才 広済寺 3丁
村 山 弥三男（豊正） 藤五郎 15俵 M 3 15俵 広済寺 6丁
村 山 和三郎（一勝） 平三郎 25俵 M 3 24才 善徳寺 8丁
室 崎 孝次郎（直成） 直之助 15俵 M 3 29才 3丁
室 田 久吉郎（政久） 喜平 8俵 M4 18才 慶因寺 5丁
室 田 後 平（久行） 久兵衛 2人扶持 M3 57才 徳竜寺 4丁 2冊
室 田 武 氏 八郎武久 100石 M6 25才 承証寺 5丁
室 田 藤 吉（一平） 文右衛門 7俵 M4 33才 広済寺 2丁
室 田 八 郎（喜左衛門，武久） 源兵衛 武人 100石 M3 60才 承証寺 8丁
室 田 初三郎（忠久） 安兵衛 15俵 M 3 27才 正覚寺 3丁
室 田 茂三郎（元次） 徳兵衛 15俵 M 3 24才 専光寺 3丁
室 野 右 平（一長） 清右衛門 4人扶持 M4 61才 西勝寺 2丁
室 野 左 内（義信） 昌兵衛 4人半扶持 M2 55才 極楽寺 5丁 2冊
室 野 太 郎（義一） 清右衛門 15俵 M3 22才 西勝寺 6丁

め　行

(帙 577) 妻 籠 文之丞（重知） 小右衛門 45石 M3 33才 長久寺 11丁 2冊
毛 受 貢（知鶴） 荘助伯亀 120石 M3 30才 照円寺 9丁

も　行

毛 利 槐竜翁（隆） 一笠庵 9俵 M3 61才 上宮寺 3丁
毛 利 嘉十郎（正方） 吉左衛門正武 11俵 M3 上宮寺 6丁
毛 利 勝三郎（勝信） 安吉 10俵 M4 26才 祇陀寺 3丁
毛 利 久太郎 政之 100石 M7 7才 本行寺 8丁
毛 利 金太郎（可久） 猪右衛門氏久 120石 M3 3才 11丁
毛 利 甚次郎 武静 5人扶持 M5 12才 実成寺 4丁
毛 利 外次郎（乗宗） 勝太郎乗竹 100石 M3 18才 法光寺 7丁
毛 利 全二郎（乗正） 十郎左衛門乗貢 60俵 M3 27才 法光寺 5丁
毛 利 滝十郎（乗勢） 久左衛門乗清 150石 M3 35才 法光寺 10丁
毛 利 友 吉（武久） 晋 5人扶持 M3 20才 実成寺 6丁
毛 利 鉄 平（氏一） 兵馬氏保 17石 M3 27才 長久寺 12丁
毛 利 虎 吉（孔彰） 勘左衛門正常 10人扶持 M3 17才 静明寺 8丁 2冊
毛 利 直太郎（武信） 判平氏広 200石 M4 長久寺 5丁
毛 利 判 平（氏広） 休翁氏満 200石 M3 39才 長久寺 9丁
毛 利 彦九郎（縫殿兵衛，守房） 主馬守茂 400石 M3 34才 西勝寺 8丁
毛 利 俵 作（祐保） 右兵衛祐信 80石 M3 37才 常松寺 7丁
毛 利 文之丞（文平，永忠） 市右衛門 4人扶持 M4 33才 照円寺 3丁
(帙 578) 毛 利 茂八郎（光徳） 勘右衛門三重 150石 M3 50才 本是寺 11丁
毛 利 安太郎（武静） 友吉武久 5人扶持 M3 17才 実成寺 5丁
毛 利 勇次郎（政之） 市郎左衛門元秀 100石 M3 41才 本行寺 10丁
毛 利 余所男（武行） 伊之助武清 150石 M3 30才 長久寺 6丁
持 田 孝三郎 南征 20俵 M7 11才 極楽寺 5丁
持 田 兵三郎（致光） 源五郎致礼 100石 M3 51才 妙円寺 13丁
本 橋 義 三 仙六 180石 M2 34才 妙国寺 12丁
本 橋 仙 六（仙右衛門，庸重） 180石 M3 62才 妙国寺 8丁
本 橋 恒 松（義一） 仙右衛門庸重 60俵 M3 33才 妙国寺 10丁
本 藤 道 守（文三郎，周邦） 盛之介季貴 100石 M3 41才 実成寺 15丁
桃 井 儀 一（尚之） 八郎左衛門 17俵 M3 28才 本光寺 4丁
桃 井 八郎二（八郎左衛門，儀一） 80石 M3 57才 本光寺 7丁
(帙 579) 森 愛 平（武右衛門，武繁） 九右衛門武幸 16俵 M3 36才 長周寺 5丁
森 浅 喜（浅之丞，富番） 磯之丞 30俵 M3 63才 月照寺 5丁
森 市三郎（元知） 市次郎 20俵 M3 75才 正覚寺 4丁
森 市次郎（元次） 市三郎 20俵 M4 4才 正覚寺 3丁
森 一 六（助次郎，正勝） 弥三兵衛 15俵 M3 24才 光円寺 3丁
森 猪之吉（成幹） 牛之助成章 35俵 M3 長久寺 9丁
森 岩 男（直方） 津右衛門淑儀 2人扶持 M3 31才 弘願寺 4丁
森 蓊（敬則） 津左衛門敬典 100石 M3 39才 慶恩寺 7丁
森 乙 作（福救） 次兵衛 30俵 M4 50才 正覚寺 5丁
森 男 依（直持） 丈平六 12俵 M3 22才 正福寺 3丁
森 角太郎 平八 20俵 M7 16才

心蓮社　6丁
森　嘉十郎（信一）　左平太　4俵　M3　12才　善徳寺　3丁
森　主　計（直知）　元俊直忠　4人扶持　M2　32才　珉徳寺　4丁
森　巻　耳　政敬　23俵　M8　20才　正福寺　9丁
森　儀三郎（義茂）　磯右衛門　25俵　M2　40才　等願寺　6丁
森　吉三郎（祐元）　吉左衛門　20俵　M3　70才　徳善寺　4丁
森　吉太郎（元久）　吉三郎　20俵　M4　10才　徳善寺　4丁
森　吉太郎（寛之）　三六　50俵　M3　24才　本是寺　5丁
森　九　八（徳久）　快安徳秀　18俵　M3　54才　心蓮社　7丁
森　軍　二（徳）　良済賢竜　25人扶持　M3　44才　開禅寺　10丁
森　謙　吉　幸次郎　18俵　M3　26才　光専寺　7丁
森　賢　造（一秀）　専良秀方　6人扶持　M3　28才　心蓮社　10丁
森　幸三郎（信秀）　善之衛　15俵　M3　28才　浄照寺　4丁
森　五　作（一茂）　小兵衛　25俵　M3　44才　誓願寺　5丁
（帙 580）森　作右衛門（延知）　右内直好　2人扶持　M3　63才　妙法寺　3丁
森　作次郎（信敏）　平三　180石　M4　17才　妙典寺　7丁　2冊
森　作次郎　清造　9俵　M6　29才　妙福寺　5丁
森　三　郎　宗吾寿賀　20俵　M5　1才　本是寺　4丁
森　左平太（因一）　藤左衛門一次　14俵　M3　52才　善徳寺　4丁　2冊
森　三　六（照寛）　忠太夫寛英　100石　M3　48才　本是寺　12丁
森　志　げ　政敬　23俵　M8　20才　正福寺　9丁
森　茂　男（茂政）　武右衛門　15才　M3　25才　本楽寺　4丁
森　重二郎（重成）　信重　4人扶持　M3　30才　成覚寺　4丁　2冊
森　重次郎　吉助　15俵　M3　18才　光円寺　3丁
森　重太郎（政久）　八郎　40石　M3　23才　善徳寺　10丁
森　俊　二（直知）　元俊直忠　4人扶持　M3　32才　珉徳寺　4丁
森　順　平（三郎兵衛，正世）　友平真民　50石　M3　40才　本浄寺　5丁
森　丈　山（左門，勝房）　丈平信房　60石　M3　51才　円光寺　6丁
森　正多郎（一茂）　純蔵一秀　5人扶持　M3　18才　浄照寺　2丁
森　庄太郎　与郎九　18俵　M6　9才　上宮寺　5丁
森　庄　平（信重）　七左衛門重政　9人扶持　M3　67才　成覚寺　6丁　2冊
森　丈平六（直致）　仲右衛門為忠　35俵　M3　44才　正福寺　7丁　2冊
森　次　郎（次右衛門，政長）　行長　6人扶持　M3　31才　極楽寺　3丁
森　慎　吾（周蔵，寛忠）　覚兵衛寛登　10俵　M3　24才　正福寺　7丁
森　新　八（一立）　源吾　2人扶持　M5　知覚寺　3丁
（帙 581）森　静　一（廸知）　作右衛門延知　60石　M3　28才　妙法寺　8丁　2冊
森　清　八（清左衛門，幸正）　左平次　15俵　M3　57才　7丁
森　善　作（正常）　宇兵衛　3人扶持　M4　26才　永順寺　5丁
森　善　八（吉長）　伝右衛門　3人扶持　M4　59才　東本願寺別院　3丁
森　宗　吾（寿賀）　宗左衛門　20俵　M3　66才　本是寺　5丁
森　多　津　快安高秀　18俵　M7　48才　心蓮社　6丁
森　辰　次（継述）　辰之助充　100石　M3　54才　瑞泉寺　6丁
森　千萬樹（権大夫，三貞）　権大夫三

就 1,200石 M3 33才 常松寺 12丁
森 仲 見（覚兵衛，寛登） 仲大夫寛満 12人扶持 M3 55才 正福寺 9丁 2冊
森 鉄三郎（義次） 和平 15俵 M3 26才 長楽寺 3丁
森 藤 馬（津右衛門，淑儀） 藤馬吉直 40石 M3 53才 弘願寺 6丁
森 友太郎（明弼） 安平 33俵 M3 24才 仰西寺 5丁
森 半 之（政敬） 半丞 13俵 M4 54才 正福寺 9丁
森 初三郎（宜敬） 勘左衛門 9俵 M4 28才 道林寺 5丁
森 半次郎（和之） 半右衛門 35石 M4 40才 東本願寺別院 5丁 2冊
森 繁 造（秀成） 快安徳秀 300石 M3 40才 心蓮社 18丁
森 一二三（権兵衛，可保） 助三可長 60俵 M3 48才 上宮寺 6丁
森 文之丞（久清） 文太夫 2人扶持 M2 光専寺 6丁
（帙 582） 森 平 三（平蔵，信栄） 晩翠 180石 M3 60才 妙典寺 8丁
森 兵 三（盛次） 丈山勝房 60石 M4 28才 円光寺 5丁
森 平太郎（旭） 平六宗義 5人扶持 M3 17才 安楽寺 4丁 2冊
森 孫八郎（誠左衛門，寛一） 松翁寛本 100石 M3 39才 本是寺 9丁
森 正 樹（久忠） 二三久朝 22俵 M3 35才 光専寺 5丁
森 政 記（正行） 与左衛門 7俵 M4 27才 円長寺 4丁
森 政 吉（茂久） 政吉 11俵 M3 22才 慶恩寺 4丁
森 可 也 可保 60俵 M6 29才 上宮寺 4丁
森 可 參（可参） 桐五郎可与 100石 M3 31才 上宮寺 8丁
森 皆 松 定孝 85俵 M6 19才 正福寺 6丁
森 弥三吉（義忠） 六左衛門 15俵 M3 29才 慶恩寺 4丁
森 弥三太（昌蔵，慎懋） 昌蔵友良 19俵 M3 56才 上宮寺 6丁
森 余所吉（定孝） 孝三郎直治 130石 M3 42才 正福寺 7丁
森 良 吉（正直） 源五兵衛 10俵 M3 24才 妙法寺 7丁 2冊
森 亮 造（忠明） 藤左衛門 20俵 M3 20才 名願寺 5丁
森 錬太郎 25俵 M6 13才 浄智寺 5丁
森 和 吉（和助，忠由） 平兵衛 20俵 M3 61才 本浄寺 3丁
（帙 583） 森 岡 兵次郎（馥友） 吉次 15俵 M4 23才 真行寺 4丁
森 岡 吉 次（馥広） 吉三郎 15俵 M4 50才 真行寺 4丁
森川 幾久太郎（義比） 兵左衛門 15俵 M3 35才 法光寺 5丁 2冊
森 川 儀太郎 邦義 50俵 M7 12才 妙円寺 5丁
森 川 甚 作（周房） 甚八 25俵 M3 68才 妙円寺 5丁
森 川 清五郎（村重） 惣左衛門 6人扶持 M3 25才 妙成寺 9丁 2冊
森川 惣左衛門（毎之） 親眞 6人扶持 M2 62才 妙成寺 3丁
森 川 左太夫（則政） 左大夫 110石 M3 29才 西養寺 11丁
森 川 豊 市（友左衛門，邦義） 弥五左衛門克輔 50俵 M3 41才 妙円寺 7丁
森 川 直 松（忠正） 太左衛門 15俵 M3 24才 妙覚寺 4丁
森 川 登（則政） 左太夫則儆 110石 M3 29才 西養寺 9丁
森 川 八 郎（八郎左衛門，至正） 甚助至方 60石 M3 42才 8丁 2冊
森 川 八十郎（至信） 八郎至正 1人扶持 M3 13才 桃雲寺 2丁
森 川 与三郎 光忠 15俵 M7 15才

照円寺　4丁
森　口　秋三郎（忠成）　次平　18倅　M4　47才　願成寺　4丁
森　口　外鐵男（之孝）　善六太孝　100石　M3　24才　極楽寺　11丁
森　口　之　孝　100石　M6　25才　3丁
森　下　逸　双（信治）　茂平　8倅　M4　33才　永順寺　4丁
森　下　英　二（忠一）　小四郎　20倅　M4　23才　西源寺　6丁
森　下　長四郎（定行）　徳右衛門　12倅　専長寺　3丁
（帙584）森　島　権太郎　浪栄　4人半扶持　M6　15才　雲竜寺　4丁
森　島　浪　栄（則政，助之丞）　元専則保　4人半扶持　M3　46才　雲竜寺　5丁　2冊
森　島　彦　作（守人，秀実）　彦左衛門清秀　100石　M3　39才　静明寺　5丁
守　田　亥　平（元之）　直江元近　8倅　M4　27才　唯念寺　5丁
守　田　直　江（元右衛門，元近）　直江元正　7人扶持　3M　48才　唯念寺　6丁
森　田　伊三郎（喜仲）　鉄太郎　18倅　M5　19才　願楽寺　5丁
森　田　市　三（市左衛門，雄房）　25倅　M3　48才　妙国寺　6丁
森　田　乙三郎（則一）　清作清　30倅　M3　37才　願楽寺　5丁
森　田　改之介（久克，茂）　清七　3人扶持　M3　23才　4丁　2冊
森　田　周　輔（之茂）　専悦　5人扶持　M1　36才　真教寺　3丁
森　田　吉之丞（辰久）　早之進　2人扶持　M2　26才　3丁
森　田　源太郎　好勝　18倅　M6　7才　善福寺　4丁
森　田　元　六（之茂）　専悦　5人扶持　M3　38才　真教寺　4丁
森　田　耕　作（武賢）　五左衛門武久　8倅　M3　33才　玄門寺　4丁
森　田　小弥太　玄静　25倅　M7　29才　玄門寺　7丁
森　田　七　平（七左衛門，正幸）　定右衛門　18倅　M3　50才　願楽寺　5丁
（帙585）森　田　省　三　清七　3人扶持　M7　56才　善性寺　3丁
森　田　昌　平（要則）　安丞　30石　M1　48才　正覚寺　3丁
森　田　清　治（清之丞，茂久）　20倅　M3　29才　玄門寺　5丁
森　田　大　助　安右衛門　40石　M3　33才　浄智寺　5丁
森　田　大　二（義久）　安右衛門義明　40石　M3　33才　浄智寺　5丁
森　田　太　三（太蔵，長久）　作左衛門　21倅　M3　47才　仁随寺　5丁
森　田　多　守（顕光）　平之丞顕直　10人扶持　M3　48才　善照坊　4丁
森　田　常太郎（正安）　虎左衛門正従　500石　伏見寺　9丁
森　田　徳三郎（顕允）　守多顕光　6倅　M3　11才　善照寺　3丁
森　田　虎之助（重信）　鉄之助　5人扶持　M3　29才　2丁
森　田　弥三八（安定）　弥三八　20倅　M3　43才　仰西寺　7丁
森　田　　豊（重信）　鉄之助　5人扶持　M4　30才　西源寺　2丁
森田　与三次郎（以忠）　三郎兵衛　20倅　M3　33才　玄門寺　7丁
森　田　林　次（辰久）　早之進保久　2人扶持　M4　27才　静明寺　4丁
（帙586）森　村　勇　雄（義孝）　専助睦平　14倅　M3　30才　長徳寺　7丁
森　村　重六郎（誠）　猪之助栄信　12倅　M3　20才　善福寺　4丁
森　村　準　策（共久）　庄之助方共　40倅　M3　62才　長徳寺　7丁
森　本　　雪（昆明）　彦之丞　20倅　M3　21才　妙慶寺　8丁
守　矢　雄一郎（喜一郎，守正）　藤右衛門　20倅　M3　24才　極楽寺　5丁
森屋　九郎兵衛　新平令勝　40倅　M3　40

才　妙惣寺　4丁

森屋新平（令勝）　九左衛門令居　40俵　M3　61才　妙惣寺　7丁　3冊

守山元右衛門　久太夫　40石　M2　29才　玄門寺　5丁

森山久作（久秀）　作兵衛　12俵　M4　44才　名願寺　6丁

森山作次郎（信房）　作兵衛　15俵　M3　30才　名願寺　3丁

森山斌男（左吉郎，輝友）　左平輝政　7俵　M3　18才　光西寺　3丁

師田甚六（甚右衛門，正清）　才三郎　正貞　40俵　M3　54才　本因寺　7丁

師田鉄男　正清　40俵　M6　20才　本因寺　6丁

や　行

（帙 587）八百栄左衛門（孝之）　伊右衛門　2人扶持　M3　43才　常松寺　4丁

八尾脩太郎（叟成）　斧太郎叟次　80石　M3　38才　光徳寺　4丁

八尾順平（平之助）　矢次郎　22俵　M3　33才　名願寺　6丁

矢尾市三郎（政一）　市右衛門　22俵　M3　29才　浄行寺　5丁

矢尾市郎平（市之助，勝定）　小兵衛　18俵　M3　39才　玄門寺　5丁

矢尾富三郎　一明　4人扶持　M6　7才　西方寺　4丁

矢尾平作（一明）　平右衛門　4人扶持　M3　46才　西方寺　4丁　3冊

矢尾平次（祐茂）　次六　20俵　M3　20才　常福寺　6丁

矢木喜平矢（守貞）　才次郎　19俵　M3　38才　専光寺　5丁

八木燕太郎（為章）　良平信為　5人扶持　M3　16才　本覚寺　4丁　2冊

八木小一郎（寛一）　新左衛門寛好　2人扶持　M3　11才　妙円寺　10丁

八木三六（新左衛門，寛好）　次郎助寛厚　45石　M3　35才　妙円寺　10丁　2冊

八木八十八（弥三郎，元平）　平兵衛　15俵　M3　30才　本誓寺　4丁

矢木三四郎（三之助，正勝）　三郎右衛門　15俵　M3　39才　専光寺　5丁

矢木新治（忠貞）　弥太郎　12俵　M4　31才　西光寺　4丁

矢木新八　元資　160石　M7　23才　唯念寺　5丁

矢木清九郎（久安）　清吉　15俵　M3　24才　泉正寺　4丁

矢木　琢（九右衛門，元資）　喜久翁之銘　160石　M3　43才　唯念寺　6丁

矢木　亘（為網）　盛翁為則　11人扶持　M3　46才　浄住寺　6丁　2冊

（帙 588）矢口弥三郎（孫兵衛，篤之）　平助　11俵　M3　42才　智覚寺　4丁　2冊

屋口小次郎（政一）　小太郎　12俵　M4　25才　西方寺　6丁

屋後幸作（幸左衛門，有融，景有）　一介景軌　60石　M3　53才　等願寺　8丁　2冊

矢崎伊三郎（勝正）　宗助　15俵　M3　22才　徳円寺　3丁

矢崎久平（寛勝）　祐左衛門　2人扶持　M3　54才　専光寺　4丁

矢崎治作（忠次）　仁三郎　15俵　M3　22才　浄福寺　5丁

矢崎順平（博達）　久平寛勝　4人扶持　M3　専光寺　6丁

矢崎新吾（寛忠）　久平　30石　M4　29才　専光寺　6丁

矢崎新左衛門（寛忠）　祐左衛門　30石　元治2　22才　専光寺　7丁

八崎忠義（茂三郎，忠義）　源蔵　20俵　M3　16才　願称寺　5丁

八里左一（知益）　彦三郎　30俵　M3　52才　本性寺　12丁

八里新平　新左衛門　25俵　M3　42才　静明寺　6丁

八里千作（千右衛門，納平）　久五郎　15俵　M3　39才　善徳寺　6丁

（帙 589）八里大平（清太夫，直定）　次郎太夫

20俵 M3 43才 専光寺 9丁
八里ひさ 孫三 25俵 M7 6才 興徳寺 6丁
八里平作（友之） 万作恭邦 40俵 M3 25才 専光寺 7丁
八里孫三（孫兵衛，旦次） 宇太夫 35俵 M3 65才 興徳寺 7丁
八里理新 孫三 40俵 M7 21才 興徳寺 5丁
八島一刀（為重） 竜助為久 250石 M3 40才 真行寺 11丁
八島喜太郎 善兵衛 15俵 M3 16才 妙円寺 4丁
八島善平 平吉 2人扶持 M4 妙円寺 3丁
八島　恒（為晴） 寛山為政 150石 M3 28才 真行寺 9丁
矢島逸角（正和） 鉄六正明 100石 M3 43才 浄安寺 8丁
矢島吉太郎（基信） 周太郎基重 11俵 M4 36才 本経寺 3丁 2冊
矢島久次郎（永秀） 吟之助 20俵 M3 57才 等願寺 5丁 2冊
矢島久楽（秀相） 誠八貞興 150石 M3 52才 妙国寺 14丁
矢島賢次郎（与左衛門，政広） 善左衛門完全 150石 M3 34才 妙国寺 11丁
矢嶋庄次郎（交次） 彦市 12俵 M4 55才 本覚寺 7丁
矢島専太郎（守一） 半兵衛慶久 8人扶持 M3 27才 超願寺 6丁 2冊
矢島鼎治郎（也一，正久） 栄之丞定勝 35石 M3 16才 放生寺 6丁
矢島発橘（八右衛門，富幸） 貫二富成 70石 M3 16才 善照坊 7丁
矢島弥四郎（栄矩） 弥平次 13俵 M4 25才 妙福寺 6丁
（帙590） 安井観兵衛（菅政） 古平 5人扶持 M2 43才 専光寺 4丁
安井喜一郎（厚之） 専人厚義 250石 M3 37才 普明院 9丁
安井九平（九兵衛，友由） 平助 18俵 M3 正福寺 3丁
安井三治（為英） 観兵衛 5人扶持 M3 専光寺 6丁
安井条平（和介，顕比） 源左衛門顕久 220石 M3 47才 普明寺 15丁
安井清吉 清六 20俵 M6 9才 西勝寺 3丁
安井清六（安正） 清六 20俵 M3 76才 西勝寺 4丁
安井平作（義雄） 平助 25俵 M3 33才 光専寺 4丁
安井茂三郎（乗勝） 清左衛門 15俵 M3 19才 願念寺 4丁
安井弥三平（礼繁） 半三郎 20俵 M3 鶴林寺 5丁
安江伊三郎（正明） 八郎兵衛 20俵 M3 19才 因徳寺 6丁
安江市郎（雅知） 市左衛門重忠 7人扶持 M3 円長寺 7丁
安江喜三郎（与兵衛，一益） 喜三郎 18俵 M3 18才 願念寺 5丁
安江吉次（久一） 五兵衛 15俵 M4 37才 願念寺 3丁
安江重吉（保久） 十左衛門 9俵 M4 22才 願念寺 3丁
安江十平（十左衛門，尚保） 十右衛門 15俵 M3 願念寺 2丁
安江次郎吉（之信） 幸助 20俵 M3 68才 光専寺 2丁
安江甚八（直勝） 甚兵衛直温 50俵 M3 60才 竜淵寺 8丁
安江甚六（貞勝） 甚八直勝 50俵 M3 25才 竜淵寺 3丁
安江外喜雄（実備） 八兵衛綏之 50石 M3 24才 恵光寺 8丁
安江弥三郎（保定） 伊右衛門 5俵 M4 31才 願念寺 3丁
安江　安（信定） 小左衛門 25俵 M4 44才 願念寺 8丁
安江弥平（栄邑） 増右衛門 10俵 M3 44才 善照坊 2丁 2冊

安 江 芳太郎（治以，玄蔵） 金右衛門寿正 50石 M3 22才 恵光寺 9丁 2冊

(帙 591) 安 岡 伊三郎（重成） 弥兵衛 11俵 M4 23才 願念寺 4丁

安 上 吉三郎（久重） 吉太郎 15俵 M4 12才 願念寺 3丁

安 上 吉太郎（久忠） 五兵衛 15俵 M3 34才 願念寺 3丁

安 川 吉 三（吉安） 四郎兵衛 3人扶持 M3 52才 西蓮寺 3丁

安 川 孝治松（理兵衛，親良） 永次 20俵 M3 33才 瑞泉寺 4丁

安 川 甚九郎（孝之） 弥六 30俵 M4 57才 本覚寺 5丁

安木田 淳 平（頼方） 霞門政代 30石 M3 38才 円長寺 6丁

安 越 太三次（一孝） 太七 18俵 M3 35才 聖興寺 6丁

安島 喜久太郎 義一 20俵 M5 14才 専光寺 3丁

安 島 三 平（定秋） 宗左衛門克久 2人扶持 M3 27才 願念寺 5丁 2冊

安 島 善次郎（久善） 善兵衛 20俵 M3 34才 広済寺 4丁

安 島 茂 一（久左衛門，久安） 平助 20俵 M3 70才 専光寺 5丁

安 田 市次郎（聚和） 次右衛門 10俵 M3 25才 東本願寺別院 4丁

安 田 卯八郎（重信） 保三淳之 50俵 M3 3才 円長寺 5丁 2冊

安 田 数 馬（信春） 範蔵敷寛 73俵 M3 49才 妙泰寺 8丁

安 田 勘次郎 小左衛門 15俵 M3 27才 6丁

安 田 儀 一（孝友） 敬次郎孝久 50俵 M3 23才 常福寺 10丁

安 田 喜 作（道信） 七左衛門 10俵 M4 44才 哲円寺 6丁

安 田 喜十郎（則房） 喜兵衛 15俵 M3 28才 願念寺 4丁

安 田 喜太郎（年） 宣右衛門貞久 9俵 M3 22才 正覚寺 4丁 2冊

安 田 久 平（好友） 弥助 3人半扶持 M4 55才 専光寺 3丁

安 田 　　清（清蔵，則盛） 仁兵衛 15俵 M3 29才 善徳寺 3丁

安 田 九 平（守行） 五郎左衛門淑従 100石 67才 乗善寺 6丁

(帙 592) 安 田 源五郎（源五兵衛） 100石 M3 常福寺 9丁

安 田 源十郎（栄様） 守右衛門 15俵 M3 33才 法信寺 4丁

安 田 元太郎（安久） 元右衛門 20俵 M3 30才 照円寺 6丁

安 田 　　耕（忠兵衛，春義） 久太夫 20俵 M3 31才 蓮覚寺 7丁

安 田 小三郎（祐只） 小左衛門 15俵 M3 25才 善性寺 3丁

安 田 五七郎（篤義） 五左衛門 20俵 M3 46才 妙伝寺 5丁

安 田 五 平（元定） 勘右衛門 8俵 M4 60才 願念寺 3丁

安 田 権 次（与次右衛門，信秀） 安兵衛 15俵 M3 41才 願念寺 3丁

安 田 三 郎（為政） 敬左衛門 25俵 M3 35才 善徳寺 6丁

安 田 沢 二（茂清） 沢之助 20俵 M4 43才 願成寺 7丁

安 田 繁 野（孝太郎，守幸） 儀十郎守中 180石 M3 22才 乗善寺 8丁

安 田 二七郎（勝達） 平七 7俵 M5 3丁

安 田 周 平（栄久） 兵摩久章 8人扶持 M3 35才 正覚寺 6丁 2冊

安 田 十 六（正通） 右門正保 6人扶持 M4 31才 玄門寺 6丁

(帙 593) 安 田 庄九郎（千定） 庄太 2人扶持 M4 31才 光徳寺 4丁

安 田 庄五郎（忠光） 庄左衛門 6俵 M4 17才 願念寺 3丁

安 田 庄次郎（政由） 庄七 1人半扶持 M3 64才 妙慶寺 3丁

安 田 庄 太（秀安） 佐吉 17俵 M3

54才　光徳寺　3丁

安田甚作（直方）　宗右衛門貞道　50石　M3　25才　妙典寺　8丁　2冊

安田甚三（勝久）　甚之助　25俵　M3　39才　常福寺　6丁

安田助八（永善）　助右衛門　15俵　M3　23才　浄願寺　3丁

安田清記（義久）　嘉兵衛　40石　M3　55才　妙泰寺　8丁　2通

安田清蔵（正頼）　清記　1人扶持　安政7　21才　妙泰寺　3丁

安田清平（勝次）　長兵衛　15俵　M4　39才　聖興寺　3丁

安田惣吉（祐之）　仲太郎　18俵　M3　23才　法船寺　4丁

安田多喜馬（義保，国親）　太仲義国　35石　M3　39才　法船寺　4丁　2冊

安田他十郎（信昉）　兵蔵信成　12俵　M4　23才　浄明寺　3丁　2冊

安田　還（流芳）　石兵衛春光　40石　M3　22才　西方寺　5丁

（峡594）安田　主（義昌）　清作義久　1人扶持　M4　32才　妙泰寺　2丁

安田蔵造（政忠）　甚右衛門　20俵　M4　49才　承証寺　8丁

安田徳二（徳太郎，一之）　隼人　20俵　M4　20才　東本願寺別院　8丁

安田徳次郎（元久）　五平　6俵　M4　27才　願念寺　3丁

安田徳太郎（忠久）　藤造　20俵　M4　22才　承証寺　7丁　2冊

安田友二（秋正）　伊兵衛　15俵　M3　25才　慶覚寺　5丁

安田豊作（有則）　甚九郎則喜　20俵　M3　12才　承証寺　8丁

安田猶作（当良）　九郎兵衛　7俵　M4　34才　願念寺　5丁

安田直之丞（正通）　謙之進　6人扶持　M2　29才　玄門寺　6丁

安田仁太郎（忠勝）　小左衛門　15俵　M3　19才　善性寺　4丁

安田八次郎（孝基）　朴翁孝次　100石　M3　35才　常福寺　7丁

安田兵左衛門（建見，信良）　兵蔵　24俵　M4　33才　静明寺　4丁

安田孫三久（喜守）　永三郎　20俵　M3　33才　道林寺　7丁

安田又九郎（忠之）　孫吉　15俵　M3　57才　浄照寺　3丁

安田元男（元右衛門，義久）　久太夫　20俵　M3　63才　照円寺　6丁

（峡595）安田茂平（和左衛門，和邦）　久右衛門　120石　M3　17才　乗善寺　9丁

安田弥四郎（助次）　弥三助　20俵　M3　59才　専光寺　3丁

安田安平（和忠）　豊左衛門　20俵　M3　27才　承証寺　7丁

安田弥太郎（政一）　弥三吉　25俵　M3　33才　常福寺　7丁

安田与三郎（勝茂）　久平　15俵　M3　24才　専光寺　3丁

安田与三（宣右衛門，貞久）　兵摩　45石　M3　52才　正覚寺　4丁　2冊

安田良三郎　清作　5人扶持　M3　22才　妙泰寺　2丁　2冊

安田良太郎（良貫）　希哉益新　250石　M3　39才　妙泰寺　18丁

保田栄次郎（守一）　庄兵衛範郷　50石　M3　39才　愛染院　5丁

保田三郎（三郎太夫，安定）　誠意　100石　M3　49才　西勝寺　9丁　2冊

保田松休（松之丞，守則）　惣太夫守行　3人扶持　M3　65才　西勝寺　5丁　2冊

保田惣三郎（守次）　松之丞守則　70石　M3　39才　西勝寺　5丁　2冊

保田仙五郎（克好）　幸哉信克　120石　M3　35才　西勝寺　16丁

保田弥一郎（弥左衛門，恒政）　弥右衛門　8俵　M4　47才　専光寺　3丁

保田鉚吉（惟孝）　三郎安定　3人扶持　M3　25才　西勝寺　3丁　2冊

保多二三郎　弥兵衛　2人扶持　M4　25才　専光寺　4丁

保多 安太郎（之保） 藤右衛門 6俵 M4 18才 専光寺 3丁

(帙 596) 安武 外次郎（景久） 石太郎葆就 100石 M3 55才 妙泰寺 9丁

安武 十代雄（就義） 外次郎景久 60俵 M3 34才 妙泰寺 5丁

安原 喜三郎（義行） 喜太夫 20俵 M3 5才 慶恩寺 4丁

安原 重一 作士夫 35俵 M3 43才 安立寺 6丁

安原 周平（信義） 喜楽信之 50石 M3 22才 妙典寺 6丁 2冊

安原 清三（近久） 李左衛門 9俵 M3 26才 瑞泉寺 5丁

安原 八十男（甚之助，貞久） 甚助貞房 6人扶持 M3 18才 本法寺 4丁 2冊

安原 理吉郎（貞守） 卯八 15俵 M3 24才 法船寺 4丁

安見 金太郎（寛） 竹洗寛居 200石 M3 国泰寺 7丁

安見 友也（宇左衛門，武次） 宇左衛門武友 35石 M3 59才 大乗寺 7丁 2冊

安村 宇平（信正） 宇兵衛 2人扶持 M4 48才 専光寺 3丁

安村 権次郎（尚道） 五郎右衛門 10俵 M3 17才 聖興寺 3丁

安村 作次（七郎右衛門，宗次） 弥三兵衛 15俵 M3 44才 光徳寺 5丁

安村 善次郎（善影） 善右衛門 17俵 M3 25才 照円寺 5丁

安村 伝二（忠久） 次左衛門 2人扶持 M4 30才 聖興寺 4丁

安村 友作（小左衛門，充親） 小右衛門 25俵 M3 44才 広済寺 6丁

安村 彦次郎（保親） 和平 50石 M3 17才 妙国寺 8丁 2冊

安村 文六郎（道正） 宗右衛門忠正 5人扶持 M3 50才 珉徳寺 4丁

安村 弥三郎（之政） 他四郎 20俵 M5 43才 願念寺 4丁

安村 喜苗（喜久兵衛，成言） 武右衛門 50俵 M3 29才 妙典寺 12丁

安本 幾久男（信之） 要人信成 100石 M3 28才 長久寺 8丁

(帙 597) 八十島 円三（円蔵，一定） 左兵衛運照 100俵 M3 55才 法船寺 10丁

八十島 健六（健蔵，元永） 浅溪元春 70石 M3 32才 法船寺 11丁

八十島 祥葬（含） 東葬暢発 15人扶持 49才 西養寺 15丁

八十島 皆富（政信） 権三郎尚政 70石 M3 35才 西養寺 8丁

矢田 久作（安克） 伊三郎 6俵 M5 34才 本覚寺 2丁

矢田 久平（房市） 源五左衛門 20俵 M3 63才 善福寺 7丁

矢田 周太（慎徳） 周左衛門定一 50石 M3 49才 高印寺 6丁

矢田 昌五郎（正信） 亥右衛門 10俵 M4 28才 光教寺 3丁 2冊

矢田 真記（考之丞，忠教） 彦兵衛 15俵 M3 22才 光伝寺 4丁

矢田 平（秀貫） 大九郎道貫 180石 M3 27才 了願寺 10丁

矢田 初三郎（初左衛門，太兵衛 2人扶持 M3 45才 広済寺 3丁

矢田 半三郎（清辰，清秀） 半右衛門 20俵 M3 39才 大乗寺 7丁 2冊

矢田 美幾（鈴六郎，瀬左衛門，尚道） 勘兵衛尚和 9俵 M3 高印寺 9丁 2冊

矢津 小平（少右衛門，正行） 少三郎 9俵 M3 53才 祐専寺 4丁

八塚 世高（又次郎） 喜右衛門 2人扶持 M4 22才 長福寺 3丁

柳川 市太郎（観行） 理平 20俵 M5 28才 実成寺 4丁 2冊

柳 登也（有隣） 休馬元恵 150石 M3 24才 本是寺 12丁

柳 夫左太（孫太郎，政明） 茂八郎 20俵 M3 24才 法然寺 5丁

柳　安茂　夫左太　20俵　M5　16才　法船寺　6丁

(峡 598) 柳沢　要（弥三兵衛，成知）　栄之助　忠成　170石　M3　41才　久昌寺　13丁

柳沢富三郎（貫秀）　逸男光保　17俵　M3　19才　徳竜寺　6丁

柳野　勇（勝節）　玄亭　18俵　M3　39才　永久寺　3丁

柳橋明男（重成）　多左衛門　9俵　M5　34才　専徳寺　4丁

柳橋勘十郎（正成）　多左衛門　8俵　M4　26才　光専寺　3丁

柳瀬勝太郎（敬直）　作左衛門　5人扶持　M3　18才　瑞泉寺　4丁　2冊

柳瀬亀太郎（一之）　与三左衛門儀一　2人扶持　M3　55才　西勝寺　4丁

柳瀬太三郎（正勝）　勘助　15俵　M3　27才　専光寺　4丁

柳瀬藤作（一興）　亀太郎　9俵　M4　27才　西本願寺別院　4丁

柳瀬弥五八（久清）　清蔵　14俵　M4　57才　仁随寺　5丁

柳瀬弥三郎（之久）　伝吉　8俵　M5　34才　正覚寺　3丁

柳瀬弥十郎（忠之）　貞次　23俵　M3　28才　玄門寺　6丁

柳瀬弥太郎（信清）　弥五左衛門　2人扶持　M4　23才　仁随寺　8丁

簗田　巽（了之介）　房安　10人扶持　M3　33才　本光寺　13丁

(峡 599) 八野甚吉郎（良之）　甚兵衛　15俵　M3　27才　光専寺　3丁

矢能網男（清信）　勇佐九清明　12俵　M3　26才　妙円寺　5丁

矢能ワキ　勇佐九　12俵　M8　22才　妙円寺　3丁

矢野伊三郎（忠一）　伊助　15俵　M3　27才　仰西寺　3丁

矢野市平（市兵衛，福矩）　市郎衛門　15俵　M3　32才　仰西寺　4丁

矢野亀五郎（倫寛）　三内忠倫　100石　M3　9才　開禅寺　9丁　2冊

矢野喜久馬（則倣）　七郎左衛門則政　30石　M3　26才　開禅寺　11丁　2冊

矢野久太郎（茂信）　伊助　15俵　M3　22才　浄誓寺　5丁

矢野小弥太（質成）　戈右衛門　9俵　M3　17才　善徳寺　4丁

矢野三善（金弥）　策平察倫　50石　M6　10才　開禅寺　9丁

矢野次三郎（政一）　嘉左衛門　20俵　M3　14才　徳善寺　4丁

矢野所左衛門（直政）　喜兵衛　5人扶持　M2　57才　開禅寺　12丁

矢野忠右衛門　喜平　5人扶持　M7　28才　開禅寺　6丁

矢野中（戈右衛門，友成）　戈右衛門　10俵　M3　53才　善徳寺　4丁

矢野又吉（晉孝）　判六資慎　350石　M3　22才　大乗寺　16丁

矢野無庵（三内，忠倫）　久左衛門　3人扶持　M3　68才　開禅寺　2丁

藪野寿太郎（知久）　20俵　M3　25才　東本願寺別院　4丁

矢部圀三郎（岡三郎）　唯之助篤之　150石　M3　31才　承証寺　9丁

矢部完休（信保）　藤右衛門　4俵　M4　79才　道林寺　5丁

矢部銀三（正直）　源右衛門　3人扶持　M4　48才　願照寺　3丁

矢部幸作（良道）　平蔵　30石　M3　52才　聖安寺　4丁

(峡 600) 矢部佐太平（平義）　三郎右衛門　15俵　M4　33才　光専寺　3丁

矢部七平（成章）　順平　150石　M3　35才　承証寺　5丁

矢部蛍次郎（良雄）　幸助　3俵　M3　15才　聖安寺　4丁

矢部周平（彦左衛門，一乗）　七郎兵衛保　110石　M3　41才　瑞雲寺　7丁

矢部祝太郎（叔正）　津平次　30石　M3　19才　超雲寺　5丁

矢部順平（阜成）　七左衛門成尺　300石　M3　59才　承証寺　9丁

矢部忠五郎（友春） 重郎兵衛 15俵 M3 32才 聖安寺 4丁
矢部忠太郎（勝延） 喜十郎 20俵 慶応1 10才 真福院 11丁
矢部悌次郎 周平 110石 M6 16才 妙国寺 7丁
矢部鉄太郎（勝過） 与兵衛 15俵 M3 23才 名願寺 4丁
矢部　整 幸来 30石 M6 18才 聖安寺 5丁
矢部友三（孝政） 太四郎 7人扶持 M4 37才 聖安寺 4丁
矢部虎平（虎兵衛，正則） 太郎兵衛 建近 180石 M3 47才 本長寺 7丁
矢部成章 順平 450石 M7 39才 承証寺 8丁
矢部八平 正則 180石 M7 27才 本長寺 5丁
矢部秀男（叔正） 津平次 30石 M3 19才 超雲寺 5丁
矢部文作（友之） 久次郎 15俵 M3 30才 円長寺 5丁
矢部兵作（勝忠） 覚右衛門 23俵 M4 47才 道林寺 5丁
矢部八十太郎（則次） 覚右衛門 15俵 M3 25才 妙法寺 4丁
矢部与吉郎（義里） 三郎右衛門 8俵 M3 18才 光専寺 3丁
矢萩兵太郎（文近） 文右衛門 17俵 M4 13才 禅栖院 4丁
山内猪太郎（政信） 五左衛門有信 80石 M3 41才 妙法寺 10丁
山内市太郎（靖之） 市左衛門朝卓 50俵 M3 36才 融山院 8丁
（帙601） 山内乙吉（則景） 和太郎 20俵 M4 17才 正覚寺 10丁
山内開作（高網） 喜三男 11俵 M4 24才 本覚寺 3丁
山内小作（小左衛門，） 与六 23俵 M3 44才 本浄寺 5丁
山内権作（長定） 長作 30俵 M3 53才 徳竜寺 7丁
山内省路（副忠） 閑事 20俵 M3 18才 即願寺 6丁
山内信一（嘉大夫，定好） 七左衛門 35俵 M3 61才 常徳寺 6丁
山内新八（新蔵，武友） 権平堅儀 50石 M3 30才 妙法寺 10丁 2冊
山内千之助（儀綱） 喜三男 4人扶持 M1 11才 本覚寺 3丁
山内　務（房義） 甚左衛門 20俵 M3 24才 光教寺 8丁
山内常男（七郎左衛門，信成） 弥平 100石 M3 29才 6丁
山内兵磨（幸年） 五左衛門忠光 8人扶持 M3 30才 如来寺 11丁
山内弥学（政行） 喜三右衛門直信 40石 M3 41才 西養寺 10丁
山内弥太郎（正一） 権左衛門正忠 2人扶持 M3 27才 光専寺 4丁
山内弥平（政忠） 九郎兵衛 180石 M3 60才 融山院 9丁
山内勇太郎（直行） 弥学 4俵 M3 10才 西養寺 5丁
山尾平三（貞好） 平也 9俵 M3 27才 妙法寺 5丁
山尾平也（貞倫） 平六貞幹 19俵 M3 66才 妙法寺 5丁
山岡　歩（由勝） 権作 25俵 M3 60才 妙玄寺 6丁
山岡錠太郎（義範） 弥四郎 35俵 M4 17才 名願寺 8丁
（帙602） 山岡せい 20俵 M8 9才 名願寺 5丁
山岡清八（正之） 喜三郎 25俵 M3 36才 蓮華寺 6丁
山岡戸左（戸左衛門，貞一） 戸左衛門貞順 160石 M3 34才 真行寺 8丁 2冊
山岡半三郎（永貞） 半太夫 25俵 M3 31才 妙玄寺 5丁
山岡孫三（次左衛門，義之） 次太夫 義永 40石 M3 27才 蓮華寺 6丁
山岡弥五郎（美章） 弥兵衛 27俵 M

3　38才　妙玄寺　5丁
山形吉平（安太夫，友儀）　丈助　20俵　M3　50才　立像寺　6丁
山形新造（忠尚）　五郎兵衛　25俵　M3　35才　実成寺　9丁
山形善太郎（正信）　助之丞正行　130石　M3　29才　立像寺　10丁
山形宗二郎（三直）　宗左衛門　20俵　M3　53才　西方寺　7丁
山形彦治（彦兵衛，満則）　信三郎　20俵　M3　31才　正福寺　9丁
山上伊三次（伊右衛門，直久）　喜三郎　20俵　M3　54才　慶恩寺　4丁
山上和民（貞幹）　万右衛門　18俵　M3　57才　瑞泉寺　5丁
山上勝治（直高）　又右衛門　5俵　M4　27才　浄教寺　3丁
山上喜平（喜右衛門，一友）　惣五郎　1人半扶持　M3　48才　善徳寺　2丁
山上敬之進（征理）　大順　2人扶持　慶応4　25才　迎西寺　3丁
山上源次郎（光望）　源七　20俵　M3　18才　妙典寺　7丁
山上孝太郎　茂　20俵　M6　8才　本誓寺　5丁
山上小三郎（一布）　与吉郎　9俵　M3　21才　東本願寺別院　4丁
山上作次（七左衛門，幸勝）　七郎右衛門　9俵　M3　24才　東本願寺別院　3丁
山上　茂（鉄之助，忠清）　宇右衛門　20俵　M3　55才　本誓寺　7丁
山上寿作（尚保）　吉左衛門　18俵　M4　40才　浄照寺　6丁
（帙 603）山上庄次郎（貞則）　和民　9俵　M4　22才　瑞泉寺　4丁
山上所平（頼久）　祐左衛門　20俵　M3　28才　妙泰寺　8丁
山上善三郎（為勝）　善兵衛　12俵　M4　39才　専光寺　4丁
山上善四郎（政忠）　誠作　20俵　M3　31才　因徳寺　6丁
山上誠之（庄右衛門，夢覚）　善八　16俵　M4　63才　東本願寺別院　4丁
山上　始（政理）　大順　10俵　M3　27才　向西寺　4丁
山上半也（嘉道）　善兵衛　20俵　M3　22才　専光寺　4丁
山上久男（吉善）　全之助吉敏　50俵　M3　41才　本性寺　10丁
山上文次（文左衛門，友一）　文蔵　23俵　M3　47才　妙国寺　9丁
山上平太（平左衛門，友之）　八左衛門　20俵　M3　39才　円徳寺　9丁
山上兵太郎　平太友之　20俵　M5　7才　因徳寺　4丁
山上又二郎（恒政）　善兵衛　7俵　M4　29才　祐専寺　3丁
山上与吉郎　与平　9俵　M8　31才　東本願寺別院　3丁
山上康三（好人，盈昌）　丈左衛門　19俵　M3　25才　照門寺　4丁
山上　軌（常人，正直）　庄右衛門　12俵　M4　23才　東本願寺別院　6丁
山上和幣（方昌）　和左衛門　20俵　M3　23才　仰西寺　8丁
（帙 604）山川一太郎　再吉　7人扶持　M7　11才　善隆寺　7丁
山川吉三郎（高実）　吉平　7俵　M5　21才　願念寺　4丁
山川吉平（義盛）　市郎右衛門　9俵　M5　55才　願念寺　5丁
山川惟良（金作）　十郎兵衛若允　90石　M6　29才　蓮覚寺　6丁　3冊
山川茂房　亥之吉　9俵　M5　16才　願念寺　5丁
山川十郎（十郎兵衛，允若）　十郎兵衛惟允　90石　M3　57才　蓮覚寺　13丁　2冊
山川千吉（清久）　文太郎勝久　7人扶持　M3　17才　善隆寺　6丁　2冊
山川藤九郎（忠一）　新助　12俵　M4　41才　長周寺　6丁
山川孫吉（孫兵衛，茂之）　喜三右衛

門　9俵　M3　64才　願念寺　4丁
山川　孫次郎（茂房）　孫兵衛　6俵　M3　14才　願念寺　5丁
山川　盛登（倍義）　吉平　9俵　M5　25才　願念寺　4丁
（帙 605）山岸　勘平（由行）　徳右衛門　3人半扶持　M4　61才　正覚寺　3丁
山岸　　薫（善蔵，久美）　善朴　3人扶持　M3　30才　蓮覚寺　8丁
山岸　喜作（喜右衛門，正之）　次郎兵衛　6俵　M3　28才　専光寺　3丁
山岸　儀三郎（長孝）　順作　10俵　M3　22才　妙典寺　5丁
山岸　吉太郎（正一）　喜兵衛　2人扶持　M4　41才　慶覚寺　5丁
山岸　吉郎（吉郎左衛門，英遵）　幸山英敬　100石　M3　45才　法然寺　8丁
山岸　銀三郎（邦正）　喜楽　80石　M3　33才　専光寺　7丁
山岸　銀次郎（方義）　三十郎直方　50石　M3　37才　常松寺　10丁
山岸　幸作（尊具）　幸次　20俵　M3　24才　法然寺　8丁
山岸　犀治郎（信英）　佐吉　20俵　M3　13才　法然寺　6丁
山岸　佐吉（信政）　佐左衛門　35俵　M3　49才　法然寺　6丁
山岸　左内（金雄）　佐左衛門　23俵　M3　54才　長蓮寺　6丁　2冊
山岸　三郎（三郎左衛門，直実）　孫右衛門　15俵　M3　39才　栄通寺　3丁
山岸　佐平次（景久）　弥三助　20俵　M4　39才　浄智寺　10丁
山岸　志津男（治喜）　清九郎　9俵　M3　23才　光徳寺　3丁
（帙 606）山岸　七十郎　永春　200石　M8　34才　常松寺　5丁
山岸　七郎平（七郎兵衛，永春）　信左衛門　200石　M3　55才　常松寺　10丁
山岸　順作（吉長）　五郎左衛門吉久　30石　M3　58才　法然寺　7丁
山岸　鋹太郎（親貞）　永朴　3人扶持　M3　18才　蓮覚寺　4丁
山岸　丈平（勝右衛門，直寛）　久之丞直道　17俵　M3　44俵　名願寺　4丁
山岸　甚九郎（政之）　甚助　15俵　M3　37才　浄光寺　4丁
山岸　新左衛門（善政）　忠兵衛　5人扶持　慶応1　42才　光徳寺　4丁
山岸　親二郎（一秀）　円斉　10俵　M3　21才　蓮覚寺　6丁
山岸　晋太郎（吉直）　順作　11俵　M3　30才　法然寺　5丁
山岸　新八（善政）　忠兵衛　5人扶持　M4　47才　光徳寺　4丁
山岸　新六（常茂，好茂）　新平常好　14俵　M3　17才　光徳寺　7丁
山岸　清九郎（政法）　善左衛門茂文　14俵　M3　62才　光徳寺　5丁
山岸　太三　善政　5人扶持　M8　11才　光徳寺　5丁
山岸　　勉　吉郎　100石　M6　21才　法然寺　7丁
山岸　徳太郎（忠明）　勘平　2人半扶持　M3　27才　正覚寺　4丁
山岸　篤平（磐雄）　新平美忠　80石　M3　28才　弘願院　9丁
（帙 607）山岸　留次郎（延友）　覚左衛門　2人半扶持　M4　20才　正覚寺　4丁　2冊
山岸　直規（宇右衛門，正義）　久太之定　100石　M3　35才　西方寺　9丁
山岸　鍋吉（昌之）　武左衛門寿　50俵　M3　40才　蓮覚寺　15丁
山岸　半左衛門（政法）　善左衛門　2人扶持　M2　61才　光徳寺　6丁
山岸　半陸（弘）　淳左衛門弼　150石　M3　37才　経王寺　8丁
山岸　文造（文蔵，忠幸）　甚右衛門　15俵　M3　43才　西源寺　4丁
山岸　孫七（庸之）　和太夫為之　9人扶持　M3　35才　光徳寺　6丁
山岸　孫三（友直）　万平友前　40俵　M3　51才　浄智寺　10丁
山岸　正英　幸尚　20俵　M7　善照坊

5丁
山岸　貢（寺中）　喜兵衛由之　50俵　M3　48才　蓮覚寺　11丁
山岸　紋三郎（紋左衛門，為盛）　錠之助　100石　M3　32才　西方寺　12丁
山岸　紋平（紋左衛門，幸尚）　新丞　30俵　M3　67才　善照坊　6丁
山岸　保三郎（義敬）　幸次　20俵　M3　19才　法然寺　6丁
山岸　安太郎（時重）　順左衛門安　6人扶持　M3　19才　光専寺　5丁　2冊
山岸　弥八郎（方正）　三十郎直方　350石　M3　41才　常松寺　12丁
山岸　吉直　吉長　30石　M6　法然寺　4丁
山岸　良作（長左衛門，秀久）　七右衛門　15俵　M3　44才　常福寺　4丁
山岸　良之助（常茂）　新平　2人扶持　M2　11才　光徳寺　6丁
山岸　録三（守忠）　幸次　40石　M5　47才　法然寺　4丁
山岸　六郎（敬英）　良平敬明　50俵　M3　36才　蓮覚寺　10丁
山北　久平（頼久）　平之丞頼忠　80石　M3　42才　鶴林寺　6丁　2冊
（帙 608）山口　伊三郎（忠道）　藤兵衛　15俵　M3　19才　浄明寺　4丁
山口　猪太郎（為永）　仙左衛門　15俵　M3　20才　広済寺　3丁
山口　一六（助之丞，助政）　八左衛門　20俵　M3　53才　超雲寺　5丁
山口　斧男（恒久）　孝作知孝　50俵　M3　45才　静明寺　7丁
山口　嘉久造（忠）　兵太郎　20俵　M3　26才　静明寺　6丁
山口　喜太郎（倡幸）　五左衛門　25俵　M3　43才　蓮覚寺　5丁
山口　吉太郎（義政）　松林　3人扶持　M4　21才　徳竜寺　8丁
山口　喜平次（興祖）　庄太夫　20俵　M3　53才　極楽寺　5丁
山口　欽太郎（友文）　源太郎友武　50石　M3　18才　本行寺　6丁　2冊
山口　源太郎（重行）　源兵衛政忠　40石　M3　16才　円光寺　8丁
山口　源内（景命）　源進景弘　9人扶持　M3　48才　本光寺　4丁
山口　幸馬（治郎兵衛，敦春）　六郎　21俵　M4　45才　善福寺　4丁
山口　西喜（与右衛門，知安）　幸左衛門知勝　40石　M3　46才　善証寺　7丁
山口　才次郎　均　100石　M7　18才　実性院　8丁
（帙 609）山口三郎左衛門（勝忠）　良助克一　15俵　M3　27才　唯念寺　5丁
山口　左平太（先矩）　左平太先礼　50石　M3　42才　善福寺　5丁
山口　左馬次郎（一忠）　弥五兵衛一喜　250石　M3　17才　13丁
山口　左六（良金）　佐吉　15俵　M3　23才　光西寺　5丁
山口　三太郎（精一）　千作　13俵　M4　18才　本法寺　6丁
山口　三六（当幸）　弥三郎　25俵　M3　円祐寺　5丁
山口　重嵐　松樹　23俵　M6　20才　善照坊　5丁
山口　七平（七兵衛，自茂）　七兵衛自定　100石　M3　30才　経王寺　7丁
山口　逍山（景弘）　不争　3人扶持　M3　75才　本光寺　3丁
山口　省二（秀）　春斉　10俵　M3　29才　光専寺　6丁
山口　松樹（公里）　宗太夫　23俵　M4　47才　善照坊　6丁
山口　庄次郎（知秋）　久兵衛知光　55石　M3　16才　善隆寺　7丁
山口　彰二郎（孝之）　閑泉　22俵　M3　26才　徳竜寺　8丁
山口　次郎（定則）　藤左衛門定静　150石　M3　37才　蓮昌寺　16丁
山口　甚吉　松樹　10俵　M4　18才　善照坊　6丁
山口　甚之助（先矩）　左平太　50石　慶

応3　39才　善福寺　6丁
山口　善三（善兵衛，永明）　五郎兵衛　18俵　M3　45才　蓮昌寺　6丁
山口　染内（儀左衛門，文一）　源太郎　務貞　40俵　M3　47才　光専寺　9丁
山口　仙平（致道）　孫左衛門　3人扶持　M4　74才　広済寺　3丁
山口　大作（輔喜）　茂三郎　20俵　M3　41才　蓮覚寺　5丁
山口　　力（儀秋）　市三郎　7俵　M4　20才　東本願寺別院　2丁
山口　常次郎（良勝）　彦右衛門　4俵　M4　18才　光西寺　3丁
山口　藤三郎（一広）　穴翁一秀　320石　M3　43才　大乗寺　15丁
（帙 610）山口　登喜三（安雄）　甚左衛門　25俵　M3　22才　円祐寺　7丁
山口　徳太郎（龍之）　半左衛門　35石　M3　22才　蓮覚寺　6丁　2冊
山口　　轟　弥次馬　18俵　M8　35才　光教寺　3丁
山口　富造（真忠）　平助　23俵　M4　44才　善照坊　7丁
山口　なを　一六　20俵　M8　18才　仰西寺　3丁
山口　　登（信方）　左門信周　650石　M3　18才　蓮昌寺　19丁
山口　半次（義政）　玉喜　15俵　M3　24才　徳竜寺　6丁
山口　半弥（時雍）　平馬時習　100石　M3　36才　蓮昌寺　18丁
山口　彦三郎（則一）　助太郎　40俵　M3　18才　蓮覚寺　10丁
山口　彦四郎（茂精）　八左衛門　5人扶持　M4　50才　超雲寺　3丁
山口　文平（則武）　彦三郎則貞　30俵　M3　29才　蓮覚寺　8丁
（帙 611）山口　兵次郎（業久）　民三業明　150石　M3　37才　蓮覚寺　7丁
山口　平太郎　先矩　50石　M7　善福寺　4丁
山口　　節（勝次郎，義信）　常次郎　25俵　M3　19才　蓮覚寺　6丁
山口　茂介（景命）　源進　9人扶持　M3　48才　本光寺　5丁
山口　弥次馬（庄蔵，正敬）　庄助　35俵　M3　58才　光教寺　5丁
山口　弥八郎（義章）　理右衛門　8俵　M3　21才　三光寺　6丁
山口　勇作（貞喜）　七之丞貞成　50俵　M3　48才　蓮覚寺　10丁
山口　与三郎（正勝）　弥平　20俵　M3　38才　即願寺　3丁
山口　理右衛門（弥一，正好）　理右衛門　12俵　M3　48才　三光寺　4丁
山口　柳閑（一）　閑泉　3人扶持　M3　6才　徳竜寺　7丁
山口　良次郎　磷　60石　M7　21才　実性院　7丁
山口　良太郎（守一）　伝左衛門義一　40俵　M3　33才　三宝寺　12丁
山口　林平（迪徳）　歓叟嘉保　40俵　M3　43才　徳竜寺　7丁
山倉　嘉重郎（頼之助，政道）　清大夫叙道　8人扶持　M3　10才　妙慶寺　6丁　2冊
（帙 612）山崎　石松（義久）　孫治　15俵　M3　30才　妙感寺　3丁
山崎　伊六（久之助，伊右衛門，定信）　伊右衛門定之　13俵　M3　55才　光西寺　4丁　2冊
山崎　卯三郎（正之）　幸休富平　180石　M3　40才　西養寺　18丁
山崎　栄朔（栄之助，景温）　伊右衛門　15俵　M3　27才　東本願寺別院　4丁
山崎　乙禄（直忠）　直左衛門知彰　50俵　M3　35才　妙応寺　10丁
山崎　鉄吉　英衛　80石　M6　22才　桂岩寺　8丁
山崎　嘉作（嘉左衛門，定一）　八郎兵衛　20俵　M3　25才　円光寺　5丁
山崎　遐福翁　吉左衛門　200石　M3　76才　常松寺　9丁
山崎　亀吉（信一）　与兵衛　15俵　M

3　22才　来生寺　4丁

山崎勘陸（勘兵衛，直正）　新八　20俵　M3　34才　円光寺　7才

山崎喜三郎（義郷）　権曹泰郷　5人扶持　M3　38才　桂岩寺　7丁　2冊

(帙 613) 山崎吉次（友成）　清次郎　10俵　M4　37才　来生寺　5丁

山崎吉次郎　嘉作　20俵　M7　1才　正覚寺　5丁

山崎吉平（吉次）　弥一　3人扶持　M4　32才　徳栄寺　4丁

山崎久太郎（行嘉）　希叟　90石　M3　34才　妙応寺　9丁

山崎九平（九左衛門，棟隆）　好山隆礼　1,000石　M3　60才　波着寺　14丁

山崎久米雄（久米人，克隆）　九左衛門　棟隆　200石　M3　32才　波着寺　6丁

山崎源吾（源五兵衛，英貞）　佐一郎　45石　M3　52才　高岸寺　6丁　2冊

山崎源三郎（義信）　甚大夫　10俵　M4　44才　西方寺　7丁　2冊

山崎源次郎（幸隆）　源助　25俵　M3　32才　光徳寺　5丁

山崎幸五郎（籍之）　頼母籍知　850石　M3　49才　常松寺　15丁

山崎吾平（宗賢）　孝作長栄　5人扶持　M3　39才　玄門寺　7丁　2冊

山崎小平太（清輝）　藤作　8俵　M4　26才　唯念寺　5丁

山崎権五郎（孝卿）　権曹泰郷　10人扶持　M3　48才　桂岩寺　8丁

山崎才太郎（忠国）　平兵衛主忠　50石　M3　8才　瑞光寺　5丁

山崎作平次（忠左衛門，有将）　相休有朝　70石　M3　34才　常松寺　9丁　2冊

(帙 614) 山崎定吉（英衛）　和作英徳　80石　M3　27才　桂岩寺　7丁

山崎茂雄（茂人，永久）　退福翁永成　500石　M3　17才　常松寺　11丁

山崎　茂（茂左衛門，儀保）　茂左衛門　40石　M3　48才　立円寺　7丁　2冊

山崎次三郎（一正）　久次郎　12俵　M3　27才　慶覚寺　6丁

山崎　蔀（本固）　群左衛門本幸　50石　M3　52才　玄門寺　11丁　2冊

山崎祥太郎（愛之）　繁蔵能之　30俵　M3　35才　法船寺　12丁

山崎庄兵衛（範古）　伊織範恒　5,500石　天保2　45才　23丁

山崎次郎（盛之）　権五郎盛重　550石　M3　40才　西養寺　14丁

山崎甚作（甚之進，定行）　茂兵衛永保　40俵　M3　54才　久昌寺　8丁

山崎森太郎（貞澄）　源五兵衛英貞　3人扶持　M3　21才　高岸寺　4丁

山崎森平（安久）　新平安光　30俵　M3　46才　桂岩寺　11丁　2冊

(帙 615) 山崎清平（清兵衛，只康）　佐左衛門　15俵　M3　行雲寺　3丁

山崎善作（政美）　清太夫　25俵　M3　35才　西福寺　5丁

山崎外次郎（本光）　葆本固　11俵　M3　18才　玄門寺　4丁　2冊

山崎多幾男（貞義）　五郎兵衛貞信　40石　M3　浄光寺　4丁

山崎忠七（陳之）　忠左衛門定陳　100石　M3　31才　妙応寺　8丁

山崎　作（作左衛門，直保）　覚之進直寛　1,000石　M3　39才　宝勝寺　14丁

山崎伝太郎（孝之）　才三郎有済　70石　M3　21才　妙応寺　8丁

山崎藤作（朝明）　九兵衛　12俵　M4　55才　唯念寺　6丁

山崎友来（十左衛門，尚義，尚友）　武助尚武　70石　M3　42才　妙応寺　9丁　2冊

山崎友三郎（成信）　林大夫　18俵　M3　30才　金剛寺　4丁

山崎八郎（親俊）　幸左衛門　20俵　M4　28才　円光寺　9丁

山崎巴門（政英）　八左衛門政　11俵

M3　33才　広誓寺　4丁　2冊

山崎　久男（忠久）　平八　20俵　M4　15才　西光寺　7丁

山崎　　貌（七郎左衛門,庄兵衛,範淑）　盧範正　3,000石　28才　M3　常松寺　31丁　2冊

山崎　　久（貞之）　世右衛門貞惟　100石　M3　33才　法船寺　10丁

（帙 616）山崎　鉄次郎　籍之　850石　M6　11才　常松寺　11丁

山崎　平次（供忠）　忠一　30俵　M3　31才　西光寺　8丁

山崎　平次（八左衛門，政）　藤兵衛政臣　80石　M3　57才　広誓寺　8丁　2冊

山崎　平八（貞政）　平之丞貞一　6人扶持　M3　32才　桂岩寺　5丁

山崎　平兵衛（主忠）　外茂記　50石　安政4　26才　瑞光寺　4丁

山崎　正直　正重　150石　M6　26才　蓮昌寺　6丁

山崎　政英　平次　80石　M8　38才　広誓寺　8丁

山崎　真澄　源吾英貞　45石　M7　高岸寺　6丁

山崎　弥一（吉一）　善右衛門　11俵　M4　58才　徳栄寺　4丁

山崎　八百三（正重）　岩丞正義　150石　M3　49才　西雍寺　16丁

山崎　弥内（正記）　弥内　20俵　M4　28才　妙正寺　5丁

山崎　　歩（九郎兵衛，照之）　九郎兵衛照澄　400石　M3　48才　鶴林寺　11丁

（帙 617）山下　稲次郎（磯永）　外鉄　40俵　M3　22才　慈雲寺　10丁

山下　　巌（金正）　幸右衛門金久　50石　M3　34才　高岸寺　9丁

山下　宇平（忠安）　伊右衛門　20俵　M5　61才　本是寺　5丁

山下　恩信（為徳）　勝左衛門為貞　35石　M3　15才　円長寺　5丁　2冊

山下　一美（武之）　八十平　5石　M3　25才　大乗寺塔頭東光院　2丁

山下　勘次（勘太夫，友信）　勘助　30俵　M3　64才　慈雲寺　5丁

山下　義一郎（和儀）　与八郎　25俵　M3　37才　慈雲寺　6丁

山下　菊太郎（忠本）　浪江忠勝　5人扶持　M3　15才　宗徳寺　8丁　2冊

山下　喜知郎（正好）　庄次郎　15俵　M3　40才　円徳寺　5丁　2冊

山下　橘江（忠連）　橘江忠敬　100石　M3　45才　宗徳寺　11丁　2冊

山下　久吾（久之丞，貞孝）　栄次郎　20俵　M3　13才　慈雲寺　5丁

山下　久三郎（貞吉）　久兵衛　20俵　M3　40才　本因寺　5丁

山下　九平（八右衛門，藤次）　仁右衛門　6俵　M3　28才　専光寺　3丁

山下　孝平（義永）　幸平　25俵　M3　33才　全性寺　6丁

山下　小三郎（政富）　十蔵　18俵　M3　17才　照円寺　7丁

山下　七郎平（政勝）　四郎兵衛　15俵　M4　61才　専光寺　2丁

山下　庄平（友一）　長平　2人扶持　M5　44才　専光寺　3丁

山下　次郎作（文左衛門）　竹安　2人半扶持　M3　29才　専光寺　3丁

（帙 618）山下　甚七（道盛）　与右衛門　15俵　M5　専光寺　2丁

山下　慎次郎（忠親）　橘江忠連　9俵　M3　11才　宗徳寺　5丁　2冊

山下　新太郎（賢隆）　新六　20俵　M3　22才　光専寺　7丁

山下　甚内（貞一）　金三郎安能　40石　M3　30才　高岸寺　5丁　2冊

山下　甚八郎（清次）　甚兵衛　5人扶持　M4　20才　正満寺　4丁　2冊

山下　精一（順之丞，易行）　源左衛門　25俵　M3　30才　静明寺　4丁

山下　清次郎（武之）　八十丞　10俵　M2　24才　東光院　2丁

山下善入（佐左衛門，武英） 四兵衛 武伴 200石 M3 59才 東光院 8丁 2冊

山下宗太郎 次郎 19俵 M7 21才 正覚寺 7丁

山下為三（右衛門，安定） 鉄之助末春 4人扶持 M3 26才 高岸寺 5丁 2冊

山下長平（友勝） 長右衛門 1人扶持 M4 78才 専光寺 4丁

山下悌次郎（義悌） 豊太夫重武 10俵 M3 54才 誉楽寺 5丁 2冊

(帙 619) 山下虎一郎（永康） 善兵衛 25俵 M3 28才 妙典寺 9丁

山下半吾（友之） 新蔵 23俵 M4 51才 蓮覚寺 10丁

山下彦四郎（忠好，忠房） 勘十郎忠次 5人扶持 M3 35才 宗徳寺 5丁 2冊

山下昌郷 直清 25俵 M8 1才 慈雲寺 5丁

山下　勝（勝左衛門，為貞） 仙右衛門正元 5人扶持 M3 57才 円長寺 4丁

山下松五郎（良政） 勇大夫 25俵 M3 20才 静明寺 6丁

山下安太郎 忠房 9俵 M8 宗徳寺 6丁

山下八十平（武文） 清六武貞 10人扶持 M3 46才 東光院 3丁 2冊

山下八十平（正勝） 右平 25俵 M3 26才 静明寺 8丁

山下理平（理兵衛，保業） 吊笑保富 20俵 M3 23才 本覚寺 4丁 2冊

山下和三郎（雅達） 和左衛門貞則 14俵 M3 30才 瑞泉寺 4丁 2冊

(帙 620) 山科源吉（良之） 清左衛門 20俵 M3 34才 妙典寺 9丁

山科佐一郎（政勝） 小左衛門 15俵 M3 35才 専長寺 4丁

山科治作（信一） 佐助 11俵 M4 33才 妙泰寺 4丁

山科友吉（祐美） 久左衛門 20俵 M3 28才 西方寺 9丁

山科吉男（邑一） 吉之丞 17俵 M3 13才 乗善寺 6丁

山島紋三（紋蔵，久光） 紋左衛門 4人扶持 M3 30才 高源寺 3丁

山瀬加平（加兵衛，有方） 源右衛門一政 80石 M3 40才 本行寺 7丁

山瀬源五郎（勝副） 与右衛門惟貞 60石 M3 76才 本行寺 7丁

山瀬誠三郎（一政） 源右衛門一政 40俵 M3 33才 本行寺 6丁

山瀬鉄弥（以豊） 信之助武克 40俵 M3 28才 本行寺 8丁

山瀬　昇（以良） 円右衛門則順 40俵 M3 51才 本行寺 7丁

山瀬伴禄（加寿美，伴忠） 源五郎勝副 60石 M3 43才 本行寺 4丁

山瀬武平（貞固） 専右衛門昭昌 100石 M3 62才 本行寺 6丁

山瀬以良 円右衛門 40俵 M5 52才 本行寺 7丁

(帙 621) 山田　勇（嘉正） 勇左衛門 11俵 M4 30才 願清寺 3丁 2冊

山田亥三吉（重喜） 三右衛門 35石 M4 45才 妙正寺 5丁

山田市万津（庸如） 竜作 3人扶持 M3 11才 来教寺 3丁

山田岩松 令蔵 20俵 M7 15才 全昌寺 5丁

山田栄次郎（徳一） 伊兵衛 30俵 M3 40才 光楽寺 5丁

山田栄末（正一） 永助 20俵 M3 22才 上宮寺 6丁

山田乙次郎（知道） 武兵衛 30俵 M3 乗光寺 9丁

山田覚太郎 庄平 20俵 M8 18才 善徳寺 4丁

山田和右衛門 信興 14俵 M8 25才 常福寺 5丁

山田和平（角左衛門，謙久）・藤兵衛 20俵 M3 41才 立像寺 8丁

山田金雄（尚頼） 定見 3俵 M4 18才 常福寺 1丁
山田　適（一方） 作左衛門 30石 M3 25才 長福寺 3丁
山田亀次郎（成正） 半助 15俵 M3 28才 瑞泉寺 4丁
山田勘次（和定） 恒右衛門 20俵 M3 28才 成学寺 7丁
山田幾一郎（有近） 谷水直方 100石 M3 41才 竜昌寺 10丁
山田喜久治（一幸） 喜三次 20俵 M5 13才 上宮寺 5丁
山田喜久次郎（貴之） 豊平 20俵 M5 6才 名願寺 5丁
山田喜十郎（尚信） 久大夫 13俵 M4 32才 慈雲寺 6丁
山田義十郎（茂富） 善之助 20俵 M4 15才 本是寺 9丁
山田喜多男（善忠） 九郎兵衛 25俵 M3 20才 西光寺 7丁 2冊
山田幾太郎（幸蔵，伝久） 幸作 12俵 M6 24才 西方寺 4丁
山田義太郎（寛栗） 八郎左衛門 20俵 M3 39才 徳竜寺 5丁
山田吉蔵 勘七 15俵 M7 25才 松縁寺 6丁
山田吉平（吉兵衛，忠成） 吉衛門忠友 6人扶持 M3 64才 光専寺 4丁
（帙 622） 山田久造（久之助，知貞） 伊兵衛貞厚 7人扶持 M3 42才 徳竜寺 3丁 2冊
山田久蔵（内蔵，清直） 伝左衛門 120石 慶応1 49才 瑞雲寺 14丁
山田久平（信行） 市左衛門 30俵 M3 61才 金剛寺 4丁
山田謹吾（秀之介，政忠） 善之助 25俵 M3 27才 本是寺 9丁
山田金次（仁左衛門，道景） 太左衛門 15俵 M3 36才 福念寺 4丁
山田熊五郎（祐之） 朔治郎信光 200石 M3 21才 本長寺 11丁
山田一条五郎（安定） 喜右衛門 20俵 M4 35才 法光寺 6丁
山田蔵治（一清） 茂右衛門 25俵 M3 34才 慶覚寺 7丁
山田九郎（九衛兵衛，度正） 友山度常 120石 M3 32才 立像寺 10丁
山田郡平 幸大夫 20俵 M3 23才 妙典寺 9丁
山田源吾（信義） 九左衛門直道 10俵 M3 34才 全性寺 10丁 2冊
山田源三（善配） 新平 7俵 M4 25才 慶覚寺 6丁 2冊
山田源八（定静） 源助 15俵 M4 30才 常徳寺 4丁
山田弘作（義智） 伊兵衛貞厚 5人扶持 M3 34才 徳竜寺 4丁
山田幸作（幸右衛門，信定） 幸蔵信友 12俵 M3 58才 西方寺 4丁
山田耕作（正之） 祖次郎 20俵 M4 16才 立像寺 8丁
山田才一郎（丹相） 甚左衛門 20俵 M3 27才 乗光寺 4丁
山田　栄（信政） 宗九郎信定 30俵 M3 25才 常福寺 3丁
山田左吉（義清） 新右衛門 20俵 M3 65才 仰西寺 3丁
（帙 623） 山田作治（武平） 忠左衛門豊明 16俵 M3 32才 等願寺 5丁
山田作次郎（成正） 覚大夫 20俵 M3 63才 慶恩寺 3丁
山田作太郎（政一） 四郎兵衛 1人半扶持 M4 25才 仰西寺 3丁
山田定勝 定幸 10俵 M6 26才 立像寺 6丁
山田定見（定右衛門，有福） 安左衛門 4人扶持 M3 48才 常福寺 5丁 2冊
山田左太夫（直清） 金右衛門 5人扶持 M1 50才 3丁
山田左盛（古寿） 伊兵衛 12俵 M4 39才 徳竜寺 4丁
山田三吉郎（重親） 三右衛門 20俵 M3 11才 妙正寺 5丁
山田成房 15俵 M6 22才 光教寺

条

8丁

山田重穂（豊次郎，津左衛門，愛敬）津左衛門 50石 M3 31才 光専寺 6丁 2冊

山田繁（信景） 宗九郎信定 30俵 M3 27才 常福寺 3丁

山田七左衛門（重喜） 三右衛門 35石 M2 30才 妙正寺 6丁

山田志な寿 35俵 M6 35才 光教寺 7丁

山田十之進（度正） 大助 120石 M2 31才 立像寺 11丁

山田準次郎（信次） 長次 20俵 M3 30才 大遵寺 8丁

(帙 624) 山田庄平（次義） 弥太夫 20俵 M3 45才 善徳寺 4丁

山田定平（信興） 宗九郎信定 26俵 M3 35才 常福寺 3丁

山田甚作（得英） 茂左衛門 25俵 M3 45才 法船寺 5丁

山田甚三郎（直之） 甚左衛門 20俵 M3 31才 専光寺 4丁

山田新太郎（直則） 林左衛門直矢 180石 M3 22才 瑞光寺 10丁 2冊

山田新平（新蔵，善宝） 軍左衛門善和 16俵 M3 59才 慶覚寺 7丁 2冊

山田清一郎（清左衛門，清朔，政明）清左衛門 18俵 M3 37才 本浄寺 3丁

山田清吉（政一） 新右衛門 6俵 M5 40才 仰西寺 5丁

山田清五郎（清太夫，久光） 九右衛門親光 15俵 M3 50才 浄明寺 4丁 2冊

山田清作（美敬） 清兵衛 20俵 M3 40才 徳竜寺 8丁

山田清三郎（信汎） 順左衛門信正 26俵 M3 26才 立像寺 7丁

山田弥与（重成） 清五郎 2人扶持 M3 17才 浄明寺 2丁

(帙 625) 山田清治（清右衛門） 治大夫 20俵 M3 48才 立像寺 8丁

山田清造（清之進，守形） 清左衛門守之 14俵 M3 42才 本浄寺 6丁 2冊

山田誠蔵（安太夫，有翼） 安兵衛 14俵 文久3 51才 本浄寺 5丁

山田清八郎（喜就） 三郎兵衛 20俵 M3 50才 徳円寺 7丁

山田善九郎（忠善） 善四郎 9俵 M4 27才 永照寺 6丁

山田仙次郎（義政） 仙七 20俵 M4 32才 光専寺 5丁

山田善四郎（忠久） 佐六 3人扶持 M5 永照寺 4丁

山田善次郎（直正） 善平 8俵 M5 23才 願楽寺 5丁

山田善三（尚） 市平温孝 40俵 M4 19才 成学寺 6丁

山田善平（安道） 九郎右衛門 12俵 M4 55才 願楽寺 5丁

山田左右吉（信以） 順左衛門 30俵 M3 24才 6丁

山田宗太郎 安太郎 15俵 M7 4才 本浄寺 6丁

山田外男（一匡） 孝太郎 20俵 M3 18才 専光寺 9丁

山田曾外吉（忠敬） 吉平忠成 6人扶持 M5 19才 光専寺 3丁 2冊

山田外治郎 忠一 20俵 M7 10才 慶覚寺 6丁

(帙 626) 山田他吉郎（清周） 久太夫 20俵 M3 18才 浄安寺 6丁

山田宅治（宅之丞，元信） 宅次 20俵 M3 32才 専光寺 5丁

山田竹二（平助，幸承） 清太夫 30俵 M3 31才 広済寺 6丁

山田太三郎（次時） 太左衛門 1人半扶持 M4 6才 広済寺 3丁

山田太十郎（則正） 太助 7俵 M4 38才 慶恩寺 3丁

山田他十郎（祐明） 市三郎祐宗 50石 M3 19才 妙国寺 8丁

山田 他四郎（景福） 喜兵衛 3人扶持 M3 26才 光西寺 4丁 2冊
山田 多太作（啐貞） 常右衛門 20俵 M3 16才 徳竜寺 4丁
山田 唯三（八郎兵衛，重直） 乍易定直 120石 M3 42才 瑞光寺 9丁
山田 忠善 忠久 3人扶持 M7 30才 永照寺 6丁
山田 辰三郎（正忠） 久太夫 15俵 M3 16才 善昌寺 4丁
山田 太仲（政方） 太助 15俵 M3 42才 常福寺 3丁
山田 太平（成保） 与兵衛 12俵 M4 51才 浄福寺 3丁
山田 為吉（富一） 次兵衛 2人扶持 M3 31才 慶恩寺 3丁
山田 丹治（勝宗） 円次 12俵 M4 36才 常徳寺 5丁
山田 丑次郎（包政） 半造包矩 18俵 M5 慶覚寺 6丁
山田 鎮次郎（延勝） 唯勝去 70石 M3 44才 昌柳寺 10丁 2冊
山田 恒吉（有信） 忠右衛門 25俵 M3 50才 徳竜寺 9丁
山田 常太郎（一重） 安之丞 2人扶持 M5 25才 東本願寺別院 3丁
山田 貞次郎（事幹） 杢兵衛昌好 12俵 M3 44才 本妙寺 6丁 2冊
（帙 627） 山田 鉄五郎（忠勝） 勘介親信 40俵 M3 43才 如来寺 10丁
山田 鉄三郎（永久） 丈右衛門 9俵 M4 22才 広済寺 3丁
山田 伝次（一則） 伝之丞 30俵 M3 40才 等願寺 7丁
山田 濤（平人，忠順） 貫平 23俵 M3 37才 徳竜寺 11丁
山田 藤左右（藤左衛門，尚正） 藤左衛門 35俵 M3 57才 本浄寺 8丁
山田 外喜三郎（行栄） 杢丞 25俵 M3 34才 広済寺 5丁
山田 徳太郎（知英） 松之丞 20俵 M5 25才 法然寺 9丁
山田 留吉（成道） 幸次郎 15俵 M3 25才 光蓮寺 3丁
山田 友作（友之丞，敬友） 作之丞 20俵 M3 20才 本行寺 8丁
山田 友太郎（一之） 丈五郎一乗 20俵 M5 31才 長教寺 6丁
山田 豊次（信次） 宗九郎信定 30俵 M3 31才 常福寺 3丁
山田 虎一郎（賢武） 定右衛門賢易 150石 M3 17才 安立寺 10丁
山田 虎次郎（惟和） 保左衛門惟寿 35俵 M3 20才 光教寺 6丁
（帙 628） 山田 稔二（兵蔵，忠一） 兵大夫 20俵 M3 23才 慶覚寺 6丁
山田 溯（従宣） 橘次郎致知 100石 M3 48才 浄徳寺 16丁
山田 八三郎（思誠） 八郎 12俵 M3 42才 西福寺 4丁
山田 半内（信幹） 吉郎右衛門信守 400石 M3 40才 妙泰寺 10丁
山田 彦六（善之丞，茂勝） 善蔵 30俵 M3 47才 本光寺 6丁
山田 久（久蔵，清直） 伝左衛門清春 120石 M3 54才 瑞雲寺 8丁
山田 秀三（市蔵，政武） 市兵衛 15俵 M3 24才 名願寺 7丁
山田 開（就用） 新左衛門展成 100石 M3 39才 高岸寺 12丁
山田 藤男（正勝） 藤左衛門 20俵 M3 16才 本浄寺 6丁
山田 文祥（章蔵，有恒） 清之丞 20俵 M3 26才 法船寺 8丁
山田 兵二郎（以道） 久之助 20俵 M3 17才 金剛寺 5丁
山田 平八（貞幸） 平八 10俵 M4 57才 立像寺 5丁
山田 孫次（孫兵衛，栄元） 清兵衛 20俵 M3 43才 長周寺 8丁
（帙 629） 山田 政次郎（則温） 宅大夫貞房 25俵 M3 44才 浄誓寺 7丁
山田 又次（正直） 武右衛門 15俵 M3 24才 称仏寺 4丁

山田　貢（就正）　平作　18俵　M3　18才　乗善寺　4丁
山田六男（六郎左衛門，親知）　重左衛門　20俵　M3　27才　金胎寺　6丁
山田茂三郎（周由）　善蔵　20俵　M3　28才　上宮寺　3丁
山田森男（久安）　甚左衛門　15俵　M3　17才　等願寺　7丁
山田八百記（安恒）　八左衛門安之　29俵　M3　37才　西勝寺　7丁　2冊
山田弥三郎（信篤）　弥三右衛門　15俵　M3　23才　6丁
山田安太郎（有欽）　誠意有翼　15俵　M4　28才　4丁　2冊
山田弥三二（弥三右衛門，信一）　弥五太夫　15俵　M3　49才　専長寺　4丁
山田弥太郎（辰成）　弥兵衛成之　3人扶持　M3　19才　高岸寺　5丁　2冊
山田弥太郎（実時）　弥四郎　2人扶持　M4　18才　知覚寺　3丁
山田弥内（敦永）　喜兵衛　21俵　M3　31才　立像寺　6丁
（帙630）山田弥八郎（景成）　弥兵衛　2人半扶持　M3　25才　仰西寺　5丁　2冊
山田弥平（弥三兵衛，暁清）　安右衛門　30俵　M3　58才　妙典寺　10丁
山田弥与（鉄治郎，重成）　清大夫　2人扶持　M2　16才　静明寺　2丁
山田勇作（真房）　儀右衛門　20石　M4　69才　願清寺　3丁
山田履祥　左盛　200石　M3　45才　安立寺　12丁
山田与三郎（時是）　彦兵衛　7俵　M4　45才　西源寺　2丁
山田与四郎　辰三郎　15俵　M7　10才　善徳寺　4丁
山田余所次郎（周古）　与三松　15俵　M3　22才　慶恩寺　4丁
山田竜作（軻如）　官右衛門矩如　30石　M3　44才　来教寺　4丁
山田良造（良蔵）　良吉　25俵　M3　40才　本是寺　7丁
山田良造（忠篤）　満信　170石　M3　49才　安立寺　9丁
山田六三郎（久智）　久右衛門　15俵　M3　40才　光専寺　4丁
山谷彦作（定之）　重次郎　12俵　M4　30才　永順寺　5丁
山中一二（善兵衛，重武）　与三大夫　20俵　M3　44才　教恩寺　6丁
山中金作（八郎右衛門，音智）　兵左衛門行久　40俵　M3　33才　長久寺　8丁
（帙631）山中敬太郎（守道）　蕪沢　20俵　M3　22才　教恩寺　5丁
山中小伝次（一也）　伝次　20俵　M3　46才　教恩寺　7丁
山中恒二（恒右衛門，茂正）　恒右衛門　25俵　M3　52才　長久寺　7丁
山中義道　茂正　25俵　M5　20才　長久寺　8丁
山梨易司（景納）　100石　M3　23才　浄住寺　3丁
山波　盛（吉久）　宗右衛門　7人扶持　M4　23才　仰西寺　3丁
山根勝次郎（成房）　源大夫元成　200石　M4　8才　高岸寺　9丁　2冊
山根幸五郎（成久）　長左衛門元勝　25俵　M3　30才　高岸寺　5丁
山根清八（成一）　長左衛門元勝　200石　M3　55才　高岸寺　14丁
山原　歩（有友）　順作保定　40俵　M3　27才　西源寺　5丁
山原一平（一布）　昌哲　10俵　M3　25才　勝興寺　6丁
山原乙吉　昌作　50俵　M5　15才　西源寺　9丁
山原勘三（勘左衛門，真賢）　伊太夫　真延　40俵　M3　34才　西源寺　6丁
山原吉治（安亀）　昌哲　22俵　M3　42才　蓮覚寺　4丁
山原金吾（愛信）　昌左衛門　10俵　M3　20才　乗永寺　6丁
（帙632）山原粂次郎（勝正）　半之丞　20俵　M

3　21才　西源寺　9丁
山原静枝（正一）　助大夫正席　40俵　M3　46才　玄光院　7丁
山原昌作（昌左衛門，方矩）　林昌重道　50才　M3　53才　西源寺　6丁
山原昌三（政次）　兵馬　40俵　M3　57才　西源寺　5丁
山原昇造（昇介，賢資）　栄之助　20俵　M3　51才　名願寺　5丁
山原汪太郎　昇造　20俵　M5　6才　名願寺　4丁
山原新策　昌哲　10俵　M3　蓮覚寺　8丁
山原新次（勝左衛門，儀之）　徳左衛門　30石　M3　46才　西源寺　3丁　2冊
山原直太郎（正直）　市丞　20俵　M3　35才　名願寺　8丁
山原平治（之行）　熊之助重英　80石　M3　52才　西源寺　9丁
山原由郎（清定）　喜大夫　18俵　M4　40才　本浄寺　7丁
山辺治六（治三郎，安政）　権作　50俵　M3　37才　最勝寺　14丁
山辺団平（沖右衛門，政正）　保左衛門政先　100石　M3　51才　最勝寺　11丁
（帙 633）山宮八郎太（勝久）　吉左衛門清久　50石　M3　40才　妙源寺　7丁
山村　歩（忠正）　源五郎　20俵　M3　18才　極楽寺　6丁
山村磯五郎（正忠）　六助　15俵　M3　30才　敬栄寺　5丁
山村源七（信一）　七右衛門　4人扶持　M4　65才　本竜寺　2丁
山村小一郎（朝満）　鉄三郎　8俵　M4　33才　浄行寺　3丁
山村駒太郎（清一）　車三　20俵　M4　14才　玄門寺　5丁
山村之甚（周吉，昌益）　源五左衛門　昌阜　500石　M3　33才　竜淵寺　12丁
山村二三（朝之）　長次郎　1人半扶持　M4　31才　長楽寺　3丁
山村車三（順之助，政道）　与市　20俵　M3　22才　玄門寺　5丁
山村甚六（順左衛門，千入）　平左衛門基幸　50石　西光寺　5丁
山村清六（美清）　吉之丞　12俵　M4　56才　本因寺　4丁
山村善次郎（惟尚）　甚次郎　2人扶持　M4　43才　光専寺　4丁
山村千太郎（信之）　甚六　10俵　M4　14才　西光寺　2丁
山村善八（慎定）　静山慎行　350石　M3　41才　善福寺　10丁
山村鉄三郎（幹克）　安兵衛　13俵　M4　59才　浄行寺　3丁
山村　中（清久）　十平　20俵　M3　23才　融山院　5丁
山村直次郎（友信）　嘉兵衛　2人扶持　M3　31才　専長寺　3丁
山村八三次（八左衛門，久森）　九右衛門　2人扶持　M4　34才　光専寺　5丁
山村弥兵太（久孝）　弥三吉充興　35俵　M3　27才　善福寺　6丁
山村与三郎（良知）　八右衛門　8俵　M3　33才　専光寺　3丁
山室　勇（方儀）　全休方久　150石　M3　28才　法然寺　11丁
山室八十八（義方）　順済　3人扶持　M4　29才　法然寺　5丁
山室次三郎（時将）　吉兵衛　15俵　M3　29才　因徳寺　3丁
山室順吾（順造，正武）　順済　3人扶持　M3　13才　法然寺　8丁
山室清作（正之）　又八　9俵　M4　53才　仰西寺　4丁
山室　升（方幾）　順済　3人扶持　M3　18才　常福寺　7丁
（帙 634）山本伊三郎（茂信）　武右衛門　15俵　M3　22才　伝栄寺　3丁
山本市松　直之　15俵　M7　10才　専長寺　5丁
山本弋良（市郎右衛門，康則）　朝南

居 15俵 M3 39才 専長寺 4丁
山本 磐（佐次馬，貞敏） 佐兵衛克義 35石 M3 27才 光覚寺 7丁 2冊
山本 巌（克之） 金左衛門篤親 100石 M3 26才 慶恩寺 11丁
山本 栄次郎（久房） 次兵衛久敬 15俵 M3 15才 仰西寺 5丁 2冊
山本 栄太郎 信秀 20俵 M7 11才 願楽寺 5丁
山本 延吉 清定 15俵 M7 正円寺 2丁
山本 岡三郎（美定） 駒次郎 15俵 M3 22才 徳善寺 8丁
山本 治（泊兵衛，行成） 杢兵衛静行 40石 M3 27才 蓮福寺 8丁 2冊
山本 嘉善（好昌） 久右衛門 10俵 M3 62才 真行寺 5丁
山本 一貫 一元 40俵 M8 24才 安楽寺 3丁
山本 一貫（元吉） 直右衛門 40俵 M3 23才 2丁
山本 勝美（金三郎，恒貞） 小右衛門 15俵 M3 23才 祐泉寺 3丁 2冊
山本 喜一郎（近信） 喜兵衛 15俵 M3 19才 善徳寺 4丁
山本 喜作（半蔵，忠育） 瀬大夫 25俵 M3 安楽寺 4丁
山本 吉三（正吉） 吉右衛門 8俵 M5 38才 祐泉寺 2丁
山本 吉郎平（儀一） 吉右衛門 15俵 M4 42才 願念寺 7丁
山本 亀平（国栄） 兵助 15俵 M3 光専寺 3丁
山本 喜平次（喜左衛門，清定） 清右衛門 15俵 M3 55才 正円寺 3丁
山本 久平（久芳） 久平 20俵 M3 49才 善福寺 5丁
（帙 635） 山本 喜六（忠右衛門，思誠，忠太夫） 辰右衛門 8人扶持 M3 44才 光専寺 5丁 2冊
山本 銀五郎（秀実） 数右衛門秀篤 130石 M3 61才 聖興寺 14丁
山本 金三郎（尚重） 八兵衛尚政 70石 M3 19才 本周寺 8丁
山本 金次郎 武信 18俵 M6 12才 徳善寺 10丁
山本 熊二（友得） 友甫 3人扶持 M4 28才 妙福寺 8丁
山本 熊次郎（則安） 為右衛門 18俵 M3 18才 実成寺 6丁
山本 久米太郎 久平 10石 M6 11才 善福寺 7丁
山本 敬太郎（永久） 吉佐衛門 2人扶持 M4 6才 善福寺 4丁
山本 慶太郎（簡温） 有斎 4俵 M3 15才 広昌寺 3丁
山本 源三郎（益房） 源次郎 13俵 M4 41才 善福寺 5丁
山本 幸吉 惣七 20俵 M6 2才 善徳寺 4丁
山本 幸次（守信） 惣左衛門守国 150石 M3 50才 浄安寺 10丁
山本 貫次郎（津右衛門，忠告） 新兵衛 14俵 M3 38才 光専寺 8丁 2冊
山本 小六（尚寛） 嘉門 35俵 M3 32才 長久寺 7丁
山本 作平（作蔵，治忠） 藤兵衛 3人扶持 M3 44才 浄昏寺 6丁
山本 三郎次（三郎右衛門，茂春） 次左衛門 18俵 M3 61才 本性寺 6丁
山本 三郎平（信秀） 喜右衛門 30俵 M3 44才 願楽寺 9丁
山本 左平太（正之） 小源太 15俵 M3 53才 本妙寺 5丁 2冊
山本 茂（茂人，政勝） 茂兵衛 15俵 M3 22才 東本願寺別院 5丁
（帙 636） 山本 志津馬（甚之丞，義雅） 彦六 20俵 M3 55才 善福寺 8丁
山本 七平（七大夫，定由） 十左衛門 20俵 M3 65才 専光寺 5丁
山本 治平（信高） 次平 8俵 M4 48才 専光寺 3丁
山本 十平（十兵衛，知時） 宗兵衛

35俵 M3 48才 実成寺 9丁
山本十郎（十郎左衛門，亀貞） 源次右衛門宗時 100石 M3 63才 妙円寺 10丁
山本寿郎（季三） 休季二 70石 M5 39才 徳栄寺 6丁 2冊
山本順三（順蔵，行政） 栄二郎 20俵 M3 28才 金剛寺 7丁
山本昌太郎（昌太夫，安継） 善太夫 3人扶持 M3 37才 実成寺 5丁
山本新次（新左衛門，正勝） 新右衛門 15俵 M3 25才 光現寺 3丁
山本新太郎（允和） 新助 20俵 M3 32才 浄照寺 5丁
山本清二郎 原 40石 M6 28才 善照坊 7丁
山本清次郎（茂正） 駒三郎貞勝 30俵 M3 20才 妙国寺 7丁
山本清次郎（時平） 清次郎 15俵 M3 35才 福念寺 3丁
山本誠馬（延則） 泉源延世 100石 M3 37才 本光寺 7丁
山元式男（義起） 是空儀命 70石 M3 41才 蓮昌寺 6丁 2冊
山元清太郎（一信） 清兵衛 3人扶持 M3 17才 実成寺 6丁 3冊
山元清八郎（敷義） 是空儀命 6人扶持 M3 39才 蓮昌寺 6丁
（帙 637） 山本千太郎（尚久） 千之助 100石 M3 52才 浄安寺 8丁
山本千里（五郎兵衛，芳樹） 佳雪 6人扶持 M3 61才 広済寺 8丁
山本仙六（記信） 勘兵衛記比 160石 M3 30才 円乗寺 10丁
山本惣七（季三） 武兵衛 5石 M3 37才 徳栄寺 2丁
山本宗次郎（宗蔵，直次） 儀左衛門直政 110石 M3 30才 浄住寺 11丁
山本惣次郎（茂且） 惣右衛門 3人扶持 M3 26才 聖興寺 5丁
山本桑平（温知） 猪之吉温貞 100石 M3 37才 本是寺 12丁
山本他市（正氏） 九郎右衛門 15俵 M3 30才 光林寺 4丁
山本他一郎（惟一） 松栢惟信 200石 M3 少林寺 9丁
山本多作（誠一） 徳右衛門誠之 70石 M3 70才 妙福寺 6丁 2冊
山本助四郎（維一） 多作誠一 70石 M3 32才 妙福寺 9丁 2冊
山本忠良 七平 20俵 M5 23才 了願寺 5丁
山本太平 茂太 23俵 M5 47才 長周寺 5丁
山本太平（太右衛門，幸宜） 安太夫 8俵 M3 45才 慶覚寺 5丁
山本為三（助之丞，単厚） 助三 22俵 M3 46才 本覚寺 9丁
山本常作（常右衛門，元定） 小右衛門 10俵 M3 37才 善福寺 5丁
山本常治（義貞） 常三郎 20俵 M3 15才 専光寺 5丁
山本常次郎（隆炎） 左平太 20俵 M3 53才 西方寺 4丁
山本常之助（正誠） 左平太 1人扶持 M2 25才 1丁
山本鉄馬（直令） 栄五郎有隣 50俵 M3 28才 妙円寺 7丁
山本伝太郎（定兼） 和多治定保 160石 M3 34才 聖興寺 12丁
山本藤五郎（道一） 為右衛門 15俵 M3 17才 実成寺 6丁
山本藤四郎（貞之） 又四郎 2人扶持 M4 67才 願念寺 3丁
（帙 638） 山本豊作（信繁） 早之助 12俵 M3 18才 正覚寺 3丁
山本直記（直信） 作助 2人半扶持 M3 33才 福念寺 11丁
山本直吉（政次） 久五郎 2人扶持 M4 24才 本覚寺，6丁
山本直吉（作徳） 丈左衛門信近 160石 M3 25才 了願寺 12丁
山本直松（直右衛門，一元） 幸右衛門 久興 40俵 M3 50才 安楽寺 6丁

山本八左衛門（春尚）八左衛門　60石
文政8　29才　本因寺　11丁
山本八郎（直久）又八　5人扶持
M3　72才　勝満寺　4丁
山本隼美（守和）隼人 100石　M3
23才　浄住寺　7丁
山本久男（来来）15俵　M4　21才
真教寺　4丁
山本　久（良慎）久太郎良実 1,500石
M3　22才　極楽寺　18丁
山本秀三郎（義忠）粂太郎　20俵　M3
20才　長安寺　5丁
山本秀弥（知一）徳甫　3人扶持
M3　24才　光専寺　7丁
山本兵平（兵次郎，貞一）兵作　8俵
M3　16才　仰西寺　7丁
山本　啓（勝左衛門，楽之）武左衛門
方之　50俵　M3　55才　浄安寺　11丁
山本文平（原，文庵）丈庵好古　40石
M3　64才　善照坊　7丁　2冊
山本平吉（一介，秀藤）喜蔵秀貴
80石　M3　45才　立像寺　9丁
山本兵作（庸貞）兵蔵　M3　50才
仰西寺　4丁　2冊
山本兵次郎（武信）駒次郎　18俵　M3
24才　徳善寺　7丁
山本兵造（兵蔵，貞勝）兵助　15俵
M3　35才　聖興寺　4丁
（帙639）山本又一（善蔵，勝之）六郎左衛門
40石　M3　30才　聖興寺　7丁
山本又男（定則）武太夫定勝 100石
M3　27才　聖興寺　8丁
山本又九郎（守輝）　左次馬将　200石
M3　38才　浄安寺　11丁　2冊
山本松太郎（一治）　沖右衛門　20俵
M3　39才　長教寺　8丁
山本茂平（守約）九郎太夫守府 100石
M3　41才　浄安寺　11丁
山本弥四郎（正恒）　弥左衛門　20俵
M3　47才　妙立寺　5丁
山本　休（武兵衛，季二）　惣七一
70石　M3　68才　徳栄寺　7丁
山本安之　作兵衛　15俵　M5　36才
法華寺　6丁
山本八十男（甚右衛門，恭邦）次郎左衛
門潔澄　40石　M3　41才　高岸寺　9丁
山本八十吉（政厚）友之進　40俵　M3
28才　立像寺　8丁
山本有斎（権）　久徳　11俵　M4
42才　広昌寺　4丁
山本勇次郎（一友）　又八　8俵　M3
28才　勝満寺　4丁
山本邑平（友一）左四郎　10俵　M4
31才　慶覚寺　4丁
山本与吉（信近）長佐衛門　2人扶持
M4　39才　広済寺　3丁
山本与次郎（正俊）与五郎 150石　M3
20才　大円寺　10丁　3冊
山本亮吉（信）文玄斎健 100石　M3
37才　妙典寺　7丁
山本昼平（時正）三郎大夫 200石
M3　41才　妙応寺　6丁
山本和一郎（吉左衛門，元也）助大夫
20俵　M3　39才　本覚寺　5丁
山本和三郎（直信）他三郎 200石　M3
18才　本覚寺　10丁
（帙640）山本和十郎（忠喜）作兵衛　15俵　M3
34才　法華寺　6丁
山本　弥（弥太郎，安信）善太夫
5人扶持　M3　40才　実成寺　6丁
山森権太郎（維一）武大夫近義　500石
M3　66才　西方寺　15丁
山森乙八郎（一新）権太郎 200石　M3
28才　西方寺　3丁
山森休翁（近林）武大夫　2人扶持
M3　77才　西方寺　3丁
山森鍋外（近明）休翁近林　70石
M3　30才　西方寺　10丁
山森喜太郎（守典）数馬善之　1,500石
M3　18才　西方寺　14丁
山森　茂（処覚）鉄次郎在寛 250石
M3　31才　久昌寺　16丁
山森速見（正盛）和右衛門　2人扶持
M4　33才　浄智寺　3丁

山森 蝮二（邦世）九兵衛端義 150石
M3 29才 大蓮寺 8丁
山森 十内（信之）順左衛門安澄 100石
M3 55才 立像寺 8丁
山森 森蔵（橘蔵，為富）橘蔵 70石
M3 44才 大蓮寺 10丁
山森 鎗作（安一）助左衛門崇茂 150石
M3 36才 立像寺 11丁
山森 鉾三郎 鎗作 150石 M6 32才
立像寺 9丁
山森 可一（多門，辰令）九兵衛端義
60俵 M3 26才 大蓮寺 9丁
山脇 保三郎（正交）守衛正幸 200石
M3 37才 如来寺 10丁
八幡 重吉（一定）沢ノ一 2人扶持
M4 33才 光専寺 4丁
八幡 春太郎（幸一）権太郎 5人扶持
M5 9才 専光寺 3丁
八幡 雄太郎（幸義）安三郎 5人扶持
M4 33才 専光寺 3丁
八幡 和作（祐一）和助 2人扶持
M4 41才 専光寺 3丁

ゆ 行

（帙 641）湯浅 銀三郎（尚一）善右衛門 30俵
M3 43才 慶覚寺 10丁
湯浅 源三（源蔵，吉元）源蔵吉長
60石 M3 46才 慶覚寺 6丁
湯浅 丈太郎（熙）文次郎寛 1人扶持
M3 43才 勘帰寺 10丁
湯浅 鉄太郎（久正）好就正 110石 M5
14才 浄住寺 9丁
湯浅 弥門（良貴）幾久之助奮庸 150石
M3 34才 徳竜寺 13丁
湯浅 好（友左衛門，就正） 柏翁咸
正 110石 M3 58才 浄住寺 12丁
由比 覚（覚左衛門，義勝）陸大夫
700石 M3 65才 了願寺 20丁 2冊
由比 勘三（勘兵衛，弘清）勘兵衛清茂
450石 M3 43才 長久寺 10丁 2冊
由比 冒一（三郎左衛門，猶勝）三郎勝
周 200石 M3 34才 了願寺 12丁
2冊
由比 壮一（勝之）覚左衛門義勝 60俵
M3 21才 了願寺 11丁
由比 湊（安左衛門，勝吉） 一二三
定勝 130石 M3 17才 了願寺 7丁
由比 陸太郎 義勝 700石 M7 40才
了願寺 7丁
結城 覚之丞（定一）清左衛門 80石
文久1 雲竜寺 10丁
結城 七郎（七郎左衛門，定一）清左衛
門朝政 80石 M3 雲竜寺 9丁
（帙 642）結城 束（昌之）亥三郎 20俵 M4
22才 乗光寺 4丁 2冊
結城 直国（直次郎，克一）平之丞信広
250石 M3 27才 高岩寺 9丁
湯川 喜十郎（久盛）喜大夫 17俵 M4
21才 願念寺 3丁
湯川 貢太郎（貢）貢太郎 4人扶持
M3 35才 祐専寺 5丁
湯川 三郎（正直）九七郎 100石 M3
63才 直成寺 7丁
湯川 宗俊（直言）宗斎直章 12人扶持
M3 55才 祐専寺 4丁 2冊
湯川 なお 昌蔵 8,5石 M7 50才
願念寺 3丁
雪野 鋭次郎（保之）120石 M4 18才
本覚寺 5丁
雪野 文太（信正）文七 70石 M3
56才 本覚寺 5丁
雪野 積（信行）文太信正 7人扶持
M3 19才 本覚寺 4丁
雪野 淵之進（要言） 文蔵原恭 130石
M3 35才 妙応寺 8丁
幸林 行宣 忠矩 10石 M6 18才
円祐寺 7丁
行山 詠（重郎左衛門，孝次）安之助
孝義 120石 M3 52才 雲竜寺 9丁
行山 銀次郎（正孝）宝次郎義孝 150石
M3 22才 妙応寺 13丁
行山 清六（孝義）喜永孝永 150石
M3 44才 雲竜寺 12丁
湯沢 昌作（又作，寛行）市兵衛 11俵
M3 46才 光専寺 7丁 2冊

柚野すへ 9俵 M7 11才 常福寺 3丁
柚野太三郎 甚吉 9俵 M7 19才 常福寺 3丁
由土全休（義実）平兵衛実包 12俵 M3 68才 東嶺寺 3丁
由土矢柄（実善）平兵衛義実 100石 M3 27才 東嶺寺 8丁
（帙 643）湯浦与二郎（好正）甚吾 22俵 M3 13才 珉徳寺 6丁
柚木佐吉郎（元固） 左平次 9俵 M3 23才 浄光寺 3丁
湯口清三郎 藤九郎 12俵 M6 19才 専光寺 4丁
湯原淳吉（久之） 平叟直道 170石 M3 35才 本長寺 12丁
湯原屯（三益） 英之丞遠 250石 M3 24才 桃雲寺 14丁
湯原主殿（光国） 玉山 250石 M3 39才 少林寺 13丁
湯原友八（信正） 平馬信厚 600石 M3 30才 少林寺 27丁
由良栄作（平右衛門，政幸） 次郎三郎 20俵 M3 44才 雲竜寺 4丁
由良晋吾（次右衛門，彰信） 助七 30俵 M3 32才 真成寺 9丁
由良とみ 20俵 M7 47才 真成寺 4丁
由良虎男 孫次 20俵 M7 8才 真成寺 8丁

よ 行

（帙 644）与語茂（茂右衛門，正胤） 藤兵衛 6人扶持 M2 52才 了願寺 8丁
横井伊平（伊右衛門，安勝） 与兵衛 6俵 M3 55才 聖興寺 4丁
横井往来（助八，可一） 伴右衛門 50石 文久3 49才 大円寺 12丁
横井嘉太郎（嘉平衛，一横） 嘉平次 9俵 M5 22才 西光寺 5丁 3冊
横井嘉平次（正久） 小左衛門 2人扶持 M3 60才 西光寺 4丁 3冊
横井義佐久 義房 20俵 M8 2才 乗光寺 3丁
横井源次（信吉） 九右衛門 5俵 M3 24才 福千寺 3丁
横井幸次（助良） 長四郎 10俵 M4 53才 本誓寺 3丁
横井清七（七右衛門，安忠） 伊右衛門 5俵 M3 30才 聖興寺 4丁
横井善三郎 吉郎兵衛 M6 39才 知覚寺 1丁
横井友平（友之助，政清） 太兵衛 20俵 M3 35才 等願寺 4丁
横井直太郎 喜之作 10俵 M7 9才 専称寺 8丁
横井 轂（謙之助，誠之） 往来 11俵 M3 23才 大円寺 5丁 2冊
横井孫三（北正） 市兵衛 8俵 M4 26才 光教寺 4丁
横江貞次郎（匡三） 清右衛門 9俵 M5 26才 知覚寺 2丁
横川新左衛門（尚吉） 助六郎 7人扶持 安政5 39才 西勝寺 13丁
横川善八（善蔵，尚友） 文左衛門 20俵 M3 32才 西方寺 6丁
横越全七（全右衛門，為久） 半右衛門 7俵 M3 59才 正楽寺 3丁
横瀬喜太八（延秋） 市右衛門 11俵 M4 73才 光専寺 2丁
横瀬甚太郎（延道） 喜太八 11俵 M4 5才 光専寺 3丁
（帙 645）横田嘉平（義勝） 嘉右衛門 8俵 M4 64才 浄明寺 3丁
横田耕三（嘉兵衛，直之） 左太夫 20俵 M3 43才 西光寺 5丁
横田作太郎（信政） 久兵衛 20俵 M3 18才 浄照寺 5丁
横田庄太郎（信正） 嘉平 7俵 M4 19才 浄明寺 4丁
横地金三郎（正安） 善八郎 90石 M3 39才 竜淵寺 5丁
横地大十郎（周道） 和次郎 35俵 M3 41才 竜淵寺 4丁 2冊
横地弥兵衛（福謙） 弥兵衛 2人扶持

慶応2年　46才　4丁
横地和次郎（在寛）　十左衛門包牧　130石　M3　65才　竜淵寺　8丁
横野七三（七右衛門，義政）　勘右衛門　12俵　M3　55才　慶恩寺　3丁
横浜伊三郎（信之）　七三郎　12俵　M4　21才　普念寺　2丁　2冊
横浜栄左衛門（栄久）　藤右衛門　4人扶持　慶応4年　22才　廻向寺　2丁
横浜周平（親久）　与之助　20俵　M3　47才　専光寺　6丁
横浜善治（善蔵，定幸）　権兵衛　6人扶持　M3　63才　普念寺　3丁
横浜太一（忠次）　次兵衛　7俵　M4　20才　孝願寺　6丁
横山右馬（好義）　如雲好近　500石　M2　13才　松山寺　20丁
横山小次郎（一孝）　七兵衛　7人扶持　慶応4　48才　鶴林寺　10丁
横山さ幾　一孝　25俵　M8　19才　鶴林寺　8丁
横山三郎（三佐衛門，隆平）　大膳隆貴　30,000石　M3　26才　松山寺　31丁　2冊
（帙646）横山隆淑（又五郎）　又五郎隆則　3,500石　M3　48才　24丁
横山隆光　隆勝　2,000石　M6　17才　松山寺　13丁
横山隆吉　隆三　300石　M7　14才　松山寺　8丁
横山多門（政孝）　蔵人　10,000石　享和2　15才　献珠寺　9丁
横山徳次（善右衛門，勝清）　善右衛門　15俵　M4　31才　仰西寺　4丁
吉井清来（是正）　宗恕道久　14俵　M3　35才　浄昏寺　4丁
吉井粂次郎　忠平　25俵　M5　11才　善隆寺　3丁
吉井幸二（幸左衛門，柾勝）　孝右衛門　20俵　M3　45才　光専寺　4丁
吉井孝語（柾秋）　孝左衛門　15俵　M3　17才　光専寺　5丁
吉井立吉（秀顕）　宗恕道久　3人扶持　M3　31才　浄昏寺　4丁　2冊
吉井忠平（忠兵衛）　宇兵衛　20俵　M3　63才　善隆寺　6丁
吉井鉄太郎（忠次）　甚之助　15俵　M3　44才　浄昏寺　5丁
吉浦清作（武業）　角在衛門　20俵　M3　33才　称名寺　5丁
吉江伊三郎　清介　35俵　M4　35才　立像寺　7丁
吉江覚男（覚之助，直温）　五左衛門　一茂　50俵　M3　33才　立像寺　8丁
吉江勘六（勘兵衛，常義）　吉右衛門　10俵　M3　53才　聞成寺　3丁
（帙647）吉江次助（直之）　丹蔵　3人扶持　M2　45才　照円寺　2丁
吉江多仲（兵左衛門，一正）　太左衛門　20俵　M3　39才　教恩寺　5丁
吉江鉄磨　民五郎　17人扶持　M5　5才　立像寺　4丁
芳尾安太郎（勝重）　甚次郎　3人扶持　M4　7才　照蓮寺　2丁
吉岡市蔵（直躬）　初三郎　2人扶持　M2　43才　5丁
吉岡勝三郎（義繁）　藤作　18俵　M3　32才　仰西寺　6丁
吉岡儀三郎（義一，信知）　弥平　1人扶持　M3　16才　光徳寺　2丁　2冊
吉岡儀太夫（信房）　儀太夫　2人扶持　M3　45才　光徳寺　5丁
吉岡喜平（正一）　6俵　M4　慶覚寺　4丁
吉岡熊吉（匡房）　九十作　25俵　M3　22才　成覚寺　5丁
吉岡耕平（有猷）　友之助保福　50俵　M3　28才　了願寺　7丁
吉岡左太郎（守義）　九左衛門　20俵　M3　23才　瑞泉寺　5丁
吉岡二朔（信勝）　文朔信昌　10俵　M4　25才　妙応寺　5丁
吉岡捨五郎　保之　5人扶持　M6　18才　妙国寺　3丁
吉岡清吉（政景）　兵左衛門　20俵

M３　17才　瑞泉寺　８丁
吉　岡　清五郎　左太郎　20俵　M６　20才　瑞泉寺　５丁
吉　岡　政次郎（道礼）　平兵衛　６人扶持　M３　16才　感応寺　３丁　２冊
吉　岡　達九里（平兵衛，元礼）　平兵衛元長　50石　M３　47才　感応寺　７丁　２冊
吉　岡　　仲（修営）　与右衛門　２人扶持　M４　39才　西方寺　４丁
吉　岡　常　男（福教）　伝蔵福直　13俵　M３　39才　本覚寺　４丁
吉　岡　恒　吉（忠之）　清兵衛　２人扶持　M４　21才　徳竜寺　５丁
吉　岡　鉄次郎（保之）　定右衛門信昌　５人扶持　M３　44才　妙国寺　４丁　２冊
（帙 648）吉　岡　文　朔（文之丞，信昌）　豊右衛門　２人扶持　文久３　57才　妙応寺　５丁
吉　岡　元三郎（義治）　善八　21俵　M５　11才　広済寺　５丁
吉　岡　与四三（与四兵衛，一房）　由兵衛　２人扶持　M４　53才　光福寺　３丁
吉　岡　与四郎（金久）　与四兵衛　15俵　M３　25才　光福寺　３丁
吉　川　岩　巴（直矩）　茂左衛門　20俵　M３　19才　瑞泉寺　７丁
吉　川　嘉次馬（克明）　嘉右衛門　50石　万延１　30才　久昌寺　９丁
吉　川　久　造（久蔵，祗知）　喜大夫　25俵　M３　72才　妙国寺　６丁
吉　川　喜　六（佐兵衛，敬直）　半蔵　35俵　M３　70才　実成寺　７丁
吉　川　九　六（栄作，一豊）　九左衛門　30俵　M３　40才　願念寺　７丁
吉　川　定　吉（勝久）　理平　２人半扶持　M３　30才　６才　２冊
吉　川　丈三郎（聲国）　恒之丞　20俵　M３　34才　光専寺　７丁
吉　川　昌十郎（十左衛門，知若）　桂山知周　300石　M３　37才　妙玄寺　12丁
吉川四郎左衛門（盛樹）　九平　２人扶持　文久１　30才　久昌寺　５丁
吉　川　新右衛門（孔彰）　新右衛門　60石　安政６　38才　広済寺　７丁
吉　川　鋲次郎（定行）　新右衛門孔彰　２人扶持　M３　22才　広済寺　４丁
吉　川　誠　吾（誠晴）　茂左衛門　20俵　M３　28才　瑞泉寺　８丁
吉　川　政　造（政之助，政蔵，博篤）　又吉　15俵　M３　23才　即願寺　５丁
吉　川　清太郎　常五郎　20俵　M５　９才　妙国寺　４丁
吉　川　全　作（勝久）　吟右衛門　20俵　M３　41才　妙法寺　５丁
吉　川　大五郎（政則）　良左衛門　６人扶持　万延１　21才　久昌寺　４丁
吉　川　他次郎（嘉之）　保左衛門　25俵　M３　30才　妙正寺　７丁
吉　川　多宝見（安明）　梶之介　13俵　M４　35才　竜勝寺　７丁
（帙 649）吉　川　都　築（五郎右衛門，信広，信義）　永助義晴　60石　M３　23才　全性寺　10丁　２冊
吉　川　常五郎（一義）　宗助　20俵　M３　39才　妙国寺　５丁
吉　川　鉄次郎（政則）　久作　２人扶持　M２　12才　久昌寺　５丁
吉　川　仁三郎　喜六　20俵　M６　26才　実成寺　７丁
吉　川　彦三郎（有親）　彦左衛門　20俵　M３　36才　真長寺　４丁
吉川平左衛門（儕正）　信左衛門　50石　慶応２　29才　久昌寺　６丁
吉　川　平　治（忠久）　忠太夫　40石　M４　60才　安立寺　２丁
吉　川　平　太（富毅）　順左衛門光命　130石　M３　48才　妙玄寺　８丁
吉　川　豊　吉（豊之丞，福明）　余所太郎　20俵　M３　44才　本是寺　10丁
吉　川　宝次郎　富毅　130石　M７　妙玄寺　５丁
吉　川　孫　市（善正）　十次郎　19俵　M３　21才　常栄寺　４丁
吉川康左衛門（秀雄）　康左衛門　55石

M2　全性寺　9丁
吉川保次（直之）　多左衛門信光　7人扶持　M3　40才　蓮昌寺　4丁
吉川弥三二（弥之助，久清）　弥五郎　20俵　M3　願念寺　10丁
吉川与三次郎（与三太夫，義一）　理右衛門　20俵　M3　22才　真長寺　9丁
吉川りう　理三郎　20俵　M8　18才　真長寺　5丁
吉川理平（定晴）　与三右衛門　2人半扶持　M3　68才　本覚寺　5丁
吉川良太郎（雅武）　千助　20俵　M3　14才　願念寺　8丁
良川八郎（成清）　八大夫　18俵　M4　25才　上宮寺　4丁
（帙650）吉倉きく　定義　12俵　M8　8才　高楽寺　5丁
吉倉玉精（惣左衛門，直重）　惣左衛門直元　40石　M3　46才　妙正寺　3丁
吉倉佐太郎（帷良）　作十郎　20俵　M3　静明寺　9丁
吉倉次吉（次左衛門，貞一）　次郎兵衛　18俵　M3　68才　静明寺　6丁
吉倉次郎（直春）　惣左衛門　40石　M3　15才　妙正寺　3丁
吉倉仙吉（順弘）　惣助　20俵　M3　37才　正福寺　6丁
吉倉善三郎（定義）　善兵衛　12俵　M4　47才　高楽寺　4丁
吉倉他吉（直与）　惣左衛門　40石　M3　22才　妙正寺　3丁
吉倉長治（清在）　八十二郎　20俵　M4　34才　静明寺　7丁
吉倉平作（昌一）　勘太夫　25俵　M3　40才　西源寺　7丁
吉倉守刀（忠義）　源左衛門　15俵　M3　35才　超願寺　5丁
吉崎貫兵衛（方定）　忠太郎　6人扶持　M2　31才　本興寺　8丁
吉崎幸治（幸之丞，一忠）　幸平　20俵　M3　36才　願念寺　8丁
吉崎作二（作之丞）　又右衛門　19俵　M3　31才　長徳寺　3丁
吉崎宗作（好之）　宗次郎　20俵　M3　18才　竜昌寺　6丁
（帙651）吉沢卯三郎（正次）　与四兵衛　15俵　M3　23才　専光寺　4丁
吉沢常太郎（常信）　栄次　18俵　M4　18才　金剛寺　3丁
吉島吉平（助人，一政）　藤兵衛　15俵　M3　50才　東本願寺別院　4丁
吉島熊吉（政英）　清五郎　50俵　M3　円祐寺　10丁
吉島宅治（他次郎，直方）　誠左衛門　高次　18俵　M3　15才　三宝寺　5丁　2冊
吉島政男（寿富）　源三崇　40俵　M4　36才　円祐寺　7丁
吉島与三太郎（久信）　与三太郎　10俵　M4　21才　祐専寺　3丁
吉住源三郎（孟敬）　孫兵衛　15俵　M3　28才　善徳寺　4丁
吉住安平（安左衛門，孝久）　九右衛門　7俵　M4　56才　永願寺　3丁
吉田伊之吉（助次郎，政次）　磯右衛門　15俵　M3　34才　専光寺　3丁
吉田伊平（伊三右衛門，良久）　弥左衛門　15俵　M3　57才　長徳寺　5丁
吉田宇三郎（忠知）　甚作　30俵　M3　40俵　教恩寺　6丁
吉田牛之助（厚美）　林太夫　1人扶持　M2　23才　2丁
吉田永次郎（忠一）　太郎八　20俵　M3　30才　静明寺　7丁
吉田栄三（孫之丞，則祥）　友太郎　20俵　M3　40才　東本願寺別院　6丁
吉田温一郎（秀成）　清平定章　300石　M3　36才　西方寺　4丁　2冊
吉田哥喜知　暉朗　17人扶持　M7　2才　宗徳寺　9丁
吉田覚次（直次）　松録　23俵　M3　28才　立像寺　6丁
吉田兼布　長数馬兼道　450石　M6　30才　希翁院　10丁

吉田勘造（清久） 勘之丞 25俵 M3 32才 養知院 7丁
吉田由六（喜左衛門，一布） 金左衛門 20俵 M3 55才 成学寺 8丁
(帙 652) 吉田喜一郎（喜三次，盛之） 作左衛門 20俵 M3 27才 教恩寺 8丁
吉田喜市郎（昆春） 喜左衛門 15俵 M3 19才 成学寺 7丁
吉田喜八郎 登 11俵 M7 17才 棟岳寺 3丁
吉田喜八郎（小助，信春） 喜八 25俵 M3 54才 養知院 9丁
吉田喜平（直由） 喜左衛門 23俵 M4 53才 本光寺 5丁
吉田久平（明郷） 安左衛門 25俵 M3 41才 円祐寺 7丁
吉田金十郎（英貞） 権左衛門 6人扶持 M3 24才 聞善寺 7丁
吉田九郎次（九右衛門，孝直） 作兵衛 30俵 M3 64才 成学寺 7丁
吉田啓勇 宇他郎 17俵 M7 10才 宗寿寺 5丁
吉田源吾（頼好） 源蔵 30俵 M4 53才 仰西寺 7丁
吉田源治（鬼勝） 宇三郎 15俵 M3 24才 幸千寺 3丁
吉田鎌太郎（孝茂） 十佐衛門 5人扶持 M3 17才 大蓮寺 6丁
吉田元太郎（寛貞） 新平 30俵 M3 24才 棟岳寺 3丁
吉田好九郎 久重 55石 M7 4才 妙円寺 5丁
吉田好二（好之助，芳貞） 千右衛門 20俵 M3 41才 極楽寺 8丁
吉田耕造（矩農） 幸蔵 20俵 M3 42才 瑞泉寺 6丁
吉田幸太郎（忠行） 甚六 15俵 M4 23才 宝性寺 5丁
吉田小十郎（正義） 小三郎 15俵 M3 8才 西源寺 6丁
吉田小八郎（満政） 平兵衛 15俵 M3 32才 常福寺 5丁
吉田栄（宗房） 嘉左衛門 50石 慶応3 21才 8丁
吉田作次郎（清信） 作左衛門 8俵 M3 39才 常福寺 3丁
吉田佐久平（半丞，延武） 半次 20俵 M3 35才 願念寺 7丁
吉田三平（善右衛門，永房） 源兵衛 18俵 M3 41才 承証寺 6丁
(帙 653) 吉田治吉郎（弥信）喜三郎 25俵 M4 4才 本性寺 5丁
吉田次太郎 家久 50俵 M7 11才 本是寺 6丁
吉田十平（孝道） 安三郎 18俵 M3 30才 高源院 6丁
吉田錠五郎 恒三 18俵 M6 12才 承証寺 4丁
吉田庄太郎（正房） 円六 20俵 M3 17才 円照寺 6丁
吉田庄太郎 信三 20俵 M5 19才 妙泰寺 7丁
吉田庄平（庄之助，信帷） 庄五郎 20俵 M3 31才 願念寺 7丁
吉田四郎（速見，道時） 甚之丞 150石 文久3 24才 妙慶寺 20丁
吉田甚作（忠勝） 権之丞 20俵 M3 24才 正覚寺 4丁
吉田信三（助三，以政） 勘十郎 20俵 M3 28才 妙輪寺 5丁
吉田甚六（甚兵衛，安茂） 甚兵衛 15俵 M3 28才 宝性寺 4丁
吉田清三郎（次常） 甚八次芳 200石 M3 52才 浄安寺 13丁
吉田誠太郎（正） 守兵衛 150石 M4 15才 法光寺 7丁
吉田千作（久元） 長太夫 12俵 M3 59才 光専寺 3丁
吉田千次（久次） 千作 8俵 M4 19才 光専寺 4丁
吉田善四郎（次成） 善四郎 11俵 M4 40才 光専寺 4丁
吉田善次郎（重次） 源太郎 26俵 M3 52才 本光寺 8丁

吉田善平（義一） 善八 9俵 M4 70才 西方寺 3丁
吉田惣吉郎（峯保） 六兵衛 15俵 M3 39才 正覚寺 4丁
吉田操次（左兵衛，直行） 市郎左衛門 20俵 M3 50才 成学寺 6丁
吉田外三郎 喜平 23俵 M5 14才 本光寺 6丁
吉田大五郎（愛秀） 助四郎 20俵 M3 29才 妙輪寺 5丁
吉田多左衛門（直方） 外男 7人扶持 元治1 20才 東嶺寺 12丁
(帙 654) 吉田辰三郎（正明） 善左衛門 18俵 M3 28才 実成寺 5丁
吉田太苗（啓蔵，益知） 太七郎 20俵 M3 41才 瑞雲寺 6丁
吉田多美男（祐倡） 太四郎 25俵 M3 32才 東本願寺別院 6丁
吉田太郎（厚美） 林平正美 3俵 M4 25才 円光寺 6丁
吉田忠次郎（茂倡） 権平 17人扶持 M4 63才 鶴林寺 7丁 2冊
吉田忠太郎 忠行 15俵 M6 22才 宝性寺 5丁
吉田長三郎（忠重，忠儀） 源右衛門 30石 M4 26才 蓮昌寺 6丁 2冊
吉田長三（数馬，兼道） 喜平兼礼 450石 M3 布翁院 9丁
吉田鎮太郎（由永） 彦助 2人扶持 弘化4 30才 6丁
吉田津太夫（守江，忠勝） 左平一誠 9人扶持 慶応2 40才 14丁
吉田恒三（恒之丞，一幸） 作助 18俵 M3 60才 承証寺 5丁
吉田鉄太郎（守政） 与一 40俵 M3 19才 4丁
吉田時三（時丞，直清） 善太郎 20俵 M3 30才 極楽寺 6丁
吉田外鐵太郎（有恪） 左兵衛 15俵 M3 18才 成学寺 4丁
吉田友吉（保之） 清九郎 11俵 M4 48才 妙玄寺 4丁
吉田友二郎（善照） 九右衛門 15俵 M3 30才 成学寺 7丁
吉田友之丞（忠良） 治郎兵衛 70石 安政4 39才 9丁
吉田豊治（衛房） 治左衛門 19俵 M3 41才 本行寺 7丁
吉田豊児（守知） 彦太夫 30俵 M4 59才 乗善寺 7丁
(帙 655) 吉田八平（惟清） 保左衛門維翰 150石 M3 26才 本光寺 7丁
吉田八平（直茂） 喜右衛門 10俵 M4 50才 立像寺 6丁
吉田八郎（八郎兵衛，保守） 理右衛門保業 4人扶持 M3 20才 真成寺 6丁
吉田番平 忠次郎 17人扶持 M6 35才 鶴林寺 4丁
吉田彦次郎（是則） 彦八郎 25俵 M3 35才 広済寺 7丁
吉田秀三郎（信一） 重六郎 70石 M2 22才 願楽寺 12丁
吉田　拓（直一） 瀬八郎 20俵 M3 21才 本是寺 10丁
吉田寛貞 寛門 50俵 M6 26才 棟岳寺 7丁
吉田平四郎（清久） 太兵衛 10俵 M4 30才 願念寺 3丁
吉田平次郎（秀乗） 宗兵衛 20俵 M3 32才 孝教寺 6丁
吉田政之丞（吉政） 政右衛門 4人扶持 M1 35才 棟岳寺 3丁
吉田松三郎（房明） 清太夫 18俵 M4 43才 上宮寺 6丁
吉田松太郎（継義） 彦七 2人扶持 M3 21才 西方寺 3丁
吉田紋平（紋左衛門，久安） 紋左衛門 30俵 M3 56才 月照寺 4丁
吉田弥三郎 治吉郎琢信 20俵 M6 22才 本性寺 6丁
吉田保二（保左衛門，肥居） 助四郎 20俵 M3 40才 妙輪寺 6丁
吉田保太郎 参平 18俵 M7 承証寺

4丁
吉田　休（義政）　徹叟彬義　150石　M3　52才　蓮昌寺　10丁
吉田　八十八（八十之助）　平之丞　140石　M2　法照寺　20丁
吉田　弥六（善行）　善兵衛　2人扶持　M4　56才　願立寺　3丁
（峡 656）吉田勇左衛門（保隆）　勇斉　30石　慶応2　50才　善照坊　9丁
吉田　勇次郎（快義）　九之丞　20俵　M3　37才　月照寺　7丁
吉田　勇太郎（保定）　勇左衛門保隆　9俵　M3　11才　善照坊　4丁　2冊
吉田　与一郎（元国）　与左衛門　21俵　M3　56才　西源寺　6丁
吉田　与一郎（守敬）　恒男，守躬　45石　M1　36才　高岸寺　10丁
吉田　庸次郎（清安）　勝江　4俵　M3　16才　永久寺　3丁
吉田　余所次郎（勝実）　平之丞　7人扶持　文久3　22才　法照寺　3丁
吉田　理右衛門（保業）　八太夫保　65石　M2　46才　真成寺　9丁
吉田　柳太郎（忠輝）　啓蔵　15俵　M3　19才　瑞雲寺　6丁
吉田　林太夫（正美）　惣右衛門　120石　万延1　39才　円光寺　8丁
吉田　六郎（茂信）　四郎茂斉　400石　M4　32才　瑞雲寺　16丁
蕨田　祗直　鷲麿昌孝　500石　M5　妙典寺　6丁
吉竹　一治（清忠）　金蔵　15俵　M3　38才　本行寺　4丁
吉竹　寛平（重兵衛，正忠）　金蔵　20俵　M3　40才　本行寺　5丁
吉竹　粂三郎（粂丞，清次）　粂丞　20俵　M3　41才　本行寺　7丁
吉竹　治三郎（秀久）　粂丞　15俵　M4　26才　本行寺　3丁
吉谷　五平（安久）　五右衛門　9俵　M5　50才　祐専寺　3丁
吉谷　侶策（忠安）　与右衛門　8俵　M3　38才　光証寺　3丁
吉永　鈔次郎（窓章）　勾当　8俵　M3　71才　本光寺　3丁
（峡 657）吉野伊左衛門（政直）　伊兵衛　2人半扶持　M2　67才　願慶寺　4丁
吉野　栄次郎（政良）　伊左衛門政直　4俵　M3　32才　願慶寺　5丁
吉野　薫（久左衛門，武雅）　儀右衛門　10俵　M3　26才　本覚寺　6丁
吉野　喜三郎（芳忠）　喜右衛門　11俵　M3　22才　本誓寺　4丁
吉野　義三郎（忠一）　小右衛門　20俵　M3　26才　勝満寺　5丁
吉野　吉太郎（助久）　五助　3人扶持　M3　21才　浄行寺　4丁
吉野　喜内（知定）　彦太夫　8人半扶持　M1　49才　妙源寺　4丁
吉野　久平（与如）　和内　15俵　M3　53才　慶恩寺　3丁
吉野　熊次郎（包知）　藤吉　6俵　M4　16才　随順寺　4丁　2冊
吉野　敬三（友貞）　次六　8俵　M4　31才　慶覚寺　7丁
吉野　駒太郎（信房）　外久次郎　4人扶持　M3　妙玄寺　7丁
吉野　三郎　誠兵衛　4人扶持　M4　22才　妙玄寺　2丁
吉野　三次郎（定重）　瀬太夫　27俵　文久3　26才　妙泰寺　8丁
吉野　次六（一忠）　又右衛門　16俵　M4　66才　慶覚寺　4丁
吉野　静治（義宣）　良太郎　20俵　M3　17才　三光寺　6丁
吉野　誠兵衛（尚道）　儀兵衛　60石　M2　52才　妙玄寺　9丁
吉野　民作　藤友　20俵　M6　妙典寺　4丁
吉野　太郎（克己）　喜内知定　3人扶持　M3　22才　妙源寺　4丁
吉野　藤吉（友定）　伝九郎　11俵　M4　54才　随順寺　5丁
吉野　藤平（藤兵衛，藤友）　善助　20

倅　M3　65才　妙典寺　4丁
吉野外久次郎（輔信）　助之丞　4人扶持　M3　18才　妙玄寺　2丁
吉野　半之丞（捨男，義忠）　瀬兵衛　5人扶持　安政6　20才　14丁　2冊
(帙 658) 吉野　平治（平次，春光）　権三郎　7倅　M4　45才　誓入寺　3丁　2冊
吉野　松太郎　義三郎　20倅　M5　1才　勝満寺　4丁
吉野　　操（順蔵，一守）　彦兵衛　11倅　M3　32才　善福寺　4丁
吉野　本三郎（尚顕）　義兵衛　4人扶持　M2　20才　6丁
吉野　弥一郎（当胤）　藤兵衛　25倅　M3　31才　日連宗　4丁
吉野　　山（沢右衛門，義冨）　英左衛門義忠　50倅　M3　39才　8丁
吉野　雄介（克己）　喜内　3人扶持　M1　20才　妙源寺　3丁
吉野　利三郎（一則）　利兵衛　8倅　M3　23才　西福寺　3丁
芳野　貞成　甚入　6人扶持　M6　19才　本光寺　4丁
芳野　常三郎（貞成）　甚左衛門貞良　1人半扶持　M3　17才　本光寺　4丁
芳野　藤太郎（氏安）　喜三次　8倅　M4　15才　瑞泉寺　3丁
吉橋　右門（輝浄）　弥六　50石　M2　54才　仁随寺　6丁
吉橋　次平（雄休）　助太夫　12倅　M3　46才　長福寺　3丁
吉原　善次郎（伊佐）　伊右衛門　15倅　M3　28才　専光寺　2丁
吉原　長三郎（信幸）　七郎右衛門　11倅　M4　45才　専光寺　5丁
吉藤　精柄（忠久）　三郎兵衛　7人扶持　M4　45才　竜源寺　4丁
吉藤　　励（一郷）　長兵衛　15倅　M3　32才　専光寺　5丁
(帙 659) 吉見　亥三郎（為得）　安平　9倅　M4　21才　瑞泉寺　5丁
吉見　五兵衛　為次　13倅　M8　18才　瑞泉寺　5丁
吉見　丈太郎（忠成）　丈助　20倅　M3　33才　名願寺　4丁
吉見　次郎（堯春）　弥次兵衛　23倅　M3　45才　本是寺　7丁
由水　昇平（雅中）　与三兵衛　15倅　M3　24才　3丁
吉村　伊三郎（越江）　理助　15倅　M3　43才　宝性寺　5丁
吉村　市三郎（市左衛門，政房）　四郎右衛門　6倅　M3　46才　正覚寺　3丁
吉村　市平（一久）　吉太夫　20倅　M4　29才　観帰寺　5丁
吉村　岩外　直温　75石　M6　14才　珉徳寺　6丁
吉村　栄作（新兵衛，元龍）　七次郎　19倅　M3　57才　光西寺　3丁
吉村　　理（理兵衛，正次）　甚五郎　20倅　M3　20才　西福寺　6丁
吉村　乙吉（忠宗）　文左衛門　15倅　M3　17才　妙国寺　4丁
吉村　数吾（正勝）　作右衛門　20倅　M3　19才　全性寺　7丁
吉村　貫作（政孝）　武右衛門　70石　M4　53才　西光寺　2丁
吉村　喜一郎（和房）　稚次郎　18倅　M3　29才　専光寺　4丁
吉村　喜作（信久）　喜助　3人扶持　M4　30才　善照坊　3丁
吉村　喜十郎（弘道）　喜兵衛　20倅　M3　23才　誓円寺　11丁
吉村　喜三次郎（由正）　権四郎　15倅　M3　33才　光教寺　4丁
(帙 660) 吉村　吉三郎（久義）　七兵衛　8倅　M3　25才　善福寺　4丁
吉村　吉次（正之）　作左衛門　20倅　M3　70才　常福寺　3丁
吉村　喜平（直信）　豊左衛門　20倅　M2　41才　妙国寺　9丁
吉村　金三　善次郎　20倅　M5　15才　善徳寺　8丁
吉村　久米男（正直）　宗兵衛　23倅　M

4　33才　光専寺　6丁
吉村作吉（安勝）　太右衛門　9俵　M4　29才　慶覚寺　3丁
吉村作太郎（知休）　作右衛門　20俵　M3　19才　真行寺　6丁
吉村さ多　直温　75石　M6　2才　珉徳寺　6丁
吉村茂三（茂吉）　覚左衛門　4人扶持　M2　26才　円長寺　3丁
吉村重正　祐平　23俵　M6　16才　永順寺　6丁
吉村治太郎（重正）　次郎左衛門　15俵　M3　15才　永順寺　4丁
吉村七平（義公）　茂三郎　12俵　M4　58才　善福寺　5丁
吉村七郎治（七之丞，成敷）　24俵　M3　39才　慈雲寺　6丁
吉村周作（守之）　喜太夫　25俵　M3　36才　如来寺　4丁
（帙661）吉村庄作（庄左衛門，茂之）　与吉　15俵　M3　31才　瑞泉寺　4丁
吉村庄二（庄兵衛，富番）　九左衛門　20俵　M3　62才　勝満寺　5丁
吉村丈三（喜十郎，茂知）　利平　9俵　M4　20才　西源寺　4丁
吉村少平（斤次）　仁兵衛　2人半扶持　M4　37才　西福寺　4丁
吉村甚太郎（久勝）　与三郎　15俵　M3　24才　光徳寺　3丁
吉村甚八（平太夫，貞勝）　清七　25俵　M3　61才　善福寺　5丁
吉村甚平（甚太夫，兼久）　甚兵衛　20俵　M3　64才　妙泰寺　5丁
吉村捨次郎（正彰）　三四郎　15俵　M3　26才　慈雲寺　2丁
吉村成造（清蔵，幹影）　亥内　5人扶持　M3　19才　西勝寺　3丁　2冊
吉村清造（清蔵，政宣）　久兵衛　20俵　M3　43才　極楽寺　8丁
吉村全太郎　幸忠　15俵　M6　9才　5丁
吉村善太郎（善丞）　喜八郎　20俵　M3　25才　誓円寺　8丁
吉村惣九郎（幸久）　六兵衛　15俵　M3　50才　東本願寺別院　4丁
吉村他次郎（久道）　徳左衛門　9俵　M3　30才　瑞光寺　6丁
吉村　環（篤之介，勝栄）　善次郎　20俵　M3　22才　常福寺　7丁
吉村丹次（雅休）　丹次　17俵　M4　45才　等願寺　5丁
吉村伝三郎（勝政）　伝七　11俵　M4　徳栄寺　5丁
吉村伝七（清忠）　伝七　8俵　M4　64才　徳栄寺　5丁
吉村時太郎（宗之）　兵兵衛宗則　8俵　M3　21才　光専寺　6丁
吉村直喜（直右衛門，福矩）　新左衛門　15俵　M3　24才　東本願寺別院　5丁
吉村謀惟　文作　9石　M8　26才　宗寿寺　7丁
吉村儀元　甚平　20俵　M6　27才　妙泰寺　6丁
吉村[illegible]寿（奥之助，勝朝）　玄郎兵衛　20俵　M3　27才　誓玄寺　5丁
（帙662）吉村　瞬（市五右衛門，正貞）　平之助　35俵　M3　57才　善福寺　7丁
吉村文作（文左衛門，忠昭）　啓太郎　20俵　M3　54才　妙国寺　5丁
吉村兵作（助太夫，永久）　助左衛門　20俵　M3　39才　善福寺　6丁
吉村兵三郎（武敬）　長右衛門　25俵　M3　48才　長徳寺　6丁
吉村平造（末忠）　平助　24俵　M3　40才　浄誓寺　6丁
吉村　貫（一正）　清兵衛　30石　M3　20才　本光寺　6丁　2冊
吉村弥作（造）　勘兵衛　35石　M3　34才　東本願寺別院　3丁
吉村悠喜知（平太郎，幸忠）　次郎左衛門　22俵　M3　24才　永順寺　5丁
吉村祐平（次郎左衛門，弘住）　次左衛門　20俵　M3　51才　永順寺　4丁

吉 村 与三次（与三兵衛，定之） 三右衛門 20俵 M3 68才 長周寺 4丁
吉 村 与太郎 金三 20俵 M5 16才 善徳寺 6丁
吉 村 廉三郎（永清） 権之助 150石 安政4 33才 安立寺 10丁
蔑 村 辰五郎（安寿） 小八郎 20俵 M3 24才 善隆寺 6丁
吉 室 忠左衛門 半右衛門 15俵 慶応1 55才 照台寺 5丁
吉 室 久太郎（久政） 武一郎 22俵 M4 27才 照台寺 5丁
(帙 663) 吉 本 伊三郎（一政） 宗右衛門宗休 8俵 M4 23才 本因寺 6丁
吉 本 伊之吉（金信） 伊兵衛 6俵 M3 19才 一閑院 4丁
吉 本 伊 平（伊兵衛，義政） 伊兵衛 8俵 M3 52才 一閑院 4丁
吉 本 巌（知定） 清也 25俵 M3 38才 照円寺 7丁
吉 本 乙次郎 善七 7石 M8 19才 善福寺 4丁
吉 本 喜久男（政義） 彦兵衛 25俵 M3 24才 照円寺 8丁
吉 本 喜八郎（重之） 四郎 3人扶持 文久3 28才 徳善寺 8丁
吉 本 鑓 朔（鑓左衛門，良成） 官左衛門 15俵 M3 50才 祐専寺 3丁
吉 本 才 市 善左衛門 11俵 M6 4才 長徳寺 4丁
吉 本 三平太（格恒） 誠右衛門 4俵 M3 19才 照円寺 3丁
吉 本 準 二（義正） 市左衛門 20俵 M4 25才 善照坊 7丁
吉 本 四郎次（吉貞） 弥三兵衛 11俵 M5 長徳寺 4丁
吉 本 善 七（信貞） 庄右衛門 15俵 M3 63才 善福寺 3丁
吉 本 宗太郎 与三兵衛 9俵 M4 40才 廻光寺 5丁
吉 本 竹次郎（正一） 弥兵次 15俵 M3 17才 照円寺 6丁
吉 本 常 三（常人，元知） 林平 5人扶持 M3 23才 承証寺 4丁
吉 本 直 彦兵衛 20俵 M8 25才 照円寺 5丁
吉 本 初三郎（盛正） 保左衛門 15俵 M3 29才 観帰寺 5丁
吉 本 増 友之丞 12俵 M7 65才 本因寺 5丁
吉 本 弥一郎（保次） 重蔵 13俵 M5 53才 浄行寺 5丁
吉 本 保左衛門（実行） 久兵衛 5人扶持 M1 52才 4丁
吉 本 弥平次（正義） 彦丞 30俵 M4 44才 照円寺 6丁
吉 本 理 作（善幸） 和三郎 12俵 M4 47才 承証寺 4丁
吉 本 林 平（言智） 林左衛門 12俵 M4 50才 承証寺 5丁
吉 山 鉦太郎 半吾 22俵 M7 2才 願成寺 5丁
(帙 664) 依 田 権 六（盛忠） 十郎左衛門盛通 30俵 M3 30才 大岩寺 9丁
依 田 多 宮（政知） 平馬則明 2人扶持 M3 17才 静明寺 4丁
依 田 平 馬（則明） 義兵衛穀 100石 M3 41才 静明寺 9丁
依 田 盛 忠 源吾盛通 130石 M5 32才 大岩寺 6丁
四 井 栄次郎（忠勝） 五郎右衛門 9俵 M4 35才 廻向寺 4丁
四 井 源 三（源左衛門，矩久） 拓右衛門 6人扶持 M3 42才 正福寺 11丁 2冊
四 井 善 悟（矩武） 寛喜 18俵 M4 46才 正福寺 9丁
四 橋 久 平（恒貞） 伊兵衛 2人扶持 M4 43才 専光寺 3丁
四 柳 太郎吉（太成） 宗右衛門 7人扶持 慶応1 35才 開禅寺 18丁
米 倉 徳三郎（庫治） 治郎太夫 20俵 M3 49才 妙泰寺 4丁
米 坂 乙次郎（朝近） 鍋次郎 20俵 M

3　31才　善照坊　5丁

(峡 665) **米田九左衛門**（安弘）　喜左衛門　5人扶持　M2　48才　竜国寺　3丁

米田八郎（貫）　彦右衛門　15俵　M4　29才　願念寺　4丁

米多椿斎（標季）　仁右衛門　30石　M3　63才　仁随寺　9丁

米多弥治兵衛（政季）　湯左衛門　200石　M2　40才　仁随寺　10丁

米林栄之進（備官）　良左衛門　5石　M3　34才　安居寺　5丁

米林貫一（庸連）　鉄三郎　28俵　M4　37才　聖興寺　8丁

米林源次郎（義和）　宅左衛門　45石　M3　51才　善徳寺　5丁　2冊

米林金作（喜之）　甚作　18俵　M4　18才　浄智寺　3丁

米林乾吉郎　佐太郎　25俵　M4　39才　蓮福寺　5丁

米林賢六（儀左衛門，忠潔）　儀太夫　25俵　M3　49才　善徳寺　8丁

米林幸左衛門（克静）　幸左衛門　50石　M1　34才　広智寺　7丁

米林鋤太郎（明貞）　五太夫　12俵　M3　10才　融山院　4丁

米林長次郎（信貞）　権四郎　15俵　M3　30才　恩通寺　4丁

米林勉（有稚）　幸作　20俵　M3　42才　慶覚寺　4丁

米林鉄太郎（時秀）　元右衛門　15俵　M3　24才　清光寺　3丁

米林藤七（正次）　藤右衛門　12俵　M4　51才　慶覚寺　4丁

米林友三（良明）　儀左衛門　20俵　M3　20才　専光寺　12丁

米林政男（政人，方治）　重兵衛　15俵　M3　24才　願念寺　4丁

米林安平（是也）　五郎八　30俵　M3　56才　善徳寺　8丁

米林八十八（道久）　惣七郎　15俵　M3　27才　照円寺　4丁

米林与九郎（正勝）　市郎右衛　15俵　M3　46才　浄光寺　3丁

米林与三郎（正一）　完右衛門　4人扶持　M4　20才　善徳寺　5丁

(峡 666) **米林与三**（与三太夫，保方）　与三太夫　20俵　M3　39才　蓮昌寺　8丁

米林良左衛門（貫，衛保）　良左衛門　130石　安政4　46才　安居寺　10丁

米原市太郎　市三郎直吉　15俵　M5　9才　恩通寺　4丁

米原惟雄（建蔵，以忠）　軍記　2人扶持　M3　31才　仁随寺　4丁

米原作太夫（好邑）　作左衛門信吉　35石　M1　32才　照円寺　2丁

米原讃作（英貞）　弥五作英通　3人扶持　M3　23才　妙泰寺　3丁

米原脩三（義道）　軍記番朝　5人扶持　M3　33才　仁随寺　4丁　2冊

米原精（英勝）　源五右衛門　20俵　M3　20才　長教寺　6丁

米原外吉（成親）　治八郎　18俵　M4　19才　正覚寺　6丁

米原弥五作（英通）　直作　40石　M2　53才　妙泰寺　9丁

米丸全作（能延）　金之助　15俵　M3　西方寺　5丁

米村栄太郎（美幾）　太兵衛　45石　M1　30才　浄福寺　4丁

米村鍵三郎（勇左衛門，成之）　庄太郎　20俵　M3　30才　専光寺　5丁

米村幸左衛門（幸平，忠義）　幸平　7人扶持　M4　45才　願念寺　7丁

米村錯男（円右衛門，政明）　円右衛門　20俵　M2　25才　浄智寺　8丁

米村次三郎（光之）　次右衛門　5人扶持　M4　25才　専光寺　4丁

米村甚五郎（清知）　甚左衛門　8俵　M4　24才　正楽寺　3丁

米村外次郎　美幾　45石　M5　8才　浄福寺　5丁

米村忠太夫（貞高）　仙之丞　7人扶持　安政7　20才　智念寺　9丁

米村常太郎（敏香）　津平　20俵　M3

29才　広済寺　4丁

米村　直太郎（法道）　清助　20俵　M3　16才　浄蓮寺　4丁

米村文左衛門（篤政）　甚太夫　3人半扶持　M2　35才　光済寺　4丁

（帙 667）米村　平太郎（景朝）　太左衛門　8俵　M5　23才　等願寺　4丁

米村　弥八郎（嘉輝）　七之丞　20俵　M3　22才　妙法寺　8丁

米村与吉　弥八郎　20俵　M7　8才　妙法寺　5丁

米村亮造（延房）　良作　11俵　M3　23才　慶恩寺　5丁

米山　薫（保貞）　九郎　17俵　M4　60才　善徳寺　4丁

米山熊次郎　専造　30俵　M7　16才　願念寺　6丁

米山孝太郎（義久）　円蔵　20俵　M4　17才　本光寺　7丁

米山太三郎　弥三吉　18俵　M7　17才　玄門寺　3丁

米山友二郎　友三　20俵　M6　28才　真成寺　8丁

米山友三（友右衛門，直寛）　友二郎　23俵　M3　56才　真成寺　9丁

米山弥三吉（孝昇）　忠兵衛　18俵　M3　玄門寺　3丁

米山与一（明門）　与左衛門　15俵　M3　21才　常福寺　5丁

米山与三治（直人，忠治）　小左衛門　20俵　M3　23才　浄安寺　9丁

寄島　小三郎（時由）　徳次　2人半扶持　M4　16才　聖泉寺　3丁

わ　行

（帙 668）若林愛年（屯，雄）　東蔵效　9俵　M3　26才　妙典寺　3丁

若林伊助（景行）　伊助　30石　元治1　17才　願念寺　2丁

若林　巌（安貞）　清太夫　7人扶持　慶応2　28才　福寿院　12丁

若林喜太夫（有慶）　喜太夫　5人扶持　M2　63才　妙丹寺　5丁

若林吉平（次是）　吉郎左衛門次永　80石　M3　43才　光専寺　10丁

若林　清（豊次郎，清春）　豊太夫　18俵　M3　21才　浄誓寺　3丁

若林貞吉（以政）　源次　40俵　M3　23才　慶恩寺　2丁

若林三好（成人，之久）　左次馬応礼　8人扶持　M3　22才　則願寺　6丁　2冊

若林　蔚（茂文）　与右衛門　50俵　M2　19才　光専寺　11丁

若林次三郎　清次郎　15俵　M8　3才　光福寺　3丁

若林春三郎（能納）　善六　3人扶持　M4　22才　光専寺　2丁

若林鋹次郎（好問）　喜太夫　60石　M2　34才　妙円寺　7丁

若林清次郎（放道）　弥左衛門　15俵　M3　34才　光福寺　3丁

若林忠行　晴行　60石　M5　17才　西光寺　6丁

若林太平（太左衛門，勝忠）　彦兵衛　2人扶持　M3　31才　専徳寺　3丁

若林直喜（和左衛門，晴行）　藤兵衛　則行　60石　M3　36才　西光寺　7丁　2冊

若林信之（三郎平）　三郎平　15俵　M3　20才　願念寺　4丁

若林房太郎　吉平　80石　M6　11才　光専寺　5丁

若林孫作（孫兵衛，行成）　吉之助　20俵　M3　23才　妙慶寺　7丁

若林政吉（直一）　庵　20俵　M4　21才　妙慶寺　7丁

若材方幸（安治）　辰五平　30俵　M3　45才　静明寺　7丁

（帙 669）若林　皆右衛門（宗太郎，安恭）　甚六　7人扶持　弘化2　17才　9丁

若林之基（孫左衛門）　休意則安　50石　M3　31才　光専寺　8丁　2冊

若林　与右衛門（茂武）　悠翁　2人扶持　M2　44才　5丁

若松　　緑（正忠）　正久　9俵　M4　34才　興徳寺　5丁
若村　久嘉陸（惟秀）　忠助　30俵　M4　58才　蓮覚寺　7丁
脇坂　五左（五左衛門，一貫）　七兵衛　身本　50石　M3　37才　本光寺　8丁
脇坂　七兵衛（身本）　五兵衛達之　100石　M3　63才　本光寺　6丁
涌島　為義（金政）　与兵衛　15俵　M3　20才　仰西寺　4丁
和久田　三治　仁兵衛　M6　40才　仰西寺　1丁
和気村　里宇　伊右衛門　13俵　M7　46才　徳栄寺　6丁
和崎　権平（重之）　和多右衛門　70石　安政6　42才　正覚寺　10丁
和崎　清次郎（温故）　和多右衛門　6人扶持　M2　50才　正覚寺　5丁
（帙670）鷲田　　弥（弥太郎，吉忠）　藤兵衛茂友　2人扶持　M3　19才　上宮寺　2丁
鷲田　清左衛門（正一）　丈左衛門　6人扶持　慶応2　33才　教恩寺　5丁
鷲田　藤兵衛（茂友）　弥左衛門　8人扶持　元治1　45才　上宮寺　8丁
和角　　騰（正朝）　孫左衛門　62俵　M3　30才　賢聖坊　3丁
和角　正方（孫左衛門）　清閑武時　230石　M3　49才　賢聖坊　8丁
和田　久太郎（信近）　忠四郎　3人扶持　M4　17才　常福寺　3丁
和田　釣太郎（光明）　庄兵衛　2人扶持　慶応1　13才　法光寺　3丁
和田　元之助（友一）　忠左衛門　3人扶持　慶応2　52才　3丁
和田　庄兵衛（恒靖）　三郎右衛門　8人扶持　安政5　45才　法光寺　5丁
和田　　保（知守）　大兵衛　10俵　M3　32才　願念寺　6丁
和田　津左衛門（塗吉）　津兵衛　35石　M2　29才　妙典寺　9丁
和田　頼　国（左兵治，事親）　七之助以養　90石　M3　61才　本法寺　5丁　2冊
錦木　琢　磨（八太郎，従縄）　八兵衛　20俵　M3　正覚寺　7丁
和多田　多喜松（一慎）　鮮次郎　100石　M3　26才　月心寺　7丁
（帙671）渡辺　温　郷（久男）　波治保之　40俵　M3　20才　極楽寺　12丁
渡辺　猪所男（義次）　伊兵衛　20俵　M3　29才　明光寺　6丁
渡辺　永　一（祐次郎，永一）　小隼人永世　700石　M3　34才　高岩寺　16丁
渡辺　嘉一郎（一弘）　久通一　17人扶持　M5　22才　三宝寺　9丁
渡辺　赫　馬（政右衛門，信易）　源五右衛門　20俵　M3　16才　勝蓮寺　5丁
渡辺　一　矢（源太郎）　一矢　90石　M6　20才　長齢寺　5丁
渡辺　勘三郎　交右衛門貞寛　120石　M3　長齢寺　11丁
渡辺　幾久郎（伴之助）　伊兵衛　20俵　M3　18才　勝蓮寺　10丁
渡辺　吉次郎　茂盛　20俵　M7　8才　勝円寺　3丁
渡辺　吉　郎（鎌）　儀門堅　150石　M5　26才　本覚寺　8丁
渡辺　元　岱（勅）　元忠　3人扶持　慶応1　20才　蓮覚寺　3丁
渡辺　元　隆　元忠忠倶　8人扶持　M3　本長寺　8丁
渡辺　小左衛門（義平）　与左衛門　五人扶持　慶応2　44才　浄照寺　4丁
渡辺　茂　雄　章　70石　M6　1才　長齢寺　6丁
渡辺　従　吉　元隆　60石　M7　23才　本長寺　5丁
渡辺　勝二郎（源信）　悦休伝　250石　M3　妙応寺　14丁
渡辺　祐　次（武司）　多見衛亮久　90石　M3　21才　長齢寺　8丁
渡辺　　奏（牛右衛門，嘉寿馬）　牛右衛門茂　35俵　M3　承証寺　7丁
渡辺　清　八（一平，克与）　善太夫　20

俵 M3 28才 勝連寺 5丁

(帙 672) 渡 辺 壮太郎(卓秀) 惣左衛門 15俵 M3 17才 蓮華寺 4丁

渡 辺 武十郎(雅休) 清八 15俵 M3 18才 昌柳寺 5丁 2冊

渡 辺 是(綬司郎) 波江是端 100石 M3 34才 融山院 6丁 2冊

渡 辺 辰三郎(成三) 虎之助 30石 M1 30才 常福寺 9丁

渡 辺 有(徳兵衛) 藤右衛門 20俵 M3 16才 勝円寺 6丁

渡 辺 保 善勝 50俵 M7 23才 広済寺 7丁

渡 辺 忠 次(左平太) 元吉 80石 M3 本光寺 10丁

渡 辺 常 三(博茂) 常三郎 20俵 M3 18才 本覚寺 7丁

渡 辺 窗三郎(克昌) 哲丞 60石 M2 15才 9丁

渡 辺 彦 六(半五兵衛, 信義) 誠太夫 信順 300石 M3 50才 常松寺 10丁

渡 辺 久(余所人, 通一) 永休純 17人扶持 M3 56才 三宝寺 11丁 2冊

渡 辺 ふ さ 茂盛 20俵 M6 1才 勝円寺 3丁

渡 辺 兵太夫(孝則) 兵太夫 2人扶持 慶応4 37才 名願寺 8丁

渡 辺 正 友(兵三郎) 勘矢衛正綱 50俵 M3 鶴林寺 9丁

渡 辺 安太郎(延勝) 宅治 15俵 M3 22才 妙円寺 6丁

渡 辺 祐次郎(永一) 小隼人 700石 M2 高岩寺 13丁

渡 辺 有 馬(信幸) 半五兵衛信義 150石 M3 34才 常松寺 5丁

(帙 673) 渡 辺 良 信(次郎兵衛, 良信) 源兵衛 有恒 70石 M3 54才 本覚寺 8丁 2冊

渡 辺 和 平(一) 壮山信 200石 M3 60才 長久寺 9丁

渡 辺 音次郎(嘉広) 左大夫 8人扶持 元治1 34才 大円寺 8丁

渡 邊部 清 尚義 100石 M6 29才 法船寺 5丁

渡 部 九 六(団右衛門, 尚義) 団右衛門長周 100石 M3 59才 法船寺 5丁 2冊

渡 部 省 三(隆照) 弥三 15俵 M3 21才 蓮覚寺 7丁

渡 部 喜 太(喜太夫, 信敏) 喜平次 18俵 M3 62才 浄誓寺 9丁

鰐 部 重 之(助左衛門) 卓左衛門直道 16俵 M3 37才 本行寺 8丁 2冊

鰐 部 忠 重(加治馬, 忠重) 弥三右衛門以忠 70石 M3 22才 本行寺 5丁

鰐 部 康三郎(寿幸) 久左衛門 40石 M3 20才 高岸寺 7丁 2冊

加越能文庫解説目録　上巻

昭和50年3月20日　印　刷
昭和50年3月30日　発　行

編集発行　金沢市立図書館
金沢市大手町3－23
郵便920　電話0762（21）1960
印　刷　㈱橋本確文堂
金沢市大手町2－35